

ALICIA EN EL PAÍS DE LAS MARAVILLAS

スペイン語 不思議の国のアリス

Lewis Carroll



2017/05/07
～2024/05/17
三浦 高志

参考文献等

Alicia en el País de las Maravillas Lewis Carroll

英語テキストはインターネットからダウンロード。

<http://bilinguis.com/book/alice/jp/en/>

『不思議の国のアリス』（ふしぎのくにのアリス、英: Alice's Adventures in Wonderland）は、イギリスの数学者チャールズ・ラトウィッジ・ドジソンがルイス・キャロルの筆名で書いた児童小説。1865 年刊。幼い少女アリスが白ウサギを追いかけて不思議の国に迷い込み、しゃべる動物や動くトランプなどさまざまなキャラクターたちと出会いながらその世界を冒険するさまを描いている。キャロルが知人の少女アリス・リデルのために即興でつくって聞かせた物語がもとになっており、キャロルはこの物語を手書きの本にして彼女にプレゼントする傍ら、知人たちの好評に後押しされて出版に踏み切った。1871 年には続編として『鏡の国のアリス』が発表されている。

聖書やシェイクスピアに次ぐといわれるほど多数の言語に翻訳され引用や言及の対象となっている作品である。本作品に付けられたジョン・テニエルによる挿絵は作品世界のイメージ形成に大きく寄与しており、彼の描いたキャラクターに基づく関連商品が数多く作られるとともに、後世の『アリス』の挿絵画家にも大きな影響を及ぼしている。

制作期間 2017/05/07～2024/05/17

三浦高志 Takashi Miura

注意：この文書は構文解析を用いて、外国語の文章を日本語に翻訳する方法を示して、外国語学習者の文法理解を多少なりとも支援するために作成した参考資料です。

翻訳は辞書に載っている単語や熟語などの意味と構文解析に基づいて、文章の意味を日本語に訳したものであり、文学作品の文章として翻訳している訳ではありません。



文の構成要素と構文解析の書式

文の構成要素と構文解析の書式

文法書によると、日・伊・西・仏・独・英などの言語では異なる文法用語が使用されているが、この文書では英語の文法用語を基本として、独自解釈も交えて構文解析を行う。

「文」は「主語」、「動詞」、「目的語」、「補語」、「副詞」及び「形容詞」で構成される。また「接続詞」や「関係代名詞」などは「文」と「文」を接続してより複雑な文を構成するために使用される。

文の構成要素と単語の品詞についておおまかに説明する。

「名詞」は事物の名称・状態・性質・存在などの概念を表す単語である。

「形容詞」は事物の性質・状態、人間の感覚・感情などを表す語で「名詞」を修飾する。

「副詞」は事物の状態・性質・程度や時刻・場所などを表し、「動詞」を修飾したり、他の「副詞」や「形容詞」を修飾する。

「句」は2つ以上の単語が集まって「名詞」、「形容詞」、「副詞」あるいは「動詞」の役目をするもの。それぞれ「名詞句」、「形容詞句」...などと表す。例えば、

「名詞句」は「形容詞+名詞」、「名詞+名詞」などによって作られ、

「形容詞句」は「副詞+形容詞」、「前置詞+名詞」などによって作られ、

「副詞句」は「副詞+副詞」、「前置詞+名詞」などによって作られ、

「動詞句」は「動詞+前置詞」、「動詞+副詞」、「助動詞+動詞」によって作られる。

「節」は2つ以上の単語が集まって「主語」と「動詞」を含む文を構成して、全体の中で「名詞」、「形容詞」または「副詞」の役割をする。従属節と呼ばれる。それぞれ「名詞節」、「形容詞節」および「副詞節」と表す。

2つの節が対等に結合される場合は等位節と呼ぶ。(英語で **and** や **but** で結合)

「主語」は「動詞」の動作・作用の主体を表す「名詞・句・節」または「代名詞・句」。

「動詞」は事物の動作・作用・状態・存在などを表す。

「直接目的語」は動詞の表す動作の対象となる人・物を表す「名詞・句・節」。

「間接目的語」は動詞の表す動作によって動作主または「直接目的語」が移動または状態変化する場所または動作の目的・結果を表す「名詞・句・節」または「副詞・句・節」。

注意：英語の文法書では、「間接目的語」は「直接目的語」と共に用いられることになっているが、この文書では「間接目的語」が単独で用いられる場合がある。すなわち、「主語」

「動詞」「直接目的語」と「主語」「動詞」「間接目的語」の構文がある。

「補語」は「主語」または「目的語」の性質・状態を表す「名詞」「形容詞」「副詞」。

文の構成要素と構文解析の書式

名詞・性と数

「名詞」は人または事物の名称を表す語であり、文中で「主語」、「直接目的語」、「間接目的語」または「補語」として用いられる。時には、他の「名詞」を修飾する「形容詞」として利用されたり、「時」や「場所」に関する「副詞」として利用されることがある。

「名詞」が「動詞」のように利用されて「前進！」のような命令文が作られることもある。さらに、「名詞」として辞書に載っている単語だけでなく、「動詞」や「形容詞」または「副詞」が「名詞」的に利用されることもあるので、「名詞」の出現頻度は高い。

「代名詞」は「名詞」の代わりをする語である。代名詞を利用することで、文中に同じ単語が何度も現れるのを防いで、文を明確化することができる。

「名詞句」や「名詞節」も文中で「名詞」と同様の機能として使われる。

「名詞」は数えられる名詞「可算名詞」と数えられない名詞「不可算名詞」に分けられ、可算名詞は「普通名詞」と「集合名詞」に、不可算名詞は「固有名詞」、「物質名詞」と「抽象名詞」に分けられる。

「普通名詞」は「本」、「猫」、「机」など同じ種類の個体を多数持っているものに与えられる名称で、単数か複数かという区別を必要とする。単数の場合は「不定冠詞」か「定冠詞」を付けるのが原則である。

「集合名詞」は「委員会」、「家族」、「警察」のように人・動物・物などの集合体を指す名詞である。

「固有名詞」は「富士山」、「パリ」、「ニュートン」などのように、人・場所・事物などに固有の名称である。本来一つしかないものなので不定冠詞をつけたり、複数形にすることは原則としてない。定冠詞を付ける場合と付けない場合がある。

「物質名詞」は「空気」、「水」、「ワイン」のように物質を表す名称で、一定の形を持たず、また特別な容器を用いない限り、個々には独立して存在しない。不可算名詞なので、不定冠詞は付かないし、複数形にもならない。

「抽象名詞」は「親切」、「愛」、「悲しみ」、「真理」のように、具体的な形を持たない抽象的な概念を示す名称である。抽象名詞も数えられないから、不定冠詞は付かないし、複数形にもならない。

イタリア語・スペイン語・フランス語・ドイツ語などでは、「名詞」に付属する冠詞・形容詞は名詞と性・数の一致が必要となり、「名詞」に関係する「動詞」は名詞と数の一致が必要になる。

文の構成要素と構文解析の書式

「直接目的語」と「間接目的語」

「僕は君にこの本をあげる」という文は、「主語：僕（は）」、「間接目的語：君に」、「直接目的語：この本（を）」、「動詞：あげる」という構成要素から作られている。そして、「動詞：あげる」の動作において動作の主体が操作・加工する対象となるものが「直接目的語：この本（を）」である。「間接目的語：君に」は「直接目的語」（または「主語」）の移動先（**抽象的な概念の場所も含む**）を表しており、動作の主体が操作・加工する対象ではない。

「直接目的語」は動作の主体が操作・加工する対象を示すと考えると、「人」や「物」を表す「名詞」類が使用されることが分かる。

「間接目的語」は「直接目的語」または「話者自身」の移動先を示す場所であると考え、場所を表す「人」や「物」または「場所を表す空間」を表す「名詞」類または「副詞」類が使用されることが分かる。**参考：「私は両親に従う。」の「両親」は「両親の希望・意見などの抽象的な概念の場所」を表す「間接目的語」である。「間接目的語」が名詞・代名詞ならこれを「主語」として受動文を作れるが、副詞類なら受動文を作れない。**

注意：一般の文法書では、「自動詞+前置詞+名詞」の「名詞」を前置詞の「目的語」と説明しているが、この文書では「前置詞+名詞」または「前置詞+副詞」を「間接目的語」と解釈して構文解析を進める。この方が文章を理解しやすいと判断したからである。

この方法によると、「私は**学校へ**行く」は自動詞の「行く」と前置詞が付いた「学校へ」が使われており、「学校へ」が「間接目的語」と構文解析されることになる。

しかし、一般の文法書の解説とは異なるので、学校の試験などでは間違いとされる恐れがあることを注意する必要がある。しかし、フランス語の文法はこの解釈に近い。

まとめ：「直接目的語」は「名詞」類が使われる。「～を」

「間接目的語」は「名詞・副詞」類が使われる。「～の所へ、～のために、～にとって」

形容詞

「名詞」、「代名詞」を修飾・限定するものを「形容詞」という。「形容詞」は事物の性質・状態、人間の感覚・感情などを表す語で「名詞」を修飾する。

「形容詞」類の例示：

代名詞：「**私の**本」、「**この**本」、「**数冊の**本」、「**どんな**本」の下線を付けた語句。

冠詞：「**一冊の**本」、「**その**本」の下線を付けた語句。

分詞：「**眠っている**赤ん坊」、「**失われた**時間」の下線を付けた語句。

名詞：「空軍」、「石橋」のように「名詞」＋「名詞」の語句。

形容詞句：「**籠の中の**鳥」の下線を付けた語句（前置詞で導かれる）。

形容詞節：「これは**パリで買った**指輪です」の下線を付けた語句（関係代名詞で導かれる）。

まとめ：「形容詞節」を含む「形容詞」類は「名詞」類の前後に使用される。

文の構成要素と構文解析の書式

不定冠詞

「形容詞」類の一つである。様々な意味に使われる。

1. どれでもよい、不定の人や物の一つを指す。
2. ある具体的な一つの物（人）を指す。
3. 一つの～という意味をはっきり示す。
4. ～につきの意味を示す。
5. 或る～の意味で用いる。

話の中で初めて述べる「名詞」には不定冠詞を付けて内容を説明して、二度目以降では定冠詞を付けて使う。

定冠詞

「形容詞」類の一つである。加算名詞・不加算名詞を問わず、全ての名詞の前に付けることができ、その名詞が何らかの意味で特定されたものであることを示す。

先に出た「不定冠詞+名詞」を指す場合。

すでに述べられた事柄に関連して特定される場合。

周囲の状況からそれと分かる場合。

ただ一つしかないものを指す場合。

最上級や唯一的な意味で限定された名詞に付ける。

修飾語句によって限定される場合。

楽器を代表的に指す場合

副詞

「副詞」は事物の状態・性質・程度や時刻・場所などを表し、「動詞」を修飾したり、他の「副詞」や「形容詞」を修飾する。しかし、名詞・代名詞、句や節または文全体を修飾・限定することもある。

まとめ：「副詞」類は修飾する語句の近くに置かれるので、「文頭」、「主語」の前後、「動詞」の前後、「補語」の前後、「文末」のように、文中いたる所に使われる。

比較

「形容詞」や「副詞」は性質・様態・数量などの程度を表すが、他の物との間の程度の違いを比較・表現する場合は語形を変えてそれを示す。この語形変化を比較といい、原級、比較級、最上級の語形と慣用句がある。

文の構成要素と構文解析の書式

補語

「補語」は文中で「主語」や「目的語」の性質・状態・動作を補足説明する語句である。

「彼は親切だ」、「私は学生だ」など「主語+動詞+補語」の形式で表される文では、下線部分の事を「補語」といって、「補語」は「主語」の性質・状態を補足説明している。

また、「私は彼が親切だと分かった」のように「主語+動詞+目的語+補語」の形式で表される文では、下線部分の事を「補語」というが、こちらは「主語」ではなく「目的語」（二重下線部分）を補足説明している。「補語」は主に「名詞」類または「形容詞」類が使われる。

しかし「彼はパリ出身だ」、「この本はカルロスのものだ」、「このテーブルは木製だ」などの文を「～である」を表す「動詞」を使って表現すると、下線部分は「副詞句」となる。この「副詞句」も「主語」の性質・状態を補足説明しているので「補語」である。

参考：「私は彼が全力を尽くすことを期待している。」は「主語」「不完全他動詞」「目的語」「補語」の構文によって「補語」が「目的語」の動作を補足説明している。

「補語」が必要な「動詞」は「～である」、「～になる」、「～とを感じる」、「～と思われる」などの意味の「動詞」である。

まとめ：「補語」は「動詞・名詞・形容詞・副詞」が使用され性質・状態・動作を補足する。

動詞

「動詞」は人や様々な事物の動きや状態を述べる語である。

「主語」は「動詞」の動きを実行する主体である。

「動詞」の種類について：

完全自動詞：「主語」が「動詞」の動作を実行する。

不完全自動詞：「動詞」と「補語」によって「主語」の性質・状態を補足説明する。

完全他動詞：「主語」が「直接目的語」に対して「動詞」の動作を実行する。

間接他動詞：「動詞」と「間接目的語」で「主語」の移動先を示す。（フランス語文法）

授与動詞：「主語」が「間接目的語」に対して「直接目的語」を与える。

不完全他動詞：「目的語」の性質・状態を「補語」によって「動詞」で表現したり、「補語」で示される動作を「目的語」に対して「動詞」で表現する。

助動詞

「助動詞」は「動詞」と結びついて可能「～する事が出来る」、推量「～するかもしれない」、義務「～しなければならない」など、話し手の判断や心理を表す表現を追加する「法助動詞」とそれ自身は特に意味を持たず現在分詞・過去分詞と結びついて進行形・受動態・完了形などの時制・態を形成する助動詞がある。

文の構成要素と構文解析の書式

疑問詞

「誰」、「何」、「どこ（場所）」、「いつ（時）」、「どちら（選択）」など文を形成する要素の一部分を話し相手に質問する時に、質問の種類を知らせるための語を「疑問詞」という。

「疑問詞」は文の中で、「主語」、「目的語」、「補語」または「副詞」類として機能するが、どの場合でも文頭におかれて、最初に質問の種類を明らかにする役目を果たす。

「疑問代名詞」、「疑問形容詞」および「疑問副詞」の3種類がある。

接続詞

「接続詞」は文中の語・句・節を接続する。

「等位接続詞」は文法上の働きが対等の関係にある語・句・節を結び付ける。

「従属接続詞」主節の一部として、全体で一つの名詞または副詞の働きをする節を導く接続詞を従属接続詞と呼ぶ。

「従属接続詞」+「節」→「従属節」となり、「従属節」が「名詞節」または「副詞節」として働くことになる。

まとめ：「語・句・節」+「等位接続詞」+「語・句・節」の形式で使われる。

「主語」+「動詞」+「従属接続詞」+「節」の形式で使われる。

関係詞

文中の「主語」、「目的語」または「補語」に対して説明を加える場合に、それを「先行詞」として、説明に適切な「関係詞」に続いて説明の「節」を置くことで、説明の行き届いた文を作ることができる。「先行詞」は「節」の中で「主語」、「目的語」または「補語」として機能する。

まとめ：「関係代名詞」は「名詞」類を修飾する「形容詞節」を導く。

「関係副詞」は「時」や「場所」を修飾する「副詞節」を導く。

前置詞

「名詞」・「代名詞」の前に置いて、それらと共に全体として一つの品詞の働きをする語。前置詞と結びついた語句の品詞によって、「形容詞句」または「副詞句」として機能する。

「形容詞句」は「名詞」と結びついて「名詞句」を構成して、文中で「主語」、「目的語」または「補語」として機能する。

「副詞句」は文全体や「動詞」・「形容詞」を修飾したり、「間接目的語」として機能する。

文の構成要素と構文解析の書式

構文解析の書式

構文解析は文を構成要素ごとに区切りを付けて、「主語」、「動詞」、「目的語」、「補語」、「副詞」および「形容詞節」に分類して、文がどのように構成されているかを分かり易く示すことが目的である。

しかし「形容詞節」は「主語」、「目的語」などと一体化されて、「主語」または「目的語」として分類することが多い。（「形容詞節」は名詞句の一部になる）

「目的語」は必要に応じて「間接目的語」と「直接目的語」を明示する。

本文書では、日本語の文を最初に示してから、次の行に外国語の文を示す。そして、外国語の文の後ろまたは次の行に文全体の構成要素を示す。さらに、その次の行からは、各構成要素の語句ごとにその読み、語句の品詞（「動詞」の場合はその活用も表記）、日本語の意味、構成要素名を1行から3行程度のスペースを使用して表示する。

複数の語が集まって「主語」、「動詞」、「目的語」または「補語」が作られる場合には、それぞれの単語の読み、品詞、意味を表示する場合がある。この場合には、次の書式に従って表示する。

「語句」「読み」「品詞の記号」「意味」（「構成要素名」）

「品詞の記号」

名詞：男性名詞 n.m、女性名詞 n.f

代名詞：pron、pron.f.のように性別を追加することがある。

形容詞：男性形容詞 adj.m 女性形容詞 adj.f

複数：pl.（名詞、代名詞と形容詞の品詞記号の前または後ろに置く）

副詞：adv、「構成要素名：修飾する語句」の形式で説明を加える。

動詞：接続法・1人称単数現在なら接・1単現のように表記、自動詞 v.i、他動詞 v.t

動詞句：否定詞+動詞、助動詞+動詞、助動詞+過去分詞、動詞+不定詞など複数の動詞関連語句は、動詞としての機能と自動詞／他動詞の区別などを示す

注意：動詞の未来、過去または完了形の場合、<「原形」の形式で示すときは原形の意味を表示するが、「原形」を示さない場合は未来、過去または完了形の意味を表示する。

接続詞：conj. 接続詞は単語そのものを表示する

前置詞：prep

複数の単語によって名詞句などが作られる場合には、複数の単語の品詞を表示してから、→「複数単語の語句」、品詞記号、意味、構成要素名の形式で表示する。

数字は読みのスペルをカッコ内に表記した。

構成要素には「主語」、「動詞」、「目的語」、「補語」、「副詞」、「形容詞」のように下線を追加した。「補語」、「副詞」および「形容詞」は同じ下線である。また、「間接目的語」と「直接目的語」も同じ下線である。「動詞句」は「動詞」と同じ下線である。

文の構成要素と構文解析の書式

構文解析の例

2 週間の間、風邪のために喉が痛い。

Tengo dolor de garganta por el resfriado durante dos semanas.

「動詞」「目的語」「副詞句」

Tengo テンゴ 1 単現 < tener v.t 持つ、ある

「動詞」

dolor de garganta トロオル・デ・ガルガンタ n.m 喉の痛み

「目的語」

por el resfriado ポル・エル・レスフリアト adv. 風邪のために

durante dos semanas トゥランテ・ドス・セマナス adv. 2 週間

→ por el resfriado durante dos semanas

「副詞句：Tengo」

今日はイタリア語とスペイン語で日記を書くために参考書を 2 冊買った。

Hoy he comprado 2 (dos) libros de consulta para llevar un diario en italiano e en español.

「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Hoy オイ adv. 今日

「副詞：he comprado」

he comprado エ・コンプラト 1 単現・完了形 購入した

「動詞句」

2 libros de consulta トス・リブ・ロス・デ・コンスルタ n.m pl. 2 冊の参考書

「目的語」

para llevar un diario パラ・ジエバル・ウン・デアリオ adv. 日記をつけるために

en italiano e en español エン・イタリアーノ・エ・エン・エスパニョール adv. イタリア語とスペイン語で

→ para llevar un diario en italiano e en español

「副詞句：he comprado」

山栗が 430g とナスが 2 本採れた。

He recogido 430 (cuatrocientos treinta) gramos de castaña salvaje y coseché 2 (dos) berenjenas.

「動詞句」「目的語」 y 「動詞」「目的語」

He recogido エ・レコヒト 1 単現・完了形 拾い集めた

「動詞句」

430 gramos de castaña salvaje クワトロシエントス・トレインタ・グラモス・デ・カスターニャ・サルバヘ

n.f 山栗を 430g

「目的語」

coseché コセチェ 1 単点 < cosechar v.t 収穫する

「動詞」

2 berenjenas トス・ベレンヘナス n. 茄子を 2 本

「目的語」

文の構成要素と構文解析の書式－終わり

目次

目次

参考文献等	1
文の構成要素と構文解析の書式	2
名詞・性と数	3
「直接目的語」と「間接目的語」	4
形容詞	4
不定冠詞	5
定冠詞	5
副詞	5
比較	5
補語	6
動詞	6
助動詞	6
疑問詞	7
接続詞	7
関係詞	7
前置詞	7
構文解析の書式	8
構文解析の例	9
文の構成要素と構文解析の書式ー終わり	9
目次	10
Lewis Carroll	15
Titulo original: Alice's Aduentures in Wonderland	16
Prólogo	17
Surcando la tarde dorada	38
1 Por la madriguera del Conejo	41
ponerse + 主格補語 :	46
受動態 過去分詞は主語の性・数に一致する	51
las の意味 「様々な物事」 仮の目的語と考える	53
4000 マイル : 6400Km に相当する	56
再帰代名詞の位置 :	62
再帰動詞による動詞句 :	64
接続法 :	88
cuanto 「全部」を表す関係形容詞・関係代名詞・代名詞・副詞	94

目次

英語版では :	94
ser que :	96
ahora que+直説法 : ~する今になって	97
英語版では「カレント」を使って書かれていた	99
スグリ :	100
かじる :	101
2 El charco de lágrimas	105
dar a+人 por +不定詞 ~する気になる	109
dar a+人 por... 人が~に夢中になり始める	109
扇子(せんす) : abanico アバニコ	117
estar seguro de...	123
注意 :	127
pie ^{ピエ} n.m (長さの単位) フィート (30.48cm)	135
es que+直説法 : 実は~なので	143
así que+直説法 : 従って~・~するとすぐに (未来のことは+接続法)	143
por qué : なぜ (理由を聞くとき)	143
porque : ~だから (理由を述べるとき)	143
así que+直説法 : 従って・するとすぐに	150
3 Una carrera en comité y una historia con cola	166
英語版では : Caucus-race	182
完了時制 : haber の活用 + 過去分詞	189
注意 : FURIA	202
しなければならない : 必要	203
英語版では :	207
現在分詞の使われ方 :	216
4 El Conejo envía un Pepito	220
英語版では :	230
英語版では :	232
de forma que+直説法 (結果) そのため~する	234
de forma que+接続法 (目的) ~するように	234
天竺ネズミ	280
ペルシュロン種の馬	288
英語版では :	290
oruga ^{オウガ} n.f 青虫、イモムシ、毛虫	295
5 Consejos de una oruga	296
haber de+不定詞	301

目次

英語版では	327
肩.....	334
羽と羽根	337
英語版では	345
お見通し	348
6 Cerdo y pimienta	358
仕着せ	359
チェシャ猫（チェシール猫）	380
al +不定詞	409
英語版では	430
7 Una merienda de locos	432
キャロルのなぞなぞ	439
ヤマネ	467
なんか	479
英語版では	502
8 El croquet de la Reina	504
al+不定詞	510
トランプの数字の読み方	519
クロケー	535
a+不定詞	537
怒り心頭に達する	550
9 Historia de la Tortuga Artificial.....	582
英語版では	601
lo que es...	612
a+不定詞	616
英語版では	625
追加科目	635
英語版では	638
10 La cuadrilla de la Langosta.....	649
lo que	654
メルルーサ	662
11 Quién robó las tartas?.....	710
口絵・扉絵・挿絵.....	716
英語版では	760
英語版では	764
12 El testimonio de Alicia.....	767

目次

英語版では	795
評決と判決	811
カウベル	828
fin	831
Notas	833
Notas end	841
Vector で公開中のソフトとデータ	843

Lewis Carroll

Lewis Carroll

Alicia en el País de las Maravillas

Ilustraciones de John Tenniel

Traducción y prólogo de Jaime de Ojeda

Alianza editorial

El libro de bolsillo

Titulo original: Alice's Adventures in Wonderland

Titulo original: Alice's Adventures in Wonderland

Primera edición en 《El libro de bolsillo》 : 1970

Cuarta edición: 2010

Séptima reimpresión: 2016

Diseño de colección: Estudio de Manuel Estrada con la colaboración de Roberto Turégano y Lynda Bozarth

Diseño cubierta: Manuel Estrada

Reservados todos los derechos. El contenido de esta obra está protegido por la Ley, que establece penas de prisión y/o multas, además de las correspondientes indemnizaciones por daños y perjuicios, para quienes reprodujeren, plagiaran, distribuyeren o comunicaren públicamente, en todo o en parte, una obra literaria, artística o científica, o su transformación, interpretación o ejecución artística fijada en cualquier tipo de soporte o comunicada a través de cualquier medio, sin la preceptiva autorización.

© de la traducción y el prólogo: Jaime de Ojeda

© Alianza Editorial. S. A., Madrid, 1970, 2016

Calle Juan Ignacio Luca de Tena, 15

28027 Madrid

www.alianzaeditorial.es

ISBN: 978-84-206-6428-6

Depósito legal: M. 45.615-2010

Composición : Grupo Anaya

Printed in Spain

Si quiere recibir información periódica sobre las novedades de Alianza Editorial, envíe un correo electrónico a la dirección: alianzaeditorial@anaya.es

Prólogo

Prólogo

Muchas veces me han preguntado -entre otros Alianza Editorial- ¿por qué es Alicia en el País de las Maravillas un libro tan leído y tan citado en el mundo anglosajón? Nunca he podido responder con entera satisfacción, y me temo que esta traducción -a pesar de los buenos propósitos del traductor y de la editorial- tampoco logre hacerlo; en efecto, Alicia es uno de esos fenómenos literarios que no admiten trasplantes y pese a todo el cuidado que se ponga en guardar intacto su significado vernáculo en ese naufragio irreparable y doloroso que es toda traducción, creo que es prácticamente imposible «trasladar» a la mente del lector castellano todo el contenido de vivencias sabrosas, de evocaciones misteriosas y de introspección cultural de que está lleno este precioso libro.

Pero, en fin, se ha hecho lo posible por lograrlo, y en esta nota introductoria se intenta señalar al lector algunas pistas para la mejor comprensión de esos aspectos intraducibles de Alicia.

Prólogo

Alicia es, ante todo, un cuento infantil, un cuento ideado por Carroll para una niña real, Alicia Liddell, por la que Carroll siempre sintió una extraña devoción. El 4 de julio de 1862, Carroll y el reverendo Robinson Duckworth, amigo y compañero suyo de enseñanza en la escuela de Oxford, llevaron a las tres hermanas Liddell (trece), Alicia (diez) y Edith (ocho), hijas del conde de Oxford. En su diario, Carroll registra la fecha de esta excursión y el hecho de que fue a lo largo de esa tarde, la noche cuando compuso, a requerimiento de las niñas, el cuento de Las Aventuras de Alicia bajo "Tierra. Veinticinco años más tarde, en su artículo «Alicia en el teatro» Carroll describe nuevamente y con más detalle la misma escena: la excursión por el río, la insistencia de las niñas Liddell por oír un cuento, que no tuvo más remedio que ir inventando, «más por tener que decir algo que por tener algo que contar». La misma Alicia Liddell confirma, mejor aún, la forma en que nació esta narración en un artículo recogido por Collingwood en su Vida y cartas de Lewis Carroll. El reverendo Duckworth también da su propia versión en ese mismo libro.

Debió de haber sido ciertamente una tarde de singular inspiración para Carroll: Alicia Liddell no recordaba otro cuento que la hubiera entusiasmado tanto entre los muchos que oyó de boca de Carroll, y el reverendo Duckworth también registra su asombro por la extraordinaria inventiva de su amigo. Fue Alicia la que insistió luego en que Carroll le escribiera el cuento, y según nos cuenta Duckworth, aquél se pasó una noche componiendo el manuscrito. A las Navidades siguientes, el cuento, primorosa-

Prólogo

mente copiado a puño y letra por el autor y acompañado de unos dibujos encantadores del mismo Carroll, fue su regalo de Navidad a Alicia. Muchos años más tarde, en 1886, cuando ésta era ya la señora de Hargreaves y tenía hijos, Carroll le pidió este manuscrito para su publicación en facsímil.

El enorme interés que su narración despertó en cuantos la leían motivó que Carroll, estimulado por sus amigos, publicara el cuento tres años más tarde (en 1865, con Mac-Millan), revisando su texto, omitiendo algunos pasajes demasiado personales para interesar al público en general y añadiendo otros muchos con narraciones adicionales, más juegos de palabras y otras muchas ingeniosidades literarias, con el título de Alicia en el País de las Maravillas. A su vez, el gran éxito alcanzado por esta publicación motivó una segunda parte, Alicia a través del espejo, publicada en 1871.

Nadie habría podido imaginar que la publicación de este cuento infantil iba a tener un éxito tan singular, y aquí es donde las explicaciones comienzan a faltar. Desde este momento el libro abandona a su autor y se hace independiente de sus motivaciones; se convierte en un elemento objetivo de la cultura de su época y estimula en sus lectores reacciones irresistibles. Son éstas las que han provocado la popularidad del libro y el enorme interés de su misterioso significado.

A mi juicio -bien modesto-, no cabe la menor duda de que esta popularidad y ese interés se derivan de lo que Alicia tiene de ejercicio onírico: es el sueño de toda una cultura, el libre deambular de mecanismos dispersos de una ideología histórica caracterizada por su autodisciplina y una formidable represión de instintos.

Prólogo

En efecto: la lectura de Alicia tiene nn.i luci /i hipnoti-zante, a la que contribuyen el estilo rápido, la scciicncin in-esperada de situaciones, la intensidad de los .iinhientes y, sobre todo, la seguridad con que el lector se va tcicioian- do poco a poco de un extraño sentiniienlo, óe una especie de «reconocer» un mundo que él también ha vivido.

He aquí algunos factores que logran este efecto onírico de

Alicia:

Ante todo, el estilo de Carroll -rápido, breve, recortado-, que ahorra palabras y hojarasca literaria y coloca al lector muy directamente en contacto con la situación descrita. Los ambientes por los que pasa Alicia están dibujados a veces tan sólo a través del diálogo o apenas insinuados con algunos trazos. En realidad, el autor acude a resortes secretos del lector, que reconoce inmediatamente una situación típica más por instinto que por intelecto. Las situaciones por las que pasa Alicia son, de esta manera, más que lugares y escenarios externos, auténticas «moradas», situaciones eminentemente emotivas. El sueño libera al autor de la necesidad de describir situaciones objetivas y le permite concentrarse en el ánimo subjetivo de Alicia.

Así, Carroll describe una tarde veraniega al borde del río, el paseo cotidiano de una niña, la aparición súbita de un conejo extrañamente ataviado, una madriguera suma-mente profunda...; pero lo que el lector lee no es, en realidad, la descripción de esa escena, sino el aburrimiento de Alicia, su ligera desesperación ante el mundo incomprensible de su hermana mayor, el contraste entre estos sentimientos y la viva curiosidad que le inspira la súbita apari-

Prólogo

ción de un conejo con guantes y, finalmente, la emoción intensísima de quien descarta la realidad sin ninguna re-serva para seguir la atracción irreprimida del impulso, la alegría de su decisión, el miedo y el temor de su acontecer... Lo mismo podría analizarse a lo largo de las demás aventuras de Alicia.

Un segundo elemento literario que contribuye al efecto onírico del anterior -el contacto directo con las situaciones anímicas de Alicia- es la transformación inesperada de estas situaciones. ¡No en balde lo tituló el País de las Maravillas! Alicia pasa en un instante por mutaciones radicales de la realidad y metamorfosis de su propio ser, que, sin embargo, están siempre ligadas entre sí por explicaciones perfectamente lógicas, de forma que la mente no se rebela, sino que se maravilla ante este caleidoscopio anímico. Tan pronto se agota una situación, se pasa a otra totalmente diferente en la que a menudo se vuelven las tornas; y así, junto a las ansias por devorar la nueva aventura, se siente un ligero pesar por abandonar la anterior, llena aún de recovecos inexplorados. De esta manera, inmerso el lector en un mundo «inmediato», se siente igualmente sobrecogido por su dinámica vertiginosa. Ello contribuye poderosamente al efecto onírico de la obra y ha atraído indudablemente la atención de muchos buscadores de citas para ilustrar la manera en que una situación aparentemente estable puede transformarse radicalmente, sea por una intención voluntariosa, sea por el juego imprevisto de la fortuna, sea por una mezcla de las dos.

Este ritmo con que se suceden las aventuras de Alicia se me antoja «musical» por la variación paulatina y contrastante de la intensidad y carácter de sus secuencias, que pa-

Prólogo

san de situaciones rápidas, narradas a vuela 1, 11111.1,.1 otras lentas, contemplativas e introspectivas; de otras alegres y brillantes, a momentos de inconfundible niclancolia, contemplación o tristeza. Y a pesar de esta sucesión de «tempos», Carroll nunca pierde el equilibrio, aprisionando toda esta variación de secuencias dentro de una unidad formal que recorre toda la trama de la narración, desde el comienzo de estos instantes «musicales» hasta su explosión final, auténtico «vivace con furore».

En realidad, la espontaneidad «musical» de Alicia es de-bida a que Carroll era un «amateur»: su profesión eran las matemáticas, no las letras, y de esta manera su texto ado-lece de todos los defectos de la «afición» no disciplinada por los sacrificios que requiere el logro de una forma au-ténticamente artística, profesional. Es el singular ingenio inventivo de Carroll, su mentalidad sumamente original, azuzada por un intenso impulso emotivo -su amor por Alicia y todo lo que ésta representaba para él-, la que saca a flote su «engendro de amateur» y compensa sus defectos formales con un encanto, una frescura y una riqueza ini-gualada de espontaneidad que motiva ese carácter «musi-cal», esa secuencia de pulsaciones diversas y contrastantes que caracterizan Alicia y que difícilmente -creo que im-posible por definición- pudiera haber logrado un profe-sional ahogado por su propia y dolorosa perfección formal.

A mí se me antoja que el mismo Carroll fue dejándose llevar del impulso onírico de su propia obra y que ésta le fue dominando a medida que surgía espontáneamente, flotando a bordo de una barca, en una tarde soleada, sobre el Támesis, consciente de que nadie estaba atribuyendo

Prólogo

demasiada importancia a lo que estaba contando. Poco a poco surgirían de su ser las imágenes en que encarnaron las pulsaciones de su propia personalidad, y al ir cobrando mayor y mayor libertad llegaron al paroxismo anímico y literario del final de la obra, el proceso en la Corte de la Reina de Corazones, auténtico ejercicio barroco, en donde lo vertiginoso y lo absurdo jamás pierden el hilo inflexible de la narración.

La prueba de estas características la tenemos en la comparación entre Alicia y su continuación, *A través del espejo*, obra escrita a causa de la popularidad de su primera parte, y que el autor imaginó y redactó pensando en su publicación. Es cierto que *A través del espejo* es una obra sumamente ingeniosa y chispeante, llena de caricaturas sociales y otros juegos literarios que superan en mucho al País de las Maravillas. Pero carece del valor onírico de Alicia, y por eso mismo no la pueden leer los niños, a quienes aburre tanto *A través del espejo* como entusiasmo en el País de las Maravillas.

A estos elementos, que pueden llamarse «literarios» -con alguna inexactitud- por derivar más del estilo que de la sustancia de las imágenes, se añade un elemento cultural de la mayor importancia, que se desprende de aquéllos: Alicia es, efectivamente, un sueño; pero no el sueño de un individuo, sino el orgánico y objetivo de toda una cultura. Éste es el elemento que resulta más difícil de «trasladar» en una traducción. La gracia infinita de Alicia, sus mohines candorosos, sus pretensiones de «buena familia», el capricho de sus situaciones y su vertiginoso suceder, son traducibles. Pero ¿qué ha de hacerse en cambio con esos ele-

Prólogo

mentos que afectan en lo más profundo, i silii.iti(!! es anímicas propias de toda una cultura?

En Alicia, el lector anglosajón se reconoce a si mismo sin saberlo. Es un espejo maravilloso del aliña inglesa. Ante todo, porque Alicia es una niña muy inglesa. 1.1 autor la describe, no sin cierto sarcasmo socarrón -en el que va envuelta su mezcla de amor y de odio por este ideal feme-nino-, como un modelo de niña «victoriana». A través de la obra, Alicia recuerda su vida anterior, su vida de «despierta», y ésta es sumamente convencional. El lector inglés la reconoce en el acto como propia, sea por haberla vivido, sea por haberla conocido como modelo exigente y universal de una cultura puritana en el apogeo de su desarrollo. El lector se apercibe de todas las represiones que contiene -y que él conoce perfectamente- y sigue con interés los métodos sutiles, admirablemente ridiculizados por Carroll, que emplea toda cultura para obtener la conformidad de todos sus miembros respecto a sus convenciones irracionales. Elemento esencial en esta reproducción onírica del mundo inglés es la destreza retratista de Carroll. La profundidad psicológica de sus personajes es sobreco- gedora. Es cierto que su amateurismo impone cierta falta de uniformidad a este aspecto de su obra: algunos de sus personajes son puramente accidentales y pasan sin mayor gloria a servir de apoyo a Alicia. Pero en cambio hay otros que incluso tienen más fuerza y considerablemente mayor precisión que el de la misma Alicia, que en realidad aparece como muchas niñas diferentes. El Rey y la Reina de Corazones, Pepito el Lagartija, el Lirón, el Conejo Blanco y tantos otros..., protagonistas los unos, apenas momentáneos los otros, y aun otros que sólo conocemos por alusio-

Prólogo

nes de los demás -como Mariana, la sirvienta del Conejo Blanco- son personajes tan admirablemente descritos que no puede dudarse de que circularon y circulan hoyen día, en carne y hueso, por la sociedad inglesa.

Junto a éstos hay otros personajes misteriosos, de perso-nalidad indefinida e indefinible, y que en realidad cumplen una función «abstracta», como es, sobre todo, el notable Gato de Cheshire, presencia enigmática que sigue a Alicia a todas partes -auténtico Carroll que se asoma de golpe a su propio sueño, como despertando.

Ahora bien, el gran interés de Alicia no estriba tan sólo en su caricatura social, sino además, y muy especialmente, en la actitud refrescante y liberadora de la misma Alicia frente al mundo incomprensible e irracional que la rodea. Así como el estilo de Carroll y la caprichosa profundidad con que maneja el lenguaje -burlándose de formas, etimologías y hasta de la misma función lingüística de «expresar»- lo han situado entre los precursores e iniciadores del dadaísmo, así su mezcla de situaciones disparatadas -y, sin embargo, significativas- y de personajes admirablemente reales no puede por menos que recordarnos a Kafka. Y, en efecto, se ha señalado repetidas veces el parecido que existe entre Alicia y El Castillo y El Proceso. La misma Alicia es testigo de un singular proceso en la Corte de la Reina de Corazones, cuyos elementos esenciales guardan un interesante parecido con los del proceso de Kafka.

Pero la gran diferencia con Kafka es el carácter dinámico, renovador y optimista de Alicia. Los personajes de El Castillo y El Proceso perecen bajo la opresión invencible de su mundo y de su propia alma. En cambio, Carroll presenta un mundo no menos opresivo y mucho más violen-

Prólogo

to, incluso, que el de Kafka; sitúa en el *Í* una niña ...mplc- tamente convencional, obliga al lector a idcntilic.nsc con uno y otra, y ¡hete aquí que de golpe esta niña tan estereo- tipada -y tan odiosa- tiene el desparpajo de reducir cualquier situación a sus elementos más primitivos y crudos! -¡oh delicia!-. No hay quien se le ponga por delante: el conejo más elegante del mundo rueda por el suelo con sus guantes, su abanico, su reloj y su impotencia; el coro vociferante de animales que puebla su mundo revela sus debilidades ante una Alicia implacable; los filósofos y científicos quedan confundidos por la insensatez de sus propias necesidades; la duquesa más impresionante de la historia tiembla ante la cartulina de un naípe, ¡y la Reina de Corazones y su séquito de cartas acaban revelándose como una «valleinclanesca» corte de los milagros!

En realidad, Alicia es una revolucionaria terrible. No hay aspecto del mundo Victoriano que escape incólume a su mirada escrutadora y a su sentencia, severísima por ser tan verídica.

Pérez de Ayala señaló en varias ocasiones la influencia de Cervantes sobre la cultura inglesa: el dualismo entre un Don Quijote idealista y un Sancho materialista, la necesidad dialéctica del uno por el otro, aparecen también en Tom Jones, de Fielding, y desde éste pasan a Pickwick y Sam Weller, los imperecederos personajes de Dickens, en cuya primera novela están ya apuntadas todas las demás. Pérez de Ayala insistía en una influencia consciente del Quijote sobre estos autores. En Alicia no existe tal influencia, pero es indudable la similitud del método de crítica social de Carroll con el empleado por Cervantes en el Quijote y en El Licenciado Vidriera. Éstos pudieron decir,

Prólogo

como locos que eran (no «estaban»), grandes verdades que ni la censura de su época ni la conciencia puritana de la España de aquellos siglos podían condenar. Antes bien, el descubrimiento de auténticas y legítimas críticas des-provistas, por la locura de quienes las formulaban, de toda carga de acusación, culpa o responsabilidad, desarmaba las defensas puritanas del lector, liberándole de una gran tensión anímica y provocando la risa fresca del alivio y del encontrarse con uno mismo. Es indudable que Carroll emplea, sin saberlo, el mismo método. Y aunque no es mi intención equiparar a Alicia con el Quijote, el hecho es que Alicia sueña, y por tanto nadie pensaría en alarmarse ni en condenarla por las cosas que dormida dice y piensa. Con el pretexto del sueño, Carroll saca a relucir situaciones cuyo extraño simbolismo parece increíble cuando se piensa en la espontaneidad con que fue creada la narración. Al calor de una imaginación sin freno, liberada por la irresponsabilidad del mecanismo onírico, surgen del fondo del alma de Carroll todos los personajes, arquetipos y situaciones sociales de su cultura. Más aún, desfilan por ese «país de las maravillas» los personajes concretos de su propia situación vital, personajes que a su vez representan figuras clásicas de su época.

Elemento fundamental de esta admirable descripción de caracteres -que Alicia procede inmediatamente a revo-lucionar con gran alivio del lector- son las caricaturas zoo-mórficas de Carroll. No creo que haya sido estudiada esta extraña relación entre la literatura «animal» y la crítica so-cial; pero al igual que sucede con los zorros y los cuervos, los lobos y los corderos de Esopo, La Fontaine, Iriarte..., los personajes de Carroll aparecen bajo la forma de animales

Prólogo

cuyas características zoológicas encajan y resalta las personales que Carroll desea precisamente destacar. En A he ni se produce una notable simbiosis entre el personaje y el animal en el que encarna: el uno presta al otro sus características propias en un proceso dialéctico que le sirve a Carroll para presentar una caricatura social. El Conejo presta su viveza al petimetre de sociedad, que a su vez contribuye con su ligereza y su servilismo a prestar realidad al conejo; una lagartija reúne el nerviosismo y temor propios de este animalito antediluviano con las características de un personaje masoquista, por el que asoma a veces el mismo Carroll; el bebé de la Duquesa se transforma en un cochinillo y no es la primera vez que el parecido entre ambos seres ha sido señalado. Ratas, pájaros, orugas, tortugas, marsopas, dodos, grifos..., todo un zoológico estrambótico va desfilando por el País de las Maravillas, y luego en A través del espejo ante los ojos, asombrados unas veces, conocedores otras, de una Alicia encantadora. El mismo lector se maravilla primero y reconoce luego ese sutilísimo juego que existe entre el papel que representan estos animales como seres humanos y como formas zoológicas. Está todo hecho con tal perfección que esta representación zoomórfica tiene dos efectos aparentemente contradictorios: por un lado contribuye a disimular aún más los aspectos de crítica social y de autocrítica personal que presenta Carroll al lector; pero por otro lado subraya poderosamente las mismas características, los mismos defectos y deformaciones culturales que son el objeto de estas críticas. En nuestros días, Walt Disney ¡tributo sea rendido a la memoria de quien tanto contribuyó a nuestra infancia!

Prólogo

ha continuado esta tradición zoomórfica de la crítica social y, aunque de forma mucho más amable que Carroll y sus antecesores «esópicos», nos ha regalado un mundo maravilloso de animales humanos. No es coincidencia que Disney se sintiera atraído por Carroll e hiciera una película de dibujos animados en 1951 sobre Alicia.

Es curioso que el primero en darse cuenta de esta revelación profunda -me refiero a la relación entre los personajes y situaciones de Alicia y la Inglaterra victoriana- fuera el primer ilustrador -nunca superado- de Alicia, John Tenniel. Descartando los dibujos que el mismo Carroll le presentó -fue motivo de algunos disgustos para el buen «don» de Oxford-, y que, aunque frescos y llenos de encanto, adolecían del infantilismo propio de un «amateur», Tenniel creó una Alicia y unos personajes absolutamente auténticos, verdadera traducción de ese «país de las maravillas», al mundo del dibujo.

Entre los dibujos, insuperables, de Tenniel -que se re-producen en esta edición- y el carácter crítico de los personajes que surgen del País de las Maravillas, algunos estudiosos -raza odiosa- han pretendido encontrar toda clase de caricaturas encubiertas, e incluso han pretendido demostrar un propósito deliberado de Carroll, en unas de carácter político y en otras de carácter teológico (!). A mi juicio, estas afirmaciones carecen de fundamento y son contradictorias con los mismos dibujos que presentó Carroll a Tenniel, así como con las cartas cruzadas entre ambos con este motivo, en las que no se encuentra ni huella de esos propósitos tan profundos que descubren esos trituradores y marchitadores de frescuras y encantos.

Prólogo

Lo que sí prueban estos dibujos y estos personujes es esa unidad maravillosa y onírica que existe entre 1111.1 cultura y sus manifestaciones artísticas. Las revelaciones sensacionales que ahora «descubren» -¡vaya pólvora!- los eruditos alicianos -¡qué paradoja! ¡Pobre Alicia!- fueron creadas por una mano que escribía y otra que dibujaba, ciegamente guiadas por esa conciencia profunda y común de una cultura. Los contemporáneos rara vez se dieron cuenta de estas «coincidencias», y, al igual que sucedía con el Quijote en su propia época, experimentaban más bien esa risa contagiosa y esa obsesión lectora que les causaba la liberación onírica de esta obra tan singular y que ha sido desde su creación su característica más saliente.

He descrito en lo que antecede lo que considero más notable y profundo de Carroll y Alicia, aquello que ha hecho de esta obra un auténtico «clásico». Existen, sin embargo, otros elementos que han contribuido también a su popularidad -es más, son los que más han llamado la atención de los buscadores de citas-, y que, aunque no menos importantes, no son tan trascendentales.

Ante todo, los juegos de palabras. Es increíble el ingenio de Carroll y la manera en que en sus manos el lenguaje se convierte en una serie de unidades fungióles e intercambiables. Va mucho más allá del sinónimo y del homónimo: desmenuza la similitud de sonidos multiplicando el homónimo hasta límites insospechados, apoyándose unas veces en una raíz parecida, otras en una terminación análoga (hay que reconocer que el inglés se presta mucho mejor que el español al juego de homónimos), aprovechando similitudes etimológicas, unas auténticas y otras

Prólogo

falsas; analiza las posibilidades del sinónimo destacando relaciones maravillosas, quebrando el sinónimo, por así decirlo, al subrayar las diferencias circunstanciales de sus términos.

De esta manera, las palabras se ramifican, abarcan sonidos y significados diversos, multiplican geométricamente sus posibilidades expresivas, y, sin embargo, estos juegos nunca se separan de la narración, no abandonan su función, que es la de destacar ciertos aspectos caracterológicos de los personajes. Muy rara vez sucumbe Carroll a la tentación de un juego gratuito de palabras: es el mundo del País de las Maravillas, sus personajes y su revelación cultural, el que domina al narrador, a modo de evangelista. Es en A través del espejo, la continuación de Alicia, donde Carroll se deja llevar por la mecánica del juego, y, aunque su ingenio lo salva, desde luego, llama más la atención del lector interesado en la lingüística y los crucigramas que la del que busca a la Alicia del País de las Maravillas y de sus misteriosas revelaciones.

Un segundo elemento lúdico se añade al puramente lingüístico: es el de la lógica matemática. Carroll era un gran matemático; era ésta su profesión. Cuentan que la Reina Victoria, encantada con la lectura de Alicia, pidió que le trajeran todo lo que hubiera escrito Carroll; puede uno imaginarse el chasco que se llevó la gran reina cuando en lugar de las graciosas narraciones que esperaba reanudar se encontró con los siguientes títulos: Syllabus de álgebra geométrica elemental, Euclides y sus rivales modernos, Curiosa matemática...

La enorme habilidad matemática de Carroll se despliega por el País de las Maravillas, y más aún en A través del es-

Prólogo

pejo, donde llega al paroxismo: baste señalar que cada capítulo de la continuación de Alicia representa una jugada de ajedrez, y que los personajes se ciñen rigurosamente a los requisitos del juego, sin que ello obligue al autor a abandonar una narración independiente y sin pérdida de sus valores caracterológicos. En el País de las Maravillas la destreza matemática y científica de Carroll se manifiesta en preguntas que Alicia se hace constantemente sobre la naturaleza del mundo, preguntas geográficas, astronómicas, científicas o simplemente matemáticas, hábilmente encubiertas en el diálogo de una niña.

Combinando este elemento con los juegos de palabras, las combinaciones lógicas que hace Alicia con sus preguntas, conclusiones y dilemas dejan al lector completamente fuera de combate. ¡Tantas y tantas son las posibilidades de desconcierto que presenta la cosmogonía de Alicia! La relativización del lenguaje es total, y ello contribuye ciertamente al efecto onírico de la obra: se relativizan hasta los aspectos más sólidos de la realidad, que se escamotean a través de sinónimos, homónimos, pseudoetimologías, curiosidades y paradojas científicas... El lector acaba de esta manera con un estado mental de incertidumbre lógica que reduce sus defensas racionales y descubre sus mecanismos oníricos.

Estos dos aspectos son los que más han explotado los coleccionistas de citas. Los dictados aparentemente absurdos y, sin embargo, rigurosamente lógicos de los personajes de Alicia han encantado a los científicos, que se han complacido en encabezar sus escritos con citas del relato -en muchos casos la única parte de sus libros que vale la pena de leer, ¡benditos sean!- que tienen una relación mis-

Prólogo

teriosa con sus mismas conclusiones. Ramón Tamames me asegura, por ejemplo, que Alicia es el libro más citado en la bibliografía económica -espero que de ahora en adelante él también incluya citas de esta traducción en su prolífica producción científica-, pero también aparecen en numerosas otras obras de matemática y astronomía.

Mucho se ha escrito y especulado sobre la curiosa personalidad de Lewis Carroll y su extraña relación con Alicia Liddell. Por de pronto, el lector ya se habrá dado cuenta de que Carroll es un seudónimo: el nombre real del autor de Alicia fue Charles Lutwidge Dodgson, quien construyó su seudónimo con sus dos nombres de pila: Lutwidge-Lewis y Charles-Carroll. Nació en Davensbury, Cheshire, en 1832, y demostró desde su niñez una notable precocidad literaria. Tuvo desde entonces gran afición por el teatro -que inició con su talento con los títeres y que le condujo posteriormente a conocer a la famosa actriz Ellen Terry, con quien mantuvo una relación muy amistosa hasta su muerte en 1898-. Ya desde la infancia inició la costumbre de escribir pequeñas revistas que ilustraba él mismo. La primera de éstas, compuesta para sus múltiples hermanos y hermanas con el título de Poesía Útil e Instructiva, contiene ya los elementos esenciales de su trabajo posterior. Inició sus estudios en Rugby, pero pasó poco después a Christ Church College, en Oxford, donde se graduó y permaneció enseñando matemáticas, de «don», hasta 1885. También recibió ahí, en 1861, las órdenes de diácono, que le dieron el título de «reverendo», aunque sin pasar a órdenes superiores, al parecer por su ligera tartamudez, que le impedía predicar, y también por su falta de convicción, pues él mismo se calificaba de «prácticamente un laico».

Prólogo

De esta manera, el reverendo Dodgson -Carroll- llevó una vida extraordinariamente sencilla y ordinaria, sin más excepción que su pasión por el teatro y la ópera. Al igual que otros escritores famosos de su época, el reverendo Dodgson permaneció soltero y se condujo respecto a las mujeres con una pulcritud puritana, pudiendo decirse que llevó una vida totalmente asexual.

Sin embargo, Dodgson se sentía cada vez más a gusto en compañía de la infancia. La prematura muerte de su madre le impresionó dolorosamente, y algunos atribuyen a esto una fuerte afección de su personalidad. El caso es que desde entonces se sintió atraído hacia la infancia y al recuerdo de la suya propia, época feliz. Sus múltiples amistades infantiles, que él registra meticulosamente en su diario, se centraban en particular en las niñas de ocho a catorce años. Sentía, en cambio, cierta aversión por los niños varones. Dedicaba gran parte de sus energías a atraer la atención de las numerosas amigas infantiles a quienes conoció, y a distraerlas. A estos efectos había logrado una gran destreza en juegos de magia y en otros trucos semejantes, por los que era famoso en la localidad. Se interesó igualmente por la fotografía, cuando este arte estaba en sus comienzos, e intentó plasmar su fascinación por la personalidad de estas niñas en una buena colección de retratos compuestos con gusto y sentido artístico.

Mucho se ha especulado sobre la fascinación de Carroll por la infancia, y en especial por las niñas. Ciertamente había en ello algo de poco usual; pero mejor habría sido que estos «estudiosos» se hubiesen tentado las ropas antes de cometer la temeridad de introducirse en la vida privada de las personas, pues no existe fundamento alguno que

Prólogo

justifique las ridículas interpretaciones psicoanalíticas que se han hecho del pobre reverendo sin más datos que una composición literaria y un espíritu amable y desgraciado. Menos aún se justifican las conclusiones exageradas de aquellos que no se contentan más que con blancos y negros en su apócrifa descripción de caracteres. Su amor por Alicia Liddell, la niña que más amó entre todas las que conoció, fue completamente normal y sencillo; y lo mismo hay que decir de todas sus demás relaciones infantiles. Prueba de ello es que éstas nunca llamaron la atención de los padres de aquéllas, sino al contrario.

El mundo del alma es complejo e imprevisible, y la vida nos obliga a atravesar circunstancias no menos complejas e ingobernables. Cada uno procura encontrar su propio camino en esa dicotomía laberíntica del propio ser y de la vida. Quien no ama no lo encuentra, hundiéndose en la ciénaga de su propio egoísmo y del desequilibrio anímico que éste motiva. Son los que no logran encontrar este equilibrio amante los únicos que merecen ser clasificados en el campo de la «anormalidad» -y seguro que en él entrarán no pocos de los que se han dedicado a hacer juicios temerarios sobre Carroll-, y no aquellos que lo han obtenido, aunque sea en una dirección poco usual. Todo indica en la vida de Carroll un alma original, especial, poco ordinaria; pero no desprovista de madurez y de equilibrio. Respétese lo primero: apréciase lo segundo.

Finalmente, unas palabras sobre la traducción. No me ha parecido conveniente recargar el texto con notas pedantes sobre por qué he escogido tales palabras en lugar de tales otras o para explicar esta o aquella dificultad. La intención

Prólogo

de esta traducción es la de dar una versión fiel y auténtica de Alicia para satisfacer la curiosidad de los que conocen su popularidad sin haberla podido leer; y también para agradar a los que tienen el ánimo abierto para los encantos singulares del País de las Maravillas. Ambos propósitos quedarían contrariados por un exceso de notas técnicas. Así, pues, he preferido presentar simplemente el libro: es una traducción que ofrezco con humildad, advirtiéndole que, evidentemente, toda traducción de Alicia ha de estar cargada de un alto grado de impresiones subjetivas. «Mi» Alicia es la que me entró por los ojos del alma en mi infancia, con todo lo que esto significa, y mi única credencial para haber emprendido esta traducción es haber conocido a Alicia y haber convivido con ella desde entonces. Si el resultado gusta, vale; y si no; lo siento, mis razones he tenido para traducirlo así.

Me he ceñido, por tanto, a dar en las notas exclusivamente explicaciones de aquellos puntos que puedan facilitar la comprensión de la obra. Los poemas originales de las deliciosas parodias de Carroll-¡desesperante y deliciosa labor de traducción!- han sido extraídos de *The Parodies of Lewis Carroll and their originals*, de John M. Shaw, y de la edición anotada de Alicia de Martin Gardner.

Jaime de Ojeda

Prólogo



Surcando la tarde dorada

Surcando la tarde dorada

Surcando la tarde dorada-1,
nos lleva, ociosos, el agua,
pues son bracitos menudos
los que empuñan los remos
pretendiendo en vano con sus manecitas guiar nuestro curso errante.

¡Ah! ¡Qué crueles las tres!
Sin reparar en el bálsamo de aquel día
ni en el ensueño de aquella hora,
¡exigen un cuento de una voz sin aliento
que ni una pluma puede soplar!
Pero ¿quépodría voz tan débil
contra el porfiar de esas tres?

Prima, imperiosa, fulmina su edicto : «¡Que empiece el cuento!»
Secunda, con tono más amable, desea «que no sean tonterías».
Mientras que Tertia interrumpe el cuento no más de una vez por minuto.

Impuesto, al fin, el silencio
la imaginación las lleva

Surcando la tarde dorada

en pos de esa niña soñada
 por un nuevo mundo de raras maravillas
 en el que los pájaros y las bestias recobran el habla
 ¡y casi creen estar allí de veras!

Y cada vez que ese desgraciado intentaba,
 agotada ya la fuente de su invención,
 aplazar la narración hasta el siguiente día:
 «El resto será para la próxima vez...»
 «¡Ya es la próxima vez!», a coro las t ず es.

Así fue surgiendo el País de las Maravillas
 poco a poco; y una a una
 el cincelado de sus extrañas peripecias...
 Y ahora que el relato toca a su fin,
 también el timón nos guía de vuelta al hogar;
 alegre tripulación, bajo el sol que se pone.

¡Alicia! Recibe este cuento infantil
 y deposítalo con mano amable
 allí donde descansan los sueños de la niñez
 entrelazados en mística guirnalda de la Memoria
 como las flores ya marchitas
 ofrenda de un peregrino
 que las recogiera en una lejana tierra.

スペイン語 不思議の国のアリス Alicia en el País de las Maravillas Lewis Carroll

Surcando la tarde dorada

1 Por la madriguera del Conejo

1 Por la madriguera del Conejo

ウサギ穴を通して

Por ポル prep 〜を通して 「副詞句」
 la madriguera ラ・マドリゲラ n.f (ウサギなどの) 穴 「目的語」
 del Conejo デル・コネホ adj. ウサギの 「形容詞句」
 conejo コネホ n.m 飼うウサギ liebre リエブレ n.f 野兎

アリスは、何もしないで姉さんと川岸に座っていることに、もう飽きてきました。

Alicia estaba empezando ya a cansarse de estar sentada con su hermana a la orilla del río sin hacer nada: 「主語」「動詞句」「補語」「副詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
 estaba empezando ya a+不定詞 エスタバ・エンパサント・ヤー・ア 3 単線・進行形・開始
 (empezar a+不定詞+ya)v. もう〜し始めていた 「動詞句」
 cansarse カンサルセ 不定詞 v.pr(de+不定詞 〜するのに) 飽きる 「動詞句」
 de estar デ・エスタール 不定詞 v.i 〜でいる 「動詞句」
 sentada センタダ adj.f 座った 「補語」
 con su hermana コン・ス・エルマナ adv. 姉さんと一緒に 「副詞句」
 a la orilla ア・ラ・オリジャ adv. 岸に、縁に 「副詞句」
 del río デル・リオ adj. 川の 「形容詞句」
 sin +不定詞 シン prep 〜せずに 「副詞句」
 hacer アセル 不定詞 v.t 〜をする 「動詞」
 nada: ナダ pron 何も〜ない 「目的語」
 → sin hacer nada 「何もしないで」、sin nada que hacer 「すべきものが無くて」

姉さんが読んでいた本を、1、2 度、ちらっと見たのですが、絵も会話ありません。

se había asomado una o dos veces al libro que estaba leyendo su hermana, pero no tenía ni dibujos ni diálogos, 「動詞句」「副詞句」「間接目的語」 pero 「動詞」「目的語」
 se había asomado セ・アビ・アソマト 3 単線・完了形(asomarse)v.pr ちらっと見た 「動詞句」
 una o dos veces ウナ・オ・ドス・ベセス adv. 1 度か 2 度 「副詞句」
 al libro アル・リブロ adv. 本を 「間接目的語」
 que ケ pron (目的語) 〜する 「形容詞節」
 estaba leyendo エスタバ・レジェント 3 単線・進行形(leer)
 v.t 読んでいた 「動詞句」
 su hermana, ス・エルマナ n.f 姉さんが 「主語」
 pero ペロ conj. しかし
 no tenía ノ・テニア 3 単線・否定(tener)v.t 無かった 「動詞」

1 Por la madriguera del Conejo

ni dibujos ニ・ディブ^{ホス} pl.n.m 絵も～ない 「目的語」
ni diálogos, ニ・ディアルゴス pl.n.m 会話も～ない 「目的語」

そして「何の役に立つの？本に絵も会話も無いのなら」と、アリスは思いました。

y ¿de qué sirve un libro si no tiene dibujos o diálogos? se preguntaba Alicia.

y 《「間接目的語」「動詞」「主語」「副詞節」》, 「動詞句」「主語」

y イ conj. そして

¿de qué テ・ケ adv. 何に、何のために 「間接目的語」

sirve シルベ 3 単現(servir)v.i(de に) 役に立つ 「動詞」

un libro ウン・リーブ^ロ n.m 本は 「主語」

si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

no tiene ノ・ティエネ 3 単現・否定(tener)v.t 無い 「動詞句」

dibujos o diálogos? ディブ^{ホス}・オ・ディアルゴス pl.n.m 絵や会話が 「目的語」

se preguntaba セ・プレグンタバ 3 単線(preguntarse)v.pr 思った、自問した 「動詞句」

Alicia. アリシア n.f アリスは 「主語」

そこでアリスは次のように考え始めました(かなり苦勞しましたが、その日は暑かったので、
うとうとして頭が働きませんでした)、ヒナギクで花輪を作る楽しみだって、花を集めるの
に立ち上がるのは億劫(おっくう)だ。と、その時、ピンク色の目をしたシロウサギが1羽、
アリスの近くを飛び跳ねて走り抜けて行きました。

Así pues, se puso a considerar (con algún trabajo, pues con el calor que hacía aquel día se sentía adormilada y torpe) si el placer de tejer una cadena de margaritas le valía la pena de levantarse para ir a recogerlas, cuando de golpe saltó corriendo cerca de ella un conejo blanco de ojos rosados.

「副詞」, 「動詞句」(「副詞句」「副詞節」)「目的語」

「副詞句」「動詞」「副詞句」「主語」

Así pues, アシ・プエス adv. それで、だから 「副詞」

se puso a considerar セ・プ リ・ア・コンシテラル 3 単点・開始(ponerse a+不定詞)

v.t 考え始めた 「動詞句」

(con algún trabajo, コン・アルグ^ン・トラバ^ホ adv. かなり苦勞して 「副詞句」

pues プエス conj. ～なので 「副詞節」

con el calor コン・エル・カロー^ル adv. 暑さで 「副詞句」

que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

hacía アシア 3 単線・天候(hacer)v.t ～だった 「動詞」

aquel día アル・ディ^ア adv. その日は 「副詞句」

se sentía セ・センチ^ア 3 単線(sentirse)v.pr 自分が～だと感じた 「動詞句」

adormilada アドルミラダ adj.f まどろんだ、うとうとした 「補語」

1 Por la madriguera del Conejo

主語のアリスに性・数一致

y イ conj. そして

torpe) トルペ° adj. 頭の回転が遅い 「補語」

si シ conj. (仮定・条件) たとえ～であるということ 「目的語」

el placer エル・プラセル n.m 楽しみは 「主語」

de +不定詞 デ° adj. (同格) ～するという 「形容詞句」

tejer テハール 不定詞 v.t 作る 「動詞」

una cadena ウナ・カデナ n.f 鎖を 「目的語」

de margaritas デ°・マルカリタス

adv. (材料) ヒナギク、マーガレットで 「副詞句」

le レ pron 彼女に 「間接目的語」

valía バリア 3 単線・推測(valer)v.t ～をもたらすだろう 「動詞」

la pena ラ・ペナ n.f 苦勞を、勞力を 「直接目的語」

de levantarse デ°・レバンタルセ

adj. (同格) 起き上がるという 「形容詞句」

para ir a recogerlas, ハ°ラ・イル・ア・レコヘラス

adv. (目的) 花を集めに行くために 「副詞句」

cuando クワント° adv. その時 「副詞」

de golpe デ°・ゴルペ° adv. 突然 「副詞句」

saltó サルト 3 単点(saltar)v.i 飛び上がった 「動詞」

corriendo コリエント° 現在分詞(correr)v.i 走りながら 「副詞」

cerca de ella セルカ・デ°・エジャ° adv. 彼女の近くを 「副詞」

un conejo blanco ウン・コネホ・ブランコ n.m シロウサギが 「主語」

de ojos rosados. デ°・オホス・ロサト° adj. (様態) ピンク色の目をした 「形容詞句」

おかしいことは何もありませんでした。

La cosa no tenía nada de muy especial; 「主語」「動詞句」「目的語」

La cosa n.f 物事は 「主語」

no tenía ノ・テニア 3 単線・否定(tener)v.t なかった 「動詞句」

nada de muy especial; ナダ°・デ°・マイ・エスペ°シアル pron 特別なことは何も～ない 「目的語」

1 Por la madriguera del Conejo

ところが、このウサギが大声で次のように言っていたとしても、アリスにとっては、何もおかしいことではないと思われたのです。

pero tampoco le pareció a Alicia que tuviera nada de muy extraño que el conejo se dijera en voz alta: pero 「副詞」「間接目的語」「動詞」「間接目的語」「補語」「主語」
pero ぺロ conj. しかし 「副詞」
tampoco タンポコ adv. ～もまた（ない） 「副詞」
le レ pron 彼女にとって 「間接目的語」
pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i(que ～であると) 思われた 「動詞」
a Alicia ア・アリシア adv. アリスには 「間接目的語」
que ケ conj. ～ということ 「補語」
tuviera トゥビエラ 接・3 単過・想像(tener)v.t あるだろう 「動詞」
nada de muy extraño ナダ・デ・ムイ・エクストラニョ pron 奇妙なことは何も～ない 「目的語」
que ケ conj. ～ということは 「主語」
el conejo エル・コネホ n.m このウサギが 「主語」
se dijera セ・ディエラ 接・3 単過・推測(decirse)v.pr 独り言を言うとしても 「動詞句」
en voz alta: エン・ヴォス・アルタ adv. 大声で 「副詞句」

「ああ、大変！、神様！遅れそうだ！」

«¡Ay! ¡Ay! ¡Dios mío! ¡Qué tarde voy a llegar!» 《「感嘆」 | 「副詞句」「動詞句」》
«¡Ay! ¡Ay! ¡Dios mío! アイ・アイ・ディ・オス・ミオ adv. ああ、大変！、神様！ 「感嘆」
¡Qué tarde ケ・タルデ adv. なんて遅くに 「副詞句」
voy a llegar!» ボイ・ア・シエガール 1 単現・近接未来(ir a+不定詞)
v.i 着くことになる 「動詞句」

(後になってこのことを考えたとき、すべてが自然に見えたあの時よりも、確かにアリスは、もっと注意すべきだったという結論を出しました)

(cuando lo pensó más tarde, decidió que, ciertamente, le debía de haber llamado mucho la atención, mas en aquel momento todo le pareció de lo más natural); (「副詞節」 | 「動詞」「目的語」)
(cuando クワント conj. ～するとき 「副詞節」
lo ロ pron それを 「目的語」
pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.t 考えた 「動詞」
más tarde, マス・タルデ adv. 後で 「副詞句」
decidió デシディオ 3 単点(decidir)v.t(que) ～と決めた、決定づけた 「動詞」
que, ケ conj. ～ということ 「目的語」
ciertamente, シェルタメンテ adv. 確かに 「副詞」

1 Por la madriguera del Conejo

le	レ	pron	それに対して	「間接目的語」
debía de haber llamado	デビ ^ア ・デ ^ア ・アベ ^ル ・ジ ^ャ マト	3 単点・義務(deber de+不定詞・完了形)		
v.t	～を呼び出すべきだった	「動詞句」		
mucho	ラ・アテンシ ^{オン}	n.f	注意を	「直接目的語」
mas en aquel momento	マス・エン・アケル・モメント	adv.	あの時よりもっと	「副詞句」
todo	ト	pron	すべてが	「主語」
le	レ	pron	彼女にとって	「間接目的語」
pareció	パレシ ^オ	3 単点(parecer)v.i	～に見えた	「動詞」
de lo más natural	デ・ロ・マス・ナトゥ ^ラ ル	adj.	まったく自然な	「補語」

しかしその上、ウサギがチョッキのポケットから時計を取り出し、時間を確認して、とても急いで走り始めるのを見て、

pero	cuando vio que el conejo se sacaba además, un reloj del bolsillo del chaleco, miraba la hora y luego se echaba a correr muy apresurado,	pero 「副詞節」,
pero	ペロ conj. しかし	
cuando	クワント conj. ～するとき	「副詞節」
vio	ビオ 3 単点(ver)v.t 見た	「動詞」
que	ケ conj. ～ということ	「目的語」
el conejo	エル・コネホ n.m ウサギが	「主語」
se sacaba	セ・サカバ 3 単線(sacarse)	
v.pr	(自分の～から) 取り出した	「動詞句」
además,	アデマス adv. さらに、その上	「副詞」
un reloj	ウン・レホ n.m 時計を	「目的語」
del bolsillo	デル・ボルシヨ adv. ポケットから	「副詞句」
del chaleco,	デル・チャレコ adj. チョッキの	「形容詞句」
miraba	ミラバ 3 単線(mirar)v.t 見た、調べた	「動詞」
la hora	ラ・オラ n.f 時間を	「目的語」
y	イ conj. そして	
luego	ルエゴ adv. それから	「副詞」
se echaba a correr	セ・エチャバ・ア・コレル 3 単線・開始(echarse a+不定詞)	
v.i	走り始めた	「動詞句」
muy apresurado,	ムイ・アプレスト adv. とても急いで	「副詞句」

1 Por la madriguera del Conejo

アリスは、チョッキを着ていて、さらに、ポケットから時計を取り出すウサギなんて、今までに一度も見たことがないと突然気が付いて、思わず飛び上がってしまいました。

Alicia se puso en pie de un brinco al darse cuenta repentinamente de que nunca había visto un conejo con chaleco y aún menos con un reloj de bolsillo.

「主語」「動詞句」「補語」「副詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

se puso セ・プソ 3 単点(ponerse)v.pr (+主格補語) 〜になった 「動詞句」

en pie de エン・ピエ・デ prep 〜の状態に 「補語」

un brinco ウン・ブリンコ n.m 跳躍、ジャンプ 「目的語」

→ 飛び上がった

al +不定詞 アル adv. 〜した時に 「副詞句」

darse cuenta repentinamente de ダルセ・クエンタ・レパシナメンテ・デ 不定詞(darse cuenta de)

v.t 〜に突然気付く 「動詞句」

que ケ conj. 〜ということ 「目的語」

nunca había visto ヌンカ・アビエ・ビスト 3 単線・完了形・否定(ver)

v.t 今までに一度も見たことがない 「動詞句」

un conejo ウン・コネホ n.m ウサギを 「目的語」

con chaleco コン・チャレコ adv. チョッキを着た 「形容詞句」

y イ conj. そして

aún menos アウン・メノス adv. なおさら、さらに 「副詞句」

con un reloj de bolsillo. コン・ウン・レホ・デ・ホルシジョ

adj. ポケットから取り出した時計を持った 「形容詞句」

ponerse +主格補語 :

一時的で非意図的な変化を表す。「目に見えて〜になる」

従ってこの文の、ponerse en pie de un brinco は自分の意志で飛び上がったのではなく、「気が付いたら飛び上がっていた」または「思わず飛び上がってしまった」となる。

それでも、好奇心に火が付いたので、ウサギの後を追って走り始め、原っぱを横切り、丁度ウサギが生垣の下に開いた穴に急いでもぐりこむところを見ることができました。

Y, ardiendo de curiosidad, se puso a correr en pos del conejo a través de la pradera, justo para ver cómo se colaba raudo por una madriguera que se abría al pie del seto.

Y 「副詞句」「動詞句」「副詞句」, 「副詞句」

Y, イ conj. (譲歩) それでも

ardiendo アルデ・イェント 現在分詞・条件(arder)v.t(de で) 燃え立ったので 「副詞句」

de curiosidad, デ・クリオシダド adv. 好奇心で 「副詞句」

se puso a +不定詞 セ・プソ・ア 3 単点・開始(ponerse a+不定詞)

ponerse +主格補語 :

1 Por la madriguera del Conejo

v.i	～し始めた	「動詞句」
correr	コレール 不定詞 v.i 走る	「動詞句」
en pos del conejo	エン・ポ ス・デル・コネホ adv. ウサギの後を	「副詞句」
a través de la pradera,	ア・トラベス・デ・ラ・プラデラ adv. 原っぱを横切って	「副詞句」
justo para ver	フスト・パラ・ベール adv. 見るのにちょうど良く	「副詞句」
	「そして～を見ることができた」	
cómo	コモ adv. ～のように	「副詞」
se colaba	セ・コラバ 3 単線(colarse)v.pr もぐりこんだ	「動詞句」
raudo	ラウド adv. 急いで	「副詞」
por una madriguera	ポル・ウナ・マドリゲラ adv. 穴を通して	「副詞句」
que	ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
se abría	セ・アブリア 3 単線(abrirse)v.pr 開いた	「動詞句」
al pie del seto.	アル・ピエ・デル・セト adv. 生垣の下に	「副詞句」
al pie	アル・ピエ adv. ～の下に seto セト n.m 生垣	



すぐ後に、後でどうやって出てくるかなんて考えもせずに、アリスもウサギの穴を通して姿を消しました。

Un momento después, Alicia también desaparecía por la madriguera, sin pararse a pensar cómo se las iba a arreglar para salir después.

Un momento después,	ウン・モメント・デスプエス adv. すぐ後に	「副詞句」
Alicia también	アリシア・タンビエン n.f アリスも	「主語」

1 Por la madriguera del Conejo

desaparecía	デサハレシア 3 単線(desaparecer)v.i	姿を消した	「動詞」
por la madriguera,	ホル・ラ・マトリゲラ adv.	ウサギの穴を通して	「副詞句」
sin +不定詞	シ adv.	～しないで	「副詞句」
pararse	パラセ 不定詞 v.pr	立ち止まる	「動詞」
a pensar	ア・ペンサル 不定詞・目的	考えるために	「副詞句」
cómo	コモ adv.	どのように～するかということ	「目的語」
se las iba a arreglar	セ・ラス・イバ・ア・アレグラール 3 単線(irse a+不定詞 arreglarse)		
v.pr(para+不定詞)		何とかして～する	「動詞句」
para salir	パラ・サール 不定詞 v.i	出てくる	「動詞句」
después.	デスプエス adv.	後で	「副詞」

ウサギ穴は最初のうちは真っすぐ前方に伸びていましたが、突然、下の方に曲がっていました。あまりにも思いがけなかったので、アリスは止まろうと考える時間も無いまま、とても深い井戸のように見える穴を落下していました。

Al principio, la madriguera era como un túnel que se extendía hacia adelante, pero de pronto torció hacia abajo, tan inopinadamente que Alicia no tuvo tiempo ni para pensar en detenerse y se encontró cayendo vertiginosamente por lo que parecía un pozo muy profundo.	「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」 pero 「副詞句」「動詞」「副詞句」
tan inopinadamente que	「主語」「動詞句」「目的語」 y 「動詞句」「副詞句」
Al principio, アル・プリンシピオ adv. 最初のうちは	「副詞句」
la madriguera ラ・マトリゲラ n.f ウサギ穴は	「主語」
era エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった	「動詞」
como un túnel コモ・ウン・トゥーネル adv. トンネルのような	「補語」
que ケ pron (主語) 〜する	「形容詞節」
se extendía セ・エクステンディア 3 単線(extenderse)v.pr 伸びていた	「動詞句」
hacia adelante, アシア・アデランテ adv. 前方へ、真っすぐに	「副詞句」
pero ペロ conj. しかし	
de pronto デ・フロント adv. 突然、いきなり	「副詞句」
torció トルシオ 3 単点(torcer)v.i 曲がっていた	「動詞」
hacia abajo, アシア・アバホ adv. 下のほうに	「副詞句」
tan inopinadamente que タン・イビノタメンテ・ケ	
conj. (tan ... que) あまりにも思いがけなかったので (〜する)	
Alicia アリシア n.f アリスは	「主語」
no tuvo ノ・トゥボ 3 単点・否定(tener)v.t なかった	「動詞句」
tiempo テイエンボ n.m 時間	「目的語」
ni para pensar ニ・パラ・ペンサル 不定詞・目的 adj. 考えるための	「形容詞句」

1 Por la madriguera del Conejo

en detenerse	エン・デテネルセ	adv. 止まることについて	「間接目的語」
y	イ	conj. そして	
se encontró	セ・エンコントロ	3 単点(encontrarse)v.pr (ある状態に) あった	「動詞句」
cayendo	カイェント	現在分詞(caer)v.i 落ちている	「動詞」
vertiginosamente	ベルティヒノサメンテ	adv. 眼が眩むほど	「副詞」
por lo	ポル・ロ	adv. 何かを通して	「副詞句」
que	ケ	pron (主語) ~する	「形容詞節」
parecía	パレシア	3 単線(parecer)v.i ~のように見えた	「動詞」
un pozo	ウン・ポソ	n.m 井戸	「補語」
muy profundo.	マイ・プロフント	adj. とても深い	「形容詞句」

この井戸が本当に深かったからなのか、それとも実際にはとてもゆっくりと落ちていたからなのか、アリスは、落ちながら、自分の周りを落ち着いて眺めることができたし、次に何が起きるのかと考えることもできました。

Sea porque el pozo era en verdad muy profundo, sea porque en realidad estaba cayendo muy despacio-2, la cosa es que, a medida que descendía, Alicia pudo mirar alrededor de sí con toda tranquilidad y preguntarse qué es lo que le iba a suceder después.

「動詞」「副詞節」, 「動詞」「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」

Sea	セア	接・3 単現・推量(ser)v.i ~だろう	「動詞」
porque	ポルケ	conj. ~だから、~なので	「副詞節」
el pozo	エル・ポソ	n.m この井戸が	「主語」
era	エラ	3 単線(ser)v.i ~だった	「動詞」
en verdad	エン・ベルダド	adv. 本当に	「副詞句」
muy profundo,	マイ・プロフント	adj. とても深い	「補語」
sea	セア	接・3 単現・推量(ser)v.i ~だろう	「動詞」
porque	ポルケ	conj. ~だから、~なので	「副詞節」
en realidad	エン・リアリダド	adv. 実際には	「副詞句」
estaba cayendo	エスタバ・カイェント	3 単線・進行形(caer)v.i 落ちていた	「動詞句」
muy despacio-2,	マイ・デスパシオ	adv. とてもゆっくり	「副詞句」
la cosa	ラ・コサ	n.f 物事は	「主語」
es	エス	3 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
que,	ケ	conj. ~ということ	「補語」
a medida que descendía,	ア・メディダ・ケ・デセンテイア	adv. 下降するに従って、落ちながら	「副詞句」
a medida que+直説法		「~につれて、~するのに応じて」	
Alicia	アリシア	n.f アリスは	「主語」

1 Por la madriguera del Conejo

pudo mirar	プト・ミラル 3 単点・可能(poder+不定詞)v.i	見ることができた	「動詞句」
alrededor de sí	アルデトール・デ・シ adv.	自分の周りを	「間接目的語」
con toda tranquilidad	コン・トダ・トランキダト adv.	全く落ち着いて	「副詞句」
y	イ conj.	そして	
preguntarse	プレグンタセ 3 単点・可能(poder+不定詞)		
v.pr	考えることができた		「動詞句」
qué	ケ pron (主語)	何が～するかということ	「目的語」
es	エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
lo	ロ pron	そのこと	「補語」
que	pron (主語)	～する	「形容詞節」
le	レ pron	彼女に	「間接目的語」
iba a suceder	イバ・ア・ステール 3 単線・近接未来(ir a+不定詞)		
v.i	起ころうとしていた		「動詞句」
después.	デスプエス adv.	この次に	「副詞」

まず、どこに行き着くのかを知るために、下の方を見ようと思いました。

<u>Primero intentó mirar hacia abajo para ver adonde iba a dar:</u>	「副詞」「動詞句」「副詞句」
Primero プリメロ adv. まず、最初に	「副詞」
intentó mirar インテント・ミラル 3 単点・意図(intentar+不定詞 mirar)	
v.i(hacia の方を) 見ようとした	「動詞句」
hacia abajo アシア・アバホ adv. 下の方を	「副詞句」
para +不定詞 パラ adv. ～するために	「副詞句」
ver ベール 不定詞 v.t 見る、知る	「動詞」
adonde アドンデ adv. どこに～するかということ	「目的語」
iba a dar: イバ・ア・ダール 3 単線・近接未来(ir a+不定詞 dar)	
v.i 行き着こうとしている	「動詞句」
dar ダール v.i 通じている、行き着く	

1 Por la madriguera del Conejo

しかし辺りは暗すぎます；それで井戸の壁を注意して見ると、壁が食器棚と本棚で覆われていて、あちこちには、地図や釘で吊るされた絵も見えました。

pero estaba todo demasiado oscuro; luego se fijó en las paredes del pozo y observó que estaban cubiertas de armarios y anaqueles; aquí y allá se veían también mapas y cuadros colgados de algún clavo.

pero 「動詞」「補語」；「副詞」「動詞句」「間接目的語」 y 「動詞」「目的語」；
「副詞句」「動詞句」「副詞」「主語」

pero へロ cojn. しかし

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i 〜だった 「動詞」

todo demasiado oscuro; トド・デマシアド・オスクロ adj. 辺りは暗すぎた 「補語」

luego ルエゴ adv. それから、後で 「副詞」

se fijó セ・フィホ 3 単点(fijarse)v.pr(en に) 注目した、気づいた 「動詞句」

en las paredes エン・ラス・パレデス adv. 壁に 「間接目的語」

del pozo デル・ポゾ adj. 井戸の 「形容詞句」

y イ conj. そして

observó オブセルボ 3 単点(observar)v.t 観察した、気づいた 「動詞」

que ケ conj. 〜ということを 「目的語」

estaban cubiertas エスタバン 3 複線・受動(cubrir)v.t(de で) 覆われていた 「動詞句」

受動態 過去分詞は主語の性・数に一致する

主語は las paredes (女性複数) なので (cubrir → cubierto → cubiertas)

de デ prep (手段) 〜によって 「副詞句」

armarios y anaqueles; アルマリオス・イ・アナケレス

pl.n (食器) 戸棚と本棚 「目的語」

armario アルマリオ n.m 戸棚、食器棚 anaquel アナケル pl.n.m 棚、本棚

aquí y allá アキ・イ・アジャ adv. あちこちに 「副詞句」

se veían セ・ベ・イアン 3 複線・再帰受動(verse)v.pr 〜が見えた 「動詞句」

también タンビエン adv. 〜も 「副詞」

mapas マパス pl.n.m 地図 「主語」

y イ conj. そして

cuadros クワトロス pl.n.m 絵 「主語」

colgados コルガトス adj.pl 吊るされた 「形容詞」

de algún clavo. デ・アルクン・クラボ adv. (手段) 釘で 「副詞句」

1 Por la madriguera del Conejo

落ちている間に、アリスは 1 つの棚から広口瓶を手にとることができました。すると瓶にはラベルが貼ってあるのが見えて、「オレンジ・マーマレード」と書いてありました。でも残念なことに、それは空っぽだとわかりました。

Mientras caía, Alicia alcanzó a coger un jarro de una repisa y vio que tenía una etiqueta que decía: «MERMELADA DE NARANJA», pero con gran desilusión descubrió que estaba vacío.

「副詞節」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 y 「動詞」「目的語」

pero 「副詞句」「動詞」「目的語」

Mientras ミエントラス conj. ～している間に

「副詞節」

caía, カイ 3 単線(caer)v.i 落ちた

「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは

「主語」

alcanzó a coger アルカンソ・ア・コハール 3 単点・達成(alcanzar a+不定詞)

v.t 手にとることができた

「動詞句」

coger コハール v.t つかむ、取る

un jarro ウン・ハロ n.m 水差し、ジョッキ、広口瓶(tarro)

「目的語」

de una repisa デ・ウナ・レピサ adv. 1 つの棚から

「副詞句」

y イ conj. そして

vio ビオ 3 単点(ver)v.t 見えた

「動詞」

que ケ conj. ～ということが

「目的語」

tenía テニア 3 単線・時制の一致(tener)v.t ある

「動詞」

una etiqueta ウナ・エタケタ n.f ラベル

「目的語」

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

decía: デシア 3 単線(decir)v.t 言った

「動詞」

«MERMELADA DE NARANJA», メルメラダ・デ・ナランハ

n. 「オレンジ・マーマレード」

「目的語」

pero ペロ conj. しかし

con gran desilusión コン・グラン・デシルシオン adv. 期待はずれで、がっかりして

「副詞句」

descubrió デスクブリオ 3 単点(descubrir)v.t 発見した、分かった

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ～だった

「動詞」

vacío. バシオ adj. 空の

「補語」

1 Por la madriguera del Conejo

もし瓶を投げたとしたら、もしかすると、下にいる誰かの頭を割ってしまう恐れがあったので、落下し続けている間に通りすがった食器棚の1つになんとかそれを置きました。

Como tenía miedo de que si tiraba el jarro a lo mejor le rompía la crisma a alguien que anduviera por abajo, se las arregló para dejarlo en uno de los armarios a cuyo lado estaba pasando a medida que seguía cayendo.

	「副詞節」, 「動詞句」 「副詞句」, 「副詞節」
Como コモ conj. ~なので	「副詞節」
tenía テニア 1 単線(tener)v.t ~があった	「動詞」
miedo ミエド n.m 恐怖、心配	「目的語」
de que デ・ケ adj. ~という	「形容詞節」
si シ conj. もし~ならば	「副詞節」
tiraba チラバ 1 単線・仮定(tirar)	
v.t 投げた (としたら)	「動詞」
el jarro エル・ハロ n.m 広口瓶(tarro)を	「目的語」
a lo mejor ア・ロ・メル adv. もしかして	「副詞句」
le レ pron それを	「目的語」
rompía ロンピア 3 単線・推測(romper)	
v.t 壊した (かもしれない)	「動詞」
la crisma ラ・クリスマ n.f 頭を	「直接目的語」
romper a+人 la crisma ~の頭をぶち割る	
a alguien ア・アルギエン adv. 誰かの	「間接目的語」
que ケ pron (主語) ~する	「形容詞節」
anduviera アントゥビエラ 接・3 単過・推測(andar)	
v.i(por あたりに) いる	「動詞」
por abajo, ホル・アバホ adv. 下に	「副詞句」
se las arregló セ・ラス・アレグロ 3 単点(arreglarselas)	
v.pr(para+不定詞) なんとかして~した	「動詞句」
las の意味 「様々な物事」 仮の目的語と考える	
¡Ahí te las arregles! 一人で何とかしろ！	
¡Arréglatelas como puedes! 自分で何とか片を付けたまえ！	
para dejarlo パラ・デハル・ロ 不定詞 v.t 置いておく	「動詞句」
en uno de los armarios エン・ウノ・デ・ロス・アルマリオス adv. 食器棚の1つに	「副詞句」
a cuyo lado ア・クジョ・ラド adv. その脇を~するときに	「副詞節」
estaba pasando エスタバ・パスント 3 単線・進行形(pasar)v.i 通過していた	「動詞句」
a medida que ア・メディダ・ケ conj. ~するのに応じて	「副詞節」
seguía cayendo. セギア・カント 3 単線・継続(seguir+現在分詞)	

las の意味 「様々な物事」 仮の目的語と考える

1 Por la madriguera del Conejo

v.i 落ち続けていた

「動詞句」

「なんてことでしょう！こんな墜落の後ならば、家の階段を転がって降りるなんてことは、私にとってはごく普通のことに見えるでしょうね」

«¡Vaya! -pensó Alicia-, después de una caída como ésta, bajar rodando por las escaleras de casa me parecerá de lo más natural.

《「感嘆」,「動詞」「主語」,「副詞句」,「主語」「間接目的語」「動詞」「補語」》

«¡Vaya! – バヤ 接・1 単現(ir)v.i なんてことなの！おや 「感嘆」

pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.i 思った、考えた 「動詞」

Alicia-, アリシア n.f アリスは 「主語」

después de デスプエス・デ adv. ～のあとでは 「副詞句」

una caída テ・ウナ・カイダ n.f 落下 「目的語」

como ésta, コモ・エスタ adj. このような 「形容詞句」

bajar バハル 不定詞 n. 降りることは 「主語」

rodando ロダント 現在分詞(rodar)v.i 転がって 「副詞句」

por las escaleras ホル・ラス・エスアレラス adv. 階段を 「副詞句」

de casa テ・カサ adj. 家の 「形容詞句」

me メ pron 私には 「間接目的語」

parecerá パレセラ 3 単末(parecer)v.i ～に見えるだろう 「動詞」

de lo más natural. テ・ロ・マス・ナトゥラル adj. ごく自然な 「補語」

家族はみな、私がなんて勇敢なんだろうと思うでしょうね！

¡Qué valiente van a pensar que soy! 「目的語」「動詞句」「目的語」

¡Qué valiente ケ・バリエンテ adj. なんと勇敢な 「補語」

pensar の「目的語」の que soy **qué valiente**.から「補語」が文頭に移動した

van a pensar バン・ア・ペンサル 3 複現・近接未来(ir a+不定詞)

v.t (que ～と) 思うだろう 「動詞句」

que soy! ケ・ソイ conj. 私が～であるということを 「目的語」

1 Por la madriguera del Conejo

それに、私が屋根から落っこちたとしても、やはり何も言わないでしょう！（私たちには当たり前に見えるから）

¡Anda, como que si me cayera del tejado tampoco diría nada!» (lo que a nosotros nos parece más que seguro).

「感嘆」, 「副詞節」 「動詞句」 「目的語」 (主語)

¡Anda, アンダ^ダ adv. それに、さあ、おや 「感嘆」

como que コモ・ケ conj. ーのような場合に 「副詞節」

si +接続法・過去 シ conj. (仮定法過去) ーした (とする)

me cayera メ・カイエラ 接・1 単過(caerse)v.pr 落下した 「動詞句」

del tejado テル・テハド^ド adv. 屋根から 「副詞句」

tampoco diría タンポ・コ・ディリア サンタン・ディリア 3 単過未・否定・推量(decir+ tampoco)

v.t やはり言わないだろう 「動詞句」

主語が三人称単数になっている。家族の一人がーする

nada!» ナダ^ダ pron 何もーない 「目的語」

(lo □ pron そのこと 「主語」

que pron (主語) ーする 「形容詞節」

a nosotros nos ア・ノストロス・ノス pron 私たちには 「間接目的語」

parece パレセ 3 単現(parecer)v.i ーに見える 「動詞」

más que seguro). マス・ケ・セグロ^ロ adj. まったく確実な、信頼できる 「補語」

ところで、アリスは下へ、下へ、下へと落ち続けていました。

A todo esto, Alicia seguía cayendo, cayendo y cayendo. 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」

A todo esto, ア・トド・エスト adv. とこで、そういえば、その間ずっと 「副詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

seguía セギア 3 単線(seguir)v.i(+現在分詞)ーし続けた 「動詞句」

cayendo, cayendo y cayendo. カIENTド^ド・カIENTド^ド・カIENTド^ド 現在分詞(caer)

v.i 下へ、下へ、下へと落ちる 「動詞句」

ずっと落ち続けるのでしょうか？

¿Quizás no terminaría nunca de caer? 「副詞」 「動詞句」

¿Quizás キサス adv. たぶん、もしかしたら 「副詞」

no terminaría nunca de caer? ノ・テルミナリア・ヌンカ・デ・カエル 1 単過未・終了・否定・推量

(terminar de+不定詞)v.i ずっと落ち続けるのだろうか 「動詞句」

terminar de+不定詞 「ーし終える」 → 決してーし終えない → ずっとーし続ける

1 Por la madriguera del Conejo

「もう、どれ位落ちたんだろう」と、大声で言いました。

«Me gustaría saber cuántas millas habré descendido ya -dijo en voz alta-.

《「間接目的語」「動詞」「主語」》, 「動詞」「副詞句」

«Me メ pron 私には

「間接目的語」

gustaría グスタリア 1 単過未・願望(gustar)v.i 気に入るのだが、うれしい

「動詞」

saber サベル 不定詞 n. ～を知ることは

「主語」

cuántas millas クワンタス・ミジャス

pl.n.f どれだけの距離を～するかということ

「目的語」

habré descendido アブレ・デセンデイト 1 単未・完了形(descender)

v.i 落下してしまったのだろうか

「動詞句」

ya ヤー adv. もう、すでに

「副詞」

-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

en voz alta エン・ボス・アルタ adv. 大声で

「副詞句」

「もう地球の真ん中近くまで来ているはずよ」

Tengo que estar llegando ya bien cerca del centro de la tierra.

《「動詞句」「副詞句」》

Tengo que +不定詞 テンゴ・ケ 1 単現・必然 v. ～するに違いない

「動詞句」

estar llegando エスタール・ジェガント 不定詞・進行形(llegar)

v.i 到着しそうになっている

「動詞句」

ya ヤー adv. もう

「副詞」

bien cerca ビヤン・セカ adv. かなり近くに

「副詞句」

del centro de la tierra. デル・セントロ・デ・ラ・ティエラ adj. 地球の中心の

「形容詞句」

「えーと、そうすると 4000 マイルくらい落ちたかな...」

Vamos a ver, me parece que está a 4.000 millas de profundidad...

《「副詞句」, 「間接目的語」「動詞」「主語」》

Vamos a ver, バモス・ア・ベール adv. えーと、そうすると

「副詞句」

me メ pron 私には

「間接目的語」

parece パレセ 3 単現(parecer)v.i ～のように見える

「動詞」

que ケ conj. ～ということ

「主語」

está エスタ 3 単現(estar)v.i ～である

「動詞」

a 4.000 millas ア・クワトロ・ミル・ミジャス adv. 4000 マイルの

「補語」

de profundidad... デ・プロフンディダド adj. 深さの

「形容詞句」

4000 マイル : 6400Km に相当する

地球の半径は 6371Km だから、地表から 6400Km 落ちると、地球の中心あたりまで落ちたことになるけれど、地表から 660Km 落ちると 1000 度を超える高温と高圧の下部マントル

1 Por la madriguera del Conejo

に達して生物は生きられないので、そこまでは落ちていないだろう。

(ようするに、アリスは学校で似たようなことを色々勉強していたということ。それで、誰も聞いている人がいないので、知ったかぶりをひけらかすには最適な時ではないけれども、繰り返して言うことは練習としては彼女の役に立った)

-(es que, como se ve, Alicia había aprendido bastantes cosas como éstas en la escuela, y aunque no era el momento más oportuno para presumir de sabionda, puesto que nadie la estaba escuchando, de todas formas el repetirlo le servía de práctica)-

(「動詞」「補語」, 「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞」「間接目的語」)

-(es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

que, ケ conj. ~ということ 「補語」

como コモ conj. ~のように 「副詞節」

se ve, セ・ベ 3 単現・再帰受動(verse)v.pr 見える 「動詞句」

つまり、ようするに

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

había aprendido アビ・ア・アプレンデイト 3 単線・完了形(apprender)

v.t 勉強していた 「動詞句」

bastantes cosas como éstas バスタンテス・コサス・コモ・エスタス

pl.n そのようなことを沢山 「目的語」

en la escuela, エン・ラ・エスクエラ adv. 学校で 「副詞句」

y イ conj. そして

aunque アウンケ conj. ~ではあるが 「副詞節」

no era ノ・エラ 3 単線・否定(ser)v.i ~でなかった 「動詞」

el momento エル・モメント n.m 時 「補語」

más oportuno マス・オポルトゥノ adj, 最適な 「形容詞句」

para +不定詞 パラ adv. (目的) ~するために 「副詞句」

presumir プレズミール 不定詞

v.i(de を) 自慢する 「動詞」

de sabionda, デ・サビヨンダ

adv.(sabihonda) 知ったかぶりを「間接目的語」

puesto que+直説法 プエスト・ケ conj. ~だから、~である以上 「副詞節」

nadie ナディエ pron 誰も~ない 「主語」

la ラ pron 彼女の言うことを 「目的語」

estaba escuchando, エスタバ・エスクチャント 3 単線・進行形(escuchar)

v.t (否定文で) 聴いていなかった 「動詞句」

de todas formas デ・トダス・フォルマス adv. 何はともあれ、とにかく 「副詞句」

1 Por la madriguera del Conejo

el repetirlo エル・レピトル・ロ n.m それを繰り返して言うことは 「主語」
 le レ pron 彼女にとって 「間接目的語」
 servía セルビア 3 単線(servir)v.i(de として) 役に立った 「動詞」
 de práctica テ・プラクティカ adv. 練習として 「間接目的語」

「そうね、距離はそれでいいと思うわ；だけどそれじゃあ、緯度や経度はどの辺に来たの？」

... sí, ésa me parece que es la distancia...; pero entonces me pregunto: ¿a qué latitud y a qué longitud habré llegado?»

《「肯定」, 「間接目的語」「動詞」「主語」 pero 「副詞」「動詞句」: 「副詞句」「動詞句」》
 ... sí, シ adv. そうだ 「肯定」
 ésa エサ pron それ 「補語」
 me メ pron 私には 「間接目的語」
 parece パレセ 3 単現(parecer)v.i ~のように見える 「動詞」
 que ケ pron (ésa の代用: 補語) ~であるということ 「主語」
 es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」
 la distancia...; ラ・ディスタンス n.f 距離は 「主語」
 pero ペロ conj. しかし
 entonces エントネース adv. それでは 「副詞」
 me pregunto: メ・プレグント 1 単現(preguntarse)v.pr 疑問に思う 「動詞句」
 ¿a qué latitud ア・ケ・ラチトゥ adv. どの緯度に 「副詞句」
 y イ conj. そして
 a qué longitud ア・ケ・ロンギトゥ adv. どの経度に 「副詞句」
 habré llegado? アブレ・ジエガド 1 単未・完了形(llegar)v.i 着たことになる 「動詞句」

「アリスは経度や緯度が何なのかは全く知らなかったけれど、彼女には、その時口に出すにはとても格好の良い言葉に思われたのだ。」

(Alicia no tenía ni la menor idea de lo que era la longitud, ni tampoco de lo que era la latitud, pero le parecieron unas palabras bien imponentes para decir en ese momento.)

(「主語」「動詞」「目的語」 pero 「間接目的語」「動詞」「主語」)

(Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
 no tenía ノ・テニア 3 単線・否定(tener)v.t なかった 「動詞句」
 ni la menor idea ニ・ラ・メノール・イデア n.f ほんの少しの知識も~ない 「目的語」
 de lo テ・ロ adj. そのの 「形容詞句」
 que ケ pron (同格) 何という 「形容詞節」
 era エラ 3 単線(ser)v.i ~である 「動詞」
 la longitud, ラ・ロンギトゥ n.f 経度が 「主語」

1 Por la madriguera del Conejo

ni tampoco de lo ニ・タンポ・コ・デ・ロ	adj. また〜もない	「形容詞句」
que ケ	pron (同格) 何という	「形容詞節」
era エラ	3 単線(ser)v.i 〜である	「動詞」
la latitud, ラ・ラチトゥ	n.f 緯度が	「主語」
pero ペロ	conj. しかし	
le レ	pron 彼女には	「間接目的語」
parecieron パレシエロン	3 複点(parecer)v.i 〜のように見えた	「動詞」
unas palabras ウナス・パラブラス	pl.n.f 言葉	「主語」
bien imponentes ビエン・インポネンテス	adj.pl とても堂々たる	「形容詞句」
para decir パラ・デシール	adv. (目的) 言うのに	「副詞句」
en ese momento. エン・エセ・モメント	adv. その時に	「副詞句」

アリスはまたすぐに考え始めた：

<u>No tardó en reanudar sus cavilaciones:</u>	「動詞句」「副詞句」
No tardó ノ・タルド 3 単点・否定(tardar)	
vi(+en+不定詞 ～するの) 時間がかからなかった	「動詞句」
en reanudar エン・レアスダール 不定詞 vt (目的) 再開するの	「副詞句」
sus cavilaciones: スス・カビラシオネス pl.n.f 思案を	「目的語」

「もしかしたら、地球の反対側まで突き抜けてしまうのかしら？逆さまで歩いている人たちの所に突然現れたら、なんておかしいんでしょう！」

« <u>A lo mejor caigo a través de toda la tierra! ¡Qué divertido será surgir de golpe por donde vive toda esa gente que anda sobre la cabeza!</u>	《「副詞句」「動詞」「副詞句」 「補語」「動詞」「主語」》
«A lo mejor ア・ロ・メホル adv. (危惧・期待) もしかしたら	「副詞句」
caigo カイゴ 1 単現(caer)v.i 落ちる	「動詞」
a través de ア・トラベス・デ adv. ～を突き抜けて	「副詞句」
toda la tierra! トダ・ラ・チエラ n.f 地球全体を	「目的語」
¡Qué divertido ケ・デ・イベルチト adj. なんとおかしな	「補語」
será セラ 3 単未・推量(ser)v.i ～だろう	「動詞」
surgir スルヒール 不定詞 n. 湧き出ことは	「主語」
de golpe デ・ゴルペ adv. 突然	「副詞句」
por donde ホル・ドンデ adv. ～するところ辺りに	「副詞節」
vive ビベ 3 単現(vivir)v.i 暮らしている	「動詞」
toda esa gente トダ・エサ・ヘンテ n.f 人々が	「主語」
que ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」

1 Por la madriguera del Conejo

anda アンダ 3 単現(andar)v.i 歩いている 「動詞」

sobre la cabeza! ソブレ・ラ・カベサ adv. 頭を下にして 「副詞句」

「私なら、悪感人って呼ぶのかな...」

Los antipáticos, según me parece... 《「補語」「副詞句」「動詞」》

Los antipáticos, ロス・アンチパチコス pl.n.m (単数扱い) 悪感人 「補語」

antipático アンチパチコ n.m 感じの悪い人、反感を抱かせる人

según me セグン・メ adv. 私としては 「副詞句」

parece... パレセ 3 単現(parecer)v.i 〜と思われる 「動詞」

(今回は、誰も聞いている人がいなくて良かったと思った。自分が言った言葉が正しい感じに聞こえなかったから)

-(esta vez sí que se alegró de que no hubiera nadie escuchando, porque algo no le sonaba bien en lo que había dicho)- 「副詞句」「動詞句」「間接目的語」, 「副詞節」

-(esta vez エスタ・ベス adv. 今回は、今度は 「副詞句」

sí que シ・ケ adv. 確かに 「副詞句」

se alegró セ・アレグロ 3 単点(alegrarse)v.pr(de que 〜ということを) 喜んだ 「動詞句」

de que デ・ケ conj. 〜ということを 「間接目的語」

no hubiera 接・3 単過・否定(haber)v.t いなかった 「動詞句」

喜怒哀楽に導かれる節は、接続法を用いる

nadie ナデー pron 誰も 「目的語」

haber アバール → いる・あるの意味では主語は示さず、単数・複数の目的語をとる

escuchando, エスクヤント 現在分詞(escuchar)adj. 聞いている 「形容詞」

porque ボルケ conj. 〜なので 「副詞節」

algo アルコ pron 何か 「主語」

no ...sonaba ノ...ソナバ 3 単線・否定(sonar)v.i 響かなかった 「動詞句」

le レ pron 彼女にとって 「間接目的語」

bien ビエン adv. 正しいと、良く 「副詞」

en lo que había dicho) エン・ロ・ケ・アビ・ア・デ・イチョ adv. 自分が言った言葉が 「副詞句」

「でも、それじゃあ」と、続けた。「国の名前はなんていうのか、誰かに訊かなければ」

... pero entonces prosiguió, tendré que preguntarles cómo se llama el país en que viven:
pero 「副詞」, 「動詞」, 「動詞句」「目的語」

... pero ペロ conj. しかし

entonces エントネス adv. その時、それでは 「副詞」

-prosiguió-, フロシギオ 3 単点(proseguir)v.i 続行した 「動詞」

1 Por la madriguera del Conejo

tendré que preguntarles テントレ・ケ・プレガントール・レス 1 単未・必要(tener que+不定詞)

v.t 誰かに訊かなくてはならない 「動詞句」

cómo コモ adv. 何と 「目的語」

se llama セ・ジャマ 3 単現(llamarse)v.pr 〜という名前である 「動詞句」

el país エル・パイス n.m 国は 「主語」

en que viven: エン・ケ・ビベン adv. 人々が住んでいる 「形容詞節」

「すみません、奥様。教えていただけますか？ここはニュージーランドでしょうか、それともオーストラリアでしょうか？」

“por favor, señora, ¿podría decirme si esto es Nueva Zelanda o estamos más bien en Australia?”» 《「挨拶」, 「動詞句」 「目的語」》

“por favor, señora, ポール・ファボール・セニョーラ adv. すみません、奥様 「挨拶」

¿podría decirme ポドリャ・デシルメ 3 単過未・丁寧な依頼(poder+不定詞)

v.t 教えていただけますか 「動詞句」

si シ conj. 〜かどうかということ 「目的語」

esto エスト pron ここは 「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」

Nueva Zelanda ヌエバ・ゼランダ n.f ニュージーランド 「補語」

o オ conj. それとも

estamos エスタモス 1 複現(estar)v.i 〜にいる 「動詞」

más bien マス・ビエン adv. むしろ 「副詞句」

en Australia?”» エン・アウストリア adv. オーストラリアに 「副詞句」

(そして喋りながら、まるで貴婦人の前にいるかのように、軽く膝を曲げて会釈をしようとした)

(Y mientras hablaba intentó una leve genuflexión como si de verdad estuviera ante una dama... (Y 「副詞節」, 「動詞」 「目的語」 「副詞節」)

(Y イ conj. そして

mientras ミエンTRAS conj. 〜する間に、〜しながら 「副詞節」

hablaba アブラハ 3 単線(hablar)v.i 喋っていた 「動詞」

intentó インテント 3 単点(intentar)v.t 〜を試みた 「動詞」

una leve genuflexión ウナ・レーベ・ヘスフレクシオン n.f お辞儀、会釈 「目的語」

leve レーベ adj. 軽い genuflexión ヘスフレクシオン n.f (片膝を曲げる) 跪拝

como si コモ・シ +接続法 conj. まるで〜であるかのように 「副詞節」

de verdad デ・ベルダド adv. 本当に 「副詞節」

estuviera エストゥビエラ 接・3 単過・時制の一致(estar)v.i 〜にいる 「動詞」

1 Por la madriguera del Conejo

ante una dama... アンテ・ウナ・ダマ adv. 貴婦人の前に 「副詞句」

(想像してみてよ！空中を落っちながらお辞儀する様子を！)

¡Imaginaos! ¡Haciendo reverencias mientras caía por el aire!

(「動詞句」 | 「目的語」)

¡Imaginaos! イマヒナオス 命・2 複現(imaginarse)v.pr 想像しなさい 「動詞句」

¡Haciendo アシエント 現在分詞(hacer)v.t. ~をしていることを 「目的語」

reverencias レベレンシアス pl.n.f お辞儀を 「目的語」

mientras ミエントラス conj. その一方で~をする 「副詞節」

caía カイア 3 単線(caer)v.i 落ちる 「動詞」

por el aire! ポル・エル・アイレ adv. 空中を 「副詞句」

(君たちは、そんなことが出来たと思う？)

¿Podrías hacerlo vosotros? (「動詞句」「主語」)

¿Podrías hacerlo ポドリアイス・アセル・ロ 2 複過未・過去の推測(poder+不定詞)

v.t. それをすることが出来たと思う？ 「動詞句」

vosotros? ボソトロス pron 君たちは 「主語」

「その気の毒なご婦人は、あまりの無知に対して恐れおののいてしまうでしょう！」

«¡La pobre señora se va a quedar horrorizada de tanta ignorancia!

《「主語」「動詞句」「補語」》

«¡La pobre señora ラ・ポブレ・セニョーラ n.f. その気の毒なご婦人は 「主語」

va a +不定詞 ヴァ・ア 3 単現・近接未来(ir a+不定詞)v. ~をするだろう 「動詞句」

se ...quedar +過去分詞 セ...クダール 不定詞(quedarse)v.pr ~の状態になる 「動詞句」

horrorizada ホリサダ 過去分詞(horrorizar)adj.f(de を) 怖がった 「補語」

de tanta ignorancia! テ・タンタ・イグナシヤ adv. あまりの無知に対して 「間接目的語」

再帰代名詞の位置 :

ir a+不定詞 (be going to do 相当)、や querer+不定詞 (want to do 相当) などの動詞句において、不定詞が再帰動詞の場合は、再帰代名詞は ir や querer などの前に置かれる

それは私にはまったく都合が悪いわ；どこかに書いてあるのを見つけるのがいいかも。

Así que eso no me conviene nada; será mejor que lo vea escrito en alguna parte.»

Así que 「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞」；「動詞」「補語」「主語」

Así que アシ・ケ conj. だから～

eso エソ pron それは 「主語」

no ...conviene ノ...コンビエネ 3 単現・否定(convenir)v.i 都合が悪い 「動詞句」

再帰代名詞の位置 :

1 Por la madriguera del Conejo

me メ pron 私にとって	「間接目的語」
nada; ナダ adv. (否定文で) まったく～ない	「副詞」
será セラ 3 単末(ser)v.i ～だろう	「動詞」
mejor メール adj. より良い	「補語」
良い、悪いの判断に導かれる節は、接続法を使用する	
que ケ conj. ～ということは	「主語」
lo ロ pron それを	「目的語」
vea ベア 接・1 単現(ver)v.t 見つける	「動詞」
escrito エスクリト adj. 書かれた	「形容詞：lo」
en alguna parte. エン・アルグナ・パルテ adv. どこかに	「副詞句」

その間も落ち続けていました、下へ下へ；そして他にすることがなかったので、少ししてからアリスはまた話を始めました：「ああ、今夜ダイナは私がいらないのを寂しがらるだろうな」

Y, a todo esto, seguía cayendo, cayendo y cayendo; y como no había otra cosa que hacer, al rato Alicia se puso a hablar otra vez: «¡Ay! ¡Cómo me va echar de menos Dina esta noche!»

Y 「副詞句」, 「動詞句」 「副詞句」; y 「副詞節」, 「副詞句」 「主語」 「動詞句」 「副詞句」:
 «「感嘆」「副詞」「間接目的語」「動詞」「補語」「主語」「副詞」»

Y, イ conj. そして

a todo esto, ア・トド・エスト adv. (時間) その間 (ずっと)、ところで	「副詞句」
seguía cayendo, セギア・カイェント 3 単線・継続(seguir+現在分詞)v.i 落ち続けた	「動詞句」
cayendo y cayendo; カイエント・イ・カイェント 現在分詞(caer)adv. 下へそして下へ	「副詞句」

y イ conj. そして

como コモ conj. ～なので 「副詞節」

no había ノ・アビア 3 単線・否定(haber)v.t なかった 「動詞句」

otra cosa オトラ・コサ n.f 別のことが 「目的語」

que hacer, ケ・アセル adj. するべき 「形容詞節」

al rato アル・ラト adv. 少しして、少し後で 「副詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

se puso a hablar セ・プソ・ア・アブラール 3 単点・開始(ponerse a+不定詞)v.i 話始めた 「動詞句」

otra vez: オトラ・ベス adv. また、再び 「副詞句」

«¡Ay! アイ int. ああ 「感嘆」

¡Cómo コモ adv. どのように 「副詞」

me メ pron 私について 「間接目的語」

va バ 3 単現・近接未来・推量(ir)v.i (状態が) なるだろう 「動詞」

echar de menos エチャール・デ・メノス 不定詞 v.i ～がいらないのを寂しく思う 「補語」

1 Por la madriguera del Conejo

Dina デイナ n.f ダイナは 「主語」
esta noche! エスタ・ノチェ adv. 今晚 「副詞」

再帰動詞による動詞句：

se puso a hablar は再帰動詞 ponerse を使用した動詞句(ponerse a+不定詞) である。

Se pusieron a cantar. 彼らは歌い始めた。

Se puso a llover. 雨が降り始めた。

poner a+不定詞(hablar) ではない。この動詞句は「... に～させる」という意味になる。

Quieren poner a su hijo a estudiar en la universidad.

彼らは息子に大学で勉強させたがっている。

He puesto el agua a calentar. 私はお湯を沸かした。

(ダイナっているのは、うちで飼っているネコ)

(Dina era el gato de casa.) 注 3 (「主語」「動詞」「補語」)
(Dina デイナ n.f ダイナは 「主語」
era エラ 3 単線(ser)v.i ～である 「動詞」
el gato エル・ガト n.m ネコ 「補語」
de casa.) デ・カサ adj. 家で飼っている 「形容詞句」

「皆が、食事の時間にダイナの皿にミルクを入れてあげるのを覚えていてくれますように」

«Espero que se acuerden de darle su platito de leche a la hora de cenar.

《「動詞」「目的語」》

«Espero エスぺロ 1 単現(esperar)v.t ～を期待する、～なら良いと思う 「動詞」
que ケ conj. ～ということ 「目的語」

se acuerden de +不定詞 セ・アケルデ・ン・デ 3 複現・記憶(acordarse de+不定詞)

v. ～することを覚えている 「動詞句」

darle ダール・レ 不定詞(dar+le)v.t ネコに～をあげる 「動詞句」

su platito de leche ス・プラチト・デ・レチェ n.m ミルクの皿を 「目的語」

plato プラト n.m 皿 + -ito (示小接尾詞) → platito プラチト n.m 小皿

a la hora de cenar. ア・ラ・オラ・デ・セナル adv. 食事の時間に 「副詞句」

「ああ、可愛いダイナ！お前と一緒にここへ連れてこられたらうれしいのに！」

¡Ay, mi querida Dina! ¡Cómo me gustaría tenerte aquí abajo conmigo!

《「感嘆」 | 「感嘆」「間接目的語」「動詞」「主語」》

¡Ay, mi querida Dina! アイ・ミ・ケリダ・ダイナ int. ああ、可愛いダイナ！ 「感嘆」

querida ケリダ adj.f(querido) 親愛な、感じのいい、可愛い

¡Cómo コモ int. どれほど～だろう 「感嘆」

再帰動詞による動詞句：

1 Por la madriguera del Conejo

me メ pron 私にとって	「間接目的語」
gustaría グスタリア 3 単過未・条件法・願望・推量(gustar)	
v.i 嬉しいだろうに、～すればよいのに	「動詞」
tenerte テレール・テ 不定詞(tener+te)n. 君を連れてくることは	「主語」
aquí アキ adv. ここに	「副詞」
abajo conmigo! アバ・ホ・コンミゴ adv. 私と一緒に	「副詞句」

「考えてみると空中にはネズミはいないけど、代わりにコウモリを捕まえられるかもしれないわ。だって、コウモリってとてもネズミに似ているから」

Aunque, ahora que lo pienso, por el aire no hay ratones... pero podrías cazar murciélagos en cambio, que después de todo, ¿sabes?, se parecen mucho a un ratón.

《「副詞節」, 「動詞句」「目的語」「副詞句」「呼びかけ」「動詞句」「副詞」「間接目的語」》	
Aunque, アウンケ conj. ～ではあるが	「副詞節」
ahora que lo pienso, アオラ・ケ・ロ・ピエンソ adv. それを考えると	「副詞句」
por el aire ポール・エル・アイレ adv. 空中には	「副詞節」
no hay ノ・アイ 3 単現・否定(haber)v.t. ～がない	「動詞句」
ratones... ラトネス pl.n.m. ネズミ	「目的語」
pero ペロ conj. しかし	
podrías cazar ポドリャス・カサル 2 単過未・可能性・推量(poder+不定詞)	
v.t. 捕らえることができるかもしれない	「動詞句」
murciélagos ムルシエラコス pl.n.m (動物) コウモリを	「目的語」
en cambio, エン・カンビオ adv. その代わりに	「副詞句」
que después de todo, ケ・デスプエス・デ・トド adv. 結局のところ、つまり	「副詞句」
¿sabes?, サハス adv. (同意を求める) あのね、ねえ	「呼びかけ」
se parecen セ・パレン 3 複現(parecerse)v.pr(a に) 似ている	「動詞句」
mucho ムチョ adv. とても	「副詞」
a un ratón. ア・ウン・ラトン adv. ネズミに	「間接目的語」

「だけど、ネコってコウモリを食べるの？誰か知ってる？」

Pero ¿comerán murciélagos los gatos? ¿Quién sabe?»

《Pero 「動詞」「目的語」「主語」 | 「主語」「動詞」》

Pero ペロ conj. しかし	
¿comerán コマラン 3 複未・可能性(comer)v.t. 食べるだろうか？	「動詞」
murciélagos ムルシエラコス pl.n.m. コウモリを	「目的語」
los gatos? ロス・ガトス pl.n.m. ネコは	「主語」
¿Quién キエン pron 誰か	「主語」

1 Por la madriguera del Conejo

sabe?» サヘ 3 単現(saber)v.t 知っている 「動詞」

「しかしここにきて、アリスはとても眠くなり、夢うつつで次のように言い続けました」

Al llegar a este punto, sin embargo, Alicia comenzó a sentirse muy dormida, y continuó diciendo así, entre sueños: 《「副詞句」「主語」「動詞句」「補語」 y 「動詞句」「副詞句」》

Al llegar アル・ジエガール adv. 着いた時 「副詞句」

a este punto, ア・エステ・プント adv. この点に 「副詞句」

sin embargo, シン・エンバルゴ adv. しかし 「副詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

comenzó a sentirse コメンソ・ア・センチルセ 3 単点・開始(comenzar a+不定詞)

v.pr 自分が〜だと感じ始めた 「動詞句」

muy dormida, マイ・ドルミダ adj.f(dormido) とても眠い 「補語」

y イ conj. そして

continuó diciendo コンチヌオ・デ・イシエント 3 単点・継続(continuar+現在分詞)

v.t 言い続けた 「動詞句」

así, アシ adv. このように 「副詞句」

entre sueños: エントレ・スエニョス adv. 夢うつつで 「副詞句」

「ネコってコウモリ食べる？ネコってコウモリ食べる？」そして時には、「コウモリってネコ食べる？」と思わず言い違えることもありました。だって、2つの質問のどちらにも答えられなかったのです、どっちの質問だろうと関係なかったのです。

«¿Comerán murciélagos los gatos? ¿Comerán murciélagos los gatos?», y a veces también se le escapaba un «¿Comerán gatos los murciélagos?» pues, como veréis, ya que no sabía cómo contestar a ninguna de las dos preguntas, no importaba cuál de las dos se hiciera.

《「動詞」「目的語」「主語」 | 「動詞」「目的語」「主語」》 y

「副詞句」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」, 「副詞節」「動詞句」「主語」

«¿Comerán コメラン 3 複未・可能性(comer)v.t 食べるだろうか? 「動詞」

murciélagos ムルシエラコス pl.n.m コウモリを 「目的語」

los gatos? ロス・ガトス pl.n.m ネコは 「主語」

¿Comerán murciélagos los gatos?», コメラン・ムルシエラコス・ロス・ガトス

n. 「ネコってコウモリを食べるの?」 「動詞」「目的語」「主語」

y イ conj. そして

a veces ア・ベセス adv. 時々 「副詞句」

también タンビエン adv. 〜もまた 「副詞」

se ...escapaba セ...エスカパハ 3 単線(escaparse)v.pr 思わず言ってしまった 「動詞句」

le レ pron それを 「間接目的語」

1 Por la madriguera del Conejo

un «¿Comerán gatos los murciélagos?» ウン・コメラン・ガトス・ロス・ムルシエラゴス

n. 「コウモリってネコを食べるの？」 「直接目的語」

pues, プエス conj. ～なので 「副詞節」

como コモ conj. ～なので 「副詞節」

veréis, ベレイス 2 複未(ver)v.t 見えるだろう 「動詞」

ya ヤー adv. もう 「副詞」

que ケ conj. ～ということが 「目的語」

no sabía 3 単線・否定(saber)v.t 分からなかった 「動詞句」

cómo コモー adv. どのように～するかということ 「目的語」

contestar コンテスター 不定詞 v.t 答える 「動詞」

a ninguna ア・ニグナ pron どれにも 「目的語」

de las dos preguntas, デ・ラス・トス・プレグンタス

adj. 2 つの質問の 「形容詞句」

no importaba ノ・インポルタバ 3 単線・否定(importar)

v.i 重要でなかった 「動詞句」

cuál de las dos クール・デ・ラス・トス pron その 2 つのどちらでも 「主語」

se hiciera. セ・イシエラ 接・3 単過・假定(hacerse)

v.pr 作られたとしても 「形容詞節」

アリスは、すっかり眠気が差ってきて、ダイナと手をつないで散歩をしている夢を見はじめました。そして夢の中で、とても不安そうにダイナに尋ねていました：

Alicia sentía que se estaba durmiendo del todo y estaba justo empezando a soñar que se paseaba con Dina de la mano, y que le preguntaba con mucha ansiedad:

「主語」「動詞」「目的語」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

sentía センチア 3 単線(sentir)v.t 感じた 「動詞」

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

se estaba durmiendo セ・エスタバ・ト・カールミエンど 3 単線・進行形・開始(dormirse)

v.pr 眠気が差してきた 「動詞句」

del todo デル・トど adv. すっかり、まったく 「副詞句」

y イ conj. そして

estaba justo empezando a soñar エスタバ・ジ・ユスト・エンハ・サント・ア・ソニャール

3 単線・進行形・開始(empezar a+不定詞)v.i 夢を見始めた 「動詞句」

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

se paseaba セ・パセアバ 3 単線(pasearse)v.pr 散歩していた 「動詞句」

con Dina de la mano, コン・チナ・デ・ラ・マノ

1 Por la madriguera del Conejo

adv. ダイナと手をつないで	「副詞句」
de la mano デ・ラ・マノ adv. 手をつないで	
y イ conj. そして	
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
le レ pron ダイナに	「間接目的語」
preguntaba プレグンタバ 3 単線(preguntar)	
v.t 質問していた、尋ねていた	「動詞」
con mucha ansiedad: コン・ムチャ・アンシエダ adv. とても不安そうに	「副詞句」
「ねえ、ダイナ！本当のことを言いなさいよ！今までにコウモリを食べたことがあるの？」、その時、ゴツンとした衝撃と激しい音を立てて小枝と枯葉の山の上に落ちて、彼女の墜落は終わりました。	
«A ver, Dina, dime la verdad, ¿te has zampado alguna vez un murciélago?», cuando de golpe y porrazo cayó con gran estrépito sobre un montón de palos y hojas secas; la caída había terminado. 《「呼びかけ」, 「動詞句」「目的語」, 「動詞句」「副詞句」「目的語」, 「副詞句」「動詞」「副詞句」; 「主語」「動詞句」	
«A ver, ア・ベール adv. ちょっと、ねえ	「呼びかけ」
Dina, デイナ n.f ダイナ	「呼びかけ」
dime デイ・メ 命・2 単現(decir+me)v.t 私に言いなさい	「動詞句」
la verdad, ラ・ベルダ n.f 本当のことを	「目的語」
¿te has zampado テ・アス・ザンパド 2 単現・完了形(zamparse)v.pr がつがつと食べた	「動詞句」
alguna vez アルグナ・ベス adv. (疑問文で) 今までに	「副詞句」
alguna vez アルグナ・ベス 「時に、時として、たまに」	
un murciélago?, ウン・ムルシエラゴ n.m コウモリを	「目的語」
cuando クワンド conj. その時～する	「副詞節」
de golpe y porrazo デ・ゴルペ・イ・ポラソ adv. (様態) ゴツンとした衝撃で	「副詞句」
cayó カヨ 3 単点(caer)v.i 落下した	「動詞」
con gran estrépito コン・グラン・エストレピト adv. 激しい音を出して	「副詞句」
estrépito エストレピト n.m 激しい音	
sobre un montón ソブレ・ウン・モンソン adv. 山積みの上に	「副詞句」
montón モンソン n.m 山積み	
de palos y hojas secas; デ・パロス・イ・カス・セカス	
adj. 小枝と枯葉の	「形容詞句」
palo パロ n.m (薪にする) 小枝 hoja カ n.f 葉 seca セカ adj.f(seco) 乾いた	
la caída ラ・カイダ n.f 落下は	「主語」
había terminado. アビ・ア・テルミナト 3 単線・完了形(terminar)v.i 終わった	「動詞句」

1 Por la madriguera del Conejo

アリスはどこにも怪我をしなかったので、すぐに跳び起きました。

Alicia no sintió el menor daño y se puso en pie de un brinco.

「主語」「動詞句」「目的語」 y 「動詞句」「副詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

no sintió ノ・シンチオ 3 単点・否定(sentir)v.t 感じなかった 「動詞句」

el menor daño エル・メノール・ダño n.m まったく怪我を～ない 「目的語」

el menor エル・メノール adj. ごくわずかな daño ダño n.m けが、痛み、損害

y イ conj. そして

se puso セ・プソ 3 単点(ponerse)v.pr (姿勢を) とった 「動詞句」

en pie エン・ピエ adv. 足の上に 「副詞句」

ponerse en pie → 「起き上がる」

de un brinco. デ・ウン・ブリンコ adv. 一跳びで 「副詞句」

見上げたが、暗闇の中では何も見えなかった；彼女の前には別の長い道が広がっていた。そしてそのあたりを白いうさぎが慌てて走りながら遠ざかっていくのが見えた。

Miró hacia arriba pero no se podía ver nada en esa oscuridad; delante de ella se abría otro largo pasadizo y por allí alcanzó a ver al Conejo Blanco que se alejaba corriendo apresuradamente.

「動詞」「副詞句」 pero 「動詞句」「目的語」「副詞句」；

「副詞句」「動詞句」「主語」 y 「副詞句」「動詞句」「目的語」

Miró ミロ 3 単点(mirar)v.i 見た 「動詞」

hacia arriba アシア・アリハ adv. 上のほうを 「副詞句」

pero ペロ conj. しかし

no se podía ver ノ・セ・ポデア・ヴァール 3 単線・可能・否定(poder+不定詞 verse)

v.pr 見えなかった 「動詞句」

nada ナダ pron 何も～ない 「目的語」

en esa oscuridad; エン・エサ・オスクリタド adv. 暗闇の中では 「副詞句」

delante de ella デランテ・デ・エジャ adv. 彼女の前には 「副詞句」

se abría セ・アブリア 3 単線(abrirse)v.pr 広がっていた、始まっていた 「動詞句」

otro largo pasadizo オトロ・ラルゴ・パサデイツ n.m 別の長い道が 「主語」

y イ conj. そして

por allí ポル・アジ adv. そのあたりで 「副詞句」

alcanzó a ver アルカンソ・ア・ヴァール 3 単点・可能(alcanzar a+不定詞)

v.t 見ることができた 「動詞句」

al Conejo Blanco, アル・コネホ・ブランコ n.m 白いうさぎを 「目的語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

1 Por la madriguera del Conejo

se alejaba セ・アレハバ 3 単線(alejarse)v.pr 遠ざかっていった 「動詞句」
 corriendo コリエント 現在分詞(correr)v.i 走りながら 「副詞」
 apresuradamente. アプレスラダメンテ adv. あわてて、急いで 「副詞」

一瞬たりとも無駄にできませんでした。

¡No había que perder ni un momento! 「動詞句」「目的語」

¡No había que perder ノ・アビエ・ケ・ペルテール 3 単線・必要・否定（禁止）(haber que+不定詞)

v.t (時間を) 無駄にできなかった 「動詞句」

ni un momento! ニ・ウン・モメント n.m 一瞬たりとも～ない 「目的語」

それでアリスはそれ以上考えずに、急いで彼の後ろを追いかけて、曲がり角を曲がる前に、
 丁度うさがが叫ぶ声を聴くことができました。

Así que Alicia, sin pensarlo más, corrió veloz tras él y llegó justo a oírle exclamar, antes de que doblara un recodo:

Así que 「主語」「副詞句」「動詞」「副詞句」 y 「動詞句」「補語」, 「副詞節」

Así que アシ・ケ conj. 従って、それで

Alicia, アリシア n.f アリスは 「主語」

sin pensarlo más, シン・ペンサル・ロ・マス adv. それ以上考えずに 「副詞句」

corrió コリオ 3 単点(correr)v.i 追いかけた、走った 「動詞」

veloz ベロス adv. 急いで 「副詞」

tras él トラス・エル adv. 彼の後ろを 「副詞句」

y イ conj. そして

llegó justo a oírle ジェゴ・ジユスト・ア・オイル・レ 3 単点・達成(llegar a+不定詞 oír+le うさぎ)

v.t ちょうどうさぎの声を聴くことができた 「動詞句」

exclamar, エクスクラマル 不定詞・le の動作 v.i 叫ぶ 「補語」

antes de que +接続法 アンテス・デ・ケ conj. ～する前に 「副詞節」

doblara トブララ 接・3 単過(doblar)v.t ～を曲がる 「動詞」

un recodo: ウン・レコト n.m (道の) 曲がり角を 「目的語」

「ああ耳やら口ひげのせいで、こんなに遅くなってしまった！」

«¡Ay! ¡Por mis orejas y bigotes! ¡Qué tarde se me está haciendo!».

《「感嘆」「副詞句」 | 「補語」「動詞句」》

«¡Ay! アイ int. ああ 「感嘆」

¡Por ホル prep (原因) ～のために、せいで 「副詞句」

mis orejas ミス・オレハス pl.n.f 耳 「目的語」

y イ conj. そして

1 Por la madriguera del Conejo

bigotes! ビゴテス pl.n.m 口ひげ 「目的語」
 ¡Qué tarde ケ・タルデ adj. (感嘆) なんて遅い 「補語」
 se me está haciendo!». セ・メ・エスタ・アシエント 3 単現・進行形(hacerse+me 私にとって)
 v.i (時間が私にとって) 〜になっている 「動詞句」

通路の角を曲がった時には、アリスはウサギのすぐ後ろまで来ていたのですが、もうどこにもウサギの姿が見えなくなっていました。

A pesar de que Alicia estaba prácticamente detrás de él, cuando dobló el ángulo del pasadizo no vio al Conejo por parte alguna: 「副詞節」, 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」
 A pesar de que ア・ペサル・デ・ケ conj. 〜ではあるが 「副詞節」
 Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
 estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i 〜にいた 「動詞」
 prácticamente detrás de él, プラクチカメンテ・デトラス・デ・エル
 adv. 彼のすぐ後ろに 「副詞句」
 prácticamente プラクチカメンテ adv. ほとんど、实际的に detrás デトラス adv. 後ろに
 cuando クワント conj. 〜したときは 「副詞節」
 dobló ドブレ 3 単点(doblar)v.t (角を) 曲がった 「動詞」
 el ángulo エル・アングロ n.m 角を 「目的語」
 del pasadizo テル・パサディソ adj. 通路の 「形容詞句」
 no vio ノ・ビオ 3 単点・否定(ver)v.t 見えなかった 「動詞句」
 al Conejo アル・コネホ n.m あのウサギが 「目的語」
 por parte alguna: ポル・パルテ・アルグナ adv. どこにも〜ない 「副詞句」

アリスは広い玄関ホールに一人で立っていました。そこは天井が低くて、天井から吊るされた一列のランプで照らされていました。

se encontró sola en un amplio vestíbulo, de techo bajo e iluminado por una hilera de lámparas colgadas del techo. 「動詞句」 「副詞句」
 se encontró セ・エンコントロ 3 単点(encontrarse)v.pr(en に) いた 「動詞句」
 encontrarse は文語では estar 同義で使用される「ある場所にいる、ある」
 sola ソラ adj.f (副詞的) 一人で 「副詞」
 en un amplio vestíbulo, エン・ウナ・アンプレオ・ベスティブロ adv. 広い玄関ホールに 「副詞句」
 amplio アンプレオ adj. 広い vestíbulo ベスティブロ n.m 玄関、ホール
 de techo bajo デ・テチョ・バホ adj. (様態) 天井が低い 「形容詞句」
 e エ conj. そして
 iluminado イルミナド adj. 照らされた 「形容詞」
 por una hilera ポル・ウナ・イレラ adv. (手段) 列によって 「副詞句」

1 Por la madriguera del Conejo

de lámparas テ・ランパラス adj, ランプの 「形容詞句」

colgadas コルガダス 過去分詞・受動.f.pl(colgar)

adj. 吊るされた 「形容詞」

del techo. テル・テチョ adv. 天井から 「副詞句」

玄関ホールの修飾語句が長いので、修飾語句は分けて翻訳した

玄関ホールの周りには色々なドアが見えましたが、すべてのドアは鍵がかかっていました。

Alrededor de todo el vestíbulo se veían varias puertas, pero estaban todas cerradas con llave. 「副詞句」「動詞句」「主語」 pero 「動詞」「主語」「補語」

Alrededor de アルデ・トール・デ prep 〜の周りは 「副詞句」

todo el vestíbulo ト・エル・ベ・スチブロ n.m 玄関ホール全体 「目的語」

se veían セ・ベ・イアン 3 複線(verse)v.pr 〜が見えた 「動詞句」

varias puertas, バリアス・プエルタス pl.n.f 色々なドアが 「主語」

pero ペロ conj. しかし

estaban エスタバン 3 複線(estar)v.i 〜だった 「動詞」

todas トダス pron.pl 全部のドアが 「主語」

cerradas セラダス adj.f.pl 閉まった 「補語」

con llave. コン・ジヤヘ adv. 鍵によって 「副詞句」

まず片側を通して向こうまで歩き、それから反対側を通してこちらに戻りながら、すべてのドアを試してみましたが無駄でした。アリスは、どうしたらここから抜け出せるかを悲しげに考えながら、部屋の真ん中をゆっくり歩きました。

Después de haberlas probado inútilmente todas, bajando primero por un lado y subiendo luego por otro, Alicia se paseó por el medio de la habitación, pensando tristemente cómo se las iba a arreglar para salir de ahí.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」

Después de +不定詞 デ・スプ・エス・デ adv. 〜したあとで 「副詞句」

haberlas probado アバー・ル・ラス・プロバト 不定詞・完了形(probar+las)

v.t それらを試した 「動詞句」

inútilmente イヌチルメンテ adv. 無駄に 「副詞」

todas, トダス pron すべてのドアを 「目的語」

bajando バハント 現在分詞(bajar)v.i 向こうに歩いて 「副詞句」

primero プリメロ adv. 最初は、まず 「副詞」

por un lado ポル・ウン・ラト adv. 片側を通して 「副詞句」

y イ conj. そして

subiendo スビエント 現在分詞(subir)v.i こちらに戻って来る 「副詞句」

1 Por la madriguera del Conejo

luego ルエゴ adv.それから 「副詞」
 por otro, ホル・オトロ adv. 反対側を通して 「副詞句」
 Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
 se paseó セ・パセオ 3 単点(pasearse)v.pr 散歩した、ゆっくり歩いた 「動詞句」
 por el medio de la habitación, ホル・エル・メディオ・デ・ラ・アビタシオン adv. 部屋の真ん中を 「副詞句」
 pensando ペンサント 現在分詞(pensar)v.t 考えながら 「副詞句」
 tristemente トリステメンテ adv. 悲しげに 「副詞」
 cómo コモ adv. どのように～するかということ 「目的語」
 se las iba a arreglar セ・ラス・イバ・ア・アレグラール 3 単線・近接未来(ir a+不定詞 arreglarse+las)
 v.pr うまくやり遂げられる 「動詞句」
 para salir de ahí. パラ・サリール・デ・アイ
 adv. (目的) ここから出るために 「副詞句」

いきなり、すべてガラスでできた 3 本脚の小さいテーブルを見つけました。その上には、金のちっぽけな鍵が 1 個しかありませんでした。アリスが最初に思ったことは、これがもしかしたらホールのドアのどれかを開けるのに役に立つかもしれないということでした。

Súbitamente se encontró con una pequeña mesa de tres patas, toda ella de cristal; encima no había más que una pequeñísima llave de oro, y lo primero que pensó Alicia es que quizás le sirviera para abrir una de las puertas del vestíbulo.

「副詞」「動詞句」「間接目的語」; 「副詞」「動詞句」「目的語」 y 「主語」「動詞」「補語」
 Súbitamente スビタメンテ adv. 突然、いきなり 「副詞」
 se encontró セ・エンコントロ 3 単点(encontrarse)v.pr(con を) (偶然) 見つけた 「動詞句」
 con una pequeña mesa コン・ウナ・ペケニャ・メサ adv. 小さいテーブルを 「間接目的語」
 de tres patas, デ・トレス・パタス adj. 3 本脚の 「形容詞句」
 toda ella de cristal; トダ・エシヤ・デ・クリスタル
 adj. (材料) すべてガラスでできた 「形容詞句」
 ella は mesa の代用
 encima エンシーマ adv. その上は 「副詞」
 no había más que ノ・アビア・マス・ケ 3 単線・否定(haber+no... más que)
 v.t ～しかなかった 「動詞句」
 una pequeñísima llave ウナ・ペケニシマ・シヤベ n.f ちっぽけな鍵が 1 個 「目的語」
 de oro, デ・オロ adj. (材料) 金の 「形容詞句」
 y イ conj. そして
 lo primero ロ・プリメロ pron 最初のことは 「主語」
 que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.t 思った 「動詞」

1 Por la madriguera del Conejo

Alicia アリシア n.f	アリスが	「主語」
es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
que ケ conj.	～ということ	「補語」
quizás キサス adv.	もしかしたら	「副詞」
le レ pron	そのことに (para abrir 以降)	「間接目的語」
sirviera シルビエラ 3 単過未・推量(servir)v.i	役に立つかもしれない	「動詞」
para +不定詞 パラ adv.	～するために	「間接目的語」
abrir アブリール 不定詞 v.t	開ける	「動詞」
una de las puertas ウナ・デ・ラス・プエルタス n.f	ドアの1つを	「目的語」
del vestíbulo. デル・ベスチブーロ adj.	ホールの	「形容詞句」

しかし残念なことに、あるいは鍵穴が大きすぎたり、あるいは金の鍵が小さすぎたのだろうが、結果として、どのドアも開けることができなかった。

Pero, desgraciadamente, sea porque las cerraduras fueran demasiado grandes, sea porque la llave fuese demasiado pequeña, el hecho es que no pudo abrir ninguna.

Pero 「副詞」「動詞」「副詞節」, 「動詞」「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」

Pero, ペロ conj.	しかし	
desgraciadamente, デスグラシアダメンテ adv.	残念なことに	「副詞」
sea セア 接・3 単現・推測(ser)v.i	～であろう	「動詞」
porque ボルケ conj.	～なので	「副詞節」
las cerraduras ラス・セラドゥラス pl.n.f	鍵が、鍵穴が	「主語」
fueran フェロン 接・3 複過・ra 形(ser)v.i	～だった	「動詞」
demasiado grandes, デマシアト・グランデス adj.	大きすぎた	「補語」
sea セア 接・3 単現・推測(ser)v.i	～であろう	「動詞」
porque ボルケ conj.	～なので	「副詞節」
la llave ラ・ジャベ n.f	金の鍵が	「主語」
fuese フェセ 接・3 単過・se 形(ser)v.i	～だった	「動詞」
demasiado pequeña, デマシアト・ペケニャ adj.	小さすぎた	「補語」
el hecho エル・エチョ n.m	事実、事の結果は	「主語」
es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
que ケ conj.	～ということ	「補語」
no pudo abrir ノ・プド・アブリール 3 単点・可能・否定(poder+不定詞)		
v.t (その鍵は)	開けられなかった	「動詞句」
ninguna. ニングナ pron	どのドアも～ない	「目的語」

1 Por la madriguera del Conejo

しかしもう一度確かめると、その時まで気づかなかった低いカーテンを見つけました。そしてそのカーテンの後ろに、高さが 40cm くらいの小さなドアを見つけました。

Sin embargo, al probarlas de nuevo, descubrió una cortina baja que no había observado hasta entonces, y tras ella encontró una pequeña puertecilla como de dos palmos de altura:

Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. しかしながら 「副詞句」

al +不定詞 アル adv. ～したとき 「副詞句」

probarlas プロバル・ラス 不定詞(probar+las ドア)v.t 試す 「動詞句」

de nuevo, デ・ヌエボ adv. もう一度、改めて 「副詞句」

descubrió デスカブリーオ 3 単点(descubrir)v.t 見つけた 「動詞」

una cortina ウナ・コルティナ n.f カーテンを 「目的語」

baja バハ adj. 低い 「形容詞」

que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

no había observado ノ・アビアー・オブセルバト 3 単線・完了形・否定(observar)

v.t 気づかなかった 「動詞句」

hasta entonces, アスタ・エントネス adv. その時まで 「副詞句」

y イ conj. そして

tras ella トラス・エジャ adv. カーテンの後ろに 「副詞句」

ella は cortina の代用

encontró エンコントロ 3 単点(encontrar)v.t 見つけた 「動詞」

una pequeña puertecilla, ウナ・ペケニャ・プエルテジヤ n.f 小さいドアを 「目的語」

puertecilla ← puerta プエルタ n.f ドア + -ecilla (示小接尾辞)

como de コモ・デ adv. ～くらいの 「形容詞句」

dos palmos トス・パルモス pl.n.m 42cm 「目的語」

palmo パルモ n.m 約 21cm (palmo = 4 分の 1 vara; vara バラ n.f 83.59cm)

de altura: デ・アルトゥーラ adj. 高さの 「形容詞句」

小さな金の鍵をそのドアの錠前に差し込んで試してみました。すると嬉しいことに、完全にぴったりと合うことが分かりました。

probó la llavecilla de oro en su cerradura y con alegría vio que ajustaba perfectamente.

「動詞」「目的語」「副詞句」 y 「副詞句」「動詞」「目的語」

probó プロボ 3 単点(probar)v.t 試した 「動詞」

la llavecilla ラ・ジャベジヤ n.f 小さな鍵を 「目的語」

llavecilla ← llave ジャベ n.f 鍵 + -ecilla (示小接尾辞)

de oro デ・オ adj. (材料) 金の 「形容詞句」

en su cerradura エン・ス・セラトゥーラ adv. そのドアの錠前に 「副詞句」

1 Por la madriguera del Conejo

y	イ conj.	そして	
con alegría	コン・アレグリア	adv. うれしいことに	「副詞句」
vio	ビオ 3 単点(ver)v.t	見えた、分かった	「動詞」
que	ケ conj.	ということが	「目的語」
ajustaba	アフスタバ 3 単線(ajustar)v.i	ぴったり合う	「動詞」
perfectamente.	ペルフェクタメンテ	adv. 完全に	「副詞」

アリスはその小さいドアを開けてみました：それは大変小さい廊下に面していて、ネズミ穴の通路ほどの広さでした。

<u>Alicia abrió la pequeña puerta: daba a un corredor diminuto, no mucho mayor que el de una ratonera.</u>	「主語」「動詞」「目的語」：「動詞」「間接目的語」		
Alicia	アリシア n.f	アリスは	「主語」
abrió	アブリオ 3 単点(abrir)v.t	開けた	「動詞」
la pequeña puerta:	ラ・ペケニャ・プエルタ n.f	その小さいドアを	「目的語」
daba	ダバ 3 単線(dar)v.i	(ドアが) (〜に) 面していた	「動詞」
a un corredor	ア・ウン・コレドール	adv. 廊下に	「間接目的語」
diminuto,	ディミニウト adj.	大変小さい	「形容詞」
no mucho mayor	ノムチョ・マヨール		
adj.	同じ位の大きさの、よりずっと大きくない		「形容詞」
que el	ケ・エル	adv. (比較) 廊下よりも	「副詞句」
el	は corredor	の代用	
de una ratonera.	デ・ウナ・ラトネラ	adj. ネズミ穴の	「形容詞句」

アリスはひざまずいてその中をのぞいた。すると突き当りに、想像できなかったほど素晴らしい庭が広がっていた。

<u>Se arrodilló para mirar dentro de él y vio que al fondo se abría el jardín más maravilloso que pudiera imaginarse.</u>	「動詞句」「副詞句」 y 「動詞」「目的語」		
Se arrodilló	セ・アッロデイジョ 3 単点(arrodillarse)v.pr	ひざまずいた	「動詞句」
para + 不定詞	パラ	adv. ～するために	「副詞句」
mirar	ミラル 不定詞 v.t	見る	「動詞」
dentro de él	デントロ・デ・エル	adv. その中を	「副詞句」
él	は corredor	の代用	
y	イ conj.	そして	
vio	ビオ 3 単点(ver)v.t	見えた	「動詞」
que	ケ conj.	～ということが	「目的語」
al fondo	アル・フォント	adv. 突き当りに	「副詞句」

1 Por la madriguera del Conejo

se abría セ・アブリア 3 単線(abrirse)v.pr 広がっていた「動詞句」

el jardín エル・ハルディン n.m 庭が「主語」

más maravilloso マス・マラビシヨ adj. (最上級) 非常に素晴らしい「形容詞句」

que ケ conj. (比較) 〜よりも「副詞節」

pudiera imaginarse. プディエラ・イマヒナルセ 接・3 単過・假定(poder+不定詞)

v.pr 想像できただろう「動詞句」

アリスは、この暗いホールから出て、あの様々な花で一杯の花壇やあの涼しげな噴水あたりを楽しく散歩したいなあ、などという希望を持ちました。でもあまりにも小さくて、廊下の方へ頭を入れることさえ出来なかったのです。

¡Qué ganas tenía de salir de ese lúgubre vestíbulo y pasearse alegremente por entre esos abigarrados macizos de flores y por esas frescas fuentes! Pero no podía siquiera meter la cabeza por ese corredor tan diminuto;

「目的語」「動詞」「形容詞句」 | Pero 「動詞句」「目的語」「副詞句」

¡Qué ganas ケ・ガナス pl.n.f (感嘆・願望) 何という願望を 「目的語」

tenía テニア 3 単線(tener)v.t (感情を) 抱いた、持った 「動詞」

de salir テ・サール 不定詞・目的 vi(de から) 出るといふ 「形容詞句：ganas」

de ese lúgubre vestíbulo テ・エセ・ルグブレ・ベスチブロ

adv. この暗いホールから 「副詞句」

lúgubre ルグブレ adj. 悲痛な、陰鬱な

y イ conj. そして

pasearse パセアルセ 不定詞 v.pr 散歩するといふ 「形容詞句：ganas」

alegremente アレグレメンテ adv. 楽しく 「副詞」

por entre ホル・エントレ prep 〜の間を 「副詞句」

esos abigarrados macizos de flores エソス・アビガラトス・マシソス・テ・フロレス

pl.n.m あの様々な花で一杯の花壇 「目的語」

y イ conj. そして

por ホル prep 〜のあたりを 「副詞句」

esas frescas fuentes! エサス・フレスカス・フエンテス

pl.n.f あの涼しげな噴水 「目的語」

Pero ペロ conj. しかし

no podía siquiera meter ノ・ポディア・シキエラ・メテル 3 単過・可能・否定(poder+不定詞+ siquiera)

v.t 〜を入れることさえ出来なかった 「動詞句」

siquiera シキエラ adv. (否定の強調) 〜さえ... ない

la cabeza ラ・カベサ n.f 頭を 「目的語」

por ese corredor ホル・エセ・コレトール adv. その廊下の方に 「副詞句」

1 Por la madriguera del Conejo

tan diminuto; タン・ディニスト adj. それほど小さい

「形容詞句」



「その上、たとえ頭を入れることが出来たとしても」と、哀れなアリスは思った。「もし肩がなかったら何の役に立つの？なんとかして、望遠鏡のように自分を折りたためたいのだけれど。どこから始めればいいのかさえ分かれば、できると思うわ」

«y además, aunque pudiera -pensó la pobre Alicia-, ¿de qué me serviría sin los hombros? ¡Cómo me gustaría poder plegarme como un telescopio! Creo que hasta podría hacerlo si tan sólo supiera por dónde empezar».

《y 「副詞句」・「動詞」「主語」-, 「副詞句」「間接目的語」「動詞」「副詞句」
「副詞」「動詞句」「副詞句」 | 「動詞」「目的語」》

«y イ conj. そして

además, アデマス adv. その上に、さらに

「副詞」

aunque アウンケ conj. (仮定・接続法過去) たとえ〜だったとしても

「副詞節」

pudiera プデイエラ 接・3 単過(poder)v.i (頭を入れることが) できた

「動詞」

-pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.i 思った

「動詞」

la pobre Alicia-, ラ・ポ・ブレ・アリシア n.f 哀れなアリスは

「主語」

¿de qué テ・ケ adv. (目的) 何のために

「副詞句」

me メ pron 私にとって

「間接目的語」

serviría セルビリア 3 単過未・推量(servir)v.i (de として) 役立つかろうか

「動詞」

sin los hombros? シン・ロス・オンブロス adv. (譲歩) 肩がなかったならば

「副詞句」

¡Cómo コモ adv. なんとかして

「副詞」

me gustaría +不定詞 メ・グスタリア 1 単過未・希望(gustarse+不定詞)

v. 〜したいのだが

「動詞句」

poder plegarme ポ・デール・プレガール・メ 不定詞(poder+不定詞 plegarse)

v.pr 自分を折りたたむことができる

「動詞句」

como un telescopio! コモ・ウン・テレスコピオ adv. 伸縮式の望遠鏡のように

「副詞句」

Creo クロ 1 単現(creer)v.t(que 〜と) 思う

「動詞」

1 Por la madriguera del Conejo

que ケ conj. ～ということを	「目的語」
hasta アスタ adv. さえ	「副詞」
podría hacerlo ポドリア・アセル・ロ 1 単過未・推量(poder+不定詞 hacer+lo)	
v.t. それができるだろう	「動詞句」
si シ conj. もし～ならば	「副詞節」
tan sólo タン・ソロ adv. ～だけ	「副詞句」
supiera スピエラ 接・1 単過(saber)v.t. わかる	「動詞」
por dónde ポル・ドンデ adv. どこから～するかということ	「目的語」
empezar». エンパサル 不定詞・妥当 v.i. 始めるべきである	「動詞」

実はあの日、君たちもわかると思うが、アリスにとってとても異常なことが起こったので、本当にできないことはほとんどないと思うようになっていた。

Y es que, como veréis, a Alicia le habían sucedido cosas tan extraordinarias aquel día que había llegado a pensar que poco o nada era en realidad imposible.

Y 「副詞節」,que 「動詞句」「目的語」

Y イ conj. そして	
es que, エス・ケ conj. 実は～なので	「副詞節」
como veréis, コモ・ベレイス adv. 君たちは分かると思うが	「副詞節」
a Alicia le ア・アリシア・レ pron アリスにとって	「間接目的語」
habían sucedido アビアン・スセディト 3 複線・完了形(suceder)v.i. 起こった	「動詞句」
cosas tan extraordinarias コサス・タン・エクストラオルデ・イリアス	
pl.n.f. とても異常なことが	「主語」
aquel día アケル・デ・イア adv. あの日	「副詞句」
que ケ conj. (tan...que～) それで～する	
había llegado a +不定詞 アビア・ジエガト・ア 3 単線・完了形・結果(llegar a+不定詞)	
v. ～するようになった	「動詞句」
pensar ペンサル 不定詞 v.t.(que ～と) 思う	「動詞句」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
poco o nada ポコ・オ・ナダ pron 少しまたは何も	「主語」
era エラ 3 単線(estar)v.i. ～だった	「動詞」
en realidad エン・レアリタデ adv. 本当に	「副詞句」
imposible. インポシブレ adj. 不可能な	「補語」

1 Por la madriguera del Conejo

小さいドアの前でぼうっとしていても何の役にも立たないので、アリスは、テーブルがあった場所に戻った。テーブルの上に他の鍵、または、どうしたら望遠鏡みたいに自分が縮まれるかを書いた説明書が見つからないかと期待していた。

Como no le iba a servir de nada quedarse allí pasmada ante la pequeña puerta, Alicia volvió a donde estaba la mesa, casi esperando encontrar sobre ella otra llave o, en todo caso, un libro de instrucciones sobre cómo plegarse como un telescopio.

「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」

Como コモ conj. ～なので

「副詞節」

no ...iba a servir ノ...イバ・ア・セルビール 3 単線・近接未来・否定(ir+不定詞 servir)

v.i(de に) 役に立たない

「動詞句」

le レ pron 彼女にとって

「間接目的語」

de nada デ・ナダ adv. 何にも

「間接目的語」

quedarse ケダールセ 不定詞 v.pr とどまることは

「主語」

allí アジ adv. そこに

「副詞」

pasmada パスマダ adj.f ぼうっとして

「副詞」

ante la pequeña puerta, アンテ・ラ・ペケニャ・プエルタ adv. 小さいドアの前で 「副詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは

「主語」

volvió ボルビオ 3 単点(volver)v.i 戻った

「動詞」

a donde ア・ドンデ adv. ～のところへ

「副詞句」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ～があった

「動詞」

la mesa, ラ・メサ n.f テーブルが

「主語」

casi esperando カシ・エスペラント adv. ほとんど期待しながら

「副詞句」

encontrar エンコントラール 不定詞 v.t 見つけることを

「目的語」

sobre ella ソブレ・エジャ adv. テーブルの上で

「副詞句」

otra llave オトラ・ジャヘ n.f 他の鍵を

「目的語」

o, オ conj. または

en todo caso, エン・トド・カーソ adv. いずれにしても

「副詞句」

un libro ウン・リブロ n.m 本を

「目的語」

de instrucciones デ・インストラクシオネス adj. 使用法の

「形容詞句」

sobre ソブレ prep ～に関する

「副詞句」

cómo コモ adv. どのように

「副詞」

plegarse プレガールセ 不定詞

v.pr 自分を折りたたむ

「動詞句」

como un telescopio. コモ・ウン・テレスコピオ

adv. 望遠鏡のように

「副詞句」

1 Por la madriguera del Conejo

今度は、テーブルの上に小さな小瓶を見つけました。(さっきは、ここにはなかったはず、とアリスは言いました)、その瓶の首の周りには小さな紙のカードが吊るしてあって、そこには「私を飲んで！」という言葉が大きな字できれいに印刷されていました。

Esta vez, lo que encontró encima de la mesa fue un pequeño frasquito («que ciertamente no estaba aquí antes», dijo Alicia), que alrededor de su cuello tenía colgado un cartelito de papel en el que se leía la palabra «BÉBEME» hermosamente escrita en grandes caracteres.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」, (「形容詞節」, 「動詞」「主語」), 「形容詞節」
 Esta vez, エスタ・ベス adv. 今度は、今回は 「副詞句」
 lo ロ pron それは 「主語」
 que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 encontró エンコントロ 3 単点(encontrar)v.t 見つけた 「動詞」
 encima de la mesa エンシーマ・デ・ラ・メサ adv. テーブルの上に 「副詞句」
 fue フェ 3 単点(ser)v.i ～だった 「動詞」
 un pequeño frasquito ウン・ペケニョ・フラスキート n.m 小さな小瓶 「補語」
 frasco フラスコ n.m (化粧品などの) 小瓶 + -ito 「示小接尾辞」 (-co+ito → quito)
 («que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 ciertamente シェルタメンテ adv. 確かに 「副詞」
 no estaba ノ・エスタバ 3 単線・否定(estar)v.i なかった 「動詞」
 aquí アキ adv. ここに 「副詞」
 antes, アンテス adv. さっきは 「副詞」
 dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 Alicia, アリシア n.f アリスは 「主語」
 que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 alrededor de su cuello アルデト・ール・ス・ケニョ adv. その首の周りに 「副詞句」
 tenía colgado テニア・コルガト 3 単線・状態(tener+過去分詞)
 v.t 吊るしてあった 「動詞句」
 un cartelito de papel ウン・カルテリト・デ・パペル
 n.m 小さな紙のカードを 「目的語」
 en el エン・エル adv. そのカードに 「副詞句」
 que ケ pron (同格) ～という 「形容詞節」
 se leía セ・レイア 3 単線・再帰受動(lerse)
 v.pr 読まれた、読むことができた 「動詞句」
 la palabra «BÉBEME» ラ・パラブラ・ベベメ
 n.f 「私を飲んで！」という言葉が 「主語」
 hermosamente エルモサメンテ adv. 美しく 「副詞」

1 Por la madriguera del Conejo

escrita エスクリタ 過去分詞.f(escibir)

adj. 書かれた、印刷された 「形容詞」

en grandes caracteres. エン・グランド・カクテレス

adv. 大きな文字で 「副詞句」



あちらこちらに「飲んで！」と書いてあるのはいいけれど、賢いアリスは慌てて飲んだりしませんでした。

Está muy bien eso de andar ordenando «bébeme» por ahí y «bébeme» por allá, pero Alicia, siempre tan lista, no iba a hacerlo, así porque sí.

「動詞」「補語」「主語」,pero「主語」「動詞句」「副詞句」

Está エスタ 3 単現(estar)v.i ~である

「動詞」

muy bien ムイ・ビエン adj. とてもよい

「補語」

eso エソ pron それは

「主語」

de +不定詞 デ adj. (同格) ~することは

「形容詞句」

andar ordenando アンダー・ル・オルデナンド 不定詞・断続的な継続(andar+現在分詞)

v.t 命令している

「動詞句」

«bébeme» ベ・ベ・メ n. (命令) 飲んで！

「目的語」

por ahí ポール・アイ adv. ここに

「副詞句」

y イ conj. そして

«bébeme» ベ・ベ・メ n. (命令) 飲んで！

「目的語」

por allá, ポール・アジ adv. あちらに

「副詞句」

pero ペロ conj. しかし

Alicia, アリシア n.f アリスは

「主語」

siempre tan lista, シエンプレ・タン・リスタ adj.f いつでも頭の回転が速い

「形容詞句」

no iba a hacerlo, ノ・イバ・ア・アセル・ロ 3 単線・近接未来・否定(ir a+不定詞)

1 Por la madriguera del Conejo

v.t それをしなかった 「動詞句」
 así アシ adv. そのように 「副詞」
 porque sí. ポルケ・シ adv. どうしても 「副詞句」

「いいえ」、アリスは言いました。「まず、どこかに毒とか書いていないか確認しましょう」

«No -dijo-, primero voy a ver si por algún lado dice si es o no "veneno"»;
 《「感嘆」》, 「動詞」, 《「副詞」「動詞句」「目的語」》
 «No ノ adv. いいえ 「感嘆」
 -dijo-, ディホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 primero プリメロ adv. 最初に、まず 「副詞」
 voy a ver ボイ・ア・ベール 1 単現・近接未来(ir a+不定詞)
 v.t 見てみよう 「動詞句」
 si シ conj. ～かどうかを 「目的語」
 por algún lado ポル・アルグン・ラド adv. どこかに 「副詞句」
 dice ディセ 3 単現(decir)v.t 言っている、書いてある 「動詞」
 si シ conj. ～かどうかを 「目的語」
 es o no エス・オ・ノ 3 単現(estar)v.i ～であるかどうか 「動詞」
 "veneno"»; ベネノ n.m 毒 「補語」

というのは、ある子どもたちが、友達が教えてくれた簡単な注意事を守らなかったために、結局はやけどをしたり野獣に食われてしまったという素晴らしい話をいくつか読んだことがあったからです。

pues había leído preciosas narraciones en las que ciertos niños habían acabado, o quemándose, o devorados por fieras salvajes u otras cosas no menos desagradables, tan sólo por no haber querido hacer caso de las simples advertencias que sus amigos les habían enseñado:
 pues 「動詞句」「目的語」「副詞句」
 pues プエス conj. ～なので 「副詞節」
 había leído アビエ・レイト 3 単線・完了形(leer)v.t 読んだことがあった 「動詞句」
 preciosas narraciones プレシオサス・ナラシオネス pl.n.f 素晴らしい話を 「目的語」
 preciosas プレシオサス adj.f.pl(precioso) 素晴らしい narraciones ナラシオネス pl.n.f(narración) 話
 en las エン・ラス adv. 話の中で 「副詞句」
 que ケ conj. ～ということ 「目的語」
 ciertos niños シェルトス・ニョス pl.n.m ある子供たちが 「主語」
 ciertos シェルトス adj.pl(cierto) ある、いくつかの
 habían acabado, アビアン・アカバト 3 複線・完了形(acabar+現在分詞)
 v.i 終わった 「動詞句」

1 Por la madriguera del Conejo

o オ conj. または、あるいは

quemándose, ケマントセ 現在分詞(quemarse)

v.pr 結局はやけどした 「動詞句」

acabar+現在分詞 「結局は～する」

o オ conj. または、あるいは

devorados デボラトス 過去分詞・再帰受動(devorarse)

v.pr 貪り食われてしまった 「動詞句」

por fieras salvajes ホル・フィエラス・サルバヘス

adv. (動作主) 野獣によって 「副詞句」

fieras フィエラス pl.n.f(fiera) 猛獣 salvajes サルバヘス adj.pl(salvaje) 野生の

u ウ conj. または

o オ conj. または (o-や ho-で始まる語の前では u を使用する)

otras cosas オトラス・コサス pl.n.f その他の事 「目的語」

no menos desagradables, ノ・メノス・デサグラダブレス

adj.pl それほどこいやでもない 「形容詞句」

tan sólo タン・ソロ adv. ただ～だけ 「副詞句」

por +不定詞・完了形・否定

adv. (原因) ～しなかったために 「副詞句」

no haber querido hacer ノ・ハベール・クレトアセル 不定詞・完了形・否定(querer+不定詞)

v.t ～を実行しようとしなかった 「動詞句」

caso カソ n.m 事例、場合 「目的語」

de las simples advertencias デ・ラス・シンプレス・アドベルテンシヤス

adj. 簡単な注意の 「形容詞句」

que ケ pron (目的語) ～した 「形容詞節」

sus amigos スス・アミゴス pl.n.m 友達が 「主語」

les レス pron 彼らに 「間接目的語」

habían enseñado: アビアン・エンセニャト 3 複線・完了形(enseñar)

v.t 教えていた 「動詞句」

1 Por la madriguera del Conejo

その注意ごとの例と言え、真ッ赤に焼けた鉄棒をいつまでも手に持っているとやけどをするよとか、ナイフで指をとて深く切ったら大抵は血が出るよ、といったものです。

como, por ejemplo, que un hierro al rojo quema si no lo suelta uno a tiempo, o que si uno se corta el dedo muy hondo con un cuchillo acaba por lo general sangrando;

como 「副詞句」「目的語」 o 「目的語」

como, コモ adv. ーのようなもの

「副詞句」

por ejemplo, ホル・エヘンプロ adv. その例としては、例えば

「副詞句」

que ケ conj. ーということ

「目的語」

un hierro ウン・イエロ n.m 鉄の棒は

「主語」

al rojo アル・ロホ adj. (様態) 真ッ赤な

「形容詞句」

quema ケマ 3 単現(quemar)v.t やけどさせる

「動詞」

si シ conj. もしーならば

「副詞節」

no ...suelta ノ...スエルト 3 単現・否定(soltar)

v.t 離さない

「動詞句」

lo ロ pron それを

「目的語」

uno a tiempo, ウノ・ア・ティエンホ adv. かなりの時間

「副詞句」

o オ conj. または

que ケ conj. ーということ

「目的語」

si シ conj. もしーならば

「副詞節」

uno ウノ pron 人が

「主語」

se corta セ・コルタ 3 単現(cortarse)

v.pr (自分の体の一部を) 切る

「動詞句」

el dedo エル・デト n.m 指を

「目的語」

muy hondo マイ・オント adv. とても深く

「副詞句」

con un cuchillo コン・ウン・クチジョ adv. ナイフで

「副詞句」

acaba ...sangrando; アカバ...サングラント 3 単現・結末(acabar+現在分詞)

v.i 結局は血を流す

「動詞句」

por lo general ホル・ロ・ヘネル adv. 大抵は、一般的に

「副詞句」

そしてアリスは、「毒」と書かれた瓶の中身を飲みすぎたら、遅かれ早かれ、困ったことになるよ、という注意も忘れませんでした。

y tampoco había olvidado Alicia que si uno se empeña en beber demasiado de una botella que diga «veneno», acabará sentándole a uno mal tarde o temprano.

y 「副詞」「動詞句」「主語」「目的語」

y イ conj. そして

tampoco タンポコ adv. ーもまた... ない

「副詞」

1 Por la madriguera del Conejo

había olvidado アビ^ア・オルビ^ダト^ト 3 単線・完了形(olvidar)

v.t (否定文で) 忘れなかった 「動詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

uno ウノ pron 人が 「主語」

se empeña en +不定詞 セ・エンパ^ニ・エン 3 単現・試行(empeñarse en+不定詞)

v.pr ～しようとする 「動詞句」

beber ベ^ベール 不定詞 v.t 飲む 「動詞句」

demasiado デ^{マシ}アト^ト adv. 過度に 「副詞」

de una botella デ^{ウナ}・ボテジャ^{ジャ} adv. 瓶から 「副詞句」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

diga ディカ^カ 接・3 単現・假定(decir)

v.t 言っている 「動詞」

«veneno», ベネノ n.m 毒 「目的語」

acabará sentándole アカバ^ラ・センタント^ト・レ 3 単未・結末(acabar+現在分詞)

v.pr 結局はその人を座らせることになる 「動詞句」

a uno mal, ア^{ウナ}・マル adv. 不都合に 「副詞句」

tarde o temprano. タルデ^オ・オテンプラ^ラ adv. 遅かれ早かれ 「副詞句」

それでも、この瓶のどこにも「毒」と書かれていませんでした。それで、アリスは思い切ってその中身を味見してみました。

No obstante, esta botellita no decía «veneno» por ningún lado, así que Alicia se atrevió a probar su contenido;

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」, así que 「主語」「動詞句」「目的語」

No obstante, ノ^{オブ}スタ^{ンテ} adv. とはいえ、それにもかかわらず 「副詞句」

esta botellita エスタ^{ボテ}ジャ^{ジャ} n.f この小瓶は 「主語」

botella ボテジャ^{ジャ} n.f 瓶 -ito, ita 縮小辞

no decía ノ^デシア 3 単線・否定(decir)v.t 言っていなかった 「動詞句」

«veneno» ベネノ n.m 毒と 「目的語」

por ningún lado, ポ^ル・ニンゲン^ン・ラト^ト adv. (場所) どこにも～ない 「副詞句」

así que +直説法 アシ^ケ conj. それで～する

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

se atrevió a +不定詞 セ^アトレビ^オ・ア 3 単点・積極(atreverse a+不定詞)

v. 思い切って～した、敢えて～した 「動詞句」

probar プ^ロバール 不定詞 v.t 試食する 「動詞句」

1 Por la madriguera del Conejo

su contenido; ス・コンテント n.m 中身を 「目的語」

そして、その味が気に入ったのだろうが、(それは、本当に、サクランボとプリンとパイナップルと七面鳥のローストとハチミツ飴とバター入りの熱々の固焼きトルティージャを混ぜ合わせたケーキのようだった)、結局はすぐにすべてを飲み干してしまった。

y, como le gustara su sabor (era, en verdad, algo así como una mezcla de tarta de cerezas, flan, piña, pavo asado, melcochas y tostadas calientes con mantequilla), acabó pronto por bebérselo todo.

y 「副詞節」(「動詞」「副詞句」「補語」), 「動詞句」「副詞」「動詞句」

y, イ conj. そして

como コモ conj. ～なので 「副詞節」

le レ pron 彼女にとって 「間接目的語」

gustara グスタラ 接・3 単過・推量(gustar)v.i 気に入った (のだと思う) 「動詞」

su sabor ス・サボール n.m その味が 「主語」

(era, エラ 3 単線(ser)v.i (その味は) ～だった 「動詞」

en verdad, エン・ベルダド adv. 本当に 「副詞句」

algo así como アルゴ・アシ・コモ pron まるで～のようなもの 「補語」

una mezcla ウナ・メスクラ n.f 混合物 「目的語」

de tarta デ・タルタ adj. ケーキの 「形容詞句」

de デ adj. (材料) ～の 「形容詞句」

cerezas, セレサス pl.n.f サクランボ 「目的語」

flan, フラン n.m プリン 「目的語」

piña, ピニャ n.f パイナップル 「目的語」

pavo asado, パボ・アサド

n.m 七面鳥のロースト 「目的語」

melcochas メルコチャス pl.n.f ハチミツ飴 「目的語」

y イ conj. そして

tostadas トスタダス n.f 固焼きトルティージャ 「目的語」

calientes カリエテス adj.pl 熱々の 「形容詞」

con mantequilla), コン・マンテキジャ

adv. バター入りの 「副詞句」

acabó ...por bebérselo todo. アカボ ...ポル・ベ・ベール・セ・ロ・トト 3 単点・結局

(acabar por+不定詞)v.i 結局はそれをすべて飲んだ 「動詞句」

pronto プロント adv. すぐに 「副詞」

1 Por la madriguera del Conejo

☆ ☆ ☆ ☆ ☆
 ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆
 ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

「なんて奇妙な感覚なんだろう！」と、アリスが言った。「まるで望遠鏡みたいに縮んでい
 っている感じがする」

«¡Qué sensación más extraña! -dijo Alicia-. ¡Siento como si me estuviera plegando como un telescopio!»

《「主語」, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「目的語」》

«¡Qué int. なんて～なのだろう

「感嘆」

sensación センサシオン n.f 感覚

「主語」

más extraña! マス・エクストラニャ adj.f(extraño) とても奇妙な

「形容詞句」

-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

Alicia-. アリシア n.f アリスが

「主語」

¡Siento シェント 1 単現(sentir)v.t 感じる

「動詞」

como si コモ・シ conj. まるで～することを

「目的語」

me estuviera plegando メ・エストゥビエラ・プレガンド 接・1 単過・再帰受動・進行形(plegarse)

v.pr 畳み込まれていく

「動詞句」

como un telescopio! コモ・ウン・テレスコピオ adv. 望遠鏡みたいに

「副詞句」

接続法 :

接続法は「不確かな」あるいは「まだ実現していない」事柄を話し手の頭の中で考えられた
 こととして主観的に述べる表現法です。

主節の動詞が「願望・依頼・勧告・命令・許可・禁止」など意志を表すとき。

主節の動詞が「疑惑・否定」などを表すとき。

主節の動詞が喜怒哀楽・恐れなどの「感情」を表すとき。

主節が「必要性・可能性」など価値判断を表す無人称表現で。

そして本当にその通りでした：アリスは今では身長がたった 25 センチになっていました。

それで、あのドアを通り抜けて、美しい庭に入るのにちょうどよい大きさになったと考えて、
 その喜びで彼女の顔は輝きました。

Y así era, en efecto: ahora tenía tan sólo diez pulgadas de altura, y su cara se iluminó de
 alegría al pensar que tenía precisamente el tamaño adecuado para poder pasar por la
 puertecilla y entrar en aquel precioso jardín.

Y「補語」「動詞」「副詞句」:「副詞」「動詞」「目的語」y「主語」「動詞句」「副詞句」

Y イ conj. そして

así アシ adv. そのように

「補語」

接続法 :

1 Por la madriguera del Conejo

era, エラ 3 単線(ser)v.i	～だった	「動詞」
en efecto: エン・エフェクト	adv. 実際に、本当に	「副詞句」
ahora アオラ	adv. 今では	「副詞」
tenía テニア 3 単線(tener)v.t	(身体的特徴) あった	「動詞」
tan sólo diez pulgadas タン・ソロ・ディエス・プルカダス pl.n.f	たった 10 インチ	「目的語」
de altura, デ・アルトゥラ	adj. 身長が	「形容詞句」
y イ conj.	そして	
su cara ス・カラ n.f	彼女の顔は	「主語」
se iluminó セ・イルミノ 3 単点(iluminarse)v.pr	(顔が) 輝いた	「動詞句」
de alegría デ・アレグリア	adv. (原因) 喜びで	「副詞句」
al +不定詞 アル・ペンサル	adv. ～して	「副詞句」
pensar ペンサル 不定詞 v.t	考える	「動詞」
que ケ conj.	～ということを	「目的語」
tenía テニア 3 単線(tener)v.t	(身体的特徴) ～になった	「動詞」
precisamente プレシサメンテ	adv. ちょうど	「副詞」
el tamaño エル・タマニョ n.m	大きさ	「目的語」
adecuado アデクアト adj.	適した	「形容詞」
para +不定詞 パラ	adv. (目的) ～するために	「副詞句」
poder pasar ポ・デール・パサル 不定詞・可能		
v.i	通過できる	「動詞句」
por la puertecilla ホル・ラ・フ・エルテシジャ		
adv.	小さなドアを通して	「副詞句」
puerta プ・エルタ n.f	ドア -ecilla(-ecillo) 「示小接尾辞」 → puertecilla n.f	小さなドア
y イ conj.	そして	
entrar エントラル 不定詞・可能		
v.i	入れる	「動詞句」
en aquel precioso jardín. エン・アケル・プレシオソ・ハルティン		
adv.	あの美しい庭に	「副詞句」
precioso プレシオソ adj.	美しい、素晴らしい	

しかし最初に、まだ縮み続けていないかどうかを確かめるために、何分か待とうと思った。

Pero primero quiso esperar unos minutos para ver si iba a seguir menguando:

Pero 「副詞」 「動詞句」 「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし

primero プリメロ adv. 最初に、まず

「副詞」

quiso esperar キソ・エスペラル 3 単点・意思(querer+不定詞 esperar)v.i

1 Por la madriguera del Conejo

v.i 待とうと思った	「動詞句」
unos minutos ウノス・ミヌトス pl.n.m 数分間	「副詞句」
para +不定詞 パラ adv. (目的) ~するために	「副詞句」
ver ベール 不定詞 v.t 見る、確認する	「動詞」
si シ conj. ~するかどうかということ	「目的語」
iba a seguir menguando: イバ・ア・セギール・メングアント 3 単線・仮定法・継続(ir a+不定詞)	
v.i 縮み続けていないかどうか	「動詞句」
menguar メングアール v.i 減少する seguir+現在分詞 「~し続ける、~であり続ける」	

この思い付きは少し彼女を心配させました。それで、「あなたもわかる通り、もしかすると、自分は結局ロウソクみたいに完全に消えてしまうかもしれない」と、自分に言った。

esta idea la inquietaba un tanto, pues «a lo mejor resulta que acabo desapareciendo por completo, ya se sabe, como una vela», se dijo Alicia.

	「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」
pues 《「副詞句」「動詞」「補語」》, 「動詞句」「主語」	
esta idea エスタ・イデア n.f この思い付きは	「主語」
la ラ pron 彼女を	「目的語」
inquietaba インキエタバ 3 単線(inquietar)v.t 心配させた	「動詞」
un tanto, ウン・タント adv. なにがしか、多少は	「副詞句」
pues プエス conj. (継続) それで~する	
«a lo mejor ア・ロ・メホル adv. もしかすると	「副詞句」
resulta レスルタ 3 単現(resultar)v.i(que+直説法 ~という) 結果に終わる	「動詞」
que ケ conj. ~ということ	「補語」
acabo desapareciendo アカボ・デサパレシエント 1 単現・結局(acabar+現在分詞)	
v.i 結局は消えてしまう	「動詞句」
por completo, ホル・コンプレト adv. 完全に、徹底的に	「副詞句」
ya se sabe, ヤー・セ・サベ 3 単現(acabarse)adv. すでに知っているように	「副詞句」
como una vela, コモ・ウナ・ベラ adv. ろうそくのように	「副詞句」
se dijo セ・デヨ 3 単点(decirse)v.pr 自分に言った	「動詞句」
Alicia. アリシア n.f アリスは	「主語」

1 Por la madriguera del Conejo

「その後、私自身はどんな風になるのだろうか？」と、同じようなことを一度も見た覚えがなかったので、ロウソクが吹き消された時にロウソクの炎に何が起こるのだろうと想像しようとしながら、アリスは自問しました。

«¿Qué sería entonces de mí?», se preguntó, intentando imaginarse qué le pasaba a la llama de una vela cuando se la apaga de un soplo, pues no recordaba haber visto nunca nada semejante.

《「補語」「動詞」「副詞句」》, 「動詞句」「副詞句」, 「副詞節」

«¿Qué 何 pron 何 「補語」

sería セリア 1 単過未・推量(ser)v.i へになるのだろう 「動詞」

entonces エントネス adv. それでは、その後は 「副詞句」

de mí?», デ・ミ adv. 私自身については 「副詞句」

se preguntó, セ・プレグント 3 単点(preguntarse)v.pr 自問した 「動詞句」

intentando +不定詞 インテンタント ジェルンディオ(intentar+不定詞)

v. へしようとしながら 「副詞句」

imaginarse イマギナルセ 不定詞 v.pr 想像する 「動詞句」

qué 何 pron (主語) 何がへするかということ 「目的語」

le レ pron それに 「間接目的語」

pasaba パサバ 3 単線・仮定法(pasar)v.i 起こるだろう 「動詞」

a la llama ア・ラ・ジャマ adv. 炎に 「間接目的語」

de una vela デ・ウナベラ adj. ロウソクの 「形容詞句」

cuando クワンДО conj. へするときに 「副詞節」

se la apaga セ・ラ・アパガ 3 単現・再帰受動(apagarse)

v.pr 消された 「動詞句」

de un soplo, デ・ウン・ソプロ adv. (手段) 一息で 「副詞句」

pues プエス conj. へなので 「副詞節」

no recordaba ノ・レコルダバ 3 単線・否定(recordar)v.t 覚えていなかった 「動詞句」

haber visto nunca アバー・ル・ビスト 不定詞・完了形・否定(ver)

n. へを一度も見たことがなかったということ 「目的語」

nada ナダ pron 何もへない 「目的語」

semejante. セマンテ adj. 同じような、似た 「形容詞」

1 Por la madriguera del Conejo

少し時間がたって、それ以上何も起こらないことが分かったので、すぐに庭の中に入る決心をしました。ところが、ああ、可哀そうなアリス！ドアのところに着いてみると、小さい金の鍵を置き忘れてきたことに気が付きました。

Después de un rato, como vio que ya no le sucedía nada más, se decidió a entrar en el jardín inmediatamente; pero, ¡ay, pobre Alicia!, cuando llegó a la puerta se encontró con que se había dejado la llavecita de oro,

「副詞句」, 「動詞句」 「副詞句」; pero 「感嘆」 「副詞節」, 「動詞句」 「目的語」
Después de un rato, デスプ エス・デ・ウン・ヲト adv. 少ししてから、少し後で 「副詞句」

rato ラト n.m 短時間

como コモ conj. ～なので 「副詞節」

vio ビオ 3 単点(ver)v.t 分かった、理解した 「動詞」

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

ya no ...sucedió ヤー・ノ...スセディア 3 単線・否定(suceder)

v.i もう起こらない 「動詞句」

le レ pron 彼女に 「間接目的語」

nada más, ナダ・マス pron それ以上何も～ない 「主語」

se decidió a entrar セ・デシディエ・ア・アントラル 3 単点・決心(decidirse a+不定詞)

v.i ～に入る決心をした 「動詞句」

en el jardín エン・ネル・ハルディン adv. 庭の中に 「副詞句」

inmediatamente; インメディアタメンテ adv. すぐに 「副詞」

pero, ペロ conj. しかし

¡ay, pobre Alicia!, アイ・ポブレ・アリシア int. ああ、可哀そうなアリス 「感嘆」

cuando クワント conj. ～すると 「副詞節」

llegó ジェゴ 3 単点(llegar)v.i 着いた 「動詞」

a la puerta ア・ラ・プエルタ adv. ドアに 「間接目的語」

se encontró セ・エンコントロ 3 単点(encontrar)

v.pr (con que+直説法) ～であることに気づいた 「動詞句」

con que コン・ケ conj. ～であるということ 「目的語」

se había dejado セ・アビア・デハド 3 単線・完了形(dejarse)

v.pr ～を置き忘れた 「動詞句」

la llavecita ラ・ジャベシタ n.f(llave+cita) 小さい鍵を 「目的語」

de oro, デ・オロ adj. (材料) 金の「形容詞句」

1 Por la madriguera del Conejo

それでテーブルのところに帰ってみると、テーブルは彼女の手が届かない高さになっていました。

y cuando fue a por ella, la mesa le quedaba demasiado alta para alcanzarla.

y 「副詞句」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞」 「補語」

y イ conj. そして

cuando クワント conj. ～するとき 「副詞句」

fue フェ 3 単点(ir)v.i 行った 「動詞」

a por ella, ア・ポル・エジャ

adv. (ella は mesa の代用) テーブルのところへ 「間接目的語」

la mesa ラ・メサ n.f テーブルは 「主語」

le レ pron 彼女にとっては 「間接目的語」

quedaba クダバ 3 単線(quedar)v.i (～の状態に) になっていた 「動詞」

demasiado alta デマシアト・アルタ adj. 高すぎる 「補語」

para alcanzarla. パラ・アルカンサル・ラ adv. (目的) それに届くには 「副詞句」

ガラス越しに鍵がはっきり見えていたので、なんとかして、テーブルの脚の一つを伝ってよじ登ろうとしましたが、あまりにもつるつる滑って登れませんでした。

Podía verla claramente a través del cristal, e intentó trepar por todos los medios por una de las patas de la mesa, pero era demasiado resbaladiza;

「動詞句」 「副詞句」 e 「動詞句」 「副詞句」 ,pero 「動詞」 「補語」

Podía verla ポデア・ベル・ラ 3 単線・可能(poder+不定詞 ver+la)

v.t 鍵が見えた 「動詞句」

la は la llavecita de oro (小さな金の鍵) の代用

claramente クラマンテ adv. はっきりと、明瞭に 「副詞」

a través de ア・トラヴェス・デル adv. ～を通して 「副詞句」

cristal, クリスタル n.m ガラス 「目的語」

e エ conj. そして

intentó trepar インテント・トレパール 3 単点・試行(intentar+不定詞)

v.i よじ登ろうとした 「動詞句」

por todos los medios ポル・トス・ロス・メディオス adv. あらゆる手段を用いて 「副詞句」

por una de las patas ポル・ウナ・デ・ラス・パタス adv. 脚の一つを伝って 「副詞句」

de la mesa, デ・ラ・メサ adj. テーブルの 「形容詞句」

pero ペロ conj. しかし

era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」

主語は una de las patas de la mesa テーブルの脚

demasiado resbaladiza; デマシアト・レスバラディサ adj.f あまりにも滑りやすい 「補語」

1 Por la madriguera del Conejo

そして、いろいろ試したことがすべてうまくいかなかったので、可哀そうな女の子は床の上に座って、泣き出した。

y cuando ya desesperó de cuantos esfuerzos hacía, la pobre niña se sentó en el suelo y se puso a llorar. y 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 y 「動詞句」

y イ conj. そして

cuando クワント conj. ～して、～するとき 「副詞節」

ya ヤー adv. もう 「副詞」

desesperó デセスペロ 3 単点(desesperar)v.i (de に) 絶望した 「動詞」

de デ prep (主題) ～について 「間接目的語」

cuantos esfuerzos クワントス・エスフエルトス

pron (関係代名詞) ～するすべての努力 「目的語」

hacía, アシア 3 単線(hacer)v.t 今までやっていた 「動詞」

la pobre niña ラ・ポブレ・ニャ n.f 可哀そうな女の子は 「主語」

se sentó セ・セント 3 単点(sentarse)v.pr 座った 「動詞句」

en el suelo エン・ネル・スエロ adv. 床の上に 「副詞句」

y イ conj. そして

se puso a llorar. セ・プソ・ア・ジョラル 3 単点・開始(ponerse a+不定詞)

v.pr 泣き出した、泣き始めた 「動詞句」

cuanto 「全部」を表す関係形容詞・関係代名詞・代名詞・副詞

この文の cuantos は関係形容詞で、直後に置かれた名詞 esfuerzos と合わせて、先行詞を含んだ関係代名詞として節を構成している。動詞 hacía が続くことで、「～したすべての努力」を意味する「名詞節」や「副詞節」となる。

Le doy cuanto dinero tengo. 私は、自分が持っている全ての金を、彼に与える。

Los perros enseñan los dientes a cuanto desconosido ven.

犬は知らない人を見かけると誰にでも歯を見せる。

Recuerdo a mi madre cuantas veces paso por esta calle.

私はこの街を通るたびにいつも母を思い出す。

英語版では :

when she had tired herself out with trying, 「いろいろ試すことに疲れ果てて…」

cuanto 「全部」を表す関係形容詞・関係代名詞・代名詞・副詞

1 Por la madriguera del Conejo

「こら！そんな風に泣いたって何の役にもたたないよ！」と、アリスは強い調子で自分自身に言い聞かせました。「分かったら、すぐに泣き止んだほうがいいよ！」

«¡Vamos! ¡De nada sirve llorar de esta manera! -se dijo Alicia a sí misma con bastante firmeza-. ¡Será mejor que pares ahora mismo, si sabes lo que es bueno!»

《「呼びかけ」 | 「間接目的語」「動詞」「主語」》, 「動詞句」「主語」「副詞句」,
《「動詞」「補語」「主語」》

«¡Vamos!	バモス adv. (促して) さあ、こら	「呼びかけ」
¡De nada	デ・ナダ adv. 何のためにも～ない	「間接目的語」
sirve	シルベ 3 単現(servir)v.i (de に) 役に立つ	「動詞」
llorar	ジョラル 不定詞 v.i 泣くことは	「主語」
de esta manera!	デ・エスタ・マネラ adv. (手段) そんな風に	「副詞句」
-se dijo	セ・デヨ 3 単点(decirse)v.pr 自分に言った	「動詞句」
Alicia	アリシア n.f アリスは	「主語」
a sí misma	ア・シ・ミスマ adv. 自分自身に	「副詞句」
con bastante firmeza-	コン・バスタンテ・フィルメサ adv. 断固として、強い調子で	「副詞句」
¡Será	セラ 3 単未・推量・勧誘(ser)v.i ～だろう	「動詞」
mejor	メル adj. よりよい	「補語」
que	ケ conj. ～ということは	「主語」
pares	パレス 接・2 単現(parar)v.i 泣きやむ	「動詞」
mejor など「評価」に導かれる節は接続法を使用する		
ahora mismo,	アオラ・ミステ adv. 今すぐに	「副詞句」
si	シ conj. もし～ならば	「副詞節」
sabes	サベス 2 単現(saber)v.t 分かる	「動詞」
lo	ロ pron それを	「目的語」
que	ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
es	エス 3 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
bueno!»	ブエノ adj. よい	「補語」

1 Por la madriguera del Conejo

アリスはいつもとても立派な忠告を自分自身に与えていた（考えてみると、めったに忠告に従わなかったけれど）、そして時には、あまりにも厳しく自分を叱りすぎて、泣き出すこともあったくらいだ。

Es que Alicia solía darse por lo general muy buenos consejos (ahora, que rara vez los seguía), y a veces se regañaba tan severamente que se le saltaban las lágrimas;

「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」「副詞句」「目的語」「動詞」

y 「副詞句」「動詞句」「副詞句」 que 「動詞句」「主語」

Es que エス・ケ conj. ～ということである

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

solía darse ソリア・ダルセ 3 単線・習慣(soler+不定詞)v.pr いつも自分に与えていた 「動詞句」

por lo general ポル・ロ・ヘネラル adv. 一般的に、概して 「副詞句」

muy buenos consejos ムイ・ブエノス・コンセホス pl.n.m とても立派な忠告を 「目的語」

(ahora, que アハラ・ケ adv. 考えてみると 「副詞句」

rara vez ララ・ベス adv. めったに～ない 「副詞句」

los ロス pron それらの忠告に 「目的語」

seguía, セギア 3 単線・否定文(seguir)v.t 従わなかった 「動詞」

y イ conj. そして

a veces ア・ベセス adv. 時々 「副詞句」

se regañaba セ・レガニャバ 3 単線(regañarse)v.pre 自分自身を叱っていた 「動詞句」

tan severamente タン・セバラムンテ adv. あまりにも厳しく 「副詞句」

que ケ conj. (結果) それで～する

se le saltaban セ・レ・サルタバン 3 複線(saltarse+le)v.pr 彼女自身に嘔き出す 「動詞句」

las lágrimas; ラス・ラグリマス pl.n.f 涙が 「主語」

ser que :

Es que... 「～ということだ」(理由・説明・言い訳など)

Es que quisiera pedirle un favor. 実はあなたに一つお願いがあるのですが。

疑問文で話し手の驚き・願望などを暗示する。

¿Es que han dado ya las doce? もう 12 時になったのですか?

¿Es que no me vas a dejar solo? 私を一人にしておいてくれないかな?

名詞+ser que...

El caso es que no tengo mucha hambre. 実は私はあまり空腹ではないのです。

La cosa es que tengo mucho miedo a la altura. 本当は私は高所恐怖症なのだ。

La verdad es que no quiero hablar con él. 正直なところ私は彼と話をしたくない。

lo que... ser que...

Lo que hay es que estoy cansado. 何というか私は疲れてしまった。

1 Por la madriguera del Conejo

Lo que pasa es que no tengo dinero. 実をいうと私にはお金がないのだ。

Lo que ocurre es que tengo que trabajar mucho.

今のところ私は頑張ってはたらかなければならない。

Lo primero es que vosotros os hagáis al frío del país nórdico.

まず最初に大切なのは、君たちが北の国の寒さに馴れることだ。

ahora que+直説法：～する今になって

Ahora que pienso, será mejor que no vayas. 考えてみると、君は行かないほうがいいよ。

Ahora que me conoces, tenemos que despedirnos.

我々は今知り合ったばかりなのに、別れなければならない。

自分自身を相手にクロケーをやっている時に、ずるをしたので、自分を強く平手打ちしたことさえあったくらいです。というのは、この風変わりな女の子は、一人二役を演じるのがとても好きだったのです。

se acordaba incluso de unas buenas bofetadas que se dio ella misma por haber hecho trampas jugando al croquet consigo misma, pues a esta niña tan original le gustaba mucho comportarse como si fuera dos personas a la vez.

「動詞句」「間接目的語」,「副詞節」

se acordaba セ・アコルダバ 3 単線(acordarse)v.pr(de を) 覚えていた

「動詞句」

→ ～があった

incluso インクル adv. ～さえも

「副詞」

de unas buenas bofetadas テ・ウナス・ブエナス・ボフエタダス adv. 強い平手打ちを 「間接目的語」

bofetada ボフエタダ n.f 平手打ち、びんた、打撃、侮辱

que ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

se dio セ・ディオ 3 単点(darse)

v.pr (自分の体の一部を) ぶつけた

「動詞句」

ella misma エジャ・ミスマ pron 彼女自身が

「主語」

por +不定詞・完了形 ポル adv. (原因) ～したために

「副詞句」

haber hecho ハベール・エチョ 不定詞・完了形(hacer)

v.t ～した

「動詞句」

trampas トランパス pl.n.f いかさまを、ずるを

「目的語」

jugando カント 現在分詞

v.i (時) ～を遊んでいるときに

「副詞句」

al croquet アル・クロケット

adv. クロケーを

「間接目的語」

consigo misma, コンシゴ・ミスマ

adv. 自分自身を相手にして

「副詞句」

ahora que+直説法：～する今になって

1 Por la madriguera del Conejo

pues プエス conj. (理由) ~なので	「副詞節」
a esta niña ア・エスタ・ニャ adv. この少女にとって	「間接目的語」
tan original タン・オリヒナル adj. とても風変わりな	「形容詞句」
le レ pron 彼女にとって	「間接目的語」
gustaba グスタバ 3 単線(gustar)v.i ~に気に入った	「動詞」
mucho ムチョ adv. とても	「副詞」
comportarse コンポルタセ 不定詞 n. 振舞うことが	「主語」
como si +接続法・仮定法過去 conj. まるで~したように	「副詞節」
fuera フェラ 接・3 単過(ser)v.i ~だった	「動詞」
dos personas ドス・ペルソナス pl.n 二人	「補語」
a la vez. ア・ラ・ベス adv. 同時に	「副詞句」

「しかし、今は何の役にも立たないだろう」と、可哀そうなアリスはすすり泣いた。「どうか1人だけが生き残っているような時に、一人二役をするなんてことは」

«Sólo que de nada me serviría ahora -sollozó la pobre Alicia-, portarme como dos personas, i cuando apenas queda una!»

《Sólo que 「補語」「間接目的語」「動詞」「副詞」》, 「動詞」「主語」, 《「主語」, 「副詞節」》	
«Sólo que +直説法 ソロ・ケ conj. しかし~する	「副詞節」
de nada デ・ナダ adj. 無価値の、何も~ない	「補語」
me メ pron 私にとって	「間接目的語」
serviría メ・セルビリア 1 単過未・推測(sevir) v.i (否定文で) 役に立たないだろう	「動詞」
ahora アハラ adv. 今は	「副詞」
-sollozó ソリョソ 3 単点(sollozar)v.i すすり泣いた、泣きじゃくった	「動詞」
la pobre Alicia-, ラ・ポブレ・アリシア n.f 可哀そうなアリスは	「主語」
portarme ポルタール・メ 不定詞・一人称(portarse)n. 振舞うことは	「主語」
como dos personas, コモ・ドス・ペルソナス adv. 2 人のように	「副詞句」
i cuando クワント conj. ~するときに	「副詞節」
apenas アペナス adv. どうか、せいぜい	「副詞」
queda クダ 3 単現(quedar)v.i 残っている	「動詞」
una!» ウナ pron 一人が	「主語」

1 Por la madriguera del Conejo

少しすると、彼女の目がテーブルの下にあったガラスの小さな箱の上に止まった；箱を開けると、中にとっても小さなケーキが見えて、ケーキの上には、カリンズの果実を使って「私を食べて！」と美しく書かれた赤い文字が読み取れました。

Al poco, sus ojos se posaron sobre una cajita de cristal que yacía bajo la mesa; la abrió y vio dentro un diminuto pastelillo sobre el que se leía «CÓMEME» hermosamente escrito con letras de grosella.

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」；

「目的語」「動詞」 y 「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」

Al poco, アル・ポコ adv.(al poco tiempo) 少しして、すぐに 「副詞句」

sus ojos ス・ホス pl.n.m 彼女の眼が 「主語」

se posaron セ・ポサロ 3 複点(posaarse)v.pr (鳥などが) とまった 「動詞句」

sobre una cajita ソブレ・ウナ・カタ adv. 小さな箱の上に 「副詞句」

cajita カタ n.f ← caja カ n.f 箱 + -ita 「示小接尾辞」

de cristal デ・クリスタル adj. ガラスの 「形容詞句」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

yacía ヤシア 3 単線(yacer)v.i (ある場所に) あった 「動詞」

bajo la mesa; バホ・ラ・メサ adv. テーブルの下に 「副詞句」

la ラ pron.f それを 「目的語」

abrió アブリオ 3 単点(abrir)v.t 開けた 「動詞」

y イ conj. そして

vio ビオ 3 単点(ver)v.t 見えた 「動詞」

dentro デントロ adv. 中に 「副詞」

un diminuto pastelillo ウン・ディミニート・パステリジョ n.m とても小さいケーキ 「目的語」

sobre el ソブレ・エル adv. その上に 「副詞句」

el は pastelillo の代用

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

se leía セ・レイア 3 単線・再帰受動(leerse)v.pr 読める 「動詞句」

«CÓMEME» コメ・メ 命・2 単現(comer+me)

v.t 「私を食べて！」が 「主語」

hermosamente エルモサメンテ adv. 美しく 「副詞」

escrito エスクリト 過去分詞・受動(escibir)adj. 書かれた 「形容詞」

con letras コン・レTRAS adv. 文字で 「副詞句」

de grosella. デ・グロセジャ

adj. (材料) スグリの 「形容詞句」

英語版では「カラント」を使って書かれていた

the words 'Eat me' were beautifully marked in **currants**.

カラントは地中海地方の「小粒の種なし干しブドウ」の他に、「スグリ」の意味もある。

英語版では「カラント」を使って書かれていた

1 Por la madriguera del Conejo

干しブドウで書いた文字が綺麗とは思えないので、この翻訳では「**カリンズ**」を採用した。

スグリ：

スグリ科スグリ属の植物、および果実。グズベリー、**レッドカラント**（グロゼイユ、フサスグリ、**カリンズ**）、**ブラックカラント**（カシス）などが食用に利用されている。

グズベリー



カリンズ



ブラックカラント（カシス）



「それじゃあ、このケーキを食べてしまおう」と、アリスは言った。「それでもし私が大きくなったら、鍵に手が届くようになるだろうし、逆に私が小さくなったら、それでもドアの下の隙間から中に滑り込めるだろう」

«Bueno, me lo comeré -dijo Alicia-. Si me hace crecer, alcanzaré la llave, y si me hace menguar, siempre podré deslizarme por debajo de la puerta;

《「副詞」「動詞句」》, 「動詞」「主語」,

《「副詞節」, 「動詞」「目的語」 y 「副詞節」, 「副詞」「動詞句」「副詞句」》

«Bueno, ブエノ adv. それじゃあ、よし 「副詞」

me lo comeré メ・ロ・コメレ 1 単未・意思(comerse+lo)v.pr それを食べてしまおう 「動詞句」

-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia-. アリシア n.f アリスは 「主語」

Si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

me メ pron 私を 「目的語」

hace アセ 3 単現・使役(hacer)v.t ～させる 「動詞」

crecer, クセール 不定詞・me の動作 v.i 大きくなる 「補語」

alcanzaré アルカンサレ 1 単未・推量(alcanzar)v.t ～に手が届くだろう 「動詞」

la llave, ラ・ジヤベ n.f 鍵に 「目的語」

y イ conj. そして

si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

スグリ：

1 Por la madriguera del Conejo

me メ pron 私を	「目的語」
hace アセ 3 単現・使役(hacer)v.t ~させる	「動詞」
menguar, メングアル 不定詞・me の動作 v.i 小さくなる	「補語」
siempre シエンプレ adv. それでも、相変わらず	「副詞」
podré deslizarme ホトレ・デスリサル・メ 1 単未・可能・推量(poder+不定詞)	
v.pr(por を) 滑り込めるだろう	「動詞句」
por debajo de la puerta; ホル・デバ・ホ・デ・ラ・プエルタ adv. ドアの下の間隙から	「副詞句」

「大きくなろうが、小さくなろうが、どちらでも庭の中に入れるってことね？それじゃあ、私はどちらでも構わないわ」

de una u otra manera entraré en el jardín, y si es así, a mí qué más me da una cosa que otra!»	《「副詞句」, 「動詞」 「副詞句」》
de デ prep (手段) ~によって	「副詞句」
una u otra manera ウナ・ウ・オトラ・メネラ n.f どちらの方法でも	「目的語」
entraré エントレ 1 単未(entrar)v.i 入れるだろう	「動詞」
en el jardín, エ・ネル・ハルデイン adv. 庭の中に	「副詞句」
y イ conj. そして	
si es así, シ・エス・アシ adv. もしそうなら	「副詞句」
a mí ア・ミ pron 私にとっては~	「副詞節」
qué ケ pron (反語) ~という訳ではない	
más ケ・マス adv. より多く	「副詞」
me メ pron 私に	「間接目的語」
da ダ・ 3 単現(dar)v.t 与える	「動詞」
una cosa que otra!» ウナ・コサ・ケ・オトラ pron 一方が他方よりも	「主語」
→ どちらかがより優れている訳ではない → どちらでもよい	

恐る恐る、ケーキの端っこを食べてみて、心配そうに自分に尋ねました。

Mordisqueó el pastelillo y se dijo ansiosamente:	「動詞」「目的語」 y 「動詞句」「副詞」
Mordisqueó モルディスケオ 3 単点(mordisquear)v.t(=mordiscar) かじった	「動詞」
el pastelillo エル・パステリジョ n.m 小さいケーキを	「目的語」
y イ conj. そして	
se dijo セ・ディヨ 3 単点(decirse)v.pr 自分に尋ねた	「動詞句」
ansiosamente: アンシオサメンテ adv. 心配そうに、やきもきしながら	「副詞」
かじる :	
かたい物の端を歯でかむ、また、かみとる。堅いものを前歯で少しずつそぎ取る。	

1 Por la madriguera del Conejo

「どっちなの？どっちなの？」と、頭の上に手をのせて、どちらのほうに変わり始めているかを確認していました。

«¿Hacia dónde? ¿Hacia dónde?», poniéndose la mano sobre la cabeza para ver en qué dirección iba a empezar a cambiar. 《「確認」》, 「副詞句」

«¿Hacia dónde? アシア・ドンテ° adv. どっちなの？ 「確認」

¿Hacia dónde?», アシア・ドンテ° adv. どっちなの？ 「確認」

poniéndose ポニエント°セ 現在分詞(poner+se)v.t (自分の体に) ～を置いて 「副詞句」

la mano ラ・マノ n.f 手を 「目的語」

sobre la cabeza ソブレ・ラ・カベサ adv. 頭の上に 「副詞句」

para +不定詞 パラ prep ～するために 「副詞句」

ver ベール 不定詞 v.t 確認する 「動詞」

en qué dirección エン・ケ・ディレクション

adv. どちらに～するかということ 「目的語」

→ 大きくなっているのか、小さくなっているのか

iba a empezar a cambiar. イバ°ア・エンパ°サル・ア・カンビアル 3 単線・開始

v.i 変わり始めている 「動詞句」

確認してみたら、何も変わっていなかったのも、とても驚いてしまいました。

Se quedó bien sorprendida cuando comprobó que no variaba ni en un sentido ni en el otro.

「動詞句」「補語」「副詞節」

Se quedó セ・ケト° 3 単点(quedarse)v.pr ～の状態になった 「動詞句」

bien sorprendida ビヤン・ソルプレンディダ° adj.f とても驚いた 「補語」

cuando クワント° conj. ～するとき 「副詞節」

comprobó コンプロボ° 3 単点(comprobar)v.t 確認した 「動詞」

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

no variaba ノ・バリアバ° 3 単線・否定(variar)

v.i 変わっていなかった 「動詞句」

ni en un sentido ニ・エン・ウン・セント° adv. ある意味でも～ない 「副詞句」

ni en el otro. ニ・エン・エル・オトロ° adv. 別の意味でも～ない 「副詞句」

1 Por la madriguera del Conejo

ケーキを食べたとしても、何も起こらないのが当たり前なのですが；

Claro que esto es lo que generalmente sucede cuando se comen pasteles;

	「補語」「主語」
Claro クラロ adj. 明らかな、当たりの	「補語」
que ケ conj. ～ということは	「主語」
esto エスト pron. こういうことは	「主語」
es エス 3 単現(ser)v.i. ～である	「動詞」
lo ロ pron. それ	「補語」
que ケ pron. (主語) ～する	「形容詞節」
generalmente ヘネルメンテ adv. 普通に	「副詞」
sucede セデ 3 単現(suceder)v.i. 起こる	「動詞」
cuando クワント conj. ～するときに	「副詞節」
se comen セ・コメン 3 複現・再帰受動(comerse)	
v.pr. 食べられる	「動詞句」
pasteles; パステレス pl.n.m. ケーキが	「主語」
能動態に翻訳する	

しかし、アリスは全てのことが何か途方もない様子で彼女に起こることに慣れすぎていました、そして人生がまるで何事もないように普通に流れていくことが明らかにつまらなくて馬鹿らしいことに思われたのです。

pero es que Alicia estaba ya tan acostumbrada a que todo cuanto le sucediera fuera algo extraordinario, que le parecía francamente una sosada y una estupidez que la vida discurriese normalmente, como si nada.

pero	pero 「動詞」「主語」, 「主語」
pero ペロ conj. しかし	
es エス 3 単現(ser)v.i. ～である	「動詞」
que ケ conj. ～ということ	「主語」
Alicia アリシア n.f. アリスは	「主語」
estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i. ～だった	「動詞」
ya tan acostumbrada ヤー・タン・アコストゥンブラダ adj.f(a に) とても慣れた	「補語」
a que ア・ケ adv. ～に	「副詞節」
todo cuanto トト・クワント pron. すべてのことが	「主語」
le レ pron. 彼女に	「間接目的語」
sucediera セデ・イエラ 接・3 単過・時制の一致・推量(suceder)	
v.i. 起こるだろう	「動詞」
fuera algo extraordinario, フェラ・アルコ・エクストラオルデ・イナリオ	
adv. 何か途方もない様子で	「副詞句」

1 Por la madriguera del Conejo

que ケ conj. ～ということ	「主語」
le レ pron 彼女に	「間接目的語」
parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i ～に見えた	「動詞」
francamente フランカメンテ adv. 明らかに	「副詞」
una sosada ウナ・ソサダ n.f つまらないこと	「補語」
sosa ソサ adj.f(soso) つまらない、面白くない、愛嬌のない	
y イ conj. そして	
una estupidez ウナ・エストゥピデス n.f 愚かなこと	「補語」
que ケ conj. ～ということが	「主語」
la vida ラ・ビダ n.f 人生が	「主語」
discurriese ディスクリエセ 接・3 単過・推量(discurrir)v.i 流れる	「動詞」
normalmente, ノルマルメンテ adv. 普通に	「副詞」
como si nada. コモ・シ・ナダ adv. まるで何事もないように	「副詞句」

それで、小さいケーキにかぶりついて、あっという間に食べつくしました。

Así pues, hincó el diente y en poco tiempo dio buena cuenta del pastelillo.	「副詞句」「動詞」「目的語」 y 「副詞句」「動詞句」「目的語」
Así pues, アシ・プエス adv. それで、だから	「副詞句」
hincó インコ 3 単点(hincar)v.t (歯を) 突き立てた	「動詞」
el diente エル・ディエンテ n.m 歯を	「目的語」
y イ conj. そして	
en poco tiempo エン・ポコ・ティエンポ adv. 短時間で、たちまちのうちに	「副詞句」
dio buena cuenta ディオ・ブエナ・クエンタ 3 単点(dar cuenta de...)	
v.t ～を (すっかり) 食べつくした	「動詞句」
dar cuenta de... 「～を食べつくす、消費し尽くす、～を知らせる」	
del pastelillo. デル・パステリジョ n.m 小さいケーキを	「目的語」
pastel パステル n.m ケーキ + -illo 縮小辞	

☆ ☆ ☆ ☆ ☆
 ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆
 ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

2 El charco de lágrimas

2 El charco de lágrimas

涙の池

El charco エル・チャルコ n.m 小さな池 「主語」

de lágrimas テ・ラクリマス adj. 涙の 「形容詞句」

「なんて奇妙なの！」と、アリスは叫んだ。(ひどく驚いて、正しく言葉が話せなかった)

-¡Curioso y raro! -exclamó Alicia (que estaba tan sorprendida que por el momento ya no sabía ni siquiera hablar correctamente el idioma)-.

《「感嘆」》, 「動詞」「主語」, (que「動詞」「補語」 que「副詞句」「動詞句」「副詞」「目的語」)

-¡Curioso クリオシオ adj. (curioso の間違い) 奇妙な 「感嘆」

y イ conj. そして

raro ラリョ adj. (raro の間違い) 風変わりな 「感嘆」

驚き過ぎて正しい言葉が話せない様子を表すために、curioso と raro に接尾辞 -ificar

(動詞化、使役を表す) を一人称現在形にして違和感を感じさせている→通常「感嘆」は

形容詞または副詞を用いる。意味が類似した単語を重ねて、驚きを強調している。

-exclamó エスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ 「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

(que ケ conj. ～ということ

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ～だった 「動詞」

tan sorprendida タン・ソルプレンディダ 過去分詞 adj.f(sorprender) それほど驚いた 「補語」

que ケ conj. ～ということ

por el momento ポル・エル・モメント adv. その時は 「副詞句」

ya ヤー adv. もう 「副詞」

no sabía ノ・サビャ 3 単線・否定(saber)v.t(+不定詞) ～出来なかった 「動詞句」

ni siquiera hablar ニ・シキエラ・アベール 不定詞・否定形 v.t 話すことさえ～ない 「動詞句」

correctamente コレクタメンテ adv. 正しく、きちんと 「副詞」

el idioma). エル・イディマ n.m 言葉を 「目的語」

「今度は、世界一大きな望遠鏡みたいに身長が伸びているわ！」

¡Ahora me estoy estirando como el telescopio más grande del mundo!

《「副詞」「動詞句」「副詞句」》

¡Ahora アハラ adv. 今度は、今 「副詞」

me estoy estirando メ・エストイ・エスチラント 1 単現・進行形(estirarse)

v.pr 身長が伸びている 「動詞句」

como コモ prep. ～のように 「副詞句」

el telescopio エル・テレスコピオ n.m 望遠鏡 「目的語」

2 El charco de lágrimas

más grande del mundo! マス・グランデ・テル・ムント

adj. 世界一大きな

「形容詞句」

「さようなら、足さん」と、叫んだ。(だって、下の方を見て自分の足を探すと、あまりにも早く遠ざかって行くので、今すぐにでも足が見えなくなってしまうように思われたから。)

¡Adiós, pies! -gritó, pues al mirar hacia abajo y buscarse los pies con la mirada, se estaban alejando tan rápidamente que parecía como si los fuera a perder de vista de un momento al otro.

《「呼びかけ」》, 「動詞」, 「副詞節」, 「副詞節」

¡Adiós, アディオス adv. さようなら

「呼びかけ」

pies! ピエス pl.n.m 足さん

「呼びかけ」

-gritó, グリト 3 単点(gritar)v.i 叫んだ

「動詞」

pues プエス conj. ～なので、だって～だから

「副詞節」

al +不定詞 アル 不定詞 (様態) ～すると

「副詞句」

mirar ミラル 不定詞 v.t 見る

「動詞」

hacia abajo アシア・アバホ adv. 下の方を

「副詞句」

y イ conj. そして

buscarse ブスカルセ 不定詞 v.pr 自分の～を探す

「動詞句」

los pies ロス・ピエス pl.n.m 足を

「目的語」

con la mirada, コン・ラ・ミラダ adv. じっと見つめて

「副詞句」

se estaban alejando セ・エスタバン・アレハント 3 複線・進行形(alejarse)

v.pr 遠ざかっていた

「動詞句」

tan rápidamente タン・ラピダメンテ adv. あまりにも早く

「副詞句」

que ケ conj.(tan...que) (結果) それで～する

「副詞節」

parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i ～のように見えた

「動詞」

como si コモ・シ conj. まるで～であるかのように

「副詞節」

los ロス pron.pl 足を

「目的語」

fuera a perder フェア・ア・ペルデール 接・3 単過・近接未来・推量(ir a+不定詞)

v.t 失ってしまうだろう

「動詞句」

de vista デ・ビスタ adv. 視界から

「副詞句」

de un momento al otro. デ・ウン・モメント・アル・オトロ

adv. すぐにでも、今にも

「副詞句」

2 El charco de lágrimas

「ああ！可哀そうな私の足さんたち！これからは、誰があなた達にストッキングや靴を履かせてくれるのかしら？」

¡Ay, pobres piececitos míos! ¡Quién os pondrá ahora las medias y los zapatos!

《「感嘆」「呼びかけ」 | 「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞」「直接目的語」》

¡Ay, アイ int. ああ

「感嘆」

pobres piececitos míos! ポブレス・ピエセイトス・ミオス

pl.n.m 可哀そうな私の小さい足さん

「呼びかけ」

pobre ポブレ adj. 可哀そうな piececitos ピエセイトス pl.n.m(pie+ -cito) 小さい足

¡Quién キエン pron 誰が

「主語」

os オス pron 君たちに

「間接目的語」

pondrá ポンドラ 3 単未(poner)v.t (服などを) 着せるのだろう

「動詞」

ahora アオラ adv. これからは

「副詞」

las medias ラス・メディアス pl.n.f ストッキングを

「直接目的語」

y イ conj. そして

los zapatos! ロス・ザパトス pl.n.m 靴を

「直接目的語」

「私は絶対にそんなことは出来ないと思うわ。私はすごく遠くまで来ているから、あなたたちのことを面倒見ることができないの！」

¡Yo, desde luego, ya no podré hacerlo! ¡Voy a estar demasiado lejos para preocuparme de vosotros!

《「主語」「副詞句」「動詞句」 | 「動詞句」「副詞句」》

¡Yo, ショ pron 私は

「主語」

desde luego, デステ・ルエゴ adv. もちろん

「副詞句」

ya ヤー adv. (強調) 絶対に

「副詞」

no podré hacerlo! ノ・ポドレ・アセル・ロ 1 単未・可能・否定(poder+不定詞)

v.t それは出来ないだろう

「動詞句」

¡Voy a estar ボイ・ア・エスタール 1 単現・近接未来(ir a+不定詞)v.i ~になろうとしている「動詞句」

demasiado lejos デマシアド・レホス adv. あまりにも遠い

「副詞句」

para +不定詞 パラ adv.(demasiado...para...) それで~できない

「副詞句」

preocuparme プレオクパルメ 不定詞 v.pr (de を) 心配する、引き受ける 「動詞句」

de vosotros! デ・ボソトス adv. あなたたちのことを

「間接目的語」

2 El charco de lágrimas

「できるだけ自分たちで何とかしてね！」

¡Tendréis que arregláros las por vuestra propia cuenta como mejor podáis!

《「動詞句」「副詞句」》

¡Tendréis que +不定詞 テンドレイス・ケ 2 複未・必要・命令(tener que+不定詞)

v. ～してちょうだいね 「動詞句」

arregláros las アレグラール・オス・ラス 不定詞(arreglarse+las)v.pr それをやる 「動詞句」

arreglarse アレグラールセ v.pr うまくやる、何とかする

por vuestra propia cuenta ホール・ブエストラ・ブ ロピア・クエンタ

adv. (手段) 自分たちで、君たちそれぞれの責任によって 「副詞句」

como コモ conj. ～のように 「副詞節」

mejor メホル adv. より良く 「副詞」

podáis! ポダイス 接・2 複現・願望(poder)v.t 出来るように 「動詞」

→ できるだけ、なんとか

「それじゃあ、なんとかして、私が彼らの面倒を見るよりもっと価値があることをしてあげなきゃ…」と、アリスは思った。「そうしないと、もしかすると私が行きたい方向に歩いてくれないかも知れない」

«Ahora, que más vale que me ocupe de ellos de alguna manera -pensó Alicia-, o de lo contrario ¡a lo mejor les da por no andar hacia donde yo quiera!»

《「副詞」, 「目的語」「副詞句」》, 「動詞」「主語」,

《o 「副詞句」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」》

«Ahora, アウラ adv. 今度は、それじゃあ 「副詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

más マス adv. もっと 「副詞」

vale バレ 3 単現(valer)v.i 価値がある 「動詞」

que ケ conj. (比較) ～よりも 「副詞節」

me ocupe メ・オカヘ 接・1 単現(ocuparse)

v.pr (de の) 面倒をみる 「動詞句」

de ellos デ・エヨス adv. 彼らの (piececitos の代用) 「間接目的語」

de alguna manera デ・アルグナ・マネラ adv. 何らかの方法で 「副詞句」

-pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.i 思った 「動詞」

Alicia-, アリシア n.f アリスは 「主語」

o オ conj. または

de lo contrario デ・ロ・コントラリオ adv. さもなければ 「副詞句」

¡a lo mejor ア・ロ・メホル adv. もしかすると 「副詞句」

les レス pron 彼らが 「間接目的語」

2 El charco de lágrimas

da por +不定詞 タ・ポル 3 単現・意欲(dar a+人 por+不定詞)

v. ~する気になる

「動詞句」

no andar ノ・アンダー 不定詞・否定形 v.i 歩かない

「動詞句」

hacia donde アシア・ドンデ adv. ~の方へ

「副詞句」

yo ジョ pron 私

「主語」

quiera! キエラ 接・1 単現(querer)v.t 望む

「動詞」

dar a+人 por +不定詞 ~する気になる

Le ha dado por aprender latín. 彼はラテン語を勉強する気になった。

dar a+人 por... 人が~に夢中になり始める

Le ha dado por el fútbol. 彼はサッカーに熱中し始めた。

「そうねえ、クリスマスごとに、新しいブーツをプレゼントしようかな」

Vamos a ver: les regalaré un par de botas nuevas todas las Navidades.»

《「副詞句」:「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」》

Vamos a ver: バモス・ア・ベール adv. どれどれ（見てみよう）、さて

「副詞句」

les レス pron 彼らに

「間接目的語」

regalaré レガレ 1 単未(regalar)v.t (a+人 に) プレゼントしよう

「動詞」

un par de ウン・パル・デ adj. (靴など) 1 足の

「形容詞句」

botas nuevas ボタス・ヌエバス pl.n.f 新しいブーツを

「直接目的語」

todas las Navidades.» トダス・ラス・ナビダデス adv. クリスマスごとに

「副詞句」

2 El charco de lágrimas



そのようにして、それを実行するための最高の方法について計画を練り続けました。

Y continuó así, haciendo grandes planes sobre la mejor manera de hacerlo.

Y 「動詞句」「目的語」「副詞句」

Y イ conj. そして

continuó así, haciendo コンチヌオ・アシ・アシエント 3 単点・継続(continuar+現在分詞+ así)

v.t (計画を) そのように練り続けた

「動詞句」

grandes planes グランデス・プラネス pl.n.m 素晴らしい計画を

「目的語」

sobre la mejor manera ソブレ・ラ・メホル・マネラ adv. 最高の方法について

「副詞句」

de hacerlo. デ・アセル・ロ adj. (目的) それを実行するための

「形容詞句」

2 El charco de lágrimas

「郵便で、贈り物を送らなきゃならなくなるわ」と、アリスは考えた。「自分の足に贈り物を送るなんて、すごく奇妙だわ。それに宛先だって...言うまでもなく変！」

«Tendré que enviárselas por correo -pensó-. ¡Qué gracioso va a ser mandar regalos a los propios pies de una! Y en cuanto a la dirección... ¡no digamos !

《「動詞句」「副詞句」》, 「動詞」, 《「補語」「動詞句」「主語」 | Y 「副詞句」》

«Tendré que enviárselas テントレ・ケ・エンビアル・セ・ラス 1 単未・必要(tener que+不定詞)

v.pr(eniarse+las) 贈り物を送らなければならなくなるだろう 「動詞句」
 por correo ポル・コレオ adv. 郵便で 「副詞句」
 -pensó-. ペンソ 3 単点(pensar)v.i 考えた 「動詞」
 ¡Qué gracioso ケ・グラシオ int. 何ておかしい 「補語」
 va a ser バ・ア・セル 3 単現・近接未来(ir a+不定詞)v.i ~になるだろう 「動詞句」
 mandar マンダール 不定詞 n. 発送することは 「主語」
 regalos レガロス pl.n.m 贈り物を 「直接目的語」
 a los propios pies de una! ア・ロス・プロピオス・ピエ・デ・ウナ
 adv. 自分自身の足に 「間接目的語」
 Y イ conj. そして
 en cuanto a la dirección... エン・クワント・ア・ラ・ディレクション adv. 宛先について 「副詞句」
 ¡no digamos ! ノ・ディガモス adv. 言うまでもなく 「副詞句」

暖炉の防火柵付近のじゅうたんのの上にいるアリスの右足閣下へ

Al Ilustrísimo Señor

Don Pie Derecho de Alicia

Alfombra de la Chimenea Cerca del Guardafuegos

(Remite, con mucho afecto, Alicia)

「副詞句」(「動詞」「副詞句」「主語」)

Al Ilustrísimo Señor Don Pie Derecho de Alicia

アル・イルストリシモ・セニョール・ドン・ピエ・デ・レチョ・デ・アリシア adv. アリスの右足閣下へ 「副詞句」
 ilustrísimo イルストリシモ adj. (絶対最上級；敬称) ~様、~閣下
 Alfombra アルフォンブラ n.f じゅうたん (に)いる 「副詞」
 de la Chimenea デ・ラ・キメネア adj. 暖炉の、煙突の 「形容詞句」
 Cerca del Guardafuegos セルカ・デル・グアルダフエゴ
 adv. 防火柵付近の 「副詞句」
 (Remite, レミテ 3 単現(remitir)v.t 送る 「動詞」
 con mucho afecto, コン・ムチョ・アフエクト adv. 愛を込めて 「副詞句」
 Alicia) アリシア n.f アリスが 「主語」

2 El charco de lágrimas

「ああ！なんて馬鹿なことを言っているんだろう！」

¡Ay! ¡Qué tonterías estoy diciendo!》 《「感嘆」 | 「目的語」「動詞句」》
 ¡Ay! アイ int. ああ！ 「感嘆」
 ¡Qué tonterías ケ・トンテリアス pl.n.f. なんて馬鹿なことを 「目的語」
 estoy diciendo!》 エストイ・ディシエントゝ 1 単現・進行形(decir)v.t. 言っている 「動詞句」

ちょうどその時、彼女の頭が天井にぶつかりました；実は、今度は実際に彼女の身長が 3 メートル近くになっていたのです；それで急いで金の小さい鍵をつかんで、大急ぎで庭の小さな入り口に向かいました。

Justo en ese momento, su cabeza golpeó contra el techo; y es que, en efecto, medía ahora más de nueve pies de altura; se apresuró por tanto a coger la pequeña llave de oro y se dirigió lo más rápidamente posible a la puertecilla del jardín.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞句」 y 「副詞句」「動詞」「副詞句」;

「動詞句」「副詞句」「動詞句」「目的語」 y 「動詞句」「副詞句」「間接目的語」

Justo フスト adv. ちょうど 「副詞」
 en ese momento, エン・エセ・モメント adv. その時に 「副詞句」
 su cabeza ス・カベサ n.f. 彼女の頭が 「主語」
 golpeó ゴルペオ 3 単点(golpear)v.i. ぶつかった 「動詞」
 contra el techo; コントラ・エル・テcho adv. (接触) 天井に 「副詞句」
 y イ conj. そして
 es que, エス・ケ adv. 実は 「副詞句」
 en efecto, エン・エフェクト adv. 実際に 「副詞句」
 medía メディア 3 単線(medir)v.i. 身長があつた 「動詞」
 ahora アラ adv. 今度は 「副詞」
 más de nueve pies マス・デ・ヌエベ・ピエス adv. 9 フィート以上 「副詞句」
 de altura; デ・アルトゥラ adj. 高さの 「形容詞句」
 se apresuró セ・アプレスロ 3 単点・急ぎ(apresurarse)
 v.pr(a+不定詞) 急いで~した 「動詞句」
 por tanto ポル・タント adv. それで、したがって 「副詞句」
 a coger ア・コヘル 不定詞 v.t. つかむ 「動詞句」
 la pequeña llave de oro ラ・ペケニャ・ジヤベ・デ・オロ n.f. 金の小さい鍵を 「目的語」
 y イ conj. そして
 se dirigió セ・ディリヒオ 3 単点(dirigirse)v.pr(a に) 向かつた 「動詞句」
 lo más rápidamente posible ロ・マス・ラピダメンテ・ポシブレ adv. 出来るだけ速く 「副詞句」
 a la puertecilla del jardín. ア・ラ・プエルテシジャ・デル・ハルティン
 adv. 庭の小さな入り口に 「間接目的語」

2 El charco de lágrimas

可哀そうなアリス！その大きさでは、地面に脇腹で寝そべって片目で庭を見ることしか出来ません。それにこの小さいドアを通り抜けることなんて、今では、まったく不可能です。アリスは地面に座って、また泣き出しました。

¡Pobre Alicia! Con ese tamaño, tan sólo lograba ver el jardín con un solo ojo y tumbada de costado sobre el suelo, y en cuanto a pasar por la puertecilla, era ahora más imposible que nunca. Alicia se sentó en el suelo y se puso a llorar de nuevo.

「感嘆」「副詞句」「動詞句」「目的語」「副詞句」 y 「副詞句」

y 「副詞句」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」 y 「動詞句」「副詞句」

¡Pobre Alicia! ホ・ブレ・アリシア adv. 可哀そうなアリス 「感嘆」

Con ese tamaño, コン・エセ・タマニョ adv. その大きさでは 「副詞句」

tan sólo タン・ソロ adv. ～だけ、～しか 「副詞句」

lograba ver ログラバ・ベール 3 単線・可能(lograr+不定詞)v.t 見ることができる 「動詞句」

el jardín エル・ハルディン n.m 庭を 「目的語」

con un solo ojo コン・ウン・ソロ・オホ adv. 片目で 「副詞句」

y イ conj. そして

tumbada トゥンバダ 過去分詞・受動.f(tumbar)(de ～で)adv. 寝そべって 「副詞句」

de costado デ・コスタド adv. 脇腹で 「副詞句」

sobre el suelo, ソブレ・エル・スエロ adv. 地面の上に 「副詞句」

y イ conj. そして

en cuanto a エン・クワント・ア prep ～に関しては 「副詞句」

pasar パサル 不定詞 n. 通ること 「目的語」

por la puertecilla, ホル・ラ・プエルテシジャ adv. 小さいドアを通して 「副詞句」

era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」

ahora アオラ adv. 今は 「副詞」

más imposible que nunca. マス・インポシブル・ケ・ヌンカ adj. まったく不可能な 「補語」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

se sentó セ・セント 3 単点(sentarse)v.pr 座った 「動詞句」

en el suelo エン・エル・スエロ adv. 地面の上に 「副詞句」

y イ conj. そして

se puso a llorar セ・プソ・ア・ジョラル 3 単点・開始(ponerse a+不定詞)

v.i 泣き始めた 「動詞句」

de nuevo. デ・ヌエボ adv. また 「副詞句」

2 El charco de lágrimas

「恥を知りなさい！」と、アリスはまた自分を叱り始めた。「そんな大きい女の子が」(本当に大きいのです；今度は自分自身を責めることができました)「泣き続けているなんて！今すぐに、泣き止みなさい！」

« ¡Debería darte vergüenza -empezó otra vez a regañarse Alicia-, una niña tan grande como tú -(y tan grande; ¡ahora sí que podía echárselo en cara!)- y llorando de esta manera! ¡Te digo que dejes de llorar en este preciso instante! »

《「動詞句」「目的語」》, 「動詞句」「副詞句」「動詞句」「主語」,

《「主語」(y「形容詞句」;「動詞句」), y「形容詞句」 | 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》

« ¡Debería darte テベリア・ダル・テ 1 単過未・義務・勧誘(deber+不定詞 dar+te)

v.t 自分自身に～を与えなさい 「動詞句」

vergüenza ベルグエンサ n.f 恥を 「目的語」

-empezó ...a regañarse エンペソ...ア・レガニャール・セ 3 単点・開始(empezar a+不定詞)

v.pr 自分を叱り始めた 「動詞句」

otra vez オトラ・ベス adv. また 「副詞句」

Alicia-, アリシア n.f アリスは 「主語」

una niña ウナ・ニャ n.f 女の子が 「主語」

tan grande タン・グランデ adj. そんなに大きな 「形容詞句」

como tú コモ・トゥ adv. 君のように 「副詞句」

-(y イ conj. そして

tan grande; タン・グランデ adj. 本当に大きい 「形容詞句」

¡ahora sí que アホラ・シ・ケ conj. 今度は～する、とうとう～する

podía echárselo en cara!) ポディア・エチャル・セ・ロ・エン・カラ 3 単線・可能(poder+不定詞)

v.pr 自分自身を責めることができた 「動詞句」

echar... en cara a+人 「人に対して責める、非難する」

y イ conj. そして

llorando ジョラント 現在分詞(llorar)adj. 泣き続けている 「形容詞句」

de esta manera テ・エスタ・マネラ adv. (様態) こんな風に 「副詞句」

¡Te テ pron 君に 「間接目的語」

digo デイゴ 1 単現(decir)v.t 言う 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

dejes de llorar テヘス・デ・ジョラル 接・2 単現・中断(dejar de+不定詞)

v.i 泣き止む 「動詞句」

en este preciso instante! エン・エステ・プレシソ・インスタンテ adv. 今すぐに 「副詞句」

preciso プレシソ adj. 明確な、正確な instante インスタンテ n.m 瞬間

2 El charco de lágrimas

しかしアリスは、なにがあらうと涙の川を流し続けたので、ついには、自分の周りに深さが10センチくらいの本物の池ができてしまい、それは廊下の半分以上に達しました。

Pero a pesar de todo continuó llorando como si nada, vertiendo ríos de lagrimones hasta que se hubo formado un verdadero charco alrededor suyo como de unas cuatro pulgadas de profundidad y que llegaba hasta más allá de la mitad del vestíbulo.

Pero 「副詞句」「動詞句」「副詞句」, 「副詞節」

Pero ペロ conj. しかし

a pesar de todo ア・ペサル・デ・トト adv. なにがあらうと 「副詞句」

continuó llorando コンチヌ・シヨラント 3 単点・継続(continuar+現在分詞)

v.i 泣き続けた 「動詞句」

como si nada, コモ・シ・ナダ adv. あいかわらず、何事もなく 「副詞句」

vertiendo ベルチエント 現在分詞(verter)adv. こぼしながら 「副詞句」

ríos de lagrimones リオス・デ・ラグリモネス pl.n.m 涙の川を 「目的語」

largimon ラグリモン n.m 大粒の涙

hasta que アスタ・ケ conj. ～するまで 「副詞節」

se hubo formado セ・ウボ・フォルマト 3 単点・完了形(formarse)

v.pr 出来てしまう 「動詞句」

un verdadero charco ウン・ベルダデロ・チャルコ

n.m 本物の池が 「主語」

alrededor suyo アルデトール・スヨ adv. 自分の周りに 「副詞句」

como de unas cuatro pulgadas コモ・デ・ウナス・クエトロ・プルガダス

adv. 4 インチくらいの 「副詞句」

pulgada プルガダ n.f (長さの単位) インチ

de profundidad デ・プロフンディダ adj. 深さの 「形容詞句」

y イ conj. そして

que ケ conj. ～すること 「目的語」

llegaba ジェガバ 3 単線・時制の一致(llegar)

v.i(a に) 到着する 「動詞」

hasta más allá de la mitad アスタ・マス・アラ・デ・ラ・ミタ

adv. 半分以上まで 「副詞句」

del vestíbulo. デル・ベスチブロ adj. 廊下の、ホールの 「形容詞句」

2 El charco de lágrimas



しばらくして、遠くにとても小さい足音のような物音が聞こえたので、アリスは何が近づいてくるのかを見ようとして急いで目のまわりの涙を拭きました。

Al poco rato oyó un ruido, como de pisadas menudas en la distancia, y se apresuró a secarse los ojos para ver qué era lo que se aproximaba.

「副詞句」「動詞」「目的語」「副詞句」 y 「動詞句」「目的語」「副詞句」

Al poco rato アル・ポ・コ・ラト adv. しばらくして 「副詞句」

oyó オイ 3 単点(oír)v.t 聞こえた 「動詞」

un ruido, ウン・ルイト n.m 物音が 「目的語」

como de pisadas コモ・デ・ピ・サダス adv. 足音のような 「副詞句」

menudas メヌダス adj.f とても小さい 「形容詞」

en la distancia, エン・ラ・ディスタンスΙΑ adv. 遠くに 「副詞句」

y イ conj. そして

se apresuró a secarse セ・アプレスロ・ア・セカセ 3 単点・急ぎ(apresurarse a+不定詞)

v.pr 急いで (自分の体を) 拭いた 「動詞句」

apresurarse a+不定詞 「急いで～する」 secarse セカセ v.pr (自分の体を) 拭く

los ojos ロス・オホス pl.n.m 目を 「目的語」

para ver パラ・ベール adv. (目的) 見るために 「副詞句」

qué ケ pron 何が～するというのを 「目的語」

2 El charco de lágrimas

era エラ 3 単線(ser)v.i	～だった	「動詞」
lo ロ pron	それ	「補語」
que ケ pron	(主語) ～する	「形容詞節」
se aproximaba. セ・アプロキシマバ	3 単線(aproximarse)	
v.pr	近づいてくる	「動詞句」

あの白うさぎが、片手になめし皮の白い手袋をして、もう一方の手には大きい扇子を持って、
素晴らしく着飾って戻ってきたのでした。

Era el Conejo Blanco, que volvía, espléndidamente ataviado, con un par de guantes blancos de cabritilla en una mano y un gran abanico en la otra:

		「動詞」「補語」「主語」
Era エラ 3 単線(ser)v.i	(強調構文) ～だった	「動詞」
el Conejo Blanco, エル・コネホ・ブランコ n.m	あの白うさぎ	「補語」
que ケ conj.	～するのは	「主語」
volvía, ボルビア 3 単線(volver)v.i	戻ってきた	「動詞」
espléndidamente エスプレンディダメンテ adv.	素晴らしく、豪華に	「副詞」
ataviado, アタビアド	過去分詞(ataviarse)v.pr (様態) 着飾っている	「副詞」
con コン prep	(様態) ～をして	「副詞句」
un par de guantes ウン・パル・デ・ゲ・ワントス n.m	手袋	「目的語」
un par de ウン・パル・デ adj. 1 組の	guantes ゲ・ワントス pl.n.m(guante) 手袋	
blancos ブランコス adj.pl	白い	「形容詞」
de cabritilla テ・カブリティージャ		
adj. (材料) なめし皮の		「形容詞句」
en una mano エン・ウナ・マノ adv.	片手に	「副詞句」
y イ conj.	そして	
un gran abanico ウン・グラン・アバニコ n.m	大きいうちわを、扇子	「目的語」
en la otra: エン・ラ・オトラ adv.	もう一方の手には	「副詞句」
「それは白兔だった、それが～していた」→「その白兔が～していたのだった」		

扇子(せんす) : abanico アバニコ

扇子、うちわ(スペインでは女性しか使わない。フラメンコ用の扇は日本のより大きい)

2 El charco de lágrimas

進んでくる間にも「ああ、公爵夫人が！」と言いながら、ずっと大急ぎで走っていました。

venía trotando a toda prisa, diciéndose mientras avanzaba: «¡Ay! ¡La Duquesa!

「動詞句」「副詞句」

venía trotando ヲニア・トロタント 3 単線・継続(venir+現在分詞)

v.i ずっと急いで駆けていた

「動詞句」

a toda prisa, ア・トダ・プリサ adv. 大急ぎで

「副詞句」

diciéndose デシエントセ 現在分詞(decirse)adv. (様態) ～を言いながら

「副詞句」

mientras ミエントラス conj. ～している間

「副詞節」

avanzaba: アバンスバ 3 単線(avanzar)v.i (こちらに) 進んでくる「動詞」

«¡Ay! ¡La Duquesa! アウ・ラ・ドゥケサ int. ああ、公爵夫人が

「感嘆」

「公爵夫人を待たせでもしたら、どんな恐ろしいことになるか分からない」

¡Cómo se va a poner la Duquesa si la hago esperar!». 《「副詞」「動詞句」「主語」「副詞節」》

¡Cómo コモ adv. どのように

「副詞」

se va a poner セ・バ・ア・ポネル 3 単現・近接未来(ponerse)v.i ～になるだろう

「動詞句」

la Duquesa ラ・ドゥケサ n.f 公爵夫人は

「主語」

si シ conj. もし～ならば

「副詞節」

la ラ pron 彼女を

「目的語」

hago esperar!». アゴ・エスペラル 1 単現・使役(hacer+不定詞)v.t 待たせる

「動詞句」

アリスは現在の状況がまったく絶望的なので、誰かに助けてもらいたい心境だった。

Alicia se sentía tan desesperada en la situación en que se encontraba, que estaba dispuesta a pedirle ayuda a quien fuera. 「主語」「動詞句」「補語」, 「副詞節」

Alicia アリシア n.f アリスは

「主語」

se sentía セ・センチア 3 単線(sentirse)v.pr 自分が～だと感じていた

「動詞句」

tan desesperada タン・デセペラダ adj.f まったく絶望した

「補語」

en la situación エン・ラ・シトゥアシオン adv. その状況に

「副詞句」

en que se encontraba, エン・ケ・セ・エンコントラバ

adv. 彼女が現在置かれている

「副詞句」

se encontraba セ・エンコントラバ 3 単線(encontrarse)v.pr (ある場所に) いる

que ケ conj.(tan...que) (結果) あまり... なので～する

「副詞節」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ～だった

「動詞」

dispuesta a pedirle デイスプ エスタ・ア・ペディール・レ (dispuesta a+不定詞 pedir+le)

adj. (心境) 人に～を頼む用意ができた

「補語」

ayuda アジュダ n.f 助けを

「直接目的語」

a quien fuera. ア・キエン・フエラ adv. 誰かに

「間接目的語」

2 El charco de lágrimas

そこで、ウサギが近づいてきたとき、アリスは小声でおずおずと話しかけた：「あの、お願いします」

Así que, cuando se le acercó el Conejo, empezó a decir tímidamente y en voz baja: «Por favor, señor...». 「副詞節」, 「動詞句」 「副詞句」: 《「呼びかけ」》

Así que, +直説法 アシ・ケ conj. そこで～する

cundo クワント conj. ～するとき 「副詞節」

se le acercó セ・レ・アセルコ 3 単点(acercarse+ le)v.pr 彼女に近づいた 「動詞句」

el Conejo, エル・コネホ n.m ウサギが 「主語」

empezó a decir エンペ・ソ・ア・デシル 3 単点・開始(empezar a+不定詞)

v.t 話始めた 「動詞句」

tímidamente チミダメンテ adv. おずおずと 「副詞」

y イ conj. そして

en voz baja: エン・ボス・バハ adv. 小声で 「副詞句」

«Por favor, señor...». ホル・ファボル・セニョール adv. あの、お願いします 「呼びかけ」

しかしウサギは、皮の手袋と扇子を落とすほど驚き、怯えて闇の中に走り去っていった。

Pero el Conejo se sobresaltó de tal manera que dejó caer los guantes de cabritilla y el abanico y echó a correr muy espantado, perdiéndose en la oscuridad.

Pero 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 y 「動詞句」 「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし

el Conejo エル・コネホ n.m ウサギは 「主語」

se sobresaltó セ・ソフレスアルト 3 単点(sobresaltarse)v.pr 驚いた 「動詞句」

de tal manera デ・タル・マネラ adv. それほどの様子で 「副詞句」

que ケ pron (同格) ～するという 「形容詞節」

dejó caer デホ・カエル 3 単点・放任(dejar+不定詞)

v.t 落としてしまう 「動詞句」

los guantes ロス・グアンテス pl.n.m 手袋を 「目的語」

de cabritilla デ・カブリティジャ adj. (材料) 皮の 「形容詞句」

y イ conj. そして

el abanico エル・アバニコ n.m 扇子を 「目的語」

y イ conj. そして

echó a correr エチョ・ア・コレール 3 単点・開始(echar a+不定詞)v.i 走り始めた 「動詞句」

muy espantado, ムイ・エスパント 過去分詞・受動(espantar)adv. とても怖がって 「副詞句」

perdiéndose ペルディエンテセ 現在分詞(perderse)adv. 消えながら 「副詞句」

en la oscuridad. エン・ラ・オスクリダ adv. 闇の中に 「副詞句」

2 El charco de lágrimas

アリスは扇子と手袋を拾い、すごく暑かったので、扇子であおぎながらしゃべり続けた。

Alicia recogió el abanico y los guantes, y como estaba sintiendo mucho calor ahí dentro, empezó a abanicarse mientras continuaba hablando.

「主語」「動詞」「目的語」 y 「副詞節」, 「動詞句」「副詞節」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
 recogió レコヒオ 3 単点(recoger)v.t 拾った 「動詞」
 el abanico エル・アバニコ n.m 扇子を 「目的語」
 y イ conj. そして
 los guantes, ロス・グワンテス pl.n.m 手袋を 「目的語」
 y イ conj. そして
 como コモ conj. ～なので 「副詞節」
 estaba sintiendo エスタバ・シンチエント 3 単線・進行形(sentir)v.t 感じていた 「動詞句」
 mucho calor ムチョ・カロール n.m すごい暑さを 「目的語」
 ahí dentro, アイ・デントロ adv. そこらへんが 「副詞句」
 empezó a abanicarse エンペゾ・ア・アバニカルセ 3 単点・開始(empezar a+不定詞)
 v.pr 扇子であおぎ始めた 「動詞句」
 mientras ミエンTRAS conj. ～している一方で 「副詞節」
 continuaba hablando. コンチヌアバ・アブラント 3 単線・継続(continuar+現在分詞)
 v.i しゃべり続けた 「動詞句」

「あら、まあ！今日は、なんと珍しいことが起こるのでしょうか！昨日は、何もかもがいつも通りだったというのに！」

«¡Dios mío! ¡Qué cosas más raras están pasando hoy! Y pensar que tan sólo ayer todo sucedía como de costumbre. «「感嘆」 | 「主語」「動詞句」「副詞」 | 「感嘆」»
 «¡Dios mío! デイオス・ミオ int. あら、まあ 「感嘆」
 ¡Qué cosas ケ・コサス int. なんとということが 「主語」
 más raras マス・ララス adj. まったく珍しい 「形容詞句」
 están pasando アスタン・パスント 3 複現・進行形(pasar)v.i 起こっている 「動詞句」
 hoy! オイ adv. 今日は 「副詞」
 Y pensar que+直説法 イ・ペンサル・ケ int. (考えてみると) ～だなんて！ 「感嘆」
 tan sólo ayer タン・ソロ・アジエール adv. 昨日は 「副詞句」
 todo トト pron すべてが 「主語」
 sucedía スセディア 3 単線(suceder)v.i (物事が) 起こっていた、進んでいた 「動詞」
 como de costumbre. コモ・デ・コストゥンブレ adv. いつものように 「副詞句」

2 El charco de lágrimas

「あたし、夜の間に、何か、変わっちゃったのかしら？」

Me pregunto si habré cambiado de alguna manera durante la noche.

《「動詞句」「目的語」》

Me pregunto メ・プレグント 1 単現(preguntarse)v.pr 自問する

「動詞句」

si シ conj. ～かどうかということ

「目的語」

habré cambiado アブレ・カンビアド 1 単未・完了形・推量(cambiar)

v.i 変わってしまっただろうか

「動詞句」

de alguna manera デ・アルグナ・マネラ adv. 何か、どこか

「副詞句」

durante la noche. ドゥランテ・ラ・ノチェ adv. 夜の間に

「副詞句」

「そうねえ：今朝起きた時には、あたし、いつも通りだったかしら？」

Veamos: ¿era yo la misma esta mañana al levantarme? 《「独白」：「動詞」「主語」「補語」》

Veamos: ベアモス 接・1 複現・勧誘(ver)v.t 調べてみましょう、そうねえ

「独白」

¿era エラ 1 単線(ser)v.i ～だった

「動詞」

yo ジョ pron 私は

「主語」

la misma ラ・ミスマ pron.f 同じもの、いつも通り

「補語」

esta mañana エスタ・マニャナ adv. 今朝は

「副詞句」

al levantarme? アル・レバンタルメ adv. 起きた時には

「副詞句」

どちらかって言うと、何か違う感じがしたような気がする。

Casi creo recordar que me sentía algo diferente.

「副詞」「動詞句」「目的語」

Casi カシ adv. どちらかって言うと

「副詞」

creo recordar クオ・レコルダール 1 単現・思う(creer+不定詞)

v.t ～と覚えている気がする

「動詞句」

que ケ conj. ～ということ

「目的語」

me sentía メ・センチア 1 単線(sentirse)v.pr 感じた

「動詞句」

algo diferente. アルゴ・ディフェレンテ adj. どこか違う

「補語」

「だけど、もしいつもの私じゃないのなら、次の質問は《私は誰なの？》ってことになるわね！ああ！確かにそれが謎だわ！」

Pero si no soy la misma, la pregunta siguiente es: ¿quién soy yo? ¡Ah! ¡Eso sí que es un misterio!

《Pero 「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」 | 「感嘆」 | Eso sí que 「動詞」「補語」》

Pero ペロ conj. だけど

si シ conj. もし～ならば

「副詞節」

no soy ノ・ソイ 1 単現・否定(ser)v.i ～でない

「動詞」

2 El charco de lágrimas

la misma, ラ・ミマ	adj.f 同じの	「補語」
la pregunta, ラ・プレグンタ	n.f 質問は	「主語」
siguiente, シギエンテ	adj. 次の	「形容詞」
es: エス	3 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
n.	~ということ	「補語」
¿quién, キエン	pron 誰	「補語」
soy, ソイ	1 単現 (ser)v.i ~である	「動詞」
yo?, ジョ	pron 私は	「主語」
¡Ah!, アー	int. ああ	「感嘆」
¡Eso sí que +直説法, エソ・シ・ケ	conj. 確かに~である	
es, エス	3 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
un misterio!», ウン・ミステリオ	n.m 謎	「補語」

それでこのことから、彼女は自分が知っている同い年の娘たち全員のことを考え始めて、自分が彼らの中の誰かに変わってしまっていないかを確認しました。

Y <u>con esto se puso a pensar en todas las niñas de su edad que conocía, para ver si se había transformado en una de ellas.</u>	Y 「副詞句」, 「動詞句」「間接目的語」, 「副詞句」
Y	イ conj. そして
con esto	コン・エスト adv. これで 「副詞句」
se puso a +不定詞	セ・プソ・ア 3 単点・開始(ponerse a+不定詞)v. ～し始めた 「動詞句」
pensar	ペンサル 不定詞 v.i 考える 「動詞句」
en todas las niñas	エン・トダス・ラス・ニャス adv. 娘たち全員について 「間接目的語」
de su edad	デ・ス・エダ adj. 彼女と同い年の 「形容詞句」
que conocía,	ケ・コシア adj. 彼女が知っている 「形容詞節」
para +不定詞	パラ adv. (結果) そして～した 「副詞句」
ver	ベール 不定詞 v.t 調べる 「動詞」
si	シ conj. ～かどうかということ 「目的語」
se había transformado	セ・アビア・トランスフォルマド 3 単線・完了形(transformarse)
v.pr(en	(に) 変わってしまった 「動詞句」
en una de ellas.	エン・ウナ・デ・エジャス
adv.	彼らのうちの誰かに 「間接目的語」

2 El charco de lágrimas

「エイダじゃないことは確かだわ」とアリスは言った。「だって、彼女は長い巻き毛だけど、私の髪はまったく巻き毛にならないから」

«Estoy segura de no ser Ada -dijo-, porque ella tiene esos grandes rizos y mi pelo no se riza en absoluto;

《「動詞」「補語」》, 「動詞」, 《「副詞節」》

«Estoy エストイ 1 単現(estar)v.i ~である 「動詞」

segura セグーラ adj.f(seguro) (de を) 確信した 「補語」

de +不定詞 デー adv. ~することを 「副詞句」

no ser ノ・セール 不定詞・否定形 v.i ~でない 「動詞句」

Ada エイダ n.f エイダ 「補語」

-dijo-, デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

porque ボルケ conj. ~だから 「副詞節」

ella エジャ pron 彼女は 「主語」

tiene ティエネ 3 単現(tener)v.t ~がある 「動詞」

esos grandes rizos エロス・グランデス・リロス pl.n.m 長い巻毛 「目的語」

y イ conj. そして

mi pelo ミ・ペロ n.m 私の髪は 「主語」

no se riza ノ・セ・リサ 3 単現・否定(rizarse)v.pr 巻き毛にならない 「動詞句」

en absoluto; エン・アプソルット adv. (否定分で) まったく (~でない) 「副詞句」

estar seguro de... :

Estoy seguro de que aprobará el examen. 彼は合格すると私は確信している。

No estoy seguro de que él apruebe el examen. 彼が合格するとは断言できない。

No estoy seguro de haber apagado el fuego o no. 私は火を消したかどうか自信がない。

「それに、メイベルじゃないことも確かね！だって、私はなんでも知っているけど、可哀そうなあ娘は何もわからないもの。その上、彼女は彼女だし、私は...、もう、頭が痛い」

y también estoy segura de no ser Mabel, porque yo sé toda clase de cosas y en cambio, la pobrecilla ¡qué tonta es! Además, ella es ella y yo soy... ¡Dios mío! ¡Qué rompecabezas!

《y 「副詞」「動詞」「補語」「副詞節」

「副詞」「主語」「動詞」「補語」 y 「主語」「動詞」 | 「感嘆」》

y イ conj. そして

también タンビエン adv. ~も同様に 「副詞」

estoy エストイ 1 単現(estar)v.i ~である 「動詞」

segura セグーラ adj.f(seguro) (de を) 確信した 「補語」

de no ser Mabel, デ・ノ・セール・メイベル adv. メイベルではないことを 「副詞句」

porque ボルケ conj. ~だから 「副詞節」

yo ジョ pron 私は 「主語」

estar seguro de... :

2 El charco de lágrimas

sé セ 1 単現(saber)v.t 知っている	「動詞」
toda clase de cosas トダ・クラセ・デ・コサス pl.n.f あらゆる種類のものを	「目的語」
y, イ conj. そして	
en cambio, エン・カンビオ adv. それに引き換え、その代わり	「副詞句」
la pobrecilla ラ・ポブレシジャ n.f(pobre + -cilla) あの可哀そうな娘は	「主語」
¡qué tonta ケ・トンタ adj.(tonto) なんて馬鹿な	「補語」
es! エス 3 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
Además, アデマス adv. それに	「副詞」
ella エジャ pron 彼女は	「主語」
es エス 3 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
ella エジャ pron 彼女	「補語」
y イ conj. そして	
yo ジョ pron 私は	「主語」
soy... ソイ 1 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
¡Dios mío! デイオス・ミオ int. ああ	「感嘆」
¡Qué rompecabezas! ケ・ロンペカベサス int. なんて頭の痛い問題なの！	「感嘆」

「せめて、前に知っていたことを今でも知っているかどうかを確認しましょう。」

<u>Voy a ver si al menos sé las cosas que antes sabía.</u>	《「動詞句」「目的語」》
Voy a ver ボイ・ア・ベール 1 単現・近接未来(ir a+不定詞)v.i 確認してみよう	「動詞句」
si シ conj. ~かどうかということ	「目的語」
al menos アル・メノス adv. 少なくとも、せめて	「副詞句」
sé セ 1 単現(saber)v.t 知っている	「動詞」
las cosas ラス・コサス pl.n.f 事を	「目的語」
que ケ pron (目的語) ~する	「形容詞節」
antes アンテス adv. 前に	「副詞」
sabía. サビア 1 単線(saber)v.t 知っていた	「動詞」

「えーと：4 掛ける 5 は 12、4 掛ける 6 は 13、それから 4 掛ける 7 は...」

<u>Veamos: cuatro por cinco son doce, cuatro por seis son trece, y cuatro por siete...</u>	《「動詞」：「主語」「動詞」「補語」,「主語」「動詞」「補語」, y「主語」》
Veamos: ベアモス 接・1 複現・勧誘(ver)v.t えーと、確認しましょう	「動詞」
cuatro por cinco クワトロ・ポル・シコ n. 4 掛ける 5 は	「主語」
son ソン 3 複現(ser)v.i ~である	「動詞」
doce, トセ adj. 12 の	「補語」
cuatro por seis クワトロ・ポル・セイス n. 4 掛ける 6 は	「主語」

2 El charco de lágrimas

son ツ 3 複現(ser)v.i ~である 「動詞」
 trece, トレセ adj. 13 の 「補語」
 y イ conj. そして
 cuatro por siete... クワトロ・ポル・シエテ n. 4 掛ける 7 は 「主語」

「ああ、これじゃあ、絶対 20 にたどり着かないわ！」

¡Ay, Dios mío! ¡Así no llegaré nunca a veinte!

《「感嘆」 | 「副詞」「動詞句」「間接目的語」》

¡Ay, Dios mío! アイ・ディオス・ミオ int. ああ 「感嘆」
 ¡Así アシ adv. これじゃあ 「副詞」
 no llegaré nunca ノ・ジ・ェガレ・ヌンカ 1 単未・否定(llegar)v.i 絶対たどり着かない 「動詞句」
 a veinte! ア・ベインテ adv. 20 に 「間接目的語」

「よし、とにかく、掛け算の表は私の役には立たないわ；地理学を試しましょう。」

Bueno, de todas formas la tabla de multiplicar no me vale; probemos con la Geografía.

《「感嘆」「副詞句」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」;
 「動詞」「副詞句」》

Bueno, ブエノ int. それじゃあ、よし 「感嘆」
 de todas formas テ・トダス・フォルマス adv. とにかく、何はともあれ 「副詞句」
 la tabla ラ・タブラ n.m 表は 「主語」
 de multiplicar テ・ムルチプリカース adj. 掛け算の 「形容詞句」
 no ...vale; ノ...バレ 3 単現・否定(valer)v.i 価値がない 「動詞句」
 me メ pron 私にとって 「間接目的語」
 probemos プロベモス 接・1 複現・勧誘(probar)v.i 試してみよう 「動詞」
 con la Geografía. コン・ラ・ヘオグラフィア adv. 地理学で 「副詞句」

「ロンドンのパリの首都で、パリはローマの首都、そしてローマは...」

Londres es la capital de París, y París es la capital de Roma, y Roma es...

《「主語」「動詞」「補語」 y 「主語」「動詞」「補語」 y 「主語」「動詞」》

Londres ロントレス n.m ロndonは 「主語」
 es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」
 la capital ラ・カピタル n.f 首都 「補語」
 de París, テ・パリス adj. パリの 「形容詞句」
 y イ conj. そして
 París パリス n.m パリは 「主語」
 es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

2 El charco de lágrimas

la capital	ラ・カピタル n.f	首都	「補語」
de Roma,	デ・ロマ adj.	ローマの	「形容詞句」
y	イ conj.	そして	
Roma	ロマ n.f	ローマは	「主語」
es...	エス 3 単現(ser)v.i	〜である	「動詞」

「いや、全部間違っていると思うわ。じゃあ、メイベルに変わってしまったのね？ “見よ！働き者のミツバチを” が暗唱できるかどうか、確認してみましょう」

¡No, estoy segura de que todo esto está mal! ¡Me he debido transformar en Mabel! Probaré a ver si puedo recitar “Ved cómo la industriosa abeja...”」注 4.

《「感嘆」「動詞」「補語」 | 「動詞句」「間接目的語」 | 「動詞句」「目的語」》

¡No,	ノ adv.	いや	「感嘆」
estoy	エストイ 1 単現(estar)v.i	〜である	「動詞」
segura de que	セグラ・デ・ケ adj.	〜を確信した	「補語」
todo esto	トト・エスト pron	全部が	「主語」
está	エスタ 3 単現(estar)v.i	〜である	「動詞」
mal!	マル adj.	悪い、間違えた	「補語」
¡Me he debido transformar	メ・エ・デ・ビト・トランスフォルマル 1 単現・完了形・可能性		
(deber+不定詞 transformarse)v.pr(en	に)	変わってしまったに違いない	「動詞句」
en Mabel!	エン・メイベル adv.	メイベルに	「間接目的語」
Probaré a ver	プロバレ・ア・ベール 1 単未・試行(probar a+不定詞)		
v.t		確認してみましょう	「動詞句」
si	シ conj.	〜かどうかを	「目的語」
puedo recitar	プエト・レシタル 1 単現・可能(poder+不定詞)		
v.t		暗唱できる	「動詞句」
“Ved	ベ 命・2 複現(ver)v.t	見なさい	「動詞」
cómo	コモ adv.	なんと	「感嘆」
la industriosa	ラ・イントゥストリサ adj.f	働き者の	「形容詞句」
abeja...”	アベハ n.f	ミツバチ	「目的語」

2 El charco de lágrimas

それで詩を思い出すために、授業で暗唱する時みたいに、膝の上で手を組んだ。ところが、声がしわがれておかしくなり、さらに言葉は前に暗唱したのとは違っていた。

Y para ayudarse a recordar el poema cruzó las manos sobre su regazo, como si estuviera recitando la lección; pero la voz le salía ronca y extraña, y las palabras no le salían como debían:

Y 「副詞句」, 「動詞」「目的語」「副詞句」; pero 「主語」「間接目的語」「動詞」「補語」
y 「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞節」

Y イ conj. それで

para ayudarse a recordar パ・ラ・アユタルセ・ア・レコルダール

adv. (目的) ～を思い出せるように 「副詞句」

el poema エル・ポエマ n.m 詩を

「目的語」

cruzó クロ 3 単点(cruzar)v.t (腕を) 組んだ

「動詞」

las manos ラス・マノス pl.n.m 手を

「目的語」

sobre su regazo, ソブレ・ス・レガソ adv. (座っている人の) ひざの上に

「副詞句」

como si +接続法 conj. まるで～するように

「副詞節」

estuviera recitando エストビエラ・レシタント 接・3 単過・進行形・時制の一致(recitar)

v.t 暗唱している

「動詞句」

la lección; ラ・レクシオン n.f 授業

「目的語」

pero ペロ conj. しかし

la voz ラ・ボス n.f 声が

「主語」

le レ pron 彼女にとって

「間接目的語」

salía サリア 3 単線(salir)v.i ～になった

「動詞」

ronca ロンカ adj.f しわがれた

「補語」

y イ conj. そして

extraña, エクストラニャ adj.f 奇妙な

「補語」

y イ conj. そして

las palabras ラス・パラブラス pl.n.f 言葉が

「主語」

no ...salían ノ...サリオン 3 複線・否定(salir)v.i ～にならなかった

「動詞句」

le レ pron 彼女にとって

「間接目的語」

como コモ conj. ～のように

「副詞節」

debían: デビアン 3 複線(deber)v.i ～だったはず

「動詞」

注意：

この文書では、「詩」は出来るだけ意味を正確に翻訳することに努める。

「韻を踏む」とか「一定のリズムを刻む」など、文学的な詩としての翻訳は行わない。

2 El charco de lágrimas

見よ！働き者のワニがピカピカの尻尾で、ナイル川の水を金色のうろこにかけている。

¡Ved cómo el industrioso cocodrilo

aprovecha su lustrosa cola

y derrama las aguas del Nilo

sobre sus escamas doradas!

「動詞」「感嘆」「主語」「動詞」「目的語」 y 「動詞」「目的語」「副詞句」

¡Ved ベ 命・2 複現(ver)v.t 見よ！ 「動詞」

cómo コモ int. なんと 「感嘆」

el industrioso エル・インドゥストリオソ adj. 働き者の 「形容詞句」

cocodrilo ココトウリロ n.m ワニ 「主語」

aprovecha アプ ロベチャ 3 単現(aprovechar)v.t 利用する 「動詞」

su lustrosa cola スルストサ・コラ n.f つやのある尻尾を 「目的語」

y イ conj. そして

derrama デラマ 3 単現(derramar)v.t まき散らす 「動詞」

las aguas ラス・アグ わス pl.n.f 水を 「目的語」

del Nilo デル・ニコ adj. ナイル川の 「形容詞句」

sobre sus escamas doradas! ソブレ・ス・エスカマス・ドラダス adv. 金色のうろこの上に 「副詞句」

escama エスカマ n.f (魚の) うろこ dorada ドラダ adj.f(dorado) 金色の

嬉しそうに歯を見せて、爪を繊細に整える。それから微笑みを浮かべたあごの中に小さい魚が入るように誘うことに精を出す。

¡Con qué alegría muestra sus dientes,

con qué primor dispone las uñas

y se afana en invitar pececillos

a entrar en sus mandíbulas sonrientes!

「副詞句」「動詞」「目的語」, 「副詞句」「動詞」「目的語」 y 「動詞句」「副詞句」

¡Con qué alegría コン・ケ・アレグリア adv. 嬉しそうに 「副詞句」

muestra ムストラ 3 単現(mostrar)v.t 見せる 「動詞」

sus dientes, スス・デイエンテス pl.n.m 歯を 「目的語」

con qué primor コン・ケ・プリモール adv. 繊細に 「副詞句」

dispone デイスポネ 3 単現(disponer)v.t 並べる、配置する、整える 「動詞」

las uñas ラス・ウニャス pl.n.f 爪を 「目的語」

y イ conj. そして

se afana セ・アフアナ 3 単現(afanarse)v.pr 精を出す 「動詞句」

en invitar エン・インビタル adv. (同時) (a+不定詞 ～するように) 誘いながら 「副詞句」

pececillos ペセジヨス pl.n.m 小さな魚 「目的語」

2 El charco de lágrimas

a entrar ア・エントラル 不定詞 v.i 入る 「動詞句」

en sus mandíbulas sonrientes! エン・スス・マンディブラス・ソリエンテ

adv. 微笑みを浮かべたあごの中に 「副詞句」

mandíbula マンディブラ n.f あご sonriente ソリエンテ adj. 微笑を浮かべた

「今の詩は、絶対に間違っていると思うわ」と、可哀そうなアリスは、また目に涙をいっぱい浮べて、言った。

«Estoy segura de que esas no son las verdaderas palabras, dijo la pobre Alicia, llenándosele otra vez los ojos de lágrimas».

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

«Estoy エストイ 1 単現(estar)v.i ~である 「動詞」

segura de ... セグー・デ adj. ~について確信した 「補語」

que ケ conj. ~ということ 「目的語」

ésas エサス pron.f.pl (las palabras の代用) その言葉は 「主語」

no son ノ・ソ 3 複現・否定(ser)v.i ~でない 「動詞」

las verdaderas palabras ラス・ベルダデラス・パラブラス pl.n.f 正しいことば 「補語」

-dijo ディホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

la pobre Alicia, ラ・ポブレ・アリシア n.f かわいそうなアリスが 「主語」

llenándosele ジェナント・セ・レ 現在分詞(llenarse+le)v.pr(de で) ~を満たして 「副詞句」

otra vez オトラ・ベス adv. また、ふたたび 「副詞句」

los ojos ロス・オホス pl.n.m 目を 「目的語」

de lágrimas デ・ラクリマス adv. 涙で 「副詞句」

結局、私はメイベルになってしまったんだわ。あのひどいあばら家に住まなければならないの？ほとんどおもちゃがないし、勉強も沢山やらなければならないなんて！

Soy Mabel, después de todo, y tendré que vivir en esa casucha horrible, casi sin un solo juguete y con tantas lecciones que aprender!

「動詞」「補語」「副詞句」 y 「動詞句」「副詞句」

Soy ソイ 1 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

Mabel, メイベル n.f メイベル 「補語」

después de todo, デスプエス・デ・トド adv. 結局、いずれにしても 「副詞句」

y イ conj. そして

tendré que vivir テントレ・ケ・ビビール 1 単未・必要・推測(tener que+不定詞)

v.i 生活しなくてはなくなる 「動詞句」

en esa casucha エン・エサ・カスチャ adv. あのあばら家で 「副詞句」

horrible, ホリブレ adj. ひどい 「形容詞」

2 El charco de lágrimas

casi カシ adv. ほとんど	「副詞」
sin un solo juguete シン・ウン・ソロ・フゲテ adv. おもちゃが無い状態で	「副詞」
y イ conj. そして	
con tantas lecciones コン・タンタス・レクシオネス adv. 授業がたくさんあって	「副詞句」
que aprender! ケ・アプレNDER adj. 学ぶべき	「形容詞句」
que+不定詞 「～すべき」	

「嫌だわ！私、完全に決心した：もし私がメイベルになったのなら、地下に残るわ」

¡Pues no! Estoy completamente decidida: ¡si soy Mabel, me quedaré aquí abajo!	《「感嘆」 「動詞」「補語」：「副詞節」, 「動詞句」「副詞句」》
¡Pues no! プエス・ノ int. それは嫌だわ！	「感嘆」
Estoy エストイ 1 単現(estar)v.i. ～である	「動詞」
completamente decidida: コンプレタメンテ・デシディダ adj.f. 完全に決心した	「補語」
¡si シ conj. もし～ならば	「副詞節」
soy ソイ 1 単現(ser)v.i. ～である	「動詞」
Mabel, メイベル n.f. メイベル	「補語」
me quedaré メ・クダレ 1 単未・意思(quedarse)v.pr (場所に) とどまる	「動詞句」
aquí abajo! アキ・アハホ adv. この地下に	「副詞句」

誰かが穴の中に頭を突っ込んで、「いい子だから、ここまで上がってらっしゃい！」なんて言ったとしても、何の役にも立たないわ！

¡De nada les servirá que metan sus cabezas por el pozo y me digan, “sube acá arriba, cariño” !;	「副詞句」「間接目的語」「動詞」「主語」
¡De nada デ・ナダ デ・ナダ adv. なんにも～ない	「副詞句」
les レス pron.pl. 誰かにとって	「間接目的語」
servirá セルビラ 3 単未・推量・否定文で(servir)v.i(de に) 役に立たないだろう	「動詞」
que ケ conj. ～ということは	「主語」
metan メタン 接・3 複現・假定(meter)v.t. 入れる	「動詞」
「主語」は「複数の誰か」	
sus cabezas スス・カベサス pl.n.f. 頭を	「目的語」
por el pozo ポル・エル・ポソ adv. 穴の中に	「副詞句」
y イ conj. そして	
me メ pron 私に	「間接目的語」
digam, ディガン 接・3 複現・假定(decir)v.t. 言う	「動詞」
n. ～ということ	「直接目的語」
“sube スベ 命・2 単現(subir)v.i. 上がリなさい	「動詞」

2 El charco de lágrimas

acá arriba, アカ・アリバ^ゝ adv. 上のここまで 「副詞句」
cariño” !; カリーニョ n.m int. いい子だから 「呼びかけ」

私は、とりあえず、上のほうを見て「ねえ、私は誰なの？」と聞くだけにするわ。

me limitaré a mirar hacia arriba y a replicar, “a ver...¿quién soy?”

「動詞句」「副詞句」 y 「動詞句」「目的語」

me limitaré a mirar メ・リミタル・ア・ミラル 1 単未・制限(limitarse a+不定詞)

v.i 見るだけにとどめる 「動詞句」

hacia arriba アシア・アリバ^ゝ adv. 上のほうを 「副詞句」

y

a replicar, ア・レプ^リリカル 1 単未・制限(limitarse a+不定詞)

v.t 言い返すだけにとどめる 「動詞句」

n. ～ということを 「目的語」

“a ver, ア・バー^ル adv. ねえ 「呼びかけ」

¿quién soy?” キエン・ソイ adv. 私は誰? 「質問」

「まずそれを言ってちょうだい、それで、もしその人になってもいいなと思ったら、上がっていくわ。でもそうでなかったら、もっとましな人になるまで私はここに残るわ」

“Decidme eso primero y luego, si me gusta serlo, subiré, y si no, me quedaré aquí abajo hasta que sea otra persona que me guste más”...

《「動詞句」「目的語」「副詞」 y 「副詞句」「動詞」 y 「副詞節」「動詞句」「副詞句」》

“Decidme デシ・メ 命・2 複現(decir+me)v.t 私に言いなさい 「動詞句」

eso エソ pron それを 「目的語」

primero プリメロ adv. 最初に、まず 「副詞」

y イ conj. そして

luego, ルエゴ^ゝ adv. その後で 「副詞」

si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

me メ pron 私にとって 「間接目的語」

gusta グスタ 3 単現(gustar)v.i 気に入る 「動詞」

serlo, セール・ロ 不定詞(ser+lo)n. その人になることが 「主語」

subiré, スビレ 1 単未・意思(subir)v.i 上がっていく 「動詞」

y イ conj. そして

si no, シ・ノ conj. もしそうでなければ 「副詞節」

me quedaré メ・ケダレ 1 単未・意思(quedarse)v.pr 留まる 「動詞句」

aquí abajo アキ・アバ^ホ adv. この地下に 「副詞句」

hasta que アスタ・ケ conj. ～するまで 「副詞節」

2 El charco de lágrimas

sea セア 接・1 単現(ser)v.i	～になる	「動詞」
otra persona オトラ・ペルサ n.f	別の人	「補語」
que ケ pron (主語)	～する	「形容詞節」
me メ pron 私にとって		「間接目的語」
guste más”... グステ・マス 接・3 単現(gustar+ más)		
v.i	もっと気に入る	「動詞句」

「だけど、かわいそうな私！」と言って、アリスは泣き出した。「本当に、誰かが頭を突っ込んでくれたら、どんなに嬉しいでしょう！この地下にたった一人にいることに、もう飽き飽きしてしまったわ！」

Pero ¡ay de mí! -sollozó Alicia-, ¡cómo me gustaría que de verdad se asomasen al pozo!
¡Estoy tan cansada de estar sola aquí abajo!»

《Pero 「感嘆」》, 「動詞」「主語」,

《「副詞」「間接目的語」「動詞」「主語」 | 「動詞」「補語」》

Pero ペロ conj. だけど

¡ay de mí! アイ・デ・ミ int. かわいそうな私！ 「感嘆」

¡ay de +名詞! 「～に対する同情」、「～に対する脅し」

¡Ay de ti, si eso es verdad! それが本当なら覚悟しておけよ！

-sollozó ソジョ 3 単点(sollozar)v.i すすり泣いた、泣きじゃくった 「動詞」

Alicia-, アリシア n.f アリスは 「主語」

¡cómo コモ adv. どれほど 「副詞」

me メ pron 私にとって 「間接目的語」

gustaría グスタリア 3 単過未・推量(gustar)v.i 気に入るだろうか 「動詞」

que ケ conj. ～ということは 「主語」

de verdad デ・ベルダ adv. 本当に 「副詞句」

se asomasen セ・アサセン 接・3 複過(asomarse)v.pr 頭を突っ込む 「動詞句」

al pozo! アル・ポソ adv. 穴に 「副詞句」

¡Estoy エストイ 1 単現(estar)v.i ～である 「動詞」

tan cansada タン・カンサダ adj.f とても飽きた、疲れた 「補語」

de estar デ・エスター adv. (様態) ～でいることに 「副詞句」

sola ソラ adj.f 一人で 「補語」

aquí abajo! アキ・アバホ adv. この地下に 「副詞句」

2 El charco de lágrimas

こう言うと、アリスは自分の手に視線を移しました。すると、話し続けながら、ウサギのなめし皮の小さい手袋の一つを手にはめているのを見て驚きました。

Al decir esto, su mirada se fijó en sus manos y se sorprendió de ver que mientras había estado hablando se había puesto uno de los pequeños guantes de cabritilla del Conejo.

「副詞句」, 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」 y 「動詞句」 「副詞句」

Al decir esto, アル・デシル・エスト adv. こう言って、こう言うとき 「副詞句」

su mirada ス・ミラダ n.f 彼女の視線を 「目的語」

se fijó セ・フィヨ 3 単点(fijarse)v.pr 固定した 「動詞句」

en sus manos エン・ス・マノス adv. 自分の手に 「副詞句」

y イ conj. そして

se sorprendió セ・ソルプレンデヨ 3 単点(sorprenderse)v.pr 驚いた 「動詞句」

de ver デ・ベール adv. (原因) ～を見て 「副詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

mientras ミエンtras conj. ～しながら 「副詞節」

había estado hablando アビ・ア・エスト・アブラント 3 単線・完了形・進行形(hablar)

v.i 話し続ける 「動詞句」

se había puesto セ・アビ・ア・プエスト 3 単線・完了形(ponerse)

v.pr (衣服などを) 身に着けていた 「動詞句」

uno ウノ pron 一つを 「目的語」

de los pequeños guantes デ・ロス・ペケニョス・グアンテス

adj. 小さい手袋の 「形容詞句」

guante グワンテ n.m 手袋

de cabritilla デ・カブリティジャ

adj. (材料) なめし皮の 「形容詞句」

del Conejo. デル・コネホ

adj. (所有) ウサギの 「形容詞句」

「どうしてこんなことができてしまったんだろう」と、アリスは不思議に思いました。「また小さくなっているに違いないわ」

«¿Cómo habré podido hacerlo? -se preguntó-, debe ser que estoy menguando otra vez.»

《「副詞」 「動詞句」》, 「動詞句」, 《「動詞句」 「補語」》

«¿Cómo コモ adv. どうして 「副詞」

habré podido hacerlo? アブレ・ポデイト・アセル・レ 1 単未・完了形・推量(poder+不定詞)

v.t こんなことができてしまったんだろう 「動詞句」

-se preguntó-, セ・プレグント 3 単点(preguntarse)v.pr 疑問に思った 「動詞句」

debe ser デベ・セル 3 単現・推定(deber+不定詞)v.i ～であるに違いない 「動詞句」

2 El charco de lágrimas

que ケ conj. ～ということ 「補語」

estoy menguando エストイ・メングァント 1 単現・進行形(estar+現在分詞)

v.i 小さくなっている 「動詞句」

otra vez.» オトラ・ベス adv. また 「副詞句」

彼女は立ち上がって、自分自身と比べるためにテーブルのほうへ進んで行った、確認すると、その時は身長が約 60cm 位で、しかもまだ急速に小さくなり続けていることが分かった。

Se puso de pie y se dirigió a la mesa para medirse con ella, y por lo que pudo ver juzgó que debía tener entonces unos dos pies de altura y que, además, seguía menguando muy rápidamente.

「動詞句」 y 「動詞句」 「副詞句」 y 「副詞節」 「動詞」 「目的語」 y 「目的語」

Se puso de pie セ・プ・リ・デ・ピエ 3 単点(ponerse de pie)v.i 立ち上がった 「動詞句」

ponerse de (en) pie ホ・ネ・セ・デ・ピエ 「立ち上がる、病気が治る」

y イ conj. そして

se dirigió セ・ディリヒオ 3 単点(dirigirse)v.pr ～に向かった、進んだ 「動詞句」

a la mesa ア・ラ・メサ adv. テーブルの所へ 「副詞句」

para medirse パ・ラ・メディール・セ adv. (目的) 比べるために、測るために 「副詞句」

con ella, コン・エジャ adv. 自分自身と 「副詞句」

y イ conj. そして

por lo que pudo ver ホ・ル・ロ・ケ adv. 見えたことによって 「副詞節」

juzgó フスコ 3 単点(juzgar)v.t 判断した 「動詞」

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

debía tener デビ・ア・テネル 3 単線・推定(deber+不定詞)

v.t (肉体的特徴が) あるに違いない 「動詞句」

entonces エントネス adv. その時は 「副詞」

unos dos pies de altura ウノ・スト・ス・ピエ・デ・アルトゥラ

pl.n.m 身長が約 60cm 「目的語」

y イ conj. そして

que, ケ conj. ～ということ 「目的語」

además, アデマス adv. その上 「副詞」

seguía menguando セギ・ア・メングァント 3 単線・継続(seguir+現在分詞)

v.i 減り続けていた 「動詞句」

menguar メング・ワル v.i 減少する

muy rápidamente. ムイ・ラピダメンテ adv. とても急速に 「副詞句」

2 El charco de lágrimas

pie ピエ n.m (長さの単位) フィート (30.48cm)

やがて、このような変化を起こしている原因は、手に持っている扇子だと気が付きました。

もう完全に消えてしまうところでしたが、ギリギリのところまで扇子を手放しました。

Pronto descubrió que lo que provocaba este cambio era el abanico que tenía en la mano y se apresuró a soltarlo, justo a tiempo, pues estaba ya a punto de desaparecer del todo
注 5. 「副詞」「動詞」「目的語」 y 「動詞句」「副詞句」

Pronto プロント adv. 間もなく、やがて 「副詞」

descubrió デスカブリーオ 3 単点(descubrir)v.t 発見した、気が付いた 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

lo ロ pron それは 「主語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

provocaba プロボカバ 3 単線・時制の一致(provocar)

v.t 生じさせている 「動詞」

este cambio エステ・カンビオ n.m このような変化を 「目的語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

el abanico エル・アバニコ n.m 団扇、扇子 「補語」

que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

tenía テニア 3 単線(tener)v.t 持っていた 「動詞」

en la mano エン・ラ・マノ adv. 手に 「副詞句」

y イ conj. そして

se apresuró セ・アプレスロ 3 単点(apresurarse)v.pr(a+不定詞)

v.pr 急いで～した 「動詞句」

a soltarlo, ア・ソルタル・ロ 不定詞(soltar+lo)v.t それを手放した 「動詞句」

justo a tiempo, フスト・ア・ティエンポ adv. ギリギリのところ、すんでのところ 「副詞句」

pues プエス conj. ～なので 「副詞節」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ～だった 「動詞」

ya ヤー adv. もう 「副詞」

a punto de+不定詞 ア・プント・デ adv. ～するところ 「補語」

desaparecer デサハレセル 不定詞 v.i 消えてしまう 「動詞」

del todo 注 5. デル・トド adv. あらゆるものから 「副詞句」

pie ピエ n.m (長さの単位) フィート (30.48cm)

2 El charco de lágrimas

「今回は何とか抜け出すことができたわ」と、アリスが言った。「今体験した急激な変化にひどく怯えましたが、まだ自分が存在しているのが分かってとても安心しました」

«i De buena me he escapado esta vez! -dijo Alicia, bastante asustada de la transformación tan súbita que había sufrido, pero muy aliviada de ver que todavía existía-.

《「副詞句」「動詞句」「副詞句」》, 「動詞」「主語」, 《「補語」pero「補語」》

«i De buena デ・ブエナ adv. うまいことに、幸運にも 「副詞句」

me he escapado メ・エ・エスカパト 1 単現・完了形(escaparse)v.pr 抜け出した 「動詞句」

esta vez! エスタ・ベス adv. 今回は 「副詞句」

-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia, アリシア n.f アリスは 「主語」

bastante asustada バスタンテ・アススタダ adj.f ひどく怯えた、ひどくびっくりした 「補語」

de la transformación デ・ラ・トランスフォルマシオン adv. (理由) その変化に対して 「副詞句」

tan súbita タン・スビタ adj.fそれほど急激な 「形容詞句」

que ケ pron(目的語)～する 「形容詞節」

había sufrido, アビヤ・スフリト 3 単線・完了形(sufrir)

v.t 経験した、体験した 「動詞句」

pero ペロ conj. しかし

muy aliviada ムイ・アリビアダ

adj.f (過去分詞・受動 aliviar) とても安心した、緩和された 「補語」

de ver デ・ベール adv. (理由) ～を知って、～を見て 「副詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

todavía トダビヤ adv. まだ 「副詞」

existía-. エクシチヤ 3 単線・時制の一致(existir)v.i 存在している 「動詞」

2 El charco de lágrimas

「それじゃあ、今度は庭へ行きましょう！」と、アリスは小さいドアのほうへ全速力で進みながら、叫びました。しかし、ああ、ドアは前と同様に閉まっていた。そしてあの金の小さな鍵はやはりガラスのテーブルの上にありました。そして可哀そうな女の子は考えました。「その上、すべてが、今までに無いほど最悪だわ！今みたいに小さくなったことはいわ。絶対にない！こんなことは断じて気に入らないと宣言するわ！」

Y ahora, ¡al jardín!», exclamó, dirigiéndose a todo correr hacia la diminuta puertecilla; pero ¡ay! estaba cerrada, como antes, y la pequeña llave de oro seguía igualmente sobre la mesa de cristal. y «además todo está peor que nunca -pensó desolada la niña-, pues jamás he sido tan pequeña como ahora. ¡jamás! ¡Y declaro que no me gusta nada cómo están las cosas!».

《Y 「副詞句」》, 「動詞」「副詞句」; pero 「感嘆」「動詞」「補語」
y 「主語」「動詞」「副詞句」 y 《「副詞」「主語」「動詞」「補語」》
, 「動詞」「主語」, 《「副詞節」 | Y 「動詞」「目的語」》

Y イ conj. そして

ahora, アウ adv. 今度は 「副詞」

¡al jardín!», アル・ハルディン adv. 庭へ！ 「副詞句」

exclamó, エスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ 「動詞」

dirigiéndose ディリヒエンツェ 現在分詞(dirigirse)adv. 進みながら 「副詞句」

dirigirse ディリヒルセ v.pr 向かう、目指す

a todo correr ア・トト・コレール adv. 全速力で 「副詞句」

hacia la diminuta puertecilla; アシア・ラ・ディミヌタ・プエルテシジャ

adv. 小さいドアのほうへ 「副詞句」

diminuta ディミヌタ adj.f(diminuto) 大変小さい

puertecilla プエルテシジャ n.f(puerta + ecilla) 小さいドア

pero ペロ conj. しかし

¡ay! アイ int. ああ 「感嘆」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ~だった 「動詞」

cerrada, セラダ adj.f 閉まった 「補語」

como antes, コモ・アンテス adv. 前と同様に 「副詞句」

y イ conj. そして

la pequeña llave de oro ラ・ペケニャ・ジャベ・デ・オロ n.f あの金の小さな鍵は 「主語」

seguía セギア 3 単線(seguir)v.i (継続) まだあった 「動詞」

igualmente イグワルメンテ adv. 同様に 「副詞」

sobre la mesa de cristal, ソブレ・ラ・メサ・デ・クリスタル adv. ガラスのテーブルの上に 「副詞句」

y イ conj. そして

«además アデマス adv. その上 「副詞」

todo トト pron 何もかもが 「主語」

2 El charco de lágrimas

está エスタ 3 単線(estar)v.i	～だった	「動詞」
peor que nunca ヘ・オール・ケ・ヌカ	adj. かつてなく悪い	「補語」
-pensó ヘンソ 3 単点(pensar)v.i	考えた	「動詞」
desolada デソラダ	adj.f 悲痛な、打ちひしがれた	「形容詞」
la niña-, ラ・ニーニャ	n.f 少女は	「主語」
pues プエス	conj. ～なので	「副詞節」
jamás he sido ハマス・エ・シト	1 単現・完了形・否定(ser)	
v.i	今までに一度も～になったことがない	「動詞句」
tan pequeña タン・ペ・ケニャ	adj.f これほど小さく	「補語」
como ahora, コモ・アホラ	adv. 今みたいに	「副詞句」
¡jamás!	ハマス	adv. 断じてない
¡Y イ	conj. そして	
declaro テクラロ	1 単現(declarar)v.t 宣言する	「動詞」
que ケ	conj. ～ということを	「目的語」
no ...gusta ノ...グスタ	3 単現・否定(gustar)v.i 気に入らない	「動詞句」
me メ	pron 私にとって	「間接目的語」
nada ナダ	pron 何も	「主語」
cómo están las cosas!», コモ・エスタン・ラス・コサス	adj. このような	「形容詞節」

そう言うと、足が滑り、もんどりうって塩水に飛び込み、首までつかってしまいました。

<u>Al decir esto, resbaló</u> <u>y cayó con un gran chapuzón en un agua salada que le llegó al</u> <u>cuello!</u>		「副詞句」, 「動詞」 y 「動詞」 「副詞句」
Al decir アル・デ・シール	adv. ～を言うと	「副詞句」
esto, エスト	pron このようなこと	「目的語」
resbaló レスパロ	3 単点(resbalar)v.i 滑った	「動詞」
y イ	conj. そして	
cayó カヨ	3 単点(caer)v.i 落ちた	「動詞」
con un gran chapuzón コン・ウン・グラン・チャプ・ソ	adv. もんどりうって、飛び込んで	「副詞句」
en un agua salada エン・ウン・アクア・サラダ	adv. 塩水の中に	「副詞句」
que ケ	pron (主語) ～する	「形容詞節」
le レ	pron 彼女の	「間接目的語」
llegó ジェゴ	3 単点(llegar)v.i 達した、届いた	「動詞」
al cuello! アル・クエジョ	adv. 首まで	「副詞句」

2 El charco de lágrimas

最初に頭に浮かんだのは、どうして海に落ちたんだろう、ということでした。「もし海に落ちたのなら、列車に乗って家に帰れるわね」と、アリスは心の中で思いました。

Lo primero que se le ocurrió es que había caído de alguna manera en el mar, «y en ese caso podré volver a casa en tren», se dijo Alicia

「主語」「動詞」「補語」, «y「副詞句」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」», 「動詞句」「主語」

Lo primero ロ・プリメロ pron 最初の事は 「主語」

que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

se le ocurrió セ・ロ・オクリオ 3 単点(ocurrirse)v.pr 頭に浮かんだ 「動詞句」

le は Lo の代用

es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

que ケ conj. ~ということ 「補語」

había caído アビ・ア・カイト 3 単線・完了形(caer)v.i 落ちた 「動詞句」

de alguna manera デ・アルグナ・マネラ

adv. 何らかの方法で、どんな風に、どうして 「副詞句」

en el mar, エン・エル・マル adv. 海に 「副詞句」

«y イ conj. そして

en ese caso エン・エセ・カソ adv. その場合には 「副詞句」

podré volver ポ・ドレ・ボルベール 1 単未・可能・推測(poder+不定詞)v.i 戻れるだろう 「動詞句」

a casa ア・カサ adv. 家に 「間接目的語」

en tren», エン・トレン adv. 列車に乗って 「副詞句」

se dijo セ・デヨ 3 単点(decirse)v.pr 心の中で思った 「動詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

(アリスはこれまでにたった一度だけ海岸に行ったことがあったので、イギリスではどこかの海岸でも、海の家が一杯あって、スコップで砂浜を掘っている子供たちがいて、海岸沿いには家が立ち並び、その後ろには、鉄道の駅があるという結論に達していたからです)

(que había ido a la playa una sola vez en su vida y había llegado a la conclusión general de que fuera uno a donde fuera en la costa inglesa. ésta estaba llena de casetas de baño en el mar. 注 6. de niños cavando con palas en la arena. una hilera de casas al borde de la playa y detrás una estación de ferrocarril).

(que「動詞句」「間接目的語」「副詞句」 y 「動詞句」「間接目的語」)

(que ケ conj. (原因・理由) ~だから

había ido アビ・ア・イト 3 単線・完了形(ir)v.i 行ったことがあった 「動詞句」

a la playa ア・ラ・プラジャ adv. 海岸に、海辺に 「間接目的語」

una sola vez ウナ・ソラ・ベス adv. たった一度だけ 「副詞句」

2 El charco de lágrimas

en su vida	エン・ス・ビダ	adv. 人生において、これまでに	「副詞句」
y	イ	conj. そして	
había llegado	アビ・ア・ジ・ェガド	3 単線・完了形(llegar)v.i (a に) 到達していた	「動詞句」
a la conclusión	ア・ラ・コンクルシオン	adv. 結論に	「間接目的語」
general	ヘネラル	adj. 一般的な	「形容詞」
de que fuera uno a donde fuera	デ・ケ・フエラ・ウノ・ア・ドンデ・フエラ		
	adj. (同格) どこでも、ある所から別の所に行ったとしても	「形容詞節」	
en la costa inglesa,	エン・ラ・コスタ・イングレサ		
	adv. イギリスの海岸の		「副詞句」
ésta	エスタ	pron. そこは (海岸は)	「主語」
estaba	エスタバ	3 単線・時制の一致(estar)v.i ~である	「動詞」
llena	ジ・ェナ	adj.(de ~で) 一杯の	「補語」
de casetas de baño en el mar	注 6, カセタス・デ・バンニョ・エン・エル・マル		
	pl.n.f 海の家で		「目的語」
de niños	デ・ニニョス	pl.n.m 子供たちで	「目的語」
cavando	カバント	現在分詞(cavar)	
	adj. 掘っている		「形容詞」
con palas	コン・パラス		
	adv. (道具) スコップで		「副詞句」
en la arena,	エン・ラ・アレナ	adv. 砂浜で	「副詞句」
una hilera	ウナ・イレラ	n.f 列	「目的語」
de casas	デ・カサス	adj. 家の	「形容詞句」
al borde de la playa	アル・ボルデ・デ・ラ・プラジャ		
	adv. 海岸の縁に		「副詞句」
y,	イ	conj. そして	
detrás,	デトラス	adv. 後ろには	「副詞」
una estación	ウナ・エスタシオン	n.f 駅が	「目的語」
de ferrocarril).	デ・フェロカルル		
	adj. 鉄道の		「形容詞句」

2 El charco de lágrimas

それでもすぐに、自分が今いるところは、身長が 3 メートルだった時に大粒の涙をたくさんこぼして出来た水たまりの中であると、推理することができた。

Sin embargo, pronto dedujo que donde estaba en realidad era en el charco de lágrimas que se había formado con tantos lagrimones como había vertido cuando tenía nueve pies de altura.

Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. とはいえ、それにもかかわらず 「副詞句」

pronto プロント adv. すぐに、間もなく 「副詞」

dedujo デトドゥ 3 単点(deducir)v.t 推論した 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

donde トンデ adv. (場所) ～する場所は 「副詞節」

estaba エスタバ 3 単線・時制の一致(estar)v.i ～にいる 「動詞」

en realidad エン・レアリダド adv. 実際に 「副詞句」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

en el charco エン・エル・チャルコ adv. 水たまりの中 「副詞句」

de lágrimas デ・ラグリマス adj. 涙の 「形容詞句」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

se había formado セ・アビア・フォルマト 3 単線・完了形・再帰受動(formarse)

v.pr 作られた 「動詞句」

con tantos lagrimones コン・タントス・ラグリモネス

adv. たくさんの大粒の涙によって 「副詞句」

lagrimones ラグリモネス pl.n.m(lágrima+ón 示大) → 主に複数形で使用、大粒の涙

como コモ conj. (理由) ～なので 「副詞節」

había vertido アビア・ベルチト 3 単線・完了形(verter)

v.t こぼした 「動詞句」

cuando クワント conj. ～するときに 「副詞節」

tenía テニア 3 単線(tener)

v.t (特徴) ～である 「動詞」

nueve pies ヌエベ・ピエス

pl.n.m 9 フィート (約 3 メートル) 「目的語」

de altura. デ・アルトゥラ

adj. 身長が 「形容詞句」



2 El charco de lágrimas

「あんなに泣かなきゃあ良かったわ！」と、アリスはそこから出る方法を見つけようとして、
周りを泳ぎながら言った。

«¡Ojalá no hubiera llorado tanto! -dijo Alicia mientras nadaba en derredor intentando encontrar una manera de salir-. 《Ojalá》, 「動詞」「主語」「副詞節」

«¡Ojalá +接続法・過去形 かな int. ～すれば良かったのだが

no hubiera llorado ノ・ウベ・エラ・ジェラト 接・1 単過・完了形・否定(llorar)

v.i 泣かなかった 「動詞句」

tanto! タント adv. あれほど 「副詞」

-dijo デ・イ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

mientras ミエンtras conj. ～している間 「副詞節」

nadaba ナダバ 3 単線(nadar)v.i 泳いだ 「動詞」

en derredor エン・デレトール adv.(alrededor) 周りを 「副詞句」

intentando encontrar インテンタント・エンコントール 現在分詞(intentar+不定詞)

adv. ～を見つけようとして 「副詞句」

una manera ウナ・マネラ n.f 方法を 「目的語」

de salir. デ・サルール adj. (目的) 出るための 「形容詞句」

私がそれを作ったから、これから自分にふさわしい罰を受けるのだと思うわ。きっと、自分
自身が作った涙の池で溺れ死んでしまうのよ！

Supongo que ahora sufriré el castigo que me merezco por haberlo hecho ¡ahogándome en mis propias lágrimas! 「動詞」「目的語」, 「副詞句」

Supongo スポンゴ 1 単現(suponer)v.t(que ～だと) 思う 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

ahora アオラ adv. 今 「副詞」

sufriré スフリレ 1 単未・推測(sufrir)v.t 受けるのだろう、経験する 「動詞」

el castigo エル・カスチゴ n.m 罰を 「目的語」

que ケ pron (同格) ～という 「形容詞節」

me merezco メ・メレスコ 1 単現(merecerse)

v.pr 自分にふさわしい 「動詞句」

por +不定詞・完了形 ポル adv. ～したために 「副詞句」

haberlo hecho アベル・ロ・エチョ 不定詞・完了形(hacer+lo)

v.t それを作った 「動詞句」

¡ahogándome アカント・メ 現在分詞(ahogarse)v.pr 溺死しそうになっている 「副詞句」

en mis propias lágrimas! エン・ミス・プロピオス・ラグラマス

2 El charco de lágrimas

adv. 自分自身の涙の池で

「副詞句」

それは確かに理屈に合わないかもしれない！だけど、今日はすべてがすごく奇妙だから...

¡Eso sí que será una paradoja! Pero es que todo es tan raro hoy...»

Eso sí que 「動詞」「補語」 | Pero es que 「主語」「動詞」「補語」

¡Eso sí que +直説法 エソ・シ・ケ conj. 確かに～である

será セラ 3 単未・推量(ser)v.i. ～かもしれない

「動詞」

una paradoja! ウナ・パラトハ n.f 逆説、不条理

「補語」

Pero ペロ conj. しかし

es que+直説法 エス・ケ conj. (理由) 実は～なので

todo トド pron 全てのことが

「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i. ～である

「動詞」

tan raro タン・ラロ adj. とても奇妙な

「補語」

hoy...» ホイ adv. 今日は

「副詞」

es que+直説法 : 実は～なので

Es que no lo sabía. 実は私はそのことを知らなかったの。

así que+直説法 : 従って～・～するとすぐに(未来のことは+接続法)

Tenemos prisa, así que acaba de vestirme. 急いでいるから、さっさと服を着てしまえ。

Así que llegues allí, avisámelo. 向こうに着いたら、すぐに知らせろ。

por qué : なぜ(理由を聞くとき)

¿Por qué no viniste? なぜ来なかったの?

porque : ～だから(理由を述べるとき)

Porque estuve enfermo. 病気だったからです。

No salí porque se puso a llover. 雨が降り出したので、私は出かけなかった。

その時、彼女がいた場所の近くで、何かがピチャピチャ動き回る音が聞こえました。それでアリスは、何の音なのかを確かめるためにその方向に泳いで行きました。

En ese momento oyó que algo chapoteaba no muy lejos de donde ella estaba y nadó en su dirección para ver de qué se trataba: 「副詞句」「動詞」「目的語」 y 「動詞」「副詞句」

En ese momento エン・エセ・モメント adv. その時

「副詞句」

oyó 3 単点(oír)v.t. 聞こえた

「動詞」

que ケ conj. ～ということが

「目的語」

algo アルゴ pron 何かが

「主語」

chapoteaba チャポテアバ 3 単線(chapotear)

v.i (水の中を) ピチャピチャ動き回っていた

「動詞」

chapotear チャポテアル v.i ポチャポチャ音を立てる、(水の中を) ピチャピチャ動き回る

es que+直説法 : 実は～なので

2 El charco de lágrimas

no muy lejos ノ・ムイ・レホス	adv. あまり遠くない	「副詞句」
de donde デ・ドンデ	adv. ～する所から	「副詞句」
ella エジャ	pron 彼女が	「主語」
estaba エスタバ	3 単線(estar)v.i ～にいた	「動詞」
y イ	conj. そして	
nadó ナド	3 単点(nadar)v.i 泳いだ	「動詞」
en su dirección エン・ス・ディレクシオン	adv. その方向に	「副詞句」
para ver パラ・ベール	adv. (目的) 見るために	「副詞句」
de qué デ・ケ	adv. 何の	「間接目的語」
se trataba セ・トラタバ	3 単線(tratarse)v.pr(de) 問題は～である	「動詞句」

最初は、セイウチかカバの出す音だと思っていた。しかしその後、今は自分が小さくなっていることを思い出して、彼女と同様に池に落ちたネズミに過ぎないと推測した。

al principio creyó que se trataba de una morsa o de un hipopótamo, pero luego se acordó de lo pequeña que era ahora y dedujo que no se trataba más que de un ratón que habría caído en el charco, igual que ella.

pero	「副詞」「動詞句」「間接目的語」 y 「動詞」「目的語」	
al principio アル・プリンシピオ	adv. 最初のうちは	「副詞句」
creyó クレヨ	3 単点(creer)v.t (que ～だと) 思った	「動詞」
que ケ	conj. ～ということを	「目的語」
se trataba セ・トラタバ	3 単線(tratarse)v.pr(de) 問題は～である	「動詞句」
de una morsa デ・ウナ・モルサ	adv. (動物) セイウチ	「間接目的語」
o オ	conj. または	
de un hipopótamo, デ・ウン・イポポタモ	adv. (動物) カバ	「間接目的語」
pero ペロ	conj. しかし	
luego ルエゴ	adv. それから	「副詞」
se acordó セ・アコルト	3 単点(acordarse)v.pr(de) (を) 思い出した	「動詞句」
de lo pequeña デ・ロ・ペケニャ	adv. 小さいことを	「間接目的語」
que ケ	pron (補語) ～する	「形容詞節」
era エラ	3 単線(ser)v.i ～になっていた	「動詞」
ahora アオラ	adv. 今	「副詞」
y イ	conj. そして	
dedujo デドゥホ	3 単点(deducir)v.t 推測した	「動詞」
que ケ	conj. ～ということを	「目的語」
no se trataba ノ・セ・トラタバ	3 単線・否定(tratarse)v.pr(de) 問題は～でない	「動詞句」
más que de un ratón マス・ケ・デ・ウン・ラトン	adv. ネズミ以上でない	「間接目的語」

2 El charco de lágrimas

no... más que de un ratón ネズミでしかない
 que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 habría caído アブラ・カイト 3 単過未・完了形・推量(caer)
 v.i 落ちただろう 「動詞句」
 en el charco, エン・エル・チャルコ adv. 池に 「副詞句」
 igual que ella. イグ・ワル・ケ・エジャ adv. 彼女と同様に 「副詞句」

「何か私の役に立つかしら？」と、アリスは自問した。「今、このネズミに話しかけたら」

«¿Me servirá de algo -se preguntó Alicia- intentar hablar ahora con este ratón?»
 «「間接目的語」「動詞」「間接目的語」, 「動詞句」「主語」, «「主語」
 «¿Me メ pron 私にとって 「間接目的語」
 servirá セルビラ 3 単未・疑問文(servir)v.i 役に立つだろうか? 「動詞」
 de algo デ・アルコ adv. 何かの 「間接目的語」
 -se preguntó セ・プレグント 3 単点(preguntarse)v.pr 自問した 「動詞句」
 Alicia- アリシア n.f アリスは 「主語」
 intentar hablar インテンタル・アブラール 不定詞(intentar+不定詞)
 n. 話しかけてみることは 「主語」
 ahora アオラ adv. 今 「副詞」
 con este ratón? コン・エステ・ラトン adv. このネズミに 「間接目的語」

「地下のここでは何もかもがひどく変わっているから、このネズミが話せたとしても不思議ではないだろう。それにどちらにしても、それを試したとしても何も失うものはない。」

Todo es tan poco corriente aquí abajo que no me extrañaría nada que pudiera hablar, y en todo caso, nunca se pierde nada por intentarlo.»

«「主語」「動詞」「補語」「副詞節」 y 「副詞句」「動詞句」「主語」「副詞句」»
 Todo トド pron すべてが 「主語」
 es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」
 tan poco corriente タン・ポコ・コリエンテ adj. ひどく変わっている 「補語」
 corriente コリエンテ adj. 正常な、普通な、標準の tan poco 強い否定
 aquí abajo アキ・アバホ adv. 下のここでは 「副詞句」
 que ケ conj. (tan...que～ あまり... なので) ～する 「副詞節」
 no me extrañaría ノ・メ・エクストラニャリア 1 単過未・否定(extrañarse)
 v.pr 不思議に思わないだろう 「動詞句」
 nada ナダ pron 何も～ない 「目的語」
 que ケ pron (同格) ～ということ 「形容詞節」
 pudiera hablar, プデ・ィエラ・アブラール 接・3 単過・仮定(poder+不定詞)

2 El charco de lágrimas

v.i 話せるとする	「動詞句」
y イ conj. そして	
en todo caso, エン・トト・カ adv. いずれにしても	「副詞句」
nunca se pierde ヌンカ・セ・ピエルデ 3 単現・再帰受動・否定(perderse)	
v.pr 決して失われない	「動詞句」
nada ナダ pron 何も～ない	「主語」
por intentarlo. ホル・インテンタル・ロ adv. (原因) それを試すことによって	「副詞句」

それでアリスは話はじめた：

Así que <u>empezó a decir</u> :	Así que 「動詞句」
Así que +直説法 アシ・ケ conj. それで～する	
empezó a decir: エンペ・ソ・ア・デシール 3 単点・開始(empezar a+不定詞)	
v.t 話はじめた	「動詞句」

「おお、ネズミよ！この池から出る方法を知っていますか？」

«¡Oh <u>Ratón</u> !, ¿ <u>sabes</u> cómo salir de este charco?	《「呼びかけ」「動詞」「目的語」》
«¡Oh Ratón!, オー・ラトン adv. おお、ネズミよ！	「呼びかけ」
¿sabes サベス 2 単現・疑問文(saber)v.t 知っていますか？	「動詞」
cómo コモ adv. ～する方法を	「目的語」
salir サール 不定詞 v.i (de から) 出る	「動詞」
de este charco? デ・エステ・チャルコ adv. この池から	「副詞句」

「この辺りを泳いでいて、とても疲れたんです。おお、ネズミよ！」

<u>Estoy muy cansada de estar nadando por aquí, ¡ oh <u>Ratón</u>!</u> »	《「動詞」「補語」 「呼びかけ」》
Estoy エストイ 1 単現(estar)v.i ～である	「動詞」
muy cansada +不定詞 ムイ・カンサダ adj.f ～するのにとても疲れた	「補語」
de estar nadando デ・エスタール・ナダント 不定詞・進行形(nadar)	
v.i 泳いでいる	「動詞句」
por aquí, ¡ ホル・アキ adv. この辺りを	「副詞句」
oh Ratón! オー・ラトン adv. おー、ネズミよ！	「呼びかけ」

2 El charco de lágrimas

(アリスは一度もネズミと話しをしたことはなかったけれど、兄さんのラテン語の本に書いてあったのを覚えていたので、これがネズミに話しかけるための最適な方法だと考えた。)

(Alicia pensó que ésta sería la manera más indicada de dirigirse a un ratón, pues, aunque nunca lo había hecho antes, se acordaba de que en la gramática latina de su hermano ponía:

(「主語」「動詞」「目的語」

(Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.t 考えた 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

ésta エスタ pron これが 「主語」

sería セリア 3 単過未・推量(ser)v.i ～だろう 「動詞」

la manera más indicada ラ・マネラ・マス・インディカダ n.f 最適な方法 「補語」

manera マネラ n.f 方法 indicada インディカダ adj.f(indicado) 適当な、都合の良い

de dirigirse デ・ディリヒルセ 不定詞・目的 v.pr 話しかけるために 「副詞句」

a un ratón, ア・ウン・ラトン adv. ネズミに 「間接目的語」

pues, プエス conj. ～なので 「副詞節」

aunque アウンケ conj. ～ではあるが 「副詞節」

nunca lo había hecho ヌンカ・ロ・ハビア・エチョ 3 単線・完了形・否定(hacer)

v.t それを一度もしたことがなかった 「動詞句」

antes, アンテス adv. 前に 「副詞」

se acordaba セ・アコルダバ 3 単線(acordarse)v.pr(de を) 覚えていた 「動詞句」

de que デ・ケ adv. ～ということを 「目的語」

en la gramática latina エン・ラ・グラマチカ・ラチナ

adv. ラテン語の文法の本に 「副詞句」

de su hermano デ・ス・エルマノ adj. 兄さんの 「形容詞句」

ponía: ポニア 3 単線(poner)v.t 書いてあった 「動詞」

「そのネズミは、そのネズミの、そのネズミに、のために、と一緒に、について、の後ろに、など。そのネズミは、おお、ネズミよ！」)

«el ratón - del ratón - al ratón - para, con, sobre, tras, etc., el ratón - ¡oh ratón!»)

《「主語」・「形容詞」・「副詞句」・「副詞」・「副詞」・「間接目的語」・「副詞」, 「主語」・「呼びかけ」》

«el ratón - エル・ラトン n.m そのネズミは 「主語」

del ratón - デル・ラトン adj. そのネズミの 「形容詞」

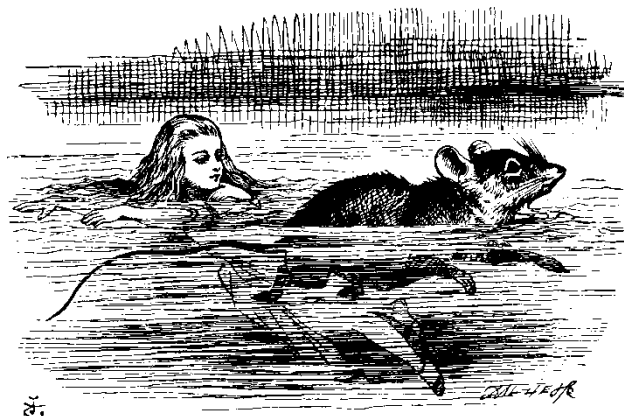
al ratón - アル・ラトン adv. そのネズミに 「副詞句」

para, パラ adv. ～のために 「副詞」

con, コン adv. ～と一緒に 「副詞」

2 El charco de lágrimas

sobre, ソブレ adv. ～について	「間接目的語」
tras, トラス adv. ～の後ろに	「副詞」
etc., エトセテラ n.m など	「副詞」
el ratón – エル・ラトン n.m そのネズミは	「主語」
joh ratón!)) オー・ラトン adv. おお、ネズミよ	「呼びかけ」



ネズミは少し注意してアリスを見つめた。すると、アリスにはネズミが彼女に向かって小さな目でウインクしたように見えたが、ネズミは何も答えなかった。

El Ratón la contempló con cierto detenimiento y a Alicia le pareció que le guiñaba un ojito, pero no contestó nada.

「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」 y 「間接目的語」「動詞」「主語」,
pero 「動詞句」「目的語」

El Ratón エル・ラトン n.m ネズミは	「主語」
la ラ pron アリスを	「目的語」
contempló コンテンプロ 3 単点(contemplar)v.t じっと見つめた	「動詞」
con cierto detenimiento コン・シエルト・デテンimiento adv. 幾分注意深く	「副詞句」
cierto シエルト adj. (+名詞) ある～、いくらかの detenimiento デテンimiento n.m 注意	
y イ conj. そして	
a Alicia ア・アリシア adv. アリスにとっては	「間接目的語」
le レ pron 彼女には	「間接目的語」
pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i ～に思われた	「動詞」
que ケ conj. ～ということは	「主語」
le レ pron 彼女に	「間接目的語」
guiñaba ギニャバ 3 単線(guiñar)v.t (ネズミが) ウインクした	「動詞」
un ojito, ウン・オヒト n.m 小さい目を	「直接目的語」

2 El charco de lágrimas

pero ペロ conj. しかし

no contestó ノ・コンテスト 3 単点・否定(contestar)v.t 答えなかった 「動詞句」

nada. ナダ pron なにも～ない 「目的語」

「英語を話せないのかもしれないわ」と、アリスは考えた。「それなら、征服王ウィリアムと一緒にやって来たフランスネズミに違いないわ」

«Puede ser que no sepa hablar inglés. -pensó Alicia-. ¡Y si es un ratón francés que ha venido acá con Guillermo el Conquistador!»

《「動詞句」「補語」》, 「動詞」「主語」, 《Y「動詞」「補語」》

«Puede ser プエデ・セール 3 単現・可能性(poder+不定詞)v.i ～であるかもしれない「動詞句」

que ケ conj. ～ということ 「補語」

no sepa hablar ノ・セパ・アブラール 接・3 単現・可能・推測(saber+不定詞)

v.t (言語を) 話せないかもしれない 「動詞句」

inglés イングレス n.m 英語を 「目的語」

-pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.t 考えた 「動詞」

Alicia-. アリシア n.f アリスは 「主語」

¡Y イ conj. そして

si es シ・エス 3 単現・強調(ser)v.i ～に違いない 「動詞」

un ratón francés ウン・ラトン・フランセス n.m フランスネズミ 「補語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

ha venido ア・ベニド 3 単現・完了形(venir)v.i やって来た 「動詞句」

acá アカ adv. こちらに 「副詞」

con Guillermo el Conquistador!> コン・ギジエルモ・エル・コンキスタドール

adv. 征服王ウィリアムと一緒に 「副詞句」

Guillermo ギジエルモ n.m ギリエルモ (英 ウィリアム)

(歴史の知識はいろいろあったけれども、アリスはそれらすべてがいつ起きたのかという詳しいことは知らなかったんだ)

(Pues, a pesar de todos sus conocimientos de historia, Alicia no tenía una idea muy clara de cuándo habían sucedido todas esas cosas.)

(Pues, 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」)

(Pues, プエス conj. それで

a pesar de ア・ペサル・デ prep ～にもかかわらず 「副詞句」

todos sus conocimientos トス・ス・コノシミエンツ pl.n.m 彼女の全知識 「目的語」

de historia, デ・イストリア adj. 歴史の 「形容詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

2 El charco de lágrimas

no tenía ノ・テニア 3 単線・否定(tener)v.t. ～がなかった 「動詞句」
 una idea muy clara ウナ・イデア・マイ・クラ n.f. 明らかな考え 「目的語」
 de cuándo デ・クワント adj. いつ～したかという 「形容詞節」
 habían sucedido アビアン・セディト 3 複線・完了形(suceder)
 v.i 起こった 「動詞句」
 todas esas cosas.) トダス・エサ・コサ pl.n.f. それらすべてが 「主語」

それで、今回はこう言って、もう一度試してみた：「私のネコはどこにいるの？」これはフランス語の文法の最初に出ていた文なんだけど。

Así que probó de nuevo, diciendo esta vez: «Oú est ma chatte?», que era la primera frase de su gramática francesa.

Así que 「動詞」「副詞句」：《「副詞」「動詞」「主語」》, 「主語」「動詞」「補語」
 Así que アシ・ケ conj. それで～する
 probó プロボ 3 単点(probar)v.t. 試してみた 「動詞」
 de nuevo, デ・ヌエボ adv. もう一度 「副詞句」
 diciendo esta vez: ディイシント・エスタ・ベス adv. 今回はこう言って 「副詞句」
 «Oú リ adv. (疑問文で) どこ? 「副詞」
 est エ 3 単現(être)v.i (存在) ～にいる 「動詞」
 ma chatte?), マ・シャット n.f. 私のネコは 「主語」
 que ク pron (前の文) これは 「主語」
 era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」
 la primera frase ラ・プリメラ・フラセ n.f. 最初の文 「補語」
 de su gramática francesa. デ・スグラマチカ・フランセサ adj. フランス語の文法の「形容詞句」
 así que+直説法 : 従って・するとすぐに

Tenemos prisa, así que acaba de vestirme. 急いでいるのだ。だからさっさと服を着なさい。

Así que llegues allí, avísamelo. 向こうに着いたら、すぐに知らせろ。

これを聞くと、ネズミは怖がって水の外に飛び出し、激しく震えだした。

Al oír esto, el Ratón saltó espantado fuera del agua y se puso a temblar violentamente.

「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」 y 「動詞句」「副詞」
 Al oír アル・オイール adv. (原因) ～を聞くと 「副詞句」
 esto, エスト pron これを 「目的語」
 el Ratón エル・ラトン n.m. ネズミは 「主語」
 saltó サルト 3 単点(saltar)v.i. 飛び上がった 「動詞」
 espantado エスパント 過去分詞・受動(espantar)adv. 怖がって 「副詞」
 fuera del agua フェラ・テル・アグア adv. 水の外に 「副詞句」

así que+直説法 : 従って・するとすぐに

2 El charco de lágrimas

y イ conj. そして

se puso a temblar セ・プツ・ア・テンブラール 3 単点・開始(ponerse a+不定詞)

v.i 震え始めた

「動詞句」

violentamente. ビ・オレンタメンテ adv. 激しく

「副詞」

「ああ、ごめんなさいね！」と、アリスは、哀れな小ネズミの気持ちを傷つけたのではない
かと思って、叫んだ。「あなたが、猫嫌いだということをすっかり忘れていたわ！」

-¡Oh! ¡Le ruego que me disculpe! -exclamó Alicia temiendo haber herido los sentimientos
del pobre animalillo-, ¡Me olvidé completamente de que no le pueden gustar los gatos!

《「感嘆」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」,
《「動詞句」「副詞」「間接目的語」》

-¡Oh! オー int. ああ、おや

「感嘆」

¡Le レ pron あなたに

「間接目的語」

ruego ルエゴ 1 単現(rogar)v.t 懇願する、頼む

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「直接目的語」

me メ pron 私を

「目的語」

disculpe! ディスクルペ 接・3 単現・願望(disculpar)

v.t 許してくれるように

「動詞」

-exclamó エクスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ

「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは

「主語」

temiendo +不定詞 テミエント

adv.(temor+不定詞) (理由：～するのではないかと) 思って

「副詞句」

haber herido アベール・エリト 不定詞・完了形(herir)v.t 傷つけた

「動詞句」

los sentimientos ロス・センチエントス pl.n.m 感情を、気持ちを

「目的語」

del pobre animalillo, デル・ポブレ・アニマリジョ

adj. 哀れな小ネズミの

「形容詞句」

¡Me olvidé メ・オルビデ 1 単点(olvidarse)v.pr (de を) 忘れていた

「動詞句」

completamente コンプレタメンテ adv. 完全に

「副詞」

de que デ・ケ conj. ～ということを

「間接目的語」

no ...pueden gustar ノ...プエテン・グスター 3 複現・可能・否定(poder+不定詞)

v.i 気にいらない

「動詞句」

le レ pron あなたにとって

「間接目的語」

los gatos! ロス・ガトス pl.n.m ネコは

「主語」

2 El charco de lágrimas

「僕がネコ嫌いだと？」と、ネズミはかん高い強烈な声でわめいた。「もし君が僕だったら、ネコを好きになるというのか？」

-¡No gustarme los gatos! -gritó el Ratón con voz chillona y apasionada-. ¿Es que te gustaría a ti si estuvieras en mi lugar?

《「応答」》, 「動詞」「主語」「副詞句」,

《Es que 「間接目的語」「動詞」「間接目的語」「副詞節」》

-¡No gustarme ノ・グスタル・メ 不定詞・否定形(gustar+me)

v.i (不満の表現) 私にとって好ましくないだって？

「応答」

los gatos! ロス・ガトス pl.n.m ネコは

「主語」

-gritó グリト 3 単点(gritar)v.i わめいた

「動詞」

el Ratón エル・ラトン n.m ネズミは

「主語」

con voz コン・ボス adv. (手段) ~の声で

「副詞句」

chillona チジョナ adj.f かん高い

「形容詞」

y イ conj. そして

apasionada-. アパシヨナダ adj.f 強烈な

「形容詞」

¿Es que +直説法 エス・ケ (疑問文の開始) ~だということか？

te テ pron 君にとって

「間接目的語」

gustarían グスタリアン 3 複過未・推量(gustar)v.i 好みだということか？

「動詞」

a ti ア・ティ adv. 君にとって

「間接目的語」

si シ conj. もし~ならば

「副詞節」

estuvieras エストゥビエラス 接・2 単過・仮定法(estar)v.i ~であるとする

「動詞」

en mi lugar? エン・ミ・ルガル adv. 僕の立場

「副詞句」

「そうね、私も好きにならないでしょうね」と、アリスはなだめるように言った。

-Bueno, puede que no -dijo Alicia en tono conciliador-.

《「応答」「動詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

-Bueno, ブエノ adv. (肯定の返事) そうだね

「応答」

puede que プエデ・ケ 3 単現・可能性 (puede que+接続法)v. ~するかもしれない「動詞句」

no ノ v. (no me gustaran los gatos の省略) 好きにならないだろう

「動詞句」

-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは

「主語」

en tono conciliador-. エン・トノ・コンシリアドール adv. なだめるような調子で

「副詞句」

tono トノ n.m (声の) 調子 conciliador コンシリアドール adj. 妥協的な、和解させる

2 El charco de lágrimas

「どうか、そのことで怒らないでください。だけど、うちのネコのダイナをあなたに見せられたらよかったのだけれど。」

Por favor, no se enfade por eso. Y, sin embargo, me gustaría poder enseñarle a nuestra gata Dina. 《「副詞句」「動詞句」「副詞句」 | Y「副詞句」「間接目的語」「動詞」「主語」》
 Por favor, ポル・ファボール adv. どうか、どうぞ、お願いですから 「副詞句」
 no se enfade ノ・セ・エンファデ 接・3 単現・否定(enfadarse)v.pr 怒らないでください 「動詞句」
 por eso. ポル・エソ adv. そのことで 「副詞句」
 Y, イ conj. そして
 sin embargo, シン・エンバルゴ adv. それでも 「副詞句」
 me メ pron 私にとって 「間接目的語」
 gustaría ゲスタリア 3 単過未・推量(gustar)v.i 好ましいと思うのだけれど 「動詞」
 poder enseñarle ポデー・ル・エンセニャル・レ 不定詞・可能(poder+不定詞)
 n. あなたに見せることができることは 「主語」
 a nuestra gata Dina. ア・ヌエストラ・ガタ・ディナ n.f うちのダイナを 「目的語」

「もしあなたがうちのダイナを見たら、あなたもネコが好きになるだろうと思います。」

Estoy segura de que acabarían gustándole los gatos si sólo la viera. 《「動詞」「補語」》
 Estoy エストイ 1 単現(estar)v.i 〜である 「動詞」
 segura セグーラ adj.f(seguro)(de を) 確信した 「補語」
 de que デ・ケ adv. (主題) 〜ということについて 「副詞節」
 acabarían gustándole アカバリアン・グスタント・レ 3 複過未・結局・推量(acabar+現在分詞)
 v.i あなたにとって好ましくなるだろう 「動詞句」
 los gatos ロス・ガトス pl.n.m ネコは 「主語」
 si シ conj. もし〜ならば 「副詞節」
 sólo ソロ adv. 〜だけで 「副詞」
 la ラ pron (Dina の代用) ダイナを 「目的語」
 viera. ビエーラ 接・3 単過・假定(ver)v.t 見た 「動詞」

2 El charco de lágrimas

「ダイナは、すごく可愛くて面白いのよ」と、アリスは水たまりの中をゆっくり泳ぎながら、むしろ自分に向かって話し続けた。「それに、暖炉のそばで脚をなめたり、脚で顔を洗ったりしながら、可愛らしく喉をごろごろ鳴らしているの、そして、両手に抱えて喜ばせるととても柔らかな毛をしているし、素晴らしいのはネズミを捕ることよ！」

Es tan mona y tan graciosa -continuó diciendo Alicia, hablando más para ella misma, mientras nadaba perezosamente por el charco-, y ronronea tan bonitamente cuando se acurruca al lado del fuego, lamiéndose sus patitas y lavándose con ellas la cara..., y tiene un pelo tan suave que da gusto tenerla en brazos... y ¡qué buena es cazando ratones!

《「動詞」「補語」》, 「動詞句」「主語」「副詞句」,

《y 「動詞」「副詞句」, y 「動詞」「目的語」, y 「主語」「動詞」「補語」》

Es エス 3 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」

「主語」はダイナ

tan mona タン・モナ adj.f(mono) すごく可愛い 「補語」

y イ conj. そして

tan graciosa タン・グラシオサ adj.f(gracioso) すごく面白い 「補語」

-continuó diciendo コンチヌオ・ディエント 3 単点・継続(continuar+現在分詞)

v.i 話し続けた 「動詞句」

Alicia, アリシア n.f アリスは 「主語」

hablando アブラント 現在分詞 v.i 話しながら 「副詞句」

más para ella misma, マス・パラ・エジャ・ミスマ adv. むしろ自分自身に 「間接目的語」

mientras ミエンTRAS conj. 一方で〜しながら 「副詞節」

nadaba ナダバ 3 単線(nadar)v.i 泳いでいた 「動詞」

perezosamente ペレサメンテ adv. ゆっくり、ぐずぐずと 「副詞」

por el charco-, ホル・エル・チャルコ adv. 水たまりの中を 「副詞句」

y イ conj. そして

ronronea ロンロネア 3 単現(ronronear)v.i (猫が) のどをごろごろ鳴らしている 「動詞」

tan bonitamente タン・ボニタ・メンテ adv. とても可愛らしく 「副詞句」

quando クワント conj. 〜するときに 「副詞節」

se acurruca セ・アクルカ 3 単現(acurrucarse)v.pr 丸くなっている 「動詞句」

al lado アル・ラト adv. そばで 「副詞句」

del fuego, デル・フエゴ adj. 暖炉の 「形容詞句」

lamiéndose ラミエントセ 現在分詞(lamerse)v.pr 舐めながら 「副詞句」

sus patitas すす・パチタス pl.n.f(pata +ita) 脚を 「目的語」

y イ conj. そして

lavándose ラバントセ 現在分詞(lavarse)v.pr 洗いながら 「副詞句」

con ellas コン・エジャス adv. 自分の足で 「副詞句」

2 El charco de lágrimas

la cara..., ラ・カ ラ n.f 顔を	「目的語」
y イ conj. そして	
tiene ティエネ 3 単現(tener)v.t (特徴を) している	「動詞」
un pelo ウン・ペロ n.m 体毛を	「目的語」
tan suave タン・スワベ adj. とても柔らかで滑らかな	「形容詞句」
que ケ pron (同格) ~という	「形容詞節」
da gusto tenerla en brazos... ダ・グスト・テネル・ラ・エン・ブラソス	
v.t 両手で抱えて喜ばせる	「動詞句」
dar gusto a... 「~を喜ばせる」 tenerla en brazos 「両手で抱える」	
この部分は、構文解析が曖昧	
y イ conj. そして	
¡qué buena ケ・ブエナ pron 素晴らしいことは	「主語」
es エス 3 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
cazando ratones! カサント・ラトネス 現在分詞 n. ネズミを捕ること	「補語」

「ああ、許してくださいね！」

¡Oh! ¡Le ruego que me perdone!	《「感嘆」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》
¡Oh! オー int. ああ	「感嘆」
¡Le レ pron あなたに	「間接目的語」
ruego ルエゴ 1 単現(rogar)v.t 頼む、懇願する	「動詞」
que ケ conj. ~ということ	「直接目的語」
me メ pron 私を	「目的語」
perdone! ヘルトネ 接・3 単現・願望(perdonar)v.t 許す	「動詞」

アリスはまた叫んだ。それで今回はネズミの体毛がすべて逆立っていたので、ネズミが本当に怒っていることを確信した。

-volvió a exclamar Alicia, pues esta vez se le habían erizado todos los pelos al Ratón y Alicia se sentía segura de que ahora sí que se había ofendido de veras.	
「動詞句」「主語」,pues「副詞句」「動詞句」「主語」y「主語」「動詞句」「補語」	
-volvió a exclamar ホルビオ・ア・エクスクラマル 3 単点・再度(volver a+不定詞)	
v.i また叫んだ	「動詞句」
Alicia, アリシア n.f アリスは	「主語」
pues プエス conj. それで	
esta vez エスタ・ベス adv. 今回は	「副詞句」
se le habían erizado セ・レ・アビアン・エリザト 3 複線・完了形(erizarse)	
v.pr 逆立っていた	「動詞句」

2 El charco de lágrimas

se は los pelos le は al Ratón に対応している	
todos los pelos トス・ロス・ペロス pl.n.m 全ての体毛が	「主語」
al Ratón アル・ラトン adv. ネズミの	「間接目的語」
y イ conj. そして	
Alicia アリシア pron アリスは	「主語」
se sentía セ・センチア 3 単線(sentirse)v.pr 〜と感じた	「動詞句」
segura セグラ adj.f(de を) 確信した	「補語」
de que デ・ケ adv. 〜ということ	「間接目的語」
ahora アオラ adv. 今度は	「副詞」
sí que シ・ケ adv. 確かに	「副詞句」
se había ofendido セ・アビ・ア・オフエンディト 3 単線・完了形(ofenderse)	
v.pr 腹を立てた	「動詞句」
de veras デ・ベラス adv. 本当に	「副詞句」

「もしあなたがそれでよければ、私たちはもうダイナの事を話さないことにしましょう！」

¡No hablaremos más de ella si así lo prefiere! 《「動詞句」「副詞句」》

¡No hablaremos ノ・アブレモス 接・1 複現・勧誘・否定(hablar)

v.i 話さないことにしましょう	「動詞句」
más de ella マス・デ・エジャ adv. これ以上ダイナについて	「副詞句」
si シ conj. もし〜ならば	「副詞節」
así アシ adv. そのような	「副詞」
lo ロ pron それを	「目的語」
prefiere! プレフィエ 3 単現(preferir)v.t 〜のほうを好む	「動詞」

「俺の気に入れば、だって？」と、ネズミは、尻尾の先まで震わせて、どなりました。

¡Que si lo prefiero! gritó el Ratón, que estaba temblando hasta la punta de la cola.

《「応答」》, 「動詞」「主語」

¡Que ケ conj. (強調) 〜だって!	「応答」
si シ conj. もし〜ならば	「副詞節」
lo ロ pron それを	「目的語」
prefiero! プレフィエ 1 単現(preferir)v.t 気に入る	「動詞」
-gritó グリト 3 単点(gritar)v.i どなった	「動詞」
el Ratón, エル・ラトン n.m ネズミが	「主語」
que ケ pron (主語) 〜する	「形容詞節」
estaba temblando エスタバ・テンブラント 3 単線・進行形(temblar)	
v.i 震えていた	「動詞句」

2 El charco de lágrimas

hasta アスタ adv. (場所) ～まで 「副詞句」

la punta ラ・プンタ n.f 先端 「目的語」

de la cola テ・ラ・コーラ adj. 尻尾の 「形容詞句」

「俺がどうしてそんな話をすると言うのだ？我が一族はずっとネコが嫌いなんだ。存在自体が、不愉快で、俗悪で、野蛮だ！二度とその言葉を聞きたくない！」

¡Como si yo fuera a hablar de semejante tema! Nuestra familia siempre ha odiado a los gatos, esos seres desagradables, vulgares y groseros. ¡Que no vuelva a oír esa palabra otra vez!

《Como si 「主語」「動詞句」「間接目的語」 | 「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」》

《「主語」「補語」 | 「動詞句」「目的語」「副詞句」》

¡Como si +接続法 コモ・シ conj. (強調) どうして、まるで～のように

yo ジョ pron 俺が 「主語」

fuera a hablar フェラ・ア・アブラール 接・1 単過・意志・推量(ir a+不定詞)

v.i 話そうとする 「動詞句」

→ まるで～を話そうとする → (反語) どうして～を話すというのだ

de semejante tema テ・セマンテ・テマ adv. そのような話題について 「間接目的語」

Nuestra familia ヌエストラ・ファミリア n.f わが一族は 「主語」

siempre シエンプレ adv. いつでも 「副詞」

ha odiado ア・オディアド 3 単現・完了形(odiar)v.t 嫌ってきた 「動詞句」

a los gatos, ア・ロス・ガトス pl.n.m ネコを 「目的語」

esos seres エス・セレス pl.n.m その存在が 「主語」

desagradables, テサグラダブレ adj.pl 不愉快な 「補語」

vulgares ブルガレス adj.pl 俗悪な 「補語」

y イ conj. そして

groseros. グロセロス adj.pl 野蛮な、粗野な 「補語」

¡Que ケ conj. (嘆願) ～しますように！

no vuelva a oír ノ・ブエルバ・ア・オイル 接・1 単現・再度・否定(volver a+不定詞)

v.t また聞こえない 「動詞句」

esa palabra エサ・パラブラ n.f その言葉が 「目的語」

otra vez! オトラ・ベス adv. もう一度 「副詞句」

2 El charco de lágrimas

「その言葉は、二度と言いません！本当です！」と、アリスは大急ぎで話題を変えようとしながら言った。「もしかすると、あなたは... おそらく犬は好きなんじゃないですか？」

-¡No lo volveré a hacer! ¡De veras! -dijo Alicia, apre-surándose en cambiar el tema de la conversación-. ¿Acaso... le gustan a usted, quizás.... los... los perros?

《「動詞句」「目的語」「動詞句」 | 「副詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞句」,

《「副詞」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞」「主語」》

-¡No ...volveré a hacer! ノ...ボルベレ・ア・アセール 1 単未・意志(volver a+不定詞：再び～する)

v.t もう二度としません 「動詞句」

lo ▢ pron それを 「目的語」

¡De veras! デ・ベラス adv. 本当に 「副詞句」

-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia, アリシア n.f アリスは 「主語」

apre-surándose アプレサランドセ 現在分詞(apresurarse)

v.pr (en+不定詞) 大急ぎで～しながら 「副詞句」

en cambiar エン・カンビアル adv. 変えることを 「間接目的語」

el tema de la conversación-. エル・テマ・デ・ラ・コンベルサシオン

n.m 話題を 「直接目的語」

¿Acaso... アカソ adv. もしかすると 「副詞」

le ▽ pron あなたにとって 「間接目的語」

gustan グスタン 3 複現(gustar)v.i 好みである 「動詞」

a usted, ア・ウステ adv. あなたは 「間接目的語」

quizás.... キサス adv. おそらく 「副詞」

los... los perros? ロス・ペロス pl.n.m 犬は 「主語」

「ネズミは何も返事をしなかったので、アリスはびくびくしながら話し続けた」

-El Ratón no replicó nada, así que Alicia continuó diciendo ansiosamente:-

《「主語」「動詞句」「目的語」, así que 「主語」「動詞句」「副詞」》

-El Ratón エル・ラトン n.m ネズミは 「主語」

no replicó ノ・レプリコ 3 単点・否定(replicar)v.t 言い返さなかった 「動詞句」

nada, ナダ pron 何も～ない 「目的語」

así que +直説法 アシ・ケ conj. したがって、それで、だから

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

continuó diciendo コンチヌオ・ディシエント 3 単点・継続(continuar+現在分詞)

v.t 話し続けた 「動詞句」

ansiosamente-: アンシオサメンテ adv. やきもきしながら、心配そうに 「副詞」

2 El charco de lágrimas

「家の近くにすごく可愛い子犬がいるんです。あなたに見せてあげたいほどなんです」

Hay un perrito cerca de nuestra casa ¡tan mono que me gustaría que lo viera!

《「動詞」「目的語」「副詞句」》

Hay アイ 3 単現(haber)v.t. ～がいる

「動詞」

un perrito ウン・ペリト n.m (perro + -ito) 子犬が

「目的語」

cerca de nuestra casa セルカ・デ・ヌエストラ・カサ adv. 家の近くに

「副詞句」

¡tan mono タン・モノ adj.m. すごく可愛い

「形容詞句」

que ケ pron (同格) ～する

「形容詞節」

me メ pron 僕にとって

「間接目的語」

gustaría ゲスタリア 1 単過未・推量(gustar)

v.i. 好ましいだろうと思う

「動詞」

que ケ conj. ～ということは

「主語」

lo ロ pron その犬を

「目的語」

viera! ビエラ 接・3 単過・假定法(ver)v.t. 見たならば

「動詞」

「小さいテリアなんです。目がきらきらしていて、栗毛の巻き毛で、楽しませてくれるの」

¡Es un pequeño terrier, con unos ojitos brillantes y con un pelo marrón tan rizado que da gusto!

《「動詞」「補語」, 「副詞句」》

¡Es エス 3 単現(ser)v.i. ～である

「動詞」

un pequeño terrier, ウン・ペ ケンニョ・テリエル n.m (犬の種類) 小さいテリア

「補語」

con コン adv. (様態) ～をした

「副詞句」

unos ojitos brillantes ウノス・オジトス・ブリリジャンテス pl.n.m. キラキラした目

「目的語」

y イ conj. そして

con un pelo marrón コン・ウン・ペ ロ・マロン adv. 栗毛をした

「副詞句」

tan rizado タン・リサド adj. 巻き毛の

「形容詞句」

que ケ pron (主語: terrier) ～する

「主語」

da ダ 3 単現(dar)v.t. 与える

「動詞」

gusto! ゲスト n.m. 楽しみ、喜び

「目的語」

2 El charco de lágrimas

それに、物を投げると、走って行ってそれを取ってくるし、お座りして、アヒルの子と一緒に大声でご飯をおねだりするし、いろんな可愛い仕草をするし、... 半分も思い出せないわ...、あれは農夫が飼っているんだけど、とても役に立つので、100 ポンドでも売らないってその農夫が言っているの。

Y cuando le tiran cosas, va y las trae, y se sienta y pide de comer con las patitas en alto, y hace toda clase de monadas..., no me acuerdo ni de la mitad..., y es de un granjero, ¿sabe?, ¡que dice que le es tan útil que no lo vendería ni por cien libras!

《Y「副詞節」,「動詞」y「目的語」「動詞」y「動詞句」y「動詞」「目的語」「副詞句」
y「動詞」「補語」,「動詞」「目的語」》

Y イ conj. それに

cuando クワンﾄ conj. (条件) ～すると 「副詞節」

le レ pron あれに 「間接目的語」

tiran チラン 3 複現(tirar)v.t 投げる 「動詞」

cosas, コス pl.n.f 物を 「直接目的語」

va バ 3 単現(ir)v.i 行く 「動詞」

y イ conj. そして

las ラス pl.pron それを 「目的語」

trae, トレ 3 単現(traer)v.t 取ってくる、持ってくる 「動詞」

y イ conj. そして

se sienta セ・シエンタ 3 単現(sentarse)v.pr お座りする、座る 「動詞句」

y イ conj. そして

pide ピデ 3 単現(pedir)v.t 頼む、求める 「動詞」

de comer デ・コメル n. 食べることを 「目的語」

con las patitas コン・ラス・パチタス adv. アヒルの子と一緒に 「副詞句」

pato → pata → pata + itas → patitas メスのアヒルの子たち

en alto, エン・アルト adv. 大声で 「副詞句」

y イ conj. そして

hace アセ 3 単現(hacer)v.t する 「動詞」

toda clase トダ・クラセ n.f すべての種類を 「目的語」

de monadas..., デ・マダス adj. 可愛らしい仕草の 「形容詞句」

no me acuerdo ノ・メ・アクエルト 1 単現・否定(acordarse)v.pr 思い出さない 「動詞句」

ni de la mitad..., ニ・デ・ラ・ミタ n.f 半分も 「目的語」

y イ conj. そして

es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

de un granjero, デ・ウン・グランヘロ adj. (所有) 農夫の所有 「補語」

¿sabe?, サベ 3 単現・疑問文(saber)v.t 知っていますか? 「動詞」

2 El charco de lágrimas

¡que	ケ	pron	そのことを	「目的語」
dice	ディセ	3 単現(decir)v.t	言っている	「動詞」
que	ケ	conj.	～ということを	「目的語」
le	レ	pron	彼にとって	「間接目的語」
es	エス	3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
tan útil	タン・ウチル	adj.	とても役に立つ	「補語」
que	ケ	adv.	(様態) ～するほど	「副詞節」
no lo vendería	ノ・ロ・ベンデリア	3 単過未・推量・否定(vender)		
v.t			売らないだろう	「動詞句」
ni por cien libras!	ニ・ポル・シエン・リブラス			
adv.			100 ポンドでも	「副詞句」
libra	リブラ	n.f	(イギリスの貨幣単位) ポンド、(重量の単位) ポンド	

「それに、ネズミを全部殺すし... まあ、どうしましょう！」と、アリスは悲しげな声で叫んだ。「またあなたを怒らせてしまったみたいで、とても心配だわ！」

Dice que le mata todas las ratas... ¡Ay! ¡Dios mío! -exclamó Alicia con voz lastimera-. ¡Mucho me temo que lo he ofendido de nuevo!

《「動詞」「目的語」 | 「感嘆」》, 「動詞」「主語」「副詞句」,
《「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」》

Dice	ディセ	3 単現(decir)v.t(que ～と)	言っている	「動詞」
que	ケ	conj.	～ということを	「目的語」
le	レ	pron	かれにとって	「間接目的語」
mata	マタ	3 単現(matar)v.t	殺す	「動詞」
todas las ratas...	トダス・ラス・ラタス	pl.n.f	すべてのネズミを	「直接目的語」
¡Ay! ¡Dios mío!	アイ・ディオス・ミオ	int.	まあ、どうしましょう！	「感嘆」
-exclamó	エクスクラモ	3 単点(exclamar)v.i	叫んだ、大声を上げた	「動詞」
Alicia	アリシア	n.f	アリスは	「主語」
con voz lastimera-	コン・ボス・ラスチメラ	adv.	悲しげな声で	「副詞句」
¡Mucho	ムチョ	adv.	非常に	「副詞」
me temo	メ・テモ	1 単現(temerse)v.pr (que+直説法・接続法)	心配している	「動詞句」
que	ケ	conj.	～ということを	「目的語」
lo	ロ	pron	あなたを	「目的語」
he ofendido	エ・オフエンディト	1 単現・完了形(ofender)		
v.t			不快感を与えた、怒らせた	「動詞句」
de nuevo!	デ・ヌエボ	adv.	また、もう一度	「副詞句」

2 El charco de lágrimas

そして、ネズミが全力で泳いで彼女から遠ざかり、けたたましい水音を立てて池全体を揺らしていたから、確かに心配した通りだった。アリスは優しく呼びかけてみた。

Y, en efecto, así era, pues el Ratón se alejaba de ella nadando con todas sus fuerzas y agitando todo el charco con su desenfrenado chapoteo. Alicia intentó llamarlo suavemente:

Y 「副詞句」, 「動詞」 「副詞節」 | 「主語」 「動詞句」 「副詞」

Y, イ conj. そして

en efecto, エン・エフェクト adv. 実際に 「副詞句」

así アシ adv. そのように 「副詞」

era, エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」

pues プエス conj. ~なので 「副詞節」

el Ratón エル・ラトン n.m ネズミは 「主語」

se alejaba セ・アレハバ 3 単線(alejarse)v.pr 遠ざかっていった 「動詞句」

de ella デ・エジャ adv. 彼女から 「副詞句」

nadando ナダント 現在分詞(nadar)adv. 泳いで 「副詞句」

con todas sus fuerzas コン・トダス・ス・フエルサス

adv. 全力で、全速力で 「副詞句」

y イ conj. そして

agitando アジタント 現在分詞(agitar)adv. ~を揺らしながら 「副詞句」

todo el charco トト・エル・チャルコ adv. 池全体を 「目的語」

con su desenfrenado chapoteo. コン・ス・デセンフレナド・チャボテオ

adv. けたたましい水音を立てて 「副詞句」

desenfrenado デセンフレナド adj. 抑制のない chapoteo チャボテオ n.m ぽちゃぽちゃいう音

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

intentó llamarlo インテント・シヤマル・ロ 3 単点・試行(intentar+不定詞)

v.t ネズミを呼んでみた 「動詞句」

suavemente: スパベメンテ adv. 優しく、そっと 「副詞」

「ねえ、ネズミさん、こちらへ戻ってきて！あなたが嫌なら、もう猫のことも犬のことも話さないから！」

-¡Oye, Ratón, simpático, vuelve acá y no volveré a hablar de gatos ni de perros si no te gustan! 《「動詞」「呼びかけ」, 「動詞」「副詞」 y 「動詞句」「間接目的語」「副詞節」》

-¡Oye, オイ 命・2 単現(oír)v.t ねえ、聞いて 「動詞」

Ratón, ラトン n.m ネズミさん 「呼びかけ」

simpático, シンパチコ adj. 感じの良い 「形容詞」

vuelve プエルベ 命・2 単現(volver)v.i 戻ってきて 「動詞」

acá アカ adv. こちらへ 「副詞」

2 El charco de lágrimas

y	イ conj.	そうしたら	
no volveré a hablar	ノ・ボルベレ・ア・アブラール	1 単未・再開・否定(voler)	
v.i(a+不定詞)	もう話さない		「動詞句」
de gatos	デ・ガトス	adv. 猫のことを	「間接目的語」
ni de perros	ニ・デ・ペロス	adv. 犬のことも	「間接目的語」
si	シ conj.	もし～ならば	「副詞節」
no te gustan!	ノ・テ・グスタン	3 複現・否定(gustar)	
v.i	あなたにとって嫌である		「動詞句」

これを聞くと、ネズミは振り返って、さらに青い顔で、ゆっくりアリスの方へ泳いできた。

(感情を露わにしているのと、アリスは思った) 彼女に、低い震える声で言った。

Al oír esto el Ratón dio media vuelta y nadó lentamente hacia Alicia, con cara más bien pálida (de la emoción, pensó Alicia); le dijo en voz baja y temblorosa:

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」 y 「動詞」「副詞句」(「副詞句」「動詞」「主語」);
「間接目的語」「動詞」「副詞句」

Al oír	アル・オイール	不定詞・原因 adv. ～を聞いて	「副詞句」
esto	エスト	pron これを	「目的語」
el Ratón	エル・ラトン	n.m ネズミは	「主語」
dio	ディオ	3 単点(dar)v.t (動作を) した	「動詞」
media vuelta	メディア・ブエルト	n.f 半回転を	「目的語」
dar media vuelta	「半回転する、振り向く、立ち去る」		
y	イ conj.	そして	
nadó	ナド	3 単点(nadar)v.i 泳いだ	「動詞」
lentamente	レンタメンテ	adv. ゆっくり	「副詞」
hacia Alicia,	アシア・アリシア	adv. アリスのほうへ	「副詞句」
con cara	コン・カラ	adv. (様態) ～の顔で	「副詞句」
más bien pálida	マス・ビエン・パリダ	adj. もっと青い	「形容詞句」
(de la emoción,	デ・ラ・エモシオン	adv. 感情から	「副詞句」
pensó	ペンソ	3 単点(pensar)v.i 思った	「動詞」
Alicia);	アリシア	n.f アリスは	「主語」
le	レ pron	彼に	「間接目的語」
dijo	ディオ	3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
en voz	エン・ボス	adv. 声で	「副詞句」
baja	バハ	adj.f 低い	「形容詞」
y	イ conj.	そして	
temblorosa:	テンブローサ	adj.f 震える	「形容詞」

2 El charco de lágrimas

「岸に向かって泳いで行こう、あちらに着いたら、僕の話をしてやろう。そうすれば、どうして僕が猫や犬を嫌うのかが分かるだろう」

-Nademos hacia la orilla y allí te contaré mi historia y comprenderás por qué odio a gatos y perros.

《「動詞」「副詞句」 y 「副詞」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 y 「動詞」「目的語」》

-Nademos ナデモス 接・1 複現・勧誘(nadar)v.i 泳いで行こう 「動詞」

hacia la orilla アシア・ラ・オリジャ adv. 岸の方へ 「副詞句」

y イ conj. そして

allí アジ adv. あちらで 「副詞」

te テ pron 君に 「間接目的語」

contaré コンタレ 1 単未・意志(contar)v.t 話してやろう 「動詞」

mi historia ミ・イストリア n.f 僕の話 「直接目的語」

y イ conj. そうすれば

comprenderás コンプレンデラス 2 単未・推量(comprender)v.t 分かるだろう 「動詞」

por qué ポル・ケ conj. どうして〜かということ 「目的語」

odio オディオ 1 単現(odiar)v.t 嫌悪する、嫌う 「動詞」

a gatos y perros. ア・ガトウ・イ・ペロス pl.n.m 猫や犬を 「目的語」

もう、池を出たほうが良い時になっていた。というのは、鳥や動物が池の中に落ちてきて、池が一杯になってきたからである。

Ya era hora de que lo hicieran, pues el charco estaba llenándose cada vez más de pájaros y animales que habían caído en él:

「副詞」「動詞」「補語」, 「副詞節」

Ya ヤー adv. もう 「副詞」

era エラ 3 単線(estar)v.i 〜である 「動詞」

hora オラ n.f 時間 「補語」

de que デ・ケ adj. 〜する 「形容詞句」

lo ロ pron それを (池からでること) 「目的語」

hicieran, イシエラン 接・3 複過・推量(hacer)v.t するべき 「動詞」

pues プエス conj. 〜なので 「副詞節」

el charco エル・チャルコ n.m その池は 「主語」

estaba llenándose エスタバ・ジエントセ 3 単線・進行形(llenarse)

v.pr 一杯になってきた 「動詞句」

cada vez カダ・ベス adv. その度に 「副詞句」

más de pájaros y animales マス・デ・パ・ハロス・イ・アニマレス

pl.n.m 鳥や動物がますます 「目的語」

2 El charco de lágrimas

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

habían caído アビアン・カイド 3 複線・完了形(caer)

v.i 落ちた 「動詞句」

en él: エン・エル adv. 池の中に 「副詞句」

アヒルにドードー、オウム、ワシのヒナ、その他いろいろ奇妙な生き物 がいた。アリスは彼らの先頭に立ち、混ぜこぜの一团はすぐに岸にたどり着いた。

un pato y un dodo, un loro, un aguilucho y varias otras criaturas extrañas. Alicia se puso a su cabeza y pronto el abigarrado conjunto ganó la orilla.

「主語」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」 y 「副詞」「主語」「副詞」「動詞」「目的語」

un pato ウン・パト n.m アヒル 「主語」

y イ conj. そして

un dodo, ウン・ドートー n.m ドーディー (絶滅した飛べない鳥) 「主語」

un loro, ウン・ローロ n.m オウム 「主語」

un aguilucho ウン・アギルチョ n.m ワシのヒナ 「主語」

y イ conj. そして

varias otras criaturas バリアス・オTRAS・クリアトゥラス pl.n.f その他いろいろな生き物 「主語」

extrañas. エクストラニャス adj.f.pl(extraño) 奇妙な 「形容詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

se puso セ・プソ 3 単点(ponerse)v.pr (a に) (位置に) ついた 「動詞句」

a su cabeza ア・ス・カベサ adv. (位置) 彼らの先頭に 「副詞句」

y イ conj. そして

pronto プロント adv. すぐに 「副詞」

el abigarrado エル・アビガラト n.m 混ぜこぜの一团は 「主語」

abigarrado アビガラト 過去分詞(abigarrar 混ぜ合わせる) → (名詞化) 混ぜこぜの物

conjunto コンフント adv. 一緒に 「副詞」

ganó ガノ 3 単点(ganar)v.t ~に到達した 「動詞」

la orilla. ラ・オリジャ n.f 岸に 「目的語」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

3 Una carrera en comité y una historia con cola

委員会の競争と尻尾のある話

Una carrera	ウナ・カラ	n.f	競争、レース	「主語」
en comité	エン・コミテ	adv.	委員会の	「副詞句」
y	イ	conj.	そして	
una historia	ウナ・イストリア	n.f	話	「主語」
con cola	コン・コーラ	adv.	尻尾のある	「副詞句」

池の岸に集まった一団の様子はまったく奇妙なものでした：

El aspecto del grupo que se reunió en la orilla era ciertamente extraño:

				「主語」「動詞」「補語」
El aspecto	エル・アスペクト	n.m	様子は、様相	「主語」
del grupo	デル・グルポ	adj.	一団の	「形容詞句」
que	ケ	pron	(主語) ~する	「形容詞節」
se reunió	セ・レウニオ	3 単点(reunirse)v.pr	集まった	「動詞句」
en la orilla	エン・ラ・オリジャ	adv.	池の岸に	「副詞句」
era	エラ	3 単線(estar)v.i	~だった	「動詞」
ciertamente	シェルタメンテ	adv.	確かに、まったく	「副詞」
extraño:	エクストラニョ	adj.	奇妙な	「補語」

鳥たちは羽根が固まり、他の動物たちは毛が体中にくっつき、そして全員がずぶぬれになって、いらいらして、居心地が悪かった。

las aves con sus plumas apelmazadas, los demás animales con todo el pelo pegado al cuerpo, y todos ellos empapados, enfurruñados e incómodos.

				「主語」「補語」, 「主語」「補語」 y 「主語」「補語」
las aves	ラス・アベス	pl.n.f	鳥たち	「主語」
con sus plumas	コン・スス・プマス	adv.	(様態) ~の羽根をして	「副詞句」
apelmazadas,	アペルマザダス	過去分詞(apelmazar)adj.	固まった	「形容詞」
apelmazar	アペルマザール	v.t	(ふっくらしたものを) 固くする	
この副詞句は「補語」で、「鳥たちは羽根が固まり、」と翻訳する				
los demás animales	ロス・デマス・アニマレス	pl.n.m	その他の動物たち	「主語」
con todo el pelo	コン・トド・エル・ペロ	adv.	(様態) すべての毛が~して	「副詞句」
pegado	ペガト	過去分詞(pegar)adj.	くっついた	「形容詞」
al cuerpo,	アル・ケルポ	adv.	体に	「副詞句」
y	イ	conj.	そして	
todos ellos	トドス・エジョス	pron.m.pl	全員が	「主語」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

empapados, エンパパトス adj.m.pl ずぶぬれの 「補語」
 enfurruñados エンフルニャトス 過去分詞(enfurruñar)adj.m.pl 怒った 「補語」
 e エ conj. そして
 incómodos. インコモトス 過去分詞(incómodar)adj.m.pl 居心地が悪い 「補語」

当然、最初に決めるべきことは、どうやって自分の体を乾かすかということだった。

Lo primero que había que decidir, naturalmente, era cómo secarse de nuevo;

「主語」「動詞」「補語」
 Lo primero ロ・プリメロ n.m 最初のことは 「主語」
 que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」
 había que decidir, アビア・ケ・デシディール 3 単線・必要(haber que+不定詞)
 v.t 決めなければならなかった 「動詞句」
 naturalmente, ナトゥラルメンテ adv. 当然 「副詞」
 era エラ 3 単線(estar)v.i ~だった 「動詞」
 cómo コモ conj. どのように~するかということ 「補語」
 secarse セカセ 不定詞 v.pr 自分自身を乾かす 「動詞句」
 de nuevo; デ・ヌエボ adv. もう一度 「副詞句」

彼らはお互いに相談しあった。そして数分後には、アリスは彼らとまったく自然に、まるでずっと以前からの知り合いのように、本当に親しそうな言葉遣いで話をしていた。

se consultaron entre sí y al cabo de algunos minutos Alicia se encontró hablando con ellos con la mayor naturalidad y en los términos más familiares, como si fueran conocidos de toda la vida. 「動詞句」「副詞句」 y 「副詞句」「主語」「動詞句」「補語」

se consultaron セ・コンスルタロン 3 複点(consultarse)v.pr 相談しあった 「動詞句」
 entre sí エントレ・シ adv. お互いに 「副詞句」
 y イ conj. そして
 al cabo de アル・カボ・デ prep (時間) ~の後で 「副詞句」
 algunos minutos アルグノス・ミヌトス pl.n.m 数分 「目的語」
 Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
 se encontró セ・エンコントロ 3 単点(encontrarse)v.pr (～の状態に) なっていた 「動詞句」
 hablando アブラント 現在分詞(hablar)v.i 話す 「補語」
 con ellos コン・エジョス adv. 彼らと一緒に 「副詞句」
 con la mayor naturalidad コン・ラ・マヨール・ナトゥラリダド adv. まったく自然に 「副詞句」
 y イ conj. そして
 en los términos エン・ロス・テルミノス adv. 言葉づかいで 「副詞句」
 más familiares, マス・ファミリアレス adj. 本当に親しそうな 「形容詞句」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

como si コモ・シ conj. まるで～であるかのように 「副詞節」
 fueran フェラン 接・3 複過(ser)v.i ～だった 「動詞」
 conocidos コノシトス adj.pl 知り合い 「補語」
 de toda la vida. デ・トダ・ラ・ビダ adv. ずっと以前からの 「副詞句」

その上、さらにアリスはオウムと長い口論を始めたが、オウムは結局腹を立てて、「俺のほうが君よりも年上なんだから、なんでも君よりもよく知っている」としか言わなくなった。

Es más, Alicia se enzarzó incluso en una larga discusión con el Loro, que acabó enfadándose y no quiso decir más que «tengo más edad que tú y por tanto sé todo mejor que tú». 「副詞句」, 「動詞句」 「副詞句」 y 「動詞句」 「目的語」

Es más, エス・マス adv. それだけでなく、さらに言えば 「副詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

se enzarzó セ・エンサルゾ 3 単点(enzarzarse)v.pr 喧嘩を始めた 「動詞句」

incluso インクルソ adv. その上 「副詞」

en una larga discusión エン・ウナ・ラルガ・ディスクシオン adv. 長い口喧嘩で 「副詞句」

con el Loro, コン・エル・ローロ adv. オウムと 「副詞句」

que ケ pron (継続) (主語) ～する 「形容詞節」

acabó enfadándose アカボ・エンファダントセ 3 単点・結局(acabar+現在分詞)

v.pr 結局は腹を立てた 「動詞句」

y イ conj. そして

no quiso decir ノ・キソ・デシール 3 単点・意志・否定(querer+不定詞)

v.t 言おうとしなかった 「動詞句」

más que マス・ケ conj. ～ということしか 「目的語」

«tengo テンゴ 1 単現(tener)v.t ある 「動詞」

más edad マス・エダ n.f もっと歳が 「目的語」

que tú ケ・トゥ adv. (比較) 君よりも 「副詞句」

y イ conj. そして

por tanto ホル・タント adv. 従って 「副詞句」

sé セ 1 単現(saber)v.t 知っている 「動詞」

todo トト pron すべてのことを 「目的語」

mejor que tú. メホル・ケ・トゥ adv. 君よりもよく 「副詞句」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

もちろんこれは、オウムが先に何歳なのかを言わなければ、アリスは認めないことだった。

そして、オウムが断固として年齢を言わなかったので、会話は終わってしまった。

Esto, desde luego, era algo que Alicia no iba a conceder si el Loro no le decía antes qué edad tenía, y como éste se negara rotundamente a revelársela, se acabó la conversación.

「主語」「副詞句」「動詞」「補語」 y 「副詞節」「動詞句」「主語」

Esto, エスト pron これは 「主語」

desde luego, デスレウゴ adv. もちろん、すなわち 「副詞句」

era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」

algo アルゴ pron 何か 「補語」

que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

no iba a conceder ノ・イバ・ア・コンセデー 3 単線・近接未来・否定(ir a+不定詞)

v.t 認めようとしなない 「動詞句」

si シ conj. もし~ならば 「副詞節」

el Loro エル・ローロ n.m オウムが 「主語」

no ...decía ノ...デシア 3 単線・否定(decir)v.t 言わない 「動詞句」

le レ pron 彼女に (アリスに) 「間接目的語」

antes アンテス adv. (順序) 先に 「副詞」

qué edad tenía, ケ・エダ・テニア

n. 何歳であるかということ 「直接目的語」

y イ conj. そして

como コモ conj. (理由) ~なので 「副詞節」

éste エステ pron これが (オウムが) 「主語」

se negara セ・ネガラ 接・3 単過(negarse)

v.pr(a+不定詞) ~するのを拒否した 「動詞句」

rotundamente ロタンダメンテ adv. きっぱりと 「副詞」

a revelársela, ア・レバールセラ 不定詞 v.pr それを明らかにする 「動詞句」

se acabó セ・アカボ 3 単点(acabarse)v.pr 終わってしまった 「動詞句」

la conversación. ラ・コンバールサシオン n.f 会話は 「主語」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

ついに、集まった中で一番権限のありそうなネズミが、皆に向かってどなった。

Finalmente, el Ratón, que parecía gozar de bastante autoridad en ese cotarro, les gritó:

「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞」

Finalmente, ファイナルメンテ adv. ついに、結局

「副詞」

el Ratón, エル・ラトン n.m ネズミが

「主語」

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

parecía gozar パレシア・ゴサル 3 単線・見える(parecer+不定詞)

v.t(de を) 享受しているようにみえる

「動詞句」

de bastante autoridad デ・バスタンテ・アウトリダ

adv. かなりの権限を

「間接目的語」

en ese cotarro, エン・エセ・コタロ adv. その集まりの中で

「副詞句」

les レス pron 皆に

「間接目的語」

gritó: グリト 3 単点(gritar)v.i どなった

「動詞」

「みんな座って、僕の話聞きなさい！僕が、すぐにみんなを乾かしてやるから」

-¡Sentaos todos y escuchadme! ¡Hacedme caso y pronto yo sí que os dejaré secos!

《「動詞句」「呼びかけ」 y 「動詞句」

「動詞句」「目的語」 y 「副詞」「主語」「副詞句」「動詞」「補語」》

-¡Sentaos センタ・オス 命・2 複現(sentarse)v.pr (sentad+os) 座りなさい

「動詞句」

todos ト・ス pron.pl みんな

「呼びかけ」

y イ conj. そして

escuchadme! エスクチャ・メ 命・2 複現(escuchar+me)v.t 僕の話聞き

「動詞句」

¡Hacedme アセ・メ 命・2 複現(hacer+me)v.t 僕にやらせろ

「動詞句」

caso カ n.m 事態を

「目的語」

→ 僕にまかせろ！

y イ conj. そして

pronto プロント adv. すぐに

「副詞句」

yo ヨ pron 僕が

「主語」

sí que シ・ケ adv. (強調の挿入句) 確かに

「副詞句」

os オス pron.pl 君たちを

「目的語」

dejaré デハレ 1 単末(dejar)v.t (～の状態に) するだろう

「動詞」

secos! セコス adj.pl 乾いた

「補語」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

皆は、ネズミを取り囲んで、大きな輪を作ってすぐに座った。

Todos se sentaron al mismo tiempo, formando un amplio círculo con el Ratón en medio.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Todos トドス pron.pl 皆は 「主語」
 se sentaron セ・セントロン 3 複点(sentarse)v.pr 座った 「動詞句」
 al mismo tiempo, アル・ミスト・ティエンボ adv. すぐに、同時に 「副詞句」
 formando フォルマント 現在分詞・同時(formar)v.t ~を作って 「副詞句」
 un amplio círculo ウン・アンプロ リオ・シルコ n.m 大きな輪を 「目的語」
 con コン adv. (様態) ~の状態にして 「副詞句」
 el Ratón エル・ラトン n.m ネズミを 「目的語」
 en medio. エン・メディオ adv. 中央に、取り囲んで 「副詞句」

アリスは、早く乾かなければ本当に風邪をひいてしまうだろうと確信していたので、ネズミから目を離しませんでした。

Alicia no le quitaba los ojos de encima, pues estaba segura de que si no se secaba rápidamente se iba a resfriar de veras.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」, 「副詞節」

Alicia アリシア n.f イスは 「主語」
 no ...quitaba ノ...キタバ 3 単線(quitar)v.t 取り去らなかった 「動詞句」
 le レ pron ネズミから 「間接目的語」
 los ojos de encima, ロス・オス・デ・エンサ pl.n.m 目を 「直接目的語」
 pues プエス conj. ~なので 「副詞節」
 estaba エスタバ 3 単線(èssere)v.i ~だった 「動詞」
 segura セグラ adj. 確信していた 「補語」
 de que デ・ケ adv. ~といういことについて 「副詞節」
 si シ conj. もし~ならば 「副詞節」
 no se secaba ノ・セ・セバ 3 単線・否定・仮定(secarse)
 v.pr 乾かなかったら 「動詞句」
 rápidamente ラピラメンテ adv. はやく 「副詞」
 se iba a resfriar セ・イバ・ア・レスフリアル 3 単線・近接未来(ir a+不定詞 resfriarse)
 v.pr 風邪をひいてしまうだろう 「動詞句」
 de veras. デ・ベラス adv. 本当に 「副詞句」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

ネズミは、重々しい様子で、自分の考えをはっきりと述べた。

El Ratón se aclaró la voz con aires de importancia. 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

El Ratón エル・ラトン n.m ネズミは 「主語」

se aclaró セ・アカロ 3 単点(aclararse)v.pr (自分の考えを) はっきりと述べた 「動詞句」

la voz ラ・ボス n.f 意見を 「目的語」

con aires コン・アイス adv. (様態) ~の様子で 「副詞句」

de importancia. デ・インポルタンシア adj. 重要な 「形容詞句」

「君たち、準備はいいかね？」と、ネズミが尋ねた。「ここに、僕が知っている中で一番乾燥したものがある。静粛に、願います」

-¿Estáis preparados? -preguntó-. He aquí la cosa más seca que conozco 注 8. ¡Silencio, por favor! 《「動詞」「補語」》, 「動詞」, 《「動詞」「副詞」「目的語」 | 「命令」「挨拶」》

-¿Estáis エスタイス 2 複現・疑問文(estar)v.i ~であるか? 「動詞」

preparados? プレパトス adj.pl 準備ができた 「補語」

-preguntó-. プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

He エ 1 単現(haber)v.t ~がある 「動詞」

aquí アキ adv. ここに 「副詞」

la cosa ラ・コサ n.f 事 「目的語」

más seca マス・セカ adj.m (最上級) 一番乾いた 「形容詞句」

que conozco ケ・コノスコ adj. 僕が知っている 「形容詞節」

注 8.

¡Silencio, シレンシオ int. 静かに! 「命令」

por favor! ホル・ファボール adv. 願います 「挨拶」

法王の支持を得た征服王ウィリアムは、近代において少なからぬ略奪と征服に耐え忍んできて、指導者を求めているイギリス人たちにすぐに受け入れられた。

«Guillermo el Conquistador, cuya causa favorecía el Papa, fue prontamente aceptado por los ingleses, que deseaban un caudillo y que habían sufrido en los últimos tiempos no pocas usurpaciones y conquistas. 《「主語」「動詞句」「副詞句」》

«Guillermo ギジェルモ n.m (男性名) ギジェルモ (イギリス名: ウィリアム) は 「主語」

el Conquistador, エル・コンキスタール n.m (同格) 征服王 「主語」

cuya causa クヤ・カサ n.f その原因、動機を~する 「形容詞節」

favorecía ファボレシア 3 単線(favorecer)

v.t 有利にした、ひいきした 「動詞」

el Papa, エル・パパ n.m 法王 「主語」

fue prontamente aceptado フェ・プロンタメンテ・アセプト 3 単点・受動(aceptar)

3 Una carrera en comité y una historia con cola

v.t すぐに受け入れられた 「動詞句」
 por los ingleses, ホル・ロス・イングレス adv. (動作主) イギリス人たちによって 「副詞句」
 que ケ pron.pl (継続) (主語) それは～する 「形容詞節」
 deseaban デセアバン 3 複線(desear)v.t 望んでいた 「動詞」
 un caudillo ウン・カディジョ n.m 指導者を 「目的語」
 y イ そして
 que ケ pron.pl (主語) それは～する 「形容詞節」
 habían sufrido アビアン・スフリト 3 複過(sufrir)v.i 耐えてきた 「動詞句」
 en los últimos tiempos エン・ロス・ウルチモス・ティエンポ ス
 adv. 近代において 「副詞句」
 no pocas ノ・ポカス adj.f.pl 少なからぬ 「形容詞句」
 usurpaciones ウスルパシオネス pl.n.f 略奪 「目的語」
 y イ conj. そして
 conquistas. コンキスタス pl.n.f 征服 「目的語」

「マレーシア王国とノースアンブリアの公爵であるエドウィンとモルカーロは...」

Edwindo y Morcaro, los duques de Mercia y Northumbria...》 「主語」
 Edwindo エドウィント n.m (人名) エドウィンは 「主語」
 y イ conj. そして
 Morcaro, モルカロ n.m (人名) モルカーロは 「主語」
 los duques ロス・ドゥケス pl.n.m (同格) 公爵である 「形容詞句」
 de Mercia y Northumbria...》 デ・メルシャ・イ・ノースアンブリア
 adj. マレーシア王国とノースアンブリアの 「形容詞句」

「ああ！」と、オウムが震えながら、ガラガラ声で唸った。

¡Hala! -gruñó rasposamente el Loro, con un temblor. 「間投」, 「動詞」 「副詞」 「主語」 「副詞句」
 ¡Hala! アラ int. ああ 「間投」
 -gruñó グルニョ 3 単点(gruñir)v.i 唸り声をあげた 「動詞」
 rasposamente ラスポサメンテ adv. ガラガラ声で 「副詞」
 el Loro, エル・ロロ n.m オウムが 「主語」
 con コン prep (様態) ～の様子で 「副詞句」
 un temblor. ウン・テンブロール n.m 震え 「目的語」

3 Una carrera en comité y una historia con cola



「すみません！」と、ネズミが眉間に皺を寄せながらも、非常に礼儀正しく言った。「何かおっしゃいましたか？」

-¡Con perdón! -dijo el Ratón frunciendo el entrecejo, pero con mucha educación-, ¿Ha dicho usted algo? 《「確認」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 《「動詞句」「主語」「目的語」》
 -¡Con perdón! コン・ペルドン adv. (謝罪) すみません 「確認」
 -dijo ディホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 el Ratón エル・ラトン n.m ネズミが 「主語」
 frunciendo フルンシエント 現在分詞・同時(fruncir)v.t ～にしわを寄せながら 「副詞句」
 el entrecejo, エル・エントレセホ n.m 眉間に 「目的語」
 pero ペロ conj. しかし
 con コン prep ～を持って 「副詞句」
 mucha educación-, ムチャ・エドゥカシオン n.f 礼儀 「目的語」
 ¿Ha dicho ア・ディチョ 3 単現・完了形・疑問文・敬語(decir)v.t おっしゃいましたか? 「動詞句」
 usted ウステ pron (敬称) あなたは 「主語」
 algo? アルゴ pron 何か 「目的語」

「僕？違いますよ！」と、オウムは急いで否定した。

-¿Yo? ¡No, no! -se apresuró a negar el Loro. 《「確認」「応答」》, 「動詞句」「主語」
 -¿Yo? ヨ pron 僕? 「確認」
 ¡No, no! - ノ・ノ adv. (否定) 違います! 「応答」
 se apresuró a negar セ・アプレスロ・ア・ネガル 3 単点・急ぎ(apresurarse a+不定詞)
 v.pr 急いで否定した 「動詞句」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

apresurarse a+不定詞 「急いで～する」

el Loro. エル・ロロ n.m オウムが 「主語」

「おれは、もちろん君だと思ったんだが」と、ネズミは主張した。

-Pues a mí sí me lo pareció insistió el Ratón-. 「動詞」「主語」

《「副詞句」「間接目的語」「補語」「動詞」》, 「動詞」「主語」

-Pues a mí sí プエ・ア・ミ・シ adv. 俺はもちろん 「副詞句」

Pues sí プエ・シ adv. もちろん a mí ア・ミ adv. 俺にとっては 「間接目的語」
me メ pron 俺には

lo ロ pron 君 「補語」

pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i ～に思われた 「動詞」

-insistió インスチオ 3 単点(insistir)v.i 力説した 「動詞」

el Ratón-. エル・ラトン n.m ネズミは 「主語」

それでは、話を続けよう：「マレーシア王国とノースアンブリアの公爵であるエドウィンとモルカーロは、ウィリアムを支持することを宣言し、カンタベリーの愛国の大司教であるスチガンドさえも、都合のよい方法を見つけようとして...」

Continúo, pues: «Edwindo y Morcaro, los duques de Mercia y Northumbria, se declararon en su favor; e incluso Stigandio, el patriótico arzobispo de Canterbury, encontrándolo oportuno...» 「動詞」「副詞」: 《「主語」「動詞句」「副詞句」 e 「主語」「副詞句」》

Continúo, コンチヌオ 1 単現・意思(continuar)v.t 続ける 「動詞」

pues: プエ adv. それでは 「副詞」

«Edwindo y Morcaro, エドウィンド・イ・モルカロ n.m エドウィンとモルカーロは 「主語」

los duques ロストゥクセス pl.n.m (同格) 公爵である 「形容詞句」

de Mercia y Northumbria, デ・メルシャ・イ・ノースアンブリア

adj. マレーシア王国とノースアンブリアの 「形容詞句」

se declararon セ・デクラロン 3 複点(declararse)v.pr 宣言した 「動詞句」

en su favor; エン・ス・ファボール adv. 彼を支持する状態にいる 「副詞句」

e エ conj. そして

incluso インクル adv. ～さえも 「副詞」

Stigandio, スチガンディオ n.m スチガンドは 「主語」

el patriótico arzobispo エル・パトリオチコ・アルビエス n.m 愛国の大司教である 「形容詞句」

patriótico パトリオチコ adj. 愛国の arzobispo アルビエス n.m 大司教

de Canterbury, デ・カンタベリー adj. カンタベリーの 「形容詞句」

encontrándolo エンコントラント・ロ 現在分詞・目的 adv. ～を見つけて 「副詞句」

oportuno... オポルトウノ pron 都合の良い方法を 「目的語」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

「何を、見つけたって？」と、アヒルが尋ねた。

-Encontró ¿qué? -preguntó el Pato.

《「動詞」「目的語」》，「動詞」「主語」

-Encontró エンコントロ 3 単点(encontrar)v.t 見つけた

「動詞」

¿qué? – ケ pron 何を?

「目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

el Pato. エル・パト n.m アヒルが

「主語」

「それを見つけて、だ」と、ネズミは少し苛ついて答えた。

-Encontrá-do-lo, -repuso el Ratón con alguna irritación-.

《「副詞句」》，「動詞」「主語」「副詞句」

-Encontrando- エンコントラント^ト 現在分詞(encontrar)adv. 見つけて

「副詞句」

lo, 口 pron それを

「目的語」

-repuso レプソ 3 単点(reponer)v.t 答えた、返事した

「動詞」

el Ratón エル・ラトン n.m ネズミは

「主語」

con alguna irritación-. コン・アルグナ・イリタシオン adv. 少し苛ついて

「副詞句」

「もちろん、君は‘それ’が何を意味するか知っているだろう、ね？」

Naturalmente, usted sabe lo que lo quiere decir, ¿no?

《「副詞」，「主語」「動詞」「目的語」，「副詞」》

Naturalmente, ナチュラルメンテ adv. もちろん

「副詞」

usted ウステ pron 君は

「主語」

sabe サヘ 3 単現・疑問文(saber)v.t 知っているだろう？

「動詞」

lo □ pron それを

「目的語」

que ケ pron (同格) ～ということ

「形容詞節」

lo □ pron **それが**

「主語」

quiere decir. キエ・デシル 3 単現・願望 v.t 意味する、言いたい「動詞句」

uno? / adv. (念押し) どうなんだ?

「副詞」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

「もちろん私が何かを見つけるときには、‘それ’が何を意味するかを知っているさ」と、アヒルが言い返した。「一般的には、それはカエルまたはミミズだ。私が知りたいのは、その大司教が何を見つけたのかだ」

-¡Pues claro que sé lo que lo quiere decir cuando soy yo el que encuentra algo! -replicó el Pato: es generalmente una rana o un gusano. Lo que quiero saber es qué fue lo que encontró el arzobispo. 《Pues claro que 「動詞」「目的語」「副詞節」》, 「動詞」「主語」:

《「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「補語」》

-¡Pues claro que ^{プエス・クラロ・ケ} conj. (理由) もちろん～なので
sé セ 1 単現(saber)v.t 知っている 「動詞」
lo ロ pron それを 「目的語」
que lo quiere decir ケ・ロ・キエレ・デシル adj. ‘それ’が意味する 「形容詞節」
cundo クワント conj. ～するときは 「副詞節」
soy ソイ 1 単現(ser)v.i ～である 「動詞」
yo ヨ pron おれが 「主語」
el エル pron それ 「補語」
que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
encuentra エンクエントラ 3 単現(encontrar)v.t 見つける 「動詞」
algo! アルゴ pron 何かを 「目的語」
-replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.t 言い返した 「動詞」
el Pato: エル・パト n.m アヒルは 「主語」
es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」
generalmente ヘネラルメンテ adv. 一般に 「副詞」
una rana ウナ・ラナ n.f カエル 「補語」
o オ conj. または
un gusano. ウン・グサノ n.m ミミズ 「補語」
Lo ロ pron それは 「主語」
que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
quiero saber キエロ・サベル 1 単現・願望(querer+不定詞)
v.t 知りたい 「動詞句」
es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」
qué ケ pron (～する) 物 「補語」
fue フェ 3 単点(ser)v.i ～だった 「動詞」
lo ロ pron それ 「補語」
que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
encontró エンコントロ 3 単点(encontrar)v.t 見つけた 「動詞」
el arzobispo. エル・アルビスコ n.m その大司教が 「主語」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

ネズミはこの質問を無視して、大急ぎで話の続きを話し始めました。

El Ratón hizo caso omiso de esta pregunta y se apresuró a reanudar su narración:

「主語」「動詞句」「間接目的語」 y 「動詞句」「目的語」

El Ratón エル・ラトン n.m ネズミは 「主語」

hizo caso omiso ヒソ・カソ・オミソ 3 単点(hacer caso omiso)v.i (de を) 無視した 「動詞句」

de esta pregunta デ・エスタ・プレグンタ adv. この質問を 「間接目的語」

y イ conj. そして

se apresuró a reanudar セ・アプレスロ・ア・レアスダール 3 単点・緊急(apresurarse a+不定詞)

v.pr 急いで再開した 「動詞句」

su narración: ス・ナラシオン n.f 話を 「目的語」

「都合の良い方法を見つけるために、エドガルド・アセリンゴと共にウィリアムとの会談に行き、彼に王冠を授けた」

«... encontrándolo oportuno, marchó con Edgardo Athelingo al encuentro de Guillermo para ofrecerle la corona.» 《「副詞句」「動詞」「副詞句」「間接目的語」「副詞句」》

«... encontrándolo エンコントラント・ロ 現在分詞(encontrar+lo)

adv. (目的) それを見つけるために 「副詞句」

oportuno, オポルトゥノ adj. 都合の良い 「形容詞」

marchó マルチョ 3 単点(marchar)v.i 行った 「動詞」

con Edgardo Athelingo コン・エトガルト・アセリンゴ adv. エドガルド・アセリンゴと共に「副詞句」

al encuentro de Guillermo アル・エンクエントロ・デ・ギジェルモ

adv. ウィリアムとの会談に 「間接目的語」

para ofrecerle パラ・オフレル・レ adv. (結果) そして彼に与えた 「副詞句」

la corona. ラ・コ罗纳 n.f 王冠を 「目的語」

「ウィリアムははじめ節度ある振舞いをしていたが、ノルマン人達の横柄な態度が...」

Este se condujo al principio con moderación; pero la insolencia de sus normandos...»

《「主語」「動詞句」「副詞句」;pero「主語」》

Este エステ pron この人は (ウィリアムは) 「主語」

se condujo セ・コントウホ 3 単点(conducirse)v.pr 振舞った 「動詞句」

al principio アル・プリンシピオ adv. 最初のうちは 「副詞句」

con moderación; コン・モテラシオン adv. 節度を持って、穏やかに 「副詞句」

pero ペロ conj. しかし

la insolencia ラ・インソレンシア n.f 横柄が 「主語」

de sus normandos...» デ・ス・ノルマントス adj. ノルマン人兵士たちの 「形容詞句」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

「今はどんな具合かね？良くなったかね？」と、演説を中断して、アリスに話しかけた。

¿Cómo te encuentras ahora, querida? -continuó dirigiéndose sin más a Alicia.

《「副詞」「動詞句」「副詞」,「補語」》,「動詞」「副詞句」

¿Cómo コモ adv. どのように 「副詞」
 te encuentras テ・エンケントラス 2 単現(encontrarse)v.pr (～の状態に) ある? 「動詞句」
 ahora, アオラ adv. 今は 「副詞」
 querida? クリダ adj.f 望ましい 「補語」
 -continuó コンチヌオ 3 単点(continuar)v.i 続けた 「動詞」
 dirigiéndose ディリヒエントセ 現在分詞・同時(dirigirse)adv. 話しかけながら 「副詞句」
 sin más シン・マス adv. 演説を続けないで 「副詞句」
 a Alicia. ア・アリシア adv. アリスに 「間接目的語」

「ひどく濡れたままだわ」と、アリスは憂鬱そうに答えた。「その話が私を乾かしてくれるとは思えない」

-Más mojada que nunca -contestó melancólica Alicia-. No parece que me seque nada esa historia.

《「補語」》,「動詞」「副詞」「主語」,《「動詞句」「主語」》

-Más mojada que nunca マス・モダ・ケ・ヌカ adj. かつてないほど濡れた 「補語」
 -contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた 「動詞」
 melancólica メランコリカ adv. 憂鬱そうに 「副詞」
 Alicia-. アリシア n.f アリスは 「主語」
 No parece ノ・パレセ 3 単現・否定(parecer)v.i ～のように見えない 「動詞句」
 que ケ conj. ～ということが 「主語」
 me メ pron 私を 「目的語」
 seque セケ 接・3 単現(secar)v.t 乾かす 「動詞」
 nada ナダ adv. まったく 「副詞」
 esa historia. エサ・イストリア n.f その話は 「主語」

「こうなったら」と、ドードーは立ち上がって重々しく言った。「仕上げとして、乾燥作戦にもっと根本的で直接的な進展を与えるために、会議を終えることを提案する」

-En ese caso -dijo solemnemente el Dodo poniéndose en pie-, propongo que se dé por terminada la sesión para dar paso a la adopción inmediata de un remedio más radical...

《「副詞句」》,「動詞」「副詞」「主語」「副詞句」,《「動詞」「目的語」》

-En ese caso エン・エセ・カ adv. こうなったら、ともかく 「副詞句」
 -dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 solemnemente ソルメネンテ adv. おごそかに、重々しく 「副詞」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

el Dodo エル・トド n.m (動物・鳥) ドーダーが	「主語」
ドーダーは、絶滅した飛べない鳥の一種	
poniéndose ポニントセ 現在分詞・同時(ponerse)v.pr 姿勢をとって	「副詞句」
en pie-, エン・ピエ adv. 脚の上に	「副詞句」
→ 立ち上がって	
propongo プロポンゴ 1 単現(proponer)v.t 提案する	「動詞」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
se dé セ・デ 接・3 単現(darse)v.pr 終わる	「動詞句」
por terminada ポル・テルミタダ adv. 仕上げとして	「副詞句」
la sesión ラ・セシオン n.f 会議が	「主語」
para dar パラ・ダール adv. (目的) ～を与えるために	「副詞句」
paso パソ n.m 前進を	「直接目的語」
a la adopción ア・ラ・アトプシオン adv. 採択に	「間接目的語」
inmediata インメディータ adj. 直接的な	「形容詞」
de un remedio デ・ウン・レメディオ	
adj. 対策の	「形容詞句」
más radical... マス・ラディカル	
adj. もっと根本的な	「形容詞句」

「どれどれ、話し合おうじゃないか！」と、ワシの子供が加わった。「その言葉の意味が、半分も分からないよ」

-¡A ver si hablamos bien! -intervino el Aguilucho-, No sé lo que quieren decir ni la mitad de esas palabras. y	《「応答」「動詞句」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」「目的語」》
-¡A ver ア・ベール adv. どれどれ	「応答」
si hablamos bien! シ・アブラモス・ビエン 1 複現・勧誘(hablar)v.pr よく話し合おう	「動詞句」
-intervino インテルビノ 3 単点(intervenir)v.i 参加した	「動詞」
el Aguilucho-, エル・アギルチョ n.m ワシの子供が	「主語」
No sé ノ・セ 1 単現・否定(saber)v.t 分からない	「動詞句」
lo ロ pron それを	「目的語」
que ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
quieren decir キエレン・デシル 3 複現・願望(querer decir)	
v.t 意味する	「動詞句」
ni la mitad ニ・ラ・ミタ n.f 半分も～ない	「主語」
de esas palabras, デ・エサス・パラブラス adj. その言葉の	「形容詞句」
y イ conj. そして	

3 Una carrera en comité y una historia con cola

「もっと言えば、あんただってそれを分かっているんだろう!」、こう言って、笑顔を隠すために頭を下げた; 他の鳥たちの何羽かは、抑えきれずに笑い声を漏らした。

es más, ¡tampoco creo que lo sepa usted! -y con esto agachó la cabeza para ocultar una sonrisa; algunos de los demás pájaros dejaron escapar risitas mal contenidas.

《「副詞句」「動詞句」「目的語」》,y「副詞句」「動詞」「目的語」「副詞句」;

「主語」「動詞句」「目的語」

es más, エス・マス	adv. もっと言えば、それだけでなく	「副詞句」
¡tampoco creo	タンポ・コ・クオ 1 単現・否定(creer)v.t(que) ~とも思わない	「動詞句」
que	ケ conj. ~ということを	「目的語」
lo	ロ pron それを	「目的語」
sepa	セパ 接・3 単現(saber)v.t 分かっている	「動詞」
usted!	ウステ pron あんたが	「主語」
-y	イ conj. そして	
con esto	コン・エスト adv. こう言って	「副詞句」
agachó	アガチョ 3 単点(agachar)v.t (頭を) 低くした、下げた	「動詞」
la cabeza	ラ・カベサ n.f 頭を	「目的語」
para +不定詞	パラ adv. ~するために	「副詞句」
ocultar	オクルタル 不定詞 v.t 覆い隠す	「動詞」
una sonrisa;	ウナ・ソリサ n.f ほほ笑みを	「目的語」
algunos	アルグノス pron.pl 何羽かは	「主語」
de los demás pájaros	デ・ロス・デ・マス・パ・ハロス adj. 他の鳥たちの	「形容詞句」
dejaron escapar	デ・ハロン・エスカパール 3 複点・放任(dejar+不定詞)v.t (笑い)を漏らした	「動詞句」
risitas	リシタス pl.n.f(risa+ itas) 笑い声を	「目的語」
mal contenidas.	マル・コンテニダス adj.f.pl(contenido+mal) 抑えきれない	「形容詞句」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

「言いたかったことは」と、ドードーが腹を立てた様子で言った。「体を乾かすのに最も良い方法はガヤガヤかけっこ、ということだ」

-Lo que me proponía manifestar -dijo el Dodo con tono ofendido- es que la mejor manera de secarnos sería una carrera en comité.

《「主語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 《「動詞」「補語」》

-Lo ▯ pron そのことは 「主語」

que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

me proponía manifestar メ・プ ロピ ニア・マニフェスタル 1 単線・意思(proponerse+不定詞)

v.pr はっきりと示したかった 「動詞句」

-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

el Dodo エル・ドードー n.m ドードーが 「主語」

con tono ofendido- コン・トノ・オフエンディト adv. 腹を立てた様子で 「副詞句」

tono トノ n.m 声の調子 ofendido オフエンディト 過去分詞(ofenderse)adj. 腹を立てた

es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

que ケ conj. ~ということ 「補語」

la mejor manera ラ・メホル・マネラ n.f 最善の方法は 「主語」

de secarnos デ・セカル・ノス 不定詞・目的(secarse)

adj. 体を乾かすための 「形容詞句」

sería セリア 3 単過未・推量(ser)v.i ~だろう 「動詞」

una carrera ウナ・カラ n.f 競争、かけっこ 「補語」

en comité. エン・コミテ adv. 委員会の 「副詞句」

英語版では : Caucus-race

'What I was going to say,' said the Dodo in an offended tone, 'was, that the best thing to get us dry would be a **Caucus-race**.'

英語で caucus は委員会のこと。委員会の役員たちが、政治で有利になろうとして、あちこちワヤワヤと走り回るさまを揶揄して、キャロルはコーカスレースと言ってます。

3 Una carrera en comité y una historia con cola

「そのガヤガヤかけっこというのは、何ですか？」と、アリスは聞いたが、どうしてもそれを知りたいと思った訳ではなくて、ドードーは、誰かが何かを言うのを待っていることを分かってもらうために話を中断しているのに、誰も何も言わないように見えたからです。

¿Qué es eso de una carrera en comité? preguntó Alicia, y no porque tuviera muchas ganas de saberlo, sino porque el Dodo había hecho una pausa, como dando a entender que esperaba que alguien dijera algo y no parecía que nadie fuera a hacerlo.

《「補語」「動詞」「主語」》, 「動詞」「主語」, y 「副詞節」, 「副詞節」

¿Qué pron 何? 「補語」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

eso de エソ・デ adj. その~ 「形容詞句」

una carrera en comité? ウナ・カラ・エン・コミテ

n.f ガヤガヤかけっこは 「主語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

Alicia, アリシア n.f アリスは 「主語」

y イ conj. そして

no porque ノ・ポルケ conj. ~だからではなく 「副詞節」

tuviera トゥビエラ 接・3 単過(tener)v.t あった 「動詞」

muchas ganas ムチャス・ガナス pl.n.f 強い願望 「目的語」

de saberlo, デ・サベルロ 不定詞・同格

adj. それを知りたいという 「形容詞句」

sino porque シノ・ポルケ conj. そうではなく~だから 「副詞節」

el Dodo エル・ドードー n.m ドードーは 「主語」

había hecho アビア・エチョ 3 単線・完了形(hacer)v.t していた 「動詞句」

una pausa, ウナ・パウサ n.f 中断、休止 「目的語」

como +現在分詞 コモ adv. ~しているように 「副詞句」

dando a entender ダント・ア・エンテンデル 現在分詞(dar a+不定詞 entender)

v.t 理解してもらう 「動詞句」

que ケ conj. ~ということ 「目的語」

esperaba エスペラバ 3 単線(esperar)v.t 待っていた 「動詞」

que ケ conj. ~ということ 「目的語」

alguien アルギエン pron 誰かが 「主語」

dijera デイハラ 接・3 単過(decir)

v.t 言うだろう 「動詞」

algo アルゴ pron 何か 「目的語」

y イ conj. そして

no parecía ノ・パレシア 3 単線・否定(parecer)

3 Una carrera en comité y una historia con cola

v.i 〜に見えなかった 「動詞句」
 que ケ conj. 〜ということ 「補語」
 nadie ナデ^ニエ pron 誰も 「主語」
 fuera a hacerlo. フェラ・ア・アセル・ロ 接・3 単過・近接未来(ir a+不定詞 hacer+lo)
 v.t それをしようとしなかった 「動詞句」

「おやおや！」と、ドードーは言った。「それを説明する一番の方法は、やってみることだ」

-¡Vaya! -dijo el Dodo-. La mejor manera de explicarlo será haciéndolo.

《「間投」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「主語」「補語」》

-¡Vaya! バヤ int. おやおや 「間投」
 -dijo デ^ニイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 el Dodo-. エル・ドートー n.m ドードーが 「主語」
 La mejor manera ラ・メル・マネラ n.f 最良の方法は 「主語」
 de explicarlo デ・エクスプリカル・ロ 不定詞・目的 adj. それを説明するための「形容詞句」
 será セラ 3 単末(ser)v.i 〜だろう 「動詞」
 haciéndolo. アシエン^ト・ロ 現在分詞(hacer+lo)n. それをやってみること 「補語」

(君たちの中に、冬のある日にそれをやってみたいと誰かが思うだろうから、ドードーのやり方を君たちに話そうと思う)

-(Y como probablemente habrá entre vosotros quien también quiera hacerlo. algún día de invierno, os voy a contar cómo se las arregló el Dodo. 注 9.)

(Y「副詞節」, 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」)

-(Y イ conj. そして
 como コモ conj. (理由) 〜なので 「副詞節」
 probablemente プロバブレメンテ adv. おそらく、たぶん 「副詞」
 habrá アブラ 3 単末・推量・存在(haber)v.t 〜がいるだろう 「動詞」
 entre vosotros エントレ・ボソトス adv. 君たちの中に 「副詞句」
 quien キエン pron (主語) 〜する誰かが 「目的語」
 también タンビエン adv. 〜もまた 「副詞」
 quiera hacerlo, キエラ・アセル・ロ 接・3 単現・願望(querer+不定詞)
 v.t それをしたい 「動詞句」
 algún día de invierno, アルグン・デア・デ・インビエルノ
 adv. 冬のある日に 「副詞句」
 os オス pron 君たちに 「間接目的語」
 voy a contar ボイ・ア・コンタル 1 単現・近接未来(ir a+不定詞)v.t 話そうと思う 「動詞句」
 cómo コモ adv. どのように〜するかということを 「直接目的語」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

se las arregló セ・ラス・アレグロ 3 単点・再帰受動・時制の一致(arreglarse)

v.pr 実行される 「動詞句」

el Dodo 注 9.) エル・ドードー n.m ドードーが 「主語」

ドードーが提案した「ガヤガヤかけっこ」が「el Dodo」という名詞になっている

ドードーは、まず大体円形の競技用のコースの線を引いた（“正確な形はあまり重要ではない”と言っていた）、それからみんなは、あちらこちらに、位置についた。

Lo primero que hizo fue trazar una pista para la carrera, más o menos en círculo («la forma exacta no importa demasiado», dijo), y luego todo el grupo se fue situando por aquí y por allá.

「主語」「動詞」「補語」（“「主語」「動詞句」「副詞」”，「動詞」），

y 「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」

Lo primero ロ・プリメロ n.m 最初の事は 「主語」

que ケ pron（目的語）～する 「形容詞節」

hizo イ 3 単点(hacer)v.t ～をした 「動詞」

fue フェ 3 単点(ser)v.i ～だった 「動詞」

Lo primero que hizo +不定詞句 「まず～をした」

trazar トラサル 不定詞 n. ～を引くこと 「補語」

una pista ウナ・ピスタ n.f（競争の）トラック、コース 「目的語」

para la carrera, パラ・ラ・カラ adj. 競争用の 「形容詞句」

más o menos en círculo マス・オ・メノス・エン・シルクロ

adv. 大体円形の 「副詞句」

(«la forma ラ・フォルマ n.f 形は 「主語」

exacta エクサクタ adj.f(exacto) 正確な 「形容詞」

no importa ノ・インポルタ 3 単現・否定(importar)v.i 重要でない 「動詞句」

demasiado», デマシアド adv.（否定文で）それほど、あまり 「副詞」

dijo), デイヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

y イ conj. そして

luego ルエゴ adv. それから、その後に 「副詞」

todo el grupo トド・エル・ゲルポ n.m みんなは 「主語」

se fue situando セ・フェ・シトゥアント 3 単点・進行形(situarse)v.pr 位置についた 「動詞句」

por aquí y por allá. ポ・ラキ・イ・ポ・ラジ adv. あちこちに 「副詞句」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

誰も、いつものように「いち、に一、さん、ヤー」というスタートの合図をせずに、めいめいが好きな時に走り始めました。そのために、いつ競争が終わったのかを知ることができなくなっていました。

Nadie dio la salida con el consabido «¡Ala una, a las dos y a las tres! ¡Ya!», sino que cada uno empezó a correr cuando quiso, de forma que resultaba algo difícil saber cuándo iba a terminar la carrera.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」, sino que 「主語」「動詞句」「副詞節」	
de forma que 「動詞」「補語」「主語」	
Nadie ナデ ^ニ エ pron 誰も～ない	「主語」
dio デ ^イ オ 3 単点(dio)v.t (行為を) しなかった	「動詞」
la salida ラ・サ ^リ ダ n.f 出発 (の合図) を	「目的語」
con el consabido コン・エル・コンサビ ^ト adv. いつもの合図で	「副詞句」
«¡Ala una, a las dos y a las tres! ¡Ya!», アラ・ウナ・ア・ラス・トス・イ・アラス・トレス・ヤー	
adv. (掛け声) いち、に一、さん、ヤー	「掛け声」
sino que シノ・ケ conj. そうではなく～する	
cada uno カダ・ウノ pron めいめいが	「主語」
empezó a correr エンペ ^ソ ・ア・コレ ^ル 3 単点・開始(empezar a+不定詞)v.i 走り始めた	「動詞句」
cundo quis ^o , クワン ^ト ・キ ^ソ adv. 望んだ時に、好きな時に	「副詞節」
de forma que デ・フォルマ・ケ conj. (目的) ～するように、(結果) そのため～	
resultaba レス ^ル タバ 3 単線(resultar)v.i ～の結果になった	「動詞」
algo difícil アルコ ^ダ ・ディ ^フ イシ ^ル adj. 少し困難な	「補語」
saber サベ ^{ール} 不定詞 n. ～を知ることが	「主語」
cuándo クワン ^ト adv. いつ～したかということ	「目的語」
iba a terminar イバ ^ア ・ア・テルミナル 3 単線・近接未来(ir a+不定詞)	
v.i 終わっていた	「動詞句」
la carrera. ラ・カ ^レ ラ n.f 競争が	「主語」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

それでもおよそ 30 分、走り続けてよく乾いた後で、ドードーが突然叫んだ：「レースは終わった！」、すると皆は心配そうに息を切らせてドードーの周りに集まってきて、先を争って尋ねた：「誰が、いったい誰が勝ったの？」

Sin embargo, después de haber estado corriendo como una media hora y estando todos ya bien secos, el Dodo exclamó súbitamente: «¡Se acabó la carrera!», y todos se agruparon ansiosamente en su derredor jadeando y preguntando a porfía: «Pero ¿quién, quién ha ganado?».

「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞」: 《「動詞句」「主語」》,

y 「主語」「動詞句」「副詞句」: 《Pero 「主語」「動詞句」》

Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. とはいえ、それでも 「副詞句」

después de + 不定詞・完了形・進行形 デスプエス・デ adv. 〜し続けた後で 「副詞句」

haber estado corriendo ハベール・エスタド・コリエント 不定詞・完了形・進行形(correr)

v.i 走り続けた 「動詞句」

como una media hora コモ・ウナ・メディア・オラ adv. (概数) およそ 30 分 「副詞句」

y イ conj. そして

estando エスタント 不定詞・完了形・進行形(estar)v.i 〜になった 「動詞句」

todos トース pl.n 皆が 「主語」

ya bien secos, ヤー・ビエン・セコス adj.pl よく乾いた 「補語」

el Dodo エル・トードー n.m ドードーが 「主語」

exclamó エクスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ 「動詞」

súbitamente: スビタメンテ adv. 突然 「副詞」

«¡Se acabó セ・アカボ 3 単点(acabarse)v.pr 終わった 「動詞句」

la carrera!», ラ・カラ n.f 競争は、レースは 「主語」

y イ conj. そして

todos トース pl.n 皆は 「主語」

se agruparon セ・アグルパロン 3 複点(agruparse)v.pr 集まった 「動詞句」

ansiosamente アンシオサメンテ adv. 心配そうに、やきもきしながら 「副詞」

en su derredor, エン・ス・デレトール adv. かれの周りに 「副詞句」

jadeando ハデアント 現在分詞(jadear)v.i 息を切らしながら 「副詞句」

y イ conj. そして

preguntando プレグンタント 現在分詞(preguntar)v.t 尋ねながら 「副詞句」

a porfía: ア・プロフィア adv. 我先に、先を争って 「副詞句」

«Pero ペロ conj. だけど

¿quién, キエン pron 誰が 「主語」

quién キエン pron 誰が 「主語」

ha ganado?». ア・ガナト 3 単現・完了形(ganar)v.t 勝った 「動詞句」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

ドードーが、長い時間がかかることなく、この質問に答えられるとは思いませんでした。

No parecía que el Dodo pudiera contestar a esta pregunta sin entretenerse antes en muchas cavilaciones;

No parecía ノ・パレシア 3 単線・否定(parecer)v.i. ~のように見えなかった 「動詞句」

que ケ conj. ~ということが 「主語」

el Dodo エル・ドードー n.m. ドードーが 「主語」

pudiera contestar プデイエラ・コンテスター 接・3 単過・時制の一致・推量(poder+不定詞)

v.t. 答えられるだろう 「動詞句」

a esta pregunta ア・エスタ・プレグンタ n.f. この質問に 「目的語」

sin entretenerse シン・エントレネレセ adv. 長い時間をかけずに 「副詞句」

antes アンテス adv. 前に 「副詞」

en muchas cavilaciones; エン・ムチャス・カビルアシオネス adv. 多くの思案をする 「副詞句」

それで、かなり長い間、額に指を置いたままにしていた (シェークスピアの肖像画で見たことがあるみたいに)、一方で、残りは黙って待っていた。

y estuvo así durante mucho tiempo, con un dedo puesto sobre la frente (algo así como el Shakespeare que vemos en los retratos) mientras el resto aguardaba en silencio. Al fin el Dodo sentenció:

y 「動詞」「副詞句」「補語」(「副詞句」)「副詞節」 | 「副詞句」「主語」「動詞」

y イ conj. そして

estuvo エストゥボ 3 単点(estar)v.i. ~だった 「動詞」

así アシ adv. それほど、そのような 「副詞」

durante mucho tiempo, トゥランテ・ムチョ・ティエンポ adv. 長い間 「副詞句」

con un dedo コン・ウン・デト adv. (様態) 指を~して 「補語」

puesto プエスト adj. 置かれた 「形容詞」

sobre la frente ソブレ・ラ・フレンテ adv. 額に 「副詞句」

(algo así como アルゴ・アシ・コモ adv. 少し~のように 「副詞句」

el Shakespeare エル・シャクスピアレ n.m. シェークスピア 「目的語」

que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

vemos ベモス 1 複現(ver)v.t. 見る 「動詞」

en los retratos) エン・ロス・レトラス adv. 肖像画の中を 「副詞句」

mientras ミエンTRAS conj. 一方で~ 「副詞節」

el resto エル・レスト n.m. 残りは 「主語」

aguardaba アグアルダバ 3 単線(aguardar)v.i. 待っていた 「動詞」

en silencio. エン・シレンシオ adv. 黙って、静かに 「副詞句」

Al fin アル・フィン adv. ついに、最後に 「副詞句」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

el Dodo エル・ドードー n.m ドードーが 「主語」
sentenció: センテシオ 3 単点(sentenciar)v.t (判決を) 言い渡した 「動詞」

「みんなが勝ったんだ！だからみんなそれぞれご褒美をもらえるよ！」

-¡Todos hemos ganado y todos recibiremos sendos premios!

《「主語」「動詞句」 y 「主語」「動詞」「目的語」》

-¡Todos トス pron.pl みんなが 「主語」
hemos ganado エス・ガナド 1 複現・完了形(ganar)v.t 勝った 「動詞句」
y イ conj. そして
todos トス pron.pl みんなが 「主語」
recibiremos レビレモス 1 複未(recibir)v.t もらえる 「動詞」
sendos premios! セトス・プレモス pl.n.m それぞれご褒美を 「目的語」
sendos セトス adj.pl 各人に 1 つずつの premio プレモ n.m ごほうび

完了時制 : haber の活用 + 過去分詞

スペイン語の完了時制は助動詞が haber で、過去分詞は主語の性・数に関わらず無変化。

(フランス語・イタリア語の完了時制では助動詞が avoir／avere の時は、「直接目的語」が過去分詞の前に置かれた場合には、過去分詞は「直接目的語」と性・数一致する。また助動詞が être／essere を使用する動詞の過去分詞は、主語と性・数一致するので注意が必要！) 受動態では、スペイン語・フランス語・イタリア語ともに過去分詞は主語と性・数一致する。

「だけど、誰がご褒美をくれるの？」と、たくさんの声が一斉に尋ねました。

-Pero ¿a quién le toca dar los premios? -preguntaron muchas voces a coro.

《Pero 「間接目的語」「動詞」「主語」, 「動詞」「主語」「副詞句」

-Pero ペロ conj. しかし
¿a quién ア・キエン pron 誰に 「間接目的語」
le レ pron 彼に 「間接目的語」
toca トカ 3 単現(tocar)v.i(a に) (役割が) 当たる 「動詞」
dar ダール 不定詞 n. 与えることは 「主語」
los premios? ロス・プレモス pl.n.m ご褒美を 「目的語」
-preguntaron プレグンタロン 3 複点(preguntar)v.t (a+人 に) 尋ねた 「動詞」
muchas voces ムチャス・ボセス pl.n.f(voz) たくさんの声が 「主語」
a coro. ア・コロ adv. 声をそろえて、一斉に 「副詞句」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

「それならば、当然この子だろう」と、ドードーはアリスを指さして断言した；そのため、皆はすぐにアリスの周りに詰め寄って、訳も分からずに叫びました：「ご褒美、ご褒美！」

-Pues a ella, naturalmente -declaró el Dodo señalando a Alicia con el dedo; de forma que todo el grupo se apretujó en el acto a su alrededor, reclamando sin ton ni son: «¡Premios! ¡Premios!».

-Pues プエス conj. それならば 「副詞」
a ella, ア・エジャ pron 彼女を 「目的語」
naturalmente ナチュラルメンテ adv. 当然 「副詞」
-declaró デクラロ 3 単点(declarar)v.t 明言した 「動詞」
el Dodo エル・トードー n.m ドードーは 「主語」
señalando セニャラント 現在分詞・同時 adv. 指し示しながら 「副詞句」
a Alicia ア・アリシア adv. アリスを 「目的語」
con el dedo; コン・エル・デト adv. 指で 「副詞句」
de forma que+直説法 テ・フォルマ・ケ conj. (結果) そのため 「副詞節」

de forma que+接続法 テ・フォルマ・ケ conj. (目的) ～するように
todo el grupo トド・エル・グルポ n.m みんなは 「主語」
se apretujó セ・アプレトゥホ 3 単点(apretujarse)
v.pr(en 場所に) 詰め寄った、ぎゅうぎゅう詰めになった 「動詞句」
en el acto エン・エル・アクト adv. 即座に、その場で 「副詞句」
a su alrededor, ア・ス・アルデトール adv. アリスの周りに 「副詞句」
reclamando レクラマント 現在分詞・同時 adv. 要求しながら 「副詞句」
sin ton ni son: シン・トン・ニ・ソン adv. 理由もなく 「副詞句」
«¡Premios! ¡Premios!». プレミオス・プレミオス pl.nm ご褒美、ご褒美！ 「要請」

アリスはこの苦境から抜け出すには何をすべきかが全く分からず、絶望的になって、ポケットに手を入れました。するとそこにキャンディーの箱を見つけました（塩水に漬からなかったんだ）、そしてそれをご褒美として皆に配り始めました。

Alicia no tenía ni la menor idea de qué hacer para salir de tal apuro, y metió, desesperada, la mano en el bolsillo, donde encontró una caja de confituras (que el agua salada, afortunadamente, no había estropeado) y empezó a repartirlas a modo de premios.

「主語」「動詞句」「目的語」, y 「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」,
「副詞」「動詞」「目的語」「形容詞節」) y 「動詞句」「副詞句」
Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
no tenía ノ・テニア 3 単線・否定(tener)v.t なかった 「動詞句」
ni la menor idea ニ・ラ・メノール・イデア n.f ささいな考えも 「目的語」
de qué hacer デ・ケ・アセル adj. (限定) 何をすべきかという 「形容詞句」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

para salir	パラ・サール	adv. 出るために	「副詞句」
de tal apuro,	デ・タル・アプーロ	adv. この苦境から	「副詞句」
y	イ	conj. そして	
metió,	メチオ	3 単点(meter)v.t 入れた	「動詞」
desesperada,	デセスペラダ	adj.f 絶望的な	「副詞」
la mano	ラ・マノ	n.f 手を	「目的語」
en el bolsillo,	エン・エル・ホルジヨ	adv. ポケットに	「副詞句」
donde	ドンデ	adv. そこに	「副詞」
encontró	エンコントロ	3 単点(encontrar)v.t 見つけた	「動詞」
una caja	ウン・カハ	n.f 箱を	「目的語」
de confituras	デ・コンフィットゥラス	adj. キャンディーの、糖菓、砂糖漬け	「形容詞句」
(que	ケ	pron (目的語) ～する	「形容詞節」
el agua salada,	エル・アクワ・サラダ	n.f 塩水は	「主語」
afortunadamente,	アフォルトナダメンテ	adv. 幸運にも、幸い	「副詞」
no había estropeado)	ノ・アビ・ア・エストロペ・アド	3 単線・完了形・否定(estropear)	
	v.t	台無しにしなかった	「動詞句」
y	イ	conj. そして	
empezó a repartirlas	エンペ・リ・ア・レパール・ラス	3 単点・開始(empezar a+不定詞)	
	v.t	それを配り始めた	「動詞句」
a modo de	ア・モド・デ	prep ～として、～のように	「副詞句」
premios.	プレミオス	pl.n.m ごほうび	「目的語」

1 人に 1 個ずつびったりの数がありました。

<u>Había exactamente una para cada uno.</u>	「動詞」「副詞」「目的語」
Había アビア 3 単線(haber)v.t ～があった	「動詞」
exactamente エクサクタメンテ adv. ぴったり、正確に	「副詞」
una ウナ pron 1 個	「目的語」
para cada uno. パラ・カダ・ウノ adv. 1 人について	「副詞句」

「ああ！、彼女にもご褒美が与えられるべきだろう！」と、ネズミが言った。

- ¡Eh! ¡A ella también le corresponde un premio! — dijo el Ratón.

《「呼びかけ」「間接目的語」「動詞」「主語」》, 「動詞」「主語」

- ¡Eh!	エ int.	ああ	「呼びかけ」
¡A ella también le	ア・エジヤ・タンビエン・レ	pron 彼女にも	「間接目的語」
corresponde	コレスポンデ	2 単現(corresponder)v.i 配分される	「動詞」
un premio!	ウン・プレミオ	n.m ご褒美は	「主語」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
el Ratón. エル・ラトン n.m ネズミが 「主語」

「その通りだ！」と、ドードーが偉そうに返事をした。「ポケットには他に何かあるかね？」
と、アリスに尋ねた。

-¡Pues claro! -repuso el Dodo gravemente-. ¿Qué más tienes en el bolsillo? -le preguntó a Alicia.

《「感嘆」》, 「動詞」「主語」「副詞」,

《「目的語」「動詞」「副詞句」》, 「間接目的語」「動詞」「間接目的語」

-¡Pues claro! プエス・クラロ int. もちろん、その通りだ 「感嘆」

-repuso レプソ 3 単点(reponer)v.t 答えた、返事をした 「動詞」

el Dodo エル・ドードー n.m ドードーが 「主語」

gravemente-. グラベメンテ adv. 重々しく、偉そうに 「副詞」

¿Qué más ケ・マス pron 他の何かを 「目的語」

tienes テイエス 2 単現・疑問文(tener)v.t ~があるかい? 「動詞」

en el bolsillo? エン・エル・ボルスィヨ adv. ポケットの中に 「副詞句」

-le レ pron 彼女に 「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

a Alicia. ア・アリア adv. アリスに 「間接目的語」

「指ぬき 1 つだけ」と、アリスは悲しそうに答えた。

-Sólo un dedal -contestó ésta tristemente. 《「応答」》, 「動詞」「主語」「副詞」

-Sólo un dedal ソロ・ウン・デダル n.m 指ぬき 1 つだけ 「応答」

-contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた 「動詞」

ésta エスタ pron こちらは、アリスは 「主語」

tristemente. トリステメンテ adv. 悲しそうに 「副詞」

「それでは、それを持ってこちらへ来なさい」と、ドードーが命じた。

-Pues venga, ¡ tráelo acá! -ordenó el Dodo.

《「副詞」「動詞」, 「動詞句」「副詞」》, 「動詞」「主語」

-Pues プエス adv. それでは 「副詞」

venga, ベンカ 命・3 単現(venir)v.i 来なさい 「動詞」

¡ tráelo トラエロ 命・2 単現(traer+lo)v.t それを持ってきなさい 「動詞句」

acá! アカ adv. こちらへ 「副詞」

-ordenó オルデノ 3 単点(ordenar)v.t 命じた 「動詞」

el Dodo. エル・ドードー n.m ドードーが 「主語」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

皆が再び彼女の周りに集まってくると、ドードーはもったいぶった声で喋りながら、厳かにアリスに指ぬきを授与した。

Nuevamente se agruparon todos alrededor de ella mientras el Dodo le entregaba solemnemente el dedal, pronunciando con voz engolada estas palabras:

「副詞」「動詞句」「主語」「副詞句」

mientras 「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞」「直接目的語」「副詞句」

Nuevamente ヌエバメンテ adv. もう一度、再び 「副詞」

se agruparon セ・アグロパロン 3 複点(agruparse)v.pr 集まってきた 「動詞句」

todos トス pron.pl 皆が 「主語」

alrededor de ella アルデトール・デ・エジャ adv. 彼女の周りに 「副詞句」

mientras ミエンtras conj. その一方で

el Dodo エル・トードー n.m ドードーが 「主語」

le le pron 彼女に（アリスに） 「間接目的語」

entregaba エントレガバ 3 単線(entregar)v.t 授与した 「動詞」

solemnemente ソレムネメンテ adv. 厳かに 「副詞」

el dedal, エル・デダル n.m 指ぬきを 「直接目的語」

pronunciando プロンスシアント 現在分詞・同時(pronunciar)v.t 言葉を発しながら 「副詞句」

con voz engolada コン・ボス・エンゴラダ adv. もったいぶった声で 「副詞句」

estas palabras: エスタス・パラブラス pl.n.f 次の言葉を 「目的語」



3 Una carrera en comité y una historia con cola

「上品な友人よ！私たちはあなたにお願い致します。この優美な指ぬきをお受け取りください」この短い演説が終わると、皆は喜びの声をあげた。

-Os suplicamos, distinguida amiga, que aceptéis este elegante dedal. -Al término de esta breve alocución todos vitorearon con entusiasmo.

《「間接目的語」「動詞」,「呼びかけ」,「直接目的語」》「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」

-Os オス pron (2 人称複数、敬称) あなたに 「間接目的語」

suplicamos, スプリカモス 1 複現(suplicar)v.t 懇願する 「動詞」

distinguida amiga, ディスチンギダ・アミガ n.f 上品な友人 「呼びかけ」

que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」

aceptéis アセプテイス 接・2 複現・願望・敬称(acceptar)v.t 受け取られる 「動詞」

este elegante dedal. エステ・エレガント・デダル n.m この優美な指ぬきを「目的語」

-Al término アル・テルミノ adv. (時点) ～の終わりに 「副詞句」

de esta breve alocución デ・エステ・ブレイ・アロクシオン adj. この短い演説の「形容詞句」

todos トス pron 皆は 「主語」

vitorearon ビトレアロン 3 複点(vitorear)v.t 喜び叫んだ 「動詞」

con entusiasmo. コン・エントウシアズモ adv. 歓喜で 「副詞句」

アリスはこのすべてが馬鹿げたことに思われたが、皆がとてもまじめそうにしていると思ったので、敢えて笑うことができたかった。そして言うべきことが何も頭に浮かばなかったもので、指ぬきを受け取る時にできるだけ厳粛に深々とお辞儀をするだけにとどめた。

Alicia pensó que todo esto era bastante absurdo, pero todos parecían tomárselo tan en serio que no se atrevió a reír, y como tampoco se le ocurría nada que decir, se limitó a hacer una gran reverencia al recibir el dedal con la mayor solemnidad que le fue posible.

「主語」「動詞」「目的語」,pero「主語」「動詞句」「補語」

que「動詞句」y「副詞節」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.t(que ～と) 考えた、思った 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

todo esto ト・エスト pron 何もかもが、このすべては 「主語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

bastante absurdo, バスタンテ・アブスルト adj. とてもばかげた 「補語」

pero ペロ conj. しかし

todos トス pron 皆が 「主語」

parecían tomárselo パレシアン・トマルセロ 3 複線・推測(parecer+不定詞 tomarse)

v.i (感情を) 持っているように見えた 「動詞句」

tan en serio タン・エン・セリオ adj. とてもまじめな 「補語」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

que	ケ conj.(tan ... que) (結果)...	なのでその結果～する	
no se atrevió a reír,	ノ・セ・アトレビョ・ア・レイール	3 単点・敢えて・否定(atreverse a+不定詞)	
v.i	あえて笑うことができなかった		「動詞句」
y	イ conj.	そして	
como	コモ conj.	～なので	「副詞節」
tampoco	タンポコ adv.	～もまたない	「副詞」
se le ocurría	セ・レ・オクリア	3 単線(ocurrirse)v.pr 頭に浮かぶ	「動詞句」
le	は Alicia の	「間接目的語」	
nada	ナダ pron	何も～ない	「主語」
que decir,	ケ・デシル adj.	言うべき	「形容詞節」
se limitó a hacer	セ・リミト・ア・アセル	3 単点・制限(limitarse a+不定詞)	
v.pr	～するだけにとどめた		「動詞句」
una gran reverencia	ウナ・グラン・レベレンシア	n.f しっかりしたお辞儀を	「目的語」
al recibir	アル・レシビール	不定詞・時点 adv. ～を受け取るときに	「副詞句」
el dedal	エル・デダル	n.m 指ぬきを	「目的語」
con la mayor solemnidad	コン・ラ・マヨール・ソレムニダ		
adv.	(様態) 最高の厳粛さで		「副詞句」
que le fue posible.	ケ・レ・フェ・ポシブレ	adv. (比較) できるだけ	「副詞句」

そしてキャンディーを食べる時間になったが、これが多少の騒音とかなりの混乱を招いた。大きな鳥たちは小さすぎて何を食べているのか分からないと不平を言い、一方、小鳥たちはキャンディーが喉に詰まって、誰かに背中を叩いてもらわなければならなくなった。

Llegó entonces la hora de comerse las confituras, lo que provocó algún ruido y bastante confusión, pues los pájaros grandes se quejaban de que eran tan pequeñas que ni podían decir a qué sabían, mientras que los pequeños se atragantaban y había que darles de palmadas en las espaldas.

	「動詞」「副詞」「補語」, 「補語」, 「副詞」「主語」「動詞句」「間接目的語」	
mientras que	「主語」「動詞句」 y 「動詞句」「目的語」「副詞句」	
Llegó	ジエゴ 3 単点(llegar)v.i (変化の結果) ～になった	「動詞」
entonces	エントネス adv. その時、それから	「副詞」
la hora	ラ・オラ n.f 時間	「補語」
de +不定詞	デ 不定詞・目的 adj. ～すべき	「形容詞句」
comerse	コメル 不定詞 v.pt 食べる	「動詞句」
las confituras,	ラス・コンフィットラス pl.n.f キャンディーを	「目的語」
lo	ロ pron (同格) (hora の代用) それ	「補語」
que	ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

provocó	プロボコ	3 単点(provocar)v.t	誘発した、生じさせた	「動詞」
algún ruido	アルグン・ルト	n.m	多少の騒音を	「目的語」
y	イ	conj.	そして	
bastante confusión,	バスタンテ・コンフシオン	n.f	かなりの混乱を	「目的語」
pues	プエス	conj.	それで～する	「副詞」
los pájaros grandes	ロス・パ・ハロス・グランデス	pl.n.m	大きな鳥たちは	「主語」
se quejaban	セ・ケハバン	3 複線(quejarse)v.pr(de	について) 不平を言った	「動詞句」
de que	デ・ケ	adv.	～について	「間接目的語」
eran	エラン	3 複線・時制の一致(ser)v.i	～である	「動詞」
tan pequeñas	タン・ペ・ケニャス	adj.f.pl	小さすぎる	「補語」
que	ケ	adv.	(目的) ～するために	「副詞節」
ni podían decir	ニ・ポ・ディアン・デシル	3 複線・可能・否定(poder+不定詞)		
	v.t	言えない		「動詞句」
a qué	ア・ケ	adv.	何の	「間接目的語」
sabían,	サビアン	3 複線(saber)		
	v.i(a+無冠詞名詞	の)	味がする	「動詞」
mientras	ミエンTRAS	conj.	その一方では	
que	ケ	pron	(事実の提示) ～ということ	
los pequeños	ロス・ペ・ケニョス	pl.n.m	小鳥たちは	「主語」
se atragantaban	セ・アトラガンタバン	3 複線(atragantarse)		
	v.pr	喉が詰まっていた		「動詞句」
y	イ	conj.	そして	
había que darles	アビ・ア・ケ・ダールス	3 単線・必要(haber que+不定詞)		
	v.t	(動作を)	彼らに～してあげなくてはならない	「動詞句」
de palmadas	デ・パルマダス	pl.n.f	手のひらで叩くことを	「目的語」
en las espaldas.	エン・ラス・エスパルダス	adv.	背中を	「副詞句」
	haber que+不定詞		「(不特定の人が) ～しなければならない」	
	tener que+不定詞		「主語が～しなくてはならない」	

3 Una carrera en comité y una historia con cola

そうしてすべてが終わると、皆は輪を作ってまた座り、何か話してくれとネズミに頼んだ。

No obstante, todo acabó pasando, y volvieron a sentarse formando un círculo y rogaron al Ratón que les contara otra cosa.

「副詞句」「主語」「動詞句」 y 「動詞句」「副詞句」 y 「動詞」「間接目的語」「直接目的語」
 No obstante, ノ・オブ・スタンテ adv. それにもかかわらず 「副詞句」
 todo トト pron すべてが 「主語」
 acabó pasando, アカボ・パサント 3 単点・結局(acabar+現在分詞 pasar)
 v.i (時が) 結局終わった 「動詞句」
 y イ conj. そして
 volvieron a sentarse ボルビエロン・ア・セントルセ 3 複点・再度(volver a+不定詞 sentarse)
 v.pr また座った 「動詞句」
 formando フォルマント 現在分詞・同時(formar)v.t ~を作って 「副詞句」
 un círculo ウン・シルクロ n.m 輪を 「目的語」
 y イ conj. そして
 rogaron カロン 3 複点(rogar)v.t 頼んだ 「動詞」
 al Ratón アル・ラトン adv. ネズミに 「間接目的語」
 que ケ conj. ~ということ を 「直接目的語」
 les レス pron 自分たちに 「間接目的語」
 contara コンタラ 接・3 単過(contar)v.t 語る 「動詞」
 otra cosa. オトラ・コサ n.f ほかの事を 「目的語」

「あなた自身の話をしてくれるって、私に約束しましたよね？」と、アリスは彼に言った。

-Me prometiste contar tu historia, ¿te acuerdas? -le dijo Alicia-

《「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」, 「動詞句」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」
 -Me メ pron 私に 「間接目的語」
 prometiste contar プロメチステ・コンタール 2 単点・約束(prometer)
 v.t(+不定詞) 話をすると約束した 「動詞句」
 tu historia, トゥ・イストリア n.f あなた自身の話を 「直接目的語」
 ¿te acuerdas? テ・アクエルダス 2 単現・疑問文・確認(acordarse)
 v.pr 覚えているでしょう? 「動詞句」
 -le レ pron 彼に 「間接目的語」
 dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 Alicia-. アリシア n.f アリスは 「主語」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

「それに、どうして“ネ”とか“イ”とかを嫌いなのかという理由を」と、ささやくように付け加えました。ネズミがまた怒ってしまわないかが心配だったからです。

Y la razón por la que odias... a los G... y a los P... -añadió en un susurro, con mucho miedo de que fuera a ofenderse de nuevo. 《Y「目的語」》, 「動詞」「副詞句」

Y イ conj. そして

la razón ラ・ラソ n.f 理由を 「目的語」

por la que ポル・ラ・ケ adv. どうして～かという 「副詞節」

odias... オディアス 2 単現(odiar)v.t 嫌う 「動詞」

a los G... y a los P... ア・ロス・ヘ・イ・ア・ロス・ヘ

pl.n.m (los gatos, los perros の省略) “ネ”とか“イ”とかを「目的語」

-añadió アニアディオ 3 単点(añadir)v.t 付け加えた 「動詞」

en un susurro, エン・ウン・スウロ adv. ささやくように 「副詞句」

con mucho miedo コン・ムチョ・ミエト adv. (理由) 十分な心配があったので 「副詞句」

de que デ・ケ conj. (同格) ～するという 「形容詞節」

fuera a ofenderse フェア・ア・オフエンデルセ 接・3 単過・推測(ir a+不定詞)

v.pr 怒り出すのではないかと 「動詞句」

de nuevo. デ・ヌエヴォ adv. また 「副詞句」

「長くて哀しいんだ、僕の話は」と、ネズミはアリスに向かってため息をつきながら叫びました；「そして、長いしっぽを引き寄せました」

-¡Larga y triste es mi historia -exclamó el Ratón dirigiéndose a Alicia y suspirando-, y trae mucha cola! 《「補語」「動詞」「主語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 《y「動詞」「目的語」》

《「補語」「動詞」「主語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 《y「動詞」「目的語」》

-¡Larga y triste ラルガ・イトリステ adj. 長くて哀しい 「補語」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

mi historia ミ・イストリア n.f 僕の話は 「主語」

-exclamó エスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ 「動詞」

el Ratón エル・ラトン n.m ネズミは 「主語」

dirigiéndose ディリヒエントセ 現在分詞・同時(dirigirse)

adv.(a+人) ～に向かって、話しかけて 「副詞句」

a Alicia ア・アリア adv. アリスに 「間接目的語」

y イ conj. そして

suspirando-, ススピランド 現在分詞・同時(suspirar)adv. 溜息をつきながら 「副詞句」

y イ conj. そして

trae トラエ 3 単現(traer)v.t 引き寄せる 「動詞」

mucha cola! ムチャ・コーラ n.f 長いしっぽを 「目的語」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

「確かに、長いしっぽのついたお話みたいね」と、アリスはネズミのしっぽがどれほど長いのかをじっと見つめながら、驚いて言った。「でも、なぜ哀しいの？」アリスはネズミが話している間もそのことを考えていた。あまりにも没頭しすぎたので、ネズミの話は次のように聞こえた：

-Ciertamente parece una historia con mucha cola -dijo Alicia contemplando con asombro cuán larga era esa ex-tremidad del Ratón-, pero ¿por qué llamarla triste? -y se puso a pensar sobre esto mientras el Ratón hablaba, tan ensimismada con su cola que la historia que contaba le pareció algo así: 注 10

《「副詞」「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」,

《pero 「副詞句」「動詞句」「補語」》, y 「動詞句」「間接目的語」「副詞節」

-Ciertamente シェルメンテ adv. 確かに 「副詞」
parece パレ 3 単現(parecer)v.i ~のように見える 「動詞」
una historia ウナ・イストリア n.f 話 「補語」
con mucha cola コン・ムチャ・コーラ adv. 長いしっぽのついた 「副詞句」
-dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
contemplando コンテンプレント 現在分詞・同時(contemplar)
adv. じっと見つめながら 「副詞句」
con asombro コン・アソンプロ adv. 驚いて 「副詞句」
cuán larga クワン・ラルガ adj.f なんと長いのか 「補語」
era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ~である 「動詞」
esa ex-tremidad del Ratón-, エサ・エクス・トレミダド・デル・ラトン
n.f ネズミのしっぽの先端が 「主語」
pero ペロ conj. しかし
¿por qué ホル・ケ conj. なぜ 「副詞句」
llamarla ジャマル・ラ 不定詞 v.t それを～と言う 「動詞句」
la は historia の代用
triste? トリステ adj. 悲しい 「補語」
-y イ conj. そして
se puso a pensar セ・プソ・ア・ペンサル 3 単点・従事(ponerse a+不定詞)
v.pr 考えに浸っていた 「動詞句」
sobre esto ソブレ・エスト adv. そのことに 「間接目的語」
mientras ミエントレス conj. ~する間 「副詞節」
el Ratón エル・ラトン n.m ネズミが 「主語」
hablaba, アブラバ 3 単線(hablar)v.i 話していた 「動詞」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

tan ensimismada	タン・エンシスマダ	過去分詞・様態(ensimismar)	
adv.	あまりにも没頭して		「副詞句」
con su cola	コン・ス・コーラ	adv.	しっぽに
			「間接目的語」
que	ケ	conj. (tan...que) (結果)	それで～する
			「副詞節」
la historia	ラ・イストリア	n.f	話は
			「主語」
que	ケ	pron (目的語)	～する
			「形容詞節」
contaba	コンタバ	3 単線(contar)v.t	(ネズミが) 話していた 「動詞」
le	レ	pron	アリスには
			「間接目的語」
pareció	パレシオ	3 単点(parecer)v.i	～に思われた
			「動詞」
algo así	アルゴ・アシ	adv.	このように
			「補語」 注 10

ネズミの話が、長くてくねくね折れ曲がったネズミの尻尾のように聞こえたことを示すために文章をくねくねして、先細りになっている図で表している。

3 Una carrera en comité y una historia con cola

Una FURIA dijo
 a un ratón al que
 en casa se encon-
 tró: «Juntos ire-
 mos ante la LEY:
 ¡Yo acusaré! ¡Tú
 te defenderás!
 ¡Vamos! ¡No
 aceptaré más
 dilación! ¡Un
 proceso hemos
 de tener, pues,
 en verdad, no
 he tenido
 esta mañana
 otra cosa que
 hacer!». Dijo
 el ratón a la
 energúmena.
 «Tal pleito,
 respetable
 dama, sin
 jurado ni
 juez, no
 serviría
 más que
 para des-
 gañitarnos
 inútil-
 mente.»
 «Yo se-
 ré el
 juez, y
 el jura-
 do», re-
 plicó,
 taima-
 da, la
 vieja
 furia.
 «¡Se-
 ré yo
 quien
 diga
 todo
 cuan-
 to di-
 ga y
 YO
 qui-
 en a
 muer-
 te te
 con-
 de-
 ne.»

3 Una carrera en comité y una historia con cola

家の中で見つけた 1 匹のネズミに、犬が言った：

Una FURIA dijo a un ratón al que en casa se encontró: 「主語」「動詞」「間接目的語」

Una FURIA ウナ・フリャ n.f 激怒が（犬を指している） 「主語」

dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

a un ratón ア・ウン・ラトン adv. 1 匹のネズミに 「間接目的語」

al que アル・ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

en casa エン・カサ adv. 家の中で 「副詞句」

se encontró: セ・エンコントロ 3 単点(encontrarse)

v.pr 出会った 「動詞句」

注意：FURIA

アリスがネズミに犬や猫の事を話そうとすると、ネズミが激怒するので、犬の代用として FURIA（意味は激怒）という単語を使っていると思われる。

「一緒に裁判所に行こう：俺は告訴する。お前は自分で弁護しろ！」

«Juntos iremos ante la LEY: ¡Yo acusaré! ¡Tú te defenderás!»

《「副詞」「動詞」「間接目的語」 | 「主語」「動詞」 | 「主語」「動詞句」》

«Juntos フントス adv. 一緒に 「副詞」

iremos イレモス 1 複未・勧誘(ir)v.i ～に行こう 「動詞」

ante la LEY: アンテ・ラ・レイ adv. 法律の前に、裁判所に 「間接目的語」

この辺りが、5 番目の曲がり角

¡Yo ジョ pron 俺は 「主語」

acusaré! アクサレ 1 単未(acusar)v.t 告訴する 「動詞」

¡Tú トゥ pron お前は 「主語」

te defenderás! テ・デフェンデラス 2 単未(defenderse)v.pr 自己弁護する 「動詞句」

「さあやろう！これ以上遅れることは許さない！裁判をするしかない。今朝は本当に何もすることがないんだから」

¡Vamos! ¡No aceptaré más dilación! ¡Un proceso hemos de tener, pues, en verdad, no he tenido esta mañana otra cosa que hacer!.

《「勧誘」 | 「動詞句」「目的語」 | 「目的語」「動詞句」「副詞節」》

¡Vamos! バモス 1 複現・勧誘(ir)v.i さあやろう！ 「勧誘」

¡No aceptaré ノ・アセプタレ 1 単未・否定・意思(aceptar)v.t 受け入れない 「動詞句」

más dilación! マス・ディラシオン n.f さらに遅れることは 「目的語」

¡Un proceso ウン・プロセソ n.m 裁判を 「目的語」

hemos de tener, エモス・デ・テネル 1 複現・必要(haber de+不定詞)

v.t(動作名詞を) 実行しなければならない 「動詞句」

注意：FURIA

3 Una carrera en comité y una historia con cola

pues, プエス conj. ～なので 「副詞節」
 en verdad, エン・ベルダ adv. 本当に 「副詞句」
 no he tenido ノ・エ・テニド 1 単現・完了形・否定(tener)v.t. ～がなかった 「動詞句」
 esta mañana エスタ・マニャナ adv. 今朝は 「副詞句」
 otra cosa que hacer!», オトラ・コサ・ケ・アセル n.f. することが何も～ない 「目的語」
 しなければならない : 必要

tener que+不定詞 周囲の状況による義務・必要性

(～しなければならない、～する必要がある、～するに違いない)

Tengo que levantarme temprano mañana por la mañana.

私は明日の朝は早起きしなければならない。

No tienes que venir a trabajar mañana. 君は明日は仕事に来なくていい。

Tiene que estar loco para ir allí. あそこへ行くなんて彼はどうかしているのに違いない。

haber de+不定詞 必要(tener que)、近接未来(～することになっている)

Todos hemos de morir. 私たちはみんな死なねばならない。

Este chico ha de hacer grandes cosas. この子は(将来)大きなことをするはずだ。

hay que+不定詞 一般的な必要性

Hay que trabajar para comer. (人は)食べるために働かなくてはならない。

Hay que estar loco para descubrir nuestro secreto.

私たちの秘密をばらすなんて頭がどうかしているに決まっている。

deber+不定詞 義務感(～しなければならない)、(否定文では)禁止(してはならない)
 推定(～するに違いない、～するはずだ)

Los ciudadanos deben obedecer las leyes. 市民は法律を守らなくてはならない。

Debiste hacerlo. 君はそうすべきだった。

El tren debe llegar alrededor de las diez. 列車は10時ごろ着くはずだ。

No contestan; no deben de oírnos. 彼らは答えない。話が聞こえないに違いない。

No debía de ser así. そんなはずではなかった。

ネズミはわめき散らす犬に言った。

Dijo el ratón a la energúmena. 「動詞」「主語」「間接目的語」

Dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t. 言った 「動詞」

el ratón エル・ラトン n.m. ネズミは 「主語」

a la energúmena. ア・ラ・エネグーメナ adv. わめき散らす奴(犬)に 「間接目的語」

FURIA に性を合わせている

3 Una carrera en comité y una historia con cola

「ねえ、お前さん、こんな陪審員もいない、裁判官もいない裁判なんて、無駄に大声で叫んだとしても何の役にも立たないだろう」

«Tal pleito, respetable dama, sin jurado ni juez, no serviría más que para desgañitarnos inútilmente.»

《「主語」「呼びかけ」「動詞句」「副詞句」》

«Tal pleito, タル・プレイト n.m. こんな裁判は 「主語」

tal タル adj. そのような pleito プレイト n.m. 訴訟、けんか

respetable レスペタブレ adj. 尊敬すべき 「形容詞」

dama, ダマ n.f. 婦人 「呼びかけ」

sin jurado シン・フラト adv. 陪審員なしで 「副詞句」

ni juez, ニ・フエス adv. 裁判官もなしで 「副詞句」

no serviría ノ・セルビラ 3 単未・否定(servir)v.i. 役に立たないだろう 「動詞句」

más que + 不定詞 adv. (譲歩) ～したとしても 「副詞句」

para desgañitarnos パラ・デスカニタルノス 不定詞(desgañitarse)

v.pr. 声を限りに叫ぶ 「動詞句」

inútilmente.》 イニチルメンテ adv. 無駄に 「副詞」

「俺が裁判官にも、陪審員にもなってやる」と、ずる賢く、老犬が言い返した。

«Yo seré el juez, y el jurado», replicó, taimada, la vieja furia.

《「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞」「副詞」「主語」

«Yo ヨ pron 俺が 「主語」

seré セレ 1 単未(ser)v.i. ～になってやる 「動詞」

el juez, エル・フエス n.m. 裁判官に 「補語」

y イ conj. そして

el jurado», エル・フラト n.m. 陪審員に 「補語」

replicó, レプリコ 3 単点(replicar)v.t. 言い返した 「動詞」

taimada, タイマダ adj.f, adv. ずる賢く 「副詞」

la vieja furia. ラ・ビエハ・フリャ n.f. 老犬が 「主語」

「俺が言うべきことはすべて言って、お前に死刑を宣告してやる」

«i Seré yo quien diga todo cuanto diga y Yo quien a muerte te condene.»

《「動詞」「主語」「補語」 y 「主語」「補語」》

«i Seré セレ 1 単未(ser)v.i. ～になってやる 「動詞」

yo ヨ pron 俺が 「主語」

quien キエン pron ～する人 「補語」

diga ディカ 接・3 単現(decir)v.t. 言う 「動詞」

todo cuanto + 接続法 トト・クワント pron ～するものをすべて 「目的語」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

diga ディガ 接・3 単現(decir)v.t 言う	「動詞」
y イ conj. そして	
Yo ヨ pron 俺が	「主語」
quien キエン pron ～する人	「補語」
a muerte ア・ムエルテ adv. 死刑を	「間接目的語」
te テ pron お前を	「直接目的語」
condene. » コンデネ 接・3 単現(condenar)	
v.t(+a 刑を) ～に宣告する、有罪判決を下す	「動詞」

「注意深く聞いていないな！」と、ネズミは厳しい口調でアリスに言った。

-¡ <u>No estás atendiendo!</u> -le <u>dijo el Ratón a Alicia severamente</u> -. 《「叱責」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」「間接目的語」「副詞」	
-¡No estás atendiendo! ノ・エスタス・アテンデ・イェント 2 単現・進行形・否定(estar+現在分詞 atender)	
v.i 注意深く聞いていないな!	「叱責」
-le レ pron (Alicia の代用) 彼女に	「間接目的語」
dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
el Ratón エル・ラトン n.m ネズミは	「主語」
a Alicia ア・アリシア pron アリスに	「間接目的語」
severamente-. セベラメンテ adv. 厳しく	「副詞」

「何を考えているんだ？」

¿ <u>En qué estás pensando?</u> 《「間接目的語」「動詞句」》	
¿En qué エン・ケ adv. 何について、何のことを	「間接目的語」
estás pensando? エスタス・ペンサント 2 単現・進行形(estar+現在分詞 pensar)	
v.i(en について) 考えている	「動詞句」

「ごめんなさい」と、アリスはとても謙虚に言った。「たしか、もう 5 番目の曲がり角あたりまで来ていましたよね？」

-Te <u>ruego que me perdones</u> - <u>dijo Alicia muy humildemente</u> -. <u>Si no me equivoco, ibas ya por la quinta revuelta</u> . 《「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 《「副詞節」, 「動詞」「副詞句」》	
-Te テ pron あなたに	「間接目的語」
ruego ルエゴ 1 単現(rogar)v.t 頼む、お願いする	「動詞」
que ケ conj. ～ということ	「直接目的語」
me メ pron わたしを	「目的語」
perdones ペルネス 接・2 単現・依頼(perdonar)v.t 許す	「動詞」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

-dijo	ディヨ 3 単点(decir)v.t	言った	「動詞」
Alicia	アリシア n.f	アリスは	「主語」
muy humildemente-	ムイ・ウミルデメンテ adv.	とても謙虚に	「副詞句」
Si	シ conj.	もし～ならば	「副詞節」
no me equivoco,	ノ・メ・エキボコ 1 単現・否定(equivocarse)		
v.pr	私に間違いがない		「動詞句」
ibas	ibas 2 単現(ir)v.i	来ている、進んでいる	「動詞」
ya	ヤ adv.	もう	「副詞」
por la quinta revuelta.	ポル・ラ・キンタ・レブエルタ adv.	5 番目の方向転換あたりに	「副詞句」
quinta	キンタ adj.f(quinto) 5 番目の	revuelta	レブエルタ n.f 方向変換、変換点

「そんなことは言っていない！」と、ネズミがすごくイライラした様子で激しく叫んだ。

-¡De ninguna manera!	-chilló	rabiosamente	el Ratón	muy irritado.	
	《「応答」》	「動詞」	「副詞」	「主語」	「副詞句」
-¡De ninguna manera!	デ・ニンガナ・マネラ adv.	決して～ない			「応答」
-chilló	チジョ 3 単点(chillar)v.i	甲高く叫んだ			「動詞」
rabiosamente	ラビオサメンテ adv.	激怒して、激しく			「副詞」
el Ratón	エル・ラトン n.m	ネズミは			「主語」
muy irritado.	ムイ・イラト 過去分詞・様態 adv.	すごくイライラして			「副詞句」

「ああ！それじゃあ、私があなたのお役に立つと思うわ。あなたがそれを解くのを手伝わせて頂戴！」と、アリスは役に立とうと思ってどきどきしながら叫んだ。

-¡Ah!	Entonces	será que	te has hecho	un nudo.	¡Déjame ayudarte a deshacerlo!	-exclamó
Alicia,	procurando	ansiosamente	hacerse	útil.		
	《「感嘆」	「副詞」	「動詞句」	「目的語」	「主語」	「動詞句」
	「動詞」	「主語」	「副詞句」			
-¡Ah!	ア int.	ああ				「感嘆」
Entonces	エントンセス adv.	それでは				「副詞」
será que +直説法	3 単未・理由の説明・言い訳 conj.	～ということになるだろう				
te has hecho	テ・アス・エチ 2 単現・完了形(hacerse)v.pr	～してもらった				「動詞句」
un nudo.	ウン・ヌト n.m	結び目、きずな				「目的語」
¡Déjame ayudarte	デ・ハ・メ・アジ ユダール・テ 命・2 単現・使役(dejar+人+不定詞 ayudar+te)					
v.t(a+不定詞)	私にあなたが～するのを手伝わせてちょうだい					「動詞句」
dejar me+不定詞	「私に～させなさい、～させてちょうだい」	不定詞は me の動作				
a deshacerlo!	ア・デ・シャセル・ロ 不定詞(deshacer+lo)v.t	それを解くのを				「間接目的語」
ayudar te a deshacerlo	「あなたがそれを解くのを手伝う」					

3 Una carrera en comité y una historia con cola

-exclamó エクスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ	「動詞」
Alicia, アリシア n.f アリスは	「主語」
procurando プロクラント 現在分詞・同時(procurar)v.t(+不定詞)	
adv. ーしようと努めながら	「副詞句」
ansiosamente アンシオサメンテ adv. やきもきしながら	「副詞」
hacerse アセルセ 不定詞 v.pr ーになる	「動詞句」
útil. ウチル adj. 役立つ	「補語」

「そんなことはしないでよい！」と、ネズミは立ち上がり、向こうへ歩きながら叫んだ。「俺を馬鹿にするとは、なんと愚かな！」

-¡No harás tal cosa! -exclamó el Ratón poniéndose en pie y abandonando a todos-. ¡Tanta necedad me insulta!

《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 《「補語」「主語」》

-¡No harás ノ・アラス 2 単未・否定・禁止(hacer)v.t しないだろう、しないでよい	「動詞句」
tal cosa! タル・コサ n.f そんなことを	「目的語」
-exclamó エクスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ	「動詞」
el Ratón エル・ラトン n.m ネズミが	「主語」
poniéndose en pie ポニエンドセ・エン・ピエ 現在分詞(ponerse en pie)adv. 立ち上がって	「副詞句」
y イ conj. そして	
abandonando a todos-. アバントナント・ア・トドス adv. すべてを投げ出して	
英語版に合わせるために、次のように変更する	
andando al otro lado 現在分詞(andar) 向こうに歩きながら	「副詞句」
¡Tanta necedad タンタ・セダ n.f なんていう愚かさだ	「補語」
me メ pron 俺をーすることは	「主語」
insulta! インスルタ 3 単現(insultar)v.t 馬鹿にする	「動詞」

英語版では :

'I shall do nothing of the sort,' said the Mouse, getting up and **walking away**. 'You insult me by talking such nonsense!'

「おれはそんなことはしない！」と、立ち上がり、向こうに歩きながらネズミが言った。「ふざけたことを言って、俺をばかにしやがって！」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

「そんなつもりじゃなかったんです！」と、可哀そうなアリスは謝った。「でも、あなたがすぐに腹を立てるから...」

-¡Ha sido sin querer! se disculpó la pobre Alicia-, Pero es que te ofendes con tanta facilidad... 《「動詞句」「補語」》, 「動詞句」「主語」, 《Pero es que 「動詞句」「副詞句」》
 -¡Ha sido ア・シト° 3 単現・完了形(ser)v.i 〜だった 「動詞句」
 sin querer! シン・ケール adv. 思わず、無意識に 「補語」
 -se disculpó セ・ディスクルポ° 3 単点(disculparse)v.pr 謝った 「動詞句」
 la pobre Alicia-, ラ・ポブレ・アリシア n.f 可哀そうなアリスは 「主語」
 Pero ペロ conj. しかし
 es que エス・ケ conj. (理由) 〜だから
 te ofendes テ・オフエンデス 2 単現(ofenderse)v.pr 腹を立てる 「動詞句」
 con tanta facilidad... コン・タンタ・ファシリダ° adv. すぐに 「副詞句」

ネズミは、遠ざかりながら、唸り声で答えただけでした。

El Ratón sólo se dignó responder con un gruñido mientras continuaba alejándose.

「主語」「副詞」「動詞句」「副詞句」

El Ratón エル・ラトン n.m ネズミは 「主語」
 sólo ソロ adv. ただ〜、〜だけ 「副詞」
 se dignó responder セ・ディグノ・レスポ・ンデール 3 単点・敬語(dignarse+不定詞)
 v.pr 答えてくださった 「動詞句」
 con un gruñido コン・ウン・グルニト° adv. (手段) 唸り声で 「副詞句」
 mientras ミエントラス conj. 〜している一方で 「副詞節」
 continuaba alejándose. コンチヌアバ・アレハント°セ 3 単線・継続(continuar+現在分詞 alejarse)
 v.pr 遠ざかり続ける 「動詞句」

「どうか戻ってちょうだい、そして話を最後まで聞かせて！」と、アリスは大声でネズミに叫びました。するとほかの皆は、彼女の声に合わせて言いました。

-¡Vuelve por favor, y termina tu historia! le gritó Alicia, y los demás se unieron a ella coreando: 《「呼びかけ」, y 「動詞」「目的語」》,

「間接目的語」「動詞」「主語」, y 「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞」

-¡Vuelve, por favor, フエルベ・ポル・ファボール 命・2 単現(volver)
 int. どうか戻ってください 「呼びかけ」
 y イ conj. そして
 termina テルミナ 命・2 複現(terminar)v.t 終えてください 「動詞」
 tu historia! トゥ・イストリア n.f あなたの話を 「目的語」
 -le レ pron 彼に 「間接目的語」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

gritó グリト 3 単点(gritar)v.t 大声で言った	「動詞」
Alicia, アリシア n.f アリスは	「主語」
y イ conj. そして	
los demás ロス・デマス pl.pron そのほかの人々は	「主語」
se unieron セ・ウニエロン 3 複点(unirse)v.pr(a に) 加わった、団結した	「動詞句」
a ella ア・エシヤ adv. 彼女に	「間接目的語」
coreando: コレアント 現在分詞・同時(corear)adv. 声を合わせて	「副詞」

「おーい、戻ってこい!」、しかしネズミは苛立った様子で頭を揺するだけで、逆に歩みを速めて遠ざかって行きました。

«¡Anda, vuelve acá!», pero el Ratón sólo sacudió la cabeza con impaciencia y apretó el paso.	《「呼びかけ」「動詞句」》,
pero	「主語」「副詞」「動詞」「目的語」「副詞句」 y 「動詞」「目的語」
«¡Anda, アンダ adv. (andar) おい、ねえ	「呼びかけ」
vuelve acá!», フエルベ・アカ 命・2 単現(volver)v.i ここに戻ってこい	「動詞句」
pero ペロ conj. しかし	
el Ratón エル・ラトン n.m ネズミは	「主語」
sólo ソロ adv. ただ～、～だけ	「副詞」
sacudió サクディオ 3 単点(sacudir)v.t 振った、揺すった	「動詞」
la cabeza ラ・カバサ n.f 頭を	「目的語」
con impaciencia コン・インパシエンシア adv. (様態) 苛立った様子で	「副詞句」
y イ conj. そして	
apretó アプレト 3 単点(apretar)v.t (歩みを) 速めた、強化した	「動詞」
el paso. エル・パソ n.m 歩みを	「目的語」

「行ってしまうなんて、なんと残念なことか!」と、ネズミの姿が視界から消えると、オウム (インコ) はため息をついた。

-¡Qué lástima que no se haya quedado! -suspiró el Loro cuando se hubo perdido de vista.	《「感嘆」》, 「動詞」「主語」「副詞節」
-¡Qué lástima ケ・ラストイマ int. なんと残念なことか	「感嘆」
que ケ conj. (同格) ～するとは	「形容詞節」
感情に関係する節は接続法を使用する	
no se haya quedado! ノ・セ・アヤ・ケダト 接・3 単現・完了形・否定(quedarse)	
v.pr (場所に) とどまらなかった	「動詞句」
-suspiró ススピロ 3 単点(suspirar)v.i ため息をついた	「動詞」
el Loro エル・ロロ n.m オウム (インコ) は	「主語」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

cuando クワンﾄ conj. ～したとき 「副詞節」

se hubo perdido セ・ウボ・ペルディト 3 単点・完了形(perderse)

v.pr 見えなくなった、消えた 「動詞句」

de vista. デ・ビスタ adv. 視界から 「副詞句」

すると、年老いた雌ガニがここぞとばかりに、娘に説教を始めた：

Y una vieja cangreja aprovechó la ocasión para decirle a su hija:

Y 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Y イ conj. そして、すると

una vieja cangreja ウナ・ビエハ・カングレハ n.f 年老いた雌ガニが 「主語」

aprovechó アプ ロベチョ 3 単点(aprovechar)v.t (有効に) 利用した 「動詞」

la ocasión ラ・カシオン n.f 好機を 「目的語」

para decirle パラ・デシル・レ adv. (目的) 言うために 「副詞句」

a su hija: ア・ス・イハ adv. 娘に 「間接目的語」

「ほら、いい子だね！お前は、すぐにいらいらしないのよ！」

-¡Ah, querida niña, que te sirva de lección para que no te dejes dominar nunca por tu mal genio! 《「注意喚起」「呼びかけ」, que 「間接目的語」「動詞」「副詞句」》

-¡Ah, アー int. ほら 「注意喚起」

querida niña, ケリダ・ニニャ adv. いい子ね！ 「呼びかけ」

que +接続法 conj. ～ということだ

te テ pron お前にとって 「間接目的語」

sirva シルバ 接・3 単現(servir)v.i(de として) 役に立つ 「動詞」

de lección デ・レクション adv. 教訓として 「副詞句」

para que no +接続法 パラ・ケ・ノ conj. ～しないために 「副詞節」

te dejes dominar nunca テ・デヘス・トミナル・ヌカ 接・2 単現・受動・否定(dejarse+不定詞他動詞)

v.pr(por に) 支配されない 「動詞句」

por tu mal genio! ホル・トウ・マル・ヘニオ adv. 怒りっぽい性格に 「副詞句」

「うるさいな！母さん！」と、若い雌ガニが不愉快そうに言い返した。

-¡A callar, madre! replicó bruscamente la joven nécora—.

《「応答」「呼びかけ」》, 「動詞」「副詞」「主語」

-¡A callar, ア・カジャール adv. 黙りなさい 「応答」

madre! マドレ n.f 母さん 「呼びかけ」

-replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.t 言い返した 「動詞」

bruscamente ブリュスカメンテ adv. ぶっきらぼうに 「副詞」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

la joven nécora— ラ・ホベン・ネコラ n.f 若い雌ガニが 「主語」

「辛抱強いカキだって、母さんには、堪忍袋の緒が切れるよ！」

¡ Eres capaz de hacerle perder la paciencia a una ostra! 《「動詞」「補語」》
 ¡ Eres エス 2 単現(ser)v.i ~である 「動詞」
 capaz カ°ス adj. (推量) (de+不定詞) ~できるかもしれない 「補語」
 de hacerle デ°アセル・レ 不定詞・使役 v.t (何かに) させる 「動詞句」
 perder ヘルテール 不定詞・le の動作 v.t 失う 「補語」
 la paciencia ラ・パ°シエンシア n. 忍耐、我慢 「目的語」
 a una ostra! ア°ウナ・オストラ adv. カキに 「間接目的語」

「ああ！今ダイナをここに連れて来られたら嬉しいんだけど」、とアリスは特に誰かに話しかける訳では無く大きな声で言った。

-¡Ya me gustaría tener a Dina aquí, ahora, con nosotros ! -dijo Alicia en voz alta sin dirigirse a nadie en particular-.
 《「間投」「間接目的語」「動詞」「主語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」
 -¡Ya ヤー adv. (間投詞的) ああ！ 「間投」
 me メ pron 私にとって 「間接目的語」
 gustaría ゲスタリア 3 単過未・願望(gustar)v.i 気に入る 「動詞」
 tener テネル 不定詞 n. 連れてくることは 「主語」
 a Dina ア°ディナ n. ダイナを 「目的語」
 aquí, アキ adv. ここに 「副詞」
 ahora, アオラ adv. 今 「副詞」
 con nosotros ! コン・ノトロス adv. 一緒に 「副詞句」
 -dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
 en voz alta エン・ボス°アルタ adv. 大きな声で 「副詞句」
 sin dirigirse シン°ディリヒルセ adv. (a+人 に) 話しかけずに 「副詞句」
 a nadie ア°ナディエ adv. 誰にも~ない 「間接目的語」
 en particular エン°ハ°ルティクラール adv. 特に 「副詞句」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

「あの子ならきっと、ネズミを連れ戻してくれるでしょうに!」「何だって?」

¡Ella sí que nos lo traería de vuelta! ¡Y cómo!

《「主語」「副詞句」「間接目的語」「直接目的語」「動詞」》《「問いかけ」》

¡Ella エジャ pron.f 彼女は 「主語」

sí que シケ adv. (強調の挿入句) 確かに、きっと、絶対に 「副詞句」

nos ノス pron 私たちに 「間接目的語」

lo ロ pron それを (ネズミを) 「直接目的語」

traería トリエア 3 単過未・推量(traer)v.t 連れてくるだろう 「動詞」

de vuelta! テ・ブエルト adv. 帰り道で 「副詞句」

→ traer de vuelta 「連れ帰る、連れ戻す」

¡Y cómo! イ・コモ adv. 何だって? 「問いかけ」

「それで、あえて質問が許されるのならば、そのダイナというのはどなたですか?」と、
オウムが言った。

-Y ¿quién es esa Dina?, si se me permite la pregunta -dijo el Loro.

《Y「補語」「動詞」「主語」,「副詞節」》,「動詞」「主語」

-Y イ conj. そして

¿quién キエン pron 誰? 「補語」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

esa Dina?, エサ・ディナ n.f そのダイナというのは 「主語」

si シ conj. もし~ならば 「副詞節」

se ...permite セ...ヘルテ 3 単現(permitirse)v.pr あえて許す 「動詞句」

me メ pron 私に 「間接目的語」

la pregunta ラ・プレグンタ n.f 質問を 「直接目的語」

-dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

el Loro. エル・ロロ n.m オウムは 「主語」

アリスは喜んでオウムに答えました。それというのも、彼女はいつでもペットのことを話したくて仕方がなかったからです:

Alicia le contestó con entusiasmo, pues siempre estaba dispuesta a hablar de su favorita:

「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」,「副詞節」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

le レ pron オウムに 「間接目的語」

contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.i(a に) 答えた 「動詞」

con entusiasmo, コン・エントウシアスモ adv. 喜んで 「副詞句」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

pues プェス conj. ～なので	「副詞節」
siempre シエンプレ adv. いつでも	「副詞」
estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i. ～だった	「動詞」
dispuesta デイスプレスタ adj.f(dispuesto)(a+不定詞 ～する) 用意のできた	「補語」
a hablar ア・アブラール 不定詞 v.i(de について) 話す	「動詞句」
de su favorita: デ・ス・ファボリタ adv. お気に入りについて	「間接目的語」
favorito ファボリト pron. お気に入り、ペット	

「ダイナは私たちのネコよ。ネズミ捕りのうまさといったら、想像も出来ないと思うわ！」

-Dina es nuestra gata. ¡No podéis imaginaros lo bien que caza ratones!

《「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞句」「目的語」》

-Dina デイナ n.f. ダイナは	「主語」
es エス 3 単現(ser)v.i. ～である	「動詞」
nuestra gata. ヌエストラ・ガタ n.f. 私たちのネコ	「補語」
¡No podéis imaginaros ノ・ポ・デイス・イマヒナル・オス 2 複現・可能・否定(poder+不定詞 imaginarse)	
v.pr. 想像できない	「動詞句」
lo bien ロ・ビエン n.m. うまさ、すばらしさ	「目的語」
que ケ pron (同格) ～する	「形容詞節」
caza カサ 3 単現(cazar)v.t. 捕まえる	「動詞」
ratones! ラトネス pl.n.m. ネズミを	「目的語」

「とてもすごいのよ！それに、小鳥に飛びつくところをぜひ見ていただきたいわ！」

¡Qué maravilla! ¡Y tendríais que verla saltando tras los pájaros!

《「感嘆」 | Y 「動詞句」「補語」》

¡Qué maravilla! ケ・マラビージャ int. なんと素晴らしいことか！	「感嘆」
¡Y イ conj. そして	
tendríais que verla テントリアイス・ケ・ベル・ラ 2 複過未・婉曲(tener que+不定詞 ver+la)	
v.t. ぜひ見ていただきたい	「動詞句」
あなたたちは見なければならない → ぜひ見ていただきたい	
saltando サルタント 現在分詞・la(ダイナ)の動作 v.i. 飛びつく	「補語」
tras los pájaros! トラス・ロス・パハロス adv. 鳥に向かって	「間接目的語」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

「まばたきする間に、食べてしまうんですよ！」

¡Se zampa a uno en un abrir y cerrar de ojos!

《「動詞句」「副詞句」》

¡Se zampa セ・サンパ 3 単現(zamparse)v.pr がつつと食べる 「動詞句」

a uno en ア・ウノ・エン prep (時間) ～一度の間に 「副詞句」

un abrir y cerrar de ojos! ウン・アブリール・イ・セラル・デ・オホス n.m 目の開閉 「目的語」

アリスの話聞いた周りの者たちは、特別な感情にとらわれました。

Esa declaración produjo una notable sensación en la concurrencia.

「主語」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」

Esa declaración エサ・デ・クラシオン n.f その宣言は 「主語」

produjo プロトウホ 3 単点(producir)v.t (結果を、en に) もたらした、生んだ 「動詞」

una notable sensación ウナ・ノタブレ・センサシオン n.f 特別な感情を 「直接目的語」

notable ノタブレ adj. 注目に値する、顕著な sensación センサシオン n.f 感覚、気分
en la concurrencia. エン・ラ・コンクレンシア adv. 出席者たちに 「間接目的語」

鳥たちの中には、大急ぎで立ち去っていくものもありました；カササギの婆さんは用心深く身なりを整え始めて、こう言っていました：

Algunos pájaros se marcharon precipitadamente; una vieja urraca empezó a arrojarse con mucho cuidado mientras decía:

「主語」「動詞句」「副詞」；「主語」「動詞句」「副詞句」

Algunos pájaros アルグノス・パハロス pl.n.m いくらかの鳥たちは 「主語」

se marcharon セ・マルチャロン 3 複点(marcharse)v.pr 去っていった 「動詞句」

precipitadamente; プレチピタメント adv. 大急ぎで、あわただしく 「副詞」

una vieja urraca ウナ・ビエハ・ウラカ n.f カササギの婆さんは 「主語」

empezó a arrojarse エンペソ・ア・アロハルセ 3 単点・開始(empezar a+不定詞)

v.pr(con に) くるまり始めた 「動詞句」

con mucho cuidado コン・ムチョ・クイダド adv. 注意深く、慎重に 「副詞句」

mientras ミエントラス conj. (同時) ～しながら、～している間 「副詞節」

decía: デシア 3 単線(decir)v.t 言った 「動詞」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

「もう家に帰らなくちゃあ；夜風が喉に悪いから」、そしてカナリヤは震える声で話しながら、子供たちを集め始めた。

«No tengo más remedio que irme a casa; el sereno de la noche no le sienta bien a mi garganta», y un canario se puso a recoger a su prole, diciéndoles con temblorosa voz:

《「動詞句」「目的語」；「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「補語」「間接目的語」》，
y 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

«No tengo ノ・テコゝ 1 単現・否定(tener)v.t. ～がない 「動詞句」

más remedio que +不定詞 マス・レメディオ・ケ n.m. ～するより他に方法が 「目的語」

irme イル・メ 不定詞(irse)v.pr(a に) 行ってしまう、戻る 「動詞句」

a casa; ア・カーサ adv. 家に 「間接目的語」

el sereno de la noche エル・セレノ・デ・ラ・ノチェ n.m. 夜露が 「主語」

英語原文では the night-air (夜風) なので → el viento de la noche

no ...sienta ノ...シエンタ 3 単現・否定(sentar)v.i (体に) 良くない 「動詞句」

le レ pron (garganta の代用) それにとって 「間接目的語」

bien ビエン adj. 良い 「補語」

a mi garganta», ア・ミ・ガールガンタ adv. 私の喉に 「間接目的語」

y イ conj. そして

un canario ウン・カリオ n.m. カナリヤは 「主語」

se puso a recoger セ・プソ・ア・レコヘル 3 単点・開始(ponerse a+不定詞 recoger)

v.pr 集め始めた 「動詞句」

a su prole, ア・ス・プロレ pl.n.m. 子供たちを 「目的語」

diciéndoles デ・イエント・レス 現在分詞・同時(decir+les)v.t 彼らに言いながら 「副詞句」

con temblorosa voz: コン・テンブ・ロサ・ボス adv. 震える声で 「副詞句」

temblorosa テンブ・ロサ adj.f(tembloroso) 震える voz ボス n.f 声

「さあ、いらっしやい！みんな、もう家で寝ている時間よ！」

«¡Vamos, queriditos! ¡Ya es hora de estar acostados todos en casita!».

《「動詞句」 | 「副詞」「動詞」「補語」》

«¡Vamos, queriditos! バモス・ケリデイトス 命・2 複現(ir+ queriditos)

v.i さあ、いらっしやい 「動詞句」

queriditos = querido ケリトゝ n.m (親愛の呼びかけ) + -itos (示小接尾辞・複数形)

¡Ya ヤー adv. もう 「副詞」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

hora オラ n.f 時間 「補語」

de estar デ・エスタル adj. (同格) ～でいるという 「形容詞句」

acostados アコストゝス adj.pl 寝入った 「補語」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

todos トス pron みんな 「主語」
 en casita!». エン・カシータ adv. 家で 「副詞句」
 casita カシタ = casa 家 + -ita (示小接尾辞)

様々の言い訳をして、皆が少しずつ立ち去っていき、やがてアリスが一人だけ残った。

Y así, con diversos pretextos, todos fueron yéndose, y Alicia se quedó pronto bien sola.

Y 「副詞句」, 「主語」「動詞句」, y 「主語」「動詞句」「副詞」「補語」

Y イ conj. そして

así, アシ adv. このようにして 「副詞」

con diversos pretextos, コン・デ・イベルス・プレキストス adv. 様々の言い訳をして 「副詞句」

diversos デ・イベルス adj.pl(diverso) 様々の pretexto プレキスト n.m 言い訳、口実

todos トス pron.pl 皆は 「主語」

fueron yéndose, フェロン・イエントセ 3 複点・進行状況(ir+現在分詞 irse)

v.pr 少しずつ立ち去って行った 「動詞句」

y イ conj. そして

Alicia アリシア n.f イスは 「主語」

se quedó セ・ケド 3 単点(quedarse)v.pr (～の状態に) なった 「動詞句」

pronto プロント adv. まもなく 「副詞」

bien sola. ビエン・ソラ adj. まったく一人の 「補語」

現在分詞の使われ方 :

ir+現在分詞 は、「(だんだん) …していく、…しつつある」という、変化の様子を表す。

estar+現在分詞 は、その時点で進行中の動作を表す。

venir+現在分詞 は、「…してきている」という変化の開始を示す。

seguir+現在分詞 は、「…し続ける」という動作の継続を表す。

「ダイナのことを、言わなけりや良かったわ！」と、憂鬱そうに心の中で思った。

«¡Ojalá no hubiese mencionado a Dina! se dijo, melancólica».

《Ojalá 「動詞句」「目的語」》, 「動詞句」「副詞」

«¡Ojalá +接続法過去 わら int. ～なら良かったのだが

no hubiese mencionado ノ・ウビエ・メンシオナド 接・1 単過・完了形・否定(mencionar)

v.t ～を言わなかった 「動詞句」

a Dina! ア・デ・イナ n.f ダイナのことを 「目的語」

-se dijo, セ・デ・イ 3 単点(decirse)v.pr 心の中で思った 「動詞句」

melancólica-. メランコリカ adv. 憂鬱そうに 「副詞」

現在分詞の使われ方 :

3 Una carrera en comité y una historia con cola

「ここでは、だれもダイナが好きじゃあないんだ！」

¡Aquí abajo no le gusta a nadie!》《「副詞句」「動詞句」「間接目的語」》

¡Aquí abajo アキ・アハホ adv. ここでは、この辺りでは 「副詞句」

no ...gusta ノ...グスタ 3 単現・否定(gustar)v.i 気に入らない 「動詞句」

le レ pron (a nadie の先出し)

a nadie! ア・ナディエ pron 誰にとっても～ない 「間接目的語」

主語は、Dina 「ダイナは誰も気に入らない、誰もダイナを好きにならない」

「それでも、私は世界で最高のネコだと確信している」

¡Y, sin embargo, estoy segura de que es la mejor gata del mundo!

《Y, 「副詞句」「動詞」「補語」》

¡Y, イ conj. そして

sin embargo, シン・エンバルゴ adv. それでも 「副詞句」

estoy エストイ 1 単現(estar)v.i ～である 「動詞」

segura セグラ adj.(seguro).f(de を) 確信した 「補語」

de que デ・ケ adv. ～ということ を 「副詞節」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

la mejor gata ラ・メル・ガタ n.f 最高のネコ 「補語」

del mundo! デル・ムント adj. 世界で 「形容詞句」

「ああ、かわいいダイナ！またあなたに会えるかどうか分からないわ！」

¡Ay, Dina, cariño mío! ¡Quién sabe si te volveré a ver!!》

《「感嘆」 | 「主語」「動詞」「目的語」》

¡Ay, Dina, アイ・ディナ int. ああ、ダイナ 「感嘆」

cariño mío! カリニョ・ミオ n.m 私のかわいい子 「感嘆」

¡Quién キエン pron 誰が 「主語」

sabe サベ 3 単現(saber)v.t 知っている 「動詞」

si シ conj. ～かどうかを 「目的語」

te テ pron あなたに 「目的語」

volveré a ver!》ボルベレ・ア・ベール 1 単未・再度(volver a+不定詞)

v.t また会えるだろう 「動詞句」

→ (反語)「誰が～を知っているのか」→「誰も～を知らない」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

そしてここで、アリスはまた泣き始めました。とても寂しくて落ち込んでいたからです。

Y con esto Alicia se puso a llorar de nuevo, pues se sentía muy sola y deprimida;

Y 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」, 「副詞節」

Y イ conj. そして

con esto コン・エスト adv. ここで

「副詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは

「主語」

se puso a llorar セ・プソ・ア・ジョラル 3 単点・開始(ponerse a+不定詞)

v.i 泣き始めた

「動詞句」

de nuevo, デ・ヌエボ adv. また、再び

「副詞句」

pues プエス conj. ～なので

「副詞節」

se sentía セ・センチア 3 単線(sentirse)v.pr 自分が～だと感じた

「動詞句」

muy sola マイ・ソラ adj.(solo).f とても寂しい

「補語」

y イ conj. そして

deprimida; デ・プレミダ adj.(deprimid).f 落ち込んだ

「補語」

それでも少しすると、遠くのほうで、また小さな足音が聞こえたので、もしかするとあのネズミが考えを変えて、話を最後までするために戻ってくるのではないかと考えて、期待を込めて視線を上げました。

pero al poco volvió a oír un rumor de pasos menudos a lo lejos y levantó la vista muy esperanzada, pensando que a lo mejor el Ratón había cambiado de opinión y volvía para terminar su historia.

pero 「副詞句」 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」 y 「動詞」 「目的語」 「副詞句」

pero ペロ conj. しかし

al poco アル・ポコ adv. ほんの少したってから、すぐ後で

「副詞句」

volvió a oír ボルビ・オ・ア・オイル 3 単点・再度(volver a+不定詞)v.t また聞こえた

「動詞句」

un rumor ウン・ルモール n.m 音が

「目的語」

de pasos デ・パソス adj. 歩みの

「形容詞句」

menudos メストス adj.m.pl(menudo) 小さな

「形容詞」

a lo lejos ア・ロ・レホス adv. (地点) 遠くで

「副詞句」

y イ conj. そして

levantó レバント 3 単点(levantar)v.t 上げた

「動詞」

la vista ラ・ビスタ n.f 視線を

「目的語」

muy esperanzada, マイ・エスペランサダ 過去分詞(esperanzarse)adv. 非常に期待して

「副詞句」

pensando ペンサント 現在分詞・理由 v.t ～と考えて

「副詞句」

que ケ conj. ～ということ

「目的語」

a lo mejor ア・ロ・メホル adv. もしかしたら

「副詞句」

3 Una carrera en comité y una historia con cola

el Ratón	エル・ラトン	n.m	あのネズミが	「主語」
había cambiado	アビア・カンビアド	3 単線・完了形(cambiar)		
	v.i(de+無冠詞名詞	を)	変えた	「動詞句」
de opinión	デ・オピニオン	adv.	見解を、考えを	「間接目的語」
y	イ	conj.	そして	
volvía	ホルビア	3 単線・時制の一致(volver)	v.i 戻ってくる	「動詞」
para terminar	パラ・テルミナル	adv.	(目的) 終わらせるために	「副詞句」
su historia.	ス・イストリア	n.f	話を	「目的語」

4 El Conejo envía un Pepito

4 El Conejo envía un Pepito

ウサギがチビ助を送り込む

El Conejo エル・コネホ n.m ウサギが 「主語」
 envía エンビエ 3 単現(enviar)v.t 送る、派遣する 「動詞」
 un Pepito ウン・ペピート n.m (男性名) ペピート (Pepe の愛称)、チビ助 「目的語」
 4 章を読み進めると、チビ助がトカゲのビルのことだと分かる

それはまたあの白うさぎでした。少しずつピョンピョン飛びながら、まるで何かを探しているように心配しながら辺りを見回しながら戻ってきました。

Era otra vez el Conejo Blanco, que volvía saltando poco a poco y mirando ansiosamente a uno y otro lado como si estuviera buscando algo. 「動詞」「補語」, 「形容詞節」

Era エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった 「動詞」
 otra vez オトラ・ベス adv. また 「副詞句」
 el Conejo Blanco, エル・コネホ・ブランコ n.m 白うさぎ 「補語」
 que ケ conj. 〜するのは 「主語」
 volvía ホルビエ 3 単線(volver)v.i 戻ってきた 「動詞」
 saltando サルタンド 現在分詞・同時(saltar)v.i 飛びながら 「副詞句」
 poco a poco ポコ・ア・ポコ adv. 少しずつ 「副詞句」
 y イ conj. そして
 mirando ミラント 現在分詞・同時(mirar)v.i 見ながら 「副詞句」
 ansiosamente アンシオサメンテ adv. やきもきしながら、心配しながら 「副詞」
 a uno y otro lado ア・ウノ・イ・オトロ・ラド adv. 両側を、あたりを 「副詞句」
 como si +接続法 コモ・シ conj. まるで〜であるかのように 「副詞節」
 estuviera buscando エストゥビエラ・ブスカント 接・3 単過・進行形・時制の一致(buscar)
 v.t 探している 「動詞句」
 algo. アルゴ pron 何かを 「目的語」

アリスは白ウサギがつぶやいているのが聞こえました：

Alicia oyó que mascullaba para sus adentros: 「主語」「動詞」「目的語」
 Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
 oyó オイ 3 単点(oír)v.t 聞こえた 「動詞」
 que ケ conj. 〜ということを 「目的語」
 mascullaba マスクジャバ 3 単線(mascullar)v.t つぶやいていた 「動詞」
 para sus adentros: パラ・ス・アデントロス adv. 内心で 「副詞句」

4 El Conejo envía un Pepito

「ああ！公爵夫人が！公爵夫人が！私の可愛い子ガモの命のために！」

«¡Ay, la Duquesa! ¡La Duquesa! ¡Por vida de mis queridas patitas!

《「感嘆」, 「主語」 | 「副詞句」》

¡Ay, アイ int. ああ

「感嘆」

la Duquesa! ラ・ドゥケサ n.f 公爵夫人が

「主語」

¡La Duquesa! ラ・ドゥケサ n.f 公爵夫人が

「主語」

¡Por vida ポル・ビダ adv. 命のために

「副詞句」

de mis queridas patitas! テ・ミス・ケリダス・パチタス

adj. 私の可愛い子ガモの

「形容詞句」

「ああ！私の毛皮の、私のひげの...」

¡Ay, de mi piel y de mis bigotes!

《「感嘆」, 「形容詞句」 y 「形容詞句」》

¡Ay, アイ int. ああ

「感嘆」

de mi piel テ・ミ・ピエル adj. 私の毛皮の

「形容詞句」

y イ conj. そして

de mis bigotes! テ・ミス・ビゴテス adj. 私のひげの

「形容詞句」

「コオロギはコオロギだという真理と同じくらい確実に、僕は処刑されるだろうな。」

¡Estoy tan seguro de que me mandará ejecutar como de que los grillos son grillos!

《「動詞」「補語」》

¡Estoy エストイ 1 単現(estar)v.i ~である

「動詞」

tan seguro タン・セグロ adj.(tan...como ~と同じくらい) 確信した

「補語」

de que テ・ケ adj. (同格) ~であると

「形容詞節」

me メ pron 僕を

「目的語」

mandará ejecutar マンダラ・エヘタール 3 単未・命ずる(mandar+不定詞)

v.t 処刑するように命じるだろう

「動詞句」

主語は公爵夫人

como de que コモ・デ・ケ adv. ~ということと同様に

「副詞句」

los grillos son grillos! ロス・グリジョス・ソン・グリジョス

n. コオロギはコオロギである

「目的語」

4 El Conejo envía un Pepito

「一体どこであれを落としてしまったんだろう？どこだ？どこだ？」

¿Dónde diablos puedo haberlos dejado caer? ¿Dónde, dónde?».

《「副詞句」「動詞句」 | 「間投」》

¿Dónde diablos トンテ・デアブロス adv. 一体どこで

「副詞句」

¿疑問詞+～s? 怒り「一体～?」、賞賛「何と～！」

puedo haberlos dejado プエト・アベル・ロス・デハト 1 単現・可能性(poder+不定詞・完了形・使役)

v.t それらを～させてしまった

「動詞句」

caer? カエル 不定詞 v.i 落ちる

「動詞句」

¿Dónde, dónde?». トンテ・トンテ adv. どこだ？どこだ？

「間投」

アリスはすぐに、ウサギが探しているのは扇子と子ヤギのなめし皮の白い手袋に違いないと見当をつけました。

Alicia adivinó al instante que lo que estaba buscando eran el abanico y el par de guantes blancos de cabritilla.

「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

Alicia アリシア n.f アリスは

「主語」

adivinó アディビノ 3 単点(adivinar)v.t 見抜いた、推測した、見当をつけた

「動詞」

al instante アル・インスタnte adv. すぐに

「副詞句」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

lo ロ pron.pl それは

「主語」

que ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

estaba buscando エスタバ・ブスカント 3 単線・進行形(buscar)

v.t ウサギが探していた

「動詞句」

eran エラン 3 複線・時制の一致(estar)v.i ～である

「動詞」

el abanico エル・アバニコ n.m 扇子、うちわ

「補語」

y イ conj. そして

el par de guantes blancos エル・パル・デ・グワンテス・ブランコス n.m 白い手袋

「補語」

de cabritilla, デ・カブリティジャ adj. (材料) 子ヤギのなめし皮の

「形容詞句」

4 El Conejo envía un Pepito

それで、最高の親切心を持って、彼女もそこら中を探し始めましたが、結局、どこにも見つからなくて努力の甲斐ありませんでした。

y con la mejor disposición se puso ella también a mirar por todas partes, sin resultado alguno, pues no aparecían por ningún lado;

y 「副詞句」「動詞句」「主語」「副詞句」, 「副詞節」

y イ conj. そして

con コン prep. ～をもって 「副詞句」

la mejor disposición ラ・メル・ディスポジション n.f. 最高の精神状態 「目的語」

se puso ...a mirar セ・プソ...ア・ミラル 3 単点・開始(ponerse a+不定詞)

v.t. 調べ始めた 「動詞句」

ella エジャ pron. 彼女は 「主語」

también タンビエン adv. ～も 「副詞」

por todas partes, ポルトダス・パルテス adv. (場所) そこらじゅうを 「副詞句」

sin resultado alguno, シン・レスルト・アルグノ adv. (結果) 何の甲斐もなく 「副詞句」

pues プエス conj. ～なので 「副詞節」

no aparecían ノ・アパレシオン 3 複線・否定(aparecer)v.i. 見つからなかった 「動詞句」

aparecer アパレセル v.i.(por に) 姿を見せる、(無くしものが) 見つかる

por ningún lado; ポル・ニンゲン・ラト adv. (場所) どこにも 「副詞句」

その上、あの涙の池に落ちてから、すべてが変わってしまったように見えました：

además..., todo parecía haberse transformado desde que cayera en el charco:

「副詞」 ..., 「主語」「動詞句」「副詞節」

además..., アデマス adv. その上 「副詞」

todo トト pron. (単数扱い) すべての事は 「主語」

parecía +不定詞 パレシア 3 単線・推量(parecer+不定詞)v.i. ～するように見えた 「動詞句」

haberse transformado アベルセ・トランスフォルマト 不定詞・完了形(transformarse)

v.pr. 変わってしまった 「動詞句」

desde que +接続法 デステ・ケ adv. ～して以来 「副詞節」

cayera カエラ 接・3 単過(cayer)v.i. 落ちた 「動詞」

en el charco: エン・エル・チャルコ adv. 水たまりに、池 「副詞句」

4 El Conejo envía un Pepito

ガラスのテーブルや庭に続く小さな扉のある入り口のホールが跡形もなく消え去っていた。

el gran vestíbulo con la mesa de cristal y la puertecilla del jardín se habían desvanecido completamente.

「主語」「動詞句」「副詞」
 el gran vestíbulo エル・グラン・ベスティブロ n.m 入口のホールは、大きな玄関は 「主語」
 con コン adv. (不随) ~のある 「副詞句」
 la mesa ラ・メサ n.f テーブル 「目的語」
 de cristal デ・クリスタル adj. (材料) ガラスの 「形容詞句」
 y イ conj. そして
 la puertecilla ラ・プエルテシージャ n.f(= puerta+ -cilla) 小さな扉 「目的語」
 del jardín テル・ハルディン adj. 庭の 「形容詞句」
 se habían desvanecido セ・アビアン・デスバネシド 3 複線・完了形(desvanecerse)
 v.pr 消えていた 「動詞句」
 completamente. コンプレタメンテ adv. 完全に 「副詞」

アリスがあちこちを探し回っていると、ウサギが彼女を見つけて、怒った声で言いました：

El Conejo vio a Alicia al poco rato, mientras ésta se afanaba de un lado para otro, y le dijo enfadado:

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 y 「間接目的語」「動詞」「副詞」
 El Conejo エル・コネホ n.m ウサギは 「主語」
 vio ビオ 3 単点(ver)v.t 見た 「動詞」
 a Alicia ア・アリシア n.f アリスを 「目的語」
 al poco rato, アル・ポ・コ・ラート adv. 少ししてから、少し後で 「副詞句」
 mientras ミエンtras conj. ~している間、その一方で 「副詞節」
 ésta エスタ pron アリスは 「主語」
 se afanaba セ・アフアナバ 3 単線(afanarse)v.pr 精を出していた 「動詞句」
 de un lado para otro, デ・ウン・ラト・パ・ラ・オトロ adv. あちこちへ 「副詞句」
 y イ conj. そして
 le レ pron アリスに 「間接目的語」
 dijo ディホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 enfadado: エンファダド 過去分詞(enfadar)adv. 怒った様子で 「副詞」

4 El Conejo envía un Pepito

「どうしたんだ、メリーアン！一体ここで何をしているんだ？」

-¡Cómo, Mariana! ¿¿ Qué puedes estar haciendo aquí!?

《「呼びかけ」 | 「目的語」「動詞句」「副詞」》

-¡Cómo, コモ adv. どうしたんだ！

「呼びかけ」

Mariana! マリアナ n.f. メリーアン

「呼びかけ」

¿¿ Qué ケ pron. 何を

「目的語」

puedes estar haciendo フォエテス・エスタール・アシエント 2 単現・可能性・推量(poder+不定詞・進行形)

v.t. ～している

「動詞句」

aquí!? アキ adv. ここで

「副詞」

「今すぐ家に走って行って、手袋と扇子を取ってこい！さあ、急げ！」

¡ Ahora mismo vas a correr a casa a buscarme un par de guantes y un abanico! ¡Hala, rápido!

《「副詞句」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」 | 「間投」「命令」》

¡ Ahora mismo アオラ・ミスト adv. 今すぐ

「副詞句」

vas a correr バス・ア・コレル 2 単現・近接未来・命令(ir a+不定詞)v.i. 走れ

「動詞句」

a casa ア・カーサ adv. 家に

「間接目的語」

a buscarme ア・ブスカルメ 不定詞・目的・継続 adv. 私のために取りに行け

「副詞句」

un par de guantes ウン・パル・デ・グワンテス n.m. 手袋を

「目的語」

y イ conj. そして

un abanico! ウン・アバニコ n.m. 扇子を

「目的語」

¡Hala, アラ int. さあ

「間投」

rápido! ラピト adv. 急げ

「命令」

4 El Conejo envía un Pepito

アリスは恐ろしくなり、人違いだとも言わずに、ウサギが指さす方向へ走って行った。

Alicia se asustó tanto que salió corriendo en el acto en la dirección que apuntaba el Conejo, sin tan siquiera intentar explicarle que se había equivocado.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
 se asustó セ・アスト 3 単点(asustarse)v.pr おびえた、驚いた 「動詞句」
 tanto タント adv. とても 「副詞」
 que ケ conj. (tanto que) (結果) それで～する 「副詞節」
 salió サリオ 3 単点(salir)v.i 出発した 「動詞」
 corriendo コリエント 現在分詞(correr)adv. 走って 「副詞」
 en el acto エン・ネル・アクト adv. 即座に、すぐに 「副詞句」
 en la dirección エン・ラ・ディレクシオン adv. ～の方向へ 「副詞句」
 que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 apuntaba アプンタバ 3 単線(apuntar)
 v.t 指し示していた、指さしていた 「動詞」
 el Conejo, エル・コネホ n.m ウサギが 「主語」
 sin+不定詞 シン adv. ～せずに 「副詞句」
 tan siquiera タン・シキエラ
 adv. せめて、少なくとも 「副詞句」
 intentar explicarle インテンタル・エクスプリカル・レ 不定詞・試み
 v.t 彼に説明しようとする 「動詞句」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 se había equivocado. セ・アビ・ア・エキボ・カド 3 単線・完了形(equivocarse)
 v.pr 間違えている 「動詞句」

「私を女中と混同しているのね」と、アリスは走りながら心の中で思った。

«Me ha confundido con su doncella -se decía mientras corría-».

《「目的語」「動詞句」「副詞句」》, 「動詞句」「副詞節」

«Me メ pron 私を 「目的語」
 ha confundido ア・コンフンディド 3 単現・完了形(confundir)v.t(con と) 混同した 「動詞句」
 con su doncella コン・ス・ドンセジャ adv. 女中と、小間使いと 「副詞句」
 -se decía セ・デシア 3 単線(decirse)v.pr 心の中で思った 「動詞句」
 mientras corría. ミエントラス・コリア adv. 走りながら 「副詞節」

4 El Conejo envía un Pepito

「私が誰だか分かったらどんなに驚くでしょう！」

¡ Qué sorpresa se va a llevar cuando se entere de quién soy!

《「目的語」「動詞句」「副詞節」》

¡ Qué sorpresa ケ・ソルプレサ n.f. どれほどの驚きを

「目的語」

se va a llevar セ・ヴァ・ア・ジェヴァール 3 単現・近接未来(ir a+不定詞 llevarse)

v.pr(喜びなどを) 感じるだろう

「動詞句」

cundo クわント conj. ～するときに

「副詞節」

se entere セ・エンテレ 接・3 単現(enterarse)v.pr(de を) 知る

「動詞句」

de quién soy! テ・キエン・ソイ adv. 私が誰かを

「間接目的語」

「だけど、今のところはできるだけ早く扇子と手袋をウサギに持って行かなければ... うまく見つければいいけど...」

Pero por ahora será mejor que le lleve su abanico y sus guantes cuanto antes..., bueno, si logro encontrarlos.»

《Pero 「副詞句」「動詞」「補語」「主語」 --- 「祈願」》

Pero ペロ conj. しかし

por ahora ホル・アオラ adv. 今のところ、さしあたり

「副詞句」

será セラ 3 単未・推測(ser)v.i. ～だろう

「動詞」

mejor メホル adj. より良い

「補語」

que ケ conj. ～ということは

「主語」

mejor という価値判断に対応する節は接続法を使用する

le レ pron. ウサギに

「間接目的語」

lleve ジェベ 接・1 単現・判断(llevar)v.t. 持って行く

「動詞」

su abanico y sus guantes ス・アバニコ・イ・ス・グワンタス

pl.n.m 扇子と手袋を

「直接目的語」

cuan to antes..., クわント・アンテス adv. できるだけ早く

「副詞句」

bueno, ブエノ adv. 良い

「祈願」

si シ conj. もし～ならば

「副詞節」

logro encontrarlos.» ログロ・エンコントラル・ロス 1 単現・可能(lograr+不定詞 encontrar+los)

v.t. うまくそれを見つけることができる「動詞句」

4 El Conejo envía un Pepito

こう言っている間に、アリスは綺麗な別荘の前まで来ていました。そのドアには小さいブロンズの表札が輝いていて、そこに家主の名前が「しろうさぎ」としっかり彫刻されているのが読み取れました。

Mientras decía esto, llegaba Alicia ante una bonita casita, sobre cuya puerta brillaba una pequeña placa de bronce en la que se leía, bien grabado, el nombre del dueño: «B. CONEJO».

「副詞節」, 「動詞」 「主語」 「副詞句」, 「副詞句」 「動詞」 「主語」
「副詞句」 「動詞句」 「主語」

Mientras ミエントラス conj. ～している間に 「副詞節」
decía デシア 3 単線(decir)v.t 言っていた 「動詞」
esto, エスト pron このようなことを 「目的語」
llegaba ジェガバ 3 単線(llegar)v.i 到着した 「動詞」
Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
ante una bonita casita, アンテ・ウナ・ボニータ・カシタ adv. 綺麗な別荘の前に 「副詞句」
sobre cuya puerta ソブレ・クヤ・プエルト adv. そのドアの上に 「副詞句」
brillaba ブリジャバ 3 単線(brillar)v.i 輝いていた 「動詞」
una pequeña placa ウナ・ペケニャ・プラカ n.f 小さい表札 「主語」
de bronce デ・ブロンセ adj. (材料) ブロonzの 「形容詞句」
en la que エン・ラ・ケ adv. そこに 「副詞句」
se leía, セ・レイア 3 単線(leerse)v.pr 読まれた、読むことができた 「動詞句」
bien grabado, ビエン・グラバド 過去分詞(grabar)adj. しっかり彫刻された 「形容詞句」
el nombre del dueño: エル・ノンブレ・デル・ドゥエニョ n.m 家主の名前が 「主語」
«B. CONEJO». ブラソ・コネホ n.m 「しろうさぎ」 「主語」

アリスはドアをノックせずに中へ入り、二階へ階段を駆け上がりました。というのは、本当のメリーアンに出会ってしまったたり、手袋と扇子を見つけてしまう前に家から追い出されることなどをとても恐れていたからです。

Entró sin golpear y corrió escaleras arriba con mucho miedo de encontrarse a la verdadera Mariana y de que la echaran de aquella casa antes de haber encontrado los guantes y el abanico.

「動詞」 「副詞句」 y 「動詞」 「目的語」 「副詞句」

Entró エントロ 3 単点(entrar)v.i 中に入った 「動詞」
sin golpear シン・ゲルペアル adv. (ドアを) ノックせずに 「副詞句」
y イ conj. そして
corrió コリオ 3 単点(correr)v.t 走った 「動詞」
escaleras エスカレラス pl.n.f 階段を 「目的語」
arriba アリーバ adv. 上へ、二階へ 「副詞句」
con mucho miedo コン・ムチョ・ミエト adv. (原因) とても恐れて 「副詞句」

4 El Conejo envía un Pepito

de encontrarse テ・エンコントラセ 不定詞 adv. 出会うのを 「副詞句」

miedo de+不定詞 「～するのを恐れる」

miedo de que+接続法 「～するのではないかと恐れる」

a la verdadera Mariana ア・ラ・ベルダデラ・マリアナ

n.f 本当のメリーアンに 「目的語」

y イ

de que +接続法 テ・ケ adv. ～ではないかと 「副詞節」

la ラ pron.f アリスを 「目的語」

echaran エチャラン 接・3 複過・時制の一致(echar)

v.t (de から) 追い出す 「動詞」

「主語」は不特定の三人称複数 → 受動態に翻訳する 「誰かに追い出される」

de aquella casa テ・アケジャ・カサ adv. その家から 「副詞句」

antes de +不定詞 アンテス・デ adv. ～する前に 「副詞句」

haber encontrado アバール・エンコントラド 不定詞・完了形(encontrar)

v.t 見つけ終わる 「動詞句」

los guantes y el abanico. ロス・グワンテス・イ・エル・アバニコ

pl.n.m 手袋と扇子を 「目的語」

「なんて奇妙なの！」と、アリスは心の中で思った。「私がウサギのお使いをしているなんて！次は、ダイナにもお使いをさせられるかもしれないわね！」

«¡Que raro -se dijo Alicia-, esto de estar haciendo recados para un conejo! ¡Supongo que después de esto también Dina me mandará a hacer los suyos!»

《「補語」, 「動詞句」「主語」, 《「主語」 | 「動詞」「目的語」》

«¡Que raro ケ・ラロ adj. なんて奇妙な 「補語」

-se dijo セ・ディヨ 3 単点(decirse)v.pr 心の中で思った 「動詞句」

Alicia-, アリシア n.f アリスは 「主語」

esto エスト pron これは 「主語」

de +不定詞 テ adj. (同格) ～する 「形容詞句」

estar haciendo エスタール・アシエント 不定詞・進行形 n. ～している 「動詞句」

recados レカトス pl.n.m 用事、お使い 「目的語」

para un conejo! パラ・ウン・コネホ adv. ウサギのために 「副詞句」

¡Supongo スポongo 1 単現(suponer)v.t 推測する 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

después de esto デスプエス・デ・エスト adv. この後は 「副詞句」

también Dina タンビエン・ダィナ n.f ダイナも 「主語」

me メ pron 私に 「間接目的語」

4 El Conejo envía un Pepito

mandará a hacer マンダラ・ア・アセル 3 単未・命令(mandar a+不定詞)

v.t. ～するように命令する

「動詞句」

los suyos! ロス・スヨス pron.pl. ダイナのお使いを

「直接目的語」

そう言って、その時に起こりそうなことを想像し始めました。

Y empezó a imaginar lo que ocurriría en ese caso:

Y 「動詞句」「目的語」

Y イ conj. そして

empezó a imaginar エンペ・リ・ア・イマヒナル 3 単点・開始(empezar a+不定詞)

v.t. 想像し始めた

「動詞句」

lo □ pron. それを

「目的語」

que ケ pron. (主語) ～する

「形容詞節」

ocurriría オクリア 3 単過未・推量(ocurrir)v.i. 起こるだろう

「動詞」

en ese caso: エン・エ・カ adv. その場合に

「副詞句」

「アリスお嬢様！いますぐこちらへ来て、散歩の用意を下さい！」

« “Señorita Alicia, ¡venga aquí ahora mismo para prepararse para salir de paseo!”

《「呼びかけ」, 「動詞」「副詞句」》

« “Señorita Alicia, セニョリータ・アリシア adv. アリスお嬢様

「呼びかけ」

¡venga ベンガ 接・3 単現(venir)v.i. 来て頂戴

「動詞」

aquí アキ adv. ここに

「副詞」

ahora mismo アオラ・ミモ adv. いますぐに

「副詞句」

para prepararse パラ・プレパラルセ adv. (結果) 身支度するために

「副詞句」

para salir de paseo! ” パラ・サール・デ・パセオ adv. (結果) 散歩に出かけるために「副詞句」

「すぐ行くわ、保母さん！」

“¡Voy en seguida, señorita!

《「動詞」「副詞句」, 「呼びかけ」》

“¡Voy ボイ 1 単現(ir)v.i. 行く

「動詞」

en seguida, エン・セギダ adv. すぐに

「副詞句」

señorita! セニョリータ n.f. (小学校の女性の) 先生

「呼びかけ」

英語版では :

Coming in a minute, **nurse!** すぐ行くわ、保母さん！

4 El Conejo envía un Pepito

「だけど今は、ダイナが戻るまでネズミを見張っていなければならないわ。そして、ネズミが逃げ出さないようにしなければ。しかし」と、考え続けた。「ダイナがあれこれ命令をするなら、家に居られなくなると思うけど」

¡Pero es que ahora mismo tengo que vigilar esta ratonera hasta que vuelva Dina y no dejar que se escape el ratón!”, sólo que -continuó pensando-, no creo que dejaran que Dina parase en casa si fuera a dar tantas órdenes».

《「動詞」「補語」, sólo que》, 「動詞句」, 《「動詞句」「目的語」》

¡Pero ^{ペロ} conj. しかし

es ^{エス} 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

que ^ケ conj. ~ということ

「補語」

es que+直説法 「~ということだ」(理由の説明、言い訳)

Es que no tengo dinero. 実を言うと私はお金を持っていないのです。

ahora mismo ^{アオラ・ミスト} adv. 今は、今すぐ

「副詞句」

tengo que vigilar ^{テノゴ・ケ・ビヒラル} 1 単現・必要(tener que+不定詞)

v.t 見張らなければならない

「動詞句」

esta ratonera ^{エスタ・ラトネラ} n.f このネズミの巣を

「目的語」

hasta que ^{アスタ・ケ} conj. ~するまで

「副詞節」

vuelva ^{ブエルバ} 接・3 単現(volver)v.i 戻る

「動詞」

Dina ^{ディナ} n.f ダイナが

「主語」

y ^イ conj. そして

no dejar ^{ノ・デハル} 1 単現・必要・否定(tener que+不定詞)

v.t(que を) させないようにしなければならない

「動詞句」

que ^ケ conj. ~ということを

「目的語」

se escape ^{セ・エスカハ} 接・3 単現(escaparse)v.pr 逃げ出す

「動詞句」

el ratón!”, ^{エル・ラトン} n.m ネズミが

「主語」

sólo que+直説法 ^{ソロ・ケ} conj. しかし~、ただし

-continuó pensando-, ^{コンチヌオ・ペンサント} 3 単点・継続(continuar+現在分詞)

v.i 考え続けた

「動詞句」

no creo ^{ノ・クオ} 1 単過・否定(creer)v.t(que ~だと) 思わない

「動詞句」

que ^ケ conj. ~ということを

「目的語」

dejaran ^{デハラン} 接・3 複過・放任・時制の一致(dejar)

v.t ~させておく

「動詞」

que ^ケ conj. ~ということ

「目的語」

Dina ^{ディナ} n.f ダイナが

「主語」

parase ^{パラセ} 接・3 単過(parar)v.i 止まる、留まる

「動詞」

en casa ^{エン・カサ} adv. 家に

「副詞句」

4 El Conejo envía un Pepito

彼らがダイナを家に留まらせておくとは思わない

si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

fuera a dar フェア・ア・ダール 接・3 単過・近接未来(ir a+不定詞)

v.t 与えようとする 「動詞句」

tantas órdenes». タンタス・オルデネス

pl.n.m それほど多くの命令を 「目的語」

英語版では :

But I've got to see that the mouse doesn't get out.

でもネズミが逃げ出さないように見張ってないと。(“ダイナが戻るまで”は書かれていない)

こうしてついにきちんと整理された小さな寝室へ到着する方法を見つけました。窓の向かい側にはテーブルがあり、そのテーブルの上には(思っていた通り)扇子となめし皮の小さな白い手袋が 2、3 組ありました。

A todo esto, había encontrado la forma de llegar a un pequeño dormitorio, muy ordenado, con una mesa contra la ventana y, sobre ella (como había supuesto), un abanico y dos o tres pares de pequeñísimos guantes blancos de cabritilla.

「副詞句」「動詞句」「目的語」, 「形容詞句」「副詞句」 y, 「副詞句」「主語」

A todo esto, ア・トド・エスト adv. (時点) これらの後で、ついに 「副詞句」

había encontrado アビ・ア・エンコントラド 3 単線・完了形(encontrar)v.t 見つけていた 「動詞句」

la forma ラ・フォルマ n.f (法律) 手続き 「目的語」

de llegar デ・ジェガール 不定詞・目的 adj. 着くための 「形容詞句」

a un pequeño dormitorio, ア・ウン・ペケニョ・ドルミトリオ

adv. 小さな寝室に 「副詞句」

muy ordenado, ムイ・オルデナド

adj. きちんと整理された 「形容詞句」

con una mesa コン・ウナ・メサ adv. テーブルがある 「副詞句」

contra la ventana コントラ・ラ・ベンタナ adv. 窓の向かい側に 「副詞句」

y, イ conj. そして

sobre ella ソブレ・エジャ adv. テーブルの上に 「副詞句」

(como había supuesto), コモ・アビ・ア・スプ エスト adv. 思っていた通り 「副詞句」

un abanico ウン・アバニコ n.m 扇子 「主語」

y イ conj. そして

dos o tres pares de トス・オ・トレス・パレス・デ adj. 2～3 対の 「形容詞句」

pequeñísimos guantes blancos ペケニシモス・グワンテス・ブランコス pl.n.m 小さな白い手袋 「主語」

de cabritilla. デ・カブリティジャ adj. (材料) なめし皮の 「形容詞句」

4 El Conejo envía un Pepito

扇子と 1 組の手袋を手に取りました。そして部屋から出ようとしたちょうどその時、化粧台の鏡の隣にあった小さな瓶の上に彼女の視線が止まりました。

Recogió el abanico y un par de guantes, y estaba ya a punto de salir del cuarto cuando su mirada se posó sobre un pequeño botellín que estaba al lado del espejo del tocador.

「動詞」「目的語」,y「動詞」「副詞句」「副詞節」

Recogió レコヒオ 3 単点(recoger)v.t 拾った、手に取った 「動詞」

el abanico エル・アバニコ n.m 扇子を 「目的語」

y イ conj. そして

un par de guantes, ウン・パル・デ・グ・ワソテス n.m 手袋を 1 組 「目的語」

y イ conj. そして

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i 〜だった 「動詞」

ya a punto de +不定詞 ヤ・ア・プント・デ adv. ちょうど〜するときに 「副詞句」

salir サール 不定詞 v.i 出る 「動詞」

del cuarto デル・クワルト adv. 部屋から 「副詞句」

cuando クワント conj. その時〜する 「副詞節」

su mirada ス・ミラダ n.f 彼女の視線は 「主語」

se posó セ・ポソ 3 単点(posarse)v.pr とまった 「動詞句」

sobre un pequeño botellín ソブレ・ウン・ペ・ケニョ・ボテリン adv. 小さい瓶の上に 「副詞句」

que ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」

estaba エスタバ 3 単線・存在(estar)v.i 〜にあった 「動詞」

al lado del espejo アル・ラト・デル・エスペホ adv. 鏡の隣に 「副詞句」

del tocador. デル・トカドール adj. 化粧台の 「形容詞句」

今回は、「私を飲んで」と書いてあるラベルはなかったけれど、結局、瓶の栓をあけて、唇に運びました。

No tenía, esta vez, ninguna etiqueta que dijera «BÉBEME», pero de todas formas lo destapó y se lo llevó a los labios: 「動詞句」,「副詞句」,「目的語」,

pero 「副詞句」「目的語」「動詞」 y 「動詞句」「間接目的語」

No tenía, ノ・テニア 3 単線・否定(tener)v.t なかった 「動詞句」

esta vez, エスタ・ベス adv. 今回は 「副詞句」

ninguna etiqueta ニンゲナ・エタケタ n.f どんなラベルも〜ない 「目的語」

que ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」

dijera デイハ 接・3 単過(decir)v.t 述べる 「動詞」

«BÉBEME», ベベメ adv. 私を飲んで 「呼びかけ」

pero ペロ conj. しかし

de todas formas デ・トダス・フォルマス adv. 結局 「副詞句」

4 El Conejo envía un Pepito

lo	ロ pron	それを	「目的語」
destapó	デスタポ 3 単点(destapar)v.t	栓を開けた	「動詞」
y	イ conj.	そして	
se lo llevó	セ・ロ・ジエボ 3 単点(llevarse+lo)v.pr	それを持って行った	「動詞句」
a los labios:	ア・ロス・ラビオス adv.	自分の唇に	「間接目的語」

「何かを食べたり飲んだりするときは、私は確信しているわ」と、アリスは心の中で思った。

「何か面白いことが、私に起こるのよ。それじゃあ、この不味そうな飲み物が私に何を起こすのか確かめてみましょう」

«Estoy convencida de que siempre que como o bebo algo -se dijo-, me sucede algo interesante; de forma que voy a ver qué efecto me va a causar este brebaje.

《「動詞」「補語」》, 「動詞句」, 《「副詞節」》

«Estoy	エストイ 1 単現(estar)v.i	～である	「動詞」
convencida	コンベンシダ adj.f(convencido)(+de	を) 確信した	「補語」
de que	デ・ケ adv.	～ということ	「間接目的語」
siempre	シエンプレ adv.	いつも	「副詞」
que	ケ pron (同格)	～する	「形容詞節」
como o bebo	コモ・オ・ベボ 1 単現(comer, beber)		
v.t	食べたり飲んだりする		「動詞句」
algo	アルゴ pron	何かを	「目的語」
-se dijo-	セ・ディヨ 3 単点(decirse)v.pr	心の中で思った	「動詞句」
me	メ pron	私に	「間接目的語」
sucede	ステデ 3 単現(suceder)v.i	起こる	「動詞」
algo interesante;	アルゴ・インテルサンテ pron	何か面白いことが	「主語」
de forma que+直説法	デ・フォルマ・ケ conj.	(結果) そのため～する	「副詞節」
voy a ver	ボイ・ア・ベール 1 単現・近接未来(ir a+不定詞)v.t	見てみよう	「動詞句」
qué efecto	ケ・エフェクト n.m	どんな効果を～するかということ	「目的語」
me	メ pron	私に	「間接目的語」
va a causar	バ・ア・カサル 3 単現・近接未来(ir a+不定詞)		
v.t	引き起こす		「動詞句」
este brebaje.	ブレバヘ n.m	このまずそうな飲み物が	「主語」
de forma que+直説法	(結果) そのため～する		
De forma que ahora no quieres el helado.	すると今、アイスクリームは欲しくないんだね		
de forma que+接続法	(目的) ～するように		
Lo explicó de forma que hasta los niños lo entendieran.			

彼は子供にも分かるように説明した。

de forma que+直説法 (結果) そのため～する

4 El Conejo envía un Pepito

「どうか私をもう一度大きくしてくれますように！だって、こんな小人のままでいるのはもうすっかり飽きてしまったから」

¡Ojalá me haga crecer de nuevo, pues ya estoy bastante harta de ser una personilla tan diminuta!». 《Ojalá「目的語」「動詞」「補語」,「副詞節」》

¡Ojalá かゝ int. (+接続法) (現在・未来) どうか～しますように！

me メ pron 私を 「目的語」

haga アカ 接・3 単現・使役(hacer)v.t(+不定詞) ～させる 「動詞」

crecer クセル 不定詞 v.i 大きくなる 「補語」

de nuevo, デ・ヌエボ adv. また 「副詞句」

pues プエス conj. (理由) ～なので 「副詞節」

ya ヤー adv. もう 「副詞」

estoy エストイ 1 単現(estar)v.i ～である 「動詞」

bastante harta バスタンテ・アルタ adj.f(harto) すっかり飽きた 「補語」

de ser デ・セル 不定詞・関連 adv. ～でいることに 「副詞句」

una personilla tan diminuta!». ウナ・ペルソニージャ・タン・ディミヌタ

n.f 小さな小人 「補語」

なんということでしょう、大きくなったのです！しかも、思っていたよりもずっと早く！

¡Y vaya que si la hizo crecer! ¡Mucho antes de lo que se imaginaba!

Y「感嘆」 | 「副詞句」

¡Y イ conj. そして

vaya バヤ aint. なんということでしょう！ 「感嘆」

que ケ pron (同格) ～ということは 「形容詞節」

si シ conj. (強調) ～するとは 「副詞」

la ラ pron 彼女を 「目的語」

hizo crecer! イ・クレル 3 単点・使役(hacer+不定詞)

v.t 大きくした 「動詞句」

¡Mucho antes ムチョ・アンテス adv. ずっと前に、より早く 「副詞句」

de lo デ・ロ adv. (比較) それよりも 「副詞句」

que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

se imaginaba! セ・イマヒバ 3 単線(imaginarse)

v.pr 想像していた 「動詞句」

4 El Conejo envía un Pepito

まだ小瓶の半分も飲んでいなかったのに、もう頭が天井にぶつかって、首が折れないように、頭を傾けなければならないと感じました。

No había vaciado aún la mitad del frasco cuando sintió que ya le golpeaba la cabeza contra el techo, y tuvo que inclinarla para no romperse el cuello.

「動詞句」「目的語」「副詞節」

No había vaciado ノ・アビ・ア・バシト 3 単線・完了形・否定(vaciar)

v.t (容器を) からにしていなかった 「動詞句」

aún アウン adv. (譲歩) 〜でさえ 「副詞」

la mitad del frasco ラ・ミタ・デル・フラスコ n.f 小瓶の半分 「目的語」

cuando クワント conj. するとすぐに〜する 「副詞節」

aún no+直説法 cuando... 〜するとすぐ... する

sintió シンチオ 3 単点(sentir)v.t(que 〜と) 感じた 「動詞」

que ケ conj. 〜ということを 「目的語」

ya ヤー adv. もう 「副詞」

le レ pron 彼女にとって 「間接目的語」

golpeaba ゴルペ・アバ 3 単線(golpear)v.i 打ちつけた 「動詞」

la cabeza ラ・カベサ n.f 頭が 「主語」

contra el techo, コントラ・エル・テチョ adv. 天井に 「副詞句」

y イ conj. そして

tuvo que inclinarla トゥボ・ケ・インクリナル・ラ 3 単点・必要(tener que+不定詞)

v.t 頭を傾けなければならない 「動詞句」

inclinarse インクリナルセ v.pr 身をかがめる ではない

para no romperse パラ・ノ・ロンペールセ

adv. (目的) (para+不定詞・否定 romperse) 折れないように 「副詞句」

el cuello. エル・クエンヨ n.m 首が 「目的語」

急いでその瓶を置いて、心の中で思いました。

Rápidamente dejó la botella, diciendo para sí misma:

「副詞」「動詞」「目的語」「副詞句」

Rápidamente ラピダメンテ adv. 急いで 「副詞」

dejó デホ 3 単点(dejar)v.t 放棄した 「動詞」

la botella, ラ・ボテジャ n.f その瓶を 「目的語」

diciendo デイシエント 現在分詞・継続 adv. そして言った 「副詞句」

para sí misma: パラ・シ・ミスマ adv. 自分自身に向かって 「副詞句」

4 El Conejo envía un Pepito

「もう十分！もうこれ以上大きくなりたいで欲しいわ！それでも、もうドアからは出られないでしょうね！あんなにたくさん飲まなきゃ良かったわ！」

«¡Basta ya!... ¡Espero no ir a crecer más todavía!... Así y todo, ya no podré salir por la puerta... ¡Ojalá no hubiera bebido tanto!».

《「感嘆」 | 「動詞」「目的語」 | 「副詞句」「動詞句」「副詞句」 | 「動詞句」「副詞」》

«¡Basta ya!... バスタ・ヤー adv. もう十分！ 「感嘆」

¡Espero エスペロ 1 単現(esperar)v.t 希望する 「動詞」

no ir a crecer ノ・イル・ア・クレセル 不定詞・否定形(ir a+不定詞)

n. 大きくなりたいこと 「目的語」

más todavía!... マス・トダビァ adv. もうこれ以上 「副詞句」

Así y todo, アシ・イ・トド` adv. それにもかかわらず 「副詞句」

ya no podré salir ヤ・ノ・ポドレ・サリール 1 単未・可能・推測・否定(poder+不定詞)

v.i もう出られないでしょう 「動詞句」

por la puerta... ポル・ラ・プエルタ adv. ドアから 「副詞句」

¡Ojalá +接続法・過去 conj. ～であればよかったのだが

no hubiera bebido ノ・ウビエラ・ベビト` 接・1 単過・完了形・否定(beber)

v.i 飲まなかったら 「動詞句」

tanto!». タント adv. あんなにたくさん 「副詞」

残念ながら、もう遅すぎました！

¡Por desgracia, era ya demasiado tarde! 「副詞句」「動詞」「補語」

¡Por desgracia, ポル・デスグラシア adv. 残念ながら、不運なことに 「副詞句」

era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」

ya demasiado tarde! ヤー・デマシアト`・タルテ` adj. もう遅すぎる 「補語」

実際、どんどん大きくなり続けていたので、すぐに床に膝まづかねばならなくなりました。

En efecto, continuaba creciendo y creciendo; y muy pronto tuvo que ponerse de rodillas en el suelo. 「副詞句」「動詞句」「副詞句」 y 「副詞句」「動詞句」「副詞句」

En efecto, エン・エフェクト adv. 実際に 「副詞句」

continuaba コンチヌアバ` 3 単線・継続(continuar)v.i(+現在分詞) ～し続けた 「動詞」

creciendo y creciendo; クレシエント`・イ・クレシエント` 現在分詞・益々(crecer)

v.i ますます大きくなっていく 「動詞句」

y イ conj. そして

muy pronto ムイ・プロント adv. すぐに 「副詞句」

tuvo que ponerse トゥボ`・ケ・ポネセ 3 単点・必要(tener que+不定詞)

v.pr (姿勢を) 取らなければならなかった 「動詞句」

4 El Conejo envía un Pepito

de rodillas デ・ロディージャス adv. 膝まづいて 「副詞句」
 en el suelo. エン・エル・スエロ adv. 床の上に 「副詞句」

さらに1分が過ぎると、そういう格好をしていても、彼女のいる場所が残っていなかった。
 それで、床の上に横になって扉に片肘を押し付けて、反対の腕を首の周りに巻き付けたら落ち着けるかどうか試してみた。

Pasó otro minuto y ya no le quedó sitio ni siquiera con esa postura, de forma que intentó ver si lograba acomodarse acostándose en el suelo con un codo apoyado contra la puerta y el otro brazo enroscado alrededor del cuello.

「動詞」「主語」 y 「副詞」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「主語」「副詞句」, 「副詞節」

Pasó パソ 3 単点(pasar)v.i (時が) 過ぎた 「動詞」

otro minuto オトロ・ミヌート n.m さらに1分が 「主語」

y イ conj. そして

ya ヤー adv. もう 「副詞」

no ...quedó ノ...クエド 3 単点・否定(quedar)v.i 残っていなかった 「動詞句」

le レ pron 彼女にとって 「間接目的語」

sitio シオ n.m 場所が 「主語」

ni siquiera ニ・シキエラ adv. たとえ〜だとしても... ない 「副詞句」

con コン prep (様態) 〜の様子で 「副詞句」

esa postura, エサ・ポ・ストゥラ n.f そんな格好、姿勢 「目的語」

de forma que+直説法 デ・フォルマ・ケ conj. (結果) そのため〜する 「副詞節」

intentó ver インテント・ベール 3 単点・試行(intentar+不定詞)

v.t 調べようとした 「動詞句」

si シ conj. 〜かどうかということ 「目的語」

lograba acomodarse ログラバ・アコモダルセ 3 単線・成就(lograr+不定詞)

v.pr うまく落ち着くことができる 「動詞句」

acostándose アコスタントセ 現在分詞・副詞的(acostar)

adv. 横になって 「副詞句」

en el suelo エン・エル・スエロ adv. 床の上に 「副詞句」

con コン prep (様態) 〜の状態 「副詞句」

un codo apoyado ウン・コト・アポヤト

n.m 寄り掛からせた片肘 「目的語」

contra la puerta コントラ・ラ・プエルタ adv. 扉に対して 「副詞句」

y イ conj. そして

el otro brazo エル・オトロ・ブラソ n.m 反対の腕 「目的語」

enroscado エロスカト 過去分詞・受動(enroscar)

4 El Conejo envía un Pepito

adj. 巻きつけられた 「形容詞」

alrededor del cuello. アルデトール・テル・クエンヨ

adv. 首の周りに 「副詞句」

それでも、まだ大きくなり続けていました。それで最後の手段として、片腕を窓から外に出して、片足は煙突の中に突っ込みました。それから、言いました。

Pero aun así ¡continuaba creciendo! De forma que, como último recurso, sacó un brazo por la ventana y metió un pie por la chimenea, diciendo:

Pero 「副詞句」「動詞句」 | De forma que, 「副詞句」「動詞」「目的語」「副詞句」
y 「動詞」「目的語」「副詞句」, 「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし

aun así アウン・アシ adv. まだそのように 「副詞句」

¡continuaba creciendo! コンチヌアバ・クレシエント 3 単線・継続(continuar+現在分詞)

v.i 大きくなり続けていた 「動詞句」

De forma que, +直説法 conj. (結果) それで～する

como último recurso, コモ・ウルチモ・レクル adv. 最後の手段として 「副詞句」

sacó サコ 3 単点(sacar)v.t (体の一部を) 飛び出させた 「動詞」

un brazo ウン・ブラソ n.m 片腕を 「目的語」

por la ventana ポル・ラ・ベンタナ adv. 窓から (外に) 「副詞句」

y イ conj. そして

metió メチオ 3 単点(meter)v.t 入れた 「動詞」

un pie ウン・ピエ n.m 片足を 「目的語」

por la chimenea, ポル・ラ・チメネア adv. 煙突の中に 「副詞句」

diciendo: ディシエント 現在分詞・結果 adv. そして言った 「副詞句」

「もうこれで何が起ころうと、何もできないわ！これから私はどうなるのかしら？」

«¡Ahora sí que no puedo hacer nada más, pase lo que pase! ¿Qué va a ser de mí ahora?».

《「副詞句」, 「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」》

«¡Ahora アオラ adv. 今度は、これで 「副詞」

sí que シ・ケ adv. (強調の挿入句) 確かに 「副詞句」

no puedo hacer ノ・プト・アセル 1 単現・可能・否定(poder+不定詞)v.t 出来ない 「動詞句」

nada más, ナダ・マス pron これ以上何も 「目的語」

pase lo que pase! パセ・ロ・ケ・パセ adv. 何が起きようと 「副詞句」

¿Qué ケ pron 何が 「主語」

va a ser バ・ア・セル 3 単現・近接未来(ir a+不定詞)v.i ～がある 「動詞句」

de mí デ・ミ adv. 私に 「間接目的語」

4 El Conejo envía un Pepito

ahora?». アオラ adv. 今度は 「副詞」

アリスにとって幸運なことに、小瓶の魔法の水はもうその効果を出し切ってしまい、アリスはやっと大きくなるのが止まりました。

Afortunadamente para Alicia, el líquido mágico del botellín había surtido ya todo su efecto y dejó de crecer definitivamente.

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」 y 「動詞句」「副詞」

Afortunadamente アフォルトゥナダメンテ adv. 幸運にも、運よく 「副詞」

para Alicia, パラ・アリシア adv. アリスにとって 「副詞句」

el líquido mágico エル・リキト・マヒコ n.m 魔法の液体は 「主語」

del botellín デル・ボテジン adj. 小瓶の 「形容詞句」

había surtido アビエ・スルティト 3 単線・完了形(surtir)v.t (効果を) 出した 「動詞句」

ya ヤー adv. もう 「副詞」

todo su efecto トト・ス・エフェクト n.m すべての効果を 「目的語」

y イ conj. そして

dejó de crecer デホ・デ・クレセル 3 単点・停止(dejar de+不定詞)

v.i 大きくなるのが止まった 「動詞句」

definitivamente. デフィニティバメンテ adv. 最終的に 「副詞」

いまだに、とても居心地が悪かった。その上、ぎゅうぎゅう詰めになっているこの部屋から決して出られないように思われたので、不愉快に感じるのも当たり前でした。

Aun así, estaba muy incómoda, y como no parecía que fuera a poder salir jamás de ese recinto, en el que se encontraba tan apretada, no es de extrañar que también se sintiera muy contrariada.

「副詞句」「動詞」「補語」, y 「副詞節」, 「動詞句」「補語」

Aun así, アウン・アシ adv. まだそのように 「副詞句」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ~だった 「動詞」

muy incómoda, ムイ・インコモト adj. とても居心地の悪い 「補語」

y イ conj. そして

como コモ conj. (理由) ~なので 「副詞節」

no parecía ノ・パ・レシア 3 単線・否定(parecer)v.i ~のように見えなかった 「動詞句」

que ケ conj. ~ということ 「主語」

fuera a poder salir フェア・ア・ポ・テール・サール 接・3 単過・可能・近接未来(ir a+不定詞)

v.i 出ていけるようになる 「動詞句」

jamás ハマス adv. 決して~ない 「副詞」

de ese recinto, デ・エ・レシト adv. この部屋から 「副詞句」

en el que エン・エル・ケ adv. ~している 「副詞節」

4 El Conejo envía un Pepito

se encontraba セ・エンコトラハ 3 単線(encontrarse)

v.pr (ある場所に) いた 「動詞句」

tan apretada, タン・アプレタダ

adj. (副詞的) ぎゅうぎゅうづめで 「副詞句」

no es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ~でなかった 「動詞句」

de extrañar デ・エクストラニャル 不定詞 n. ~を奇異に感じさせること 「補語」

que ケ conj. ~ということ 「目的語」

también タンビエン adv. ~もまた 「副詞」

se sintiera セ・シンチエラ 3 単線・時制の一致(sentirse)

v.pr 自分が~だと感じる 「動詞句」

muy contrariada. ムイ・コントリアダ adj. とても不機嫌な 「補語」

→ 否定文の翻訳方法を工夫する



「家にいたほうがずっと良かったわ!」と、可哀そうなアリスは思った。

«¡Cuánto mejor estaría ahora en casa! -pensó la pobre Alicia-

《「補語」「動詞」「副詞句」》, 「動詞」「主語」

«¡Cuánto mejor クワント・メーホル adj. (感嘆) どれだけ良い 「補語」

estaría エスタリア 1 単過未・仮定的条件(estar)v.i ~だろう 「動詞」

ahora アオラ adv. 今 「副詞」

en casa! エン・カーサ adv. 家に 「副詞句」

-pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.i 思った 「動詞」

la pobre Alicia-. ラ・ポブレ・アリシア n.f 可哀そうなアリスは 「主語」

4 El Conejo envía un Pepito

「少なくとも家では、大きくなったり小さくなったりし続けなかったし、ネズミやウサギに命令されることもなかったから。」

Allí al menos no estaría creciendo y menguando todo el tiempo, ni a las órdenes de ratones y conejos. 《「副詞句」, 「動詞句」 「副詞句」, 「間接目的語」》

Allí アジ adv. そこ、家では 「副詞句」

al menos アル・メノス adv. 少なくとも 「副詞句」

no estaría creciendo y menguando ノ・エスティア・クレシエント・イ・メング・want

1 単過未・進行形・否定・過去の事柄の推量(crecer / menguar)

v.i 大きくなったり小さくなったりしなかった 「動詞句」

todo el tiempo, トト・エル・ティエンポ adv. ずっと (続けて) 「副詞句」

ni a las órdenes ニ・ア・ラス・オルデネス adv. 命令もない 「間接目的語」

ここでは *estaría* は存在または影響の意味になる

estar a... ~の準備ができている

de ratones y conejos. デ・ラトネス・イ・コネス adj. ネズミやウサギの 「形容詞句」

→ ネズミやウサギに命令されることがない

「ウサギの巣穴に入らなければ良かったと思うほどだわ!...」

¡Casi desearía no haberme metido por la madriguera del Conejo!...

《「副詞」 「動詞句」 「副詞句」》

¡Casi カシ adv. ほとんど、どちらかというと 「副詞」

desearía デセアリア 1 単過未(desear)v.t(+不定詞・完了形) ~したかった 「動詞句」

no haberme metido ノ・アベル・メ・メト 不定詞・完了形・否定(meterse)

v.pr (場所に) 入らなかった 「動詞句」

por la madriguera ポル・ラ・マトリゲラ adv. (空間) 巣穴に 「副詞句」

del Conejo!... デル・コネ adj. ウサギの 「形容詞句」

「といっても、さあ行きましょう!」

Y, sin embargo, a pesar de todo... ¡Vamos! 《Y 「副詞句」 「勧誘」》

Y, イ conj. そして

sin embargo, シン・エンバルゴ adv. とはいえ、それでも 「副詞句」

a pesar de todo... ア・ペサル・デ・トト adv. 結局それでも 「副詞句」

¡Vamos! バモス adv. (促し) さあ行きましょう! 「勧誘」

4 El Conejo envía un Pepito

「確かに、こういう生き方って、すごく面白いわね！」

i Hay que reconocer que esta forma de vivir es bastante curiosa! 《「動詞句」「目的語」》

i Hay que reconocer アイ・ケ・レコノセル 3 単現・必要・一般(haber que+不定詞)

v.t. ～を認めなければならない 「動詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

esta forma de vivir エスタ・フォルマ・デ・ビビール n.f. このような生き方は 「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i. ～である 「動詞」

bastante curiosa! バスタンテ・クリオサ adj.f. とても好奇心を掻き立てる 「補語」

「私は、自分に何が起きたのかと考える。」

Me pregunto qué puede haberme sucedido. 《「動詞句」「目的語」》

Me pregunto メ・プレグント 1 単現(preguntarse)v.pr. 心の中で思う 「動詞句」

qué ケ pron. 何が～するかということ 「目的語」

puede haberme sucedido. プエデ・アベル・メ・ステイト 3 単現・可能性(poder+不定詞・完了形)

(suceder)v.i. 私に起こっただろうか 「動詞句」

「妖精物語を読んだときには、そんなことが実際に起こるなんて全く想像していなかったけど、私は今、その珍しい体験の真ん中にいるのよね！」

Quando leía cuentos de hadas nunca imaginé que tales cosas pudieran ocurrir de veras, y he aquí que me encuentro en medio de una aventura de esas!

《「副詞節」「動詞句」「目的語」, y 「動詞」「副詞」》

Quando クワント conj. ～するとき 「副詞節」

leía レイア 1 単線(leer)v.t. 読んだ 「動詞」

cuentos ケントス pl.n.m. 物語を 「目的語」

de hadas デ・アダス adj. 妖精の 「形容詞句」

nunca imaginé ヌンカ・イマヒネ 1 単点・否定(imaginar)v.t. まったく想像しなかった 「動詞句」

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

tales cosas タレス・コサス pl.n.f. そんなことが 「主語」

pudieran ocurrir プディエラン・オクリール 接・3 複過・可能性・推量(poder+不定詞)

v.i. 起こりうる 「動詞句」

de veras, デ・ベラス adv. 本当に 「副詞句」

y イ conj. そして、しかし

he エ 1 単現(haber)v.t. いる 「動詞」

aquí アキ adv. ここに 「副詞」

que ケ pron. (同格) ～する 「形容詞節」

me encuentro メ・エンクエントロ 1 単現(encontrarse)

4 El Conejo envía un Pepito

v.pr (場所に) いる 「動詞句」
 en medio エン・メディオ adv. 真ん中に 「副詞句」
 de una aventura デ・ウナ・アベントゥラ adj. 珍しい体験の 「形容詞句」
 de ésas! デ・エサス adj. そのような 「形容詞句」

「誰かが私のことを本に書くべきだわ。そうよ、絶対書くべきだわ。」

Creo que debiera de escribirse un libro sobre mí. ¡Y tanto que debiera de escribirse!
 《「動詞」「目的語」 | Y 「副詞句」》

Creo クオ 1 単現(creer)v.t(que ～だと) 思う 「動詞」
 que ケ conj. ～ということ 「目的語」
 debiera de escribirse デビエラ・デ・エスクリビルセ 接・3 単過・推量・義務(deber de+不定詞)
 v.pr (誰かが) 書くべきである 「動詞句」
 un libro ウン・リブロ n.m 本を 「目的語」
 sobre mí. ソブレ・ミ adv. 私についての 「副詞句」
 ¡Y イ conj. そして
 tanto タント adv. それほど 「副詞句」
 que タント・ケ conj. ～ということ 「目的語」
 debiera de escribirse! デビエラ・デ・エスクリビールセ 接・3 単過・推量・義務(deber de+不定詞)
 v.pr (誰かが) 書くべきである 「動詞句」

「大きくなったら、私が自分でこのことを書きましょう、でも…」

Lo escribiré yo misma cuando sea mayor, pero...
 《「目的語」「動詞」「主語」「副詞節」,pero...》

Lo ロ pron それを 「目的語」
 escribiré エスクリビレ 1 単未・意思(escribir)v.t 書きましょう 「動詞」
 yo misma ジョ・ミスマ pron.f 私自身が 「主語」
 cuando クワント conj. (例示) ～するときに 「副詞節」
 sea セア 接・1 単現・假定(ser)v.i ～になる 「動詞」
 mayor, マヨール adj. (年齢) もっと大きい、年上の 「補語」
 形状の大きさを比較する場合は、más grande
 pero... ペロ conj. だけど

4 El Conejo envía un Pepito

「まだ大きくなっていないんだったら」と、アリスは悲しそうに付け加えた。「少なくとも、この中ではこれ以上大きくなることはできないわね」

¡Si ya no puedo ser mayor! -añadió lastimera-. Al menos ya no me cabe ser mayor aquí dentro.»

《「副詞節」》, 「動詞」 「副詞」, 《「副詞句」 「動詞句」 「間接目的語」 「動詞句」 「主語」》
 ¡Si シ conj. もし～ならば 「副詞節」
 ya ヤ adv. もう、すでに、まだ 「副詞」
 no puedo ser ノ・ポ・エト・セル 1 単現・可能性・否定(poder+不定詞)
 v.i ～になっていない 「動詞句」
 mayor! マヨール adj. 大きな 「補語」
 -añadió アニャディオ 3 単点(añadir)v.t 付け加えた 「動詞」
 lastimera-. ラスメラ adj.f 悲しげに 「副詞」
 Al menos アル・メノス adv. 少なくとも 「副詞句」
 ya ヤー adv. もう 「副詞」
 no ...cabe ノ...カベ 3 単現・否定(caber)v.i 出来ない、合わない 「動詞句」
 me メ pron 私にとって 「間接目的語」
 ser セル 不定詞 n. ～になることは 「主語」
 mayor マヨール adj. もっと大きな 「補語」
 aquí dentro.» アキ・デントロ adv. この中で 「副詞句」

「でも、そうすると」と、アリスは考えた。「私はもう年をとらないってことになるの？」
 «Pero entonces -pensó Alicia-, ¿será que ya no me haré mayor en edad?»

《Pero 「副詞」》, 「動詞」 「主語」, 《「動詞」 「補語」》

«Pero ペロ conj. しかし
 entonces エントネス adv. それでは 「副詞」
 -pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.i 考えた 「動詞」
 Alicia-, アリシア n.f アリスは 「主語」
 ¿será セラ 3 単未・疑問文(ser)v.i(que) ～ということになるの? 「動詞」
 ser que+直説法 「～ということだ」

Es que no tengo dinero. 実を言うと私はお金を持っていないのです。
 que ケ conj. ～ということ 「補語」
 ya ヤー adv. もう 「副詞」
 no me haré ノ・メ・アレ 1 単未・否定(hacerse)v.pr (+主格補語) ～にならない 「動詞句」
 mayor en edad? マヨール・エン・エタ adj. 年上の 「補語」

4 El Conejo envía un Pepito

「ずっと子供のままでいるっていうこと？」

¿Me quedaré siempre tan niña como ahora? 《「動詞句」「補語」》
 ¿Me quedaré メ・ケダレ 1 単未・疑問文(quedarse)v.pr 〜のままでいる? 「動詞句」
 siempre シエンプレ adv. いつも、ずっと 「副詞」
 tan niña タン・ニャ n.f. こんな子供 「補語」
 como ahora? コモ・アラ adv. 今のように 「副詞句」

「それはある意味では慰めになるわね—絶対にお婆さんにならないんだから」

Eso sería un consuelo en cierta manera, así no sería nunca una vieja...
 《「主語」「動詞」「補語」, 「副詞句」「動詞句」「補語」》
 Eso エソ pron. それは 「主語」
 sería セリア 3 単過未・推量(ser)v.i. 〜かもしれない 「動詞」
 un consuelo ウン・コンスエロ n.m. やすらぎ、慰め 「補語」
 en cierta manera, エン・シェルタ・マネラ adv. ある程度は、ある意味では 「副詞句」
 así アシ adv. そうすると 「副詞句」
 no sería nunca ノ・セリア・ヌカ 1 単過未・否定・強調・推量(ser)v.i. 〜にならないだろう「動詞句」
 una vieja... ウナ・ビエハ n.f. お婆ちゃん 「補語」

「でも、そのかわりに、いつも勉強しなければならなくなるってことよね！」

Pero, en cambio..., ¡siempre tendré que estar aprendiendo lecciones!
 《Pero 「副詞句」, 「副詞」「動詞句」「目的語」》
 Pero, ペロ conj. しかし
 en cambio..., エン・カンビオ adv. そのかわり、交換に 「副詞句」
 ¡siempre シエンプレ adv. いつも、常に 「副詞」
 tendré que +不定詞 テンドレ・ケ 1 単未・必要(tener que+不定詞)
 v. 〜しなければならなくなる 「動詞句」
 estar aprendiendo エスタール・アプレンディエント 不定詞・進行形・継続(aprender)
 v.i. 勉強し続ける 「動詞句」
 lecciones! レクシオネス pl.n.f. 学課を 「目的語」

「ああ、うんざりだわ！そんなことは、ごめんよ！」

¡Qué lata! ¡Eso sí que no me gustaría nada! 《「感嘆」 | 「主語」「補語」》
 ¡Qué lata! ケ・ラタ int. ああ、うんざりだわ！ 「感嘆」
 ¡Eso エソ pron. それは 「主語」
 sí que シ・ケ pron. まさにそれ 「補語」
 no me gustaría nada! ノ・メ・グスタリア・ナダ adj. 私が大嫌いな 「形容詞節」

4 El Conejo envía un Pepito

「さあ、ばかなことを言わないで！」と、自分自身に返事をした。「入りきれない程せまい
この中で、どうやって勉強しようと思っているの！」

«¡Vamos! ¡No seas tonta! -se replicó a sí misma-. ¿Cómo te imaginas que vas a estudiar
lecciones aquí dentro, donde apenas cabes tú?»

《「呼びかけ」 | 「動詞句」「補語」》, 「動詞句」「間接目的語」, 《「副詞」「動詞句」「目的語」》

«¡Vamos! バモス adv. (うながし) さあ！ 「呼びかけ」

¡No seas ノ・セアス 命・2 単現・否定(ser)v.i ~になるな 「動詞句」

tonta! トンタ adj. ばかな 「補語」

-se replicó セ・レプリコ 3 単点(replicarse)v.pr 言い返した、返事をした 「動詞句」

a sí misma ア・シ・ミスマ adv. 自分自身に 「間接目的語」

¿Cómo コモ adv. どのように 「副詞」

te imaginas テ・イマヒナス 2 単現(imaginarse)v.pr 想像する 「動詞句」

que ケ conj. ~ということ 「目的語」

vas a estudiar バス・ア・エストゥディアル 2 単現・近接未来(ir a+不定詞)

v.t 勉強するつもりである 「動詞句」

lecciones レクシネス pl.n.f 学課を 「目的語」

aquí dentro, アキ・デントロ adv. この中で 「副詞句」

donde トンデ adv. ~する 「形容詞節」

apenas アペナス adv. ほとんど~ない 「副詞」

cabes カベス 2 単現(caber)v.i (収容能力) 入りうる 「動詞」

tú? トゥ pron あなたが 「主語」

「教科書なんて入れられないわよね！」

¡Mucho menos cabrán los libros de la escuela!》 《「副詞句」「動詞」「主語」》

¡Mucho menos ムチョ・メノス adv. (否定) ほとんど~ない、非常に少なく 「副詞句」

cabrán カブラン 3 複未・推量(caber)v.i 入り得る 「動詞」

los libros ロス・リブロス pl.n.m 本が 「主語」

de la escuela デ・ラ・エスケラ adj. 学校の 「形容詞句」

4 El Conejo envía un Pepito

この様にして、ある時は自分の主張の賛成者として、またある時は反対者として、こうやって真に迫った会話を組み立てながら、しばらくの間会話を続けました。

Así continuó durante algún rato, unas veces en favor y otras en contra de sus argumentos, y armando con todo ello una conversación muy seria.

Así アシ adv. この様に 「副詞」
 continuó コンチヌオ 3 単点(continuar)v.i 続けた 「動詞」
 durante algún rato, トゥランテ・アルゲン・ラト adv. しばらくの間 「副詞句」
 unas veces en favor ウナス・ベセス・エン・ファボール adv. ある時は賛成者として 「副詞句」
 y otras en contra イ・オTRAS・エン・コントラ adv. またある時は反対者として 「副詞句」
 de sus argumentos, デ・ス・アルグメントス adj. 彼女の主張の 「形容詞句」
 y イ conj. そして
 armando アルマント 現在分詞・同時(armar)v.t 組み立てながら 「副詞句」
 con todo ello コン・トド・エジョ adv. これで 「副詞句」
 una conversación ウナ・コンベルサシオン n.f 会話を 「目的語」
 muy seria. ムイ・セリア adj.f とても真面目な、真剣な 「形容詞句」

しかし数分後に、家の外で声が聞こえたので、会話を中断して耳を澄ませた。

Pero al cabo de unos minutos, oyó una voz fuera de la casa y se detuvo a escuchar.

Pero 「副詞句」, 「動詞」 「目的語」 「副詞句」 y 「動詞句」

Pero ペロ conj. しかし
 al cabo de アル・カボ・デ prep (時間) ~の後に 「副詞句」
 unos minutos, ウナス・ミヌトス pl.n.m 数分 「目的語」
 oyó オヨ 3 単点(oír)v.t ~が聞こえた 「動詞」
 una voz ウナ・ボス n.f ある声が 「目的語」
 fuera de la casa フェラ・デ・ラ・カサ adv. 家の外で 「副詞句」
 y イ conj. そして
 se detuvo a escuchar. セ・デトゥボ・ア・エスチャール 3 単点・停止(detenerse a+不定詞)
 v.pr 会話をやめて耳を澄ました 「動詞句」
 detenerse a+不定詞 「立ち止まって~する」 escuchar エスチャール v.i 耳を澄ます

4 El Conejo envía un Pepito

「メリーアン、メリーアン」と、声が言った。「すぐに手袋を持って来い！」

-¡Mariana! ¡Mariana! -decía la voz-. ¡Tráeme esos guantes en seguida!

《「呼びかけ」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」「目的語」「副詞句」》

-¡Mariana! ¡Mariana! マリア・マリア adv. メリーアン、メリーアン 「呼びかけ」

-decía デシア 3 単線(decir)v.t 言った 「動詞」

la voz-. ラ・ボス n.f 声が 「主語」

¡Tráeme トラエ・メ 命・2 単現(traer+me)v.t わしに持って来い 「動詞句」

esos guantes エス・グェンテス pl.n.m 手袋を 「目的語」

en seguida! エン・セギダ adv.(= enseguida) すぐに 「副詞句」

その後、階段を登る、とても小さな足音が聞こえました。

Después oyó el rumor de unos pasitos menudos que subían por la escalera.

「副詞」「動詞」「目的語」

Después デスプエス adv. そのあとで 「副詞」

oyó オヨ 3 単点(oír)v.t 聞こえた 「動詞」

el rumor エル・ルモール n.m 物音が 「目的語」

de unos pasitos デ・ウノス・パシトス adj. 小さな足音の 「形容詞句」

menudos メストス adj.pl 非常に小さい 「形容詞」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

subían スビアン 3 複線(subir)v.i 登っていく 「動詞」

por la escalera. ポル・ラ・エスカレラ adv. 階段を 「副詞句」

アリスはあのウサギが彼女を探しにやって来たことが分かったので、ひどく震えて家じゅうが揺れました。でも今ではアリスはウサギの 1000 倍も大きくなっていて、ウサギを恐れる必要がないことを忘れていたからでした。

Alicia sabía que era el Conejo, que venía en su busca, y empezó a temblar de tal manera que se sacudía toda la casa, olvidándose de que ahora era como mil veces mayor que el Conejo y no tenía por qué tenerle miedo.

「主語」「動詞」「目的語」 y 「動詞句」「副詞節」, 「副詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

sabía サビア 3 単線(saber)v.t 分かった 「動詞」

que ケ conj. ~ということ 「目的語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ~である 「動詞」

el Conejo, エル・コネホ n.m あのウサギ 「補語」

que ケ pron (主語) それ 「主語」

venía ベニア 3 単線(venir)v.i やって来た 「動詞」

4 El Conejo envía un Pepito

en su busca, エン・ス・ブスカ	adv. (目的) 彼女を探しに	「副詞句」
y イ conj.	そして	
empezó a temblar	エンペゾ・ア・テンブラール 3 単点・開始(empezar a+不定詞)	
v.i	震え始めた	「動詞句」
de tal manera que +直説法 テ・タル・マネラ・ケ	adv. それほどなので～	「副詞節」
se sacudía セ・サクディア	3 単線(sacudirse)v.pr 振るえた	「動詞句」
toda la casa, トダ・ラ・カーサ	n.f 家全体が	「主語」
olvidándose オルビダントセ	現在分詞・理由(olvidarse)adv. ～を忘れていたので	「副詞句」
de que テ・ケ	adv. ～ということ	「目的語」
ahora アオラ	adv. 今は	「副詞」
era エラ	3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である	「動詞」
como mil veces mayor	コモ・ミル・ベセス・マヨール adj. 1000 倍も大きい	「補語」
que ケ conj.	(比較) ～よりも	「副詞句」
el Conejo エル・コネホ	n.m ウサギ	「目的語」
y イ conj.	そして	
no tenía ノ・テニア	3 単線・否定(tener)v.t ～がない	「動詞句」
por qué ホル・ケ	pron 理由	「目的語」
tenerle テネール・レ	不定詞・目的	
adj.	彼に対して持つべき	「形容詞句」
miedo. ミエト	n.m 恐れを	「目的語」

ウサギがすぐに戸口にやってきて、戸を開けようとして、ところが、アリスの肘が戸口を押し付けていたので、ウサギががんばっても開けられませんでした。

El Conejo llegó casi en seguida a la puerta e intentó abrirla; pero como el codo de Alicia estaba fuertemente apoyado contra ella, sus esfuerzos resultaron en vano.

「主語」「動詞」「副詞句」 e 「動詞句」; pero 「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」		
El Conejo エル・コネホ	n.m ウサギは	「主語」
llegó ジェゴ	3 単点(llegar)v.i 到着した	「動詞」
casi en seguida カシ・エン・セギタ	adv. すぐに	「副詞句」
a la puerta ア・ラ・プエルタ	adv. 戸口に	「副詞句」
e エ conj.	そして	
intentó abrirla; インテント・アブリール・ラ	3 単点・試行(intentar+不定詞 abrir+la)	
v.t	戸を開けようとした	「動詞句」
pero ペロ conj.	しかし	
como コモ conj.	(理由) ～なので	「副詞節」
el codo de Alicia エル・コト・デ・アリシア	n.m アリスの肘が	「主語」

4 El Conejo envía un Pepito

estaba fuertemente apoyado エスタバ・フエルテメンテ・アポヤト 3 単線・受動(apoyar+ fuertemente)

v.t しっかり寄りかかっていた

「動詞句」

contra ella, コントラ・エジャ adv. 戸口に向かって

「副詞句」

ella は puerta の代用

sus esfuerzos スス・エスフエルツス pl.n.m ウサギの努力は

「主語」

resultaron レスルトロン 3 複点(resultar)v.i(+補語) ~の結果になった

「動詞」

en vano. エン・バノ adv. 無駄に

「補語」

アリスはウサギが独り言を言っているのを聞きました：「よし、それなら裏に回って、窓から入ってやろう」

Alicia oyó que decía para sí mismo: «Pues entonces daré la vuelta y entraré por la ventana». 「主語」「動詞」「目的語」：《「副詞句」「動詞」「目的語」 y 「動詞」「副詞句」》

Alicia アリシア n.f アリスは

「主語」

oyó オ 3 単点(oír)v.t 聞いた

「動詞」

que ケ conj. ~ということ

「目的語」

decía デシア 3 単線(decir)v.t (ウサギが) 言っている

「動詞」

para sí mismo: パラ・シ・ミソ 自分自身のために

「副詞句」

«Pues entonces プエス・エントンセス adv. それなら

「副詞句」

daré ダレ 1 単未・意思(dar)v.t (動作を) しよう

「動詞」

la vuelta ラ・ブエルタ n.f 一回り

「目的語」

y イ conj. そして

entraré エントレ 1 単未・意思(entrar)v.i 入ってやろう

「動詞」

por la ventana. ホル・ラ・ベンタナ adv. 窓から

「副詞句」

4 El Conejo envía un Pepito

「そうは、行かないわ!」と、アリスは考えた。そしてウサギが窓の真下にきた音が聞こえるまで待ってから、いきなり腕を伸ばして、手の届くあたりを捕まえる仕草をした。

«i Eso sí que no!», pensó Alicia, y después de esperar hasta que le pareció que oía al Conejo justo debajo de la ventana, alargó repentinamente el brazo e hizo ademán de atrapar lo que estuviera al alcance de su mano.

《「主語」「補語」》, 「動詞」「主語」,

y 「副詞句」, 「動詞」「副詞」「目的語」 e 「動詞」「目的語」

«i Eso エソ pron それは 「主語」
 sí シ adv. (肯定) その通り 「補語」
 que ケ conj. ~という (同格) 「形容詞節」
 no!», ノ adv. (否定) 違う (そうならない) 「補語」
 pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.i 考えた 「動詞」
 Alicia, アリシア n.f アリスは 「主語」
 y イ conj. そして
 después de esperar デスプ°エス・デ°エス°ラル adv. 待った後で 「副詞句」
 hasta que アスタ・ケ conj. ~ということまで 「副詞節」
 le レ pron 彼女に 「間接目的語」
 pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i ~のように思われる 「動詞」
 que ケ conj. ~ということが 「直接目的語」
 oía オイア 3 単線(oír)v.t 聞こえた 「動詞」
 al Conejo アル・コネホ n.m ウサギが 「目的語」
 justo debajo de la ventana, フスト・デバホ・デ°ラ・ベンタナ
 adv. 窓の真下で 「副詞句」
 alargó アラルゴ° 3 単点(alargar)v.t (手を) 伸ばした 「動詞」
 repentinamente レピンタメンテ adv. 突然、不意に 「副詞」
 el brazo エル・ブラソ n.m 腕を 「目的語」
 e エ conj. そして
 hizo イ 3 単点(hacer)v.t (動作を) した、作った 「動詞」
 ademán アデマン n.m しぐさを 「目的語」
 de atrapar デ°アトラパ°ール 不定詞・目的 adj. ~を捕まえる 「形容詞句」
 lo ロ pron それを 「目的語」
 que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 estuviera エストゥビエラ 接・3 単過・推量・存在(estar)
 v.i ~にあるだろう 「動詞」
 al alcance アル・アルカンセ adv. 距離に、範囲に 「副詞句」
 de su mano. デ°ス・マノ

4 El Conejo envía un Pepito

adj. 彼女の手の

「形容詞句」



何も掴めませんでした、途切れ途切れの金切り声や、何かが倒れる音や、ガラスの割れる大きな音が聞こえたので、ウサギが温室か何かの上に落ちたのだろうと思いました。

No alcanzó a dar con nada, pero sí oyó un chillido entrecortado, algo que caía y un gran estrépito de cristales rotos de lo que dedujo que el Conejo había caído sobre un invernadero o algo por el estilo.

「動詞句」「間接目的語」,pero「動詞句」「目的語」,(de lo que)「動詞」「目的語」
No alcanzó a dar ノ・アルカンゾ・ア・ダール 3 単点・可能・否定(alcanzar a+不定詞)

v.i(con を) 掴めなかった

「動詞句」

dar con... 「～を掴む、探し当てる」

con nada, コン・ナダ adv. 何も～ない

「間接目的語」

pero ペロ conj. しかし

sí oyó シ・オヨ 3 単点・強調(oír+ sí)v.t (確かに) 聞こえた

「動詞句」

un chillido ウン・チジト n.m 金切り声

「目的語」

entrecortado, エントレコルタド adj. とぎれとぎれの

「形容詞」

algo アルコ pron 何かを

「目的語」

que ケ pron (同格) ～する

「形容詞節」

caía カイア 3 単線(caer)v.i 倒れる

「動詞」

y イ conj. そして

un gran estrépito ウン・グラン・エストレピト n.m 大きな音

「目的語」

de cristales テ・クリスタレス adj. ガラスの

「形容詞句」

rotos, ロトス adj.m.pl 壊れた

「形容詞」

4 El Conejo envía un Pepito

de lo テ・ロ adj. そのの 「形容詞句」

que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

dedujo デト・ユ 3 単点(deducir)v.t 推論した 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

el Conejo エル・コネホ n.m ウサギが 「主語」

había caído アビ・ア・カイト 3 単線・完了形(caer)

v.i 落ちた、倒れた 「動詞句」

sobre un invernadero ソブレ・ウン・インベルナデロ

adv. 温室の上に 「副詞句」

o オ conj. それとも

algo アルゴ pron 何か 「副詞句」

por el estilo. ホル・エル・エスチロ

adv. 似たような、同じような 「副詞句」

私が～と推察した大きな音が聞こえた → (結果) それで、私は～と推測した

その後で、すごく怒った声が聞こえました。ウサギが呼んでいたのです：「パコ、パコ。どこにいるんだ」、それからアリスがその時まで聞いたことのない別の声が聞こえました：

Después se oyó una voz muy airada -era el Conejo, que llamaba: «¡Paco! ¡Paco! ¿Dónde estás?»-, y luego otra que Alicia no había oído hasta entonces:

「副詞」「動詞句」「主語」, 「動詞」「補語」:

《「呼びかけ」「副詞」「動詞」》, y 「副詞」「主語」

Después デスプ・エス adv. 次に、そのあとで 「副詞」

se oyó セ・オ 3 単点(oírse)v.pr 聞こえた 「動詞句」

una voz ウナ・ボス n.f 声が 「主語」

muy airada マイ・アイラダ adj.f(airado) とても怒った 「形容詞句」

-era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」

el Conejo, エル・コネホ n.m ウサギ 「補語」

que llamaba: ケ・ジャマバ adj. 呼んでいた 「形容詞節」

«¡Paco! ¡Paco! パコ・パコ n.m パコ、パコ 「呼びかけ」

¿Dónde トンデ adv. どこに 「副詞」

estás?»-, エスタス 2 単現・存在・疑問文(estar)v.i いるんだ? 「動詞」

y イ conj. そして

luego ルエゴ adv. それから 「副詞」

otra オトラ pron(voz の代用) 別の声が 「主語」

que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

4 El Conejo envía un Pepito

no había oído ノ・アビ・ア・オイト 3 単線・完了形・否定(oír)

v.t 聞いたことがない

「動詞句」

hasta entonces: アスタ・エントネス adv. その時まで

「副詞句」

「ここです、旦那様！もちろん、あなたの許可を得てリンゴを掘っていますよ」

-¡Aquí estoy!, señor, y ¡cómo no! cavando manzanas, con el permiso del señor.

《「副詞」「動詞」「呼びかけ」, y 「副詞句」「動詞」「目的語」「副詞句」》

-¡Aquí アキ adv. ここに

「副詞」

estoy!, エストイ 1 単現・存在(estar)v.i 〜にいる

「動詞」

señor, セニョール n.m ご主人様

「呼びかけ」

y イ conj. そして

¡cómo no! コモ・ノ adv. もちろん

「副詞句」

cavando カバント 現在分詞(cavar)v.t 掘っている

「動詞」

manzanas, マンサス pl.n.f リンゴを

「目的語」

con el permiso del señor. コン・エル・ペルミソ・デル・セニョール adv. あなたの許可を得て

「副詞句」

「リンゴを掘っているだと？本当に！」と、ウサギはいらいらして言い返した。

-¡Cavando manzanas! ¡Tenía que ser!... -replicó irritado el Conejo-.

《「動詞」「目的語」 | 「応答」》, 「動詞」「副詞」「主語」

-¡Cavando カバント 現在分詞(cavar)v.t 掘っている

「動詞」

manzanas! マンサス pl.n.f リンゴを

「目的語」

¡Tenía que ser!... テニア・ケ・セル 3 単線・必然・譲歩(tener que+不定詞)v.i 本当か！

「応答」

-replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.i 言い返した

「動詞」

irritado イリタド 過去分詞(irritar)adj. (副詞的) イライラして

「副詞」

el Conejo. エル・コネホ n.m ウサギは

「主語」

「ここに来て、ここから出るのを手伝え！」、さらにガラスの割れる音。

¡Ven aquí y ayúdame a salir de esto! -más ruido de cristales rotos-.

《「動詞」「副詞」 y 「動詞句」「補語」》, 「主語」

¡Ven ベン 命・2 単現(venir)v.i 来い

「動詞」

aquí アキ adv. ここに

「副詞」

y イ conj. そして

ayúdame アジュダ・メ 命・2 複現(ayudar+me)v.t 俺を手伝え

「動詞句」

a salir ア・サール 不定詞・me の動作 v.i(de から) 出る

「補語」

de esto! デ・エスト adv. ここから

「副詞句」

-más ruido マス・ルト n.m さらに音

「主語」

4 El Conejo envía un Pepito

de cristales rotos-. テ・クリス・タレス・ロトス adj. ガラスの割れた 「形容詞句」

「さて、パット、教えてくれ。あの窓のところにあるものは、いったい何なんだ？」

Ahora dime, Paco: ¿qué es eso que hay en la ventana?

《「呼びかけ」「動詞句」「呼びかけ」:「補語」「動詞」「主語」》

Ahora アハ adv. 今度は、さて 「呼びかけ」

dime, デイメ 命・2 単現(decir+me)v.t 私に言え 「動詞句」

Paco: パコ n.m パット 「呼びかけ」

¿qué ケ pron 何 「補語」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

eso エソ pron あれは 「主語」

que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

hay アイ 3 単現(haber)v.t ~がある 「動詞」

en la ventana? エン・ラ・ベンタナ adv. 窓に 「副詞句」

「えーと、旦那様。腕みたいですけど」と言ったつもりが、「うじえ」と発音してしまった。

-Pues verá el señor, ¡como que es un brazo! -lo pronunciaba «brasso».

《Pues 「動詞」「呼びかけ」, 「副詞節」, 「目的語」「動詞」, 《「補語」》

-Pues プエス conj. (言いよどみ) えーと

verá ベラ 3 単未・推量(ver)v.t 分るでしょう 「動詞」

el señor, エル・セニョール n.m 旦那様 「呼びかけ」

¡como que コモ・ケ conj. ~であるかのように 「副詞節」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

un brazo! ウン・ブラソ n.m 腕 「補語」

-lo ロ pron それを 「目的語」

pro-nunciaba プロ・ンシアバ 3 単線(pronunciar)v.t 発音した 「動詞」

«brasso». ブラッソ n.m 「うじえ」 「補語」

「腕だと！馬鹿な事を言うな！あんなでかい腕があるか？窓全体を塞いでいるんだぞ！」

-¡Un brazo! ¡Zoquete! ¿Quién ha visto nunca un brazo de ese tamaño? ¡Pero si ocupa toda la ventana! 《「感嘆」「間投」 | 「主語」「動詞句」「目的語」 | Pero si 「動詞」「目的語」》

-¡Un brazo! ウン・ブラソ n.m 腕だって！ 「感嘆」

¡Zoquete! ソケテ adj. (副詞的) 馬鹿なことを言うな！ 「間投」

¿Quién キエン pron 誰が 「主語」

ha visto nunca ア・ビスト・ンカ 3 単現・完了形・否定(ver)v.t 見たことがない 「動詞句」

un brazo ウン・ブラソ n.m 腕を 「目的語」

4 El Conejo envía un Pepito

de ese tamaño? テ・エセ・タマニョ adj. あの大きさの 「形容詞句」
 ¡Pero si ペロ・シ conj. (文頭で驚き・強調) なんと
 ocupa シ・オカ 3 単現(ocupar)v.t 占領している 「動詞」
 toda la ventana! トダ・ラ・ベンタ n.f 窓全体を 「目的語」

「はい、旦那様のおっしゃる通りです。けれど、あれは腕に違いありませんよ！」

-¡Y cuánta razón que tiene el señor!, pero ¡que me parta un mal rayo si eso no es un brazo!
 《Y 「応答」, pero 「目的語」「動詞」「主語」「副詞節」》

-¡Y イ conj. そして
 cuánta razón クワンタ・ラソ n.f まったく正しい、十分な理由 「応答」
 que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 tiene テイエネ 3 単現(tener)v.t 持つ 「動詞」
 el señor!, エル・セニョール n.m 旦那様は 「主語」
 pero ペロ conj. しかし
 ¡que ケ conj. (会話の文頭で、強調)
 me メ pron 私を 「目的語」
 parta パルタ 3 単現(partir)v.t 切り裂く 「動詞」
 un mal rayo ウン・マル・ラーヨ n.m 悪い光線が 「主語」
 mal rayo me parta ひどい目に会うところだ
 si シ conj. もし～ならば 「副詞節」
 eso エソ pron あれが 「主語」
 no es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ～でない 「動詞」
 un brazo! ウン・ブラソ n.m 腕 「補語」
 → 副詞節の内容を強く否定する

「そうか、それなら、あんなものがあの上にあってはならない。行って、どかしてこい」

-Bueno, pues sea lo que sea no tiene por qué estar allí arriba, de forma que ianda y quítalo de ahí!
 《「応答」「副詞節」, 「動詞句」「副詞句」, 「命令」》
 -Bueno, ブエノ int. 分かった、そうか 「応答」
 pues プエス conj. (条件) ～ならば 「副詞節」
 sea セア 接・3 単現・假定(ser)v.i ～である 「動詞」
 lo ロ pron それ、そう 「補語」
 que ケ pron (補語) ～する 「形容詞節」
 sea セア 接・3 単現・假定(ser)v.i ～である 「動詞」
 no tiene por qué estar ノ・ティエネ・ホル・ケ・エスタール 3 単現・禁止(tener que+不定詞)
 v.i あってはならない、いてはならない 「動詞句」

4 El Conejo envía un Pepito

tener por qué+不定詞 = tener que+不定詞 ~しなければならない	
allí arriba, アジ・アリーハ adv. あの上に	「副詞句」
de forma que+接続法 テ・フォルマ・ケ conj. ~するように	「命令」
janda アンダ 命・2 単現(andar)v.i 行け	「動詞」
接続法の代わりに命令法を使用している	
y イ conj. そして	
quítalo キタ・ロ 命・2 単現(quitar+lo)v.t あれを取り除け	「動詞句」
de ahí! デ・アイ adv. そこから	「副詞句」

この後、長い沈黙がありましたが、アリスは時々かすかなひそひそ話だけは聞き取れました。何かがこのように言われていました。「本気ですか、旦那様？わたしはそんなことはいやですよ。いやなものはいやですよ」

Después de esto hubo un largo silencio y Alicia sólo pudo oír un leve cuchicheo de vez en cuando; se estaban diciendo algo así como «De veras, señor, que no me gusta eso nada, ¡pero es que nada!»

「副詞句」「動詞」「目的語」 y 「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」;	
「動詞句」「主語」「副詞句」	
《「呼びかけ」 que 「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「主語」 pero 「動詞句」「補語」》	
Después de esto デスプ・エス・デ・エスト adv. この後	「副詞句」
hubo ウハ 3 単点(haber)v.t ~があった	「動詞」
un largo silencio ウン・ラルゴ・シレンシオ n.m 長い沈黙が	「目的語」
y イ conj. そして	
Alicia アリシア n.f アリスは	「主語」
sólo ソロ adv. ~だけ	「副詞」
pudo oír プド・オイール 3 単点・可能(poder+不定詞)v.t 聞くことができた	「動詞句」
un leve cuchicheo n.m かすかなひそひそ話	「目的語」
leve レベ adj. かすかな、弱い、軽い cuchicheo クチケオ n.m ひそひそ話	
de vez en cuando; テ・ベス・エン・クワント adv. 時々	「副詞句」
se estaban diciendo セ・エスタバン・デ・イシエント 3 複線・進行形・再帰受動(decirse) v.pr 言われていた	「動詞句」
algo アルゴ pron 何か	「主語」
así como アシ・コモ adv. このように	「副詞句」
«De veras, señor, で・ベラス・セニョール adv. 本気ですか？旦那様	「呼びかけ」
que ケ conj. 強調	
no ...gusta ノ...グスタ 3 単現・否定(gustar)v.i 気に入らない、いやだ	「動詞句」
me メ pron 私にとって	「間接目的語」

4 El Conejo envía un Pepito

eso エソ pron	それは	「主語」
nada, ナダ pron	何も～ない	「主語」
pero ペロ conj.	しかし	
es que エス・ケ 3 単現(ser)v.i	～ということである	「動詞」
nada! ナダ pron	何もない	「補語」

「お前に言ったことをやれ！臆病者め！」ついに、アリスはまた腕を伸ばし、空中で大きく手を振り回しました。

«¡Haz lo que te digo! ¡Cobarde!» Por último, Alicia volvió a alargar el brazo y manoteó en el aire.

《「動詞」「目的語」 | 「呼びかけ」》

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」 y 「動詞句」「副詞句」

¡Haz アス 命・2 単現(hacer)v.t	やれ	「動詞」
lo ロ pron	それを	「目的語」
que te digo! ケ・テ・デゴ adj.	お前に言った	「形容詞節」
¡Cobarde!» コバルデ adj.	臆病者め！	「呼びかけ」
Por último, ポル・ウルティモ adv.	最後に、結局	「副詞句」
Alicia アリシア n.f	アリスは	「主語」
volvió a alargar ボルビエ・ア・アラガール 3 単点・再度(volver a+不定詞)		
v.t (手などを) また伸ばした		「動詞句」
el brazo エル・ブラソ n.m	腕を	「目的語」
y イ conj.	そして	
manoteó マノテオ 3 単点(manotear)v.i (大げさな) 手振りをした		「動詞句」
en el aire. エン・エル・アイレ adv.	空中で	「副詞句」

今度は、小さい金切り声が 2 つと、またガラスの割れる音が聞こえました。

Esta vez se oyeron dos pequeños chillidos y más ruido de cristales rotos.

「副詞句」「動詞句」「主語」

Esta vez エスタ・ベズ adv.	今度は、今回は	「副詞句」
se oyeron セ・オイエロン 3 複点(oírse)v.pr (音が主語) ～が聞こえた		「動詞句」
dos pequeños chillidos トス・ペケニョス・チジトス pl.n.m	2 つの小さい金切り声が	「主語」
y イ conj.	そして	
más ruido マス・ルイド n.m	さらに音が	「主語」
de cristales デ・クリスタレス adj.	ガラスの	「形容詞句」
rotos. ロトス adj.m.pl	壊れた	「形容詞」

4 El Conejo envía un Pepito

「その温室にはガラス窓がたくさんあるに違いないわ」と、アリスは考えた。「今度は、何をしようと企んでいるのかしら？」

«¿Cuántas vidrieras debe de tener ese invernadero! -pensó Alicia-. Me pregunto qué intentarán hacer ahora.

《「目的語」「動詞句」「主語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」「目的語」》

«¿Cuántas vidrieras クォンタス・ビドリエラス pl.n.f いくつものガラス窓を 「目的語」

debe de tener デベ・デ・テネル 3 単現・推定(deber de+不定詞)

v.t 持っているに違いない 「動詞句」

deber de+不定詞 「～するに違いない」(最近では de が省略されることが多い)

ese invernadero! エ・インベルナデロ n.m その温室は 「主語」

-pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.i 考えた 「動詞」

Alicia-. アリシア n.f アリスは 「主語」

Me pregunto メ・プレグント 1 単現(preguntarse)v.pr 心の中で思う 「動詞句」

qué ケ pron 何を～するかということ 「目的語」

intentarán hacer インテンタラン・アセル 3 複未・企て(intentar+不定詞)

v.t しようと考えている 「動詞」

ahora. アウ adv. 今度は 「副詞」

私を窓から引っ張り出すつもりなら、まあ、うまく出来たらいいわね！だって、私はこの中にいることにうんざりしてしまったから！

En cuanto a sacarme por la ventana, ¡ya quisiera que pudieran hacerlo! Lo que es yo, ¡estoy harta de estar aquí dentro!»

「副詞句」, 「間投」「動詞」「目的語」 | 「主語」「補語」「動詞」「補語」

En cuanto a エン・クワント・ア prep (関連) ～に関して 「副詞句」

sacarme サカル・メ 不定詞・名詞化(sacar+me)n. 私を引っ張り出すこと 「目的語」

por la ventana, ポル・ラ・ベンタ adv. (場所) 窓から 「副詞句」

¡ya ヤー adv. (間投詞的) まあ 「間投」

quisiera キシエラ 接・1 単過・願望(querer)v.t(que ～ということ) であれば良いと思う「動詞」

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

pudieran hacerlo! プデ・イエラン・アセル・ロ 接・3 複過・假定・可能(poder+不定詞)

v.t それが出来たら 「動詞句」

Lo ロ pron それは 「主語」

que ケ conj. (内容は yo 以降) ～ということ 「補語」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

yo, ジョ pron 私は～ 「補語」

¡estoy エストイ 1 単現(estar)v.i ～である 「動詞」

4 El Conejo envía un Pepito

harta アルタ adj.f(de+名詞・不定詞・que+接続法 (に) 飽きた 「補語」
 de estar デ・エスタール 不定詞・理由 adv. 〜にいることに 「副詞句」
 aquí dentro! アキ・デントロ adv. この中に 「副詞句」

しばらくの間は、もう何も聞こえないままで待っていました。

Esperó durante algún tiempo sin oír nada más. 「動詞」「副詞句」
 Esperó エスぺロ 3 単点(esperar)v.i 待っていた 「動詞」
 durante algún tiempo ドゥランテ・アルグン・ティエンポ adv. しばらくの間 「副詞句」
 sin +不定詞 シン adv. 〜せずに 「副詞句」
 oír オイル 不定詞 v.t 聞こえる 「動詞」
 nada más. ナダ・マス pron. もう何も〜ない 「目的語」

やっと、小さな手押し車の転がる音と、大勢が話し合っている声が聞こえました。

Por fin escuchó el rodar de pequeñas carretelas y el rumor de muchas voces que hablaban al tiempo. 「副詞句」「動詞」「目的語」
 Por fin ポール・フィン adv. ついに、最後には、やっと 「副詞句」
 escuchó エスクチョ 3 単点(escuchar)v.t 聞こえた 「動詞」
 el rodar エル・ロダール n.m 転がる音が 「目的語」
 de pequeñas carretelas デ・ペケニャス・カレテラス adj. 小さな手押し車の 「形容詞句」
 pequeñas carretelas → carretilla de mano または carretón de mano 手押し車
 y イ conj. そして
 el rumor エル・ルモール n.m 物音が 「目的語」
 de muchas voces デ・ムチャス・ボセス adj. 大勢の人声の 「形容詞句」
 que ケ pron.pl (主語) 〜する 「形容詞節」
 hablaban アブラバン 3 複線・時制の一致(hablar)
 v.i 話す 「動詞」
 al tiempo. アル・ティエンポ adv. 同時に 「副詞句」
 hablar al tiempo 同時に話す → 話し合う

4 El Conejo envía un Pepito

彼らの話が理解できた：「もう一つのはしごはどこにあるんだ?... おい！彼らは僕に一つだけ持ってきたと言っていた」

Pudo entender que decían: «¿Dónde está la otra escalera?... ¡Anda! A mí sólo me dijeron que trajera una.

「動詞句」「目的語」：《「副詞」「動詞」「主語」 | 「呼びかけ」

「間接目的語」「副詞」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》

Pudo entender プト・エンテンデール 3 単点・可能(poder+不定詞)v.t 理解できた 「動詞句」

que decían: ケ・デシオン pron 言っていることを 「目的語」

«¿Dónde トンデ adv. どこに 「副詞」

está エスタ 3 単現(estar)v.i 〜がある 「動詞」

la otra escalera?... ラ・オトラ・エスカレラ n.f もう一つの梯子は 「主語」

¡Anda! アンダ 命・2 単現(andar)adv. おい、さあ 「呼びかけ」

A mí ア・ミ adv. 私にとって 「間接目的語」

sólo ソロ adv. 〜だけ 「副詞」

me メ pron 私に 「間接目的語」

dijeron デイヘロン 3 複点(decir)v.t 言った 「動詞」

que ケ conj. 〜ということ 「直接目的語」

trajera トラヘラ 接・3 単過(traer)v.t 持ってきた 「動詞」

una. ウナ pron 1 つを 「目的語」

「もう一つは、ちび助が持っているだろう。おいちび助！それをここに持ってこい！... よしよし、それをこの隅に置け...」

La otra la tendrá Pepito... ¡Pepito! ¡Tráela aquí, chico!... ¡Ea! Ponías aquí, en este rincón...

《「目的語」「動詞」「主語」...「呼びかけ」 | 「動詞句」「副詞句」「呼びかけ」

「間投」 | 「動詞」「副詞句」》

La otra ラ・オトラ pron.f もう一つは 「目的語」

la ラ pron.f それを 「目的語」

tendrá テントラ 3 単未・推量(tener)v.t 持っているだろう 「動詞」

Pepito... ペピート n.m 小僧が、ちび助が 「主語」

¡Pepito! ペピート adv. ちび助 「呼びかけ」

¡Tráela トラエラ 命・2 単現(traer+la)v.t それを持ってこい 「動詞句」

aquí, アキ adv. ここに 「副詞句」

chico!... チコ n.m ちび助 「呼びかけ」

¡Ea! エア int. よしよし 「間投」

Ponías ポニャス 2 単線・命令(poner)v.t 持ってこい 「動詞」

aquí, アキ adv. ここに 「副詞」

en este rincón... エン・エステ・リンコン adv. この隅に 「副詞句」

4 El Conejo envía un Pepito

「そうじゃない！最初に、つなぐんだよ！それじゃあ、半分も届かないだろう... ばかもん」

¡No! Hay que atarlas juntas primero... Así no llegarán ni a la mitad... ¡Bah!

《「間投」 | 「動詞句」「副詞句」 | 「副詞」「動詞句」「副詞句」 | 「間投」》

¡No! / adv. 違う！そうじゃない！

「間投」

Hay que atarlas アイ・ケ 非人称・3 単現・必要(haber que+不定詞 atar+las)

v.t それを縛らなきゃいけない

「動詞句」

atar アタル v.t (縄などで) 縛る、つなぐ

juntas フタス adj(junto).f 一緒に

「副詞」

primero... プリメロ adv. まず、最初に

「副詞」

Así アシ adv. それでは

「副詞」

no llegarán ノ・ジェガラン 3 複未・推量・否定(llegar)v.i とどかないだろう

「動詞句」

ni a la mitad... ニ・ア・ラ・ミタ adv. 半分にも～ない

「副詞句」

¡Bah! バー int/ (軽蔑) ばかもん

「間投」

「それなら、十分だろう！しつこくするな！」

¡Así basta y sobra! ¡No te pongas pesado!...

《「副詞句」 | 「動詞句」「補語」》

¡Así アシ adv. それなら

「副詞」

basta y sobra! バスタ・イ・ソブラ adv. 大雑把に余るほどだ

「副詞句」

basta バスタ adj(basto).f 粗雑な sobra ソブラ n.f 超過、過剰

¡No te pongas ノ・テ・ポンガス 命・2 複現・否定(ponerse)v.pr ～になるな

「動詞句」

pesado!... ペサド adj. しつこい、理屈っぽい

「補語」

「おい、ちび助！このロープにしっかりつかまれ...」

¡Hala! Pepito, agárrate bien de esta cuerda...

《「呼びかけ」「動詞句」「副詞」「間接目的語」》

¡Hala! アラ int. おい！

「呼びかけ」

Pepito, ペピート n.m ちび助

「呼びかけ」

agárrate アガラ・テ 命・2 単現(agarrarse)v.pr(de に) つかまれ、しがみつけ

「動詞句」

bien ビエン adv. しっかり

「副詞」

de esta cuerda... テ・エスタ・クエルダ adv. このロープに

「間接目的語」

cuerda クエルダ n.f なわ、ロープ

4 El Conejo envía un Pepito

「屋根が耐えられるだろうか？その緩んだかわらに気をつけろ！」

¡Aguantaré el tejado?... ¡Cuidado con esa teja suelta!... 《「動詞」「主語」 | 「副詞句」》
 ¡Aguantaré アグアンタラ 3 単未・推量(aguantar)v.t 耐えられるだろうか？ 「動詞」
 el tejado?... エル・テハト^テ n.m 屋根が 「主語」
 ¡Cuidado クイダト^ト 過去分詞・注意喚起 adv.(con に) 注意しろ 「副詞句」
 con コン prep (関心) 〜に 「副詞句」
 esa teja エサ・テハ n.f そのかわら、瓦 「目的語」
 suelta!... スェルタ adj.f 緩んだ 「形容詞」

「ああ！何か落ちたぞ！」「頭に気をつけろ！」(そして大きな墜落の音が鳴り響いた)

¡Eh, que se cae! ¡Cuidado con la cabeza! -y sonó una fuerte caída...
 《「感嘆」「主語」「動詞句」》 | 《「呼びかけ」 y 「動詞」「主語」》
 ¡Eh, エー int. あー 「感嘆」
 que ケ pron 何かが 「主語」
 se cae! セ・カエ 3 単現(caerse)v.pr 落ちた 「動詞句」
 ¡Cuidado クイダト^ト n.m (命令) (+con に) 気をつけろ！ 「呼びかけ」
 con la cabeza! コン・ラ・カベサ adv. 頭に 「間接目的語」
 -y イ conj. そして
 sonó ソノ 3 単点(sonar)v.i 音を立てた、鳴り響いた 「動詞」
 una fuerte caída... ウナ・フエルテ・カイダ^ダ n.f 大きな墜落が 「主語」
 fuerte フエルテ adj.強い caída カイダ^ダ n.f 落下

「なんだ！誰だ、音をたてたのは？... ちび助だろうね...」

¡Vaya! ¡Quién hizo eso?... Habrá sido Pepito...
 《「間投」 | 「主語」「動詞」「目的語」 | 「動詞句」「補語」》
 ¡Vaya! バヤ int.(ir) (不快・抗議) どうした！、なんだ！ 「間投」
 ¡Quién キエン pron 誰が 「主語」
 hizo イノ 3 単点(hacer)v.t (音を) たてた 「動詞」
 eso?... エソ pron あの音を 「目的語」
 Habrá sido アブラ・シト^ト 3 単未・完了形・推測(ser)v.i 〜だろう 「動詞句」
 Pepito... ペピート n.m ちび助 「補語」

4 El Conejo envía un Pepito

「誰が煙突から入っていくんだ？俺か？」

¿Quién va a bajar por la chimenea?... ¿Yo? 《「主語」「動詞句」「副詞句」...「確認」》

¿Quién キエン pron 誰が 「主語」

va a bajar バ・ア・バ ハール 3 単現・近接未来(ir a+不定詞)

v.i 降りていく 「動詞句」

por la chimenea?... ホル・ラ・チメネア adv. 煙突から、煙突を通して 「副詞句」

¿Yo? ショ pron 俺か？ 「確認」

「とんでもない！お前がやれ！お前は用意ができてい、いつでも！おいちび助！ここに
来い！ご主人が、お前が降りなければならないと言っているぞ！」

¡Ni hablar! ¡Hazlo tú!... ¡Estás listo! ¡Cualquier día!... ¡Pepito! ¡Ven acá! El amo dice que
tienes que bajar por la chimenea...».

《「間投」 | 「動詞句」「主語」...「動詞句」「補語」 | 「副詞句」 | 「呼びかけ」

「動詞」「副詞」 | 「主語」「動詞」「目的語」》

¡Ni hablar! ニ・アブラール int. 論外だ、とんでもない 「間投」

¡Hazlo アス・ロ 命・2 単現(hacer+lo)v.t それをやれ 「動詞句」

tú!... トゥ pron お前が 「主語」

¡Estás エスタス 2 単現(estar)v.i ~である 「動詞」

listo! リスト adj. 用意のできた 「補語」

¡Cualquier día!... クワルクエル・デイア adv. いつでも 「副詞句」

¡Pepito! ペピート n.m おいちび助 「呼びかけ」

¡Ven ベン 命・2 単現(venir)v.i 来い 「動詞」

acá! アカ adv. ここに 「副詞」

El amo エル・アモ n.m 主人が 「主語」

dice デイセ 3 単現(decir)v.t 言っている 「動詞」

que ケ conj. ~ということを 「目的語」

tienes que bajar テイエネス・ケ・バ ハール 2 単現・必要(tener que+不定詞 bajar)

v.i 降りなければならない 「動詞句」

por la chimenea...». ホル・ラ・チメネア adv. 煙突から 「副詞句」

4 El Conejo envía un Pepito

「なるほど！」と、アリスは心の中で思った。「結局、煙突を通して降りるのは、ちび助の役目になったということね！」

«i Ajá! se dijo Alicia. ¡Conque le ha tocado a Pepito bajar por la chimenea!
 《「間投」》, 「動詞句」「主語」, 《Conque 「間接目的語」「動詞句」「間接目的語」「主語」》
 «i Ajá! アハ int. なるほど 「間投」
 -se dijo セ・デ・ヨ 3 単点(decirse)v.pr 心の中で思った 「動詞句」
 Alicia-. アリシア n.f アリスは 「主語」
 ¡Conque コンケ conj. 結局
 le レ pron 彼にとって 「間接目的語」
 ha tocado ア・トカド 3 単現・完了形(tocar)v.i(a に) (役割が) 当たった 「動詞句」
 a Pepito ア・ペピト adv. ちび助に 「間接目的語」
 bajar バハル 不定詞 n. 降りることは 「主語」
 por la chimenea! ポル・ラ・チメネア adv. 煙突を通して 「副詞句」

「みんながあのちび助に役割を押し付けているみたいね；あのちび助にはなりたくないわ。」

Parece que a ese Pepito lo cargan con todo; no me cambiaría con él por nada del mundo.

《「動詞」「補語」；「動詞句」「副詞句」》

Parece パレセ 3 単現(parecer)v.i ~のように見える 「動詞」
 que ケ conj. ~ということが 「補語」
 a ese Pepito ア・エセ・ペピト adv. あのちび助に 「間接目的語」
 lo ロ pron それを (役目を) 「直接目的語」
 cargan カガソ 3 複現(cargar)v.t 負わせる、積み込む 「動詞」
 con todo; コン・トド adv. みんなで 「副詞句」
 no me cambiaría ノ・メ・カンビアリア 1 単過未・願望・否定(cambiarse)
 v.pr(con と) 交代したくない 「動詞句」
 con él コン・エル adv. 彼とは 「副詞句」
 por nada del mundo. ポル・ナダ・デル・ムント adv. どんなことがあっても 「副詞句」

「確かに、この煙突はせまいわね。でも、少し位なら蹴飛ばせると思うわ」

Desde luego que esta chimenea es estrecha, pero me parece que a pesar de todo podré dar alguna que otra patada.» 《「副詞句」,pero 「間接目的語」「動詞」「主語」》

Desde luego デス・デ・ルエゴ adv. もちろん、確かに 「副詞句」
 que ケ conj. (同格) ~ということは 「形容詞節」
 esta chimenea エスタ・チメネア n.f この煙突は 「主語」
 es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」
 estrecha, エストレチャ adj(estrecho).f 狭い、窮屈な 「補語」

4 El Conejo envía un Pepito

pero	ペロ conj.	しかし	
me	メ pron	私には	「間接目的語」
parece	パレセ 3 単現(parecer)v.i	～に見える	「動詞」
que	ケ conj.	～ということが	「主語」
a pesar de todo	ア・ペサル・デ・トト adv.	それでも、結局	「副詞句」
podré dar	ポドレ・ダール 1 単未・可能(poder+不定詞)v.t	与えられるだろう	「動詞句」
alguna que otra patada.»	アルグナ・ケ・オトラ・パタダ n.f	多少の蹴りを	「目的語」
alguno que otro+	単数名詞	「わずかの～、1 つ 2 の～」	

アリスは脚を折り曲げて、煙突の中でできるだけ下まで足を降ろした。

<u>Alicia</u>	<u>dobló</u>	<u>la pierna</u>	<u>e</u>	<u>hizo</u>	<u>que descendiera</u>	<u>su pie</u>	<u>lo más bajo</u>	<u>que pudo</u>	<u>dentro de la chimenea;</u>	
Alicia	アリシア	n.f	アリスは							「主語」「動詞」「目的語」 e 「動詞」「目的語」
dobló	ドブレ	3 単点(doblar)v.t	折り曲げた							「動詞」
la pierna	ラ・ピエルナ	n.f	脚を							「目的語」
e	エ conj.	そして								
hizo	イ	3 単点・使役(hacer)v.t(que+接続法	～するように) させた							「動詞」
que	ケ conj.	～ということを								「目的語」
descendiera	デスセンディエラ	接・3 単過(descender)v.i	降りる、下がる							「動詞」
su pie	ス・ピエ	n.m	足が							「主語」
lo más bajo	ロ・マス・バホ	adv.	一番下に							「副詞句」
que	ケ pron	(目的語) ～する								「形容詞節」
pudo	プト	3 単点(poder)v.t	出来る							「動詞」
dentro de la chimenea;	デントロ・ラ・チメネア									
adv.	煙突なので									「副詞句」

4 El Conejo envía un Pepito

それから、(どんな生き物なのか分からなかったけれど) 小さい動物を待ち構えていました。
やがて、アリスのすぐ上の煙突の中から、こする音が聞こえてきました。

luego se quedó aguardando al pequeño animalito (no podía imaginarse qué criatura sería), hasta que pronto oyó un rascar y un rozar dentro de la chimenea, justo encima de ella. 「副詞」「動詞句」「副詞句」「動詞句」「目的語」, 「副詞節」

luego ルエゴ adv. それから 「副詞」

se quedó セ・ケド 3 単点(quedarse)v.pr とどまっていた 「動詞句」

aguardando アグアルダント 現在分詞・様態(aguardar)adv.(a を) 待つ 「副詞句」

al pequeño animalito アル・ペ・ケニョ・アニマリト adv. 小さい動物を 「間接目的語」

(no podía imaginarse ノ・ポ・デア・イマヒナセ 3 単線・可能・否定(poder+不定詞)

v.pr 想像できなかった 「動詞句」

qué criatura ケ・クリアトゥラ n.f どんな生き物が～ということ 「目的語」

sería), セリア 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～がいる 「動詞」

hasta que アスタ・ケ conj. そして～する、～するまで 「副詞節」

pronto プロント adv. やがて 「副詞」

oyó オ 3 単点(oír)v.t 聞こえた 「動詞」

un rascar ウン・ラスカル n.m こする音が 「目的語」

y イ conj. そして

un rozar ウン・ロサル n.m こする音が 「目的語」

dentro de la chimenea, デントロ・デ・ラ・チメネア adv. 煙突の中で 「副詞句」

justo encima de ella. フスト・エンシマ・デ・エジャ adv. アリスのすぐ上で 「副詞句」

「あれが、ちび助に違いないわ」と、アリスは心の中で思って、それに強い蹴りを入れて、
この後なにが起こるかを待ち構えていました。

«Ese debe de ser Pepito», se dijo Alicia, propinándole una fuerte patada, y esperó a ver qué pasaba a continuación.

《「主語」「動詞句」「補語」》, 「動詞句」「主語」, 「副詞句」 y 「動詞句」「目的語」

«Ese エ pron あれは 「主語」

debe de ser デ・ベ・デ・セル 3 単現・推定(deber de+不定詞)v.i ～であるに違いない 「動詞句」

Pepito», ペピート n.m ちび助 「補語」

se dijo セ・ディョ 3 単点(decirse)v.pr 心の中で思った 「動詞句」

Alicia, アリシア n.f アリスは 「主語」

propinándole プロピナント・レ 現在分詞(propinar)adv. 与えて 「副詞句」

una fuerte patada, ウナ・フエルタ・パタダ n.f 強い蹴りを 「目的語」

y イ conj. そして

esperó a ver エスペロ・ア・ベール 3 単点・待つ(esperar a+不定詞)

4 El Conejo envía un Pepito

v.t. 〜が見えるのを待った 「動詞句」
 qué ケ pron 何が〜するかということ 「目的語」
 pasaba パサバ 3 単線(pasar)v.i 起こる 「動詞」
 a continuación. ア・コンチヌアシオン adv. 引き続いて、この後に 「副詞句」

最初、皆が一斉に「ちび助があつちに飛んでった！」と叫ぶ声が聞こえ、その後、ウサギの
 声が「受け止めろ！ああ！柵のところにいるお前たち！」とだけ聞こえました。

Lo primero que oyó fue un coro de voces que gritaban a una: «¡Allá va Pepito!», y luego sólo la voz del Conejo: «¡Cogedle! ¡Eh! ¡Los de la valla!...». 「主語」「動詞」「補語」

Lo primero ロ・プリーモ n.m 最初のことは 「主語」
 que ケ pron (目的語) 〜する 「形容詞節」
 oyó オイ 3 単点(oír)v.t 聞こえた 「動詞」
 fue フェ 3 単点(ser)v.i 〜だった 「動詞」
 un coro de voces ウン・コロ・デ・ボセス n.m 声の合唱 「補語」
 que ケ pron (目的語) 〜する 「形容詞節」
 gritaban グリタバン 3 複線(gritar)v.i 大声をあげた 「動詞」
 a una: ア・ウナ adv. (voz の代用) 一声を 「目的語」
 «¡Allá va Pepito!», アシヤ・バ・ペピト

adv. “ちび助があつちに飛んでった！” 「叫び声」

y イ conj. そして

luego ルエゴ adv. それから 「副詞」

sólo la voz del Conejo: ソロ・ラ・ボス・デル・コネホ n.f ウサギの声だけ 「目的語」

«¡Cogedle! コヘト・レ 命・2 複現(coger+le)v.t 受け止めろ 「命令」

¡Eh! エー int. ああ！ 「感嘆」

¡Los ロス pron.pl お前たち 「呼びかけ」

de la valla!...». デ・ラ・バジャ

adj. 柵のところにいる 「形容詞句」

4 El Conejo envía un Pepito

その後、皆が黙り込むと、しばらくして別の混乱した声が聞こえてきた。「頭を持ち上げろ！酒を飲ませろ！喉を詰まらせるなよ！大丈夫か？何があったんだ？全部、話せ！」

Después hubo un silencio, seguido de una nueva confusión de voces: «Levantadle la cabeza... Dadle un trago... Sin ahogarlo... ¡Qué tal, viejo! ¡Qué te ha pasado! ¡Cuéntanoslo todo!».

「副詞」「動詞」「目的語」「副詞句」:

《「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」「目的語」 | 「命令」「呼びかけ」「動詞句」「目的語」》

Después デスプ^スエス adv. その後 「副詞」

hubo hub^ブ 3 単点(haber)v.t. 〜があった 「動詞」

un silencio, ウン・シレンシオ n.m. 沈黙 「目的語」

seguido de セギト・デ adv. (順序) 続いて〜 「副詞句」

una nueva confusión de voces: ウナ・ヌエバ・コンフシオン・デ・ボセス

n.f. 別の混乱した声が 「目的語」

«Levantadle レバンタ・レ 命・2 複現(levantar+le)v.t. 彼の〜を持ち上げろ 「動詞句」

la cabeza... ラ・カベサ n.f. 頭を 「目的語」

Dadle ダ・レ 命・2 単現(dar+le)v.t. 与えろ！ 「動詞句」

un trago... ウン・トラゴ n.m. 酒を 「目的語」

Sin ahogarlo... シン・アホガル・ロ 命・2 複現・否定(ahogar+lo)v.t. 窒息させるな！ 「命令」

¡Qué tal, viejo! ケ・タル・ビエホ adv. 元気か？、大丈夫か？ 「呼びかけ」

¡Qué te ha pasado! ケ・テ・ア・パ・サト adv. 何があったんだ？ 「呼びかけ」

¡Cuéntanoslo ケエンタ・ノス・ロ 命・2 単現(contar+nos+lo)v.t. 我々に話せ 「動詞句」

todo!». トト pron. すべてを 「目的語」

最後に、弱々しくて甲高い小さな声が返事をするのが聞こえた。(「あれがちび助に違いないわ」と、アリスは思った)

Por fin se oyó que respondía una débil y aguda vocecilla («Ése debe de ser Pepito», pensó Alicia): 「副詞句」「動詞句」「主語」(《「主語」「動詞句」「補語」》, 「動詞」「主語」)

Por fin ポル・フィン adv. 最後に 「副詞句」

se oyó セ・オ 3 単点(oírse)v.pr (音が主語) 聞こえた 「動詞句」

que ケ conj. 〜することが 「主語」

respondía レスポンデ・ア 3 単線・時制の一致(responder)v.t. 返事をする、答える 「動詞」

una débil y aguda ウナ・デビル・イ・アグダ adj.f. 弱々しくて甲高い 「形容詞句」

vocecilla ボセジヤ n.f.(voz+cilla) 小さな声が 「主語」

(«Ése エセ pron. あれが 「主語」

debe de ser デベ・デ・セル 3 単現・推定(deber de+不定詞 ser)v.i. 〜に違いない 「動詞句」

Pepito), ペピト n.m. ちび助 「補語」

4 El Conejo envía un Pepito

pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.i 思った 「動詞」
Alicia): アリシア n.f アリスは 「主語」

「はい、何が起こったのかよく分からないんです... もう結構です。もう良くなりました」

-Bueno, no sé muy bien lo que ha pasado... No más, gracias, ya me siento mejor...

《「応答」「副詞句」「動詞句」「目的語」 | 「応答」「副詞」「動詞句」「補語」》

-Bueno, ブエノ adv. (返事) はい 「応答」
no sé ノセ 1 単現・否定(saber)v.t 分からない 「動詞句」
muy bien マイ・ビエン adv. (否定文で) あまり良く～ない 「副詞句」
lo que ロケ pron それを 「目的語」
ha pasado... ア・パ・サド 3 単現・完了形(pasar)v.i 起こった 「動詞句」
No más, gracias, ノマス・グラスias adv. (返事) もう結構です 「応答」
ya ヤー adv. もう 「副詞」
me siento メ・シエント 1 単現(sentirse)v.pr 自分が～だと感じる 「動詞句」
mejor... メホル adj. よくなった 「補語」

「実は、ひどく息が詰まって、どのようにそれを説明したらいいか分からない。一つだけ分かったのは、何かが、まるでバネがはじけたみたいに僕にぶつかって、僕はロケットみたいに空中に飛び出したんだよ。」

Es que estoy tan sofocado que no sé cómo contároslo..., sólo sé que algo me sacudió un golpe, como si se hubiera disparado un resorte. ¡y salí por los aires como un cohete!

《Es que 「動詞」「補語」, 「副詞」「動詞」「目的語」》

Es que エス・ケ conj. 実は～
estoy エストイ 1 単現(estar)v.i ～である 「動詞」
tan sofocado タン・ソフォカド 過去分詞(sofocar)adj. ひどく息が詰まった 「補語」
que ケ conj. (tan...que) それで～できない 「副詞節」
no sé ノセ 1 単現・否定(saber)v.t 分からない 「動詞句」
cómo +不定詞 コモ adv. どのように～するかということが 「目的語」
contároslo..., コンタール・オス・ロ 不定詞(contár+os+lo)
v.t それを君たちに話す 「動詞句」
sólo ソロ adv. ～だけ 「副詞」
sé セ 1 単現(saber)v.t 分かる 「動詞」
que ケ conj. ～ということが 「目的語」
algo アルゴ pron 何かが 「主語」
me メ pron 僕に 「間接目的語」
sacudió サクディオ 3 単点(sacudir)v.t 打撃を与えた、殴った 「動詞」

4 El Conejo envía un Pepito

un golpe, ウン・ゴルペ° n.m	打撃を	「直接目的語」
como si コモ・シ conj.	まるで～のように	「副詞節」
se hubiera disparado セ・ウビエラ・ディスパ°ラト°	接・3 単過・完了形(dispararse)	
v.pr	爆発した、暴走した	「動詞句」
un resorte, ウン・レソルテ n.m	バネが	「主語」
y イ conj.	そして	
salí サリ 1 単点(salir)v.i	飛び出した、外出した	「動詞」
por los aires ホル・ロス・アイレス adv.	(空間) 空中に	「副詞句」
como un cohete! コモ・ウン・コエテ adv.	ロケットみたいに	「副詞句」

「そうだと、お前！」と、ほかの者たちは同意した。

-¡Eso desde luego que sí, viejo! -aseguraron los otros.

《「主語」「副詞句」「補語」「呼びかけ」》, 「動詞」「主語」

-¡Eso エソ pron	それは	「主語」
desde luego デスデ°ルエゴ° adv.	もちろん	「副詞句」
que sí, ケ・シ adv.	そうだと	「補語」
viejo! ビエホ adv.	お前	「呼びかけ」
-aseguraron アセグラロン 3 複点(asegurar)v.t	保証した	「動詞」
los otros. ロス・オトス pron.pl	ほかの者たちは	「主語」

「家に火をつけないといけないぞ！」と、ウサギは命じた。そこでアリスは、精いっぱい大きな声で叫びました：

-¡Hay que prenderle fuego a la casa! -ordenó el Conejo. y Alicia gritó tan fuerte como pudo:

《「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」》, 「動詞」「主語」 | y 「主語」「動詞」「副詞句」

-¡Hay que prenderle アイ・ケ・プレンデル°レ 3 単現・必要・一般(hay que+不定詞 prender+le)

v.t	それに (火を) つけないといけない	「動詞句」
fuego フェゴ° n.m	火を	「直接目的語」
a la casa! ア・ラ・カーサ adv.	家に	「間接目的語」
-ordenó オルデノ° 3 単点(ordenar)v.t	命じた	「動詞」
el Conejo. エル・コネホ n.m	ウサギは	「主語」
y イ conj.	そして	
Alicia アリシア n.f	アリスは	「主語」
gritó グリト 3 単点(gritar)v.i	叫んだ	「動詞」
tan fuerte タン・フェルテ adv.	とても強く	「副詞句」
como pudo: コモ・プド° adv.	できる限り	「副詞句」

4 El Conejo envía un Pepito



「もし本当にそんなことをしたら、ダイナを放すわ！恐ろしい目に合うわよ！」

-¡Si os atrevéis a hacerlo soltaré a Dina y veréis lo que es bueno!

《「副詞節」, 「動詞」「目的語」 y 「動詞」「目的語」》

-¡Si シ conj. もし～ならば

「副詞節」

os atrevéis a hacerlo オス・アトレベイス・ア・アセル・ロ 2 複末・強行(atreverse a+不定詞 hacer+lo)

v.pr 本当にそんなことをする

「動詞句」

soltaré ソルタレ 1 単末(soltar)v.t 放す

「動詞」

a Dina ア・ディナ n.f (ネコの) ダイナを

「目的語」

y イ conj. そして

veréis ベレイス 2 複末(ver)v.t 見るでしょう

「動詞」

lo ロ pron それを

「目的語」

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である

「動詞」

bueno! ブエノ adj. 素晴らしい、愉快的、楽しい

「補語」

この bueno は反語的用法。皆にとっては恐ろしいことを表す。

4 El Conejo envía un Pepito

これはすぐに死んだような静けさを生じさせた。そこでアリスは考えた：「今度は何をするつもりかしら？彼らに少しでも脳みそがあるのなら、屋根を取っ払うでしょうね」

Esto provocó inmediatamente un silencio de muerte, y Alicia se preguntó: «¿Qué harán ahora? Si tuvieran un poco de seso, lo que harían sería quitar el tejado».

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」, y 「主語」「動詞句」:

《「目的語」「動詞」「副詞」 | 「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」》

Esto	エスト	pron	これは	「主語」
provocó	プロボコ	3 単点	(provocar)v.t 生じさせた、誘発した	「動詞」
inmediatamente	インメディアメンテ	adv.	すぐに、即時に	「副詞」
un silencio	ウン・シレンシオ	n.m	静けさを	「目的語」
de muerte,	デ・ムエルテ	adj.	(非常に大きい様子) 死んだような	「形容詞句」
y	イ	conj.	そして	
Alicia	アリシア	n.f	アリスは	「主語」
se preguntó:	セ・プレグント	3 単点	(preguntarse)v.pr 疑問に思った、自問した	「動詞句」
«¿Qué	ケ	pron	何を	「目的語」
harán	アラン	3 複未・疑問文	(hacer)v.t するつもりだろうか？	「動詞」
ahora?	アオラ	adv.	今度	「副詞」
Si +	接続法過去	シ conj.	(仮定法過去) もし〜だったら	「副詞節」
tuvieran	トゥビエラン	接・3 複過	(tener)v.t あったなら	「動詞」
un poco de seso,	ウン・ポコ・デ・セソ	n.m	少しの脳みそが	「目的語」
lo que harían	ロ・ケ・アラン	pron	彼らがするだろうことは	「主語」
harían	アラン	3 複過未・帰結	(hacer)v.t するだろう	
sería	セリア	3 単過未・帰結	(ser)v.i 〜になるだろう	「動詞」
quitar	キタル	不定詞 n.	取り去ること	「補語」
el tejado».	エル・テハト	n.m	屋根を	「目的語」

1 分か 2 分経つと、至る所でまた騒ぎ始めた。すると、アリスはウサギが「手始めに、荷車 1 台分で十分だろう」という声が聞こえた。

Después de uno o dos minutos empezaron a agitarse nuevamente por todas partes, y Alicia oyó que el Conejo decía: «Con una carretada tendremos bastante para empezar».

「副詞句」「動詞句」「副詞句」, y 「主語」「動詞」「目的語」

Después de	デスプエス・デ	prep	(時間) 〜の後で	「副詞句」
uno o dos minutos	ウノ・オ・ドス・ミヌトス	pl.n.m	1 分か 2 分	「目的語」
empezaron a agitarse	エンパサロン・ア・アヒタル・セ	3 複点・開始	(empezar a+不定詞)	
	v.pr		騒ぎ始めた	「動詞句」
nuevamente	ヌエバメンテ	adv.	また	「副詞」

4 El Conejo envía un Pepito

por todas partes, ポル・トダス・パルテス adv. あちこちで、いたるところで 「副詞句」
y イ conj. そして
Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
oyó オイ 3 単点(oír)v.t 聞こえた 「動詞」
que ケ conj. ～ということを 「目的語」
el Conejo エル・コネホ n.m ウサギが 「主語」
decía: デシア 3 単線(decir)v.t 言っていた 「動詞」
«Con una carretada コン・ウナ・カルタダ adv. (手段) 荷車 1 台分で 「副詞句」
tendremos テントレモス 1 複未・推量(tener)v.t (何かを) 出来るだろう 「動詞」
bastante バスタンテ adv. 十分に 「副詞」
para empezar». パラ・エンペサル 不定詞・目的
adv. 始めるためには、手始めとして 「副詞句」

「荷車 1 台分の何？」と、アリスは考えました；けれどそれを確かめるために長く待つ必要はありませんでした。というのは、次の瞬間に、窓から小石があられのように窓ガラスを叩いて入ってきて、彼女の顔にあたるものさえあったからです。

«Una carretada ¿de qué?», pensó Alicia; pero no tuvo que esperar mucho para averiguarlo, pues al momento siguiente entró por la ventana una granizada de piedrecitas, golpeando los cristales y hasta dándole en la cara.

《「主語」》, 「動詞」「主語」; pero 「動詞句」「副詞句」, 「副詞節」
«Una carretada ¿de qué?», ウナ・カルタダ・デ・ケ pron 荷車 1 台分の何？ 「主語」
pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.t 考えた 「動詞」
Alicia; アリシア n.f アリスは 「主語」
pero ペロ conj. しかし
no tuvo que esperar ノ・トゥボ・ケ・エスペラル 3 単点・必要・否定(tener que+不定詞)
v.t 待つ必要はなかった 「動詞句」
mucho ムチョ adv. (否定文で) あまり～ない 「副詞」
para averiguarlo, パラ・アベルイグワール・ロ 不定詞・目的(averiguar+lo)
adv. それを確かめるために 「副詞句」
pues プエス conj. というのは～だから 「副詞節」
al momento siguiente アル・モメント・シギエンテ adv. 次の瞬間に 「副詞句」
entró エントロ 3 単点(entrar)v.i 入ってきた 「動詞」
por la ventana ポル・ラ・ベンタナ adv. 窓から 「副詞句」
una granizada ウナ・グラニザダ n.f ひょう (あられ) が 「主語」
de piedrecitas, デ・ピエドレシタス adj. 小石の 「形容詞句」
piedrecitas ピエドレシタス pl.n.f (piedras + -cito) 小石

4 El Conejo envía un Pepito

golpeando ゴルペアント 現在分詞・同時(golpear)adv. 叩きながら 「副詞句」

los cristales ロス・クリスタレス pl.n.m 窓ガラスを 「目的語」

y イ conj. そして

hasta アスタ adv. ～さえ、～まで 「副詞」

dándole ダント・レ 現在分詞・同時(dar+le)v.t 彼女に与えながら 「副詞句」

en la cara. エン・ラ・カラ adv. 顔に 「間接目的語」

「これを今すぐやめさせてやるわ！」と、アリスは心の中で言った。それから、叫んだ：

«¡Ahora mismo voy a acabar con esto!», dijo Alicia para sus adentros, y exclamó:

《「副詞句」「動詞句」「間接目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, y 「動詞」

«¡Ahora mismo アオラ・ミモ adv. 今すぐに 「副詞句」

voy a acabar ボイ・ア・アカバル 1 単現・近接未来・意思(ir a+不定詞 acabar)

v.i(con ～を) 終わらせてやる 「動詞句」

con esto!», コン・エスト adv. これを 「間接目的語」

dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

para sus adentros, パラ・ス・アデントロス adv(= en sus adentros). 内心では 「副詞句」

y イ conj. そして

exclamó: エクスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ 「動詞」

「あんなことは、二度としないほうがいいぞ！」、その一言で、みんな黙り込みました。

-¡Será mejor que no volváis a hacer eso! -lo que produjo un nuevo silencio.

《「動詞」「補語」「主語」》, 「主語」「動詞」「目的語」

-¡Será セラ 3 単未・推量(ser)v.i ～だろう 「動詞」

mejor メホル adj. より良い 「補語」

que ケ conj. ～ということは 「主語」

価値判断に導かれる節は、接続法を使用する

no volváis a hacer ノ・ホルバイス・ア・アセル 接・2 複現・否定・再度(volver a+不定詞)

v.t 再び行う 「動詞句」

eso! エソ pron あれを 「目的語」

-lo que ロ・ケ pron それは 「主語」

produjo プロトウホ 3 単点(producir)v.t (結果を) もたらした 「動詞」

un nuevo silencio. ウン・ヌエボ・シレンシオ n.m 新しい沈黙を 「目的語」

4 El Conejo envía un Pepito

その時アリスは、倒れていた床の上で、小石が目の前で小さなケーキに変わっていくことに気が付き、少し驚きました。そして素晴らしい考えが彼女の頭に浮かびました。

Alicia observó entonces, con alguna sorpresa, que las piedrecitas se estaban convirtiendo en pastelillos ahí mismo, en el suelo donde habían caído, y se le ocurrió una idea luminosa:

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
 observó オブセルバ 3 単点(observar)v.t(観察の結果) 気づいた 「動詞」
 entonces, エントンス adv. その時 「副詞」
 con alguna sorpresa, コン・アルグナ・ソルプレサ adv. 少し驚いて 「副詞句」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 las piedrecitas ラス・ピエドレシタス pl(piedra + -ecita).n.f 小石が 「主語」
 se estaban convirtiendo セ・エスタバン・コンビルチエント 3 複過・進行形(convertirse)
 v.pr 変わっていった 「動詞句」
 en pastelillos エン・パステリジョス adv(pastel + -illo). 小さなケーキに 「間接目的語」
 ahí mismo, アイ・ミスマ adv. まさにここで、目の前で 「副詞句」
 en el suelo エン・エル・スエロ adv. 床の上で 「副詞句」
 donde ドンデ adv. ～する 「副詞節」
 habían caído, アビアン・カイト 3 単線・完了形(caer)
 v.i 倒れていた 「動詞句」
 y イ conj. そして
 se le ocurrió セ・レ・オクリオ 3 単点(ocurrirse+le)v.pr 彼女の頭に浮かんだ 「動詞句」
 una idea ウナ・イデア n.f 考えが 「主語」
 luminosa: ルミナ adj(luminoso). 素晴らしい、明るい 「形容詞」

「もし小さなケーキの1つを食べてしまったら」と、アリスは考えた。「私の体の大きさが変わるに違いないわ。そして、これ以上大きくなることは絶対にできないのだから、私はきっと小さくなるはずだわ」

«Si me como uno de esos pastelillos -pensó-, estoy segura de que me hará cambiar de tamaño; y como es totalmente imposible que crezca más, me imagino que sólo podrá hacerme menguar».

《「副詞節」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「補語」; y 「副詞節」, 「動詞句」「目的語」》
 «Si シ conj. (仮定) もし～ならば 「副詞節」
 me como メ・コモ 1 単現(comerse)v.pr ～を食べてしまう 「動詞句」
 uno de esos pastelillos ウノ・デ・エソス・パステリジョス
 pron 小さなケーキの1つを 「目的語」
 -pensó-, ペンソ 3 単点(pensar)v.i 考えた 「動詞」

4 El Conejo envía un Pepito

estoy エストイ 1 単現(estar)v.i	～である	「動詞」
segura セグラ adj(seguro).f	確信した	「補語」
de que デ・ケ adv.	～ということに	「副詞節」
me メ pron	私の	「間接目的語」
hará cambiar アラ・カンビアル 3 単未・使役(hacer+不定詞)		
v.t	変えるだろう	「動詞句」
de tamaño; デ・タマニョ adv.	大きさを	「副詞句」
y イ conj.	そして	
como コモ conj.	(理由) ～なので	「副詞節」
es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
totalmente imposible トタルメンテ・インポシブル adj.	まったく不可能な	「補語」
que ケ conj.	～ということは	「主語」
crezca クレスカ 接・1 単現・可能性(crecer)v.i	(体が) 大きくなる	「動詞」
más, マス adv.	これ以上	「副詞句」
me imagino メ・イミノ 1 単現(imaginarse)v.pr	(que ～と) 想像する	「動詞句」
que ケ conj.	～ということ	「目的語」
sólo podrá hacerme menguar». ソロ・ポドラ・アセル・メ・メングワール 3 単未・可能性・使役・推量		
(poder hacer + 不定詞)v.t	私を小さくするしかないだろう	「動詞句」

「そのことはもう考えずに、小さなケーキを食るように食べた。すると、嬉しいことに、すぐに体が小さくなり始めたことに気が付いた」

<u>Sin pensarlo más, engulló un pastelillo, y con gran alegría vio que empezaba a disminuir inmediatamente de tamaño.</u>	「副詞句」, 「動詞」「目的語」 y 「副詞句」「動詞」「目的語」
Sin pensarlo más, シン・ペンサル・ロ・マス adv. そのことをもう考えずに	「副詞句」
engulló エググジョ 3 単点(engullir)v.t 食り食った	「動詞」
un pastelillo, ウン・パステリジョ n.m 小さなケーキを	「目的語」
y イ conj. そして	
con gran alegría コン・グラン・アレグリア adv. とても嬉しいことに	「副詞句」
vio ビオ 3 単点(ver)v.t 確認した、分かった	「動詞」
que ケ conj. ～ということ	「目的語」
empezaba a disminuir エンペサバ・ア・ディスマニール 3 単点(empezar a+不定詞)	
v.i 小さくなり始めた	「動詞句」
inmediatamente インメジアタメンテ adv. すぐに	「副詞」
de tamaño, デ・タマニョ adv. 大きさが	「副詞句」

4 El Conejo envía un Pepito

ドアを通れるようになるとすぐに、家の外に走り出しました。すると、外で待っている小さな動物や鳥たちのかなり多くの集まりが見えました。

Tan pronto como pudo pasar a través de la puerta, salió corriendo fuera de la casa y se encontró con un grupo bastante nutrido de animalillos y pajarillos esperando fuera.

「副詞句」, 「動詞」 「副詞句」 y 「動詞句」 「間接目的語」

Tan pronto タン・プロント adv. 非常に早く 「副詞句」

como コモ conj. (比較) ~するのに対して 「副詞節」

pudo pasar プト・パスール 3 単点・可能(poder+不定詞)v.i 通れた 「動詞句」

a través de ア・トラベス・デ prep ~を通して 「副詞句」

la puerta, ラ・プエルタ n.f ドア 「目的語」

salió サリオ 3 単点(salir)v.i 出た 「動詞」

corriendo コリエント 現在分詞・同時 adv. 走って 「副詞」

fuera de la casa フェラ・デ・ラ・カーサ adv. 家の外へ 「副詞句」

y イ conj. そして

se encontró セ・エンコントロ 3 単点(encontrarse)v.pr(con を) 見つけた、出会った 「動詞句」

con un grupo bastante nutrido コン・ウン・グルポ・バスタンテ・ヌトリト

adv. かなり多くの集まりを 「間接目的語」

de animalillos y pajarillos デ・アニマリシヨス・イ・パハリシヨス

adj. 小さな動物や鳥たちの 「形容詞句」

esperando エスペラント 現在分詞(esperar)adj. 待っている 「形容詞句」

fuera. フェラ adv. 外で 「副詞」

可哀そうなトカゲのちび助は、集団の真ん中で 2 匹の天竺ネズミに支えられて、瓶から飲み物を与えられていた。

Pepito, la pobre lagartija, estaba en medio, sostenido por dos conejillos de Indias que le estaban dando algo de beber de una botella.

「主語」 「動詞」 「副詞句」, 「動詞句」 「副詞句」

Pepito, ペピート n.m ちび助は 「主語」

la pobre lagartija, ラ・ポブレ・ラガルチハ n.f (同格) 可哀そうなトカゲ 「主語」

estaba エスタハ 3 単線(estar)v.i ~にいた 「動詞」

en medio, エン・メディオ adv. 中央に 「副詞句」

sostenido ソステント 3 単線・受動(sostener)v.t 支えられていた、介抱されていた 「動詞句」

estaba sostenido が省略されている

por dos conejillos de Indias ポル・トス・コネジシヨス・デ・インディアシ

adv. (動作主) 2 匹の天竺ネズミに 「副詞句」

conejillo コネジシヨ n.m モルモット、天竺ネズミに

4 El Conejo envía un Pepito

conejos de Indias コネジヨス・デ・インディアス pl.n.m テンジクネズミ
 que ケ pron.pl (主語) ～する 「形容詞節」
 le レ pron テンジクネズミに 「間接目的語」
 estaban dando エスタバン・ダント 3 複線・進行形(dar)
 v.t 与えていた 「動詞句」
 algo アルゴ pron 何かを 「目的語」
 de beber デ・ベベル 不定詞・目的 adj. 飲むための「形容詞句」
 de una botella. デ・ウナ・ボテジャ adv. 瓶から 「副詞句」

天竺ネズミ

テンジクネズミ科テンジクネズミ属に含まれる齧歯類の総称である。テンジクネズミは南米に分布する（天竺：インドには生息しない）。モルモットはテンジクネズミ属の一種。

アリスがドアから現れると、皆が彼女に突進してきた；しかしアリスは全力で走り始め、やがて深い森に入って大変安全な状態になった。

Cuando apareció Alicia por la puerta, todos se abalanzaron sobre ella; pero se puso a correr con todas sus fuerzas y pronto se encontró bien segura en un tupido bosque.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 ;
 pero 「動詞句」 「副詞句」 y 「副詞」 「動詞句」 「補語」
 Cuando クワント conj. ～したとき 「副詞節」
 apareció アパレシオ 3 単点(aparecer)v.i(por に) 現れた 「動詞」
 Alicia アリシア n.f アリスが 「主語」
 por la puerta, ポス・ラ・プエルタ adv. ドアから、戸口に 「副詞句」
 todos トブス pron.pl 皆は 「主語」
 se abalanzaron セ・アバランサロン 3 複点(abalanzarse)v.pr(sobre に) 突進した 「動詞句」
 sobre ella; ソブレ・エジャ adv. 彼女に 「間接目的語」
 pero ペロ conj. しかし
 se puso a correr セ・プソ・ア・コレール 3 単点・開始(ponerse a+不定詞 correr)
 v.pr 走り始めた 「動詞句」
 con todas sus fuerzas コン・トダス・ス・フェルサス adv. 全力で 「副詞句」
 y イ conj. そして
 pronto プロント adv. すぐに、間もなく 「副詞」
 se encontró セ・エンコントロ 3 単点(encontrarse)v.pr (ある状態に) なっていた 「動詞句」
 bien segura ビエン・セグーラ adj.f 大変安全な 「補語」
 en un tupido bosque. エン・ウン・トピド・ボスケ adv. 深い森の中で 「副詞句」

4 El Conejo envía un Pepito

「最初にやらなきゃならないことは」と、アリスは思った。「自分の身長を元に戻すことね；それから、二番目にやることは、あの美しい庭に入る方法を見つけることだわ。これが私にとっていい計画だと思うわ」

«Lo primero que he de hacer -se dijo Alicia-, es crecer hasta recobrar mi propia estatura; y lo segundo, encontrar la manera de entrar en aquel precioso jardín. Me parece que éste será un buen plan de acción.»

《「主語」》, 「動詞句」「主語」,

《「動詞」「補語」; y 「主語」「補語」 | 「間接目的語」「動詞」「主語」》

«Lo primero ロ・プリメロ pron 最初の事は 「主語」

que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

he de hacer エ・デ・アセル 1 単現・必要(haber de+不定詞)

v.t しなければならない 「動詞句」

-se dijo セ・ディヨ 3 単点(decirse)v.pr 思った 「動詞句」

Alicia-, アリシア n.f アリスは 「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

crecer クレセル 不定詞 n. 成長すること 「補語」

hasta +不定詞 アスタ adv. ~するまで 「副詞句」

recobrar レコブラール 不定詞 v.t 回復する 「動詞」

mi propia estatura; ミ・プロピア・エスタトゥラ n.f 自分の身長を 「目的語」

y イ conj. そして

lo segundo, ロ・セグント pron 二番目は 「主語」

encontrar エンコントラール 不定詞 n. 見つけること 「補語」

la manera ラ・マネラ n.f 方法を 「目的語」

de entrar デ・エントラール 不定詞・目的 adj. 入るための 「形容詞句」

en aquel precioso jardín. エン・アケル プレシオソ・ハルディン

adv. あの美しい庭に 「副詞句」

Me メ pron 私にとって 「間接目的語」

parece パレセ 3 単現(parecer)v.i ~のように見える 「動詞」

que ケ conj. ~ということは 「主語」

éste エステ pron これが 「主語」

será セラ 3 単末(ser)v.i ~だろう 「動詞」

un buen plan ウン・ブエン・プラン n.m よい計画 「補語」

de acción.» デ・アクション adj. 行動の 「形容詞句」

4 El Conejo envía un Pepito

本当に全く簡単でぴったりの素晴らしい計画に見えました：唯一の問題は、どうやってそれを実行に移すかという方法が全く思い浮かばなかったのです；そして木々の間からやきもきしながら見ていると、ちょうど彼女の頭上で吠え声が聞こえたので急いで見上げました。

Parecía, efectivamente, un proyecto excelente, muy sencillo y al punto: la única dificultad estaba en que no tenía ni la menor idea de cómo ponerlo en práctica; y mientras miraba ansiosamente por entre los árboles, un pequeño ladrido que sonó justo encima de su cabeza la hizo mirar hacia arriba muy apresuradamente.

「動詞」「副詞」「補語」：「主語」「動詞」「補語」；

y 「副詞節」「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」

Parecía, パレシア 3 単線(parecer)v.i 〜のように見えた 「動詞」

efectivamente, エフェクティバメンテ adv. 本当に 「副詞」

un proyecto excelente, ウン・プロジエクト・エクセルンテ n.m 素晴らしい計画 「補語」

muy sencillo ムイ・センシジョ adj. 非常に簡単な 「形容詞句」

y イ conj. そして

al punto: アル・プント adj. 丁度よい、ぴったりの 「形容詞句」

la única dificultad ラ・ウニカ・デ・イフィクダダ n.f 唯一の難点は 「主語」

estaba エスタバ 3 単線・時制の一致(estar)v.i 〜である 「動詞」

en que エン・ケ pron そのどこに〜するかということ 「補語」

no tenía ノ・テナア 1 単線・否定・時制の一致(tener)v.t 〜がない 「動詞句」

ni la menor idea ニ・ラ・メノール・イデア n.f まったくアイデアが〜ない 「目的語」

de cómo ponerlo en práctica; デ・コモ・ポネル・ロ・エン・プラクティカ

adj. (同格) どうやってそれを実行に移すかという 「形容詞句」

poner en práctica ポネル・エン・プラクティカ 「実行に移す」

y イ conj. そして

mientras ミエントラス conj. 〜している間に 「副詞節」

miraba ミラバ 1 単線(mirar)v.t 見ていた 「動詞」

ansiosamente アンシオサメンテ adv. やきもきしながら 「副詞」

por entre los árboles, ポール・エントレ・ロス・アルボレス adv. 木々の間から 「副詞句」

un pequeño ladrido ウン・ペケニョ・ラドリード n.m 吠え声が 「主語」

que ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」

sonó ソノ 3 単点(sonar)v.i 聞こえた 「動詞」

justo encima de su cabeza フスト・エンシマ・デ・ス・カベサ

adv. 丁度彼女の頭の真上に 「副詞句」

la ラ pron 彼女に 「目的語」

hizo mirar イ・ミラル 3 単点・使役(hacer+不定詞)v.i 見させた 「動詞句」

hacia arriba アシア・アリーハ adv. 上のほうを 「副詞句」

4 El Conejo envía un Pepito

muy apresuradamente. ムイ・アプレスラダメンテ adv. とても急いで 「副詞句」

巨大な子犬が大きなまん丸の目で彼女を見下ろして、小さな足を弱々しく伸ばして彼女に触れようとしていました。

Un enorme cachorro la estaba contemplando desde arriba con sus grandes ojos muy redondos, y trataba de tocarla extendiendo débilmente una patita.

「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」,y「動詞句」「副詞句」

Un enorme cachorro ウン・エノルメ・カチョロ n.m 巨大な子犬が 「主語」

la ラ pron 彼女を 「目的語」

estaba contemplando エスタバ・コンテンプレント 3 単線・進行形(contemplant)

v.t 見つめていた 「動詞句」

desde arriba デステ・アリーバ adv. 上から 「副詞句」

con sus grandes ojos コン・スス・グランデス・オホス adv. 大きな目で 「副詞句」

muy redondos, ムイ・レドントス adv. まん丸にして 「副詞句」

y イ conj. そして

trataba de tocarla トラタバ・デ・トカル・ラ 3 単線・試行(tratar de+不定詞)

v.t 彼女に触れようとしていた 「動詞句」

extendiendo エクステンディエント 現在分詞・手段 adv. ～を伸ばして 「副詞句」

débilmente デビルメンテ adv. 弱々しく 「副詞」

una patita. ウナ・パチタ n.f(pata + -ita) 小さな足を 「目的語」

「なんて可愛い！」と、アリスは愛情を込めて言った。そして口笛を吹いて呼ぼうとしたが、もし子犬が空腹だったら、一番ありそうなことは、どんなに優しく声をかけても、一口でアリスを飲み込んでしまうだろう、と考えるととても恐ろしくなりました。

«¡Ay! ¡Qué monada!», dijo Alicia con mucha ternura, e intentó silbarle; pero estaba al mismo tiempo asustadísima de pensar que si tenía hambre, lo más probable es que se la tragara de un bocado a pesar de todas sus palabras cariñosas.

《「感嘆」》,「動詞」「主語」「副詞句」e「動詞句」; pero「動詞」「副詞句」「補語」

«¡Ay! アイ int. あら 「感嘆」

¡Qué monada!», ケ・モナダ n.f なんて可愛い 「感嘆」

dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia アリシア n.f イスは 「主語」

con mucha ternura, コン・ムチャ・テルヌラ adv. 愛情を込めて 「副詞句」

e エ conj. そして

intentó silbarle; イントント・シルバル・レ 3 単点・試行(intentar+不定詞 silbar+le)

v.t 子犬に口笛を吹いて呼ぼうをした 「動詞句」

4 El Conejo envía un Pepito

pero ペロ conj. しかし

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ~だった

「動詞」

al mismo tiempo アル・ミスモ・ティエンポ adv. 同時に

「副詞句」

asustadísima アスタディシマ adj.f とても恐ろしい、怖い

「補語」

de pensar デ・ペンサル 不定詞・条件 adv. ~を考えると

「副詞句」

que ケ conj. ~ということ

「目的語」

si シ conj. もし~ならば

「副詞節」

tenía テニア 3 単線(tener)v.t ~がある

「動詞」

hambre, アンブレ n.f 空腹が

「目的語」

lo más probable ロ・マス・プロバブレ

pron 一番ありそうなことは

「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

que ケ conj. ~ということ

「補語」

se ...tragara セ...トラガラ 3 単未・推量(tragarse)

v.pr 食べるだろう、飲み込む

「動詞句」

la ラ pron アリスを

「目的語」

de un bocado デ・ウン・ボカド adv. (手段) 一口で

「副詞句」

a pesar de ア・ペサル・デ prep ~にもかかわらず

「副詞句」

todas sus palabras トダス・ス・パラブラス

pl.n.f 彼女のすべての言葉

「目的語」

cariñosas. カリニョサス

adj(cariñoso).f.pl 愛情のこもった「形容詞」



4 El Conejo envía un Pepito

よく分からないまま、アリスは地面から棒きれを拾い上げて、それを子犬に見せた。子犬はそれを見ると、4本足で空中に飛び上がり、喜びの吠え声をあげ、まるで本当にそれを攻撃するかのように飛びつく仕草をした。

Casi sin saber lo que hacía, recogió un palito del suelo y se lo mostró al perrito, que, al verlo, saltó con sus cuatro patas en el aire, dando un ladrido de alegría y haciendo ademán de que iba a abalanzarse con toda fiereza contra el palito, como si lo estuviera atacando de veras. 「副詞句」, 「動詞」 「目的語」 「副詞句」 y 「動詞句」 「間接目的語」, 「主語」 「副詞句」 「動詞」 「副詞句」

Casi sin saber カシ・シン・サベル adv. ほとんど分からずに 「副詞句」

lo ロ pron それを 「目的語」

que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

hacía, アシア 3 単線・時制の一致 (hacer)v.t する 「動詞」

recogió レコヒオ 3 単点(recoger)v.t 拾った 「動詞」

un palito ウン・パリト n.m(= palo + -ito) 棒切れ 「目的語」

del suelo デル・スエロ adv. 地面から、(地面に落ちていた) 「副詞句」

y イ conj. そして

se lo mostró セ・ロ・モストロ 3 単点(mostrarse+lo)v.pr それを見せた 「動詞句」

al perrito, アル・ペリト adv.(perro + -ito) その子犬に 「間接目的語」

que, ケ pron (perrito の代用) 子犬は 「主語」

al verlo, アル・ベルロ adv. それを見ると 「副詞句」

saltó サルト 3 単点(saltar)v.i 跳んだ 「動詞」

con sus cuatro patas コン・スス・クワトロ・パタス adv. 四本足で 「副詞句」

en el aire, エン・エル・アイレ adv. 空中に 「副詞句」

dando ダント 現在分詞・同時(dar)adv. (動作を) ～しながら 「副詞句」

un ladrido ウン・ラトリド n.m ほえ声 「目的語」

de alegría デ・アレグリア adj. 喜びの 「形容詞句」

y イ conj. そして

haciendo アシエント 現在分詞・同時(hacer)adv. ～をしながら 「副詞句」

ademán アデマン n.m 仕草を 「目的語」

de que デ・ケ conj. (同格) ～という 「形容詞節」

iba a abalanzarse イバ・ア・アバランサルセ 3 単線・近接未来(ir a+不定詞)

v.pr 飛びつこうとしていた 「動詞句」

con toda fiereza コン・トダ・フィエルサ adv. 思い切り 「副詞句」

contra el palito, コントラ・エル・パリト

adv. その棒切れに対して 「間接目的語」

como si コモ・シ conj. まるで～のように 「副詞節」

4 El Conejo envía un Pepito

lo ▯ pron それを 「目的語」
 estuviera atacando エストゥビエラ・アタカント 接・3 単過・進行形(atacar)
 v.t 攻撃している 「動詞句」
 de veras. デ・ベラス adv. 本当に 「副詞句」

アリスは突き倒されて衝撃を受けないように、急いで大きないばらの後ろに抜け出した。そして反対側に顔を出した途端に、あの子犬が棒切れに飛びつき、それを大急ぎで掴もうとして、バランスを崩して、地面を転がってしまいました。

Alicia se escurrió rápidamente tras un gran cardo para evitar ser derribada en medio de tanta conmoción; y apenas se asomó por el otro lado, el perrito volvió a abalanzarse contra el palo, y con tanto apresuramiento por agarrarlo que perdió el equilibrio y rodó por el suelo. 「主語」「動詞句」「副詞句」; y 「副詞節」「主語」「動詞句」「間接目的語」
 y 「副詞句」 que 「動詞」「目的語」 y 「動詞」「副詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
 se escurrió セ・エスクリオ 3 単点(escurrirse)v.pr 抜け出した 「動詞句」
 rápidamente ラピダメンテ adv. 急いで 「副詞」
 tras トラス prep (空間) ~の後ろに 「副詞句」
 un gran cardo ウン・グラン・カルト n.m 大きなアザミ 「目的語」
 cardo カルト n.m アザミ (キク科アザミ属、葉には鋭いトゲがあり危険)
 一般的に、とげのある灌木を「いばら」と呼ぶ
 para +不定詞 パラ 不定詞・目的 adv. ~するために 「副詞句」
 evitar エビタル 不定詞 v.t(+不定詞) ~するのを避ける 「動詞句」
 ser derribada セール・デリバダ 不定詞・受動.f(derribar)v.t 突き倒される 「動詞句」
 en medio エン・メディオ adv. 真ん中に、中心に 「副詞句」
 de tanta conmoción; デ・タンタ・コンモシオン adj. 強い衝撃の 「形容詞句」
 y イ conj. そして
 apenas アペナス conj. ~するとすぐに 「副詞節」
 se asomó セ・アソモ 3 単点(asomarse)v.pr(por に) 顔を出した 「動詞句」
 por el otro lado, ポール・エル・オトロ・ラド adv. 反対側に 「副詞句」
 el perrito エル・ペリト n.m あの子犬が 「主語」
 volvió a abalanzarse ボルビエ・ア・アバランサルセ 3 単点・再度(volver a+不定詞 abalanzarse)
 v.pr 飛びついた 「動詞句」
 contra el palo, コントラ・エル・パロ adv. 棒切れに 「間接目的語」
 y イ conj. そして
 con tanto apresuramiento コン・タント・アプレサラメント adv. 大急ぎで 「副詞句」
 por agarrarlo ポール・アガラルロ adv. (目的) それをつかむために 「副詞句」

4 El Conejo envía un Pepito

que	ケ conj.	(結果) そして～した	
perdió	ペルディオ 3 単点(perder)v.t	失った	「動詞」
el equilibrio	エル・エキリブリオ n.m	バランスを	「目的語」
y	イ conj.	そして	
rodó	ロド 3 単点(rodar)v.i	転がった	「動詞」
por el suelo.	ポル・エル・スエロ adv.	地面を	「副詞句」

そしてアリスは、これはまるで馬と遊んでいるみたいで、いつ何時巨大な動物に押し潰される危険にさらされるかもしれないと考えて、もう一度いばらの裏側に避難しました。

Entonces, Alicia volvió a refugiarse tras el cardo, pensando que, después de todo, era como si estuviera jugando con un caballo percherón, y que corría el peligro de ser arrollada en cualquier momento por el enorme animalillo.

「副詞」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Entonces, エントンス adv. そして、それから 「副詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

volvió a refugiarse ホルビオ・ア・レフィアルセ 3 単点・再度(volver a+不定詞 refugiarse)

v.pr また避難した 「動詞句」

refugiarse レフィアルセ v.pr 避難する、隠れる、亡命する

tras el cardo, トラス・エル・カルド adv. (空間) いばらの裏側に 「副詞句」

pensando ペンサント 現在分詞 adv. (理由) ～と考えて 「副詞句」

que, ケ conj. ～ということを 「目的語」

después de todo, デスプエス・デ・トド adv. 結局、いずれにしても 「副詞句」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

como si コモ・シ conj. まるで～のような 「補語」

estuviera jugando エストビエラ・フガント 接・推測・3 単過・進行形・時制の一致(jugar)

v.i 遊んでいる 「動詞句」

con un caballo コン・ウン・カバジョ adv. 馬と 「副詞句」

percherón, ペルシェロン adj. ペルシユロン種の 「形容詞」

y イ conj. そして

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

corría コリア 3 単線・時制の一致(correr)v.t (危険に) さらされる 「動詞」

el peligro エル・ペリグロ n.m 危険に 「目的語」

de ser arrollada テ・セル・アロジャダ 不定詞・受動・同格(arrollar)

adj. 押し潰される 「形容詞句」

en cualquier momento エン・クワルキエ・モメント adv. いつ何時 「副詞句」

por el enorme animalillo. ホル・エル・エノルメ・アニマリジョ

4 El Conejo envía un Pepito

adv. (動作主) 巨大な動物に

「副詞句」

ペルシュロン種の馬

フランス原産で体型はサラブレッドに比べ足が短く、胴が太い。体高（肩までの高さ）は 160-170 センチメートルで大きなものでは 2 メートルを超える。体重は 1 トンにもなりサラブレッドの倍ほどにもなる。性格はおとなしく鈍重だが、非常に力が強い。



子犬は、棒切れに対して突撃する一連のポーズを開始した。毎回、走っては、ほんの少し前へ進み、後ろにたっぷり戻る。ずっとこのような危険な駆け引きを続けて、最後には、かなり離れたところに、息を切らして、舌をベロリと出して、大きい目を半分閉じて座り込んだ。

El cachorro inició entonces toda una serie de ataques fingidos contra el palo, corriendo cada vez un poquito hacia adelante y un mucho hacia atrás, acompañando todo el tiempo estas temibles maniobras con roncós ladridos hasta que al fin se sentó a alguna distancia, jadeando, con la lengua fuera y con sus grandes ojazos medio cerrados.

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」

El cachorro エル・カチョロ n.m 子犬は

「主語」

inició イニシオ 3 単点(iniciar)v.t 始めた

「動詞」

entonces エントンセス adv. それから

「副詞」

toda una serie トダ・ウナ・セリエ n.f 一連の動作を

「目的語」

de ataques デ・アタケス adj. 突撃の、攻撃

「形容詞句」

fingidos フィンヒトス adj.pl 見せかけの

「形容詞句」

contra el palo, コントラ・エル・パロ adv. (対象) 棒切れに対して

「副詞句」

corriendo コリエント 現在分詞(correr)adv. 走りながら

「副詞句」

cada vez カダ・ベス adv. 毎回

「副詞句」

un poquito hacia adelante ウン・ポキト・アシア・アデランテ

adv. ほんの少し前へ

「副詞句」

y イ conj. そして

un mucho hacia atrás, ウン・ムチョ・アシア・アトラス adv. 後ろへたっぷり

「副詞句」

acompañando アコンパニャント 現在分詞(acompañar)v.t 続けながら

「副詞句」

todo el tiempo トト・エル・ティエンポ adv. ずっと

「副詞句」

estas temibles maniobras エスタス・テミブレス・マニオブラス

pl.n.f これらの危険な駆け引きを

「目的語」

con roncós ladridos コン・ロンコス・ラトリゴス adv. しわがれたほえ声で

「副詞句」

hasta que +直説法 アスタ・ケ conj. ～するまで

「副詞句」

al fin アル・フィン adv. (結果) そして最後には

「副詞句」

4 El Conejo envía un Pepito

se sentó セ・セント 3 単点(sentarse)v.pr 座った	「動詞句」
a alguna distancia, ア・アルグナ・ディスタンシア	
adv. かなり離れたところに	「副詞句」
alguna アルグナ adj. (+名詞) ある、(数量) かなりの	
jadeando, ハデアント 現在分詞・同時(jadear)	
adj. 息を切らしながら	「副詞句」
con la lengua fuera コン・ラ・レングワ・フェア	
adv. (様態) 舌をベロリと出して	「副詞句」
y イ conj. そして	
con sus grandes ojos コン・ス・グランデス・オハス	
adv. (様態) 大きい目を	「副詞句」
medio cerrados. メディオ・セラトス 過去分詞	
adj. 半分閉じた	「形容詞句」

アリスは、これは逃げる良いチャンスだと思ったので、走って飛び出して、かなり疲れて息が切れるまで走りました。子犬の吠え声は遠くでかすかに聞こえていました。

Ésta le pareció a Alicia una buena oportunidad para escaparse, así que salió corriendo, y corrió hasta que, bien cansada y sin aliento, los ladridos del perrito sonaban muy débilmente en la distancia.

「主語」「間接目的語」「動詞」「間接目的語」「補語」, 「副詞節」, 「主語」「動詞」「副詞句」	
Ésta エスタ pron これは	「主語」
le レ pron 彼女にとって	「間接目的語」
pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i 〜に思われた	「動詞」
a Alicia ア・アリシア adv. アリスにとって	「間接目的語」
una buena oportunidad ウナ・ブエナ・オポルトウニダ n.f 良いチャンス	「補語」
para escaparse, パラ・エスカパルセ adv. (目的) 逃げるには	「副詞句」
así que アシ・ケ conj. (結果) それで〜する	「副詞節」
salió サリオ 3 単点(salir)v.i 出た	「動詞」
corriendo, コリエント 現在分詞(correr)adv. (様態) 走って	「副詞」
y イ conj. そして	
corrió コリオ 3 単点(correr)v.i 走った	「動詞」
hasta que, アスタ・ケ conj. 〜するまで	「副詞句」
bien cansada ビヤン・カンサダ adv. かなり疲れた	「副詞句」
y イ conj. そして	
sin aliento, シン・アリエント adv. 息が切れた	「副詞句」
los ladridos ロス・ラトリトス pl(ladrido).n.m 吠え声は	「主語」

4 El Conejo envía un Pepito

del perrito デル・ペリト adj. 子犬の 「形容詞句」
 sonaban ソナバン 3 複線(sonar)v.i 鳴っていた、聞こえていた 「動詞」
 muy débilmente ムイ・デビルメンテ adj. とても弱く 「副詞句」
 en la distancia. エン・ラ・ディスタンスΙΑ adv. 遠くて 「副詞句」

「でも、とっても可愛いワンちゃんだったなあ」と思い出しながら、アリスはキンポウゲにもたれて休み、その葉の 1 枚を使って自分をあおいだ。

«Y, sin embargo, ¡qué perrito más mono era! -dijo Alicia mientras se recostaba contra una campanilla para descansar y se abanicaba con una de sus hojas-.

《Y 「副詞句」「補語」「動詞」》, 「動詞」「主語」「副詞節」 y 「動詞句」「副詞句」

«Y, í conj. そして

sin embargo, シン・エンバルゴ adv. とはいえ、だけど 「副詞句」

¡qué perrito ケ・ペリト n.m. なんという犬 「補語」

más mono マス・モノ adj. とても可愛い 「形容詞句」

más マス adv. (感嘆文で) (= tan) とても mono モノ adj. 可愛い、きれいな

era! エラ 3 単線(estar)v.i. ~だった 「動詞」

-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t. 言った 「動詞」

Alicia アリシア n.f. アリスは 「主語」

mientras ミエンTRAS conj. (同時) ~しながら 「副詞節」

se recostaba セ・レコスタバ 3 単線(recostarse)v.pr. もたれかかった 「動詞句」

contra una **campanilla** コントラ・ウナ・カンパニージャ

adv. (植物) フウリンソウに 「副詞句」

para descansar パラ・デスカンサル 不定詞・結果 adv. そして休んだ 「副詞句」

y í conj. そして

se abanicaba セ・アバニカバ 3 単線(abanicarse)v.pr. (自分を) あおいだ 「動詞句」

con una de sus hojas. コン・ウナ・デ・ス・オハス adv. (道具) その葉の 1 枚で 「副詞句」

英語版では :

buttercup キンポウゲ (黄色い、カップ型の花)、スペイン語では ranúnculo に相当する

4 El Conejo envía un Pepito

「あの犬に芸を教えられたらよかったな。ただ私が正常な大きさだったらの話だけど。」

Lo que me habría gustado enseñarle trucos si... ¡si sólo hubiera tenido el tamaño adecuado para hacerlo! 《「感嘆」》

Lo que ロ・ケ pron ～なのだが 「感嘆」

me メ pron 私にとって 「間接目的語」

habría gustado アブリア・グスト 3 単過未・完了形(gustar)

v.i 気に入ったのだが 「動詞句」

enseñarle エンセニャル・レ 不定詞 n. あの子犬に教えることは 「主語」

trucos トゥルクス pl(truco)n.m 芸を、こつを 「目的語」

Perro viejo no aprende **trucos** nuevos. 老犬に新しい芸は教えられない。

si..., ¡si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

sólo ソロ adv. ただ～、単に 「副詞」

hubiera tenido ウビエラ・テニド 接・1 単過・完了形(tener)

v.t (特徴) ～であったら 「動詞句」

el tamaño adecuado エル・タマニョ・アデクワド n.m 適切な大きさ 「目的語」

para hacerlo! パラ・アセル・ロ adv. それをするのに 「副詞句」

「どうしましょう！また大きくならなければいけないことを忘れるところだったわ！」

¡Oh! ¡Dios mío! ¡Casi se me había olvidado que tengo que ponerme a crecer de nuevo!

《「感嘆」 | 「動詞句」「目的語」》

¡Oh! ¡Dios mío! オ・ディオス・ミオ int. ああ、どうしましょう！ 「感嘆」

¡Casi カシ adv. ほとんど (～するところだった) 「副詞」

se me había olvidado セ・メ・アビエ・オルビダド 1 単線・完了形・時制の一致(olvidarse)

v.pr 忘れてしまう 「動詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

tengo que ponerme テンゴ・ケ・ポネル・メ 1 単現・必要(tener que+不定詞 ponerme)

v.pr(+a+不定詞) ～し始めなければならない 「動詞句」

a crecer ア・クレセル 不定詞 v.i 大きくなる 「動詞句」

de nuevo! デ・ヌエボ adv. もう一度、また 「副詞句」

「ちょっと調べてみましょう：何をしたら大きくなれるかしら？」

Vamos a ver: ¿qué tengo que hacer para lograrlo?

《「動詞句」：「目的語」「動詞句」「副詞句」》

Vamos a ver: バモス・ア・ベール 1 複現・勧誘(vamos a+不定詞)v.t 調べてみましょう 「動詞句」

¿qué ケ pron 何を 「目的語」

tengo que hacer テンゴ・ケ・アセル 1 単現・必要(tener que+不定詞 hacer)

4 El Conejo envía un Pepito

v.t しなければならない 「動詞句」
para lograrlo? パラ・ロガール・ロ adv. (目的) それをするために 「副詞句」

「これかあれを、食べるか飲むかすれば良いと思うわ、でも何を？それが大問題だわ！」

Supongo que tendré que comer o beber de esto o de aquello, ¿pero de qué? ¡Ése es el gran misterio!》
《「動詞」「目的語」,pero「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」》

Supongo スポソゴ 1 単現・推測(suponer)v.t (que ～だと) 思う 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

tendré que comer o beber テントレ・ケ・コメル・オ・ベベル 1 単未・必要(tener que+不定詞)

v.t 食べるか飲むかしなければならない 「動詞句」

de esto o de aquello, デ・エスト・オ・デ・アケジョ pron. (一部分) これかあれを「目的語」

¿pero ヘロ conj. でも

de qué? デ・ケ pron 何を? 「目的語」

¡Ése エセ pron それが 「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

el gran misterio! エル・グラン・ミステリオ n.m 一番のなぞ、最大の問題 「補語」

確かに、「その何か」というのがアリスにとって大問題でした。

El «qué» era ciertamente el gran problema de Alicia. 「主語」「動詞」「補語」

El «qué» エル・ケ pron その何かは 「主語」

era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」

ciertamente シエルタメンテ adv. 確かに 「副詞句」

el gran problema エル・グラン・プロブレマ n.m 大問題 「補語」

de Alicia. デ・アリシア adj. アリスの 「形容詞句」

周囲を探しました。するとたくさんの花や草の葉が見えました。しかし、この状況で食べても良さそうだったり、飲んでも良さそうな様子のするものは何も見当たりませんでした。

Miró en derredor y vio muchas flores y hojas de hierba, pero nada que tuviera el aspecto de ser lo que debía comer o beber en esas circunstancias.

「動詞」「副詞句」 y 「動詞」「目的語」 pero 「目的語」

Miró ミロ 3 単点(mirar)v.i(en を) 探した 「動詞」

en derredor エン・デレトール adv. 周囲を 「副詞句」

y イ conj. そして

vio ビオ 3 単点(ver)v.t 見えた 「動詞」

muchas flores ムチャス・フロレス pl(flor).n.f たくさんの花が 「目的語」

y イ conj. そして

4 El Conejo envía un Pepito

hojas de hierba, ホハス・デ・イエルハ	pl(hoja).n.f	草の葉が	「目的語」
pero	ヘ	conj.	しかし
nada	ナダ	pron	何も～ない
que	ケ	pron	(主語) ～する
tuviera	トゥビエラ	接・3 単過・推量(tener)v.t	～があるだろう
el aspecto de ser	エル・アスペクト・デ・セル	n.m	～である様子
lo	ロ	pron	それ
que	ケ	pron	(目的語) ～する
debía comer o beber	デビエ・ア・コメル・オ・ベベル	3 単線・推定(deber+不定詞)	
	v.t	食べられそうか飲めそうか	「動詞句」
en esas circunstancias.	エン・エサス・シルクンスタンシアス		
adv.	この状況で		「副詞句」

この近くに彼女とほとんど同じ背丈の大きなキノコがそびえ立っていました；アリスはその下を見て、両側も見ってから、てっぺんに何かがあるか確かめようと思いつきました。

<u>Una gran seta se erguía ahí cerca, casi tan grande como ella; después de haber mirado por debajo y luego por ambos lados, se le ocurrió que también podría mirar si había algo encima.</u>			「主語」「動詞句」「副詞句」, 「形容詞句」; 「副詞句」, 「動詞句」「主語」
Una gran seta	ウナ・グラン・セタ	n.f	巨大なキノコが
se erguía	セ・エルギエ	3 単線(erguirse)v.pr	そびえ立っていた
ahí cerca,	アイ・セルカ	adv.	この近くに
casi tan grande como ella;	カシ・タン・グランデ・コモ・エシヤ		
adj.	ほとんど彼女と同じくらいの高さの		「形容詞句」
después de haber mirado	デスプエス・デ・アバー・ミラド	adv.	～を見てから
por debajo	ポル・デバホ	adv.	下を
y	イ	conj.	そして
luego	ルエゴ	adv.	それから
por ambos lados,	ポル・アンボス・ラトス	adv.	両側を
se le ocurrió	セ・レ・オクリオ	3 単点(ocurrirse)v.pr(que+直説法	が主語)
v.pr	彼女の頭に浮かんだ		「動詞句」
que	ケ	conj.	～ということが
también podría mirar	タンビエン・ポドリア・ミラル	1 単線・許可(poder+不定詞)	
v.t	～を見ても良さそうだ		「動詞句」
si	シ	conj.	～かどうかということ
había	アビエ	3 単線・時制の一致(haber)v.t	～がある
algo	アルゴ	pron	何か

4 El Conejo envía un Pepito

encima. エンシマ adv. てっぺんに

「副詞」

つま先立ちをして、キノコの縁から上のあたりを見つめました：

Se puso de puntillas y miró por encima del borde de la seta:

「動詞句」「副詞句」 y 「動詞」「副詞句」

Se puso セ・プソ 3 単点(ponerse)v.pr 立ち上がった、立った

「動詞句」

de puntillas デ・プンティジャス adv. (手段) つま先立ちで

「副詞句」

y イ conj. そして

miró ミロ 3 単点(mirar)v.t (じっくり) 眺めた

「動詞」

por encima ホル・エンシマ adv. (空間) 上のあたりを

「副詞句」

del borde デル・ホルデ adv. (起点) 縁から

「副詞句」

de la seta: デ・ラ・セタ adj. キノコの

「形容詞句」

すぐにアリスは巨大な芋虫と目が合いました。芋虫は彼女に気付きましたが平然と中央に座り、腕組みして水タバコを吸い、アリスにも他のどんなことにも注意していませんでした。

sus ojos se toparon de inmediato con los de una gran oruga azul, que la observaba imperturbable, sentada en el centro con los brazos cruzados, fumando un narguile y sin prestar la menor atención ni a Alicia ni a ninguna otra cosa.

「主語」「動詞句」「副詞句」「間接目的語」, 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」

sus ojos ス・ホス pl.n.m 彼女の目は

「主語」

se toparon セ・トパロン 3 複点(toparse)v.pr 出会った、ぶつかった

「動詞句」

de inmediato デ・インメディアト adv. すぐに、即座に

「副詞句」

con los de una gran oruga azul, コン・ロス・デ・ウナ・グラン・オルガ・アスル

adv. 巨大なイモムシの目と

「間接目的語」

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

la ラ pron アリスを

「目的語」

observaba オブセルババ 3 単点(observar)

v.t 観察していた、気付いていた

「動詞」

imperturbable, インパルトルバブレ adv. (様態) 平然と

「副詞」

sentada センタダ 過去分詞.f(sentar)adv. 座って

「副詞句」

en el centro エン・エル・セントロ adv. 中央に

「副詞句」

con los brazos cruzados, コン・ロス・ブラソス・クルサトス

adv. (様態) 腕組みをして

「副詞句」

fumando フマント 現在分詞(fumar)adv. 吸いながら

「副詞句」

un narguile ウン・ナルギレ n.m 水タバコを

「目的語」

y イ conj. そして

4 El Conejo envía un Pepito

sin prestar シン・プレスタール adv. ～を貸さずに 「副詞句」

la menor atención ラ・メノール・アテンシオン

n.f 少しの注意も 「目的語」

ni a Alicia ニ・ア・アリシア adv. (対象) アリスにも 「副詞句」

ni a ninguna otra cosa. ニ・ア・ニンクナ・オトラ・コサ

adv. (対象) 他のどんなことにも 「副詞句」

oruga 𐄂𐄂𐄂 n.f 青虫、イモムシ、毛虫

青虫：チョウ、ガの幼虫の中で、長毛やとげがなく緑色をした幼虫の総称。

芋虫：チョウ、ガの幼虫で、青虫、毛虫と呼ばれるもの以外のものの俗称。

毛虫：チョウ、ガなど鱗翅（りんし）目に属する昆虫の幼虫で、体に毛の多い幼虫の俗称。



5 Consejos de una oruga

5 Consejos de una oruga

イモムシの忠告

Consejos コンセホス pl(consejo).n.m 忠告、助言 「主語」
de una oruga デ・ウナ・オルガ adj. (主体・作者) イモムシの 「形容詞句」

アリスとそのイモムシはしばらく見つめ合っていた。ついに、イモムシは口から水たばこのパイプの吸い口を外して、疲れて眠そうな声で彼女に言った。

Alicia y la Oruga se estuvieron contemplando en silencio durante algún tiempo. Al fin la Oruga se quitó la boquilla del narguile de la boca y le habló con voz lánguida y adormilada.

「主語」「動詞句」「副詞句」
「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 y 「間接目的語」「動詞」「副詞句」
Alicia y la Oruga アリシア・イ・ラ・オルガ pl.n.f アリスとそのイモムシは 「主語」
se estuvieron contemplando セ・トクビエロン・コンテンプレント 3 複点・相互・進行形(contemplarse)
v.pr 互いに見つめ合った 「動詞句」
en silencio エン・シレンシオ adv. (様態) 黙って 「副詞句」
durante algún tiempo. ドゥランテ・アルゲン・ティエンポ adv. (継続) しばらくの間 「副詞句」
Al fin アル・フィン adv. ついに、最後に 「副詞句」
la Oruga ラ・オルガ n.f イモムシが 「主語」
se quitó セ・キト 3 単点(quitarse)v.pr (自分の体から) 外した 「動詞句」
la boquilla ラ・ボキジャ n.f (水たばこのパイプの) 吸い口を 「目的語」
del narguile デル・ナルギレ adj. 水たばこの 「形容詞句」
de la boca デ・ラ・ボカ adv. (起点) 口から 「副詞句」
y イ conj. そして
le レ pron 彼女に 「間接目的語」
habló アブロ 3 単点(hablar)v.i 言った 「動詞」
con voz コン・ボス adv. (手段) 声で 「副詞句」
lánguida ランギダ adj(lánguido).f 活気のない、疲れた 「形容詞」
y イ conj. そして
adormilada. アドルミラダ adj(adormilad).f 眠そうな 「形容詞」

「あんた、誰？」と、イモムシは尋ねた。

-¿Quién eres tú? -preguntó la Oruga. 《「補語」「動詞」「主語」》, 「動詞」「主語」
-¿Quién キエン pron 誰 「補語」
eres エス 2 単現(ser)v.i ~である 「動詞」
tú? トゥ pron きみは 「主語」

5 Consejos de una oruga

-preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」
la Oruga. ラ・オルガ n.f イモムシは 「主語」

これは会話を始めるには良い方法ではなかった。アリスはこわごわ何かを答えました。

No era ésta precisamente la manera más alentadora de iniciar la conversación. Alicia replicó, algo intimidada: 「動詞句」「主語」「補語」 | 「主語」「動詞」「目的語」「副詞」

No era ノ・エラ 3 単線・否定(ser)v.i 〜でなかった 「動詞句」

ésta エスタ pron これは 「主語」

precisamente プレシサメント adv. まさしく 「副詞」

la manera ラ・マネラ n.f やり方、方法 「補語」

más alentadora マス・アレンタドラ adj(alentador).f より元気づける 「形容詞句」

de iniciar デ・イニシアル 不定詞・目的 adv. 〜をはじめるために 「副詞句」

la conversación. ラ・コンベルサシオン n.f 会話を 「目的語」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

replicó, レプリコ 3 単点(replicar)v.t 答えた 「動詞」

algo アルコ pron 何かを 「目的語」

intimidada: インチミダダ 過去分詞(intimidado).f(intimidar)

adv. おどおどして、怖気づいて 「副詞」

「えーと、あの... 今は、この瞬間に自分が誰なのかがあまり良く分からないんです。でも、もちろん、少なくとも今朝起きた時には、自分が誰だったかを分かっていたんです。その後、私は何回か変わったみたいなんです」

-Pues verá usted, señor..., yo..., yo no estoy muy segura de quién soy, ahora, en este momento; pero al menos sí sé quién era cuando me levanté esta mañana; lo que pasa es que me parece que he sufrido varios cambios desde entonces.

《「言いよどみ」, 「主語」「動詞句」「補語」;

pero 「副詞句」「動詞」「目的語」「副詞節」; 「主語」「動詞」「補語」》

-Pues verá usted, señor..., プ・エス・ベラ・ウス・セニョール

adv. えーと、あの... 「言いよどみ」

yo..., yo ヨ・ヨ・ヨ pron 私は 「主語」

no estoy ノ・エストイ 1 単現・否定(estar)v.i 〜でない 「動詞句」

muy segura ムイ・セグラ adj. (否定文で) あまり確かでない、よくわからない 「補語」

de quién soy, ahora, デ・キエン・ソイ・アハラ adv. 今は、私が誰かについて 「目的語」

en este momento; エン・エステ・モメント adv. この瞬間 「副詞句」

pero ペロ conj. しかし

al menos アル・メノス adv. 少なくとも 「副詞句」

5 Consejos de una oruga

sí シ adv. (肯定の強調) もちろん、本当に	「副詞」
sé セ 1 単現(saber)v.t 分かっている	「動詞」
quién era キェン・エラ n. 自分が誰だったかということを	「目的語」
cuando クワント conj. ～する時	「副詞節」
me levanté メ・レバンテ 1 単点(levantarse)v.pr 起きた	「動詞句」
esta mañana; エスタ・マニャ adv. 今朝	「副詞句」
lo que pasa ロ・ケ・パサ pron その後に起こったことは	「主語」
es エス 3 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
que ケ conj. ～ということ	「補語」
me メ pron 私には	「間接目的語」
parece パレセ 3 単現(parecer)v.i ～のようだ	「動詞」
que ケ conj. ～ということ	「補語」
he sufrido エ・スフリト 1 単現・完了形(sufrir)v.t 経験した	「動詞句」
varios cambios バリオス・カンビオス pl.n.m 数回の変化を	「目的語」
desde entonces. デステ・エントネス adv. その後	「副詞句」

「どういう意味かね？」と、イモムシは厳しい口調で言った。「詳しく説明してくれ！」

-¿Qué es lo que quieres decir? -dijo la Oruga con severidad-. ¡Explicate!

《「補語」「動詞」「主語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 《「動詞句」》

-¿Qué ケ pron 何?	「補語」
es エス 3 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
lo ロ pron それは	「主語」
que quieres decir? ケ・キエレス・デシール	
adj. 君が言いたいのは、意味することは	「形容詞節」
-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
la Oruga ラ・オルガ n.f イモムシは	「主語」
con severidad-. コン・セベリダ adv. (様態) 厳しく	「副詞句」
¡Explicate! エクスプリカ・テ 命・2 単現(explicarse)v.pr 説明しなさい	「動詞句」

「自分の思い通りに説明できないのが、とても心配なんです」と、アリスは答えた。「だって、私はもとの私じゃないから、分るでしょう？」

-Mucho me temo, señor, que no sepa explicarme a mí misma -respondió Alicia-, pues no soy la que era, ¿ve usted? 《「副詞」「動詞句」「呼びかけ」「主語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「主語」「副詞節」, 「呼びかけ」》

-Mucho ムチョ adv. とても	「副詞」
me temo, メ・テモ 1 単現(temerse)v.pr(que ～が) 心配だ	「動詞句」

5 Consejos de una oruga

señor, セニョール	pron	あなた	「呼びかけ」
que ケ	conj.	～ということが	「主語」
no sepa explicarme ノ・セパ・エクスプリカル・メ	接・3 単現・可能・否定(saber+不定詞)		
v.pr		説明できない	「動詞句」
a mí misma ア・ミ・ミスマ	adv.	自分の思い通りに	「副詞句」
-respondió レスポンディオ	3 単点(responder)v.t	答えた	「動詞」
Alicia-, アリシア	n.f	アリスは	「主語」
pues プエス	conj.	～なので	「副詞節」
no soy ノ・ソイ	1 単現・否定(ser)v.i	～でない	「動詞」
la que era, ラ・ケ・エラ	pron.f	元の私	「補語」
¿ve, ベ	3 単現(ver)v.t	(同意を求める) そうですね？	「呼びかけ」
ves ベス	2 単現(ver)	も同様に用いられる	
usted? ウステ	pron	あなた	「呼びかけ」

「何もわからん！」と、イモムシは言った。

-¡No veo nada! -dijo la Oruga.	《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」
-¡No veo ノ・ベオ 1 単現・否定(ver)v.t 分からない	「動詞句」
nada! ナダ` pron 何も～ない	「目的語」
-dijo テ`イ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
la Oruga. ラ・ウガ` n.f イモムシは	「主語」

「それを分かりやすく説明できないのではないかと、とても心配なんです」と、アリスは非常に礼儀正しく力説した。「それに、まず最初に、私も分からないし、その上、1 日の間に何度も大きさが変わったので、すごく頭が混乱しているんです」

-Temo no poder decírselo con mayor claridad -insistió Alicia muy cortésmente-, pues, para empezar, ni yo misma lo comprendo; y además, cambiar tantas veces de tamaño en un solo día resulta muy desconcertante.

《「動詞句」「副詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞句」,

《pues, 「副詞句」「主語」「目的語」「動詞」; y 「副詞句」「動詞」「補語」》

-Temo no poder decírselo テモ・ノ・ポ・テール・デシル・ロ	1 単現・心配(temer+不定詞・否定形)		
v.pr		それを言えないのではないかと心配だ	「動詞句」
temer+不定詞 (temer+que+接続法)		「～するのではないかと心配する、疑う」	
con mayor claridad コン・マヨール・クラリダ	adv.	きわめて明解に	「副詞句」
-insistió インシスト	3 単点(insistir)v.i	強調した、力説した	「動詞」
Alicia アリシア	n.f	アリスは	「主語」
muy cortésmente-, ムイ・コルテスマンテ	adv.	非常に礼儀正しく、丁寧に	「副詞句」

5 Consejos de una oruga

pues, プエス conj.	それで	
para empezar, パラ・エンパ・サル adv.	(para+不定詞) まず最初に	「副詞句」
ni yo misma ニ・ジョ・ミスマ pron.f	私自身も～ない	「主語」
lo ロ pron	それを	「目的語」
comprendo; コンプレント 1 単現(comprender)v.t	(否定文で) 分からない	「動詞」
y イ conj.	そして	
además, アデマス adv.	その上	「副詞」
cambiar カンビアル adv.	(理由) (para+不定詞) (de が) 変わるために	「副詞句」
tantas veces タンタス・ベセス adv.	何度も	「副詞句」
de tamaño デ・タマニョ adv.	大きさが	「間接目的語」
en un solo día エン・ウン・ソロ・デア adv.	1 日の内に	「副詞句」
resulta レスルタ 3 単現(resultar)v.i	～の結果になる	「動詞」
muy desconcertante. ムイ・デ・スコンセルタンテ adj.	とても困惑した	「補語」

「混乱していないね」と、イモムシは答えた。

-No lo es -replicó la Oruga.	《「補語」「動詞」》, 「動詞」「主語」
-No lo ノ・ロ pron それで～ない	「補語」
es エス 3 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
-replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.t 答えた	「動詞」
la Oruga. ラ・オルガ n.f イモムシは	「主語」

「では、おそらくあなたはまだそのように思っていないのでしょうか」と、アリスは言った。

「でも、あなたが蛹に変わったら（それは、いつかあなたにも起こることですからね）、その後で、蝶々に変った時には、そういったことがすべてちょっと奇妙だと思いませんか？」

-Bueno, quizá a usted aún no se lo parezca así -dijo Alicia-; pero cuando se haya transformado en una crisálida (y eso ha de pasarle algún día, ¿sabe?), y después, cuando se convierta en una mariposa, ¿no cree usted que le parecerá todo eso un poco extraño?

《「間投」「副詞」「間接目的語」「副詞」「動詞句」「副詞」》, 「動詞」「主語」,
《pero 「副詞節」(y 「主語」「動詞句」「副詞句」「呼びかけ」), y 「副詞句」,
「動詞句」「主語」「目的語」》

-Bueno, ブエノ int.	(話題転換) さて、それでは	「間投」
quizá キザ adv.	たぶん、おそらく	「副詞」
a usted ア・ウステ adv.	あなたにとって	「間接目的語」
aún アウン adv.	まだ～ない	「副詞」
no se lo parezca ノ・セ・ロ・パレスカ 接・3 単現・否定・推測(parecerse)		
v.pr	～のように見えていない	「動詞句」

5 Consejos de una oruga

así アシ adv. そのように	「副詞」
-dijo ディホ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
Alicia-; アリシア n.f アリスは	「主語」
pero ペロ conj. でも	
cuando クワンド conj. ～する時には	「副詞節」
se haya transformado セ・ハヤ・トランスフォルマト 接・3 単現・完了形(transformarse)	
v.pr ～に変わった	「動詞句」
en una crisálida エン・ウナ・クリサリダ adv. さなぎに	「間接目的語」
(y イ conj. そして	
eso エソ pron それは	「主語」
ha de pasarle ア・デ・パサル・レ 3 単現・推量(haber de+不定詞 pasar+le)	
v.i あなたに起こるだろう	「動詞句」
algún día, アルグン・デイア adv. いつか	「副詞句」
¿sabe?), サベ 3 単現(saber)adv. (確認) そうですね？	「呼びかけ」
y イ conj. そして	
después, デスプエス adv. その後	「副詞」
cuando クワンド conj. ～すると	「副詞節」
se convierta セ・コンビエルタ 接・3 単現(convertirse)v.pr ～に変わる	「動詞句」
en una mariposa, エン・ウナ・マリポサ adv. 蝶々に	「間接目的語」
¿no cree ノ・クレ 3 単現・否定・疑問文(creer)v.t ～と思わないですか？	「動詞句」
usted ウステ pron あなたは	「主語」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
le レ pron あなたにとって	「間接目的語」
parecerá パレラ 3 単末(parecer)v.i ～に思われるだろう	「動詞」
todo eso トド・エソ pron そのすべてが	「主語」
un poco extraño? ウン・ポコ・エクストラニョ adj. ちょっと奇妙な	「補語」
haber de+不定詞	

義務 : ～しなければならない

Ha de seguir usted puntualmente las indicaciones del médico.

あなたは 医者への指示に忠実に従わなくてははいけません。

必然 : ～のはずだ

¿Cómo había de saberlo yo, si no estaba aquí?

私はここにいなかった のだからそれを知るはずがないじゃないか。

推量 : ～だろう

Ernesto habrá de venir hoy.

エルネストは今日来るだろう。

5 Consejos de una oruga

意志 : ～するつもりだ

「少しもそんなことはない！」と、イモムシはアリスに明言した。

-¡En absoluto! -declaróla Oruga. 《「応答」》, 「動詞句」 「主語」
 -¡En absoluto! – エン・アプ ソルト adv. (否定文で) まったく～でない 「応答」
 declaróla デクラーラ 3 単点(declarar+la)v.t 彼女に明言した 「動詞句」
 Oruga. オルガ n.f イモムシは 「主語」

「いいわ、多分あなたは私とは感じかたが違うのでしょうね」と、アリスは言った。「でも、もし私があなただったら、きっとすごく奇妙だと感じたと思うわ」

-Bueno, quizás tenga usted sentimientos distintos a los míos -dijo Alicia-; pero lo que sí sé es que yo, en su lugar, me sentiría ciertamente muy rara.

《「応答」「副詞」「動詞」「主語」「目的語」》, 「動詞」「主語」,
 《pero 「副詞句」「動詞句」「補語」》

-Bueno, ブエノ adv. いいわ 「応答」
 quizás キス adv. おそらく 「副詞」
 tenga テンガ 接・3 単現・推測(tener)v.t ～を持っている、～がある 「動詞」
 usted ウステ pron あなたは 「主語」
 sentimientos センチメントス pl.n.m 感情 「目的語」
 distintos a los míos デイストントス・ア・ロス・ミオス adj. 私の感情とは違う 「形容詞句」
 -dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 Alicia-; アリシア n.f アリスは 「主語」
 pero ペロ conj. しかし
 lo que sí sé es que yo, en su lugar, ロ・ケ・シ・セ・エス・ケ・ジヨ・エン・スルガール
 adv. (仮定条件) もし私があなただったら 「副詞句」
 me sentiría メ・センチリア 1 単過未・推測(sentirse)v.pr 自分が～と感じただろう 「動詞句」
 ciertamente シェルタメンテ adv. 確かに 「副詞」
 muy rara. マイ・ララ adj. とても奇妙な 「補語」

「何だって！」と、イモムシは馬鹿にしたように言った。「それで、君は誰なんだ？」

-¡Ah! ¡Tú! – dijo la Oruga con desdén. ¿Y quién eres tú?
 《「応答」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 《Y 「補語」「動詞」「主語」》
 -¡Ah! ¡Tú! – アー・トゥ int. 何だって！ 「応答」
 dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 la Oruga ラ・オルガ n.f イモムシは 「主語」
 con desdén. コン・デステン adv. (様態) 馬鹿にしたように 「副詞句」

5 Consejos de una oruga

desdén デスデン n.m 軽蔑、(見下した) 無関心
 eY イ conj. そして
 quién キエン pron 誰「補語」
 eres エルス 2 単現(ser)v.i 〜である「動詞」
 tú? トゥ pron 君は「主語」

これで、話はふりだしに戻ってしまった。

Con lo cual acababan volviendo a donde habían empezado.

「副詞句」「動詞句」「間接目的語」

Con lo cual コン・ロ・クワル adv. これで 「副詞句」
 acababan volviendo アカババン・ホルビエント 3 複線・結局(acabar+現在分詞)
 v.i 結局は戻った 「動詞句」
 a donde ア・ドンデ adv. 〜の場所へ 「間接目的語」
 habían empezado. アビアン・エンペサド 3 複線・完了形(empezar)
 v.t 始めた 「動詞句」

アリスは、イモムシが吐き捨てるようにぶっきらぼうな返事をするので、イライラしてきま
 した。それで、姿勢を正して重々しく言いました：

Alicia comenzaba a sentirse irritada por estas observaciones tan tajantes y tan secas de
 la Oruga, de forma que poniéndose muy derecha le dijo gravemente:

「主語」「動詞句」「補語」「副詞句」, 「副詞節」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
 comenzaba a sentirse コメンサバ・ア・センチルセ 3 単現・開始(comenzar a+不定詞)
 v.pr (+主格補語) (自分が〜であると) 感じ始めていた 「動詞句」
 irritada イリタダ 過去分詞(irritar)adj.f いらいらした 「補語」
 por ポル prep (原因) 〜のために 「副詞句」
 estas observaciones エスタス・オブセルバシオネス
 pl(observacion).n.f これらの意見、返事 「目的語」
 tan tajantes タン・タハテス adj(tajante).pl.f 非常に断定的な 「形容詞句」
 y イ conj. そして
 tan secas タン・セカス adj(seco).pl.f 非常に不愛想な 「形容詞句」
 de la Oruga, デ・ラ・オルガ adj. イモムシの 「形容詞句」
 de forma que +直説法 デ・フォルマ・ケ conj. (結果) それで〜する 「副詞節」
 poniéndose ポニエンドセ 現在分詞(ponerse)v.pr (姿勢を) とって 「副詞句」
 muy derecha ムイ・デレチャ adj.f きちんとした、真つすぐな 「補語」
 le レ pron 彼に 「間接目的語」

5 Consejos de una oruga

dijo ディョ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
gravemente: グラヘメント adv. 重々しく 「副詞」

「自分が誰なのかを先に言うべきなのは、あなたの方だと思いますけど」

-Me parece que es usted quien debe decirme antes quién es.

《「間接目的語」「動詞」「主語」》

-Me メ pron 私には 「間接目的語」
parece パレ 3 単現(parecer)v.i 思われる 「動詞」
que ケ conj. ～ということが 「主語」
es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」
usted ウステ pron あなた 「補語」
quien キエン pron (主語) ～する人は 「主語」
debe decirme デベ・デシル・メ 3 単現・必要(deber+不定詞 decir・me)
v.t 私に言うべきである 「動詞句」
antes アンテス adv. 先に 「副詞」
quién es. キエン・エス pron (あなたが) 誰かということ 「目的語」

「どうして？」と、イモムシは言い返した。

-¿Por qué? -replicó la Oruga. 《「応答」》, 「動詞」「主語」
-¿Por qué? - ホル・ケ adv. どうして? 「応答」
replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.t 言い返した 「動詞」
la Oruga. ラ・オルガ n.f イモムシは 「主語」

これはまた困った質問だった；アリスは答えるべき良い反論が頭に浮かばなかったし、イモムシがとても不愉快そうだったので、体を反転させて、ここを立ち去ることにした。

Era ésta otra pregunta desconcertante; y como a Alicia no se le ocurría un buen argumento para contestarle, y puesto que la Oruga estaba dando pruebas de estar en un estado de ánimo muy desagradable, se dio vuelta, decidida a alejarse.

「動詞」「主語」「補語」; y 「副詞節」, y 「副詞節」, 「動詞句」

Era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」
ésta エスタ pron これは 「主語」
otra pregunta オトラ・プレグンタ n.f 新たな問いかけ 「補語」
otra オトラ adj(otro).f 他の、別の、さらに 1 つの、次の
desconcertante; デスコンセルタンテ adj. 困るような、困惑させる 「形容詞」
y イ conj. そして
como コモ conj. (理由) ～なので 「副詞節」

5 Consejos de una oruga

a Alicia ア・アリシア	adv. アリスには	「間接目的語」
no se le ocurría ノ・セ・レ・オクリア	3 単線・否定(ocurrirse+le)	
v.pr	頭に浮かばなかった	「動詞句」
le	は a Alicia に対応	
un buen argumento ウン・ブエン・アルグメント	n.m よい反論が	「直接目的語」
para contestarle, パ・ラ・コンテスタル・レ	adj. 彼に答えるべき	「形容詞句」
y イ conj.	そして	
puesto que+直説法 プエスト・ケ conj.	(理由) ~だから、~である以上	「副詞節」
la Oruga ラ・オルガ	n.f イモムシが	「主語」
estaba dando エスタバ・ダント	3 単線・進行形(dar)v.t 示していた	「動詞句」
pruebas プルエバス pl(prueba).n.f	証拠を	「目的語」
de estar デ・エスタール	不定詞・同格 adj. ~であるという	「形容詞句」
en un estado de ánimo エン・ウン・エスタト・デ・アニモ		
adv.	心の状態に	「補語」
muy desagradable, ムイ・デサグラダブレ		
adj.	非常に不愉快な	「形容詞句」
se dio vuelta, セ・ディオ・ブエルタ	3 単点 v.pr 体の向きを変えた	「動詞句」
→	自分自身に回転を与えた→反対方向に体の向きを変えた	
decidida a alejarse. デシディダ・ア・アレハセ	3 単線・決意(decidir a+不定詞)	
v.pr	去ることにした	「動詞句」
alejarse アレハセ v.pr	遠ざかる	

「こちらに、戻っておいで！」と、イモムシが後ろから叫びました。「大事な話がある」

-¡Vuelve acá! -exclamó la Oruga a sus espaldas-. Tengo algo importante que decir.

《「呼びかけ」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 《「動詞」「目的語」》

-¡Vuelve プエルベ	命・2 単現(volver)v.i 戻ってきなさい!	「呼びかけ」
acá! アカ	adv. こちらに	「副詞」
-exclamó エクスクラモ	3 単点(exclamar)v.i 叫んだ	「動詞」
la Oruga ラ・オルガ	n.f イモムシが	「主語」
a sus espaldas-. ア・ス・エスパルダス	adv. 彼女の背後に、背後から	「副詞句」
Tengo テンゴ	1 単現(tener)v.t ~がある	「動詞」
algo importante アルゴ・インポルタンテ	pron 重要なことが	「目的語」
que decir. ケ・デシル	不定詞・すべき adj. 言うべき	「形容詞句」

5 Consejos de una oruga

これは先程とは全然様子が違うと思って、アリスは期待してキノコの所に戻りました。

Esto, ciertamente, parecía harina de otro costal; de forma que Alicia retornó, esperanzada, a la seta.

「主語」「副詞」「動詞」「補語」; de forma que 「主語」「動詞」「副詞句」

Esto, エスト pron これは 「主語」

ciertamente, シェルタメンテ adv. 確かに、きっと 「副詞」

parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i 〜のように見えた 「動詞」

harina de otro costal; アリナ・デ・オトロ・コスタル n.f まったく別問題 「補語」

de forma que+直説法 デ・フォルマ・ケ conj. (結果) そのため〜

de forma que+接続法 conj. (目的) 〜するように

Alicia アリシア n.f イスは 「主語」

retornó, レトルノ 3 単点(れと r な r)v.i 戻った 「動詞」

esperanzada, エスペランサダ 過去分詞.f(esperanzar)adj.f 期待して 「副詞」

a la seta. ア・ラ・セタ adv. キノコのところに 「副詞句」

「そんなにいらいらするな！」と、イモムシは言った。

¡Guárdate de ese mal genio! -sentenció la Oruga.

《「動詞句」「間接目的語」》, 「動詞」「主語」

¡Guárdate グェルダテ 命・2 単現(guardarse)v.pr(de に) 気を付けろ 「動詞句」

de ese mal genio! デ・エセ・マル・ヘニオ adv. その機嫌の悪さに 「間接目的語」

-sentenció センテンシオ 3 単点(sentenciar)v.t 言い渡した 「動詞」

la Oruga. ラ・オルガ n.f イモムシは 「主語」

「言いたいことはそれだけなの？」と、アリスは、出来るだけ怒りを抑えて彼に言った。

¿Es eso todo lo que tenía que decir? -le repuso Alicia, tragándose la rabia lo mejor que pudo.

《「動詞」「主語」「補語」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」「副詞句」

¿Es エス 3 単現・疑問文(ser)v.i 〜なの? 「動詞」

eso エソ pron それは 「主語」

todo lo トト・ロ pron すべてのこと 「補語」

que ケ pron (目的語) 〜する 「形容詞節」

tenía que decir? テニア・ケ・デシル 3 単現・必要(tener que+不定詞)

v.t 言わなければならない 「動詞句」

-le レ pron 彼に 「間接目的語」

repuso レプソ 3 単点(reponer)v.t 答えた、返事した 「動詞」

Alicia, アリシア n.f アリスは 「主語」

tragándose トラガンドセ 現在分詞・同時(tragarse)v.pr 〜を飲み込んで 「副詞句」

5 Consejos de una oruga

la rabia ラ・ラビア n.f 怒りを、苛立ちを 「目的語」
lo mejor que pudo. ロ・メル・ケ・プト adv. 出来るだけ 「副詞句」

「いや」と、イモムシは答えた。

-No dijo la Oruga. 《「応答」》, 「動詞」「主語」
-No – / adv. いや 「応答」
dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
la Oruga. ラ・オルガ n.f イモムシは 「主語」

アリスは、他に良さそうな事が無かったので、もしかするといずれは、イモムシが苦勞に値する何かを言ってくれるかも知れないと思って、ここで待とうと決めました。

Alicia decidió que, como no tenía otra cosa mejor que hacer, igual le daba quedarse ahí a ver si la Oruga decía algo que valiera la pena, después de todo. 「主語」「動詞」「目的語」
Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
decidió デシディヨ 3 単点(decidir)v.t(que と) 決めた 「動詞」
que, ケ conj. ～ということを 「目的語」
como コモ conj. (理由) ～なので 「副詞節」
no tenía ノ・テニア 3 単線・否定(tener)v.t ～がない 「動詞句」
otra cosa mejor オトラ・コサ・メル n.f 他に良い事が 「目的語」
que hacer, ケ・アセル adj. するべき 「形容詞句」
igual イグアル adv. (希望的観測) 多分、もしかしたら 「副詞」
le レ pron 彼に 「間接目的語」
daba quedarse ダバ・ケダレ 1 単線・使役・時制の一致(dar+不定詞)
v.t 留まらせる 「動詞句」
ahí アイ adv. ここに 「副詞」
a ver ア・ベール 不定詞・結果 adv. そして見える (かも知れない) 「副詞句」
si シ conj. ～かどうかを 「目的語」
la Oruga ラ・オルガ n.f イモムシが 「主語」
decía デシア 3 単線(decir)v.t 言う 「動詞」
algo アルゴ pron 何かを 「目的語」
que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
valiera バリエラ 接・3 単過(valer)
v.t ～に値する 「動詞」
la pena, ラ・ペナ n.f 苦勞 「補語」
después de todo. デ・スプ・エス・デ・トト adv. 結局 「副詞句」

5 Consejos de una oruga

イモムシは数分間なにも言わずに水たばこを吸い続けていたが、ついに、腕組みしていた両腕を広げて、言った：

Durante algunos minutos, ésta siguió fumando sin decir palabra; pero al fin abrió los brazos, que tenía cruzados sobre el pecho, y dijo:

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」;pero 「副詞句」「動詞」「目的語」 y 「動詞」
 Durante algunos minutos, トゥランテ・アルグナス・ミントス adv. 数分の間 「副詞句」
 ésta エスタ pron (Oruga の代用) イモムシは 「主語」
 siguió fumando シギョ・フマント 3 単点・進行形(seguir+現在分詞 fumar)
 v.i 水たばこを吸い続けていた 「動詞句」
 sin decir palabra; シン・デシル・パラブラ adv. 一言もしゃべらずに 「副詞句」
 pero ペロ conj. しかし
 al fin アル・フィン adv. ついに、とうとう 「副詞句」
 abrió アブリョ 3 単点(abrir)v.t 広げた 「動詞」
 los brazos, ロス・ブラソス pl.n.m 両腕を 「目的語」
 que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」
 tenía テニア 3 単線(tener)v.t (状態に) していた 「動詞」
 cruzados クルサドス adj(cruzado).m.pl 交差した 「補語」
 sobre el pecho, ソブレ・エル・ペチョ adv. 胸の上で 「副詞句」
 y イ conj. そして
 dijo: ディョ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

「それで、君は自分が変わったと思うんだって？」

-Así que tú crees haber cambiado, ¿eh? 《Así que 「主語」「動詞」「目的語」「呼びかけ」》
 -Así que +直説法 アシ・ケ conj. 従って～、それで～
 tú トゥ pron 君は 「主語」
 crees クレイス 2 単現(creer)v.t ~と思う 「動詞」
 haber cambiado, ハベール・カンビアド 不定詞・完了形(cambiar)
 n. 変わったということを 「目的語」
 ¿eh? エー int. (確認) そうなんだね? 「呼びかけ」

5 Consejos de una oruga

「はい、それが心配なんです」と、アリスが言った。「以前みたいに色々なことを思い出すことが出来ないし、10 分もしないうちに体の大きさが変わってしまうんです」

-Me temo que sí, señor -dijo Alicia-; no me acuerdo de las cosas de la misma manera que antes..., ¡y no pasan ni diez minutos sin que cambie de tamaño!

《「動詞句」「目的語」「呼びかけ」》, 「動詞」「主語」,

《「動詞句」「間接目的語」「副詞句」 y 「動詞句」「主語」「副詞節」》

-Me temo メ・テム 1 単現(temerse)v.pr(que ~を) 心配している 「動詞句」
que sí, ケ・シ n. はいそういうこと (を心配している) 「目的語」
señor セニョール n. イモムシさん 「呼びかけ」
-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
Alicia-; アリシア n.f アリスは 「主語」
no me acuerdo ノ・メ・アクエルト 1 単現・否定(acordarse)v.pr(de を) 思い出せない 「動詞句」
de las cosas デ・ラス・コサス adv. 物事を、いろんな事を 「間接目的語」
de la misma manera デ・ラ・ミスマ・マネラ adv. (方法) 同じように 「副詞句」
que antes..., ケ・アンテス adv. (比較) 以前と、昔と 「副詞句」
¡y イ conj. そして、その上
no pasan ノ・パサン 3 複現・否定(pasar)v.i 過ぎない 「動詞句」
ni diez minutos ニ・ディエス・ミトス pl(minuto).n.m 10 分間さえも〜ない 「主語」
ni は否定・強調の副詞 「〜さえない」
sin que シン・ケ conj. ~することなく 「副詞節」
cambie カンビエ 接・1 単現(cambiar)v.i(de を) 変える 「動詞」
de tamaño! デ・タマニョ adv. 大きさを 「間接目的語」

「思い出せないって?... どんなことを？」と、イモムシは尋ねた。

-No te acuerdas..., ¿de qué cosas? -preguntó la Oruga.

《「動詞句」「間接目的語」》, 「動詞」「主語」

-No te acuerdas..., ノ・テ・アクエルダス 2 単現・否定・疑問文(acordarse)
v.pr 思い出せない? 「動詞句」
¿de qué cosas? デ・ケ・コサス adv. どんなことを 「間接目的語」
-preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」
la Oruga. ラ・オルウガ n.f イモムシが 「主語」

5 Consejos de una oruga

「ええ、あのう！『小さな働きバチ』を暗唱しようとしたんです... でも、結局、全く違うものになってしまうんです！」と、アリスは憂鬱そうに答えた。

-Pues verá usted, intenté recitar «Ved cómo la pequeña e industriosa abeja...», ¡pero me salió todo diferente! -replicó Alicia con melancolía.

《「副詞句」「動詞句」「目的語」,

pero 「間接目的語」「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

-Pues verá usted, プエス・ベラ・ウステ adv. (言いよどみ) ええ、あのう 「副詞句」

intenté recitar インテンテ・レシタル 1 単点・試行(intentar+不定詞)v.t 暗唱しようとした「動詞句」

n. 「目的語」

«Ved ヲ 命・2 複現(ver)v.t 見よ！ 「動詞」

cómo コモ adv. どのようにしているかを 「目的語」

la pequeña e industriosa ラ・ペケニャ・エ・インドゥストリオサ

adj. 小さくて働き者の 「形容詞句」

abeja...», アベハ n.f ミツバチ、蜂 「主語」

¡pero ペロ conj. しかし

me メ pron 私にとって 「間接目的語」

salió サリオ 3 単点(salir)v.i (結果として) ~になる 「動詞」

todo diferente! トド・ディフェレンテ adj. 全く異なった 「補語」

-replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.t 答えた、言い返した 「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

con melancolía. コン・メランコリア adv. (様態) 憂鬱そうに 「副詞句」

「ちょっと、『ウィリアム父さん年取った』を暗唱してみなさい」と、イモムシが言った。

-A ver: recítame «Sois viejo, padre Guillermo» -ordenó la Oruga.

《「副詞句」：「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」

-A ver: ア・ベール adv. (話題転換) どれどれ、それじゃあ、ちょっと 「副詞句」

recítame レシタ・メ 命・2 単現(resitar+me)v.t わしのために暗唱しなさい 「動詞句」

n. 「目的語」

«Sois ソイス 2 複現(ser)v.i ~である 「動詞」

viejo, ビエホ adj. 年を取った 「補語」

padre Guillermo「パドレ・ギジェルモ」 n.m(英語名 William)ウィリアム父さん 「主語」

-ordenó オルデノ 3 単点(ordenar)v.t 命じた 「動詞」

la Oruga. ラ・オルガ n.f イモムシが 「主語」

5 Consejos de una oruga

アリスは腕組みをして、暗唱を始めた。

Alicia cruzó los brazos y empezó: 注 11 「主語」「動詞」「目的語」 y 「動詞」
 Alicia アリシア n.f イスは 「主語」
 cruzó クルゾ 3 単点(cruzar)v.t (腕を) 組んだ 「動詞」
 los brazos ロス・ブラソス pl(brazo).n.m 両腕を 「目的語」
 y イ conj. そして
 empezó: エンペゾ 3 単点(empezar)v.t 始めた 「動詞」

『ウィリアム父さん年取った』と、若者が言った。

«Sois viejo, padre Guillermo», dijo el joven, 『「動詞」「補語」「主語」』, 「動詞」「主語」
 «Sois ソイス 2 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」
 viejo, ビエホ adj. 年を取った 「補語」
 padre Guillermo», パドレ・ギジェルモ n.m ウィリアム父さんは 「主語」
 dijo デホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 el joven, エル・ホベン n.m 若者が 「主語」

「それに、あなたの髪はもう真っ白だ。それでもいつも逆立ちしてる！教えて頂戴！そんなお歳で大丈夫？」

«y vuestro pelo se ha puesto ya muy cano. Sin embargo, ¡os estáis poniendo siempre de cabeza! ¡Decidme! ¿Os parece eso bien a vuestra edad?»

«y 「主語」「動詞句」「補語」 | 「副詞句」, 「動詞句」「副詞句」
 「動詞句」 | 「間接目的語」「動詞」「主語」「補語」»

«y イ conj. そして
 vuestro pelo ブエストロ・ペロ n.m あなたの髪は 「主語」
 se ha puesto セ・ア・ブエスト 3 単現・完了形(ponerse)
 v.pr (+補語 目に見えて) 〜になった 「動詞句」
 ya muy cano. ヤー・マイ・カノ adj. もうすっかり白髪の 「補語」
 Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. それなのに、それでも 「副詞句」
 ¡os estáis poniendo オス・エスタイス・ポニエント 2 複現・進行形(ponerse)
 v.pr (姿勢を) とっている、立っている 「動詞句」
 siempre de cabeza! シエンプレ・デ・カベサ adv. (手段) いつも頭で 「副詞句」
 ¡Decidme! デシト・メ 命・2 複現(decir+me)v.t 答えて頂戴！ 「動詞句」
 ¿Os オス pron.pl (2 複敬称) あなたにとって 「間接目的語」
 parece パレセ 3 単現(parecer)v.i 〜に思われる？ 「動詞」
 eso エソ pron その恰好は 「主語」
 bien ビエン adv. 良い 「補語」

5 Consejos de una oruga

a vuestra edad?» ア・ヴエストラ・エダ adv. あなたの年に対して

「副詞句」



ウィリアム、息子に答えて言う、「若い頃には、脳が壊れないかと心配だった」

«En mi juventud», replicó Guillermo a su hijo, «temí que me hiciera daño a los sesos.

《「副詞句」》, 「動詞」「主語」「間接目的語」, 《「動詞」「目的語」》

«En mi juventud», エン・ミ・フベントウ adv. 若い頃には

「副詞句」

replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.i 答えて言った

「動詞」

Guillermo ギジェルモ n.m ウィリアムは

「主語」

a su hijo, ア・ス・ヒョ adv. 息子に

「間接目的語」

«temí テミ 1 単点(temer)v.t 恐れた、～が怖かった

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

me hiciera daño メ・イセラ・ダニョ 接・1 単過・可能性(haberse daño)

v.pr (自分の体の) (a に) 傷つけるかもしれない

「動詞句」

a los sesos. ア・ロス・セソス adv. 脳に

「間接目的語」

「今では、わたしには脳などないと分かったから、やりたい時に逆立ちするさ！」

Pero ahora, cuando sé que no me queda ninguno, ¡vaya!, ¡lo hago cuando me viene en gana!»

《「副詞句」, 「間投」「目的語」「動詞」「副詞句」》

Pero ahora, ペロ・アハラ adv. だけど今は

「副詞句」

cuando クワント conj. (理由) ～なのだから

「副詞節」

sé セ 1 単現(saber)v.t 分かっている

「動詞」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

no ...queda ノ...クタ 3 単現・否定(quedar)

v.i (悪い結果に) ならない

「動詞句」

me メ pron 自分にとって

「間接目的語」

ninguno, ニンゴノ pron 何も～ない

「主語」

5 Consejos de una oruga

¡vaya!, バヤ adv. さあ！	「間投」
ilo ロ pron それを	「目的語」
hago アゴ 1 単現(hacer)v.t する、やるぞ	「動詞」
cuando クワント conj. (時) ～する時に	「副詞句」
me メ pron 自分に	「間接目的語」
viene en gana!》 ビエネ・エン・ガナ 3 単現(venir en gana)	
v.t(a+人) 欲望をそそる	「動詞句」



「父さん、年取った」と、若者が言った。「それに異常に太っている。なのに、戸口を通る時に、バク転をする」

«Sois viejo», dijo el joven, «como antes observé, y habéis engordado de manera descomunal. Pero al cruzar el umbral ¡disteis una voltereta hacia atrás!»

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」,

《y 「動詞句」「副詞句」 | Pero 「副詞句」「動詞」「目的語」》

«Sois ソイス 2 複現(ser)v.i ～である	「動詞」
viejo», ビエホ adj. 年を取った	「補語」
dijo ティホ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
el joven, エル・ホベン n.m 若者が	「主語」
«como コモ conj. (様態) ～のように	「副詞節」
antes アンテス adv. 前に	「副詞」
observé, オブセルベ 1 単点(observar)v.t 指摘した	「動詞」
y イ conj. そして	
habéis engordado アベイス・エンコルダド 2 複現・完了形・敬称(engordar)v.i 太ってる	「動詞句」

5 Consejos de una oruga

de manera+形容詞 デ・マネラ adv. どのように	「副詞句」
descomunal. デスコムナル adj. 異常な	「形容詞」
Pero ペロ conj. しかし	
al cruzar アル・クルサル adv. ～を横切る時に	「副詞句」
el umbral エル・ウンブラル n.m 戸口を	「目的語」
¡disteis デイステイス 2 複現・敬称・時制の一致(dar)v.t (動作を) する	「動詞」
una voltereta ホルテレタ n.f とんぼ返りを	「目的語」
hacia atrás! アシア・アトラス adv. 後ろに向かって	「副詞句」

お願いだから、返事をして：「どうしてそんな事をするの？」

Os ruego me respondáis : ¿cómo explicáis el portento?»

	「目的語」「動詞」「間接目的語」「動詞」：《「副詞」「動詞」「目的語」》
Os オス pron (二人称複数・敬称) あなたに	「目的語」
ruego ルエゴ 1 単現(rogar)v.t お願いする	「動詞」
me メ pron 私に	「間接目的語」
respondáis : レスポンダイス 接・2 複現(responder)v.t 返事をして	「動詞」
¿cómo コモ adv. どのように	「副詞」
explicáis エクスプリカイス 2 複現(explicar)v.t 説明する	「動詞」
el portento? エル・ポルテント n.m 驚くべき出来事を	「目的語」

「若い頃には」と、白髪を揺すって老人が言った。「この軟膏で軽快な手足を保った」

«En mi juventud», replicó el anciano sacudiendo sus blancos cabellos, «mantuve bien la agilidad de mis miembros con este ungüento».

	《「副詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 《「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」》
«En mi juventud», エン・ミ・フベントウ adv. (時期) 若い頃には	「副詞句」
replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.t 答えた	「動詞」
el anciano エル・アンシアノ n.m 老人は	「主語」
sacudiendo サクディエント 現在分詞・同時(sacudir)adv. 揺すりながら	「副詞句」
sus blancos cabellos, スス・ブランコス・カベシヨス pl(cabello).n.m 白髪を	「目的語」
«mantuve マントゥヘ 1 単点(mantener)v.t 保った、整えた	「動詞」
bien ビエン adv. よく、十分に	「副詞」
la agilidad ラ・アヒリダダ n.f 軽快さ、敏捷さ	「目的語」
de mis miembros デ・ミス・ミエンブロス adj. 手足の	「形容詞句」
con este ungüento. コン・エステ・ウングエント adv. (手段) この軟膏で	「副詞句」

5 Consejos de una oruga

「1 箱 1 シリングだ！何個か売ってやってもいいぞ」

¡A un chelín la caja! ¿Me permitís que os venda unas cuantas?»

《「副詞句」 | 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》

¡A un chelín ア・ウン・チェリン adv. (基準) 1 シリングにつき

「副詞句」

la caja! ラ・カ n.f 1 箱

「目的語」

¿Me メ pron 僕に

「間接目的語」

permitís ペルミチス 2 複現(permitir)v.t 許す

「動詞」

que +接続法 ケ conj. ～ということ

「直接目的語」

os オス pron 君に

「間接目的語」

venda ベンダ 接・1 単現 (vender)v.t 売る

「動詞」

unas cuantas?» ウナス・クァンタス

pl(cuanto).pron.f (ungüento の代用) いくつか

「直接目的語」



「父さん、年取った」と、若者が言った。「もう歯が弱い。かみ碎けるのはバターだけ」

«Sois viejo», dijo el joven, «y vuestras mandíbulas, ya débiles, no pueden masticar más que manteca.»

《「動詞」「補語」, 「動詞」「主語」, «y「主語」「補語」, 「動詞句」「目的語」》

«Sois ソイス 2 複現(ser)v.i ～である

「動詞」

viejo», ビエホ adj. 年を取った

「補語」

dijo デホ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

el joven, エル・ホベン n.m 若者が

「主語」

«y イ conj. そして

vuestras mandíbulas, ブエストラス・マンディブラス pl(mandíbula).n.f あなたのあごは

「主語」

vuestra ブエストラ adj.j (敬称) あなたの

5 Consejos de una oruga

ya débiles, ヤー・デビレス adj.pl(débil) もう弱い 「補語」
 no pueden mascar ノ・プ エデン・マスカール 3 複現・敬称・可能・否定(poder+不定詞)
 v.t かみ砕けない 「動詞句」
 más que manteca. マス・ケ・マンテカ n.f バターしか 「目的語」
 más que... 「～しか」 manteca マンテカ n.f バター、乳脂

「それなのに、ガチョウを1羽食いつくした。1本の骨も残さずに。教えて欲しい、どうしてそんなことが出来たのか」

Y sin embargo, ¡os habéis comido un ganso sin dejar ni un hueso! ¿Cómo, os lo pido,
habéis logrado hacerlo?»

《Y 「副詞句」, 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」
 「副詞」, 「間接目的語」 「直接目的語」 「動詞」, 「動詞句」》

Y イ conj. そして
 sin embargo, シン・エンバルゴ adv. それなのに 「副詞句」
 ¡os habéis comido オス・アベイス・コムト 2 複現・完了形・敬称(comerse)
 v.pr 食いつくした 「動詞句」
 un ganso ウン・ガンソ n.m ガチョウを1羽 「目的語」
 sin dejar シン・デハール 不定詞 adv. ～を残さずに 「副詞句」
 ni un hueso! ニ・ウン・ウエソ n.m 1本の骨も～ない 「目的語」
 ¿Cómo, コモ adv. どうやって 「副詞」
 os オス pron あなたに 「間接目的語」
 lo ロ pron それを 「直接目的語」
 pido, ピト 1 単現(pedir)v.t 頼む、聞きたい 「動詞」
 habéis logrado hacerlo? アベイス・ログラト・アセル・ロ 2 複現・完了形・成功(lograr+不定詞)
 v.t それをうまくやり遂げた 「動詞句」

「若い頃には」と、父さんが言った、「法律を勉強して、何でもかみさんと議論した」

«En mi juventud», dijo el padre, «estudié leyes y en todo discutí con mi mujer.

《「副詞句」》, 「動詞」 「主語」, 《「動詞」 「目的語」 y 「間接目的語」 「動詞」 「副詞句」》
 «En mi juventud», エン・ミ・フベントウ adv. 若い頃には 「副詞句」
 dijo ティエ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 el padre, エル・パトレ n.m 父さんが 「主語」
 «estudié エストゥディエ 1 単点(estudiar)v.t 勉強した 「動詞」
 leyes レィエス pl(ley).n.f 法律学を 「目的語」
 y イ conj. そして
 en todo エン・トド adv. 何についても、すべてにおいて 「間接目的語」

5 Consejos de una oruga

discutí ディスクチ 1 単点(discutir)v.i 口論した、議論した

「動詞」

con mi mujer. コン・ミ・ムヘル adv. 妻と

「副詞句」

「それで顎はこんなに筋肉もりもりになった。老後のためだ」

Con todo eso, desarrollé tal fuerza muscular en la mandíbula que me ha durado i para el resto de mis días!»

《「副詞句」「動詞」「目的語」》

Con todo eso, コン・トド・エソ adv. そのために

「副詞句」

desarrollé デサロジエ 1 単点(desarrollar)v.t 発達させた

「動詞」

tal fuerza muscular タル・フェルサ・ムスクリール n.f こんな筋肉もりもりの体を

「目的語」

en la mandíbula エン・ラ・マンディブラ adv. 顎に

「副詞句」

que me ha durado ケ・メ・ア・ドゥラド adj. 続いている

「形容詞節」

i para el resto de mis días!» パラ・エル・レスト・デ・ミス・デ・イアス

adv. わしの余生のために

「副詞句」



「父さん、年取った」と、若者が言った。「それに、見た目は去年とまったく違う」

«Sois viejo», dijo el joven, «y nadie diría que conserváis aún la vista de antaño».

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」, 《y 「主語」「動詞」「目的語」》

«Sois ソイス 2 複現(ser)v.i ~である

「動詞」

viejo», ビエホ adj. 年を取った

「補語」

dijo ディホ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

el joven, エル・ホベン n.m 若者が

「主語」

«y イ conj. そして

nadie ナデェ pron 誰も~ない

「主語」

diría ディリア 3 単過未・推測(decir)v.t (否定文で) 言わないだろう

「動詞」

5 Consejos de una oruga

que ケ conj. ～ということを	「目的語」
conserváis コンセルバéis 2 複現(conservar)v.t 保っている	「動詞」
aún アウン adv. まだ	「副詞」
la vista ラ・ビスタ n.f 外見を	「目的語」
de antaño. デ・アンタニョ adj. 昔の、今年の	「形容詞句」

「それなのに、鼻の上に、ウナギをオッ立てる」

Y, sin embargo, ¡hacéis equilibrios con una anguila sobre la nariz!

《Y, 「副詞句」, 「動詞」 「目的語」 「副詞句」》

Y, イ conj. そして	
sin embargo, シン・エンバルゴ adv. それなのに	「副詞句」
¡hacéis アセイス 2 複現(hacer)v.t (バランスを) とる	「動詞」
equilibrios エキリブリオス pl(equilibrio).n.m バランスを	「目的語」
con una anguila コン・ウナ・アンギラ adv. (材料) ウナギを	「副詞句」
sobre la nariz! ソブレ・ラ・ナリス adv. 鼻の上に	「副詞句」

「どうして、そんなすごい芸当ができたんだ？」

¿Cómo habéis podido desarrollar talento tan desmesurado?»

《「副詞」 「動詞句」 「目的語」》

¿Cómo コモ adv. どうやって	「副詞」
habéis podido desarrollar アベイス・ポデイト・デサロジャール 2 複現・完了形・可能 (poder+不定詞)v.t 開発出来た	「動詞句」
talento タレント n.m 能力、才能	「目的語」
tan desmesurado?» タン・デスメストラド adj. それほど並外れた	「形容詞句」

「3つの問いに答えた。もうたくさんだ」と、父さんが言った。

«A tres preguntas he respondido ¡y basta!», dijo el padre.

《「間接目的語」 「動詞句」 y 「動詞」》, 「動詞」 「主語」

«A tres preguntas ア・トレス・プレグンタス adv. 3つの問いに	「間接目的語」
he respondido エ・レスポンドイト 1 単現・完了形(respondder)v.i(a に) 返事をした	「動詞句」
¡y イ conj. そして	
basta!», バスタ 3 単現(bastar)v.i もう十分だ! もう嫌だ	「動詞」
dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
el padre. エル・パドレ n.m 父さんは	「主語」

5 Consejos de una oruga

「もしかしたら、すべての生理的欲求を我慢しなきゃならないのか？」

¿Acaso he de aguantar todas esas necesidades? 《「副詞」「動詞句」「目的語」》

¿Acaso アカ adv. もしかすると 「副詞」

he de aguantar エ・デ・アグアンタル 1 単現・必要(haber de+不定詞)

v.t 我慢しなければならない 「動詞句」

todas esas necesidades? トダス・エサス・ネセシダデス

pl(necedad).n.f すべての生理的欲求を 「目的語」

「自惚れないで、ここを出て行きなさい！」

¡Menos humos! y ¡fuera de aquí! 《「呼びかけ」》

¡Menos humos! メノス・ウモス pl(humo).n.m 少ない自惚れ！ 「呼びかけ」

y イ conj. そして

¡fuera de aquí! フェラ・デ・アキ adv. この外に 「呼びかけ」

「階段から蹴り落とされたくないだろう？」

¡No vaya a ser que de una patada te eche a rodar escaleras abajo! 《「動詞句」「補語」》

¡No vaya a ser ノ・バヤ・ア・セール 命・3 単現・否定(ir a+不定詞)

v.i ~になるな 「動詞句」

que ケ conj. ~ということ 「補語」

de una patada デ・ウナ・パタダ adv. 1 蹴りで 「副詞句」

te テ pron お前を 「目的語」

eche a rodar エチェ・ア・ロダール 接・3 単現・開始・推量(echar a+不定詞)

v.t 転がし始める 「動詞句」

escaleras abajo! エスカレラス・アバホ adv. 階段の下へ 「副詞句」

abajo アバホ adv. 下へ、(無冠詞名詞+abajo) ~の下に

「それは間違っているなあ」と、イモムシは言った。

-Eso está mal dicho -sentenció la Oruga. 《「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」

-Eso エソ pron それは 「主語」

está エスタ 3 単現(estar)v.i ~である 「動詞」

mal dicho マル・デイチ 過去分詞(decir)adj. 間違えた、不適切に言われた 「補語」

-sentenció センテンシオ 3 単点(sentenciar)v.t 言った、判断を下した 「動詞」

la Oruga. ラ・オルガ n.f イモムシは 「主語」

5 Consejos de una oruga

「完全に正しくはないですね」と、アリスはおずおずと答えた；「いくつかの言葉は取り違えたかもしれません」

-No está del todo bien -repuso Alicia tímidamente; algunas palabras me han salido trastrocadas.

《「動詞句」「補語」》, 「動詞」「主語」「副詞」; 《「主語」「副詞」「動詞句」「補語」》	
-No está ノ・エスタ 3 単現・否定(estar)v.i ~でない	「動詞」
del todo bien デル・トド・ビエン adj. すべて正しい状態の	「補語」
-repuso レプソ 3 単点(reponer)v.t 答えた	「動詞」
Alicia アリシア n.f アリスは	「主語」
tímidamente; チミダメンテ adv. おずおずと	「副詞」
algunas palabras アルグナス・パラブラス pl(palabra).n.f いくつかの言葉が	「主語」
me メ adv.(動作主) 私によって	「副詞」
han salido アン・サルト 3 複現・完了形(salir)v.t (結果として) ~になった	「動詞句」
trastrocadas. トラストカダス 過去分詞・受動 (trastocar)adj.f.pl 取り換えられた	「補語」

「最初から最後まで間違っているよ」と、イモムシは決めつけるように言いました；それから、数分のあいだ黙り込んでいました。

-Está mal de arriba abajo -insistió la Oruga de manera inapelable; tras lo cual pasaron varios minutos en silencio.

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」; 「副詞句」「動詞」「主語」「副詞句」	
-Está エスタ 3 単現(estar)v.i ~である	「動詞」
mal マル adj. 間違えた、悪く	「補語」
de arriba abajo デ・アリバ・アバホ adv. 最初から最後まで、上から下まで	「副詞句」
-insistió インシチオ 3 単点(insistir)v.i 強く言った	「動詞」
la Oruga ラ・オルガ n.m イモムシは	「主語」
de manera+形容詞 デ・マネラ adv. ~の様子で	「副詞句」
inapelable; インペラブレ adj. 確定した、確実な	「形容詞」
tras lo cual トラス・ロ・クワル adv. その後で	「副詞句」
pasaron パサロン 3 複点(pasar)v.i (時間が) 過ぎた	「動詞」
varios minutos バリアス・ミストス pl(minuto)n.m 数分が	「主語」
en silencio. エン・シレンシオ adv. 黙ったままで	「副詞句」

5 Consejos de una oruga

イモムシが先に口を開いた：

La Oruga fue la primera en romperlo: 「主語」「動詞」「補語」
 La Oruga ラ・オルガ n.f イモムシは 「主語」
 fue フェ 3 単点(ser)v.i 〜だった 「動詞」
 la primera ラ・プリメラ pron.f 最初 「補語」
 en romperlo: エン・ロンペル・ロ adv. それを破るのが 「副詞句」
 en+不定詞 「〜することにおいて」 romper ロンペール v.t 壊す lo は silencio の代用
 ser el primero en+不定詞 「真っ先に〜する」

「それで、どれ位の大きさにになりたいのかね？」と、イモムシが尋ねた。

-¿Y qué tamaño querías tener? -preguntó. 《Y「目的語」「動詞句」》, 「動詞」
 -¿Y イ conj. それで
 qué tamaño ケ・タマニョ n.m どれくらいの大きさを 「目的語」
 querías tener? クエラス・テネル 2 単過未・願望(querer+不定詞)v.t 望むのか? 「動詞句」
 -preguntó. プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

「大きさは、別にどうでもいいんです」と、アリスは急いで答えた；「大きさが、しょっちゅう変わるのがいやなだけなんです。そういませんか？」

-No soy nada particular en cuanto a tamaños -se apresuró a replicar Alicia-; es sólo que a una no le gusta estar cambiando de tamaños con tanta frecuencia, ¿no cree?
 《「動詞」「補語」》；「動詞句」「主語」；《「動詞」「補語」, 「動詞句」》
 -No soy ノ・ソイ 1 単現・否定(ser)v.i 〜でない 「動詞」
 nada particular ナダ・パルチクルール pron 特に何もない 「補語」
 en cuanto a tamaños エン・クワント・ア・タマニョス adv. (関連) 大きさに関しては「副詞句」
 en cuanto a... 「〜に関して」
 -se apresuró a replicar セ・アプレスロ・ア・レプリカル 3 単点・緊急(apresurarse a+不定詞)
 v.pr 急いで答えた 「動詞句」
 Alicia-; アリシア n.f アリスは 「主語」
 es エス 3 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」
 sólo ソロ adj. 〜なだけ 「補語」
 que ケ conj. (同格) 〜ということ 「形容詞節」
 a una ア・ウナ pron 人にとって 「間接目的語」
 no le gusta ノ・レ・グスタ 3 単現・否定(gustar+le)v.i 好みでない 「動詞句」
 estar cambiando エスター・カンビアント 不定詞・進行形
 n. 変わり続けることは 「主語」
 de tamaños デ・タマニョス adv. 大きさが 「副詞句」

5 Consejos de una oruga

con tanta frecuencia, コン・タンタ・フレクエンシア

adv. しょっちゅう、頻繁に

「副詞句」

¿no cree? ノ・クレ 3 単現・否定・疑問文(creer)

v.t. そう思いませんか?、そうじゃないですか?

「動詞句」

「なんとも思わないな!」と、イモムシが答えた。

-No creo nada -repuso la Oruga.

《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」

-No creo ノ・クレ 1 単現・否定(creer)v.t. 思わない

「動詞句」

nada ナダ pron 何も～ない

「目的語」

-repuso レプソ 3 単点(reponer)v.t. 答えた

「動詞」

la Oruga. ラ・オルガ n.f. イモムシが

「主語」

アリスは答えようとしませんでした; 生まれてこのかた、こんなに反論ばかりされたことは一度もありませんでした、そして怒りが込み上げてくるのを感じました。

Alicia no quiso contestar; nunca la habían contradicho tanto en toda su vida, y sintió que le subía el mal genio.

「主語」「動詞句」; 「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞句」, y 「動詞」「目的語」

Alicia アリシア n.f. アリスは

「主語」

no quiso contestar; ノ・キソ・コンテスター 3 単点・願望・否定(querer+不定詞)

v.t. 答えようとしなかった

「動詞句」

nunca ...habían contradicho ヌンカ...アビアン・コントラディチョ 3 複線・完了形・否定

v.t. 一度も反論したことがなかった

「動詞句」

受動態に翻訳する

la ラ pron 彼女を

「目的語」

tanto タント adv. これほど

「副詞」

en toda su vida, エン・トダ・ス・ビダ adv. 生まれてこの方

「副詞句」

y イ conj. そして

sintió シンチオ 3 単点(sentir)v.t. 感じた

「動詞」

que ケ conj. ～ということ

「目的語」

le レ pron 彼女に

「間接目的語」

subía スビア 3 単線・時制の一致(subir)v.i. 上がってくる

「動詞」

el mal genio. エル・マル・ヘニオ n.m. 悪い気分、短気、怒り

「主語」

5 Consejos de una oruga

「今の大きさに満足しているのかね？」と、イモムシは尋ねました。

-¿Estás satisfecha con tu tamaño actual? -le preguntó la Oruga.

《「動詞」「補語」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」

-¿Estás エスタス 2 単現・疑問文(estar)v.i ~なのか?

「動詞」

satisfecha サティスフェチャ adj(satisfecho).f 満足した

「補語」

con tu tamaño コン・トゥ・タマニョ adv. (関連) 自分の大きさについて

「副詞句」

actual? アクチュアル adj. 今の

「形容詞」

-le レ pron 彼女に

「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

la Oruga. ラ・オルガ n.f イモムシは

「主語」

「えーと、あの一」と、アリスは答えた。「もし構わなければ、もう少し背が高くなりたいんですけど。だって、身長が8センチじゃあ、誰だってみじめ過ぎると思いますよ」

-Pues verá usted, señor -respondió Alicia-, si no le importa, me gustaría ser un poco más alta, porque con sólo tres pulgadas cualquiera se siente tan desgraciada!...

《「言いよどみ」》, 「動詞」「主語」,

《「副詞節」, 「間接目的語」「動詞」「主語」, 「副詞節」》

-Pues verá usted, señor プエス・ベラ・ウステ・セニョール adv. えーと、あの一

「言いよどみ」

-respondió レスポンデイオ 3 単点(responder)v.t 答えた

「動詞」

Alicia-, アリシア n.f アリスは

「主語」

si シ conj. もし~ならば

「副詞節」

no ...importa, ノ...インポルタ 3 単現・否定(importar)

v.i 重要でない、構わない

「動詞句」

le レ pron あなたにとって

「間接目的語」

me メ pron 私にとって

「間接目的語」

gustaría グスタリア 3 単過未・丁寧(gustar)v.i 好みなのだが

「動詞」

ser セール 不定詞・変化 v.i ~になることが

「主語」

un poco más alta, ウン・ポ・コ・マス・アルタ adj(alto).f もう少し背が高い

「補語」

porque ポルケ conj. (理由) ~なので

「副詞節」

con sólo tres pulgadas コン・ソロ・トレス・プルカダス

adv. ほんの3インチ(約8cm)では

「副詞句」

cualquiera クアルキエラ pron 誰だって

「主語」

se siente セ・シエンテ 3 単現(sentirse)v.pr (自分が~だと) 感じる

「動詞句」

tan desgraciada!... タン・デスグラシアダ adj(desgraciado).f みじめ過ぎる

「補語」

5 Consejos de una oruga

「それなら、実に恵まれた身長だ！」と、イモムシは立ち上がって自分の背の高さを見せながら、怒って言いました（正確に身長 8 センチでした）

-¡Pues yo diría que es una estatura muy afortunada! -dijo la Oruga furiosa, irguiéndose cuan larga era (tenía exactamente tres pulgadas de altura).

《「副詞」「主語」「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」(「動詞」「目的語」)
 -¡Pues プエス adv. それならば、それで 「副詞」
 yo ジョ pron わしは 「主語」
 diría ディリア 1 単過未・願望(decir)v.t(que と) 言いたい 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」
 una estatura ウナ・エスタトゥラ n.f 身長 「補語」
 muy afortunada! ムイ・アフォルトゥナダ
 adj(afortunado).f 非常に幸運な、恵まれた 「形容詞句」
 -dijo ディハ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 la Oruga ラ・オルガ n.f イモムシは 「主語」
 furiosa, フリオサ adv.(furioso) 激怒して 「副詞」
 irguiéndose イルギェントセ 現在分詞・同時(erguirse)adv. 立ち上がりながら 「副詞句」
 cuan larga クワン・ラルガ adj. どれ程の背の高さなのかを (見せた) 「副詞句」
 era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」
 (tenía テニア 3 単線(tener)v.t ～があった 「動詞」
 exactamente tres pulgadas エクサクタメンテ・トレス・プルガダス
 pl(pulgada).n.f 正確に 3 インチ(8 センチ) 「目的語」
 de altura). デ・アルタ adj. 身長が 「形容詞句」

「でも、私は身長 8 センチに慣れていないんです」と、可哀そうなアリスは悲しそうな声で訴えた。その一方、内心では考えていた：「この人達は皆、なんて怒りっぽいの！」

-¡Pero es que yo no acostumbro a tener tres pulgadas! -rogó la pobre Alicia con voz lastimera, mientras pensaba para sus adentros: «¡Ojalá todos estos bichos no fueran tan susceptibles!».

《Pero 「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」: 《Ojalá 「主語」「動詞句」「補語」》
 -¡Pero ペロ conj. しかし
 es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」
 que ケ conj. ～ということ 「補語」
 es que = el caso es que +直説法 「実は～だ」、+接続法 「～が肝要である」
 yo ジョ pron 私は 「主語」
 no acostumbro a tener ノ・アコストゥンブ・ロ・ア・テネル 1 単現・習慣・否定(acostumbrar a+不定詞)

5 Consejos de una oruga

v.t (肉体的特徴が) あることに慣れていない	「動詞句」
tres pulgadas! トレス・プルガダス pl.n (身長が) 8 センチ	「目的語」
-rogó ロゴ 3 単点(rogar)v.t 懇願した、訴えた	「動詞」
la pobre Alicia ラ・プブレ・アリシア n.f かわいそうなアリスは	「主語」
con voz lastimera, コン・ボス・ラスチメラ adv. 悲しそうな声で	「副詞句」
mientras ミエンTRAS conj. その一方で	
pensaba ペンサハ 3 単線(pensar)v.t 考えていた	「動詞」
para sus adentros: パラ・スス・アデントロス adv. 内心では	「副詞句」
«¡Ojalá オハ int. ああ、どうか、なんと	「嘆願」
todos estos bichos トス・エトス・ビチョス pl.n.m この変な人たちはみんな	「主語」
bicho ビチョ n.m 虫、ヘビ (などの不快な小動物)、奇妙な人、悪いやつ	
no fueran ノ・フェラン 接・3 複過・嘆願(ser)v.i ~でありませんように!	「動詞句」
現実と逆のことを願っている。現実はあることを嘆いている。	
tan susceptibles! タン・スセプチブレス adj. こんなに怒りっぽい	「補語」

「いずれ慣れるさ」と、イモムシは水パイプを口に運んで、またタバコを吸いながら言った。

-Ya te irás acostumbrando -sentenció la Oruga llevándose el narguile a la boca y poniéndose nuevamente a fumar.	《「副詞」「動詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞句」
-Ya ヤー adv. (+未来) いずれ	「副詞」
te irás acostumbrando テ・イラス・アコストゥンブラント 2 単未・進行(ir+現在分詞 acostumbrarse)	
v.pr 慣れるだろう	「動詞句」
-sentenció センテンシオ 3 単点(sentenciar)v.t 言った	「動詞」
la Oruga ラ・オルガ n.f イモムシは	「主語」
llevándose ジェバントセ 現在分詞(llevar)v.t ~を持っていきながら	「副詞句」
el narguile エル・ナルギレ n.m 水パイプを	「目的語」
a la boca ア・ラ・ボカ adv. 口に	「副詞句」
y イ conj. そして	
poniéndose ポニントセ 現在分詞(ponerse a+不定詞)adv. ~をし始めて	「副詞句」
nuevamente ヌエバメンテ adv. また	「副詞」
a fumar. ア・フマル 不定詞 v.i (たばこを) 吸う	「動詞句」

今回は、アリスはもう一度話そうとするまで辛抱強く待ちました。

Esta vez Alicia esperó pacientemente hasta que decidiera hablar de nuevo.

「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」

Esta vez エスタ・ベス adv. 今回は

「副詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは

「主語」

5 Consejos de una oruga

esperó	エスぺロ	3 単点(esperar)v.i	待った	「動詞」
pacientemente	パシエンテンテ	adv.	辛抱強く	「副詞」
hasta que	アスタ・ケ	conj.	～するまで	「副詞節」
decidiera hablar	デシテ・イエラ・アブラール	接・3 単過・仮定・期待(decidir+不定詞)		
	v.i	話そうとする		「動詞句」
de nuevo.	デ・ヌエボ	adv.	もう一度	「副詞句」

1～2 分後にイモムシは水パイプの吸い口を口から出して、何度かあくびと伸びをした。

Al cabo de uno o dos minutos, la Oruga dejó la boquilla del narguile y bostezó unas cuantas veces, desperezándose.

				「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」 y 「動詞」「副詞句」
Al cabo de	・アルカボ・デ	prep	(時間) ～の後に、(空間的) ～の端に	「副詞句」
uno o dos minutos,	ウノ・オ・ドス・ミヌトス	pl.n.m	1～2 分	「目的語」
la Oruga	ラ・オルガ	n.f	イモムシは	「主語」
dejó	デホ	3 単点(dejar)v.t	放棄した、止めた	「動詞」
la boquilla	ラ・ボキジャ	n.f	吸い口を	「目的語」
del narguile	テル・ナルジレ	adj.	水パイプの	「形容詞句」
y	イ	conj.	そして	
bostezó	ボステソ	3 単点(bostezar)v.i	あくびをした	「動詞」
unas cuantas veces,	ウナス・クワンタス・ベセス	adv.	何度か	「副詞句」
desperezándose.	デスペレザントセ	現在分詞(desperezarse)v.pr	伸びをしながら	「副詞句」

それからキノコから降りて、こっそり草むらに逃げ込んで行きましたが、ただ遠ざかりながらこう言っていました：

Luego descendió de la seta y comenzó a deslizarse por la hierba, diciendo tan sólo mientras se alejaba:

Luego	ルエゴ	adv.	それから	「副詞」
descendió	デスセンディオ	3 単点(descender)v.i	(de 高所から) 降りた	「動詞」
de la seta	デ・ラ・セタ	adv.	キノコから	「副詞句」
y	イ	conj.	そして	
comenzó a deslizarse	コメンソ・ア・デスリサルセ	3 単点・開始(comenzar a+不定詞)		
	v.pr	こっそり逃げ始めた		「動詞句」
por	ボル	prep	(通過) ～を通して	「副詞句」
la hierba,	ラ・イエルバ	n.f	草むら	「目的語」
diciendo	ディエント	現在分詞(decir)v.i	言いながら	「副詞句」
tan sólo	タン・ソロ	adv.	ただ	「副詞句」

5 Consejos de una oruga

mientras ミェントラス conj. ～する一方で 「副詞節」
se alejaba: セ・アレハバ 3 単線(alejarse)v.pr 遠ざかる 「動詞句」

「片側は君を大きくする；反対側は小さくする」

-Un lado te hará crecer; el otro, menguar 注 12.

《「主語」「目的語」「動詞」「補語」；「主語」「補語」》

-Un lado ウン・ラド n.m 一面は、片側は 「主語」
te テ pron 君を 「目的語」
hará アラ 3 単未・使役(hacer)v.t (SVO+不定詞 O を～) させるだろう 「動詞」
crecer; クレセル 不定詞・te の動作 v.i 成長する、増大する、体が大きくなる 「補語」
el otro, エル・オトロ n.m 反対側は 「主語」
menguar 注 12. メンゲアル 不定詞・te の動作 v.i 減少する、体が小さくなる 「補語」
英語版では

キノコの傘を食べると体が大きくなり、茎を食べると小さくなる。

「片側って、何の？反対側って、何の？」と、アリスは考えた。

«Un lado ¿de qué? Otro lado ¿de qué?, pensaba Alicia.

《「主語」「形容詞句」 | 「主語」「形容詞句」》, 「動詞」「主語」

«Un lado ウン・ラド n.m 片側？ 「主語」
¿de qué? デ・ケ adj. 何の 「形容詞句」
Otro lado オトロ・ラド n.m 反対側？ 「主語」
¿de qué?, デ・ケ adj. 何の 「形容詞句」
pensaba ペンサバ 3 単線(pensar)v.i 考えた 「動詞」
Alicia. アリシア n.f アリスは 「主語」

「キノコの」と、まるでアリスの考え事が聞こえたように、イモムシが答えました；そして次の瞬間には、もう見えなくなりました。

-De la seta -dijo la Oruga, como si la hubiese oído; y al momento siguiente se perdió de vista.

《「応答」》, 「動詞」「主語」, 「副詞節」; y 「副詞句」「動詞句」「副詞句」

-De la seta デ・ラ・セタ adj. キノコの 「応答」
-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
la Oruga, ラ・オルガ n.f イモムシが 「主語」
como si コモ・シ conj. まるで～のように
la ラ pron (Alicia の代用) アリスの考え事を 「目的語」
hubiese oído; ユベ・エ・オイド 接・3 単過・完了形(oír)v.t 聞いていた 「動詞句」
y イ conj. そして

5 Consejos de una oruga

al momento siguiente	アル・モメント・シギエンテ adv. 次の瞬間には	「副詞句」
se perdió	セ・ペルティオ 3 単点(perderse)v.pr 消えた、見えなくなった	「動詞句」
de vista.	デ・ビスタ adv. (起点) 視界から	「副詞句」

アリスは、物思いにふけるようにしばらくの間キノコのことをじっと考え込んでいました。どちらがキノコの両側になるのか推理していましたが、キノコが完全に真ん丸だったので、決めるのがとても難しい問題だったので、分からなかったのです。

<u>Alicia quedóse contemplando pensativamente la seta durante algún rato, intentado adivinar cuáles serían sus dos lados, pues, como era absolutamente redonda, se trataba de un problema harto difícil de resolver.</u>		「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」「副詞句」
Alicia	アリシア n.f アリスは「主語」	
quedóse contemplando	クト・セ・コンテンプレント 3 単点・継続(quedarse+現在分詞 contemplar)	
	v.t じっと考え込んだ	「動詞句」
pensativamente	ペンサティバメンテ adv. 物思いにふけるように	「副詞」
la seta	ラ・セタ n.f キノコを	「目的語」
durante algún rato,	トゥランテ・アルゲン・ラト adv. しばらくの間	「副詞句」
intentado adivinar	インテンタド・アディビナル 過去分詞・失敗(intentar+不定詞 adivinar)	
	adv. ～を推測したがうまくいかなかった	「副詞句」
	intentar+不定詞 「～しようとする」(過去形では企てたが失敗した意味を含む)	
cuáles	クワレス pron.pl (主語) どちらが～かということ	「目的語」
serían	セリアン 3 複過未・推測(ser)v.i ～になる	「動詞」
sus dos lados,	ス・トス・ラトス pl(lado).n.m その両側	「補語」
pues,	プエス conj. ～なので	「副詞節」
como	コモ conj. (理由) ～なので	
era	エラ 3 単線(ser)v.i ～だった	「動詞」
absolutamente redonda,	アブソルタメンテ・レドンダ	
	adj(redondo).f 完全に円形の	「補語」
se trataba	セ・トラタバ 3 単線(tratarse)v.pr(de の) 話しだった	「動詞句」
de un problema	デ・ウン・プロブレマ adj. 問題の	「補語」
harto difícil	アルト・ディフィシル adj. かなり難しい	「形容詞句」
de resolver.	デ・レゾルベール 不定詞・目的 adv. 解くために	「副詞句」

5 Consejos de una oruga

それでもついに両手がキノコの端につくほど長く伸ばすことにして、両手でそれぞれの端のかけらをむしり取った。

A pesar de todo, decidió por fin extender ambos brazos cuan largos eran por los bordes de la seta y cortó con las manos un trocito de cada lado.

「動詞句」「副詞句」「目的語」「副詞句」 y 「動詞」「副詞句」「目的語」
A pesar de todo, ア・ペサル・デ・トド adv. 結局それでも、なんとしても 「副詞句」
decidió por fin extender デシディオ・ポル・フィン・エクステンデール 3 単点・決心(decidir+不定詞)
v.t ついに～を伸ばすことにした 「動詞句」
por fin ポル・フィン adv. ついに、最後には extender エクステンデール v.t 伸ばす、広げる
ambos brazos アンボス・ブラソス pl(brazo).n.m 両腕を 「目的語」
cuan largos クワン・ラルゴス adv. (空間的) それほど長く 「副詞句」
eran エラン 3 複線・移動・時制の一致(ser)v.i ～に届く 「動詞」
por los bordes ポル・ロス・ボルデス adv. 端あたりに 「副詞句」
de la seta デ・ラ・セタ adj. キノコの 「形容詞句」
y イ conj. そして
cortó コルト 3 単点(cortar)v.t 切り取った、むしり取った 「動詞」
con las manos コン・ラス・マノス adv. 両手で 「副詞句」
un trocito ウン・トロイト n.m (trozo+示小接尾詞-ito) ひとかけらを 「目的語」
de cada lado. デ・カダ・ラト adj. それぞれの端の 「形容詞句」

「さて、今度は」と、アリスは思いました。「どっちがどっちなのかということね」そう言う
と、効き目を試すために、右手に持っていたかけらを少しだけかじりました。

«Y ahora -se dijo-, ¿cuál será cuál?» Mordisqueó un poco del que tenía en su mano derecha, para probar su efecto.

《Y 「副詞」》, 「動詞句」, 《「主語」「動詞」「補語」》 | 「動詞」「目的語」
«Y イ conj. そして
ahora アオラ adv. 今度は 「副詞」
-se dijo-, セ・ディホ 3 単点(decirse)v.pr 思った 「動詞句」
¿cuál クワール pron どれが、どっちが 「主語」
será セラ 3 単未・推測・変化(ser)v.i ～になるだろう 「動詞」
試してみないと分からないので、未来形を使用
cuál?» クワール pron どれ、どっち 「補語」
Mordisqueó モルディスケオ 3 単点(mordisquear = mordiscar)v.t かじった 「動詞」
un poco ウン・ポコ pron 少し 「目的語」
del que デル・ケ pron ～するものの 「形容詞節」
tenía テニア 3 単線(tener)v.t 持っていた 「動詞」

5 Consejos de una oruga

en su mano derecha, エン・ス・マノ・デ・レチャ adv. 右手に 「副詞句」
 para probar パラ・プロバール 不定詞・目的 v.t. ～を試すために 「副詞句」
 su efecto. ス・エフェクト n.m. その効き目を 「目的語」

次の瞬間、顎に強い一撃を感じました：頭を足にぶつけてしまったのです。

Al instante sintió un fuerte golpe en el mentón: jera que acababa de dar con la cabeza en los pies! 「副詞句」「動詞」「目的語」「副詞句」：「動詞」「補語」

Al instante アル・インスタnte adv. すぐに、次の瞬間 「副詞句」
 sintió シンチオ 3 単点(sentir)v.t. 感じた 「動詞」
 un fuerte golpe ウン・フエルテ・ゴルペ n.m. 強い一撃を 「目的語」
 en el mentón: エン・エル・メントン adv. 顎に 「副詞句」
 jera エラ 3 単線(ser)v.i (+que ～ということ) ～だった 「動詞」
 que ケ conj. ～ということ 「補語」

ser que+直説法 (理由の説明) ～ということだ

Es que no tengo dinero. 実を言うと私はお金を持っていないのです。

acababa de dar アカバ・デ・ダール 3 単線・直前完了(acabar de+不定詞 dar)

v.i (con 何を en 何に) ぶつけてしまった 「動詞句」

acabar de dar con la frente en la puerta 額をドアにぶつける

con la cabeza コン・ラ・カベサ adv. 頭を 「副詞句」

en los pies! エン・ロス・ピエス adv. 足に 「副詞句」

アリスはこれほど急激な変化に驚きました。しかし、急速に小さくなり続けていたので、ぐずぐずしている時間はないと考えて、すぐに反対側のかけらを食べようと思いました。

Se asustó mucho con este cambio tan súbito; pero se sobrepuso, pensando que no había tiempo que perder, pues estaba menguando rápidamente; de forma que inmediatamente se puso a comer del otro trozo.

「動詞句」「副詞」「間接目的語」; pero 「動詞句」「副詞句」;

de forma que 「副詞」「動詞句」「目的語」

Se asustó セ・アスト 3 単点(asustarse)v.pr. びっくりした、怯えた 「動詞句」

mucho ムチョ adv. 非常に 「副詞」

con este cambio コン・エステ・カンビョ adv. (原因・対象) この変化に対して 「間接目的語」

tan súbito; タン・ス・ビト adj. これほど急激な 「形容詞句」

pero ペロ conj. しかし

se sobrepuso, セ・ソブレプソ 3 単点(sobreponerse)

v.pr. 自己を抑制した、気を落ち着いた 「動詞句」

pensando ペンサント 現在分詞(pensar)adv. (方法) 考えて 「副詞句」

5 Consejos de una oruga

que	ケ conj.	～ということを	「目的語」
no había	ノ・アビア	3 単線・否定(haber)v.t	～がない 「動詞句」
tiempo que perder,	ティエンポ・ケ・ペルデール	n.m	失うべき時間が 「目的語」
pues	プエス conj.	(理由) ～なので	「副詞節」
estaba menguando	エスタバ・メンガ・want	3 単線・進行形・継続(menguar)	
	v.i	小さくなり続けていた	「動詞句」
rápidamente;	ラピダメンテ adv.	急速に	「副詞」
de forma que+	直説法 テ・フォルマ・ケ conj.	(結果) それで～する	
inmediatamente	インメディアタメンテ adv.	すぐに	「副詞」
se puso a comer	セ・プソ・ア・コメル	3 単点・開始(ponerse a+不定詞)v.pr	食べ始めた 「動詞句」
del otro trozo.	デル・オトロ・トロソ	n.m	反対側のかけらを 「目的語」

あごが足にひどく押し付けられていたので、ほとんど口を開けることが出来ませんでした。
それでもなんとか口を開けて、左手に持っていた正しい切れ端を飲み込みました。

Tenía la mandíbula tan apretada contra los pies que apenas podía abrir la boca; pero al fin lo consiguió y logró tragar una buena porción del trocito que tenía en su mano izquierda.

「動詞」「目的語」「補語」 que 「副詞」「動詞句」「目的語」;
pero 「副詞句」「目的語」「動詞」 y 「動詞句」「目的語」

Tenía	テニア	3 単線(tener)v.t	(肉体的特徴が) あった、～をしていた 「動詞」
la mandíbula	ラ・マンディブラ	n.f	あごを 「目的語」
tan apretada	タン・アプレタダ	過去分詞・受動(apretar)adj.	ひどく押し付けられた 「補語」
contra los pies	コントラ・ロス・ピエス	adv.	(対象) 足に対して 「副詞句」
que	ケ conj.	(tan...que ～すぎて) ～できない	
apenas	アペナス	adv.	ほとんど～ない 「副詞」
	apenas+動詞	の場合には、no 不要	
podía abrir	ポディア・アブリーツ	3 単線・可能(poder+不定詞)v.t	開けられる 「動詞句」
la boca;	ラ・ボカ	n.f	口を 「目的語」
pero	ペロ conj.	しかし	
al fin	アル・フィン	adv.	やっと、ついに 「副詞句」
lo	ロ pron	それを	「目的語」
consiguió	コンジギオ	3 単点(conseguir)v.t	やり遂げた、達成した 「動詞」
y	イ conj.	そして	
logró tragar	ログロ・トラカール	3 単点・達成(lograr+不定詞)v.t	飲み込むことが出来た 「動詞句」
una buena porción	ウナ・ブエナ・ポルシオン	n.f	正しい部分を 「目的語」
del trocito	デル・トロイト	adj.	切れ端の 「形容詞句」
que	ケ pron	(目的語) ～する	「形容詞節」

5 Consejos de una oruga

tenía テニア 3 単線(tener)v.t 持っていた 「動詞」

en su mano izquierda. エン・ス・マノ・イスキエルダ

adv. 左手に 「副詞句」

☆ ☆ ☆ ☆ ☆
☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆
☆ ☆ ☆ ☆ ☆

「ああ！やっと頭が自由になったわ！」と、アリスは安心して言いました；でもその喜びはすぐに恐れに変わりました。それは、自分の肩さえも見えないことに気付いたからです。

«¡Vaya! ¡Por fin tengo la cabeza en libertad!», dijo Alicia con gran alivio; pero su alegría se trocó inmediatamente en alarma, al darse cuenta de que no alcanzaba a ver ni a sus propios hombros.

《「間投」「副詞句」「動詞」「目的語」「補語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」;

pero 「主語」「動詞句」「副詞」「補語」, 「副詞句」

«¡Vaya! バヤ int. ああ 「間投」

¡Por fin ポル・フィン adv. ついに、やっと 「副詞句」

tengo テンゴ 1 単現・変化(tener)v.t (体の状態) ～になった 「動詞」

la cabeza ラ・カベサ n.f 頭が 「目的語」

en libertad!», エン・リベルタ adv. 自由な 「補語」

dijo テイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia アリシア n.f アルスは 「主語」

con gran alivio; コン・グラン・アリビョ adv. とても安心して 「副詞句」

pero ペロ conj. しかし

su alegría ス・アレグリア n.f 彼女の喜びは 「主語」

se trocó セ・トロコ 3 単点・変化(trocarse)v.pr (en に) 変わった 「動詞句」

inmediatamente インメディアタメンテ adv. すぐに 「副詞」

en alarma, エン・アラマ adv. 不安に、恐れに 「補語」

al darse cuenta de アル・ダールセ・クエンタ・デ al 不定詞・理由(darse cuenta de)

adv. ～に気付いて 「副詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

no alcanzaba a ver ノ・アルカンサバ・ア・ベール 3 単線・可能・否定(alcanzarse a+不定詞 ver)

v.t ～が見えなかった 「動詞句」

ni a sus propios hombros. ニ・ア・ス・プロピオス・オス・オンブロス

adv. 自分の肩さえも 「間接目的語」

5 Consejos de una oruga

下の方を見た時に、遠くに見えた物は、とんでもなく長い首だけだった。それは、目のずっと下に広がる緑の葉の海の上から、巨大な幹のように伸びあがって来るように見えた。

Todo lo que podía divisar al mirar hacia abajo era un larguísimo cuello que parecía elevarse como un tallo gigantesco sobre un mar de hojas verdes que se extendían muy por debajo de sus ojos. 「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「動詞句」「副詞句」

Todo lo ト・ロ pron すべての物は 「主語」

que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

podía divisar ポ・ディ・アイ・ディビサル 3 単線・可能(poder+不定詞)

v.t 遠くに見えた 「動詞句」

al mirar アル・ミラル adv. 見た時に 「副詞句」

hacia abajo アシア・アバホ adv. 下の方を 「副詞句」

era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」

un larguísimo cuello ウン・ラルギシモ・ケジヨ n.m とんでもなく長い首 「補語」

que ケ pron それは 「主語」

parecía elevarse パレシア・エレバルセ 3 単線(parecer+不定詞 elevarse)

v.pr 登って行くように見えた 「動詞句」

como un tallo コモ・ウン・タジヨ adv. (類似) 幹のように 「副詞句」

gigantesco ヒガンテスコ adj. 巨大な 「形容詞」

sobre un mar ソブレ・ウン・マル adv. 海の上で 「副詞句」

de hojas verdes デ・オハス・ベルデス adj. 緑色の葉っぱの 「形容詞句」

que ケ pron.pl (主語) ~する 「形容詞節」

se extendían セ・エクステンディアン 3 複線(extenderse)

v.pr 広がっている 「動詞句」

muy por debajo ムイ・ポル・デバホ

adv. ずっと下の方まで 「副詞句」

de sus ojos. デ・スス・オホス

adj. 自分の目の 「形容詞句」

「あの緑の物はなんだろうか？」と、アリスは心の中で思った。「それに、私の肩はどこに行ってしまったの？」

«¿Qué serán todas esas cosas verdes? -se preguntaba Alicia-, Y ¿adonde se habrán marchado mis hombros?»

《「補語」「動詞」「主語」》, 「動詞句」「主語」, 《Y「副詞」「動詞句」「主語」》

«¿Qué ケ pron 何 「補語」

serán セラン 3 複未・疑問文(ser)v.i ~だろうか? 「動詞」

todas esas cosas verdes? トダス・エサス・コサス・ベルデス pl.n.f あの緑のものすべては 「主語」

5 Consejos de una oruga

-se preguntaba セ・プレグンタバ 3 単線(preguntarse)v.pr 自問した 「動詞句」
 Alicia-, アリシア n.f アリスは 「主語」
 Y y イ conj. そして
 adonde アドンデ adv. どこへ 「副詞」
 se habrán marchado セ・アブラン・マルチャド 3 複未・完了形・推量(marcharse)
 v.pr 行ってしまったのだろう 「動詞句」
 mis hombros? ミス・オンブ・ロス pl(hombro).n.m 私の肩は 「主語」
 肩
 hombro オンブ・ロ n.m 肩の上部 espalda エスパルダ n.f 肩の背中側、背中

「ああ！私の可哀そうな手たち。どうして見えないの？」

¡Ay! ¡Y mis pobres manitas? ¿Cómo es que no puedo veros?»
 《「間投」 | Y「主語」 | 「副詞」「動詞」「主語」》
 ¡Ay! アイ int. ああ 「間投」
 Y イ conj. そして
 mis pobres manitas? ミス・プ・ブレス・マニタス
 pl(manita = mano+ -ito).n.f 私の可哀そうな手たち 「主語」
 ¿Cómo コモ adv. (理由) どうして 「副詞」
 es エス 3 単現・疑問文(ser)v.i ~であるのか 「動詞」
 que ケ conj. ~ということ 「主語」
 no puedo veros?» ノ・プ・エト・ヴェール・ロス 1 単現・可能・否定(poder+不定詞 ver+os)
 v.t それを見ることが出来ないと 「動詞句」

このように言いながら、アリスは手がどこにあるのかを知ろうとして手を動かしていました。けれど、ずっと遠くの緑の落ち葉が揺れる音以外は、何もわかりませんでした。

Mientras así decía, intentaba moverlas para ver dónde estaban; pero no se notaba nada, salvo un ligero agitarse de esa verde hojarasca tan distante.

「副詞節」, 「動詞句」「副詞句」; 「動詞句」「目的語」「副詞句」
 Mientras ミエンTRAS conj. ~している一方で 「副詞節」
 así アシ adv. このように 「副詞」
 decía, デシア 3 単線(decir)v.t 言っていた 「動詞」
 intentaba moverlas インテンタバ・モベール・ラス 3 単線・試行(intentar+不定詞 mover+las)
 v.t 手を動かしてみた 「動詞句」
 para ver パラ・ベール 不定詞・目的 v.t ~を知るために 「副詞句」
 dónde トンデ adv. どこに~するかということ 「目的語」
 estaban; エスタバン 3 複線・存在・時制の一致(estar)v.i ~にある 「動詞」

5 Consejos de una oruga

pero	ペロ conj.	しかし	
no se notaba	ノ・セ・ノタバ	3 単線・否定・再帰受動(notarse)v.pr	見えない 「動詞句」
nada,	ナダ pron	何も～ない	「目的語」
salvo	サルボ prep	(除外) ～を除いて、～以外は	「副詞句」
un ligero	ウン・リヘロ adj.	軽い、小さな	「形容詞句」
agitarse	アヒタルセ	不定詞 n. 揺れる音	「目的語」
de esa verde hojarasca	デ・エサ・ベルデ・オハラスカ		
	adj.	緑の落ち葉の	「形容詞句」
tan distante.	タン・テイスタンテ		
	adv.	ずっと遠くの	「副詞句」

彼女の手が頭までうまく持ち上がるとは思われなかったので、頭のほうを手の方へ傾けることにした。すると嬉しいことに、へビの頭のように、自分の頭を好きな方向へ向けることで楽々と曲げられることが確認できた。

Como no parecía que sus manos lograsen subir hasta su cabeza, decidió inclinarla hacia aquéllas, y comprobó con gran alegría que su cuello se doblaba fácilmente, dirigiendo su cabeza en todas direcciones, como la de una serpiente.

「副詞節」, 「動詞句」 「副詞句」 y 「動詞」 「副詞句」 「目的語」

Como コモ conj. (理由) 何なので 「副詞節」

no parecía ノ・パ・レシア 3 単線・否定(parecer)

v.i ～のように思われなかった 「動詞句」

que ケ conj. ～ということ 「補語」

sus manos スス・マノス pl(mano)n.f 彼女の手は 「主語」

lograsen subir ログ・ラセン・スビーール 接・3 複過・達成(lograr+不定詞)

v.i うまく持ち上がる 「動詞句」

hasta su cabeza, アスタ・スカベサ adv. 頭まで 「副詞句」

decidió inclinarla デシディ・オ・インクラナル・ラ 3 単点・決心(decidir+不定詞 inclinar+la)

v.t 頭を傾けることにした 「動詞句」

la は女性単数形代名詞なので、cabeza の代用である。

hacia aquéllas, アシア・アケジャス adv. 手の方へ 「副詞句」

aquéllas は女性複数形代名詞なので、manos の代用である。

y イ conj. そして

comprobó コンブ・ロボ 3 単点(comprobar)v.t 確認した 「動詞」

con gran alegría コン・グラン・アレグリア adv. 嬉しいことに 「副詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

su cuello ス・クエジョ n.m 彼女の首は 「主語」

5 Consejos de una oruga

se doblaba セ・ト ^レ ブラハ	3 単線・再帰受動(doblar) v.pr	曲げられた	「動詞句」
fácilmente, ファシルメンテ	adv.	楽々と、簡単に	「副詞」
dirigiendo ディリヒエン ^ト	現在分詞・手段(dirigir) v.t	向けることで	「副詞句」
su cabeza ス・カベサ	n.f	頭を	「目的語」
en todas direcciones, エン・ト ^ス ・ディレクシ ^ョ ネス	adv.	あらゆる方向へ	「副詞句」
como コモ	conj.	～のように	「副詞句」
la ラ	pron (cabeza の代用)	頭	「目的語」
de una serpiente. デ・ウナ・セルピ ^ン エンテ	adj.	ヘビの	「形容詞句」

首を優雅に曲げてなんとか下に降ろすことが出来ました。そして緑の葉っぱの塊の間に頭を突っ込んだ時、その葉っぱは先程歩いていた木のでっぺんに過ぎないことが分かったのですが、丁度その時、鋭い音がしたので彼女はあわててのけ反りました。大きなハトが彼女の頭をめがけて飛んできて、羽で激しく彼女を殴りました。

Acababa de lograr que su cabeza descendiera por el aire en un donoso zigzag, y estaba a punto de precipitarla por entre la masa verde de hojas -que descubrió no eran más que las copas de los árboles bajo los que había estado andando- cuando un agudo chirrido la obligó a echarse hacia atrás apresuradamente: una gran paloma volaba contra su cabeza y la golpeaba violentamente con sus alas!

「動詞句」「目的語」 y 「動詞」「副詞句」; - 「目的語」「動詞」 -,

「副詞節」: 「主語」「動詞」「副詞句」 y 「目的語」「動詞」「副詞句」

Acababa de +不定詞 アカババ・デ 3 単線(acabar de+不定詞) v. ちょうど～した 「動詞句」

acabar de+不定詞 線過去: 「～したばかりである」 それ以外: 「～し終える」

lograr ログラル 不定詞 v.r 達成する、うまくやる 「動詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

主節が「成功・失敗等」の評価を表すので、接続法を用いる

su cabeza ス・カベサ n.f 彼女の頭が、首 「主語」

descendiera デスセンディエラ 接・3 単過・時制の一致(descender)

v.i 下がる、降りる 「動詞」

por el aire ホル・エル・アイレ adv. (手段) ～の様子で 「副詞句」

en un donoso zigzag, エン・ウン・ト^ノ・ジグザグ

adv. くねくねした優雅な 「副詞句」

y イ conj. そして

estaba エスタバ 3 単線・存在(estar) v.i ～にいた 「動詞」

a punto de+不定詞 ア・プント・デ adv. ちょうど～する時に 「副詞句」

precipitarla プレシ^ピタル・ラ 不定詞 v.t 頭を突っ込む 「動詞句」

por entre ホル・エン^トレ adv. ～の間から 「副詞句」

5 Consejos de una oruga

la masa verde de hojas ラ・マサ・ベルデ・デ・オハス

n.f 緑の葉っぱの塊

「目的語」

-que ケ pron (目的語) (事実の提示) その葉っぱは～である

「目的語」

descubrió デスカブリーオ 3 単点(descubrir)v.t 発見した、分った

「動詞」

no eran ノ・エラン 3 複線・否定(ser)v.i ～でない

「動詞句」

más que マス・ケ pron(no... más que) ～に過ぎない

「補語」

las copas ラス・コパス pl(copa).n.f 木のてっぺん

「目的語」

de los árboles テ・ロス・アルボレス adj. 木の

「形容詞句」

bajo los que バホ・ロス・ケ adv. その木の下を

「副詞節」

había estado andando-, アビ・ア・エスタド・アンダント 3 単線・完了形・進行形(andar)

v.i 歩いていた

「動詞句」

cuando クワント conj. その時～する

「副詞節」

un agudo chirrido ウン・アグド・チリト

n.m 鋭い音が

「主語」

la ラ pron 彼女に

「目的語」

obligó オブリゴ 3 単点・使役(obligar)

v.t (SVO a+不定詞) ～をさせた

「動詞」

a echarse エ・エチャル・セ 不定詞・la の動作 v.pr (自分の体を) ねじる

「補語」

hacia atrás アシア・アトラス adv. 後ろの方へ

「副詞句」

apresuradamente: アプレサダメンテ adv. あわてて

「副詞」

¡una gran paloma ウナ・グラン・パロマ n.f 大きなハトが

「主語」

volaba ボラバ 3 単線(volar)v.i 飛んできた

「動詞」

contra su cabeza コントラ・スカベサ adv. 彼女の頭をめぐらして

「副詞句」

y イ conj. そして

la ラ pron.f アリスを

「目的語」

golpeaba ゴルペアバ 3 単線(golpear)v.t 殴った

「動詞」

violentamente ビオレンタメンテ adv. 乱暴に、激しく

「副詞」

con sus alas! コン・ス・アラス adv. (道具) 羽で

「副詞句」

羽と羽根

羽は鳥や昆虫や飛行機にくっついた状態の翼のこと、羽は抜け落ちた翼のこと

「へびめ！」と、ハトが叫びました。

-¡Víbora! -chilló la Paloma.

《「間投」》, 「動詞」 「主語」

-¡Víbora! - ビボラ n.f へびめ！

「間投」

chilló チジョ 3 単点(chillar)v.i 叫んだ

「動詞」

la Paloma. ラ・パロマ n.f ハトが

「主語」

5 Consejos de una oruga

「へビじゃないわ！」と、アリスは怒って言い返しました。「放つといて！」

-¡No soy una víbora! -replicó Alicia indignada-. ¡Déjame en paz!

《「動詞句」「補語」》, 「動詞」「主語」「副詞」, 《「動詞句」「副詞句」》

-¡No soy ノ・ソイ 1 単現・否定(ser)v.i ~でない 「動詞句」

una víbora! ウナ・ビボラ n.f ヘビ 「補語」

-replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.t 言い返した 「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

indignada-. インディグナダ 過去分詞.f(indignar)adv. (様態) 怒って 「副詞」

¡Déjame デハ・メ 命・2 単現(dejar+me)v.t (O を~の状態) にしておいて頂戴 「動詞句」

en paz! エン・パス adv. 平和な、ゆたりのした 「副詞句」

dejar ... en paz 「~をそっとしておく、放しておく」

「へビだ！へビに決まってる！」と、ハトは繰り返しましたが、今度はあまり勢いがなくて、すすり泣きみたいでした：「あらゆることを試したけれど、彼らの気に入らないみたいだ」

-¡Víbora, más que víbora! -repitió la Paloma, pero ya con menos decisión; y añadió con una especie de sollozo- ¡Lo he intentado todo, pero nada parece acomodarlas!

《「感嘆」》, 「動詞」「主語」, pero 「副詞句」; y 「動詞」「副詞句」:

《「目的語」「動詞句」「目的語」, pero 「主語」「動詞句」》

-¡Víbora, ビボラ n.f ヘビだ！ 「感嘆」

más que víbora! マス・ケ・ビボラ n.f やっぱりへビだ 「感嘆」

-repitió レピチオ 3 単点(repetir)v.t 繰り返して言った 「動詞」

la Paloma, ラ・パロマ n.f ハトは 「主語」

pero ヘロ conj. しかし

ya ヤー adv. 今では 「副詞」

con menos decisión; コン・メノス・デシオン adv. 勢いのない 「副詞句」

con decisión コン・デシオン adv. 決然として、断固として

y イ conj. そして

añadió アニャディオ 3 単点(añadir)v.t 付け加えた 「動詞」

con una especie コン・ウナ・エスペシエ adv. (様態) ある種の~で 「副詞句」

de sollozo- テ・ソジョ adj. すすり泣きの 「形容詞句」

¡Lo ロ pron それを 「目的語」

he intentado エ・インテンタド 1 単現・完了形(intentar)v.t 試してみた 「動詞句」

todo, トド pron すべての事を 「目的語」

pero ヘロ conj. しかし

nada ナダ pron 何も~ない 「主語」

5 Consejos de una oruga

parece パレセ 3 単現(parecer)v.i(+不定詞 ～する) ように見えない 「動詞句」
acomodarlas! アコモダール・ラス 不定詞(acomodar+las)
v.i 彼らに適合する 「動詞句」

「何を言っているのか、さっぱり分からないわ！」と、アリスは言った。

-¡No tengo ni la menor idea de lo que puede estar diciendo! dijo Alicia.
《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」
-¡No tengo ノ・テンゴ 1 単現・否定(tener)v.t ～がない 「動詞句」
ni la menor idea ニ・ラ・メノール・イデア n.f 最小の考えさえも 「目的語」
ni adv. (否定の強調) ～さえ (ない) la menor (最上級) 最小の
de lo que デ・ロ・ケ adj. (関連) ～について 「形容詞節」
puede estar diciendo! プ・エデ・エスター・デ・イシエント 3 単現・可能性・進行形
(poder+不定詞・進行形)v.t (あなたが) 話しているだろう 「動詞句」
-dijo デ・イホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
Alicia. アリシア n.f イスは 「主語」

「木の根っこでも試したし、川岸や生垣でも試してみた」と、ハトはひどく息を切らして話し続けた。「しかし、彼らを満足させる方法はないということだ」

-¡He probado en las raíces de los árboles, lo he intentado en las riberas y en los setos! continuó la Paloma muy sofocada. Pero es que a estas víboras no hay manera de satisfacerlas!
《「動詞句」「副詞句」, 「動詞句」「目的語」「副詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞句」,
《Pero 「動詞」「補語」》
-¡He probado エ・プ ロバト 1 単現・完了形(probar)v.t 試した 「動詞句」
en las raíces エン・ラス・ライセス adv. (場所) 根っこで 「副詞句」
de los árboles, デ・ロス・アルボレス adj. 木の 「形容詞句」
lo ロ pron それを 「目的語」
he intentado エ・インテンタト 1 単現・完了形(intentar)v.t 試してみた 「動詞句」
en las riberas エン・ラス・リベラス adv. (場所) 川岸で 「副詞句」
y イ conj. そして
en los setos! エン・ロス・セトス adv. 生垣で 「副詞句」
-continuó コンチヌオ 3 単点(continuar)v.i 続けた 「動詞」
la Paloma ラ・パロマ n.f ハトは 「主語」
muy sofocada. ムイ・ソフォカダ adv. ひどく息を切らして 「副詞句」
sofocar ソフォカル v.t 窒息させる、息苦しくさせる
Pero ペロ conj. しかし

5 Consejos de una oruga

jes エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
que ケ conj.	～ということ	「補語」
a estas víboras ア・エスタス・ビボラス adv.	あのへびたちには	「間接目的語」
no hay ノ・アイ 3 単現・存在・否定(haber)v.t	～がない	「動詞句」
manera マネラ n.f	方法が「	「目的語」
de +不定詞・目的 テ adj.	～するための	「形容詞句」
satisfacerlas! サスファセル・ラス 不定詞(satisfacer+las)		
v.t	彼らを満足させる	「動詞句」

アリスはますます訳が分からなくなりましたが、ハトの話が終わるまでは、それを遮っても何の役にも立たないだろうと思いました。

Alicia estaba más y más perpleja, pero pensó que de nada serviría interrumpir el discurso de la Paloma hasta que ésta lo hubiese terminado.

		「主語」「動詞」「補語」,pero「動詞」「目的語」
Alicia アリシア n.f	アリスは	「主語」
estaba エスタバ 3 単線・状態(estar)v.i	～になった	「動詞」
más y más マス・イ・マス adv.	ますます～に	「副詞」
perpleja, ヘルプレハ adj(perplejo).f	当惑した、分からない	「補語」
pero ヘロ conj.	しかし	
pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.t(que と) 思った		「動詞」
que ケ conj.	～ということ	「目的語」
de nada テ・ナダ adj.	無価値の、意味のない	「補語」
serviría セルビリア 3 単過未・推量(servir)v.i	役に立たないだろう	「動詞」
interrumpir インテルピール 不定詞 n.	遮ることは	「主語」
el discurso de la Paloma エル・ディスクルソ・デ・ラ・パロマ		
n.m	ハトの話を	「目的語」
hasta que アスタ・ケ conj.	～するまで	「副詞節」
ésta エスタ pron (Paloma の代用)	ハトが	「主語」
lo ロ pron (discurso の代用)	話を	「目的語」
hubiese terminado. ウビエ・テルミナド 接・3 単過・完了形(terminar)		
v.t	終わる	「動詞句」

5 Consejos de una oruga

「卵を抱いているだけでも大変なのに！」と、ハトは続けた。「その上、一日中、ヘビの奴らを見張っていなきゃならないんだ！」

-¡Como si no bastase con estar empollando huevos! -siguió la Paloma-. ¡Encima hay que guardarlos día y noche contra las serpientes!

《「副詞節」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞」「動詞句」「副詞句」「間接目的語」》

-¡Como コモ conj. (譲歩) ～ではあるが 「副詞節」

si シ conj. (事実の提示) ～ということである 「目的語」

no bastase ノ・バスたセ 接・1 単過・否定(bastar)

v.i(con+不定詞 ～することだけでも) 十分にできない 「動詞句」

con + 不定詞 コン 不定詞 adv. (仮定) ～することも 「副詞句」

estar empollando エスタール・エンポシヤント 不定詞・進行形

v.t (卵を) 抱いている 「動詞句」

huevos! ウェボス pl(huevo).n.m 卵を 「目的語」

-siguió シギオ 3 単点(seguir)v.t 続けた 「動詞」

la Paloma-. ラ・パロマ n.f ハトは 「主語」

¡Encima エンマ adv. その上に、さらに 「副詞」

hay que guardarlos アイ・ケ・グワルダール・ロス 3 単現・必要(hay que+不定詞)

v.t 彼らを見張らなければならない 「動詞句」

día y noche デイ・イ・ノチェ adv. 昼も夜も、一日中 「副詞句」

contra コントラ prep (対立) ～に対して 「間接目的語」

las serpientes! ラス・セルピエンテス pl(serpiente).n.f ヘビを 「目的語」

「それで、最近の3週間は全く眠ることが出来なかったんだ！」

¡Como que no he podido pegar ojo durante estas tres últimas semanas!

《Como que 「動詞句」「目的語」「副詞句」》

¡Como que コモ・ケ conj. (結果) だから～

no he podido pegar ノ・ヘ・ポディト・ペガール 1 単現・完了形・可能・否定(poder+不定詞)

v.t (目を) 閉じることが出来なかった 「動詞句」

pegar ペガール v.t くっつける

ojo オ 林 n.m 目を 「目的語」

durante ドゥランテ prep (継続) ～の間ずっと 「副詞句」

estas tres últimas semanas! エスタス・トレス・ウルチマス・セマス pl(semana)

n.f 最近の3週間 「目的語」

5 Consejos de una oruga

「いろいろ大変ですね、お察しします」とアリスは言った。アリスはやっと、ハトが何を言いたいのか分かって来た。

-Siento mucho que haya sufrido tantas molestias -dijo Alicia, que empezaba a comprender lo que quería decir la Paloma.

《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」, 「主語」「動詞句」「目的語」

-Siento mucho シェント・ムチョ 1 単現(sentir)v.t とても残念に思う、気の毒に思う 「動詞句」
que ケ conj. ～ということ 「目的語」

haya sufrido アヤ・スフリト 接・3 単現・完了形・推量(sufrir)

v.t 苦しんできた 「動詞句」

tantas molestias タンタス・モレスチアス pl(molestia).n.f たくさんの障害に 「目的語」

-dijo ディホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia, アリシア n.f アリスは 「主語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

empezaba a comprender エンペ・サバ・ア・コンプレンデール 3 単線・開始(empezar a+不定詞)

v.t 分かってきた 「動詞句」

lo que ロケ pron そのことを 「目的語」

quería decir クリア・デシル 3 単線・願望(querer+不定詞)

v.t 言おうとしていた 「動詞句」

la Paloma. ラ・パロマ n.f ハトが 「主語」

「そしてちょうど森で一番高い木を選んだ時に」と、ハトは何も聞かずに、金切り声まで張り上げて続けた。「それにやっと奴らから解放されたと思った時に、奴らが空からくねくねと降りて来たに違いないんだ！ムカツくヘビめ！」

-¡Y justo cuando escojo el árbol más alto del bosque -continuó, sin oír nada, la Paloma, elevando la voz hasta chillar-, y justo cuando ya creía que me iba a ver libre de ellas al fin, tienen que empezar a bajar culebreando desde el cielo! ¡Qué asco de víboras!

《Y「副詞節」》, 「動詞」「副詞句」「主語」「副詞句」,

《y「副詞節」, 「動詞句」「副詞句」 | 「感嘆」》

-¡Y イ conj. そして

justo cuando フスト・クワント conj. ちょうど～する時に 「副詞節」

escojo エスコホ 1 単現(escoger)v.t 選ぶ 「動詞」

el árbol エル・アルボル n.m 木を 「目的語」

más alto del bosque マス・アルト・テル・ボスカ adj. 森で一番高い 「形容詞句」

-continuó, コンチヌオ 3 単点(continuar)v.t 続けた 「動詞」

sin oír nada, シン・オイール・ナダ adv. 何も聞かずに 「副詞句」

la Paloma, ラ・パロマ n. ハトは 「主語」

5 Consejos de una oruga

elevando エレバント [°] 現在分詞・同時(elevar)adv. 上げながら	「副詞句」
la voz ラ・ボス n.f 声を	「目的語」
hasta chillar-, アスタ・チジャール adv. 叫ぶまで、金切り声まで	「副詞句」
y イ conj. そして	
justo cuando フスト・クワント [°] conj. ちょうど～する時に	「副詞節」
ya ヤー adv. もう	「副詞」
creía クレイ 1 単線(creer)v.t ～と思っていた	「動詞」
que ケ conj. ～ということ	「目的語」
me iba a ver メ・イバ・ア・ベール 1 単線・近接未来(ir a+不定詞 verse)	
v.pr (自分は) ～の状態だと思っていた	「動詞句」
libre de ellas リブレ・デ・エジャス adj. 彼らから解放された	「補語」
al fin, アル・フィン adv. やっと、ついに	「副詞句」
tienen que empezar a bajar テイエネン・ケ・エンパ・サル・ア・バハール 3 複現・確信・開始	
(tener que+不定詞 empezar a+不定詞)v.i (奴らが) 降りて来たに違いない	「動詞句」
culebreando クレブレアント [°] 現在分詞・同時 v.i くねくねしながら	「副詞句」
desde el cielo! デステ・エル・シエロ adv. 空から	「副詞句」
¡Qué asco ケ・アスコ adj. なんとムカつく	「感嘆」
de víboras! テ・ビボラス adj. ヘビの	「形容詞句」

「だけど、私はヘビではないの！」と、アリスはハトに言った。「私は…」

-¡Pero si no soy una serpiente! -le dijo Alicia-. Soy una..., una...

《Pero si 「動詞句」「補語」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」, 《「動詞」「補語」》

-¡Pero ペロ conj. しかし

si シ conj. (事実の提示) ～である

no soy ノ・ソイ 1 単現・否定(ser)v.i ～でない 「動詞句」

una serpiente! - ウナ・セルピエンテ n.f ヘビ 「補語」

le レ pron(Paloma の代用) ハトに 「間接目的語」

dijo ティエ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia-. アリシア n.f アリスは 「主語」

Soy ソイ 1 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

una..., una... ウナ・ウナ adj. ... 「補語」

5 Consejos de una oruga

「それじゃあ、あんたは何なの？」と、ハトが遮った。「何かを誤魔化そうとしてるわね？」

-Bueno, ¡a ver!, ¿qué eres? -interrumpió la Paloma-. ¡Ya veo que estás intentando inventar algo!

《「応答」「副詞句」, 「補語」「動詞」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞」「動詞」「目的語」》

-Bueno, ブエノ adv. (話題転換) じゃあ 「応答」

¡a ver!, ア・ベール adv. それで 「副詞句」

¿qué ケ pron 何 「補語」

eres? エレス 2 単現・疑問文(ser)v.i ~なの? 「動詞」

-interrumpió インテルンピオ 3 単点(interrumpir)v.t 話を遮った 「動詞」

la Paloma-. ラ・パロマ n.f ハトは 「主語」

¡Ya やー adv. もう 「副詞」

veo ベオ 1 単現(ver)v.t 見える 「動詞」

que ケ conj. ~ということが 「目的語」

estás intentando inventar エスタス・インテンタント・インヴェンタル 2 単現・進行形(intentar+不定詞)

v.t ~をでっちあげようとしている 「動詞句」

algo! アルゴ pron 何かを 「目的語」

「私は... ただの... ただの女の子よ」と。アリスは少しためらいながら言いました。その日に、何度も変身を経験したことを思い出したからです。

-No soy más que... una... una ninita -dijo Alicia con cierta vacilación, pues se acordaba de las numerosas transformaciones por las que había pasado aquel día.

《「動詞句」「補語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 「副詞節」

-No soy ノ・ソイ 1 単現・否定(ser)v.i ~でない 「動詞句」

más que... マス・ケ pron (no más que) ~だけ 「補語」

una..., una ninita ウナ...ウナ・ニタ n.f 女の子 「補語」

-dijo デイヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

con cierta vacilación, コン・シエルタ・バシラシオン adv. (様態) 少しためらって 「副詞句」

cierta シエルタ adj(cierto).f いくらか vacilación バシラシオン n.f ためらい

pues プエス conj. (理由) ~なので 「副詞節」

se acordaba セ・アコルダバ 3 単線(acordarse)v.pr(de を) 思い出した 「動詞句」

de las numerosas transformaciones デ・ラス・ヌメロサス・トランスフォルマシオネス

adv. 何回もの変身を 「間接目的語」

por ボル prep (手段) ~によって 「副詞句」

las ラス pron.f.pl (transformaciones の代用) それ 「目的語」

que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

5 Consejos de una oruga

había pasado アビ・ア・パ・サド 3 単線・完了形(pasar)

v.t 耐えてきた、経験した 「動詞句」

aquel día. アケル・ディ・ア adv. その日に 「副詞句」

「そんな話を私が信じると思うのか？」と、ハトは軽蔑した口調で答えた。

-¡Que me voy a creer yo ese cuento! -respondió la Paloma con el más profundo desprecio-. 「動詞句」「主語」「目的語」

《「目的語」「動詞句」「主語」「目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

-¡Que ケ pron 何を 「目的語」

me voy a creer メ・ボ・イ・ア・クレエル 1 単現・近接未来・感嘆(ir a+不定詞 creerse)

v.t 信じるというのか！ 「動詞句」

yo ジョ pron 私は 「主語」

ese cuento! エセ・クエント n.m そんな話を 「目的語」

-respondió レスポ・ンデ・イオ 3 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」

la Paloma ラ・パ・ロマ n.f ハトは 「主語」

con コン prep (様態) への口調で 「副詞句」

el más profundo desprecio. エル・マス・プロフント・デスプレシオ n.m ひどい軽蔑 「目的語」

profundo プロフント adj. 深い、(度合いが) 強い、大きい desprecio デスプレシオ n.m 軽蔑

「山ほどの女の子をこの目で見えてきたが、そんな首をしたのは一人もいなかった」

He visto montones de niñas con estos ojos que te están mirando, ¡y ninguna tenía un cuello como ése! 《「動詞句」「目的語」, y 「主語」「動詞」「目的語」》

He visto エ・ビスト 1 単現・完了形・経験(ver)v.t ～を見てきた 「動詞句」

montones de モントネス・デ prep ～の山、やまのような～ 「目的語」

niñas ニニャス pl(niña).n.f 女の子たちを 「目的語」

con estos ojos コン・エストス・オス adv. (手段) この目で 「副詞句」

que ケ pron.pl(ojos の代用: 主語) ～する 「形容詞節」

te テ pron お前を 「目的語」

están mirando, エスタン・ミラント 3 複現・進行形(mirar)

v.t 見つめている 「動詞句」

¡y イ conj. そして

ninguna ニンガナ pron 誰も～ない 「主語」

tenía テニア 3 単線・否定文(tener)v.t (身体的特徴を) していた 「動詞」

un cuello ウン・ケジョ n.m 首 「目的語」

como ése! コモ・エソ adv. そんな 「副詞句」

英語版では

con estos ojos que te están mirando に相当する部分は存在しない

5 Consejos de una oruga

「違う！違う！あんたはへびだよ。違うと言っても無駄だよ！」

¡No, no! ¡Eres una culebra, y de nada te servirá negarlo!

《「応答」「動詞」「補語」, y 「補語」「間接目的語」「動詞」「主語」》

¡No, no! ノ・ノ adv. 違う、違う 「応答」

¡Eres エレス 2 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

una culebra, ウナ・クルブラ n.f ヘビ 「補語」

y イ conj. そして

de nada デ・ナダ adj. 無価値の、無駄な 「補語」

te テ pron 君にとって 「間接目的語」

servirá セルビラ 3 単未(servir)v.i 役に立つだろう 「動詞」

negarlo! ネガルロ 不定詞(negar+lo).n それを否定することは 「主語」

「今度は、卵なんて食べたことがないなんて、言おうとしているんじゃないか？」

¡Si aún intentarás decir que nunca has comido huevos! 《Si 「副詞」「動詞句」「目的語」》

¡Si シ conj. (疑念) ~なのではないか？

aún アウン adv. まだ、さらに 「副詞」

intentarás decir インテンタス・デシル 2 単未・試行(intentar+不定詞)

v.t 言おうとするだろう 「動詞句」

que ケ conj. ~ということ を 「目的語」

nunca has comido ヌンカ・アス・コムト 2 単現・完了形・否定(comer)

v.t 食べたことがない 「動詞句」

huevos! ウエボス pl(huevo).n.m 卵を 「目的語」

「もちろん卵は食べたことがありますよ」と、アリスは言った。彼女はいつでも本当のことを言った；「でも、女の子だってへびと同じくらい卵を食べるわ、知らないの？」

-Bueno, huevos sí he comido -dijo Alicia, que siempre decía la verdad; pero es que las niñas comen huevos, igual que las serpientes, ¿no lo sabía?

《「応答」 | 「目的語」「動詞句」》, 「動詞」「主語」,

《pero 「動詞」「補語」, 「動詞句」「目的語」「動詞句」》

-Bueno, ブエノ adv. はい、もちろん 「応答」

huevos ウエボス pl(huevo).n.m 卵は 「目的語」

sí he comido シ・ヘ・コムト 1 単現・完了形・強調(comer)v.t 食べたことがありますとも「動詞句」

síシ adv. (肯定の強調) 本当に、もちろん

-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia, アリシア n.f アリスは 「主語」

5 Consejos de una oruga

que ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
siempre シエンプレ adv. いつも	「副詞」
decía テシア 3 単線(decir)v.t 言う	「動詞」
la verdad-; ラ・ベルダ n.f 真実を	「目的語」
pero ペロ conj. しかし	
es エス 3 単現(èssere)v.i ～である	「動詞」
que ケ conj. ～ということ	「補語」
las niñas ラス・ニャス pl(niña).n.f 女の子は	「主語」
comen コメン 3 複現(comer)v.t 食べる	「動詞」
huevos, ウエボス pl(huevo).n.m 卵を	「目的語」
igual que イグual・ケ conj. ～と同じに	「副詞句」
las serpientes, ラス・セルピエンテス pl(serpiente).n.f ヘビ	「目的語」
¿no ...sabía? ノ...サビア 3 単線・否定(saber)v.t 知らなかった	「動詞句」
lo ロ pron それを	「目的語」

「そんな事は信じられない！」と、ハトが否定した。「でも、もしそうなら...」

-¡No lo creo! -negó la Paloma-. Pero si así fuera...

《「動詞句」「目的語」「動詞句」》, 「動詞」「主語」, 《Pero 「副詞節」》

-¡No ...creo! ノ...クオ 1 単現・否定(creer)v.t 信じられない	「動詞句」
lo ロ pron そんなことを	「目的語」
-negó ネゴ 3 単点(negar)v.t 否定した	「動詞」
la Paloma-. ラ・パロマ n.f ハトは	「主語」
Pero ペロ conj. しかし	
si シ conj. もし～ならば	「副詞節」
así アシ adv. そのように	「補語」
fuera... フェラ 接・3 単過(ser)v.i ～だった	「動詞」

「えー、女の子もヘビの一種ってことだ。言いたいことはこれだけだ」

¡Ea! ¡No son más que una especie de culebras! ¡Eso es todo lo que tengo que decir!

《「間投」 | 「動詞句」「補語」 | 「主語」「動詞」「補語」》

¡Ea! エア int. えー、ああ	「間投」
¡No son ノ・ソ 3 複現・否定(ser)v.i ～でない	「動詞句」
「主語」は las niñas	
más que una especie マス・ケ・ウナ・エスペシエ n.f(no más que) 一種でしか	「補語」
de culebras! デ・クレブラス adj. ヘビの	「形容詞句」
¡Eso エソ pron それは	「主語」

5 Consejos de una oruga

es エス 3 単現(èssere)v.i 〜である 「動詞」
 todo lo que tengo que decir! トト・ロ・ケ・テンゴ・ケ・デシール
 pron 私が言わなきゃならないすべて 「補語」

それはアリスにとっては全く新しい考えだったので、しばらくの間声も出なくなりました。
 ハトはそれに乗じて、付け加えて言いました：

Era ésta una idea tan nueva para Alicia, que se quedó pasmada durante algunos instantes, lo que aprovechó la Paloma para añadir:

「動詞」「主語」「補語」,que 「動詞句」「補語」, 「副詞節」
 Era エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった 「動詞」
 ésta エスタ pron これは 「主語」
 una idea ウナ・イデア n.f 考え 「補語」
 tan nueva タン・ヌエバ adj. 全く新しい 「形容詞句」
 para Alicia, パラ・アリシア adv. アリスにとっては 「副詞句」
 que ケ conj.(tan...que) (結果) それで〜する
 se quedó セ・ケト 3 単線・変化(quedarse+過去分詞)
 v.pr すっかり〜の状態になった 「動詞句」
 pasmada パスマダ 過去分詞(pasmar)adj.f 仰天した、啞然とした、声も出ない 「補語」
 durante algunos instantes, トゥランテ・アルグノス・インスタネス adv. しばらくの間 「副詞句」
 lo que ロ・ケ pron (目的語) それを〜する 「副詞節」
 lo は前文全体が先行詞になることを表す
 aprovechó アプ ロベチョ 3 単点(aprovechar)v.t 利用した 「動詞」
 la Paloma ラ・パロマ n.f ハトは 「主語」
 para añadir: パラ・アニャデーール 不定詞・結果 v.t そして付け加えた 「副詞句」

「あんたは、卵を捜しているんだ！そんなことはお見通しだよ！」

-¡Estás buscando huevos! ¡Si lo sabré yo!

《「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」「目的語」「動詞句」「主語」》
 -¡Estás buscando エスタス・ブスカント 2 単現・進行形(buscar)v.t 捜している 「動詞句」
 huevos! ウエボス pl(huevo).n.m 卵を 「目的語」
 ¡Si ...sabré シ...サブレ 1 単末・強調(saber+si 強調)v.t はっきりと分かる 「動詞句」
 lo ロ pron それを 「目的語」
 yo! ショ pron 私は 「主語」
 お見通し
 相手の心の中をすっかり見抜いていること

5 Consejos de una oruga

それじゃあ、あんたが女の子だとかへビだとかは、私にとって何が大事だというの？

Y entonces, ¿qué me importa si eres una niña o una sierpe?

Y 「副詞」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞」 「副詞節」

Y イ conj. そして

entonces, エントネンス adv. それでは 「副詞」

¿qué ケ pron 何が 「主語」

me メ pron 私にとって 「間接目的語」

importa インポルタ 3 単現(importar)v.i 重要である 「動詞」

si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

eres エルス 2 単現(èssere)v.i ～である 「動詞」

una niña ウナ・ニーニャ n.f 女の子 「補語」

o オ conj. または

una sierpe? ウナ・シエルペ° n.f(= serpiente) ヘビ 「補語」

→ 反語表現 → 女の子だろうとへビだろうと違いはない！

「私にとっては、大事なことのよ！」と、アリスは急いで言った。

-Pues a mí sí que me importa -se apresuró a declarar Alicia-.

《Pues 「副詞句」 「間接目的語」 「補語」》, 「動詞」 「主語」

-Pues プエス conj.(pues que) (理由) ～だから

a mí ア・ミ adv. 私にとっては 「副詞句」

sí que シ・ケ conj. (強調 sí+que) ～ということである

me メ pron 私にとって 「間接目的語」

importa インポルタ adj. 重要な 「補語」

-se apresuró a declarar セ・アプレスロ・・ア・デクララール 3 単点・緊急(apresurarse a+不定詞)

v.t 急いで宣言した 「動詞」

Alicia-. アリシア n.f アリスは 「主語」

5 Consejos de una oruga

「その上、偶然にも卵を探していた訳じゃないの。それに探していたとしても、あなたの卵には興味ないわ：わたし、生卵は嫌いだから」

Además, da la casualidad de que no estoy buscando huevos, y aunque sí lo estuviera, no me interesarían los suyos: no me gustan crudos.

「副詞」, 「動詞」「主語」, y 「副詞節」, 「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「主語」:

「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「主語」

Además, アデマス adv. その上、さらに 「副詞」

da ダ 3 単現・発生(dar)v.i (人に) ～が起こる、感じられる、予想される 「動詞」

dar la casualidad de que+直説法 「偶然…する、思いがけなく…する」

la casualidad ラ・カサリダ n.f 偶然が 「主語」

de que デ・ケ conj. (同格) ～するという 「形容詞節」

no estoy buscando ノ・エストイ・ブスカンド 1 単現・進行形・否定(estar+現在分詞)

v.t ～していない 「動詞句」

huevos, ウエボス pl(huevo).n.m 卵を 「目的語」

y イ conj. そして

aunque アウンケ conj. たとえ～であっても 「副詞節」

sí シ conj. (仮定) もしも～なら 「副詞節」

lo ロ pron そう、そうだ 「補語」

estuviera, エストビエラ 接・1 単過・仮定(estar)v.i ～だった 「動詞」

no ...interesarían ノ...インテサリアン 3 複過未・否定・仮定の結果(interesar)

v.t 関心を引かない 「動詞句」

me メ pron 私の 「間接目的語」

los suyos: ロス・スヨス pl.pron (huevos の代用) あんたの卵は 「主語」

no ...gustan ノ...グスタン 3 複現・否定(gustar)v.i 気に入らない 「動詞句」

me メ pron 私にとって 「間接目的語」

crudos. クルドス pl.pron (huevos crudos の省略) 生卵は 「主語」

「それなら、ここを立ち去れ！放っておいてくれ！」と、ついにハトは文句を言って、自分の巣に戻って行った。

-Pues entonces, ¡vete y déjanos en paz! -terminó la Paloma rezongando, mientras volvía a asentarse en su nido.

《「副詞句」「動詞句」 y 「動詞句」「副詞句」》, 「動詞句」「主語」「動詞句」, 「副詞節」

-Pues entonces, プエス・エントンセス adv. それじゃあ 「副詞句」

¡vete ベ・テ 命・2 単現(irse)v.pr 立ち去れ！ 「動詞句」

y イ conj. そして

déjanos デハ・ノス 命・2 単現(dejar+nos)v.t (状態) 私たちを～にしないで 「動詞句」

5 Consejos de una oruga

en paz! エン・パス adv. 安らぎに	「副詞句」
→ 放っておいてくれ!	
-terminó ...rezongando, テルミノ...レゾニャント 3 単点・結果(terminar+現在分詞)	
v.i とうとうぶつぶつ文句を言った	「動詞句」
rezagnar レゾニャール v.i ぶつぶつ不平を言う	
la Paloma ラ・パロマ n.f ハトは	「主語」
mientras ミエントラス conj. ～する一方で	「副詞節」
volvía a asentarse ボルビエ・ア・アセンタルセ 3 単線・再度(volver a+不定詞 asentarse)	
v.p また身を落ち着けた	「動詞句」
asentarse アセンタルセ v.pr 身を落ち着ける	
en su nido. エン・ス・ニド adv. 自分の巣に	「副詞句」

アリスは出来るだけ木々の間に身を屈めた; というのは、長すぎる首が枝に絡み着くので、時々止まって、それをほどかなければならなかったからです。

Alicia se acurrucó como pudo entre los árboles; se le enredaba el cuello, larguísimo, entre las ramas, y de vez en cuando tenía que detenerse a desprenderlo.

「主語」「動詞句」「副詞節」「副詞句」; 「動詞句」「主語」「副詞句」, y 「副詞句」「動詞句」	
Alicia アリシア n.f アリスは	「主語」
se acurrucó セ・アクルコ 3 単点(acurrucarse)v.pr 身を屈めた	「動詞句」
como pudo コモ・プト adv. 精一杯、出来るだけ、なんとか	「副詞節」
como poder 「精一杯、出来るだけ」	
entre los árboles; エントレ・ロス・アルボレス adv. 木々の間に	「副詞句」
se le enredaba セ・レ・エンレダバ 3 単線(enredarse+le)v.pr 絡み付いていた	「動詞句」
el cuello, エル・クエジョ n.m 首が	「主語」
larguísimo, ラルギシモ adj. (絶対最上級: largo) 長すぎる	「形容詞」
entre las ramas, エントレ・ラス・ラマス adv. 木の枝の間で	「副詞句」
y イ conj. そして	
de vez en cuando デ・バス・エン・クワント adv. その度に、時々	「副詞句」
tenía que detenerse テニア・ケ・デテネルセ 3 単線・必要(tener que+不定詞 detenerse)	
v.pr 止まらなければならなかった	「動詞句」
a desprenderlo. ア・デスプレンデル・ロ 不定詞・結果(desprender+lo)	
v.t そしてそれをはがす	「動詞句」

5 Consejos de una oruga

少しして、まだキノコのかけらを両手に持っていることを思い出して、熱心に作業を始めた。初めに一方をかじって、次に反対側をかじる、何度か大きくなり、また何度か小さくなって、やっといつもの身長に戻った。

Después de un rato se acordó de que aún tenía los trocitos de seta en las manos y se puso a trabajar diligentemente, mordisqueando primero uno y luego el otro, creciendo unas veces y menguando otras, hasta que hubo recobrado su estatura habitual.

「副詞句」「動詞句」「間接目的語」 y 「動詞句」「副詞句」, 「副詞節」
 Después de デスプ°エス・デ° prep (時間) ~の後で 「副詞句」
 un rato ウン・ラト n.m 短時間 「目的語」
 se acordó セ・アコルト° 3 単点(acordarse)v.pr(de を) 思い出した 「動詞句」
 de que デ・ケ conj. ~ということ を 「間接目的語」
 aún アウン adv. まだ 「副詞」
 tenía テニア 3 単線(tener)v.t 持っていた 「動詞」
 los trocitos ロス・トロシトス pl(trozo).n.m かけらを 「目的語」
 de seta デ・セタ adj. キノコの 「形容詞句」
 en las manos エン・ラス・マノス adv. 両手に 「副詞句」
 y イ conj. そして
 se puso a trabajar セ・プ°リ・ア・トラバ°ハール 3 単点・開始(ponerse a+不定詞)
 v.i 作業を始めた 「動詞句」
 diligentemente, デイリヘンテメンテ adv. 熱心に、てきぱきと 「副詞」
 mordisqueando モルディスケアント° 現在分詞・手段(= morder)v.t かじって 「副詞句」
 primero uno プリメロ・ウノ adv. 初めに一方を 「目的語」
 y イ conj. そして
 luego ルエゴ° adv. それから 「副詞」
 el otro, エル・オトロ n.m 他方を 「目的語」
 creciendo クレシエント° 現在分詞・様態(crecer)v.i 大きくなる 「動詞」
 unas veces ウナス・ベセス adv. 何度か 「副詞句」
 y イ conj. そして
 menguando メングアント° 現在分詞・様態(menguar)v.i 小さくなる 「動詞」
 otras, オTRAS adv. また何度も 「副詞」
 hasta que アスタ・ケ conj. ついに~する、~するまで 「副詞節」
 hubo recobrado ウボ°・レコブラト° 3 単点・完了形(recobrar)v.t 取り戻す 「動詞句」
 su estatura habitual. ス・エスタトゥラ・アビトואル n.f いつもの身長を 「目的語」
 estatura エスタトゥラ n.f 身長 habitual アビトואル adj. いつもの

5 Consejos de una oruga

アリスがいつもの大きさを失ってから相当な時間が経っていましたので、最初の内は彼女にとってかなり奇妙な感じがしました。それでも、5分後にはその大きさに慣れました。

Hacía tanto tiempo desde que Alicia perdiera su tamaño normal, que todo le parecía al principio bastante extraño; pero se acostumbró al cabo de algunos minutos:

「動詞」「目的語」「副詞節」, que 「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」「補語」;
pero 「動詞句」「副詞句」
Hacía アシア 3 単線・単人称(hacer)v.t(desde que ～して) (時間) ～になった 「動詞」
tanto tiempo タント・テイェンボ n.m かなりの時間 「目的語」
desde que デステ・ケ conj. ～して以来 「副詞節」
Alicia アリシア n.f アリスが 「主語」
perdiera ヘルデ・ウエラ 接・3 単過(perder)v.t 失った 「動詞」
su tamaño normal, ス・タマニョ・ノルマル
n.m 自分のいつもの大きさを 「目的語」
que ケ conj. (結果) それで～する
todo トド pron すべてが 「主語」
le レ pron 彼女には 「間接目的語」
parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i 思われた 「動詞」
al principio アル・プリンシピオ adv. 最初の内は 「副詞句」
bastante extraño; バスタンテ・エクストラニョ adj. とても奇妙な 「補語」
pero ペロ conj. しかし
se acostumbró セ・アコストゥンブロ 3 単点(acostumbrarse)v.pr 慣れた 「動詞句」
al cabo de algunos minutos: アル・カボ・デ・アルグエノス・ミヌトス adv. 数分後には 「副詞句」

「やった！もう私の計画の半分が達成できたわ！」

«¡Ánimo! Ya he realizado la mitad de mi plan. 《「間投」 | 「副詞」「動詞句」「目的語」》
«¡Ánimo! アニモ int. がんばれ！ 「間投」
Ya やー adv. もう 「副詞」
he realizado エ・レアリサド 1 単現・完了形(realizar)v.t 実現した 「動詞句」
la mitad ラ・ミタ n.f 半分を 「目的語」
de mi plan. デ・ミ・プラン adj. 私の計画の 「形容詞句」

こんなに変わるなんて、狂っているわ!

¡Qué desconcertantes son todos estos cambios! 「補語」「動詞」「主語」
¡Qué desconcertantes ケ・デスカンセルタネス adj.pl なんと困惑させるような 「補語」
son ソン 3 複現(ser)v.i ～である 「動詞」
todos estos cambios! トドス・エストス・カンビオス pl(cambio).n.m これらすべての変化は 「主語」

5 Consejos de una oruga

1 分後に、同じ大きさでいられる保障は全くないわ！

¡Nunca puede estar una segura de lo que va a ser al minuto siguiente!

「動詞句」「主語」

¡Nunca puede estar ヌンカ・プ エデ・エスカル 3 単現・存在・可能性・否定(poder+不定詞)

v.t. ～は決して無いだろう

「動詞句」

una segura ウナ・セグラ n.f 保障は

「主語」

de lo デ・ロ adj. 何かの

「形容詞句」

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

va a ser バ・ア・セル 3 単現・近接未来(ir a+不定詞)

v.i. ～である

「動詞句」

al minuto siguiente! アル・ミヌト・シギエンテ

adv. 次の1分に、1分後に

「副詞句」

「とはいえ、いつもの大きさに戻ることはできた。次は、あのきれいな庭に入る事ね。」

Sin embargo, la cosa es que ya he recobrado mi tamaño propio, y lo que tengo que hacer ahora es entrar en aquel hermoso jardín;

《「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」, y 「主語」「動詞」「補語」》

Sin embargo, シン・エンバルゴ adv. とはいえ、それにもかかわらず

「副詞句」

la cosa ラ・コサ n.f 事情は、今の状況は

「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i. ～である

「動詞」

que ケ conj. ～ということ

「補語」

ya ヤー adv. もう、すでに

「副詞」

he recobrado エ・レコブラト 1 単現・完了形(recobrar)v.t 回復した

「動詞句」

mi tamaño ミ・タマニョ n.m 私の大きさ

「目的語」

propio, プロピオ adj. 本来の、いつもの

「形容詞」

y イ conj. そして

lo ロ pron それは

「主語」

que ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

tengo que hacer テンゴ・ケ・アセル 1 単現・必要

v.t. しなければならない

「動詞句」

ahora アハラ adv. 今度は、今は

「副詞」

es エス 3 単現(ser)v.i. ～である

「動詞」

entrar エントラル 不定詞 n.(en に) 入る事

「補語」

en aquel hermoso jardín; エン・アケル・エルモソ・ハルデイン adv. あのきれいな庭に

「副詞句」

5 Consejos de una oruga

「だけど... それをうまくやるには、どうすればいいの？」

sólo que... me pregunto ¿cómo me las arreglaré para lograrlo?».

《sólo que 「動詞句」「目的語」》

sólo que... ソロ・ケ conj. だけど、ただし

me pregunto メ・プレグント 1 単現(preguntarse)v.pr 疑問に思う 「動詞句」

¿cómo コモ conj. どのように～するかを 「目的語」

me las arreglaré メ・ラス・アレグラレ 1 単未(arreglárselas)

v.pr それを何とかやる 「動詞句」

para lograrlo?». パラ・ログラール・ロ

adv.(lograr+lo) それをうまくやるために 「副詞句」

lo は entrar の代用

こう言って、アリスが突然明るい場所に出ると、そこに高さ 120cm 位の小さな家があった。

Mientras decía esto, Alicia llegó de improviso a un claro en el que se veía una pequeña casita como de cuatro pies de altura. 「副詞節」, 「主語」「動詞」「副詞句」

Mientras ミエンTRAS conj. ～する一方で 「副詞節」

decía デシア 3 単線(decir)v.t 言った 「動詞」

esto, エスト pron これを 「目的語」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

llegó ジェゴ 3 単点(llegar)v.i 着いた 「動詞」

de improviso デ・インプロビソ adv. 突然、急に 「副詞句」

a un claro ア・ウン・クラロ adv. 明るい所に 「副詞句」

en el que エン・エル・ケ conj. そこで～する 「形容詞節」

se veía セ・ベ・イア 3 単線・時制の一致(verse)v.pr 見える、ある 「動詞句」

una pequeña casita ウナ・ペケニャ・カシタ n.f 小さな別荘が 「主語」

como de cuatro pies de altura. コモ・デ・クワトロ・ピエス・デ・アルトゥラ

adv. 高さが 4 フィート (120cm) くらいの 「副詞句」

5 Consejos de una oruga

「そこに誰が住んでいるにしても」と、アリスは思った。「この大きさを確かめに行くことは賢明ではない：死ぬほど怯えてしまうだろう」

«Quienquiera que viva allí -pensó-, de nada me serviría ir a averiguarlo con este tamaño:
¡se morirían del susto!»

《「副詞句」》, 「動詞」, 《「補語」「間接目的語」「動詞」「主語」「主語」》

«Quienquiera que+接続法 キンキエラ・ケ pron (譲歩) ~する人は誰でも 「副詞句」

viva ビバ 接・3単現(vivir)v.i 住む 「動詞」

allí アジ adv. そこに 「副詞」

-pensó-, ペンソ 3単点(pensar)v.i 思った 「動詞」

de nada デ・ナダ adj. 重要でない、何もない 「補語」

me メ pron 私にとって 「間接目的語」

serviría セルビリア 3単過未・推量(servir)v.i (否定文で) 役に立たないだろう 「動詞」

ir a averiguarlo イール・ア・アベリガール・ロ 不定詞(ir a+不定詞)

n. それを確かめに行くことは 「主語」

con este tamaño: コン・エステ・タマニョ adv. この大きさを 「副詞句」

¡se morirían セ・モリアン 3複過未・推量(morirse)v.pr 死んでしまうだろう 「動詞句」

del susto! デル・スト adv. (原因) 恐れのために、驚きで 「副詞句」

5 Consejos de una oruga

それで、右手に持っていたキノコのかけらをかじり始めて、身長が 23 センチになるまでは近付きませんでした。

Así que empezó a mordisquear el trocito que tenía en la mano derecha, y no se aventuró a aproximarse hasta que hubo logrado una estatura de nueve pulgadas.

Así que 「動詞句」 「目的語」 ,y 「動詞句」 「副詞節」

Así que アシ・ケ conj. それで～する

empezó a mordisquear エンペ° ツ・ア・モルディスケアル 3 単点・開始(empezar a+不定詞)

v.t. ～をかじり始めた 「動詞句」

mordisquear モルディスケアル = mordiscar モルディスカール v.t. かじる、噛む

el trocito エル・トロシト n.m. かけらを 「目的語」

que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

tenía テニア 3 単線(tener)v.t. 持っていた 「動詞」

en la mano derecha, エン・ラ・mano・デレチャ adv. 右手に 「副詞句」

y イ conj. そして

no se aventuró a aproximarse ノ・セ・アベントウロ・ア・アプ° ロキシマルセ 3 単点・意志・否定

v.pr. あえて近づかなかった 「動詞句」

aventurarse アベントウラルセ v.pr(a+不定詞) あえて～しない

aproximarse アプ° ロキシマルセ v.pr. 近づく

hasta que アスタ・ケ adv. ～するまで 「副詞節」

hubo logrado ウボ° ・ログラト° 3 単点・完了形(lograr)v.t. 達成した 「動詞句」

una estatura ウナ・エスタトゥラ n.f. 身長を 「目的語」

de nueve pulgadas. デ° ・ヌエベ° ・プルガダス

adj. 9 インチの、23 センチの 「形容詞句」

6 Cerdo y pimienta

6 Cerdo y pimienta

ぶたとコショウ

Cerdo セルト n.m ぶた 「主語」

y イ conj. そして

pimienta ピメンタ n.f コショウ 「主語」

アリスはこれから何をしようかと考えながら、1・2 分の間その家をずっと眺めていた。その時いきなり、仕着せを着た召使が森から走り出てきた。(アリスはそれが召使だと思った。なぜなら仕着せをきていたからだ。さもなければ、顔だけで判断したら、むしろ魚だと思ったかも知れない) そして、召使は拳骨の角でドアを力いっぱいノックした。

Alicia se quedó mirando la casa durante uno o dos minutos, preguntándose lo que iba a hacer, cuando de pronto un lacayo de librea salió corriendo del bosque (a Alicia le pareció que era un lacayo porque iba vestido de librea; de otra manera, a juzgar sólo por su cara, habría dicho que era más bien un pez) y golpeó fuertemente a la puerta con los nudillos de la mano.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」, 「副詞句」, cuando 「副詞句」「動詞」「副詞句」
 (「間接目的語」「動詞」「主語」「副詞節」; 「副詞句」「動詞句」「目的語」)
 y 「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

se quedó mirando セ・ケト・ミラント 3 単点・継続(quedarse+現在分詞 mirar)

v.t 眺め続けた 「動詞句」

la casa ラ・カサ n.f その家を 「目的語」

durante uno o dos minutos, トゥランテ・ウノ・オ・ドス・ミントス adv. 1・2 分の間 「副詞句」

preguntándose プレグンタント・セ 現在分詞・同時・様態(preguntar)

v.t 自問しながら 「副詞句」

lo ロ pron それを 「目的語」

que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

iba a hacer, イバ・ア・アセル 3 単線・近接未来(ir a+不定詞)

v.t これからする 「動詞句」

cundo クワント conj. (継続) その時~する

de pronto デ・プロント adv. 突然、いきなり 「副詞句」

un lacayo ウン・ラカヨ n.m 召使が 「主語」

de librea デ・リブレア adv. 仕着せを着た 「形容詞句」

salió サリオ 3 単点(salir)v.i(de から) 出てきた 「動詞」

corriendo コリエント 現在分詞・様態(correr)v.i 走って 「副詞」

del bosque デル・ボスケ adv. (起点) 森から 「副詞句」

6 Cerdo y pimienta

(a Alicia le ア・アリシア・レ pron アリスにとっては	「間接目的語」
pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i 〜のように思われた	「動詞」
que ケ conj. 〜という事が	「主語」
era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i 〜である	「動詞」
un lacayo ウン・ラカヨ n.m 召使い	「補語」
porque ポルケ conj. 〜なので、なぜなら	「副詞節」
iba イバ 3 単線(ir)v.i 〜だった	「動詞」
vestido ベストロ 過去分詞(vestir)adj.(de を) 着ていた	「補語」
de librea; デ・リブレア adv. 仕着せを	「間接目的語」
de otra manera, デ・オトラ・マネラ adv. もしそうでなければ、さもなければ	「副詞句」
a juzgar ア・フスカール adv. (条件) (por から) 判断すると	「副詞句」
sólo por su cara, ソロ・ポル・ス・カラ adv. 顔だけで	「副詞句」
habría dicho アブラリア・ディチョ 1 単過未・完了形・過去における未来完了(decir)	
v.t. 〜と思っただろう	「動詞句」
que ケ conj. 〜ということ	「目的語」
era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i 〜である	「動詞」
más bien マス・ビエン adv. むしろ	「副詞句」
un pez ウン・ペス n.m さかな	「補語」
y イ conj. そして	
golpeó ゴルペオ 3 単点(golpear)v.t 叩いた	「動詞」
fuertemente フェルテメンテ adv. 力いっぱい	「副詞」
a la puerta ア・ラ・プエルタ n.f ドアを	「目的語」
con los nudillos コン・ロス・ヌディリョス	
adv. (手段) 指の付け根の関節を使って、拳骨の角で	「副詞句」
de la mano. デ・ラ・mano adj. 手の	「形容詞句」
仕着せ	

主人が使用人に、季節に応じた衣服を与えること。また、その衣服。おしきせ。

そのドアを、仕着せ姿の別の召使が開けましたが、彼は真ん丸の顔でカエルみたいに大きい目をしていました。

<u>La abrió otro lacayo de librea, con una cara muy redonda y ojos grandes como los de un sapo.</u>	「目的語」「動詞」「主語」「副詞句」
La ラ pron.f (puerta の代用) それを	「目的語」
abrió アブリオ 3 単点(abrir)v.t 開けた	「動詞」
otro lacayo オトロ・ラカヨ n.m 別の召使が	「主語」
de librea, デ・リブレア adj. 仕着せの	「形容詞句」

6 Cerdo y pimienta

con	コン	adv. (様態) 〜の様相の	「副詞句」
una cara	ウ・カ	n.f 顔	「目的語」
muy redonda	ムイ・ロンドンダ	adj. 真ん丸の	「形容詞句」
y	イ	conj. そして	
ojos grandes	オホス・グランデス	pl(ojo).n.m 大きな目	「目的語」
como los	コモ・ロス	adv. それらの目のような	「副詞句」
de un sapo.	デ・ウン・サポ	adj. カエルの	「形容詞句」

アリスが2人の召使を観察すると、二人とも、おしろいの付いた髪が巻き毛にされて、頭全体を覆っていることに気がつきました。

Ambos lacayos, observó Alicia, tenían el pelo empolvado y rizado en bucles que les cubrían toda la cabeza.	「目的語」「動詞」「主語」, 「主語」「動詞」「目的語」
Ambos lacayos, アンボス・ラカヨス pl(lacayo).n.m 2 人の召使を	「目的語」
observó オブセルヴァ 3 単点(observar)v.t 観察した、気付いた	「動詞」
Alicia, アリシア n.f アリスは	「主語」
tenían テニアン 3 複線(tener)v.t 〜があった	「動詞」
el pelo エル・ペロ n.m 髪	「目的語」
empolvado エンポルバト 過去分詞・受動(empolvar)	
adj. おしろいを付けられた	「形容詞」
y イ conj. そして	
rizado リサト 過去分詞・受動(rizar)adj. カールをかけた	「形容詞」
en bucles エン・ブクレス adv. 巻き毛に	「副詞句」
que ケ pron (主語) 〜する	「形容詞節」
les cubrían レス・クブリアン 3 複線・時制の一致・(cubrirse)	
v.pr 覆っている	「動詞句」
toda la cabeza. トダ・ラ・カベサ n.f 頭全体を	「目的語」

アリスは、何が起きているのかをとっても知りたくなって、彼らの話が聞こえるように、注意して森から少し出ました。

<u>Alicia sintió un gran deseo de enterarse de lo que estaba pasando y salió un poco del bosque con cautela para poder oír lo que decían.</u>	「主語」「動詞」「目的語」 y 「動詞」「副詞句」
Alicia アリシア n.f アリスは	「主語」
sintió シンチオ 3 単点(sentir)v.t 感じた	「動詞」
un gran deseo ウン・グラン・デセオ n.m 大きな願望を	「目的語」
de enterarse デ・エンテルセ 不定詞・目的 adj. (de を) 知るという	「形容詞句」

6 Cerdo y pimienta

de lo	デ・ロ	adv. それについて	「間接目的語」
que	ケ	pron (主語) ～する	「形容詞節」
estaba pasando	エスタバ・パサント	3 単線・進行形・時制の一致(pasar)	
	v.i	起きている	「動詞句」
y	イ	conj. そして	
salió	サリオ	3 単点(salir)v.i 出た	「動詞」
un poco del bosque,	ウン・ポコ・テル・ボスケ	adv. 少し森から	「副詞句」
con cautela,	コン・カテラ	adv. 注意して	「副詞句」
para poder oír lo que decían.	パラ・ポデール・オイル・ロ・ケ・ディアン		
	adv. (目的)	彼らの話が聞こえるように	「副詞句」

魚顔の召使いは、腕に抱えていた自分の体と同じ位大きな手紙をまず見せて、厳かな口調で言いました：

El lacayo-pez empezó por exhibir una gran carta -casi tan grande como su portador- que llevaba bajo el brazo, diciendo con tono solemne:

			「主語」「動詞句」「目的語」, 「副詞句」
El lacayo-pez	エル・ラカヨ・ペス	n.m 魚の召使いは	「主語」
empezó	エンペソ	3 単点(empezar)v.i(por+不定詞) まず～することから始めた	「動詞句」
por exhibir	ポル・エキビール	不定詞 v.t 公開する、見せる	「動詞句」
una gran carta	ウナ・グラン・カルタ	n.f 大きな手紙を	「目的語」
-casi tan grande	カシ・タン・グランデ	adv. (類似) ほぼ～位に大きな	「形容詞句」
como su portador-	コモ・ス・ポルトドル		
	adv. (比較)	その運搬者(召使)と同じ位	「副詞句」
que	ケ	pron (目的語) ～する	「形容詞節」
llevaba	ジェババ	3 単線(llevar)v.t 持っていた	「動詞」
bajo el brazo,	バホ・エル・ブラソ	adv. 腕に抱えて、腕の下に	「副詞句」
diciendo	ディシエント	現在分詞・同時 v.i 言いながら	「副詞句」
con tono solemne:	コン・トノ・ソルムネ	adv. 厳かな口調で	「副詞句」

「公爵夫人どのへ；女王様より、クロッケーへのご招待」

«Para la Duquesa; una invitación de la Reina para jugar al croquet.»

			《「副詞句」；「主語」》
«Para la Duquesa;	パラ・ラ・ドゥケサ	adv. (対象) 公爵夫人どのに対して	「副詞句」
una invitación	ウナ・インビタシオン	n.f 招待	「主語」
de la Reina	デ・ラ・レイサ	adj. 女王からの	「形容詞句」
para jugar al croquet».	パラ・フガール・アル・クロケト		

6 Cerdo y pimienta

adv. (目的) クロッケーへの

「副詞句」

カエル顔の召使は、同じ言葉を繰り返して答えましたが、少し言葉の順序を変えました。

El lacayo-sapo contestó repitiendo las mismas palabras, sólo que alterando un poco el orden:

「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」「副詞句」

El lacayo-sapo エル・ラカヨ・サポ n.m カエル顔の召使は

「主語」

contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた

「動詞」

repitiendo レピチエント 現在分詞・同時(repetir)v.t 繰り返して

「副詞句」

las mismas palabras, ラス・ミマス・パラブラス pl(palabra).n.f 同じ言葉を

「目的語」

sólo que ソロケ conj. (様態) ただ、しかし

「副詞句」

alterando アルテラント 現在分詞・同時(alterar)v.t 変えて

「動詞」

un poco ウン・ポコ adv. 少し

「副詞句」

el orden: エル・オルデン n.m 順序を

「目的語」

「女王様より... 公爵夫人へ... クロッケーへのご招待...」

«De parte de la Reina; para la Duquesa, una invitación a jugar al croquet».

《「副詞句」; 「副詞句」, 「主語」》

«De parte de テ・パルテ・デ prep (起点・人) ~から、~としては、~の代理で 「副詞句」

la Reina; ラ・レイナ n.f 女王様

「目的語」

para パラ prep (目的) ~のために、(対象) ~に対して

「副詞句」

la Duquesa, ラ・ドゥケサ n.f 公爵夫人

「目的語」

una invitación ウン・インビタシオン n.f (a への) 招待

「主語」

a ア prep (対象) ~への

「副詞句」

jugar al croquet». フガル・アル・クロケット n.m (ゲーム) クロッケー

「目的語」

それから互いに丁重にお辞儀をしました。ただ、二人のまき毛が絡んでしまいました。

Después se inclinaron ceremoniosamente, sólo que se les enredaron los rizos.

「副詞」, 「動詞句」「副詞」, sólo que 「動詞句」「間接目的語」

Después デスプエス adv. それから、その後

「副詞」

se inclinaron セ・インクラロン 3 複点(inclinarse)v.pr (相互) お互いにお辞儀した

「動詞句」

ceremoniosamente, セレモニオサメンテ adv. 非常に礼儀正しく

「副詞」

sólo que +直説法 ソロケ conj. ただし、しかし

se les enredaron セ・レス・エンダロン 3 複点(enredarse)v.pr (体の一部が) 絡まった 「動詞句」

les レス pron.pl 彼らの「間接目的語」

los rizos. ロス・リソス pl(rizo).n.m 巻き毛が

「直接目的語」

6 Cerdo y pimienta

これを見て、アリスは笑いだしてしまいましたが、彼らに聞こえないように、もう一度森の中に急いで隠れなければならないほどでした。そしてまた顔を出すと、魚顔の召使はもう立ち去っていて、もう一方は、ぼうっと空を見ながら、地面に座っていました。

Al ver esto, Alicia se puso a reír de tal modo que tuvo que correr a esconderse otra vez en el bosque, no fuera que la oyeran; y cuando volvió a asomarse, el lacayo-pezo ya se había marchado y el otro estaba sentado en el suelo mirando estúpidamente al cielo.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞節」 ;

y 「副詞節」 「主語」 「副詞」 「動詞句」 y 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Al ver esto, アル・ベール・エスト adv. (原因) これを見て 「副詞句」

Alicia アリシア n.f イスは 「主語」

se puso a reír セ・プソ・ア・レイル 3 単点・開始(ponerse a+不定詞)v.pr 笑いだした 「動詞句」

de tal modo que テ・タル・モト・ケ conj. ～するほど 「副詞節」

tuvo que correr a esconderse トゥボ・ケ・コレール・ア・エスコンデルセ 3 単点・必要(tener que+不定詞)

v.pr 急いで隠れなければならない 「動詞句」

otra vez オトラ・ベス adv. もう一度 「副詞句」

en el bosque, エン・エル・ボソケ adv. 森の中に 「副詞句」

no fuera que ノ・フエラ・ケ conj. (目的) ～しないように 「副詞節」

la ラ pron アリスの声を 「目的語」

oyeran; オジェラン 接・3 複過(oír)v.t 聞く 「動詞」

y イ conj. そして

cuando クワント conj. ～する時 「副詞節」

volvió a asomarse, ホルビョ・ア・アソマルセ 3 単点・再度(volver a+不定詞)

v.r また顔を出した 「動詞句」

el lacayo-pezo エル・ラカヨ・ペス n.m 魚顔の召使は 「主語」

ya ヤー adv. もう 「副詞」

se había marchado セ・アビエ・マルチャト 3 単線・完了形(marcharse)

v.pr 立ち去っていた 「動詞句」

y イ conj. そして

el otro エル・オトロ pron もう一方は 「主語」

estaba sentado エスタバ・セントロ 3 単線・受動(sentar)v.t 座っていた 「動詞句」

en el suelo エン・エル・スエロ adv. 地面に 「副詞句」

mirando ミラント 現在分詞・同時(mirar)v.i(a の方を) 見ながら 「副詞句」

estúpidamente エストゥピダメンテ adv. ぼうっとして 「副詞」

al cielo. アル・シエロ adv. 空を 「間接目的語」

6 Cerdo y pimienta



アリスは恐る恐る近付いて、ドアをノックしました。

Alicia se acercó, tímidamente, y golpeó a la puerta.

「主語」「動詞句」「副詞」,y「動詞」「間接目的語」

Alicia アリシア n.f アリスは

「主語」

se acercó, セ・アセルロ 3 単点(acercarse)v.pr 近づいた

「動詞句」

tímidamente, チミダメンテ adv. 恐る恐る、おずおずと

「副詞」

y イ conj. そして

golpeó ゴルペオ 3 単点(golpear)v.i(a を) 叩いた

「動詞」

a la puerta. ア・ラ・プエルト adv. ドアを

「間接目的語」

「呼んでも無駄だよ」と、召使が言った。「理由は2つ：まず、俺もあんたもドアの外側にいることだ。2つめは、この中ではひどい騒音を出しているから、何も聞こえないんだ」

-No vale la pena llamar -dijo el lacayo-, y eso por dos razones: primero, porque yo estoy del mismo lado de la puerta que tú, y segundo, porque están haciendo tanto ruido ahí dentro que nadie puede oír nada.

《「動詞句」「目的語」「主語」》,「動詞」「主語」,《y「主語」「副詞句」y「副詞句」》

-No vale ノ・バレ 3 単現・否定(valer)v.t ~の価値がない

「動詞句」

la pena ラ・ペナ n.f その苦勞

「目的語」

llamar ジャマル 不定詞 n. 呼ぶことは

「主語」

valer la pena+不定詞 「~するだけの価値がある」

6 Cerdo y pimienta

no valer la pena +不定詞	「～しても無駄である」	
-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t	言った	「動詞」
el lacayo-, エル・ラカヨ n.m	召使が	「主語」
y イ conj.	そして	
eso エソ pron	それは	「主語」
por dos razones: ホ・ルト・ス・ラソネス adv.	2つの理由から	「副詞句」
primero, プリメロ adv.	最初は、1つ目は	「副詞」
porque ホ・ルケ conj.	(理由) ～だから	「副詞節」
yo ジョ pron	私は	「主語」
estoy エストイ 1 単現・存在(estar)v.i	～にいる	「動詞」
del mismo lado de la puerta デル・ミスマ・ラト・デ・ラ・プ エルタ		
adv.	ドアの同じ側に	「副詞句」
que tú, ケ・トゥ adv.	(比較) 君と同じように	「副詞句」
y イ conj.	そして	
segundo, セグント° adv.	2つ目は	「副詞」
porque ホ・ルケ conj.	(理由) ～だから	「副詞節」
están haciendo エスタン・アシエント° 3 複現・進行形(hacer)		
v.t (音を)	出している	「動詞句」
tanto ruido タント・ルイト° n.m	ひどい騒音を	「目的語」
ahí dentro アイ・デントロ adv.	この中では	「副詞句」
que ケ conj.(tan...que)	(結果) それで～する	「副詞節」
nadie ナディエ pron	誰も～ない	「主語」
puede oír プ・エテ°・オイール 3 単現・否定(poder+不定詞)v.t	聞こえない	「動詞句」
nada. ナダ° pron	何も～ない	「目的語」

6 Cerdo y pimienta

そして本当に、家の中から途方もない騒音が聞こえていました：うなり声に、くしゃみ、そして時々、まるで皿か鍋が粉々に砕けたような大きな破裂音です。

Y en verdad, que desde el interior de la casa salía un ruido extraordinario: aullidos, estornudos y, de vez en cuando, un gran estallido, como si un plato o una olla se hubiera partido en pedazos.

Y 「副詞句」, que 「副詞句」 「動詞」 「主語」: 「主語」, 「主語」 y, 「副詞句」 「主語」
Y イ conj. そして
en verdad, エン・ベルダ^ダ adv. 本当に 「副詞句」
que ケ conj. (事実の提示) ～ということだ
desde el interior デスデ・エル・インテリオル adv. 中から 「副詞句」
de la casa デ・ラ・カーサ adj. 家の 「形容詞句」
salía サリア 3 単線(salir)v.i 出ていた 「動詞」
un ruido ウン・ルイド^ド n.m 騒音が 「主語」
extraordinario: エクストラ・オルデ・イリオ adj. 途方もない 「形容詞」
aullidos, アウジドス pl(aullido).n.m うなり声が 「主語」
estornudos エストルノドス pl(estornudo).n.m くしゃみ 「主語」
y, イ conj. そして
de vez en cuando, デ・ベス・エン・クワント^ト adv. 時々 「副詞句」
un gran estallido, ウン・グラン・エスタジド^ド n.m 大きな破裂音 「主語」
como si コモ・シ conj. まるで～のように 「副詞節」
un plato ウン・プラト n.m 皿が 「主語」
o オ conj. または
una olla ウア・イジャ n.f 鍋が 「主語」
se hubiera partido セ・ウベ・エラ・パルト^ト 接・3 単過・完了形・推量(partirse)
v.pr 割れてしまった 「動詞句」
en pedazos. エン・ペダソス adv. 粉々に 「副詞句」

「それじゃあ、教えてちょうだい」と、アリスは尋ねた。「どうしたら入れるの？」

-Dígame entonces, por favor -preguntó Alicia-, ¿cómo he de entrar?

《「動詞句」「副詞句」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞」「動詞句」》

-Dígame デイガ^メ 接・3 単現・依頼(decir+me)v.t 私に言って 「動詞句」
entonces, エントネス adv. それでは 「副詞」
por favor ポル・ファボル adv. どうか 「副詞句」
-preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」
Alicia-, アリシア n.f アリスは 「主語」
¿cómo コモ adv. どのように、どうしたら 「副詞」

6 Cerdo y pimienta

he de entrar? エ・デ・エントラール 1 単現・必要(haber de+不定詞)

v.i 入らなければならない 「動詞句」

haber de+不定詞 「～しなければならない、～することになっている」

「ドアを叩くことはいくらか意味があるかもしれないね」と、アリスのことなど気にもしない
いで、召使いが続けた。「ドアが二人の間にあればの話だけど」

-Golpear a la puerta tendría algún sentido -continuó el lacayo sin hacerle caso- si
tuviéramos la puerta entre ambos.

《「主語」「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

-Golpear ゴルペアル 不定詞 n. ～を叩くことは 「主語」

a la puerta ア・ラ・プエルタ adv. ドアを 「間接目的語」

tendría テントリア 3 単過未・推量(tener)v.t. ～があるかもしれない 「動詞」

algún sentido アルグン・セントド n.m. いくらかの意味が 「目的語」

-continuó コンチヌオ 3 単点(continuar)v.i. 続けた 「動詞」

el lacayo エル・ラカヨ n.m. 召使は 「主語」

sin hacerle caso シン・アセル・レ・カソ adv. 彼女のことを気にせずに 「副詞句」

si シ conj. (仮定) もし～ならば 「副詞節」

tuviéramos トゥビエラモス 接・1 複過(tener)v.t. ～があったとする 「動詞」

la puerta ラ・プエルタ n.f. ドアが 「目的語」

entre ambos. エントレ・アンボス adv. 2 人の間に 「副詞句」

「例えば、あんたが中にいたら、ドアをノックすればいいさ。その時には、そうさ、あんた
が出られるようにドアを開けるだろうね」

Por ejemplo, si tú estuvieras dentro, podrías golpear, y entonces yo, ¿comprendes?, la
abriría para que salieras.

《「副詞句」, 「動詞句」, y 「副詞」「主語」「呼びかけ」「動詞」「目的語」「副詞節」》

Por ejemplo, ポル・エンプロ adv. 例えば 「副詞句」

si シ conj. (仮定) もし～ならば 「副詞節」

tú トゥ pron 君が 「主語」

estuvieras エストゥビエラス 接・2 単過・仮定・存在(estar)v.i. ～にいたとする 「動詞」

dentro, デントロ adv. 中に 「副詞」

podrías golpear, ポドリャス・ギルペアル 2 単過未・可能・推量(poder+不定詞)

v.i ドアをノックすればいいだろう 「動詞句」

y イ conj. そして

entonces エントネス adv. その時 「副詞」

yo, ヨ pron 私は 「主語」

6 Cerdo y pimienta

¿comprendes?, コンプレンデス 2 単現・疑問文(comprender)v.t 分かるだろう? 「呼びかけ」
 la ラ pron ドアを 「目的語」
 abriría アブリア 1 単過未・推量(abrir)v.t 開けるだろう 「動詞」
 para que +接続法 パラ・ケ conj. ～するように 「副詞節」
 salieras. サエラス 接・2 単過(salir)v.i 出る 「動詞」

こう話しながら、召使はずっと空を見上げていました。それで、アリスはまったく失礼な態度だと思いました。

Mientras hablaba, seguía mirando al cielo, y esto le pareció a Alicia decididamente una grosería.

「副詞節」, 「動詞句」「間接目的語」, y 「主語」「間接目的語」「動詞」「間接目的語」「補語」
 Mientras ミエンラス conj. ～している間に、～しながら 「副詞節」
 hablaba, アブラバ 3 単線(hablar)v.i 言っている 「動詞」
 seguía mirando セギア・ミラント 3 単線・継続(seguir+現在分詞 mirar)
 v.i 見続けていた 「動詞句」
 al cielo, アル・シエロ adv. 空を 「間接目的語」
 y イ conj. そして
 esto エスト pron (空を見ていること) これは 「主語」
 le レ pron 彼女には 「間接目的語」
 pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i ～のように思われた 「動詞」
 a Alicia ア・アリシア adv. アリスには 「間接目的語」
 decididamente デシディダメンテ adv. 断固として 「副詞」
 una grosería. ウナ・グロセリア n.f 無作法、失礼な態度 「補語」

「しかし、もしかするとそれは仕方がないのかもしれない」と、アリスは言った。「彼の眼は頭にあんなてっぺんについているんだから。それでも、何かを聞かれたら、返事くらいはできるでしょうに...」

«Pero a lo mejor es que no puede evitarlo -dijo Alicia-, ¡sus ojos están tan encima de su cabeza! Aun así, podría al menos responder cuando se le pregunta algo...»

《Pero 「副詞句」「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」,

《「主語」「動詞」「副詞句」 | 「副詞句」「動詞句」「副詞節」》

«Pero ペロ conj. しかし
 a lo mejor +直説法現在 ア・ロ・メル adv. もしかすると 「副詞句」
 es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」
 que ケ conj. ～ということ 「補語」
 no puede evitarlo ノ・プエデ・エビタル・ロ 3 単現・可能・否定(poder+不定詞)

6 Cerdo y pimienta

v.t それを避けられない、それは仕方がない	「動詞句」
-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
Alicia-, アリシア n.f アリスは	「主語」
¡sus ojos スス・オホス pl(ojo).n.m 彼の眼は	「主語」
están エスタン 3 複現・存在(estar)v.i 〜にある	「動詞」
tan encima de su cabeza! タン・エンシマ・デ・ス・カベサ adv. 頭のとっぺんに	「副詞句」
Aun así, アウン・アシ adv. そうだとしても、それでも	「副詞句」
podría al menos responder ポドリア・アル・メノス・レスポンドェール 3 単過未・可能・推量(poder+不定詞)	
v.t 少なくとも返事くらいはできるように	「動詞句」
cuando クワント conj. 〜したら	「副詞節」
se le pregunta セ・レ・プレグンタ 3 単現・再帰受動(preguntarse)	
v.pr 質問される	「動詞句」
algo...» アルゴ pron 何かを	「目的語」

「それじゃあ、どうやって入ればいいの？」と、大きな声で繰り返して言った。

-¿Cómo he de entrar, pues? -repitió en voz alta.

	《「副詞」「動詞句」「副詞」》, 「動詞」「副詞句」
-¿Cómo コモ adv. どうやって、どのように	「副詞」
he de entrar, エ・デ・エントラール 1 単現・必要(haber de+不定詞)	
v.i 入らなければならない	「動詞句」
haber de+不定詞 「〜しなければならない、〜することになっている」	
pues? プェス adv. それでは	「副詞」
-repitió レピティオ 3 単点(repetir)v.t 繰り返した	「動詞」
en voz alta. エン・ボス・アルタ adv. 大きな声で	「副詞句」

「ここに座っているだろうな」と、召使が言った。「明日まで...」

-Yo estaré sentado aquí -observó el lacayo-, hasta mañana...

	《「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞句」》
-Yo ジョ pron 私は	「主語」
estaré エスタレ 1 単未・状態(estar)v.i 〜だろう	「動詞」
sentado センタド adj. 座った	「補語」
aquí アキ adv. ここに	「副詞」
-observó オブセルボ 3 単点(observar)v.t 指摘した、言った	「動詞」
el lacayo-, エル・ラカジョ n.m 召使が	「主語」
hasta mañana... アスタ・マニャ adv. 明日まで	「副詞句」

6 Cerdo y pimienta

この時、家のドアが開いて、ドアの内側から大きな皿が召使の頭をめがけて飛び出してきま
した；かろうじて鼻をかすめて、彼の後ろの木にぶつかって粉々に砕けました。

En este momento, la puerta de la casa se abrió, y desde el interior salió un gran plato
volando, derecho en dirección a la cabeza del lacayo; apenas le rozó la nariz, y fue a
estrellarse contra un árbol detrás de él.

「副詞句」「主語」「動詞句」,y「副詞句」「動詞句」「主語」「副詞句」;

「副詞」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」,y「動詞句」「副詞句」

En este momento, エン・エ・モメント adv. この時、この瞬間 「副詞句」

la puerta ラ・プエルタ n.f ドアが 「主語」

de la casa デ・ラ・カサ adj. 家の 「形容詞句」

se abrió, セ・アブリオ 3 単点(abrirse)v.pr 開いた 「動詞句」

y イ conj. そして

desde el interior デ・ステ・エル・インテリオル adv. ドアの内側から 「副詞句」

salió ...volando, サリオ...ボラント 3 単点・同時(salir+現在分詞)v.i 飛び出てきた 「動詞句」

un gran plato ウン・グラン・プラト n.m 大きな皿が 「主語」

derecho デ・レチョ adv. (方向) 真っすぐに 「副詞句」

en dirección a エン・ディレクシオン・ア prep 〜の方向へ 「副詞句」

la cabeza del lacayo; ラ・カベサ・デル・ラカヨ adj. 召使の頭 「目的語」

apenas アペナス adv. どうにか、やっと 「副詞」

le レ pron 彼の 「間接目的語」

rozó ロゾ 3 単点(rozar)v.t かすめた 「動詞」

la nariz, ラ・ナリス n.f 鼻を 「直接目的語」

y イ conj. そして

fue a estrellarse フェ・ア・エストレジャルセ 3 単点・結果(ir a+不定詞)

v.pr 結局粉々に砕けた 「動詞句」

ir a+不定詞 近接未来:「〜するところだ」 結果「結局〜した」 目的「〜するために」

contra un árbol コントラ・ウン・アルボル adv. 木にぶつかって 「副詞句」

detrás de él. デ・トラス・デ・エル adv. 彼の後ろの 「副詞句」

「もしかすると、明後日まで居るかな？」と、まるで何も起こらなかったかのように、召使
は同じ調子で続けました。

-.... o quizás hasta pasado mañana -continuó el lacayo en el mismo tono de voz, como si
no hubiera pasado nada en absoluto.

《「副詞句」》,「動詞」「主語」「副詞句」,「副詞節」

-.... o quizás オ・キザス adv. もしかすると 「副詞句」

hasta pasado mañana アスタ・パサト・マニヤ adv. 明後日まで 「副詞句」

6 Cerdo y pimienta

-continuó	コンチヌオ 3 単点(continuar)v.i	続けた	「動詞」
el lacayo	エル・ラカヨ n.m	召使は	「主語」
en el mismo tono de voz,	エン・エル・ミスモ・トノ・デ・ボス adv.	(手段) 同じ口調で	「副詞句」
como si+接続法	コモ・シ conj.	(事実)に反して) まるで～のように	「副詞節」
no hubiera pasado	ノ・ウベ・エラ・パ・サド 接・3 単過・完了形(pasar)		
v.i	(3 人称単数のみ)	起こらなかった	「動詞句」
nada	ナダ pron	何も～ない	「主語」
en absoluto.	エン・アブソルット adv.	(否定文で) まったく～でない	「副詞句」

「入るには何をしなくちゃいけないの?」と、アリスはもっと大きな声でまた尋ねました。

-Y ¿qué tengo que hacer yo para entrar?	-volvió a preguntar Alicia con más fuerza.		
《Y 「目的語」「動詞句」「主語」「副詞句」》,	「動詞句」「主語」「副詞句」		
-Y	イ conj.	それで	
¿qué	ケ pron	何を	「目的語」
tengo que hacer	テンゴ・ケ・アセル 1 単現・必要・疑問文(tener que+不定詞)		
v.t		しなくちゃならないの?	「動詞句」
yo	ジョ pron	私は	「主語」
para entrar?	パラ・エントラル adv.	(目的) 入るためには	「副詞句」
-volvió a preguntar	ボルビョ・ア・プレグンタル 3 単点・再度(volver a+不定詞)		
v.i		また尋ねた	「動詞句」
Alicia	アリシア n.f	アリスは	「主語」
con más fuerza.	コン・マス・フエルサ adv.	(様態) もっと大きな声で	「副詞句」

「でも、あんたは入らなければならないだって?」と、召使はアリスに返事をした。「入ってもいいかどうかを、まず最初に考えるべきでしょう?」

-Pero ¿es que tienes que entrar?	-le respondió el lacayo. Eso es lo primero que debieras de preguntarte, ¿no?		
《Pero ¿es que 「動詞句」》,	「間接目的語」「動詞句」「主語」,	《「主語」「動詞」「補語」》	
-Pero	ペロ conj.	しかし	
¿es que +直説法	エス・ケ 3 単現・疑問文(ser)v.i	～だというの?	「動詞句」
¿es que +直説法?		は、que 以降の平叙文を疑問文に変える	
tienes que entrar?	ティエネス・ケ・エントラル 2 単現・必要(tener que+不定詞)		
v.i		入らなければならない	「動詞句」
-le	レ pron.f	アリスに	「間接目的語」
respondió	レスポ・ンデ・イオ 3 単点(responder)v.i	返事をした	「動詞」
el lacayo.	エル・ラカヨ n.m	召使は	「主語」

6 Cerdo y pimienta

Eso エソ pron	それは	「主語」
es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
lo primero ロ・プリメロ pron	最初の事	「補語」
que ケ pron (目的語)	～する	「形容詞節」
debieras de preguntarte, デベリアス・デ・プレグンタル・テ 2 単過未・義務(deber de+不定詞)		
v.pr	自分で考えなければならない	「動詞句」
¿no? ノ adv.	そうでしょう？	「確認」

本当にその通りでした；ただ、アリスは他人にそんなことを言われたくありませんでした。

Así era, en verdad; sólo que a Alicia no le gustaba que se lo dijeran.		
	「補語」「動詞」「副詞句」；「副詞」que「間接目的語」「動詞」「主語」	
Así アシ adv.	そのように	「補語」
era, エラ 3 単線(ser)v.i	～だった	「動詞」
en verdad; エン・ベルダ ^ダ adv.	本当に	「副詞句」
sólo ソロ adv.	ただ...	「副詞」
que ケ conj.	(事実の提示) ～ということ	
a Alicia ...le ア・アリシア...レ pron	アリスにとって	「間接目的語」
no ...gustaba ノ...グスタバ ^バ 3 単線・否定(gustar)v.t	気に入らなかった、嫌だった	「動詞句」
que ケ conj.	～ということが	「主語」
se セ pron (Alicia の代用)	彼女に	「間接目的語」
lo ロ pron	そんなことを	「直接目的語」
dijeran. デ・イハロン 3 複点・時制の一致(decir)v.t	言う	「動詞」
	受動態に翻訳する	

「なんて腹立たしいの！」と、アリスは呟いた。「この生き物たちが口答えするとは、なんてことなの？ 間違いになりそうだわ！」

«¡Qué horror! -masculló Alicia-. ¡Qué manera de discutir que tienen todas estas criaturas! ¡Son capaces de volver loco a cualquiera!»		
	《「感嘆」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「補語」》	
«¡Qué horror! ケ・オロ ^{ール} adv.	なんてひどい、腹がたつ	「感嘆」
-masculló マスクジョ ^ョ 3 単点(mascullar)v.t	呟いた	「動詞」
Alicia-. アリシア n.f	アリスは	「主語」
¡Qué manera ケ・マネ ^ラ adv.	なんというやり方	「感嘆」
de discutir デ・ディスクル ^{ール} adj.	口答えするための	「形容詞句」
qué manera de+不定詞	「～するとは何だ、何という～のやり方だ」	

6 Cerdo y pimienta

que ケ	pron (同格) ~することは	「形容詞節」
tienen ティエネ	3 複現(tener)v.t (動作を) する	「動詞」
todas estas criaturas! トダス・エスタス・クリアトゥラス	pl.n.f この生き物達が	「主語」
¡Son ソン	3 複現(ser)v.i ~である	「動詞」
capaces カパセス	adj.pl (de+不定詞) ~するかも知れない	「補語」
de volver デ・ホルベル	不定詞 adv. ~になる	「副詞句」
loco ロコ	adj. 気が狂った	「補語」
a cualquiera! ア・クワレエラ	adv. 誰だって	「間接目的語」

召使は、これは先程言った事を言葉を変えて言うには良いチャンスだと思ったようです。

Al lacayo le debió de parecer que ésta era una buena oportunidad para repetir con otras palabras lo que había dicho antes:	「間接目的語」「動詞句」「補語」
Al lacayo le アル・ラカヨ・レ pron 召使にとって	「間接目的語」
debió de parecer デビ・オ・デ・パレセル 3 単点・推定(deber de+不定詞)	
v.i ~のように思われた	「動詞句」
que ケ conj. ~ということ	「補語」
ésta エスタ pron.f これは	「主語」
era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ~である	「動詞」
una buena oportunidad ウナ・ブエナ・オポルトウニダ n.f よいチャンス	「補語」
para repetir パラ・レピチール 不定詞・目的 adv. 繰り返すために	「副詞句」
con otras palabras コン・オTRAS・パラブラス adv. (手段) 他の言葉で	「副詞句」
lo que ロ・ケ pron ~ということを	「目的語」
había dicho アビ・ア・ディチョ 3 単線・完了形(decir)	
v.t 言った	「動詞句」
antes: アンテス adv. 前に	「副詞」

「おれは、ここに座っているよ。いつまでも、何日も何日も」

- <u>Estaré aquí sentado, una y otra vez, durante días y días.</u>	《「動詞」「補語」》
-Estaré エスタレ 1 単未・意志・存在(ser)v.i ~に居るつもりだ	「動詞」
aquí アキ adv. ここに	「副詞」
sentado, センタド adj. (状態) 座った	「補語」
una y otra vez, ウナ・イ・オトラ・ベス adv. 長々と、しつこく	「副詞句」
durante días y días. トゥランテ・ディ・アス・イ・ディ・アス adv. (期間) 何日も何日も	「副詞句」

6 Cerdo y pimienta

「だけど、それじゃあ、私は？」と、アリスは言った。「何をしようかしら？」

-Pero ¿y yo? -insistió Alicia-. ¿Qué voy a hacer?

《Pero y 「主語」》, 「動詞」「主語」, 《「目的語」「動詞句」》

-Pero ^{ペロ} conj. だけど

¿y ^イ conj. それで

yo? ^ヨ pron 私は?

「主語」

-insistió ^{インシチオ} 3 単点(insistir)v.i 頼んだ、言った

「動詞」

Alicia-. ^{アリシア} n.f アリスは

「主語」

¿Qué ^ケ pron 何を

「目的語」

voy a hacer? ^{ボイ・ア・アセル} 1 単現・近接未来(ir a+不定詞)v.t しようかな?

「動詞句」

「やりたいように、したら？」と、召使は答えて、口笛を吹き始めました。

-Lo que se te antoje -contestó el lacayo, y empezó a silbar.

《「目的語」》, 「動詞」「主語」, y 「動詞句」

-Lo ^ロ pron それを

「目的語」

que ^ケ pron (目的語) ~する

「形容詞節」

se ...antaje ^{セ...アントヘ} 1 単点・時制の一致(antojarse)

v.pr (a+人 にとって) したい事をすればいいと思う

「動詞句」

te ^テ pron 君にとって

「間接目的語」

-contestó ^{コンテスト} 3 単点(contestar)v.t 答えた

「動詞」

el lacayo, ^{エル・ラカヨ} n.m 召使は

「主語」

y ^イ conj. そして

empezó a silbar. ^{エンペ・ソ・ア・シブラル} 3 単点・開始(empezar a+不定詞)

v.i 口笛を吹き始めた

「動詞句」

「馬鹿らしい！こんなのと話してもしょうがないわ！」と、アリスは絶望して言いました；

「これは、完全な馬鹿だわ！」そして、それ以上考えず、扉を開けて中へ入りました。

«¡Bah! No vale la pena hablar con éste -dijo Alicia desesperada!-; es completamente idiota!» Y, sin pensarlo más, abrió la puerta y entró en la casa.

《「間投」「動詞句」「目的語」「主語」》, 「動詞」「主語」「副詞」; 《「動詞」「補語」》,

Y 「副詞句」, 「動詞」「目的語」 y 「動詞」「副詞句」

«¡Bah! ^{バー} int. 馬鹿らしい！

「間投」

No vale ^{ノ・バレ} 3 単現・否定(valer)v.t 価値がない

「動詞句」

la pena ^{ラ・ペナ} n.f 苦勞

「目的語」

hablar con éste ^{アブラール・コン・エステ} 不定詞 n. これと話すことは

「主語」

6 Cerdo y pimienta

-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
Alicia アリシア n.f アリスは	「主語」
desesperada; デセスペラダ adj(desesperado).f 絶望して、やけになって	「副詞」
jes エス 3 単現(ser)v.i 〜である	「動詞」
completamente idiota! コンプレタメンテ・イディオタ adj. 完全なばか	「補語」
Y, イ conj. そして	
sin pensarlo más, シン・ペンサル・ロ・マス adv. それ以上考えずに	「副詞句」
abrió アブリオ 3 単点(abrir)v.t 開けた	「動詞」
la puerta ラ・プエルタ n.f 扉を	「目的語」
y イ conj. そして	
entró エントロ 3 単点(entrar)v.i 入った	「動詞」
en la casa. エン・ラ・カーサ adv. 家の中に	「副詞句」

扉はすぐに大きな台所に通じていましたが、そこは煙があふれていました。

La puerta conducía directamente a una gran cocina, totalmente llena de humo.

	「主語」「動詞」「副詞」「間接目的語」
La puerta ラ・プエルタ n.f 扉は	「主語」
conducía コントクシア 3 単線(conducir)v.i (a に) 通じていた	「動詞」
directamente ディレクタメンテ adv. 直接的に、すぐに	「副詞」
a una gran cocina, ア・ウナ・グラン・コシナ adv. 大きな台所に	「間接目的語」
totalmente トタルメンテ adv. まったく	「副詞」
llena シェナ adj. 一杯の	「形容詞句」
de humo. デ・ウモ adv. (動作主) 煙で	「副詞句」

中央に、公爵夫人が三脚椅子に座って、両腕に赤ん坊を抱えていました。

En el centro estaba la Duquesa, sentada sobre un taburete de tres patas y con un niño en brazos.

	「副詞句」「動詞」「主語」「補語」 y 「副詞句」
En el centro エン・エル・セントロ adv. (位置) 中央に	「副詞句」
estaba エスタバ 3 単線・存在(ser)v.i 〜にいた	「動詞」
la Duquesa, ラ・ドゥケサ n.f 公爵夫人が	「主語」
sentada センタダ 過去分詞(sentado)adj.f (様態) 座った	「補語」
sobre ソブレ prep (位置・上) 〜の上に	「副詞句」
un taburete ウン・タブレテ n.m (背のない) 腰かけ、いす	「目的語」
de tres patas デ・トレス・パタス adj. (種類) 3 本脚の	「形容詞句」
pata パタ n.f (動物や机の) 脚	
y イ conj. そして	

6 Cerdo y pimienta

con un niño コン・ウン・ニーニョ adv. 赤ん坊と一緒に 「副詞句」
 en brazos. エン・ブラソス adv. 両腕に 「副詞句」

コックがかまどに屈みこんで、スープで一杯の大きな鍋を、お玉でかき混ぜていました。

La cocinera se inclinaba sobre el fogón, revolviendo con un cucharón un gran caldero
lleno de sopa. 「主語」「動詞句」「副詞句」

La cocinera ラ・コシネラ n.f 料理人が 「主語」
 se inclinaba セ・インクリナバ 3 単線(inclinarse)v.pr 身を屈めていた 「動詞句」
 sobre el fogón, ソブレ・エル・フォゴン adv. かまどの上に 「副詞句」
 revolviendo レボルビエント 現在分詞・同時(revolver)v.t かき混ぜながら 「副詞句」
 con un cucharón コン・ウン・チャロン adv. (道具) おおきなお玉で 「副詞句」
 un gran caldero ウン・グラン・カルデロ n.m 大きな鍋を 「目的語」
 lleno de sopa. ジェノ・デ・ソパ adj. スープで一杯の 「形容詞句」

「確かに、あのスープは胡椒が多すぎるわね！」と、アリスは、くしゃみをして身震いしながら心の中で思いました。

«i Esa sopa tiene, desde luego, demasiada pimienta!», se dijo Alicia mientras se sacudía
estornudando. 《「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」》, 「動詞句」「主語」「副詞節」

«i Esa sopa エサ・ソパ n.f あのスープは 「主語」
 tiene, テイエネ 3 単現(tener)v.t ~を含んでいる、~がある 「動詞」
 desde luego, デスデ・ルエゴ adv. もちろん、確かに 「副詞句」
 demasiada pimienta!», デマシアダ・ピメンタ n.f 多すぎる胡椒を 「目的語」
 se dijo セ・デヨ 3 単点(decirse)v.pr 心の中で思った 「動詞句」
 Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
 mientras ミエンtras conj. (同時) ~する一方で、~しながら 「副詞節」
 se sacudía セ・サクディア 3 単線(sacudirse)v.pr 身震いした 「動詞句」
 estornudando. エストルヌダント 現在分詞・同時(estornudar)
 v.i くしゃみをしながら 「副詞句」

6 Cerdo y pimienta



そこは、空気中の胡椒が多すぎるのは確かでした。

Donde sí había demasiada pimienta era en el aire.

「副詞句」「動詞」「目的語」

Donde ドンデ adv. そこは、そこに

「副詞」

sí シ adv. 確かに (強調)

「副詞」

había アビア 3 単線(haber)v.t (存在) 〜があった

「動詞」

demasiada pimienta デマシアダ・ピメンタ n.f 多すぎる胡椒が

「目的語」

era エラ 3 単線(ser)v.i (存在) 〜にある

「動詞」

en el aire. エン・エル・アイレ adv. 空気中に

「副詞句」

公爵夫人でさえも、時々くしゃみをしていた。赤ん坊はくしゃみをするか、そうでなければ、呼吸する間もなく泣きわめいていました。

Hasta la Duquesa estornudaba de vez en cuando; y en cuanto al niño, cuando no estornudaba, aullaba sin un momento de respiro.

「主語」「動詞」「副詞句」; y 「副詞句」, 「副詞句」「動詞」「副詞句」

Hasta アスタ prep (+主語・目的語・動詞: 強調) 〜さえも

「主語」

la Duquesa ラ・ドゥケサ n.f 公爵夫人

「目的語」

estornudaba エストルヌダバ 3 単線(estornudar)v.i くしゃみをしていた

「動詞」

de vez en cuando; デ・ベス・エン・クワント adv. 時々

「副詞句」

y イ conj. そして

en cuanto al niño, エン・クワント・アル・ニョ adv. 赤ん坊に関しては

「副詞句」

en cuanto a... 「〜に関して」

cuando no クワント・ノ conj. 〜でなければ

「副詞句」

estornudaba, エストルヌダバ 3 単線・時制の一致・否定文で(estornudar)

v.i くしゃみをしていない

「動詞」

6 Cerdo y pimienta

aullaba アウジャバ 3 単線(aullar)v.i わめいていた 「動詞」
 sin un momento シン・ウン・モメント adv. 少しの間もなく 「副詞句」
 de respiro. デ・レスピロ adj. 呼吸の 「形容詞句」

台所でくしゃみをしていないのは、コックと暖炉のそばで寝そべっている大きなネコだけでした。ネコは大口を開けてニヤニヤしていました。

Los únicos que no estornudaban en esa cocina eran la cocinera y un gran gato que estaba echado cerca del hogar, sonriendo de oreja a oreja 注 13. 「主語」「動詞」「補語」

Los únicos ロス・ウニコス pl.pron 例外は、特異な者 「主語」
 que ケ pron.pl (主語) ~する 「形容詞節」

no estornudaban ノ・エストルスタバン 3 複過・否定・時制の一致(estornudar)
 v.i くしゃみをしていない 「動詞句」

en esa cocina エン・エサ・コシナ adv. 台所で 「副詞句」

eran エラン 3 複過(ser)v.i ~だった 「動詞」

la cocinera ラ・コシネラ n.f コック 「補語」

y イ conj. そして

un gran gato ウン・グラン・ガト n.m 大きなネコ 「補語」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

estaba echado エスタバ・エチャド 3 単線・受動(echarse)
 v.pr 横になっていた 「動詞句」

cerca del hogar, セルカ・デル・カール adv. 暖炉のそばに 「副詞句」

sonriendo ソリエント 現在分詞・同時

adv. 笑いながら、ニヤニヤして 「副詞句」

de oreja a oreja 注 13. デ・オレハ・ア・オレハ

adv. (程度) 大口を開けて、耳から耳まで 「副詞句」

「あの、教えていただけませんか？」と、アリスは少しびくびくして質問をはじめました。自分が先に話すことが行儀の良いことかどうか確信が無かったからです。「どうして、あなたのネコはあんな風に笑うんですか？」

-Por favor, me podría usted decir -empezó Alicia algo tímidamente, pues no estaba segura de que fuera de buena educación que hablase ella primero-, ¿por qué sonríe su gato de esa manera?

《「呼びかけ」「間接目的語」「動詞句」「主語」》, 「動詞」「主語」「目的語」「副詞句」

《「副詞句」「動詞」「主語」「副詞句」》

-Por favor, ポール・ファボール adv. (依頼) どうか、あの 「呼びかけ」

me メ pron 私に 「間接目的語」

6 Cerdo y pimienta

podría ...decir ポトリア...デシル 3 単過未・丁寧な依頼(poder+不定詞)

v.t 教えていただけませんか

「動詞句」

usted ウステ pron あなたは

「主語」

-empezó エンペソ 3 単線(empezar)v.t (動作を) 始めた

「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは

「主語」

algo アルゴ pron 何か

「目的語」

tímidamente, チミダメンテ adv. おずおずと、恐る恐る

「副詞句」

pues プエス conj. (理由) 〜なので

「副詞節」

no estaba ノエスタバ 3 単線・否定・状態(essere)v.i 〜でなかった

「動詞」

segura セグラ adj(segur).f (de を) 確信した

「補語」

de que デ・ケ adv. 〜ということ

「間接目的語」

fuera フェア 接・3 単過・時制の一致・疑問(ser)

v.i 〜である

「動詞」

de buena educación デ・ブエナ・エドゥカシオン

adj. 行儀のよい

「補語」

educación エドゥカシオン n.f 教育、しつけ、行儀作法

que ケ conj. 〜ということは

「形容詞節」

hablase ハブラセ 接・3 単過・時制の一致

v.i 話す

「動詞」

ella エジャ pron 彼女が

「主語」

primero-, プリメロ adv. 先に

「副詞」

¿por qué ホル・ケ adv. どうして

「副詞句」

sonríe ソンリエ 3 単点(sonreir)v.i 笑う

「動詞」

su gato ス・ガト n.m あなたのネコは

「主語」

de esa manera? デ・エサ・マネラ

adv. あんな風に

「副詞句」

「チェシャ猫だからだよ」と、公爵夫人が答えました。「だから笑っているのさ、豚！」

-Es un gato de Cheshire -repuso la Duquesa-, por eso sonríe. ¡Cochino!

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞句」「動詞」 | 「呼びかけ」》

-Es エス 3 単現(ser)v.i 〜である

「動詞」

un gato ウン・ガト n.m ネコ

「補語」

de Cheshire デ・チェシル adj. チェシャーの

「形容詞句」

-repuso レプソ 3 単点(reponer)v.t 答えた、返事した、戻した

「動詞」

la Duquesa-, ラ・ドゥケサ n.f 公爵夫人が

「主語」

por eso ホル・エソ adv. だから、それ故に

「副詞句」

6 Cerdo y pimienta

sonríe. ソンリエ 3 単現(sonreír)v.i 笑っている 「動詞」

¡Cochino! コチノ n.m 豚 「呼びかけ」

チェシャ猫 (チェシール猫)

イギリス北部チェシャー地方の猫

公爵夫人は最後の一言をアリスが予想しなかったほど激しい口調で言ったので、アリスはかなり驚いてしまいました。

La Duquesa dijo esto último con una violencia tan inesperada que Alicia se sobresaltó considerablemente; 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 que 「主語」「動詞句」「副詞」

La Duquesa ラ・ドゥカサ n.f 公爵夫人は 「主語」

dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

esto último エスト・ウルティモ pron この最後の一言を 「目的語」

con una violencia コン・ウナ・ビオレンシア adv. (様態) 激しく 「副詞句」

tan inesperada タン・イネスぺラダ

adj(inesperado).f まったく思いがけない 「形容詞句」

que ケ conj. (tan...que) (結果) それで～する

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

se sobresaltó セ・ソブレスアルト 3 単点(sobresaltarse)v.pr びっくりした 「動詞句」

considerablemente; コンシデラブレメンテ adv. かなり、相当 「副詞」

しかし、すぐにこの言葉が自分ではなくて、赤ん坊に対して言われたことが分かったので、アリスはまた勇気を取り戻して、話を続けました：

pero pronto cayó en la cuenta de que el improperio iba dirigido más contra el niño que contra ella, y recobrando de esta forma el valor, continuó hablando:

pero 「副詞」「動詞」「間接目的語」,y 「副詞句」動詞句

pero ペロ conj. しかし

pronto プロント adv. すぐに、やがて 「副詞」

cayó カヨ 3 単点(caer)v.i(en に) 落ちた 「動詞」

caer en la cuenta de... = darse cuenta de... 「～に気付く、わかる」

en la cuenta de que エン・ラ・クエンタ・デ・ケ adv. ～ということに 「間接目的語」

el improperio エル・インプロペリオ n.m この侮辱の言葉は 「主語」

iba dirigido イバ・ディリヒド 3 単線・受動(ir+過去分詞 dirigir)

v.t ～に向けられていた 「動詞句」

más contra el niño マス・コントラ・エル・ニーニョ adv. 赤ん坊に対して 「間接目的語」

que contra ella, ケ・コントラ・エジャ adv. (比較) 彼女に対してよりも 「副詞句」

y イ conj. そして

6 Cerdo y pimienta

recobrando レコブラント^レ 現在分詞(recobrar)・手段 v.t 回復して 「副詞句」
 de esta forma デ・エスタ・フォルマ adv. このように 「副詞句」
 el valor, エル・バ・ロール n.m 勇気を 「目的語」
 continuó hablando: コンチヌオ・アブラント^レ 3 単点・継続(continuar+現在分詞)
 v.i 話を続けた 「動詞句」

「チェシャ猫がいつも笑っているなんて、知らなかったんです；実を言えば、猫が笑うことが出来ることさえ知らなかったんです」

-No sabía que los gatos de Cheshire estuvieran siempre sonriendo; en realidad, no sabía ni siquiera que los gatos pudieran sonreír.

《「動詞句」「目的語」；「副詞句」, 「動詞句」「目的語」》

-No sabía ノ・サビア 1 単線・否定(saber)v.t 知らなかった 「動詞句」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 los gatos de Cheshire ロス・ガトス・デ・チェシル pl(gato)n.m チェシャ猫が 「主語」
 estuvieran siempre sonriendo; エストゥビエラン・シエンプレ・ソソリエント^レ
 接・3 複過・進行形・推量・時制の一致(sonreír)v.i いつも笑っている 「動詞句」
 en realidad, エン・レアリダ^ダ adv. 実際は 「副詞句」
 no sabía ノ・サビア 1 単線・否定(saber)v.t 知らなかった 「動詞句」
 ni siquiera ニ・シキエラ adv. ～さえない 「副詞句」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 los gatos ロス・ガトス pl(gato).n.m 猫が 「主語」
 pudieran sonreír. プデ・イエラン・ソソリエール 接・3 複過・推量(poder+不定詞)
 v.i 笑えるとは 「動詞句」

「猫はみな笑える」と、公爵夫人が断言した。「そして、ほとんどが笑っている」

-Todos pueden hacerlo -aseguró la Duquesa-, y casi todos lo hacen.

《「主語」「動詞句」》, 「動詞」「主語」, 《y 「主語」「目的語」「動詞」》

-Todos トス pron.pl すべての猫は 「主語」
 pueden hacerlo プデエン・アセルロ 3 複現・可能(poder+不定詞 hacer+lo)
 v.t 笑える 「動詞句」
 lo は「笑うこと」
 -aseguró アセグロ 3 単点(asegurar)v.t 断言した 「動詞」
 la Duquesa-, ラ・ドゥヶサ n.f 公爵夫人は 「主語」
 y イ conj. そして
 casi todos カシ・トス pron.pl ほとんどみんなが 「主語」
 lo ロ pron それを 「目的語」

6 Cerdo y pimienta

hacen. アエン 3 複現(hacer)v.t している 「動詞」

「笑っている猫のことは知らなかったんです」と、アリスはとても礼儀正しく、そして、会話を始められたことを喜んで答えた。

-No sabía de ninguno que lo hiciera -dijo Alicia muy cortésmente y sintiéndose muy complacida de haber iniciado una conversación.

《「動詞句」「間接目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

-No sabía ノ・サビア 1 単線・否定(saber)v.i(de のことを) 知らなかった 「動詞句」

de ninguno デ・ニグノ adv. 猫のことを 「間接目的語」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

lo ロ pron わらうこと 「目的語」

hiciera イエラ 接・3 単過・時制の一致(hacer)

v.t ~している 「動詞」

-dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

muy cortésmente マイ・コルテスマンテ adv. とても礼儀正しく 「副詞句」

y イ conj. そして

sintiéndose シンチエント・セ 現在分詞(sentirse)v.pt 自分が~だと感じながら 「副詞句」

muy complacida マイ・コンプラシダ 過去分詞(complacer)

adj(complacido).f 満足した、うれしい 「補語」

de +不定詞・完了形 デ adv. (理由) ~したことに 「副詞句」

haber iniciado ハベル・イニシアト 不定詞・完了形(iniciar)

v.t ~を始めた 「動詞句」

una conversación. ウナ・コンバルサシオン n.f 会話を 「目的語」

「あんたは何も分かってないね！」と、公爵夫人は言い返した。「思った通りだ！」

-¡No sabes nada de nada! -replicó la Duquesa-. ¡Eso es lo que pasa!

《「動詞句」「副詞句」》, 「動詞」「主語」, 《「主語」「動詞」「補語」》

-¡No sabes ノ・サベス 2 単現・否定(saber)v.t 知らない 「動詞句」

nada de nada! ナダ・デ・ナダ adv. 全然~ない 「副詞句」

-replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.t 言い返した 「動詞」

la Duquesa-. ラ・トウケサ n.f 公爵夫人は 「主語」

¡Eso エソ pron それが 「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

lo ロ pron それ 「補語」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

6 Cerdo y pimienta

pasa! パサ 3 単現(pasar)v.i 今起こっている 「動詞」

lo que pasa es que+直接法 「実を言うと～、つまり～」

アリスはこの意見の口調が全く気に入らなかったのもので、話題を変えた方が良かったと思った。

A Alicia no le gustó nada el tono de esta observación y decidió que valdría la pena cambiar de tema de conversación.

「間接目的語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 y 「動詞」「目的語」

A Alicia ア・アリシア adv. アリシアにとって 「間接目的語」

no ...gustó nada ノ...グスト・ナダ 3 単点・否定(gustar)v.i 全く気に入らなかった 「動詞句」

le レ pron 彼女にとって 「間接目的語」

el tono エル・トノ n.m 口調が 「直接目的語」

de esta observación デ・エスタ・オブセルバシオン adj. この意見の 「形容詞句」

y イ conj. そして

decidió デシディオ 3 単点(decidir)v.t(que を) しようと思った 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

valdría バルトリア 3 単過未・推量(valer)v.i ～が有効だろう 「動詞」

la pena ラ・ペナ n.f 労力は 「主語」

cambiar カンビアル 不定詞・同格 v.i(de を) 変えるという 「形容詞句」

de tema デ・テマ adv. テーマを、主題を 「間接目的語」

de conversación. デ・コンベルサシオン adj. 会話の 「形容詞句」

アリスがどうやってそうするかを考えていると、コックはスープの鍋を火から降ろして、すぐに手の届く範囲に落ちているもの全てを公爵夫人と赤ん坊に向かって投げつけ始めた。

Mientras estaba pensando en cómo hacerlo, la cocinera apartó la caldera de sopa del fuego, e inmediatamente comenzó a lanzar todo cuanto caía al alcance de sus manos contra la Duquesa y el niño:

「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」, e 「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Mientras ミエントラス conj. ～している一方で 「副詞節」

estaba pensando エスタバ・ペンサント 3 単線・進行形(pensar)

v.i (en について) 考えていた 「動詞句」

en cómo hacerlo, エン・コモ・アセルロ adv. どうやってそうするかについて 「間接目的語」

la cocinera ラ・コシネラ n.f 女のコックは 「主語」

apartó アパルト 3 単点(apartar)v.t 離れた、(火から) 降ろした 「動詞」

la caldera de sopa ラ・カルデラ・デ・ソパ n.f スープの鍋を 「目的語」

caldera カルデラ n.f 大鍋、大釜

del fuego, デル・フエゴ adv. 火から 「副詞句」

6 Cerdo y pimienta

e	エ conj.	そして	
inmediatamente	インメディアタメンテ	adv.	すぐに 「副詞」
comenzó a lanzar	コメンツ・ア・ランサル	3 単点・開始(comenzar a+不定詞 lanzar)	
	v.t	投げ始めた	「動詞句」
todo cuanto	トド・クワント	pron	～するもの全てを 「目的語」
caía	カア	3 単線・時制の一致(caer)v.i	落ちている 「動詞」
al alcance de sus manos	アル・アルカンセ・デ・ス・マノス		
	adv.	手の届く範囲にある	「副詞句」
contra	コントラ	prep	～に向かって 「副詞句」
la Duquesa	ラ・ドゥケサ	n.f	公爵夫人 「目的語」
y	イ conj.	そして	
el niño:	エル・ニョ	n.m	赤ん坊 「目的語」

最初は、かまどの火掻き棒など；それから鍋や取り皿や大皿の雨。

lo primero fueron los hierros del fogón;	lo primero	fueron	los hierros	del fogón;	
	ロ・プリメロ	pron.	最初の物は、1 回目		「副詞句」
luego, una verdadera lluvia de ollas, platos y fuentes.	luego,	una verdadera	lluvia de ollas, platos y fuentes.		「動詞」「補語」; 「副詞」「補語」
	ロ・プリメロ	pron.	最初の物は、1 回目		「副詞句」
fueron	フエロン	3 複点(ser)v.i	～だった		「動詞」
los hierros	ロス・イエロス	pl(hierro).n.m	(かまどの) 火掻き棒		「補語」
del fogón;	デル・フォゴン	adj.	かまどの		「形容詞句」
luego,	ルエゴ	adv.	それから、次に		「副詞」
una verdadera lluvia de	ウナ・ベルダデラ・ジ・ユベ・ア・デ	n.f	正に～の雨		「補語」
ollas,	オジャス	pl(olla).n.f	鍋		「目的語」
platos	プラトス	pl(plato).n.m	取り皿		「目的語」
	plato	は、fuente	から取り分ける 1 人用の皿、(皿に盛った) 料理		
y	イ conj.	そして			
fuentes.	フエンテス	pl(fuente).n.f	大皿		「目的語」

公爵夫人は、それらが自分に当たっても無視していました。そして赤ん坊の方は、すでに猛烈に泣きわめいていたので、それが当たって痛いのかどうか全く分かりません。

La Duquesa hacía caso omiso de todos estos proyectiles, incluso cuando la alcanzaban; y en cuanto al niño, aullaba ya con tanta fuerza que resultaba francamente imposible saber si los golpes le hacían daño o no.	La Duquesa	hacía caso omiso de todos estos proyectiles, incluso cuando la alcanzaban; y en cuanto al niño, aullaba ya con tanta fuerza que resultaba francamente imposible saber si los golpes le hacían daño o no.	
	「主語」	「動詞句」「目的語」「副詞句」; y 「副詞句」「動詞」「副詞句」	
La Duquesa	ラ・ドゥケサ	n.f	公爵夫人は 「主語」
hacía caso omiso de	アシア・カ・オミ・デ	3 単線(hacer)v.t(+caso omiso de...)	

6 Cerdo y pimienta

v.t 気に留めていなかった、無視していた	「動詞句」
hacer caso omiso de... 「～を無視する、気に留めない」	
todos estos proyectiles, トドス・エストス・プロイェクトレス	
pl(proyectil).n.m これらの発射物を	「目的語」
incluso インクル adv. (強調) ～さえも	「副詞」
cuando クアント conj. ～する時	「副詞節」
la ラ pron 彼女に	「目的語」
alcanzaban; アルカンサバン 3 複線(alcanzar)v.t 達する、届く	「動詞」
y イ conj. そして	
en cuanto al niño, エン・クワント・アル・ニーニョ adv. こどもに関しては	「副詞句」
en cuanto a... 「～に関して」	
aullaba アウジャバ 3 単点(aullar)v.i 泣いていた、(犬が) 遠吠えする	「動詞」
ya ジャ adv. すでに、先程から	「副詞」
con tanta fuerza コン・タンタ・フエルサ adv. すごい勢いで	「副詞句」
que ケ conj. (結果) それで～する	「副詞節」
resultaba レスルタバ 3 単線(resultar)v.i ～という結果になった	「動詞」
francamente imposible フランカメンテ・イボシブレ adj. 明らかに不可能な	「補語」
saber サベル 不定詞 n. ～を知ること	「主語」
si シ conj. ～かどうかということ	「目的語」
los golpes ロス・ゴルペス pl(golpe).n.m その襲撃が	「主語」
le レ pron 赤ん坊を、赤ん坊に	「間接目的語」
hacían アシアン 3 複線(hacer)v.t 与えた、作った	「動詞」
daño ダンニョ n.m 痛みを	「直接目的語」
o オ conj. または	
no. ノ adv. そうでない	「副詞」

「ああ！お願いします！やっていることに気を付けてくださいね！」と、アリスは不安でジャンプをしながら大急ぎで頼み込んだ。

-¡Ay! ¡Por favor! ¡Tenga cuidado con lo que está haciendo! -imploró Alicia muy agitada, dando brincos de angustia-.

《「呼びかけ」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」, 「動詞」「主語」「副詞句」

-¡Ay! ¡Por favor! アー・ボル・ファボル adv. ああ！お願いします！ 「呼びかけ」
 ¡Tenga テンガ 命・3 単現・依頼(tener)v.t ～を持ってください 「動詞」
 cuidado クイダト n.m(con ～に) 注意を 「直接目的語」
 con lo コン・ロ adv. (対象) それに 「間接目的語」
 que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

6 Cerdo y pimienta

está haciendo! エスタ・アシエント^ト 3 単現・進行形(hacer)

v.t やっている

「動詞句」

-imploró インプロ^ロ 3 単点(implorar)v.t 懇願した

「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは

「主語」

muy agitada, ムイ・アヒタダ^ダ adv. 大急ぎで

「副詞句」

dando ダント^ト 現在分詞・同時(dar)v.t (動作を) しながら

「副詞句」

brincos ブリンコス pl(brinco).n.m 跳躍

「目的語」

de angustia^ア. デ・アングスチア^ア adj. 不安の

「形容詞句」

「ほら、そこ。可愛いお鼻の先端が…」と、とてつもなく大きな鍋が赤ん坊の顔の近くに飛んできて、もう少しで鼻を叩き潰しそうになるのを見て、アリスは叫びました。

¡Ahí va! ¡Ése es el fin de su preciosa naricita! -gritó al ver que una caldera particularmente grande volaba cerca de la cara del niño y por poco le aplasta la nariz.

《「副詞」「動詞」 | 「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞」「副詞句」

¡Ahí アイ adv. そこで

「副詞」

va! バ^バ 3 単現(ir)v.i 進行中である

「動詞」

¡Ése エセ pron それは

「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

el fin エル・フィン n.m 終わり、末端

「補語」

de su preciosa naricita! テ・ス・プレシオサ・ナリシタ^タ adj. 可愛いお鼻の

「形容詞句」

preciosa プレシオサ adj(precioso).f 可愛い naricita ナリシタ n(nariz+-ita).f 小さい鼻

-gritó グリト 3 単点(gritar)v.i 叫んだ

「動詞」

al ver アル・ベール adv. (原因) ~を見て

「副詞句」

que ケ conj. ~ということ

「目的語」

una caldera ウナ・カルデラ n.f 大鍋が

「主語」

particularmente grande パルチクルメンテ・グランテ^テ

adj. とてつもなく大きな

「形容詞句」

volaba ボラバ^バ 3 単線(volar)v.i 飛んできた

「動詞」

cerca de la cara del niño セルカ・デ・ラ・カラ・デル・ニーノ

adv. 赤ん坊の顔を近くに

「副詞句」

y イ conj. そして

por poco+動詞の現在形 ホル・ポコ

adv. もう少しで~するところだった

「副詞句」

le レ pron 彼の

「間接目的語」

aplasta アプラスタ 3 単現(aplastar)v.t 叩き潰す

「動詞」

la nariz. ラ・ナリス n.f 鼻を

「直接目的語」

6 Cerdo y pimienta

「もしも人々が、自分にとって重要でないものに口出しをしなかったら」と、公爵夫人が言った。「世の中は、もっとずっと上手く回っていただろう」

-Si la gente no se metiera en lo que no le importa -sentenció la Duquesa-, el mundo giraría mucho mejor. 《「副詞節」》, 「動詞」「主語」, 《「主語」「動詞」「副詞句」》

-Si シ conj. (仮定) もし～ならば 「副詞節」

la gente ラ・ヘンテ n.f (意味は複数だが動詞は単数形) 人々が 「主語」

no se metiera ノ・セ・メテラ 接・3 単過:否定(meterse)

v.pr(en に) 介入しなかった、口出ししなかった 「動詞句」

en lo エン・ロ adv. それに 「間接目的語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

no ...importa ノ...インポルタ 3 単現・否定(importar)

v.i 重要でない 「動詞句」

le レ pron その人にとって 「間接目的語」

-sentenció センテンシオ 3 単点(sentenciar)v.t 言った 「動詞」

la Duquesa-, ラ・ドゥケサ n.f 公爵夫人が 「主語」

el mundo エル・ムント n.m 世の中は 「主語」

giraría ヒラリア 3 単過未・推量(girar)v.i 回っていただろう 「動詞」

mucho mejor. ムチョ・メホル adv. ずっと上手く 「副詞句」

「それは、何も良いことが無いですね」と、アリスは、自分の知識をひけらかすチャンスもらったと思って、嬉しそうに答えました。

-Lo que no tendría ninguna ventaja -repuso Alicia, muy contenta al ver que se le presentaba una ocasión de brillar con sus conocimientos-. 《「主語」「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

-Lo que ロ・ケ pron それは 「主語」

no tendría ノ・テントリア 3 単過未・否定・推量(tener)v.t ～がないだろう 「動詞句」

ninguna ventaja ニングナ・ベンタ n.f 何の利点も～ない 「目的語」

-repuso レプソ 3 単点(reponer)v.t 答えた 「動詞」

Alicia, アリシア n.f アリスは 「主語」

muy contenta マイ・コンテンタ adv. (様態) とても嬉しそうに 「副詞句」

al ver アル・ベール adv. (原因・理由) ～と思って 「副詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

se le presentaba セ・レ・プレゼンタハ 3 単線(presentarse)

v.pr アリスに提供した 「動詞句」

se は公爵夫人が、 le はアリスに

6 Cerdo y pimienta

una ocasión ウナ・オカシオン n.f チャンスを 「目的語」

de brillar デ・ブリジャー 不定詞・目的 adj. 目立つための 「形容詞句」

con sus conocimientos-. コン・ス・コノシエントス

adv. 自分の知識について 「副詞句」

朝と夜が入れ替わるほどの混乱がおこるのではないかと、私は思いますが。ご存じの通り、地球は1回転するのに、24時間かかります...

¡Imáginese el trastorno que eso supondría para el día y la noche! Ya sabe que la tierra requiere veinticuatro horas para ejecutar un giro completo...

「動詞」「目的語」 | 「副詞」「動詞」「目的語」

¡Imáginese イマヒネセ 接・1単現・推量(imaginar)v.pr ~だろと思う 「動詞」

el trastorno エル・トラストルノ n.m 混乱を 「目的語」

que ケ conj. (同格) ~という 「形容詞節」

eso エソ pron それが 「主語」

supondría スポントリア 3単過未・未来の仮定(suponer)

v.t ~を意味するだろう 「動詞」

para el día y la noche! パラ・エル・ヂャ・イ・ラ・ノチェ n. 昼が夜だと 「目的語」

Ya ジャ adv. もうすでに 「副詞」

sabe サベ 3単現(saber)v.t 知っている 「動詞」

que ケ conj. ~ということ を 「目的語」

la tierra ラ・チエラ n.f 地球は 「主語」

requiere レキエレ 3単現(requerir)v.t 必要とする 「動詞」

veinticuatro horas ベインチクアトロ・オラス pl(hora).n.f 24時間 「目的語」

para ejecutar パラ・エヘクター 不定詞・目的 adv. 実行するために 「副詞句」

ejecutar エヘクター v.t 実行する、死刑を執行する

un giro completo... ウン・ヒロ・コンプレト n.m 丸々1回転 「目的語」

実行(執行)と言うと、公爵夫人は話を遮って言った。「この娘の頭をちょん切ってしまえ！」

-Hablando de ejecutar -interrumpió la Duquesa-, ¡que le corten la cabeza!

《「副詞句」》, 「動詞」「主語」, 《「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》

-Hablando アブラント 現在分詞(hablar)adv.(de について) 話すと 「副詞句」

de ejecutar デ・エヘクター n. 死刑執行について 「間接目的語」

-interrumpió インテルンピオ 3単点(interrumpir)v.t 話を遮った 「動詞」

la Duquesa-, ラ・ドゥケサ n.f 公爵夫人が 「主語」

¡que ケ conj. ~と

le レ pron その娘の 「間接目的語」

6 Cerdo y pimienta

corten コルテン 接・3 複現・命令(cortar)v.t 切りなさい！ 「動詞」
la cabeza! ラ・カベサ n.f 頭を 「直接目的語」

アリスは、コックがまた何かをしようとしていないかを確認するためにコックを見つめた。
しかし、コックはスープをおたまでかき混ぜるのに忙しくて、聞いていないようだったので、
アリスは話を続けました：

Alicia miró a la cocinera con alguna ansiedad, para ver si pretendía hacer algo por el estilo, pero ésta estaba muy ocupada dándole vueltas a la sopa con el cucharón y no parecía estar escuchando, de forma que prosiguió diciendo:

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」,pero 「主語」「動詞」「補語」 y 「動詞句」,
de forma que 「動詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 見た 「動詞」
a la cocinera ア・ラ・コシネラ n.f コックを 「目的語」
con alguna ansiedad, コン・アルガナ・アンシエダ adv. 少し心配そうに 「副詞句」
para+不定詞 パラ 不定詞・目的 adv. ～をするために 「副詞句」
ver ベール 不定詞 v.t 確認する 「動詞」
si シ conj. ～かどうかということ 「目的語」
pretendía hacer プレテンディア・アセル 3 単線・意志・時制の一致(pretender)
v.t(+不定詞) ～しようとしている 「動詞句」
algo アルゴ pron 何かを 「目的語」
por el estilo, ホル・エル・エストラ adv. 同じく、同様に、相変わらず 「副詞句」
pero ペロ conj. しかし
ésta エスタ pron.f (cocinera の代用) コックは 「主語」
estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ～だった 「動詞」
muy ocupada ムイ・オカパダ adj(ocupado).f 大忙しの 「補語」
dándole ダント・レ 現在分詞(dar+le)adv. ～を与えるのに 「副詞句」
vueltas ブエルタス pl(vuelta).n.f 回転を 「直接目的語」
a la sopa ア・ラ・ソパ adv. スープに 「間接目的語」
dar vueltas タール・ブエルタス 「かき混ぜる」
con el cucharón コン・エル・クチャロン adv. (手段) (料理) おたまで 「副詞句」
y イ conj. そして
no parecía ノ・パレシア 3 単線・否定(parecer+不定詞)v.i ～でないように見えた 「動詞句」
estar escuchando, エスター・エスクチャント 不定詞・進行形(escuchar)v.t 聞いている 「動詞句」
de forma que+直説法 テ・フォルマ・ケ conj. (結果) それで～する
prosiguió プロシギオ 3 単点・続行(proseguir)v.i(+現在分詞) ～し続けた 「動詞句」

6 Cerdo y pimienta

diciedo: ディシエント 現在分詞(decir)v.t 話す 「動詞句」

「1 日は 24 時間だと思ふんですけど；もしかして、12 時間でしたか？わたし…」

-Veinticuatro horas, me parece; o ¿son acaso doce? Yo...

《「補語」「間接目的語」「動詞」；o「動詞」「補語」「主語」》

-Veinticuatro horas, ベインクワトロ・オラス pl(hora).n.f 24 時間 「補語」

me メ pron 私には 「間接目的語」

parece; パレセ 3 単現(parecer)v.i 〜だと思われる 「動詞」

o オ conj. それとも

¿son ソン 3 複現(ser)v.i 〜である 「動詞」

acaso アカーソ adv. もしかして 「副詞」

doce? ドセ pl.n.m (疑問文) 12 時間ですか？ 「補語」

Yo... ジョ pron 私は... 「主語」

「ああ！私にそんなことを聞かないでよ。私は計算なんかできた試しがないんだからね！」

-¡Ah! ¡No me vengas a mí con ésas! ¡Nunca he podido aguantar las cuentas!

《「感嘆」 | 「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「間接目的語」 | 「動詞句」「目的語」》

-¡Ah! アー int. ああ！ 「感嘆」

¡No ...vengas ノ...ベンカス 命・2 単現・否定(venir)

v.t (con 思いがけないことを) 言いだすな！ 「動詞句」

me メ pron 私に 「間接目的語」

a mí ア・ミ adv. 私に 「間接目的語」

con ésas! コン・エサス adv. そんなことを 「間接目的語」

¡Nunca he podido aguantar ヌンカ・エ・ポデイト・アグワンタル 1 単現・完了形・可能・否定

(poder+不定詞)v.t 我慢できたことが無い 「動詞句」

las cuentas! ラス・クエンタス pl(cuenta).n.f 計算を 「目的語」

公爵夫人は叫び、両手に赤ん坊を抱えて、子守歌のようなものを歌いながら、もう一度赤ん坊をあやし始めた。そして、1 行の終わりには赤ん坊を激しく揺さぶった。

-exclamó la Duquesa, y se puso a arrullar nuevamente al niño, meciéndole en sus brazos y cantándole una especie de canción de cuna, cada uno de cuyos versos terminaba con una fuerte sacudida.

「動詞」「主語」,y「動詞句」「副詞」「目的語」,「副詞句」y「副詞句」,

「主語」「動詞」「副詞句」

-exclamó エクスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ 「動詞」

la Duquesa, ラ・ドゥケサ n.f 公爵夫人は 「主語」

6 Cerdo y pimienta

y イ conj. そして

se puso a arrullar セ・プソ・ア・アルジャール 3 単点・開始(ponerse a+不定詞)

v.pr (寝かせるために) あやし始めた 「動詞句」

nuevamente ヌエバメンテ adv. もう一度 「副詞」

al niño, アル・ニーニョ n.m 赤ん坊を 「目的語」

meciéndole メシエント・レ 現在分詞・同時(mecer)v.t 赤ん坊を揺さぶりながら 「副詞句」

en sus brazos エン・スス・ブラソス adv. 両手に抱えて 「副詞句」

y イ conj. そして

cantándole カント・レ 現在分詞・同時(cantar)v.t 歌いながら 「副詞句」

una especie de canción de cuna, ウナ・エスペシエ・デ・カンシオン・デ・クナ

n.f 子守歌のようなものを 「目的語」

cada uno de cuyos versos カダ・ウノ・デ・クオス・ベルソス それぞれの行は 「主語」

terminaba テルミナバ 3 単線(terminar)v.i 終わった 「動詞」

con una fuerte sacudida. コン・ウナ・フエルテ・サクディダ adv. (付加) 強い揺さぶりと共に 「副詞句」

「赤ん坊には、きつい言葉を投げつけろ！」

Al pequeño, ¡dale duro! 《「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」》

Al pequeño, アル・ペケニョ adv. 赤ん坊に 「間接目的語」

¡dale ダ・レ 命・2 単現(dar+le)v.t (それに) (行為を) しなさい 「動詞句」

duro! トゥロ n.m きつい言葉を 「直接目的語」

「くしゃみしたら、一発殴れ！」

Y si estornuda, ¡un buen golpe! 《Y「副詞節」,「命令」》

Y イ conj. そして

si シ conj. (仮定) もし～なら 「副詞節」

estornuda, エストルヌダ 3 単現(estornudar)v.i くしゃみをする 「動詞」

¡un buen golpe! ウン・ブエン・ゴルペ n.m 一発殴れ！ 「命令」

名詞を「命令」そして使用している

6 Cerdo y pimienta

「嫌がらせでやってるだけだ。それで私が怒るの知ってるからさ。」

Sólo lo hace pa' molestar y porque sabe que fastidia.

《「副詞」「目的語」「動詞」「副詞句」 y 「副詞節」》

Sólo ソロ adv. ～だけ

「副詞」

lo ロ pron (くしゃみを) それを

「目的語」

hace アセ 3 単現(hacer)v.t やっている

「動詞」

pa' molestar パ・モレスタール

adv. (目的) (= para molestar) 邪魔するために、嫌がらせで

「副詞句」

y イ conj. そして

porque ボルケ conj. (理由) ～だから

「副詞節」

sabe サベ 3 単現(saber)v.t 知っている

「動詞」

que ケ conj. ～ということ

「目的語」

fastidia. ファステディア 3 単現(fastidiar)v.t 怒らせる

「動詞」

合唱 (コックと赤ん坊も参加して)

Estribillo

(en el que participaban la cocinera y el niño)

「主語」(「副詞句」)

Estribillo エストリビジョ n.m 繰り返し、合唱

「主語」

(en el エン・エル adv. (様態) ～で

「副詞句」

que ケ conj. ～ということ

「目的語」

participaban パルチパバン 3 複線・時制の一致(participar)

v.i 参加する

「動詞」

la cocinera y el niño) ラ・コシネラ・イ・エル・ニーニョ pl.n コックと赤ん坊が

「主語」

「わあ！わあ！わあ！」

¡Ay... Aay... Ayaaay!

《「感嘆」》

¡Ay... Aay... Ayaaay! アイ・アー・アイ int. わあ！わあ！わあ！

「感嘆」

6 Cerdo y pimienta

第2節を歌いながら、公爵夫人は赤ん坊を投げてよこした、アリスは空中で受け止めたが、赤ん坊は激しくうなっていた。アリスは公爵夫人の言葉をなんとか聞き取ることが出来た。

Mientras cantaba la segunda estrofa, la Duquesa tiraba al niño por el aire, recogiénolo al vuelo y con tal violencia que la criatura aullaba a voz en grito; Alicia apenas pudo distinguir las palabras:

「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」; 「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」
Mientras ミエントラス conj. (同時) ~しながら 「副詞節」
cantaba カンタハ 3 単線(cantar)v.t 歌う 「動詞」
la segunda estrofa, ラ・セグンダ・エストロファ n.f 第2節を 「目的語」
la Duquesa ラ・ドゥケサ n.f 公爵夫人は 「主語」
tiraba チラハ 3 単線(tirar)v.t 投げてよこした 「動詞」
al niño アル・ニーニョ n.m 赤ん坊を 「目的語」
por el aire, ポル・アイレ adv. 空中に 「副詞句」
recogiénolo レコヒエントロ 現在分詞・同時(recoger)v.t それを受け止めながら 「副詞句」
al vuelo アル・ブエロ adv. 空中で 「副詞句」
y イ conj. そして
con tal violencia コン・タル・ビオレンシア adv. ~ほどの激しさに 「副詞句」
que ケ conj. (同格) ~するという 「形容詞節」
la criatura ラ・クリアトゥラ n.f その赤ん坊は 「主語」
aullaba アウジャハ 3 単線(aullar)v.i うなった 「動詞」
a voz en grito; ア・ボス・エン・グリト adv. (手段) 叫ぶような声で 「副詞句」
Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
apenas アペナス adv. どうにか、なんとか、やっと 「副詞」
pudo distinguir プト・デ・イスチングァール 3 単点・可能(poder+不定詞)
v.t 聞き取ることが出来た 「動詞句」
distinguir デ・イスチングァール v.t 区別する、識別する
las palabras: ラス・パラブラス pl(palabra).n.f 公爵夫人の言葉を 「目的語」

6 Cerdo y pimienta

赤ん坊に声かける。くしゃみしたらぶっ叩く！

A mi niño le doy voces, ¡y qué paliza si estornuda!

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」,y「目的語」「副詞節」

A mi niño le ア・ミ・ニョ・レ adv. 赤ん坊に

「間接目的語」

doy トイ 1 単現(dar)v.t (言葉を) かける

「動詞」

voces, ボセス pl(voz).n.f 言葉を

「直接目的語」

¡y イ conj. そして+

qué paliza ケ・パ・リザ n.f どんな強打を

「目的語」

si シ conj. もし～ならば

「副詞節」

estornuda! エストルダ 3 単現(estornudar)v.i くしゃみをする

「動詞」

それで、気分が良ければ、コショウだって嫌がらない！

Pues ¿acaso no le gusta la pimienta cuando quiere?

Pues 「副詞」「動詞句」「主語」「副詞節」

Pues プエス conj. それで

¿acaso アカソ adv. もしかしたら

「副詞」

no le gusta ノ・レ・グスタ 3 単現・反語(gustar)v.i 気に入る

「動詞句」

acaso no+動詞 反語表現・強調

la pimienta ラ・ピ・ミンタ n.f 胡椒は

「主語」

cundo クワント conj. ～する時には

「副詞節」

quiere? キエレ 3 単現(querer)v.t 好む、望む

「動詞」

合唱

「わあ！わあ！わあ！」

Estribillo

「主語」

¡Ay... Aay... Ayaaay!

《「感嘆」》

Estribillo エストリビシヨ n.m 繰り返し、合唱

「主語」

¡Ay... Aay... Ayaaay! アイ・アイ・アイ int. わあ！わあ！わあ！

「感嘆」

「ほら、受け取れ！やりたいなら、ちょっと寝かしつけてみる！」と、公爵夫人は叫びながらアリスに赤ん坊を投げつけてよこした。

— ¡Ea! ¡Tómalo y arrúllalo tú un poco, si quieres! -exclamó la Duquesa mientras le arrojaba el niño a Alicia por el aire-.

《「命令」》,「動詞」「主語」,《》

— ¡Ea! ¡Tómalo エア・トマ・ロ 命・2 単現・呼びかけ(tomar+lo)v.t ほら、受け取れ！ 「命令」

lo は niño の代用

6 Cerdo y pimienta

y	イ conj.	そして	
arrúllalo	アルジュ・ロ	命・2 単現(arrular+lo)v.t	寝かしつけろ！ 「命令」
tú	トゥ pron	お前は	「主語」
un poco,	ウン・ポコ adv.	少し	「副詞句」
si	シ conj.	(条件) もし～ならば	「副詞節」
quieres!	キエス	2 単現(querer)v.t	望む 「動詞」
-exclamó	エクスクラモ	3 単点(exclamar)v.i	叫んだ 「動詞」
la Duquesa	ラ・ドゥケサ	n.f	公爵夫人は 「主語」
mientras	ミエントラス conj.	(同時) ～して	「副詞節」
le	レ pron	彼女に	「間接目的語」
arrojaba	アロハバ	3 単線(arrojar)v.t	投げつけた 「動詞」
el niño	エル・ニーニョ	n.m	赤ん坊を 「直接目的語」
a Alicia	ア・アリシア adv.	アリスに	「間接目的語」
por el aire-	ポ・ル・エル・アイレ adv.	空中を経由して	「副詞句」

「私は女王さまとクロッケーをするのに、身支度しなきゃならない」と、公爵夫人は部屋を出る時に付け加えて言った。コックはそれを見逃さずに彼女にフライパンを投げつけたが、もう少しの所で命中しなかった。

Yo tengo que ir a arreglarme para jugar al croquet con la Reina -añadió, abandonando apresuradamente la estancia, lo que la cocinera aprovechó para tirarle una sartén al vuelo que por poco la alcanza.

《「主語」「動詞句」「副詞句」》, 「動詞」「副詞句」, 「目的語」「主語」「動詞」「副詞句」	
Yo ジョ pron 私は	「主語」
tengo que ir a arreglarme テngo・ケ・イル・ア・アレグラル・メ 1 単現・必要	
(tener que+不定詞 ir a+不定詞)v.i 身なりを整えなければならない	「動詞句」
para +不定詞 パラ 不定詞・目的 adv. ～するために	「副詞句」
jugar ファール 不定詞 v.i (ゲームを) する	「動詞」
al croquet アル・クロケット adv. クロッケーを	「間接目的語」
con la Reina コン・ラ・レイナ adv. 女王と	「副詞句」
-añadió, アニャディオ 3 単点(añadir)v.t 付け加えた	「動詞」
abandonando アバントナント 現在分詞・同時(abandonar)v.t (場所から) 去りながら	「副詞句」
apresuradamente アプレサダメンテ adv. 急に、慌てて	「副詞」
la estancia, ラ・エスタンシア n.f 部屋を	「目的語」
lo que ロ pron それを	「目的語」
la cocinera ラ・コシネラ n.f コックは	「主語」
aprovechó アプロベチョ 3 単点(aprovechar)v.t 利用した、活用した	「動詞」

6 Cerdo y pimienta

para +不定詞 パラ adv. (結果) そして～した	「副詞句」
tirarle チラール・レ 不定詞(tirar+le)v.t 彼女に投げつける	「動詞句」
una sartén ウナ・サルテン n.f フライパンを	「目的語」
al vuelo アル・ブエロ adv. 空中で	「副詞句」
que ケ conj. (結果) そして～する	「副詞節」
por poco ポール・ポコ adv. もう少しで～するところだった	「副詞句」
la ラ pron 彼女に	「目的語」
alcanza. アルカンサ 3 単現(alcanzar)v.t 届く	「動詞」

アリスはかなり苦勞して赤ん坊を受け止めました。赤ん坊が奇妙な体つきで、手足をあちこちに突き出してもがいていたからです。「まるでヒトデみたい」と、アリスは思いました。

Alicia cogió al niño en brazos con alguna dificultad, pues la criatura tenía una forma extraña y forcejeaba con los brazos y las piernas en todas direcciones, «como si fuera una estrella de mar», pensó Alicia.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」, 「副詞節」, 《「副詞節」》, 「動詞」「主語」	
Alicia アリシア n.f アリスは	「主語」
cogió コギオ 3 単点(coger)v.t 捕まえた、受け止めた	「動詞」
al niño アル・ニーニョ n.m 赤ん坊を	「目的語」
en brazos エン・ブラソス adv. (手段) 両腕で	「副詞句」
con alguna dificultad, コン・アルグナ・ディフクルタ adv. (程度) かなり苦勞して	「副詞句」
pues プエス conj. (理由) ～なので	「副詞節」
la criatura ラ・クリアトゥラ n.f その赤ん坊は、その生き物は	「主語」
tenía テニア 3 単線(tener)v.t (身体的特徴が) あった、だった	「動詞」
una forma extraña ウナ・フォルマ・エクストラニャ n.f 奇妙な体つきを	「目的語」
y イ conj. そして	
forcejeaba フォルセフェアバ 3 単線(forcejear)v.i もがいていた	「動詞」
con コン prep (手段) ～を使って	「副詞句」
los brazos ロス・ブラソス pl(brazo).n.m 両腕	「目的語」
y イ conj. そして	
las piernas ラス・ピエーナス pl(pierna).n.f 両足	「目的語」
en todas direcciones, エン・トダス・ディレクシヨネス adv. (方向) 全方向に	「副詞句」
«como si コモ・シ adv. まるで～のように	「副詞節」
fuera フェラ 接・3 単過・假定(ser)v.i ～である	「動詞」
una estrella de mar», ウナ・エストレジャ・デ・マル	
n.f (生き物) 海のヒトデ	「補語」
pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.i 思った	「動詞」

6 Cerdo y pimienta

Alicia. アリシア n.f アリスは 「主語」

可哀そうな赤ん坊は蒸気機関車のように息を切らし、激しく体を曲げ伸ばししていました。
それで最初の数分間は、アリスは赤ん坊を腕の中に抱えておくことしかできませんでした。

El pobrecillo resoplaba como una máquina de vapor y se debatía doblándose y enderezándose con violencia, de forma que durante los primeros minutos Alicia no pudo ocuparse de otra cosa que de luchar por retenerlo en sus brazos.

「主語」「動詞」「副詞句」 y 「動詞句」「副詞句」

El pobrecillo エル・ポブレシヨ n.m 可愛そうな赤ん坊は 「主語」

resoplaba レソプラハ 3 単線(resoplar)v.i 息を切らしていた 「動詞」

como una máquina de vapor コモ・ウナ・マキナ・デ・バポール adv. 蒸気機関車のように 「副詞句」
y イ conj. そして

se debatía セ・デバチア 3 単線(debatirse)v.pr もがいていた 「動詞句」

doblándose y enderezándose ドブラントセ・イ・エンデラントセ 現在分詞(doblar / enderezar)

adv. (方法) 曲げたり伸ばしたりして 「副詞句」

con violencia, コン・ビオレンシア adv. (様態) 激しく 「副詞句」

de forma que+直説法 デ・フォルマ・ケ conj. (結果) そのため～ 「副詞節」

durante los primeros minutos トゥランテ・ロス・プリメロス・ミヌトス

adv. 最初の数分間 「副詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

no pudo ocuparse ノ・プト・オカールセ 3 単点・可能・否定(poder+不定詞 ocupar)

v.pr(de に) 従事出来なかった 「動詞句」

de otra cosa que デ・オトラ・コサ・ケ adv.(no ...que) ～ということ以外は「間接目的語」

de luchar デ・ルチャール 不定詞・目的 v.t(por のために) 戦う 「動詞句」

por retenerlo ポル・レテネル 不定詞・目的

adv. 引き止めるために 「副詞句」

en sus brazos. エン・ス・ブラソス adv. 腕の中に 「副詞句」

6 Cerdo y pimienta

赤ん坊を寝かしつける方法が分かるとすぐに (分ったことは、赤ん坊を右耳と左足をしっかりと持って、ひねって、ほどけないように結ぶことでした)、アリスはそれを外に出した。

Tan pronto como encontró la manera de hacerlo (y que, según descubrió, consistía en retorcerlo en una especie de nudo, sujetándolo bien por la oreja derecha y el pie izquierdo para impedir que se deshiciera), Alicia lo sacó fuera, al aire libre.

「副詞節」, 「主語」 「目的語」 「動詞」 「副詞句」

Tan pronto como+直説法 タン・プロント・コモ conj. ～するとすぐ 「副詞節」

未来の事なら、接続法を用いる

encontró エンコントロ 3 単点(encontrar)v.t 分かった、見つけた 「動詞」

la manera ラ・マネラ n.f 方法を 「目的語」

de hacerlo デ・アエル・ロ 不定詞・目的 adj. そうするための 「形容詞句」

(y イ conj. そして

que, ケ conj. ～ということを 「目的語」

según セグン conj. (手段) ～によると 「副詞節」

descubrió, デスクブリア 3 単点(descubrir)

v.t 発見した、分った 「動詞」

consistía コンシシア 3 単線・時制の一致(consistir)

v.i ～のことである 「動詞」

en retorcerlo エン・レトルセル・ロ adv. それをひねること 「補語」

en una especie de nudo, エン・ウナ・エスペシエ・デ・ヌド

adv. 結び目みたいに 「副詞句」

sujetándolo bien スェタントロ・ビエン 現在分詞

adv. しっかり固定しながら 「副詞句」

por ポル prep (方法) ～によって 「副詞句」

la oreja derecha ラ・オレハ・デレチャ n.f 右耳 「目的語」

y イ conj. そして

el pie izquierdo エル・ピエ・イスキエルト n.m 左足 「目的語」

para impedir パラ・インパディール 不定詞・目的

adv. ～を妨げるために 「副詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

se deshiciera), セ・デシエラ 接・3 単過(deshacerse)

v.pr 乱れる 「動詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

lo ロ pron それを 「目的語」

sacó サコ 3 単点(sacar)v.t 引き出した 「動詞」

fuera, フェラ adv. 外へ 「副詞」

6 Cerdo y pimienta

al aire libre. アル・アイレ・リブレ adv. 外気に 「副詞句」

「この赤ん坊と一緒に連れて行かなければ」と、アリスは思った。「1 日か 2 日で、この子は殺されてしまうだろう。この子をあの家に放っておけば、殺人になってしまうだろう」

«Si no me llevo a este niño conmigo -pensó-, acabarán por matarlo dentro de uno o dos días. ¡Sería un crimen dejarlo en esa casa!»

《「副詞節」》, 「動詞」, 《「動詞句」「副詞句」 | 「動詞」「補語」「主語」》

«Si シ conj. もし~ならば 「副詞節」

no me llevo ノ・メ・ジエボ 1 単現・否定(llebarse)v.pr 連れて行かない 「動詞句」

a este niño ア・エステ・ニョ n.m この赤ん坊を 「目的語」

conmigo コンミゴ adv. 一緒に 「副詞」

-pensó-, ペンソ 1 単点(pensar)v.i 思った 「動詞」

acabarán por matarlo アカバラン・ポル・マタル・ロ 3 複未・結果・推量(acabar por+不定詞 matar+lo) v.t 結局この子は殺されるだろう 「動詞句」

「動詞」が三人称複数形なので、受動態に翻訳する

dentro de uno o dos días. デントロ・デ・ウノ・オ・ドス・デ・イアス

adv. (期間) 1 日か 2 日で 「副詞句」

¡Sería セリア 3 単過未・推量・変化(ser)v.i ~になるだろう 「動詞」

un crimen ウン・クリメン n.m 犯罪、殺人 「補語」

dejarlo デハル・ロ 不定詞 n. この子を放っておくことは 「主語」

en esa casa! エン・エサ・カサ adv. あの家に 「副詞句」

最後の言葉を、アリスは大きな声で言いました、するとこの生き物はブーブーと鼻を鳴らして答えました。(この頃にはもう、くしゃみが止んでいたのです)

Estas últimas palabras las pronunció Alicia en voz alta, y la criatura le respondió con un gruñido (ya para entonces había dejado de estornudar).

「目的語」「動詞」「主語」「副詞句」, y 「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」
(「副詞句」「動詞句」)

Estas últimas palabras エスタス・ウルチマス・パ・ラブラス pl(palabra).n.f 最後の言葉を 「目的語」

las ラス pron.f.pl それらを 「目的語」

pronunció プロンソ 3 単点(pronunciar)v.t 言った、発音した 「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

en voz alta, エン・ボス・アルタ adv. (手段) 大きな声で 「副詞句」

y イ conj. そして

la criatura ラ・クリアトゥラ n.f その生き物は 「主語」

le レ pron 彼女に 「間接目的語」

6 Cerdo y pimienta

respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた	「動詞」
con un gruñido コン・ウン・グェリト adv. (方法) 豚の鳴き声で、うなり声で	「副詞句」
(ya やー adv. もう	「副詞」
para entonces パラ・エントンセス adv. その頃には	「副詞句」
había dejado アビ・ア・デハト 3 単線・完了形・中断(dejar)	
v.i(de+不定詞 ~するのが)終わっていた	「動詞句」
de estornudar). デ・エストルヌダール 不定詞 v.i くしゃみをする	「動詞句」

「鼻をならしちゃだめ！」と、アリスは赤ん坊を叱った。「それは意見を言うやりかたじゃないわよ」

-¡No gruñas!-le recriminó Alicia-. Ésa no es manera de expresarse!

《「動詞句」》, 「目的語」「動詞」「主語」, 《「主語」「動詞句」「補語」》

-¡No gruñas! ノ・グェルニャス 命・2 単現・否定(gruñir)v.i (豚が) ブーブー鳴くな	「動詞句」
-le レ pron 赤ん坊を	「目的語」
recriminó レクリミノ 3 単点(recriminar)v.t 叱った、非難した	「動詞」
Alicia-. アリシア n.f アリスは	「主語」
Ésa エサ pron.f それは	「主語」
no es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ~でない	「動詞句」
manera マネラ n.f 方法、やり方	「補語」
de expresarse! デ・エクスプレサルセ 不定詞・目的	
adv. 自分の意見を表現するための	「副詞句」

赤ん坊がまた鼻をならしたので、アリスはとても心配そうに顔を覗き込み、どうしたのかを確認しました。

El niño volvió a gruñir, y Alicia le miró a la cara con mucha ansiedad, para ver si le pasaba algo.

「主語」「動詞句」, y 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」, 「副詞句」	
El niño エル・ニニョ n.m 赤ん坊は	「主語」
volvió a gruñir, ホルビョ・ア・グェルニール 3 単点・再度(volver a+不定詞)	
v.i また鼻をならした	「動詞句」
y イ conj. そして	
Alicia アリシア n.f アリスは	「主語」
le レ pron 赤ん坊の	「間接目的語」
miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 見た	「動詞」
a la cara ア・ラ・カラ n.f 顔を	「直接目的語」
con mucha ansiedad, コン・ムチャ・アンシエダ adv. (様態) とても心配そうに	「副詞句」

6 Cerdo y pimienta

para ver パラ・ベール	不定詞・結果 adv.	そして調べた、見た	「副詞句」
si シ conj.	もし〜かどうかということ		「目的語」
le レ pron	赤ん坊に		「間接目的語」
pasaba パサバ	3 単線・時制の一致(pasar)v.i	起こっている	「動詞」
algo アルゴ pron	何かが		「主語」

何の疑いもなく、この赤ん坊はとても上向きの鼻をしていて、本当の鼻というよりブタの鼻のように見えると思いました。

No cabía la menor duda de que tenía una nariz sumamente respingona, que parecía más un hocico que una verdadera nariz.

No cabía ノ・カビア	3 単線・否定(caber)v.i (収容能力) 入り得なかった	「動詞句」
la menor duda ラ・メノール・ドゥダ	n.f 少しの疑いも〜ない	「主語」
de que デ・ケ conj.	〜という	「形容詞節」
tenía テニア	3 単線・時制の一致(tener)v.t (肉体的特徴) している	「動詞」
una nariz ウナ・ナリス	n.f 鼻	「目的語」
sumamente スマメンテ adv.	きわめて	「副詞」
respingona, レスピングナ	adj(respingon).f 上を向いた	「形容詞」
que ケ conj.	(主語) 〜する	「形容詞節」
parecía パレシア	3 単線・時制の一致(parecer)	
v.i	〜のように見える	「動詞」
más un hocico マス・ウン・オシコ		
n.m	〜よりむしろ (動物の) 鼻	「補語」
que ケ conj.	(比較) 〜に比べて	「副詞句」
una verdadera nariz. ウナ・ベルダデラ・ナリス		
n.f	本当の鼻	「目的語」

その上、その目は、赤ん坊の目にしてはすごく小さくなってきました。

Además, los ojitos se le estaban poniendo demasiado pequeños para ser los de un ninito.

Además, アデマス adv.	その上、さらに	「副詞」
los ojitos ロス・オイトス	pl(ojo + -ito).n.m 目は	「主語」
se ...estaban poniendo セ...エスタバン・ポニエント	3 複線・進行形・変化(ponerse)	
v.pr (+補語)	〜になっていた	「動詞句」
le レ pronn	彼にとって	「間接目的語」
demasiado pequeños デマシアド・ペケニョス	adj. すごく小さい	「補語」
para ser パラ・セル adv.	(比較) 〜であるにしては	「副詞句」

6 Cerdo y pimienta

los ロス pron.pl 目 「目的語」

de un ninito. デ・ウン・ニート adj. 赤ん坊の 「形容詞句」

全体として、アリスはこの生き物を抱えている様子が全く気に入らなかった。

Total, que a Alicia no le estaba gustando nada el aspecto que estaba cobrando la criatura.

「副詞」, 「間接目的語」 「動詞句」 「間接目的語」 「動詞句」 「主語」

Total, トタル adv. 結局、全体的に 「副詞」

que ケ conj. (no, sí の強調)

a Alicia ア・アリシア adv. アリスにとっては 「間接目的語」

no ...estaba gustando ノ...エスタバ・ゲスタント 3 単線・進行形・否定(gustar)

v.i 気に入らなかった 「動詞句」

le レ pron 彼女には 「間接目的語」

nada el aspecto ナダ・エル・アスペクト n.m まったく様子が～ない 「主語」

que ケ conj. (同格) ～という 「形容詞節」

estaba cobrando エスタバ・コブラント 1 単線・進行形(cobrar)

v.t つかまえている 「動詞句」

la criatura. ラ・クリアトゥラ n.f 生き物を 「目的語」

「もしかすると、泣いていたのかもしれない」と思って、涙が見つからないか調べるために
また顔を見つめました。

«A lo mejor es porque ha estado llorando», pensó, y le miró de nuevo a la cara para ver si descubría alguna lágrima.

《「副詞句」「動詞」「副詞節」》, 「動詞」,

y 「間接目的語」「動詞」「副詞句」「間接目的語」「副詞句」

«A lo mejor ア・ロ・メホル adv. もしかすると、おそらく 「副詞句」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

porque ボルケ conj. (理由) ～なので 「副詞節」

ha estado llorando», ア・エスタド・ジョラント 3 単現・完了形・進行形(llorar)

v.i 泣いていた 「動詞句」

pensó, ペンソ 3 単点(pensar)v.t 思った 「動詞」

y イ conj. そして

le レ pron その生き物を 「直接目的語」

miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 見た 「動詞」

de nuevo デ・ヌエボ adv. また 「副詞句」

a la cara ア・ラ・カラ adv. 顔を 「間接目的語」

para ver パラ・ベール 不定詞・目的 adv. 見るために 「副詞句」

6 Cerdo y pimienta

si シ conj. へかどうかということをして 「目的語」

descubría テスクリア 3 単線・時制の一致(descubrir)v.t 見つける 「動詞」

alguna lágrima. アルグナ・ラグリマ n.f 涙を 「目的語」

しかし、涙はありません；そこに涙は全くありませんでした。

Pero no; no había allí lágrimas en absoluto.

Pero 「補語」；「動詞句」「副詞」「目的語」「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし

no; ノ adv. ない 「補語」

no había ノ・アビア 3 単線・否定(haber)v.t へがない 「動詞句」

allí アジ adv. そこには 「副詞」

lágrimas ラグリマス pl(lágrima).n.f 涙は 「目的語」

en absoluto. エン・アプソルト adv. まったく 「副詞句」

「もし子豚に変わろうと思っているなら、いい子だから」と、アリスは赤ん坊にとっても真剣に言いました。「もうあなたの面倒は見ないから、そのつもりでね！」

-Si piensas convertirte en un cerdito, querido niño -le dijo Alicia muy seriamente-, ten en cuenta que no querré saber nada contigo, así que ¡mucho cuidado!

《「副詞節」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」「副詞」, 《「動詞句」「目的語」, 「副詞節」》

-Si シ conj. もしへならば 「副詞節」

piensas convertirte ピエンサス・コンベルチル・テ 2 単現・意図(pensar+不定詞 convertirse)

v.t(en に) 変わろうと思っている 「動詞句」

en un cerdito, エン・ウン・セルデイト adv. 子豚に 「間接目的語」

querido niño クリト・ニーニョ adv. いい子だから 「呼びかけ」

-le レ pron 赤ん坊に 「間接目的語」

dijo テイト 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

muy seriamente-, ムイ・セリアメンテ adv. とても真剣に、真面目に 「副詞句」

ten en cuenta テン...エンクエンタ 命・2 単現(tener)v.t(que へを) 考慮に入れなさい 「動詞句」

que ケ conj. へということをして 「目的語」

no querré saber ノ・クレ・サベル 1 単未・願望・否定(querer+不定詞 saber)

v.t 知りたくない、知ろうとしない 「動詞句」

nada ナダ pron 何もへない 「目的語」

contigo, コンチゴ adv. あなたについて 「副詞句」

así que アシ・ケ conj. だからへする 「副詞節」

¡mucho cuidado! ムチョ・クイダート adv. 気を付けてね！ 「呼びかけ」

6 Cerdo y pimienta

可哀そうな生き物はまたうめき声をあげました。(またはもしかすると、豚の鳴き声でしょうか？もうそれを知る方法はありません) それから、二人はしばらく無言でいました。

La pobre criatura volvió a soltar un quejido (¿o acaso era un gruñido? Ya no había manera de saberlo) y prosiguieron los dos en silencio durante algún rato.

「主語」「動詞句」「目的語」

(¿o 「副詞」「動詞」「補語」 | 「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」)

y 「動詞」「主語」「副詞句」

La pobre criatura ラ・ポブレ・クリアトゥラ n.f 可愛そうな生き物は 「主語」

volvió a soltar ボリビョ・ア・ソルタル 3 単点・再度(volver a+不定詞 soltar)

v.t 再び放った 「動詞句」

un quejido ウン・ケヒト n.m うめき声を 「目的語」

(¿o オ conj. または

acaso アカソ adv. もしかすると 「副詞」

era エラ 3 単線・時制の一致・疑問文(ser)v.i 〜でしょうか？ 「動詞」

un gruñido ウン・グルニト n.m 豚の鳴き声 「補語」

Ya ヤー adv. もう 「副詞」

no había ノ・アビャ 3 単線・時制の一致・否定・存在(haber)v.t 〜がない 「動詞句」

manera マネラ n.f 方法 「目的語」

de saberlo テ・サベル・ロ 不定詞・目的 adv. 知るための 「副詞句」

y イ conj. そして

prosiguieron プロシグエロン 3 複点・継続(proseguir)v.i(en を) 継続した 「動詞」

los dos ロス・トス pl.pron 二人は 「主語」

en silencio エン・シレンシオ adv. 無言で 「副詞句」

durante algún rato. ドゥランテ・アルグン・ラト adv. しばらくの間 「副詞句」

アリスが自問し始めるとすぐに：

Justo cuando Alicia comenzaba a preguntarse: 「副詞節」

Justo cuando フスト・クワント conj. 丁度〜した時に 「副詞節」

Alicia アリシア n.f アリスが 「主語」

comenzaba a preguntarse: コメンサバ・ア・プレグンタル・セ 3 単線・時制の一致・開始

(comenzar a+不定詞 preguntarse)v.pr 自問し始めた 「動詞句」

6 Cerdo y pimienta

「それで、この生き物を家に連れて戻ったらどうしたらいいだろう？」と思った時に、また鼻を鳴らすのが聞こえました。とても強烈だったので驚いてもう一度顔を確認しました。

«Y ahora, ¿qué voy a hacer con esta criatura cuando la lleve a casa?», oyó que gruñía de nuevo, pero tan violentamente que volvió a examinarle la cara, bastante alarmada.

《Y「目的語」「動詞句」「副詞句」》,

「動詞」「目的語」,pero「副詞句」que「動詞句」「目的語」「副詞句」

«Y イ conj. そして

ahora, アウ adv. 今度は、今 「副詞」

¿qué ケ pron 何を 「目的語」

voy a hacer ボイ・ア・アセル 1 単現・近接未来(ir a+不定詞 hacer)v.t する 「動詞句」

con esta criatura コン・エスタ・クリアトゥラ adv. この生き物に 「副詞句」

cuando クント conj. ～する時に 「副詞節」

la ラ pron (criatura の代用) これを 「目的語」

lleve ジェベ 接・1 単現・仮定(llevar)v.t 連れて行く 「動詞」

a casa?», ア・カサ adv. 家に 「副詞句」

oyó オ 3 単点(oír)v.t 聞こえた 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

gruñía グルニア 3 単線・時制の一致(gruñir)v.i 鳴く 「動詞」

de nuevo, デ・ヌエボ adv. また、再び 「副詞句」

pero ペロ conj. しかし

tan violentamente タン・ビオレンタメンテ adv. とても強烈に 「副詞句」

que ケ conj. (結果) それで～する

volvió a examinarle ボルビョ・ア・エクサミナルレ 3 単点・再度(volver a+不定詞 examinar+le)

v.t また確認した 「動詞句」

la cara, ラ・カラ n.f 顔を 「目的語」

bastante alarmada. バスタンテ・アラールマダ 過去分詞・受動 adv. ものすごく驚いて 「副詞句」

こんどこそ、何の疑いも入る余地はありません：まさに子豚そのものです！それで、アリスはそれをだっこし続けていることはまったく馬鹿げていると思いました。

Ahora sí que no cabía la menor duda: ¡no era ni más ni menos que un cerdito! Y a Alicia le pareció bastante absurdo continuar llevándolo en brazos 注 14.

Ahora sí que 「動詞句」「主語」:

「動詞句」「副詞句」「補語」 | Y「間接目的語」「動詞」「補語」「主語」

Ahora sí que +直説法 アウ・シ・ケ conj. こんど「主語」こそ～

no cabía ノ・カビャ 3 単線・否定・時制の一致(caber)v.i 入り得ない 「動詞句」

la menor duda: ラ・メノール・ドゥダ n.f 少しの疑いも～ない 「主語」

6 Cerdo y pimienta

¡no era ノ・エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった 「動詞句」

no は虚辞

Ni padre ni madre tengo. 私には父も母もいない。→ No tengo (ni) padre ni madre.

ni más ni menos que ニ・マス・ニ・メノス adv. まさに 「副詞句」

un cerdito! ウン・セルデイト n.m 子豚 「補語」

Y イ conj. そして

a Alicia le ア・アリシア・レ pron アリスにとって 「間接目的語」

pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i 〜に思われた 「動詞」

bastante absurdo バスタンテ・アプスルト adj. まったく馬鹿げた 「補語」

continuar llevándolo コンチヌアル・ジェバント・ロ 不定詞(continuar+現在分詞 llevando+lo)

v.t それを持ち続けることは 「主語」

en brazos 注 14. エン・ブラソス adv. 両腕に 「副詞句」



それで、その生き物を地面に置くと、いきなり森に向かって歩き出して、すぐに森の中へ入って行ったのを見て、アリスはかなり気が楽になった。

Así pues, lo colocó en tierra, y se sintió muy aliviada al ver que trotaba sin más hacia el bosque, donde se adentró al poco. 「副詞句」

Así アシ adv. それで 「副詞」

pues, プエス conj (理由) 〜なので 「副詞節」

lo ロ pron その生き物を 「目的語」

colocó ココロ 3 単点(colocar)v.t 置いた 「動詞」

en tierra, エン・チエラ adv. 地面の上に 「副詞句」

y イ conj. そして

6 Cerdo y pimienta

se sintió セ・シチオ 3 単点(sentirse)v.pr (自分が) ～と感じた 「動詞句」

muy aliviada ムイ・アリビアダ 過去分詞(aliviar).adj.f かなり気が楽になった 「補語」

al +不定詞 アル 不定詞・原因.adv. ～して 「副詞句」

ver ベール 不定詞 v.t 見る 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

trotaba トロタバ 3 単線(trotar)

v.i (急いで) 歩いて行った 「動詞」

sin más シン・マス adv. いきなり、理由もなく 「副詞句」

hacia el bosque, アシア・エル・ボスケ adv. 森の方へ 「副詞句」

donde トンデ adv. そこに 「副詞」

se adentró セ・アデントロ 3 単点(adentarse)

v.pr 入り込んだ 「動詞句」

al poco. アル・ポコ adv. すぐに 「副詞句」

「もし、これが成長したとしたら」と、アリスは思った。「とんでもなく見にくい子供になったでしょうね、でも豚としてなら、とてもハンサムという事になるだろうと思う」

«Si hubiera crecido, se dijo Alicia, se habría convertido en un niño espeluznantemente feo; pero, en cambio, como cerdo me parece que resultará bien hermoso.»

《「副詞節」》, 「動詞句」「主語」,

《「動詞句」「補語」; pero 「副詞句」「間接目的語」「動詞」「主語」》

«Si シ conj. (仮定) もし～ならば 「副詞節」

hubiera crecido ウビエラ・クレシト 接・3 単過・完了形(crecer)

v.i 成長したとしたら 「動詞句」

-se dijo セ・ディホ 3 単点(decirse)v.pr 思った 「動詞句」

Alicia-, アリシア n.f アリスは 「主語」

se habría convertido セ・アブラリア・コンベルチト 3 単過未・完了形・推量(convertirse)

v.pr(en に) 変わってしまっただろう 「動詞句」

en un niño エン・ウン・ニーニョ adv. 子供に 「補語」

espeluznantemente feo; エスペルスナンテメンテ・フェオ

adj. 身の毛のよだつほど醜い 「形容詞句」

espeluznante エスペルスナンテ adj. 身の毛のよだつような

espeluznantemente エスペルスナンテメンテ adv. 身の毛のよだつほど

pero, ペロ conj. しかし

en cambio, エン・カンビオ adv. その代わり 「副詞句」

como cerdo コモ・セルト adv. (条件) 豚としてなら 「副詞句」

me メ pron 私には 「間接目的語」

6 Cerdo y pimienta

parece パレセ 3 単現(parecer)v.i	～と思われる	「動詞」
que ケ conj.	～ということが	「主語」
resultará レスルタラ 3 単未(resultar)v.i	～の結果になるだろう	「動詞」
bien hermoso.》 ビエン・エルモソ adj.	とてもハンサムな	「補語」

そしてこの結果から、アリスが知っている子供たち全部の中で、豚に変わった方が似合いそ
うな子たちを考え始め、そして思いました。

Y con esta conclusión se puso a pensar en todos los niños a los que sabía que les sentaría bien convertirse en lechones; y se decía:

Y 「副詞句」「動詞句」「副詞句」「間接目的語」; y 「動詞句」

Y イ conj. そして

con esta conclusión コン・エスタ・コンクルシオン adv. この結果によって 「副詞句」

se puso a pensar セ・プリア・ペンサル 3 単点・開始(ponerse a+不定詞 pensar)

vt(que) を考え始めた 「動詞句」

en todos los niños エン・トドス・ロス・ニノス adv. 子供たち全部の中で 「副詞句」

a los que sabía ア・ロス・ケ・サビア pron アリスが知っている人たちのことを 「間接目的語」

que ケ pron.pl (los の代用) ～する 「形容詞節」

les レス pron.pl 彼らにとって 「間接目的語」

sentaría bien センタア・ビエン 3 単過未・推量(sentar)

v.i 似合うだろう 「動詞句」

Esta falda te sienta mal. このスカートは君には似合わない。

convertirse コンベルtirセ 不定詞

v.pr (en 別のもの) 変わることは 「主語」

en lechones; エン・レチョネス adv. 豚に 「間接目的語」

y イ conj. そして

se decía: セ・デシア 3 単線(decirse)v.pr 思った 「動詞句」

「もしそれを上手くやる方法さえ分かったら！」と思った時、彼女がいた所から数メートル
離れた木の枝にチェシャねこが座っているのを見てアリスは少し驚きました。

«Si tan sólo se supiera la manera de lograrlo!», cuando se sobresaltó un tanto al ver al Gato de Cheshire posado sobre la rama de un árbol a unos cuantos metros de donde ella estaba.

《「副詞節」》, cuando 「動詞句」「副詞句」

«Si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

tan sólo タン・ソロ adv. ただ～だけ 「副詞句」

se supiera セ・スピア 接・3 単過(saberse)v.pr 分かった 「動詞句」

la manera ラ・マネラ n.f 方法が 「目的語」

6 Cerdo y pimienta

de lograrlo!», デ・ロガール・ロ

adj. (目的) それを上手くやるための 「形容詞句」

cuando クワント conj. その時～する

se sobresaltó セ・ソブレサルト 3 単点(sobresaltarse)v.pr ビックリした、驚いた 「動詞句」

un tanto ウン・タント adv. やや、少し 「副詞句」

al ver アル・ベール 不定詞・原因 v.t ～を見て 「副詞句」

al Gato アル・ガト adv. ネコを 「目的語」

de Cheshire デ・チェシャー adj. チェシャーの 「形容詞句」

posado ポ・サト 過去分詞(posar)adj. とまった、座った 「形容詞句」

sobre la rama ソブレ・ラ・マ adv. 枝の上に 「副詞句」

de un árbol デ・ウン・アルボル adj. 木の 「形容詞句」

a unos cuantos metros ア・ウンス・クワントス・メトрос adv. 数メートルの所に 「副詞句」

de donde ella estaba. デ・ドンデ・エジャ・エスタバ

adv. 彼女がいた所から 「副詞句」

ネコはアリスを見て笑いました。

El Gato sonrió al ver a Alicia. 「主語」「動詞」「副詞句」

El Gato エル・ガト n.m ネコは 「主語」

sonrió ソリオ 3 単点(sonreír)v.i 笑った 「動詞」

al ver アル・ベール 不定詞・原因 v.t ～を見て 「副詞句」

a Alicia. ア・アリシア n.f アリスを 「目的語」

al +不定詞

原因や様態を表す 「～をして、～をした時」

この猫は性格が良さそうだ、とアリスは思いました；それでも、とても長い爪や、とても沢山の歯もあったので、失礼のないように対応した方がよいだろうと思いました。

Parecía tener buen carácter, consideró Alicia; pero también tenía unas uñas muy largas y un gran número de dientes, de forma que pensó que convendría tratarlo con el debido respeto. 「動詞句」「目的語」, 「動詞」「主語」; pero 「副詞」「動詞」「目的語」,

de forma que 「動詞」「目的語」

Parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i(+不定詞) ～するように見えた 「動詞句」

tener テネル 不定詞 v.t (特徴を) している 「動詞句」

buen carácter, ブエン・カラクテル n.m 良い性格 「目的語」

consideró コンシデロ 3 単点(considerar)v.t 思った 「動詞」

Alicia; アリシア n.f アリスは 「主語」

pero ペロ conj. しかし

6 Cerdo y pimienta

- también タンビエン adv. 〜もまた 「副詞」
- tenía テニア 3 単線(tener)v.t. 〜があった 「動詞」
- unas uñas ウナス・ウニャス pl(uña).n.f. いくつかの爪 「目的語」
- muy largas マイ・ラルガス adj. とても長い 「形容詞句」
- y イ conj. そして
- un gran número de dientes, ウン・グラン・ヌメロ・デ・デ・イエンテス
pl(diente)n.m. とても沢山の歯 「目的語」
- de forma que +直説法 デ・フォルマ・ケ conj. (結果) そのため、それで
de forma que +接続法 (目的) 〜するように
- Hazlo de forma que no se entere. 彼に気付かれないようにやりなさい。
- pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.t (+que 〜と) 思った、考えた 「動詞」
- que ケ conj. 〜ということを 「目的語」
- convendría tratarlo コンベンドリャ・トラタル・ロ 3 単過未・推量(convenir+不定詞 tratar+lo)
v.t. ネコに対応した方が良さだろう 「動詞句」
- con el debido respeto. コン・ネル・デビト・レスペト
adv. (手段) 然るべき敬意をもって 「副詞句」
- debido デビト adj. しかるべき、当然の respeto レスペト n.m. 尊敬、敬意



6 Cerdo y pimienta

「チェシャの子猫ちゃん」と、遠慮がちに声を掛けました。この可愛らしい呼び名を気に入ってくれるかどうか自信がなかったからです。しかしネコはさらに笑い続けました。

-Minino de Cheshire empezó algo tímidamente, pues no estaba del todo segura de que le fuera a gustar el cariñoso tratamiento; pero el Gato siguió sonriendo más y más.

《「呼びかけ」》, 「動詞」「副詞句」, 「副詞節」; pero 「主語」「動詞句」「副詞句」

-Minino ミニノ n.m 子猫ちゃん 「呼びかけ」

de Cheshire デ・チェシレ adj. チェシャの 「形容詞句」

-empezó エンペゾ 3 単点・開始(empezar)v.i.(a+不定詞) (声をかけ) 始めた 「動詞」

algo tímidamente, チミダメンテ adv. 少しおずおずと、遠慮がちに 「副詞句」

pues プエス conj. (理由) ~なので 「副詞節」

no estaba ノ・エスタバ 3 単線・否定(estar)v.i ~でなかった 「動詞句」

del todo segura デル・トド・セグラ adj.(de) (を) 確信した 「補語」

de que+接続法 デ・ケ adv. ~するだろうかということに 「副詞節」

「確信」に導かれる節は接続法を使用する

le レ pron シェシャねこにとって 「間接目的語」

fuera a gustar フェア・ア・グスタル 接・3 単過・近接未来(ir a+不定詞 gustar)

v.i 気に入るだろう 「動詞句」

el cariñoso エル・カニコソ adj. 可愛らしい、優しい 「形容詞句」

tratamiento; トラタメント n.m 呼び名、敬称は 「主語」

pero ペロ conj. しかし

el Gato エル・ガト n.m ネコは 「主語」

siguió sonriendo シギョ・ソリエント 3 単点・継続(seguir+現在分詞 sonreír)

v.i 笑い続けていた 「動詞句」

más y más. マス・イ・マス adv. さらに 「副詞句」

「わあ！気に入っているみたいだわ」と、アリスは思いました。それで続けて言いました：「お願いします、教えていただけますか？私はここからどっちへ行ったら良いですか？」

«¡Vaya! Parece que le va gustando», pensó Alicia, y continuó: «Me podrías indicar, por favor, hacia dónde tengo que ir desde aquí»?

《「感嘆」「動詞」「主語」》, 「動詞」「主語」, y 「動詞」:

《「間接目的語」「動詞句」「副詞句」, 「副詞句」「動詞句」「副詞句」》

«¡Vaya! バヤ int. (驚き) わあ 「感嘆」

Parece パレセ 3 単現(parecer)v.i ~のように見える 「動詞」

que ケ conj. ~ということ 「主語」

le レ pron 彼にとって 「間接目的語」

va gustando», バ・グスタント 3 単現・進行形(ir+現在分詞)

6 Cerdo y pimienta

v.i 気に入っている	「動詞句」
pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.i 思った	「動詞」
Alicia, アリシア n.f アリスは	「主語」
y イ conj. そして	
continuó: コンチヌオ 3 単点(continuar)v.i 続けた	「動詞」
¿Me メ pron 私に	「間接目的語」
podrías indicar, ポドリアス・インディカール 2 単過未・丁寧な依頼(poder+不定詞 indicar)	
v.t 教えていただけませんか	「動詞句」
por favor, ポル・ファボール adv. どうぞ	「副詞句」
hacia dónde アシア・ドンデ adv. どちらの方へ	「副詞句」
tengo que ir テンゴ・ケ・イール 1 単現・必要(tener que+不定詞 ir)	
v.i 行かなければならない	「動詞句」
desde aquí? デステ・アキ adv. ここから	「副詞句」

「それは、あんたがどこへ行きたいか次第だよ」と、ネコは答えた。

-Eso depende de adonde quieras llegar -contestó el Gato.

《「主語」「動詞」「間接目的語」》, 「動詞」「主語」

-Eso エソ pron それは	「主語」
depende デペンデ 3 単現(depender)v.i(de に) よる、～次第だ	「動詞」
de adonde デ・アドンデ adv. (目的地) どこに～するかということ	「間接目的語」
quieras llegar キエラス・ジェガール 2 単現・願望(querer+不定詞)	
v.i ～に着きたい、行きたい	「動詞句」
-contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた	「動詞」
el Gato. エル・ガト n.m ネコは	「主語」

「特別どこかへ行きたいということはないの」と、アリスは説明を始めた。

-A mí no me importa demasiado adonde... -empezó a explicar Alicia.

《「間接目的語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「主語」》, 「動詞句」「主語」

-A mí ア・ミ pron 私としては	「間接目的語」
no ...importa ノ...インポルタ 3 単現・否定(importar)v.i 重要ではない	「動詞句」
me メ pron 私には	「間接目的語」
demasiado デマシアト adv. (否定文で) あんまり～ない	「副詞」
adonde... アドンデ adv. どこへ行きたいかということ	「主語」
-empezó a explicar エンペゾ・ア・エクスプリカル 3 単点・開始(empezar a+不定詞)	
v.t 説明し始めた	「動詞句」
Alicia. アリシア n.f アリスは	「主語」

6 Cerdo y pimienta

「それなら、どちらへ行こうが同じことだ」と、ネコが割り込みました。「それでも、どこかへは着きたいんです」と、アリスは説明するように付け加えて話を終えた。

-En ese caso, da igual hacia adonde vayas -interrumpió el Gato. siempre que llegue a alguna parte -terminó Alicia a modo de explicación.

《「副詞句」, 「動詞句」「主語」》, 「動詞」「主語」,

《「副詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

-En ese caso, エン・エ・カ adv. それなら、その場合には 「副詞句」

da igual ダ・イグアル 3 単現(dar igual)v.t (+接続法) 同様である、同じこと 「動詞句」

hacia adonde アシア・アドンデ adv. 方向へ～することは 「主語」

vayas バヤス 接・2 単現・假定(ir)v.i 進むとしても 「動詞」

-interrumpió インテルピオ 3 単点(interrumpir)v.t の話を遮った 「動詞」

el Gato. エル・ガト n.m ネコは 「主語」

siempre シエンプレ adv. それでも、とにかく 「副詞」

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

前の文のアリスの説明の続き。

llegue ジェグ 接・3 単現・願望(llegar)v.i(a に) 着きたい 「動詞」

a alguna parte ア・アルグナ・パルテ adv. どこかへ 「副詞句」

-terminó テルミノ 3 単点(terminar)v.t (話を) 終えた 「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

a modo de explicación. ア・モト・デ・エクスプリカシオン adv. (様態) 説明のように 「副詞句」

a modo de ア・モト・デ 「～のように、～に似た」

「ああ！それでもどこかへは着くよ。たっぷり歩けば」と、ネコは言った：

アリスはその通りだと思ったので、別の質問を試してみた。

-¡Oh! Siempre llegarás a alguna parte -dijo el Gato-, si caminas lo bastante 注 15.

A Alicia le pareció que esto era innegable, de forma que intentó preguntarle algo más:

《「感嘆」「副詞」「動詞」「間接目的語」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞節」》

「間接目的語」「動詞」「主語」, 「副詞節」:

-¡Oh! オー int. ああ 「感嘆」

Siempre シエンプレ adv. とにかく、それでも 「副詞」

llegarás ジェガラス 2 単末(llegar)v.i(a に) 着くだろう 「動詞」

a alguna parte ア・アルグナ・パルテ adv. どこかに 「間接目的語」

-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

el Gato-, エル・ガト n.m ネコは 「主語」

6 Cerdo y pimienta

si シ conj. (仮定) もし～ならば	「副詞節」
caminas カミナス 2 単現(caminar)v.i 歩けば	「動詞」
lo bastante 注 15. ロ・バスタンテ adv. 十分に	「副詞句」
A Alicia le ア・アリシア・レ pron アリスには	「間接目的語」
pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i ～に思われた	「動詞」
que ケ conj. ～ということが	「主語」
esto エスト pron これは	「主語」
era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である	「動詞」
innegable, イネガブレ adj. 明白な、否定できない	「補語」
de forma que +直説法 テ・フォルマ・ケ conj. (結果) そのため...	「副詞節」
intentó preguntarle インテント・プレグンタル 3 単点・試行(intentar+不定詞 preguntar+le)	
v.t 彼に質問してみた	「動詞句」
algo más: アルゴ・マス pron. 何か別の事を	「目的語」

「この辺りには、どんな人が住んでいるのですか？」

-¿Qué clase de gente vive por estos parajes?	《「主語」「動詞」「副詞句」》
-¿Qué clase de ケ・クラセ・デ adj. どんな種類の	「形容詞句」
gente ヘンテ n.f 人々が	「主語」
vive ビベ 3 単現(vivir)v.i 住んでいる	「動詞」
por estos parajes? ポル・エストス・パラヘス adv. この辺りには	「副詞句」
por ポル prep (空間) ～のあたりに paraje パラヘ n.m 場所	

「そっちの方には」と、ネコは足を右側に向けて答えた。「帽子屋が住んでいる；そしてあっちの方には」と、もう一方の足を向けながら続けて言った。「三月ウサギが住んでいる」

-Por ahí contestó el Gato volviendo una pata hacia su derecha-, vive un sombrerero; y por allá continuó volviendo la otra pata-, vive una liebre de marzo.

《「副詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 《「動詞」「主語」; y 「副詞句」》, 「動詞」「副詞句」, 《「動詞」「主語」》

-Por ahí ポル・アイ adv. そっちの方には	「副詞句」
-contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた	「動詞」
el Gato エル・ガト n.m ネコは	「主語」
volviendo ボルビエント 現在分詞・同時(volver)adv. 向けながら	「副詞句」
una pata ウナ・パタ n.f 足を	「目的語」
hacia su derecha-, アシア・ステレチャ adv. (方向) 右側に	「副詞句」
vive ビベ 3 単現(vivir)v.i 住んでいる	「動詞」
un sombrerero; ウン・ソンブレロ n.m 帽子屋が	「主語」

6 Cerdo y pimienta

y	イ conj.	そして	
por allá	ポル・アジャ	adv. あっちの方には	「副詞句」
-continuó	コンチヌオ	3 単点(continuar)v.t 続けた	「動詞」
volviendo	ボルビェント	現在分詞・同時(volver)adv. 向けながら	「副詞句」
la otra pata	ラ・オトラ・パタ	n.f 別の足を	「目的語」
vive	ビベ	3 単現(vivir)v.i 住んでいる	「動詞」
una liebre	ウナ・リエブレ	n.f 野ウサギが	「主語」
de marzo	デ・マル	adj. 三月の	「形容詞句」

「好きなほうに会いに行ったらいいよ：どっちも間違いだけど」

Visita al que te plazca: ambos están igual de locos 注 16.

《「動詞」「目的語」：「主語」「動詞」「補語」》

Visita	ビシタ	命・2 単現・助言(visitar)v.t 会いに行けばよい	「動詞」
al que	アル・ケ	pron その者に	「目的語」
te	テ	pron 君にとって	「間接目的語」
plazca	プラスカ	接・3 単現(placer)v.i 気に入る	「動詞」
ambos	アンボス	pron.pl どちらも	「主語」
están	エスタン	3 複現(estar)v.i ~である	「動詞」
igual de locos	注 16. イグアル・デ・ロコス	adj. 同じ位気が狂った	「補語」
igual de+形容詞・副詞 「同じ位...」(同等比較)			

「でも、間違いの居る所には行きたくないんですけど」と、アリスは言った。

-Pero es que a mí no me gusta estar entre locos -observó Alicia.

《Pero es que 「間接目的語」「動詞句」「主語」》, 「動詞」「主語」

-Pero	ペロ conj.	しかし	
es que	エス・ケ conj.	実は	
a mí	ア・ミ	pron 私は	「間接目的語」
no me gusta	ノ・メ・グスタ	3 単現・否定(gustar)v.i 気に入らない	「動詞句」
estar	エスター	不定詞 v.i 居ることは、行くことは	「主語」
entre locos	エントレ・ロコス	adv. 間違いの所に	「間接目的語」
-observó	オブセルボ	3 単点(observar)v.t 指摘した、言った	「動詞」
Alicia	アリシア	n.f アリスは	「主語」

6 Cerdo y pimienta

「それは避けられないよ」と、ネコが答えた。「この辺りじゃ、俺たちは皆キチガイさ；俺もキチガイだし、あんただってキチガイだよ」

-Eso sí que no lo puedes evitar -repuso el Gato-; todos estamos locos por aquí. Yo estoy loco; tú también lo estás.

《「主語」「補語」「主語」》, 「動詞」「主語」,

《「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「補語」; 「主語」「補語」「動詞」》

-Eso エソ pron それは 「主語」
 sí シ adv. (肯定の強調) 確かにそうだ 「補語」
 que ケ conj. ～ということは 「主語」
 no ...puedes evitar ノ...プ エデス・エビタル 2 単現・可能・否定(poder+不定詞)
 v.t 避けることはできない 「動詞句」
 lo ロ pron それを 「目的語」
 -repuso レプソ 3 単点(reponer)v.t 答えた、返事した 「動詞」
 el Gato- エル・ガト n.m ネコは 「主語」
 todos トス pron 我々は皆 「主語」
 estamos エスタモス 1 複現(estar)v.i ～である 「動詞」
 locos ロコス adj(loco).pl キチガイ 「補語」
 por aquí. ポ・ラキ adv. この辺りじゃ 「副詞句」
 Yo ジョ pron 俺は 「主語」
 estoy エストイ 1 単現(estar)v.i ～である 「動詞」
 loco; ロ adj. キチガイ 「補語」
 tú トゥ pron あんたは 「主語」
 también lo タビエン・ロ adj. 同様にきちがい 「補語」
 estás. エスタス 2 単現(estar)v.i ～である 「動詞」

「それじゃあ、どうして私が気違いかどうか分かるの？」と、アリスはネコに尋ねた。

-Y ¿cómo sabes tú si yo estoy loca? -le preguntó Alicia.

《Y 「副詞」「動詞」「主語」「目的語」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」

-Y イ conj. それじゃあ
 ¿cómo コモ adv. どうやって 「副詞」
 sabes サベス 2 単現(saber)v.t 分かる 「動詞」
 tú トゥ pron あなたは 「主語」
 si シ conj. ～かどうかということを 「目的語」
 yo ジョ pron 私が 「主語」
 estoy エストイ 1 単現(estar)v.i ～である 「動詞」
 loca? ロカ adj(loco).f キチガイ 「補語」

6 Cerdo y pimienta

-le レ pron ネコに 「間接目的語」
 preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.i 尋ねた 「動詞」
 Alicia. アリシア n.f アリスは 「主語」

「あんたは絶対キチガイだよ」と、ネコはアリスに答えた。「さもないとここには来なかっただろう」

-Has de estarlo a la fuerza -le contestó el Gato-, de lo contrario no habrías venido aquí.

《「動詞句」「副詞句」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」, 《「副詞句」「動詞句」「副詞」》

-Has de estarlo アス・デ・エスター・ロ 2 単現・必要(haber de+不定詞 estar+lo)

v.i キチガイでなければならない 「動詞句」

haber de+不定詞 「～しなければならない」

a la fuerza ア・ラ・フエルサ adv. 絶対に、無理やり 「副詞句」

-le レ pron アリスに 「間接目的語」

contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた 「動詞」

el Gato-, エル・ガト n.m ネコは 「主語」

de lo contrario デ・ロ・コントラリオ adv. さもないと 「副詞句」

no habrías venido ノ・アブリアス・ベニド 2 単過未・完了形・否定(venir)

v.i 来なかったに違いない 「動詞句」

aquí. アキ adv. ここに 「副詞」

それは何の説明にもなっていないと思いましたが、とにかく続けます：

Alicia pensó que eso no probaba nada; pero continuó de todas formas:

「主語」「動詞」「目的語」; pero 「動詞」「副詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.t 思った 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

eso エソ pron それは 「主語」

no probaba ノ・プロババ 3 単線・否定・時制の一致(probar)

v.t 証明していない 「動詞句」

nada; ナダ pron 何も～ない 「目的語」

pero ペロ conj. しかし

continuó コンチヌオ 3 単点・時制の一致(continuar)v.i 続ける 「動詞」

de todas formas: デ・トダス・フォルマス adv. それでも、ともかく 「副詞句」

6 Cerdo y pimienta

「それじゃあ、どうしてあなたがキチガイだって分かるの？」

-¿Y <u>cómo</u> <u>sabes</u> <u>que</u> <u>tú</u> <u>estás</u> <u>loco</u> ?	《Y「副詞」「動詞」「目的語」》
-¿Y イ conj. そして	
cómo コモ adv. どうやって	「副詞」
sabes サベス 2 単現・疑問文(saber)v.t 分かるの？	「動詞」
que ケ conj. ～ということが	「目的語」
tú トゥ pron あなたが	「主語」
estás エスタス 2 単現(estar)v.i ～である	「動詞」
loco? ロコ adj. キチガイの	「補語」

「まずは」と、ネコは答えた。「犬はキチガイではない、これは合ってるかい？」

- <u>Para</u> <u>empezar</u> <u>-repuso</u> <u>el</u> <u>Gato</u> -, <u>los</u> <u>perros</u> <u>no</u> <u>están</u> <u>locos</u> , <u>¿de</u> <u>acuerdo</u> ?	《「副詞句」》, 「動詞」「主語」, 《「主語」「動詞」「補語」》, 「確認」》
-Para empezar パラ・エンパサル adv. まず最初に	「副詞句」
-repuso レプソ 3 単点(reponer)v.t 返事した、答えた	「動詞」
el Gato-, エル・ガト n.m ネコは	「主語」
los perros ロス・ペロス pl(perro).n.m 犬は	「主語」
no están ノ・エスタン 3 複現・否定(estar)v.i ～でない	「動詞句」
locos, ロコス adj(loco).pl キチガイの	「補語」
¿de acuerdo? デ・アクエルト adv. (確認) これで合っているか？	「確認」

「そうだろうと思います」と、アリスは言った。

- <u>Supongo</u> <u>que</u> <u>no</u> <u>-dijo</u> <u>Alicia</u> .	《「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」
-Supongo スポンゴ 1 単現(suponer)v.t 推定する、思う	「動詞」
que no ケ・ノ pron そうではない (犬は間違いではない)	「目的語」
否定の疑問文に対する賛成の返事	
-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
Alicia. アリシア n.f アリスは	「主語」

「さて、それでは」と、ネコは話を続けた。「犬は気に入らない時にはうなるし、嬉しい時には尻尾を振るよね？」

- <u>Bueno</u> , <u>pues</u> <u>entonces</u> <u>-continuó</u> <u>diciendo</u> <u>el</u> <u>Gato</u> -, <u>verás</u> <u>que</u> <u>los</u> <u>perros</u> <u>gruñen</u> <u>cuando</u> <u>algo</u> <u>no</u> <u>les</u> <u>gusta</u> , <u>y</u> <u>mueven</u> <u>la</u> <u>cola</u> <u>cuando</u> <u>están</u> <u>contentos</u> .	《「間投」》, 「動詞」「副詞」「主語」, 《「動詞」「目的語」》
-Bueno, ブエノ int. よろしい、さて	「間投」
pues entonces プエス・エントンス adv. それでは	「副詞句」

6 Cerdo y pimienta

-continuó	コンチヌオ 3 単点(continuar)v.i	続けた	「動詞」
diciendo	ディシエント 現在分詞・同時 adv.	話しながら	「副詞」
el Gato-	エル・ガト n.m	ネコは	「主語」
verás	ベラス 2 単未(ver)v.t (確認)	分かるだろう	「動詞」
que	ケ conj.	～ということを	「目的語」
los perros	ロス・ペロス pl(perro)n.m	犬は	「主語」
gruñen	グルニェン 3 複現(gruñir)v.i (犬が)	うなる	「動詞」
cuando	クワント conj.	～する時に	「副詞節」
algo	アルゴ pron	何か	「主語」
no ...gusta,	ノ...グスタ 3 単現・否定(gustar)v.i	気に入らない	「動詞句」
les	レス pron	彼らにとって	「間接目的語」
y	イ conj.	そして	
mueven	ムエベン 3 複現(mover)v.t	動かす	「動詞」
la cola	ラ・コラ n.f	尻尾を	「目的語」
cuando	クワント conj.	～する時に	「副詞節」
están	エスタン 3 複現(estar)v.i	～である	「動詞」
contentos.	コンテントス adj.pl	嬉しい	「補語」

「僕は反対に、嬉しい時にうなつて、腹をたてると尻尾を振る；従つて、僕はキチガイさ」

En cambio, yo gruño cuando estoy contento y muevo la cola cuando me enojo; luego estoy loco.

《「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞節」 y 「動詞」 「目的語」 「副詞節」 ;
luego 「動詞」 「補語」 》

En cambio,	エン・カンビオ adv.	それに引き換え、それとは反対に	「副詞句」
yo	ジョ pron	ぼくは	「主語」
gruño	グルニョ 1 単現(gruñir)v.i	うなる	「動詞」
cuando	クワント conj.	～する時に	「副詞節」
estoy	エストイ 1 単現(estar)v.i	～である	「動詞」
contento	コンテント adj.	うれしい	「補語」
y	イ conj.	そして	
muevo	ムエボ 1 単現(mover)v.t	動かす	「動詞」
la cola	ラ・コラ n.f	尻尾を	「目的語」
cuando	クワント conj.	～する時に	「副詞節」
me enojo;	メ・エノホ 1 単現(enojarse)v.pr	腹を立てている	「動詞句」
luego	ルエゴ conj.	したがって	
estoy	エストイ 1 単現(estar)v.i	～である	「動詞」
loco.	ロコ adj.	キチガイ	「補語」

6 Cerdo y pimienta

「でもそれはうなってんじゃなくて、喉を鳴らしてるんでしょ」と、アリスは言い返した。

-Pero si eso no es gruñir, sino ronronear -protestó Alicia.

《Pero si 「主語」「動詞句」「補語」,sino 「補語」「動詞」》, 「動詞」「主語」

-Pero へロ conj. しかし

si シ conj. (反論) ～ではない

eso エソ pron それは 「主語」

no es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ～でない 「動詞句」

gruñir, グルニール 不定詞 n. うなること 「補語」

sino シノ conj. そうではなくて～

ronronear ロンロネール 不定詞 n. 喉を鳴らしていること 「補語」

-protestó プロテスト 3 単点(protestar)v.i 反対した 「動詞」

Alicia. アリシア n.f アリスは 「主語」

「好きなように言いなさい！」と、ネコは言い返した。「今日は女王様とクロッケーをするのかい？」

-¡Llámallo como quieras! -replicó el Gato-. ¿Vas a jugar hoy al croquet con la Reina?

《「動詞句」「副詞節」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」「副詞」「間接目的語」「副詞句」》

-¡Llámallo ジャマ・ロ 命・2 単現(llamar+lo)v.t それを呼びなさい 「動詞句」

como コモ conj. (様態) ～のように 「副詞節」

quieras! キエラス 2 単現(querer)v.t 好む、望む 「動詞」

-replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.t 言い返した 「動詞」

el Gato-. エル・ガト n.m ネコは 「主語」

¿Vas a jugar バス・ア・フガール 2 単現・近接未来・疑問文(ir a+不定詞 jugar)

v.i(a+ゲーム) ～をすることなの? 「動詞句」

hoy オイ adv. 今日は 「副詞」

al croquet アル・クロケット adv. クロッケーを 「間接目的語」

con la Reina? コン・ラ・レイナ adv. 女王様と 「副詞句」

「できれば、喜んでやりたいけど」と、アリスは答えた。「でもまだ招待されてないの」

-Lo haría con mucho gusto -contestó Alicia-; sólo que todavía no me han invitado.

《「目的語」「動詞」「副詞句」》, 「動詞」「主語」, 《sólo que 「副詞」「動詞句」「目的語」》

-Lo ロ pron (croquet の代用) それを 「目的語」

haría アリア 1 単過未・願望(hacer)v.t できればやりたいのだが 「動詞」

con mucho gusto コン・ムチョ・グスト adv. 喜んで 「副詞句」

-contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた 「動詞」

6 Cerdo y pimienta

Alicia-; アリシア n.f	アリスは	「主語」
sólo que ソロ・ケ conj.	～以外で、ただ～	
todavía トダ・ビヤ adv.	まだ～ない	「副詞」
no ...han invitado. ノ...アン・インビタド 3 複現・完了形(invitar)v.t	招待していない	「動詞句」
me メ pron	私を	「目的語」
受動態に翻訳する		

「そこでまた僕に会えるよ」と、ネコは言った。それからその場から姿を消した。

-Ahí me volverás a ver -dijo el Gato, y desapareció en el acto.

《「副詞」「目的語」「動詞句」》, 「動詞」「主語」, y 「動詞」「副詞句」		
-Ahí アイ adv.	そこで	「副詞」
me メ pron	ぼくに	「目的語」
volverás a ver ボルベラス・ア・ベール 2 単未・再度(volver a+不定詞 ver)		
v.t	また会うだろう	「動詞句」
-dijo デイホ 3 単点(decir)v.t	言った	「動詞」
el Gato, エル・ガト n.m	ネコは	「主語」
y イ conj.	そして	
desapareció デサパレシオ 3 単点(desaparecer)v.i	姿を消した	「動詞」
en el acto. エン・エル・アクト adv.	即座に、その場で	「副詞句」

アリスはこの事に全く驚きませんでした。というのは、いろんな奇妙な事がアリスに起こることにもうすっかり慣れてしまったからです。しかし、ネコがいたほうをまだ見ていると、また突然現れたのです。

Esto no sorprendió nada a...Alicia, que estaba ya acostumbrándose bastante a que le sucedieran toda clase de cosas raras; pero mientras aún continuaba mirando hacia donde había estado, el Gato reapareció de golpe.

「主語」「動詞句」「目的語」, que 「動詞」「補語」; pero 「副詞節」, 「主語」「動詞」「副詞句」		
Esto エスト pron	この事は	「主語」
no sorprendió nada ノソルプレニディオ・ナダ 3 単点・否定(sorprender)		
v.t	全く驚かせなかった	「動詞句」
nada ナダ adv.	全く～ない	
a Alicia, ア・アリシア adv.	アリスを	「目的語」
que ケ conj.	(原因・理由) ～だから	
estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i	～だった	「動詞」
ya ヤー adv.	もう	「副詞」
acostumbrándose アコストウンブラントセ 現在分詞(acostumbrarse)adj.	慣れた	「補語」

6 Cerdo y pimienta

bastante バスタンテ adv. 十分に、かなり、すっかり	「副詞」
a que ア・ケ pron 〜するものに	「間接目的語」
le レ pron 彼女に	「間接目的語」
sucedieran スエデ`イェラン 接・3 複過(suceder)	
v.i 起こった	「動詞」
toda clase de cosas トダ`クラセ・デ`コサス	
pl(cosa).n.f いろんな事が	「主語」
raras; ララス adj. 奇妙な	「形容詞」
pero ヘ`ロ conj. しかし	
mientras ミェントラス conj. 〜している間	「副詞節」
aún アウン adv. さらに、もっと	「副詞」
continuaba mirando コンチヌアバ`ミラント` 3 単線・継続(continuar+現在分詞)	
v.t 見続けていた	「動詞句」
hacia donde アシア`ドンテ` adv. 〜する方を	「副詞句」
había estado, アビ`ア`エスタト` 3 単線・完了形・存在(estar)v.i 〜がいた	「動詞句」
el Gato エル`ガト n.m ネコが	「主語」
reapareció レア`ペ`レシオ 3 単点(reaparecer)v.i また現れた	「動詞」
de golpe. デ`ゴルペ` adv. 突然	「副詞句」

「ところで、あの赤ん坊はどうなった？」と、ネコが尋ねた。「聞くのを忘れるとこだった」

-A propósito, ¿qué le pasó al niño? -interrogó el Gato-. Casi me olvido de preguntártelo.

《「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞」「間接目的語」》,

「動詞」「主語」, 《「副詞」「動詞句」》

-A propósito, ア`プ`ロ`ポシト adv. (話題転換) ところで、適した、わざと	「副詞句」
¿qué ケ pron 何が	「主語」
le レ pron それに	「間接目的語」
pasó パ`ソ 3 単点(pasar)v.i 起こった	「動詞」
al niño? アル`ニーニョ adv. 赤ん坊に	「間接目的語」
-interrogó インテロゴ` 3 単点(interrogar)v.t 尋ねた	「動詞」
el Gato-. エル`ガト n.m ネコは	「主語」
Casi カシ adv. ほとんど、もう少しで〜するところだった	「副詞」
me olvido メ`オルビト` 1 単現(olvidarse)v.pr(de+不定詞) 〜するのを忘れる	「動詞句」
de preguntártelo. デ`オルビ`ダール`テ`ロ 不定詞(preguntár+te+lo)	
v.t あんたにそれを聞くのを	「動詞句」

6 Cerdo y pimienta

「豚になっちゃった」と、アリスはネコがまた戻ってきたことが至極当然のことだったかの
ように、落ち着き払って答えました。

-Se convirtió en un lechón, contestó Alicia tranquilamente, como si la reaparición del Gato hubiera sido la cosa más natural del mundo.

《「動詞句」「補語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

-Se convirtió セ・コンベルチオ 3 単点(convertirse)v.pr 〜に変わった、〜になった 「動詞句」

en un lechón エン・ヌン・レチョン adv. 豚に 「補語」

-contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた 「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

tranquilamente, トランキラメンテ adv. 落ち着いて、平静に 「副詞」

como si コモ・シ conj. まるで〜のように 「副詞節」

la reaparición ラ・レアパリシオン n.f 再現、出戻りは 「主語」

del Gato デル・ガト adj. ネコの 「形容詞句」

hubiera sido ウィエラ・シト 接・3 単過・完了形・推量(ser)v.i 〜であった 「動詞句」

la cosa ラ・コサ n.f 事 「補語」

más natural del mundo. マス・ナトゥラル・デル・モント adj. 至極当然の 「形容詞句」

natural ナトゥラル adj. 当然の del mundo デル・モント adv. この世で、(強調) 全く

「そうだろうと思った」と、ネコは言って、また姿を消した。

-Convencido estaba de que iba a terminar así, sentenció el Gato, y desapareció de nuevo.

《「補語」「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」, y 「動詞」「副詞句」

-Convencido コンベンシト adj.(de を) 確信した 「補語」

estaba エスタバ 1 単線・時制の一致(estar)v.i 〜である 「動詞」

de que デ・ケ adv. 〜することを 「副詞節」

iba a terminar イバ・ア・テルミナル 3 単線・近接未来・時制の一致(ir a+不定詞)

v.i 〜になるだろう 「動詞句」

así アシ adv. そんな風に 「副詞」

-sentenció センテンシアル 3 単点(sentenciar)v.t 言った 「動詞」

el Gato, エル・ガト n.m ネコは 「主語」

y イ conj. そして

desapareció デサパレシオ 3 単点(desaparecer)v.i 姿を消した 「動詞」

de nuevo. デ・ヌエボ adv. また 「副詞句」

6 Cerdo y pimienta

アリスは、またネコが現れるかもと期待して少し待っていましたが、現れないので、1 分ほどたってから、ネコが三月ウサギが住んでいると言っていた方向へ歩き出した。

Alicia esperó un poco, casi esperando volver a verlo; pero como no reapareció más, al cabo de un minuto o dos comenzó a caminar hacia donde le había dicho que vivía la Liebre de Marzo.

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
esperó エスぺロ 3 単点(esperar)v.t 待った 「動詞」
un poco, ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」
casi esperando カシ・エスぺラント 現在分詞 adv. ほとんど～を期待して 「副詞句」
volver a verlo; ボルバー・アル・ヴェール・ロ 不定詞・再度 v. またネコが見える 「目的語」
pero ペロ conj. しかし
como コモ conj. (理由) ～なので 「副詞節」
no reapareció ノ・レアペレシオ 3 単点・否定(reaparecer)v.i 再び現れなかった 「動詞句」
más, マス adv. もう 「副詞」
al cabo de un minuto o dos アル・カボ・デ・ウン・ミニート・オ・ドス adv. 1・2 分後に 「副詞句」
comenzó a caminar コメンソ・ア・カミナル 3 単点・開始(comenzar a+不定詞)
v.i 歩き出した 「動詞句」
hacia アシア prep (方向) ～の方へ 「副詞句」
donde トンデ adv. (～する) 場所 「副詞節」
le レ pron アリスに 「間接目的語」
había dicho アビ・ア・ディチョ 3 単線・完了形(decir)v.t 言っていた 「動詞句」
que ケ conj. ～ということを 「直接目的語」
vivía ビビ・ア 3 単線・時制の一致(vivir)v.i 住んでいる 「動詞」
la Liebre de Marzo. ラ・リエブレ・デ・マルソ n.f 三月ウサギが 「主語」

「帽子屋さんは、前に見たことがあるから」と、アリスは思った；「それなら、三月ウサギに会いに行く方が面白そうだわ；その上、今は 5 月だから、もしかするともう 3 月ほどひどい気違いじゃないかもしれないわね」

«Sombrereros ya he visto antes -se dijo Alicia-, de forma que me interesará mucho más ver a esa Liebre de Marzo; además, como estamos en mayo, a lo mejor ya no está chiflada... al menos no tanto como en marzo.»

《「目的語」「副詞」「動詞句」「副詞」》, 「動詞句」「主語」,
《de forma que 「間接目的語」「動詞」「副詞句」「主語」; 「副詞句」「動詞」「補語」》
«Sombrereros ソンブレロス pl(sombrerero).n.m 帽子屋さんは 「目的語」
ya ヤー adv. もう 「副詞」
he visto エ・ビスト 1 単現・完了形(ver)v.t 見たことがある 「動詞句」

6 Cerdo y pimienta

antes アンテス adv. 前に	「副詞」
-se dijo セ・ディヨ 3 単点(decirse)v.pr 思った	「動詞句」
Alicia-, アリシア n.f アリスは	「主語」
de forma que+直説法 テ・フォルマ・ケ conj. そのため～する	
me メ pron 私に	「間接目的語」
interesará インテラサ 3 単未(interesar)v.t 興味を抱かせるだろう	「動詞」
mucho más ムチョ・マス adv. ずっと	「副詞句」
ver ベール 不定詞 v.t 見ることは	「主語」
a esa Liebre de Marzo; ア・エサ・リエブレ・デ・マルツ n.f 三月ウサギを	「目的語」
además, アデマス adv. それに、その上	「副詞」
como コモ conj. (理由) ～なので	「副詞節」
estamos エスタモス 1 複現・存在(estar)v.i ～にいる	「動詞」
en mayo, エン・マヨ adv. 5 月に	「副詞句」
a lo mejor ア・ロ・メホル adv. もしかすると	「副詞句」
ya ヤー adv. もう	「副詞」
no está ノ・エスタ 3 単現・否定(estar)v.i ～でない	「動詞」
chiflada... チフラダ adj. 少し頭のおかしい	「補語」
al menos アル・メノス adv. 少なくとも	「副詞句」
no tanto como en marzo.» ノ・タント・コモ・エン・マルツ adj. 3 月ほどは酷くない	「補語」

そんなことを考えながら、上の方を見ると、またネコが木の枝に座っています。

Mientras hacía estas consideraciones, miró hacia arriba, y ¡hete aquí al Gato nuevamente, recostado sobre la rama de un árbol!

	「副詞節」, 「動詞」 「副詞句」, y 「注意喚起」 「目的語」 「副詞句」
Mientras ミエンTRAS conj. ～している間、～している一方で	「副詞節」
hacia アシア 3 単線(hacer)v.t (行為を) していた	「動詞」
estas consideraciones, エスタス・コンシデラシオネス	
pl(consideración).n.f それらの考えを	「目的語」
miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 見た	「動詞」
hacia アシア prep (方向) ～の方を	「副詞句」
arriba, アリーハ adv. 上の	「副詞」
y イ conj. すると	
¡hete aquí エテ・アキ adv. ほら!	「注意喚起」
al Gato アル・ガト adv. ネコを	「目的語」
nuevamente, ヌエバメンテ adv. また	「副詞」
recostado レコスタド 過去分詞(recostar)adv. (様態) 座っている	「副詞句」

6 Cerdo y pimienta

sobre la rama ツブレ・ラ・ラマ adv. (場所) 枝の上に 「副詞句」
de un árbol! テ・ウン・アルボル adj. 木の 「形容詞句」

「豚って言った？それとも、ひな？」と、ネコがアリスに尋ねました。

-¿Dijiste «lechón» o «pichón»? -le preguntó el Gato.

《「動詞」「目的語」o「目的語」》,「間接目的語」「動詞」「主語」

-¿Dijiste ディヒステ 2 単点・疑問文(decir)v.t 言った? 「動詞」

«lechón» レチョン n.m 豚 「目的語」

o オ conj. それとも

«pichón»? ピチョン n.m (鳩の) ひな 「目的語」

-le レ pron アリスに 「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

el Gato. エル・ガト n.m ネコが 「主語」

「ブタって言った」と、アリスははっきりと答えた。「ところで、そんなに突然現れたり、消えたりしたら、誰だってめまいを起こすわ！」

-Dije «lechón» -aclaró Alicia-. ¡Y a ver si dejas de aparecer y desaparecer tan de golpe, que mareas a cualquiera!

《「動詞」「目的語」》,「動詞」「主語」,《Y a ver 「副詞節」,que 「動詞」「間接目的語」》

-Dije ディヘ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

«lechón» レチョン n.m 豚 「目的語」

-aclaró アクラロ 3 単点(aclarar)v.t はっきりと言った 「動詞」

Alicia-. アリシア n.f アリスは 「主語」

¡Y a ver イ・ア・ベール adv. ところで 「話題転換」

si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

dejas テハス 2 単現・中断(dejar)v.i(de+不定詞) ～するのを止める 「動詞句」

de aparecer y desaparecer テ・アパレセル・イデサパレセル

v.i 現れたり消えたりする 「動詞句」

tan de golpe, タン・デ・ゴルペ adv. そんなに突然、急に 「副詞句」

que ケ adv.(tan...que) (結果) あまり～なので... する que

mareas マラス 2 単現(marear)v.t めまいを起こさせる 「動詞」

a cualquiera! ア・クワルギエラ adv. 誰にでも 「間接目的語」

6 Cerdo y pimienta



「分かった!」と、ネコは言った。そして今回は、尻尾の先端から始めてニヤツキ顔で終わるまで、とてもゆっくりと消えていきました。ニヤツキ顔は体の他の部分が全部消えた後で、もしばらく空中に浮かんで残っていました。

-¡Vale! -dijo el Gato, y esta vez se desvaneció muy paulatinamente, empezando por la punta de la cola y terminando por la sonrisa, que permaneció flotando en el aire aún un rato después de haber desaparecido todo el resto.

《「応答」》, 「動詞」「主語」, y 「副詞句」「動詞句」「副詞句」
y 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

-¡Vale!	バレ int.	分かった、了解	「応答」
-dijo	ディヨ	3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
el Gato,	エル・ガト	n.m ネコは	「主語」
y	イ conj.	そして	
esta vez	エスタ・ベス	adv. 今回は	「副詞句」
se desvaneció	セ・デスバネオ	3 単点(desvanecerse)v.pr 消えていった	「動詞句」
muy paulatinamente,	ムイ・パウチナメンテ	adv. とてもゆっくりと	「副詞句」
empezando	エンパサト	現在分詞・方法(empezar)v.i ~から始めた	「副詞句」
por la punta	ポル・ラ・プンタ	adv. (起点) 先端から	「副詞句」
de la cola	デ・ラ・コーラ	adj. 尻尾の	「形容詞句」
y	イ conj.	そして	
terminando	テルミナント	現在分詞・方法(terminar)v.i ~で終わる	「副詞句」
por la sonrisa,	ポル・ラ・ソリサ	adv. ニヤツキ顔で	「副詞句」
que	ケ pron	(sonrisa の代用 : 主語) それは~する	「主語」
permaneció	ペルマネオ	3 単点(permanecer)v.i 残っていた	「動詞」
flotando	フロタント	現在分詞・同時 adv. 浮かんで	「副詞句」
en el aire	エン・エル・アイレ	adv. 空中に	「副詞句」

6 Cerdo y pimienta

aún un rato	アウン・ウン・ラト	adv. (期間) さらにしばらくの間	「副詞句」
después de +	不定詞 デスプ°エス・デ°	adv. (時間) ～した後で	「副詞句」
haber desaparecido	アヘール・デサパ°レシト°	不定詞・完了形(desaparecer)	
v.i	消えた		「動詞句」
todo el resto.	トト°エル・レスト	n.m 他の全てが	「主語」

「おやまあ！ニヤツキ顔のないネコは何度も見たことがあるけれど」と、アリスは思った。

「ネコの体のないニヤツキ顔ですって... これは生まれてから見た一番奇妙なものだわ！」

«¡Bueno! Muchas veces he visto a un gato sin sonrisa -pensó Alicia-, pero ¡una sonrisa sin gato!... ¡Esto es lo más raro que he visto en toda mi vida!»

《「感嘆」 | 「副詞句」「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」,

《pero 「目的語」 ... | 「主語」「動詞」「補語」》

«¡Bueno!	ブエノ	int. (驚き・感嘆) おやまあ！	「感嘆」
Muchas veces	ムチャス・ベセス	adv. 何度も	「副詞句」
he visto	エ・ビスト	1 単現・完了形(ver)v.t 見たことがある	「動詞句」
a un gato	ア・ウン・ガト	n.m ネコを	「目的語」
sin sonrisa	シン・ソリサ	adv. ニヤツキ顔のない	「副詞句」
-pensó	ペンソ	3 単点(pensar)v.t 思った	「動詞」
Alicia-,	アリシア	n.f アリスは	「主語」
pero	ペロ	conj. しかし	
¡una sonrisa	ウナ・ソリサ	n.f ニヤツキ顔は	「目的語」
sin gato!...	シン・ガト	adv. ネコの体のない	「副詞句」
¡Esto	エスト	pron これは	「主語」
es	エス	3 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
lo más raro	ロ・マス・ラロ	adj. 一番奇妙なもの	「補語」
que	ケ	pron (目的語) ～する	「形容詞節」
he visto	エ・ビスト	1 単現・完了形(ver)v.t 見た	「動詞句」
en toda mi vida!»	エン・トダ°ミ・ビダ°	adv. 生まれてから	「副詞句」

6 Cerdo y pimienta

三月ウサギの家に着くのにあまり時間はかかりませんでした；アリスはそれが教えてもらった家に違いないと思いました。煙突がとても長い耳の形をしていて、屋根が毛皮で覆われていたからです。

No tardó mucho en llegar a la casa de la Liebre de Marzo; pensó que tenía que ser la casa indicada, pues las chimeneas tenían la forma de unas orejas muy largas y el techo estaba tapizado de piel.

「動詞句」「副詞句」；「動詞句」「目的語」「副詞節」

No tardó mucho ノ・タルト・ムチョ 3 単点・否定(tardar)

v.i あまり時間がかからなかった 「動詞句」

en+不定詞 エン prep (所要時間) ～するの 「副詞句」

llegar ジェガール 不定詞 v.i(a に) 着く 「動詞」

a la casa ア・ラ・カーサ adv. 家に 「間接目的語」

de la Liebre de Marzo; テ・ラ・リエブレ・テ・マル

adj. 三月ウサギの 「形容詞句」

pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.t(que ～と) 思った 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

tenía que ser テニア・ケ・セル 3 単線・妥当・時制の一致(tener que+不定詞)

v.i ～に違いない 「動詞句」

la casa ラ・カーサ n.f 家 「補語」

indicada, インディカダ 過去分詞・受動.f(indicar)adj.f 示された 「形容詞」

pues プエス conj. (理由) ～なので 「副詞節」

las chimeneas ラス・チメネアス pl(chimenea).n.f 煙突が 「主語」

tenían テニアン 3 複線(tener)v.t (形状を) なしていた 「動詞」

la forma ラ・フォルマ n.f 形を 「目的語」

de unas orejas テ・ウナス・オレハス adj. 耳の 「形容詞句」

muy largas ムイ・ラルガス adj(largo).f.pl とても長い 「形容詞句」

y イ conj. そして

el techo エル・テチョ n.m 屋根が 「主語」

estaba tapizado エスタバ・タピサド 3 単線・受動(tapizar)

v.t ～覆われていた 「動詞句」

de piel. テ・ピエル adv. (動作主) 毛皮で 「副詞句」

6 Cerdo y pimienta

とにかく、その家はアリスには余りにも大きかったので、まだ左手に持っていたキノコのか
けらをちょっとかじって身長が 60 センチくらいになってからでないと近づけません。

De todas formas, la casa le pareció tan grande que no se atrevió a acercarse sin antes
mordisquear un poco del trocito de seta que aún llevaba en la mano izquierda, con lo que
creció hasta alcanzar una estatura de unos dos palmos.

「副詞句」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞」 「補語」 que 「動詞句」 「副詞句」

De todas formas, デ・トダス・フォルマス adv. とにかく、何はともあれ 「副詞句」

= de cualquier forma, de una forma u otra

la casa ラ・カサ n.f その家は 「主語」

le レ pron アリスには 「間接目的語」

pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i 〜に思われた 「動詞」

tan grande タングランデ adj. 余りにも大きな 「補語」

que ケ conj(tan...que〜) あまりにも...で〜できない

no se atrevió a acercarse ノ・セ・アトレビ・オ・ア・アセラル・セ 3 単点・否定(atreverse a+不定詞)

v.pr 思い切って近づけなかった 「動詞句」

atreverse a+不定詞 「思い切って〜する」

sin antes mordisquear シン・アンテス・モルデ・イスカール adv. その前にかじらないで 「副詞句」

un poco del trocito de seta ウン・ポ・コ・デル・トロシタ・デ・セタ

n(trozo).m キノコのかけらを少し 「目的語」

que ケ pron (目的語) 〜する 「形容詞節」

aún アウン adv. まだ 「副詞」

llevaba ジェババ 3 単線(llevar)v.t 持っていた 「動詞」

en la mano izquierda, エン・ラ・mano・イスキエルダ adv. 左手に 「副詞句」

con lo que コン・ロ・ケ adv. それによって 「副詞句」

creció クレシオ 3 単点・時制の一致(crecer)v.i 成長する、大きくなる 「動詞」

hasta alcanzar アスタ・アルカンサル adv. 〜に達するまで 「副詞句」

una estatura ウナ・エスタトゥラ n.f 身長 「目的語」

de unos dos palmos. デ・ウノス・ドス・パルモス

adj. 40 センチくらいの 「形容詞句」

英語版では

家があまりにも大きかったので、左手のキノコをちょっとかじって、身長 60 センチくらい
になってからでないと、近づきたくありませんでした。

It was so large a house, that she did not like to go nearer till she had nibbled some more
of the lefthand bit of mushroom, and raised herself to **about two feet high**:

第 5 章の最後のページより、現在の身長は 23 センチ (nueve pulgadas 9 インチ)。

unos dos palmos は 40cm で英語版より小さい。

6 Cerdo y pimienta

palmo パルモ n.m (長さの単位) 約 21cm (手の指を広げた時の親指と小指の間の距離)

それでもなお、用心して近付きながら自問していました：

Incluso así, se aproximó con alguna precaución, preguntándose:

「副詞句」, 「動詞句」 「副詞句」, 「副詞句」

Incluso así, インクル・アシ adv. それでもなお、たとえそうであっても 「副詞句」

se aproximó セ・アプ°ロキシモ 3 単点(aproximarse)v.pr 近付いて行った 「動詞句」

con alguna precaución, コン・アルグナ・プレカウシオン adv. 少し用心して 「副詞句」

preguntándose: プレグンタント°・セ 現在分詞・同時(preguntarse)v.pr 自問しながら 「副詞句」

「ひどいキチガイなんだろうか？ 帽子屋に会いに行った方が良かったかな！」

«¿Y si estuviera loca de veras? ¡Estoy empezando a pensar que hubiera sido preferible ir a ver al Sombrero!» 「Y si 「動詞」「補語」 | 「動詞句」「目的語」»

«¿Y í conj. そして

si シ conj. ～かどうか

estuviera エストゥビエラ 接・3 単過・推量・時制の一致(estar)v.i ～である 「動詞」

loca カ adj(loco).f キチガイ 「補語」

主語は liebre リエブレ n.f 野ウサギ (三月ウサギ)

de veras? デ°ベラス adv. 非常に、本当に 「副詞句」

¡Estoy empezando エストイ・エンパ°サント° 1 単現・進行形(empezar)v.t(a+不定詞)

v.t ～し始めている 「動詞句」

a pensar ア°ペンサル 不定詞 v.t 考える 「動詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

hubiera sido ウビエラ°シト° 接・3 単過・完了形・推量(ser)

v.i ～だったかもしれない 「動詞句」

preferible プレフェリブレ adj. 望ましい、良い 「補語」

ir a ver イール・ア°ベール 不定詞 n. 会いに行くことは 「主語」

al Sombrero! アル・ソンブレロ° adv. 帽子屋に 「目的語」

7 Una merienda de locos

7 Una merienda de locos

キチガイたちのお茶会

Una merienda ウナ・メリエンダ n.f (午後の) おやつ、お茶会 「主語」

de locos デ・ロコス adj. キチガイたちの 「形容詞句」

三月ウサギと帽子屋は家の前で、木の下に置かれたテーブルでお茶を飲んでいました；彼らは何の気づかいもなく、二人の間でぐっすり眠っていたヤマネの上に肘をのせて、その上、ヤマネの頭越しに話をしていました。

La Liebre de Marzo y el Sombreroero estaban tomando el té frente a la casa, en una mesa dispuesta bajo un árbol; sin cuidado alguno apoyaban sus codos sobre un lirón que dormía profundamente entre ellos y hablaban sin más por encima de su cabeza.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」；

「副詞句」「動詞」「目的語」「副詞句」 y 「動詞」「副詞句」

La Liebre de Marzo ラ・リエブレ・デ・マルソ n.f 三月ウサギは 「主語」

y イ conj. そして

el Sombreroero エル・ソンブレロ n.m 帽子屋は 「主語」

estaban tomando エスタバン・トマント 3 複線・進行形(estar+現在分詞 tomar)

v.t (飲み物を) 飲んでいるところだった 「動詞句」

el té エル・テ n.m お茶を 「目的語」

frente a la casa, フレンテ・ア・ラ・カーサ adv. 家の前で 「副詞句」

en una mesa エン・ウナ・メサ adv. テーブルで 「副詞句」

dispuesta デイスプエスタ 過去分詞(disponer)・受動 adj.f 置かれた 「形容詞句」

bajo バホ prep ~の下に 「副詞句」

un árbol; ウン・アルボル n.m 木 「目的語」

sin cuidado alguno シン・クイダド・アルコ adv. 何も気をつかわずに 「副詞句」

apoyaban アポヤバン 3 複線(apoyar)v.t もたせ掛けていた、のせていた 「動詞」

sus codos スス・コトス pl(codo).n.m 肘を 「目的語」

sobre un lirón ソブレ・ウン・リロン adv. ヤマネの上に 「副詞句」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

dormía ドルミア 3 単線(dormir)v.i 眠っていた 「動詞」

profundamente プロフンダメンテ adv. ぐっすりと、深く 「副詞」

entre ellos エントレ・エジョス adv. 彼らの間で 「副詞句」

y イ conj. そして

hablaban ハブラバン 3 複線(hablar)v.i 話していた 「動詞」

sin más シン・マス adv. なんと、これ以上なし 「副詞句」

por encima de su cabeza. ポル・エンサ・デ・ス・カベサ adv. その頭越しに 「副詞句」

7 Una merienda de locos

「ヤマネはすごく居心地悪いだろうな！」と、アリスは思いました。「でも、寝ちゃってるから、あんまり迷惑ではないかな」

«¿Qué incómodo estará ese lirón! -pensó Alicia-. Aunque quizás, como está dormido, no le importe demasiado.» 注 17

《「補語」「動詞」「主語」》, 「動詞」「主語」,

《Aunque 「副詞」「副詞節」, 「動詞句」「間接目的語」「副詞句」》

«¿Qué incómodo ケ・インコモト int. なんと居心地の悪い 「補語」
estará エスタ 3 単未・推量(estar)v.i ~だろう 「動詞」
ese lirón! エセ・リロン n.m ヤマネは 「主語」
-pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.t 思った 「動詞」
Alicia-. アリシア n.f アリスは 「主語」
Aunque アウンケ conj. しかし
quizás, キサス adv. たぶん 「副詞」
como コモ conj. (理由) ~なので 「副詞節」
está エスタ 3 単現(estar)v.i ~である 「動詞」
dormido, ドルミト 過去分詞(dormir)adj. 眠った 「補語」
no ...importe ノ...インポルテ 接・3 単現・否定・推量(importar)
v.i 迷惑ではない (だろう) 「動詞句」
le レ pron 彼にとって 「間接目的語」
demasiado.» 注 17 デマシアト adv. (否定文で) あんまり 「副詞」

テーブルはすごく大きいのに、その 3 人はテーブルの一角にこじんまり寄り添っていました。「席はない！席はない！」と、彼らはアリスが近づいてくるのを見てわめきました。

La mesa era bien grande, y sin embargo, los tres se habían agrupado muy juntos en torno a una esquina. «¡No hay sitio! ¡No hay sitio!», se pusieron a vociferar apenas vieron que Alicia se les acercaba.

「主語」「動詞」「補語」, y 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

《「呼びかけ」》, 「動詞句」「副詞節」

La mesa ラ・メサ n.f テーブルは 「主語」
era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」
bien grande, ビエン・グランデ adj. すごく大きい 「補語」
y, イ conj. そして
sin embargo, シン・エンバルゴ adv. それにも関わらず 「副詞句」
los tres ロス・トレス pron 3 人は 「主語」
se habían agrupado セ・アビアン・アグルパド 3 複線・完了形(agruparse)
v.pr 集まっていた、まとまっていた 「動詞句」

7 Una merienda de locos

muy juntos	マイ・フントス	adv. すぐ近くに、かたまって	「副詞句」
en torno a	エン・トルノ・ア	prep. ～の周囲に	「副詞句」
una esquina.	ウナ・エスキナ	n.f 1つの角	「目的語」
«¡No hay	ノ・アイ	3 単現・存在(haber)v.t. ～がない	「動詞句」
sitio!	シオ	n.m 席が、場所が	「目的語」
¡No hay sitio!»	ノ・アイ・シオ	n. 満員だ!	「呼びかけ」
se pusieron a vociferar	セ・プ シエロン・ア・ボシフェラル	3 複点・開始(ponerse a+不定詞 vociferar)	
v.i	わめき始めた		「動詞句」
apenas	アペナス	conj. ～するとすぐに	「副詞節」
vieron	ビエロン	3 複点(ver)v.t 見た	「動詞」
que	ケ	conj. ～ということを	「目的語」
Alicia	アリシア	n.f アリスが	「主語」
se ...acercaba.	セ...アセリバ	3 単線(acercarse)v.pr 近づいた	「動詞句」
les	レス	pron.pl 彼らに	「間接目的語」

「空いてる席があるわ!」と、アリスは怒って答えて、テーブルの端に片付けられていた大きな肘掛付きの椅子に座りました。

-¡Hay sitio de sobra!	-replicó	Alicia	indignada	sentándose	en una amplia butacona	que	estaba arrimada a un lado de la mesa.	《「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」
-¡Hay	アイ	3 単現・存在・感嘆(haber)v.t. ～があるわ!						「動詞」
sitio	シオ	n.m 場所が						「目的語」
de sobra!	デ・ソブラ	adj. 余分の、余った						「形容詞句」
-replicó	レプリコ	3 単点(replicar)v.t 言い返した						「動詞」
Alicia	アリシア	n.f アリスは						「主語」
indignada	インディグナダ	過去分詞(indignar)adj.f 怒って、憤慨して						「副詞」
sentándose	セントドセ	現在分詞・同時(sentarse)adv. 座りながら						「副詞句」
en una amplia butacona	エン・ウナ・アンブリア・ブタコナ	adv. 大きな肘掛付きの椅子に						「副詞句」
que	ケ	pron (主語) ～する						「形容詞節」
estaba arrimada	エスタバ・アリマダ	3 単線・受動(arrimar)						
v.t	片付けられていた							「動詞句」
a un lado de la mesa.	ア・ウン・ラド・デ・ラ・メサ							
adv. (場所)	テーブルの端に							「副詞句」

7 Una merienda de locos

「ワインはいかがですか？」と、三月ウサギは優しく勧めた。アリスはテーブル全体を見まわしましたが、お茶しか見えません。

-¿Te apetece un poco de vino? -insinuó meliflua la Liebre de Marzo. Alicia miró por toda la mesa sin ver más que té, por lo que observó:

《「間接目的語」「動詞」「主語」》, 「動詞」「副詞」「主語」 | 「主語」「動詞」「副詞句」

-¿Te テ pron 君にとって 「間接目的語」

apetece アペテセ 3 単現(apetecer)v.i 食欲をそそる 「動詞」

un poco de vino? ウン・ポコ・デ・ビーノ n.m ワインは 「主語」

-insinuó インシヌア 3 単点(insinuar)v.t 遠回しに言った 「動詞」

meliflua メリフ_lua adv. 優しく、甘美な 「副詞」

la Liebre de Marzo. ラ・リエブレ・デ・マルゾ n.f 三月ウサギは 「主語」

Alicia アリシア n.f イスは 「主語」

miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 眺めた 「動詞」

por toda la mesa ホル・トダ・ラ・メサ adv. テーブル全体を 「副詞句」

sin ver シン・ベール adv. 見えずに 「副詞句」

más que té, マス・ケ・テ n.m お茶しか 「目的語」

por lo que observó: ホル・ロ・ケ・オブセルボ adv. 探しても 「副詞句」

「ワインがどこにも見あたらないけど！」

-No veo ese vino por ninguna parte. 《「動詞句」「目的語」「副詞句」》

-No veo ノ・ベオ 1 単現・否定(ver)v.t 見えない 「動詞句」

ese vino エセ・ビーノ n.m そのワインが 「目的語」

por ninguna parte. ホル・ニンガ・ナ・パルテ adv. (空間) どのあたりにも 「副詞句」

「ワインなんて、ないよ」と、すぐに三月ウサギが答えた。

-No lo hay -replicó en seguida la Liebre de Marzo.

《「動詞句」「目的語」「動詞句」》, 「動詞」「副詞句」「主語」

-No ...hay ノ...アイ 3 単現・存在・否定(haber)v.t ～はない 「動詞句」

lo ロ pron (vino の代用) それは 「目的語」

-replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.t 言い返した 「動詞」

en seguida エン・セギタ adv. すぐに 「副詞句」

la Liebre de Marzo. ラ・リエブレ・デ・マルゾ n.f 三月ウサギは 「主語」

7 Una merienda de locos

「それじゃあ、私にワインを勧めたのは嫌がらせてこと？」と、アリスは怒って言った。

-Entonces, no ha sido nada amable el ofrecérmelo -dijo Alicia enojada.

《「副詞」「動詞句」「補語」「主語」》, 「動詞」「主語」「副詞」

-Entonces, エントンセス adv. それじゃあ 「副詞」

no ha sido ノ・ア・シト 3 単現・完了形・否定(ser)v.i ~でなかった 「動詞句」

nada amable ナダ・アマブレ adj. まったく親切でない 「補語」

el ofrecérmelo エル・オフレル・メ・ロ 不定詞.n 私にワインを勧めたことは 「主語」

-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

enojada. エノダ adj. 怒った、怒って 「副詞」

Alicia enojada 怒ったアリスが → アリスは怒って 副詞的に翻訳する

「招待されずに、テーブルに座るなんてあんたこそ嫌がらせだ」と、三月ウサギが答えた。

-Tampoco lo ha sido sentarse a esta mesa sin haber sido invitada -repuso la Liebre.

《「補語」「動詞句」「主語」》, 「動詞」「主語」

-Tampoco lo タンポコ・ロ adj. (lo は amable の代用) ~も親切でない 「補語」

ha sido ア・シト 3 単現・完了形(ser)v.i ~だった 「動詞句」

sentarse センタルセ 不定詞 n. 座ることは 「主語」

a esta mesa ア・エスタ・メサ adv. このテーブルに 「副詞句」

sin +不定詞 シン adv. ~しないで 「副詞句」

haber sido invitada アバー・ル・シト・インビタダ 不定詞・完了形・受動(invitar)

v.t 招待された 「動詞句」

-repuso レプソ 3 単点(reponer)v.t 答えた 「動詞」

la Liebre. ラ・リエブレ n.f 三月ウサギは 「主語」

「このテーブルがあなた達だけのためだなんて、誰も言わないわ！」と、アリスは言った。

「3 人以上の食器が並んでいるもの」

-¡Cualquiera diría que la mesa fuera sólo para ustedes! -dijo Alicia-. Puedo ver que está puesta para muchas más de tres personas.

《「主語」「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」「目的語」》

-¡Cualquiera クアルキエラ pron (感嘆文で反語) 誰も~ない 「主語」

diría ディリア 3 単過未・推量(decir)v.t (否定文で) 言わないだろう 「動詞」

que ケ conj. ~ということ を 「目的語」

la mesa ラ・メサ n.f このテーブルは 「主語」

fuera フェラ 接・3 単過・時制の一致(ser)v.i ~である 「動詞」

sólo para ustedes! ソロ・パラ・ウスデス adj. あなた達だけのため 「補語」

7 Una merienda de locos

-dijo	ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
Alicia-	アリシア n.f アリスは	「主語」
Puedo ver	プエド・ベール 1 単現・可能(poder+不定詞 ver)v.t 見える	「動詞句」
que	ケ conj. ～という事を	「目的語」
está puesta	エスタ・プエスタ 3 単現・受動.f(poner)v.t 置かれている	「動詞句」
para muchas más de tres personas.	パラ・ムチャス・マス・デ・トレス・ペルソナス	
adv.	3 人以上のために	「副詞句」

先程から物珍し気にアリスを見ていた帽子屋が、ついに、アリスに言った：

<u>A todo esto, el Sombreroero, que había estado observando a Alicia con gran curiosidad, le dijo:</u>	「副詞句」, 「主語」「間接目的語」「動詞」
A todo esto, ア・トド・エスト adv. 結局、ついに	「副詞句」
el Sombreroero, エル・ソブレイロ n.m 帽子屋は	「主語」
que ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
había estado observando アビ・ア・エスタド・オブセルバント 3 単線・完了形・進行形(observar)	
v.t 観察していた	「動詞句」
a Alicia ア・アリシア n.f アリスを	「目的語」
con gran curiosidad, コン・グラン・クリオシダ	
adv. 興味深げに、物珍しそうに	「副詞句」
le レ pron アリスに	「間接目的語」
dijo: ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」

「髪の毛を切ったほうがいいよ!」、しばらくして初めて帽子屋が言った言葉だった。

-¡Lo que tú necesitas es un buen corte de pelo! -Era lo primero que se le había ocurrido decir en un buen rato.	《「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞」「補語」
-¡Lo	ロ pron それは 「主語」
que	ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
tú	トゥ pron 君が 「主語」
necesitas	ネシタス 2 単現(necesitar)v.t 必要とする 「動詞」
es	エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」
un buen corte de pelo!	ウン・ブ ウエン・コルテ・デ・ペロ n.m 髪の毛を短く切ること 「補語」
-Era	エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」
lo primero	ロ・プリメロ pron 最初の言葉 「補語」
que	ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
se le había ocurrido decir	セ・レ・アビア・オクリト・デシール 3 単線・完了形(ocurrirse)
v.pr	～を言う事が頭に浮かんだ、言う気になった 「動詞句」

7 Una merienda de locos

decir が主語

en un buen rato. エン・ウン・ブエン・ラト adv. かなり時間をかけて 「副詞句」

「個人的な意見を言わないようにしてね！」と、アリスが異議を唱えた。「とっても無作法なのよ！」

-¡Debería usted acostumbrarse a no hacer comentarios personales! -contestó Alicia-. ¡Es de muy mala educación!

《「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「補語」》

-¡Debería ...acostumbrarse デ・ベリャ...アコストゥンプラセ 3 単過未・義務(deber+不定詞)

v.pr (a+不定詞) ~する習慣をつけないといけない 「動詞句」

usted ウステ pron あなたは 「主語」

a no hacer ア・ノ・アセール 不定詞・否定 v.t ~しない 「動詞句」

comentarios コメント pl(comentario)n.m 意見を、コメントを 「目的語」

personales! ペルソナレス adj(personal).pl 個人的な 「形容詞」

-contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.i 異議を唱えた 「動詞」

Alicia-. アリシア n.f アリスは 「主語」

¡Es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

de muy mala educación! デ・マイ・マラ・エト・カシオン adj. とても行儀の悪い 「補語」

これを聞くと、帽子屋は目をぎょろりと開きました。しかし、彼が言ったのは、「カラスのどこが物書き机に似ていると思う？」だけだった。

Al oír esto, el Sombreroero abrió desmesuradamente los ojos, pero todo lo que dijo fue:

-¿En qué se parece un cuervo a una mesa de escribir?

「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」,

pero 「主語」「動詞」: 《「副詞句」「動詞句」「主語」「間接目的語」》

Al oír esto, アル・オイール・エスト adv. これを聞いて 「副詞句」

el Sombreroero エル・ソンプレロ n.m 帽子屋は 「主語」

abrió アブリオ 3 単点(abrir)v.t 開けた 「動詞」

desmesuradamente デスメスラダメンテ adv. 過度に、目いっぱい 「副詞」

los ojos, ロス・ホス pl(ojo).n.m 目を 「目的語」

pero ペロ conj. しかし

todo lo トト・ロ pron すべてのことは 「主語」

que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

dijo ディョ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

fue: フェ 3 単点(ser)v.i ~だった 「動詞」

-¿En qué エン・ケ adv. どこが 「副詞句」

7 Una merienda de locos

se parece セ・パレ 3 単現(parecerse)v.pr(a に) 似ている 「動詞句」

un cuervo ウン・ケルボ n.m カラスが 「主語」

a una mesa ア・ウナ・メサ adv. 机に 「間接目的語」

de escribir? デ・エスクリビール adj. 書くための 「形容詞句」

キャロルのなぞなぞ

カラスの鳴き声 (note)は退屈 (flat)、物書き机は書き綴る (note)平板 (flat)。

カラスは嘴 (bill)と尻尾 (tale)を持つ、物書き机は勘定書 (bill)や物語 (tale)を書く。

カラスと物書き机は共に足・脚 (leg)をもっている。

「わあ！これで少し楽しいことになりそうだわ！」と、アリスは思いました。「あなたがなぞなぞが好きでうれしいわ…」と、大きな声で付け加えました。

«¡Vaya! Parece que nos vamos a divertir un poco -pensó Alicia-. Me alegro de que les guste jugar a las adivinanzas...», y añadió en voz alta:

《「感嘆」 | 「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」「間接目的語」》,
y 「動詞」「副詞句」

«¡Vaya! バヤ int. わあ！うれしい！ 「感嘆」

Parece パレ 3 単現(parecer)v.i ~らしい、~のように思われる 「動詞」

que ケ conj. ~ということ 「補語」

nos vamos a divertir ノス・バモス・ア・ディベルチール 1 複現・近接未来(ir a+不定詞)

v.pr 楽しむことになりそうだ 「動詞句」

un poco ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」

-pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.t 思った 「動詞」

Alicia-. アリシア n.f アリスは 「主語」

Me alegro メ・アレグロ 1 単現(alegrarse)v.pr (de を) うれしい 「動詞句」

de que デ・ケ adv. ~を 「間接目的語」

les レス pron 彼らにとって 「間接目的語」

guste グステ 接・3 単現(gustar)v.i 気に入る 「動詞」

jugar フガル 不定詞 v.i(a) ~を遊ぶことは 「主語」

a las adivinanzas...», ア・ラス・アディビナサス

adv. クイズを、なぞなぞを 「間接目的語」

y イ conj. そして

añadió アニャディオ 3 単点(añadir)v.t 付け加えた 「動詞」

en voz alta: エン・ボス・アルタ adv. (手段) 大きな声で 「副詞句」

7 Una merienda de locos

「わたし、答えられると思うわ」

- Creo que sé la solución. 《「動詞」「目的語」》
- Creo クレオ 1 単現(creer)v.t(que ～だと) 思う 「動詞」
- que ケ conj. ～ということを 「目的語」
- sé セ 1 単現(saber)v.t 分かる 「動詞」
- la solución. ラ・ソルシオン n.f その答えが 「目的語」

「なんだって？答えられるという意味なのか？」と、三月ウサギが驚いて尋ねた。

- ¿Cómo? ¿Quieres decir que piensas decirnos la solución? -preguntó sorprendida la Liebre de Marzo. 《「聞き返し」 | 「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「副詞」「主語」
- ¿Cómo? コモ adv. なんだから？ 「聞き返し」
- ¿Quieres decir キエリス・デシル 2 単現・疑問文(querer+不定詞 decir)
- v.t ～という意味か？ 「動詞句」
- querer decir ケーレル・デシル v.t 意味する
- ¿Qué quiere decir esta palabra? この語の意味は何ですか？
- que ケ conj. ～ということ 「目的語」
- piensas decirnos ピ・エンサス・デシル・ノス 2 単現・意思(pensar+不定詞 decir+nos)
- v.t 我々に言おうと思っている 「動詞句」
- la solución? ラ・ソルシオン n.f 答えを 「目的語」
- preguntó プレガント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」
- sorprendida ソルプレンディダ adv. 驚いて 「副詞」
- la Liebre de Marzo. ラ・リエブレ・デ・マルゾ n.f 三月ウサギが 「主語」

「その通り」と、アリスが答えた。

- Precisamente contestó Alicia. 《「応答」》, 「動詞」「主語」
- Precisamente プレシサメンテ adv. そのとおり！ 「応答」
- contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた 「動詞」
- Alicia. アリシア n.f アリスは 「主語」

「それなら」、とウサギはつぶけた。「思ったことを言えばよい」

- Entonces continuó la Liebre-, debieras decir lo que piensas. 《「副詞」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」「目的語」》
- Entonces エントンセス adv. (接続詞的) それなら 「副詞」
- continuó コンチヌオ 3 単点(continuar)v.i 続けた 「動詞」
- la Liebre-, ラ・リエブレ n.f ウサギは 「主語」
- debieras decir デベリアス・デシル 2 単過未・妥当(deber+不定詞 decir)

7 Una merienda de locos

v.t	～を言えばよい	「動詞句」
lo	pron それを	「目的語」
que	ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
piensas.	ピエンサス 2 単現(pensar)v.t 考えている	「動詞」

「だけど、私は言っているわ！」と、アリスは急いで答えた。「少なくとも... 少なくとも、自分が言ったことを考えてるわ。結局、同じことになるでしょう？違う？」

-¡Pero si es lo que estoy haciendo! se apresuró a replicar Alicia. Al menos... al menos pienso lo que digo..., que después de todo viene a ser la misma cosa, ¿no?

《Pero 「動詞」「補語」》, 「動詞句」「主語」,

《「応答」「動詞」「目的語」, 「副詞句」「動詞句」「補語」, 「呼びかけ」》

-¡Pero ^ヘ ^ロ conj. しかし

si シ conj. (相手が知っていることを前提として説明) ～だから

si es que ～だから

es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

lo ロ pron それ 「補語」

que ケ conj. ～ということ 「形容詞節」

estoy haciendo! エストイ・アシエント 1 単現...進行形(hacer)

v.t (動作を) している 「動詞句」

-se apresuró a replicar セ・アプレスロ・ア・レプリカス 3 単点・急ぐ(apresurarse a+不定詞)

v.pr 急いで答えた 「動詞句」

Alicia-. アリシア n.f アリスは 「主語」

Al menos..., al menos アル・メノス・アル・メノス adv. 少なくとも... 少なくとも 「応答」

pienso ピエンソ 1 単現(pensar)v.t 考えている 「動詞」

lo que digo..., ロ・ケ・ディゴ pron 自分が言ったことを 「目的語」

que ケ conj. ～ということ

después de todo デスプエス・デ・トド adv. 結局 「副詞句」

viene a ser ビエネ・ア・セル 3 単現・近接完了(venir a+不定詞 ser)v.i ～になるだろう 「動詞句」

la misma cosa, ラ・ミスマ・コーサ n.f 同じこと 「補語」

¿no? ノ adv. 違う？、そうでしょう？ 「呼びかけ」

7 Una merienda de locos



「同じことだって！まったく違うよ！」と、帽子屋は強く否定しました。「もしそうなら、『見たものを食べる』というところを『食べたものを見る』と言っても同じだということになってしまうよ」

-¿La misma cosa? ¡De ninguna manera! negó enfáticamente el Sombrerero, ¡Hala! Si fuera así, entonces también daría igual decir «veo cuanto como» que «como cuanto veo».

《「応答」》, 「動詞」「副詞」「主語」, 《「感嘆」「副詞句」「動詞」「目的語」「主語」》

-¿La misma cosa? ラ・ミスマ・コサ n.f 同じことだって? 「応答」

¡De ninguna manera! デ・ニグナ・マネラ adv. 決して～ない 「応答」

-negó ネゴ 3 単点(negar)v.t 否定した 「動詞」

enfáticamente エンファチカメンテ adv. 強調して、大げさに 「副詞」

el Sombrerero-, エル・ソンプレロ n.m 帽子屋は 「主語」

¡Hala! アラ int. それはそれは 「感嘆」

Si シ conj. (仮定) もし～ならば 「副詞節」

fuera フェラ 接・3 単過(ser)v.i ～だった 「動詞」

así, アシ adv. そのように 「補語」

entonces también エントネース・タンビエン adv. それでは同様に 「副詞句」

daría ダリア 3 単過未・推量(dar)v.t (結果を) もたらすだろう 「動詞」

igual イグアル n.m 同じことを 「目的語」

decir デシル 不定詞 n. ～ということは 「主語」

«veo ベオ 1 単現(ver)v.t 見る 「動詞」

cuanto como クワント・コモ pron 食べるものを 「目的語」

que ケ adv. (ual...que) 同様に 「副詞」

«como コモ 1 単現(comer)v.t 食べる 「動詞」

cuanto veo クワント・ベオ pron 見るものを 「目的語」

7 Una merienda de locos

「ひどいもんだ！」と、三月ウサギが同じ意見を言いました。

-¡Qué barbaridad! -coreó la Liebre de Marzo. 《「感嘆」》，「動詞」「主語」

-¡Qué barbaridad! ケ・ハルハリダ^{ケハルハリダ} int. ひどいもんだ！ 「感嘆」

-**coreó** コレオ 3 単点(**corear**)v.t 口をそろえて賛同した 「動詞」

la Liebre de Marzo. ラ・リエブ・レ・デ・マルツ n.f 三月ウサギが 「主語」

「それでは、『持っているものはすべて好きだ』と言うのと『好きなものはすべて持っている』と言うのが同じだということになってしまう」

-Sería como decir que da lo mismo afirmar que «me gusta cuanto tengo» que «tengo cuanto me gusta». 《「動詞」「補語」》

-Sería セリア 3 単未・変化(ser)v.i ~になるだろう 「動詞」

como + 不定詞 코 adv. ～することのように 「補語」

decir デシル 不定詞 v.t 言う 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

da ダ 3 単現(dar)vt 与える 「動詞」

lo mismo ロ・ミソ pron 同じことを 「目的語」

afirmar アフィルマル 不定詞 v.t 肯定することは 「主語」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

«me gusta cuanto tengo» メ・グスタ・クワント・テンコ

n. 「持っているものはすべて好きだ」

que ケ conj. (比較) ～と 「目的語」

«tengo cuanto me gusta». テンコ・クワン・メ・グスタ

n. 「好きなものはすべて持っている」

「それは肯定するようなものだろう」と、ヤマネが付け加えたが、寝言みたいだった。『寝るときに息をする』と『息をするときに寝る』が同じ意味だと、

-Valdría tanto como querer afirmar- añadió el Lirón, que parecía hablar en sueños-, que da igual decir «respiro cuando duermo» que «duermo cuando respiro».

《「動詞」「副詞句」》，「動詞」「主語」，「主語」「動詞」「補語」，《「主語」》

-Valdría バル[゛]ト[゛]リア 3 単過未・推量(valer)v.i 有効だろう 「動詞」

tanto como +不定詞 タント・モ adv. ～するのと同じ位 「副詞句」

querer afirmar ケール・アフィルマル 不定詞(querer+不定詞 afirmar)

v.t 肯定する 「動詞句」

-añadió アニャデーイ 3 単点(añadir)v.t 付け加えた 「動詞」

el Lirón, エル・リロン n.m(動物)ヤマネが 「主語」

que ケ pron それは 「主語」

7 Una merienda de locos

parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i	～に見えた	「動詞」
hablar アブラール 不定詞 n.	話していること	「補語」
en sueños-, エン・スエヨス adv.	眠りの中で	「副詞句」
que ケ conj.	～ということは	「目的語」
da ダ 3 単現(dar)v.t	与える	「動詞」
igual イグアル n.	同等	「目的語」
decir デシル 不定詞 v.t	～と言うことは	「主語」
«respiro レスピロ 1 単現(respirar)v.i	息をする	「動詞」
cuando duermo» クワント・ドゥエルモ adv.	眠る時に	「副詞節」
que ケ conj.	(比較) ～より	「副詞節」
«duermo トゥエルモ 1 単現(dormir)v.i	眠る	「動詞」
cuando respiro». クワント・レスピロ adv.	息をするときに	「副詞節」

「お前にとって同じだというなら、そうだろう！」と帽子屋が叫び、これで会話が終わった。

-¡ <u>Eso sí que te da igual a ti!</u> - <u>exclamó el Sombrero</u> ;	<u>y con esto cesó la conversación.</u>	
《「主語」「補語」「主語」》, 「動詞」「主語」; y 「副詞句」「動詞」「主語」		
-¡Eso エソ pron	それは	「主語」
sí シ adv.	(肯定) そうだ	「補語」
que ケ conj.	～ということは	「主語」
te テ pron	お前に	「間接目的語」
da ダ 3 単現(dar)v.t	与える	「動詞」
igual イグアル n.	同じものを	「直接目的語」
a ti! ア・ティ adv.	お前にとっては	「副詞句」
-exclamó エスクラモ 3 単点(exclamar)v.i	叫んだ	「動詞」
el Sombrero; エル・ソブレロ n.m	帽子屋が	「主語」
y イ conj.	そして	
con esto コン・エスト adv.	これで	「副詞句」
cesó セソ 3 単点(cesar)v.i	終わった	「動詞」
la conversación. ラ・コンベルサシオン n.f	会話が	「主語」

7 Una merienda de locos

小さな集まりはしばらく黙り込んでいた。一方、アリスはカラスと書き物机について知っていることを全部思い出すために脳みそをフル回転させましたが、あまり出てきません。

El pequeño grupo permaneció en silencio durante unos instantes, mientras Alicia se devanaba los sesos por recordar todo lo que sabía de cuervos y mesas de escribir, que no era demasiado. 「主語」「動詞」「補語」,

mientras 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」, que 「動詞句」「副詞」

El pequeño grupo エル・ペケニョ・グルポ n.m 小さな集まりは 「主語」

permaneció ヘルマネオ 3 単点(permanecer)v.i ~のままでいた 「動詞」

en silencio エン・シレンシオ adv. 無言で 「補語」

durante unos instantes, ドゥランテ・ウノ・インスタンテス adv. しばらくの間 「副詞句」

mientras ミエンTRAS conj. その一方で~する

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

se devanaba セ・デバナバ 3 単線(devanarse)

v.pr (自分の体の一部を) 糸を操っていた 「動詞句」

los sesos ロス・セソス pl(seso).n.m 脳を 「目的語」

por recordar ホル・レコルダール 不定詞・目的 v.t 思い出すために 「副詞句」

todo lo que トト・ロ・ケ pron ~するすべてを 「目的語」

sabía サビア 3 単線(saber)v.i (de について) 知っていた 「動詞」

de デ prep (関連) ~について 「間接目的語」

cuervos クエルボス pl(cuervo)n.m カラス 「目的語」

y イ conj. そして

mesas de escribir, メサス・デ・エスクリビール

pl(mesa).n.f 書き物机 「目的語」

que ケ conj. (結果) そして~する

no era ノ・エラ 3 単線・存在(ser)v.i 無かった 「動詞句」

demasiado. デマシアト adv. (否定文で) あまり多く 「副詞」

帽子屋が最初に沈黙を破りました：

El Sombrerero fue el primero en romper el silencio: 「主語」「動詞」「補語」

El Sombrerero エル・ソンブレロ n.m 帽子屋が 「主語」

fue フェ 3 単過(ser)v.i ~だった 「動詞」

el primero エル・プリメロ n.m 最初の人 「補語」

en +不定詞 エン adv. (関連) ~することにおいて 「副詞句」

romper ロンペール 不定詞 v.t 破る 「動詞」

el silencio: エル・シレンシオ n.m 沈黙を 「目的語」

7 Una merienda de locos

「今日は何日？」と、アリスに尋ねました。一方で、心配そうにポケットから時計を取り出し、困ったようにそれを見て、何度も激しく時計を振ってはそれを耳に持っていきます。

¿A qué fecha estamos hoy? preguntó dirigiéndose a Alicia, mientras sacaba preocupado un reloj de bolsillo, lo miraba con ansiedad y lo sacudía violentamente, llevándose al oído una y otra vez.

《「副詞句」「動詞」「副詞」》, 「動詞」「副詞句」,

mientras 「動詞」「副詞句」「目的語」「副詞句」, 「目的語」「動詞」「副詞句」

y 「目的語」「動詞」「副詞句」

¿A qué fecha ア・ケ・フェチャ adv. 何日に 「副詞句」

estamos エスタモス 1 複現・存在(estar)v.i ~にいる 「動詞」

hoy? ホイ adv. 今日は 「副詞」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

dirigiéndose デイリヒエンドセ 現在分詞・同時(dirigirse)v.pr ~に向かって 「副詞句」

a Alicia, ア・アリシア adv. アリスに 「目的語」

mientras ミエンTRAS conj. 一方で

sacaba サバ 3 単線(sacar)v.t 取り出した 「動詞」

preocupado プレオカパント 現在分詞・同時(preocupar)v.t ~を心配しながら 「副詞句」

un reloj ウン・レロフ n.m 時計を 「目的語」

de bolsillo, デ・ボルシジョ adv. ポケットから 「副詞句」

lo ロ pron 時計を 「目的語」

miraba ミラバ 3 単線(mirar)v.t 見た 「動詞」

con ansiedad コン・アンシエタ adv. (様態) 困ったように、心配そうに 「副詞句」

y イ conj. そして

lo ロ pron 時計を 「目的語」

sacudía サクデア 3 単線(sacudir)v.t 揺り動かした、振った 「動詞」

violentamente, ビオレンタメンテ adv. 激しく、乱暴に 「副詞」

llevándose ジェハントセ・ロ 現在分詞(llevarse+lo)

v.pr (体の一部に) 持っていくながら 「副詞句」

al oído アル・オイト adv. 耳に 「間接目的語」

una y otra vez. ウナ・イ・オトラ・ベス adv. 長々と、しつこく、何度も 「副詞句」

アリスは少し考えてから答えた:

Alicia pensó un poco y contestó: 「主語」「動詞」「副詞句」 y 「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.i 考えた 「動詞」

un poco ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」

7 Una merienda de locos

y イ conj. そして

contestó: コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた 「動詞」

「今日は、4 日よ」

-Hoy estamos a cuatro. 《「副詞」「動詞」「副詞句」》

-Hoy オイ adv. 今日は 「副詞」

estamos エスタモス 1 複現・存在(estar)v.i 〜にいる 「動詞」

a cuatro. ア・クワトロ adv. 4 日に 「副詞句」

「ああ！この時計は 2 日も遅れている！」と、帽子屋はため息をついて、怒って三月ウサギのほうを振り返ると、彼を非難した：「だから、バターは機械には良くないって言っただろ」

-¡Dios mío! ¡Este reloj lleva ya dos días de retraso! -suspiró el Sombreroero; y volviéndose con enfado hacia la Liebre de Marzo le reprochó: ¡Te dije que la mantequilla no le sentaría bien a la maquinaria!

《「感嘆」「主語」「動詞」「副詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」;

「副詞句」「目的語」「動詞」: 《「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》

-¡Dios mío! デイオス・ミオ int. (驚き) ああ！ 「感嘆」

¡Este reloj エステ・レロフ n.m この時計は 「主語」

lleva ジェバ 3 単現(llevar)v.t (影響を) 生じる、もたらす 「動詞」

ya ター adv. もう 「副詞」

dos días ト・ス・デイアス pl(día).n.m 2 日 「目的語」

de retraso! デ・レトラソ adj. 遅れの 「形容詞句」

-suspiró ススピロ 3 単点(suspirar)v.i ため息をついた 「動詞」

el Sombreroero; エル・ソブレイロ n.m 帽子屋は 「主語」

y イ conj. そして

volviéndose ボルビェントセ 現在分詞・同時(volverse)v.pr 振り返りながら 「副詞句」

con enfado コン・エンファド adv. 怒って 「副詞句」

hacia la Liebre de Marzo アシア・ラ・リエブレ・デ・マルソ

adv. 三月ウサギのほうに 「副詞句」

le レ pron 彼を 「目的語」

reprochó: レプロチョ 3 単点(reprochar)v.t 非難した 「動詞」

¡Te テ pron 君に 「間接目的語」

dije デイヘ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

que ケ conj. 〜ということを 「直接目的語」

la mantequilla ラ・マンテギジャ n.f バターは 「主語」

no ...sentaría 3 単過未・否定・推量(sentar)v.i (体に) 〜でない 「動詞句」

7 Una merienda de locos

le レ pron それに 「間接目的語」
 bien ビエン adv. 良い 「補語」
 a la maquinaria! ア・ラ・マキナリア adv. 機械に 「間接目的語」

「最高品質のバターだったんだけどなー」と、三月ウサギはとても不安げに言い返した。

-Era mantequilla de la mejor calidad -replicó la Liebre muy compungida.

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

-Era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」
 mantequilla マンテキジャ n.f バター 「補語」
 de la mejor calidad デ・ラ・メル・カリダ adj. 最高級の、最高品質の 「形容詞句」
 -replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.t 言い返した 「動詞」
 la Liebre ラ・リエブレ n.f 三月ウサギは 「主語」
 muy compungida. ミ・コンプンヒダ adv. (compungir) とても不安げに 「副詞句」
 compungir コンプンヒール v.t ~の心を痛める

「そうとも。だが、おそらくバターと一緒にたくさんのパンくずが入り込んだに違いない」

と、帽子屋は文句を言った。「時計に、パン切ナイフで塗っちゃいけなかったんだ」

-Sí; pero seguramente con la mantequilla se habrán colado bastantes migas de pan -
 gruñó el Sombreroero-, No deberías haber untado al reloj con el cuchillo del pan.

《「応答」; pero 「副詞句」「動詞句」「主語」》, 「動詞」「主語」,
 《「動詞句」「間接目的語」「副詞句」》

-Sí; シ adv. (肯定) そうとも 「応答」
 pero ペロ conj. しかし
 seguramente セグラマンテ adv. おそらく、きっと 「副詞」
 con la mantequilla コン・ラ・マンテキジャ adv. バターと一緒に 「副詞句」
 se habrán colado セ・アブラン・コラト 3 複未・完了形・現在完了の推量(se colar)
 v.pr (隙間から) 入り込んだだろう 「動詞句」
 bastantes migas バスタンテス・ミガス pl(miga).n.f たくさんのパンくずが 「主語」
 de pan デ・パン adj. パンの 「形容詞句」
 -gruñó グルニョ 3 単点(gruñir)v.i 文句を言った 「動詞」
 el Sombreroero-, エル・ソブブレロ n.m 帽子屋は 「主語」
 No deberías haber untado ノ・デベリアス・アベール・ウント 2 単過未・否定・義務
 (deber+不定詞・完了形 untar)v.t 塗ってはいけなかった 「動詞句」
 al reloj アル・レロフ adv. 時計に 「間接目的語」
 con el cuchillo del pan. コン・エル・クチジョ・デル・パン adv. (手段) パン切ナイフで 「副詞句」

7 Una merienda de locos

三月ウサギは時計を手に取り、憂鬱そうにそれを調べ、心配そうに自分の茶碗に沈めてみた。
そして、またそれを眺めたが、最初の言葉を繰り返すより良い方法は思いつかなかった。

La Liebre de Marzo tomó el reloj, lo examinó melancólicamente y lo hundió pesarosa en su taza de té; luego, volviéndolo a mirar con atención, no se le ocurrió cosa mejor que repetir su primera sentencia:

「主語」「動詞」「目的語」, 「目的語」「動詞」「副詞」 y 「目的語」「動詞」「副詞句」;
「副詞」「動詞句」「副詞句」, 「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「主語」

La Liebre de Marzo ラ・リエブレ・デ・マルソ n.f 三月ウサギは 「主語」
tomó トモ 3 単点(tomar)v.t 手に取った 「動詞」
el reloj, エル・レロフ n.m 時計を 「目的語」
lo ロ pron それを 「目的語」
examinó エクサミノ 3 単点(examinar)v.t 調べた、眺めた 「動詞」
melancólicamente メランコリカメンテ adv. 憂鬱そうに 「副詞」
y イ conj. そして
lo ロ pron それを 「目的語」
hundió ウンディオ 3 単点(hundir)v.t (en に) 沈めた 「動詞」
pesarosa ペサロサ adv. 心配そうに 「副詞」
en su taza de té; エン・ス・タサ・デ・テ adv. 自分の茶碗に 「副詞句」
luego, ルエゴ adv. それから 「副詞」
volviéndolo a mirar ボルビエント・ロ・ア・ミラル 現在分詞・同時・再度(volver a+不定詞+lo)
v.t またそれを見つめた 「動詞句」
con atención, コン・アテンシオン adv. 注意して 「副詞句」
no se ...ocurrió ノ・セ...オクリオ 3 単・否定(ocurrirse)
v.pr (a+人 の) 頭に浮かばかった 「動詞句」
le レ pron (三月ウサギ) 彼の 「間接目的語」
cosa mejor コサ・メホル n.f よりよい事は 「主語」
que ケ conj. (比較) ~するよりも 「副詞節」
repetir レパチール 不定詞 v.t 繰り返す 「動詞」
su primera sentencia: ス・プリメラ・センシエンシア n.f 文、言葉 「目的語」

「だけど、最高のバターだったんだけどなあ」

-Pero si era mantequilla de la mejor calidad. 《Pero si 「動詞」「補語」》
-Pero ペロ conj. しかし
si シ conj. (事実の対立) ~ではあるが
era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」
mantequilla マンテキジャ n.f バター 「補語」

7 Una merienda de locos

de la mejor calidad デ・ラ・メル・カダ adj. 最高級の、最高品質の 「形容詞句」

その間、アリスは三月ウサギの肩越しに興味津々という様子で時計を眺めていました。

Mientras tanto, Alicia había estado mirando el reloj por encima del hombro de la Liebre con bastante curiosidad. 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」

Mientras tanto, ミェントラス・タント adv. その間 「副詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

había estado mirando アビ・ア・エスト・ミラント 3 単線・完了形・進行形(mirar)

v.t 眺めていた 「動詞句」

el reloj エル・レロフ n.m 時計を 「目的語」

por encima ポル・エンシマ adv. (空間) 〜の上で、上から 「副詞句」

del hombro デル・オンブロ adj. 肩の 「形容詞句」

de la Liebre デ・ラ・リエブレ adj. 三月ウサギの 「形容詞句」

con bastante curiosidad. コン・バスタンテ・クリオシダ adv. 興味津々で 「副詞句」

「なんて奇妙な時計なの！」と、指摘しました。「時間の代わりに、日にちを表示している！」

-¡Qué reloj más raro -observó-, en vez de las horas del día marca los días del mes!

《「感嘆」》, 「動詞」, 《「副詞句」 「動詞」 「目的語」》

-¡Qué reloj ケ・レロフ int. 何という時計 「感嘆」

más raro マス・ラロ adj. まったく奇妙な 「形容詞句」

-observó-, オブセルボ 3 単点(observar)v.t 指摘した 「動詞」

en vez de エン・ベス・デ prep 〜の代わりに 「副詞句」

las horas ラス・オラス pl(hora).n.f 時間 「目的語」

del día デル・デア adj. 1 日の 「形容詞句」

marca マルカ 3 単現(marcar)v.t 表示している 「動詞」

los días ロス・デアス pl(dia).n.m 日にちを 「目的語」

del mes! デル・メス adj. 月の 「形容詞句」

「どうしてそんなことしなきゃならないんだ！」と、帽子屋は機嫌悪そうにつぶやいた。「それじゃあ、あんたの時計は年数を表示するのかい？」

-¡Y por qué no habría de hacerlo! -masculló malhumorado el Sombrero-. ¿Acaso tu reloj señala los años?

《Y 「副詞句」 「動詞句」》, 「動詞」 「副詞」 「主語」, 《「副詞」 「主語」 「動詞」 「目的語」》

-¡Y イ conj. そして

por qué ポル・ケ adv. どうして 「副詞句」

no habría de hacerlo! ノ・アブラ・デ・アセル・ロ 3 単過未・必要・否定(haber de+不定詞)

7 Una merienda de locos

v.t そんなことをしなければならない	「動詞句」
-masculló マスクジョ 3 単点(mascullar)v.t つぶやいた	「動詞」
malhumorado マルモラト adv. 機嫌悪そうに	「副詞」
el Sombreroero エル・ソブレイロ n.m 帽子屋は	「主語」
¿Acaso アカソ adv. もしかすると	「副詞」
tu reloj トゥ・レロフ n.m あんたの時計は	「主語」
señala セニャラ 3 単現(señalar)v.t 示す	「動詞」
los años? ロス・アノス pl(año).n.m 年数を	「目的語」

「もちろん、そんなことはないわ！」と、アリスは素直に認めた。「けれど、1 年というのはかなり長い間続くからよ」

-¡Claro que no! -concedió Alicia de buen grado-. Pero eso es porque se está mucho tiempo dentro del mismo año.

《「応答」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 《Pero「主語」「動詞」「補語」》

-¡Claro que +直説法 クラロ・ケ adj. もちろん～である	「応答」
no! ノ adv. (否定) ～でない	「副詞」
-concedió コンセディオ 3 単点(conceder)v.t (事実を) 認めた	「動詞」
Alicia アリシア n.f アリスは	「主語」
de buen grado-. デ・ブエン・グラト adv. (様態・手段) 進んで、快く	「副詞句」
Pero ペロ conj. しかし	
eso エソ pron それは	「主語」
es エス 3 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
porque ボルケ conj.(理由) ～だから	「補語」
se está セ・エスタ 3 単現(estar)v.pr (一か所に) 留まっている	「動詞句」
mucho tiempo ムチョ・ティエンポ adv. 長い間	「副詞句」
dentro del mismo año. デントロ・デル・ミスマ・アノ adv. 同じ年の中に	「副詞句」

「それは正に俺の場合と同じことだよ」と、帽子屋が言った。

-Que es precisamente lo que le pasa al mío -dijo el Sombreroero.

《「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」

-Que ケ pron そのことは	「主語」
es エス 3 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
precisamente プレシサメンテ adv. まさに	「副詞」
lo que ロケ pron ～するもの	「補語」
le レ pron それに	「間接目的語」
pasa パサ 3 単現(pasar)v.i 起こる	「動詞」

7 Una merienda de locos

al mío アル・ミーオ adv. 俺の物に 「間接目的語」
 -dijo ディホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 el Sombrero. エル・ソブレロ n.m 帽子屋が 「主語」

アリスは頭が混乱してしまいました：帽子屋が今言ったことは、何の意味もないと思いました
 たが、それでも、文法が間違っているとも言えなかったのです。

Alicia se quedó muy desconcertada: lo que acababa de decir el Sombrero no parecía tener ningún sentido, y, sin embargo, no se podía decir que no fuera perfecto castellano.

「主語」「動詞句」「補語」：「主語」「動詞句」「目的語」,y,「副詞句」「動詞句」「目的語」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

se quedó セ・ケト 3 単点(quedarse)v.pr (状態) 〜になった 「動詞句」

muy desconcertada: ムイ・デ・スコンセルタダ adj(desconcertado).f 困惑した、頭が混乱した「補語」

lo que ロ・ケ pron 〜することは 「主語」

acababa de decir アカバ・デ・デシール 3 単線・完了(acabar de+不定詞)

v.t 言い終わった 「動詞句」

el Sombrero エル・ソブレロ n.m 帽子屋が 「主語」

no parecía tener ノ・パレシア・テネル 3 単線・否定(parecer+不定詞 tener)

v.t 〜が無いように思われる 「動詞句」

ningún sentido, ニンゲン・センフト n.m 何の意味も〜ない 「目的語」

y, イ conj. そして

sin embargo, シン・エンバルゴ adv. それでも、しかし 「副詞句」

no se podía decir ノ・セ・ポデア・デシール 3 単線・可能(poder+不定詞 decirse)

v.t (que) 〜と思えなかった 「動詞句」

que ケ conj. 〜ということを 「目的語」

no fuera ノ・フエラ 接・3 単過・推量(ser)v.i 〜でないだろう 「動詞句」

perfecto castellano. ペルフェクト・カステジャノ n.m 完璧なスペイン語 「補語」

「どうも分からないわ」と、ついにアリスは丁寧な言葉で認める決心をした。

-No acabo de comprenderlo -se decidió por fin a confesar con la mayor gentileza.

《「動詞句」》,「動詞句」「副詞句」「動詞句」「副詞句」

-No acabo de comprenderlo ノ・アカボ・デ・コンプレンデル・ロ 1 単現・否定(acabar de+不定詞)

v.t どうも分からない 「動詞句」

no acabar de+不定詞 「(現在時制) なかなか〜しない」

No acabo de acostumbrarme a esta casa. 私はどうもこの家に馴染めない。

「(点過去など) とうとう〜しなかった」

Pedro no acabó de levantarse. ペドロはとうとう起きなかった。

7 Una merienda de locos

-se decidió セ・デシディオ 3 単点・決心(decidirse a+不定詞)v.pr ~する決心をした 「動詞句」
 por fin ポル・フィン adv. ついに、最後に、やっと 「副詞句」
 a confesar ア・コンフェサル 不定詞 v.t 認める 「動詞句」
 con la mayor gentileza. コン・ラ・マヨール・ベンチレサ adv. 最高の丁寧さで 「副詞句」

「ヤマネがまた寝ている！」と、帽子屋がヤマネの鼻に熱いお茶をかけて叫んだ。

-¡El Lirón se ha vuelto a dormir! -exclamó el Sombrero, derramándole un poco de té caliente sobre la nariz. 《「主語」「動詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞句」
 -¡El Lirón エル・リロン n.m (動物) ヤマネが 「主語」
 se ha vuelto a dormir! セ・ア・ブエルト・ア・ドルミール 3 単現・完了形(volver a+不定詞 dormirse)
 v.pr また寝ている 「動詞句」
 -exclamó エクスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ 「動詞」
 el Sombrero, エル・ソブブレロ n.m 帽子屋が 「主語」
 derramándole デラマント・レ 現在分詞・同時(derramar)v.t 彼にまき散らしながら 「副詞句」
 un poco de té caliente ウン・ポコ・デ・テ・カリエンテ n.m 熱いお茶を少し 「目的語」
 sobre la nariz. ソブレ・ラ・ナリス adv. 鼻の上に 「副詞句」

ヤマネは煩わしそうに頭を揺さぶり、目を開けずに言った：

El Lirón sacudió la cabeza muy molesto y dijo sin abrir los ojos:
 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 y 「動詞」「副詞句」
 El Lirón エル・リロン n.m (動物) ヤマネは 「主語」
 sacudió サクディオ 3 単点(sacudir)v.t 揺すった 「動詞」
 la cabeza ラ・カベサ n.f 頭を 「目的語」
 muy molesto ムイ・モレスト adv. (様態) 煩わしそうに 「副詞句」
 y イ conj. そして
 dijo ディオ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 sin abrir シン・アブリール 不定詞・同時 v.t 開けずに 「副詞句」
 los ojos: ロス・オス pl(ojo).n.m 目を 「目的語」

「えーと、その通りだ、その通りだとも；俺もそう言おうと思っていたんだ」

-Pues claro, pues claro; eso mismo iba a decir yo. 《「言いよどみ」；「主語」「補語」》
 -Pues claro, プエス・クラロ adv. えーと、その通りだ 「言いよどみ」
 pues claro; プエス・クラロ adv. その通りだ 「言いよどみ」
 eso エソ pron それは 「主語」
 mismo ミスト pron 同じ事 「補語」
 (que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」)

7 Una merienda de locos

iba a decir イバ・ア・デシール 1 単線・近接未来 (ir a+不定詞)

v.t 言おうとしていた

「動詞句」

yo. ジョ pron 俺が

「主語」

こう言って、帽子屋はまたアリスに話しかけて、尋ねた：

Con esto, el Sombreroero volvió a dirigirse a Alicia para preguntarle:

「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」

Con esto, コン・エステ adv. こう言って

「副詞句」

el Sombreroero エル・ソブブレロ n.m 帽子屋は

「主語」

volvió a dirigirse ボルビョ・ア・ディリヒルセ 3 単点・再度(volver a+不定詞)

v.pr また話しかけた

「動詞句」

a Alicia ア・アリシア adv. アリスに

「間接目的語」

para preguntarle: パラ・プレグンタル・レ 不定詞・結果 adv. そして彼女に尋ねた

「副詞句」

「もう、なぜなぜの答えは分かったのか？」

-¿Has encontrado ya la solución a la adivinanza?

《「動詞句」「副詞」「目的語」》

-¿Has encontrado アス・エンコントラト 2 単現・完了形(encontrar)v.t 見つけた、分かった「動詞句」

ya ヤー adv. もう

「副詞」

la solución ラ・ソルシオン n.f 答えを

「目的語」

a la adivinanza? ア・ラ・アディビナサ adv.(対象) なぜなぜへの

「副詞句」

「まだ分からない；降参するわ」と、アリスは答えた。「答えは何なの？」

-Pues no; me doy por vencida -replicó Alicia-. ¿Cuál es la respuesta?

《「応答」；「動詞句」「補語」》, 「動詞」「主語」, 《「補語」「動詞」「主語」》

-Pues no; プ・エス・ノ adv. いや、まだ分からない

「応答」

me doy メ・ドイ 1 単現(darse)v.pr (por) 自分を〜とみなす

「動詞句」

por vencida ホル・ベンシタ adv. 敗者と

「補語」

-replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.i 答えた

「動詞」

Alicia-. アリシア n.f アリスは

「主語」

¿Cuál クワル pron 何

「補語」

es エス 3 単現(ser)v.i 〜である

「動詞」

la respuesta? ラ・レスプ・エスタ n.f 答えは

「主語」

7 Una merienda de locos

「まったく何も思いつかない」と、帽子屋が言った。

-No tengo ni la menor idea -dijo el Sombrero. 《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」
 -No tengo ノ・テゴ 1 単現・否定(tener)v.t. ～がない 「動詞句」
 ni la menor idea ニ・ラ・メノール・イデア n.f. ごくわずかな考えも～ない 「目的語」
 -dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t. 言った 「動詞」
 el Sombrero. エル・ソブレロ n.m. 帽子屋が 「主語」

「俺も、思いつかない」と、三月ウサギが肯定した。

-Ni yo afirmo la Liebre 注 18. 《「応答」》, 「動詞」「主語」
 -Ni yo ニ・ジョ pron 俺も思いつかない 「応答」
 -afirmo アフィロ 3 単点(afirmar)v.t. 肯定した 「動詞」
 la Liebre 注 18. ラ・リエブレ n.f. 三月ウサギが 「主語」

アリスはうんざりしてため息をつきました：

Alicia suspiró hastiada: 「主語」「動詞」「副詞」
 Alicia アリシア n.f. アリスは 「主語」
 suspiró ススピロ 3 単点(suspirar)v.i. ため息をついた 「動詞」
 hastiada: アスチアダ 過去分詞(hastiar)adv. 嫌気がさして、うんざりして 「副詞」

「あなたたちは、答えの無いなぞなぞで時間を無駄遣いするよりも、何か他の事でもっと有効に時間を使うことが出来ると思うんだけど」

-Creo que podrían ustedes hacer algo más útil para matar el tiempo que malgastarlo con adivinanzas que no tienen solución. 《「動詞」「目的語」》
 -Creo クロ 1 単現(creer)v.t. (que ～と) 思う 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 podrían ...hacer ポドリアン...アセール 3 複過未・可能・推量(poder+不定詞 hacer)
 v.t. ～することができると思う 「動詞句」
 ustedes ウステデス pron.pl. あなたたちは 「主語」
 algo アルゴ pron 何かを 「目的語」
 más útil マス・ウティル adv. もっと有効に 「副詞句」
 para +不定詞 パラ 不定詞・目的 adv. ～するために 「副詞句」
 matar マタル 不定詞 v.t. (時間を) 潰す 「動詞」
 el tiempo エル・ティエンポ n.m. 時間を 「目的語」
 que ケ conj.(más útil para matar...que+不定詞 malgastarlo)
 adv. ～するよりも 「副詞句」
 malgastarlo マルガスターロ 不定詞(malgastar+lo)

7 Una merienda de locos

v.t 時間を無駄遣いする	「動詞句」
con adivinanzas コン・アディビナンザ	
adv. (手段) なぞなぞで	「副詞句」
que ケ pron.pl (主語) ～する	「形容詞節」
no tienen ノ・ティエネン 3 複現・否定(tener)	
v.t ～が無い	「動詞句」
solución. ソルシオン n.f 答え	「目的語」

「ああ、俺くらい時間のことをよく知っていたら」と、帽子屋は叫んだ。「時間を無駄にするようなことは言わないし、さらに、時間を無駄にもしない」

-¡Ay! ¡Si conocieras al Tiempo tan bien como lo conozco yo -exclamó el Sombrero-, no hablarías de malgastarlo, y mucho menos de matarlo!

《「感嘆」, 「副詞節」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」「間接目的語」》

-¡Ay! アイ int. ああ	「感嘆」
¡Si シ conj. もし～ならば	「副詞節」
conocieras コノシエラス 接・2 単過・假定(conocer)v.t 知っていた	「動詞」
al Tiempo アル・ティエンポ adv. 時間について	「間接目的語」
tan bien タン・ビエン adv. 非常によく	「副詞句」
como コモ conj. ～と同じ位	「副詞節」
lo ロ pron 時間を	「目的語」
conozco コノスコ 1 単現(conocer)v.t 知っている	「動詞」
yo ヨ pron 俺が	「主語」
-exclamó エクスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ	「動詞」
el Sombrero-, エル・ソンプレロ n.m 帽子屋が	「主語」
no hablarías ノ・アブラリアス 2 単過未・否定・推量(hablar)v.t 言わないだろう	「動詞句」
de malgastarlo, デ・マルガスタル・ロ adv. (関連)それを無駄遣いするということを「間接目的語」	
y イ conj. そして	
mucho menos de matarlo! ムチョ・メノス・デ・マタル・ロ adv. まして時間を潰さない「間接目的語」	
mucho menos ムチョ・メノス adv. ましてや	

それは非常に用心すべきだがありふれてはいない奴のことだ。

Se trata de un tipo de mucho cuidado, y no de una cosa cualquiera.

「動詞句」「間接目的語」

Se trata セ・トラタ 3 単現(tratarse)v.pr(de) 話は～である	「動詞句」
de un tipo デ・ウン・ティポ adv. ある奴	「間接目的語」
de mucho cuidado, デ・ムチョ・クイダド adj. 非常に用心すべき	「形容詞句」

7 Una merienda de locos

y イ conj. そして

no de una cosa ノ・デ・ウナ・コサ adj. あることでは～ない 「形容詞句」

cualquiera. クワルキエラ adj. ありふれた 「形容詞」

「私には、永久に分からない事だわ」と、アリスは言った。

-Me parece que sigo sin comprenderle -dijo Alicia.

《「間接目的語」「動詞」「主語」》, 「動詞」「主語」

-Me メ pron 私には 「間接目的語」

parece パレセ 3 単現(parecer)v.i ～に見える 「動詞」

que ケ conj. ～ということが 「主語」

sigo シゴ 1 単現(seguir)v.i ～であり続ける 「動詞」

sin +不定詞 不定詞 adv. ～しない 「副詞句」

comprenderle コンプレンデール・レ 不定詞 v.t それを理解できない 「動詞句」

-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia. アリシア n.f アリスは 「主語」

「俺の言うことが理解できなくて当然さ！」と、帽子屋は鼻高々に威張って言った。「きっと、時間と話したこともないんだろう？」

-¡Naturalmente que no me comprendes! -dijo el Sombrero elevando orgullosamente la nariz-. Con toda seguridad ¡ni siquiera habrás hablado con el Tiempo!

《「補語」「主語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 《「副詞句」「動詞句」「間接目的語」》

-¡Naturalmente ナチュラルメンテ adv. 当然 「補語」

que ケ conj. ～ということは 「主語」

no ...comprendes! ノ...コンプレンデス 2 単現・否定(comprender)

v.t 理解できない 「動詞句」

me メ pron 俺の言うことを 「目的語」

-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

el Sombrero エル・ソムブレロ n.m 帽子屋は 「主語」

elevando エレバント 現在分詞・同時(elevar)adv. 上げながら 「副詞句」

orgullosamente オルグジョサメンテ adv. 威張って 「副詞句」

la nariz-. ラ・ナリス n.f 鼻を 「目的語」

Con toda seguridad コン・トダ・セグリティダ adv. きっと 「副詞句」

¡ni siquiera ニ・シキエラ adv. ～さえもない 「副詞句」

habrás hablado アブラス・アブラト 2 単未・完了形(hablar)v.i 話した 「動詞句」

con el Tiempo! コン・エル・ティエンポ adv. 時間と 「間接目的語」

7 Una merienda de locos

「ないかもしれない」と、アリスは慎重に答えた。「でも、あるわ」と、期待を抱いて付け加えた。「音楽の授業では、手拍子でテンポを取ることを知っているから」

-Puede que no contestó Alicia con cautela-. Pero sí sé -añadió esperanzada-, que en las lecciones de música marco el tiempo a palmadas.

《「応答」》, 「動詞」「主語」「副詞句」,

《Pero 「応答」「動詞」》, 「動詞」「副詞」, 《「目的語」》

-Puede プエデ 3 単現・可能性(poder)v.t (que 〜が) あるかもしれない 「応答」

que ケ conj. 〜ということが 「目的語」

no ノ adv. (話したことが) ない 「動詞」

peede que +接続法 「〜するかもしれない」

Puede que no vengan. 彼らは来ないかも知れない。

-contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた 「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

con cautela-. コン・カウテラ adv. (様態) 慎重に、注意して 「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし

sí シ adv. はい、ある 「応答」

sé セ 1 単現(saber)v.t 分かっている、知っている 「動詞」

-añadió アニャディオ 3 単点(añadir)v.t 付け加えた 「動詞」

esperanzada-, エスペランサダ 過去分詞(esperanzar).adv 期待を抱いて 「副詞」

que ケ conj. 〜ということを 「目的語」

en las lecciones de música エン・ラス・レクシオネス・デ・ムシカ adv. 音楽の授業では 「副詞句」

marco マルコ 1 単現(marcar)v.t (拍子をとる) とる 「動詞」

el tiempo エル・ティエンポ n.m テンポを、拍 「目的語」

a ア prep (手段) 〜によって 「副詞句」

palmadas. パルマダス

pl(palmada).n.f 手拍子、手のひらで打つこと 「目的語」

「ああ！それがすべてを説明している！」と、帽子屋は認めた。「時間は、手拍子で区切られることを受け入れないだろう」

-¡Ah! ¡Ah! ¡Eso lo explica todo! -afirmó el Sombrero-, El Tiempo no tolera que le den de palmadas.

《「間投」 | 「主語」「目的語」「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」,
《「主語」「動詞」「目的語」》

-¡Ah! ¡Ah! アー・アー int. ああ！ 「間投」

¡Eso エソ pron それが 「主語」

lo ...todo! ロ...トト pron 全てを 「目的語」

explica エクスプリカ 3 単現(explicar)v.t 説明している 「動詞」

7 Una merienda de locos

-afirmó	アフイルモ	3 単現(afirmar)v.t	肯定した、認めた	「動詞」
el Sombrero-	エル・ソンプレロ	n.m	帽子屋は	「主語」
El Tiempo	エル・ティエンポ	n.m	時間は	「主語」
no tolera	ノ・トレ	3 単現・否定(tolerar)v.t	受け入れない	「動詞」
que	ケ	conj.	～ということを	「目的語」
le	レ	pron(tiempo の代用)	それに	「間接目的語」
den	デソ	接・3 複現(dar)v.i(de)	(繰り返しの殴打を) 与える	「動詞」
			受動態に翻訳する	
de palmadas.	デ・パルマダス	adv.	(動作主) 手拍子で	「副詞句」

もし時間とうまく付き合えば、あんたの時計に望むことを何でもやってくれるさ。

<u>Si en cambio te llevaras bien con él, haría cuanto quisieras con tu reloj;</u>				「副詞節」, 「動詞」 「目的語」
Si,	シ	conj.	もし～ならば	「副詞節」
en cambio,	エン・カンビオ	adv.	その代わり	「副詞句」
te llevaras bien	テ・シエハラス・ビエン	2 単未・假定(llevarse bien)		
		v.pr(con ～と)	うまく付き合う	「動詞句」
con él,	コン・エル	adv.	彼(時間)と	「副詞句」
haría	アリア	3 単過未・推量(hacer)v.t	するだろう	「動詞」
cuanto	クワント	pron	(目的語) いくらでも～を	「目的語」
quisieras	キシエラス	接・2 単過(querer)v.t	望んだ	「動詞」
con tu reloj;	コン・トゥ・レロホ	adv.	あんたの時計に	「間接目的語」

例えば、朝の 9 時で、授業が始まる時間だとしよう。

<u>por ejemplo, supongamos que fueran las nueve de la mañana, la hora en que comienzan tus lecciones;</u>				「副詞句」 「動詞」 「目的語」
por ejemplo,	ポール・エンプロ	adv.	例えば	「副詞句」
supongamos	スポンガモス	接・1 複現・勧誘(suponer)v.t	仮定しよう	「動詞」
que	ケ	conj.	～ということを	「目的語」
fueran	フエロン	3 複点・時制の一致(ser)v.i	～である	「動詞」
las nueve	ラス・ヌエベ	n.m	9 時	「補語」
de la mañana,	デ・ラ・マニャナ	adj.	朝の	「形容詞句」
la hora	ラ・オラ	n.f	時間	「主語」
en que	エン・ケ	adj.	そこで～する	「形容詞節」
comienzan	コミエンサン	3 複現(comenzar)v.i	始まる	「動詞」
tus lecciones;	トゥス・レクシオネス	pl(lección).n.f	授業が	「主語」

7 Una merienda de locos

それでは、時間の耳に時計の針が早く進むようにと呟けば十分だろう。すると、瞬きする間に、1 時半、昼ごはんの時間になるだろう。

pues bien, bastaría con que murmuraras tus deseos al oído del Tiempo para que éste se encargara de que las agujas del reloj corrieran veloces y en un abrir y cerrar de ojos serían la una y media, ¡la hora del almuerzo!

	「副詞句」「動詞」「副詞句」 y 「副詞句」「動詞」「補語」
pues bien, プエス・ビエン adv. そこで、さて、では	「副詞句」
bastaría バスタリア 3 単過未・推量(bastar)v.i(con で) 十分だろう	「動詞」
con que コン・ケ adv. (手段) ～ということで	「副詞句」
murmuraras ムムララス 接・2 単過・条件(murmurar)v.t つぶやけば	「動詞」
tus deseos トゥス・デセオス pl(deseo).n.m 願いを	「目的語」
al oído アル・オイド adv. 耳に	「副詞句」
del Tiempo デル・ティエンポ adj. 時間の	「形容詞句」
para que +接続法 パラ・ケ conj. ～するように	「副詞節」
éste エステ pron これ (時間) が	「主語」
se encargara セ・エンカガラ 接・3 単過(encargarse)	
v.pr(de を) 引き受けてくれる	「動詞句」
de que デ・ケ pron ～ということを	「目的語」
las agujas ラス・アグハス pl(aguja).n.f 針が	「主語」
del reloj デル・レロホ adj. 時計の	「形容詞句」
corrieran コリエラン 接・3 複過(correr)v.i 走る	「動詞」
veloces ベロセス adv. 速く	「副詞」
y イ conj. そして	
en un abrir y cerrar de ojos エン・ウン・アブリール・イ・セラール・デ・ホス adv. 1 度瞬きする間に	「副詞句」
serían セリアン 3 複過未・変化・推量(ser)v.i ～になるだろう	「動詞」
la una y media, ラ・ウナ・イ・メディア n.f 1 時半	「補語」
¡la hora ラ・オラ n.f 時間	「主語」
del almuerzo! デル・アルムエルソ adj. 昼ごはんの	「形容詞句」

7 Una merienda de locos

(「それが今なら、嬉しいんだけど」と、三月うさぎは心の中でささやいた。)

(«¿Cómo me gustaría que lo fuera ahora!», susurró para sí Liebre de Marzo.)

《「副詞」「間接目的語」「動詞」「主語」》, 「動詞」「副詞句」「主語」
 («¿Cómo コモ adv. どのように、どれ程 「副詞」
 me メ pron 私にとって 「間接目的語」
 gustaría グスタリア 3 単過未・推量(gustar)v.i 嬉しいだろうか 「動詞」
 que ケ conj. ～ということとは 「主語」
 lo ロ pron それが 「主語」
 fuera フェラ 接・3 単過・假定(ser)v.i ～だったら 「動詞」
 ahora!», アオラ adv. 今 「副詞」
 susurró ススロ 3 単点(susurrar)v.i ささやいた 「動詞」
 para sí パラ・シ adv. 自分のために、心の中で 「副詞句」
 Liebre de Marzo.) リエブレ・デ・マルツ n.f 三月うさぎは 「主語」

「確かに、それは嬉しいことになるかもしれない!」と、アリスは時間が提供してくれそう
 な数々の利点を押し量りながら叫んだ。「悪いけど、今の所おながが空いてないわ」

-¡Eso sí que estaría bueno! -exclamó Alicia, midiendo las muchas ventajas que parecía
 ofrecer el Tiempo-, Lo malo es que entonces no tendría apetito, ¿no le parece?

《「主語」「副詞句」「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」
 《「主語」「動詞」「補語」》
 -¡Eso エソ pron それは 「主語」
 sí que シ・ケ adv. 確かに 「副詞句」
 estaría エスタリア 3 単過未・推量・変化(estar)v.i ～になるだろう 「動詞」
 bueno! ブエノ adv. 良い 「補語」
 -exclamó エクスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ 「動詞」
 Alicia, アリシア n.f アリスは 「主語」
 midiendo ミディエント 現在分詞・同時(medir)adv. 押し量りながら 「副詞句」
 las muchas ventajas ラス・ムチャス・ガエンタハス pl(ventaja).n.f 多くの利点を「目的語」
 que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 parecía ofrecer パレシア・オフレセル 3 単線・時制の一致(parecer+不定詞)
 v.t 提供してくれそうな 「動詞句」
 el Tiempo-, エル・ティエンポ n.m 時間が 「主語」
 Lo malo ロ・マロ n.m 悪いことは 「主語」
 es エス 3 単現(estar)v.i ～である 「動詞」
 que ケ conj. ～ということ 「補語」
 entonces エントネス adv. それでは、今の所 「副詞」

7 Una merienda de locos

no tendría ノ・テントリア 1 単過未・否定・推量(tener)v.t. ～が無いとおもう 「動詞句」
 apetito, アペティト n.m 食欲 「目的語」
 ¿no le parece? ノ・レ・パレセ 3 単現・否定(parecer)v.i. そうでしょう? 「呼びかけ」
 あなたはそう思わないのですか?

「多分、今すぐは食欲が無いかもしれないが」と、帽子屋は認めた。「それでも、食欲があれば、いつまでも 1 時半を続けることも出来るんだぜ！」

-No lo tendrías inmediatamente, quizás -reconoció el Sombrerero-; pero como también podrías lograr que siguieran siendo la una y media indefinidamente, acabarías teniéndolo.

《「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞句」》, 「動詞」「主語」;

《pero como 「副詞」「動詞句」「目的語」》

-No ...tendrías ノ...テントリアス 2 単過未・否定・推量(tener)v.t. 無いかもしれない 「動詞句」
 lo 〇 pron (apetito の代用) 食欲が 「目的語」
 inmediatamente, インメデアタメンテ adv. すぐに 「副詞」
 quizás キス adv. 多分、おそらく 「副詞」
 -reconoció レコノシオ 3 単点(reconocer)v.t. 認めた 「動詞」
 el Sombrerero; エル・ソブレルロ n.m 帽子屋は 「主語」
 pero ペ 〇 conj. しかし
 como コモ conj. ～のように
 también タンビエン adv. ～もまた 「副詞」
 podrías lograr ポ・ドリャス・ログラール 2 単過未・可能・推量(poder+不定詞 lograr)
 v.t. 実現できるだろう 「動詞句」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 siguieran siendo シギエラン・シエント 接・3 複過・継続(seguir+現在分詞 ser)
 v.i. 続く 「動詞句」
 la una y media ラ・ウナ・イ・メディア pl.n.f 1 時半が 「主語」
 indefinidamente, インデフィニダメンテ adv. いつまでも 「副詞」
 acabarías teniéndolo. アカバリアス・テニエント・ロ 2 単過未・結局・推量(acabar+現在分詞 tener)
 v.t. 結局はそれを持つことをやめるだろう 「動詞句」
 → 食欲がある間は「副詞句」

7 Una merienda de locos

「あなたは、そんな風に時間と付き合っているというの？」と、アリスが尋ねた。

¿Es así como se las arregla usted con el Tiempo? -preguntó Alicia.

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」

¿Es エス 3 単現・疑問文(ser)v.i ~なのか?

「動詞」

así como アシ・コモ conj. ~のようなこと

「補語」

se ...arregla セ・アレグラ 3 単現(arreglarse)

v.pr うまくやっている、付き合っている

「動詞句」

las ラス pron.pl (時間の代用) それと

「間接目的語」

usted ウステ pron あなたは

「主語」

con el Tiempo? コン・エル・ティエンポ adv. 時間と

「副詞句」

-preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

Alicia. アリシア n.f アリスは

「主語」

帽子屋は、頭を振ってとても悲しそうに否定しました：

El Sombrero negó con la cabeza muy apesadumbrado:

「主語」「動詞」「副詞句」

El Sombrero エル・ソンブレロ n.m 帽子屋は

「主語」

negó ネゴ 3 単点(negar)v.t 否定した

「動詞」

con コン prep (様態) ~の様子で

「副詞句」

la cabeza ラ・カベサ n.f 頭

「目的語」

muy apesadumbrado: ムイ・アペ・サド・カンブラト 過去分詞・受動(apesadumbrar)

adv. とても悲しんだ

「形容詞句」

7 Una merienda de locos

「残念だが、そうではない」と、帽子屋は答えた：「この前の3月に、俺は時間と喧嘩したんだよ。あいつの気が狂うちょっと前だった」と、茶さじで三月ウサギを指しながら言った。

「ハートの女王様の大コンサートがあって、そこで俺も歌うことになったんだ」

-Desgraciadamente, no es así -contestó-: nos peleamos el pasado marzo; por cierto, justo antes de que ése se volviera loco -dijo, señalando con la cucharilla a la Liebre de Marzo-. Sucedió durante el gran concierto ofrecido por la Reina de Corazones, y en el que me tocó cantar: 《「副詞」「動詞句」「補語」》, 「動詞」: 《「動詞句」「副詞句」》, 「動詞」「副詞句」《「動詞」「副詞句」 y 「副詞句」「主語」》

-Desgraciadamente, デスグラシアダメンテ adv. 残念なことに 「副詞」

no es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i 〜でない 「動詞句」

así アシ adv. そのような 「補語」

-contestó- コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた 「動詞」

nos peleamos ノス・ペ・レアモス 1 複点(pelearse)v.pr 喧嘩した 「動詞句」

el pasado marzo; エル・パ・サド・マルソ adv. この前の3月に 「副詞句」

por cierto, ポル・シエルト adv. そういえば 「副詞句」

justo antes de フスト・アンテス・デ prep (時間) 〜のちょっと前に 「副詞句」

que ケ conj. 〜ということ 「目的語」

ése エセ pron あれが、時間が 「主語」

se volviera セ・ボルビエラ 接・3 単過・時制の一致(volverse)
v.pr 〜に変わる、なる 「動詞句」

loco ロコ adj. 気が狂った 「補語」

-dijo, デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

señalando セニャランド 現在分詞・同時(señalar)v.t 指し示しながら 「副詞句」

con la cucharilla コン・ラ・クチャリジャ adv. (手段) 茶さじで 「副詞句」

a la Liebre de Marzo-. ア・ラ・リエブレ・デ・マルソ adv. 三月ウサギを 「間接目的語」

Sucedió ステディオ 3 単点(suceder)v.i 〜ということになった、〜が起こった 「動詞」

durante el gran concierto ド・ウランテ・エル・コンシエルト adv. 大コンサートの時に 「副詞句」

ofrecido オフレシト 過去分詞・受動(ofrecer)adj. 催された、提供された 「形容詞句」

por la Reina de Corazones, ポル・ラ・レイナ・デ・コラソ

adv. (動作主) ハートの女王様によって 「副詞句」

y イ conj. そして

en el エン・エル adv. そこで 「副詞句」

que ケ conj. 〜ということが 「主語」

me メ pron 俺が 「目的語」

tocó トコ 3 単点(tocar)v.t ふれた 「動詞」

cantar: カンタル 不定詞・me の動作 v.i 歌う 「補語」

7 Una merienda de locos

「きらきら光るコウモリよ

いったい何をたくらむか？」

Brilla, luce, ratita alada, ¿en qué estarás tan atareada?

《「動詞句」「呼びかけ」, 「間接目的語」「動詞句」》

Brilla, ブリジャ 3 単現(brillar)v.i 輝く 「動詞」

luce, ルセ 3 単現(lucir)v.i 輝く、光る 「動詞」

ratita ラチータ n.f(= rata + -ita) ネズミよ 「呼びかけ」

alada, アラダ adj. 翼のある 「形容詞」

→ コウモリ

¿en qué エン・ケ adv. 何に 「間接目的語」

estarás tan atareada? エスタラス・タン・アタレアダ 2 単未・受動.f(atarear)

v.t(en ～に) それほど忙殺されている 「動詞句」

「この歌、もちろん知ってるよね？」

»Conoces esa canción, ¿no es verdad? 《「動詞」「目的語」, 「確認」》

»Conoces コノセス 2 単現(conocer)v.t 知っている 「動詞」

esa canción, エサ・カンシオン n.f その歌を 「目的語」

¿no es verdad? ノ・エス・ベルダ

adv. (同意を求める反語表現) もちろん、まさか知らないなんて 「確認」

「なにかそんなのを聞いた気がする」と、アリスは答えた。

-Algo parece que me suena -dijo Alicia 注 19.

《「主語」「動詞」「主語」》, 「動詞」「主語」

-Algo アルコ pron 何かが 「主語」

parece パレセ 3 単現(parecer)v.i ～のように見える 「動詞」

que ケ conj. ～ということが 「主語」

me メ pron 私に 「間接目的語」

suena スエナ 3 単現(sonar)v.i 鳴り響いた 「動詞」

-dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia 注 19. アリシア n.f アリスは 「主語」

7 Una merienda de locos

「歌詞の続きも、知ってるよね」と、帽子屋は付け加えた。

-Como sabes, tiene más estrofas añadió el Sombrero:

《「副詞節」, 「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」

-Como コモ conj. どのように

「副詞節」

sabes, サベス 2 単現(saber)v.t 知っている

「動詞」

tiene ティエネ 3 単現(tener)v.t ーがある

「動詞」

más estrofas マス・エストロファス pl(estrofa).n.f さらに歌詞が

「目的語」

-añadió アニャディオ 3 単点(añadir)v.t 付け加えた

「動詞」

el Sombrero: エル・ソムブレロ n.m 帽子屋が

「主語」

「世界のとっぺんで、

お盆のように飛んでいる

きらきら光って...」

Por encima del Universo vuelas como una bandeja de teteras. Brilla, luce...

《「副詞句」「動詞」「副詞句」 | 「動詞句」》

Por encima ホル・エンシマ adv. (空間) とっぺん辺りで

「副詞句」

del Universo デル・ウニベルソ adj. 世界の

「形容詞句」

vuelas ブエラス 2 単現(volar)v.i 飛んでいる

「動詞」

como コモ conj. (類似) ーのように

「副詞句」

una bandeja ウナ・バンデハ n.f お盆

「目的語」

de teteras. デ・テテラス adj. 紅茶ポットの

「形容詞句」

Brilla, ブリジャ 3 単現(brillar)v.i 輝く

「動詞」

luce... ルセ 3 単現(lucir)v.i 輝く、光る

「動詞」



7 Una merienda de locos

ここまできた時、ヤマネが身震いして、寝ぼけて歌い始めた：

「輝く、光る... 輝く、光る...」

そして長い間このように歌い続けたので、皆でつねってやめさせた。

Al llegar a este punto, el Lirón se sacudió y empezó a canturrear medio dormido: «Brilla, brilla, luce, luce...», y continuó así durante tanto tiempo que tuvieron que pellizcarle para que cesara.

「副詞句」「主語」「動詞句」 y 「動詞句」「副詞句」：《「動詞句」》

y 「動詞」「副詞句」

Al llegar アル・ジエガール adv. (時点) 来た時に

「副詞句」

a este punto, ア・エステ・プント adv. (終着点) この時点に

「副詞句」

el Lirón エル・リロン n.m (動物) オオヤマネが

「主語」

se sacudió セ・サケティオ 3 単点(sacudirse)v.pr 身震いした

「動詞句」

y イ conj. そして

empezó a canturrear エンペゾ・ア・カントゥレアル 3 単点・開始(empezar a+不定詞)

v.i 歌い始めた

「動詞句」

medio dormido: メディア・ドルミト adv. 寝ぼけて、半分眠った

「副詞句」

«Brilla, brilla, luce, luce...», ブリジャ・ブリジャ・ルセ・ルセ 3 単現(brillar, lucir)

v.i 「輝く、光る...」

「動詞句」

y イ conj. そして

continuó コンチヌオ 3 単点(continuar)v.t 続けた

「動詞」

así アシ adv. このように

「副詞」

durante tanto tiempo ドゥランテ・タント・ティエンポ adv. 長い間

「副詞句」

que ケ conj. (結果) それで～する

「副詞節」

tuvieron que pellizcarle トゥビエロン・ケ・ペリスカル・レ 3 複点・必要(tener que+不定詞 pellizcar+le)

v.t 彼をつねらなければならなかった

「動詞句」

para que cesara. パラ・ケ・セサ adv. (目的) やめるように

「副詞句」

ヤマネ

哺乳綱齧歯目ヤマネ科ヤマネ属に分類される齧歯類。

頭胴長（体長）6.8・8.4センチメートル。

尾長 4.4・5.4センチメートル。

体重は夏季には 14・20 グラム。

オオヤマネは、

頭胴長：約 13～19cm 尾長：約 11～15cm



7 Una merienda de locos

「よし」と、ヤマネを止めて、帽子屋は話を続けた。「それで、俺が1番を歌い終わるかどうかという時に、女王が怒鳴り出したんだ」「こいつは、時間を壊している！首を切れ！」

-Bueno -siguió diciendo cuando pudo el Sombrero-, pues apenas había acabado de cantar la primera estrofa cuando la Reina se puso a gritar: «¡Se está cargando al Tiempo! ¡Que le corten la cabeza!».

《「副詞」》, 「動詞句」「副詞句」,

《pues 「副詞」「動詞句」「目的語」 cuando 「主語」「動詞句」:》

《「動詞句」「間接目的語」 | 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》

-Bueno ブエノ adv. よい、よろしい 「副詞」
 -siguió diciendo シギオ・ディシエント 3 単点・継続(seguir+現在分詞)v.t 話し続けた 「動詞句」
 cuando クワント conj. ～する時 「副詞節」
 pudo プト 3 単点(poder)v.t 出来た、やめさせた 「動詞」
 el Sombrero-, エル・ソンブレロ n.m 帽子屋は 「主語」
 pues プエス conj. それで
 apenas アペナス conj. ～するとすぐに 「副詞」
 había acabado de cantar アビア・アカバト・デ・カンタル 3 単線・完了形・終了(acabar de+不定詞)
 v.t 歌い終わった 「動詞句」
 la primera estrofa ラ・プリメラ・エストロファ n.f 1 番の歌詞を 「目的語」
 cuando クワント conj. その時 「副詞」
 la Reina ラ・レイナ n.f 女王が 「主語」
 se puso a gritar: セ・プソ・ア・グリタル 3 単点・開始(ponerse a+不定詞)
 v.pr 怒鳴りだした 「動詞句」
 «¡Se está cargando セ・エスタ・カルガント 3 単現・進行形(cargarse)v.pr 壊している 「動詞句」
 al Tiempo! アル・ティエンポ adv. 時間を 「間接目的語」
 ¡Que +接続法 conj. (命令の強調)
 le レ pron こいつの 「間接目的語」
 corten コルテン 接・3 複現・命令(cortar)v.t 切れ！ 「動詞」
 la cabeza!». ラ・カベサ n.f 頭を、首を 「直接目的語」

「なんて残酷なの！」と、アリスは怖がって叫んだ。

-¡Qué barbaridad! -exclamó Alicia horrorizada. 《「感嘆」》, 「動詞」「主語」「副詞」
 -¡Qué barbaridad! ケ・バルバリダ int. なんて野蛮なの！残酷な！ 「感嘆」
 -exclamó エスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ 「動詞」
 Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
 horrorizada. ホリスガ adv. 恐ろしそうに 「副詞」
 horrorizada ホリスガ 過去分詞.f(horrorizar) 怖がった → 副詞化

7 Una merienda de locos

「それで、その時から」と、帽子屋は話を続けた。「段々と困難になって、時間のやつは俺に何もしてくれないんだ。だから、俺の時計はいつも午後 6 時なんだ」

-Y desde entonces -siguió diciendo el Sombrero, cada vez con más pena-, el Tiempo no quiere saber nada conmigo iy para mí son siempre las seis de la tarde!

《Y》, 「動詞句」「主語」,

《「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」y「副詞句」「動詞」「副詞」「補語」》

-Y イ conj. そして

desde entonces デスデ・エントネス adv. (時間の起点) その時から 「副詞句」

-siguió diciendo シギョ・ディシエント 3 単点・継続(seguir+現在分詞)v.t 話し続けた 「動詞句」

el Sombrero, エル・ソブブレロ n.m 帽子屋は 「主語」

cada vez カダ・ベス adv. 毎回、その度に 「副詞句」

con más pena-, コン・マス・ペナ adv. さらに困難に 「副詞句」

el Tiempo エル・ティエンポ n.m 時間は 「主語」

no quiere saber ノ・キエレ・サバー 3 単現・否定(querer+不定詞 saber)v.t やりたくない「動詞句」

nada ナダ pron 何も～ない 「目的語」

conmigo コンミゴ adv. 僕と 「副詞句」

iy イ conj. そして

para mí パラ・ミ adv. 僕にとっては 「副詞句」

son ソン 3 複現(ser)v.i (時間が) ～である 「動詞」

siempre シエンプレ adv. いつでも、永久に 「副詞」

las seis ラス・セイス pl.n.m 6 時 「補語」

de la tarde! デ・ラ・タルデ adj. 午後の 「形容詞句」

良い考えがアリスの頭に浮かんだ：

A Alicia se le ocurrió entonces una idea luminosa: 「間接目的語」「動詞句」「副詞」「主語」

A Alicia ア・アリシア adv. アリスに 「間接目的語」

se le ocurrió セ・レ・オクリオ 3 単点(ocurrir)v.pr 頭に浮かんだ 「動詞句」

entonces エントネス adv. その時 「副詞」

una idea ウナ・イデア n.f 考えが 「主語」

luminosa: ルミナ adj(luminoso).f 明解な、的確な 「形容詞」

7 Una merienda de locos

「このテーブルに沢山の茶道具が出ているのは、そのせいなのね？」と、尋ねた。

-¿Es por eso por lo que hay tantos cubiertos de té servidos en esta mesa? -preguntó.

《「動詞」「補語」「主語」》, 「動詞」

-¿Es エス 3 単現・疑問文(ser)v.i ~なのかな?

「動詞」

por eso ポル・エソ adv. そのせい

「補語」

por lo que ポル・ロ・ケ pron ~する理由は

「主語」

hay アイ 3 単現・存在(haber)v.t ~がある

「動詞」

tantos cubiertos タントス・クビエルトス pl(cubierto).n.m 食器セットが

「目的語」

de té テ・テ adj. お茶の

「形容詞句」

servidos セルビトス 過去分詞・受動(servir)adj.pl 出された

「形容詞」

en esta mesa? エン・エスタ・メサ adv. このテーブルの上に

「副詞句」

-preguntó. プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

「そういうことだ」と、帽子屋はため息まじりに答えた；「それで、いつでもお茶の時間なんだ。そして、お茶とお茶の間に食器を洗う時間が無いんだ」

-Así es -contestó el Sombrero con un suspiro-; por aquí es siempre la hora del té, y no nos da tiempo para lavar la vajilla entre té y té.

《「補語」「動詞」》, 「動詞」「主語」「副詞句」;

《「副詞句」「動詞」「補語」, y 「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」》

-Así アシ adv. そのような

「補語」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

-contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた

「動詞」

el Sombrero エル・ソンブレロ n.m 帽子屋が

「主語」

con un suspiro-; コン・ウン・ススピロ adv. ため息まじりに

「副詞句」

por aquí ポル・アキ adj. このことから、このあたりで

「副詞句」

es エス 3 単現・時間(ser)v.i ~である

「動詞」

siempre シエンプレ adv. いつでも

「副詞」

la hora del té, ラ・オラ・デ・テ n.f お茶の時間

「補語」

y イ conj. そして

no ...da ノ...ダ 3 単現・否定(dar)v.t くれない

「動詞句」

nos ノス pron 我々に

「間接目的語」

tiempo テイエンポ n.m 時間を

「直接目的語」

para lavar パラ・ラバー 不定詞・目的 adv. 洗うために

「副詞句」

la vajilla ラ・バヒジャ n.f 食器を

「目的語」

entre エントレ prep (時間) ~の間に

「副詞句」

té y té. テ・イ・テ n. お茶とお茶

「目的語」

7 Una merienda de locos

「それじゃあ」と、アリスが言った。「代わりにテーブルの位置をずらしていくってこと？」

-Supongo entonces -dijo Alicia- que van dando vuelta a la mesa en vez.

《「動詞」「副詞」》, 「動詞」「主語」, 《「目的語」》

-Supongo スポongo 1 単現(suponer)v.t 推測する 「動詞」

entonces エントネス adv. それでは 「副詞」

-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia- アリシア n.f アリスは 「主語」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

van dando バン・ダント 3 複現・進行(ir+現在分詞 dar)v.t 与えていく 「動詞句」

「主語」は「cubiertos」

vuelta ブエルタ n.f 回転を 「直接目的語」

a la mesa ア・ラ・メサ adv. テーブルに 「間接目的語」

en vez. エン・ベス adv. その代わりに 「副詞句」

食器を洗う代わりに

「その通り！」と、帽子屋が言った；「茶碗を汚すにつれて、ずれていく」

-Precisamente -dijo el Sombreroero-; a medida que vamos ensuciando las tazas.

《「間投」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞節」》

-Precisamente プレシサメンテ adv. その通り！ 「間投」

-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

el Sombreroero; エル・ソンプレロ n.m 帽子屋が 「主語」

a medida que +直説法 ア・メディダ・ケ conj. ～するにつれて 「副詞節」

vamos ensuciando バモス・エンスシアント 1 複現・進行(ir+現在分詞 ensuciar)

v.t 汚していく 「動詞句」

las tazas. ラス・タサス pl(taza).n.f 茶碗を 「目的語」

「でもそれで、また最初の所に戻ったら、どうなるの？」と、アリスは思い切って尋ねた。

-Pero ¿y qué sucede cuando llegan de nuevo al principio de la mesa? -se atrevió a preguntar Alicia. 《Pero ¿y 「主語」「動詞」「副詞節」》, 「動詞句」「主語」

-Pero ペロ conj. しかし

¿y イ conj. それで

qué ケ pron 何が 「主語」

sucede スセデ 3 単現・疑問文(suceder)v.i 起こるの？ 「動詞」

cuando カント conj. (条件) ～したら 「副詞節」

llegan シェガソ 3 複現(llegar)v.i 戻る 「動詞」

7 Una merienda de locos

de nuevo デ・ヌエボ	adv. また、再び	「副詞句」
al principio アル・プリンシピオ	adv. (場所) 最初の所へ	「副詞句」
de la mesa? デ・ラ・メサ	adj. テーブルの	「形容詞句」
-se atrevió a preguntar セ・アトレビョ・ア・プレグンタル	3 単点・思い切り(atreverse a+不定詞)	
v.pr	思い切って尋ねた	「動詞句」
Alicia. アリシア	n.f アリスは	「主語」

「話題を変えようよ?」と、三月ウサギがあくびをしながら割り込みました。「この話題はもう飽きたよ。このお嬢ちゃんにお話しをしてもらおうのはどうだろう」

¿Qué os parece si cambiamos de conversación? -interrumpió la Liebre de Marzo bostezando-. Me estoy cansando de todo eso. Propongo que esta joven nos cuente un cuento.

《「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞節」》, 「動詞」「主語」「副詞」,
《「動詞句」「間接目的語」 | 「動詞」「目的語」》

¿Qué	pron 何が、どう	「主語」
os	pron 君たちにとって	「間接目的語」
parece	パレセ 3 単現・疑問文(parecer)v.i ~に見える?	「動詞」
si	シ conj. もし~するなら	「副詞節」
cambiamos	カンビアモス 1 複現(cambiar)v.i(de を) 替える	「動詞」
de conversación?	デ・コンベルサシオン adv. 話題を	「間接目的語」
-interrumpió	インテルピョ 3 単点(interrumpir)v.t 遮った	「動詞」
la Liebre de Marzo	ラ・リエブレ・デ・マルツ n.f 三月ウサギが	「主語」
bostezando-	ボステザント 現在分詞・同時(bostezar)adv. あくびをしながら	「副詞」
Me estoy cansando	メ・エストイ・カンサント 1 単現・進行形(cansarse)	
v.pr(de に)	飽きてきた	「動詞句」
de todo eso.	デ・トド・エスト adv. この話題には	「間接目的語」
Propongo	プロポongo 1 単現(proponer)v.t 提案する	「動詞」
que	ケ conj. ~ということ	「目的語」
esta joven	エスタ・ホベン pron.f このお嬢ちゃんは	「主語」
nos	ノス pron.pl 俺たちに	「間接目的語」
cuente	クエンテ 3 単現(contar)v.t 語る	「動詞」
un cuento.	ウン・クェント n.m 話を	「目的語」

7 Una merienda de locos

「何も知らないと思う」と、アリスはこの提案が不安になって急いで答えた。

-Mucho me temo que no sé ninguno -se apresuró a decir Alicia, muy alarmada por la idea.

《「副詞」「動詞句」「目的語」》, 「動詞句」「主語」「副詞句」

-Mucho ムチョ adv. 非常に 「副詞」

me temo メ・テモ 1 単現(temerse)v.pr 心配している、疑っている 「動詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

no sé ノ・セ 1 単現・否定(saber)v.t 知らない 「動詞句」

ninguno ニングノ pron 何も～ない 「目的語」

-se apresuró a decir セ・アプレスロ・ア・デシール 3 単点・急いである(apresurarse a+不定詞 decir)

v.t 急いで言った 「動詞句」

Alicia, アリシア n.f アリスは 「主語」

muy alarmada ムイ・アラマダ 過去分詞(alarmar)adj.f とても不安になって 「副詞句」

por la idea. ポル・ラ・イデア adv. (原因) その提案に 「副詞句」

「それじゃあ、ヤマネにやらせろ！」と、二人が同時に叫んだ。「起きろ。ヤマネ」と、ヤマネを怒鳴りつけて、両側から同時にヤマネをつねり始めた。

-¡Entonces habrá de hacerlo el Lirón! -exclamaron a una los dos-. ¡Despierta, Lirón!... -le gritaron, y comenzaron a pellizcarle por ambos lados a la vez.

《「副詞」「動詞句」「主語」》, 「動詞」「副詞句」「主語」,

《「動詞」「呼びかけ」》, 「目的語」「動詞」 y 「動詞句」「副詞句」

-¡Entonces エントンセス adv. それじゃあ 「副詞」

habrá de hacerlo アブラ・デ・アセル・ロ 3 単未・必要(haber de+不定詞 hacer+lo)

v.t それをしなければならない 「動詞句」

→ 使役 → ヤマネにそれをさせる

el Lirón! エル・リロン n.m ヤマネが 「主語」

-exclamaron エクスクラマロン 3 複点(exclamar)v.i 叫んだ 「動詞」

a una ア・ウナ adv. 一斉に、同時に 「副詞句」

los dos. ロス・トス pron.pl 二人が 「主語」

¡Despierta, デスピエрта 命・2 単現(despertar)v.t 起きろ！ 「動詞」

Lirón!... リロン n.m ヤマネ 「呼びかけ」

-le レ pron ヤマネを 「目的語」

gritaron, グリタロン 3(gritar)v.i 怒鳴った 「動詞」

y イ conj. そして

comenzaron a pellizcarle コメンサロン・ア・ペジスカール・レ 3 複点。開始(comenzar a+不定詞)

v.t 彼をつねり始めた 「動詞句」

por ambos lados ポル・アンボス・ラトス adv. (手段) 両側から 「副詞句」

7 Una merienda de locos

a la vez. ア・ラ・ベス adv. 一度に、同時に 「副詞句」

ヤマネはゆっくり目を開けました。

El Lirón abrió lentamente los ojos. 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」
 El Lirón エル・リロン n.m ヤマネは 「主語」
 abrió アブリオ 3 単点(abrir)v.t 開いた、開けた 「動詞」
 lentamente レンタメンテ adv. ゆっくり 「副詞」
 los ojos. ロス・ホス pl(ojo).n.m 両目を 「目的語」

「寝てなんかいないよ」と、しわがれて弱々しい声で言いました；「あんたたちの話は、ぜんぶ聞いていたよ」

-No estaba durmiendo -les aseguró con voz ronca y débil; estaba escuchando todo lo que decíais, amigos. 《「動詞句」》, 「間接目的語」「動詞」「副詞句」, 《「動詞句」「目的語」》
 -No estaba durmiendo ノ・エスタバ・ドゥルミエント 1 単線・進行形・否定(dormir)
 v.i 寝ていなかった 「動詞句」
 -les レス pron.pl 彼らに 「間接目的語」
 aseguró アセグロ 3 単点(asegurar)v.t 確言した、言った 「動詞」
 con voz コン・ボス adv. (手段) 声で 「副詞句」
 ronca ロンカ adj(ronco).f しわがれた 「形容詞」
 y イ conj. そして
 débil; デビール adj. 弱い 「形容詞」
 estaba escuchando エスタバ・エスクチャント 1 単線・進行形・否定(escuchar)
 v.t 聞いていた 「動詞句」
 todo lo que トド・ロ・ケ pron ~するもの全てを 「目的語」
 decíais, デシアイス 2 複線(decir)v.t 言っていた 「動詞」
 amigos. アミゴス pl(amigo).n.m 友よ 「呼びかけ」

「俺たちに、話をしてくれよ！」と、三月ウサギがヤマネに頼んだ。

-¡Cuéntanos un cuento! -exigió la Liebre de Marzo. 《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」
 -¡Cuéntanos ケンタ・ノス 命・2 複現(contar+nos)v.t 俺たちに話してくれ 「動詞句」
 un cuento! ウン・クエント n.m 話を 「目的語」
 -exigió エキシヒオ 3 単点(exigir)v.t 強く求めた 「動詞」
 la Liebre de Marzo. ラ・リエブレ・デ・マルツ n.f 三月ウサギが 「主語」

7 Una merienda de locos

「ええ、何か話して下さい、お願いします」と、アリスは頼んだ。

-¡Sí! ¡Cuéntenos algo! Se lo pedimos por favor -rogó Alicia.

《「同意」 | 「動詞句」「目的語」 | 「間接目的語」「直接目的語」「動詞」「副詞句」》,
「動詞」「主語」

-¡Sí! シ adv. ええ、そう 「同意」
¡Cuéntenos クエンテ・ノス 接・3 単現・依頼(contar+nos)v.t 私たちに話して下さい 「動詞句」
algo! アルゴ pron 何かを 「目的語」
Se セ pron あなたに 「間接目的語」
lo ロ pron それを 「直接目的語」
pedimos ペディモス 1 複現(pedir)v.t 求める、願う 「動詞」
por favor ポル・ファヴァール adv. どうぞ 「副詞句」
-rogó ロゴ 3 単点(rogar)v.t 頼んだ 「動詞」
Alicia. アリシア n.f アリスは 「主語」

「そして、すぐにやれよ!」と、帽子屋が付け加えた。「終わる前に寝てしまわないように!」

-¡Y sé breve -añadió el Sombrero-, no sea que te duermas antes de llegar al final!

《Y「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」「補語」》

-¡Y イ conj. そして
sé セ 命・2 複現(ser)v.i ~であれ 「動詞」
breve ブレベ adj. 短時間の、すぐに 「補語」
-añadió アニャディオ 3 単点(añadir)v.t 付け加えた 「動詞」
el Sombrero-, エル・ソンプレロ n.m 帽子屋は 「主語」
no sea+que 接続法 ノ・セア 接・3 単現・否定(ser)v.i (目的) ~にならないように 「動詞句」
que ケ conj. ~ということ 「補語」
te duermas テ・トゥエルマス 接・2 単現(dormirse)v.pr 眠る 「動詞句」
antes de llegar アンテス・ジェガール adv. 着く前に 「副詞句」
al final! アル・フィナル adv. 最後に 「副詞句」

7 Una merienda de locos

「むかしむかし」と、ヤマネは慌てて話し始めました。「エルシー、シエロそしてチルデという名前の三姉妹が、井戸の底に住んでいました」

-Erase una vez... -comenzó apresuradamente el Lirón- tres hermanitas que se llamaban Elsi, Cielo y Tilde; las tres vivían en el fondo de un pozo... 注 20

《「副詞句」》, 「動詞」「副詞」「主語」, 《「主語」, 「主語」「動詞」「副詞句」》

-Erase una vez... エラセ・ウナ・ベス adv. (童話の始まりの文句) むかしむかし 「副詞句」

-comenzó コメンソ 3 単点(comenzar)v.t 始めた 「動詞」

apresuradamente アプレスラダメンテ adv. あわてて 「副詞」

el Lirón- エル・リロン n.m ヤマネは 「主語」

tres hermanitas トレス・エルマニタス pl(hermana + -ita).n.f 3 人の姉妹が 「主語」

que ケ pron.pl (主語) ~する 「形容詞節」

se llamaban セ・ジャマバン 3 複線(llamarse)v.pr 名前が~という 「動詞句」

Elsi, Cielo y Tilde; エルシ・シエロ・イ・チルデ

pl.n.f エルシー、シエロそしてチルデ 「補語」

las tres ラス・トレス pron.pl 三人は 「主語」

vivían ビビアン 3 複線(vivir)v.i 住んでいた 「動詞」

en el fondo エン・エル・フォント adv. ~の底に 「副詞句」

de un pozo... 注 20 デ・ウン・ポゾ adj. 井戸の 「形容詞句」

「それで、何を食べていたの？」と、アリスは尋ねました。食べたり飲んだりする質問にはいつも興味があったのです。

-¿Y de qué se alimentaban? -preguntó Alicia, siempre interesada en todo lo que fuera comer y beber. 《Y「間接目的語」「動詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

-¿Y イ conj. そして

de qué デ・ケ adv. 何を 「間接目的語」

se alimentaban? セ・アリメンタバン 3 複線・疑問文(alimentarse)

v.pr(de を) 食べていたの? 「動詞句」

-preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

Alicia, アリシア n.f アリスは 「主語」

siempre シエンプレ adv. いつでも 「副詞」

interesada インテサダ 過去分詞・受動(interesar).adj.f (様態) 興味をひかれていた 「副詞句」

en todo lo エン・トド・ロ adv. どんな質問にも 「間接目的語」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

fuera フェア 接・3 単過・時制の一致(ser)v.i ~である 「動詞」

comer y beber. コメル・イ・ベベル 不定詞

n. 食べたり飲んだりすること 「補語」

7 Una merienda de locos

「糖蜜を」と、ヤマネが少し考えてから答えました。

-Se alimentaban de melazas -contestó el Lirón después de pensar un poco la cuestión.

《「動詞句」「間接目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

-Se alimentaban セ・アリメンタバン 3 複線(alimentarse)v.pr(de を) 食べていた 「動詞句」

de melazas デ・メラサス pl(melaza).n.f 糖蜜を 「間接目的語」

-contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた 「動詞」

el Lirón エル・リロン n.m ヤマネが 「主語」

después de +不定詞 デスプ°エス・デ° adv. (順序) ~してから 「副詞句」

pensar ペンサル 不定詞 v.t 考える 「動詞」

un poco ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」

la cuestión. ラ・クェスチョン n.f 質問を 「目的語」

「糖蜜だけで生活するなんて、できるはずないわ」と、アリスは優しい口調で言い返した。

「だって、きっと胃もたれで病気になるわ」

-No es posible que vivieran sólo de melazas -insistió amablemente Alicia-, pues con toda seguridad se habrían puesto muy enfermas del empacho.

《「動詞句」「補語」「主語」》, 「動詞」「副詞」「主語」, 《「副詞節」》

-No es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ~でない 「動詞句」

posible ポシブレ adj. あり得る、可能な 「補語」

que ケ conj. ~ということは 「主語」

vivieran ビビエラン 接・3 複過(vivir)v.i 生活する、生きる 「動詞」

sólo de melazas ソロ・デ・メラサス adv. 糖蜜だけで 「副詞句」

-insistió インシスチオ 3 単点(insistir)v.i 主張した 「動詞」

amablemente アマブレメンテ adv. 優しく 「副詞」

Alicia-, アリシア n.f アリスは 「主語」

pues プ°エス conj. (理由) 何なので 「副詞節」

con toda seguridad コン・トダ・セグリティダ° adv. きっと、必ず 「副詞句」

se habrían puesto セ・アブリアン・プ°エスト 3 複過未・完了形・推量(ponerse)

v.pr (状態) ~になってしまうだろう 「動詞句」

muy enfermas ムイ・エンフェルマス adj. 病気の 「補語」

del empacho. デル・エンパ°チョ adv. (原因) 胃もたれで 「副詞句」

7 Una merienda de locos

「その通り」と、ヤマネが答えた。「3人姉妹はとても病気でした」

-Así es -dijo el Lirón; estaban muy enfermas.

《「補語」「動詞」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「補語」》

-Así アシ adv. そのような 「補語」
 es エス 3 単現(ser)v.i. ~である 「動詞」
 -dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t. 言った 「動詞」
 el Lirón; エル・リロン n.m. ヤマネが 「主語」
 estaban エスタバン 3 複線(estar)v.i. ~だった 「動詞」
 muy enfermas. ムイ・エンフェルマス adj(enfermo).f.pl とても病気の 「補語」

アリスは、こんなとんでもない方法で生きるといのはどんな事なのかを想像してみよう
 とした；けれども、あまりにも奇妙なことに思われたので、質問を続けることにした。

Alicia trató de imaginar lo que sería vivir de esta manera tan extraordinaria; pero le seguía pareciendo demasiado extraño, de forma que decidió seguir preguntando:

「主語」「動詞句」「目的語」；

pero 「間接目的語」「動詞句」「補語」, de forma que 「動詞句」

Alicia アリシア n.f. アリスは 「主語」
 trató de imaginar トラト・デ・イマヒナール 3 単点・試行(tratar de+不定詞 imaginar)
 v.t. 想像してみようとした 「動詞句」
 lo que ロ・ケ pron (補語) どんな事を 「目的語」
 sería セリア 3 単過未・推量(ser)v.i. ~だろうか 「動詞」
 vivir ビビール 不定詞 n. 生きることは 「主語」
 de esta manera デ・エスタ・マネラ adv. こんな方法で 「副詞句」
 tan extraordinaria; タン・エクストラオルディナリア adj. とんでもない「形容詞句」
 pero ペロ conj. しかし
 le レ pron. それは 「間接目的語」
 seguía pareciendo セギア・パレシエント 3 単線・継続(seguir+現在分詞 pareciendo)
 v.i. まだ~に思われた 「動詞句」
 demasiado extraño, デマシアト・エクストラニョ adj. 余りにも奇妙な 「補語」
 de forma que+直説法 デ・フォルマ・ケ conj. (結果) そのため~
 decidió seguir preguntando: デシディヨ・セグイール・プレグナンタント 3 単点・決断・継続
 (decidir+不定詞 seguir+現在分詞)v.t. 質問を続けることにした 「動詞句」

7 Una merienda de locos

「でも、どうして井戸の底なんかに住んでいたの？」

-Pero ¿por qué vivían en el fondo de un pozo? 《Pero 「副詞句」「動詞」「副詞句」》

-Pero へロ conj. しかし

¿por qué ホル・ケ adv. どうして 「副詞句」

vivían ビビアン 3 複線・疑問文(vivir)v.i 住んでいたの? 「動詞」

en el fondo エン・エル・フォント adv. 底に 「副詞句」

de un pozo? デ・ウン・ポソ adj. 井戸の 「形容詞句」

なんか

「名詞 + なんか」で、一例をあげて示す。「～など」の意味。

「この着物なんかお似合いです」「映画なんかよく行く」

「もっとお茶を飲みなさいよ」と、三月ウサギが気を遣ってアリスに言った。

-Sírvete un poco más de té -le dijo muy ansiosamente la Liebre de Marzo.

《「動詞句」「目的語」》, 「間接目的語」「動詞」「副詞句」「主語」

-Sírvete シルベテ 命・2 単現・勧誘(servirse)v.pr (飲み物を) 自分で注いでください「動詞句」

un poco más ウン・ポ・コ・マス pron もっと、もう少し 「目的語」

de té デ・テ adj. お茶の 「形容詞句」

-le レ pron.f アリスに 「間接目的語」

dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

muy ansiosamente マイ・アンシオサメンテ adv. 心配そうに、とても気を遣って 「副詞句」

la Liebre de Marzo. ラ・リエブレ・デ・マルソ n.f 三月ウサギが 「主語」

「まだ、何も飲んでいないのだから」と、アリスはムツとして言い返した。「もっとなんて、飲めないわ!」

-¡Si todavía no he tomado nada -replicó Alicia con tono ofendido-, de forma que no podría tomar más!

《Si 「副詞」「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」,

《de forma que 「動詞句」「副詞」》

-¡Si シ conj. (事実の提示) ～なのだから

todavía トダビア adv. まだ 「副詞」

no he tomado ノ・ヘ・トマト 1 単現・完了形・否定(tomar)v.t 飲んでいない 「動詞句」

nada ナダ pron 何も～ない 「目的語」

-replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.t 言い返した 「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

con tono ofendido-, コン・トノ・オフエンディト adv. 不快な口調で 「副詞句」

de forma que+不定詞 デ・フォルマ・ケ conj. そのため～

no podría tomar ノ・ポ・ドリャ・トマル 1 単過未・可能・否定(poder+不定詞 tomar)

7 Una merienda de locos

v.t 飲めない 「動詞句」
 más! マス adv. もっと 「副詞」

「もっと少なくは飲めないと言いたいんだろ」と、帽子屋がはっきりさせた；「ゼロよりたくさん飲むなんて簡単だ」

-Querrás decir que no podrías tomar menos -aclaró el Sombrero-; siempre es más fácil tomar más que nada.

《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」; 《「副詞」「動詞」「補語」「主語」》

-Querrás decir クラス・デシル 2 単未・願望(querer+不定詞 decir)v.t 言いたいだろう 「動詞句」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」

no podrías tomar ノ・ポドリャス・トマル 2 単過未・可能・否定・推量(poder+不定詞 tomar)

v.t 飲めないだろう 「動詞句」
 menos メノス adv. より少なく 「副詞」

-aclaró アクラロ 3 単点(aclarar)v.t はっきりさせた、明確にした 「動詞」

el Sombrero; エル・ソブレロ n.m 帽子屋が 「主語」

siempre シエンプレ adv. いつも 「副詞」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

más fácil マス・ファシル adj. ずっと簡単な 「補語」

tomar トマル 不定詞 n. 飲むことは 「主語」

más que nada. マス・ケ・ナダ pron ゼロよりたくさん 「目的語」

「誰もあんたの意見なんか聞いていないわ!」と、アリスが言った。

-¡Nadie le ha preguntado a usted su opinión! -dijo Alicia.

《「主語」「間接目的語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」》, 「動詞」「主語」

-¡Nadie ナデ・エ pron 誰も～ない 「主語」

le レ pron あんたの、あんたに 「間接目的語」

ha preguntado ア・ブレグンタド 3 単現・完了形・否定文(preguntar)v.t 聞いていない 「動詞句」

a usted ア・ウステ adv. あんたに 「間接目的語」

su opinión! ス・オペニオン n.f 意見を 「直接目的語」

-dijo デ・エ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia. アリシア n.f アリスが 「主語」

7 Una merienda de locos

「今度は、誰が人の話にケチをつけているんだ？」と、帽子屋が勝ち誇って言った。

¿Quién está haciendo ahora comentarios...personales? replicó triunfalmente el Sombrero.

¿Quién キエン pron 誰が 「主語」

está haciendo エスタ・アシエント 3 単現・進行形・疑問文(hacer)

v.t (行為を) しているんだ 「動詞句」

ahora アオラ adv. 今度は、今 「副詞」

comentarios コメントス pl(comentario).n.m 批評を、論評を 「目的語」

personales? ヘルソナレス adj(personal).pl 個人的な 「形容詞」

replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.i 言い返した 「動詞」

triunfalmente トリウナルメンテ adv. 勝ち誇って 「副詞」

el Sombrero. エル・ソブブレロ n.m 帽子屋が 「主語」

アリスはなんと答えるべきか分からないでいた。それでお茶とバターパンを少し自分で取って食べてから、ヤマネに向かって振り返り、同じ質問を繰り返した。

Alicia se quedó sin saber qué contestar, de forma que optó por servirse un poco más de té y pan con mantequilla, y volviéndose luego al Lirón le repitió la misma pregunta:

「主語」「動詞句」「補語」, de forma que 「動詞句」「目的語」

y 「副詞句」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

se quedó セ・ケト 3 単点(quedarse)v.pr ~の状態になった 「動詞句」

sin saber シン・サハール 不定詞 分からない 「補語」

qué contestar, ケ・コンテスター n. 何を答えるべきか 「目的語」

de forma que +直説法 デ・フォルマ・ケ conj. (結果) そのため～

optó オプト 3 単点(optar)v.i(+por を) 選択した 「動詞句」

por servirse ポル・セルビルセ 不定詞 v.pr 自分で取って食べる 「動詞句」

un poco más de té y pan con mantequilla, ウン・ポ・コ・マス・デ・テ・イ・パン・コン・マンテギジャ

pl.n お茶とバターパンを少し 「目的語」

y イ conj. そして

volviéndose ボルビエント・セ 現在分詞・同時(volverse)adv. 振り返って 「副詞句」

luego ルエゴ adv. それから 「副詞」

al Lirón アル・リロン adv. ヤマネに 「間接目的語」

le レ pron 彼に 「間接目的語」

repitió レピティオ 3 単点(repetir)v.t 繰り返した 「動詞」

la misma pregunta: ラ・ミスマ・プレグンタ n.f 同じ質問を 「直接目的語」

7 Una merienda de locos

「でも、どうして3人姉妹は井戸の底に住んでいたの？」

-Pero ¿por qué vivían en el fondo de un pozo? 《Pero 「副詞句」「動詞」「副詞句」》

-Pero ペロ conj. でも

¿por qué ポル・ケ adv. どうして 「副詞句」

vivían ビビアン 3 複線・疑問文(vivir)v.i 住んでいたの? 「動詞」

en el fondo エン・エル・フォント adv. 底に 「副詞句」

de un pozo? デ・ウン・ポソ adj. 井戸の 「形容詞句」

ヤマネは1分くらい考えてから、やっと答えました。

El Lirón se puso a cavilar nuevamente durante uno o dos minutos y acabó contestando:

「主語」「動詞句」「副詞句」 y 「動詞句」

El Lirón エル・リロン n.m ヤマネは 「主語」

se puso a cavilar セ・プソ・ア・カビラル 3 単点・開始(ponerse a+不定詞)v.i 考え始めた「動詞句」

nuevamente ヌエバメンテ adv. また 「副詞句」

durante uno o dos minutos ドゥランテ・ウノ・オ・ドス・ミヌトス adv. 1 分か 2 分くらい 「副詞句」

y イ conj. そして

acabó contestando: アカボ・コンテスタント 3 単点・結局(acabar+現在分詞)

v.t やっと答えた 「動詞句」

acabar+現在分詞 「結局は～する」

「糖蜜の井戸だったからだよ」

-Es que era un pozo de melazas. 《「動詞」「補語」》

-Es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

que ケ conj. ～ということ 「補語」

era エラ 3 単線(èssere)v.i ～だった 「動詞」

un pozo ウン・ポソ n.m 井戸 「補語」

de melazas. デ・メラサス adj. 糖蜜の 「形容詞句」

7 Una merienda de locos

「そんなもの、あるわけないでしょう!」と、アリスはひどく興奮して反対したけれど、帽子屋と三月ウサギが「シイッ!シイッ!」と言ってアリスを黙らせた。一方で、ヤマネは憤慨してぶつぶつ言っていた。

-¡No existe tal cosa! -protestó Alicia muy acaloradamente; pero el Sombrero y la Liebre de Marzo se pusieron a hacerla callar con sonoros chitones, mientras el Lirón rezongaba indignado:

《「動詞句」「主語」》,「動詞」「主語」「副詞句」;

《pero「主語」「動詞句」「補語」,mientras「主語」「動詞」「副詞」》

-¡No existe ノ・エクステ 3 単現・否定(existir)v.i あるわけがない 「動詞句」

tal cosa! タル・コサ pron そんなものは 「主語」

-protestó プロテスト 3 単点(protestar)v.i 反対した 「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

muy acaloradamente; ムイ・アカラダメンテ adv. ひどく興奮して 「副詞句」

pero ペロ conj. しかし

el Sombrero y la Liebre de Marzo エル・ソンブレロ・イラリエブレ・デ・マルソ

pl.n 帽子屋と三月ウサギが 「主語」

se pusieron a hacerla セ・プシエロン・ア・アセル・ラ 3 単点・開始・使役(ponerse a+不定詞 hacer)

v.t アリスに～させ始めた 「動詞句」

hacerla の la は目的語でアリスのこと

callar カジャール 不定詞・la の動作 v.i 黙る 「補語」

con sonoros chitones, コン・ソノロス・チトネス adv. (手段) しいっ!と言って 「副詞句」

sonoro ソノロ adj. 音の chiton チトン → chis チス int. (黙らせる時の) しっ!

mientras ミエンTRAS conj. 一方では

el Lirón エル・リロン n.m ヤマネは 「主語」

rezongaba レンガバ 3 単線(rezongar)v.i ぶつぶつ言っていた 「動詞」

indignado: インディグナド 過去分詞(indignar)adv. 憤慨して 「副詞」

「大人しく聞いていられないのなら、続きは、あんたが話してくれよ」

-Si no sabe cómo comportarse debidamente, que termine ella el cuento.

《「副詞節」,que「動詞」「主語」「目的語」》

-Si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

no sabe ノ・サベ 3 単現・否定(saber)v.t 分からない 「動詞句」

cómo +不定詞 コモ n. どのようにすべきかということ 「目的語」

comportarse コンポルタルセ 不定詞 v.pr 振舞う 「動詞句」

debidamente, デビダメンテ

adv. しかるべく、それ相当に、うまい具合に 「副詞」

que +接続法 ケ conj. (命令の強調)

7 Una merienda de locos

termine テルミネ 接・3 単現・命令(terminar)v.t 終わらせる	「動詞」
ella エジャ pron.f あんたが	「主語」
el cuento. エル・クエント n.m 話を	「目的語」

「いえ、お願いですから、話を続けてください！」と、アリスは反省して恐る恐る頼みました。「それに、糖蜜の井戸も、一つくらいはあるかもしれないし」

-No, por favor, ¡continúe! -imploró Alicia muy compungida-, No volveré a interrumpirle, y además, puede que, en efecto, exista uno de esos pozos.

《「応答」「動詞」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 《y 「副詞」「動詞」「主語」》

-No, por favor, ノ・ポ・ル・ファボール adv. いえ、お願いですから	「応答」
¡continúe! コンチヌエ 接・3 単現・依頼(contiunar)v.t 続けてください!	「動詞」
-imploró インプロ 3 単点(implorar)v.t 懇願した	「動詞」
Alicia アリシア n.f アリスは	「主語」
muy compungida-, ムイ・コンプンヒダ adj(compungido).f 反省しておずおずと	「副詞句」
compungir コンプンヒル v.t ~の心を痛める → compungido コンプンヒト adj. 後悔した	
No volveré a interrumpirle, ノ・ボルベレ・ア・インテルピール・レ 1 単未・否定・再度・意思	
(volver a+不定詞 interrumpir+le)v.i もうあなたの邪魔はしない	「動詞句」
y イ conj. そして	
además, アデマス adv. それに、さらに	「副詞」
puede プエデ 3 単現・可能性(poder)v.t ~するかもしれない	「動詞」
que, ケ conj. ~ということは	「主語」
en efecto, エン・エフェクト adv. 実際に	「副詞句」
exista エクシタ 接・3 単現(existir)v.i 存在する	「動詞」
uno de esos pozos. ウノ・デ・エス・ポソス pron そんな井戸が 1 つ	「主語」

「あるかもしれないだって！」と、ヤマネが怒って叫んだ；それでも話を続けることは承諾してくれた。「それで、えーと、そこにその三人姉妹がいて、お絵描きを習っていました」

-¡Vaya si existe! -exclamó el Lirón enojado; pero consintió en proseguir su narración-. Así, pues, ahí estaban las tres hermanitas, y además, habéis de saber, estaban aprendiendo a sacar...

《「副詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞」; pero 「動詞句」「目的語」:

《「副詞」「言いよどみ」「副詞」「副詞」「動詞」「主語」, y 「副詞」「呼びかけ」「動詞句」》

-¡Vaya バヤ 接・3 単現(ir)v.i (不快・抗議) ~だと	「副詞」
vaya バヤ adv. (不快・抗議・驚き・慰め・強調) など	
si シ conj. ~かどうか	「副詞節」
existe! エクシステ 3 単現(existir)v.i 存在する	「動詞」

7 Una merienda de locos

-exclamó	エクスクラモ	3 単点(exclamar)v.i	叫んだ	「動詞」
el Lirón	エル・リロン	n.m	ヤマネが	「主語」
enojado;	エノハド	adj.	怒って	「副詞」
	「副詞」として翻訳する			
pero	ペロ	conj.	しかし	
consintió	コンシンチオ	3 単点・承諾(consintir)v.i(en に)	承諾した	「動詞句」
en proseguir	エン・プロセギール	不定詞 v.t	続行する	「動詞句」
su narración-	ス・ナラシオン	n.f	語りを	「目的語」
Así,	アシ	adv.	それで	「副詞」
pues,	プエス	conj.	えーと	「言いよどみ」
ahí	アイ	adv.	そこに、井戸の底に	「副詞」
estaban	エスタバン	3 複線・存在(estar)v.i	～がいた	「動詞」
las tres hermanitas,	ラス・トレス・エルマニタス	pl(hermanita).f.pl	その三人姉妹が	「主語」
y	イ	conj.	そして	
además,	アデマス	adv.	さらに	「副詞」
habéis de saber,	アベイス・デ・サバー	2 複現・近接未来(haber de+不定詞 saber)		
	v.t	知ることになる		「呼びかけ」
	haber de+不定詞 「～しなければならない」の用法もある			
estaban aprendiendo	エスタバン・アプレンディエント	3 複線・進行形(aprender)v.i(+a+不定詞)		
	v.i	～の仕方を習っていた		「動詞句」
a sacar...	ア・サカル	不定詞 v.t	絵を描く、写真を撮る	「動詞句」

「それで、何を描いたの？」と、アリスはもう約束を忘れて尋ねました。

-¿Y qué es lo que sacaban? -preguntó Alicia, que ya se había olvidado de su promesa.

《Y「補語」「動詞」「主語」》,「動詞」「主語」

-¿Y	イ	conj.	それで	
qué	ケ	pron	何?	「補語」
es	エス	3 単現・疑問文(ser)v.i	～なの?	「動詞」
lo que sacaban?	ロ・ケ・サバン	pron	彼らが描いたものは	「主語」
-preguntó	プレグント	3 単点(preguntar)v.t	尋ねた	「動詞」
Alicia,	アリシア	n.f	アリスは	「主語」
que	ケ	pron (主語)	～する	「形容詞節」
	「副詞節」のように翻訳する			
ya	ヤ	adv.	もう	「副詞」
se había olvidado	セ・アビア・オルビダド	3 単現・完了形(olvidarse)		
	v.pr(de	を)	忘れてしまった	「動詞句」

7 Una merienda de locos

de su promesa. デ・ス・プロメサ adv. 約束を 「間接目的語」

「糖蜜」と、今回は全くためらわずに、ヤマネが答えました。

-¡Melazas! -dijo el Lirón sin la menor vacilación esta vez.

《「応答」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

-¡Melazas! メラス pl(melaza).n.f 糖蜜 「応答」

-dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

el Lirón エル・リロン n.m ヤマネは 「主語」

sin la menor vacilación シン・ラ・メノール・バシラシオン adv. 全くためらわずに 「副詞句」

esta vez. エスタ・ベス adv. 今回は 「副詞句」

「きれいな茶碗が欲しいな」と、帽子屋が話を遮った；「隣の椅子に移ろうぜ！」

-Quiero una taza limpia -interrumpió el Sombrero; vamos a cambiar de silla.

《「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」「間接目的語」》

-Quiero キエロ 1 単現(querer)v.t 〜が欲しい 「動詞」

una taza ウナ・タサ n.f (取っ手付きの) 茶碗が 「目的語」

limpia リンピア adj(limpio).f 綺麗な、清潔な 「形容詞」

-interrumpió インテルンピオ 3 単点(interrumpir)v.t 〜の話を遮った 「動詞」

el Sombrero; エル・ソムブレロ n.m 帽子屋が 「主語」

vamos a cambiar バモス・ア・カンビアル 1 複現・勧誘(vamos a+不定詞 cambiar)

v.t(de 位置を) 変えよう 「動詞句」

de silla. デ・シジャ adv. 椅子を 「間接目的語」

こう言って、帽子屋は隣の席に移り、ヤマネは帽子屋が残した席にゆっくりついた；三月ウサギはヤマネの席に移り、アリスはいやいや三月ウサギが空にした席に座った。

Diciendo esto, pasó al sitio de al lado; el Lirón le siguió cansinamente, ocupando la silla que acababa de dejar; la Liebre de Marzo pasó al sitio del Lirón, y Alicia tomó, de mala gana, el asiento que había dejado libre la Liebre.

「副詞句」, 「動詞」「間接目的語」;

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞」, 「副詞句」; 「主語」「動詞」「間接目的語」,

y 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

Diciendo デイシエント 現在分詞・同時(decir)adv. 言いながら 「副詞句」

esto, エスト pron これを 「目的語」

pasó パソ 3 単点(pasar)v.i(a に) 移った 「動詞」

「主語」は el Sombrero

al sitio de al lado; アル・シオ・デ・アル・ラト adv. 隣の席へ 「間接目的語」

7 Una merienda de locos

el Lirón	エル・リロン	n.m	ヤマネは	「主語」
le	レ	pron	帽子屋に	「間接目的語」
siguió	シギョ	3 単点(seguir)v.i(+現在分詞)	～し続けた	「動詞句」
cansinamente,	カンシメンテ	adv.	ゆっくりと	「副詞」
ocupando	オカント	現在分詞・結果(ocupar)v.t	(場所を) 占める	「副詞句」
la silla que acababa de dejar;	ラ・シジャ・ケ・アカババ・デ・デハル			
n.f	帽子屋が残したばかりの椅子を			「目的語」
la Liebre de Marzo	ラ・リエブレ・デ・マルツ	n.f	三月ウサギは	「主語」
pasó	パソ	3 単点(pasar)v.i(a に)	移った	「動詞」
al sitio del Lirón,	アル・シチオ・テル・リロン	adv.	ヤマネの席へ	「間接目的語」
y	イ	conj.	そして	
Alicia	アリシア	n.f	アリスは	「主語」
tomó,	トモ	3 単点(tomar)v.t	(席に) 座った	「動詞」
de mala gana,	デ・マラ・ガナ	adv.	いやいやながら	「副詞句」
el asiento	エル・アシエント	n.m	座席に	「目的語」
que	ケ	pron	(目的語) ～する	「形容詞節」
había dejado	アビア・デハド	3 単線・完了形(dejar)		
v.t	(～の状態に) していった			「動詞句」
libre	リブレ	adj.	空の	「補語」
la Liebre.	ラ・リエブレ	n.f	三月ウサギが	「主語」

こうしてこの席替えで、得をしたのは帽子屋だけでした；そしてアリスは、前よりもずっと悪い席になりました。三月ウサギがミルクを皿にこぼしていったからです。

De esta forma, el Sombrerero fue el único que salió ganando con el cambio; y, en cuanto a Alicia, se encontró peor que nunca, pues la Liebre de Marzo había derramado la leche de la jarra en su plato.

				「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」; y, 「副詞句」「動詞句」「副詞句」
De	デ	prep	(手段) ～によって	「副詞句」
esta forma,	エスタ・フォルマ	n.f	この席替え、この形態	「目的語」
De esta forma	デ・エスタ・フォルマ	adv.	こうすることで、このようにして	
el Sombrerero	エル・ソムブレロ	n.m	帽子屋が	「主語」
fue	フェ	3 単点(ser)v.i	～だった	「動詞」
el único	エル・ウニコ	pron	ただ一人	「補語」
que	ケ	pron	(主語) ～する	「形容詞節」
salió	サリオ	3 単点・変化(salir)v.i(+補語 結果として)	～になった	「動詞」
ganando	ガナント	現在分詞(ganar)adj.	得をした	「補語」

7 Una merienda de locos

con el cambio; コン・エル・カンビオ	adv. (手段) 席替えによって	「副詞句」
y, イ	conj. そして	
en cuanto a エン・クワント・ア	prep (関連) 〜に関しては	「副詞句」
Alicia, アリシア	n.f アリス	「目的語」
se encontró セ・エンコント	3 単点・存在(encontrarse)v.pr (ある場所に) いた	「動詞句」
peor ペ・オル	adj. さらに悪い (場所)	「副詞句」
que nunca, ケ・ヌカ	adv. (比較) 以前よりも	「副詞句」
pues プ・エス	conj. 〜なので	「副詞節」
la Liebre de Marzo ラ・リエブレ・デ・マルツ	n.f 三月ウサギが	「主語」
había derramado アビ・ア・デ・ラマト	3 単線・完了形(derramar)v.t こぼした	「動詞句」
la leche ラ・レチェ	n.f ミルクを	「目的語」
de la jarra デ・ラ・ハツラ	adj. 水差しの	「形容詞句」
en su plato. エン・ス・プラト	adv. 皿に	「副詞句」

アリスはまたヤマネを怒らせたくなかったので、質問する前に言葉を控えめにした。

<u>Alicia no quería ofender de nuevo al Lirón</u> , de manera que <u>midió mucho sus palabras antes de preguntarle</u> :	「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」,
	de manera que 「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」
Alicia アリシア n.f アリスは	「主語」
no quería ofender ノ・ケリア・オフエンテール 3 単線・否定・願望(querer+不定詞 ofender)	
v.t 不快感を与えたくなかった	「動詞句」
de nuevo デ・ヌエボ adv. 再び、また	「副詞句」
al Lirón, アル・リロン n.m ヤマネに	「目的語」
de manera que +直説法 デ・マネラ・ケ conj. (結果) だから～	
de manera que +接続法 conj. (様態) ～するように	
midió ミディオ 3 単点(medir)v.t (言動を) 控えめにした	「動詞」
mucho ムチョ adv. 非常に	「副詞」
sus palabras スス・パラブラス pl(palabra).n.f 言葉を	「目的語」
antes de +不定詞 アンテス・デ 不定詞 adv. ～する前に	「副詞句」
preguntarle: プレグンタル・レ 不定詞 v.t 彼に聞く	「動詞句」

7 Una merienda de locos

「すみません。でも、三人姉妹がどうやってその糖蜜を取り出したかが分からないんです」

-Lo siento, pero no acabo de comprender cómo sacaban esas melazas.

《「呼びかけ」,pero「動詞句」「目的語」》

-Lo siento, ロ・シエント adv. すみませんが

「呼びかけ」

pero ペロ conj. しかし

no acabo de comprender ノ・アカボ・デ・コンプレンデール 1 単現・否定(acabar de+不定詞)

v.t よく分からない

「動詞句」

cómo コモ adv. (方法) どのように～するかということが

「目的語」

sacaban サバン 3 複線(sacar)v.t 取り出した

「動詞」

esas melazas. エサス・メラサス pl(melaza).n.f 糖蜜を

「目的語」

「水の井戸から、水を汲めるだろう？」と、帽子屋が言った。「だから、糖蜜の井戸から糖蜜を汲むのはあまり難しくない、だろ！バーカ」

-De un pozo de agua puede uno sacar agua, ¿no? -dijo el Sombreroero-. De forma que no sería muy difícil sacar melazas de un pozo de melazas, ¿eh? ¡Boba!

《「副詞句」「動詞句」「主語」「目的語」「確認」》,「動詞」「主語」,

《De forma que「動詞句」「補語」「主語」,「呼びかけ」》

-De un pozo de agua デ・ウン・ポゾ・デ・アグア adv. 水の井戸から

「副詞句」

puede ...sacar プエテ...サール 3 単現・可能(poder+不定詞 sacar)v.t 取り出せる

「動詞句」

uno ウノ pron 人は

「主語」

agua, アグア n.f 水を

「目的語」

¿no? ノ adv. そうだろう？

「確認」

-dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

el Sombreroero-. エル・ソンプレロ n.m 帽子屋が

「主語」

De forma que+直説法 デ・フォルマ・ケ conj. (結果) そのため～、だから～

no sería ノ・セリア 3 単過未・否定・推量(ser)v.i ～だろう

「動詞句」

muy difícil ムイ・ディフィシル adj. (否定文で) あまり難しい

「補語」

sacar サール 不定詞 n. 取り出すことは

「主語」

melazas メラサス pl(melaza).n.f 糖蜜を

「目的語」

de un pozo de melazas, デ・ウン・ポゾ・デ・メラサス adv. 糖蜜の井戸から

「副詞句」

¿eh? エー int. そうだろう？

「呼びかけ」

¡Boba! ボバ n.f 馬鹿め

「呼びかけ」

7 Una merienda de locos

「でも、三人姉妹は井戸の中にいたってことでしょう！」と、アリスはヤマネに向かって、
 たった今帽子屋が説明したことに全く耳を貸そうとしないで、また尋ねました。

-Pero jes que estaban dentro del pozo! -insistió Alicia dirigiéndose al Lirón y no queriendo darse por enterada del calificativo que le acababa de propinar el Sombrerero.

《Pero 「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

-Pero ペロ conj. だけど

jes エス 3 単現・念押し(ser)v.i ~だよね! 「動詞」

que ケ conj. ~ということ 「補語」

estaban エスタバン 3 複線・存在(estar)v.i ~にいた 「動詞」

dentro del pozo! デントロ・デル・ポゾ adv. 井戸の中に 「副詞句」

-insistió インシスチオ 3 単点(insistir)v.i 繰り返し尋ねた 「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

dirigiéndose ディリヒエンドセ 現在分詞・同時(dirigirse)adv.(a に) 向かって 「副詞句」

al Lirón アル・リロン adv. ヤマネに 「間接目的語」

y イ conj. そして

no queriendo darse por enterada

ノ・ケリエントセ・ダルセ・ポル・エンテラダ 現在分詞・同時・否定(querer+不定詞)

adv. ~に全く耳を貸そうとしないで 「副詞句」

darse por enterado 「了承していることを示す (主に否定文で)」

del calificativo デル・カフィカティボ n.m 説明、修飾語 「目的語」

que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

le レ pron アリスに 「間接目的語」

acababa de propinar アカバ・デ・プロピナル 3 単線・直前過去(acabar de+不定詞 propinar)

v.t 与えたばかり 「動詞句」

el Sombrerero. エル・ソンブレロ n.m 帽子屋が 「主語」

「そうだ、彼らは井戸の中にいた。しかも真ん中に」と、ヤマネが言った。この答えを聞いて、アリスはひどくまごついて、しばらくの間は話を遮らなかった

-Pues claro que estaban dentro, y bien en el centro! -declaró el Lirón. Esta contestación dejó a Alicia tan aturdida que no volvió a interrumpir al Lirón durante algún rato 注 21.

《Pues 「補語」「主語」》, 「動詞」「主語」

「主語」「動詞」「目的語」「補語」 que 「動詞句」「目的語」「副詞句」

-Pues プエ conj. そうだ、それで～

claro クラロ adj. 明らかな 「補語」

que +直説法 ケ conj. ~ということは 「主語」

claro que+直説法 「もちろん～である」

7 Una merienda de locos

estaban エスタバン 3 複線・存在(estar)v.i	～にいた	「動詞」
dentro, デントロ adv.	井戸の中に	「副詞」
¡y イ conj.	そして	
bien en el centro! ビエン・エン・エル・セントロ adv.	真ん中に	「副詞句」
-declaró デクラロ 3 単点(declarar)v.t	明言した	「動詞」
el Lirón. エル・リロン n.m	ヤマネは	「主語」
Esta contestación エスタ・コンテストション n.f	この答えは	「主語」
dejó デホ 3 単点(dejar)v.t(SVOC OをC)	～の状態にした	「動詞」
a Alicia ア・アリシア n.f	アリスを	「目的語」
tan aturdida タン・アトルディダ adj(aturdido).f	とてもまごついた	「補語」
que ケ conj.(tan...que 結果)	その結果～する	
no volvió a interrumpir ノ・ボルビオ・ア・インテルピール 3 単点・再度・否定(volver a+不定詞)		
v.t	話を遮らなかった	「動詞句」
al Lirón アル・リロン n.m	ヤマネを	「目的語」
durante algún rato 注 21. ドゥランテ・アルゲン・ラート adv.	しばらくの間	「副詞句」

「そして彼らはお絵描きも習っていた」と、ヤマネは答える度に眠っていたので、あくびをして目をこすりながら続けた。そして、M で始まるものを何でも描いていた。

-Y también aprendían a dibujar -continuó el Lirón bostezando y frotándose los ojos, pues se estaba durmiendo cada vez más-, y dibujaban toda clase de cosas... todo lo que empieza con la letra M...

《Y「副詞」「動詞句」》,「動詞」「主語」「副詞句」,《y「動詞」「目的語」》

-Y イ conj.	そして	
también タン・ビエン adv.	～も	「副詞」
aprendían a dibujar アプレンディアン・ア・ディブハル 3 複線(aprender a+不定詞)		
v.t	お絵描きの仕方を習っていた	「動詞句」
-continuó コンチヌオ 3 単点(continuar)v.i	続けた	「動詞」
el Lirón エル・リロン n.m	ヤマネは	「主語」
bostezando ボステザント 現在分詞・同時(bostezar)adv.	あくびをしながら	「副詞」
y イ conj.	そして	
frotándose フロタントセ 現在分詞・同時(frotarse)adv.	～をこすりながら	「副詞句」
los ojos, ロス・ホス pl(ojo).n.m	目を	「目的語」
pues プエス conj.	(理由)～なので	「副詞節」
se estaba durmiendo セ・エスタバ・トマルミエント 3 単線・進行形(dormirse)		
v.pr	眠っていた	「動詞句」
cada vez más-, カダ・ベス・マス adv.	そのたびに一層	「副詞句」

7 Una merienda de locos

y イ conj. そして

dibujaban ディブハバン 3 複線(dibujar)v.t 描いていた 「動詞」

toda clase de cosas..., トダ・クラセ・デ・コサ n.f 色んな種類のものを 「目的語」

todo lo トド・ロ pron 全てを 「目的語」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

empieza エンピエサ 3 単現(empezar)v.i(con で) 始まる 「動詞」

con la letra M... コン・ラ・レトラ・エメ adv. M で 「副詞句」

「M で始まる？」と、アリスは興味深そうに尋ねた。

-¿Con la M? -preguntó Alicia intrigada. 《「応答」》, 「動詞」「主語」「副詞」

-¿Con la M? コン・ラ・エメ adv. M で始まる? 「応答」

-preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスが 「主語」

intrigada. イントリガダ 過去分詞・受動(intrigar).adj.f 興味深そうに 「副詞」

intrigar イントリガール v.t ~の好奇心をそそる

「M で始まったら悪いのか？」と、三月ウサギが答えた。

-¿Y por qué no? -repuso la Liebre de Marzo. 《「応答」》, 「動詞」「主語」

-¿Y por qué no? イ・ホル・ケ・ノ adv. それで、何か悪いの? 「応答」

-repuso レプソ 3 単点(reponer)v.t 答えた 「動詞」

la Liebre de Marzo. ラ・リエブレ・デ・マルソ n.f 三月ウサギが 「主語」

アリスは黙り込んだ。

Alicia guardó silencio. 「主語」「動詞」「目的語」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

guardó ゲワルト 3 単点(guardar)v.t 持ち続けた 「動詞」

silencio. シレンシオ n.m 沈黙を 「目的語」

7 Una merienda de locos

この頃にはもう、ヤマネは目を閉じて頭をこっくりし始めていた；しかし帽子屋がすぐにヤマネをつねりだしたので、小さい悲鳴をあげてまた目を覚まして、話を続けた。

Para entonces, el Lirón ya había cerrado los ojos y comenzaba a cabecear; pero con los pellizcos que inmediatamente empezó a darle el Sombreroero se despertó otra vez, con un corto chillido, y continuó:

「副詞句」, 「主語」 「副詞」 「動詞句」 「目的語」 y 「動詞句」 ;
pero 「副詞句」 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 ,y 「動詞」

Para entonces, パラ・エントネス adv. その時にはもう、その時すでに 「副詞句」

el Lirón エル・リロン n.m ヤマネは 「主語」

ya ヤー adv. すでに 「副詞」

había cerrado アビ・ア・セラド 3 単線・完了形(cerrar)v.t 閉じていた 「動詞句」

los ojos ロス・オホス pl(ojo).n.m 目を 「目的語」

y イ conj. そして

comenzaba a cabecear; コメンサバ・ア・カベセアル 3 単線・開始(comenzar a+不定詞 cabecear)

v.i 眠り始めていた、こっくりしはじめていた 「動詞句」

pero ペロ conj. しかし

con los pellizcos コン・ロス・ペジスコス adv. (原因) つねられて 「副詞句」

que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

inmediatamente インメデアタメンテ adv. すぐに 「副詞」

empezó a darle エンペソ・ア・ダール・レ 3 単点・開始(empezar a+不定詞 dar+le)

v.t (行為を) 始めた 「動詞句」

el Sombreroero エル・ソンブレレロ n.m 帽子屋が 「主語」

se despertó セ・デスぺルト 3 単点(despertarse)v.pr 目を覚ました 「動詞句」

otra vez, オトラ・ベス adv. また 「副詞句」

con un corto chillido, コン・ウン・コルト・チリド adv. 短い悲鳴をあげて 「副詞句」

y イ conj. そして

continuó: コンチヌオ 3 単点(continuar)v.i 話を続けた 「動詞」

7 Una merienda de locos

「そう、M で始まるものならなんでも。『ネズミ』や『世界』や『思い出』それに『沢山』とか、分かるだろう」そして、最後に帽子屋に付け加えて言った。『無いよりはまし』って言うでしょ」

-Sí, todo lo que empieza con la letra M, como matarratas, el mundo, la memoria y lo mucho..., ya sabéis -añadió refiriéndose a esto último-, como cuando se dice «un mucho más que menos».

《「応答」, 「目的語」 「副詞」 「動詞」 》, 「動詞」 「副詞句」, 《「副詞句」》

-Sí, シ adv. そう 「応答」
 todo lo トド・ロ pron すべてを 「目的語」
 que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 empieza エンピエサ 3 単現(empezar)v.i 始まる 「動詞」
 con la letra M, コン・ラ・レトラ・エメ adv. M で 「副詞句」
 como コモ conj. ~のように 「副詞句」
 matarratas, マタラス n.m (単複同形) ネズミ 「目的語」
 el mundo, エル・ムント n.m 世界 「目的語」
 la memoria ラ・メモリア n.f 思い出 「目的語」
 y イ conj. そして
 lo mucho..., ロ・ムチョ pron たくさんのこと 「目的語」
 ya ヤー adv. もう 「副詞」
 sabéis サベイス 2 複現(saber)v.t 分かる 「動詞」
 -añadió アニャディオ 3 単点(añadir)v.t 付け加えた 「動詞」
 refiriéndose レフリエンデ・セ 現在分詞・同時(referirse)v.pr 話して 「副詞句」
 a esto ア・エスト adv. 帽子屋に 「間接目的語」
 último-, ウルチモ adv. 最後に 「副詞」
 como コモ conj. ~のように 「副詞句」
 cuando ケント conj. ~する時 「副詞節」
 se dice セ・デ・セ 3 単現・再帰受動(decirse)v.pr 言われる 「動詞句」
 «un mucho más que menos». ウン・ムチョ・マス・ケ・メノス
 pron より少ないより沢山 「主語」

7 Una merienda de locos

あんたは、うまく描かれた絵みたいに印象的なものを何か見たことがあるの？

¿Habéis visto acaso algo tan impresionante como un mucho bien dibujado?

「動詞句」「副詞」「目的語」

¿Habéis visto アヘイ・ビスト 2 複現・完了形・疑問文(ver)v.t 見たことあるの？ 「動詞句」

acaso algo アカ n.m 何かもしかを 「目的語」

tan impresionante タン・インプレシオナnte adj. それほど印象的な 「形容詞句」

como un mucho bien dibujado? コモ・ウン・ムチョ・ビエン・デ・イブ・ハド

adv. うまく描かれた絵のように

「副詞句」

「あなたが私に尋ねるので、本当に」と、アリスはとても混乱して言った。「分からない…」

-En verdad, ya que me lo pregunta -dijo Alicia muy confusa-, no pienso...

《「副詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 《「動詞句」》

-En verdad, エン・ベルダ adv. 本当に 「副詞句」

ya que ヤ・ケ conj. (原因) ~なので 「副詞節」

me メ pron 私に 「間接目的語」

lo ロ pron それを 「直接目的語」

pregunta プレグンタ 3 単現(preguntar)v.t 尋ねる 「動詞」

-dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

muy confusa-, ムイ・コンファ adv. とても混乱して 「副詞句」

no pienso... ノ・ピエンソ 1 単現。否定(pensar)v.t 考えられない 「動詞句」

「じゃあ、黙っている！」と、帽子屋が話を遮った。

-¡Entonces no hables! -atajó el Sombrero. 《「副詞」「動詞句」》, 「動詞」「主語」

-¡Entonces エントンセス adv. それなら、それでは 「副詞」

no hables! ノ・アブレス 接・2 単現・否定命令(hablar)v.i しやべるな！、黙れ！ 「動詞句」

-atajó アタホ 3 単点(atajar)v.t さえぎった、妨害した 「動詞」

el Sombrero. エル・ソンブレロ n.m 帽子屋は 「主語」

7 Una merienda de locos

この無作法は、我慢しようと覚悟していたレベルを超えていたので、アリスは不機嫌そうにテーブルから立ち上がり、決然とした足取りで立ち去った。

Esta grosería era más de lo que Alicia estaba dispuesta a aguantar, de forma que se levantó de la mesa muy disgustada y se alejó con paso decidido.

「主語」「動詞」「補語」, de forma que 「動詞句」「副詞句」 y 「動詞句」「副詞句」
 Esta grosería エスタ・グロセリア n.f この無作法は 「主語」
 era エラ 3 単線(ser)v.i 〜だった 「動詞」
 más de lo マス・デ・ロ adv. それ以上 「補語」
 que ケ conj. (比較) 〜よりも 「副詞節」
 Alicia アリシア n.f アリスが 「主語」
 estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i 〜だった 「動詞」
 dispuesta デイスプエスタ 過去分詞.f(disponer)
 adj.(a+不定詞) 〜する準備をした 「補語」
 disponer a+不定詞 「〜する覚悟をする」
 a aguantar, ア・アグアンタル 不定詞 v.t 我慢する 「動詞句」
 de forma que デ・フォルマ・ケ conj. (結果) それで〜する
 se levantó セ・レバント 3 単点(levantarse)v.pr 立ち上がった 「動詞句」
 de la mesa デ・ラ・メサ adv. テーブルから 「副詞句」
 muy disgustada ムイ・ディスグスタダ adv. ひどく不機嫌そうに 「副詞句」
 y イ conj. そして
 se alejó セ・アレホ 3 単点(alejarse)v.pr 立ち去った、遠ざかった 「動詞句」
 con paso decidido. コン・パソ・デシディト adv. (様態) 決然とした足取りで 「副詞句」

7 Una merienda de locos

その時、ヤマネはもう寝ていました。そして他の誰も、アリスが彼らを残して出て行ったことに気付きませんでした。それでもアリスは、彼らが立ち去るなと呼びとめてくれることを期待して一、二回振り向きました。

El Lirón se durmió al momento, y ninguno de los demás dio la menor señal de darse cuenta de que Alicia los dejaba, a pesar de que volvió la cabeza una o dos veces con alguna esperanza de que fueran a rogarle que no se marchara.

	「主語」「動詞句」「副詞句」,y「主語」「動詞」「目的語」「副詞節」
El Lirón エル・リロン n.m ヤマネは	「主語」
se durmió セ・ドゥルミオ 3 単点(dormirse)v.pr 眠り込んだ	「動詞句」
al momento, アル・モメント adv. その時に	「副詞句」
y イ conj. そして	
ninguno de los demás ニングノ・デ・ロス・デマス pron 他の誰も～ない	「主語」
los demás ロス・デマス pron その他の人たち	
dio デ・イオ 3 単点・否定文で(dar)v.t 示さなかった	「動詞」
la menor señal ラ・メノール・セニャル n.f 一切のしるしを～ない	「目的語」
de darse cuenta de デ・タルセ・クエンタ・デ 不定詞(darse cuenta de)	
adj. (同格) ～に気付いたという	「形容詞句」
que ケ conj. ～ということ	「目的語」
Alicia アリシア n.f アリスが	「主語」
los ロス pron.pl 彼らを	「目的語」
dejaba, デ・ハバ 3 単線(dejar)v.t 残していった	「動詞」
a pesar de que ア・ペサル・デ・ケ conj. (譲歩) ～ではあるが	「副詞節」
volvió ボルニオ 3 単点(volver)v.t 向きを変えた、振り向いた	「動詞」
la cabeza ラ・カベサ n.f 頭を	「目的語」
una o dos veces ウナ・オ・トス・ベセス adv. 一、二回	「副詞句」
con alguna esperanza コン・アルグナ・エスペランサ adv. 多少期待して	「副詞句」
de que デ・ケ conj. ～という	「形容詞節」
fueran a rogarle フェラン・ア・ロガール・レ 接・3 複過・近接未来(ir a+不定詞 rogar+le)	
v.t 彼女に頼む	「動詞句」
que ケ conj. ～ということ	「目的語」
no se marchara. ノ・セ・マルチャラ 接・3 単過・否定(marcharse)	
v.pr 立ち去るな	「動詞句」

7 Una merienda de locos

最後に見た時、彼らはヤマネを紅茶のポットに押し込もうとしていた。

La última vez que los vio estaban intentando volcar al Lirón dentro de la tetera.

「副詞句」「動詞句」「目的語」「副詞句」

La última vez ラ・ウルチマ・ベス adv. 最後の時

「副詞句」

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

los ロス pron.pl 彼らを

「目的語」

vio ビオ 3 単点(ver)v.t 見た

「動詞」

estaban intentando volcar エスタバン・インテンダント・ボルカル 3 複過・進行形・試行

(intentar+不定詞 volcar)v.t ひっくり返そうとしていた

「動詞句」

→ 何かの中に押し込もうとしていた

al Lirón アル・リロン n.m ヤマネを

「目的語」

dentro de デントロ・デ prep ～の中に

「副詞句」

la tetera. ラ・テテラ n.f 紅茶ポット

「目的語」



ch

7 Una merienda de locos

「いずれにしても、もう二度とあそこには戻らないわ」と、アリスは森を通して道を探しながら言った。「今まで体験した中で一番バカバカしいお茶会だったわ」

-En todo caso, nunca volveré a poner los pies por ahí -dijo Alicia mientras buscaba un sendero por el bosque-. ¡Era la merienda más estúpida que he visto!

《「副詞句」, 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」》,

「動詞」 「主語」 「副詞節」, 《「動詞」 「補語」》

-En todo caso, エン・トド・カ adv. いずれにしても 「副詞句」

nunca volveré a poner ヌンカ・ボルベレ・ア・ポネル 1 単未・否定(volver a+不定詞 poner)

v.t 二度と置かない、入らない 「動詞句」

los pies ロス・ピエス pl(pie).n.m 足を 「目的語」

por ahí ポル・アイ adv. あそこに 「副詞句」

-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

mientras ミエンtras conj. ～しながら 「副詞節」

buscaba ブスカバ 3 単線・時制の一致(buscar)v.t 探す 「動詞」

un sendero ウン・センテロ n.m 小道を 「目的語」

senda センダ n.f 小道、踏み分け道

por el bosque-. ポル・エル・ボスケ adv. (通過) 森を通して 「副詞句」

¡Era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」

la merienda ラ・メリエンダ n.f お茶会 「補語」

más estúpida マス・エストゥピダ adj(estúpido).f 一番バカバカしい 「形容詞句」

que ケ conj. (比較) ～よりも 「副詞節」

he visto! ヘ・ビスト 1 単現・完了形(ver)

v.t これまでに見た、体験した 「動詞句」

ちょうどアリスがそう言った時、木の太い幹に作られた小さい扉に目が留まった。

Justo cuando decía esto, sus ojos se posaron sobre una puertecilla practicada en el grueso tronco de un árbol.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Justo cuando フスト・クワント conj. ちょうど～する時 「副詞節」

decía デシア 3 単線(decir)v.t 言った 「動詞」

esto, エスト pron これを 「目的語」

sus ojos スス・ホス pl(ojo).n.m 彼女の目が 「主語」

se posaron セ・ポサロ 3 複点(posarse)v.pr とまった 「動詞句」

sobre una puertecilla ソブレ・ウナ・プエルテシジャ adv. 小さい扉の上に 「副詞句」

puertecilla プエルテシジャ = puerta + -cilla (示小接尾辞) 小さい扉、ドア

practicada プラクチカダ 過去分詞・受動(practicar).adj.f 作られた 「形容詞句」

7 Una merienda de locos

en el grueso tronco エン・エル・グエルエソ・トロンコ adv. 太い幹に 「副詞句」
de un árbol. デ・ウン・アルボル adj. 木の 「形容詞句」

「これはおかしい」と、思いました。「でも、今日はすべてがおかしいから、もう考えずに中に入りましょう」そして、小さい扉を開けて、木の内部に入りました。

«Esto sí que es raro -pensó; pero todo es tan extraño hoy que sin pensarlo más voy a entrar ahí adentro.» Y, abriendo la puertecilla, penetró en el interior del árbol.

《「主語」「補語」》, 「動詞」, 《pero 「主語」「動詞」「補語」》

Y, 「副詞句」「動詞」「副詞句」

«Esto エスト pron これは 「主語」
sí シ adv. そう 「補語」
que ケ conj. (同格) ~ということ 「補語」
es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」
raro ラロ adj. おかしい、奇妙な 「補語」
-pensó; ペンソ 3 単点(pensar)v.t 思った 「動詞」
pero ペロ conj. しかし
todo トド pron 全てが 「主語」
es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」
tan extraño タン・エクストラニョ adj. ひどく奇妙な 「補語」
hoy オイ adv. 今日は 「副詞」
que ケ conj. (結果) それで~する
sin pensarlo más シン・ペンサル・ロ・マス adv. それ以上考えずに 「副詞句」
voy a entrar ボイ・ア・エントラール 1 単現・意思(ir a+不定詞)v.i 入ろう 「動詞句」
ahí アイ adv. そこに 「副詞」
adentro. アデントロ adv. 中に 「副詞」
Y, イ conj. そして
abriendo la puertecilla, アブリエント・ラ・プエルテシジャ 現在分詞・同時
adv. 小さい扉を開けて 「副詞句」
penetró ペネトロ 3 単点(penetrar)v.i 入り込んだ 「動詞」
en el interior エン・エル・インテリオル adv. 内部に 「副詞句」
del árbol. デル・アルボル adj. 木の 「形容詞句」

7 Una merienda de locos

アリスはまた、あの長い廊下のガラスのテーブルの近くに来ていました。

Una vez más se encontró en el largo vestíbulo de antes y cerca de la mesita de cristal.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」 y 「副詞句」

Una vez más ウン・ベス・マス adv. もう一度、また 「副詞句」

se encontró セ・エンコントロ 3 単点・存在(encontrarse)v.pr (ある場所に) いた 「動詞句」

en el largo vestíbulo エン・エル・ラルゴ・ベスチブロ adv. 長い廊下に、ロビー 「副詞句」

de antes デ・アンテス adv. 前の 「副詞句」

y イ conj. そして

cerca de セルカ・デ adv. 〜の近くに 「副詞句」

la mesita ラ・メシタ n.f(mesa + -ita 「示小接尾辞」) テーブル 「目的語」

de cristal. デ・クリスタル adj. (材料) ガラスの 「形容詞句」

「今度は、少し上手にやるわ」と、心の中で思った。それから、まずテーブルの上の金の小さい鍵を手に取り、庭に続く扉を開けた；そうしてから、注意深くポケットにしまっておいたキノコのかげらをかじり始めて、身長が 30 センチくらいになるまで減らしていった。

«Esta vez haré las cosas un poco mejor», se dijo, y empezó por tomar la llavecita de oro de encima de la mesa y abrir la puerta que conducía al jardín; una vez hecho esto, se puso a mordisquear metódicamente el trocito de seta que había guardado cuidadosamente en un bolsillo y fue menguando hasta lograr una estatura de un palmo.

《「副詞句」「動詞」「目的語」「副詞句」》, 「動詞句」, y 「動詞句」「目的語」「副詞句」

y 「動詞句」「目的語」; 「副詞句」「動詞句」「副詞」「目的語」 y 「動詞句」「副詞句」

«Esta vez エスタ・ベス adv. 今回は、今度は 「副詞句」

haré アレ 1 単未・意思(hacer)v.t (行為を) しよう 「動詞」

las cosas ラス・コサス pl(cosa).n.f 物事を 「目的語」

un poco mejor, ウン・ポコ・メホル adv. 少し上手に 「副詞句」

se dijo, セ・ディホ 3 単点(decirse)v.pr 心の中で思った 「動詞句」

y イ conj. そして

empezó por tomar エンペ・リ・ホル・トマル 3 単点・開始(empezar por+不定詞 tomar)

v.t まず〜を取った 「動詞句」

la llavecita ラ・ジャベシタ n.f(llave + -cita 「示小接尾辞」) 小さい鍵を 「目的語」

de oro デ・オロ adj. (材料) 金の 「形容詞句」

de encima de la mesa デ・エンシマ・デ・ラ・メサ adj. テーブルの上の 「副詞句」

y イ conj. そして

abrir アブリール 3 単点・開始(empezar por+不定詞 abrir)v.t 開けた 「動詞句」

la puerta ラ・プエルタ n.f 扉を 「目的語」

que ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」

7 Una merienda de locos

conducía	コント ^カ シア	3 単線(conducir)v.t(a に) 続く、導く	「動詞」
al jardín;	アル・ハルテ ^イ ン	adv. 庭に	「間接目的語」
una vez +過去分詞	ウナ・ベス	adv. ～した後で	「副詞句」
hecho	ヘ ^チ	過去分詞(hacer)v.t (動作を) した	「動詞」
esto,	エスト	pron これを	「目的語」
se puso a mordisquear	セ・プ ^ソ ・ア・モルデ ^イ スカール	3 単点・開始(ponerse a+不定詞 mordisquear)	
v.t		かじり始めた	「動詞句」
mordisquear	モルデ ^イ スカール	= mordiscar モルデ ^イ スカール v.t かじる、かむ	
metódicamente	メト ^デ イカメンテ	adv. 整然と、規則的に、手際よく	「副詞」
el trocito	エル・トロシト	n.m(= trozo + -cito) かけらを	「目的語」
de seta	デ・セタ	adj. キノコの	「形容詞句」
que	ケ	pron (目的語) ～する	「形容詞節」
había guardado	アビ ^ア ・グ ^ワ ルダ ^ト	3 単線・完了形(guardar)	
v.t		取っておいた	「動詞句」
cuidadosamente	クイダ ^ト ・サメンテ	adv. 注意深く	「副詞」
en un bolsillo	エン・ウン・ホルシ ^ョ	adv. ポケットに	「副詞句」
y	イ	conj. そして	
fue menguando	フエ・メン ^グ ア ^{ント}	3 単点・進行(ir+現在分詞)v.t 減らし続けた	「動詞句」
hasta lograr	アスタ・ロ ^グ ラール	adv. ～に達するまで	「副詞句」
una estatura	ウナ・エスタ ^ウ ラ	n.f 身長	「目的語」
de un palmo.	デ・ウン・パ ^ル モ	adj. 21cm の	「形容詞句」
英語版では			
about a foot high	およそ身長 30.48cm		

7 Una merienda de locos

それから狭い裏道を通して中へ入りました。そしてついに、まばゆい花と冷たい噴水に囲まれた、切望していた庭にやってきました。

Entonces se adentró por el estrecho pasadizo y, al fin, se encontró en el ansiado jardín, entre las alegres flores y las frescas fuentes.

「副詞」「動詞句」「副詞句」 y, 「副詞句」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」
 Entonces エントンセス adv. (接続詞的) それから 「副詞」
 se adentró セ。アデントロ 3 単点(adentrarse)v.pr 入って行った 「動詞句」
 por ポル prep (通過) ～を通して 「副詞句」
 el estrecho pasadizo エル・エストレチョ・パサデーソ n.m 狭い裏道 「目的語」
 y, イ conj. そして
 al fin, アル・フィン adv. ついに 「副詞句」
 se encontró セ・エンコントロ 3 単点(encontrarse)v.pr (ある場所に) やって来た 「動詞句」
 en el ansiado jardín, エン・エル・アンシアド・ハルデーイン adv. 切望していた庭に 「間接目的語」
 entre エントレ prep (空間) ～の中に 「副詞句」
 las alegres flores ラス・アレグレス・フロレス pl(flor).n.f 明るい花 「目的語」
 alegre アレグレ adj. (色などが) 明るい
 y イ conj. そして
 las frescas fuentes. ラス・フレスカス・フエンテス pl(fuente).n.f 冷たい噴水 「目的語」

8 El croquet de la Reina

8 El croquet de la Reina

女王様のクロッケー

El croquet エル・クロケ n.m クロッケー 「主語」
de la Reina デ・ラ・レイナ adj. 女王の 「形容詞句」

庭の入り口には大きなバラの木がそびえ立っていて、その枝に付いたバラの花は白だった。
ところが、3人の庭師はそれらの花を赤く塗るのに忙しそうだった。

Un gran rosal se elevaba a la entrada del jardín: las rosas que brotaban de sus ramas eran blancas, y, sin embargo, tres jardineros parecían empeñados en pintarlas de rojo.

「主語」「動詞句」「副詞句」:「主語」「動詞」「補語」,

y, 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」

Un gran rosal ウン・グラン・ロサル n.m 大きなバラの木が 「主語」
se elevaba セ・エレババ 3 単線(elevarse)v.pr そびえたっていた 「動詞句」
a la entrada ア・ラ・エントラダ adv. 入口に 「副詞句」
del jardín: デル・ハルティン adj. 庭の 「形容詞句」
las rosas ラス・ロサス pl(rosa).n.f バラの花は 「主語」
que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
brotaban ブロタバン 3 複線・時制の一致(brotar)

v.i(de から) わきでている 「動詞」

de sus ramas デ・ス・ラマス adj. 枝から 「副詞句」

eran エラン 3 複線(ser)v.i ~だった 「動詞」

blancas, ブランカス adj. 白い 「補語」

y, イ conj. そして

sin embargo, シン・エンバルゴ adv. しかしながら 「副詞句」

tres jardineros トレス・ハルティネロス pl(jardinero).n.m 3人の庭師は 「主語」

parecían パレシアン 3 複線(parecer)v.i(+補語) ~のように見えた 「動詞」

empeñados エンペニャトス 過去分詞(empeñar)v.t (en に) 時間を費やしている 「補語」

en pintarlas エン・ピントール・ラス adv. それらを塗るのに 「副詞句」

de rojo. デ・ロホ adv. 赤く 「副詞句」

8 El croquet de la Reina

これはアリスにはとても奇妙なことに思われた。それで、彼らのしていることを観察するために近づいて行きました。近づいてみると、彼らの1人が話す声が聞こえた。

Esto le pareció a Alicia algo sumamente curioso, por lo que se acercó a ellos para observar lo que hacían; al aproximarse oyó que uno de ellos decía:

「主語」「間接目的語」「動詞」「間接目的語」「補語」,
「副詞句」「動詞句」「副詞句」; 「副詞句」「動詞」「目的語」

Esto エスト pron これは 「主語」
le レ pron 彼女には 「間接目的語」
pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i 〜に思われた 「動詞」
a Alicia ア・アリシア adv. アリスには 「間接目的語」
algo sumamente curioso, アルゴ・スマメンテ・クリオ adj. 非常におかしな 「補語」
por lo que ポル・ロ・ケ adv. そのため 「副詞句」
se acercó セ・アセルロ 3 単点(acercarse)v.pr 近づいて行った 「動詞句」
a ellos ア・エシヨス adv. 彼らの方へ 「副詞句」
para observar パラ・オブセルバル adv. 観察するために 「副詞句」
lo que hacían; ロ・ケ・アシアン pron 彼らがやっていることを 「目的語」
al aproximarse アル・アプロキシマルセ adv. 近づいてみると 「副詞句」
oyó オヨ 3 単点(oír)v.t 聞こえた 「動詞」
que ケ conj. 〜ということが 「目的語」
uno de ellos ウノ・デ・エシヨス pron 彼らの1人が 「主語」
decía: デシア 3 単線・時制の一致(decir)v.t 話している 「動詞」

「おい、5。気を付けろ！見ろ！俺の体にペンキをまき散らすのは止めろ！」

-¡Eh, Cinco, con cuidado! ¡A ver si dejas de salpicarme todo de pintura!

《「呼びかけ」「命令」 | 「命令」「動詞句」「目的語」「副詞句」》

-¡Eh, Cinco, エー・シコ int. (叱責) おい、5 「呼びかけ」
con cuidado! コン・クイダド adv. (様態・命令) 気を付けろ！ 「命令」
¡A ver ア・ベール adv. (命令) これを見ろ！ 「命令」
si シ conj. (抗議・強調) 〜と言うのだ！
dejas de salpicarme デハス・デ・サルピカル・メ 2 単現・命令(dejar de+不定詞 salpicar+me)
v.t まき散らすのはやめろ！ 「動詞句」
todo トド n.m 体全体に 「目的語」
de pintura! デ・ピントラ adv. ペンキを 「副詞句」

8 El croquet de la Reina

「わざとじゃないよ！」と、5 は不機嫌そうに言い返した。「だって、7 が肘で僕をつついたんだから」

-¡No ha sido aposta! -alegó Cinco con tono dolido-. Es que Siete me ha dado un golpe en un codo.
 《「動詞句」「補語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」,
 《Es que 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」「副詞句」》
 -¡No ha sido ノ・ア・シト 3 単現・完了形・否定(ser)v.i ~ではなかった 「動詞句」
 aposta! アポスタ adv. わざと、故意に 「補語」
 -alegó アレゴ 3 単点(alegar)v.t 主張した 「動詞」
 Cinco シンコ n.m 5 は 「主語」
 con tono dolido-. コン・トノ・ドルイド adv. (様態) 不機嫌そうに 「副詞句」
 Es que エスケ conj. 実は～、だって～、～だから
 Siete シエテ n.m 7 が 「主語」
 me メ pron 僕に 「間接目的語」
 ha dado ア・ダト 3 単現・完了形(dar)v.t 与えた 「動詞句」
 un golpe ウン・ゴルペ n.m 打撃を 「直接目的語」
 en un codo. エン・ウン・ツコト adv. (手段) 肘で 「副詞句」

それを聞いて、7 が上を向いて、もんくを言った。

Al oír lo cual, Siete miró hacia arriba y protestó:
 「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞句」 y 「動詞」
 Al oír アル・オイール adv. 聞いて 「副詞句」
 lo cual, ロ・クワール pron それを 「目的語」
 Siete シエテ n.m 7 は 「主語」
 miró ミロ 3 単点(mirar)v.i 見た 「動詞」
 hacia arriba アシア・アリハ adv. 上の方を 「副詞句」
 y イ conj. そして
 protestó: プロテスト 3 単点(protestar)v.i 抗議した 「動詞」

「ああ！5 はいつも人のせいになっている」

-¡Hala! ¡Hala! Ya está Cinco echando culpas a los demás.
 《「間投」「副詞」「動詞句」「主語」「直接目的語」「間接目的語」》
 -¡Hala! ¡Hala! アラ・アラ int. あー 「間投」
 Ya やー adv. いつも 「副詞」
 está ...echando エスタ...エチャント 3 単現・進行形(echar)v.t 投げている 「動詞句」
 Cinco シンコ n.m 5 は 「主語」
 culpas クルパス pl(culpa)n.f 責任を 「直接目的語」

8 El croquet de la Reina

a los demás. ア・ロス・デマス adv. 他の人に 「間接目的語」

「お前は黙っている！」と、5 が言った。「つい昨日、女王様がお前は斬首に値すると言うのを聞いたぞ！」

-Pues lo que es tú, ¡será mejor que no digas nada! -dijo Cinco. Sólo ayer le oí a la Reina decir que merecías que te cortaran la cabeza.

《「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」,
《「副詞句」「目的語」「動詞」「目的語」「補語」》

-Pues プエス conj. (感嘆文の導入) まったく

lo que ロ・ケ pron (será 以降の文) それは 「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

tú, トゥ pron お前 「補語」

¡será セラ 3 単未・推量(ser)v.i ~だろう 「動詞」

mejor メホル adadj. より良い 「補語」

que ケ conj. ~ということは 「主語」

no digas ノ・ディガス 接・2 単現・否定・価値判断(decir)

v.t. しやべらない 「動詞句」

nada! ナダ pron 何も~ない 「目的語」

→ まったく!、何も言わない方がいいのはお前の方だ!

It's better for you not to say anything!

-dijo デイホ 3 単点(decir)v.t. 言った 「動詞」

Cinco シンコ n.m 5 が 「主語」

Sólo ayer ソロ・アジェール adv. ちょうど昨日 「副詞句」

le レ pron 彼女が 「目的語」

oí オイ 1 単点・知覚動詞(oír)v.t. 聞いた 「動詞」

a la Reina ア・ラ・レイナ n.f 女王が 「目的語」

decir デシル 不定詞・Reina の動作 v.t. 言う 「補語」

que ケ conj. ~ということを 「目的語」

merecías メレアス 2 単線・時制の一致(merecer)

v.t. ~に値する、~を受けるべきだ 「動詞」

que ケ conj. ~ということを 「目的語」

te テ pron お前の 「間接目的語」

cortaran コルタラン 接・3 複過(cortar)v.t. 切る 「動詞」

受動態に翻訳する

la cabeza. ラ・カベサ n.f 頭を、首を 「直接目的語」

8 El croquet de la Reina

「どうして？」と、最初に喋った奴が尋ねた。

-¿Y eso por qué? -preguntó el que había hablado primero. 《Y》, 「動詞」「主語」

-¿Y イ conj. そして

eso エソ pron それは 「主語」

por qué? ポル・ケ adv. どうして? 「質問」

-preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

el エル pron 誰かが 「主語」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

había hablado ハビ・ア・アブラト 3 単線・完了形(hablar)v.i 喋った 「動詞句」

primero. プリメロ adv. 最初に 「副詞」



「いいか、2！関係ないことに口をだすな！」と、7は吐き捨てるように言った。

-¡Oye, Dos! No te metas en lo que no te importa! -le espetó Siete.

《「念押し」「呼びかけ」 | 「動詞句」「間接目的語」「動詞句」》,
「間接目的語」「動詞」「主語」

-¡Oye, オジェ 命・2 単現(oír)v.t いいか！ 「念押し」

Dos! ドス n. 2 「呼びかけ」

No te metas ノ・テ・メタス 接・2 単現・否定命令(meterse)v.pr(en に) 介入するな 「動詞句」

8 El croquet de la Reina

en lo que エン・ロ・ケ adv. ～するものに	「間接目的語」
no ...importa! ノ・テ・インポルタ 3 単現・否定(importar)	
v.i 重要でない、関係ない	「動詞句」
te テ pron お前にとって	「間接目的語」
-le レ pron 彼に	「間接目的語」
espetó エスパト 3 単点(espetar)v.t (言葉を) 投げつけた	「動詞」
Siete. シエテ n.m 7 は	「主語」

「関係あるさ！」と、5 が言った。「だから言うよ：コックに玉ねぎの代わりにチューリップの球根を持って行ったんだよ」

-¡Pues a él sí que le importa! -dijo Cinco-. Y se lo diré: fue por llevarle a la cocinera bulbos de tulipán en vez de cebollas.

《Pues》, 「動詞」「主語」, 《Y 「間接目的語」「直接目的語」「動詞」: 「動詞」「副詞句」》	
-¡Pues フエス conj. ～なので	
a él ア・エル adv. 彼にとって	「間接目的語」
sí シ adv. そうだ	「補語」
que ケ conj. ～ということは	「主語」
le レ pron 彼にとって	「間接目的語」
importa! インポルタ 3 単現(importar)v.i 関係ある	「動詞」
-dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
Cinco-. シンコ n.m 5 が	「主語」
Y イ conj. そして	
se セ pron 彼に	「間接目的語」
lo ロ pron それを	「直接目的語」
diré: デイレ 1 単未・意思(decir)v.t 言おう、言う	「動詞」
fue フェ 3 単点(ser)v.i ～だった	「動詞」
por llevarle ホル・ジェハル・レ adv. (理由) 持って行ったから	「副詞句」
a la cocinera ア・ラ・コシネラ adv. コックに	「間接目的語」
bulbos de tulipán ブルボス・デ・トゥリパン	
pl(bulbo).n.m チューリップの球根を	「直接目的語」
en vez de cebollas. エン・ベス・デ・セボジャス adv. 玉ねぎの代わりに	「副詞句」

8 El croquet de la Reina

これを聞くと同時に、7は刷毛を地面に投げ捨てて、叫んだ。

Al oír esto, Siete arrojó la brocha al suelo y exclamó:

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 y 「動詞」
 Al +不定詞 アル adv. (同時の動作) ～して、～すると 「副詞句」
 oír オール 不定詞 v.t 聞く 「動詞」
 esto, エスト pron これを 「目的語」
 Siete シエテ n. 7は 「主語」
 arrojó アロホ 3 単点(arrojar)v.t 投げた、投げ捨てた 「動詞」
 la brocha ラ・ブロチャ n.f 刷毛を、ブラシを 「目的語」
 al suelo アル・スエロ adv. (地点) 地面に 「副詞句」
 y イ conj. そして
 exclamó: エスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ 「動詞」

al+不定詞

同時の動作を表わす 「～するとき、したとき」

Al contar el dinero me di cuenta que faltaba.

お金を数えている時に足りないことに気が付いた。

Al saber de la noticia te llame. ニュースを知った時に君に電話した。

¿Te lavaste las manos? --- Sí, pero al lavarmelas, me mojé la ropa.

手を洗ったの?

うん、でも手を洗う時に洋服が濡れちゃった。

Blanca le pidió los libros a Alfonso, y él al traerselos se cayó en el pasillo.

ブランカはアルフォンソに本を頼んだ。

そして、彼は彼女にそれらを持ってくる時に廊下で転んだ。

Al subir al autobús, hay que pagar el pasaje.

バスに乗った時に運賃を払わなければならない。

Al salir de casa, empezó a llover. 家を出ると雨が降り始めた。

El perro ladró mucho al verme. その犬は私を見るとめっちゃ吠えた。

Al doblar la esquina, lo encontrará a la derecha. 角を曲がると、それは右に見えますよ。

8 El croquet de la Reina

「すべての不正を見なければならない」しかし、こう言おうとした時に、そこに立ち止まっているアリスが彼の目にとまって、話を中断しました。

-¡Hay que ver! ¡De todas las injusticias...! -Pero al empezar a decir esto sus ojos se fijaron casualmente en Alicia, que estaba ahí parada observándoles, e inmediatamente se contuvo.

《「動詞句」「目的語」》,

Pero 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞」「間接目的語」, e 「副詞」「動詞句」

-¡Hay que ver! アイ・ケ・ベール 3 単現・必要 v.t 見なければならない 「動詞句」

¡De todas las injusticias...! テ・トダス・ラス・インフスティアス

pl(injusticia).n.f 全ての不正を 「目的語」

-Pero ヘロ conj. しかし

al empezar a decir アル・エンヘ・サル・ア・デシール adv. 言おうとした時に 「副詞句」

esto エスト pron これを 「目的語」

sus ojos ス・ホス pl(ojo).n.m 彼の目が 「主語」

se fijaron セ・フィロン 3 複点(fijar)v.r とまった、(en に) 注目した 「動詞句」

casualmente カサルメンテ adv. 偶然、たまたま 「副詞」

en Alicia, エン・アリシア adv. アリスに 「間接目的語」

que ケ pron(主語) ～する 「形容詞節」

estaba エスタバ 3 単線・存在(estar)v.i ～にいた 「動詞」

ahí アイ adv. そこに 「副詞」

parada パラダ adj(parado).f 立ち止まった、停止した 「補語」

observándoles, オブセルバント・レス

adv. (同時) 彼らを見ながら 「副詞句」

e エ conj. そして

inmediatamente インメディアタメンテ adv. すぐに 「副詞」

se contuvo. セ・コントゥガ 3 単点(contenerse)v.pr 我慢した、自制した 「動詞句」

他の 2 人も彼女のほうに振り返り、皆で彼女に深々とお辞儀をした。

Los demás se volvieron también hacia ella y todos a una le hicieron una profunda reverencia. 「主語」「動詞句」「副詞句」 y 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Los demás ロス・デマス pron(demás).pl 他の者たちは 「主語」

se volvieron セ・ボルビエロン 3 複点(volverse)v.pr 振り返った 「動詞句」

también タンビエン adv. ～も 「副詞」

hacia ella アシア・エジャ adv. (方向) 彼女の方に 「副詞句」

y イ conj. そして

todos トス pron.pl 皆が 「主語」

8 El croquet de la Reina

a una le ア・ウナ・レ pron 彼女に 「間接目的語」
 hicieron イエロン 3 複点(hacer)v.t (動作を) した 「動詞」
 una profunda reverencia. ウナ・フ・ロフンダ・レベレンシア n.f 深いお辞儀を 「直接目的語」

「教えていただけますか？」と、アリスは少し遠慮がちに尋ねた。「どうしてそのバラにペ
 ンキを塗っているのですか？」

-¿Querrían hacer el favor de decirme -preguntó Alicia algo tímidamente- por qué están
 pintando esas rosas?

《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 《「副詞句」「動詞句」「目的語」》

-¿Querrían hacer クリアン・アセール 3 複過未・疑問文・丁寧な依頼(querer+不定詞 hacer)
 v.t (動作を) していただけますか? 「動詞句」
 英語では、「would you like to do...」

el favor エル・ファボル n.m 親切な行為を 「目的語」
 de decirme テ・デシル・メ 不定詞・同格 adj. 私に言うという 「形容詞句」
 -preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」
 Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
 algo tímidamente アルゴ・チミダメンテ adv. 少し遠慮がちに 「副詞句」
 algo アルゴ adv. 少し
 por qué ポル・ケ adv. どうして 「副詞句」
 están pintando エスタン・ピントント 3 複現・進行形(pintar)v.t 塗っている 「動詞句」
 esas rosas? エス・ロサ pl(rosa).n.f そのバラを 「目的語」

5 と 7 は何も言わないで、ただ 2 のほうを見ました。2 は小さな声でおどおどと説明を始め
 ました。

El Cinco y el Siete no dijeron nada y sólo miraron al Dos; éste empezó a explicarse,
cohibido en voz baja: 「主語」「動詞句」「目的語」 y 「副詞」「動詞」「間接目的語」;
 「主語」「動詞句」「副詞句」

El Cinco エル・シンコ n.m 5 は 「主語」
 y イ conj. そして
 el Siete エル・シエテ n.m 7 は 「主語」
 no dijeron ノ・デイエロン 3 複点・否定(decir)v.t 言わなかった 「動詞句」
 nada ナダ pron 何も～ない 「目的語」
 y イ conj. そして
 sólo ソロ adv. ～だけ、ただ～ 「副詞」
 miraron ミロン 3 単点(mirar)v.i(a のほうを) 見た 「動詞」
 al Dos; アル・トス adv. 2 のほうを 「間接目的語」

8 El croquet de la Reina

éste エステ pron. これは、2 は	「主語」
empezó a explicarse, エンペゾ・ア・エクスプリカセ 3 単点・開始(empezar a+不定詞)	
v.pr 説明し始めた	「動詞句」
cohibido, コイビド adv. おどおどして	「副詞」
en voz baja: エン・ボス・バハ adv. 小さな声で	「副詞句」

「それでは、お話しします。お嬢さん。実は、ここのこれは赤いバラでなければならなかったんです。俺たちが間違えて白いのを植えたんです。もし女王さまが俺たちの仕業だと知ったら、さあ急げ！みんな首を切られちゃいます！」

-Pues verá usted, señorita, el hecho es que esto aquí tenía que haber sido un rosal rojo, y nosotros plantamos uno blanco por equivocación; y si la Reina llega a descubrirnos, ¡vamos! ¡Que nos cortan la cabeza a todos!

《Pues 「動詞」「主語」「呼びかけ」

el hecho es que 「主語」「動詞句」「補語」, y 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

; y 「副詞節」, 「呼びかけ」 | 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」》

-Pues プエ conj. それでは

verá ベラ 3 単末(ver)v.t 見るだろう、見せましょう 「動詞」

usted, ウステ pron あなたは 「主語」

señorita, セニョリタ n.f お嬢さん 「呼びかけ」

el hecho es que エル・エチョ・エス・ケ conj. 実は～である

esto aquí エスト・アキ pron ここのこれは 「主語」

tenía que haber sido テニア・ケ・アベル・シト 3 単線・必要(tener que+不定詞・完了形 ser)

v.i ～でなければならなかった 「動詞句」

un rosal rojo, ウン・ロサル・ロジヨ n.m 赤いバラ 「補語」

y イ conj. そして

nosotros ノトロス pron.pl 俺たちは 「主語」

plantamos プランタモス 1 複点(plantar)v.t 植えた 「動詞」

uno blanco ウノ・ブランコ n.m 白いバラを 「目的語」

por equivocación; ポル・エキボカシオン adv. 間違えて 「副詞句」

y イ conj. そして

si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

la Reina ラ・レイナ n.f 女王が 「主語」

llega a descubrirnos, ジェガ・ア・デスカブリール・ノス 3 単現・未来(llegar a+不定詞)

v.t 俺たちを見つける 「動詞句」

llegar a+不定詞 「～することになる」

¡vamos! バモス 1 複現・勧誘(ir)v.i さあ急げ！ 「呼びかけ」

8 El croquet de la Reina

¡Que ケ conj. (強調)

nos ノス pron 俺たちの

「間接目的語」

cortan コルタン 3 複現(cortar)v.t 切る

「動詞」

受動態に翻訳する

la cabeza ラ・カベサ n.f 首を

「直接目的語」

a todos! ア・トトス adv. 皆の

「間接目的語」

「だからお嬢さん、御覧の様に、女王様が到着する前に出来ることをやっているんです...」

Así que, ya ve, señorita, estamos haciendo lo que podemos antes de que llegue a...

Así que, 「動詞句」「呼びかけ」, 「動詞句」「目的語」

Así que, アシ・ケ conj. (理由) 従って～

ya ve, ジャ・ベ 3 単現・確認(ver)v.t 分かるでしょう？

「動詞句」

señorita, セニョリータ n.f お嬢さん

「呼びかけ」

estamos haciendo エスタモス・アシエント 1 複現・進行形(hacer)v.t ～をしているところだ「動詞句」

lo que ロ・ケ pron (目的語) ～することを

「目的語」

podemos ポデモス 1 複現(poder)v.t 出来る

「動詞」

antes de que アンテス・デ・ケ adv. ～する前に

「副詞句」

llegue a... ジェゲ・ア 3 単現(llegar)v.i 着く

「動詞」

しかしこの時、先程から心配そうに庭の向こう側を見ていた 5 が叫んだ：「女王様だ！女王様がいらした！」すると、3 人の庭師はすぐに地面にひれ伏した。

Pero al llegar a este punto, el Cinco, que había estado mirando ansiosamente a través del jardín, exclamó: «¡La Reina! ¡La Reina!», y los tres jardineros se arrojaron inmediatamente de bruces al suelo.

Pero 「副詞句」「主語」「動詞」: «「呼びかけ」», y 「主語」「動詞句」「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし

al llegar a este punto, アル・ジエガル・ア・エステ・プント adv. この時、この時に至ると 「副詞句」

el Cinco, エル・シンコ n.m 5 が

「主語」

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

había estado mirando アビ・ア・エスタド・ミラント 3 単線・完了形・進行形(mirar)

v.i(a の方を) 見ていた

「動詞句」

ansiosamente アンシオサメンテ adv. 心配そうに

「副詞」

a través del jardín, ア・トラベス・デル・ハルデイン

adv. 庭の向こう側を

「間接目的語」

a través de... 「～の向こうの方を、～を通り抜けて」

exclamó: エスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ

「動詞」

8 El croquet de la Reina

«¡La Reina! ¡La Reina!», ラ・レイナ・ラ・レイナ adv. 女王様だ！女王様がいらした！ 「呼びかけ」
y イ conj. そして

los tres jardineros ロス・トレス・ハルディネロス pl(jardinero).n.m 3 人の庭師は 「主語」

se arrojaron セ・アロハロン 3 複点(arrojarse)v.pr ひれ伏した、身投げした 「動詞句」

inmediatamente インメディアタメンテ adv. すぐに 「副詞」

de bruces al suelo. テ・ブルセス・アル・スエロ

adv. (方法) 地面に伏せて、顔から地面に 「副詞句」

de bruces うつ伏せに

近づいて来るたくさんの足音が本当に聞こえてきました。それで、アリスは女王様を見たくて周りを見回しました。

Se oían, efectivamente, muchas pisadas que se acercaban, y Alicia miró a su alrededor, ansiosa por ver a la Reina.

「動詞句」「副詞」「主語」,y「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞句」

Se oían, セ・オイアン 3 複線(oírse)v.pr (音が主語) ~が聞こえた 「動詞句」

efectivamente, エフェクティバメンテ adv. 本当に、実際に 「副詞」

muchas pisadas ムチャス・ピサダス pl(pisada).n.f たくさんの足音が 「主語」

que ケ pron.pl (主語) ~する 「形容詞節」

se acercaban, セ・アセルカバン 3 複線・時制の一致(acercarse)

v.pr 近づいて来る 「動詞句」

y イ conj. そして

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

miró ミロ 3 単点(mirar)v.i(a ~の方を) 見た 「動詞」

a su alrededor, ア・ス・アルデトール adv. 自分の周りを 「間接目的語」

ansiosa アンシオサ adv. (原因) (por+不定詞 ~するのを) 切望して 「副詞句」

por ver ポル・ベール 不定詞 v.t 見る 「動詞句」

a la Reina. ア・ラ・レイナ n.f 女王様を 「目的語」

8 El croquet de la Reina

最初にこん棒を持った兵隊 10 人が到着しました。彼らはみな庭師と同じ形をして、長方形で平べったくて、角から手が生えています。次に廷臣 10 人が全身をダイヤモンドで飾り、兵隊と同様に二人ずつやってきました。

Primero llegaron diez soldados, cargados de bastos. Todos ellos tenían la misma forma que los jardineros, oblonga y aplanada, con las manos y pies que les salían por las esquinas; luego venían los diez cortesanos, adornados de diamantes de pies a cabeza y de dos en dos, al igual que los soldados.

「副詞」「動詞」「主語」

「主語」「動詞」「目的語」; 「副詞」「動詞」「主語」「副詞句」

Primero プリメロ adv. 最初に 「副詞」

llegaron ジェガロン 3 複点(llegar)v.i 着いた 「動詞」

diez soldados, デイエス・ソルダトス pl(soldado).n.m 10 人の兵隊が 「主語」

cargados カルガトス 過去分詞・受動(cargar)v.t 積まれた、持った 「形容詞句」

de bastos. デ・バストス adv. (手段) こん棒を 「副詞句」

Todos ellos トース・エジョス pron.pl 彼らはみな 「主語」

tenían テニアン 3 複線(tener)v.t (形状を) なしていた 「動詞」

la misma forma ラ・ミスマ・フォルマ n.f 同じ形 「目的語」

que ケ conj. (比較) へと 「副詞句」

los jardineros, ロス・ハルデイネロス pl(jardinero).n.m 庭師 「目的語」

oblonga y aplanada, オブロンガ・イ・アプ・ラナダ adj.f 長方形で平べったい 「形容詞句」

con las manos y pies コン・ラス・マノス・イ・ピエス adv. 手と足で 「副詞句」

que ケ pron (主語) へする 「形容詞節」

les レス pron.pl それらが 「間接目的語」

salían サリアン 3 複線・時制の一致(salir)

v.i 出ている、生えている 「動詞」

por las esquinas; ポル・ラス・エスキナス adv. 角から 「副詞句」

luego ルエゴ adv. 次に 「副詞」

venían ベニアン 3 複線(venir)v.i やって来た 「動詞」

los diez cortesanos, ロス・デイエス・コルテサノス pl(cortesano).n.m 10 人の廷臣が 「主語」

adornados アドルナトス 過去分詞・受動(adornar)adj. 飾られた 「形容詞句」

de diamantes デ・デアマンテス adv. (手段) ダイヤモンドで 「副詞句」

de pies a cabeza デ・ピエス・ア・カベサ adv. 足から頭まで 「副詞句」

y イ conj. そして

de dos en dos, デ・トース・エン・トース adv. 2 人ずつ 「副詞句」

al igual アル・イクアル adv. 同様に 「副詞句」

que ケ conj. (比較) へと同様に 「副詞句」

8 El croquet de la Reina

los soldados. ロス・ソルダドス pl(soldado).n.m 兵隊 「目的語」

それから国王の子供達が 10 人現れた。この可愛い子供たちは 2 人ずつ手をつないで楽しそ
うに飛び跳ねていました。彼らはみなハートで飾られていました。

Luego aparecieron los Infantes Reales, diez en total, preciosas criaturas que saltaban
alegremente por doquier cogidos de las manos por parejas: todos ellos estaban adornados
de corazones. 「副詞」「動詞」「主語」, 「主語」: 「主語」「動詞句」「副詞句」

Luego ルエゴ adv. (順序) その後に、それから 「副詞」

aparecieron アパレシエロン 3 複点(aparecer)v.i 現れた、姿を見せた 「動詞」

los Infantes ロス・インファンテス pl(infante).n.m 子供達が 「主語」

Reales, レアレス adj(real).pl 国王の 「形容詞」

diez en total, デイエス・エン・トタル adv. 全部で 10 人 「副詞句」

preciosas criaturas プレシオサス・クリアトゥラス pl.n.f(同格) かわいい子供達 「主語」

presioso プレシオソ adj. かわいい criatura クリアトゥラ n.f 子供

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

saltaban サルタバン 3 複線・時制の一致(saltar)v.i 飛び跳ねている 「動詞」

alegremente アレグレメンテ adv. 楽しそうに 「副詞」

por doquier ポル・トギエル adv.(dondequiera) どこでも 「副詞句」

cogidos コヒトス 過去分詞(coger)・様態

adv.(de 体の一部を) ~をつかんで 「副詞句」

de las manos デ・ラス・manos adv. 手を 「間接目的語」

por parejas: ポル・パレハス adv. 2 人ずつ 「副詞句」

todos ellos トトス・エシヨス pron.pl 彼らはみな 「主語」

estaban adornados エスタバン・アドルナトス 3 複線・受動(adornar)

v.t(de で) 飾られていた 「動詞句」

de corazones. デ・コラソネス adv. (動作主) ハートで 「副詞句」

8 El croquet de la Reina

続いて招待客が入ってきましたが、大部分は王様と女王です。アリスは彼らの中にあの白うさぎを見つけました。彼は彼に話かける人に愛想笑いをしながら、早口で途切れがちにお喋りしていましたが、彼女には気付かずに通り過ぎて行きました。

Seguidamente entraron los invitados, en su mayor parte Reyes y Reinas; entre ellos Alicia reconoció al Conejo Blanco, que charlaba apresuradamente, de manera entrecortada, sonriendo a todo el que le hablaba, y que pasó de largo sin reconocerla.

「副詞」「動詞」「主語」; 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」,
「主語」「動詞」「副詞句」, y 「主語」「動詞句」「副詞句」

Seguidamente セギダメンテ adv. 続いて 「副詞」
entraron エントラロン 3 複点(entrar)v.i 入って来た 「動詞」
los invitados, ロス・インビタドス pl(invitado).n.m 招待客 「主語」
en su mayor parte エン・ス・マヨール・パルテ adv. (様態) その大部分は〜で 「副詞句」
Reyes y Reinas; レジエス・イ・レイナス pl.n 王様と女王 「目的語」
entre ellos エントレ・エシヨス adv. 彼らの中に 「副詞句」
Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
reconoció レコノシオ 3 単点(reconocer)v.t 見つけた 「動詞」
al Conejo Blanco, アル・コネホ・ブランコ n.m あの白うさぎを 「目的語」
que ケ pron それは、白うさぎは 「主語」
charlaba チャルラバ 3 単線(charlar)v.i おしゃべりしていた 「動詞」
apresuradamente, アプレスラダメンテ adv. あわてて、早口で 「副詞」
de manera entrecortada, デ・マネラ・エントレコルタダ
adv. (副詞化) とぎれとぎれに、心配そうに 「副詞句」
sonriendo ソンリエント 現在分詞・同時(sonreír)adv. 笑いながら 「副詞句」
a todo el ア・トド・エル adv. 全ての人に対して 「間接目的語」
que ケ pron (主語) 〜する 「形容詞節」
le レ pron 彼に 「間接目的語」
hablaba, アブラバ 3 単線・時制の一致(hablar)
v.t 話しかける 「動詞」
y イ conj. そして
que ケ pron それは、白うさぎは 「主語」
pasó de largo パソ・デ・ラルゴ 3 単点(pasar de largo)v.i 通り過ぎた、素通りした 「動詞句」
sin reconocerla. シン・レコノセル・ラ adv. 彼女に気付かずに 「副詞句」

8 El croquet de la Reina

それからハートのジャックがやってきました。深紅のビロードのクッションに王冠を載せて運んでいます。

Luego pasó la Sota de Corazones que llevaba la corona del Rey en un cojín de terciopelo carmesí. 「副詞」「動詞」「主語」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Luego ルエゴ adv. それから 「副詞」

pasó パソ 3 単点(pasar)v.i 通った、やって来た 「動詞」

la Sota ラ・ソタ n.f (スペイン式トランプの) 11 の札、ジャック 「主語」

de Corazones デ・コラソネス adj. ハートの 「形容詞句」

que ケ pron それは 「主語」

llevaba ジェババ 3 単線・時制の一致(llevar)v.t 運んでいる 「動詞」

la corona del Rey ラ・コナ・デル・レイ n.f 王冠を 「目的語」

corona コナ n.f 冠

en un cojín エン・ウン・コヒン adv. クッションの上に 「副詞句」

de terciopelo carmesí. デ・テルシオペロ・オ・カルメシ

adj. (材料) 深紅のビロードの 「形容詞句」

terciopelo テルシオペロ n.m ビロード carmesí カルメシ adj. 深紅色の

トランプの数字の読み方

A...エース	2...デュース	3...トレイ	4...ケイト	5...シンク
6...サイズ	7...セブン	8...エイト	9...ナイン	10...テン
11...ジャック	12...クイーン	13...キング		

そしてついに、この豪華な行列の最後に、ハートのキングとクイーンが登場しました。

Y por fin, al final de este espléndido cortejo, hicieron su aparición EL REY Y LA REINA DE CORAZONES. Y 「副詞句」, 「動詞」「目的語」「主語」

Y イ conj. そして

por fin, ポル・フィン adv. ついに 「副詞句」

al final de アル・フィナル・デ prep (終着点) ~の最後に 「副詞句」

este espléndido cortejo, エステ・エスプレンデイト・コルテホ

n.m この素晴らしい行列、華麗な 「目的語」

hicieron イエロン 3 複点(hacer)v.t (行動を) した 「動詞」

su aparición ス・アパリシオン n.f 登場 「目的語」

EL REY Y LA REINA DE CORAZONES. エル・レイ・イ・ラ・レイナ・デ・コラソネス

pl.n ハートのキングとクイーンが 「主語」

8 El croquet de la Reina

アリスは、3人の庭師がやっているように地面にひれ伏すべきなのかどうかあまり確信がありませんでした。しかし、行列についてそのような儀礼を聞いたことはありません。

Alicia no estaba muy segura de si debía o no arrojarle por tierra, como habían hecho los tres jardineros; pero no recordaba haber oído nunca de semejante protocolo para un cortejo.

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
no estaba ノ・エスタバ 3 単線・否定(estar)v.i ~でなかった 「動詞」
muy segura ムイ・セグーラ adj. (否定文で) (de について) あまり確信がない 「補語」
de デ adv. ~ということについて 「副詞句」
si シ conj. もし~かどうか 「副詞節」
debía o no arrojarle デベ・ア・オ・ノ・アロハルセ 3 単線・必要(deber+不定詞 arrojarle)
v.pr ~に臥せるべきかどうか 「動詞句」
por tierra, ポル・チエラ adv. 地面に 「副詞句」
como コモ conj. (比較) ~するように 「副詞節」
habían hecho アビアン・エチョ 3 複線・完了形(hacer)
v.t (動作を) やっていた 「動詞句」
los tres jardineros; ロス・トレス・ハルディネロス
pl(jardinero).n.m 3 人の庭師が 「主語」
pero ペロ conj. しかし
no recordaba haber oído ノ・レコルダバ・アベール・オイド 3 単線・否定(recordar)
v.t 聞いたことが無かった 「動詞句」
nunca de semejante protocolo ヌンカ・デ・セメハンテ・プロトコロ
n.m そのような儀礼は何も~ない 「目的語」
para un cortejo. パラ・ウン・コルテホ adv. 行列について 「副詞句」

「その上」、アリスは思った。「みんなが地面にうつ伏せしなければならないのなら、何も見えないのだから、行列には意味があるの？」

«Y además pensó, ¿de qué serviría un cortejo si todos tuviesen que echarse boca abajo en el suelo sin poder ver nada?»

《「副詞句」》, 「動詞」, 《「間接目的語」「動詞」「主語」「副詞節」》
«Y además イ・アデマス adv. その上 「副詞句」
-pensó, ペンソ 3 単点(pensar)v.i 思った 「動詞」
¿de qué デ・ケ adv. 何のために 「間接目的語」
serviría セルビリア 3 單過未・推量(servir)v.t 役に立つだろうか? 「動詞」
un cortejo ウン・コルテホ n.m 行列は 「主語」
si シ conj. ~ならば 「副詞節」

8 El croquet de la Reina

todos トス pron.pl 皆が 「主語」
 tuviesen que echarse トビエシエン・ケ・エチャルセ 接・3 複過・必要(tener que+不定詞)
 v.pr 横になければならない 「動詞句」
 boca abajo ボカ・アバホ adv. うつ伏せに 「副詞句」
 en el suelo エン・エル・スエロ adv. 地面に 「副詞句」
 sin poder ver nada? シン・ポ・デール・ベール・ナダ adv. 何も見えなくなる 「副詞句」

だから、彼女はその場にとどまって、何が起こるのか見ようと待っていた。

Así que se quedó donde estaba y esperó a ver qué pasaba.

Así que 「動詞句」 「副詞節」 y 「動詞句」 「目的語」

Así que アシ・ケ conj. だから～
 se quedó セ・ケト 3 単点(quedarse)v.pr (場所に) 留まっていた 「動詞句」
 donde ソンデ adv. ～する所に 「副詞節」
 estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i いた 「動詞」
 y イ conj. そして
 esperó a ver エスペロ・ア・ベール 3 単点(esperar a+不定詞)v.t 見えるのを待っていた 「動詞句」
 qué ケ pron 何が～することを 「目的語」
 pasaba. パサバ 3 単線・時制の一致(pasar)v.i 起こる 「動詞」

行列がアリスの所まで来ると、皆が立ち止まってアリスをじっと眺めた。すると、女王は厳しい口調で尋ねた：

Cuando el cortejo llegó a la altura de Alicia, todos se detuvieron y la miraron. La Reina preguntó con severidad:

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 y 「目的語」 「動詞」 | 「主語」 「動詞」 「副詞句」

Cuando クワント conj. ～する時 「副詞節」
 el cortejo エル・コルテホ n.m 行列が 「主語」
 llegó ジェゴ 3 単点(llegar)v.i(a に) 着いた 「動詞」
 a la altura ア・ラ・アルトゥーラ adv. ～の位置に 「間接目的語」
 de Alicia, デ・アリシア adj. アリスの 「形容詞句」
 todos トス pl(todo).pron.m 皆が 「主語」
 se detuvieron セ・デトクビエロン セ・デトクビエロン 3 複点(detenerse)v.pr 立ち止まった 「動詞句」
 y イ conj. そして
 la ラ pron.f(Alicia の代用) アリスを 「目的語」
 miraron. ミロン 3 複点(mirar)v.t じっくり眺めた 「動詞」
 La Reina ラ・レイナ n.f 女王が 「主語」
 preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

8 El croquet de la Reina

con severidad: コン・セバリダ^ダ adv. (様態) 厳しい口調で

「副詞句」

「これは誰じゃ？」

¿Quién es ésta?

《「補語」「動詞」「主語」》

¿Quién キエン pron 誰

「補語」

es エス 3 単現・疑問文(èssere)v.i ~なのか?

「動詞」

ésta? エスタ pron(éste).f これは

「主語」



8 El croquet de la Reina

この質問はハートのジャックに向けられましたが、返事の代わりに笑いながらおじぎをしただけでした。

La pregunta iba dirigida a la Sota de Corazones, pero ésta se limitó a inclinarse, sonriendo, por toda contestación.

「主語」「動詞句」「間接目的語」,pero 「主語」「動詞句」「副詞句」
 La pregunta ラ・プレグンタ n.f 質問は 「主語」
 iba dirigida イバ・ディリヒダ 3 単線・受動.f(ir+過去分詞 dirigir)v.t(a に) 向けられた「動詞句」
 ir+過去分詞 (estar+過去分詞よりも動的な状態)
 a la Sota de Corazones, ア・ラ・ソタ・デ・コラソネス adv. ハートのジャックに 「間接目的語」
 pero ペロ conj. しかし
 ésta エスタ pron(éste).f(la Sota の代用) これは 「主語」
 se limitó a inclinarse, セ・リミト・ア・インクラナセ 3 単点・限定(limitarse a+不定詞 inclinarse)
 v.pr おじぎをするだけにとどめた 「動詞句」
 limitarse a+不定詞 「ただ〜するだけにとどめる」
 sonriendo, ソニエント 現在分詞・同時 adv. 笑いながら 「副詞」
 por ボル prep (代替) 〜の代わりに 「副詞句」
 toda contestación. トダ・コンテストション n.f 返事 「目的語」

「馬鹿者めが！」と、女王はせわしく頭を振りながら叱りつけた。それからアリスの方に振り向き続けて言った。「娘よ、なんという名前だ？」

¡Imbécil! increpó la Reina moviendo la cabeza con impaciencia; y volviéndose a Alicia continuó: ¿Cómo te llamas, niña?

《「叱責」》, 「動詞」「主語」「副詞句」; 「副詞句」「動詞」: 《「副詞」「動詞句」「主語」》
 ¡Imbécil! インベシル adj. 馬鹿者め! 「叱責」
 increpó インクレポ 3 単点(incresar)v.t 叱りつけた 「動詞」
 la Reina ラ・レイナ n.fr 女王は 「主語」
 moviendo モビエント 現在分詞・同時(mover)adv. 動かしながら、振りながら 「副詞句」
 la cabeza ラ・カベサ n.f 頭を 「目的語」
 con impaciencia; コン・インパシエンシア adv. イライラして、気ぜわしく 「副詞句」
 y イ conj. そして
 volviéndose ボルビエントセ 現在分詞・同時(volverse)adv.(a の方へ) 振り返りながら「副詞句」
 a Alicia ア・アリシア adv. アリスの方に 「副詞句」
 continuó: コンチヌオ 3 単点(con tinuar)v.t 続けて言った 「動詞」
 ¿Cómo コモ adv. どのように、なんという 「副詞」
 te llamas, テ・ジャマス 2 単現・疑問(llamarse)v.pr 〜という名前なのか? 「動詞句」

8 El croquet de la Reina

niña? ニャ n.f 子供よ 「主語」

「アリスと申します。女王陛下」と、アリスは礼儀正しく答えた；しかし、自分に言い聞かせるように付け加えた：「結局、みんなただのカードでしかない。恐れることないわ」

-Me llamo Alicia, si le place a Su Majestad -contestó Alicia con gran educación; pero añadió para sí misma: «¡Vamos! Después de todo, no son más que un hatajo de naipes, ¿a qué tanto miedo?»

《「動詞句」「補語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」; pero 「動詞」「副詞句」:
《「副詞句」「動詞句」「補語」,》

-Me llamo メ・シヤモ 1 単現(llamarse)v.pr ~という名前である 「動詞句」

Alicia, アリシア n.f アリスは 「補語」

si シ conj. もし~ならば 「副詞節」

le レ pron あなたにとって 「間接目的語」

place プラセ 3 単現(placer)v.i 気に入る 「動詞」

a Su Majestad ア・ス・マジェスタ adv. 女王陛下 「間接目的語」

-contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた 「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

con gran educación; コン・グラン・エドゥカシオン adv. 礼儀正しく 「副詞句」

pero ペロ conj. しかし

añadió アニャディオ 3 単点(añadir)v.t 付け加えた 「動詞」

para sí misma: パラ・シ・ミスマ adv. 自分自身のために 「副詞句」

«¡Vamos! バモス adv. さあ、ええと 「副詞」

Después de todo, デスパス・デ・トド adv. 結局 「副詞句」

no son ノ・ソン 3 複現(ser)v.i ~でない 「動詞句」

más que マス・ケ adv. (比較) ~以上で、~でしか 「副詞句」

un hatajo ウン・アタ n.m (家畜の) 小さい群 「補語」

de naipes, デ・ナイペス adj. カードの 「形容詞句」

¿a qué ア・ケ adv. 何に 「間接目的語」

tanto miedo? タント・ミエド adj. (疑問文) そんなに恐れている 「補語」

→ 反語 「そんなに恐れる必要ない」

8 El croquet de la Reina

「それで、こ奴らは誰じゃ？」と、女王はバラの木の周りで地面に伏せている庭師のほうを指差して質問を続けた。というのは、お察しの通り、顔を下に向けているので、背中しか見えなかったし、彼らは他のカードと同じ模様だったので、女王には彼らが庭師なのか、兵士なのか、廷臣なのか、自分の3人の息子なのかさえも分からなかったのです。

-Y ¿quiénes son éstos? -continuó preguntando la Reina, señalando hacia donde yacían los tres jardineros en torno al rosal; pues, como habréis imaginado, al estar boca abajo no se les veían más que las espaldas, que tenían el mismo dibujo que las demás cartas, por lo que la Reina no podía saber si eran jardineros, o soldados, o cortesanos, o incluso tres de sus propios hijos.

《Y「補語」「動詞」「主語」》,「動詞句」「主語」「副詞句」;
「副詞節」,「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

-Y イ conj. それで、そして

¿quiénes キエネス pl(quien).pron 誰 「補語」

son ツン 3 複現・疑問文(ser)v.i ~なのか? 「動詞」

éstos? エストス pl(ésto).pron こ奴らは 「主語」

-continuó preguntando コンチヌオ・プレグンタント 3 単点・継続(continuar+現在分詞 preguntando)
v.t 質問を続けた 「動詞句」

la Reina, ラ・レイナ n.f 女王は 「主語」

señalando セニャラント 現在分詞・同時(señalar)adv. 指さしながら 「副詞句」

hacia アシア prep (方向) ~の方を 「副詞句」

donde トンデ adv. ~する所 「副詞節」

yacían ヤシアン 3 複線(yacer)

v.i 横たわっていた、ひれ伏していた 「動詞」

los tres jardineros ロス・トレス・ハルデ・イネロス

pl(jardinero).n.m 3 人の庭師が 「主語」

en torno al rosal; エン・トルノ・アル・ロサル

adv. バラの木の周りで 「副詞句」

pues, プエス conj. (理由) ~なので、~というのは... 「副詞節」

como コモ conj. (類似) ~のように 「副詞節」

habréis imaginado, アブレイス・イマヒタ 2 複未・完了形(imaginar)

v.t あなた達が想像した 「動詞句」

al estar アル・エスタール 不定詞・状態 adv. (原因) ~の状態なので 「副詞句」

boca ボカ n.f 口 「目的語」

abajo アバホ adj. 下へ 「補語」

no se ...veían ノ・セ...ベ・イアン 3 複線・否定(verse)v.pr 見えなかった 「動詞句」

les レス pron.pl 彼らを 「目的語」

más que las espaldas, マス・ケ・ラス・エスパルダス adv. 背中しか 「副詞句」

8 El croquet de la Reina

que ケ pron.pl 彼らは	「主語」
tenían テニア 3 複線(tener)v.t ~だった	「動詞」
el mismo dibujo エル・ミスモ・ディブ ^グ ホ n.m 同じ模様	「目的語」
que ケ conj. (比較) ~と	「副詞句」
las demás cartas, ラス・デマス・カルタス	
pl(carta).n.f 他のカード	「目的語」
por lo que ポル・ロ・ケ adv. それで	「副詞句」
la Reina ラ・レイハ n.f 女王は	「主語」
no podía saber ノ・ポディア・サベル 3 単線・可能・否定(poder+不定詞 saber)	
v.t 分からなかった、知ることが出来なかった	「動詞句」
si シ conj. ~かどうかということ	「目的語」
eran エラン 3 複線・時制の一致(ser)v.i ~である	「動詞」
jardineros, ハルディネロス pl(jardinero).n.m 庭師	「補語」
o オ conj. または	
soldados, ソルダドス pl(soldado).n.m 兵士	「補語」
o オ conj. または	
cortezanos, コルテサノス pl(cortesano).n.m 廷臣	「補語」
o オ conj. または	
incluso インクル ^ソ adv. ~さえも	「副詞」
tres de sus propios hijos. トレス・デ・ス・プロピ ^オ ス・イハス	
pl(hijo).n.m 自分の息子 3 人	「補語」

「私に分かる訳がないでしょう」と、アリスは自分の大胆さに驚きながら答えた。「そんなことは、私には関係がないのだから」

-¡Y yo qué sé! -respondió Alicia, asombrada de su propio atrevimiento-. Lo que es a mí, ¡todo esto ni me va ni me viene! 《Y「主語」「目的語」「動詞」》,「動詞」「主語」,
《「主語」「副詞句」「動詞」「副詞句」「動詞」》

-¡Y イ conj. そして
yo ジョ pron 私が 「主語」
qué ケ pron 何を 「目的語」
sé! セ 1 単現(saber)v.t 知っている 「動詞」
→ 反語表現 「私が何を知っているというの！」 → 「何も知るわけがない」
-respondió レス^ンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」
Alicia, アリシア n.f アリスは 「主語」
asombrada アソンプラダ^ダ 過去分詞(asombrar)・様態 adv. 驚いて 「副詞句」
de su propio atrevimiento-. デ・ス・プロピ^オアトレビ^ミメント adv. 自分の大胆さに「間接目的語」

8 El croquet de la Reina

Lo	ロ	pron	それは	「主語」
que	ケ	pron	(主語) ～する	「形容詞節」
es	エス	3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
a mí,	ア・ミ	adv.	私にとって	「副詞句」
¡todo esto	トド・エスト	pron	このすべては	「主語」
ni me	ニ・メ	adv.	私にとって～ない	「副詞句」
va	バ	3 単現(ir)v.i	行く	「動詞」
ni me	ニ・メ	adv.	私にとって～ない	「副詞句」
viene!	ビエネ	3 単現(venir)v.i	やって来る	「動詞」
→ 「私が行くことも、私に向かって来ることもない」 → 「私には関係がない」				

これを聞いて女王は激怒して、真っ赤になった。それからアリスを野獣のような視線で睨みつけてから激しく怒鳴り始めた。

Esto encolerizó de tal modo a la Reina que se puso toda colorada, y después de atravesarla con una mirada de bestia salvaje comenzó a gritar desaforadamente:

「主語」「動詞」「副詞」「間接目的語」「副詞節」,y「副詞句」「動詞句」「副詞」				
Esto	エスト	pron	これは	「主語」
encolerizó	エンコレリソ	3 単点(encolerizar)v.t	激怒させた	「動詞」
de tal modo	デ・タル・モト	adv.	そんな風に	「副詞句」
de tal modo que+直説法 「あまり～なので…」				
a la Reina	ア・ラ・レイナ	adv.	女王を	「間接目的語」
que	ケ	conj.	(結果) それで～する	「副詞節」
se puso	セ・プソ	3 単点(ponerse)v.pr	～になった	「動詞句」
toda colorada,	トダ・コロダ	adj(colorado).f	真っ赤な	「補語」
y	イ	conj.	そして	
después de+	不定詞	adv.	～してから	「副詞句」
atravesarla	アトラベサル・ラ	不定詞(atravesar+la)v.t	アリスを突き刺す	「動詞句」
con una mirada	コン・ウナ・ミラダ	adv.	(手段) 視線で	「副詞句」
de bestia	デ・ベスチア	adj.	家畜の	「形容詞句」
salvaje	サルバヘ	adj.	野生の	「形容詞」
comenzó a gritar	コメンソ・ア・グリタール	3 単点・開始(comenzar a+不定詞)		
v.i 怒鳴り始めた				「動詞句」
desaforadamente:	デサフォラダメンテ	adv.	激しく	「副詞」

8 El croquet de la Reina

「こやつの首を切れ！切れ！…」

-¡Que le corten la cabeza! ¡Que le corten...!

《Que 「間接目的語」「動詞」句「直接目的語」 | 「命令」》

-¡Que ケ conj. (命令の強調) ～せよ！

le レ pron こやつの 「間接目的語」

corten コルテン 命・3 複現(cortar)v.t 切れ！ 「動詞」

la cabeza! ラ・カベサ n.f 頭を、首を 「直接目的語」

¡Que le corten...! ケ・レ・コルテン adv. 切れ！ 「命令」

「馬鹿なことを言わないで！」と、アリスは大声できっぱりと女王の話を遮りました。すると女王は黙り込みました。。

-¡Tonterías! -exclamó Alicia, atajándola con voz alta y decidida; la Reina se quedó sin habla. 《「応答」, 「動詞」「主語」, 「副詞句」; 「主語」「動詞句」「補語」

-¡Tonterías! トンテイラス n.f 愚かさ、馬鹿なことを言うな！ 「応答」

-exclamó エクスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ 「動詞」

Alicia, アリシア n.f アリスは 「主語」

atajándola アタハント・ラ 現在分詞(atajar+la)adv. 女王の話を遮って 「副詞句」

con voz alta コン・ボス・アルタ adv. (手段) 大きな声で 「副詞句」

y イ conj. そして

decidida; デシディダ adv. きっぱりと 「副詞」

la Reina ラ・レイナ n.f 女王は 「主語」

se quedó セ・ケト 3 単点(quedarse)v.pr ～の状態になった 「動詞句」

sin habla. シン・アブラ adv. 無言に 「補語」

王様が女王の手をつかんで、遠慮がちに言いました：

El Rey la tomó del brazo y le dijo tímidamente:

「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」 y 「間接目的語」「動詞」「副詞」

El Rey エル・レイ n.m 王様が 「主語」

la ラ pron.f 女王を 「目的語」

tomó トモ 3 単点(tomar)v.t(de / por の部分を) つかんだ、取った 「動詞」

del brazo デル・ブラソ adv. 手を 「副詞句」

y イ conj. そして

le レ pron 彼女に 「間接目的語」

dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

tímidamente: チミダメンテ adv. おずおずと、遠慮がちに 「副詞」

8 El croquet de la Reina

「まあ、少し落ち着きなさい。相手は子供なんだから」

-Considera, querida, que se trata sólo de una niña.

《「動詞」「副詞」, 「動詞句」「補語」》

-Considera, コンシデラ 命・2 単現(considerar)v.t 考えなさい

「動詞」

querida, ケリダ n.f (親愛の呼びかけ) ねえ、まあ

「副詞」

que ケ conj. (強調)

se trata セ・トラタ 3 単現(tratarse)v.pr(de) ~の話である

「動詞句」

sólo ソロ adv. ~だけ

「副詞」

de una niña. デ・ウナ・ニーニャ adj. 子供の

「補語」

女王は怒って王から離れて、ジャックに命じた。

La Reina se separó, furiosa, de su lado y ordenó a la Sota:

「主語」「動詞句」「副詞句」 y 「動詞」「目的語」

La Reina ラ・レイナ n.f 女王は

「主語」

se separó, セ・セパロ 3 単点(separarse)v.i(de から) 離れた

「動詞句」

furiosa, フリオサ adj(furioso).f (様態) 激怒して

「副詞」

de su lado デ・ス・ラド adv. 王様のそばから

「副詞句」

y イ conj. そして

ordenó オルデノ 3 単点(ordenar)v.t 命じた

「動詞」

a la Sota: ア・ラ・サタ n.f ジャックに

「目的語」

「こやつらを、ひっくり返せ！」

-¡Dales vuelta!

《「動詞句」「目的語」》

-¡Dales ダ・レス 命・2 単現(dar+les)v.t 彼らに与えよ

「動詞句」

vuelta! ブェルタ n.f 回転を

「目的語」

→ ひっくり返せ！

ジャックはとても慎重に片足でひっくり返した。

Así lo hizo la Sota, muy cuidadosamente, con un pie.

「副詞」「目的語」「動詞」「主語」「副詞句」

Así アシ adv. そのように

「副詞」

lo ロ pron 命令を

「目的語」

hizo イ 3 単点(hacer)v.t 実行した

「動詞」

la Sota, ラ・サタ n.f ジャックは

「主語」

muy cuidadosamente, ムイ・クイダド・サメンテ adv. とても慎重に

「副詞句」

con un pie. コン・ウン・ピエ adv. (方法) 片足で

「副詞句」

8 El croquet de la Reina

「立て！」と、女王がかん高い大声で彼らに命じた；3人の庭師たちはすぐに立ち上がり、王様と、女王様と、王室の子供達と、お供全員にお辞儀を始めた。

·¡En pie! ·les gritó la Reina con voz estridente y fuerte; los tres jardineros se levantaron en el acto y se pusieron a hacer profundas reverencias al Rey, a la Reina, a los Infantes Reales y a toda la comitiva.

《「命令」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」「副詞句」;

「主語」「動詞句」「副詞句」 y 「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」

·¡En pie! エン・ピエ adv. 立て、立って 「命令」
 ·les レス pron.pl 彼らに 「間接目的語」
 gritó グリト 3 単点(gritar)v.t 大声で言った 「動詞」
 la Reina ラ・レイナ n.f 女王は 「主語」
 con voz コン・ボス adv. (手段) 声で 「副詞句」
 estridente エストリデンテ adj. かん高い 「形容詞」
 y イ conj. そして
 fuerte; フエルテ adj. 強い、大きな 「形容詞」
 los tres jardineros ロス・トレス・ハルディネロス pl(jardinero).n.m 3 人の庭師は 「主語」
 se levantaron セ・レバンタロン 3 複点(levantarse)v.pr 立ち上がった 「動詞句」
 en el acto エン・ネル・アクト adv. すぐに、即座に、その場で 「副詞句」
 y イ conj. そして
 se pusieron a hacer セ・プシエロン・ア・アセール 3 複点・開始(ponersse a+不定詞 hacer)
 v.t ~し始めた 「動詞句」
 profundas reverencias プロフンダス・レベレンシ阿斯 pl(reverencia).n.f 深いお辞儀を「直接目的語」
 al Rey, アル・レイ adv. 王様に 「間接目的語」
 a la Reina, ア・ラ・レイナ adv. 女王様に 「間接目的語」
 a los Infantes Reales ア・ロス・インファンテス・レアレス adv. 王室の子供たちに 「間接目的語」
 y イ conj. そして
 a toda la comitiva. ア・トダ・ラ・コミタバ adv. お供全員に 「間接目的語」

8 El croquet de la Reina

「やめろ！」と、女王が叫んだ。「めまいがする！」そしてバラの木の方を指さして続けた：「ここで、何をしていたのだ？」

-¡Basta! -gritó la Reina-. ¡Me están mareando! -y señalando al rosal añadió-: ¿Se puede saber qué es lo que habéis estado haciendo aquí?

《「命令」, 「動詞」「主語」, 《「目的語」「動詞句」》 y 「副詞句」「動詞」:
《「動詞句」「目的語」》

-¡Basta! - バスタ 命・2 単現(bastar)v.i やめろ!、もう十分だ! 「命令」
gritó グリト 3 単点(gritar)v.i 叫んだ 「動詞」
la Reina-. ラ・レイナ n.f 女王は 「主語」
¡Me メ pron 私を 「目的語」
están mareando! エスタン・マレアンド 3 複現・進行形(marear)v.t めまいを起こさせる 「動詞句」
-y イ conj. そして
señalando セニャランド 現在分詞・同時(señalar)adv. 指し示しながら 「副詞句」
al rosal アル・ロサル adv. バラの木の方を 「間接目的語」
añadió-: アニャデーオ 3 単点(añadir)v.t 付け加えた 「動詞」
¿Se puede saber セ・プエデ・サベル 3 単現・可能・疑問文(poder+不定詞 saber)
v.t 知ることが出来るか?、～を話せ 「動詞句」
qué ケ pron 何を～するという事を 「目的語」
es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」
lo que ロ・ケ pron ～することは 「主語」
habéis estado haciendo アベ・イス・エスタド・アシエント 2 複現・完了形・進行形(hacer)
v.t していた 「動詞句」
aquí? アキ adv. ここで 「副詞」

「女王の許可を得て」と、2 は非常に謙虚な口調でずっと片膝を立てて説明を始めました。
「私たちは、... していました」

-Con la venia de Vuestra Majestad -empezó a explicar el Dos con tono más que humilde e hincando una rodilla mientras hablaba-, estábamos intentando...

《「副詞句」》, 「動詞句」「主語」「副詞句」, 《「動詞句」》

-Con コン prep (条件) ～を得て 「副詞句」
la venia ラ・ベニア n.f 許可 「目的語」
venia ベニア n.f 許可、裁可
de Vuestra Majestad デ・ブエストラ・マヘスタ adj. 女王の、陛下の 「形容詞句」
-empezó a explicar エンペゾ・ア・エクスプレカール 3 単点・開始(empezar a+不定詞 explicar)
v.t 説明を始めた 「動詞句」
el Dos エル・トス n.m 2 が 「主語」

8 El croquet de la Reina

con tono	コン・トノ	adv. (方法) 口調で	「副詞句」
más que humilde	マス・ケ・ウミルデ	adj. 最も謙虚な	「形容詞句」
e	エ	conj. そして	
hincando	インカント	現在分詞・同時(hincar)adv. 突き立てながら	「副詞句」
una rodilla	ウナ・ロデイジャ	n.f 片膝を	「目的語」
mientras	ミントラス	conj. ～する間	「副詞節」
hablaba-	アブラバ	3 単線・時制の一致(hablar)v.i 話す	「動詞」
estábamos intentando...	エスタモス・インテンタント	1 複線・進行形(intentar)v.t やっていた	「動詞句」

「もういい、分かった！」と、その間にバラの木を調べ終わった女王が言った。「こやつらの首をちょん切れ！」

- ¡Ya veo! -dijo la reina, que mientras tanto había estado examinando las rosas-. ¡Que les corten la cabeza!

《「副詞」「動詞」》, 「動詞」「主語」, 《「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》

- ¡Ya	ヤー	adv. もういい	「副詞」
veo!	ベオ	1 単現(ver)v.t 理解する、分かった	「動詞」
-dijo	ディヨ	3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
la reina,	ラ・レイナ	n.f 女王が	「主語」
que	ケ	pron (主語) ～する	「形容詞節」
mientras tanto	ミントラス・タント	adv. その間に	「副詞句」
había estado examinando	アビア・エスタド・エクサミナント	3 単線・完了形・進行形(examinar)	
	v.t	調べ終わっていた	「動詞句」
las rosas-	ラス・ロサス	pl(rosa)n.f バラの木を	「目的語」
¡Que	ケ	conj. (強調)	
les	レス	pron.pl こやつらの	「間接目的語」
corten	コルテン	命・3 複現(cortar)v.t 切れ！	「動詞」
la cabeza!	ラ・カベサ	n.f 頭を、首を	「直接目的語」

8 El croquet de la Reina

「その後、行列は進行を続けた；3人の兵士が哀れな庭師たちを処刑する使命を与えられて
その場に残った。庭師たちはアリスに助けを求めて駆け寄った」

-Tras de lo cual el cortejo continuó su progreso; tres soldados quedaron detrás con el encargo de ejecutar a los desgraciados jardineros, que corrieron a pedirle protección a Alicia. 《「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」；

「主語」「動詞」「副詞句」, 「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」》

-Tras de トラス・デ prep (時間) 後の後 「副詞句」

lo cual ロ・クワル pron それ (前文の表現をさす) 「目的語」

el cortejo エル・コルテホ n.m 行列は 「主語」

continuó コンチヌオ 3 単点(continuar)v.t 続けた 「動詞」

su progreso; ス・プログレソ n.m 進行を 「目的語」

tres soldados トレス・ソルダドス pl(soldado).n.m 3 人の兵士は 「主語」

quedaron ケダロン 3 複点(quedar)v.i 残った 「動詞」

detrás デ・トラス adv. 後に 「副詞」

con el encargo コン・エル・エンカルゴ adv. 使命を持って 「副詞句」

de ejecutar デ・エフェクタル 不定詞・目的 adj. 処刑するための 「形容詞句」

a los desgraciados jardineros, ア・ロス・デスグレシアドス・ハルデイネロス

pl(jardinero).n.m 哀れな庭師たちを 「目的語」

que ケ pron.pl(jardineros の代用) 彼らは 「主語」

corrieron a pedirle コリエロン・ア・ペディール・レ 3 複点・目的(correr a+不定詞 pedir+le)

v.i 求めて走った 「動詞句」

protección プロテクシオン n.f 保護を、助けを 「直接目的語」

a Alicia.ア・アリシア adv. アリスに 「間接目的語」

「首は大丈夫！」と、アリスは庭師たちに言って、その辺にあった大きな植木鉢に彼らを入
れた。

-¡No perderéis la cabeza! -les dijo Alicia, y los metió en una gran maceta que estaba por ahí.

《「動詞句」「目的語」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」, y 「目的語」「動詞」「副詞句」

-¡No perderéis ノ・ペルテレイス 2 複末・否定(perder)v.t 失わないだろう 「動詞句」

la cabeza! ラ・カベサ n.f 首を 「目的語」

-les レス pron 庭師に 「間接目的語」

dijo ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia, アリシア n.f アリスは 「主語」

y イ conj. そして

los ロス pron.pl 庭師たちを 「目的語」

8 El croquet de la Reina

metió	メオ 3 単点(meter)v.t(en に) 入れた	「動詞」
en una gran maceta	エン・ウナ・グラン・マセタ adv. 大きな植木鉢に	「副詞句」
que	ケ pron (主語) ~する	「形容詞節」
estaba	エスタバ 3 単線・存在(estar)v.i ~にあった	「動詞」
por ahí.	ポル・アイ adv. その辺に	「副詞句」

少しの間 3 人の兵士はその辺をうろうろして庭師を探していましたが、やがて他の兵士と一緒にそっと立ち去りました。

Los tres soldados estuvieron errando durante algún rato buscándolos, y luego se marcharon tranquilamente con los demás.

	「主語」「動詞句」「副詞句」,y「副詞」「動詞句」「副詞句」	
Los tres soldados	ロス・トレス・ソルダドス pl(soldado).n.m 3 人の兵士は	「主語」
estuvieron errando	エストゥビエロン・エラント 3 複点・進行形(errar)v.i うろうろしていた	「動詞句」
durante algún rato	ドゥランテ・アルグン・ラート adv. (期間) 少しの間	「副詞句」
buscándolos,	ブスカント・ロス 現在分詞・同時(buscar+los)adv. 庭師を探して	「副詞句」
y	イ conj. そして	
luego	ルエゴ adv. それから	「副詞」
se marcharon	セ・マルチャロン 3 複点(marcharse)v.pr 立ち去った	「動詞句」
tranquilamente	トランキラメンテ adv. 静かに、そっと	「副詞」
con los demás.	コン・ロス・デマス adv. 他の兵士と一緒に	「副詞句」

「首はちょん切ったか？」と、女王が兵士に大声で言った。

-¿Han perdido sus cabezas? -les gritó la Reina.

	《「動詞句」「目的語」》,「間接目的語」「動詞」「主語」	
-¿Han perdido	アン・ペルディト 3 複現・完了形・疑問文(perder)	
v.t	(奴らは) 失ったのか?	「動詞句」
sus cabezas?	ス・カベサス pl(cabeza)n.f 首を	「目的語」
-les	レス pron.pl 兵士に	「間接目的語」
gritó	グリト 3 単点(gritar)v.t 大声で言った	「動詞」
la Reina.	ラ・レイナ n.f 女王が	「主語」

8 El croquet de la Reina

「彼らの首は消えてしまいました。女王様！」と、兵隊たちは平然と答えた。

-Sus cabezas se han perdido; así le plazca a Vuestra Majestad -respondieron impávidos los soldados.

《「主語」「動詞句」；「副詞」「間接目的語」「動詞」「間接目的語」》，
「動詞」「副詞」「主語」

-Sus cabezas ス・カヘサス pl(cabeza).n.f 彼らの首は 「主語」
se han perdido; セ・アン・ペルディト 3 複現・完了形(perderse)
v.pr 見えなくなった、消えた 「動詞句」
así アシ adv. それで、そのように 「副詞」
le レ pron 女王にとって 「間接目的語」
plazca プラスカ 接・3 単現(placer)v.i 気に入るだろう 「動詞」
a Vuestra Majestad ア・ブエストラ・マヘスタ pron 女王さまに 「間接目的語」
-respondieron レスポンディエロン 3 複点(responder)v.t 答えた 「動詞」
impávidos インパビドス adv. 平然として 「副詞」
los soldados. ロス・ソルダドス pl(soldado).n.m 兵士たちは 「主語」

「それなら、よろしい！」と、女王は大声で言い返し、それから、「クロケーは出来るのか？」

-¡Así me gusta! -replicó la Reina a voces, y luego: ¿Sabes jugar al croquet?

《「副詞」「間接目的語」「動詞」》，「動詞」「主語」「副詞句」，《「動詞句」「間接目的語」》

-¡Así アシ adv. それなら 「副詞」
me メ pron 私にとって 「間接目的語」
gusta! ゲスタ 3 単現(gustar)v.i 気に入る 「動詞」
-replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.i 言い返した 「動詞」
la Reina ラ・レイナ n.f 女王は 「主語」
a voces, ア・ボセス adv. 大声で 「副詞句」
y イ conj. そして
luego: ルエゴ adv. それから 「副詞」
¿Sabes jugar サベス・ファール 2 単現・可能・疑問文(saber+不定詞 jugar)
v.i(a を) プレイできるのか? 「動詞句」
al croquet? アル・クロケット adv. クロケーを、クロケットを 「間接目的語」

クロケー

クロケーともいう。二人一組となり二組で競い合う。

ボールを木槌（マレット：スペイン語では mazo）でうち、出発柱と折返柱の間に設けられた 6 個から 10 個のアーチ（ゲート：スペイン語では arco）を順番にくぐらせ、早く戻って出発柱にうちあてたチームの勝ちとなる。

8 El croquet de la Reina

兵士たちは視線をアリスのほうへ向けて黙り込みました。質問は明らかにアリスに向けられていたからです。

Los soldados callaron, volviendo la mirada hacia Alicia, pues la pregunta iba evidentemente dirigida a ella.

Los soldados ロス・ソルダドス pl(soldado).n.m 兵士たちは 「主語」
callaron, カジャロン 3 複点(callar)v.i 黙り込んだ 「動詞」
volviendo ボルビエント 現在分詞・同時(volver)adv. 向けて 「副詞句」
la mirada ラ・ミラダ n.f 視線を 「目的語」
hacia Alicia, アシア・アリシア adv. アリスのほうへ 「副詞句」
pues プエス conj. (理由) 〜だから 「副詞節」
la pregunta ラ・プレGUNタ n.f 質問は 「主語」
iba ...dirigida イバ...ディリヒダ 3 単線・受動.f(dirigir)v.t 向けられていた 「動詞句」
evidentemente エビテンテメンテ adv. 明らかに 「副詞」
a ella. ア・エンジャ adv. 彼女に 「間接目的語」

「できます！」と、アリスは大声で答えました。

-¡Sí! -gritó Alicia. 《「応答」》, 「動詞」 「主語」
-¡Sí! シ adv. 出来ます！ 「応答」
-gritó グリト 3 単点(gritar)v.t 大声で答えた 「動詞」
Alicia. アリシア n.f アリスは 「主語」

「それじゃあ、やろう！」と、女王が吠えた。アリスは次に何が起こるのかと驚きながらも
お供の者たちに加わった。

-Pues ¡a jugar! -vociferó la Reina, y Alicia se unió a la comitiva, preguntándose admirada lo que habría de suceder a continuación.

《「副詞」 「勧誘」》, 「動詞」 「主語」, y 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 「副詞句」
-Pues プエス conj. それでは、それなら 「副詞」
¡a jugar! ア・ファール 不定詞・勧誘 v.i (クロケーを) やろう 「勧誘」
-vociferó ボシフェロ 3 単点(vociferar)v.i わめいた、吠えた 「動詞」
la Reina, ラ・レイナ n.f 女王が 「主語」
y イ conj. そして
Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
se unió セ・ウニオ 3 単点(unirse)v.pr(a に) 加わった 「動詞句」
a la comitiva, ア・ラ・コミチバ adv. お供の者に 「間接目的語」

8 El croquet de la Reina

preguntándose プレグンタントセ 現在分詞・同時(preguntarse)v.pr 自問しながら 「副詞句」

admirada アトミダ 過去分詞(admirar)adv. (様態) 驚いて 「副詞句」

lo que ロケ pron それに 「目的語」

habría de suceder アブリア・デ・スセデール 3 単過未・完了形・過去における近接未来

(haber de+不定詞 suceder)v.i 起こるであろう 「動詞句」

a continuación. ア・コンチヌアシオン adv. 次に、引き続き 「副詞句」

a+不定詞

目的 : 移動を表す動詞とともに使用する場合、「～するために」の意味を表す

Venimos a hablar con el profesor. 私たちは、先生と話すために来ました。

Volvieron a saludarme. 彼らは、私にあいさつしに戻ってきました。

目的 : 名詞+a+不定詞は、「～すべき [名詞]」という意味を表します。

Tenemos un problema grave a resolver. 私たちは、解決すべき重大な問題があります。

En la agenda del comité de hoy hay muchos temas a tratar.

今日の委員会の議題には、扱うべきテーマがたくさんあります。

Este es el monto total a pagar. これが、支払うべき合計金額です。

勧誘 : 「～しましょう」、「～しなさい」という勧誘・命令の意味を表します。

¡A comer! 食べましょう！

¡A levantarte, que ya es tarde! もう遅いから起きなさい。

¡A no tocar! 触るな！

¡A no gritar! わめくな！

時 : 「～するとき」あるいは「～したとき」という意味を表します。

Tienes que tener cuidado al cruzar esta carretera.

この道路を横切るときは、気をつけなければなりません。

Se paga el pasaje al subir al camión. バスに乗るときに運賃を支払います。

Vi a una amiga mía al salir de la estación.

駅から出たときに、女友達の一人に会いました。

8 El croquet de la Reina

「何という... 実に素晴らしい日だ!」と、おずおずと言う声が彼女の横で聞こえました。
アリスは、彼女の顔を心配そうにのぞき込む白うさぎと並んで歩いていました。

-¡Qué día!... ¡Qué día más precioso! -dijo tímidamente una voz a su lado. Alicia se encontró con que estaba caminando lado a lado con el Conejo Blanco, quien le miraba ansiosamente a la cara.

《「感嘆」》, 「動詞」「副詞」「主語」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」

-¡Qué día!... ケ・デア adv. なんという日だろう! 「感嘆」

¡Qué día ケ・デア n.m 何という日 「感嘆」

más precioso! マス・プレシオ adj. 実に素晴らしい 「形容詞句」

-dijo ディハ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

tímidamente チダメンテ adv. 遠慮がちに、おずおずと 「副詞」

una voz ウナ・ボス n.f 声が 「主語」

a su lado. ア・ス・ラド adv. アリスの横で 「副詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

se encontró セ・エンコント 3 単点(encontrarse)v.pr (ある場所に) いた 「動詞句」

con que コン・ケ adv. 一緒に 「副詞句」

estaba caminando エスタバ・カミナド 3 単線・進行形(caminar)

v.i 歩いていた 「動詞句」

lado a lado ラド・ア・ラド adv. 並んで 「副詞句」

con el Conejo Blanco, コン・エル・コネホ・ブラソ adv. 白うさぎと 「副詞句」

quien ケン pron (主語) ~する 「形容詞節」

le レ pron 彼女を 「直接目的語」

miraba ミラバ 3 単線(mirar)v.t 見ていた 「動詞」

ansiosamente アンシオサメンテ adv. 心配そうに 「副詞」

a la cara. ア・ラ・カラ adv. (部分) 顔を 「間接目的語」

「素晴らしい日だわ」と、アリスは賛同した。「公爵夫人はどこなの?」

-Un día espléndido -concedió Alicia-. ¿Dónde está la Duquesa?

《「応答」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞」「動詞」「主語」》

-Un día ウン・デア n.m 日 「応答」

espléndido エスプレンデイト adj. 素晴らしい 「形容詞」

-concedió コンセディオ 3 単点(concedir)v.t 認めた 「動詞」

Alicia-. アリシア n.f アリスは 「主語」

¿Dónde トンデ adv. どこで、どこに 「副詞」

está エスタ 3 単現・存在(estar)v.i ~にいる 「動詞」

la Duquesa? ラ・トウカサ n.f 公爵夫人は 「主語」

8 El croquet de la Reina

「黙れ！黙れ！」と、ウサギが小さな声で早口で命じた。心配そうに肩越しに見つめ、つま先立ちになってアリスにささやいた：「彼女は死刑を宣告されたんだ」

-¡Calla! ¡Calla! -urgió el Conejo en voz baja y muy apurado. Miró con ansiedad por encima del hombro y, poniéndose de puntillas, le susurró al oído: Ha sido condenada a muerte.

《「命令」》, 「動詞」「主語」「副詞句」 | 「動詞」「副詞句」 y,

「副詞句」「直接目的語」「動詞」「間接目的語」; 《「動詞句」「補語」》

-¡Calla! ¡Calla! カジヤ・カジヤ 命・2 単現(callar)v.i 黙れ！黙れ！ 「命令」

-urgió ウルヒオ 3 単点(urgir)v.t 命じた、義務付けた 「動詞」

el Conejo エル・コネホ n.m ウサギは 「主語」

en voz baja エン・ボス・バハ adv. (方法) 小さな声で 「副詞句」

y イ conj. そして

muy apurado. マイ・アプ라도 adv. とてもあわただしく、早口で 「副詞句」

Miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 見つめた 「動詞」

con ansiedad コン・アンシエダ adv. (様態) 心配そうに 「副詞句」

por encima del hombro ポル・エンシマ・デル・オンブレロ adv. (空間・通過) 肩越しに 「副詞句」

y, イ conj. そして

poniéndose de puntillas, ポニエンデ・セ・デ・プンティージャス 現在分詞・同時(ponerse de puntillas) adv. つま先立ちになって 「副詞句」

le レ pron アリスに 「直接目的語」

susurró ススロ 3 単点(susurrar)v.t ささやいた 「動詞」

al oído: アル・オイト adv. 耳に 「間接目的語」

Ha sido condenada ア・シト・コンデナダ 3 単現・完了形・受動(condenar)

v.t(a 刑を) 宣告された 「動詞句」

a muerte. ア・ムエルテ adv. 死を、死刑を 「補語」

「どうして？」と、アリスは尋ねた。

-¿Por qué motivo? -preguntó Alicia. 《「副詞句」》, 「動詞」「主語」

-¿Por qué motivo? ポル・ケ・モティボ adv. どんな理由で？ 「副詞句」

-preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

Alicia. アリシア n.f アリスは 「主語」

8 El croquet de la Reina

『なんと可哀そうに！』と言ったんですか？」と、ウサギは確認した。

-Has dicho «¡qué pena!», ¿no? -quiso aclarar el Conejo.

《「動詞句」「感嘆」》, 「動詞句」「主語」

-Has dicho アス・ディョ 2 単現・完了形・疑問文(decir)v.t 言いましたか? 「動詞句」

«¡qué pena!», ケ・ペナ adv. なんと可哀そうな! 「感嘆」

¿no? ノ adv. (付加疑問) そうでしょう? 「確認」

-quiso aclarar キョ・アクラール 3 単点・願望(querer+不定詞)v.t 確認しようとした 「動詞句」

aclarar アクラール v.t 明らかにする、はっきりさせる

el Conejo. エル・コネホ n.m ウサギは 「主語」

「言ってません！」と、アリスは答えた。「少しも可哀そうじゃないから。『どうして』って言ったんです」

-Pues no contestó Alicia-, no creo que sea ninguna pena; lo que dije es «¿por qué motivo?»

《「応答」》, 「動詞」「主語」, 「動詞句」「目的語」; 「主語」「動詞」「補語」

-Pues no プエス・ノ adv. 言ってません! 「応答」

-contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた 「動詞」

Alicia-, アリシア n.f アリスは 「主語」

no creo ノ・クエ 1 単現・否定(creer)v.t 思っていない 「動詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

sea セア 接・3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

ninguna pena; ニンガナ・ペナ adj. すこしも可哀そう～でない 「補語」

lo que ロ・ケ pron ～することは 「主語」

dije デ・エ 1 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

«¿por qué motivo?» ホル・ケ・モチ・ホ adv. どうして? 「補語」

「女王様を平手打ちしたんだ」と、ウサギが説明した。これがアリスを大笑いさせた。

-Le dio un sopapo a la Reina... -comenzó a explicar el Conejo, pero a Alicia le dio mucha risa-. 《「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」》, 「動詞句」「主語」,

Pero 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

-Le レ pron 彼女に 「間接目的語」

dio デ・イオ 3 単点(dar)v.t (動作を) した 「動詞」

un sopapo ウン・ソパ・ホ n.m 平手打ちを 「直接目的語」

a la Reina... ア・ラ・レイナ adv. 女王に 「間接目的語」

-comenzó a explicar コメンソ・ア・エクスプリカル 3 単点・開始(comenzar a+不定詞 explicar)

v.t 説明し始めた 「動詞句」

8 El croquet de la Reina

el Conejo, エル・コネホ n.m	ウサギが	「主語」
pero, ペロ conj.	しかし	
a Alicia le, ア・アリシア・レ adv.	アリスに	「間接目的語」
dio, デイオ 3 単点(dar)v.t	与えた	「動詞」
mucha risa-, ムチャ・リサ n.f	大笑いを	「直接目的語」

「黙れ！頼むよ！」と、ウサギはひどく怯えて懇願した。「女王の耳に届いてしまう！」

¡Calla! ¡Por lo que más quieras! -suplicó el Conejo con muchísimo miedo-, ¡Te va a oír la Reina!	《「命令」「依頼」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 《「目的語」「動詞句」「主語」》
¡Calla! カジャ 命・2 単現(callar)v.i 黙りなさい!	「命令」
¡Por lo que más quieras! ポル・ロ・ケ・マス・キエラス adv. 頼むよ!、あなたが望む以上に「依頼」	
-suplicó スプリコ 3 単点(suplicar)v.t 懇願した	「動詞」
el Conejo, エル・コネホ n.m ウサギが	「主語」
con muchísimo miedo-, コン・ムチシモ・ミエド adv. ひどく怯えて	「副詞句」
¡Te te pron あなたの声が	「目的語」
va a oír バ・ア・オイール 3 単現・近接未来(ir a+不定詞 oír)v.t 聞こえる	「動詞句」
la Reina! ラ・レイナ n.f 女王が	「主語」

「実をいうと、公爵夫人がかなり遅れているので、女王が彼女に言ったんです...」

Lo que sucedió fue que la Duquesa llegó con bastante retraso y entonces la Reina le dijo...	《「主語」「動詞」「補語」》
Lo que sucedió ロ・ケ・セデイオ pron 実を言う、起こった事は	「主語」
Lo que sucede es que+直説法 「実をいうと...」	
fue フェ 3 単点・時制の一致(ser)v.i ～である	「動詞」
que ケ conj. ～ということ	「補語」
la Duquesa ラ・ドゥケサ n.f 公爵夫人が	「主語」
llegó ジェゴ 3 単点・時制の一致(llegar)v.i 着く	「動詞」
con bastante retraso コン・バスタンテ・レトラソ adv. かなり遅れて	「副詞句」
y イ conj. そして	
entonces エントネス adv. それで	「副詞」
la Reina ラ・レイナ n.f 女王が	「主語」
le レ pron 彼女に	「間接目的語」
dijo... デイホ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」

8 El croquet de la Reina

「皆、位置について！」と、女王が怒鳴った。皆があちこちに向かって走り始め、お互いにぶつかりあっていたが、数分後には何とか自分の位置を見つけて、試合が始まった。

-¡Cada uno a su sitio! -ordenó la Reina con voz de trueno, y todos se pusieron a correr en todas direcciones, tropezando unos con otros; pero lograron encontrar sus puestos al cabo de unos minutos y comenzó la partida.

《「呼びかけ」「命令」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, y 「主語」「動詞句」「副詞句」;

pero 「動詞句」「目的語」「副詞句」 y 「動詞」「主語」

-¡Cada uno カダ・ウノ adv. みんな 「呼びかけ」
a su sitio! ア・ス・シチオ adv. 位置について! 「命令」
-ordenó オルデノ 3 単点(ordenar)v.t 命じた 「動詞」
la Reina ラ・レイナ n.f 女王が 「主語」
con voz de trueno, コン・ボス・デ・トルエノ adv. どら声で 「副詞句」
y イ conj. そして
todos ト・ス pron.pl 皆は 「主語」
se pusieron a correr セ・プ・シエロン・ア・コレール 3 複点・開始(ponerse a+不定詞 correr)
v.i 走り出した 「動詞句」
en todas direcciones, エン・トダ・ス・ディレクシオネス adv. あちこちに向かって 「副詞句」
tropezando トロペサント 現在分詞・同時(tropezar)adv. ぶつかりながら 「副詞句」
unos con otros; ウノス・コン・オトロス adv. お互いに 「副詞句」
pero ペロ conj. しかし
lograron encontrar ログラロン・エンコントラール 3 複点・成就(lograr+不定詞 encontrar)
v.t うまく見つけた 「動詞句」
sus puestos スス・プ・エストス pl.n 自分の位置を 「目的語」
al cabo de アル・カボ・デ prep (時間) ~の後に 「副詞句」
unos minutos ウノス・ミヌトス pl.n.m 数分 「目的語」
y イ conj. そして
comenzó コメンソ 3 単点(comenzar)v.i 始まった 「動詞」
la partida. ラ・パ・ルチータ n.f 試合が 「主語」

8 El croquet de la Reina

アリスはこれよりへんてこなクロケット場は見たことがないと思った：グラウンドはデコボコに波打っていたし、生きたハリネズミがボールの役で、木槌（マレット）は生きたフラミンゴだし、兵隊たちはカードの体を折り曲げて四つん這いになってゲートを作っていた。

Alicia pensó que nunca había visto un campo de croquet más raro: estaba ondulado de surcos y crestas, unos erizos vivos hacían de bolas de croquet, y los mazos eran unos pájaros flamencos 注 22, igualmente vivos; y los soldados formaban los arcos curvando sus cuerpos de naípe a cuatro patas.

「主語」「動詞」「目的語」：「動詞」「補語」,「主語」「動詞」「目的語」,
y「主語」「動詞」「補語」;y「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.t 思った 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

nunca había visto ヌンカ・アビエ・ビスト 3 単線・完了形・否定(ver)

v.t 一度も見たことが無い 「動詞句」

un campo ウン・カンポ n.m グラウンドを 「目的語」

de croquet テ・クロケット adj. クロケーの 「形容詞句」

más raro: マス・ラロ adj. これより変わった 「形容詞句」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ～だった 「動詞」

「主語」は campo

ondulado オントゥラト adj. 波打った 「補語」

de テ prep (原因) ～のために 「副詞句」

surcos y crestas, スルコス・イ・クレスタス

pl(surcp / cresta).n.f 溝と山、デコボコ 「目的語」

unos erizos ウノス・エリソス pl(erizo).n.m ハリネズミが 「主語」

vivos ビボス adj(vivo).pl 生きている 「形容詞」

hacían アシアン 3 複線(hacer)v.t 行なっていた、作っていた 「動詞」

de bolas テ・ボラス pl(bola).n.f 球 「目的語」

de croquet, テ・クロケット adj. クロケーの 「形容詞句」

y イ conj. そして

los mazos ロス・マス pl(mazo).n.m 木槌（マレット）は 「主語」

eran エラン 3 複線(ser)v.i ～だった 「動詞」

unos pájaros flamencos 注 22, ウノス・パハロス・フラメンコス pl(flamenco).n.m フラミンゴ 「補語」

igualmente vivos; イグアルメンテ・ビボス adj. 同様に生きた 「形容詞句」

y イ conj. そして

los soldados ロス・ソルダトス pl(soldado).n.m 兵隊は 「主語」

formaban フォルマバン 3 複線(formar)v.t 作っていた 「動詞」

8 El croquet de la Reina

los arcos	ロス・アルコス	pl(arco).n.m	ゲートを	「目的語」
curvando	クルバント	現在分詞・同時・方法(curvar)adv.	折り曲げて	「副詞句」
sus cuerpos	スス・クエルポス	pl(cuerpo).n.m	体を	「目的語」
de naipes	デ・ナイペ	adj.	カードの	「形容詞句」
a cuatro patas.	ア・クアトロ・パタス	adv.	(手段) 四つん這いになって	「副詞句」



最初、アリスが一番苦勞したのはフラミンゴの操作方法でした。

<u>Al principio, la principal dificultad con la que tropezó Alicia</u>	<u>fue</u>	la manera de manejar su flamenco.	「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」
Al principio, アル・プリンシピオ adv.	最初のうちは		「副詞句」
la principal dificultad ラ・プリンシパル・ディフィクタ n.f	主要な困難は		「主語」
con la que コン・ラ・ケ adv.	それに～する		「形容詞節」
tropezó トロペゾ 3 単点(tropezar)v.i	つまづいた		「動詞」
Alicia アリシア n.f	アリスが		「主語」
fue フェ 3 単点(ser)v.i	～だった		「動詞」
la manera ラ・マネラ n.f	方法		「補語」
de manejar デ・マネハル 不定詞・目的 adj.	操作するための		「形容詞句」
su flamenco. ス・フラメンコ n.m	フラミンゴを		「目的語」

8 El croquet de la Reina

鳥を脇に挟んで落ち着かせて、足を垂れ下がらせて、やっとうまく出来ました。

Finalmente, logró una forma de hacerlo, acomodando al pájaro bajo el brazo y dejando que le colgaran las patas; 「副詞」, 「動詞」 「目的語」, 「副詞句」 y 「副詞句」

Finalmente, ファイナルメンテ adv. ついに、やっと、結局 「副詞」

logró ログロ 3 単点(lograr)v.t うまく出来た、達成した 「動詞」

una forma ウナ・フォルマ n.f 方法を 「目的語」

de hacerlo, デ・アセル・ロ 不定詞・目的(hacer+lo)adj. それをするための「形容詞句」

acomodando アコモダント 現在分詞・同時(acomodar)adv. 落ち着かせながら 「副詞句」

al pájaro アル・パ・ハロ adv. 鳥を 「間接目的語」

bajo el brazo バホ・エル・ブラソ adv. 腕の下に、脇に挟んで 「副詞句」

y イ conj. そして

dejando デハント 現在分詞・同時(dejar)adv. 状態にしておく 「副詞句」

que ケ conj. ～ということ 「補語」

le レ pron フラミンゴの 「間接目的語」

colgaran コルガラン 接・3 複過(colgar)v.i 垂れ下がる 「動詞」

las patas; ラス・パ・タス pl(pata).n.f 足が 「主語」

しかしそれでも、やっと長い首をびんと伸ばすことが出来て、ボールに見立てたハリネズミを鳥の頭で叩こうとした時、フラミンゴは自分の体をねじって、ひどくおかしい表情でアリスの顔を見たので、アリスは思わず笑ってしまいました。

pero aun así, cuando por fin lograba enderezarle el largo cuello y se disponía a dar un buen golpe al erizo que le hacía de bola con la cabeza del pájaro, al flamenco le daba por retorcerse y mirarle a la cara con una expresión de tanta extrañeza que Alicia no podía contener la risa;

pero 「副詞句」 「副詞節」, 「間接目的語」 「動詞句」 y 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」

que 「主語」 「動詞句」 「目的語」

pero ヘロ conj. しかし

aun así, アウン・アシ advb. それでも 「副詞句」

cuando ケアント conj. ～した時 「副詞節」

por fin ホル・フィン adv. 最後に、ついに、やっと 「副詞句」

lograba enderezarle ログラバ・エンデレサル・レ 3 単線・成功(lograr+不定詞 enderezar+le)

v.t ～をびんと伸ばせた 「動詞句」

el largo cuello エル・ラルゴ・ケシヨ n.m 長い首を 「目的語」

y イ conj. そして

se disponía a dar セ・ディスポニャ・ア・ダール 3 単線・試行(disponerse a+不定詞 dar)

v.pr ～を与えようとした 「動詞句」

8 El croquet de la Reina

un buen golpe	ウン・ブエン・ゴルペ°	n.m	打撃を	「直接目的語」
al erizo	アル・エリゾ	adv.	ハリネズミに	「間接目的語」
que	ケ	pron	(目的語) ～する	「形容詞節」
le	レ	pron	それを	「目的語」
hacía	アシア	3 単線(hacer)v.t	～した	「動詞」
de bola	デ・ボラ	adv.	(役割) ボールとして	「補語」
con la cabeza del pájaro,	コン・ラ・カベサ・デル・パ°	ハロ		
adv.	(道具)	鳥の頭で		「副詞句」
al flamenco le	アル・フラメンコ・レ	adv.	フラミンゴは	「間接目的語」
daba por retorcerse	ダバ・ホル・レトルセルセ	3 単線・時制の一致(dar por+不定詞 retorcerse)		
v.pr	体をよじる			「動詞句」
y	イ	conj.	そして	
mirarle	ミラル・レ	3 単線・時制の一致(dar por+不定詞 mirar+le)		
v.t	見る			「動詞句」
a la cara	ア・ラ・カラ	n.f	彼女の顔を	「目的語」
con una expresión	コン・ウナ・エクスプレシオン	adv.	(手段) 表情で	「副詞句」
de tanta extrañeza	デ・タンタ・エクストラニェサ	adj.	ひどくおかしな	「形容詞句」
que	ケ	conj.	それで～する	
Alicia	アリシア	n.f	アリスは	「主語」
no podía contener	ノ・ポデ・イア・コンテネル	3 単線・可能・否定・時制の一致		
(poder+不定詞 contener)v.t	抑制できない			「動詞句」
la risa;	ラ・リサ	n.f	笑いを	「目的語」

8 El croquet de la Reina

そして、試しにもう一度叩いて、鳥の頭をもう一度整えることが出来た時、彼女がフラミンゴと苦闘している間にハリネズミが丸まるのをやめてしまったことに気付いたが、ハリネズミは這って遠ざかって行った。

y cuando, a pesar de todo, lograba colocarle la cabeza de nuevo para intentar otra vez un buen golpe, se encontraba con que el erizo se había desenroscado mientras ella se debatía con el flamenco, y se alejaba arrastrándose.

y 「副詞節」, 「動詞句」 「目的語」, y 「動詞句」 「副詞句」

y イ conj. そして

cuando, クワント conj. ～する時に 「副詞節」

a pesar de todo, ア・ペ・サル・デ・トド adv. 結局、それでも 「副詞句」

lograba colocarle ログ・ラバ・コカール・レ 3 単線・成功(lograr + 不定詞 colocar+le)

v.t 置くことが出来た 「動詞句」

la cabeza ラ・カベサ n.f 鳥の頭を 「目的語」

de nuevo デ・ヌエボ adv. また、もう一度 「副詞句」

para intentar パラ・インテンタル 不定詞・目的 adv. 試しに 「副詞句」

otra vez オトラ・ベス adv. もう一回 「副詞句」

un buen golpe, ウン・ブエン・ゴルペ n.m 一撃を 「目的語」

se encontraba セ・エンコントラバ 3 単線(encontrarse)v.pr(con que+直説法)

v.pr ～であることに気付いた 「動詞句」

con que コン・ケ conj. ～ということを 「目的語」

el erizo エル・エリソ n.m ハリネズミが 「主語」

se había desenroscado セ・アビ・ア・デ・スエノスカト 3 単線・完了形(desenroscarse)

v.pr 丸まるのをやめていた 「動詞句」

→ 丸まってボールの形になっていたのをやめてしまった

mientras ミエントラス conj. ～する間に、一方で 「副詞節」

ella エジャ pron.f 彼女は、アリスは 「主語」

se debatía セ・デバチア 3 単線(debatirse)v.pr 苦闘していた 「動詞句」

con el flamenco, コン・エル・フラメンコ adv. フラミンゴと 「間接目的語」

y イ conj. そして

se alejaba セ・アレハバ 3 単線(alejarse)v.pr 遠ざかった 「動詞句」

ハリネズミは

arrastrándose. アストラントセ 現在分詞(arrastrarse)adv. 這って 「副詞句」

8 El croquet de la Reina

これだけでは足りないと言うように、そこらにはいつも穴や溝があってアリスがハリネズミを希望する方向に投げるのを妨害していた。そして自分たちの体でゲートを作っていた兵隊たちは皆して競技場の反対側に立ち去るばかりだった。

Como si todo esto fuera poco, siempre parecía que había un hoyo o un surco que le impedían lanzar el erizo en la dirección que ella quería, y los soldados que formaban los arcos con sus cuerpos no hacían más que incorporarse e irse a otro lado del campo.

「副詞節」, 「副詞」「動詞」「主語」, y 「主語」「動詞句」「副詞句」	
Como si コモ・シ conj. (+接続法) まるで～のように	「副詞節」
todo esto トト・エスト pron この全ては	「主語」
fuera フェア 接・3 単過・推量(ser)v.i ～である	「動詞」
poco, ポコ adj. 少ない、足りない	「補語」
siempre シエンプレ adv. いつも、相変わらず	「副詞」
parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i ～に見えた	「動詞」
que ケ conj. ～ということが	「主語」
había アビア 3 単線(haber)v.t ～があった	「動詞」
un hoyo ウン・ホヨ n.m 穴	「目的語」
o オ conj. または	
un surco ウン・スロ n.m 溝、畝	「目的語」
que ケ pron.pl (主語) ～する	「形容詞節」
穴と溝が	
le レ pron アリスが	「目的語」
impedían インペディアソ 3 複線(impedir)v.t 邪魔していた	「動詞」
lanzar ランサル 不定詞・le の動作 v.t 投げる	「補語」
el erizo エル・エリソ n.m ハリネズミを	「目的語」
en la dirección エン・ラ・ディレクシオン adv. 方向に	「副詞句」
que ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
ella エジャ pron.f 彼女が	「主語」
quería, クリア 3 単線・時制の一致(querer)	
v.t 希望する	「動詞」
y イ conj. そして	
los soldados ロス・ソルダドス pl.n.m 兵隊たちは	「主語」
que ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
formaban フォルマバン 3 複線・時制の一致(formar)	
v.t ～を形成する、～の役をしている	「動詞」
los arcos ロス・アルコス pl.n.m ゲート	「目的語」
con sus cuerpos コン・スス・ケルボス adv. 自分たちの体で	「副詞句」

8 El croquet de la Reina

no hacían más que+不定詞 ノ・アシアン・マス・ケ 3 複線・否定・限定(hacer)

v.t (動作を) ひたすら～するばかりだった 「動詞句」

incorporarse インコルポラルセ 不定詞 v.pr 合体する、一緒になる 「動詞句」

e エ conj. そして

irse イルセ 不定詞 v.pr 立ち去る 「動詞句」

a otro lado ア・オトロ・ラド adv. 反対側に 「副詞句」

del campo. デル・カンポ adj. フィールドの、競技場の 「形容詞句」

そこですぐにアリスは、これはかなり難しいゲームだという結論に達しました。

Así, pues, Alicia llegó pronto a la conclusión de que se trataba de un juego ciertamente muy difícil. 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞」「間接目的語」

Así, pues, アシ・プエス adv. それで、そこで 「副詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

llegó ジェゴ 3 単点(llegar)v.i(a に) 到達した 「動詞」

pronto プロント adv. やがて、すぐに 「副詞」

a la conclusión ア・ラ・コンクルシオン adv. 結論に 「間接目的語」

de que デ・ケ pron (主語) ～という 「形容詞節」

se trataba セ・トラタハ 3 単線・時制の一致(tratarse)

v.pr(de) (問題は) ～である 「動詞句」

de un juego デ・ウン・フエゴ adj. ゲームの 「補語」

ciertamente muy difícil. シェルタメンテ・マイ・デ・イフィシル

adj. かなり難しい 「形容詞句」

選手たちは皆、自分の順番を待たずに、同時にプレーします。ハリネズミを求めてずっと言い争い喧嘩し続けます。そのため間もなく女王は怒り心頭に達して、フィールドを歩き回り、激しく地団太を踏み、1 分ごとに「この者の首を切れ！この者の首を切れ！」と叫びます。

Todos los jugadores jugaban a la vez, sin esperar su turno, discutiendo todo el tiempo y peleándose por los erizos; de forma que, en breve, la Reina llegó al paroxismo del furor y se paseaba por el campo dando patadas en el suelo y gritando «¡Que le corten a éste la cabeza! ¡Que le corten a ésta la cabeza!» a cada minuto.

「主語」「動詞」「副詞句」;

de forma que, 「副詞句」「主語」「動詞」「間接目的語」

y 「動詞句」「副詞句」 y 「副詞句」

Todos los jugadores ト・ス・ロス・ファグドレス pl(jugador)n.m 全ての選手が 「主語」

jugaban ファグバン 3 複線・時制の一致(jugar)v.i プレーする 「動詞」

a la vez, ア・ラ・ベス adv. 一度に、同時に 「副詞句」

8 El croquet de la Reina

sin +不定詞 シン prep	～しないで	「副詞句」
esperar エスペラール 不定詞 v.t	待つ	「動詞」
su turno, ス・トゥルノ n.m	自分の順番を	「目的語」
discutiendo ディスクチエント	現在分詞・同時(discutir)adv. 言い争いながら	「副詞句」
todo el tiempo トド・エル・ティエンポ adv.	いつも、ずっと	「副詞句」
y イ conj.	そして	
peleándose ペレアントセ 現在分詞・相互・同時(pelearse)		
adv.(por ～を求めて)	喧嘩しながら	「副詞句」
por los erizos; ホル・ロス・エリス adv.	ハリネズミを求めて	「間接目的語」
de forma que, デ・フォルマ・ケ conj.	(結果) そのため～	「副詞節」
en breve, エン・ブレベ adv.	間もなく、要するに	「副詞句」
la Reina ラ・レイナ n.f	女王は	「主語」
llegó ジェゴ 3 単点・時制の一致 (llegar)v.i(a に)	達する	「動詞」
al paroxismo アル・パ・ロクシモ adv.	絶頂に	「間接目的語」
del furor デル・フロール adj.	激怒の	「形容詞句」
y イ conj.	そして	
se paseaba セ・パセアバ 3 単線・時制の一致(pasearse)v.pr	歩き回る	「動詞句」
por el campo ホル・エル・カンポ adv.	フィールドを	「副詞句」
dando ダント 現在分詞・同時(dar)v.t (行為を)	しながら	「副詞句」
patadas パタダス pl(patada).n.f	蹴り	「目的語」
en el suelo エン・エル・スエロ adv.	地面の上で	「副詞句」
y イ conj.	そして	
gritando グリタント 現在分詞・同時(gritar)v.i	叫びながら	「副詞句」
«¡Que ケ conj. (強調)		
le レ pron	そのの	「間接目的語」
corten コルテン 命・3 複現(cortar)v.t	切れ！	「動詞」
a éste ア・エステ adv.	この者の	「間接目的語」
la cabeza! ラ・カベサ n.f	首を	「直接目的語」
¡Que le corten a ésa la cabeza! ケ・レ・コルテン・ア・エサ・ラ・カベサ		
n. この者の首を切れ！		
a cada minuto. ア・カダ・ミスト adv.	1 分ごとに	「副詞句」

怒り心頭に達する

激しく怒る事。「怒り心頭に発する」が正式だが、約 70%の人が「怒り心頭に達する」を用いている。

8 El croquet de la Reina

アリスはどこか不安な気持ちになって来た；もちろん、女王とはまだ揉めていませんが、すぐにでもそうなるかもしれないことは分かっています。

Alicia empezó a sentirse algo inquieta; es verdad que aún no había tenido un altercado con la Reina, pero de sobra sabía que le iba a suceder de un momento a otro.

「主語」「動詞句」「補語」；「動詞」「補語」「主語」,pero 「副詞句」「動詞」「目的語」
Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

empezó a sentirse エンペソ・ア・センチルセ 3 単点・開始(empezar a+不定詞 sentirse)

v.pr 感じ始めた 「動詞句」

algo inquieta; アルゴ・インキエタ adj. なにか不安な 「補語」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

verdad ベルダデ n.f 事実 「補語」

que ケ conj. ~ということは 「主語」

aún アウン adv. まだ~ない 「副詞」

no había tenido ノ・アビ・ア・テニド 3 単線・完了形・否定・時制の一致 (tener)

v.t ~がない 「動詞句」

un altercado ウン・アルテルカド n.m 口論、もめごと 「目的語」

con la Reina, コン・ラ・レイナ adv. 女王と 「副詞句」

pero ペロ conj. しかし

de sobra デ・ソブラ adv. 十分に 「副詞句」

sabía サビ・ア 3 単線・時制の一致(saber)v.t 知っている、分かっている 「動詞」

que ケ conj. ~ということを 「目的語」

le レ pron 彼女に 「間接目的語」

iba a suceder イバ・ア・スセデール 3 単線・近接未来・時制の一致(ir a+不定詞 suceder)

v.i 起こるだろう 「動詞句」

de un momento a otro. デ・ウン・モメント・ア・オトロ

adv. 今にも、すぐに 「副詞句」

8 El croquet de la Reina

「それで」と、考えた。「私はどうなってしまうの？ここでは皆、首を切ってもめ事を解決するんだから。まだ生きている人がいることが私には不思議だわ」

«Y entonces -pensó-, ¿qué va a ser de mí? ¡Aquí lo arreglan todo cortando cabezas! ¡Lo que me maravilla es que aún quede alguien vivo!»

《Y「副詞」》,「動詞」,《「副詞」「動詞句」「副詞句」

「副詞」「目的語」「動詞」「主語」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」》

«Y イ conj. そして

entonces エントネス adv. それでは、その時 「副詞」

-pensó-, ペンソ 3 単点(pensar)v.i 考えた 「動詞」

¿qué ケ adv. どんなふうに 「副詞」

va a ser バ・ア・セル 3 単現・近接未来・変化・疑問文(ir a+不定詞 ser)

v.i ~になるのだろう 「動詞句」

de mí? デ・ミ adv. 私については 「副詞句」

¡Aquí アキ adv. ここでは 「副詞」

lo ロ pron それを、もめ事を 「目的語」

arreglan アレグラン 3 複現(arreglar)v.t 解決する 「動詞」

todo トト pron 皆が 「主語」

cortando コルタント 現在分詞・手段(cortar) 切ること 「副詞句」

cabezas! カベサス pl(cabeza)n.f 首を 「目的語」

¡Lo ロ pron それは 「主語」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

me メ pron 私を 「間接目的語」

maravilla マラビージャ 3 単現(maravillar)v.t 驚かせる 「動詞」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

que ケ conj. ~ということ 「補語」

aún アウン adv. まだ 「副詞」

quede ケデ 3 単現(quedar)v.i ~のままである 「動詞」

alguien アルアルギエン pron 誰かは 「主語」

vivo! ビボ adj. 生きている 「補語」

8 El croquet de la Reina

そこでアリスは、何かそこから逃げる方法がないか探しました。人々が気付かずに出来るだろうかと自問していると、突然、空中に現れた変な形に気付きました。

Estaba, por tanto, buscando alguna manera de escaparse de ahí y preguntándose si podría hacerlo sin que se dieran cuenta, cuando se percató de golpe de una extraña forma que aparecía en el aire;

「動詞句」「目的語」 y 「動詞句」「目的語」, cuando 「動詞句」「副詞句」「間接目的語」

Estaba, por tanto, buscando エスタバ・ポル・タント・ブスカント 3 単線・進行形(buscar)

v.t そこで探していた 「動詞句」

por tanto ポル・タント adv. (原因) そのため、従って

alguna manera アルグナ・マネラ n.f 何か方法を 「目的語」

de escaparse デ・エスカパルセ 不定詞・目的 v.pr 逃げるための 「形容詞句」

de ahí デ・アイ adv. そこから 「副詞句」

y イ conj. そして

preguntándose プレグンタントセ 3 単線・進行形(preguntarse)v.pr 自問した 「動詞句」

si シ conj. いかどうかということを 「目的語」

podría hacerlo ポドリア・アセル・ロ 3 単過未・可能・推量(poder+不定詞 hacer+lo)

v.t それを出来るだろうか 「動詞句」

sin que シン・ケ conj. (条件) ～せずに 「副詞節」

se dieran cuenta, セ・ディエセン・クエンタ 接・3 複過(darse cuenta)

v.pr 人々が気付く 「動詞句」

quando クワント conj. その時～する 「副詞節」

se percató セ・ペルカト 3 単点(percatarse)v.pr(de に) 気付いた 「動詞句」

de golpe デ・ゴルペ adv. 突然 「副詞句」

de una extraña forma デ・ウナ・エクストラニャ・フォルマ adv. 変な形に 「間接目的語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

aparecía アパレシア 3 単線(aparecer)v.i 現れた 「動詞」

en el aire; エン・エル・アイレ adv. 空中に 「副詞句」

8 El croquet de la Reina

最初はそれが何なのか分からなかったが、少し経つとそれが笑顔だと気づいた。そして思った：「チェシャねこに違いないわ。これで少なくとも、話相手が出来たわ」

al principio no supo lo que era, pero después de un rato terminó por caer en la cuenta de que se trataba de una sonrisa y se dijo: «Debe de ser el gato de Cheshire; ahora tendré al menos a alguien con quien hablar».

「副詞句」「動詞句」「目的語」,pero「副詞句」「動詞句」「補語」y「動詞句」:
《「動詞句」「補語」;「副詞」「動詞」「副詞句」「目的語」》

al principio アル・プリンシピオ adv. 最初は 「副詞句」
no supo ノ・スポ 3 単点・否定(saber)v.t 分からなかった 「動詞句」
lo que ロ・ケ conj. それが～するかということ 「目的語」
era, エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」
pero ヘロ conj. しかし
después de un rato デスプエス・デ・ウン・ラト adv. 少し経つと 「副詞句」
terminó por caer テルミノ・ホル・カエル 3 単点・結局(terminar por+不定詞 caer)
v.i やがて～の状態になった 「動詞句」
en la cuenta de エン・ラ・クエンタ・デ adv. ～に気付いた 「補語」
que ケ conj. ～ということ 「目的語」
se trataba セ・トラタハ 3 単線・時制の一致(tratarse)
v.pr ～のことである 「動詞句」
de una sonrisa デ・ウナ・ソリサ adv. 笑顔 「補語」
y イ conj. そして
se dijo: セ・ディホ 3 単点(decirse)v.pr 思った 「動詞句」
«Debe de ser デベ・デ・セル 3 単現・必要(deber de+不定詞 ser)v.i ～に違いない 「動詞句」
el gato エル・ガト n.m ネコ 「補語」
de Cheshire; デ・チェシーレ adj. チェシャーの 「形容詞句」
ahora アホラ adv. 今は、これで 「副詞」
tendré テントレ 1 単未・推量(tener)v.t 持てるだろう 「動詞」
al menos アル・メノス adv. 少なくとも 「副詞句」
a alguien ア・アルギエン pron 誰かを 「目的語」
con quien hablar». コン・キエン・ハブラール adj. 話をするための 「形容詞句」

8 El croquet de la Reina

「やあ、調子はどうだい？」と、ネコは話すために必要な顔の残りが現れた途端に尋ねた。

¿Qué tal? ¿Cómo te va? preguntó el Gato tan pronto le hubo aparecido el resto del hocico para poder hablar. 《「挨拶」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

¿Qué tal? ¿Cómo te va? ケ・タル・コモ・テ・ハ adv. やあ、調子はどうだい? 「挨拶」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

el Gato エル・ガト n.m ネコは 「主語」

tan pronto +直説法 タン・プロント adv. ～するとすぐに 「副詞句」

le le pron 彼にとって 「間接目的語」

hubo aparecido ウボ・アプレシト 3 単点・完了形(aparecer)v.i 現れた 「動詞句」

el resto エル・レスト n.m 残りが 「主語」

del hocico デル・オシコ adj. 顔の 「形容詞句」

para poder hablar. パラ・ポデール・アブラール

adv. 話せるために 「副詞句」

アリスは両目が現れるまで待った。そこでやっとネコに頭を振って挨拶して、思った：《両耳か少なくとも片耳が現れるまでは、彼に話しかけても何の役にも立たないだろう》

Alicia esperó hasta que le aparecieran los ojos, y sólo entonces lo saludó con un gesto de la cabeza, pues pensó: «De nada me valdrá que le hable hasta que le hayan aparecido las orejas, o al menos una de ellas».

「主語」「動詞」「副詞節」, y 「副詞句」「間接目的語」「動詞」「副詞句」,

Pues 「動詞」: 《「副詞句」「間接目的語」「動詞」「主語」》

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

esperó エスペロ 3 単点(esperar)v.i 待った 「動詞」

hasta que アスタ・ケ adv. ～するまで 「副詞節」

le le pron 彼にとって、彼の 「間接目的語」

aparecieran アプレシエラン 接・3 複過(aparecer)v.i 現れる 「動詞」

los ojos, ロス・オス pl(ojo).n.m 両目が 「主語」

y イ conj. そして

sólo entonces ソロ・エントネス adv. その時にやっと 「副詞句」

lo lo pron ネコに 「間接目的語」

saludó サルト 3 単点(saludar)v.t 挨拶した 「動詞」

con un gesto de la cabeza, コン・ウン・ヘスト・デ・ラ・カベサ adv. 頭を振って 「副詞句」

pues プエス conj. それから

pensó: ペンソ 3 単点(pensar)v.i 思った 「動詞」

«De nada デ・ナダ adv. 何も～ない、重要でない、無意味の 「副詞句」

me me pron 僕にとって 「間接目的語」

8 El croquet de la Reina

valdrá バルトゥラ 3 単末(valer)v.i 役に立つだろう	「動詞」
que ケ conj. ～ということは	「主語」
価値判断の従属節は接続法を用いる	
le レ pron 彼に	「間接目的語」
hable アブレ 接・1 単現(hablar)v.t 話す	「動詞」
hasta que アスタ・ケ conj. ～するまでは	「副詞節」
le レ pron 彼にとって、彼の	「間接目的語」
hayán aparecido アヤン・アパレシト 接・3 複現・完了形(aparecer)	
v.i 現れてしまう	「動詞句」
las orejas, ラス・オレハス pl(oreja).n.f 両耳	「主語」
o オ conj. または	
al menos アル・メノス adv. 少なくとも	「副詞句」
una de ellas». ウナ・デ・エジャス pron 片耳が	「主語」

1 分位で、ネコの顔全体が現れた。そこでアリスはフラミンゴを地面に降ろして、自分の話を聞いてくれる相手が出来たことを喜んで、ゲームの説明を始めた。

Al cabo de un minuto se hizo visible toda la cabeza del Gato, y entonces Alicia depositó su flamenco en el suelo y empezó a dar su versión del juego, contenta de tener a alguien que la escuchara.

「副詞句」「動詞句」「補語」「主語」, y 「副詞」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」	
y 「動詞句」「目的語」「副詞句」	
Al cabo de un minuto アル・カボ・デ・ウン・ミニート adv. 1 分後に	「副詞句」
se hizo セ・イロ 3 単点(hacerse)v.pr (～の状態に) なった	「動詞句」
visible ビシブレ adj. 見える	「補語」
toda la cabeza del Gato, トダ・ラ・カベサ・デル・ガト n.f ネコの顔全体が	「主語」
y イ conj. そして	
entonces エントネス adv. それから、それで	「副詞」
Alicia アリシア n.f アリスは	「主語」
depositó デポシト 3 単点(depositar)v.t 置いた	「動詞」
su flamenco ス・フラメンコ n.m (鳥) フラミンゴを	「目的語」
en el suelo エン・エル・スエロ adv. 地面に	「副詞句」
y イ conj. そして	
empezó a dar エンペゾ・ア・ダール 3 単点・開始(empezar a+不定詞 dar)	
v.t (動作を) 始めた	「動詞句」
su versión del juego, ス・ベルシオン・デル・フエゴ n.f ゲームの説明を	「目的語」
contenta de +不定詞 コンテンタ・デ adv. (様態) ～したことに満足して	「副詞句」

8 El croquet de la Reina

tener テネール 不定詞 v.t 得る	「動詞」
a alguien ア・アルギエン pron 誰かを	「目的語」
que ケ pron (主語) ~する	「形容詞節」
la ラ pron アリスの話を	「目的語」
escuchara. エスクチャラ 接・3 単現・推量(escuchar)v.t 聞く	「動詞」

しかし、頭が全部見えるようになったのだから、もう十分だとネコは思ったのだろう。

Mientras tanto, el Gato había llegado sin duda a la conclusión de que le bastaba con la cabeza, pues fue todo lo que se le hizo visible.

	「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」
Mientras tanto, ミェントラス・タント adv. ~だが、~する間に	「副詞句」
el Gato エル・ガト n.m ネコは	「主語」
había llegado アビ・ア・ジ・ェガト 3 単線・完了形(llegar)	
v.i(a に) 到達した、~になった	「動詞句」
sin duda シン・ト・ダダ adv. 恐らく、たぶん	「副詞句」
a la conclusión ア・ラ・コンクルシオン adv. 結論に	「間接目的語」
de que デ・ケ adj. ~という	「形容詞節」
le レ pron 彼にとって	「間接目的語」
bastaba バスタバ 3 単線(bastar)v.i 十分である	「動詞」
con la cabeza, コン・ラ・カベサ adv. 頭については	「副詞句」
pues プ・エス conj. ~なので	「副詞節」
fue フェ 3 単点・時制の一致(ser)v.i ~である	「動詞」
todo lo que トト・ロ・ケ pron ~するすべて	「補語」
se le hizo セ・レ・イ 3 単点(hacerse+le)	
v.pr ~になった	「動詞句」
visible. ビシブレ adj. 見える	「補語」

8 El croquet de la Reina

「公平にゲームをしていない」と、アリスはどこか愚痴っぽい口調で話し始めた。「それに、いつも喧嘩ばかりしている。それで、誰も何も聞こえない。その上、誰もゲームのルールなんて気にしない」

-No están jugando limpiamente -empezó diciendo Alicia con tono algo quejumbroso-, y se están peleando todo el tiempo, de forma que no hay quien oiga nada..., y además, nadie hace demasiado caso a las reglas del juego;

《「動詞句」「副詞」》, 「動詞句」「主語」「副詞句」,
《y 「動詞句」「副詞句」「副詞節」》

-No están jugando ノ・エス タン・フガント 3 複現・進行形・否定(jugar)

v.i ゲームをしていない 「動詞句」

limpiamente リンピ・アメンテ adv. 公正に、公平に 「副詞」

-empezó diciendo エンペ・ソ・デ・イシエント 3 単点・開始(empezar+現在分詞)

v.t 話し始めた 「動詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

con tono algo quejumbroso-, コン・トノ・アルゴ・ケフンブ・ロ

adv. どこか愚痴っぽい口調で 「副詞句」

y イ conj. そして

se están peleando セ・エスタン・ペ・レアント 3 複現・進行形(pelearse)v.pr 喧嘩している 「動詞句」

todo el tiempo, トト・エル・ティエンポ adv. ずっと、いつも 「副詞句」

de forma que+直説法 デ・フォルマ・ケ conj. (結果) そのため~する 「副詞節」

no hay ノ・アイ 3 単現・否定(haber)v.t ~がない 「動詞句」

quien キエン pron ~する人が 「目的語」

oiga オイガ 接・3 単現(oir)v.t 聞こえる 「動詞」

nada..., ナダ pron 何も、何かを 「目的語」

y イ conj. そして

además, アデマス adv. その上、それに 「副詞」

nadie ナデ・イエ pron 誰も~ない 「主語」

hace アセ 3 単現(hacer)v.t 作る 「動詞」

demasiado caso デマシアト・カ adv. ほとんどの場合 「副詞句」

hacer caso アセール・カ (否定文で) 無視する、重視しない

a las reglas ア・ラス・レガ・ラス adv. ルールを 「間接目的語」

del juego; デル・フエゴ adj. ゲームの 「形容詞句」

8 El croquet de la Reina

まるで何もルールが無いみたいだし、もしルールがあったとしても、誰も守っていないように見える。そして、この生き物たちとプレーするのがどれほど大変なのか想像できない。

parece como si no tuviera ninguna, o, en todo caso, si las hay, nadie parece que las esté siguiendo..., ¡y no puedes imaginarte qué pesado es estar jugando con todos estos bichos!

「動詞」「補語」,o,「副詞句」,「主語」「動詞」「補語」,y「動詞句」「目的語」	
parece パレ 3 単現(parecer)v.i	～のように見える 「動詞」
como si コモ・シ conj.	まるで～のように 「補語」
no tuviera ノ・トゥビエラ 接・3 単現・否定(tener)v.i	～がない 「動詞句」
ninguna, ニンガナ pron	何も～ない 「主語」
o, オ conj.	または
en todo caso, エン・トド・カ adv.	いずれにしても 「副詞句」
si シ conj.	(仮定) もし～なら 「副詞節」
las ラス pron (reglas の代用)	それが 「目的語」
hay, アイ 3 単現・存在(haber)v.t	～がある、いる 「動詞」
nadie ナデ・イエ pron	誰も～ない 「主語」
parece パレ 3 単現(parecer)v.i	～のように見える 「動詞」
que ケ conj.	～ということ 「補語」
las ラス pron.pl (reglas の代用)	それに 「目的語」
esté siguiendo..., エステ・シギエント 接・3 単現・進行形(seguir)	
v.t	～に従っている 「動詞句」
¡y イ conj.	そして
no puedes imaginarte ノ・プエテス・イマヒナル・テ 2 単現・可能・否定(poder+不定詞 imaginar)	
v.pr	想像できない 「動詞句」
qué pesado ケ・ペサド adj.	どれほど大変かということ 「目的語」
es エス 3 単現(ser)v.i	～である 「動詞」
estar jugando エスタール・ファント 不定詞・進行形 n.	プレーすることは 「主語」
con todos estos bichos! コン・トドス・エストス・ビチョス adv.	この生き物たちと 「副詞句」

8 El croquet de la Reina

例えばあそこ、私がこれから当てるゲートがフィールドの向こう側の端をうろうろしている。それに、さっき私のハリネズミが近づいたのを見た時に女王のハリネズミが逃げ出していなければ、素晴らしい1打を打てただろうに。

Por ejemplo, allá va el arco que me toca ahora, paseándose tranquilamente por el otro extremo del campo... ¡Y qué buen golpe le habría dado al erizo de la Reina hace justo un momento si no se hubiera escapado cuando vio que se le acercaba el mío!

「副詞句」, 「動詞句」 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Y 「直接目的語」 「間接目的語」 「動詞句」 「間接目的語」 「副詞句」

Por ejemplo, ホル・エハンプロ adv. 例えば 「副詞句」

allá アジャ adv. あそこ 「副詞」

va ...paseándose ハセアントセ 3 単現・遅い進行(ir+現在分詞)

v.i (ゆっくり) 歩いている 「動詞句」

el arco エル・アルコ n.m ゲートは 「主語」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

me メ pron 私に 「目的語」

toca トカ 3 単現(tocar)v.t 触れる、触る 「動詞」

ahora, アオラ adv. 今 「副詞」

tranquilamente トランキラメンテ adv. ゆっくりと 「副詞」

por el otro extremo ホル・エル・オトロ・エクストレモ adv. 向こう側の端あたりを 「副詞句」

del campo... デル・カンポ adj. フィールドの 「形容詞句」

¡Y イ conj. そして

qué buen golpe ケ・ブエン・ゴルペ n.m. なんと素晴らしい一打を 「直接目的語」

le レ pron それに 「間接目的語」

habría dado アブリア・ダト 1 単過未・完了形・推量(dar)v.t 与えていただろう 「動詞句」

al erizo アル・エリゾ adv. ハリネズミに 「間接目的語」

de la Reina テ・ラ・レイナ adj. 女王の 「形容詞句」

hace justo un momento アセ・フスト・モメント adv. さっき、先程、少し前に 「副詞句」

si シ conj. もし~ならば 「副詞節」

no se hubiera escapado ノ・セ・ウビエラ・エスカパト 接・3 単過・完了形・否定・仮定(escaparse)

v.pr 逃げ出していなかった 「動詞句」

cuando カント conj. ~する時 「副詞節」

vio ビオ 3 単点(ver)v.t 見た 「動詞」

que ケ conj. ~ということ 「目的語」

se ...acercaba セ...アセカバ 1 単線(acercarse)

v.pr 近づいた 「動詞句」

le レ pron 彼に 「間接目的語」

8 El croquet de la Reina

el mío! エル・ミョ pron 私のハリネズミが 「主語」

「それで、女王様の機嫌はどうなんだい？お前はどうかんだい？」と、ネコが小声で尋ねた。

-Y la Reina, ¿qué tal? ¿Te gusta? -le preguntó el Gato en voz baja.

《Y「主語」「質問」 | 「質問」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」「副詞句」

-Y イ conj. それで

la Reina, ラ・レイナ n.f 女王は 「主語」

¿qué tal? ケ・タル adv. 機嫌はいいのか？ 「質問」

¿Te gusta? テ・グスタ adv. お前はどうかんだい？ 「質問」

-le レ pron アリスに 「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

el Gato エル・ガト n.m ネコが 「主語」

en voz baja. エン・ボス・バハ adv. 小声で 「副詞句」

「全然気に入らないわ！」と、アリスが叫んだ。「だって、すごく…」

-¡No me gusta nada! -exclamó Alicia-. ¡Es tan... tan...!

《「応答」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」》

-¡No me gusta nada! ノ・メ・グスタ・ナダ 3 単現・否定(gustar)v.t 全然気に入らないわ！ 「応答」

-exclamó エクスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ 「動詞」

Alicia-. アリシア n.f アリスは 「主語」

¡Es tan... tan...! エス・タン・タン 3 単現(ser)v.i すごく... 「動詞句」

しかし、丁度その時、アリスは女王がアリスの真後ろでアリスが話すことを聞いていることに気付いたので、話を続けました。

-pero en ese mismísimo momento Alicia se dio cuenta de que justo detrás de ella estaba la Reina escuchando lo que decía, de forma que continuó diciendo:-

Pero 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」, de forma que 「動詞句」

-pero ペロ conj. しかし

en ese mismísimo momento エン・エ・ミシミソ・モメント adv. 丁度その時 「副詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

se dio cuenta de セ・デ・イオ・クエンタ・デ 3 単点(darse cuenta de)v.pr 〜に気付いた 「動詞句」

que ケ conj. 〜ということ を 「目的語」

justo detrás de ella フスト・デトラス・デ・エジャ adv. 彼女の真後ろで 「副詞句」

estaba ...escuchando エスタバ ...エスクチャント 3 単線・進行形(escuchar)

v.t 聞いていた 「動詞句」

la Reina ラ・レイナ n.f 女王が 「主語」

8 El croquet de la Reina

lo que decía, ロ・ケ・デシア pron アリスが話すことを 「目的語」
 de forma que +直説法 デ・フォルマ・ケ adv. (結果) それで～
 continuó diciendo: コンチヌア・ディシエント 3 単点・継続(continuar+現在分詞 decir)
 v.i 話続けた 「動詞句」

「だって、女王様が勝つことは確実だから、他の者たちがプレーを続けたって意味がない」

... es tan seguro que va a ganar la Reina que no vale la pena que los demás sigan jugando.
 《「動詞」「補語」「主語」 que 「動詞句」「主語」》
 ... es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」
 tan seguro タン・スガロ adj. 確実な 「補語」
 que ケ conj. ～ということとは 「主語」
 va a ganar バ・ア・ガナル 不定詞・近接未来(ir a+不定詞 ganar)
 n. 勝つだろうということとは 「動詞句」
 la Reina ラ・レイナ n.f 女王が 「主語」
 que ケ conj. (結果) だから～
 no vale ノ・バレ 3 単現・否定(valer)v.i 価値がない 「動詞句」
 la pena ラ・ペナ n.f 骨折りは、労力は 「主語」
 que ケ conj. (同格) ～という 「形容詞節」
 los demás ロス・デマス pron.pl 他の者たちが 「主語」
 sigan jugando. シガン・フガント 接・3 複現・継続・仮定(seguir+現在分詞 jugar)
 v.i プレーし続けても 「動詞句」

女王は嬉しそうに笑って、先へ進んで行きました。

La Reina sonrió complacida y continuó su camino.
 「主語」「動詞」「副詞」 y 「動詞」「目的語」
 La Reina ラ・レイナ n.f 女王は 「主語」
 sonrió ソンリオ 3 単点(sonreír)v.i 笑った 「動詞」
 complacida コンプレサダ 過去分詞(complacer)adv. 喜んで 「副詞」
 y イ conj. そして
 continuó コンチヌア 3 単点(continuar)v.t 続けた 「動詞」
 su camino. ス・カミノ n.m 自分の道を 「目的語」

8 El croquet de la Reina

「誰と話しているのかね？」と、王様が、アリスに近づいて来て、ネコの頭を不思議そうに眺めながら尋ねました。

-Pero ¿con quién estás hablando? -preguntó el Rey acercándose a Alicia y contemplando la cabeza del Gato con gran curiosidad.

《Pero 「間接目的語」「動詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

-Pero ペロ conj. しかし

¿con quién コン・キエン adv. 誰と 「間接目的語」

estás hablando? エスタス・ハブラント 2 単現・進行形(hablar)v.i 話している 「動詞句」

-preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

el Rey エル・レイ n.m 王様が 「主語」

acercándose アセルカント・セ 現在分詞・同時 adv. 近づいてきて 「副詞句」

a Alicia ア・アリシア adv. アリスに 「間接目的語」

y イ conj. そして

contemplando コンテンプレント 現在分詞・同時 adv. ～を眺めて 「副詞句」

la cabeza ラ・カベサ n.f 頭を 「目的語」

del Gato テル・ガト adj. ネコの 「形容詞句」

con gran curiosidad. コン・グラン・クリオシダド adv. 不思議そうに 「副詞句」

「私の友達のチェシャねこなんです」と、アリスは説明した。「紹介させていただきますか？」

-Es un amigo mío... un gato de Cheshire -explicó Alicia-. Voy a presentárselo.

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」》

-Es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

un amigo mío..., ウン・アミゴ・ミーオ n.m 私の友達 「補語」

un gato de Cheshire ウン・ガト・デ・チェシーレ n.m (同格) チェシャねこ 「補語」

-explicó エクスプリコ 3 単点(explicar)v.t 説明した 「動詞」

Alicia-. アリシア n.f アリスは 「主語」

Voy a presentárselo. ボイ・ア・プレセンタル・セロ 1 単現・近接未来・意思(ir a+不定詞)

v.t 紹介したいと思う 「動詞句」

8 El croquet de la Reina

「ネコの様子が入に人らない」と、王様が言った；「だが、望むなら、わしの手にキスする事を許す」

-No me gusta nada el aspecto que tiene -confesó el Rey; pero, en fin, puede besarme la mano, si quiere.

《「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「主語」》, 「動詞」「主語」,
《pero 「副詞句」「動詞句」「目的語」「副詞節」》

-No ...gusta ノ...グスタ 3 単現・否定(gustar)v.i 気に入らない 「動詞句」
me メ pron 私にとって 「間接目的語」
nada ナダ pron 何も～ない 「主語」
el aspecto エル・アスペクト n.m 様子が 「主語」
que tiene ケ・ティエネ adj. ネコが持っている 「形容詞節」
-confesó コンフェソ 3 単点(confesar)v.t 告白した、言った 「動詞」
el Rey; エル・レイ n.m 王様が 「主語」
pero, ペロ conj. しかし
en fin, エン・フィン adv. 要するに、結局のところ 「副詞句」
puede besarme プエデ・ベサルメ 3 単現・可能(poder+不定詞 besar+me)
v.t 私の体の部分にキスしてもよろしい 「動詞句」
la mano, ラ・mano n.f 手に 「目的語」
si quiere. シ・キエレ adv. (条件) もし望むならば 「副詞節」

「そうしないことにする」と、ネコが答えた。

-Prefiero no hacerlo -observó el Gato. 《「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」
-Prefiero プレフィエロ 1 単現・好む(preferir)v.t(+不定詞 ～することを) 好む、選ぶ 「動詞」
no hacerlo ノ・ハセル・ロ 不定詞・否定形(hacer+lo)n. そうしないことを 「目的語」
-observó オブセルボ 3 単点(observar).vt 言った、答えた 「動詞」
el Gato. エル・ガト n.m ネコが 「主語」

8 El croquet de la Reina

「無礼ではないか！」と、王様は言い返した。「そして、そんな風にわたしを見るな！」と、アリスの後ろに身を隠しながら付け加えた。

-¡No seas impertinente! -replicó el Rey-. ¡Y no me mires de esa manera! -añadió parapetándose detrás de Alicia.

《「動詞句」「補語」》, 「動詞」「主語」,

《Y「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞句」》, 「動詞」「副詞句」

-¡No seas ノ・セアス 接・2 単現・否定・叱責(ser)v.i ~ではないか! 「動詞句」

impertinente! インペルチネンテ adj. 無礼な 「補語」

-replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.t 言い返した 「動詞」

el Rey-. エル・レイ n.m 王様は 「主語」

¡Y イ conj. そして

no ...mires ノ...ミレス 命・2 単現・禁止(mirar)v.t 見るな 「動詞句」

me メ pron 私を 「目的語」

de esa manera! デ・エサ・マネラ adv. (手段) そんな風に 「副詞句」

-añadió アニャディオ 3 単点(añadir)v.t 付け加えた 「動詞」

parapetándose パラペタント 現在分詞・同時(parapetar)adv. 身を隠しながら 「副詞句」

detrás de Alicia. デトラス・デ・アリシア adv. アリスの後ろに 「副詞句」

「ネコは十分に王様を見ることができる」と、アリスが言った；「どこかで読んだことがあります。けれど、どこだったのか忘れました」

-Un gato bien puede mirar a su rey -sentenció Alicia-; lo he leído en alguna parte, pero no recuerdo dónde... 《「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」;

《「目的語」「動詞句」「副詞句」,pero「動詞句」「間接目的語」》

-Un gato ウン・ガト n.m ネコは 「主語」

bien ビエン adv. 十分に 「副詞」

puede mirar プエデ・ミラル 3 単現・可能(poder+不定詞 mirar)v.t 見ることが出来る 「動詞句」

a su rey ア・ス・レイ n.m 王様を 「目的語」

-sentenció センテンシオ 3 単点(sentenciar)v.t (格言を) 言った 「動詞」

Alicia-; アリシア n.f アリスは 「主語」

lo ロ pron それを 「目的語」

he leído ヘ・レイト 1 単現・完了形(leer)v.t 読んだことがある 「動詞句」

en alguna parte, エン・アルグナ・パルテ adv. どこかで 「副詞句」

pero ペロ conj. しかし

no recuerdo ノ・レクエルト 1 単現・否定(recordar)v.t 覚えていない 「動詞句」

dónde... トンデ adv. どこでかを 「間接目的語」

8 El croquet de la Reina

「それでは、そのネコを排除しなければならない」と、王様は強い決意で言った。それからその時通りかかった女王に呼びかけた。「妻よ！このネコをここからどかせるように命じて欲しいのだが！」

-Pues hay que eliminarlo entonces -dijo el Rey con mucha determinación; y llamó a la Reina. que pasaba por ahí en aquel momento-: ¡Querida! ¡Me gustaría que ordenases que eliminaran a este gato de ahí!

《Pues 「動詞句」「副詞」》, 「動詞」「主語」「副詞句」; y 「動詞」「間接目的語」;
《「呼びかけ」「間接目的語」「動詞」主語》

-Pues プエス conj. それで

hay que eliminarlo アイ・ケ・エリマル・ロ 3 単現・必要(hay que+不定詞 eliminar+lo)

v.t ネコを排除しなければならない 「動詞句」

entonces エントネス adv. それでは 「副詞」

-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

el Rey エル・レイ n.m 王様は 「主語」

con mucha determinación; コン・ムチャ・デテルミナシオン adv. 強い決意で 「副詞句」

y イ conj. そして

llamó ジャモ 3 単点(llamar)v.t 呼びかけた、声をかけた 「動詞」

a la Reina, ア・ラ・レイナ n.f 女王に 「間接目的語」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

pasaba パサバ 3 単線(pasar)v.i 通りかかった 「動詞」

por ahí ポル・アイ adv. 近くを、その辺を 「副詞句」

en aquel momento-: エン・アケル・モメント adv. その時に 「副詞句」

¡Querida! ケリダ n.f 妻よ！ 「呼びかけ」

¡Me メ pron 私にとって 「間接目的語」

gustaría グスタリア 3 単過未(gustar)v.i 好むだろう 「動詞」

que ケ conj. ~ということは 「主語」

ordenases オルデナセス 接・2 単過(ordemar)v.t 命じた 「動詞」

que ケ conj. ~ということを 「目的語」

eliminaran エリマルン 接・3 複過(eliminar)v.t 排除する 「動詞」

a este gato ア・エステ・ガト n.m このネコを 「目的語」

de ahí! デ・アイ adv. そこから 「副詞句」

8 El croquet de la Reina

女王にとっては、どんな問題であつても解決方法は1つだけだった：「首を切れ！」と、どんな問題なのか確認するために振り向くことすらせずに命じたのです。

Para la Reina no había más que una manera de solucionar cualquier dificultad, grande o pequeña: «¡Que le corten la cabeza!», ordenó sin siquiera darse vuelta para ver de qué se trataba.

「副詞句」「動詞句」「目的語」：《「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》「動詞」「副詞句」

Para la Reina パラ・ラ・レイナ adv. 女王にとって 「副詞句」

no había ノ・アビア 3 単線・存在・否定(haber)v.t. ～が無かった 「動詞句」

más que una manera マス・ケ・ウナ・マネラ n.f (否定文で) 1つの方法しか 「目的語」

de solucionar デ・ソルシオナル adj. (目的) 解決するための 「形容詞句」

cualquier dificultad, クワルクエ・ディフィкулタ n.f どんな困難も 「目的語」

grande o pequeña: グランデ・オ・ペケニャ

adj. 大きくても小さくても 「形容詞句」

«¡Que ケ conj. (強調)

le レ pron その 「間接目的語」

corten コルテン 命・3 複現(cortar)v.t. 切れ 「動詞」

la cabeza!», ラ・カベサ n.f 首を 「直接目的語」

ordenó オルデノ 3 単点(ordenar)v.t. 命じた 「動詞」

sin +不定詞 シン 不定詞 adv. ～しないで 「副詞句」

siquiera シキエラ adv. (否定の強調) ～さえ (ない) 「副詞」

darse vuelta ダルセ・ブエルト 不定詞 v.pr 振り向く 「動詞句」

para パラ prep(目的) ～するために 「副詞句」

ver ベール 不定詞 v.t. 調べる、見る 「動詞」

de qué デ・ケ adv. ～の問題かを 「目的語」

se trataba. セ・トラタバ 3 単線(tratarse)

v.pr(de) 話は～である 「動詞句」

8 El croquet de la Reina

「私自身が首切り役人を連れて来る」と、王様は早口で言うと、急いで探しに出かけた。

-Yo mismo traeré al verdugo -se apresuró a decir el Rey, y salió veloz en su busca.

《「主語」「動詞」「目的語」》, 「動詞句」「主語」, y 「動詞」「副詞句」

-Yo mismo ジョ・ミスト pron 私自身が 「主語」
 traeré トラエレ 1 単未・意思(traer)v.t 連れてこよう 「動詞」
 al verdugo アル・ベルトゥゴ n.m 首切り役人を、死刑執行人を 「目的語」
 -se apresuró a decir セ・アプレスロ・ア・デシール 3 単点・急ぐ(apresurar a+不定詞 decir)
 v.pr 早口で言った、急いで言った 「動詞句」
 el Rey, エル・レイ n.m 王様は 「主語」
 y イ conj. そして
 salió サオ 3 単点(salir)v.i 出かけた 「動詞」
 veloz ベロス adv. 急いで 「副詞」
 en su busca. エン・ス・ブスカ adv. (目的) 捜しに 「副詞句」

その時、アリスはゲームに戻ってそれがどうなっているかを見た方が良くと思った。というのは、女王の激しい叫び声が聞こえたからだ。3 人の選手が自分の順番にプレーしなかった
 ので死刑を宣告されたのです。それに、女王にとってゲームの成り行きを知ることは全く興
 味がなかった。というのは、その時には、ゲームはいつ誰の順番になるかを知ることが不可
 可能な、混乱の極みに達していたから。

Alicia pensó entonces que más le valdría volver al juego y ver cómo se estaba desarrollando, pues podía oír los gritos desahogados de la Reina, que acababa de condenar a muerte a tres de los jugadores por no haber jugado cuando les correspondía su turno, y no le gustaba nada el giro que estaban tomando las cosas, pues todo el juego había llegado en ese momento a tal estado de confusión que era imposible saber cuándo le tocaba a uno el turno de jugar.

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」「副詞節」, y

「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「副詞」「主語」, 「副詞節」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
 pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.t 考えた、思った 「動詞」
 entonces エントネス adv. その時 「副詞」
 que ケ conj. ～ということ 「目的語」
 más マス adv. もっと、より 「副詞」
 le レ pron 彼女にとって 「間接目的語」
 valdría バルトリア 3 単過未・有効・推量(valer+不定詞 ～するのが)
 v.i (不定詞が主語) 良いだろう 「動詞」
 volver ホレール 不定詞 n. 戻ることが 「主語」

8 El croquet de la Reina

al juego アル・フエゴ	adv. ゲームに、試合に	「間接目的語」
y イ conj.	そして	
ver ベール	不定詞(valer+不定詞 ～するのが) n. 見るのが	「主語」
cómo コモ conj.	どのように～するかということ	「目的語」
se estaba desarrollando, セ・エスタバ・デ・サロジヤント	3 単線・進行形・時制の一致	
v.pr(desarrollar)v.i	進行している	「動詞句」
pues プエス conj.	(理由) ～なので	「副詞節」
podía oír ポデア・オイル	3 単線・可能(poder+不定詞 oír)	
v.t	聞こえた	「動詞句」
los gritos ロス・グリティス pl.n.m	叫び声	「目的語」
desaforados デ・サドラトス adj.	並外れた	「形容詞」
de la Reina, デ・ラ・レイナ adj.	女王の	「形容詞句」
que ケ conj.	～ということ	「目的語」
acababa de condenar アカババ・デ・コンデナール	3 単線・直後(acabar de+不定詞 condenar)	
v.i	刑を宣告したばかりである	「動詞句」
a muerte ア・ムエルテ adv.	死刑に	「間接目的語」
a tres de los jugadores ア・トレス・デ・ロス・フガドレス		
adv.	3 人の選手を	「間接目的語」
por +不定詞 ポル adv.	(理由) ～したために	「副詞句」
no haber jugado ノ・アベール・フガド	不定詞・完了形・否定(jugar)	
v.i	プレーしなかった	「動詞句」
cuando クワント conj.	～する時に	「副詞節」
les レス pron	彼らに	「間接目的語」
correspondía コレスポンデア	3 単線(corresponder)	
v.i	対応した、当たった	「動詞」
su turno, ス・トゥルノ		
n.m	順番が	「直接目的語」
y イ conj.	そして	
no ...gustaba ノ...グスタバ	3 単線・否定(gustar)v.i 好みでなかった	「動詞句」
le レ pron	彼女にとって	「間接目的語」
nada ナダ adv.	まったく～ない	「副詞」
el giro エル・ヒロ n.m	局面が	「主語」
que ケ pron	(目的語) ～する	「形容詞節」
estaban tomando エスタバン・トマント	3 複線・進行形(tomar)	
v.t	取っている	「動詞句」
las cosas, ラス・コサス pl(cosa).n.f	物事が	「主語」

8 El croquet de la Reina

pues プエス conj. (理由) ~なので	「副詞節」
todo el juego トト・エル・フエホ n.m ゲームは全て	「主語」
había llegado アビ・ア・ジエガト 3 単線・完了形(llegar)	
v.i (状態に) になっていた	「動詞句」
en ese momento エン・エセ・モメント adv. その時には	「副詞句」
a tal estado de confusión ア・タル・エスタド・デ・コンフシオン adj. 混乱の極み	「補語」
que ケ conj. (同格) ~という	「形容詞節」
era エラ 3 単線(ser)v.i ~である	「動詞」
imposible インポシブレ adj. 不可能な	「補語」
saber サベル 不定詞 n. 知ることは	「主語」
cuándo クワンド conj. いつ~するかを	「目的語」
le レ pron 彼に	「間接目的語」
tocaba トカバ 3 単線(tocar)	
v.i(a に) 当たる	「動詞」
a uno ア・ウノ adv. 誰かに	「間接目的語」
el turno de jugar. エル・トゥルノ・デ・フガール	
n.m プレーの順番が	「直接目的語」

それで自分のハリネズミを探しに行きました。

<u>Así, pues, marchó en busca de su erizo.</u>	「副詞句」, 「動詞」 「間接目的語」
Así, pues, アシ・プエス adv. それで	「副詞句」
marchó マルチョ 3 単点(marchar)v.i(en に) 行った	「動詞」
en busca エン・ブスカ adv. 搜索しに	「間接目的語」
de su erizo. デ・ス・エリゾ adj. 自分のハリネズミの	「形容詞句」

アリスのハリネズミは別のハリネズミと喧嘩していましたが、アリスはその 2 匹に一勝負させる絶好のチャンスだと思った。

<u>Este se estaba peleando con otro erizo, lo que le pareció a Alicia una espléndida oportunidad para hacer una carambola con los dos.</u>	「主語」 「動詞句」 「間接目的語」, 「主語」
Este エステ pron 彼女のハリネズミは	「主語」
se estaba peleando セ・エスタバ・ペレアント 3 単線・進行形(pelearse)	
v.pr(con と) 喧嘩していた	「動詞句」
con otro erizo, コン・オトロ・エリゾ adv. 別のハリネズミと	「間接目的語」
lo ロ pron それを	「主語」
que ケ pron (主語) ~する	「形容詞節」

8 El croquet de la Reina

le	レ	pron	彼女に	「間接目的語」
pareció	パレシオ	3 単点(parecer)v.i	～のように見えた	「動詞」
a	Alicia	ア・アリシア	adv. アリスには	「間接目的語」
una espléndida oportunidad	ウ・エスプレンディダ・ホポルトゥニダ	n.f	絶好のチャンス	「補語」
para hacer	パラ・アセル	不定詞・目的 v.t	～するには	「副詞句」
una carambola	ウ・カランボラ	n.f	わな、一試合	「目的語」
con los dos.	コン・ロス・ドス	adv.	その 2 匹で	「副詞句」

しかし問題は、その間にフラミンゴが庭の反対側へ散歩に行ってしまったことだが、そこで、アリスは木に登ろうとして不器用に羽ばたいているフラミンゴを見ることができた。

El problema, sin embargo, consistía en que su flamenco se había ido mientras tanto a pasear al otro lado del jardín, donde Alicia podía verlo aleteando torpemente en un esfuerzo por subirse a una rama.

	「主語」「副詞句」「動詞」「間接目的語」, 「副詞」「主語」「動詞句」「補語」
El problema, エル・プロブレマ n.m 問題が	「主語」
sin embargo, シン・エンバルゴ adv. しかし、とはいえ	「副詞句」
consistía コンシスチア 3 単線・存在(consistir)v.i(en に) あった、～のことである	「動詞」
en que エン・ケ adv. ～ということに	「間接目的語」
su flamenco ス・フラメンコ n.m 彼女のフラミンゴが	「主語」
se había ido セ・アビ・ア・イト 3 単線・完了形・しに行く(irse a+不定詞)	
v.pr ～しに行ってしまった	「動詞句」
mientras tanto ミエンTRAS・タント adv. その間に	「副詞句」
a pasear パセアル 不定詞 v.i 散歩に行く	「動詞句」
al otro lado del jardín, アル・オトロ・ラト・テル・ハルデイン	
adv. 庭の反対側に	「間接目的語」
donde トンデ adv. そこで～する	「副詞」
Alicia アリシア n.f アリスは	「主語」
podía verlo ポディ・ア・ベル・ロ 3 単線・可能(poder+不定詞 ver+lo)	
v.t それを見ることが出来た	「動詞句」
aleteando アレアント 現在分詞・lo の動作 adv. 羽ばたいている	「補語」
torpemente トルペメンテ adv. 不器用に、ぎこちなく	「副詞」
en un esfuerzo エン・ウン・エスフェルソ adv. 努力中の	「副詞句」
por subirse ポル・スビル・セ 不定詞・目的 adv. 登るために	「副詞句」
a una rama. ア・ウナ・ラマ adv. 木に	「間接目的語」

8 El croquet de la Reina

アリスがフラミンゴを取り戻して、自分の位置に戻ると、見た所ではハリネズミたちの戦いは終わったようで、姿が見えなくなっていた。

Cuando Alicia logró recuperar su flamenco y hubo vuelto a su posición, se encontró con que la pelea de los erizos había terminado, al parecer, pues se habían perdido de vista:

「副詞節」, 「動詞句」 「間接目的語」, 「動詞句」 「副詞句」

Cuando クワント conj. ～した時 「副詞節」

Alicia アリシア n.f アリスが 「主語」

logró recuperar ログロ・レクペラル 3 単点・成功(lograr+不定詞 recuperar)

v.t 取り戻すことができた 「動詞句」

su flamenco ス・フラメンコ n.m 彼女のフラミンゴを 「目的語」

y イ conj. そして

hubo vuelto ユボ・ブエルト 3 単点・完了形(volver)v.i(a に) 戻った 「動詞句」

a su posición, ア・ス・ボシオン adv. 自分の位置に 「間接目的語」

se encontró セ・エンコントロ 3 単点(encontrarse)v.pr(en に) 気付いた 「動詞句」

con que コン・ケ adv. ～ということに 「間接目的語」

la pelea ラ・ペレア n.f 喧嘩は、戦いは 「主語」

de los erizos デ・ロス・エリス adj. ハリネズミたちの 「形容詞句」

había terminado, ハビ・ア・テルミナト 3 単線・完了形(terminar)

v.i 終わっていた 「動詞句」

al parecer, アル・パレセル adv. 見た所では 「副詞句」

pues プエス conj. そこで

se habían perdido セ・アビ・アン・ペルディト 3 複線・完了形・相互(perderse)

v.pr 消えていた 「動詞句」

de vista: デ・ビスタ adv. 視界から 「副詞句」

perderse de vista 「見えなくなる」

「私にはどうでもいい事だわ」と、アリスは結論した。「そしてフィールドのこちら側もゲートが全員いなくなってしまったのだから」

«Lo que no me importa demasiado -concluyó Alicia-, pues todos los arcos se han marchado también de esta parte del campo».

《「主語」》, 「動詞」 「主語」, 《pues 「主語」 「動詞句」 「副詞句」》

«Lo 〇 pron 事 「主語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

no ...importa ノ...インポルタ 3 単現・否定(importar)

v.i 重要ではない 「動詞句」

me メ pron 私にとって 「間接目的語」

8 El croquet de la Reina

demasiado デマシアト adv. (否定文で) あまり～ない	「副詞」
-concluyó コンクルヨ 3 単点(concluir)v.t 結論付けた	「動詞」
Alicia-, アリシア n.f アリスは	「主語」
pues プエス conj. そして、～なので	
todos los arcos トドス・ロス・アルコス pl(arco).n.m ゲートが全員	「主語」
se han marchado セ・アン・マルチャト 3 複現・完了形(marcharse)v.pr いなくなった	「動詞句」
también タンビエン adv. ～も	「副詞」
de esta parte デ・エスタ・パルテ adv. こちら側から	「副詞句」
del campo». デル・カンポ adj. フィールドの	「形容詞句」

それで、フラミンゴをまた逃がさないように脇の下にしっかりと抱えて、もう少しお喋りしよう
と友達の猫がいた場所へ戻りました。

Así, pues, apretujó el flamenco bajo el brazo, para que no se le volviera a escapar, y volvió a donde estaba su amigo el Gato para otro rato de charla.

	「副詞」「動詞」「目的語」「副詞句」,y「動詞」「間接目的語」「副詞句」
Así, アシ adv. それで、そして	「副詞」
pues, プエス conj. そして、～なので	
apretujó アプレトゥホ 3 単点(apretujar)v.t 強く締め付けた	「動詞」
el flamenco エル・フラメンコ n.m フタミンゴを	「目的語」
bajo el brazo, バホ・エル・ブラソ adv. 脇の下に	「副詞句」
para que パラ・ケ conj. (目的) ～するために	「副詞節」
no se le volviera a escapar, ノ・セ・レ・ボルビエラ・ア・エスカパール 接・3 単過・再度(volverse a+不定詞)	
v.pr また逃がさない	「動詞句」
y イ conj. そして	
volvió ボルビエ 3 単点(volver)v.i 戻った	「動詞」
a donde ア・ドンデ adv. ～する場所へ	「間接目的語」
estaba エスタバ 3 単線・存在(estar)v.i ～がいた	「動詞」
su amigo el Gato ス・アミゴ・エル・ガト n.m 友達の猫が	「主語」
para otro rato パラ・オトロ・ラト adv. (目的) もう少し	「副詞句」
de charla. デ・チャール・ラ adj. お喋りする	「形容詞句」

8 El croquet de la Reina

アリスがチェシャねこを残してきたところに戻ると、その周りに集まっていた大勢の人たちに囲まれているのを見て驚きました。首切り役人と王様と女王様は、同時に喋って、激論を交わしていましたが、一方、その他の人たちは恐縮した様子で黙り込んで居心地悪そうに成り行きを見守っていました。

Cuando se aproximó a donde había dejado al Gato de Cheshire, se sorprendió de verlo rodeado de mucha gente que se había reunido en su derredor; el verdugo, el Rey y la Reina discutían acaloradamente, hablando todos a la vez, mientras los demás contemplaban la escena en confuso silencio, aparentemente muy incómodos.

「副詞節」, 「動詞句」 「副詞句」 ; 「主語」 「動詞」 「副詞句」 ,

mientras 「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞句」

Cuando クァント conj. ～する時 「副詞節」

se aproximó セ・アプ ロキシモ 3 単点(aproximarse)

v.pr(a に) 近づいた、行った 「動詞句」

a donde ア・ドンデ adv. ～する所へ 「副詞句」

había dejado アビ・ア・デハド 3 単線・完了形(dejar)v.t 残してきた 「動詞句」

al Gato de Cheshire, アル・ガト・デ・チェシーレ n.m チェシャねこを 「目的語」

se sorprendió セ・ソルプ レンデ イオ 3 単点(sorprenderse)v.pr 驚いた 「動詞句」

de verlo デ・ベール・ロ 不定詞・原因 adv. それを見て 「副詞句」

rodeado ロデアト 過去分詞・受動(rodear)adj. 囲まれている 「形容詞」

de mucha gente デ・ムチャ・ヘンテ adv. (動作主) 大勢の人に 「副詞句」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

se había reunido セ・アビ・ア・レウニド 3 単線・完了形(reunirse)

v.pr 集まっていた 「動詞句」

en su derredor; エン・ス・デレドール

adv. その周りに 「副詞句」

el verdugo, エル・ベルトウゴ n.m 首切り役人 「主語」

el Rey エル・レイ n.m 王様 「主語」

y イ conj. そして

la Reina ラ・レイナ n.f 女王様 「主語」

discutían ディスクチアン 3 複線(discutir)v.i 議論していた 「動詞」

acaloradamente, アカラダメンテ adv. 激しく 「副詞」

hablando アブラント 現在分詞・同時(hablar)adv. 話しながら 「副詞句」

todos トブス pron 皆が 「主語」

a la vez, ア・ラ・ベス adv. 同時に 「副詞句」

mientras ミントラス conj. その一方で

los demás ロス・デマス pron.pl 他の人たちは 「主語」

8 El croquet de la Reina

contemplaban	コンテンプ ラバン 3 複線(contemplar)v.t	じっと見つめていた	「動詞」
la escena	ラ・エセーナ n.f	状況を、成り行きを	「目的語」
en confuso silencio,	エン・コンフソ・シレンシオ adv.	恐縮して黙り込んで	「副詞句」
aparentemente	アパ レンテメンテ adv.	おそらく	「副詞」
muy incómodos.	マイ・インコムトス adj.	とても居心地が悪い	「形容詞句」

彼らはアリスを見たとき、問題に決着をつけて欲しいと、めいめいが自分の意見を最初に聞いてくれと主張して近づいてきました；しかし 3 人が一斉に話すのでアリスは彼らの言い分がほとんど理解できませんでした。

Tan pronto vieron a Alicia, acudieron a ella para que decidiera la cuestión, insistiendo cada uno en que oyerá primero sus argumentos; pero como hablaban los tres a la vez, Alicia apenas se enteró de lo que querían decirle.

「副詞節」, 「動詞」 「間接目的語」 「副詞節」 ;
pero 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」

Tan pronto conj. ～するとすぐに 「副詞節」

vieron ビエロン 3 複点(ver)v.t 見た 「動詞」

a Alicia, ア・アリシア n.f アリスを 「目的語」

tan pronto como+直説法 「～するとすぐに」 (未来のことは接続法)

Tan pronto como llegue a Tokio, pasaré por su despacho.

東京に着いたら、すぐオフィスに伺います。

acudieron アクデイエロン 3 複点(acudir)v.i(a に) 行った 「動詞」

a ella ア・エシヤ adv. 彼女の所へ 「間接目的語」

para que (主語) パラ・ケ conj. (ella が) ～するために 「副詞節」

decidiera デシテイエラ 接・3 単過(decidir)v.t 決着をつける 「動詞」

la cuestión, ラ・クエスチオン n.f 問題に 「目的語」

insistiendo インシスチエント 現在分詞・同時(insistir)v.i 主張して 「副詞句」

cada uno カダ・ウノ pron それぞれが 「主語」

en que エン・ケ adv. ～について 「間接目的語」

oyera オジェラ 接・3 単過・依頼(oir)v.t 聞いて欲しい 「動詞」

primero プリメロ adv. 最初に 「副詞」

sus argumentos; スス・アルグメントス

pl(argumento).n.m 自分の意見を 「直接目的語」

pero ペロ conj. しかし

como コモ conj. (理由) ～なので 「副詞節」

hablaban アブラロン 3 複点(hablar)v.i 話した 「動詞」

los tres ロス・トレス pron 3 人は 「主語」

8 El croquet de la Reina

a la vez, ア・ラ・ベス adv. 同時に、一斉に	「副詞句」
Alicia アリシア n.f アリスは	「主語」
apenas se enteró アペナス・セ・エンテロ 3 単点・否定(enterarse)	
v.pr ほとんど理解できなかった	「動詞句」
de lo que デ・ロ・ケ adv. ～ということについて	「間接目的語」
querían decirle. クリアン・デシル・レ 3 複線・願望(querer+不定詞 decir+le)	
v.t 彼女に言いたかった	「動詞句」

首切り役人は、体の無い首を切ることは、首の無い体を切るのと同様に全く不可能だし、そんなことは今までに要請されたことが無いし、この年になって今更そんなことをするつもりもない、と主張した。

El verdugo argüía que tan imposible era cortar una cabeza sin cuerpo como decapitar a un cuerpo sin cabeza; que nunca había sido requerido para hacer nada por el estilo, y que no iba a empezar ahora, a su edad, a realizar tales encargos.

	「主語」「動詞」「目的語」; 「目的語」 y 「目的語」
El verdugo エル・ベルトウゴ n.m 首切り役人は	「主語」
argüía アルグィア 3 単線(argüir)v.t 主張した	「動詞」
que ケ conj. ～ということ	「目的語」
tan imposible タン・インポシブレ adj. まったく不可能な	「補語」
era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である	「動詞」
cortar コルタル 不定詞 n. 切ることは	「主語」
una cabeza ウナ・カベサ n.f 首を	「目的語」
sin cuerpo シン・クエルポ adv. 体の無い	「副詞句」
como コモ conj. ～のように	「副詞節」
decapitar デカピタル 不定詞 v.t ～の首を切る	「動詞」
a un cuerpo ア・ウン・クエルポ n.m 体を	「目的語」
sin cabeza; シン・カベサ adv. 頭の無い	「副詞句」
que ケ conj. ～ということ	「目的語」
nunca había sido requerido ヌンカ・アビダ・シト・レクリト 1 単線・完了形・受動・否定(requerir)	
v.t(para を) 今までに要請されたことが無い	「動詞句」
para hacer パラ・アセル adv. することを	「間接目的語」
nada por el estilo, ナダ・ポル・エル・エスチロ pron そんなことを	「目的語」
y イ conj. そして	
que ケ conj. ～ということ	「目的語」
no iba a empezar ノ・イバ・ア・エンペサル 3 単線・近接未来・意思・否定(ir a+不定詞 empezar)	
v.t 始めようと思わない	「動詞句」

8 El croquet de la Reina

ahora, アオラ adv. 今、今更

「副詞」

a su edad, ア・ス・エダ^ダ adv. 彼の年で

「副詞句」

a realizar ア・レアリサル 不定詞(empezar a realizar)v.t 実行する

「動詞句」

tales encargos. タレス・エンカルゴス pl(encargo).n.m そんな注文を

「目的語」



8 El croquet de la Reina

王様の言い分は、どんな物だろうと頭が存在すれば切り落とせる、馬鹿なことを言うな、ということでした。

Según el Rey, todo lo que tuviera una cabeza podía ser decapitado, y que se dejaran de decir tonterías.

Según el Rey, セグン・エル・レイ adv. 王様によれば、王様の言い分では 「副詞句」
 todo lo トド・ロ pron どんな物も 「主語」
 que ケ pron (同格) ~する 「形容詞節」
 tuviera トビエラ 接・3 単過・存在(tener)v.t がある 「動詞」
 una cabeza ウナ・カベサ n.f 頭 「目的語」
 podía ser decapitado, ポデア・セル・デカピタド 3 単線・可能(poder+不定詞・受動形 decapitar)
 v.t 切り落される 「動詞句」
 y イ conj. そして
 que ケ conj. ~ということ 「補語」
 se dejaran de decir セ・デハラン・デ・デシール 接・3 複過・中止・命令(dejarse de+不定詞)
 v.pr 言うな 「動詞句」
 tonterías. トンテリャス pl(tonteria).n.f 馬鹿なことを 「目的語」

女王様の言い分は、もし誰かが今すぐこの状況に対応策を実行しなければ、この場にいる全員を死刑にするということでした。(参加者がこれほど不安と恐怖を抱いていたのは、この脅し文句のせいだったのです)

En cuanto a la Reina, sus razones consistían en que si no se daba remedio a la situación en un santiamén, condenaría a muerte a todos cuantos la rodeaban (era precisamente esta amenaza la que había provocado tal ansiedad y espanto en la concurrencia).

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「間接目的語」 (「動詞」 「補語」 「主語」)
 En cuanto a エン・クワント・ア prep (関係) ~に関して 「副詞句」
 la Reina, ラ・レイナ n.f 女王 「目的語」
 sus razones スス・ラソネス pl(razón).n.f 彼女の言い分は、理由 「主語」
 consistían コンシスチアン 3 複線(consistir)v.i(en に) あった、基づいていた 「動詞」
 en que エン・ケ adv. ~ということに 「間接目的語」
 si シ conj. もし~ならば 「副詞節」
 no se daba ノ・セ・ダバ 3 単線・否定・時制の一致(darse)
 v.pr(a に) 熱中しない 「動詞句」
 se は「誰か」
 remedio レメディオ n.m 対策を 「直接目的語」
 a la situación ア・ラ・シトゥアシオン adv. この状況に 「間接目的語」
 en un santiamén, エン・ウン・サンティアメン adv. すぐに 「副詞句」

8 El croquet de la Reina

condenaría コンデナリア 3 単過未(condenar)

v.t(a に) 宣告することになるだろう 「動詞」

a muerte ア・ムエルテ n.f 死を 「直接目的語」

a todos ア・トドス adv. 全員に 「間接目的語」

cuantos クワントス pron 〃する 「形容詞節」

la ラ pron 女王を 「目的語」

rodeaban ロデアバン 3 複線・時制の一致(rodear)

v.t 取り囲んでいる 「動詞」

(era エラ 3 単線(ser)v.i 〃だった 「動詞」

precisamente プレシサメンテ adv. まさしく 「副詞」

esta amenaza エスタ・アメサ n.f この脅し文句 「補語」

la que ラ・ケ pron 〃するものは 「主語」

había provocado アビヤ・プロボカド 3 単線・完了形(provocar)

v.t 生じさせていた 「動詞句」

tal ansiedad タル・アンシエダ n.f それ程の不安を 「目的語」

y イ conj. そして

espanto エパント n.m 恐怖を 「目的語」

en la concurrencia). エン・ラ・コンクレンシア adv. 参加者の中で 「副詞句」

アリスは次の様に言う事しか思いつきませんでした：

A Alicia sólo se le ocurrió decir: 「間接目的語」「副詞」「動詞句」「主語」

A Alicia ア・アリシア adv. アリスにとって 「間接目的語」

sólo ソロ adv. 〃だけ 「副詞」

se le ocurrió セ・レ・オクリオ 3 単点(ocurrirse)v.pr 思いついた 「動詞句」

decir: デシール 不定詞 n. 言うことが 「主語」

「あれは公爵夫人の猫だから、公爵夫人に聞いた方がいいだろう」

-Es el Gato de la Duquesa, de forma que mejor será preguntárselo a ella.

《「動詞」「補語」, de forma que 「補語」「動詞」「主語」》

-Es エス 3 単現(ser)v.i 〃である 「動詞」

el Gato エル・ガト n.m ネコ 「補語」

de la Duquesa, デ・ラ・ドゥケサ adj. 公爵夫人の 「形容詞句」

de forma que+直説法 テ・フォルマ・ケ conj. (結果) そのため〃

mejor メホル adj. より良い 「補語」

será セラ 3 単末(ser)v.i 〃だろう 「動詞」

preguntárselo プレグンタル・セ・ロ 不定詞 n. それを尋ねることが 「主語」

8 El croquet de la Reina

a ella. ア・エンジャ adv. 彼女に

「間接目的語」

「あやつは牢獄におるぞ！」と、女王が言った；そして首切り役人の方へ向き直って命じた：

「ここに、連れてまいれ！」首切り役人は任務を果たすために稲妻のように出て行った。

-Está en la cárcel -declaró la Reina; y dirigiéndose al verdugo le ordenó: ¡Tráela acá! -El verdugo salió como una centella a cumplir su cometido.

《「動詞」「副詞句」》, 「動詞」「主語」; y 「副詞句」「間接目的語」「動詞」:

《「動詞句」「副詞句」》, 「主語」「動詞」「副詞句」

-Está エスタ 3 単現・存在(estar)v.i ~にいる 「動詞」

en la cárcel エン・ラ・カセル adv. 牢獄に 「副詞句」

-declaró デクラロ 3 単点(declarar)v.t 言った 「動詞」

la Reina; ラ・レイナ n.f 女王が 「主語」

y イ conj. そして

dirigiéndose デイリヒエンツェ・セ 現在分詞・同時(dirigir)adv.(a に) 振り向きながら 「副詞句」

al verdugo アル・ベルトゥゴ adv. 首切り役人に 「間接目的語」

le レ pron 彼に 「間接目的語」

ordenó: オルデノ 3 単点(ordenar)v.t 命じた 「動詞」

¡Tráela トラエ・ラ 命・2 複現(traer+la)v.t 連れてこい 「動詞句」

acá! アカ adv. ここに 「副詞」

-El verdugo エル・ベルトゥゴ n.m 首切り役人は 「主語」

salió サリオ 3 単点(salir)v.i 出て行った 「動詞」

como コモ conj. (様態) ~のように 「副詞句」

una centella ウナ・センテジャ n.f 稲妻 「目的語」

a cumplir ア・クンプリール 不定詞・目的 adv. 果たすために 「副詞句」

su cometido. ス・コメチト n.m 自分の任務を 「目的語」

8 El croquet de la Reina

ネコの頭は消え始めていたので、首切り役人が公爵夫人を連れて戻った時には完全に消えていました。それで、王様と首切り役人はむなしくネコの頭を探してそのあたりを探し回り始めました。一方、他の者たちはゲームに戻っていきました。

La cabeza del Gato había comenzado a desvanecerse, y cuando el verdugo volvió con la Duquesa había desaparecido del todo; así que el Rey y el verdugo se pusieron a corretear por todas partes, buscándolo en vano, mientras el resto de la comitiva volvía a la partida.

「主語」「動詞句」,y「副詞節」「動詞句」「副詞句」;

así que「主語」「動詞句」「副詞句」, mientras「主語」「動詞」「間接目的語」

La cabeza del Gato ラ・カベサ・デル・ガト n.f ネコの頭は 「主語」

había comenzado a desvanecerse, アビ・ア・コメンサド・ア・デスバネセルセ 3 単線・完了形・開始

(comenzar a+不定詞 desvanecerse)v.pr 消え始めていた 「動詞句」

y イ conj. そして

cuando カント conj. ～する時には 「副詞節」

el verdugo エル・ベルトウゴ n.m 首切り役人が 「主語」

volvió ボルビオ 3 単点(volver)v.i 戻った 「動詞」

con la Duquesa コン・ラ・トウケサ adv. 公爵夫人を連れて 「副詞句」

había desaparecido アビ・ア・デサパレシド 3 単線・完了形(desaparecer)v.i 消えていた 「動詞句」

del todo; デルトト adv. 完全に、すっかり 「副詞句」

así que +直説法 conj, それで～

el Rey y el verdugo エル・レイ・イ・エル・ベルトウゴ pl.n 王様と首切り役人は 「主語」

se pusieron a corretear セ・プシエロン・ア・コレテアル 3 複点・開始(ponerse a+不定詞 corretear)

v.pr うろつき出した 「動詞句」

por todas partes, ポルトダス・パルテス adv. あちらこちらを 「副詞句」

buscándolo ブスカント・ロ 現在分詞・同時(buscar+lo)adv. ネコを探しながら 「副詞句」

lo 中性代名詞なので、cabeza（女性名詞）ではなく Gato（男性名詞）と考える

en vano, エン・バノ adv. むなしく 「副詞句」

mientras ミエンTRAS conj. その一方

el resto エル・レスト n.m 残りは 「主語」

de la comitiva デ・ラ・コミチバ adj. お供の 「形容詞句」

volvía ボルビア 3 単線(volver)v.i 戻っていった 「動詞」

a la partida. ア・ラ・パルチダ adv. ゲームに 「間接目的語」

9 Historia de la Tortuga Artificial

9 Historia de la Tortuga Artificial

にせウミガメの話

Historia イストリア n.f 話 「主語」

de la Tortuga テ・ラ・トルトゥガ adj. カメの 「形容詞句」

Artificial アルティフィシャル adj. 模造の、人工の、にせの 「形容詞」

「友よ！また会えてどんなにうれしいか、あんたは分からないでしょう」と、愛情たっぷり
にアリスの腕をつかんで公爵夫人が叫び、アリスを散歩に連れて行った。

-¡Querida amiga! ¡No sabes el gusto que me da verte de nuevo! -exclamó efusivamente la Duquesa mientras agarraba a Alicia por el brazo con mucho cariño y se la llevaba a pasear con ella. 《「呼びかけ」 | 「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「副詞」「主語」「副詞節」
y 「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞句」

-¡Querida amiga! クリダ・アミガ adv. 友よ！ 「呼びかけ」

¡No sabes ノ・サベス 2 単現・否定(saber)v.t 分からないでしょう 「動詞句」

el gusto エル・グスト n.m 喜びを 「目的語」

que ケ conj. (同格) ～する 「形容詞節」

me メ pron 私が、私に 「目的語」

da ダ 3 単現(dar)v.t (結果を) 引き起こす 「動詞」

主語は「神などの誰か」

verte ベル・テ 不定詞・me の動作 v.t あなたに会う 「補語」

de nuevo! テ・ヌエボ adv. また、再び 「副詞句」

-exclamó エクスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ 「動詞」

efusivamente エフシバメンテ adv. 愛情たっぷりに 「副詞」

la Duquesa ラ・トウケサ n.f 公爵夫人は 「主語」

mientras ミエンTRAS conj. (同時) ～しながら 「副詞節」

agarraba アガラバ 3 単線(agarrar)v.t (しっかり) つかんだ 「動詞」

a Alicia ア・アリシア n.f アリスを 「目的語」

por ポル adv. (体の部位) ～を 「副詞句」

el brazo エル・ブラソ n.m 腕 「目的語」

con mucho cariño コン・ムチョ・カリニョ adv. 愛情を込めて 「副詞句」

y イ conj. そして

se ...llevaba a pasear セ...ジエバハ・ア・パセアル 3 単線(llevarse a+不定詞 pasear)

v.pr 散歩に連れて行った 「動詞句」

la ラ pron アリスを 「目的語」

con ella. コン・エジャ adv. 一緒に 「副詞句」

9 Historia de la Tortuga Artificial

アリスは公爵夫人がすごく上機嫌なのを見て嬉しくなって、キッチンで会った時にあれ程荒れ狂っていたのはもしかすると単に胡椒のせいかもしれないと思いました。

Alicia se puso muy contenta de ver que estaba de tan buen humor, y pensó que quizá hubiera sido sólo la pimienta la que la puso tan violenta cuando la conoció en la cocina.

「主語」「動詞句」「補語」,y「動詞」「目的語」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

se puso セ・プソ 3 単点・状態変化(ponerse)v.pr 〜になった 「動詞句」

muy contenta マイ・ツコンテンタ adj(contento).f とても満足した、嬉しい 「補語」

de ver デ・ベール フェイ・原因 adv. 〜を見て 「副詞句」

que ケ conj. 〜ということを 「目的語」

estaba エスタバ 3 単線・時制の一致(estar)v.i 〜である 「動詞」

de tan buen humor, デ・タン・ブエン・ウモール adj. とても上機嫌の 「補語」

y イ conj. そして

pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.t 思った 「動詞」

que ケ conj. 〜ということを 「目的語」

quizá キサ adv. たぶん、おそらく 「副詞」

hubiera sido ウビエラ・シト 接・3 単過・完了形・推量(ser)v.i 〜だった 「動詞句」

sólo ウビエラ・シト adv. ただ、単に 「副詞」

la pimienta ラ・ピ・ミンタ n.f コショウ 「補語」

la que ラ・ケ conj. 〜することは 「主語」

la ラ pron.f (Duquesa の代用) 彼女を 「目的語」

puso プソ 3 単点(poner)v.t (〜の状態に) した 「動詞」

tan violenta タン・ビエレンタ adj(violento).f 荒々しい 「補語」

cuando クワント conj. 〜する時 「副詞節」

la ラ pron.f 彼女に 「目的語」

conoció コノシオ 3 単点(conocer)v.t 会った 「動詞」

en la cocina. エン・ラ・コシナ adv. キッチンで 「副詞句」

「私が公爵夫人になったとしても」と、アリスは心の中で思った（あまり期待せずに）。「台所にはどんな種類の胡椒も置かないことにするわ」

«El día en que yo sea duquesa -se dijo Alicia (aunque no con muchas esperanzas)-, no tendré ninguna clase de pimienta en mi cocina.»

《「副詞句」》,「動詞句」「主語」(「副詞句」),《「動詞句」「目的語」「副詞句」》

«El día エル・デア n.m (仮定) その日には 「副詞句」

en que エン・ケ conj. 〜する 「形容詞節」

yo ジョ pron 私、アリスが 「主語」

9 Historia de la Tortuga Artificial

sea セア 接・3 単現・変化(ser)v.i	～になる	「動詞」
duquesa トゥッカ n.f	公爵夫人	「補語」
-se dijo セ・ディョ 3 単点(decirse)v.pr	心の中で思った	「動詞句」
Alicia アリシア n.f	アリスは	「主語」
(aunque アウンケ conj. ～ではあるが		「副詞句」
no con muchas esperanzas)-, ノ・コン・ムチャス・エスぺランツァス adv.	あまり期待せずに	「副詞句」
no tendré ノ・テントレ 1 単未・否定・意思(tener)v.t	持たない	「動詞句」
ninguna clase ニングーナ・クラセ n.f	どんな種類も～ない	「目的語」
de pimienta テ・ピ・ミンタ adj.	胡椒の	「形容詞句」
en mi cocina. エン・ミ・コシナ adv.	私の台所には	「副詞句」

「誰もスープで失敗はしないわ、それじゃあ、人の機嫌が悪くなるのは胡椒のせいなの？」
と、物事の新しい説明を発見して、得意そうに考え続けました。

A la sopa no le hace ninguna falta..., y a lo mejor es la pimienta la que pone a las personas de mal genio -continuó pensando, muy satisfecha de haber descubierto una nueva explicación de las cosas-,

《「副詞句」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」,
y 「副詞句」「動詞」「補語」「主語」》, 「動詞句」「副詞句」

A la sopa ア・ラ・ソパ adv.	(対象) スープについては	「副詞句」
no ...hace ノ...アセ 3 単現・否定(hacer)v.t	(人は) ～をしない	「動詞句」
le レ pron	それに	「間接目的語」
ninguna falta..., ニングーナ・ファルタ n.f	どんな間違いも～ない	「直接目的語」
y イ conj.	そして	
a lo mejor ア・ロ・メホル adv.	もしかすると	「副詞句」
es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
la pimienta ラ・ピ・ミンタ n.f	胡椒	「補語」
la que ラ・ケ pron	～するものは	「主語」
pone ポネ 3 単現(poner)v.t	～にする	「動詞」
a las personas ア・ラス・ペルソナス pl(persona).f	人々を	「目的語」
de mal genio テ・マル・ヘニオ adj.	機嫌の悪い	「補語」
-continuó pensando, コンチヌオ・ペンサント 3 単点・継続(continuar+現在分詞 pensar)		
v.i	考え続けた	「動詞句」
muy satisfecha ムイ・サティスフェチャ adv.	得意げに	「副詞句」
de haber descubierto テ・アベル・デスキビエルト	不定詞・完了形(dexcubrir)・原因	
adv.	発見して	「副詞句」
una nueva explicación ウナ・ヌエバ・エクスプリカシオン n.f	新しい解説を	「目的語」

9 Historia de la Tortuga Artificial

de las cosas, デ・ラス・コサス adj. 物事の

「形容詞句」

「そして、性格を刺々しくするのは酢だし、生活を苦々しくするのはカモミールで、それから他のお菓子と同様にカンゾウは子供たちを穏やかにさせるんだ」

y el vinagre, lo que avinagra el carácter...; la manzanilla, la que amarga la existencia..., y... el regaliz y otras golosinas por el estilo lo que hace que los niños sean tan “dulces”.

《y 「補語」「主語」; 「補語」「主語」, y 「補語」「主語」》

y イ conj. そして

el vinagre, エル・ビナグレ n.m 酢

「補語」

vinagre 「酢、怒りっぽい人、いつも不機嫌な人」

lo que ロ・ケ pron ーするものは

「主語」

avinagra アビナグラ 3 単現(avinagrar)v.t (心を) とげとげしくする

「動詞」

el carácter...; エル・カラクテル n.m 性格を

「目的語」

la manzanilla, ラ・マンサニージャ n.f カモミール

「補語」

la que ラ・ケ pron ーするものは

「主語」

amarga アマルガ 3 単現(amargar)v.t 苦くする

「動詞」

la existencia..., ラ・エクスステンシア n.f 生活を

「目的語」

y... イ conj. そして

el regaliz エル・レガリス n.m (植物) カンゾウ

「補語」

y イ conj. そして

otras golosinas オTRAS・ゴロシナス pl(golosina).n.f その他のお菓子

「補語」

por el estilo ホル・エル・エスチロ adv. 同様に

「副詞句」

lo que ロ・ケ pron ーするものは

「主語」

hace アセ 3 単現・使役(hacer)v.t ーにさせる

「動詞」

que ケ conj. ーということを

「目的語」

los niños ロス・ニョス pl.n.m 子供たちが

「主語」

sean セアン 接・3 複現・変化(ser)v.i ーになる

「動詞」

tan “dulces”. タン・ドゥルセス adj. あんなに穏やかな

「補語」

9 Historia de la Tortuga Artificial



「それだけでも分かって欲しい！そうすれば、甘いものを禁止しなくなるだろうに」

¡Si sólo lo supiera la gente! Entonces no estarían regateando siempre los dulces...»

《Si 「目的語」「動詞」 | 「副詞」「動詞句」「副詞」「目的語」》

¡Si シ conj. (仮定・願望) もし～ならば (良いのに)

sólo lo ソロ・ロ pron それだけを

「目的語」

supiera スピエラ 接・3 単過(saber)v.t 分かったら

「動詞」

la gente! ラ・ヘンテ n.f 人々が「主語」

Entonces エントンス adv. そうすれば

「副詞」

no estarían regateando ノ・エスタリアン・レガテアント 3 複過未・継続・否定・推量(regatear)

v.t 出し惜しみしないだろうに

「動詞句」

siempre エイエンプレ adv. いつも

「副詞」

los dulces...» ロス・ドゥルセス pl(dulce).n.m 甘いものを

「目的語」

この時、アリスはもう公爵夫人のことを忘れていて、この楽しい考え事に耽っていた；だから、もう一度彼女の声が耳のすぐ近くで聞こえた時に少し跳び上がった。

Para entonces ya se había olvidado de la Duquesa, tan ensimismada estaba en estos gratos pensamientos; y por eso dio un pequeño respingo cuando oyó otra vez su voz muy cerca de su oído:

「副詞句」「動詞句」「間接目的語」, 「補語」「動詞」「補語」;

Y 「副詞句」「動詞」「目的語」「副詞節」

Para entonces パラ・エントンス and. この時

「副詞句」

ya ヤー adv. もう、すでに

「副詞」

9 Historia de la Tortuga Artificial

se había olvidado セ・アビ・ア・オルビダド 3 単線・完了形(olvidarse)

v.pr(de を) 忘れてしまっていた 「動詞句」

de la Duquesa, デ・ラ・ドゥカサ adv. 公爵夫人のことを 「間接目的語」

tan ensimismada タン・エンシスマダ 過去分詞(ensimismar)adj.f 没頭した 「補語」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i 〜だった 「動詞」

en estos gratos pensamientos; エン・エストス・グラトス・ペンサミエントス

adv. この楽しい考えに 「副詞句」

y イ conj. そして

por eso ポル・エソ adv. (原因) そのために 「副詞句」

dio デ・イオ 3 単点(dar)v.t 与えた 「動詞」

un pequeño respingo ウン・ペケニョ・レスピンゴ n.m 小さいジャンプを 「目的語」

cuando クワンド conj. 〜する時に 「副詞節」

oyó オヨ 3 単点(oír)v.t 聞こえた 「動詞」

otra vez オトラ・ベス adv. また 「副詞句」

su voz ス・ボス n.f 彼女の声を 「目的語」

muy cerca de su oído: ムイ・セカ・デ・ス・オイド adv. 耳のすぐ近くで 「副詞句」

「あんたは何かを考えているね？お嬢ちゃん。それで、お喋りするのを忘れてしまうんだ。

そこには何か教訓があるんだが、今は思い出せない。でも、少し経ったら思い出すからね」

-Estás pensando en algo, querida, y eso hace que te olvides de hablar; lo que tiene una moraleja de la que no me puedo acordar ahora, pero que me volverá a la memoria dentro de un instante. 「動詞句」「間接目的語」,「呼びかけ」,y「主語」「動詞」「目的語」;

「動詞」「目的語」,pero「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」

-Estás pensando エスタス・ペンサント 2 単現・進行形(pensar)

v.i(en について) 考えている 「動詞句」

en algo, エン・アルゴ adv. 何かを 「間接目的語」

querida, ケリダ adj. 親愛な 「呼びかけ」

y イ conj. そして

eso エソ pron. それが 「主語」

hace アセ 3 単現・使役(hacer)v.t(que+接続法) 〜ということをさせる 「動詞」

que ケ conj. 〜ということを 「目的語」

te olvides テ・オルビデス 接・2 単現(olvidarse)

v.pr(de+不定詞 〜するのを) 忘れる 「動詞句」

de hablar; デ・アブラール 不定詞 v.i 話す 「動詞句」

lo que ロ・ケ pron. 〜ということだ

tiene テイエネ 3 単現(tener)v.t 〜がある、持っている 「動詞」

9 Historia de la Tortuga Artificial

una moraleja	ウナ・モラレハ	n.f 教訓	「目的語」
de la que	デ・ラ・ケ	adv. それを～する	「形容詞節」
no me puedo acordar	ノ・メ・プエト・アコルダール	1 単現・可能・否定(acordarse)	
v.pr(de を)		思い出せない	「動詞句」
ahora,	アオラ	adv. 今は	「副詞」
pero	ペロ	conj. しかし	
que	ケ	pron (moraleja の代用) それは	「主語」
me	メ	pron 私の	「間接目的語」
volverá	ホルベラ	3 単末(volver)v.i(a に) 戻ってくる	「動詞」
a la memoria	ア・ラ・メモリア	adv. 記憶に	「副詞句」
dentro de un instante.	デントロ・デ・ウン・インスタンテ	adv. 少し経てば	「副詞句」

「教訓なんて、無いんじゃないですか？」と、アリスは思い切って言ってみた。

-Puede que no tenga ninguna moraleja -se atrevió a observar Alicia.

《Puede que 「動詞句」「目的語」》, 「動詞句」「主語」

-Puede que プエデ・ケ conj. ～するかもしれない

no tenga ノ・テンガ 接・3 単現・推量(tener)v.t ないだろう 「動詞句」

ninguna moraleja ニンガナ・モラレハ n.f 教訓は～なにも 「目的語」

-se atrevió a observar セ・アトレビオ・ア・オブセルバル 3 単点・思い切って

(atreverse a+不定詞 observar)v.pr 思い切って指摘してみた 「動詞句」

Alicia. アリシア n.f アリスは 「主語」

「ばかばかしい！信じられないだって！」と、公爵夫人は続けた。「どんなことにも教訓はある。見つけられれば。」こう言って、親しげにアリスに身を寄せてきた。

-¡Bah! ¡Bah! No lo creas -continuó la Duquesa; todo tiene su moraleja, si sabe uno descubrirla. -Y se apretujó un poco más íntimamente con Alicia mientras hablaba.

《「間投」 | 「動詞句」「目的語」「動詞句」》, 「動詞」「主語」,

《「主語」「動詞」「目的語」「副詞節」》, Y 「動詞句」「副詞句」「間接目的語」「副詞句」

-¡Bah! ¡Bah! バー・バー int. 馬鹿なことを言うな！ 「間投」

No ...creas ノ...クレアス 2 単現・否定(creer)v.t 信じないだって！ 「動詞句」

lo pron それを 「目的語」

-continuó コンチヌオ 3 単点(continuar)v.i 続けた 「動詞」

la Duquesa; ラ・ドゥケサ n.f 公爵夫人は 「主語」

todo トド pron どんなことでも 「主語」

tiene テイエネ 3 単現(tener)v.t ～がある 「動詞」

su moraleja, ス・モラレハ n.f 教訓 「目的語」

9 Historia de la Tortuga Artificial

si シ conj. もし～ならば	「副詞節」
sabe ...descubrir-la. サヘ...デスイクブリル・ラ 3 単現・可能(saber+不定詞 descubrir+la)	
v.t それを見つけることが出来る	「動詞句」
uno ウノ pron 人が	「主語」
-Y イ conj. そして	
se apretujó セ・アプレトゥホ 3 単点(apretujarse)v.pr 身を寄せてきた	「動詞句」
un poco más íntimamente ウン・ポ・コ・マス・インチャメンテ adv. 少し親密に	「副詞句」
con Alicia コン・アリシア adv. アリスに対して	「間接目的語」
mientras ミエンTRAS conj. ～しながら	「副詞句」
hablaba. アブラハ 3 単線(hablar)v.i 話す	「動詞」

アリスは公爵夫人がこんな近くにいることが気に入りませんでした。まず公爵夫人がひどくブスだったからで、次に、アリスの肩に顎を乗せられる身長で、問題は顎の先が嫌になるほど尖っていたからです。

Tener a la Duquesa tan cerca no era precisamente lo que más le gustaba a Alicia, pues, primero: era sumamente fea; y segundo: porque tenía una estatura que le permitía apoyar la barbilla sobre el hombro de Alicia, y se trataba de una barbilla particularmente puntiaguda, por lo que resultaba muy incómoda.

	「主語」「動詞句」「補語」; 「副詞節」; y 「副詞」「副詞節」
Tener テネル 不定詞 n. (友人が) いることは	「主語」
a la Duquesa ア・ラ・ドゥケサ n.f 公爵夫人が	「目的語」
tan cerca タン・セルカ adv. こんな近くに	「副詞句」
no era ノ・エラ 3 単線・否定(ser)v.i ～でなかった	「動詞句」
precisamente プレシサメンテ adv. まさしく、(否定文で) まったく～ない	「副詞」
lo que ロ・ケ pron ～ということ	「補語」
más マス adv. 特に	「副詞」
le レ pron アリスにとって	「間接目的語」
gustaba グスタハ 3 単線(gustar)v.i 気に入った	「動詞」
a Alicia, ア・アリシア adv. アリスにとって	「間接目的語」
pues, プ・エス conj. (理由) ～なので	「副詞節」
primero: プリメロ adv. 第一に、まず	「副詞」
era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった	「動詞」
sumamente fea; スマメンテ・フェア adj. 極めて醜い、すごくブスな	「補語」
y イ conj. そして	
segundo: セグント adv. 次に	「副詞」
porque ボルケ conj. ～なので、～だから	「副詞節」

9 Historia de la Tortuga Artificial

tenía テニア 3 単線(tener)v.t (身体的特徴) をしていた	「動詞」
una estatura ウ・エストウラ n.f 身長	「補語」
que ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
le レ pron 彼女の	「間接目的語」
permitía apoyar ヘルミチア・アポシヤール 3 単線・許可(permitir+不定詞 apoyar)	
v.t 持たせかけるのを許可する	「動詞句」
la barbilla ラ・バルビジャ n.f あごを	「直接目的語」
sobre el hombro ソブレ・エル・オンブロ adv. 肩の上に	「副詞句」
de Alicia, デ・アリシア adj. アリスの	「形容詞句」
y イ conj. そして	
se trataba セ・トラタハ 3 単線(tratarse)v.pr(de) 話は～だった	「動詞句」
de una barbilla デ・ウ・バルビジャ adv. あご	「補語」
particularmente puntiaguda, パルチクルメンテ・ポンチアグダ	
adj. すごく先が尖った	「形容詞句」
por lo que ポル・ロ・ケ conj. (結果) だから～する	「副詞節」
resultaba レスルタハ 3 単線(resultar)v.i ～の結果になる	「動詞」
muy incómoda. ムイ・コモダ adj. とても居心地が悪い	「補語」

しかし、失礼になりたくなかったので、犠牲になるようにじっと我慢した。

Pero como tampoco quería ser grosera, soportó tan bien como pudo el sacrificio.

Pero 「副詞節」, 「動詞」 「副詞句」

Pero ペロ conj. しかし	
como コモ conj. (理由) ～なので	「副詞節」
tampoco タンポコ adv. ～もまた～ない	「副詞」
quería ser クリア・セル 3 単線・願望(querer+不定詞 ser)	
v.i ～になりたくなかった	「動詞句」
grosera, グロセラ adj(grosero).f 失礼な、無作法な	「補語」
soportó ソポルト 3 単点(soportar)v.t 耐えた、我慢した	「動詞」
tan bien タン・ビエン adv. じっと、しっかりと	「副詞句」
como コモ conj. (類似) ～のように	「副詞節」
pudo プト 3 単点(poder)v.t ～できる	「動詞」
el sacrificio. エル・サクリフィシオ n.m 犠牲が	「主語」

9 Historia de la Tortuga Artificial

「試合はいくらかましに進んでいるみたいですね」と、アリスはただ言ってみた。

-Parece que la partida va algo mejor ahora -comentó Alicia por decir algo.

《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

-Parece パレセ 3 単現(parecer)v.i ~のように見える 「動詞」

que ケ conj. ~ということ 「補語」

la partida ラ・パルティダ n.f ゲームは、試合は 「主語」

va バ 3 単現(ir)v.i 進んでいる 「動詞」

algo mejor アルゴ・メル adv. いくらかましに 「副詞句」

ahora アオラ adv. 今の所 「副詞句」

-comentó コメント 3 単点(comentar)v.t 言った、意見を言った 「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

por decir algo. ポル・デシル・アルゴ adv. (目的) 何か言おうとして 「副詞句」

「そのようだ」と、公爵夫人は同意した。「そして、その教訓は『ああ、愛を求めてこの世は回る！』」

-Así es -afirmó la Duquesa-, y la moraleja de esto es...: «¡Oh! ¡Así gira el mundo tras el amor!».

《「補語」「動詞」》, 「動詞」「主語」,

《y 「主語」「動詞」: 『「感嘆」「副詞」「動詞」「主語」「副詞句』》

Así アシ adv. そのような 「補語」

es エス 3 単現(èssere)v.i ~である 「動詞」

-afirmó アフィモ 3 単点(afirmar)v.t 同意した 「動詞」

la Duquesa-, ラ・ドゥケサ n.f 公爵夫人は 「主語」

y イ conj. そして

la moraleja de esto ラ・モラレハ・デ・エスト n.f その教訓は 「主語」

es...: エス 3 単現(èssere)v.i ~である 「動詞」

«¡Oh! オー int. ああ！ 「感嘆」

¡Así アシ adv. そのように 「副詞」

gira ヒラ 3 単現(girar)v.i 回る 「動詞」

el mundo エル・ムント n.m この世は 「主語」

tras el amor!». トラス・エル・アモール adv. (空間) 愛を求めて 「副詞句」

9 Historia de la Tortuga Artificial

「誰か、言いましたよね？」と、アリスがつぶやいた。「皆が自分の役割をきっちりやれば、世の中はうまく回ると」

-Hay quien dijo -murmuró Alicia-, que el mundo giraría mejor si la gente no se metiera en lo que no le importa. 《「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」, 《「目的語」》
 -Hay アイ 3 単現・存在(haber)v.t ~がいる 「動詞」
 quien けん pron ~する人が 「目的語」
 dijo ティ 3 単点(decir)v.t 言っていた 「動詞」
 -murmuró ムルムロ 3 単点(murmurar)v.i つぶやいた 「動詞」
 Alicia-, アリシア n.f アリスが 「主語」
 que ケ conj. ~ということを 「目的語」
 el mundo エル・ムント n.m 世の中は 「主語」
 giraría ヒリア 3 単過未・推量(girar)v.i 回るものだ 「動詞」
 mejor メール adv. うまく 「副詞」
 si シ conj. (仮定) もし~ならば 「副詞節」
 la gente ラ・ヘンテ n.f 人々が 「主語」
 no se metiera ノ・セ・メテラ 接・3 単過・否定(meterse)
 v.pr(自分を en に) 入れなかった 「動詞句」
 en lo エン・ロ adv. ~に 「副詞句」
 que ケ conj. (主語) ~する 「形容詞節」
 no ...importa. ノ...イポルタ 3 単現・否定(importar)
 v.i 重要でない 「動詞句」
 le レ pron 彼にとって 「間接目的語」

「ああ、その通り！結局、同じ意味だ」と、公爵夫人は言って、アリスの肩にさらに強く尖った顎の先端を押し付けて付け加えました。「そしてこの教訓は、『意味に注意せよ、さすればおのずと韻はつく』」

-¡Ah! Bueno, después de todo, viene a decir lo mismo -aclaró la Duquesa hundiendo la afilada punta de su barbilla un poco más en el hombro de Alicia; y añadió-: Y la moraleja de esto es...: «Cuidate del sentido, que las rimas se cuidarán de sí mismas».
 《「応答」「副詞句」「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」 y 「動詞」,
 《Y「主語」「動詞」:『「動詞句」「間接目的語」、que「主語」「動詞句」「間接目的語」』》
 -¡Ah! Bueno, アー・ブエノ adv. ああ、その通り！ 「応答」
 después de todo, デスプエス・デ・トド adv. 結局、いずれにしても 「副詞句」
 viene a decir ビエネ・ア・デシル 3 単現・目的・結果(venir a+不定詞 decir)
 v.t 意味することになる 「動詞句」
 lo mismo ロ・ミモ pron 同じこと 「目的語」

9 Historia de la Tortuga Artificial

-aclaró アクラロ 3 単点(aclarar)v.t はっきりと言った	「動詞」
la Duquesa ラ・ドゥケサ n.f 公爵夫人は	「主語」
hundiendo ウンディエント 現在分詞・同時(hundir)adv. 打ち込んで、沈めて	「副詞句」
la afilada punta ラ・アフィダ・プンタ n.f 尖った先端を	「目的語」
de su barbilla デ・ス・バルビージャ adj. 顎の	「形容詞句」
un poco más ウン・ポ・コマス adv. 少し強く	「副詞句」
en el hombro エン・エル・オンブロ adv. 肩の上に	「副詞句」
de Alicia; デ・アリシア adj. アリスの	「形容詞句」
y イ conj. そして	
añadió: アニャディオ 3 単点(añadir)v.t 付け加えた	「動詞」
Y イ conj. そして	
la moraleja de esto ラ・モラレハ・デ・エスト n.f この教訓は	「主語」
es...: エス 3 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
«Cuidate クイダ・テ 命・2 単現(cuidarse)v.pr(de に、を) 注意しなさい	「動詞句」
del sentido, デル・センチド adv. 意味に	「間接目的語」
que ケ conj. 結果	
las rimas ラス・リマス pl(rima).n.f 韻は	「主語」
se cuidarán セ・クイダラン 3 複末(cuidarse)v.pr 注意するだろう	「動詞句」
de sí mismas». デ・シ・ミスマス adv. お互いを	「間接目的語」

「どれだけ教訓を見つけないの！」と、アリスは思った。

«¿Qué ganas de sacarle a todo una moraleja!», pensó Alicia.	《「感嘆」》, 「動詞」 「主語」
«¿Qué ganas ケ・ガナス pl(gana).n.f 何という願望	「感嘆」
de +不定詞 デ adv. (目的) ~するために	「副詞句」
sacarle サカルレ 不定詞 v.t 取り出す	「動詞句」
a todo una moraleja!», ア・トド・ウナ・モラレハ adv. 教訓ごとに	「間接目的語」
pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.t 考えた	「動詞」
Alicia.アリシア n.f アリスは	「主語」

9 Historia de la Tortuga Artificial

「どうして腰に手を回さないのかと考えているのは分かっている」と、間をおいてから、公爵夫人は言った；「その理由はあるがそこに持っているフラミンゴの機嫌がどうなのか疑っているからだ。実験してみようかね？」

-Seguro que estarás pensando que por que no te paso el brazo por la cintura -dijo la Duquesa tras una pausa; la razón es que tengo mis dudas sobre el humor de ese flamenco que llevas ahí. ¿Qué te parece si probamos el experimento?

《「補語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 《「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞句」「目的語」》

-Seguro セグロ adj. 確かな、確信した 「補語」

que ケ conj. ～ということを 「副詞節」

estarás pensando エスタラス・ペンサント 2 単未・進行形・推量(pensar)

v.t 考えている 「動詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

por que ポル・ケ adv. どうして 「副詞句」

no ...paso ノ...パソ 1 単現・否定(pasar)v.t 動かさない「動詞句」

te テ pron お前の 「間接目的語」

el brazo エル・ブラソ n.m 腕を 「直接目的語」

por la cintura ポル・ラ・シントウラ adv. (空間) 腰辺りに 「副詞句」

-dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

la Duquesa ラ・ドゥケサ n.f 公爵夫人が 「主語」

tras una pausa; トラス・ウナ・パウサ adv. 間をおいてから 「副詞句」

la razón ラ・ラソ n.f その訳は、理由は 「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

que ケ conj. ～ということ 「補語」

tengo テンコ 1 単現(tener)v.t ～がある 「動詞」

mis dudas ミス・ドゥダス pl(duda).n.f 疑い、疑惑 「目的語」

sobre ソブレ prep (主題) ～に関して 「副詞句」

el humor de ese flamenco エル・ウモール・デ・エセ・フラメンコ

n.m そのフラミンゴの機嫌 「目的語」

que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

llevas ジェハス 2 単現(llevar)v.t 持っている 「動詞」

ahí. アイ adv. そこに 「副詞」

¿Qué te parece si + 直説法一人称複数 ケ・テ・パレセ・シ 1 複現・勧誘(qué le parece si)

v.t ～しませんか？ 「動詞句」

probamos プロバモス 1 複現・疑問文(probar)v.t 試す 「動詞句」

el experimento? エル・エクスペリメント n.m 実験を 「目的語」

9 Historia de la Tortuga Artificial

「つつくかもしれませんよ」と、アリスは慎重に言い返した。そんな実験を試して欲しくなかったから。

-A lo mejor le da un picotazo replicó Alicia con cautela, sin ninguna gana de intentar el experimento.

《「副詞句」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」
 -A lo mejor+直説法 ア・ロ・メル adv. (危惧) たぶん、おそらく 「副詞句」
 le レ pron あなたに 「間接目的語」
 da ダ 3 単現(dar)v.t 与える 「動詞」
 un picotazo ウン・ピコタソ n.m くちばしによる打撃を 「直接目的語」
 replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.t 言い返した 「動詞」
 Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
 con cautela, コン・カテラ adv. 慎重に、用心して 「副詞句」
 sin ninguna gana シン・ニグナ・ガナ adv. 何も願望を持たずに 「副詞句」
 de intentar デ・インテナル 不定詞・目的 adj. ～を試したいという 「形容詞句」
 el experimento. エル・エクスペリメント n.m その実験を 「目的語」

「その通り！」と、公爵夫人は認めた；「フラミンゴとカラシはどちらもヒリヒリする。この教訓は、《神が彼らを育て、彼らは集まる》」

-Muy cierto concedió la Duquesa; los flamencos y la mostaza, ambos pican; y la moraleja de esto es...: «Dios los cría y ellos se juntan».

《「応答」》, 「動詞」「主語」, 《「主語」「副詞」「動詞」；
 y 「主語」「動詞」『「主語」「目的語」「動詞」 y 「主語」「動詞句』』
 -Muy cierto マイ・シエルト adv. その通り！ 「応答」
 -concedió コンセディオ 3 単点(conceder)v.t 認めた 「動詞」
 la Duquesa; ラ・ドゥケサ n.f 公爵夫人は 「主語」
 los flamencos ロス・フラメンコス pl(flamenco)n.m フラミンゴは 「主語」
 y イ conj. そして
 la mostaza, ラ・モスタサ n.f (料理) カラシは 「主語」
 ambos アンボス adv. どちらも 「副詞」
 pican; ピカン 3 複半(picar)v.i ヒリヒリする 「動詞」
 y イ conj. そして
 la moraleja de esto ラ・モラレハ・デ・エスト n.f この教訓は 「主語」
 es...: エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」
 «Dios デイオス n.m 神は 「主語」
 los ロス pron.pl それらを 「目的語」
 cría クリア 3 単現(criar)v.t 育てる 「動詞」

9 Historia de la Tortuga Artificial

y イ conj. そして

ellos エジョス pron.pl 彼らは 「主語」

se juntan». セ・フタン 3 複現・相互(juntarse)v.pr 集まる 「動詞句」

「ただ、カラシは正確には鳥じゃないですけど」と、アリスは訝し気に指摘した。

-Sólo que la mostaza no es precisamente un pájaro -observó Alicia un poco extrañada.

《Sólo que 「主語」「動詞句」「補語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

-Sólo que +直説法 ソ・ケ conj. ただし～、しかし～

la mostaza ラ・モスタサ n.f カラシは 「主語」

no es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ～でない 「動詞句」

precisamente プレシサメンテ adv. 正確に 「副詞」

un pájaro ウン・パ・ハロ n.m 鳥 「補語」

-observó オブ・セルボ 3 単点(observar)v.t 指摘した 「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

un poco extrañada. ウン・ポ・コ・エクストラニャダ adv. 少し不思議そうに 「副詞句」

extrañada エクストラニャダ 過去分詞.f(extrañar)adv. 不思議に思っ、訝しげに

「いつも通り、その通り！」と、公爵夫人は強く言った。「何事も正確に言うやつだ」

-Tienes razón, como siempre insistió la Duquesa, ¡Qué bien dices las cosas!

《「動詞」「目的語」「副詞句」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞句」「動詞」「目的語」》

-Tienes テイエネス 2 単現(tener)v.t ～がある 「動詞」

razón, ラソン n.f 理由 「目的語」

como siempre コモ・シエンプレ adv. いつも通り 「副詞句」

-insistió インシスト 3 単点(insistir)v.t 強く言った 「動詞」

la Duquesa, ラ・ドゥケサ n.f 公爵夫人は 「主語」

¡Qué bien ケ・ビエン adv. なんと正確に 「副詞句」

dices デイエス 2 単現(decir)v.t 言う 「動詞」

las cosas! ラス・コサス pl(cosa).n.f 何事も 「目的語」

「鉱物だと思いますが」と、アリスは言った。

-Me parece que es un mineral -dijo Alicia.

《「間接目的語」「動詞」「主語」》, 「動詞」「主語」

-Me メ pron 私には 「間接目的語」

parece パレセ 3 単現・推量(parecer)v.i ～に思われる 「動詞」

que ケ conj. ～ということは 「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

9 Historia de la Tortuga Artificial

un mineral	ウン・ミネラル	n.m	鉱物	「補語」
-dijo	ディョ	3 単点(decir)v.t	言った	「動詞」
Alicia.	アリシア	n.f	アリスは	「主語」

「もちろん、その通り」と、公爵夫人は同意した。彼女は何でもアリスの言うことに賛成するみたいです；「この近くに、カラシの大きな鉱山がある。そしてその教訓は、『私の繁栄があなたの繁栄を破壊する』」

-Pues claro que sí -asintió la Duquesa, que parecía dispuesta a estar en todo de acuerdo con Alicia; cerca de aquí hay una gran mina de mostaza; y la moraleja de esto es...: «Mi medro mina el tuyo».

《Pues 「感嘆」》, 「動詞」「主語」, 「主語」「動詞」「補語」,

《「副詞句」「動詞」「目的語」; y 「主語」「動詞」「主語」「動詞」「目的語」》

-Pues	プエス	conj.	(肯定的に文をつないで) そうだ、その通り	
claro que sí	クラロ・ケ・シ	adj.	もちろんそうだ	「感嘆」
-asintió	アシンチオ	3 単点(asentir)v.i	同意した	「動詞」
la Duquesa,	ラ・ドゥケサ	n.f	公爵夫人は	「主語」
que	ケ	pron	(主語: Duquesa の代用) 彼女は	「主語」
parecía	パレシア	3 単線(parecer)v.i	〜のようだ	「動詞」
dispuesta	ディエスプエスタ	adj(dispuesto).f(a+不定詞)	〜する用意のできた	「補語」
a estar	ア・エスター	adv.	〜でいる	「動詞句」
en todo de acuerdo	エン・トド・デ・アケルト	adv.	全てに賛成の	「補語」
estar de acuerdo en+事			「事に賛成する、意見が一致している」	
con Alicia	コン・アリシア	adv.	アリスと	「副詞句」
cerca de aquí	セカ・デ・アキ	adv.	この近くに	「副詞句」
hay	アイ	3 単現(haber)v.t	〜がある	「動詞」
una gran mina	ウナ・グラン・ミナ	n.f	大きな鉱山が	「目的語」
de mostaza	デ・モスタサ	adj.	カラシの	「形容詞句」
y	イ	conj.	そして	
la moraleja de esto	ラ・モラレハ・デ・エスト	n.f	この教訓は	「主語」
es...	エス	3 単現(ser)v.i	〜である	「動詞」
«Mi medro	ミ・メトロ	n.m	私の繁栄が	「主語」
mina	ミナ	3 単現(minar)v.t	徐々に破壊する	「動詞」
el tuyo».	エル・トゥヨ	pron	あなたの繁栄を	「目的語」

9 Historia de la Tortuga Artificial

「ああ！、分かった！」と、アリスは叫んだ。彼女は公爵夫人の最後のセリフを聞いていませんでした。「植物だわ；そうは見えないけど、植物だわ」

-¡Ah! ¡Ya me acuerdo! -exclamó Alicia, que no había prestado atención a este último comentario-. Es un vegetal; no lo parece, pero lo es.

《「感嘆」「副詞」「動詞句」》, 「動詞」「主語」,

「主語」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」,

《「動詞」「補語」; 「動詞句」「補語」「動詞句」, pero 「補語」「動詞」》

-¡Ah! アー int. ああ！ 「感嘆」

¡Ya やー adv. もう、すでに 「副詞」

me acuerdo! メ・アクエルト 1 単現(acordarse)v.pr 分かった！ 「動詞句」

-exclamó エクスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ、声を上げた 「動詞」

Alicia, アリシア n.f アリスは 「主語」

que ケ pron アリスは 「主語」

no había prestado ノ・アビ・ア・プレスタト 3 単線・完了形・否定(prestar)v.t 貸さなかった「動詞句」

atención アテンション n.f 注意を 「直接目的語」

a este último comentario ア・エス・テ・ウルチモ・コメンタリオ adv. この最後のせりふに「間接目的語」

Es エス 3 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」

un vegetal; ウン・ベ・ヘタル n.m 植物 「補語」

vegetal ベ・ヘタル n.m 植物、([複]) 野菜

no ...parece, ノ...パレセ 3 単現・否定(parecer)v.i 〜に見えない 「動詞句」

lo ロ pron 植物 「補語」

pero ヘロ conj. しかし

lo ロ pron 植物 「補語」

es. エス 3 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」

「その通りじゃ！」と、公爵夫人が答えた。「全面的に同意する。そしてその教訓は、『自分らしくしよう』」

-¡Qué razón tienes! -repuso la Duquesa-. Estoy totalmente de acuerdo; y la moraleja de esto es...: «Procura ser como pretendes aparecer»...,

《「目的語」「動詞」》, 「動詞」「主語」,

《「動詞」「補語」; y 「主語」「動詞」: 「動詞句」「副詞句」》

-¡Qué razón ケ・ラソン n.f なんていう説明を 「目的語」

賛同を表わす

tienes! テイエネス 2 単現(tener)v.t 持っている 「動詞」

-repuso レプソ 3 単点(reponer)v.t 答えた 「動詞」

la Duquesa-. ラ・トウケサ n.f 公爵夫人が 「主語」

9 Historia de la Tortuga Artificial

Estoy エストイ 1 単現(estar)v.i	～である	「動詞」
totalmente トタルメンテ adv.	全面的に	「副詞」
de acuerdo デ・アクエルト adj.	同意した	「補語」
y イ conj.	そして	
la moraleja ラ・モラレハ n.f	教訓は	「主語」
de esto デ・エスト adj.	その	「形容詞句」
es... エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
«Procura ser フロクラ・セル 命・2 単現(procurar+不定詞 ser)		
v.i	～でいるように努めよ	「動詞句」
como pretendes aparecer»... コモ・プレテンデス・アパレセル		
adv. (様態)	自分がそうであるようにする	「副詞句」
pretender プレテンデル v.t	～しようとする、(+不定詞) ～しようとする	
aparecer アパレセル v.i	現れる、姿を見せる	

または、もっと明確に言えば、「自分は他人に見えるかもしれない存在、あるいは自分とは違うものに見えたかもしれない存在とは異なると、決して想像してはならない」

o si quieres que lo diga con mayor claridad: «Nunca te imagines ser diferente de lo que a los demás pudieras parecer o hubieses parecido que fueras si les hubieras o hubieses parecido que no fueras lo que eres».		o 「副詞節」：《「副詞」「動詞句」「目的語」》
o オ conj.	または	
si シ conj.	もし～ならば	「副詞節」
quieres キエレス 2 単現(querer)v.t	望む	「動詞」
que ケ conj.	～ということを	「目的語」
lo ロ pron	教訓を	「目的語」
diga デイカ 接・1 単現(decir)v.t	述べる	「動詞」
主節の動詞が「願望・依頼・勧告・命令・許可・禁止」などを表すときは接続法を使う。		
con mayor claridad: コン・マヨール・クラリダ		
adv. (方法)	もっと明快に、簡単に	「副詞句」
«Nunca ヌンカ adv.	決して～ない	「副詞」
te imagines テ・イマヒネス 命・2 単現(imaginarse)v.pr	想像する	「動詞句」
ser セル 不定詞 n.	～であることを	「目的語」
diferente デイフェレンテ adj.	異なった	「補語」
de lo デ・ロ adv. (比較)	何かとは	「副詞句」
que ケ conj. (同格)	～ということ	「形容詞節」
a los demás ア・ロス・デマス		
adv.	他人にとって	「間接目的語」

9 Historia de la Tortuga Artificial

pudieras parecer プデイエラス・パレセル 接・2 単過・推量(poder+不定詞)

v.i 〜に見えるかもしれない 「動詞句」

o オ conj. または

hubieses parecido ウビエス・パレト 接・2 単過・完了形・推量(parecer)

v.i 〜に見えていたかもしれない 「動詞句」

que ケ conj. 〜ということ 「補語」

fueras フェラス 接・2 単過(ser)v.i 〜だった 「動詞」

si シ conj. もし〜ならば 「副詞節」

les レス pron 人々に 「間接目的語」

hubieras o hubieses parecido ウビエス・オ・ウビエス・パレト 接・2 単過・完了形(parecer)

v.i 〜に見えたかもしれない 「動詞句」

que ケ conj. 〜ということ 「補語」

no fueras ノ・フェラス 接・2 単過・否定(ser)

v.i 〜でない 「動詞句」

lo ロ pron それ 「補語」

que eres». ケ・エス adj. 自分であるという

「形容詞節」

「それはもっと良く分かったと思いますけど」と、アリスはかなり気を遣って言った。「もし書かれたものを見たら。でも、そんな風に言われると、話の道筋について行けません」

-Creo que eso lo comprendería mejor -dijo Alicia con mucha delicadeza-, si lo viera escrito, pero dicho así no puedo seguir el hilo.

《「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」,

《「副詞節」, pero 「副詞句」「動詞句」「目的語」》

-Creo クオ 1 単現(creer)v.t. 〜と思う 「動詞」

que ケ conj. 〜ということを 「目的語」

eso エソ pron それは、今の言葉は 「主語」

lo ロ pron それを 「目的語」

comprendería コンプレンデリア 3 単過未・推量(comprender)

v.t. 分かっただろうと思う 「動詞」

mejor メホル adv. もっとよく 「副詞」

-dijo デイホ 3 単点(decir)v.t. 言った 「動詞」

Alicia アリシア n.f. アリスは 「主語」

con mucha delicadeza-, コン・ムチャ・デリカデサ adv. (手段) とても気配りして 「副詞句」

si シ conj. もし〜ならば 「副詞節」

lo ロ pron それを 「目的語」

9 Historia de la Tortuga Artificial

viera ビエラ 接・1 単過(ver)v.t (仮定) 見た	「動詞」
escrito, エスクリト adj. 書かれた	「補語」
pero ペロ conj. しかし	
dicho así デイチョ・アシ pron そんな風に言われると	「副詞句」
no puedo seguir ノ・プエト・セギール 1 単現・可能・否定(poder+不定詞 seguir)	
v.t 理解できない、ついて行けない	「動詞句」
el hilo. エル・イロ n.m 話の道筋を	「目的語」

「それは、私がその気になれば言えることに比べれば大したことではない」と、公爵夫人は大喜びで言い返した。

-¡Eso no es nada comparado con lo que podría decir si quisiera! -replicó la Duquesa muy complacida.	《「主語」「動詞句」「補語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」
-¡Eso エソ pron それは	「主語」
no es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i 〜でない	「動詞句」
nada comparado ナダ・コンプラト pron(con と) 比較になるもの〜でない	「補語」
con lo que コン・ロ・ケ adv. (比較) 〜するものと	「形容詞節」
podría decir ポドリャ・デシール 1 単過未・可能・推量(poder+不定詞 decir)	
v.t 言うことが出来るだろう	「動詞句」
si quisiera! シ・キエラ adv. 私が望めば、その気になれば	「副詞節」
-replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.t 言い返した	「動詞」
la Duquesa ラ・トウケサ n.f 公爵夫人は	「主語」
muy complacida. ムイ・コンプラシタ adj(complacido).f 大喜びで	「副詞句」

「お願いですから！もっと長い言葉を探さないでください」と、アリスはさえぎった。

-¡Por Dios! ¡No se moleste en buscar más palabras! -atajó Alicia.	《「呼びかけ」 「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」
-¡Por Dios! ポル・ディオス adv. お願いだから！	「呼びかけ」
¡No se moleste ノ・セ・モステ 命・3 複現・勧誘・否定(molestarse)	
v.pr(en+不定詞) わざわざ〜しないでください	「動詞句」
en buscar エン・ブスカー 不定詞 v.t 探す	「動詞句」
más palabras! マス・パラブラス pl(palabra).n.f もっと長い言葉を	「目的語」
-atajó アタホ 3 単点(atajar)v.t さえぎった	「動詞」
Alicia. アリシア n.f アリスは	「主語」

英語版では

'Pray don't trouble yourself to say it any longer than that,' said Alice.

9 Historia de la Tortuga Artificial

「馬鹿馬鹿しい！私の事は心配しないでください」と、公爵夫人が言った。「これまでに言ったことは全てあなたにプレゼントします」

-¡Bah! Por mí no te apures -aseguró la Duquesa-; te regalo todo lo que he dicho hasta ahora. 《「間投」 | 「間接目的語」「動詞句」》, 「動詞」「主語」, 《「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》

-¡Bah! バー int. 馬鹿らしい！ 「間投」
 Por mí ポル・ミ adv. 私のことを 「間接目的語」
 no te apures ノ・テ・アプレス 命・2 単現・否定(apurarse)v.pr 心配しないで下さい 「動詞句」
 -aseguró アセグロ 3 単点(asegurar)v.t はっきりと言った 「動詞」
 la Duquesa-; ラ・ドゥケサ n.f 公爵夫人は 「主語」
 te テ pron あなたに 「間接目的語」
 regalo レガロ 1 単現(regalar)v.t 贈る、プレゼントする 「動詞」
 todo lo トド・ロ pron すべてのことを 「直接目的語」
 que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 he dicho エ・デ・イチョ 1 単現・完了形(decir)v.t 言った 「動詞句」
 hasta ahora. アスタ・アホラ adv. これまでに 「副詞句」

「えー！なんて安っぽい贈り物なの」と、アリスは心の中で思った。「この種の贈り物をする習慣がなくてよかったわ！」だが、敢えて声に出しては言わなかった。

«¡Vaya regalito! -pensó Alicia para sus adentros-. ¡Menos mal que la gente no acostumbra hacer regalos de cumpleaños de este tipo!» Pero no se atrevió a decirlo en voz alta.

《「間投」「応答」》, 「動詞」「主語」「副詞句」,
 《Menos mal que 「主語」「動詞句」「目的語」》, Pero 「動詞句」「副詞句」
 «¡Vaya バヤ int. (驚き) えー、なんと 「間投」
 regalito! レガリト n.m(regalo + -ito) ちっぽけな贈り物、安っぽい贈り物 「応答」
 -pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.i 思った 「動詞」
 Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
 para sus adentros-. パラ・ス・アデントロス adv. 内心そと、こころ密かに 「副詞句」
 adentoro アデントロ n.m ([複]) 内心、adv. 中で
 ¡Menos mal que メノ・マル・ケ conj. ～することは良い、悪くない
 la gente ラ・ヘンテ n.f 人が 「主語」
 no acostumbra hacer ノ・アコストウインブラ・アセール 3 単現・否定・習慣(acostumbrar+不定詞 hacer)
 v.t ～をする習慣でない 「動詞句」
 regalos de cumpleaños レガロス・デ・クンプレアños n.f 誕生日のプレゼントを 「目的語」
 de este tipo! デ・エステ・タイプ° adj. この種の 「形容詞句」

9 Historia de la Tortuga Artificial

Pero ペロ conj. しかし

no se atrevió a decirlo ノセ・アトレビョ・ア・デシル・ロ 3 単点・敢えて・否定

(atreverse a+不定詞 decir+lo)v.pr 敢えて言わなかった 「動詞句」

en voz alta. エン・ボス・アルタ adv. 声に出して 「副詞句」

「また考えているのかい？」と、公爵夫人は尋ね、アリスの肩に鋭い顎を強く押し付けた。

-¿Pensando otra vez? -le preguntó la Duquesa, insistiendo un poco más con su afilada barbilla en el hombro de Alicia.

《「副詞句」》, 「間接目的語」 「動詞」 「主語」, 「副詞句」

-¿Pensando ペンサント 現在分詞・疑問文 adv. 考えているのか? 「副詞句」

otra vez? オトラ・ベス adv. また 「副詞句」

-le レ pron アリスに 「間接目的語」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

la Duquesa, ラ・ドゥケサ n.f 公爵夫人が 「主語」

insistiendo インシスチエント 現在分詞・継続(insistir)v.t そして押し付けた 「副詞句」

un poco más ウン・ポコ・マス adv. (程度) さらに強く 「副詞句」

con su afilada barbilla コン・ス・アフィラダ・バルビージャ adv. (手段) 鋭い顎で 「副詞句」

en el hombro エン・エル・オンブロ adv. 肩に 「副詞句」

de Alicia. デ・アリシア adj. アリスの 「形容詞句」

「私にだって、i考える権利くらいあります」と、アリスはむっとしてこう答えました。もう公爵夫人には耐えられなくなってきたからです。

-Tengo derecho a pensar -contestó ésta con sequedad, pues empezaba a no aguantarla más.

《「動詞」 「目的語」》, 「動詞」 「目的語」 「副詞句」, 「副詞節」

-Tengo テンゴ 1 単現(tener)v.t 〜がある 「動詞」

derecho デレチョ n.m 権利 「目的語」

a pensar ア・ペンサル 不定詞・目的 adj. 考えるための 「形容詞句」

-contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた 「動詞」

ésta エスタ pron これを 「目的語」

con sequedad, コン・セクタ adv. 無愛想に、淡々と 「副詞句」

pues プエス conj. (理由) 〜だから 「副詞節」

empezaba a no aguantarla エンペ・サハ・ア・ノ・アグアantarラ 3 単線・開始

(empezar a+不定詞)v.t 公爵夫人に耐えられなくなった 「動詞句」

más. マス adv. もう 「副詞」

9 Historia de la Tortuga Artificial

「考える権利と同様に」と、公爵夫人が言い返した。「豚にも飛ぶ権利がある。そしてその教...は」

-El mismo derecho a pensar replicó la Duquesa, que tienen los cerdos a volar; y la mo...

《「目的語」》, 「動詞」「主語」, 《「形容詞節」「動詞」「主語」「目的語」 y 「主語」》

-El mismo derecho a pensar エル・ミスマ・デレチョ n.m 考える権利と同じ権利を 「目的語」

-replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.t 言い返した 「動詞」

la Duquesa-, ラ・ドゥケサ n.f 公爵夫人が 「主語」

que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

tienen テニアン 3 複現(tener)v.t 持っている 「動詞」

los cerdos ロス・セルトス pl(cerdo).n.m 豚は 「主語」

a volar; ア・ボラル adj. 飛ぶ権利を 「目的語」

y イ conj. そして

la mo... ラ・モ n.f その教訓は 「主語」

しかしここまで話した時、そして、アリスが驚いたことに、公爵夫人の声が糸のように消えました。公爵夫人の大好きな、あの忌々しい『教訓』というセリフの直前だったというのに；そして、アリスと組んでいた夫人の手が明らかに震え出しました。

Pero al llegar a este punto, y con gran sorpresa de Alicia, la voz de la Duquesa se perdió en un hilo, incluso a pesar de que estaba a punto de recaer en su palabra favorita, la dichosa «moraleja»; y le empezó a temblar ostensiblemente el brazo que tenía cruzado con el de Alicia.

Pero 「副詞句」 y 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」；

y 「間接目的語」「動詞句」「副詞」「主語」

Pero ペロ conj. しかし

al llegar アル・ジエガール adv. ~に着いた時 「副詞句」

a este punto, ア・エステ・プント n.m この点に 「間接目的語」

y イ conj. そして

con gran sorpresa de Alicia, コン・グラン・ソルプレサ・デ・アリシア

adv. アリスが驚いたことに 「副詞句」

la voz de la Duquesa ラ・ボス・デ・ラ・ドゥケサ n.f 公爵夫人の声が 「主語」

se perdió セ・ペルティオ 3 単点(perderse)v.pr 消えた 「動詞句」

en un hilo, エン・ウン・イロ エン・ウン・イロ adv. 糸の中に 「副詞句」

incluso a pesar de que インクルソ・ア・ペサル・デ・ケ conj. ~であったというのに 「副詞節」

estaba a punto de recaer エスタバ・ア・プント・デ・レカエル 3 単線・直前

(estar a punto de+不定詞 recaer)v.i ~にまた入る直前だった 「動詞句」

en su palabra favorita, エン・ス・パラブラ・ファボリタ

adv. 彼女の好きなセリフに 「間接目的語」

9 Historia de la Tortuga Artificial

la dichosa «moraleja»; ラ・ディチョサ・モラレハ

n.f あの忌々しい『教訓』

「目的語」

y イ conj. そして

le レ pron 彼女の

「間接目的語」

empezó a temblar エンペゾ・ア・テンブレール 3 単点・開始(empezar a+不定詞 temblar)

v.i 震え出した

「動詞句」

ostensiblemente オステンシブレメンテ adv. 露骨に

「副詞」

el brazo エル・ブラソ n.m 腕が

「主語」

que ケ pron (主語) ~する

「形容詞節」

tenía テニア 3 単線(tener)v.t(+過去分詞) (状態) ~していた

「動詞」

cruzado クルサド 過去分詞(cruzar)adj. (腕を) 組んだ

「補語」

con el de Alicia. コン・エル・デ・アリシア adv. アリスの腕と

「副詞句」

目を上げると、アリスたちの正面に腕を組んで、嵐を予感させるような恐ろしいしかめっ面で眉に皺を寄せて立っている女王がいるのに気づいた。

Levantó los ojos y se encontró con la Reina parada enfrente de ellas con los brazos cruzados y el cejo fruncido en una mueca feroz que presagiaba tormenta.

「動詞」「目的語」 y 「動詞句」「間接目的語」

Levantó レバント 3 単点(levantar)v.t 上げた

「動詞」

los ojos ロス・オホス pl(ojo).n.m 両目を

「目的語」

y イ conj. そして

se encontró セ・エンコントロ 3 単点(encontrarse)v.pr(con を) 見つけた、分かった 「動詞句」

con la Reina コン・ラ・レイケ adv. 公爵夫人を

「間接目的語」

parada パラダ 過去分詞(parar)adj. 立った

「形容詞句」

enfrente de ellas, エンフレンテ・デ・エシヨス

adv. アリスたちの正面に

「副詞句」

con コン prep (様態) ~の様子で

「副詞句」

los brazos ロス・ブラソス pl(brazo).n.m 両腕を 「目的語」

cruzados クルサドス

adj.pl.m 交差した、(腕を) 組んだ 「形容詞」

y イ conj. そして

el cejo エル・セホ n.m 眉

「目的語」

fruncido フルンシド 過去分詞(fruncir)

adj. 皺を寄せた

「形容詞句」

en una mueca エン・ウナ・ムエカ

adv. しかめっ面に

「副詞句」

9 Historia de la Tortuga Artificial

feroz フェロス

adj. 狂暴な 「形容詞」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

presagiaba プレサハバ 3 単線・時制の一致(presagiar)

v.t 前兆を示す 「動詞」

tormenta. トルメンタ n.f 嵐 「目的語」

「素晴らしい天気でございます、陛下！」と、公爵夫人は弱々しく震える声で話かけた。

-¡Hermoso día, Majestad! -empezó a decir la Duquesa, con voz poco animosa y temblorosa.

《「挨拶」「呼びかけ」》, 「動詞句」「主語」, 「副詞句」

-¡Hermoso día, エルモソ・デ・ア adv. 素晴らしい日、天気 「挨拶」

Majestad! マスタ n.f (敬称) 陛下 「呼びかけ」

-empezó a decir エンペ・ソ・ア・デ・シール 3 単点・開始(empezar a+不定詞 decir)

v.t 話始めた 「動詞句」

la Duquesa, ラ・ドゥケサ n.f 公爵夫人が 「主語」

con voz コン・ボス adv. (手段) 声で 「副詞句」

poco animosa ホコ・アニモサ adj.f 弱々しい 「形容詞句」

y イ conj. そして

temblorosa. テンブ・ロサ adj.f 震える 「形容詞」

「さて、物事が明らかになっているか見ようじゃないか！」と、女王は地団太を踏んで怒鳴った。「二つの内一つを：お前がここから消え失せるか、お前の頭が切り落とされるか。しかも、まだ喋れるうちにさっさと好きなほうを選べ！」

-¡Vamos a ver si ponemos las cosas en claro! -rugió la Reina, dando una patada en el suelo mientras hablaba. Una de dos: ¡u os desvanecéis de aquí en cuerpo y alma o perdéis la cabeza! ¡Y eso antes de que pueda decir esta boca es mía! Así que ¡escoged!

《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」,

《「目的語」: 「動詞句」「副詞句」 o 「動詞」「目的語」

Y 「目的語」「副詞節」 | Así que 「動詞」》

-¡Vamos a ver バモス・ア・ベール 1 複現・近接未来・勧誘(ir a+不定詞 ver)

v.t 見ようじゃないか 「動詞句」

si シ conj. ～かどうかということ 「目的語」

ponemos ポネモス 1 複現(poner)v.t(SVOC) ～にしている 「動詞」

las cosas ラス・コサス pl.n.f 物事を 「目的語」

en claro! エン・クラロ adv. 明らかに 「補語」

-rugió ルオ 3 単点(rugir)v.i 吠えた、怒鳴った 「動詞」

9 Historia de la Tortuga Artificial

la Reina, ラ・レイナ n.f	女王が	「主語」
dando ダント 現在分詞(dar)adv.	(動作を) しながら	「副詞句」
una patada ウナ・パタダ n.f	一蹴り	「目的語」
en el suelo エン・エル・スエロ adv.	地面に	「副詞句」
mientras hablaba-. ミエントラス・アブラバ adv.	言いながら	「副詞節」
Una de dos: ウナ・デ・トス pron	二つの内一つを	「目的語」
¡u ウ conj.	(o+母音の時) または	
os desvanecéis オス・デスバセイス 2 複現(desvanecerse)v.pr	消える	「動詞句」
de aquí デ・アキ adv.	ここから	「副詞句」
en cuerpo y alma エン・ケルポ・イ・アルマ adv.	身も心も、すっかり	「副詞句」
o オ conj.	または	
perdéis ヘルデイス 2 複現(perder)v.t	失う	「動詞」
la cabeza! ラ・カベサ n.f	頭を	「目的語」
¡Y イ conj.	そして、しかも	
eso エソ pron	そしてそれを	「目的語」
antes de que アンテス・デ・ケ conj.	～する前に	「副詞節」
pueda decir プエダ・デシール 接・3 単現・可能(poder+不定詞 decir)		
v.t	言える	「動詞句」
esta boca エスタ・ボカ n.f	この口は～ということ	「目的語」
es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
mía! ミア pron	自分のもの	「補語」
Así que アシ・ケ conj.	従って	
¡escoged! エスコヘット 命・2 複現(escoger)v.t	選べ!	「動詞」

公爵夫人は好きな方を選び、急いで走り去った。

La Duquesa optó y salió corriendo de estampía.

		「主語」「動詞」 y 「動詞」「副詞句」
La Duquesa ラ・ドゥケサ n.f	公爵夫人は	「主語」
optó オプト 3 単点(optar)v.i	選んだ	「動詞」
y イ conj.	そして	
salió サリオ 3 単点(salir)v.i	出て行った	「動詞」
corriendo コリエント 現在分詞 adv.	(手段) 走って	「副詞句」
de estampía. デ・エスタンピア adv.	いそいで	「副詞句」

9 Historia de la Tortuga Artificial

「さあ、ゲームを続けよ」と、女王が言ったが、アリスはあまりにも恐ろしくて言い返せなかったの、女王の後についてクロケー場の方へゆっくり進んだ。

-Continuemos jugando -dijo entonces la Reina, y como Alicia estaba demasiado asustada para replicar, la siguió lentamente hacia el campo de juego.

《「命令」》, 「動詞」「副詞」「主語」, y 「副詞節」, 「目的語」「動詞」「副詞句」

-Continuemos jugando コンチヌエモス・フガント 接・1 複現・継続・勧誘

(continuar+現在分詞 jugar)v.i ゲームを続けるぞ 「命令」

-dijo ディョ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

entonces エントネス adv. それから 「副詞」

la Reina, ラ・レイナ n.f 女王が 「主語」

y イ conj. そして

como コモ conj. (理由) ~なので 「副詞節」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ~だった 「動詞」

demasiado asustada デマシアト・アススタダ adj. あまりにも恐ろしい 「補語」

para パラ prep (結果) それで~する 「副詞句」

replicar, レプリカル 不定詞 v.t 言い返す 「動詞」

la ラ pron.f 女王に 「目的語」

siguió シギョ 3 単点(seguir)v.t ついて行った 「動詞」

lentamente レンタメンテ adv. ゆっくり 「副詞」

hacia アシア prep ~の方へ 「副詞句」

el campo エル・カンポ n.m グランド 「目的語」

de juego. デ・フエゴ adj. ゲームの、試合の 「形容詞句」

他の客たちは女王の不在を利用して日陰で休んでいた、しかし女王が現れるのを見た途端に自分の持ち場に急いで戻った：女王は少しでも怠けたら命に係わると言っただけだった。

Los demás invitados habían aprovechado la ausencia de la Reina para descansar a la sombra, pero tan pronto la vieron aparecer se apresuraron a volver a sus puestos: la Reina se limitó a comentar que el más leve descuido les costaría la vida.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」, pero 「副詞句」「目的語」「動詞」「補語」

「動詞句」「副詞句」: 「主語」「動詞句」「目的語」

Los demás ロス・デマス adj.pl その他の 「形容詞句」

invitados インビタドス pl(invitado).n.m ゲストは、客は 「主語」

habían aprovechado アビアン・アプ ロベチャト 3 複線・完了形(aprovechar)

v.t 利用していた 「動詞句」

la ausencia ラ・アウセンシア n.f 不在を 「目的語」

9 Historia de la Tortuga Artificial

de la Reina テ・ラ・レイ	adj. 女王の	「形容詞句」
para descansar パラ・デスカンサル	不定詞・手段 adv. 休むことで	「副詞句」
a la sombra, ア・ラ・ソムブラ	adv. 日陰で	「副詞句」
pero ペロ	conj. しかし	
tan pronto タン・プロント	adv. ～するやいなや	「副詞句」
la ラ	pron.f 女王を	「目的語」
vieron ビエロン	3 複点・知覚動詞(ver)v.t 見た	「動詞」
aparecer アパレセル	不定詞・la の動作 v.i 現れる	「補語」
se apresuraron a volver セ・アプレスラロン・ア・ボルベル	3 複点・急いである	
(apresurarse a+不定詞 volver)v.pr	急いで戻った	「動詞句」
a sus puestos: ア・ス・プエストス	adv. 彼らの持ち場に	「副詞句」
la Reina ラ・レイ	n.f 女王は	「主語」
se limitó a comentar セ・リミト・ア・コメンタル	3 単点・限定(limitarse a+不定詞 comentar)	
v.pr	～と話すだけにとどめた	「動詞句」
que ケ	conj. ～ということ	「目的語」
el más leve descuido エル・マス・レベ・デスカイト	n.m 最小限の怠慢でも	「主語」
les レス	pron 彼らの、彼らに	「間接目的語」
costaría コスタリア	3 単過未・推量(costar)v.t ～の費用がかかるだろう	「動詞」
la vida. ラ・ビダ	n.f 命を	「直接目的語」

そして、最初から居た他のプレーヤーが残っている間ずっと言い争い続けて、「こやつ
の首を切れ」とか「あやつを首を切れ」と叫び続けていた。

No por eso dejó la Reina de pelearse con todos los demás jugadores a lo largo de lo que quedaba de la partida, gritando: «¡A éste que le corten la cabeza!» o «¡A ésa que le corten la cabeza!».

「動詞句」「主語」「間接目的語」「副詞句」, 「副詞句」,
《「間接目的語」 o 「間接目的語」》

No por eso dejó ノ・ホル・エソ・デホ 3 単点・否定(dejar+ por eso)

v.i(de+不定詞)	だから～するのをやめなかった、だから～し続けた	「動詞句」
la Reina ラ・レイ	n.f 女王は	「主語」
de pelearse テ・ペレアルセ	不定詞(pelearse)v.pr 喧嘩する、言い争う	「動詞句」
con todos los demás jugadores コン・トドス・ロス・デマス・ファクトレス		
adv.	他のプレーヤーと	「間接目的語」
a lo largo de ア・ロ・ラルゴ・デ	prep (期間) ～の間中ずっと	「副詞句」
lo ロ	pron それ	「目的語」
que ケ	pron (主語) ～する	「形容詞節」
quedaba クダバ	3 単線(quedar)v.i 残っていた、いた	「動詞」

9 Historia de la Tortuga Artificial

de la partida, デ・ラ・パルチダ	adv. 最初から	「副詞句」
gritando: グリタント	現在分詞・同時(gritar)adv. 叫びながら	「副詞句」
«¡A éste ア・エステ	adv. この者に対して	「間接目的語」
que ケ conj. (妥当・必要) ~すべきである		「形容詞節」
le レ pron それの		「間接目的語」
corten コルテン	接・3 複現(cortar)v.t 切る	「動詞」
la cabeza! ラ・カベサ n.f 頭を		「直接目的語」
o		
«¡A ésa ア・エサ	adv. あの者に対して	「間接目的語」
que ケ conj. (妥当・必要) ~すべきである		「形容詞節」
le レ pron それの		「間接目的語」
corten コルテン	接・3 複現(cortar)v.t 切る	「動詞」
la cabeza! ラ・カベサ n.f 頭を		「直接目的語」

死刑宣告されたプレイヤーは兵士に捕らえられた。そしてその兵士が連行するには、当然、試合場のゲートの役目を止めなければならなかった。そのため、1 時間後には、クロケー場全体でおよそ 1 つのゲートも残っていなかった。そして王様と女王様そしてアリスを除いて、全てのプレイヤーが収容されて、死刑を宣告されていた。

Los sentenciados eran aprehendidos por soldados, que, naturalmente, para hacerlo tenían que dejar de formar arcos para el juego, de forma que al cabo de media hora poco más o menos no quedaba ni un solo arco en todo el campo, y todos los jugadores, a excepción del Rey, la Reina y Alicia, estaban custodiados y bajo sentencia de muerte.

「主語」「動詞句」「副詞句」, 「主語」「副詞句」「動詞句」「目的語」,

de forma que 「副詞句」「動詞句」「主語」「副詞句」, 「動詞」「補語」 y 「補語」

Los sentenciados ロス・センテンシアドス 過去分詞・受動・名詞化(sentenciar)

pl.n.m 死刑宣告された者たちは	「主語」
eran aprehendidos 3 複線・受動(aprehender)v.t 捕らえられた	「動詞句」
por soldados, ポル・ソルダドス adv. (行為者) 兵士によって	「副詞句」
que, ケ pron (主語) その兵士は	「主語」
naturalmente, ナチュラルメンテ adv. 当然	「副詞」
para hacerlo パラ・ハセル・ロ 不定詞・目的 adv. 連行するためには	「副詞句」
tenían que dejar de formar テニアソ・ケ・デ・ハール・デ・フォルマル 3 複線・必要・中止	
(tener que+不定詞 dejar de+不定詞 formar)	
v.t 作るのを止めなければならなかった	「動詞句」
arcos para el juego, アルコス・パラ・エル・フエゴ pl(arco).n.m クロケーのゲート	「目的語」
de forma que +直説法 デ・フォルマ・ケ conj. (結果) そのため～	

9 Historia de la Tortuga Artificial

al cabo de media hora	アル・カボ・デ・メディア・オラ	adv. 1 時間後には	「副詞句」
poco más o menos	ポ・コ・マス・オ・メノス	adv. およそ	「副詞句」
no quedaba	ノ・ケダバ	3 単線・否定(quedar)v.i 残っていなかった	「動詞句」
ni un solo arco	ニ・ウン・ソロ・アルコ	n.m 1 つのゲートも～ない	「主語」
en todo el campo,	エン・トド・エル・カンポ	adv. クロケー場全体で	「副詞句」
y	イ conj.	そして	
todos los jugadores,	トドス・ロス・フガドレス	pl(jugador).n.m すべてのプレーヤーは	「主語」
a excepción del	ア・エクセプション・テル	adv. ～を除いて	「副詞句」
Rey,	レイ	n.m 王様	「目的語」
la Reina	ラ・レイナ	n.f 女王様	「目的語」
y	イ conj.	そして	
Alicia,	アリシア	n.f アリス	「目的語」
estaban	エスタバン	3 複線(estar)v.i ～だった	「動詞」
custodiados	クステディアトス	過去分詞・受動(custodiar)v.t 収容された、保管された	「補語」
y	イ conj.	そして	
bajo sentencia	バホ・センテンシア	adj. 宣告された	「補語」
de muerte.	デ・ムエルテ	adj. 死刑の	「形容詞句」

その時、女王様はほとんど息を切らして試合をやめ、アリスに尋ねた：

Entonces la Reina abandonó la partida, ya casi sin aliento, y le preguntó a Alicia:

		「副詞」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」,y「間接目的語」「動詞」「間接目的語」	
Entonces	エントンセス	adv. その時	「副詞」
la Reina	ラ・レイナ	n.f 女王様は	「主語」
abandonó	アバンドノ	3 単点(abandonar)v.t やめた	「動詞」
la partida,	ラ・パルチダ	n.f 試合を	「目的語」
ya	ジャ	adv. もう	「副詞」
casi sin aliento,	カシ・シン・アリエント	adv. ほとんど息を切らした	「副詞句」
y	イ conj.	そして	
le	レ pron	彼女に	「間接目的語」
preguntó	プレグント	3 単点(preguntar)v.t 尋ねた	「動詞」
a Alicia:	ア・アリシア	adv. アリスに	「間接目的語」

9 Historia de la Tortuga Artificial

「お前、にせウミガメにはもう会ったのかい？」

-¿Has visto ya a la Tortuga Artificial? 《「動詞句」「副詞」「目的語」》
 -¿Has visto アス・ビスト 2 単現・完了形・疑問文(ver)v.t 会ったのか? 「動詞句」
 ya ヤー adv. もう 「副詞」
 a la Tortuga ア・ラ・トルトゥガ n.f ウミガメに 「目的語」
 Artificial? アルティフィシャル adj. 人工の、模造の、にせの 「形容詞」

「いいえ」と、アリスは答えた。「にせウミガメが何なのかさえ知りません」

-No respondió Alicia, ni siquiera sé lo que es una tortuga artificial.
 《「応答」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞句」「動詞」「目的語」》
 -No ノ adv. いいえ 「応答」
 -respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」
 Alicia, アリシア n.f アルスは 「主語」
 ni siquiera ニ・シキエラ adv. (強調) さえ～ない 「副詞句」
 sé セ 1 単現(saber)v.t 知っている 「動詞」
 lo ロ pron それを 「目的語」
 que ケ pron (補語) 何ということ 「目的語」
 es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」
 una tortuga artificial. ウナ・トルトゥガ・アルティフィシャル n.f にせウミガメが 「主語」
 lo que es...

「～に関しては、～は」 「主語」「目的語」などとして使われる

Lo que es las otras heridas no presentan tantos riesgos.

他の傷は(主語として) たいして危険なものではないようだ。

「それを使ってにせウミガメのスープを作るのじゃ」と、女王が説明した。

-Es con lo que hacen la sopa de tortuga artificial explicó la Reina 注 24.
 《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」
 -Es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」
 con lo コン・ロ adv. (材料) それを使って 「副詞句」
 que ケ conj. ～するもの 「補語」
 hacen アセン 3 複現(hacer)v.t 作る 「動詞」
 la sopa ラ・ソパ n.f スープを 「目的語」
 de tortuga artificial テ・トルツガ・アルティフィシャル
 adj. にせウミガメの 「形容詞句」
 -explicó エクスプリコ 3 単点(explicar)v.t 説明した 「動詞」
 la Reina 注 24. ラ・レイナ n.f 女王は 「主語」

lo que es...

9 Historia de la Tortuga Artificial

「そのようなものは見たことも聞いたこともありません」と、アリスは言った。

-Nunca he visto ni oído nada semejante -dijo Alicia.

《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」

-Nunca he visto ni oído スカ・エ・ビスト・ニ・オイト 1 単現・完了形・否定(ver / oír)

v.t 見たことも聞いたこともない 「動詞句」

nada ナダ pron 何も～ない 「目的語」

semejante セマンテ adj. そのような 「形容詞」

-dijo ディホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia. アリシア n.f アリスは 「主語」

「それでは、一緒に来なさい」と、女王が命じた。「お前に身の上話をしてくれるだろう」

-Pues entonces, ¡ven conmigo -ordenó la Reina-, y así te contará su historia!

《「副詞句」「命令」》, 「動詞」「主語」, 《y así「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》

-Pues entonces, プエス・エントンセツ adv. それでは 「副詞句」

¡ven conmigo ベン・コンミゴ 命・2 単現(venir+conmigo)v.i 一緒に来なさい! 「命令」

-ordenó オルデノ 3 単点(ordenar)v.t 命じた 「動詞」

la Reina-, ラ・レイナ n.f 女王は 「主語」

y así イ・アシ conj. そうすれば

te テ pron お前に 「間接目的語」

contará コンタ 3 単未(contar)v.t 話すだろう 「動詞」

su historia! ス・イストリア n.f 身の上話を 「直接目的語」

contar su historia 「身の上話をする」

二人が歩き出すと、アリスは王様がすべての者に小声で話す声が聞こえた。

Mientras marchaban juntas, Alicia oyó que el Rey decía por lo bajo a toda la compañía:

「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」

Mientras ミエントラス conj. ～している間 「副詞節」

marchaban マルチャバン 3 複線(marchar)v.i 歩いていた 「動詞」

juntas, フンタス adj(junto).f.pl 一緒に 「副詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

oyó オイ 3 単点(oír)v.t 聞こえた 「動詞」

que ケ conj. ～ということが 「目的語」

el Rey エル・レイ n.m 王様が 「主語」

decía デシア 3 単線・時制の一致(decir)v.t 言っている 「動詞」

por lo bajo ポル・ロ・バホ adv. (手段) 小声で 「副詞句」

9 Historia de la Tortuga Artificial

a toda la compañía: ア・トダ・ラ・コンパニア adv. (対象) 全ての者に 「間接目的語」

「全員、赦免する！」

«Quedáis todos perdonados». 《「動詞」「補語」》
 «Quedáis ケダイス 2 複現・変化(quedar)v.i ~になる 「動詞」
 todos トス pl.n.m 全員 「補語」
 perdonados». ペルトナトス adj(perdonado).pl 許された、免除された 「形容詞」

「わあ、うれしい。それはいいわ！」と、アリスは思った。女王が命じた死刑の数がとても心配だったのです。

«¡Vaya! ¡ Eso sí que está bien!», pensó Alicia, pues estaba muy preocupada por el número de ejecuciones que la Reina había dispuesto.

《「感嘆」「補語」「主語」》, 「動詞」「主語」, pues 「動詞」「補語」
 «¡Vaya! バヤ adv. (驚き) わあ、うれしい 「感嘆」
 ¡ Eso sí エソ・シ adv. それはその通り、確かな 「補語」
 que ケ conj. ~ということは 「主語」
 está エスタ 3 単現(estar)v.i ~である 「動詞」
 bien!», ビエン adv. よい、正しい 「補語」
 pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.t 思った 「動詞」
 Alicia, アリシア n.f アリスは 「主語」
 pues プエス conj. (理由) ~なので
 estaba エスタハ 3 単線(estar)v.i ~だった 「動詞」
 muy preocupada ムイ・プレオカダ adj.f とても心配した 「補語」
 por el número ホル・エル・ヌメロ adv. 数のことを 「副詞句」
 de ejecuciones デ・エヘシオネス adj. 死刑の 「形容詞句」
 que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」
 la Reina ラ・レイナ n.f 女王が 「主語」
 había dispuesto. アビア・デイスプエスト 3 単線・完了形(disponer)
 v.t 命じた 「動詞句」

9 Historia de la Tortuga Artificial

しばらくして、二人は日向ぼっこをしてぐっすり眠っているグリフォンに出会いました。

(もしグリフォンが何か知らなければ、次の挿絵を見てね)

Al poco rato se encontraron con un profundamente dormido al sol (si no sabéis lo que es un Grifo, vedlo en la ilustración siguiente).

「副詞句」「動詞句」「間接目的語」(「副詞節」,「動詞句」「間接目的語」)

Al poco rato アル・ポ・コ・ラト adv. 少し後で、しばらくして 「副詞句」

se encontraron セ・エンコントラロン 3 複点(encontrarse)v.pr(con と) 出会った 「動詞句」

con un Grifo コン・ウン・グリフォ adv. グリフォと 「間接目的語」

profundamente dormido プロフンダメンテ・ドルミト

adj. ぐっすり眠った 「形容詞句」

al sol アル・ソル adv. 日の当たる場所で 「副詞句」

(si シ conj. もし〜ならば 「副詞節」

no sabéis ノ・サベイス 2 複現・否定(saber)v.t 知らない 「動詞句」

lo ロ pron それを 「目的語」

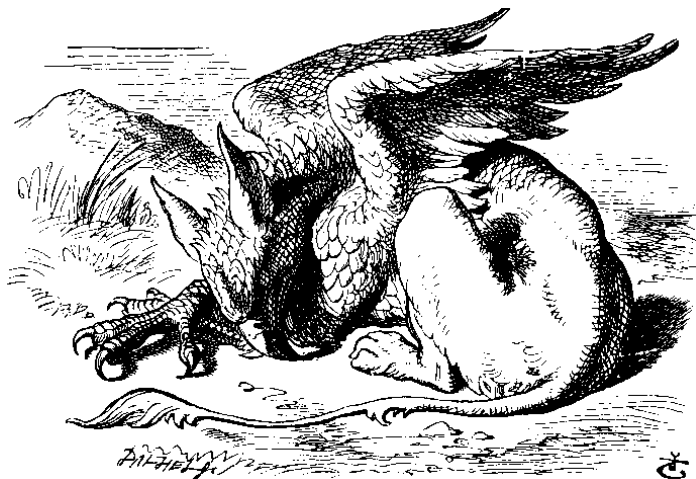
que ケ pron (補語) 何ということ 「形容詞節」

es エス 3 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」

un Grifo, ウン・グリフォ n.m グリフォンは 「主語」

vedlo ベ・ロ 命・2 単現(ver+lo)v.t それを見てください 「動詞句」

en la ilustración siguiente). エン・ラ・イルストラシオン・シギエンテ adv. 次の挿絵を 「間接目的語」



9 Historia de la Tortuga Artificial

「起きろ！ぐうたらじじい！」と、女王が命じた。「この若いご婦人をにせウミガメの所に連れて行き、身の上話をさせるのだ」

-¡A levantarse, viejo perezoso! -ordenó la Reina-. Y conduce a esta señorita a donde está la Tortuga Artificial a que le cuente su historia.

《「動詞句」「呼びかけ」》, 「動詞」「主語」,

《Y「動詞」「目的語」「副詞節」, 「目的語」》

-¡A levantarse, ア・レバンタレ a 不定詞・命令 v.pr 起きろ！ 「動詞句」

viejo perezoso! ビエホ・ペレソ n.m ぐうたらじじいめ 「呼びかけ」

-ordenó オルデノ 3 単点(ordenar)v.t 命じた 「動詞」

la Reina-. ラ・レイナ n.f 女王は 「主語」

Y イ conj. そして

conduce コンドゥセ 命・2 単現(conducir)v.t 連れて行け、案内しろ、～させる 「動詞」

a esta señorita ア・エスタ・セニョリータ n.f この若いご婦人を 「目的語」

a donde ア・ドンデ adv. ～する場所へ 「副詞節」

está エスタ 3 単現・存在(estar)v.i ～がいる 「動詞」

la Tortuga Artificial ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル n.f にせウミガメが 「主語」

a que ア・ケ pron (目的語：Tortuga の代用) それに 「目的語」

le レ pron.f (アリスの代用) この婦人に 「間接目的語」

cuente ケンテ 命・3 単現(contar)・que の動作 v.t 語らせる 「補語」

su historia. ス・イストリア n.f 身の上話 「目的語」

a+不定詞

命令：「～しなさい、～しましょう」感嘆符を付けることが多い。

¡A levantarte, que ya es tarde! 「もう遅いから起きなさい」

目的：「～するために」

Venimos a hablar con el profesor. 「私たちは、先生と話すために来ました」

義務・必然：「～すべき」

Tenemos un problema a resolver. 「私たちは、解決すべき問題があります」

時：「～するとき」

Tienes que tener cuidado al cruzar esta carretera.

「この道路を横切るときは、気をつけなければなりません」

9 Historia de la Tortuga Artificial

「わしは戻って、命じたいいくつかの処刑に立ち会わねばならぬ」、こう言って、グリフォンと一緒にアリス一人だけを残して立ち去った。

Yo tengo que volver para ocuparme de unas cuantas ejecuciones que he ordenado -y diciendo esto, se marchó, dejando a Alicia sola con el Grifo.

《「主語」「動詞句」「副詞句」》-y 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

Yo ジョ pron 私は 「主語」

tengo que volver テンゴ・ケ・ボルベール 1 単現・必要(tener que+不定詞 volver)

v.i 戻らなければならない 「動詞句」

para ocuparme パラ・オカル・メ 不定詞・結果・目的 adv.(de) そして～に立ち会う 「副詞句」

ocuparse オカル・セ v.pr(de) 「～に従事する」

de unas cuantas ejecuciones デ・ウナス・クァンタス・エヘクシオネス

adv. いくつかの処刑に 「間接目的語」

que ケ pron.pl (目的語) ～する 「形容詞節」

he ordenado エ・オルデナト 1 単現・完了形 v.t(ordenar)

v.t 命じた 「動詞句」

-y イ conj. そして

diciendo esto, デイシエント・エスト 現在分詞(decir)・同時 adv. こう言いながら 「副詞句」

se marchó, セ・マルチョ 3 単点(marcharse)v.pr 立ち去った 「動詞句」

dejando デハント 現在分詞(dejar)・様態 adv. ～を残して 「副詞句」

a Alicia ア・アリシア n.f アリスを 「目的語」

sola ラ adv. 一人だけ 「副詞」

con el Grifo. コン・エル・グリフォ adv. グリフォンと一緒に 「副詞句」

その生き物の様子は、アリスにはあまり気の休まるものでは無かったが、結局、この獣と一緒にここに残っている方が、あの女王の野蛮な仲間の所に戻るより安全だと思われた。

A Alicia no le tranquilizaba nada el aspecto de la criatura, pero le pareció que, después de todo, quizá fuera más seguro quedarse ahí con esa bestia que volver a la compañía de esa Reina tan salvaje.

「間接目的語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「主語」,pero

「間接目的語」「動詞」「主語」

A Alicia ...le ア・アリシア...レ adv. アリスにとって 「間接目的語」

no ...tranquilizaba ノ...トランキリザバ 3 単線・否定(tranquilizar)

v.t こころが休まる、安心する 「動詞句」

nada el aspecto ナダ・エル・アスペクト n.m その様子は何も～ない 「主語」

de la criatura, デ・ラ・クリアトゥラ adj. その生き物の 「形容詞句」

pero ペロ conj. しかし

le レ pron アリスには 「間接目的語」

9 Historia de la Tortuga Artificial

pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i	～に見えた	「動詞」
que, ケ conj.	～ということが	「主語」
después de todo, デスプエス・デ・トト adv.	結局、いずれにしても	「副詞句」
quizá キサ adv.	たぶん	「副詞」
fuera フェア 接・3 単過・推量(ser)v.i	～だろう	「動詞」
más seguro マス・セグロ adj.	もっと安全な	「補語」
quedarse ケダルセ 不定詞		
n.	残っていることは、留まっていることは	「主語」
ahí アイ adv.	ここに	「副詞」
con esa bestia コン・エスタ・ベスチア adv.	この獣と一緒に	「副詞句」
que volver ケ・ボルベル 不定詞・比較 adv.	戻るよりも	「副詞句」
a la compañía ア・ラ・コンパニア adv.	団体に、会社	「間接目的語」
de esa Reina デ・エサ・レイナ adj.	あの女王の「形容詞句」	
tan salvaje. タン・サルバヘ adj.	ひどく野蛮な「形容詞句」	

それで、何が起きるかをずっと見守っていました。

<u>Así, pues, se quedó esperando a ver qué pasaba.</u>	「副詞句」「動詞句」「目的語」
Así, pues, アシ・プエス adv. それで	「副詞句」
se quedó esperando セ・ケト・エスペラント 3 単点・継続(quedarse+現在分詞 esperar)	
v.t(a+不定詞) ～し続いていた	「動詞句」
a ver ア・ベル 不定詞 v.t 見る	「動詞句」
qué ケ pron 何が～するかを	「目的語」
pasaba. パサハ 3 単線・時制の一致(pasar)v.i 起こる	「動詞」

グリフォンは起き上がって目をこすった。それから、女王が向かって行った方向を視界から女王が見えなくなるまで見続けた。

<u>El Grifo se incorporó y se frotó los ojos, tras lo cual se quedó mirando hacia donde se había marchado la Reina hasta que ésta se perdió de vista.</u>	「主語」「動詞句」 y 「動詞句」「目的語」, 「副詞句」「動詞句」「副詞句」
El Grifo エル・グ ^レ リフォ n.m グリフォンは	「主語」
se incorporó セ・インコルホ ^ロ 3 単点(incorporarse)v.pr 上体を起こした	「動詞句」
y イ conj. そして	
se frotó セ・フト 3 単点(frotarse)v.pr ～をこすり合わせた	「動詞句」
los ojos, ロス・ホス pl.n.m 目を	「目的語」
tras lo cual トラス・ロ・カル adv. それから、その後で	「副詞句」
se quedó mirando セ・ケト・ミラント ^ド 3 単点・継続(quedarse+現在分詞 mirar)	

9 Historia de la Tortuga Artificial

v.i 見続けた	「動詞句」
hacia アシア prep (方向、場所) への方を	「副詞句」
donde トンデ adv. どこに～する	「副詞節」
se había marchado セ・アビ・マルチャト 3 単線・完了形(marcharse)	
v.pr 向かって行った	「動詞句」
la Reina ラ・レイナ n.f 女王が	「主語」
hasta que アスタ・ケ conj. ～するまで	「副詞節」
ésta エスタ pron (Reina の代用) 女王が	「主語」
se perdió セ・ペルディオ 3 単点・時制の一致(perderse)	
v.pr 見えなくなる	「動詞句」
de vista. テ・ビスタ adv. 視界から	「副詞句」

それから、馬鹿にしたように笑いました。

<u>Entonces soltó una carcajada burlona:</u>	「副詞」「動詞」「目的語」
Entonces エントンス adv. それから	「副詞」
soltó ソルト 3 単点(soltar)v.t (声などを) 発した	「動詞」
una carcajada ウナ・カカハダ n.f 大笑い	「目的語」
burlona: ブルナ adj(burlon).f あざけるような	「形容詞」

「なんて面白いんだ！」と、少し自分自身にそして少しアリスに向かって言った。

<u>-¡Qué gracia! -dijo, hablando un poco consigo mismo y un poco con Alicia.</u>	《「感嘆」》, 「動詞」, 「副詞句」
-¡Qué gracia! ケ・グラシア adv. なんて面白い！	「感嘆」
-dijo, ティヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
hablando アブラント 現在分詞(hablar)adv. (様態) 話した	「副詞句」
un poco consigo mismo ウン・ポ・コ・コン・ミモ adv. 少し自分自身に	「間接目的語」
y イ conj. そして	
un poco con Alicia. ウン・ポ・コン・アリス adv. 少しアリスに	「間接目的語」

「面白いって、何なの？」と、アリスが尋ねた。

<u>-¿Qué es lo que tiene gracia? -preguntó Alicia.</u>	《「補語」「動詞」「主語」》, 「動詞」「主語」
-¿Qué ケ pron 何	「補語」
es エス 3 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
lo ロ pron それ	「主語」
que ケ conj. ～ということは	「形容詞節」

9 Historia de la Tortuga Artificial

tiene ティエネ 3 単現(tener)v.t	〜がある	「動詞」
gracia? グラシア n.f	面白さ	「目的語」
-preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t	尋ねた	「動詞」
Alicia. アリシア n.f	アリスは	「主語」

「あれだよ、あの女だ」と、女王のことを話ながらグリフォンが答えた。「女王は全て想像しているんだよ。誰も処刑されないんだ。さあ、行こう！」

¡Hombre, pues ésa! -contestó el Grifo refiriéndose a la Reina-. Ella se lo imagina todo; nunca ejecutan a nadie, después de todo. ¡Vamos!

《「主語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」,

《「主語」「動詞句」「目的語」; 「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「動詞」》

¡Hombre, オンブレ n.m	男、int. (性別に関係なく) あれ	「主語」
pues ésa! プエス・エサ pron	だから、あの女	「主語」
-contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.t	答えた	「動詞」
el Grifo エル・グリフォ n.m	グリフォンは	「主語」
refiriéndose レフリエンテ・セ	現在分詞・同時(referirse)adv.(a について) 述べながら	「副詞句」
a la Reina-. ア・ラ・レイナ adv.	女王について	「間接目的語」
Ella エジャ pron.f	彼女は	「主語」
se lo imagina セ・ロ・イマヒナ 3 単現(imaginarse)v.pr	想像している	「動詞句」
todo; トト pron	すべてを	「目的語」
nunca ejecutan ヌンカ・エヘクタン 3 複現・否定(ejecutar)v.t	処刑しない	「動詞句」
a nadie, ア・ナデーニ pron	誰も何ない	「目的語」
después de todo. デスプエス・デ・トト adv.	結局	「副詞句」
¡Vamos! バモス 1 複現・勧誘(ir)v.i	さあ行こう！	「動詞」

「この辺りじゃ、みんな『さあ、行こう！』と言って、一日を過ごすんだ」と、考えたけれど、いやいやグリフォンの後を追った。

«Todo el mundo se pasa el día diciendo “¡vamos!” por aquí. reflexionó Alicia mientras lo seguía con desgana».

《「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」》, 「動詞」「主語」

「副詞」「目的語」「動詞」「副詞句」

«Todo el mundo トト・エル・ムント pron	みんな	「主語」
se pasa セ・パサ 3 単現(pasarse)v.pr	(時を) 過ごす	「動詞句」
el día エル・デヤ n.m	一日を	「目的語」
diciendo デイシエンテ	現在分詞・同時 adv.(decir) 〜と言いながら	「副詞句」
“¡vamos!” バモス 1 複現・勧誘(ir)v.i	さあ行こう	「動詞」
por aquí ポ・ラキ adv.	このあたりでは	「副詞句」

9 Historia de la Tortuga Artificial

-reflexionó レフレクシオノ 3 単点(reflexionar)v.i 熟考した	「動詞」
Alicia アリシア n.f アリスは	「主語」
mientras ミエントラス conj. その一方で	「副詞」
lo ロ pron グリフォンに	「目的語」
seguía セギア 3 単線(seguir)v.t ついて行った、後を追った	「動詞」
con desgana-. コン・デスカナ adv. いやいや	「副詞句」
desgana デスカナ n.f 嫌気	

「こんなに命令ばかりされたことなんて一度もない、ひどいわ！」

¡Nunca he recibido tantas órdenes en toda mi vida! ¡Qué barbaridad!»

《「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「感嘆」》

¡Nunca ヌンカ adv. 一度も～ない	「副詞」
he recibido エ・レシビト 1 単現・完了形(recibir)v.t 受け取った、もらった	「動詞句」
tantas órdenes タンタス・オルデネス pl(orden).n.f こんな沢山の命令を	「目的語」
en toda mi vida! エン・トダ・ミ・ビダ	
adv. (否定文で) 決して～ない、私の人生において	「副詞句」
¡Qué barbaridad!» ケ・バルバリダ adv. なんてひどい！	「感嘆」

それほど進まないうちに、遠くの平らな岩場で寂しげに座るにせウミガメが見えました。

No habían ido muy lejos, cuando vieron a la Tortuga Artificial en la distancia, sentada y solitaria sobre una laja.

「動詞句」「副詞句」,cuando 「動詞」「目的語」「副詞句」

No habían ido ノ・アビアン・イト 3 複線・完了形・否定(ir)v.i 進まなかった	「動詞句」
muy lejos, ムイ・レホス adv. (否定文で) それほど遠くに	「副詞句」
cuando クワント adv. その時	「副詞」
vieron ビエロン 3 複点(ver)v.t 見えた	「動詞」
a la Tortuga Artificial ア・ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル n.f にせウミガメが	「目的語」
en la distancia, エン・ラ・ディスタンシア adv. 遠くに	「副詞句」
sentada センタダ adj(sentado).f 座った	「形容詞」
y イ conj. そして	
solitaria ソリタリア adj(solitario).f 寂しげな、孤独な	「形容詞」
sobre una laja. ソブレ・ウナ・ラハ adv. 平石の上に	「副詞句」

9 Historia de la Tortuga Artificial

アリスが近づくと、グリフォンが魂が抜ける程ふかくため息をついているのが聞こえた。アリスは強く心を動かされました。

Al acercarse, Alicia pudo oír que suspiraba profundamente, como si se le fuera a partir el alma. Esto la conmovió mucho:

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」 | 「主語」「目的語」「動詞」「副詞」
 Al acercarse, アル・アセカレ adv. 近づいてみると 「副詞句」
 Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
 pudo oír プド・オイル 3 単点・可能(poder+不定詞 oír)v.t 聞くことができた 「動詞」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 suspiraba スピラバ 3 単線・時制の一致(suspirar)v.i ため息をついている 「動詞」
 profundamente, プロフンダメンテ adv. 深く 「副詞」
 como si+接続法 コモ・シ conj. まるで～かのように 「副詞節」
 se le fuera a partir セ・レ・フエラ・ア・パルティール 接・3 単過・近接未来(ir a+不定詞 partirse+le)
 v.pr 自分自身から分離させそうだ 「動詞句」
 el alma. エル・アルマ n.f 魂を 「目的語」
 Esto エスト pron これが 「主語」
 la ラ pron.f アリスを 「目的語」
 conmovió コンモビオ 3 単点(conmover)v.t 感動させた 「動詞」
 mucho: ムーチョ adv. たいへん 「副詞」

「いったい、何があったの？」と、グリフォンに尋ねました。しかし、彼は先程とほとんど同じ文句で返事をしました。

-¿Qué desgracia le ha ocurrido? -le preguntó al Grifo, pero éste contestó casi con las mismas palabras de antes:

《「主語」「間接目的語」「動詞句」》, 「間接目的語」「動詞」「間接目的語」,
 pero 「主語」「動詞」「副詞句」
 -¿Qué desgracia ケ・デスグラシア n.f どんな不幸が 「主語」
 le レ pron あなたに 「間接目的語」
 ha ocurrido? ア・オクリト 3 単現・完了形(ocurrir)v.i 起こった 「動詞句」
 -le レ pron 彼に 「間接目的語」
 preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」
 al Grifo, アル・グリフォ adv. グリフォンに 「間接目的語」
 pero ペロ conj. しかし
 éste エステ pron 彼は 「主語」
 contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.i 返事をした 「動詞」
 casi con las mismas palabras de antes: カシ・コン・ラス・ミマス・パ・ラフラス・デ・アンテス

9 Historia de la Tortuga Artificial

adv. 先ほどとほとんど同じ文句で 「副詞句」

「女王は全て想像しているんだよ。彼女に都合の悪いことは何も起こらないんだ。いずれ分かるよ。さあ、行こう！」

-Ella se lo imagina todo; no le ha ocurrido ninguna desgracia, ya verás. ¡Vamos!

《「主語」「動詞句」「目的語」;「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「主語」,
「副詞」「動詞」 | 「動詞」》

-Ella エジャ pron.f 彼女は 「主語」
se lo imagina セ・ロ・イマヒナ 3 単現(imaginarse)v.pr 想像している 「動詞句」
todo; トゥ pron すべてを 「目的語」
no ...ha ocurrido ノ...ア・オクリト 3 単現・完了形・否定(ocurrir)v.i 起こらなかった 「動詞句」
le レ pron 彼女に 「間接目的語」
ninguna desgracia, ニングナ・デスグラシア n.f どんな不幸も～ない 「主語」
ya ジャ adv. (+未来形) いずれ 「副詞」
verás. ベラス 2 単末(ver)v.t 分かる 「動詞」
¡Vamos! バモス 1 複現・勧誘(ir)v.i さあ行こう！ 「動詞」

そして、彼らはにセウミガメの所に到着しました。にセウミガメは彼らをじっと見つめました。が、何も言いませんでした。

Así, pues, llegaron a donde estaba la Tortuga Artificial, quien los contempló con ojos llenos de lágrimas, pero sin decir palabra.

「副詞句」「動詞」「副詞節」,「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」,pero 「副詞句」
Así, pues, アシ・プエス adv. それで、そこで 「副詞句」
llegaron レガロン 3 複点(llegar)v.i(a に) 着いた、到着した 「動詞」
a donde ア・ドンデ adv. ～するところへ 「副詞節」
estaba エスタバ 3 単線・存在・時制の一致(estar)v.i ～がいる 「動詞」
la Tortuga Artificial, ラ・トルトゥガ・エルティフィシアル n.f にセウミガメが 「主語」
quien ケン pron それは 「主語」
los ロス pron.pl 彼らを 「目的語」
contempló コンテンプロ 3 単点(contemplant)v.t じっと見つめた 「動詞」
con ojos コン・オホス adv. (様態) ～の目で 「副詞句」
llenos ジェノス adj.m.pl(de で) 一杯の 「形容詞句」
de lágrimas, デ・ラグリマス adv. 涙で 「副詞句」
pero ペロ conj. しかし
sin decir palabra. シン・デシル・パラブラ adv. 何も言わずに 「副詞句」

9 Historia de la Tortuga Artificial

「このお嬢ちゃんが」と、グリフォンが説明した。「お前の話を聞きたいって；でしょう？」

-Aquí, esta señorita -explicó el Grifo-, resulta que quiere conocer su historia; sí señora.

《「主語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「補語」; 「確認」》

-Aquí, アキ adj. こちらの

「形容詞」

esta señorita エスタ・セニョリータ n.f このお嬢さんが

「主語」

-explicó エクスプリコ 3 単点(explicar)v.t 説明した

「動詞」

el Grifo-, エル・グリフォ n.m グリフォンが

「主語」

resulta レスルタ 3 単現(resultar)v.i ~ということである

「動詞」

que ケ conj. ~ということ

「補語」

quiere conocer キエレ・コノセル 3 単現・願望(querer+不定詞 conocer)

v.t 知りたい

「動詞句」

su historia; ス・イストリア n.f お前の話を

「目的語」

sí señora. シ・デニョーラ adv. そうですね？

「確認」

「それじゃあ、話して聞かせよう」と、にせウミガメは重く虚ろな声で言った。「二人とも、そこに座って、僕が話終わるまで邪魔をしないように」

-Pues he de narrársela -concedió la Tortuga Artificial con voz hueca y cavernosa-, sentaos ambos, y no me interrumpáis con nada hasta que haya acabado.

《「副詞」「動詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞句」,

《「動詞句」「主語」, y 「動詞句」「間接目的語」「副詞句」》

-Pues プエス adv. それじゃあ

「副詞」

he de narrársela ヘ・デ・ナラル・セ・ラ 1 単現・近接未来・意思(haber de+不定詞 narrar+se+la)

v.t 彼女にそれを話してやろう

「動詞句」

haber de+不定詞 「~しなければならない、~することになっている」

-concedió コンセディオ 3 単点(conceder)v.t 認めた、話した

「動詞」

la Tortuga Artificial ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル n.f にせウミガメは

「主語」

con voz コン・ボス adv. ~の声で

「副詞句」

hueca y cavernosa; ウエカ・イ・カベルノサ adj. 重く虚ろな

「形容詞句」

hueca ウエカ adj(hueco).f 空虚な cavernosa カベルノサ adj(cavernoso).f 太い

sentaos センタ・オス 命・2 複現(sentarse)v.pr 座りなさい

「動詞句」

ambos, アンボス pron.pl 二人とも

「主語」

y イ conj. そして

no ...interrumpáis ノ...インテルパ・イス 命・2 複現・否定(interrumpir)v.t 話を遮るな「動詞句」

me メ pron 私の話

「間接目的語」

con nada コン・ナダ adv. 何でもない事で、何も

「副詞句」

hasta que アスタ・ケ conj. ~するまで

「副詞節」

9 Historia de la Tortuga Artificial

haya acabado. アヤ・アカバト 接・1 単現・完了形(acabar)v.t 話し終える 「動詞句」

英語版では

「話してやるよ」と、にせウミガメは深く虚ろな声で言いました。

'I'll tell it her,' said the Mock Turtle in a deep, hollow tone:

彼らは座りましたが、しばらくの間、誰も一言も話ませんでした。

Así, pues, se sentaron; pero nadie dijo una palabra durante bastante tiempo.

「副詞句」「動詞句」; pero 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Así, pues, アシ・プエス adv. それで 「副詞句」

se sentaron; セ・センタロン 3 複点(sentarse)v.pr 座った 「動詞句」

pero ペロ conj. しかし

nadie ナデー pron 誰も～ない 「主語」

dijo テーヨ 3 単点(decir)v.t (否定文で) 言わなかった 「動詞」

una palabra ウナ・パラブラ n.f 一言も 「目的語」

durante bastante tiempo. ドゥランテ・バスタンテ・ティエンポ adv. しばらくの間 「副詞句」

アリスは思った:「いつか話始めようとしなければ、彼の話がいつ終わるか分からないわ」、
でも我慢して、じっとおとなしく待ちました。

Alicia pensó: «No sé cómo va a acabar su historia si no se decide a empezarla alguna vez»;
pero se contuvo y esperó con paciencia.

「主語」「動詞」:《「動詞句」「目的語」》; pero 「動詞句」 y 「動詞」「副詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

pensó: ペンソ 3 単点(pensar)v.i 思った 「動詞」

«No sé ノ・セ 1 単現・否定(saber)v.t 分からない 「動詞句」

cómo コモ adv. どのように～するかということ 「目的語」

va a acabar バ・ア・アカバル 3 単現・近接未来(ir a+不定詞 acabar)

v.i 終わるだろう 「動詞句」

su historia ス・イストリア n.fr 彼の話は 「主語」

si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

no se decide a empezarla ノ・セ・デシテ・ア・エンパサル 3 単現・開始・否定(decidirse a+不定詞)

v.pr 話を始めようとしな 「動詞句」

alguna vez»; アルグナ・ベス adv. いつか、一度 「副詞句」

pero ペロ conj. しかし

se contuvo セ・コントゥボ 3 単点(contenerse)v.pr 我慢した 「動詞句」

y イ conj. そして

esperó エスペロ 3 単点(esperar)v.t 待った 「動詞」

英語版では

9 Historia de la Tortuga Artificial

con paciencia. コン・パシエンシア adv. 忍耐強く、じっとおとなしく 「副詞句」

「私が本物のウミガメだった時があるのです」と、やっとなにせウミガメが大きいため息をついて話し始めました。

-Hubo una época rompió por fin a hablar la Tortuga Artificial con otro gran suspiro, en que yo fui una auténtica tortuga.

《「動詞」「目的語」》,「動詞句」「副詞句」「動詞句」「主語」「副詞句」,《「副詞節」》

-Hubo 有 3 単点・存在(haber)v.t 〜があった 「動詞」
 una época ウナ・エポカ n.f 時代、時期が 「目的語」
 rompió ロンピオ 3 単点・開始(romper a+不定詞)v.i 〜し始めた 「動詞句」
 por fin ポル・フィン adv. ついに、やっとな 「副詞句」
 a hablar ア・アハバル 不定詞 v.i 話す 「動詞句」
 la Tortuga Artificial ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル n.f にせウミガメが 「主語」
 con otro gran suspiro-, コン・オトロ・グラン・ススピロ adv. 大きいため息について 「副詞句」
 en que エン・ケ adv. そこで〜する 「副詞節」
 yo ジョ pron 私は 「主語」
 fui フイ 1 単点(ser)v.i 〜だった 「動詞」
 una auténtica tortuga. ウナ・アウテンティカ・トルトゥガ n.f 本物のウミガメ 「補語」
 auténtica アウテンティカ adj(auténtico).f 本物の、真実の

これらの厳粛な言葉の後は深く長い沈黙が続いた。話を遮るものは、グリフォンの鳴き声となにせウミガメの抑圧された嗚咽だけだった。

Estas solemnes palabras fueron seguidas de un profundo y prolongado silencio, que sólo interrumpía algún que otro graznido del Grifo y los sollozos mal reprimidos de la Tortuga Artificial.

「主語」「動詞句」「副詞句」,que「副詞」「動詞」「主語」

Estas solemnes palabras エスタス・ソルムネス・ハラブラス

pl(palabra).n.f これらの厳粛な言葉は 「主語」
 fueron seguidas フエロン・セギダス 3 複点・受動.f.pl(seguir)v.t 続かれた 「動詞句」
 de un profundo y prolongado silencio, デ・ウン・プロフント・イ・プロロンガド・シレンシオ
 adv. (動作主) 深く長い沈黙に 「副詞句」
 que ケ conj. (結果) そして〜する
 sólo ソロ adv. 〜だけ 「副詞」
 interrumpía インテルピア 3 単線(interrumpir)v.t 話を遮った 「動詞」
 algún que otro graznido del Grifo アルグン・ケ・オトロ・グラスニド・デル・グリフォ
 pron グリフォンのいくつかの鳴き声 「主語」
 y イ conj. そして

9 Historia de la Tortuga Artificial

los sollozos ロス・ソジヨソス pl(sollozo).n.m すすり泣き、嗚咽 「主語」

mal reprimidos マル・レプレミトス adj. 抑圧された 「形容詞句」

de la Tortuga Artificial. テ・ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル

adj. にせウミガメの 「形容詞句」

アリスは立ち上がって、「どうも有難うございます。とても面白いお話でした」と、言いそ
うになったが、他に何かがあるに違いないと確信していたので、何も言わずに座っていた。

Alicia estaba a punto de levantarse y de decir: «Muchas gracias, señora, por su interesante historia», pero estaba convencida de que tenía que haber algo más, así que se quedó sentada sin rechistar.

「主語」「動詞句」:《「呼びかけ」「お礼」》,

pero「動詞」「補語」, así que「動詞句」「補語」

Alicia アリシア n.f アリスは

「主語」

estaba a punto de levantarse エスタバ・ア・プント・デ・レバンタルセ 3 単線・寸前

(estar a punto de+不定詞 levantarse)v.pr 立ち上がるころだった 「動詞句」

y イ conj. そして

de decir: テ・デシル 3 単線・寸前(estar a punto de+不定詞 decir)

v.t 言うところだった 「動詞句」

«Muchas gracias, señora, ムチャス・グラシアス・セニョーラ adv. どうも有難うございます「呼びかけ」

por su interesante historia», ポル・ス・インテサント・イストリア adv. とても面白いお話でした「お礼」

pero ヘロ conj. しかし

estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ~だった 「動詞」

convencida コンベンシタ adj(convencido).f 確信した 「補語」

de que テ・ケ adv. ~ということに 「副詞節」

tenía que haber テニア・ケ・ハベル 3 単線・必要・時制の一致(tener que+不定詞 haber)

v.t ~があるに違いない 「動詞句」

algo más, アルゴ・マス pron もっと他に 「目的語」

así que アシ・ケ conj. それで

se quedó セ・ケト 3 単点(quedarse)v.pr ~の状態になった 「動詞句」

sentada センタダ adj(sentado).f 座った 「補語」

sin rechistar. シン・レチスター adv. 何も言わずに 「副詞句」

9 Historia de la Tortuga Artificial

「小さい頃」と、やっとなにせウミガメは話を続けたが、それでもすすり泣きを押さえられなかった。「海底の学校に通っていました」

-Cuando éramos pequeñas -continuó al fin la Tortuga Artificial sin poder aún reprimir sus sollozos-, íbamos al colegio bajo el mar.

《「副詞節」》, 「動詞」 「副詞句」 「主語」 「副詞句」, 《「動詞」 「間接目的語」》

-Cuando クワンド conj. ～する時 「副詞節」

éramos エラムス 1 複線(ser)v.i ～だった 「動詞」

pequeñas ペケニャス adj(pequeño).f.pl 小さい 「補語」

-continuó コンチヌオ 3 単点(continuar)v.t 続けた 「動詞」

al fin アル・フィン adv. ついに、やっと 「副詞句」

la Tortuga Artificial ラ・トロウトゥガ・アルティフィシアル n.f にせウミガメは 「主語」

sin poder aún reprimir シン・ポ・デル・アウン・レプ・リミール

adv. (様態) まだ抑えることは出来なかったが 「副詞句」

sus sollozos-, スス・ソジヨス pl(sollozo).n.m すすり泣きを 「目的語」

íbamos イバモス 1 複線(ir)v.i 行っていた 「動詞」

al colegio アル・コレヒオ adv. 学校へ 「間接目的語」

bajo el mar. バホ・エル・マル adv. 海底の 「副詞句」

先生はおばあさんガメだったけど、私たちはオスガメって呼んでいたんだ。

El maestro era una vieja tortuga al que llamábamos Galápagos.

「主語」 「動詞」 「補語」 「目的語」 「動詞」 「補語」

El maestro エル・マエストロ n.m 先生は 「主語」

era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」

una vieja tortuga ウナ・ビエハ・トルトゥガ n.f おばあさんガメ 「補語」

al que アル・ケ pron それを 「目的語」

llamábamos ジャマハモス 1 複線(llamar)v.t 呼んでいた 「動詞」

Galápagos. ガラパゴス n.m 大型のオスのウミガメ 「補語」

9 Historia de la Tortuga Artificial

「それで、メスなのに、どうしてオスガメって呼んでいたの？」と、アリスが尋ねた。

-¿Y por qué lo llamaban «Galápago» si no lo era? -preguntó Alicia.

《Y「副詞句」「目的語」「動詞」「補語」》,「動詞」「主語」

-¿Y í conj. そして

por qué ポル・ケ adv. どうして

「副詞句」

lo ロ pron それを

「目的語」

llamaban ジャマバン 3 複線(llamar)v.t 呼んでいた

「動詞」

«Galápago» ガラパゴ n.m オスガメ

「補語」

si シ conj. (対立) ~なのに

「副詞節」

no lo ノ・ロ adv. オスではない

「補語」

era? エラ 3 単線(ser)v.i ~である

「動詞」

-preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた

「動詞」

Alicia. アリシア n.f アリスは

「主語」

「オスガメと呼んでいたよ」と、にせウミガメはとても不機嫌そうに言い返した。「甲羅のせいだよ。当たり前だろう！なんて質問だ！馬鹿じゃないの！」

-Lo llamábamos «Galápago» -replicó muy molesta la Tortuga Artificial-, por las muchas conchas que tenía, ¡naturalmente! ¡Vaya pregunta! ¡Sí que eres necia!

《「目的語」「動詞」「補語」》,「動詞」「副詞句」「主語」,

《「副詞句」,「副詞」「感嘆」「動詞」「補語」》

-Lo ロ pron 彼を

「目的語」

llamábamos ジャマバモス 1 複線(llamar)v.t 呼んでいた

「動詞」

«Galápago» ガラパゴ n.m オスガメ

「補語」

-replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.t 言い返した

「動詞」

muy molesta ムイ・モレスタ adv(molesto). とても不機嫌そうに

「副詞句」

la Tortuga Artificial-, ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル n.f にせウミガメが

「主語」

por ポル prep (理由) ~のために

「副詞句」

las muchas conchas ラス・ムチャス・コンチャス pl(concha).n.f 甲羅

「目的語」

que tenía, ケ・テニア adj. (特徴) ~をしていた

「形容詞節」

¡naturalmente! ナチュラルメンテ adv. 当たり前だろう！、当然！

「副詞」

¡Vaya pregunta! バヤ・プレグンタ adv. なんという質問だ！

「感嘆」

¡Sí que +直説法 シ・ケ conj. (不快を表わす) ~なんてとんでもない

eres エレス 2 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

necia! ネシア adj(necio).f 馬鹿な、愚かな

「補語」

9 Historia de la Tortuga Artificial

「そんな分かりきったことを聞いて煩わせると、恥をかくことになるぞ！」と、グリフォンが付け加えた；二人とも黙って座って、圧倒的な非難と無言の視線でアリスを睨んだ。

-¡Debería darte vergüenza molestar con preguntas tan evidentes! -añadió el Grifo; y ambos, sentados en silencio, fulminaron a Alicia con la mirada en mudo y abrumador reproche.

《「動詞句」「目的語」「主語」》, 「動詞」「主語」; y

「主語」「副詞句」「動詞」「目的語」「副詞句」

-¡Debería darte デベリア・ダルテ 3 単過未・推量(deber+不定詞 dar+te)

v.t お前に与えることになるだろう

「動詞句」

vergüenza ベルグエンサ n.f 恥を

「目的語」

molestar モレスタール 不定詞 n. 迷惑をかけることは

「主語」

con preguntas コン・プレグンタス adv. (手段) 質問で

「副詞句」

tan evidentes! タン・エビデンテス adj. まったく分かりきった

「形容詞句」

-añadió アニャディオ 3 単点(añadir)v.t 付け加えた

「動詞」

el Grifo; エル・グリフォ n.m グリフォンが

「主語」

y イ conj. そして

ambos, アンボス pron.pl 二人とも

「主語」

sentados センタドス adj(sentado).pl (様態) 座って

「副詞句」

en silencio, エン・シレンシオ adv. 黙って

「副詞句」

fulminaron フルミナロン 3 複点(fulminar)v.t 睨みつけた

「動詞」

a Alicia ア・アリシア n.f アリスを

「目的語」

con la mirada コン・ラ・ミラダ adv. (様態) 視線で

「副詞句」

en mudo エン・ムド adv. 黙って

「副詞句」

y イ conj. そして

abrumador アブルマトール adj. 圧倒的な

「形容詞」

reproche. レプロチェ n.m 非難

「目的語」

アリスは恥ずかしさで、もう大地に飲み込まれたいと考えていました。その時、グリフォンがにせウミガメに言いました：

Alicia estaba ya deseando que se la tragara la tierra del bochorno que sentía, cuando al Grifo se le ocurrió decirle a la Tortuga:

「主語」「動詞句」「目的語」, cuando 「間接目的語」「動詞句」「間接目的語」「主語」

Alicia アリシア n.f アリスは

「主語」

estaba ya deseando エスタバ・ヤー・デセアント 3 単線・進行形(desear+ya)

v.t もう望んでいた、願っていた

「動詞句」

que ケ conj. ～ということを

「目的語」

se ...tragara セ...トラガラ 3 単末(tragarse)v.pr 飲み込むだろう

「動詞句」

9 Historia de la Tortuga Artificial

la ラ pron アリスを	「目的語」
la tierra, ラ・チエラ n.f 大地が	「主語」
del bochorno テル・ボチョルノ adv. (原因) 赤面により	「副詞句」
que sentía, ケ・センチア adj. 感じていた	「形容詞節」
cuando クワント conj. その時	
al Grifo アル・グリフォ adv. グリフォンに	「間接目的語」
se ...ocurrió セ...クリオ 3 単点(ocurrirse a+人+不定詞)	
v.pr ~することが頭に浮かんだ	「動詞句」
le レ pron 彼の	「間接目的語」
decirle デシール・レ 不定詞(decir+le)n. 言う事が	「主語」
a la Tortuga: ア・ラ・トルトゥガ n.f にせウミガメに	「間接目的語」

「さあ、続けろよ！今日の内に」それで、にせウミガメはこんな風に続けました。

-¡Ea! ¡Adelante, vieja! ¡Que es para hoy! -y ésta continuó de esta manera:	
《「呼びかけ」 「主語」「動詞」「副詞句」》,y 「主語」「動詞」「副詞句」	
-¡Ea! Adelantej, エア・アデランテ int. さあ先へ、進みなさい	「呼びかけ」
vieja! ビエハ pron 年より、にせウミガメ	「呼びかけ」
¡Que ケ pron それは	「主語」
es エス 3 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
para hoy! パラ・オイ adv. 今日のため	「副詞句」
-y イ conj. そして	
ésta エスタ pron.f これは、にせウミガメは	「主語」
continuó コンチヌオ 3 単点(continuar)v.i 続けた	「動詞」
de esta manera: デ・エスタ・マネラ adv. こんな風に	「副詞句」

9 Historia de la Tortuga Artificial



「あんたは信じないかもしれないが、僕達は海の学校に通っていたと本当に言ったんだ」

-Decíamos, pues, en verdad, que íbamos a la escuela bajo el mar; a pesar de que no lo
creas... 《「動詞」「副詞句」「目的語」;「副詞節」》

-Decíamos, デシモス 1 複線(decir)v.t 言った 「動詞」

pues, プエス conj. えーと、～なので

en verdad, エンベルダ adv. 本当に 「副詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

íbamos イバモス 1 複線(ir)v.i(a に) 行っていた、通っていた 「動詞」

a la escuela ア・ラ・エスケラ adv. 学校に 「間接目的語」

bajo el mar; バホ・エル・マル adj. 海底の 「形容詞句」

a pesar de que ア・ペサル・デ・ケ adv. ～としても 「副詞節」

no ...creas... ノ...クレアス 接・2 単現(creer)v.t 信じない 「動詞句」

lo ロ pron それを 「目的語」

9 Historia de la Tortuga Artificial

「信じないなんて言っていません！」と、アリスは話を遮った。

-¡Nunca dije que no lo creyera! -interrumpió Alicia.

《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」

-¡Nunca dije ヌンカ・デ・ハ 1 単点・否定(decir)v.t 絶対言わなかった 「動詞句」
que ケ conj. ～ということを 「目的語」
no ...creyera! ノ...クレジェラ 接・1 単過・時制の一致(creer)v.t 信じない 「動詞句」
lo ロ pron それを 「目的語」
-interrumpió インテルピョ 3 単点(interrumpir)v.t 話を遮った 「動詞」
Alicia. アリシア n.f アリスが 「主語」

「いや、言ったね！」と、にせウミガメが主張した。

-¡Sí lo dijiste! -insistió la Tortuga Artificial.

《「応答」「目的語」「動詞」》, 「動詞」「主語」

-¡Sí シ adv. いや 「応答」
lo ロ pron それを 「目的語」
dijiste! デヒステ 2 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
-insistió インシスチョ 3 単点(insistir)v.t 主張した 「動詞」
la Tortuga Artificial. ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル n.f にせウミガメが 「主語」

「黙れ！」と、アリスが何も言えないうちに、グリフォンが言いました。これで、にせウミガメは話を続けることが出来ました。

-¡A callar! ¡Deslenguada! -terció el Grifo antes de que Alicia pudiera decir nada. Y de esta manera la Tortuga Artificial pudo continuar su narración.

《「命令」》, 「動詞」「主語」「副詞節」 | Y 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

-¡A callar! ア・ガジャール 不定詞・命令 v.t 黙れ 「命令」
¡Deslenguada! デスレングェアダ n. 口ぎたない奴め！ 「呼びかけ」
-terció テルチョ 3 単点(terciar)v.i 発言した、参加した 「動詞」
el Grifo エル・グリフォ n.m グリフォンが 「主語」
antes de que エンテス・デ・ケ conj. ～する前に 「副詞節」
Alicia アリシア n.f アリスが 「主語」
pudiera decir プデイエラ・デシール 接・3 単過・可能(poder+不定詞 decir)
v.t 言える 「動詞句」
nada. ナダ pron 何も～ない 「目的語」
Y イ conj. そして
de esta manera デ・エスタ・マネラ adv. そんな風にして 「副詞句」
la Tortuga Artificial ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル n.f にせウミガメが 「主語」

9 Historia de la Tortuga Artificial

pudo continuar プト・コンチヌアル 3 単点・可能(poder+不定詞 continuar)

v.t 続けることが出来た 「動詞句」

su narración. ス・ナレーション n.f 彼の話を 「目的語」

「実際」と、にせウミガメは言った。「私たちは素晴らしい教育を受けていました：自慢じゃないけど、毎日学校に通ってました」

-En realidad -dijo-, recibimos una educación esmeradísima: modestia aparte, íbamos a la escuela a diario...

《「副詞句」》, 「動詞」, 《「動詞」「目的語」: 「副詞句」「動詞」「間接目的語」「副詞句」》

-En realidad エン・レアリダ^ダ adv. 実際、本当に 「副詞句」

-dijo-, ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

recibimos レシビモス 1 複線(recibir)v.t 受けていた 「動詞」

una educación ウナ・エドゥカシオン n.f 教育を 「目的語」

esmeradísima: エスメラディシマ adj. 入念な、丁寧な 「形容詞」

modestia aparte, モデスチア・アパルテ adv. 自慢じゃないが 「副詞句」

íbamos イバモス 1 複線(ir)v.i 通っていた 「動詞」

a la escuela ア・ラ・エスケラ adv. 学校へ 「間接目的語」

a diario... ア・ディアリオ adv. 毎日 「副詞句」

「私だって毎日通っているわ；そんなに自慢することないと思うわ」、とアリスは言った。

-¡Pues vaya! A mí también me toca ir todos los días; no creo que sea para tanto presumir... -dijo Alicia.

《「感嘆」 | 「間接目的語」「副詞」「間接目的語」「動詞」「主語」; 「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」

-¡Pues vaya! プエス・バヤ int. まあ！ 「感嘆」

A mí ア・ミ adv. 私にとって 「間接目的語」

también タンビエン adv. 同様に 「副詞」

me メ pron 私に 「間接目的語」

toca トカ 3 単現(tocar)v.i 関係がある 「動詞」

ir イル 不定詞 n. 通うことは 「主語」

todos los días; トトル・ロス・ディアス adv. 毎日 「副詞句」

no creo ノ・クロ 1 単現・否定(creer)v.t 思わない 「動詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

sea セア 接・3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

para +不定詞 パラ adv. (相当) ～に値する、(目的) ～するために 「補語」

9 Historia de la Tortuga Artificial

tanto タント adv. そんなに	「副詞」
presumir... プレズミール 不定詞 v.i 自慢する	「動詞」
-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
Alicia. アリシア n.f アリスが	「主語」

「追加の科目もあったの？」と、にせウミガメがいくらか不安そうに尋ねた。

-¿Con «extras»? -preguntó la Tortuga Artificial con cierta ansiedad.	《「応答」》, 「動詞」「主語」「副詞句」
-¿Con «extras»? コン・エクストラ adv. 追加科目もあったの？	「応答」
-preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた	「動詞」
la Tortuga Artificial ラ・トルトゥガ・アルティフィアル n.f にせウミガメが	「主語」
con cierta ansiedad. コン・シエルタ・アンシエタ adv. いくらか不安そうに	「副詞句」
追加科目	

大学で学ぶ科目の分類には、一般教養科目、必修科目、選択科目があります。この文の追加科目は選択科目になると思います。スペイン語では、**asignatura opcional** になります。

「あったわ」と、アリスは答えた。「フランス語と音楽の授業も受けたわ」

-Sí -contestó Alicia; nos dan también lecciones de francés y de música.	《「応答」》, 「動詞」「主語」, 《「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》
-Sí シ adv. あったわ	「応答」
-contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた	「動詞」
Alicia; アリシア n.f アリスは	「主語」
nos ノス pron 私たちに	「間接目的語」
dan ダン 3 複現(dar)v.t 与える	「動詞」
nos を主語にして翻訳する	
también lecciones タンビエン・レクシオネス pl(lección).n.f 科目も	「直接目的語」
de francés デ・フランス adj. フランス語の	「形容詞句」
y イ conj. そして	
de música. デ・ムシカ adj. 音楽の	「形容詞句」

「それに、洗濯もあった？」と、にせウミガメがしつこく尋ねます。

-¿Y de lavado? -insistió la Tortuga Artificial.	《Y「質問」》, 「動詞」「主語」
-¿Y イ conj. そして	
de lavado? デ・ラバト adj. 洗濯の授業も？	「質問」
-insistió インシスチオ 3 単点(insistir)v.i 執拗に尋ねた	「動詞」
la Tortuga Artificial. ラ・トルトゥガ・アルティフィアル n.f にせウミガメが	「主語」

9 Historia de la Tortuga Artificial

「ある訳ないでしょう！」と、アリスが怒って答えた。

-¡Ciertamente que no! -contestó Alicia indignada. 《「応答」》, 「動詞」「主語」「副詞」
 -¡Ciertamente シェルタメント adv. 疑いなく 「副詞」
 que no! ケ・ノ conj. ～でないことは 「応答」
 -contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.v.t 答えた 「動詞」
 Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
 indignada. インディグナダ 過去分詞.f(indignar)adv. 憤慨して 「副詞」

「それなら、あんたの学校は実際は良い学校でなかったんだ」と、にせウミガメはほっとしたように断言した。

-¡Ah! En ese caso, la tuya no era en realidad una buena escuela. -afirmó la Tortuga Artificial muy aliviada.
 《「感嘆」「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」「補語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」
 -¡Ah! アー int. ああ！ 「感嘆」
 En ese caso, エン・エセ・カソ adv. それなら、その場合には 「副詞句」
 la tuya ラ・トゥヤ n.f あなたの学校は 「主語」
 no era ノ・エラ 3 単線・否定(ser)v.i ～でなかった 「動詞句」
 en realidad エン・レアリダド adv. 実際は 「副詞句」
 una buena escuela ウナ・ブエナ・エスケラ n.f 良い学校 「補語」
 -afirmó アフィルモ 3 単点(afirmar)v.t 断言した 「動詞」
 la Tortuga Artificial ラ・トルトゥガ・アルティフィアル n.f にせウミガメが 「主語」
 muy aliviada. ムイ・アリビアダ 過去分詞.f(aliviar)adv. 気が楽になって、ほっとして「副詞句」

「私たちの学校では、請求書の最後に必ず、『フランス語、音楽および洗濯—追加』と書いてあったんだから」

En cambio, en la nuestra, todas las cuentas acababan con francés, música y lavado ; extra.
 《「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞句」》
 En cambio, エン・カンビオ adv. その代わり、それに引き換え 「副詞句」
 → 「アリスの学校とは違って」の意味
 en la nuestra, エン・ラ・ヌエストラ adv. 私たちの学校では 「副詞句」
 todas las cuentas トダス・ラス・クエンタス pl(cuenta).n.f すべての請求書は 「主語」
 acababan アカバン 3 複線(acabar)v.i 終わっていた 「動詞」
 con francés, música y lavado ; extra. コン・フランセス・ムシカ・イ・ラバド・エクストラ
 adv. (手段)「フランス語、音楽および洗濯—追加」で 「副詞句」

9 Historia de la Tortuga Artificial

「洗濯は、あなた達にはあまり役にたたない」と、アリスが言った。「海底での生活には」

-De poco les serviría -dijo Alicia-, viviendo en el fondo del mar.

《「副詞句」「間接目的語」「動詞」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞句」》

-De poco テ・ポコ adv. ほとんど重要性の無い 「副詞句」

les レス pron.pl あなたたちにとって 「間接目的語」

serviría セルビリア 3 単過未・推量(servir)v.i 役にたつ 「動詞」

-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia-, アリシア n.f アリスは 「主語」

viviendo ビビエント 現在分詞・目的 adv. 生活するために 「副詞句」

en el fondo del mar. エン・エル・フォント・デル・マル adv. 海底で 「副詞句」

「だけど、選択科目を受けることは出来なかったんだ」と、にせウミガメはため息をついて続けた。「ふつう科目だけは、受けることができたんだ」

-¡Nunca tuve la ocasión de aprender esa asignatura! -continuó la Tortuga Artificial con un suspiro-. Solamente me permitieron seguir los cursos ordinarios.

《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」,

《「副詞」「目的語」「動詞」「補語」》

-¡Nunca tuve ヌンカ・トゥヘ 1 単点・否定(tener)v.t 〜がまったく無かった 「動詞句」

la ocasión ラ・オカシオン n.f 機会、チャンス 「目的語」

de aprender テ・アプレンテール 不定詞・目的 v.t 〜を習うための 「形容詞句」

esa asignatura! エサ・アシグナトゥラ n.f その科目を 「目的語」

-continuó コンチヌオ 3 単点(continuar)v.i 続けた 「動詞」

la Tortuga Artificial ラ・トルトゥガ・アルティフィシャル n.f にせウミガメが 「主語」

con un suspiro-. コン・ウン・スッピロ adv. ため息をついて 「副詞句」

Solamente ソラメンテ adv. 〜だけ 「副詞」

me メ pron 僕を 「目的語」

permitieron ペルミチエロン 3 複点(permitir)v.t 許した 「動詞」

seguir セギール 不定詞・me の動作 v.t 学び続ける 「補語」

los cursos ordinarios. ロス・クルソス・オルディナリオス pl(curso).n.m ふつう科目を 「目的語」

一般教養科目を表わす

9 Historia de la Tortuga Artificial

「それで、ふつう科目には何がありましたか？」と、アリスが尋ねた。

-¿Y en qué consistían? -preguntó Alicia. 《Y「間接目的語」「動詞」》,「動詞」「主語」

-¿Y í conj. そして

en qué エン・ケ adv. 何によって 「間接目的語」

consistían? コンシスチアン 3 単線(consistir)v.i(en から) 構成されていた 「動詞」

-preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

Alicia. アリシア n.f アリスは 「主語」

「えー、もちろんまず最初に『読み書き』を習った」と、にせウミガメは答えた。「それから、算数の様々な分野を：『四則演算』を習った」

-Pues nos enseñaban a beber y escupir, naturalmente, para empezar -replicó la Tortuga Artificial-, y luego las diversas ramas de la Aritmética: a fumar y a reptar, y también la feificación y la dimisión.

《「応答」「動詞句」「目的語」「副詞句」》,「動詞」「主語」,《y「副詞」「目的語」》

-Pues プエス adv. えーと 「応答」

nos enseñaban ノス・エンセニャバン 3 複線(enseñar+nos)v.t 私たちは習った 「動詞句」

三人称複数「目的語」を主語にして翻訳するのが良い

a beber y escupir, ア・ベ・ベル・イ・エスクリール 不定詞 n. 飲み吐きを 「目的語」

beber ベ・ベル v.t 飲む escupir エスクリール v.i 唾を吐く

naturalmente, ナチュラルメンテ adv. もちろん、当然 「副詞」

para empezar パラ・エンパサール adv. まず最初に 「副詞句」

-replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.t 答えた 「動詞」

la Tortuga Artificial-, ラ・トルトゥガ・アルティフィアール n.f にせウミガメが 「主語」

y í conj. そして

luego ルエゴ adv. それから 「副詞」

las diversas ramas ラス・デ・イベルサス・ラマス pl(rama).n.f 様々な分野を 「目的語」

de la Aritmética: デ・ラ・アリトメカ adj. 算数の 「形容詞句」

a fumar y a reptar, ア・フマル・イ・ア・レプタール 不定詞 n. 吸うことと這うことを 「目的語」

fumar フマル v.i 吸う reptar レプタール v.i 這う

y í conj. そして

también タンビエン adv. 何も 「副詞」

la feificación y la dimisión. ラ・フェイフィカシオン・イ・ラ・ディミシオン

pl.n.f 崇拝と辞任を 「目的語」

deificación デイフィカシオン n.f 神格化、崇拝 dimisión デイミシオン n.f 辞任

英語版では

'Reeling and Writhing, of course, to begin with,' the Mock Turtle replied; 'and then the

9 Historia de la Tortuga Artificial

different branches of Arithmetic - Ambition, Distraction, Uglification, and Derision.'

科目名の造語が並んでいる : Reeling and Writhing → Reading and Writing 読み書き

Ambition, Distraction, Uglification, and Derision → 加減乗除 (四則演算)

スペイン語では、cuatro reglas aritméticas これらの科目名は「言葉遊び」

「そんな科目は聞いたことがないけど」と、アリスは思い切って言った。

-Nunca he oído hablar de «feificación» -se atrevió a decir Alicia.

《「動詞句」「間接目的語」》, 「動詞句」「主語」

-Nunca he oído スカ・エ・オイト¹ 1 単現・完了形・否定(oir)v.t 聞いたことが無い 「動詞句」

hablar de «feificación» ハブラール・デ・フェイフィカシオン adv. その科目について 「間接目的語」

-se atrevió a decir セ・アトレビオ・ア・デシル 3 単点・敢えて(atreverse a+不定詞 decir)

v.pr 思い切って言った

「動詞句」

Alicia.アリシア n.f アリスは

「主語」

グリフォンは驚いて両足を上げました。

El Grifo levantó sus dos patas en ademán de sorpresa:

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

El Grifo エル・グリフォ n.m グリフォンは

「主語」

levantó レバント 3 単点(levantar)v.t 上げた

「動詞」

sus dos patas ス・ト・ス・パタス pl(pata).n.f (動物の) 両足を

「目的語」

en ademán エン・アデマン adv. (原因) 仕草で

「副詞句」

de sorpresa: デ・ソルプレサ adj. 驚きの

「形容詞句」

「なんだって!『崇拜』を習った事がないって!」と、叫んだ。「少なくとも、『美化』くらいは分かるよな!」

-¡Cómo! ¡Nunca has aprendido a feificar! -exclamó. ¡Al menos sabrás lo que quiere decir «embellecer»!

《「聞き返し」 | 「動詞句」》, 「動詞」, 《「副詞句」「動詞」「目的語」》

-¡Cómo! コモ adv. なんだから!

「聞き返し」

¡Nunca has aprendido スカ・アス・アプレンデイト² 2 単現・完了形・否定(aprender)

v.t(a+不定詞 ~の仕方を) 習ったことがないだって?

「動詞句」

a feificar! ア・フェイフィカル 不定詞(feificar)v.t 崇拜する

「動詞句」

-exclamó. エスクラモ 3 単点((exclamar)v.i 叫んだ

「動詞」

¡Al menos アル・メノス adv. すくなくとも、せめて

「副詞句」

sabrás サブラス 2 単未(saber)v.t 分かるだろう

「動詞」

lo que ロ・ケ pron ~することを

「目的語」

quiere decir キエレ・デシル 3 単現・願望(querer+不定詞 decir)

9 Historia de la Tortuga Artificial

v.t 意味する 「動詞句」
«embellecer»! エンベジエセル 不定詞 n. 美化、美しくする 「主語」

「分かるわ!」と、アリスは少し自信なさそうに言った。「それは、何かを少し綺麗にすることでしょう?」

-Sí -dijo Alicia dudándolo un poco; quiere decir... hacer algo.... un poco.... más bello.

《「応答」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 《「動詞句」「目的語」》

-Sí シ adv. 分かるわ 「応答」
-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
dudándolo ドゥダント・ロ 現在分詞・同時(dudar+lo)adv. 自信なさそうに 「副詞句」
un poco; ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」
quiere decir... キエレ・ディール 3 単現・願望(querer+不定詞 decir)v.t 意味する 「動詞句」
hacer アセル 不定詞 v.t することを 「目的語」
algo... アルゴ pron 何かを 「目的語」
un poco... más bello. ウン・ポコ・マス・ベジョ adj. 少し綺麗に 「補語」

「それはいいとして」と、グリフォンは続けた。「それで、もし『崇拜』の意味が分からないのなら、あんたは完全な馬鹿だ」

-Pues bien -continuó el Grifo-, si no sabes entonces lo que quiere decir feificar, desde luego eres tonta de remate.

《「副詞句」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞節」》, 「副詞句」「動詞」「補語」》

-Pues bien プエス・ビエン adv. (話の切り出し) では、さて 「副詞句」
-continuó コンチヌオ 3 単点(continuar)v.i 続けた 「動詞」
el Grifo, エル・グリフォ n.m グリフォンは 「主語」
si シ conj. もし~ならば 「副詞節」
no sabes ノ・サベス 2 単現・否定(saber)v.t 知らない 「動詞句」
entonces エントネス adv. それで 「副詞」
lo que ロ・ケ conj. ~ということを 「目的語」
quiere decir キエレ・ディール 3 単現(querer+不定詞)v.t 意味する 「動詞句」
feificar, フェイフィカル 不定詞(deificar)n. 崇拜するが 「主語」
desde luego デステ・ルエゴ adv. もちろん、すなわち 「副詞句」
eres エス 2 単現(ser)v.i ~である 「動詞」
tonta トンタ adj(tonto).f 馬鹿な 「補語」
de remate. デ・レマテ adv. (愚かさが) 完全な、救いようのない 「副詞句」

9 Historia de la Tortuga Artificial

これを聞いて、アリスはこれ以上質問する気力がなくなり、にせウミガメのほうに振り返って言った：

Con esto, Alicia no se sintió con ánimos para seguir preguntando, de forma que se volvió hacia la Tortuga Artificial y le dijo:

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「補語」,
de forma que 「動詞句」 「間接目的語」 y 「間接目的語」 「動詞」
Con esto, コン・エスト adv. これを聞いて 「副詞句」
Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
no se sintió ノ・セ・シンチオ 3 単点・否定(sentirse)v.pr (状態を) 感じなかった 「動詞句」
con ánimos コン・アニモス adv. (不随) 気力がある 「補語」
para seguir preguntando, パー・セギール・プレグンタント 不定詞・目的
adv. 質問を続けようという 「副詞句」
de forma que デ・フォルマ・ケ conj.(+直説法) (結果) そのため～
se volvió セ・ボルビオ 3 単点(volverse)v.pr 振り返った 「動詞句」
hacia la Tortuga Artificial アシア・ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル
adv. にせウミガメのほうに 「間接目的語」
y イ conj. そして
le レ pron 彼に 「間接目的語」
dijo: ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

「そこで、その他に何を学びましたか」

-¿Qué otras cosas aprendían allá? 《「目的語」 「動詞」 「副詞」》
-¿Qué otras cosas ケ・オTRAS・コサス pl(cosa).n.f その他に何かを 「目的語」
aprendían アプレンディアン 3 複線(aprender)v.t 学んだ 「動詞」
allá? アジャ adv. そこで 「副詞」

「えーと、歴史があった」と、にせウミガメは足ひれの先端で数えながら答えた。

-Bueno, teníamos Histeria -replicó la Tortuga Artificial, llevando la cuenta con las extremidades de sus aletas-,

《「副詞」 「動詞」 「目的語」》, 「動詞」 「主語」 「副詞句」
-Bueno, ブエノ adv. さて、えーと 「副詞」
teníamos テニアモス 1 複線(tener)v.t ～をした 「動詞」
Histeria イステリア n.f(historia) 歴史を 「目的語」
-replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.t 答えた 「動詞」
la Tortuga Artificial, ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル n.f にせウミガメが 「主語」
llevando la cuenta シェパント・ラ・クエンタ 現在分詞・同時 v.i ～を数えながら 「副詞句」

9 Historia de la Tortuga Artificial

llevar la cuenta de... 「～を数える、数を記録する」
 con las extremidades コン・ラス・エクストレミダデス adv. (手段) 先端で 「副詞句」
 de sus aletas, デ・ス・アレタス adj. 足ひれの 「形容詞句」

「古代史と現代史、海洋学、図画も学んだ。先生は週に1度やって来る老アナゴだった」

Histeria antigua y moderna con Mareografía; luego, Bidujo; el profesor era un viejo congrio que venía una vez a la semana:

《「目的語」；「副詞」，「目的語」；「主語」「動詞」「補語」》

Histeria イステリア n.f(historia) 歴史を 「目的語」
 antigua y moderna, アンチグア・イ・モデルナ adj. 古代と現代の 「形容詞句」
 con Mareografía; コン・マレオグラフィア con. (不随) (oceanografía) 海洋学も 「副詞句」
 luego, ルエゴ adv. それから 「副詞」
 Bidujo; ビドゥホ n.m(dibujo)n.m デッサン、図画 「目的語」
 el profesor エル・プロフェソール n.m 先生は 「主語」
 era エラ 3 単線(ser)v.i ～だった 「動詞」
 un viejo congrio ウン・ビエホ・コングリオ n.m アナゴの老人 「補語」
 que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 venía ベニア 3 単線・時制の一致(venir)v.i やって来る 「動詞」
 una vez ウナ・ベス adv. 1 度 「副詞句」
 a la semana: ア・ラ・セマナ adv. 週に 「副詞句」

彼は図画やスケッチや油絵の先生だった。

él fue el que nos enseñó a bidujar y a bofetear y la tintura al boleo 注 25.

「主語」「動詞」「補語」

él エル pron 彼は 「主語」
 fue フェ 3 単点(ser)v.i ～だった 「動詞」
 el que エル・ケ pron ～する先生 「補語」
 nos ノス pron 僕たちに 「間接目的語」
 enseñó エンセニョ 3 単点(enseñar)v.t(a+不定詞) ～を教えていた 「動詞」
 a bidujar ア・ビドゥハール 不定詞 n.(dibujar) 図画を 「直接目的語」
 y イ conj. そして
 a bofetear ア・ボフェテアル 不定詞 n.(bocetear) スケッチを 「直接目的語」
 y イ conj. そして
 la tintura al boleo 注 25. ラ・チントウラ・アル・ボレオラ・チントウラ・アル・ボレオ
 n.f(pintura al óleo) 油絵を 「直接目的語」

9 Historia de la Tortuga Artificial

「それで、それはどんなものだったのですか？」と、アリスはまた尋ねた。

-¿Y eso cómo era? -volvió a preguntar Alicia.

《Y「主語」「補語」「動詞」》,「動詞句」「主語」

-¿Y イ conj. そして

eso エソ pron それは 「主語」

cómo コモ adv. どのような 「補語」

era? エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」

-volvió a preguntar ボルビオ・ア・プレグンタル 3 単点・再度(volver a+不定詞 preguntar)

v.t また尋ねた 「動詞句」

Alicia. アリシア n.f アリスは 「主語」

「えーと、ぼくはきみに示すことができない」と、にせウミガメは答えた。「ぼくはもう硬直しすぎた。それにグリフォンは何も選択科目を取らなかった」

-Bueno, no puedo hacerte una demostración yo misma -contestó la Tortuga Artificial;
estoy ya demasiado anquilosada 注 26. Y el Grifo no aprendió nunca a hacerlo.

《「副詞」「動詞句」「目的語」「主語」》,「動詞」「主語」,

《「動詞」「副詞」「補語」 | Y「主語」「動詞」「目的語」》

-Bueno, ブエノ adv. えーと 「副詞」

no puedo hacerte ノ・プエト・アセルテ 1 単現・可能・否定(poder+不定詞 hacer+te)

v.t (動作を) きみにすることができない 「動詞句」

una demostración ウナ・デモストラシオン n.f 立証を 「目的語」

yo misma ジョ・ミス、ア pron 僕自身は 「主語」

-contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた 「動詞」

la Tortuga Artificial; ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル n.f にせウミガメは 「主語」

estoy エストイ 1 単現(estar)v.i ~である 「動詞」

ya ジャ adv. もう、すでに 「副詞」

demasiado anquilosada 注 26. デマシアト・アンキロサダ 過去分詞(anquilosar)

adj.f 硬直しすぎた 「補語」

Y イ conj. そして

el Grifo エル・グリフォ n.m グリフォンは 「主語」

no aprendió ノ・アプレンディオ 3 単点・否定(aprender)v.t 習わなかった 「動詞句」

nunca ヌンカ pron 何も~ない 「目的語」

a hacerlo. ア・アセル・ロ 不定詞・目的 adv. 選択科目をするために 「副詞句」

9 Historia de la Tortuga Artificial

「時間が無かったんだ」と、グリフォンが説明した。「でも、文学のクラスには行ったよ。
あの小さい先生、確かにカニじいさんだった」

-No tenía tiempo suficiente -explicó el Grifo-, Iba, sin embargo, a las clases de Letras. Y menudo maestro que teníamos, jése sí que era un viejo cangrejo!

《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」,

《「動詞」, 「副詞句」「間接目的語」 | Y「主語」「副詞句」「動詞」「補語」》

-No tenía ノ・テニア 1 単線・否定(tener)v.t ~がなかった 「動詞句」

tiempo suficiente ティエンポ°・スフィエンテ n.m 十分な時間が 「目的語」

-explicó エクスプリコ 3 単点(explicar)v.t 説明した 「動詞」

el Grifo-, エル・グリフォ n.m グリフォンは 「主語」

Iba, イバ° 3 単線(ir)v.i 行った 「動詞」

sin embargo, シン・エンバルゴ° adv. しかし 「副詞句」

a las clases de Letras. ア・ラス・クラス・デ・レtras n.f 文学のクラスに 「間接目的語」

letras レtras pl(letra)n.f (Letras として) 文学、文芸

Y イ conj. そして

menudo maestro メスト°・マエストロ n.m すごく小さい先生 「主語」

que teníamos, ケ・テニアモス adj. 持っていた 「形容詞節」

jése エセ pron あれは 「主語」

sí que シ・ケ adv. (強調) 確かに 「副詞句」

era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」

un viejo cangrejo! ウン・ビエジョ°・カングレホ n.m カニの老人 「補語」

「だけど、彼の授業に行ったことはないんだ」と、にせウミガメは溜息まじりに告白した。
「スケートボードと水撒きを教えていたみたいです」

-Pues yo nunca fui a sus clases -confesó la Tortuga Artificial con un suspiro-, dicen que enseñaba el patín y el riego.

《「副詞」「主語」「動詞句」「間接目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」,

《「副詞節」》

-Pues プエス adv. (言いよどみ) えーと、だけど 「副詞」

yo ジョ pron ぼくは 「主語」

nunca fui スカ・フィ 1 単点・否定(ir)v.i ~に行ったことが無い 「動詞句」

a sus clases ア・ス・クラス adv. 彼の授業に 「間接目的語」

-confesó コンフェソ 3 単点(confesar)v.t 告白した、認めた 「動詞」

la Tortuga Artificial ラ・トルトゥガ°・アルティフィシャル n.f にせウミガメは 「主語」

con un suspiro-, コン・スス・スピロ° adv. ため息まじりに 「副詞句」

dicen que ティエン・ケ adv. ~ということだ 「副詞節」

9 Historia de la Tortuga Artificial

enseñaba エンセニャバ 3 単線	「動詞」
el patín エル・パチン n.m スケートボードを	「目的語」
y イ conj. そして	
el riego. エル・リエゴ n.m 灌漑、水撒き	「目的語」

「その通り、その通り」と、今度はグリフォンも溜息をついて同意しました；そして生き物たちはどちらも顔を両脚で覆った。

-Así es, así es -asintió el Grifo, dando ahora él un suspiro; y ambas criaturas se taparon la cara con sus patas.

《「応答」》, 「動詞」「主語」「副詞句」; y 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」	
-Así es, así es アシ・エス・アシ・エス adv. その通り、その通り	「応答」
-asintió アシンチオ 3 単点(asentir)v.i 同意した	「動詞」
el Grifo, エル・グリフォ n.m グリフォンが	「主語」
dando ダント 現在分詞・同時(dar)adv. (動作を) しながら	「副詞句」
ahora アオラ adv. 今度は	「副詞」
él エル pron 彼が、彼も	「主語」
un suspiro; ウン・スビロ n.m ため息を	「目的語」
y イ conj. そして	
ambas criaturas アンバス・クリアトゥラス pl(criatura).n.f 生き物たちはどちらも	「主語」
se taparon セ・タパロン 3 複点(taparse)v.pr ~を覆った	「動詞句」
la cara ラ・カラ n.f 顔を	「目的語」
con sus patas. コン・ス・パタス adv. (手段) 両脚で	「副詞句」

「それで、その授業は1日に何時間あったの？」と、アリスは急いで厄介な話題を変えようとして尋ねた。

-¿Y cuántas horas al día duraban esas lecciones? -preguntó Alicia, apresurándose a cambiar el tema de conversación tan penosa.

《Y 「副詞句」「動詞」「主語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」	
-¿Y イ conj. そして	
cuántas horas クワンタス・オラス adv. 何時間	「副詞句」
al día アル・ディア adv. 1日について	「副詞句」
duraban ドゥアラバン 3 複線(durar)v.i 続いた	「動詞」
esas lecciones? エサス・レクシオネス pl(lección).n.f その授業は	「主語」
-preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた	「動詞」
Alicia, アリシア n.f アリスは	「主語」
apresurándose a cambiar アプレサラントセ・ア・カンビエール 現在分詞・目的	

9 Historia de la Tortuga Artificial

(apresurarse a+不定詞 cambiar)v.t 急いで変えようとして 「副詞句」
 el tema de conversación エル・テマ・デ・コンバサシオン n.m 話題を 「目的語」
 tan penosa. タン・ペノサ adj(penoso).f とても厄介な 「形容詞」

「最初の日は 10 時間だよ」と、にせウミガメは答えた。「次の日は 9 時間で、以下同様さ」

-Diez horas el primer día -respondió la Tortuga Artificial-; nueve al día siguiente, y así sucesivamente. 《「副詞句」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞句」, y 「副詞句」》
 -Diez horas デイエス・オラス pl(hora).n.f 10 時間 「副詞句」
 el primer día エル・プリメル・デ・イア adv. 最初の日は 「副詞句」
 -respondió レスポンデ・イオ 3 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」
 la Tortuga Artificial-; ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル n.f にせウミガメが 「主語」
 nueve スエベ pl(hora).n.f 9 時間 「副詞句」
 al día siguiente, アル・デ・イア・シギエнте adv. 翌日には 「副詞句」
 y イ conj. そして
 así sucesivamente. アシ・セシバメンテ adv. 以下同様に 「副詞句」

「なんておかしい時間割なの！」と、アリスは叫んだ。

-¡Qué horario más extraño! -exclamó Alicia. 《「応答」》, 「動詞」「主語」
 -¡Qué horario más extraño! ケ・オラリオ・マス・エクストラニョ adv. なんておかしい時間割なの！ 「応答」
 -exclamó エクスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ 「動詞」
 Alicia. アリシア n.f アリスは 「主語」

「だから、時間割と呼ばれるんだよ」と、グリフォンが説明した。「1 日ごとに減っていくからだよ」

-Por eso se llaman «cursos» -explicó el Grifo-, porque se «acortan» de día en día. 《「副詞句」「動詞句」「主語」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞節」》
 -Por eso ポル・エソ adv. (理由) それだから 「副詞句」
 se llaman セ・ジヤマン 3 複現・再帰受動(llamarse)
 v.pr 〜と呼ばれる、〜という名前だ 「動詞句」
 «cursos» クルソス pl(curso).n.m 講座 「主語」
 -explicó エクスプリコ 3 単点(explicar)v.t 説明した 「動詞」
 el Grifo-, エル・グリフォ n.m グリフォンが 「主語」
 porque ポルケ conj. 〜だから 「副詞節」
 se «acortan» セ・アコルタン 3 複現・再帰受動(acortarse)
 v.pr 減らされる、減る 「動詞句」
 de día en día. デ・デ・イア・エン・デ・イア adv. 1 日ごとに 「副詞句」

9 Historia de la Tortuga Artificial

これはアリスには新しいアイデアだったので、次の質問をする前にもう一度考えた。

Ésta sí que era una idea nueva para Alicia, y estuvo dándole vueltas al asunto antes de hacer otra pregunta:

「主語」「副詞句」「動詞」「補語」 y 「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」「副詞句」
 Ésta エスタ pron これは 「主語」
 sí que シ・ケ adv. (強調) 確かに 「副詞句」
 era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」
 una idea nueva ウナ・イデア・ヌエバ n.f 新しいアイデア、考え 「補語」
 para Alicia, パラ・アリシア adv. アリスにとって 「副詞句」
 y イ conj. そして
 estuvo dándole エストゥボ・ダントレ 3 単点・進行形(dar+le)v.t ~を与えた 「動詞句」
 vueltas ブエルタス pl(vuelta)n.f 逆戻り、読み返し 「直接目的語」
 al asunto アル・アスト adv. 物事に対して 「間接目的語」
 antes de hacer アンテス・デ・アセル adv. ~する前に 「副詞句」
 otra pregunta: オトラ・プレグンタ n.f 次の質問を 「目的語」

「それじゃあ、11 目はお休みになったはずよね?」「もちろんその通り」と、にせウミガメが認めた。

-Entonces, ¿el undécimo día tendría que ser fiesta? -Pues naturalmente que lo era -asintió la Tortuga Artificial.

《「副詞」「主語」「動詞句」「補語」》 | 《「応答」》, 「動詞」「主語」
 -Entonces, エントンセス adv. それでは 「副詞」
 ¿el undécimo día エル・ウンデシモ・ディア adv. 11 日目は 「主語」
 tendría que ser テントリア・ケ・セル 3 単過未・必要・推量(tener que+不定詞 ser)
 v.i ~になったはずだ 「動詞句」
 fiesta? フィエスタ n.f お休み、お祭り 「補語」
 -Pues naturalmente que lo era プエス・ナトゥラルメンテ・ケ・ロ・エラ adv. もちろんその通り 「応答」
 -asintió アシンチオ 3 単点(asintir)v.i 認めた 「動詞」
 la Tortuga Artificial. ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル n.f にせウミガメが 「主語」

9 Historia de la Tortuga Artificial

「それじゃあ、12 日目はどうしたの？」と、アリスは熱心に質問を続けた。

-Y entonces, ¿cómo se las arreglaban con el duodécimo? -siguió preguntando Alicia muy ávidamente. 《「副詞句」「動詞句」「副詞句」》, 「動詞句」「主語」「副詞句」

-Y entonces, イ・エントンセス adv. それでは、それじゃあ 「副詞句」

¿cómo コモ adv. どのように 「副詞」

se las arreglaban セ・ラス・アレグラバン 3 複線(arreglarse)v.pr 調整していた 「動詞句」

con el duodécimo? コン・エル・トゥオデシモ adv. 12 日目には 「副詞句」

-siguió preguntando シギオ・プレグナンタント 3 単点・継続(seguir+現在分詞 preguntar)

v.i 質問を続けた 「動詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

muy ávidamente. マイ・アビダメンテ adv. とても熱心に 「副詞句」

「授業のことはもう沢山だ！」と、グリフォンが断固とした口調で割り込んだ。「今度は、お遊戯のことを彼女に話してやれ！」

-¡Ya basta de cursos! -interrumpió el Grifo con tono decidido-. Ahora cuéntale algo sobre juegos. 《「応答」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 《「副詞」「動詞句」「目的語」》

-¡Ya やー adv. もう 「副詞」

basta de バスタ・デ adv. 〜はたくさんだ！ 「応答」

cursos! クルス pl(curso).n.m 科目、講義 「目的語」

-interrumpió インテルンピオ 3 単点(interrumpir)v.t 話を遮った、話に割り込んだ 「動詞」

el Grifo エル・グリフォ n.m グリフォンが 「主語」

con tono decidido-. コン・トノ・デシディト adv. 断固とした口調で、決然として 「副詞句」

Ahora アオラ adv. 今は、今度は 「副詞」

cuéntale クエンタ・レ 命・2 単現(contar+le)v.t 彼女に話せ 「動詞句」

algo アルコ pron 何かを 「目的語」

sobre juegos. ソブレ・フエゴス adv. 遊戯について 「副詞句」

10 La cuadrilla de la Langosta

10 La cuadrilla de la Langosta

大えびのグループダンス

La cuadrilla ラ・クワチルジャ n.f グループ、グループダンス 「主語」
de la Langosta デ・ラ・ランゴスタ adj. 大エビの、ロブスターの 「形容詞句」

にせウミガメは深くため息をつき、ひれの裏側で目を拭った。

La Tortuga Artificial suspiró profundamente y se enjugó los ojos con el reverso de una aleta. 「主語」「動詞」「副詞」 y 「動詞句」「目的語」「副詞句」

La Tortuga Artificial ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル n.f にせウミガメは 「主語」

suspiró スピロ 3 単点(suspirar)v.i ため息をついた 「動詞」

profundamente プロフンダメンテ adv. 深く 「副詞」

y イ conj. そして

se enjugó セ・エンゴ 3 単点(enjugarse)v.pr ～を拭いた 「動詞句」

los ojos ロス・オホス pl(ojo).n.m 目を 「目的語」

con el reverso コン・エル・レベルソ adv. (手段) 裏側で 「副詞句」

de una aleta. デ・ウナ・アレタ adj. ひれの 「形容詞句」

アリスを見て話そうとしたが、1 分か 2 分の間は、すすり泣きのために声が出なかった。

Miró a Alicia y trató de hablar, pero durante un minuto o dos los sollozos le ahogaban la voz. 「動詞」「目的語」 y 「動詞句」,

pero 「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 見た 「動詞」

a Alicia ア・アリシア n.f アリスを 「目的語」

y イ conj. そして

trató de hablar, トラト・デ・アブラール 3 単点・試行(tratar de+不定詞 hablar)

v.i 話そうとした 「動詞句」

pero ペロ conj. しかし

durante un minuto o dos トゥランテ・ウン・ミヌト・オ・ドス adv. 1～2 分の間 「副詞句」

los sollozos ロス・ソゾヨス pl(sollozo).n.m すすり泣きが 「主語」

le レ pron 彼女の 「間接目的語」

ahogaban アカバン 3 複線(ahogar)v.t 抑えつけた 「動詞」

la voz. ラ・ボス n.f 声を 「直接目的語」

10 La cuadrilla de la Langosta

「骨が喉につかえたみたいだ」と、グリフォンが説明した。そして懸命ににせウミガメを揺さぶったり、背中を優しく叩いたりした。

«Como si se le hubiera atragantado un hueso» comentó el Grifo, y se puso, diligente, a sacudirla y a darle unos buenos golpes en la espalda.

《「副詞節」》, 「動詞」「主語」, y

「動詞句」「副詞」「動詞句」 y 「動詞句」「目的語」「副詞句」

«Como si + 接続法 コ・シ conj. まるで～であるかのように 「副詞節」

se ...hubiera atragantado セ...ウビエラ・アトラカント 接・3 単過・完了形(atragantarse)

v.pr 喉に詰まった

「動詞句」

le le pron 彼の

「間接目的語」

un hueso ウン・ウエソ n.m. 骨が

「主語」

comentó コメント 3 単点(comentar)v.t 言った、説明した

「動詞」

el Grifo, エル・グリフォ n.m. グリフォンが

「主語」

y イ conj. そして

se puso, セ・プソ 3 単点・開始(ponerse a+不定詞) ～し始めた

「動詞句」

diligente, デイリヘンテ adv. 熱心に、てきぱきと

「副詞」

a sacudirla ア・サクディール・ラ 不定詞(sacudir+la)v.t にせウミガメを揺さぶる

「動詞句」

y イ conj. そして

a darle ア・ダール・レ 不定詞(dar+le)v.t (動作を) 与える

「動詞句」

unos buenos golpes ウノス・ブエノス・ゴルペス pl(golpe).n.m 優しい殴打を

「目的語」

en la espalda. エン・ラ・エスパルタ adv. 背中に

「副詞句」

にせウミガメはやっと声が出るようになり、何筋もの涙を頬に流しながら、話を続けた。

Al fin la Tortuga recobró la voz y reanudó su narración, mientras torrentes de lágrimas seguían surcándole las mejillas.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」 y 「動詞」「目的語」「副詞節」

Al fin アルフィン adv. ついに、やっと

「副詞句」

la Tortuga ラ・トルトゥガ n.f にせウミガメ

「主語」

recobró レコブロ 3 単点(recobrar)v.t 取り戻した

「動詞」

la voz ラ・ボス n.f 声を

「目的語」

y イ conj. そして

reanudó レアヌド 3 単点(reanudar)v.t 再開した

「動詞」

su narración, ス・ナラシオン n.f 彼の物語を

「目的語」

mientras ミエンtras conj. ～している一方で、～しながら

「副詞節」

torrentes de lágrimas トレンテス・デ・ラガリマス pl(orrente).n.m 涙の急流が

「主語」

seguían surcándole セギアン・スルカント・レ 3 複線・継続・時制の一致(seguir+現在分詞 surcar)

10 La cuadrilla de la Langosta

v.t 流れ続ける 「動詞句」

seguir+現在分詞 「～し続ける」

las mejillas. ラス・メヒジャス pl(mejilla).n.f 頬を 「目的語」

「もしかすると、君は海の底で暮らしたことがないだろう」(「もちろん、無いわ」と、アリスは答えた), 「それにおそらく、ロブスターに紹介されたこともないだろう」

-Acaso no hayas vivido mucho bajo el mar... - («Desde luego que no», dijo Alicia)-, y quizá no te hayan presentado tampoco a una langosta...

《「副詞」「動詞句」「副詞句」》,

(《「応答」, 「動詞」「主語」》),

《y 「副詞」「動詞句」「副詞」「間接目的語」》

-Acaso アカ adv. もしかすると 「副詞」

no hayas vivido ノ・アヤス・ビビド 接・2 単現・完了形・推量(vivir)

v.i 暮らしたことがないだろう 「動詞句」

mucho bajo ムチョ・バホ prep へのずっと下で 「副詞句」

el mar... エル・マル n.m 海 「目的語」

- («Desde luego デスデ・ルエゴ adv. もちろん 「副詞句」

que no», ケ・ノ adv. ない 「応答」

dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia)-, アリシア n.f アリスが 「主語」

y イ conj. そして

quizá キサ adv. おそらく、たぶん 「副詞」

no te hayan presentado ノ・テ・アヤン・プレソタド 接・3 複現・完了形・推量(presentar)

v.t (誰かが) 君を紹介しなかった 「動詞句」

受動態に翻訳する

tampoco タンポコ adv. もない 「副詞」

a una langosta... ア・ウナ・ランゴスタ adv. ロブスターに 「間接目的語」

10 La cuadrilla de la Langosta

(アリスは「1度だけ食べたことがある」というところだったが、間一髪で思いとどまって、「一度もありません」と答えた) それでは、大エビのグループダンスがどれほど素晴らしいかぼんやりとしたイメージも持てないだろう。

-(Alicia empezó a decir que «sí había probado una cierta vez», pero se atajó a tiempo y dijo en cambio: «No, nunca»)-, así, pues, ¡no puedes tener ni remota idea de lo delicioso que puede resultar una cuadrilla de langostas!

(「主語」「動詞句」「目的語」,pero「動詞句」「副詞句」 y 「動詞」「副詞句」:《「応答」》)

「副詞句」「動詞句」「目的語」

-(Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

empezó a decir エンペソ・ア・デシル 3 単点・開始(empezar a+不定詞 decir)

v.t ~と言いはじめた 「動詞句」

que ケ conj. ~ということ 「目的語」

«sí シ adv. はい 「応答」

había probado アビ・ア・プロバド 1 単線・完了形(probar)

v.t 食べたことがある 「動詞句」

una cierta vez, ウナ・シエルタ・ベス adv. 1 度だけ、昔 「副詞句」

pero ペロ conj. しかし

se atajó セ・アタ 3 単点(atajarse)v.pr 思いとどまった、やめた 「動詞句」

a tiempo ア・ティエンポ adv. 間に合って、間一髪で 「副詞句」

y イ conj. そして

dijo デ・イ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

en cambio: エン・カンビオ adv. 代わりに 「副詞句」

«No, nunca»)-, ノ・ヌンカ adv. 一度もない 「応答」

así, pues, アシ・フ・エス adv. それでは 「副詞句」

¡no puedes tener ノ・フ・エス・テネル 2 単現・否定(poder+不定詞 tener)

v.t ~を持てないだろう 「動詞句」

ni remota idea ニ・レモタ・イデア n.f ぼんやりした考えさえも 「目的語」

de lo delicioso デ・ロ・デリシオ adj. その素晴らしい 「形容詞句」

que ケ pron (補語) ~という 「形容詞節」

puede resultar フ・エデ・レスルタル 3 単現・可能性(poder+不定詞 resultar)

v.i ~と判明するだろう 「動詞句」

una cuadrilla de langostas! ウナ・カウト・リジャ・デ・ランコスタス

n.f 大エビのグループダンスが 「主語」

10 La cuadrilla de la Langosta

「ええ、仰る通りです」と、アリスは認めた。「それで、どんなダンスなのですか？」

-No, por cierto -confesó Alicia-. Y ¿qué clase de baile es ése?

《「応答」》, 「動詞」「主語」, 《Y「補語」「動詞」「主語」》

-No, por cierto ノ・ポル・シエルト adv. いいえ、確かに 「応答」

-confesó コンフェソ 3 単点(confesar)v.t 認めた 「動詞」

Alicia-. アリシア n.f アリスは 「主語」

Y イ conj. そして

¿qué clase de baile ケ・クラセ・デ・バイレ n.f どんな種類のダンス 「補語」

es エス 3 単現(ser)v.i 〜である 「動詞」

ése? エ ɸ pron それは 「主語」

「なに、簡単さ」と、グリフォンが答えた。「まず、海岸に沿って1列になるんだ」

-Pues muy sencillo -respondió el Grifo-. Primero se Forma en línea a lo largo de la costa...

《「応答」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞」「動詞句」「副詞句」》

-Pues プ・エス adv. えーと 「言いよどみ」

muy sencillo ムイ・センシジョ adj. とても簡単さ！ 「応答」

-respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」

el Grifo-. エル・グリフォ n.m グリフォンが 「主語」

Primero プリメロ adv. まず 「副詞」

se Forma セ・フォルマ 3 単現(formarse)v.pr 陣形を作る、陣形になる 「動詞句」

en línea エン・リネア adv. 一直線に 「副詞句」

a lo largo de la costa... ア・ロ・ラルゴ・デ・ラ・コスタ adv. 海岸に沿って 「副詞句」

「二列だよ！」と、にせウミガメが叫んだ。「アザラシやカメやサケが順に列を作り、それからクラゲを全部片づけてから...」

-¡Dos líneas! -exclamó la Tortuga Artificial-. Focas, tortugas, salmónes y así sucesivamente; luego, después de haber barrido todas las medusas del lugar...

《「訂正」》, 「動詞」「主語」, 《「主語」 y 「副詞句」》

-¡Dos líneas! トゥス・リネアス pl(línea).n.f 2 列だ！ 「訂正」

-exclamó エクスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ 「動詞」

la Tortuga Artificial-. ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル n.f にせウミガメが 「主語」

Focas, フォカス pl(Foca).n.f アザラシが 「主語」

tortugas, トルトウガス pl(tortuga).n.f カメが 「主語」

salmónes サルモネス pl(salmón).n.m サケが 「主語」

y イ conj. そして

así sucesivamente; アシ・スセシバメンテ adv. 以下同様に 「副詞句」

10 La cuadrilla de la Langosta

luego, ルエゴ adv. それから	「副詞」
después de +不定詞 デスプエス・デ adv. ～した後で	「副詞句」
haber barrido アベル・バリト 不定詞・完了形(barrer)v.t 一掃した	「動詞句」
todas las medusas トダス・ラス・メドゥサス pl(medusa).n.f クラゲを全部	「目的語」
del lugar... デル・ルガル adv. その場所から	「副詞句」

「それは、すごく時間がかかるんだ」と、グリフォンが言った。

-Lo que a veces toma mucho tiempo -aclaró el Grifo.

《「主語」「副詞句」「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」

-Lo que ロ・ケ pron そのことは	「主語」
a veces ア・ベセス adv. 時々	「副詞句」
toma トマ 3 単現(tomar)v.t 取る	「動詞」
mucho tiempo ムチョ・ティエンポ n.m 多くの時間を	「目的語」
-aclaró アクラロ 3 単点(aclarar)v.t 明らかにした、はっきりとさせた	「動詞」
el Grifo. エル・グリフォ n.m グリフォンが	「主語」

lo que

非制限用法 : 前文を受けて「そのことは」と翻訳する。

独立用法 : 名詞節となる。「～のこと」と翻訳する。

Es precisamente **lo que quería decir**. それはまさに私が言いたかった事だ。

que は decir の「目的語」で、lo は前文の「補語」である。

「2 歩、前進する」

-... <u>se avanzan dos pasos</u> ...	《「動詞句」「副詞句」》
-...se avanzan セ・アバンサン 3 複現(avanzarse)v.pr 前進する	「動詞句」
dos pasos... トス・パス pl(paso).n.m 2 歩	「副詞句」

「それぞれ、大エビとペアになって！」と、グリフォンが叫んだ。

-¡Cada uno con una langosta de pareja! -exclamó el Grifo.

《「主語」「副詞句」》, 「動詞」「主語」

-¡Cada uno カダ・ウノ pron それぞれは	「主語」
con una langosta de pareja! コン・ウナ・ランゴスタ・デ・パレハ	
adv. 大エビのパートナーと一緒に	「副詞句」
-exclamó エクスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ	「動詞」
el Grifo. エル・グリフォ n.m グリフォンが	「主語」

10 La cuadrilla de la Langosta

「その通り！」と、にせウミガメが答えて、続けた：「2 歩進んで、ペアになる」

-¡Por supuesto! concedió la Tortuga Artificial, y continuó-. Se avanzan dos pasos, se forman las parejas...

《「応答」》, 「動詞」「主語」, y 「動詞」, 《「動詞句」「副詞句」, 「動詞句」「補語」》

-¡Por supuesto! ホル・スプエスト adv. もちろん!、その通り 「応答」

-concedió コンセディオ 3 単点(conceder)v.t 認めた 「動詞」

la Tortuga Artificial, ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル n.f にせウミガメが 「主語」

y イ conj. そして

continuó: コンチスオ 3 単点(continuar)v.i 続けた 「動詞」

Se avanzan セ・アバンサン 3 複現(avanzarse)v.pr 前進する 「動詞句」

dos pasos, ドス・パソス pl(paso).n.m 2 歩 「副詞句」

se forman セ・フォルマン 3 複現(formarse)v.pr ~になる 「動詞句」

las parejas... ラス・パレハス pl(pareja).n.f ペア 「補語」

「大エビを替えて、2 歩さがる！」と、グリフォンが続けていった。

se cambia de langosta y se retiran en el mismo orden! prosiguió el Grifo.

《「動詞句」「間接目的語」 y 「動詞句」「副詞句」》, 「動詞」「主語」

se cambia セ・カンビア 3 単現(cambiarse)v.pr(de を) 替える 「動詞句」

de langosta デ・ランゴスタ adv. 大エビを 「間接目的語」

y イ conj. そして

se retiran セ・レチラン 3 複現(retirarse)v.pr 後ろに下がる、後退する 「動詞句」

en el mismo orden! エン・エル・ミスモ・オルデテン adv. 同様に 「副詞句」

-prosiguió プロシギオ 3 単点(proseguir)v.i 続けた 「動詞」

el Grifo. エル・グリフォ n.m グリフォンが 「主語」

「そうしたら」と、にせウミガメが続けた。「放り投げる」

-Al llegar a este punto continuó la Tortuga Artificial-, se lanzan las...

《「副詞句」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」「目的語」》

-Al llegar a este punto アル・ジエガール・ア・エステ・ポイント

adv. ここまで来たら、そうしたら 「副詞句」

-continuó コンチスオ 3 単点(continuar)v.t 続けた 「動詞」

la Tortuga Artificial-, ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル n.f にせウミガメが 「主語」

se lanzan セ・ランサン 3 複現(lanzarse)v.pr 放り投げる 「動詞句」

las... ラス pron.pl それを 「目的語」

10 La cuadrilla de la Langosta

「大えびを！」と、グリフォンが宙に跳び上がって叫んだ。

-¡Langostas! -gritó el Grifo, entusiasmado, dando un salto por el aire.
 《「目的語」》, 「動詞」「主語」, 「副詞句」
 -¡Langostas! ランゴスタス pl(langosta).n.f 大えびを 「目的語」
 -gritó グリト 3 単点(gritar)v.i 叫んだ 「動詞」
 el Grifo, エル・グリフォ n.m グリフォンが 「主語」
 entusiasmado, エントウシアスマト 過去分詞(entusiasmar)adv. 熱狂して 「副詞」
 dando ダント 現在分詞・同時(dar)v.t (動作を) しながら 「副詞句」
 un salto ウン・サルト n.m ジャンプを 「目的語」
 por el aire. ポル・エル・アイレ adv. 空中に 「副詞句」

「海に向かって出来るだけ遠くに！」

-...lo más lejos que se pueda a la mar..
 《「副詞句」》
 -...lo más lejos ロ・マス・レホス adv. より遠く 「副詞句」
 que ク conj. (比較) ～よりも 「副詞節」
 se pueda セ・プエダ 接・3 単現(poderse)v.pr 出来る 「動詞句」
 a la mar... ア・ラ・マル adv. 海に 「副詞句」

「そしたら、大えびを追って泳げ！」と、グリフォンが叫んだ。

-¡Y a nadar tras ellas! -chilló el Grifo.
 《Y 「動詞句」「副詞句」》, 「動詞」「主語」
 -¡Y イ conj. そして
 a nadar ア・ナダール 不定詞・命令 v.i 泳げ！ 「動詞句」
 tras ellas! トラス・エシヤス adv. 大えびを追って 「副詞句」
 -chilló チジョ 3 単点(chillar)v.i 叫んだ 「動詞」
 el Grifo. エル・グリフォ n.m グリフォンが 「主語」

「波が来るたびにとんぼ返りをしなさい！」と、にせウミガメは興奮して押さえきれず脚を打ち鳴らしで叫んだ。

-¡Dando una cabriola a cada ola! -gritó la Tortuga Artificial dando una zapateta de emoción, ya sin poderse contener.
 《「動詞」「目的語」「副詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞句」
 -¡Dando ダント 現在分詞・命令(dar)v.t (行動を) しなさい 「動詞」
 una cabriola ウナ・カブリオラ n.f とんぼ返りを 「目的語」
 a cada ola! ア・カダ・オラ adv. 波がくるごとに 「副詞句」
 -gritó グリト 3 単点(gritar)v.i 叫んだ 「動詞」
 la Tortuga Artificial ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル n.f にせウミガメが 「主語」

10 La cuadrilla de la Langosta

dando	ダント	現在分詞・同時	adv. しながら	「副詞句」
una zapateta	ウナ・サパ・テタ	n.f	靴を打ち鳴らすこと	「目的語」
de emoción,	デ・エモシオン	adv.	(原因) 興奮して	「副詞句」
ya	ヤ	adv.	もう	「副詞」
sin poderse contener.	シン・ポ・デルセ・コンテネル	adv.	抑えきれずに	「副詞句」

「また、大えびを替えるんだ！」と、グリフォンがわめいた。

-¡Vuelta a cambiar de langosta!	- <u>vociferó el Grifo.</u>	《「命令」》, 「動詞」「主語」		
-¡Vuelta	ブエルタ	n.f 回転	「命令」	
a cambiar	ア・カンビアル	不定詞・目的	adv. 変えるために	「副詞句」
de langosta!	デ・ランゴスタ	adv.	大えびを	「目的語」
-vociferó	ボシフェロ	3 単点(vociferar)	v.i わめいた	「動詞」
el Grifo.	エル・グリフォ	n.m	グリフォンが	「主語」

「また陸に戻るんだ！これで最初のダンスは終わりだ」と、にせウミガメが急に声をおとして言った；それから、説明の間中跳ねていた 2 匹の生き物はとても悲しそうにまた座り、静かにアリスを見つめた。

-¡A tierra de nuevo! y... ya se ha terminado la primera figura -dijo la Tortuga Artificial bajando repentinamente la voz; y las dos criaturas que habían estado dando saltos durante toda esta explicación se volvieron a sentar, muy contristadas, y miraron en silencio a Alicia.

《「副詞句」 y 「副詞」「動詞句」「主語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」;
y 「主語」「動詞句」, 「副詞句」 y 「動詞」「副詞句」「目的語」

-¡A tierra	ア・チエラ	adv.	陸に	「副詞句」
de nuevo!	デ・ヌエボ	adv.	また、再び	「副詞句」
y...	イ	conj.	そして	
ya	ヤ	adv.	もう	「副詞」
se ha terminado	セ・ア・テルミナト	3 単現・完了形(terminarse)v.pr	終わった	「動詞句」
la primera figura	ラ・プリメラ・フィグーラ	n.f	最初の演技が	「主語」
-dijo	ディホ	3 単点(decir)v.t	言った	「動詞」
la Tortuga Artificial	ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル	n.f	にせウミガメが	「主語」
bajando	バハント	現在分詞(bajar)・様態	adv. おとして	「副詞句」
repentinamente	レピンチナメンテ	adv.	突然、急に	「副詞」
la voz;	ラ・ボス	n.f	声を	「目的語」
y	イ	conj.	そして	
las dos criaturas	ラス・トス・クリアトゥラス	pl(criatura).n.f	その 2 匹の生き物は	「主語」

10 La cuadrilla de la Langosta

que	ケ	pron (主語) ~する	「形容詞節」
habían estado dando	アビアン・エスタド・ダント	3 複線・完了形・進行形(dar)	
v.t	(動作を) していた	「動詞句」	
saltos	サルトス	pl(salto).n.m ジャンプを	「目的語」
durante toda esta explicación	トウランテ・トダ・エスタ・エクスプレカシオン		
adv.	この説明の間中	「副詞句」	
se volvieron a sentar,	セ・ホルビエロン・ア・センタル	3 複点・再度(volver a+不定詞 sentarse)	
v.pr	また座った	「動詞句」	
muy contristadas,	ムイ・コントリスタダス	過去分詞.pl.f(constristar)	
adv.	とても悲しそうに	「副詞句」	
y	イ	conj. そして	
miraron	ミロン	3 複点(mirar)v.t 見た	「動詞」
en silencio	エン・シレンシオ	adv. 静かに	「副詞句」
a Alicia.	ア・アリシア	n.f アリスを	「目的語」

「きっと素晴らしい踊りでしょうね」と、アリスはおずおずと言った。

-Debe ser un baile precioso -comentó Alicia tímidamente.

《「動詞句」「補語」》, 「動詞」「主語」「副詞」

-Debe ser	デベ・セル	3 単現・推測(deber+不定詞背 ser)v.i ~に違いない	「動詞句」
un baile	ウン・バイレ	n.m ダンス、踊り	「補語」
precioso	プレシオソ	adj. すばらしい	「形容詞」
-comentó	コメント	3 単点(comentar)v.t 言った、意見を言った	「動詞」
Alicia	アリシア	n.f アリスは	「主語」
tímidamente.	チミダメンテ	adv. おずおずと	「副詞」

「どのようにやるのか、少し見たいかね？」と、にせウミガメがアリスに尋ねた。

-¿Te gustaría ver un poquito cómo se hace? -le preguntó la Tortuga Artificial.

《「間接目的語」「動詞」「主語」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」

-¿Te	テ	pron 君にとって	「間接目的語」
gustaría	グスタリア	3 単過未・疑問文(gustar)v.i 気に入るかい？	「動詞」
ver	ベル	不定詞.n 見ることは	「主語」
un poquito	ウン・ポキト	adv. 少し	「副詞句」
cómo	コモ	adv. どのように~するかという事を	「目的語」
se hace?	セ・アセ	3 単現・再帰受動(hacerse)v.pr 行なわれる	「動詞句」
-le	レ	pron 彼女に (アリスに)	「間接目的語」
preguntó	プレグント	3 単点(preguntar)v.t 尋ねた	「動詞」

10 La cuadrilla de la Langosta

la Tortuga Artificial. ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル n.f にせウミガメが 「主語」

「ええ、是非とも！」と、アリスはきっぱりと言った。

-¡Ay! ¡Muchísimo! -aseguró Alicia. 《「応答」》, 「動詞」 「主語」

-¡Ay! ¡Muchísimo! アイ・ムチシモ adv. ええ、とつても！ 「応答」

-aseguró アセグロ 3 単点(asegurar)v.t 確言した、きっぱりと言った 「動詞」

Alicia. アリシア n.f アリスは 「主語」

「それじゃあ、来て、最初の踊りを踊りましょう！」と、にせウミガメがグリフォンに命じた。「大えび無しでもできるよな？だが、どっちが歌うんだ？」

-¡Pues venga; a bailar la primera figura! -ordenó la Tortuga Artificial al Grifo-. Podemos hacerlo sin langostas, ¿no es verdad? Pero ¿cuál de los dos cantará?

《「副詞」 「動詞句」 「目的語」》, 「動詞」 「主語」 「間接目的語」,

《「動詞句」 「副詞句」 「確認」 | Pero 「主語」 「動詞」》

-¡Pues フエス adv. それじゃあ 「副詞」

venga; a bailar ベンガ・ア・バイラル 接・3 単現・勧誘(venir a+不定詞 bailar)

v.t 来て、踊りましょう！ 「動詞句」

la primera figura! ラ・プリメラ・フィグーラ n.f 最初の踊りを 「目的語」

-ordenó オルデノ 3 単点(ordenar)v.t 命じた 「動詞」

la Tortuga Artificial ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル n.f にせウミガメが 「主語」

al Grifo-. アル・グリフォ adv. グリフォンに 「間接目的語」

Podemos hacerlo ポデモス・アセル・ロ 1 複現・可能(poder+不定詞 hacer+lo)

v.t それを出来る 「動詞句」

sin langostas, シン・ランゴスタス adv. 大えび無しで 「副詞句」

¿no es verdad? ノ・エス・ベルダ adv. そうだろう？ 「確認」

Pero ペロ conj. しかし

¿cuál de los dos クワル・デ・ロストロス pron 二人のうちどちらが 「主語」

cantará? カンタ 3 単未・疑問文(cantar)v.i 歌うのか？ 「動詞」

10 La cuadrilla de la Langosta

「おい、お前が歌えよ！」と、グリフォンが答えた。「俺はもう歌詞を忘れてしまった」

-¡Hombre! ¡Canta tú -contestó el Grifo-, que a mí ya se me ha olvidado la letra!

《「呼びかけ」「動詞」「主語」》, 「動詞」「主語」,

《「間接目的語」「副詞」「動詞句」「直接目的語」》

-¡Hombre! オンブレ n.m 男、お前、おい！

「呼びかけ」

la tortuga は女性名詞だが、にせウミガメがメスということではない

¡Canta カタ 命・3 単現(cantar)v.t 歌え！

「動詞」

tú トゥ pron お前が

「主語」

-contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた

「動詞」

el Grifo, エル・グリフォ n.m グリフォンが

「主語」

que ケ conj. 理由を説明

a mí ア・ミ adv. 俺は

「間接目的語」

ya ヤー adv. もう

「副詞」

se me ha olvidado セ・メ・ア・オ・ルビド 1 単現・完了形(olvidarse)v.pr 忘れてしまった「動詞句」

la letra! ラ・レトラ n.f 歌詞を

「直接目的語」

そう言うやいなや、アリスの周りを回転しながら厳かに踊りだしました。そして近づき過ぎた時にはアリスの足を踏みつけたり、前脚でリズムを取ったりしていましたが、にせウミガメのほうはとてもゆっくり、そしてとても憂鬱そうに歌っていました。

Y dicho y hecho, empezaron a bailar solemnemente dando vueltas y más vueltas alrededor de Alicia, pisándole los pies cuando se acercaban demasiado y llevando el compás con sus patas delanteras, mientras la Tortuga Artificial cantaba muy lentamente y con gran melancolía:

「副詞句」「動詞句」「副詞句」、「副詞句」、「副詞句」,

mientras 「主語」「動詞」「副詞句」

Y dicho y hecho, イ・デ・イ・チョ・イ・エ・チョ adv. そしてそう言うやいなや

「副詞句」

empezaron a bailar エンペ・サロン・ア・バイラル 3 複点・開始(empezar a+不定詞 bailar)

v.i 踊り出した

「動詞句」

solemnemente ソレムネメンテ adv. 厳かに

「副詞」

dando ダント 現在分詞・同時(dar)adv. (動作を) しながら

「副詞句」

vueltas y más vueltas ブ・エルタス・イ・マス・ブ・エルタス pl(vuelta).n.f 回転を

「目的語」

alrededor de Alicia, アルデトール・デ・アリシア adv. アリスの周りを

「副詞句」

pisándole ピ・サント・レ 現在分詞・同時(pisar)adv. 彼女を踏みつけながら

「副詞句」

los pies ロス・ピエス pl(pie).n.m 足を

「目的語」

cuando クワント conj. ～する時に

「副詞節」

se acercaban セ・アセルカバン 3 複線(acercarse)v.pr 近づいた

「動詞句」

10 La cuadrilla de la Langosta

demasiado デマシアト adv. あまりにも

「副詞」

y イ conj. そして

llevando ジェバント 現在分詞・同時(llevar)adv. (拍子を) 取りながら

「副詞句」

el compás エル・コンパス n.m リズムを、拍子を

「目的語」

con sus patas delanteras, コン・ス・パ・タス・デ・ランテラス adv. 前足で

「副詞句」

mientras ミエンTRAS conj. その一方で～

la Tortuga Artificial ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル n.f にせウミガメは

「主語」

cantaba カンタバ 3 単線(cantar)v.i 歌った

「動詞」

muy lentamente ムイ・レンタメンテ adv. とてもゆっくり

「副詞句」

y イ conj. そして

con gran melancolía: コン・グラン・メラソリア adv. とても憂鬱そうに

「副詞句」



10 La cuadrilla de la Langosta

「どうしてもっと早く進まないんだ？」と、

メルルーサがカタツムリに言った。

«¿Por qué no vas más aprisa?»,

le dijo una pescadilla a un caracol.

《「副詞句」「動詞句」「副詞句」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」「間接目的語」
 «¿Por qué ホル・ケ adv. どうして 「副詞句」
 no vas ノ・バス 2 単現・疑問文(ir)v.i 進まないのか? 「動詞句」
 más aprisa?», マス・アプリサ adv. もっと速く 「副詞句」
 le レ pron 彼に 「間接目的語」
 dijo ティホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 una pescadilla ウナ・ペスカティージャ n.f メルルーサの稚魚が 「主語」
 a un caracol. ア・ウン・カラコル adv. カタツムリに 「間接目的語」
 メルルーサ
 タラ目メルルーサ科の魚

「イルカが僕たちの後ろに迫って来て、

僕のシッポを踏んでいる」

«Tras nosotros viene, muy cerca, un delfín pisándome la cola.

《「副詞句」「動詞」「副詞句」「主語」》

«Tras nosotros トラス・ノトロス adv. (空間) 僕たちの後ろに 「副詞句」
 viene, ビエネ 3 単現(venir)v.i 来ている 「動詞」
 muy cerca, ムイ・セカ adv. すぐ近くに 「副詞句」
 un delfín ウン・デルフィン n.m イルカが 「主語」
 pisándome ピサント・メ 現在分詞・同時(pisar)adv. 踏みながら 「副詞句」
 la cola. ラ・コーラ n.f 僕のシッポを 「目的語」

「気を付けろ！あんなに速く、大えびとウミガメが進んでいる」

¡Fíjate cuán raudas las langostas y las tortugas avanzan todas!

《「呼びかけ」「副詞句」「主語」「動詞」「主語」》

¡Fíjate フィハテ 命・2 単現(fijarse)v.pr 気を付けろ！ 「呼びかけ」
 cuán raudas クアン・ラダス adv. あんなに速く 「副詞句」
 las langostas y las tortugas ラス・ランゴスタス・イ・ラストルトカス pl.n.f 大えびとウミガメが 「主語」
 avanzan アバンサン 3 複現(avanzar)v.i 進んでいる 「動詞」
 todas! トダス pron.pl.f 皆 「主語」

10 La cuadrilla de la Langosta

「砂利の上で僕らを待っている。君も来て踊らないか？」

Están esperándonos sobre el cascajo. ¿No querrás venir y bailar también?

《「動詞句」「副詞句」 | 「動詞句」「副詞」》

Están esperándonos エスタン・エスペラント・ノス 3 複現・進行形(esperar+nos)

v.t 僕らを待っている 「動詞句」

sobre el cascajo. ソブレ・エル・カスカホ adv. 砂利の上で 「副詞句」

¿No querrás venir y bailar ノ・ケラス・ウ・エニール・イ・バ イール 2 単未・否定・勧誘疑問文

(querer+不定詞)v.i 来て泳がないか? 「動詞句」

también? タンビエン adv. 君も、一緒に 「副詞」

「踊ろう、踊ろう、踊ろう、踊ろう」

Querrás, querrías, querrás, querrías,

《「動詞」「動詞」「動詞句」》

Querrás, ケラス 2 単未・勧誘(querer)v.t 踊ろう 「動詞」

querrías, ケリアス 2 単過未(querer)v.t 踊ろう 「動詞」

querrás, querrías, ケラス・ケリアス 2 単未・勧誘 v.t 踊ろう、踊ろう 「動詞句」

「君も踊らないか？」

¿no querrás tú bailar también?

《「動詞句」「主語」「動詞」「主語」》

¿no querrás ...bailar ノ・ケラス...バ イール 2 単未・否定・勧誘(querer+不定詞)

v.t 踊らないか? 「動詞句」

tú ...también? トゥ・タンビエン pron 君も 「主語」

「踊ろう、踊ろう、踊ろう、踊ろう」

Querrás, querrías, querrás, querrías,

《「動詞」「動詞」「動詞句」》

Querrás, ケラス 2 単未・勧誘(querer)v.t 踊ろう 「動詞」

querrías, ケリアス 2 単過未(querer)v.t 踊ろう 「動詞」

querrás, querrías, ケラス・ケリアス 2 単未・勧誘 v.t 踊ろう、踊ろう 「動詞句」

10 La cuadrilla de la Langosta

「君も踊らないか？」

¿no querrás tú bailar también?

《「動詞句」「主語」「動詞」「主語」》

¿no querrás ...bailar ノ・ケス...バ イール 2 単未・否定・勧誘(querer+不定詞)

v.t 踊らないか？

「動詞句」

tú ...también? トゥ・タンビエン pron 君も

「主語」

「君は知らないだろう。分からないだろう。どれほど楽しいかを。」

行ったり来たりして、僕らを持ち上げ、大えびと一緒に海に放り込む」

»No sabes, no puedes saber, cuán agradable es

el vaivén cuando levantándonos nos arrojen con las langostas ¡hacia el mar!»

《「動詞句」, 「動詞句」「目的語」》

»No sabes, ノ・サベス 2 単現・否定(saber)v.t 知らない

「動詞句」

no puedes saber, ノ・プ エデス・サベール 2 単現・可能・否定(poder+不定詞 saber)

v.t 分からない

「動詞句」

cuán agradable クワン・アグラダブレ pron (補語) どれほど楽しいかということ 「目的語」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

el vaivén エル・バイベン n.m 往復運動が

「主語」

cuando クワント conj. ~するとき

「副詞節」

levantándonos レバンタント・ノス 現在分詞・同時(levantar+nos)adv. 僕らを持ち上げて「副詞句」

nos ノス pron 僕らを

「目的語」

arrojen アロヘン 接・3 複現(arrojar)v.t 投げる

「動詞」

con las langostas コン・ラス・ランゴスタス adv. 大えびと一緒に

「副詞句」

¡hacia el mar!» アシア・エル・マル adv. 海へ

「副詞句」

しかしカタツムリが答えた：「とても遠い、遠すぎる！」

そして、そっちのほうを見ようとしなかった。

Pero el caracol respondía : «¡Muy lejos! ¡Demasiado lejos!», y ni se dignaba mirar adonde.

Pero 「主語」「動詞」: 《「感嘆」》, 「動詞句」「間接目的語」

Pero ペロ conj. しかし

el caracol エル・カラコル n.m カタツムリ

「主語」

respondía : レスポンディア 3 単線(responder)v.t 答えた

「動詞」

«¡Muy lejos! ¡Demasiado lejos!», ムイ・レホス・デマシアト・レホス

adv. とても遠い、遠すぎる！

「感嘆」

y イ conj. そして

10 La cuadrilla de la Langosta

ni se dignaba mirar ニ・セ・ディグナバ・ミラル 3 単線・否定・しようとする

(dignarse+不定詞 mirar)v.pr 見ようとしなかった

「動詞句」

adonde. アドンデ adv. そちらのほうを

「間接目的語」

「踊りたくない、踊れない、踊りたくない、踊れない、

踊りも出来ない」

No querría, no podría, no querría, no podría,

no querría bailar también.

《「動詞句」, 「動詞句」, 「動詞句」, 「動詞句」, 「動詞句」》

No querría, ノ・ケリア 1 単過未・願望・否定(querer)v.t 踊りたくない

「動詞句」

no podría, ノ・ポトリア 1 単過未・可能・否定(poder)v.t 踊れない

「動詞句」

no querría, no podría, ノ・ケリア・ノ・ポトリア 1 単過未・否定

v.t 踊りたくない、踊れない

「動詞句」

no podría también bailar. ノ・ポトリア・タンビエン・バイラル 1 単過未・可能・否定

(poder+不定詞 bailar)v.t 踊りもできない

「動詞句」

「踊りたくない、踊れない、踊りたくない、踊れない、

踊りも出来ない」

No querría, no podría, no querría, no podría,

no querría bailar también.

《「動詞句」, 「動詞句」, 「動詞句」, 「動詞句」, 「動詞句」》

No querría, ノ・ケリア 1 単過未・願望・否定(querer)v.t 踊りたくない

「動詞句」

no podría, ノ・ポトリア 1 単過未・可能・否定(poder)v.t 踊れない

「動詞句」

no querría, no podría, ノ・ケリア・ノ・ポトリア 1 単過未・否定

v.t 踊りたくない、踊れない

「動詞句」

no podría también bailar. ノ・ポトリア・タンビエン・バイラル 1 単過未・可能・否定

(poder+不定詞 bailar)v.t 踊りもできない

「動詞句」

「いくら遠くても、構わない」と、鱗の友達が答えた。

«¿Qué más da cuan lejos nos vayamos?»,

replicó su amigo el de las escamas.

《「目的語」「動詞」「副詞句」》, 「動詞」「主語」

«¿Qué más ケ・マス pron その上何を

「目的語」

da タ 3 単現・疑問文・反語(dar)v.t 与える、生み出す

「動詞」

→ 生むというのか? → 生まない → 同じだ

cuan lejos クアン・レホス adv. どれだけ遠くに

「副詞句」

10 La cuadrilla de la Langosta

nos vayamos?», ノス・バヤモス 1 複現(irse)v.pr 行ってしまう 「動詞句」
 replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.t 答えた 「動詞」
 su amigo ス・アミゴ n.m 彼の友人が 「主語」
 el de las escamas. エル・デ・ラス・エスカマス pron (同格) 鱗の友人が 「主語」

「他に浜があるのなら、分かるだろう、向こう岸へ行けばいい！」

«i Si hay otra playa, ya sabes, al otro lado, en la otra orilla!

《「副詞節」, 「動詞句」, 「間接目的語」》

«i Si シ conj. (仮定) もし～ならば 「副詞節」
 hay アイ 3 単現・存在(haber)v.t ～がある 「動詞」
 otra playa, オトラ・プラジャ n.f 別の浜が 「目的語」
 ya sabes, ヤー・サベス 2 単現(saber)v.t 分かるだろう 「動詞句」
 al otro lado, アル・オトロ・ラド adv. 反対側に 「副詞句」
 en la otra orilla! エン・ラ・オトラ・オリジャ adv. 向こうの岸へ 「間接目的語」

「イギリスから離れるほど、フランスには近づく。」

Cuanto más lejos de Inglaterra nos vayamos,

i más cerca de Francia!

《「副詞句」 「動詞句」, 「副詞句」》

Cuanto más lejos クワント・マス・レホス adv. より遠いほど 「副詞句」
 de Inglaterra デ・イングlaterra adv. イギリスから 「副詞句」
 nos vayamos, ノス・ヴァヤモス 接・1 複現・仮定(irse)v.pr 行くなれば 「動詞句」
 i más cerca マス・セカ adv. より近くに 「副詞句」
 de Francia! デ・フランシア adv. フランスから 「副詞句」

「だから愛しいカタツムリ、こっちへ来て、また踊ろうよ！」

Así que no palidezcas más, cara caracola, y ven,

i vayamos a bailar también!»

《「副詞節」, 「呼びかけ」, y 「動詞」, 「動詞句」 「副詞」》

Así que アシ・ケ conj. だから～ 「副詞節」
 no palidezcas más, ノ・パリデスカス・マス 接・2 単現・命令・否定
 (palidecer)v.i もう青ざめるな 「動詞句」
 cara caracola, カラ・カカロ n.f 愛しいカタツムリ 「呼びかけ」
 y イ conj. そして
 ven, ベン 命・2 単現(venir)v.i 来なさい 「動詞」
 i vayamos a bailar バヤモス・ア・バイラル 1 複現・勧誘(ir a+不定詞 bailar)

10 La cuadrilla de la Langosta

v.i 踊ろう 「動詞句」
también! タンビエン adv. また 「副詞」

「踊ろう、踊ろうよ、踊ろう、踊ろうよ、また踊ろうよ！」

Querrás, querrías, querrás, querrías, querrás bailar también.

《「動詞」, 「動詞」, 「動詞」, 「動詞」, 「動詞句」》

Querrás, クラス 2 単未・勧誘(querer)v.t 踊ろう 「動詞」
querrías, クラス 2 単過未・勧誘(querer)v.t 踊ろうよ 「動詞」
Querrás, クラス 2 単未・勧誘(querer)v.t 踊ろう 「動詞」
querrías, クラス 2 単過未・勧誘(querer)v.t 踊ろうよ 「動詞」
querrás bailar también. クラス・バイラル・タンビエン 2 単未・勧誘(querer)v.t また踊ろう 「動詞句」

「踊ろう、踊ろうよ、踊ろう、踊ろうよ、また踊ろうよ！」

Querrás, querrías, querrás, querrías, querrás bailar también27.

《「動詞」, 「動詞」, 「動詞」, 「動詞」, 「動詞句」》

Querrás, クラス 2 単未・勧誘(querer)v.t 踊ろう 「動詞」
querrías, クラス 2 単過未・勧誘(querer)v.t 踊ろうよ 「動詞」
Querrás, クラス 2 単未・勧誘(querer)v.t 踊ろう 「動詞」
querrías, クラス 2 単過未・勧誘(querer)v.t 踊ろうよ 「動詞」
querrás bailar también27. クラス・バイラル・タンビエン 2 単未・勧誘(querer)
v.t また踊ろう 「動詞句」

「どうもありがとう；とても面白い踊りでした」と、アリスは言って、やっと踊りが終わってほっとしました。「メルルーサのあの風変わった歌がとても気に入りました」

-Muchas gracias; es un baile muy interesante de observar -dijo Alicia, muy contenta de que se hubiera acabado, al fin; me ha gustado muchísimo ese curioso canto de la pescadilla.

《「お礼」; 「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」「補語」,
《「間接目的語」「動詞句」「主語」》

-Muchas gracias; マチャス・グラシアス adv. どうもありがとう 「お礼」
es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」
un baile muy interesante ウン・バイレ・マイ・インテレスンテ n.m とても面白い踊り 「補語」
de observar デ・オブセルバール 不定詞・原因 adv. 見ている 「副詞句」
-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
Alicia, アリシア n.f アリスは 「主語」
muy contenta マイ・コンテンタ adj.(de que+接続法 ~して) とてもうれしい 「補語」
de que デ・ケ conj. (理由) ~して 「副詞節」

10 La cuadrilla de la Langosta

se hubiera acabado, セ・ウベ・エラ・アカバト 接・3 単過・完了形(acabar)

v.i 終わった

「動詞句」

al fin; アル・フィン adv. やつと

「副詞句」

me メ pron 私にとって

「間接目的語」

ha gustado muchísimo ア・グスタド・ムチシモ 3 単現・完了形(gustar)

v.i すごく気に入った

「動詞句」

ese curioso canto エセ・クリオ・カント n.m あの風変わりな歌は

「主語」

de la pescadilla. デ・ラ・ペスカデイヤ adj. メルルーサの稚魚の

「形容詞句」

「ああ！メルルーサといえは」と、にせウミガメは説明した；「そうだ、もちろん何度か見た事があるだろうね」

-¡Ah! Respecto a la pescadilla -explicó la Tortuga Artificial-, son..., bueno, ¿las habrás visto ya alguna vez por supuesto?

《「感嘆」「副詞句」》, 「動詞」「主語」,

《「動詞」「副詞」, 「目的語」「動詞句」「副詞句」》

-¡Ah! アー adv. ああ！

「感嘆」

Respecto a レスペクト・ア prep (関連) ～に関して

「副詞句」

la pescadilla ラ・ペスカデイヤ n.f メルルーサ

「目的語」

-explicó エクスプリコ 3 単点(explicar)v.t 説明した

「動詞」

la Tortuga Artificial-, ラ・トルタガ・アルティフィシアル n.f にせウミガメが

「主語」

son..., ソン 3 複現(ser)v.i ～である

「動詞」

bueno, ブエノ adv. よろしい

「副詞」

¿las ラス pron 彼らを

「目的語」

habrás visto アブラス・ビスト 2 単未・完了形・疑問文(ver)v.t 見たことがあるだろう

「動詞句」

ya alguna vez, ヤー・アルグナ・ベス adv. もう何度か

「副詞句」

por supuesto? ポル・スプエスト adv. もちろん

「副詞句」

「ええ」と、アリスが答えた。「よく見たから、ばんご…」慌てて口を塞ぎました。

-Sí -replicó Alicia-, las he visto muy a menudo para cen... -pero se atajó a tiempo.

《「応答」》, 「動詞」「主語」, 《「目的語」「動詞句」「副詞句」》,

pero 「動詞句」「副詞句」

-Sí シ adv. ええ

「応答」

-replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.t 答えた

「動詞」

Alicia-, アリシア n.f アリスは

「主語」

las ラス pron.f.pl (pescadilla の代用) それを

「目的語」

he visto エ・ビスト 1 単現・完了形(ver)v.t 見た

「動詞句」

10 La cuadrilla de la Langosta

muy a menudo ムイ・ア・メスト ^o adv. とても頻繁に	「副詞句」
para cen... パラ・セ ⁿ adv. 夕食で	「副詞句」
-pero ペロ conj. しかし	
se atajó セ・アタ ^j 3 単点(atajarse)v.pr 思いとどまった	「動詞句」
atajar アタハ ^r v.t 食い止める、妨害する	
a tiempo. ア・ティエンポ ^o adv. 間に合って	「副詞句」

「そのばんごが何か分からない」と、にせウミガメが少し不安げに言った。「だけど、そんなに頻繁に見るのなら、それがどんなものかももちろん分かるだろう」

-No sé qué.es.eso.de.cen -dijo la Tortuga Artificial algo escamada-, pero si las has visto tan a menudo, naturalmente sabrás cómo son.	
	《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」,
	《pero 「副詞節」, 「副詞」「動詞」「目的語」》
-No sé ノ・セ 1 単現・否定(saber)v.t 知らない	「動詞句」
qué ケ pron (補語) 何ということ	「目的語」
es (ser)v.i ~である	「動詞」
eso de cen エソ・デ・セ ⁿ pron そのばんごが	「主語」
-dijo デイ ^j 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
la Tortuga Artificial ラ・トルトゥガ ^a ・アルティフィシアル n.f にせウミガメが	「主語」
algo escamada-, アルゴ・エスカマダ ^a adv. 少し不安げに	「副詞句」
pero ペロ conj. しかし	
si シ conj. もし~ならば	「副詞節」
las ラス pron.pl それを	「目的語」
has visto アス・ビスト 2 単現・完了形(ver)v.t 見た	「動詞句」
tan a menudo, タン・ア・メスト ^o adv. そんなに頻繁に	「副詞句」
naturalmente ナチュラルメンテ adv. もちろん	「副詞」
sabrás サブラス 2 単未・推量(saber)v.t 分かるだろう	「動詞」
cómo son. コモ・ソン conj. それがどのようなものかを	「目的語」

10 La cuadrilla de la Langosta

「そうだと思うわ」と、アリスは少し考えて答えた：「いつも尻尾を口にくわえて、パン粉にまみれている」

-Creo que sí -respondió Alicia, cavilando un poco: Siempre llevan la cola en la boca y están cubiertas de miga de pan.

《「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」, 「副詞句」,
《「副詞」「動詞」「目的語」「副詞句」 y 「動詞句」「副詞句」》

-Creo クレオ 1 単現(creer)v.t. ～だと思う 「動詞」
que sí ケ・シ pron. そうだと 「目的語」
-respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t. 答えた 「動詞」
Alicia, アリシア n.f. アリスは 「主語」
cavilando カビラント 現在分詞(cavilar)・同時 adv. 考えて 「副詞句」
un poco ウン・ポコ adv. 少し 「副詞句」
Siempre シエンプレ adv. いつも 「副詞」
llevan シェバン 3 複現(llevar)v.t. (服などを) 身につけている 「動詞」
la cola ラ・コラ n.f. 尻尾を 「目的語」
en la boca エン・ラ・ボカ adv. 口の中に 「副詞句」
y イ conj. そして
están cubiertas エスタン・クビエルタス 3 複現・受動.f.pl(cubrir)v.t.(de で) 覆われている 「動詞句」
de miga de pan. テ・ミガ・デ・パン adv. (動作主) パン粉で 「副詞句」
miga ミガ n.f. パンくず、パン粉

「パン粉に関しては間違っている」と、にせウミガメが訂正した。「だって、海水がパン粉を全て洗い流すだろうから」

-Te equivocas en cuanto a la miga -corrigió la Tortuga Artificial-, pues el agua del mar se la quitaría toda;

《「動詞句」「間接目的語」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞節」》

-Te equivocas テ・エキボカス 2 単現(equivocarse)v.pr. 間違えている 「動詞句」
en cuanto a エン・クワント・ア adv. (対象) ～に関して 「間接目的語」
la miga ラ・ミガ n.f. パン粉 「目的語」
-corrigió コリヒオ 3 単点(corregir)v.t. 訂正した 「動詞」
la Tortuga Artificial-, ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル n.f. にせウミガメが 「主語」
pues プエス conj. ～なので 「副詞節」
el agua del mar エル・アクァ・デル・マル n.f. 海水は 「主語」
se ...quitaría セ...キタリア 3 単過未・推量(quitarse)v.pr. 取り除くだろう 「動詞句」
la ラ pron.f. パン粉を 「目的語」
toda; トダ adj. すべての 「形容詞」

10 La cuadrilla de la Langosta

「だが本当に、尻尾をくわえているのは事実だ。そしてその奇妙な姿勢の理由は…」ここまで言うと、にせウミガメはあくびをして目を閉じた。

pero sí es verdad que siempre van mordiéndose la cola, y la razón de esta extraña postura es... -pero al llegar a este punto la Tortuga Artificial bostezó y cerró los ojos -.

《pero 「副詞」「動詞」「補語」「主語」》,

pero 「副詞句」「主語」「動詞」 y 「動詞」「目的語」

pero ペロ conj. しかし

sí シ adv. 本当に、そうだ

「副詞」

es エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

verdad ベルダッド n.f 事実

「補語」

que ケ conj. ~ということは

「主語」

siempre シエンプレ adv. いつも

「副詞」

van mordiéndose バン・モルディエンドセ 3 複現(ir+現在分詞 morderse)

v.t 噛んでいる

「動詞句」

la cola, ラ・コラ n.f 尻尾を

「目的語」

y イ conj. そして

la razón ラ・ラソン n.f 理由は

「主語」

de esta extraña postura デ・エスタエキストラ・ポストゥラ adj. 奇妙な姿勢の

「形容詞句」

es... エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

-pero ペロ conj. しかし

al llegar アル・ジエガール 不定詞(時点)adv. 着いて

「副詞句」

a este punto ア・エステ・プント adv. ここに

「目的語」

la Tortuga Artificial ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル n.f にせウミガメが

「主語」

bostezó ホステソ 3 単点(bostezar)v.i あくびをした

「動詞」

y イ conj. そして

cerró セロ 3 単点(cerrar)v.t 閉じた

「動詞」

los ojos-. ロス・オホス pl(ojo).n.m 両目を

「目的語」

10 La cuadrilla de la Langosta

「どうしてなのか、全部、この娘に話してやれよ」と、グリフォンに言った。

Anda, cuéntale por qué es así y todo eso -le dijo al Grifo.

《「動詞句」「目的語」》, 「間接目的語」「動詞」「間接目的語」

Anda, アンダ 命・2 単現(andar)v.i 先に進め、話を続けろ 「動詞」
 cuéntale クエンタ・レ 命・2 単現(contar+le)v.t この娘に話してやれ 「動詞句」
 por qué ポル・ケ adv. どうして～ということを 「目的語」
 es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」
 así アシ adv. そのような 「副詞」
 y イ conj. そして
 todo eso トド・エソ pron それを全部 「目的語」
 -le レ pron 彼に 「間接目的語」
 dijo ディホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 al Grifo. アル・グリフォ adv. グリフォンに 「間接目的語」

「理由は…」と、グリフォンが言った。「メルルーサはなんとしてもロブスターと踊りたいからだよ」

-La razón es -dijo el Grifo-, que querían bailar con las langostas a toda costa;

《「主語」「動詞」》, 「動詞」「主語」, 《「目的語」》

-La razón ラ・ラソン n.f 理由は 「主語」
 es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」
 -dijo ディホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 el Grifo-, エル・グリフォ n.m グリフォンが 「主語」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 querían bailar ケアン・バイラル 3 複線・願望・時制の一致(querer+不定詞 bailar)
 v.i 踊りたい 「動詞句」
 con las langostas コン・ラス・ランゴソタス adv. ロブスターと 「副詞句」
 a toda costa; ア・トダ・コスタ adv. 是非とも、どれほど犠牲を払っても 「副詞句」

10 La cuadrilla de la Langosta

「そして、もちろん、彼らはロブスターと一緒に投げ込まれる；すると、だから、ずいぶん遠くに落ちることになる」

y, claro, las arrojaban con ellas al mar; y, claro, tenían que caer por eso a gran distancia;

《y, 「副詞」, 「目的語」 「動詞」 「副詞句」 ; y, 「副詞」, 「動詞句」 「副詞句」》

y, イ conj. そして

claro, クラ adv. もちろん 「副詞」

las ラス pron.f.pl 彼らを 「目的語」

arrojaban アロハバン 3 複線・時制の一致(arrojar)v.t 投げる 「動詞」

受動態に翻訳する

con ellas コン・エジャス adv. ロブスターと一緒に 「副詞句」

al mar; アル・マル adv. 海に 「副詞句」

y, イ conj. そして

claro, クラ adv. もちろん 「副詞」

tenían que caer テニアン・ケ・カエル 3 複線・必然・時制の一致(tener que+不定詞)

v.i 落ちることになる 「動詞句」

por eso ポル・エソ adv. だから 「副詞句」

a gran distancia; ア・グラン・デ・イスタンシア adv. ずいぶん遠くに 「副詞句」

「そうすると、もちろん、自分の尻尾を口でくわえる；そうすると今度は、どうやって尻尾を口から吐き出すかが分からない。それがすべてだ」

y, claro, se sujetaban la cola con la boca; y, claro, luego no sabían cómo soltarla de nuevo. Eso es todo...

《y, 「副詞」, 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」 ; y, 「副詞」, 「副詞」 「目的語」 「主語」 「動詞」 「補語」》

y, イ conj. そして

claro, クラ adv. もちろん 「副詞」

se sujetaban セ・スヘタバン 3 複線・時制の一致(sujetarse)v.pr 自分の～にしがみつく 「動詞句」

la cola ラ・コラ n.f 尻尾に 「目的語」

con la boca; コン・ラ・ボカ adv. (手段) 口で 「副詞句」

y, イ conj. そして

claro, クラ adv. もちろん 「副詞」

luego ルエゴ adv. それで、それから 「副詞」

no sabían ノ・サビアン 3 複線・否定・時制の一致(saber)v.t 分からない 「動詞句」

cómo +不定詞 コモ adv. どうやって～するかが 「目的語」

soltarla ソルタル・ラ 不定詞(soltar+la)v.t 尻尾を放出する 「動詞句」

de nuevo. デ・ヌエボ adv. また、もう一度 「副詞句」

10 La cuadrilla de la Langosta

Eso エソ pron	それが	「主語」
es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
todo... トト pron	すべて	「補語」

「有難う」と、アリスは答えた。「とても面白いわ。メルルーサについてこんなにたくさん
の事は知らなかったわ」

-Gracias dijo Alicia-. ¡Qué interesante! Nunca supe tantas cosas sobre las pescadillas.

《「応答」》, 「動詞」「主語」, 《「応答」 | 「動詞句」「目的語」「副詞句」》

-Gracias	グラシアス adv.	有難う	「応答」
-dijo	ディヨ 3 単点(decir)v.t	言った	「動詞」
Alicia-	アリシア n.f	アリスは	「主語」
¡Qué interesante!	ケ・インテサント adj.	とても面白いね	「応答」
Nunca supe	ヌカ・スベ 1 単点・否定(saber)v.t	知らなかった	「動詞句」
tantas cosas	タンタ・コサス n.f	これほど多くの事を	「目的語」
sobre las pescadillas.	ソブレ・ラス・ペスカディージャス adv.	メルルーサについて	「副詞句」

「君が望むなら、もっと話してあげられるよ」と、グリフォンが言った。「どうしてメルルーサが白いのか、知っているかい？」

-Te puedo contar aún más, si quieres -añadió el Grifo- ¿Sabes por qué son blancas las pescadillas?

《「間接目的語」「動詞句」「副詞句」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞」「目的語」》

-Te	テ pron	君に	「間接目的語」
puedo contar	プエト・コンタル 1 単現・可能(poder+不定詞 contar)v.t	話してやれる	「動詞句」
aún más,	アウン・マス adv.	もっと	「副詞句」
si quieres	シ・キエス adv.	君が望むなら	「副詞節」
-añadió	アニャディオ 3 単点(añadir)v.t	付け加えた	「動詞」
el Grifo-	エル・グリフォ n.m	グリフォンは	「主語」
¿Sabes	サベス 2 単現・疑問文(saber)v.t	知っているか	「動詞」
por qué	ホル・ケ conj.	(理由) どうして～ということを	「目的語」
son	ソン 3 複現(ser)v.i	～である	「動詞」
blancas	ブランカス adj(blanco).f.pl	白い	「補語」
las pescadillas?	ラス・ペスカディージャス pl(pescadilla).n.f	メルルーサは	「主語」

10 La cuadrilla de la Langosta

「そんなこと、考えた事ありません」と、アリスが答えた。「どうしてですか？」

-Nunca me lo he preguntado -respondió Alicia-. ¿Por qué?

《「動詞句」「目的語」「動詞句」》, 「動詞」「主語」, 《「応答」》

-Nunca me ...he preguntado ヌンカ・メ...エ・プレグンタド 1 単現・完了形・否定(preguntarse)

v.pr いままで考えたことが無い

「動詞句」

lo 〇 pron そんなことを

「目的語」

-respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた

「動詞」

Alicia-. アリシア n.f アリスは

「主語」

¿Por qué? ポル・ケ adv. どうして?

「応答」

「靴やブーツを磨くのに使われるんだ」と、グリフォンはとても厳粛に説明した。「白いからだよ」

-Pues porque sirven para darle brillo a los zapatos y a las botas -explicó el Grifo con gran solemnidad-, por lo blancas que son.

《「副詞節」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 《「副詞句」》

-Pues porque プエス・ポルケ conj. (理由) 〜だから

「副詞節」

sirven シルベン 3 複現(servir)v.t 役立つ

「動詞」

para +不定詞 adv. (目的) 〜するために

「副詞句」

darle ダール・レ 不定詞(dar+le)v.t それに与える

「動詞句」

brillo ブリジョ n.m 輝きを

「直接目的語」

a los zapatos y a las botas ア・ロス・サハトス・イ・ロス・ボタス

adv. 靴やブーツに

「間接目的語」

-explicó エクスプリコ 3 単点(explicar)v.t 説明した

「動詞」

el Grifo エル・グリフォ n.m グリフォンは

「主語」

con gran solemnidad-, コン・グラン・ソルムニダド adv. (様子) 厳粛に

「副詞句」

por lo blancas que son. ポル・ロ・ブランカス・ケ・ソン adv. その白さのため

「副詞句」

10 La cuadrilla de la Langosta

アリスはびっくりしました。「磨くためだ!」と、それをどう説明すればよいか分からずに繰り返しました。「見てみよう。靴がどのように掃除されるのか。」と、グリフォンがアリスに尋ねた。「どうやってそれを磨くのかと言いたい」

Alicia se quedó de una pieza. «¡Para sacar brillo!», repetía, sin saber cómo explicárselo. -¡Pues claro! ¡A ver! ¿Cómo se limpian los zapatos? -le preguntó el Grifo-, Quiero decir, ¿cómo se les saca brillo?

「主語」「動詞句」「補語」, 《「副詞句」》, 「動詞」「副詞句」

《「応答」「副詞」「動詞句」「主語」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」,

《「動詞句」「副詞」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」》

Alicia	アリシア n.f	アリスは	「主語」
se quedó	セ・ケド` 3 単点(quedarse)v.pr	～の状態になった	「動詞句」
de una pieza.	デ・ウナ・ピエサ adj.	呆然とした、びっくりした	「補語」
Me quedé de una pieza/ 私はびっくり仰天した。			
«¡Para +不定詞	パラ adv.	～するために	「副詞句」
sacar	サカル 不定詞 v.t	作り出す、引き出す	「動詞」
brillo!»,	ブリリョ n.m	輝きを	「目的語」
repetía,	レペチア 3 単線(repetir)v.t	繰り返した	「動詞」
sin +不定詞	シン adv.	～せずに	「副詞句」
saber	サベル 不定詞 v.t	分かる	「動詞」
cómo	コモ adv.	どのように～するかということを	「目的語」
explicárselo.	エクスプリカル・セ・ロ 不定詞(explicarse+lo)		
v.pr	それを説明する		「動詞句」
-¡Pues claro! ¡A ver!	プエス・クラロ・ア・ベル adv.	もちろん、見てみよう	「応答」
¿Cómo	コモ adv.	どのように	「副詞」
se limpian	セ・リンピアン 3 複現・再帰受動(limpiarse)v.pr	掃除される	「動詞句」
los zapatos?	ロス・サパトス pl(zapato).n.m	靴は	「主語」
-le	レ pron	アリスに	「間接目的語」
preguntó	プレグント 3 単点(preguntar)v.t	尋ねた	「動詞」
el Grifo-,	エル・グリフォ n.m	グリフォンは	「主語」
Quiero decir,	キエロ・デシル 1 単現・願望(querer+不定詞 decir)v.t	言いたい	「動詞句」
¿cómo	コモ adv.	どのように～ということを	「目的語」
se ...saca	セ...カ 3 単現(sacarse)v.pr	作り出す	「動詞句」
les	レス pron.pl	それに	「間接目的語」
brillo?	ブリリョ n.m	輝きを	「直接目的語」

10 La cuadrilla de la Langosta

アリスは自分の足を見て、返事をする前に少し考えた：「靴墨で、だと思います」

Alicia se miró a los pies y reflexionó un poco antes de dar una contestación:

-Con negro de betún, me parece.

「主語」「動詞句」「目的語」 y 「動詞」「副詞句」：
《「応答」》, 「間接目的語」「動詞」

Alicia	アリシア n.f	アリスは	「主語」
se miró	セ・ミロ 3 単点(mirarse)v.pr	(自分の体の部分を) 見た	「動詞句」
a los pies	ア・ロス・ピエス pl(pie).n.m	自分の足を	「目的語」
y	イ conj.	そして	
reflexionó	レフレクシオノ 3 単点(reflexionar)v.i	熟考した	「動詞」
un poco	ウン・ポコ adv.	少し	「副詞句」
antes de +	不定詞 アンテス・デ	adv. ～する前に	「副詞句」
dar	ダール 不定詞 v.t	与える	「動詞」
una contestación:	ウナ・コンテスタシオン n.f	答え、返事	「目的語」
-Con negro de betún,	コン・ネグロ・デ・ベトゥン adv.	(手段・材料) 靴墨で	「応答」
me	メ pron	私には	「間接目的語」
parece.	パレセ 3 単現(parecer)v.i	～のように思われる	「動詞」

「海の底では、ブーツや靴は白いメルルーサで磨く」と、グリフォンがもったいぶった口調で割り込んだ。：《それはもう、分かりきったことだ》

-Pues bajo el mar, a las botas y a los zapatos se les da con blanco de pescadilla -interpuso el Grifo con voz sentenciosa: Ya lo sabes.

《「副詞節」》, 「副詞」「目的語」「動詞」

-Pues	プエス conj.	～なので	「副詞節」
bajo el mar,	バホ・エル・マル adv.	海の底では	「副詞句」
a las botas y a los zapatos	ア・ラス・ボタス・イ・ア・ロス・ザパトス		
	adv.	ブーツや靴に	「副詞句」
se ...da	セ...ダ 3 単現(darse)v.pr	磨く	「動詞句」
les	レス pron	それらを	「目的語」
con blanco de pescadilla	コン・ブランコ・デ・ペスカディージャ		
	adv. (手段)	白いメルルーサで	「副詞句」
-interpuso	インテルプソ 3 単点(interponer)v.t	割り込んだ	「動詞」
el Grifo	エル・グリフォ n.m	グリフォンが	「主語」
con voz sentenciosa:	コン・ボス・センテシオサ adv.	もったいぶった口調で	「副詞句」
Ya	ヤー adv.	もう	「副詞」
lo	ロ pron	そのことを	「目的語」

10 La cuadrilla de la Langosta

sabes. サベス 2 単現(saber)v.t 知っている 「動詞」

「それじゃあ、何を使って磨くの？」と、アリスはとても興味深げに尋ねた。

-¿Y de qué están hechos? -preguntó Alicia con gran curiosidad.

《Y「副詞句」「動詞句」》,「動詞」「主語」「副詞句」

-¿Y イ conj. そして

de qué デ・ケ adv. (手段) 何で 「副詞句」

están hechos? エスタン・エチョス 3 複現・受動(hacer)v.t 行なわれる、磨かれる 「動詞句」

-preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.i 尋ねた 「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

con gran curiosidad. コン・グラン・クリオシダド adv. とても興味深げに 「副詞句」

「銀ムツと赤魚でやる」と、グリフォンは少し焦って答えた。「どんなエビだって、その質問にどう答えるか分かっているはずだ」

-De mero y peces pacones -replicó el Grifo con alguna impaciencia-, ¡cualquier gamba habría sabido responder a esa pregunta!

《「副詞句」》,「動詞」「主語」「副詞句」,《「主語」「動詞句」「間接目的語」》

-De デ prep (手段) 〜で 「副詞句」

mero メロ n.m 銀ムツ 「目的語」

y イ conj. そして

peces pacones ペ・セス・パ・コネス pl(pez).n.m 赤魚 「目的語」

pacon パ・コン adj(paco+on : 示大) 赤褐色の

-replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.i 答えた 「動詞」

el Grifo エル・グリフォ n.m グリフォンは 「主語」

con alguna impaciencia-, コン・アルガナ・インパシエンシア adv. 少し焦って 「副詞句」

impaciencia インパシエンシア n.f 辛抱できないこと、いらだち、焦燥

¡cualquier gamba クォルキエル・ガンバ n.f どんなエビでも 「主語」

habría sabido responder アブリャ・サビド・レスポントール 3 単過未・完了形・分かる(saber+不定詞)

v.t 答えかたが分かっていたら 「動詞句」

a esa pregunta! ア・エサ・プレグンタ adv. その質問に 「間接目的語」

10 La cuadrilla de la Langosta

「もし私がそのメルルーサだったら」と、まだ歌の事を考えていたアリスはイルカに言った：「下がって下さい、あなたと一緒に居たくないわ！」

-Si yo hubiera sido esa pescadilla -dijo Alicia, que continuaba pensando en la canción-, le habría dicho al delfín: «¡Haga el favor de retirarse! No deseamos estar con usted».

《「副詞節」》, 「動詞」「主語」,

《「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」: 「動詞句」「副詞句」》

-Si シ conj. (仮定) もし～ならば 「副詞節」

yo ヨ pron 私が 「主語」

hubiera sido ヲヰエラ・シト 接・1 単過・完了形(ser)v.i ～だった 「動詞句」

esa pescadilla エサ・ペスカディジャ n.f そのメルルーサ 「補語」

-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia, アリシア n.f アリスは 「主語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

continuaba pensando コンチヌアバ・ペンサント 3 単線・継続(continuar+現在分詞 pensar)

v.i まだ考えていた、考え続けていた 「動詞句」

en la canción, エン・ラ・カンシオン adv. その歌の事を 「目的語」

le レ pron 彼に 「間接目的語」

habría dicho アブリア・ディチョ 1 単過未・完了形・推量(decir)v.t 言っただろう 「動詞句」

al delfín: アル・デルフィン adv. イルカに 「間接目的語」

«¡Haga アガ 接・3 単現・依頼(hacer)v.t ～してください 「動詞」

el favor エル・ファボル n.m 親切な行為を 「目的語」

de retirarse! テ・レチラルセ 不定詞・同格 adj. 引き下がるという 「形容詞句」

No deseamos estar ノ・デセアモス・エスタール 1 複現・願望・否定・存在(desear+不定詞 estar)

v.i 居たくない 「動詞句」

con usted». コン・ウステ adv. あなたと一緒に 「副詞句」

「彼と一緒に居る以外の方法が無かった」と、にせウミガメが言った：「彼と一緒に居られないことを自慢する魚はいなかった」

-No tenían más remedio que estar con él -dijo la Tortuga Artificial-, no hay pez que se precie en algo que no vaya acompañado a todas partes de un delfín.

《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」「目的語」》

-No tenían ノ・テニアン 3 複線・否定(tener)v.t ～が無かった 「動詞句」

más remedio マス・レメディオ n.m 他に方法が 「目的語」

que ケ conj. (no ...más...que+不定詞) (比較) ～するよりも 「副詞節」

estar エスタール 不定詞・存在 v.i 居る 「動詞」

con él コン・エル adv. 彼と一緒に 「副詞句」

10 La cuadrilla de la Langosta

-dijo	ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
la Tortuga Artificial;	ラ・トルトゥガ・アルティフィシャル n.f にせウミガメが	「主語」
no hay	ノ・アイ 3 単現・存在・否定(haber)v.i 〜がない	「動詞句」
pez	ペス n.m 魚は	「目的語」
que	ケ pron (主語) 〜する	「形容詞節」
se precie	セ・プレシエ 接・3 単現(preciarse)v.pr 自慢する	「動詞句」
en algo	エン・アルゴ adv. 何かについて	「間接目的語」
que	ケ conj. (同格) 〜という	「形容詞節」
no vaya acompañado	ノ・バ・ヤ・ア・アコンパニャド 接・3 単現・否定・受動(ir+過去分詞)	
	v.i 一緒に行かない、付き添われない	「動詞句」
a todas partes	ア・トダス・パルテス	
	adv. (否定文で) どこにも	「副詞句」
de un delfín.	デ・ウン・デルフィン	
	adv. (動作主) イルカに	「副詞句」

「本当なの？」と、とても驚いてアリスが尋ねた。

-¿De veras?	-preguntó Alicia, muy sorprendida...	《「応答」》, 「動詞」「主語」「副詞句」
-¿De veras?	デ・ベラス adv. 本当か?、本気か?	「応答」
-preguntó	プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた	「動詞」
Alicia,	アリシア n.f アリスは	「主語」
muy sorprendida...	ムイ・ソルプレンディダ adv. とても驚いて	「副詞句」

「当たり前だから！」と、にせウミガメが答えた。「さかなが僕に近づいて来て、『旅行ですか?』と尋ねたら、まず最初に『どのイルカと?』と聞き返すだろう」

-¡Pues claro que no!	-replicó la Tortuga Artificial-, como que si se me acercase un pez y me dijera que se iba de viaje, lo primero que le preguntaría sería: «Y ¿con qué delfín?».	《「副詞句」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞節」》, 「主語」「動詞」: 「応答」
-¡Pues	プエス conj. 〜なので	「副詞句」
claro	クラロ adj. 明白な	「補語」
que no!	ケ・ノ conj. 〜でないことは	「副詞句」
-replicó	レプリコ 3 単点(replicar)v.t 答えた	「動詞」
la Tortuga Artificial-,	ラ・トルトゥガ・アルティフィシャル n.f にせウミガメが	「主語」
como que	コモ・ケ conj. 〜するように	「副詞節」
si	シ conj. (仮定) もし〜ならば	「副詞節」
se ...acercase	セ...アセカセ 接・3 単過(acercarse)	

10 La cuadrilla de la Langosta

v.pr 近づいた、寄って来た	「動詞句」
me メ pron 僕に	「間接目的語」
un pez ウン・ペス n.m さかなが	「主語」
y イ conj. そして	
me メ pron 僕に	「間接目的語」
dijera ディハ 接・3 単過(decir)v.t 言った	「動詞」
que ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
se iba セ・イバ 3 単線・時制の一致(irse)v.pr(de に) 出かける	「動詞句」
de viaje, デ・ビァ adv. 旅行に	「副詞句」
lo primero ロ・プリメロ pron 最初の事は	「主語」
que ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
le レ pron 相手に	「間接目的語」
preguntaría プレガントリア 1 単過未・推量(preguntar)	
v.t 尋ねるだろう	「動詞」
sería: セィア 3 単未(ser)v.i ～だろう	「動詞」
«Y イ conj. そして、それで	
¿con qué delfín?». コン・ケ・デルフィン adv. どのイルカと?	「応答」

「何のために言おうとしないの？」とアリスは尋ねた。

-No querrá usted decir ¿con qué fin? -inquirió Alicia.

《「動詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」》, 「動詞」「主語」

-No querrá ...decir ノ・ケラ...デシル 3 単未・否定・願望・疑問文(querer+不定詞 decir)

v.t 言おうとしないのか?	「動詞句」
usted ウステ pron あなたは	「主語」
¿con コン prep (原因) ～で	「副詞句」
qué fin? ケ・フィン n.m 何の目的	「目的語」
-inquirió インキリオ 3 単点(inquirir)v.t 尋ねた	「動詞」
Alicia. アィア n.f アリスは	「主語」

「俺が言う事が全てだ！」と、にせウミガメはかなりムッとして吐き出すように言った；すると、グリフォンが付け加えた：

-¡Digo lo que digo! -espetó la Tortuga Artificial bastante ofendida; y el Grifo añadió:

《「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」; y 「主語」「動詞」

-¡Digo ディゴ 1 単現(decir)v.t 言う	「動詞」
lo ロ pron それを	「目的語」
que ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」

10 La cuadrilla de la Langosta

digo! ディゴ 1 単現(decir)v.t 言う	「動詞」
-espetó エスパト 3 単点(espetar)v.t (言葉を) 投げつけた	「動詞」
la Tortuga Artificial ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル n.f にせウミガメが	「主語」
bastante ofendida; バスタンテ・オフエンディダ adv. かなり腹を立てて	「副詞句」
y イ conj. そして	
el Grifo エル・グリフォ n.m グリフォンが	「主語」
añadió: アニャディオ 3 単点(añadir)v.t 付け加えた	「動詞」

「さあ！今度は、あんたの冒険について聞かせて頂戴！」

-¡Venga! ¡Cuéntanos ahora alguna de tus aventuras!	《「催促」「動詞句」「副詞」「目的語」》
-¡Venga! ベンガ 接・3 単現・催促(venir)v.i さあ！	「催促」
¡Cuéntanos ケンタ・ノス 命・2 単現(contar+nos)v.t 我々に話しなさい	「動詞句」
ahora アオラ adv. 今度は	「副詞」
alguna アルグナ pron.f 何かを	「目的語」
de tus aventuras! テ・トゥス・アベントゥラス adj. あんたの冒険の	「形容詞句」

「私の冒険を話すことは出来ると思うわ、でもそれは今朝からの冒険よ」と、アリスはおずおずと言った。「昨日の冒険から始めても役に立たないと思うの。だって、その頃、私は別人だったから」

-Podría contarles mis aventuras, pero son las que empezaron esta mañana -dijo Alicia tímidamente; no vale la pena empezar por las de ayer porque entonces era yo una persona diferente.

《「動詞句」「目的語」,pero「動詞」「補語」》,「動詞」「主語」「副詞」:
「動詞句」「目的語」「主語」「副詞節」

-Podría contarles ホドリャ・コンタル・レス 1 単過未・可能・推量(poder+不定詞 contar+les)	
v.t あなたに話すことは出来るだろう	「動詞句」
mis aventuras, ミス・アベントゥラス pl(aventura).n.f 私の冒険を	「目的語」
pero ペロ conj. しかし	
son ソン 3 複現(ser)v.i ～である	「動詞」
las ラス pron.pl(aventuras の代用) 冒険	「補語」
que ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
empezaron エンペサロン 3 複点(empezar)v.i 始まった	「動詞」
esta mañana エスタ・マニャーナ adv. 今朝	「副詞句」
-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
Alicia アリシア n.f アリスは	「主語」

10 La cuadrilla de la Langosta

tímidamente; チミダメンテ adv. おずおずと	「副詞」
no vale ノ・バレ 3 単現・否定(valer)v.t 役に立たない、値しない	「動詞句」
la pena ラ・ペナ n.f 苦勞	「目的語」
empezar エンペサル 不定詞 n. 始めることは	「主語」
por las de ayer ホ・ラス・デ・アジェール adv. 昨日の冒険から	「副詞句」
porque ホ・ルケ conj. (理由) ~なので	「副詞節」
entonces エントネス adv. その時は	「副詞」
era エラ 1 単線(ser)v.i ~だった	「動詞」
yo ジョ pron 私は	「主語」
una persona diferente. ウナ・ペルソナ・ディフェレンテ n.f 別人	「補語」

「その訳が分からないことを説明しなさい！」と、にせウミガメが命じた。

-¡Explica ese galimatías! -ordenó la Tortuga Artificial.

《「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」

-¡Explica エクスプリカ 命・2 単現(explicar)v.t 説明しなさい！	「動詞」
ese galimatías! エセ・ガリマチアス n.m (単複同形) その訳の分からないことを	「目的語」
-ordenó オルデノ 3 単点(ordenar)v.t 命じた	「動詞」
la Tortuga Artificial. ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル n.f にせウミガメが	「主語」

「だめ、だめ！冒険が先だ！」と、グリフォンがいらいらして叫んだ。「説明はいつだって時間がかかるんだから」

-¡No, no! ¡Las aventuras primero! -insistió, impaciente, el Grifo-, ¡las explicaciones se alargan siempre tanto...!

《「応答」 | 「目的語」「副詞」》, 「動詞」「副詞」「主語」, 《「主語」「動詞句」「副詞句」》

-¡No, no! ノ・ノ adv. だめ、だめ！	「応答」
¡Las aventuras ラス・アベントゥラス pl(aventura).n.f 冒険を	「目的語」
primero! プリメロ adv. 最初に	「副詞」
-insistió, インシスト 3 単点(insistir)v.i 主張した	「動詞」
impaciente, インパシエンテ adv. いらいらして	「副詞」
el Grifo-, エル・グリフォ n.m グリフォンが	「主語」
¡las explicaciones ラス・エクスプリカシオネス pl(explicacion).n.f 説明は	「主語」
se alargan セ・アラルガン 3 複現(alargarse)v.pr 長くなる	「動詞句」
siempre tanto...! シエンプレ・タント adv. いつだってとても	「副詞句」

10 La cuadrilla de la Langosta

アリスははじめて白うさぎを見た所から自分の冒険を語り始めた：最初は、最初だけは少し不安になりました。二匹の生き物が、目と口を思い切り開いてアリスの左右に1匹づつ、すごく近づいて来たからです。

Así que Alicia empezó a contar sus aventuras desde que viera por primera vez al Conejo Blanco: al principio se puso algo nerviosa, sólo al principio, pues las dos criaturas se le acercaron mucho, una a cada lado suyo, abriendo cuanto podían los ojos y la boca.

Así que 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」：「副詞句」「動詞句」

Así que アシ・ケ conj. それで～する

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

empezó a contar エンペ・ソ・ア・コンタール 3 単点・開始(empezar a+不定詞 contar)

v.t 語り始めた 「動詞句」

sus aventuras スス・アベントゥラス pl(aventura).n.f 自分の冒険を 「目的語」

desde que デステ・ケ adv. (時間) ～するところから 「副詞節」

主節が過去で、「時」を表す副詞節の内容が過去のときは「接続法過去」が使われる。

主節が現在で、「時」を表す副詞節の内容が未来のときは「接続法現在」が使われる。

viera ビエラ 接・3 単過(ver)v.t 見た 「動詞」

por primera vez ホル・プリメラ・ベス adv. はじめて 「副詞句」

al Conejo Blanco: アル・コネホ・ブランコ n.m 白うさぎを 「目的語」

al principio アル・プリンシピオ adv. 最初の内は 「副詞句」

se puso セ・プソ 3 単点(ponerse)v.pr ～になった 「動詞句」

algo nerviosa, アルゴ・ネルビオサ adj. 少し不安な 「補語」

sólo al principio, ソロ・アル・プリンシピオ adv. 最初だけ 「副詞句」

pues プエス conj. (理由) ～なので 「副詞節」

las dos criaturas ラス・トス・クリアトゥラス

pl(criatura).n.f 二匹の生き物が 「主語」

se ...acercaron セ...アセカロン 3 複点(acercarse)

v.pr 近づいてきた 「動詞句」

le レ pron アリスに 「目的語」

mucho, ムチョ adv. すごく 「副詞」

una ウナ pron (criatura の代用) 1 匹 「主語」

a cada lado ア・カダ・ラド

adv. (対象) それぞれの側に 「副詞句」

suyo, スーヨ adj. 彼女の 「形容詞」

abriendo アブリエント 現在分詞・同時(abrir)adv. 開いて 「副詞句」

cuanto podían クワント・ポディアン adv. 出来るだけ 「副詞句」

los ojos y la boca. ロス・オホス・イ・ラ・ボカ pl.n 目と口を 「目的語」

10 La cuadrilla de la Langosta

しかし、先に進むにつれて勇気ができました。

Pero a medida que avanzaba iba cobrando valor.

Pero 「副詞節」, 「動詞句」 「目的語」

Pero ペロ conj. しかし

a medida que +直説法 ア・メディダ・ケ conj. ～するにつれて 「副詞節」

avanzaba アバンサバ 3 単線・時制の一致(avanzar)v.i 前進する 「動詞」

iba cobrando イバ・コブラント 3 単線・進行(ir+現在分詞 cobrar)

v.t 獲得するようになった 「動詞句」

valor. バロール n.m 勇気 「目的語」

聞き手たちはずっと黙り込んでいた。アリスがイモムシに「ウィリアム父さん年取った」の詩を暗唱して、いつもとは違う言葉がでてきたところで、にせウミガメは深く息を吸い込んで、言った。

Sus oyentes guardaron un silencio completo hasta que llegó a la parte en que había tenido que recitarle a la Oruga el poema «Sois viejo, padre Guillermo...», que le había salido tan distinto de como era; y entonces la Tortuga Artificial respiró muy hondo y sentenció:

「主語」「動詞」「目的語」「副詞節」; y 「副詞」「主語」「動詞」「副詞句」 y 「動詞」

Sus oyentes スス・オンテス pl(oyente)n.m 聞き手たちは 「主語」

guardaron グワルダロン 3 複点(guardar)v.t (状態を) 保っていた 「動詞」

un silencio completo ウン・シレンシオ・コンプレト n.m 完全な沈黙を 「目的語」

hasta que アスタ・ケ conj. ～するまで 「副詞節」

llegó ジェゴ 3 単点・時制の一致(llegar)v.i ～に着く 「動詞」

a la parte ア・ラ・パルテ adv. 場所に、部分に 「副詞句」

en que エン・ケ conj. そこで～する 「副詞節」

había tenido que recitarle アビエ・テニド・ケ・レシタル・レ 3 単線・完了形・必要・時制の一致

(tener que+不定詞 recitarle)

v.t 暗誦しなければならない 「動詞句」

a la Oruga ア・ラ・オルガ adv. イモムシに 「間接目的語」

el poema エル・ポエマ n.m 詩を 「直接目的語」

«Sois ソイス 2 複現(ser)v.i ～である 「動詞」

viejo, ビエホ adj. 年をとった 「補語」

padre Guillermo..., パトレ・ギジェルモ

n.m 父ウィリアム 「主語」

que ケ 「副詞節」

10 La cuadrilla de la Langosta

le	レ pron	彼にとって	「間接目的語」
había salido	アビ・ア・サルト	3 単線・完了形(salir)	
	v.i	出た、離れた	「動詞句」
tan distinto	タン・ディスト	adv. 全く異なって	「副詞句」
de como era;	デ・コモ・エラ	adv. (比較) 普通とは	「副詞句」
y	イ conj.	そして	
entonces	エントネス	adv. その時	「副詞」
la Tortuga Artificial	ラ・トルガ・アルティフィシャル	n.f. にせウミガメが	「主語」
respiró	レスピロ	3 単点(respirar)v.i 息をした、呼吸した	「動詞」
muy hondo	ムイ・オント	adv. とても深く	「副詞句」
y	イ conj.	そして	
sentenció:	センテンシオ	3 単点(sentenciar)v.t 言った	「動詞」

「それはとても面白い！」

-¡ <u>Eso es muy curioso!</u>	《「主語」「動詞」「補語」》
-¡Eso エソ pron それは	「主語」
es エス 3 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
muy curioso! ムイ・クリオ adj. とても面白い	「補語」

「明らかに、一番面白いだろう」と、グリフォンは自分の意見を付け加えた。

- <u>Francamente, no puede ser más curioso</u>	《「副詞」,「動詞句」「補語」》,「動詞」「副詞句」「主語」
-añadió por su parte el Grifo.	
-Francamente, フランカメンテ adv. 明らかに	「副詞」
no puede ser ノ・プ・エテ・セール 3 単現・可能・推量(poder+不定詞 ser)	
v.i ~でないだろう	「動詞句」
más curioso マス・クリオ adj. より面白い	「補語」
-añadió アニャティオ 3 単点(añadir)v.t 付け加えた	「動詞」
por su parte ポル・ス・パルテ adv. 自分の立場として	「副詞句」
el Grifo. エル・グリフォ n.m. グリフォンが	「主語」

10 La cuadrilla de la Langosta

「まったく違って出てきたな！」と、にせウミガメは問題についてあれこれ考えながら繰り返した。「今彼女が何かを暗唱してくれたら嬉しいんだけど」

-¡Le salió tan diferente...! -repitió la Tortuga Artificial, dándole vueltas al asunto-. Me gustaría que intentara recitar algo ahora.

《「間接目的語」「動詞」「副詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞句」,
《「間接目的語」「動詞」「主語」》

-¡Le ^レ pron それから 「間接目的語」
salió ^{サリオ} 3 単点(salir)v.i 出た 「動詞」
tan diferente...! ^{タン・ディフェレンテ} adv. 全く違って 「副詞句」
-repitió ^{レピチオ} 3 単点(repetir)v.t 繰り返した 「動詞」
la Tortuga Artificial, ^{ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル} n.f にせウミガメが 「主語」
dándole vueltas ^{ダント・レ・ブエルタス} 現在分詞・同時(dar vueltas)
adv. あれこれ考えながら 「副詞句」
al asunto-. ^{アル・アスト} adv. 問題について 「間接目的語」
Me ^メ pron 私にとって 「間接目的語」
gustaría ^{グスタリア} 3 単過未・推量(gustar)v.i 好ましいだろう 「動詞」
que ^ケ conj. ～ということ 「主語」
intentara recitar ^{インテンタラ・レシタル} 3 単未・試み(intentar+不定詞 recitar)
v.t 暗唱しようとする 「動詞句」
algo ^{アルゴ} pron 何かを 「目的語」
ahora. ^{アオラ} adv. 今 「副詞」

「始めろと言ってやれ！」と、にせウミガメがグリフォンを見ながら言った。まるでグリフォンがアリスに対して何かの権限があると思っているようです。

Dile que empiece -ordenó mirando al Grifo como si creyera que éste tenía cierta autoridad sobre Alicia.

《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「副詞句」「副詞節」

Dile ^{ディ・レ} 命・2 単現(decir+le)v.t 彼女に言え！ 「動詞句」
que ^ケ conj. ～ということ 「目的語」
empiece ^{エンピエ} 接・3 単現・命令(empezar)v.i 始めろ！ 「動詞」
-ordenó ^{オルデノ} 3 単点(ordenar)v.t 命じた 「動詞」
mirando ^{ミランド} 現在分詞・同時(mirar)adv. 見ながら 「副詞句」
al Grifo ^{アル・グリフォ} adv. グリフォンを 「間接目的語」
como si ^{コモ・シ} conj. まるで～のように 「副詞節」
creyera ^{クレジェラ} 接・3 単過・時制の一致(creer)v.t 思っている 「動詞」
que ^ケ conj. ～ということ 「目的語」
éste ^{エステ} pron グリフォンが 「主語」

10 La cuadrilla de la Langosta

tenía テニア 3 単線・時制の一致(tener)v.t 持っている 「動詞」
 cierta autoridad シェルタ・アウトリダド n.f 何らかの権限を 「目的語」
 sobre Alicia. ソブレ・アリシア adv. アリスに対して 「副詞句」

「立って、『怠け者の声』を暗唱しろ！」と、グリフォンが言った。

-Levántate y recita a. «Es la voz del haragán» —indicó el Grifo.

《「動詞」 y 「動詞」『「間接目的語」』》, 「動詞」「主語」

-Levántate レバンテ・テ 命・2 単現(levantarse)v.pr 立て！ 「動詞」

y イ conj. そして

recita レシタ 命・2 単現(recitar)v.t 暗唱しろ！ 「動詞」

a ア prep (対象) ～を 「間接目的語」

«Es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

la voz ラ・ボス n.f 声 「補語」

del haragán» デル・アラガン adj. 怠け者の 「形容詞句」

—indicó インデ・イコ 3 単点(indicar)v.t 告げた 「動詞」

el Grifo. エル・グリフォ n.m グリフォンが 「主語」

「ここの生き物たちは、命令するだけだわ！授業の復習までさせるなんて、もういやだわ！」
 と、アリスは思った。「これなら、学校に戻ったほうがましかもしれない」

«¡Qué de órdenes no darán estas criaturas! ¡Ya le hacen a una recitar hasta las lecciones!

-pensó Alicia-. Para esto, más me valdría estar en la misma escuela.»

《「目的語」「動詞句」「主語」 | 「副詞」「間接目的語」「動詞」「間接目的語」「補語」》

, 「動詞」「主語」, 《「副詞句」, 「副詞」「目的語」「動詞」「主語」》

«¡Qué de órdenes ケ・デ・オルデネス pl(ordén).n.f (no ...que) 命令しか 「目的語」

no darán ノ・ダラン 3 複未・否定(dar)v.t (行為を) しないだろう 「動詞句」

estas criaturas! エスタス・クリアトゥラス pl(criatura).n.f ここの生き物たちは 「主語」

¡Ya ヤー adv. もう、もうたくさんだ 「副詞」

le レ pron 人に 「間接目的語」

hacen アセン 3 複現・使役(hacer)v.t(+不定詞)(人に) ～させる 「動詞」

a una ア・ウナ adv. 人に 「間接目的語」

recitar レシタル 不定詞・una の動作 v.t 暗唱する 「補語」

hasta las lecciones! アスタ・ラス・レクシオネス pl(lección).n.f 授業まで 「目的語」

-pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.i 思った 「動詞」

Alicia-. アリシア n.f アリスは 「主語」

Para esto, パラ・エスト adv. これなら、このため 「副詞句」

más マス adv. むしろ 「副詞」

10 La cuadrilla de la Langosta

me メ pron 私にとって 「間接目的語」
 valdría バルトリア 3 単過未・推量(valer)v.i 価値があるだろう 「動詞」
 estar エスタール 不定詞 n. 居ることは 「主語」
 en la misma escuela. エン・ラ・ミスマ・エスケラ adv. 元の学校に、同じ学校に 「副詞句」

しかしとにかく、アリスは立ち上がって詩の暗唱を始めた。しかし彼女の頭は大エビのダンスで一杯だったので、自分が何を話しているのか、それが実際は全く奇妙なのかほとんど分からなかった。

Pero de todas formas se puso en pie y empezó a recitar el poema, sólo que su cabeza estaba aún dándole vueltas al asunto de la cuadrilla de las langostas y apenas si sabía lo que estaba diciendo; y en verdad que fue bien raro lo que recitó:

Pero 「副詞句」「動詞句」 y 「動詞句」「目的語」,
 sólo que 「主語」「動詞句」「副詞」「動詞句」「間接目的語」
 y 「副詞」「動詞」「目的語」 y 「副詞句」「目的語」

Pero ペロ conj. しかし
 de todas formas テ・トダ・ス・フォルマス adv. とにかく、何はともあれ 「副詞句」
 de cualquier forma / de una forma u otra も同じ意味
 se puso セ・プソ 3 単点(ponerse)v.pr (姿勢を) 取った 「動詞句」
 en pie エン・ピエ adv. 足の上に 「副詞句」
 ponerse en pie 立ち上がる levantarse も同じ意味 南米では pararse
 y イ conj. そして
 empezó a recitar エンペ・リ・ア・レンスタール 3 単点・開始(empezar a+不定詞 recitar)
 v.t 暗唱を始めた 「動詞句」
 el poema, エル・ポエマ n.m 詩を 「目的語」
 sólo que +直説法 ソロ・ケ conj. しかし～、ただし
 su cabeza ス・カベサ n.f アリスの頭は 「主語」
 estaba ...dándole vueltas エスタバ...ダントレ・ブエルタス 3 単線・進行形
 (estar+現在分詞 dar vueltas)v.i 考えていた 「動詞句」
 aún アウン adv. まだ～ない 「副詞」
 dar vueltas 「あれこれ考える、あちこち探す、かきまぜる」
 al asunto アル・アスト adv. ことを 「間接目的語」
 de la cuadrilla テ・ラ・クアトリジャ adj. グループダンスの 「形容詞句」
 de las langostas テ・ラ・ランゴスタ adj. 大エビの 「形容詞句」
 y イ conj. そして
 apenas アペナス adv. ほとんど～ない 「副詞」
 si シ conj. ～かどうか

10 La cuadrilla de la Langosta

sabía サビア 3 単線(saber)v.t	分かっている	「動詞」
lo que ロ・ケ pron	～することを	「目的語」
estaba diciendo; エスタバ・ディシエント 3 単線・進行形・時制の一致(decir)		
v.t	話している	「動詞句」
y イ conj.	そして	
en verdad エン・ベルダ adv.	本当に	「副詞句」
que ケ pron	～することを	「目的語」
fue フェ 3 単点・時制の一致(ser)v.i	～である	「動詞」
bien raro ビエン・ラロ adj.	ひどく奇妙な	「補語」
lo que recitó: ロ・ケ・レイト pron	暗唱したことが	「主語」

大エビの声ができる：「彼が宣言するのを聞いた、

『こんがりと焼かれてしまった、今度は体に砂糖を塗らなきゃならない』」

Es la voz de la langosta :

la he oído declarar,

«muy morena me han tostado,

ahora tendré que azucararme».

「動詞」「補語」：「目的語」「動詞句」「補語」，

《「副詞句」「目的語」「動詞句」，「副詞」「動詞句」》

Es エス 3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
la voz ラ・ボス n.f	声	「補語」
de la langosta : テ・ラ・ランゴスタ adj.	大エビの	「形容詞句」
la ラ pron (langosta の代用)	それが	「目的語」
he oído エ・オイト 1 単現・完了形・知覚動詞(oír)v.t	聞いた	「動詞句」
declarar, テクラール 不定詞・la の動作 v.t	宣言する	「補語」
«muy morena ムイ・モレナ adj(moreno).f	すごいこんがりと～焼けた	「副詞句」
me メ pron	私を	「目的語」
han tostado, アン・トスト 3 複現・完了形(tostar)v.t	焼いた	「動詞句」
ahora アオラ adv.	今、今度は	「副詞」
tendré que azucararme». テントレ・ケ・アスカラルメ 1 単末・必要(tener que+不定詞 azucarar+me)		
v.t	自分の体に砂糖を塗らなければならない	「動詞句」

10 La cuadrilla de la Langosta

「アヒルが瞼ですることを、大エビは鼻でそれをする：
踝を回転させて、ベルトを調節し、ボタンをかける。」

Lo que hace el pato con sus párpados
lo hace la langosta con su nariz:
se ajusta el cinturón y se abotona,
torciendo los tobillos.

《「目的語」, 「目的語」「動詞」「主語」「副詞句」:

「動詞句」「目的語」 y 「動詞句」「副詞句」「目的語」》

Lo	□	pron	それを		「目的語」
que	ケ	pron	(目的語) ~する		「形容詞節」
hace	アセ	3 単現(hacer)v.t	する		「動詞」
el pato	エル・パト	n.m	アヒルが		「主語」
con sus párpados	コン・ス・パ・ル・パト・ス	adv.	(手段) 瞼で		「副詞句」
lo	□	pron	それを		「目的語」
hace	アセ	3 単現(hacer)v.t	する		「動詞」
la langosta	ラ・ランゴスタ	n.f	大エビが		「主語」
con su nariz:	コン・ス・ナリス	adv.	(手段) 鼻で		「副詞句」
se ajusta	セ・アフスタ	3 単現(ajustarse)v.pr	調整する		「動詞句」
el cinturón	エル・シントuron	n.m	ベルトを		「目的語」
y	イ	conj.	そして		
se abotona,	セ・アボトナ	3 単現(abotonarse)v.pr	ボタンをかける		「動詞句」
torciendo	トルシエント	現在分詞・同時(torcer)adv.	(向きを) 変えながら		「副詞句」
los tobillos.	ロス・トビジョス	pl(tobillo).n.m	くるぶしを、足首を		「目的語」

10 La cuadrilla de la Langosta



「砂が乾いたら、ヤマウズラよりも幸せだ；
それにサメみたいに馬鹿にした話し方をする。」

Quando las arenas están secas, está más feliz que una perdiz;
y aun habla con desprecio del tiburón.

《「副詞節」, 「動詞」 「補語」;

y 「副詞」 「動詞」 「副詞句」》

「副詞節」

「主語」

「動詞」

「補語」

「動詞」

「補語」

「副詞句」

「副詞」

Quando クワント conj. ～する時は

las arenas ラス・アレナス pl(arena).n.f 砂が

están エスタン 3 複線(estar)v.i ～である

secas, セカス adj(seco).pl.f 乾いた

está エスタ 3 単現(estar)v.i ～である

más feliz マス・フェリス adj. より幸せな

que una perdiz; ケ・ウ・パルデイス conj. (比較) ヤマウズラよりも

y イ conj. そして

aun アウン adv. ～さえ

10 La cuadrilla de la Langosta

habla アブラ 3 単現(hablar)v.i 話す	「動詞」
con desprecio コン・デスプレシオ adv. 軽蔑で	「副詞句」
del tiburón. デル・チブロン adj. サメの	「形容詞」

「しかし、潮が満ちてサメが集まって来ると、
声は臆病なつぶやきになる。」

Pero cuando sube la marea y los tiburones la rodean,
la voz se le quiebra en tímidos balbuceos.

《Pero 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「補語」》

Pero ペロ conj. しかし	
cuando クワント conj. ～する時に	「副詞節」
sube スベ 3 単現(subir)v.i 上昇する	「動詞」
la marea ラ・マレア n.f 潮が	「主語」
y イ conj. そして	
los tiburones ロス・チブロネス pl(tiburón).n.m サメが	「主語」
la ラ pron (marea の代用) それを	「目的語」
rodean, ロデアン 3 複現(rodear)v.t 取り囲む	「動詞」
la voz ラ・ボス n.f 声が	「主語」
se le quiebra セ・レ・キエブラ 3 単現・変化(quebrarse)v.pr ～になる、悪くなる	「動詞句」
en tímidos balbuceos. エン・チミトス・バルブセオス adv. 臆病な片言に	「補語」

「俺が子供の頃に暗唱していたのとは、全く違うな」と、グリフォンが言った。

-Todo eso es muy distinto de lo que yo solía decir de niño -aseguró el Grifo.

《「主語」 「動詞」 「補語」》, 「動詞」 「主語」

-Todo eso トト・エソ pron それは全部が	「主語」
es エス 3 単現(ser)v.i ～である	「動詞」
muy distinto ムイ・デイスティント adj. まったく違う	「補語」
de lo que デ・ロ・ケ adv. (比較) ～するものとは	「副詞節」
yo ジョ pron おれが	「主語」
solía decir ソリア・デシル 1 単線・習慣(soler+不定詞 decir)	
v.t いつも暗唱していた	「動詞句」
de niño デ・ニョ adv. 子供の頃に	「副詞句」
-aseguró アセグロ 3 単点(asegurar)v.t 確言した、きっぱりと言った	「動詞」
el Grifo. エル・グリフォ n.m グリフォンが	「主語」

10 La cuadrilla de la Langosta

「そうかもしれない；俺もその詩を聞いたことがない」と、にせウミガメが言った。「今彼女が暗唱した詩は、俺にはでたらめに聞こえる」

-Es posible; lo que es yo, nunca he oído ese poema -dijo la Tortuga Artificial-, pero lo que acaba de recitar me suena a una sarta de disparates.

《「動詞」「補語」 | 「応答」, 「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」,
《pero 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》

-Es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」
posible; ポシブレ adj. 可能な 「補語」
lo que es yo, ロ・ケ・エス・ジョ adv. (応答) 俺もそう思う 「応答」
nunca he oído ヌンカ・エ・オイド 1 単現・完了形・否定(oír)v.t 聞いたことがない 「動詞句」
ese poema エセ・ポエマ n.m その詩を 「目的語」
-dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
la Tortuga Artificial-, ラ・トルトゥガ・アルティフィシャル n.f にせウミガメが 「主語」
pero ペロ conj. しかし
lo que ロ・ケ pron ~することは 「主語」
acaba de recitar アカバ・デ・レシタル 3 単現・完了(acabar de+不定詞 recitar)
v.t 今暗唱し終えた 「動詞句」
me メ pron 俺には 「間接目的語」
suena スエナ 3 単現(sonar)v.i(a のように) 思われる 「動詞」
a una sarta ア・ウナ・サルタ adv. 一連のことに 「間接目的語」
de disparates. デ・デイスパラテス adj. でたらめな 「形容詞句」

アリスは何も言わなかった：彼女は座って、何かがもう一度普通の方法で起こることがあるのだろうかと考えながら両手で顔を覆っていた。

Alicia no dijo nada: se sentó y se cubrió la cara con las manos, preguntándose si algo acabaría sucediendo alguna vez de una manera natural.

「主語」「動詞句」「目的語」: 「動詞句」 y 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」, 「副詞句」
Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
no dijo ノ・デイホ 3 単点・否定(decir)v.t 言わなかった 「動詞句」
nada: ナダ pron 何も~ない 「目的語」
se sentó セ・セント 3 単点(sentarse)v.pr 座った 「動詞句」
y イ conj. そして
se cubrió セ・クブリオ 3 単過(cubrirse)v.pr (自分の体を) 覆った 「動詞句」
la cara ラ・カラ n.f 顔を 「目的語」
con las manos, コン・ラス・manos adv. (手段) 両手で 「副詞句」
preguntándose プレグンタントセ 現在分詞・同時(preguntarse)v.pr ~と自問しながら「副詞句」

10 La cuadrilla de la Langosta

si シ conj. 何かどうかということをして 「目的語」
 algo アルゴ pron 何か 「主語」
 acabaría sucediendo アカバリア・ステディエント 3 単過未・結局・推量(acabar+現在分詞)
 v.i 起こることがあるのだろうか 「動詞句」
 alguna vez アルガナ・ベス adv. もう一度 「副詞句」
 de una manera natural. デ・ウナ・マネラ・ナツラル adv. 自然な方法で 「副詞句」

「納得のいく説明をしてほしいんだけど」と、にせウミガメが続けた。

-Me gustaría que me dieran una explicación lógica -prosiguió la Tortuga Artificial.
 《「間接目的語」「動詞」「主語」》, 「動詞」「主語」
 -Me メ pron 私には 「間接目的語」
 gustaría スタリア 3 単過未・推量(gustar)v.i 気に入るのだが 「動詞」
 que ケ conj. ということとは 「主語」
 me メ pron 私に 「間接目的語」
 dieran ディエラン 接・3 複過(dar)v.t 与えた 「動詞」
 una explicación ウナ・エクスプリカシオン n.f 説明を 「目的語」
 lógica ロカ adj. 論理的な 「形容詞」
 -prosiguió プロシギオ 3 単点(proseguir)v.t 続けた 「動詞」
 la Tortuga Artificial. ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル n.f にせウミガメが 「主語」

「彼女は説明できない」と、グリフォンは急いで叫んだ。「次の節を続けてごらん！」

-Ella no sabe explicarlo -se apresuró a exclamar el Grifo; ¡prosigue con la siguiente estrofa!
 《「主語」「動詞句」》, 「動詞句」「主語」, 《「主語」「動詞」「間接目的語」》
 -Ella エジャ pron.f 彼女は 「主語」
 no sabe explicarlo ノ・サベ・エクスプリカル・ロ 3 単現・可能・否定(saber+不定詞 explicar+lo)
 v.t それを説明できない 「動詞句」
 -se apresuró a exclamar セ・アプレスロ・ア・エクスラマル 3 単点・急ぎ(apresurar a+不定詞 exclamar)
 v.pr 急いで叫んだ 「動詞句」
 el Grifo; エル・グリフォ n.m グリフォンが 「主語」
 ¡prosigue プロシゲ 命・2 単現(proseguir)v.i(con を) 続けなさい 「動詞」
 con la siguiente estrofa! コン・ラ・シギエンテ・エストロファ adv. 次の節を 「間接目的語」

10 La cuadrilla de la Langosta

「だけど、足首は？」と、にせウミガメは追求した。「どうしたら、足首を鼻で向きを変えられるの？えー？」

-Pero ¿y esos tobillos? -insistió la Tortuga Artificial-, ¿cómo podía torcérselos con la nariz, eh? 《Pero y》, 「動詞」「主語」, 《「副詞」「動詞句」「副詞句」「感嘆」》
 -Pero ^{ペロ} conj. しかし
 ¿y ^イ conj. そして
 esos tobillos? エス・トビジョス pl(tobillo).n.m 足首 「主語」
 -insistió ^{インシスト} 3 単点(insistir)v.i 力説した 「動詞」
 la Tortuga Artificial-, ラ・トルトゥガ・アルティフィシャル n.f にせウミガメが 「主語」
 ¿cómo ^{コモ} adv. どのように 「副詞」
 podía torcérselos ^{ポデア・トルセル・セロス} 3 単線・可能(poder+不定詞 torcerse+los) 「動詞句」
 v.pr それを曲げることが出来る 「動詞句」
 con la nariz, コン・ラ・ナリス adv. (道具) 鼻で 「副詞句」
 eh? エー int. エー 「感嘆」

「それはダンスの最初のポジションよ」と、アリスが答えた。しかし、アリス自身も何が起きているのかまったく分かっていなかったもので、話題を変えたいと思っていた。

-Es la primera posición de todo baile -declaró Alicia, aunque ella misma no comprendía nada de lo que estaba sucediendo y estaba deseando cambiar el tema de la conversación.
 《「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」,
 aunque 「主語」「動詞」「目的語」 y 「動詞句」「目的語」
 -Es ^{エス} 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」
 la primera posición ^{ラ・プリメラ・ポジション} n.f 最初のポジション 「補語」
 de todo baile ^{デ・ト・バイレ} adj. 全ての踊りの 「形容詞句」
 -declaró ^{デクラロ} 3 単点(declarar)v.t 明言した 「動詞」
 Alicia, ^{アリシア} n.f アリスは 「主語」
 aunque ^{アウンケ} conj. しかし
 ella misma ^{エジャ・ミスマ} pron.f 彼女自身は 「主語」
 no comprendía ^{ノ・コンプレンデア} 3 単線・否定(comprender)v.t 分からなかった 「動詞」
 nada ^{ナダ} pron 何も~ない 「目的語」
 de lo ^{デ・ロ} adj. ~について 「形容詞句」
 que ^ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 estaba sucediendo ^{エスタバ・ステイエント} 3 単線・進行形(suceder)
 v.i 起こっている 「動詞句」
 y ^イ conj. そして
 estaba deseando cambiar ^{エスタバ・デセアント・カンビアル} 3 単線・進行形・願望

10 La cuadrilla de la Langosta

(desear+不定詞 cambiar)v.t 変えたいと思っていた 「動詞句」
 el tema エル・テマ n.m 主題を 「目的語」
 de la conversación. デ・ラ・コンバ・ルサシオン adj. 会話の 「形容詞句」

「次の節を続けなさい」と、グリフォンが言った。『彼の庭に立ち寄った』で始まるやつだ。」

-¡Prosigue con la siguiente estrofa! intervino el Grifo-, la que empieza diciendo: «Pasé por su jardín». 「動詞」「間接目的語」, 「動詞」「主語」, 《「目的語」》
 -¡Prosigue プロシグ 命・2 単現(proseguir)v.i(con を) 続けなさい 「動詞」
 con la siguiente estrofa! コン・ラ・シグ・エンテ・エストロファ adv. 次の節を 「間接目的語」
 -intervino インテルビノ 3 単点(intervenir)v.i 参加した、言った 「動詞」
 el Grifo-, エル・グリフォ n.m グリフォンが 「主語」
 la ラ pron それを 「目的語」
 que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 empieza diciendo: エンピ・エサ・ディシエント 3 単現・開始(empezar+現在分詞 decir)
 v.t 言って始まる、~と言って始まる 「動詞句」
 «Pasé パセ 1 単点(pasar)v.i 立ち寄った、通りかかった 「動詞」
 por su jardín». ポル・ス・ハルディン adv. 彼の庭を 「間接目的語」

アリスはあえて逆らったりしなかったが、何もかもがめちゃくちゃになるとあって、震える声で続けた。

Alicia no se atrevió a desobedecer, aunque estaba segura de que todo le iba a salir tergiversado; y continuó con voz temblorosa:
 「主語」「動詞句」, aunque 「動詞」「補語」; y 「動詞」「副詞句」
 Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
 no se atrevió a desobedecer, ノ・セ・アトレビ・オ・ア・デソバ・デセル 3 単点
 (atreverse a+不定詞 desobedecer)v.pr あえて逆らわなかった 「動詞句」
 aunque アウンケ conj. しかし
 estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ~だった 「動詞」
 segura セグーラ adj(seguro).f 確実な 「補語」
 de que デ・ケ adv. ~ということについて 「副詞節」
 todo トド pron 全てが 「主語」
 le レ pron 彼女にとって 「間接目的語」
 iba a salir イバ・ア・サリル 3 単線・近接未来(ir a+不定詞 salir)
 v.i (結果として) ~になる 「動詞句」
 tergiversado; テルビベルサド 過去分詞・受動(tergiversar)
 adj. 捻じ曲げられた、めちゃくちゃの 「補語」

10 La cuadrilla de la Langosta

y イ conj. そして

continuó コンチヌア 3 単点(continuar)v.t 続けた 「動詞」

con voz temblorosa: コン・ボス・テンブローサ adv. 震える声で 「副詞句」

「彼の庭に立ち寄った。片目だけだが、

フクロウとヒョウが美味しいパイをどうやって分け合うかがよく確認できた。」

Pasé por su jardín, y aunque sólo con un ojo,

pude observar bien cómo el búho y la pantera se repartían un buen pastel.

《「動詞」「間接目的語」, y 「副詞句」, 「動詞句」「副詞」「目的語」》

Pasé パセ 1 単点(pasar)v.i 立ち寄った、通りかかった 「動詞」

por su jardín, ホル・ス・ハルディン adv. 彼の庭を 「間接目的語」

y イ conj. そして

aunque アウンケ conj. ～ではあるが 「副詞句」

sólo con un ojo, ソロ・コン・ウン・ホ adv. 片目だけで 「副詞句」

pude observar プデオブセルバル 1 単点・可能(poder+不定詞 observar)

v.t 確認できた 「動詞句」

bien ビエン adv. よく 「副詞」

cómo コモ adv. どのように～することを 「目的語」

el búho エル・ブホー n.m フクロウが 「主語」

y イ conj. そして

la pantera ラ・パンテラ n.f ヒョウが 「主語」

se repartían セ・レパルチアン 3 複線・相互(repartirse)v.pr 分け合う 「動詞句」

un buen pastel. ウン・ブエン・パステル n.m 美味しいパイを 「目的語」

「ヒョウはパイ生地、詰め物そして肉を食べた。」

La pantera se llevó el hojaldre, el relleno y toda la carne;

《「主語」「動詞句」「目的語」》

La pantera ラ・パンテラ n.f ヒョウは 「主語」

se llevó セ・ジエボ 3 単点(llevarse)v.pr 奪い去った、食べた 「動詞句」

el hojaldre, エル・オハルトレ n.m パイ生地 「目的語」

el relleno エル・レジエノ n.m 詰め物 「目的語」

y イ conj. そして

toda la carne; トダ・ラ・カルネ n.f 全ての肉 「目的語」

10 La cuadrilla de la Langosta

「その一方、オウムの分け前は大皿だけだった。」

mientras al búho le tocaba del reparto la fuente del manjar.

《mientras 「間接目的語」「動詞」「副詞句」「直接目的語」》

mientras ミェントラス conj. その一方

al búho le アル・ブー・オー・レ adv. フクロウには

「間接目的語」

tocaba トカバ 3 単線(tocar)v.i(de が) (分け前が) 入った、当たった

「動詞」

del reparto テル・レパルト adv. (様態・役割) 分け前として

「副詞句」

la fuente ラ・フェンテ n.f 大皿

「直接目的語」

del manjar. テル・マンハール adj. 食物の

「形容詞句」

「パイを食べつくすと、

オウムはティースプーンをお土産として、

ポケットに入れて持ち去った。

一方で、ヒョウはフォークとナイフを使っていた。」

Quando dieron cuenta del pastel,

el búho, como una gran merced,

se llevó la cucharilla al bolsillo,

mientras la pantera esgrimía tenedor y cuchillo.

《「副詞節」, 「主語」「副詞句」「動詞句」「目的語」「副詞句」,

mientras 「主語」「動詞」「目的語」》

Quando クワント conj. ～すると

「副詞節」

dieron デイエロン 3 複点(dar)v.t 食べつくした

「動詞」

dar cuenta de... 「～を食べつくす、～について説明する」

cuenta ケンタ n.f 役目

「目的語」

del pastel, テル・パステル adj. ケーキの、パイの

「形容詞句」

el búho, エル・ブー・オー n.m オウムは

「主語」

como コモ conj. (資格) ～として

「副詞句」

una gran merced, ウナ・グラン・メルセ n.f 厚意

「目的語」

se llevó セ・ジエボ 3 単点(llevarse)v.pr 持ち去った

「動詞句」

la cucharilla ラ・クチャリジャ n.f ティースプーンを

「目的語」

al bolsillo, アル・ホルシジョ adv. ポケットに入れて

「副詞句」

mientras ミェントラス conj. その一方

la pantera ラ・パンテラ n.f ヒョウは

「主語」

esgrimía エスグリミア 3 単線(esgrimir)v.t 使っていた

「動詞」

tenedor y cuchillo. テネドル・イ・クチジョ pl.n フォークとナイフを

「目的語」

10 La cuadrilla de la Langosta

「こうして、風変わりな夕食が終わる。」

Y concluía el singular banquete...

《Y「動詞」「主語」》

Y イ conj. そして

concluía コンクルイア 3 単線・時制の一致(concluir)v.i 終わる

「動詞」

el singular エル・シンギュラー adj. 風変わりな

「形容詞句」

banquete... バンケテ n.m ごちそうが、夕食が

「主語」

「こんなに暗唱して、何が俺たちの役に立つんだ？」と、にせウミガメが話を遮った。「もし暗唱している話の意味を説明してくれないなら」

¿De qué nos sirve a nosotros tanto recitar -interrumpió la Tortuga Artificial-, si no explicas el significado de lo que vas diciendo?

《「副詞句」「間接目的語」「動詞」「間接目的語」「主語」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞節」》

¿De qué テ・ケ adv. 何として

「副詞句」

nos ノス pron 俺たちに

「間接目的語」

sirve シルベ 3 単現・疑問文(servir)v.i 役に立つのか?

「動詞」

a nosotros ア・ノストロス adv. 俺たちにとって

「間接目的語」

tanto recitar タント・レシタル 不定詞 n. こんなに暗唱することが

「主語」

-interrumpió インテルンピオ 3 単点(interrumpir)v.t 話を遮った

「動詞」

la Tortuga Artificial-, ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル n.f にせウミガメが

「主語」

si シ conj. もし～ならば

「副詞節」

no explicas ノ・エクスプリカス 2 単現・否定(explicar)v.t 説明しない

「動詞句」

el significado エル・シグニフィカト n.m 意味を

「目的語」

de lo テ・ロ adj. その

「形容詞句」

que ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

vas diciendo? バス・ディシエント 2 単現・進行中(ir+現在分詞 decir)

v.t 話している

「動詞句」

「ああ！これまでに聞いた中で、一番わけがわからないものだ！」

¡Vamos! ¡Es lo más confuso que he oído en toda mi vida!

《「感嘆」「動詞」「補語」》

¡Vamos! バモス adv. さあ、ええと！、まあ

「感嘆」

¡Es エス 3 単現(ser)v.i ～である

「動詞」

lo más confuso ロ・マス・コンフソ adj. 一番不明瞭な、漠然とした

「補語」

que ケ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

he oído エ・オイド 1 単現・完了形(oír)v.t 聞いた

「動詞句」

10 La cuadrilla de la Langosta

en toda mi vida! エン・トダ・ミ・ビダ adv. 人生で 「副詞句」

「よし、もう止めたほうがいいだろう」と、グリフォンが言った。その瞬間、アリスにとって、これほど嬉しい言葉は無かつただろう。

-Sí, será mejor que pares ya -concedió el Grifo. Nada podía haberle agradado tanto a Alicia en aquel momento.

《「応答」, 「動詞」「補語」「主語」》, 「動詞」「主語」 | 「目的語」「動詞句」「副詞句」
 -Sí, シ adv. そうだ、よし 「応答」
 será セラ 3 単末(ser)v.i ~になるだろう 「動詞」
 mejor メール adj. より良い 「補語」
 que ケ conj. ~ということは 「主語」
 pares パレス 2 単現(parar)v.i 止める 「動詞」
 ya ヤー adv. もう 「副詞」
 -concedió コンセディオ 3 単点(conceder)v.t 許可した、認めた 「動詞」
 el Grifo. エル・グリフォ n.m グリフォンが 「主語」
 Nada ナダ pron 何も~ない 「目的語」
 podía haberle ポデア・アベール・レ 3 単線・可能・存在(poder+不定詞 haber+le)
 v.t 彼女にとってあり得なかつただろう 「動詞句」
 agradado tanto アグラダト・タント adj. それほど喜ばしい 「形容詞句」
 a Alicia ア・アリシア adv. アリスにとって 「間接目的語」
 en aquel momento. エン・アケル・モメント adv. その瞬間 「副詞句」

「大エビのダンスを別のやり方でやったらどうだろう？」と、グリフォンが遠回しに提案した。「それとも、にせウミガメが別の歌を歌った方がいいかい？」

-¿Qué te parece si probamos otra figura de la cuadrilla de las langostas? -sugirió el Grifo-, ¿O preferirías que la Tortuga Artificial nos cantara otra canción?

《「副詞」「間接目的語」動詞「副詞節」》, 「動詞」「主語」,
 《O「動詞」「目的語」》

-¿Qué ケ adv. どのように 「副詞」
 te テ pron 君は 「間接目的語」
 parece パレ 3 単現(parecer)v.i ~のように思う 「動詞」
 si シ conj. もし~ならば 「副詞節」
 probamos プロバモス 1 複現(probar)v.t 試す 「動詞」
 otra figura オトラ・フィグーラ n.f 別の形を、やり方を 「目的語」
 de la cuadrilla デ・ラ・クアドリジャ adj. グループダンスの 「形容詞句」
 de las langostas? デ・ラス・ランゴスタス adj. 大エビの 「形容詞句」

10 La cuadrilla de la Langosta

-sugirió スリオ 3 単点(sugerir)v.t 提案した、遠回しに勧めた	「動詞」
el Grifo, エル・グリフォ n.m グリフォンが	「主語」
¡O オ conj. それとも	
preferirías プレフェリヤス 2 単過未(preferir)v.t むしろ好む	「動詞」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
la Tortuga Artificial ラ・トルトゥガ・アルティフィシャル n.f にせウミガメが	「主語」
nos ノス pron.pl 僕たちに	「間接目的語」
cantara カンタラ 接・3 単現(cantar)v.t 歌う	「動詞」
otra canción? オトラ・カンシオン n.f 別の歌を	「直接目的語」

「ああ！別の歌をお願いします。もしにせウミガメさんが親切ならば」と、アリスが叫びました。しかしとても不安そうだったので、グリフォンは明らかなえこひいきに対して気分を悪くして、言いました。

-¡Ay! ¡Otra canción, por favor, si la Tortuga Artificial fuese tan amable...! -exclamó Alicia, pero con tanta ansiedad que el Grifo se ofendió de su evidente preferencia, diciendo dolido:

《「感嘆」「目的語」「応答」, 「副詞節」》, 「動詞」「主語」,

pero 「副詞句」 que 「主語」「動詞句」「副詞句」

-¡Ay! アイ int. ああ！	「感嘆」
¡Otra canción, オトラ・カンシオン n.f 別の歌を	「目的語」
por favor, ポル・ファヴオール adv. お願いします	「応答」
si シ conj. もし～ならば	「副詞節」
la Tortuga Artificial ラ・トルトゥガ・アルティフィシャル n.f にせウミガメが	「主語」
fuese フェセ 接・3 単過・条件(ser)v.i ～だった	「動詞」
tan amable...! タン・アマブレ adj. そんなに親切	「補語」
-exclamó エクスクラモ 3 単点(exclamar)v.t 叫んだ	「動詞」
Alicia, アリシア n.f アリスが	「主語」
pero ペロ conj. しかし	
con tanta ansiedad コン・タンタ・アンシエタデ adv. とても不安そうに	「副詞句」
que ケ conj.(tan...que) (その結果) ～する、それで～する	
el Grifo エル・グリフォ n.m グリフォンは	「主語」
se ofendió セ・オフエンディオ 3 単点(ofenderse)v.pr (con に) 気を悪くした	「動詞句」
de su evidente preferencia, デ・ス・エビデンテ・プレフェレンシア	
adv. (対象) 明らかなえこひいきに対して	「副詞句」
evidente エビデンテ adj. 明らかな preferencia プレフェレンシア n.f えこひいき	
diciendo デ・イエント 現在分詞・同時(decir)adv. 言いながら	「副詞句」
dolido: ドリト adv. 気分を害して	「副詞」

10 La cuadrilla de la Langosta

「ふん！味の好みは人それぞれだからな！お前がこのお嬢ちゃんに『ウミガメスープ』を歌ってやったらどうだい」

-¡Vaya! De gustos no hay nada escrito. ¿Qué tal, vieja, si le cantas: «Sopa de Tortuga», eh?

「応答」「副詞句」「動詞句」「目的語」「呼びかけ」「副詞節」「呼びかけ」

-¡Vaya! ハヤ adv. (不快) ふん！ 「応答」
De gustos テ・グストス adv. 味については 「副詞句」
no hay ノ・アイ 3 単現・存在・否定(haber)v.t 〜がない 「動詞句」
nada escrito. ナダ・エスクリト pron 書かれたものが何も〜ない 「目的語」
¿Qué tal, ケタル adv. (確認) どうだい？ 「呼びかけ」
vieja, ビエハ n.f (Tortuga Artificial の代用) お前が 「呼びかけ」
si シ conj. もし〜ならば 「副詞節」
le レ pron (Alicia の代用) 彼女に 「間接目的語」
cantas: カンタス 2 単現(cantar)v.i 歌う 「動詞」
«Sopa de Tortuga», ソパ・デ・トルトゥガ n.f 『ウミガメスープ』を 「直接目的語」
eh? エー int. どうだ？ 「呼びかけ」

にせウミガメは深いため息をつくど、すすり泣きで息が詰まりそうな声で歌い出した。

La Tortuga Artificial dio un hondo suspiro y empezó a cantar con voz ahogada por los sollozos:

「主語」「動詞」「目的語」 y 「動詞句」「副詞句」

La Tortuga Artificial ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル n.f にせウミガメが 「主語」
dio ティオ 3 単点(dar)v.t (動作を) した 「動詞」
un hondo suspiro ウン・オント・ススピロ n.m 深いため息を 「目的語」
y イ conj. そして
empezó a cantar エンペ・ソ・ア・カンタール 3 単点・開始(empezar a+不定詞 cantar) v.i 歌い始めた 「動詞句」
con voz ahogada コン・ボス・アホガダ adv. (手段) 息の詰まった声で 「副詞句」
por los sollozos: ポル・ロス・ソロス adv. (原因) すすり泣きのために 「副詞句」

「素晴らしいスープ、すごく旨くて緑色」

¡Sopa bella! ¡Tan rica y verde!

《「主語」》

¡Sopa bella! ソパ・ベジャ n.f 素晴らしいスープ 「主語」
¡Tan rica タン・リカ adj. とても旨い 「形容詞句」
y イ conj. そして

10 La cuadrilla de la Langosta

verde! ヘルデ° adj. 緑の

「形容詞」

「熱い鍋の中で僕らを待っているから」

¡Como nos aguarda en caliente cazuela!

《「副詞節」》

¡Como コモ conj. (理由) ～なので

「副詞節」

nos ノス pron 僕達を

「目的語」

aguarda アグ わルダ° 3 単現(aguardar)v.t 待っている

「動詞」

en caliente cazuela! エン・カリエンテ・カスエラ adv. 熱い鍋の中で

「副詞句」

「こんongo馳走、誰だって食べたいさ！」

¿ Quién por tanta delicia no cedería a su natural inclinación?

《「主語」「副詞句」「動詞句」「副詞句」》

¿ Quién キエン pron 誰が

「主語」

por tanta delicia ポル・タンタ・デリシア adv. (対象) こんongo馳走に

「副詞句」

no cedería ノ・セテリア 3 単過未・否定・反語(ceder)v.i 屈しないだろうか

「動詞句」

→ 誰もが屈するに違いない

a su natural inclinación? ア・スナトゥラル・インクリナシオン adv. 自然な好みに対して、欲求「副詞句」

「夜のスープ！素晴らしいスープ！」

「夜のスープ！素晴らしいスープ！」

¡Sopa de la noche! ¡Hermosa sopa!

¡Sopa de la noche! ¡Hermosa sopa!

《「感嘆」, 「感嘆」》

¡Sopa ソハ° int. スープ

「感嘆」

de la noche! テ°・ラ・ノチェ adj. 夜の、今夜の

「形容詞句」

¡Hermosa sopa! エルモサ・ソハ° int. 素晴らしいスープ

「感嘆」

¡Sopa de la noche! ¡Hermosa sopa! ソハ°・テ°・ラ・ノチェ・エルモサ・ソハ°

int. 夜のスープ！素晴らしいスープ！

「感嘆」

10 La cuadrilla de la Langosta

「素晴らしいスープ！」

「素晴らしいスープ！」

¡Hermoooo-sa sooooo-pa!

¡Hermoooo-sa sooooo-pa!

《「感嘆」, 「感嘆」》

¡Hermoooo-sa sooooo-pa! エルモー・サ・ソーハ° int. 素晴らしいスープ！ 「感嘆」

¡Hermoooo-sa sooooo-pa! エルモー・サ・ソーハ° int. 素晴らしいスープ！ 「感嘆」

「夜のスープ！」

「素晴らしい、素晴らし過ぎるスープ」

¡Soo-oo-oo-pa de la no-oo-oo-che!

¡Hermosa, hermosísima sopa!

《「感嘆」, 「感嘆」》

¡Soo-oo-oo-pa de la no-oo-oo-che! ソーハ°・テ°・ラ・ノーチェ int. 夜のスープ！ 「感嘆」

¡Hermosa, hermosísima sopa! エルモサ・エルモシマ・ソハ°

int. 素晴らしい、素晴らし過ぎるスープ 「感嘆」

「美しいスープ！横にある！」

「魚も鳥も鍋料理もいない！」

¡Sopa bella! A tu lado,

¿quién desea ni pescado, ni caza, ni cazuela?

《「感嘆」, 「主語」「動詞」「目的語」》

¡Sopa bella! ソハ°・ベジヤ int. 美しいスープ 「感嘆」

A tu lado, ア・トゥ・ラト° adv. 君の横に 「副詞句」

¿quién キエン pron 誰が 「主語」

desea デセア 3 単現・疑問文・反語(desear)v.t 望むだろうか？ 「動詞」

ni pescado, ニ・ペスカト° n.m 魚を～ない 「目的語」

ni caza, ニ・カサ n.f 鳥を～ない 「目的語」

ni cazuela? ニ・カスエラ n.f 鍋料理を～ない 「目的語」

10 La cuadrilla de la Langosta

「2 ペンスの素晴らしいスープを求めて、誰もが全財産を差し出すだろう」

「2 ペンスの素晴らしいスープを求めて」

¿Quién no daría cuanto poseyera por dos perras gordas de bella sopa?

¿Por dos perras gordas de bella sopa?

《「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「副詞句」》

¿Quién キエン pron 誰が 「主語」
no daría ノ・ダリア 3 単過未・否定・反語(dar)v.t 与えるだろう 「動詞句」
cuanto クワント pron ～する全てを 「目的語」
poseyera ポセェラ 接・3 単過(poser)v.t 持っている 「動詞」
por ポル prep (目的) ～を求めて、～のために 「副詞句」
dos perras gordas トス・ペラス・ゴルダス
pl(perra gorda).n.f 2 センチモ、2 ペンス 「目的語」
de bella sopa? デ・ベジヤ・ソハ° adj. 素晴らしいスープの 「形容詞句」
¿Por dos perras gordas de bella sopa? ポル・トス・ペラス・ゴルダス・デ・ベジヤ・ソハ°
adv. 2 ペンスの素晴らしいスープを求めて 「副詞句」

「素晴らしいスープ！」

「素晴らしいスープ！」

¡Hermoo-oo-sa soo-oo-pa!

¡Hermoo-oo-sa soo-oo-pa!

《「感嘆」 | 「感嘆」》

¡Hermoo-oo-sa soo-oo-pa! エルモー・サ・ソーハ° int. 素晴らしいスープ！ 「感嘆」

¡Hermoo-oo-sa soo-oo-pa! エルモー・サ・ソーハ° int. 素晴らしいスープ！ 「感嘆」

「夜のスープ！」

「美しい、素晴らしいスープ！」

¡Soo-ooo-pa de la noo-oo-che!

¡Bella! ¡Hermoo-OOSA SOPAAAAAP

《「感嘆」 | 「感嘆」》

¡Soo-ooo-pa de la noo-oo-che! ソーハ°・デ・ラ・ノーチェ int. 夜のスープ！ 「感嘆」

¡Bella! ¡Hermoo-OOSA SOPAAAAAP ベジヤ・エルモーサ・ソハ°

int. 美しい、素晴らしいスープ 「感嘆」

10 La cuadrilla de la Langosta

「そこを繰り返せ！」と、グリフォンが言った。そしてにせウミガメが丁度繰り返そうとした時、遠くで宣言する大声が聞こえた。

¡Que se repita el estribillo! insistió el Grifo, y la Tortuga Artificial se disponía precisamente a hacerlo cuando se oyó en la distancia una voz que proclamaba estentóreamente:

《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」, y 「主語」「動詞句」「副詞」「動詞句」
cuando 「動詞句」「副詞句」「主語」

¡Que se repita ケ・セ・レピタ 接・3 単現・間接命令(repetirse)v.pr 繰り返さない 「動詞句」
文頭で、「que+接続法」→ 間接命令、命令の強調

¡Que espere un momento! 少し待たせなさい。

el estribillo! エル・エストリビジョ n.m 口癖を、その部分を 「目的語」

¡insistió インスィチオ 3 単点(insistir)v.i 強く言った 「動詞」

el Grifo, エル・グリフォ n.m グリフォンが 「主語」

y イ conj. そして

la Tortuga Artificial ラ・トルタガ・アルティフィシャル n.f にせウミガメが 「主語」

se disponía ...a hacerlo セ・ディスポニア...ア・アセル・ロ 3 単線・試行
(disponerse...a+不定詞 hacer+lo)v.pr 繰り返そうとした 「動詞句」

precisamente プレシサメンテ adv. ちょうど 「副詞」

cuando クワント conj. その時～する

se oyó セ・オジョ 3 単点(oirse)v.pr (音が主語) 聞こえた 「動詞句」

en la distancia エン・ラ・ディスタンシア adv. 遠くで 「副詞句」

una voz ウナ・ボス n.f 声が 「主語」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

proclamaba プロクラマバ 3 単線(proclamar)v.t 宣言する 「動詞」

estentóreamente: エステントレアメンテ adv. 大声で 「副詞」

10 La cuadrilla de la Langosta

「裁判が始まるぞ！」

-¡Comienza el juicio! 《「告知」》
 -¡Comienza コミエンサ 3 単現(comenzar)v.i 始まるぞ！ 「告知」
 el juicio! エル・フイソ n.m 裁判が 「主語」

「来い！」と、グリフォンが叫び、アリスの手を掴んで、にせウミガメが歌い終わるのを待たずに駆け出した。

-¡Ven! gritó el Grifo, y cogiendo a Alicia de la mano salió corriendo muy aprisa sin esperar a que la Tortuga acabara su canción.

《「命令」》, 「動詞」 「主語」 ,y 「副詞句」 「動詞」 「副詞句」
 -¡Ven! ベン 命・2 単現(venir)v.i 来い！ 「命令」
 -gritó グリト 3 単点(gritar)v.i 叫んだ 「動詞」
 el Grifo, エル・グリフォ n.m グリフォンが 「主語」
 y イ conj. そして
 cogiendo コヒエント° 現在分詞・同時(coger)adv. ～を掴んで 「副詞句」
 a Alicia de la mano ア・アリシア・デ・ラ・マノ adv. アリスの手を 「間接目的語」
 salió サオ 3 単点(salir)v.i 出た 「動詞」
 corriendo コリエント° 現在分詞・様態(correr)adv. 走って 「副詞句」
 muy aprisa ムイ・アプリーサ adv. とても急いで 「副詞句」
 sin esperar シン・エスペラル 不定詞 adv. ～を待たずに 「副詞句」
 a que ア・ケ adv. ～することを 「目的語」
 la Tortuga ラ・トルトゥガ°・アルティフィシアル n.f にせウミガメが 「主語」
 acabara アカバラ 接・3 単過・時制の一致(acabar)v.t 終える 「動詞」
 su canción. ス・カンシオン n.f 歌を 「目的語」

「何の裁判なの？」と、アリスは走りながら息を切らして尋ねた；しかし、グリフォンはただ答えた：

-¿De qué juicio se trata? jadeó Alicia mientras corrían; pero el Grifo sólo contestó:
 《「補語」 「動詞句」》, 「動詞」 「主語」 「副詞節」 ; pero 「主語」 「副詞」 「動詞」
 -¿De qué juicio デ・ケ・フイソ n.m 何の裁判 「補語」
 se trata? セ・トラタ 3 単現・疑問文(tratarse)v.pr (話は) ～である？ 「動詞句」
 -jadeó ハデオ 3 単点(jadear)v.i 息を切らした 「動詞」
 Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
 mientras ミエンTRAS conj. ～しながら 「副詞節」
 corrían; コリアン 3 複線(correr)v.i 走った 「動詞」
 pero ペロ conj. しかし

10 La cuadrilla de la Langosta

el Grifo エル・グリフォ n.m グリフォンは 「主語」
 sólo ソロ adv. ただ～、～だけ 「副詞」
 contestó: コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた 「動詞」

「さあ行こう！」と、グリフォンはさらに速く走りだした。その一方で、彼らの後を追うそよ風と共にのって、にせウミガメの悲し気な声が次第にか弱く聞こえてきた。

«¡Vamos!», y se puso a correr aún más aprisa, mientras que cada vez con menos fuerza les llegaba con los golpes de la brisa que los seguía, esas melancólicas palabras:

《「呼びかけ」》, y 「動詞句」「副詞句」,

mientras que 「副詞句」「間接目的語」「動詞」「副詞句」

«¡Vamos!», バモス 1 複現・勧誘(ir)v.i さあ行こう！ 「呼びかけ」

y イ conj. そして

se puso a correr セ・プ・ソ・ア・コレル 3 単点・開始(ponerse a+不定詞 correr)

v.pr 走り出した 「動詞句」

aún más aprisa, アウン・マス・アプ・リサ adv. さらに速く 「副詞句」

mientras que ミェントラス・ケ conj. ～している一方で

cada vez カダ・ベス adv. そのたびに、次第に 「副詞句」

con menos fuerza コン・メノス・フエルサ adv. さらに弱く 「副詞句」

les レス pron.pl 彼らに 「間接目的語」

llegaba ジェカ・バ 3 単線(llegar)v.i 届いた 「動詞」

con los golpes de la brisa コン・ロス・ゴルペ・ス・デ・ラ・ブリス adv. そよ風と共に 「副詞句」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

los ロス pron.pl 彼らを 「目的語」

seguía, セギア 3 単線(seguir)v.t 後を追う 「動詞」

esas melancólicas palabras: エサス・メランコリカス・パ・ラブラス

pl(palabra).n.f その悲し気な言葉が 「主語」

「夜のスーープ！」

「素晴らしい、素晴らし過ぎるスープ」

Soo-oo-pa de la noo-oo-che.

¡Hermosa! ¡hermosísima sopa!

《「感嘆」「感嘆」》

Soo-oo-pa de la noo-oo-che. ソー・ハ・デ・ラ・ノー・チェ int. 夜のスーープ！ 「感嘆」

¡Hermosa!, ¡hermosísima sopa! エルモサ・エルモシシマ・ソパ

int. 素晴らしい、素晴らし過ぎるスープ 「感嘆」

11 Quién robó las tartas?

11 Quién robó las tartas?

ケーキを盗んだのは誰？

Quién キエン pron 誰が 「主語」
robó ロボ 3 単点(robar)v.t 盗んだ 「動詞」
las tartas? ラス・タルタス pl(tarta).n.f ケーキを 「目的語」

彼らが着いた時、ハートの王と女王はもう王座に座っていて、トランプ一束ほどの、様々な種類の鳥や小動物で構成された大群衆に取り囲まれているのが見えた。

Cuando llegaron, el Rey y la Reina de Corazones habían ocupado ya sus tronos y se veían rodeados de una gran multitud compuesta por toda clase de pajarillos y bestiecillas, así como de todo un mazo de cartas.

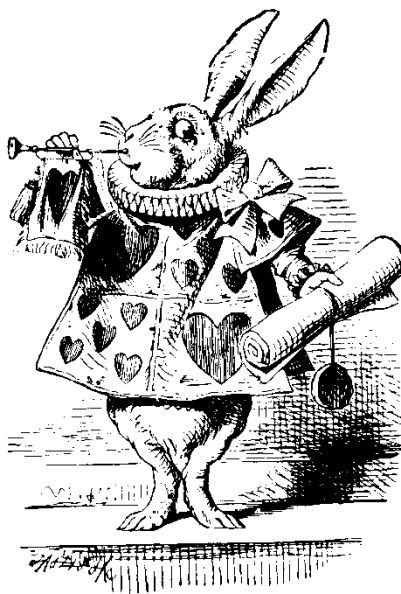
「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」 y 「動詞句」「副詞句」
Cuando クワント conj. 〜した時 「副詞節」
llegaron, シェガロン 3 複点(llegar)v.i 着いた 「動詞」
el Rey y la Reina エル・レイ・イ・ラ・レイナ pl.n 王と女王は 「主語」
de Corazones デ・コラソネス adj. ハートの 「形容詞句」
habían ocupado アビアン・オカプト 3 複線・完了形(ocupar)v.t (場所を) 占めていた 「動詞句」
ya ヤー adv. もう 「副詞」
sus tronos スス・トコロノス pl(trono)n.m 王座を 「目的語」
y イ conj. そして
se veían セ・ベ・イアン 3 複線・再帰受動(verse)v.pr 見えた 「動詞句」
rodeados ロデアトス 過去分詞・受動(rodear)adv. 囲まれている 「副詞句」
de una gran multitud デ・ウナ・グラン・ムルチトゥ adv. (動作主) 大群衆に 「副詞句」
compuesta コンポエスタ 過去分詞・受動(componer)
adj. 構成された 「形容詞句」
por toda clase ホル・トダ・クラセ
adv. (動作主) 全ての種類で 「副詞句」
de pajarillos y bestiecillas, デ・パ・ハリジヨス・イ・ベ・スチエシジャス
adj. 鳥や小動物の 「形容詞句」
bestiecillas 「bestia + -cillas 小動物」
así como de アシ・コモ・デ prep (程度) 〜ほど 「副詞句」
todo un mazo トト・ウン・マゾ n.m 一束 「目的語」
de cartas. デ・カルタス adj. トランプの 「形容詞句」

11 Quién robó las tartas?

ジャックが鎖で繋がれて皆の前に立っていて、両側を兵隊に監視されていた。

La Sota estaba de pie, delante de todos, sujeta con grillos y bajo custodia, con un soldado a cada lado;

	「主語」「動詞」「副詞句」「補語」 y 「補語」
la Sota ラ・ソタ n.f (スペイン式トランプの) 11 の札、ジャックが	「主語」
estaba エスタバ 3 単線・存在(estar)v.i いた	「動詞」
de pie, デ・ピエ adv. 立って	「副詞句」
delante de todos, デランテ・デ・トドス adv. 皆の前に	「副詞句」
sujeta スエタ adj(sujeto).f 拘束された	「補語」
con grillos コン・グリジョス adv. (道具) 鉄の足かせで、くさりで	「副詞句」
y イ conj. そして	
bajo custodia, バホ・クストディア adv. 監視下に	「補語」
con un soldado コン・ウン・ソルダド adv. 兵士による	「副詞句」
a cada lado; ア・カダ・ラド adv. 両側に	「副詞句」



王様の近くに、片手にラッパを持ち、もう一方の手に羊皮紙の大きな巻き物を持った白うさぎが見えた。

cerca del Rey se veía al Conejo Blanco con una trompeta en una mano y un gran rollo de pergamino en la otra.

	「副詞句」「動詞句」「主語」
cerca del Rey セルカ・デル・レイ adv. 王様の近くに	「副詞句」
se veía セ・ベ・イア 3 単線・再帰受動(verse)v.pr 見えた	「動詞句」
al Conejo Blanco アル・コネホ・ブランコ n.m 白うさぎが	「主語」
con una trompeta コン・ウナ・トロンペタ adv. (不随) ラッパを持った	「副詞句」

11 Quién robó las tartas?

en una mano エン・ウナ・マノ adv. 片手に 「副詞句」
y イ conj. そして
un gran rollo ウン・グラン・ロジョ n.m 巻き物を 「目的語」
de pergamino デ・ペルガミノ adj. (材料) 羊皮紙の 「形容詞句」
en la otra. エン・ラ・オトラ adv. もう一方の手に 「副詞句」

法廷の真ん中にはテーブルがあり、ケーキが並べられた豪華なトレイがのっていた。

En el centro mismo del Tribunal se encontraba una mesa con una espléndida bandeja de tartas: 「副詞句」「動詞句」「主語」
En el centro mismo エン・エル・セントロ・ミスト adv. 真ん中に 「副詞句」
mismo ミスト adv. (強調) まさに～
del Tribunal テル・トリブナル adj. 法廷の 「形容詞句」
se encontraba セ・エンコントラバ 3 単線・再帰受動(encontrarse)
v.pr (ある場所に) あった 「動詞句」
una mesa ウナ・メサ n.f テーブルが 「主語」
con una espléndida bandeja コン・ウナ・エスプレンディダ・バンデハ
adv. (同伴) 豪華なお盆を載せた 「副詞句」
de tartas: デ・タルタス adj. (所有) ケーキの 「形容詞句」

あまりにも美味しそうだったので、アリスはそれを見ただけで腹が減って、考えた。

tenían tan buen aspecto que Alicia, de sólo verlas, se sintió muy hambrienta, y pensó:
「動詞」「目的語」 que 「主語」「副詞句」「動詞句」「補語」, y 「動詞」
tenían テニアン 3 複線・理由(tener)v.t (状態に) あったので 「動詞」
tan buen aspecto タン・ブエン・アスペクト n.m あまりに美味しそうな様子 「目的語」
que ケ conj. (tan...que) (結果) それで～する
Alicia, アリシア n.f アリスは 「主語」
de sólo verlas, デ・ソロ・ベール・ラス 不定詞・条件 adv. それを見ただけで 「副詞句」
se sintió セ・シンチオ 3 単点(sentirse)v.pr ～だと感じた 「動詞句」
muy hambrienta, マイ・アンブリエンタ adj(hambriento).f とても腹がへった 「補語」
y イ conj. そして
pensó: ペンソ 3 単点(pensar)v.i 考えた 「動詞」

11 Quién robó las tartas?

「はやく裁判が終わって、冷たい飲み物を配ってくれないかな！」

«Ojalá se acabe el juicio pronto, y así pasarán los refrescos».

《「感嘆」「動詞句」「主語」「副詞」 y 「副詞」「動詞」「目的語」》

«Ojalá オハ int. (願望) どうか～しますように！

「感嘆」

se acabe セ・アカベ 接・3 単現・祈願(acabarse)v.pr 終わる

「動詞句」

el juicio エル・フイオ n.m 裁判が

「主語」

pronto, プロント adv. すぐに

「副詞」

y イ conj. そして

así アシ adv. どうか

「副詞」

pasarán パ・サン 3 複未(pasar)v.t 渡す、配る

「動詞」

los refrescos». ロス・レフレスコス pl(refresco).n.m 冷たい飲み物を

「目的語」

しかしこれはありそうなことにならないと思ったので、少し時間を潰すために、自分の周りで起こっていることを全て見つめることにした。

Pero no parecía que esto fuera nada probable, de forma que optó por contemplar cuanto estaba sucediendo a su alrededor para pasar el rato.

Pero 「動詞句」「主語」, de forma que 「動詞」「間接目的語」

Pero ペロ conj. しかし

no parecía ノ・パ・レシア 3 単線・否定(parecer)v.i ～のように思われなかった

「動詞句」

que ケ conj. ～ということは

「主語」

esto エスト pron これは

「主語」

fuera フェア 接・3 単現・変化・時制の一致(ser)v.i ～にならない

「動詞」

nada probable, ナダ・プロバブレ pron ありそうなこと～ない

「補語」

de forma que+直接法 テ・フォルマ・ケ conj. (結果) そのため～

de forma que+接続法 conj. (目的) ～するように

optó オプト 3 単点(optar)v.i(por を) 選択した

「動詞」

por contemplar ホル・コンテンプラー adv. じっと見つめることを

「間接目的語」

cuanto クワント pron ～するすべてを

「目的語」

estaba sucediendo エスタバ・ステディエント 3 単線・進行形(suceder)

v.i 起こっている

「動詞句」

a su alrededor ア・ス・アルデトール adv. 彼女の周りで

「副詞句」

para pasar el rato. パラ・パスアル・エル・ラト

adv. (目的) 少し時間を潰すために

「副詞句」

11 Quién robó las tartas?

アリスはこれまで裁判所に来た事は無かった。だが本を読んでいたのどのような様子なのかは知っていた。

Nunca había estado Alicia antes en un Tribunal de Justicia, pero sabía cómo era por unos libros que había leído.

「動詞句」「主語」「副詞句」,pero「動詞」「目的語」「副詞句」

Nunca había estado ヌンカ・アビ・ア・エスト 3 単線・移動・完了形・否定(estar)

v.i 〜に来た事がなかった 「動詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

antes アンテス adv. 以前に、前に 「副詞句」

en un Tribunal エン・ウン・トリブナル adv. 法廷に 「副詞句」

de Justicia, デ・フスティシア adj. 裁判の 「形容詞句」

pero ペロ conj. しかし

sabía サビ・ア 3 単線(saber)v.t 知っていた 「動詞」

cómo コモ conj. どのようなかということ 「目的語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i 〜である 「動詞」

por unos libros ホル・ウノス・リブロス adv. (手段) 本で 「副詞句」

que ケ pron (目的語) 〜する 「形容詞節」

había leído. アビ・ア・レイト 3 単線・完了形(leer)v.t 読んでいた 「動詞句」

彼女は、見るものほとんど全ての名前が分かったのととても得意げだった。

Se sintió muy satisfecha al ver que sabía el nombre de casi todo lo que veía.

「動詞句」「補語」

Se sintió セ・シンチオ 3 単点(sentirse)v.pr 感じた 「動詞句」

muy satisfecha ムイ・サティスフェチャ adj. とても得意げな 「補語」

al ver アル・ベール adv. (原因) 〜が分かって、〜を見て 「副詞句」

que ケ conj. 〜ということ 「目的語」

sabía サビ・ア 3 単線(saber)v.t 分かった 「動詞」

el nombre エル・ノンブレ n.m 名前が 「目的語」

de casi todo lo デ・カシ・トド・ロ adj. ほぼ全ての 「形容詞句」

que veía. ケ・ベ・イ conj. 彼女が見た 「形容詞節」

11 Quién robó las tartas?

「あれが判事だわ」と、アリスは独り言を言った。「だって、すごく髪の毛のながいかつらをかぶっているから」

«Ése es el Juez -se dijo a sí misma-, porque lleva puesta esa peluca tan larga.»

《「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞句」「間接目的語」, 《「副詞節」》

«Ése エ pron あれは 「主語」
 es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」
 el Juez エル・フエス n.m 判事 「補語」
 -se dijo セ・ディヨ 3 単点(decirse)v.pr 言った 「動詞句」
 a sí misma-, ア・シ・ミスマ adv. 自分自身に 「間接目的語」
 porque ポル conj. ~なので 「副詞節」
 lleva puesta ジェバ・プエスタ 3 単現(llevar puesta)v.i ~を身につけている 「動詞句」
 esa peluca エサ・ペルカ n.f あのかつらを 「目的語」
 tan larga. タン・ラカ adj. すごく髪の毛の長い 「形容詞句」

ところで、その判事は王様本人でした。そしてかつらの上に王冠をかぶっていたので（それがどんなだったか見たければ、この本の最初にある口絵を見て下さい）、十分快適そうだと
 思われる様子がなくて、どちらにしても王様には似合わなかった。

A propósito, el Juez era el mismo Rey, y, como llevaba la corona encima de la peluca (mirad el dibujo que figura al principio de este libro, si queréis ver cómo lo hacía), no tenía precisamente aspecto de sentirse demasiado cómodo, y en todo caso no le sentaba bien.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」,

y, 「副詞節」(「動詞」「目的語」「副詞節」), 「動詞句」「目的語」,

y 「副詞句」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」

A propósito, ア・プロポシト adv. ところで、それはそうと 「副詞句」
 el Juez エル・フエス n.m その判事は 「主語」
 era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった 「動詞」
 el mismo Rey, エル・ミストレイ n.m まさに王様 「補語」
 y, イ conj. そして
 como コモ conj. (理由) ~なので 「副詞節」
 llevaba ジェババ 3 単線(llevar)v.i 身につけていた 「動詞」
 la corona ラ・コナ n.f 王冠を 「目的語」
 encima de la peluca エンシマ・デ・ラ・ペルカ adv. かつらの上に 「副詞句」
 (mirad ミラ 命・2 単現(mirar)v.t 見なさい 「動詞」
 el dibujo エル・ディブヨ n.m 絵を 「目的語」
 que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 figura フィグラ 3 単現(figurar)v.i 記載されている 「動詞」

11 Quién robó las tartas?

al principio de este libro, アル・プリンシピオ・デ・エステ・リブロ

adv. この本の最初に	「副詞句」
si シ conj. もし～ならば	「副詞節」
queréis ver クレイス・ベール 2 単現・願望(querer+不定詞 ver)v.t 見たい	「動詞句」
cómo コモ adv. どのように～するかということ	「目的語」
lo ロ pron (corona の代用) それを	「目的語」
hacía, アシア 3 単線(hacer)v.t かぶっていた	「動詞」
no tenía ノ・テニア 3 単現・否定(tener)v.t ～がなかった	「動詞句」
precisamente aspecto プレシサメンテ・アスペクト n.m はっきりした様子が	「目的語」
de sentirse テ・センチルセ 不定詞・目的 adj. ～と感じるだけの	「形容詞句」
demasiado cómodo, デマシアド・コモダ adj. 十分快適な	「補語」
y イ conj. そして	
en todo caso エン・トド・カソ adv. いずれにしても	「副詞句」
no ...sentaba bien. ノ...センタバ・ビエン 3 単線(sentar bien)v.i 似合わなかった	「動詞句」
le レ pron 彼には	「間接目的語」

口絵・扉絵・挿絵

口絵とは、書物の巻頭または本文の前に掲載される絵や写真のこと。

扉絵とは、書物の見返しの次にある書名・著者名を記したページに書かれた絵のこと。

挿絵とは、書籍などの文中に刺し入れる、その内容に関係のある絵のこと。

「そしてあれは陪審席に違いない」と、アリスは思った。「それから、あれは 12 匹の生き物（そう言うしか方法が無かった。ねえ、だってなんでもいたんだから、動物でも鳥でも）あれは宣誓させられた陪審員たちだと思うわ」

«Y ése debe de ser el estrado del jurado -pensó Alicia-, y esas doce criaturas -no tenía más remedio que llamarlas así, ¿comprendéis?, pues había de todo: animalitos y pájaros- me supongo que son los miembros juramentados del jurado.»

《Y 「主語」「動詞句」「補語」》, 「動詞」「主語」,

《y 「主語」「補語」(「動詞句」「目的語」, 「呼びかけ」: 「副詞節」「目的語」)
「動詞句」「目的語」》

«Y イ conj. そして

ése エセ pron あれは 「主語」

debe de ser テ・ベ・デ・セル 3 単現・推定(deber de+不定詞 ser)

v.i ～であるに違いない 「動詞句」

el estrado エル・エストラト n.m 席、場所、壇 「補語」

del jurado テル・フラト adj. 陪審員の 「形容詞句」

11 Quién robó las tartas?

-pensó	ペンソ	3 単点(pensar)v.i	考えた、思った	「動詞」
Alicia-	アリシア	n.f	アリスは	「主語」
y	イ	conj.	そして	
esas	エサス	pron.pl.f	あれは	「主語」
doce criaturas	ドセ・クリアトゥラス	pl(criatura).n.f	12 匹の生き物	「補語」
-no tenía	ノ・テニア	1 単線・否定(tener)v.t	～がなかった	「動詞句」
más remedio	マス・レメディオ	n.m	(más...que ～するしか他に) 方法が～ない	「目的語」
que	ケ	conj.	(más...que) (比較) ～するしか	「副詞節」
llamarlas	ジャマル・ラス	不定詞(llamar+las)v.t	それらと呼ぶ	「動詞句」
así,	アシ	adv.	そのように	「副詞」
¿comprendéis?,	コンプレンデイス	2 複現・呼びかけ	adv. ねえ	「呼びかけ」
pues	プエス	conj.	(理由) だって～だから	「副詞節」
había	アビア	3 単線・存在(haber)v.t	～があった	「動詞」
de todo:	デ・トト	pron	なんでも	「目的語」
animalitos y pájaros-	アニマルitos・イ・パハロス	pl.n.m	動物でも鳥でも	「目的語」
me supongo	メ・スポンゴ	1 単現(siponerse)v.pr	～と思う	「動詞句」
que	ケ	conj.	～ということを	「目的語」
son	ソン	3 複現(ser)v.i	～である	「動詞」
los miembros	ロス・ミエンブロス	pl(miembro).n.m	一員	「補語」
juramentados	フラメントス	adj.	宣誓させられた	「形容詞」
del jurado.»	デル・フラト	adj.	陪審員の	「形容詞句」

この最後の言葉をアリスは何度か自分のために繰り返し、その堂々たる音の響きを誇らしく思いました。というのは、彼女と同じ年齢でその言葉の意味が理解できるの女の子はほとんどいないだろうと当然のように思っていたからです。

Estas últimas palabras las repitió Alicia para sí misma varias veces, muy orgullosa de lo imponentes que sonaban, pues pensó, con toda razón, que muy pocas niñas de su edad podrían comprender su significado.

「目的語」「動詞」「主語」「副詞句」,「補語」,「副詞節」

Estas últimas palabras	エスタス・ウルチマス・パラブラス	pl(palabra).n.f	この最後の言葉を	「目的語」
las	ラス	pron.pl	それらを	「目的語」
repitió	レピチオ	3 単点(repetir)v.t	繰り返した	「動詞」
Alicia	アリシア	n.f	アリスは	「主語」
para sí misma	パラ・シ・ミスマ	adv.	自分のために	「副詞句」
varias veces,	バリアス・ベセス	adv.	何度か	「副詞句」
muy orgullosa	マイ・オルグジョーザ	adj.(con	を) 自慢する、得意げな	「補語」

11 Quién robó las tartas?

de lo imponentes	デ・ロ・インポネテス	adv. 堂々たるものを	「間接目的語」
que sonaban,	ケ・ソナバン	adj. 鳴り響く	「形容詞節」
pues	プエス	conj. ～なので	「副詞節」
pensó,	ペンソ	3 単点(pensar)v.t 考えていた	「動詞」
con toda razón,	コン・トダ・ラゾン	adv. 当然	「副詞句」
que	ケ	conj. ～ということ	「目的語」
muy pocas niñas	マイ・ポカス・ニャス	pl(niña).n.f とても少ない女の子が	「主語」
de su edad	デ・ス・エダ	adj. 彼女の年齢の	「形容詞句」
podrían comprender	ポドリアン・コンプレンデール	3 複過未・可能・推量(poder+不定詞)	
v.t	理解できるだろう		「動詞句」
su significado.	ス・シフニフィカド	n.m その意味を	「目的語」

恐らく、単に「陪審員」と言えば十分だったと思うのだが。

Aunque <u>quizá le hubiera bastado con decir los «jurados»</u> .		Aunque 「副詞」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」
Aunque	アウケ conj. ～ではあるが	
quizá	キザ adv. おそらく	「副詞」
le	レ pron 彼女にとって	「間接目的語」
hubiera bastado	ウビエラ・バスタ ^レ 接・3 単過・完了形・推量(bastar)	
v.i (con+不定詞 ～すれば)	十分だっただろう	「動詞句」
con decir	コン・デシル 不定詞・手段 adv. ～と言う	「副詞句」
los «jurados».	ロス・フラトス ^ス pl(jurado).n.m 陪審員	「目的語」

12 人の陪審員たちはせわしげに石板に何かを書いていた。

Los doce jurados estaban muy atareados escribiendo en sus pizarras.	Los doce jurados	ロス・ドセ・フラトス	pl(jurado).n.m 12 人の陪審員たちは	「主語」「動詞」「補語」
estaban	エスタバン	3 複線(estar)v.i ～だった		「主語」
muy atareados	マイ・アタレートス	adj. 非常に忙しい		「動詞」
escribiendo	エスクリビエント	現在分詞・様態	adv. 書きながら	「補語」
en sus pizarras.	エン・ス・ツピサラス	adv. 石板に		「副詞句」

11 Quién robó las tartas?

「彼らは何をしているの?」と、アリスはグリフォンに言った; 裁判はまだ始まっていないのだから、何も書くことは無いでしょう?

-¿Qué están haciendo? -susurró Alicia al Grifo; no pueden estar apuntando nada puesto que el juicio no ha empezado todavía.

《「目的語」「動詞句」》, 「動詞」「主語」「間接目的語」; 「動詞句」「目的語」「副詞節」
 -¿Qué pron 何を 「目的語」
 están haciendo? エスタン・アシエント³ 3 複現・進行形. 疑問文(hacer)v.t しているの? 「動詞句」
 -susurró ススロ 3 単点(susurrar)v.i ささやいた 「動詞」
 Alicia アリシア n.f アリスが 「主語」
 al Grifo; アル・グリフォ adv. グリフォンに 「間接目的語」
 no pueden estar apuntando ノ・プ エテン・エスタール・アプンタント³ 3 複現・可能・否定(poder+不定詞)
 v.t 書き留めることは出来ない 「動詞句」
 nada ナダ³ pron 何も～ない 「目的語」
 puesto que プエスト・ケ conj. (理由) ～なのだから 「副詞節」
 el juicio ウ・フィオ n.m 裁判は 「主語」
 no ha empezado ノ・ア・エンパ³ 3 単現・完了形・否定(empezar)
 v.i 始まっていない 「動詞句」
 todavía. トダビア adv. まだ 「副詞」

「自分の名前を書いているのさ」と、グリフォンが耳元でささやいた。「裁判が終わる前に忘れてしまわないためだよ」

-Están escribiendo sus nombres -cuchicheó el Grifo-, no vaya a ser que los olviden antes de que acabe el juicio.

《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」「主語」》
 -Están escribiendo エスタン・エスクリビエント³ 3 複現・進行形(escribir)v.t 書いている 「動詞句」
 sus nombres ス・ノンブレス pl(nombre).n.m 自分の名前を 「目的語」
 -cuchicheó クチエオ 3 単点(cuchichear)v.i 耳打ちした 「動詞」
 el Grifo, エル・グリフォ n.m グリフォンが 「主語」
 no vaya a ser ノ・バヤ・ア・セル 接・3 単現・目的(ir a+不定詞 ser)
 v.i ～ということにならないために 「動詞句」
 que ケ conj. ～ということが 「主語」
 los ロス pron.pl 名前を 「目的語」
 olviden オルビデン 接・3 複現・假定(olvidar)v.t 忘れる～かもしれない 「動詞」
 antes de que アンテス・デ・ケ adv. ～する前に 「副詞節」
 acabe アカベ 接・3 単現(acabar)v.i 終わる 「動詞」
 el juicio. エル・フィオ n.m 裁判が 「主語」

11 Quién robó las tartas?

「だけど、なんて愚かなの？」と、アリスはとても怒った声で言い始めたが、ちょうど白うさぎが叫ぶのを聞いて黙った。

-Pero ¿es que son imbéciles? -empezó a decir Alicia, con una voz muy indignada; pero se calló a tiempo al oír que el Conejo Blanco gritaba:

《Pero 「動詞」「主語」》, 「動詞句」「主語」「副詞句」; pero 「動詞句」「副詞句」

-Pero ペロ conj. しかし

¿es エス 3 単現・疑問文(ser)v.i ~であるのか? 「動詞」

que ケ conj. ~ということは 「主語」

son ソン 3 複現(ser)v.i ~である 「動詞」

imbéciles? インベシス adj(imbécil).pl 愚かな、馬鹿な 「補語」

-empezó a decir エンペゾ・ア・デシール 3 単点・開始(empezar a+不定詞 decir)

v.t 言い出した 「動詞句」

Alicia, アリシア n.f アリスは 「主語」

con una voz muy indignada; コン・ウナ・ボス・ムイ・インディグナダ adv. とても怒った声で 「副詞句」

pero ペロ conj. しかし

se calló セ・ガジョ 3 単点(callarse)v.pr 黙り込んだ 「動詞句」

a tiempo ア・ティエンポ adv. 丁度その時 「副詞句」

al oír アル・オイール 不定詞・原因 adv. ~を聞いて 「副詞句」

que ケ conj. ~ということ 「目的語」

el Conejo Blanco エル・コネホ・ブランコ n.m 白うさが 「主語」

gritaba: グリタバ 3 単線・時制の一致(gritar)v.t 叫んでいる 「動詞」

「静粛に!」、すると王様が眼鏡をかけて、他に誰が喋っているのかを見つけようとしてあたりをしっかりと見まわしました。

«Silencio en la Sala!», y al ver que el Rey se calaba las gafas y miraba severamente de un lado para otro intentando descubrir quién era el que estaba hablando.

《「命令」》, y 「副詞句」

«Silencio シレンシオ n.m 静粛 「命令」

en la Sala!, エン・ラ・サラ adv. 法廷では 「副詞句」

y イ conj. そして

al ver アル・ベール adv. ~を見て 「副詞句」

que ケ conj. ~ということ 「目的語」

el Rey エル・レイ n.m 王様が 「主語」

se calaba セ・カラバ 3 単線(calarse)v.pr (眼鏡を) かけた 「動詞句」

las gafas ラス・ガフラス pl(gafa).n.f 眼鏡を 「目的語」

11 Quién robó las tartas?

y イ conj. そして

miraba ミラバ 3 単線(mirar)v.i 見た 「動詞」

severamente セベラメンテ adv. 厳しく 「副詞」

de un lado デ・ウン・ラド adv. あたりを 「副詞句」

para +現在分詞 adv. (継続) そして～した 「副詞句」

otro オトロ pron 他の誰かを 「目的語」

intentando descubrir インテンタント・デスカブリール 現在分詞・意図(intentar+不定詞 descubrir)

v.t 見つけようとして 「動詞句」

quién キエン pron 誰が 「主語」

era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ～である 「動詞」

el que エル・ケ pron ～する者 「補語」

estaba hablando. エスタバ・アブラント 3 単線・進行形(hablar)

v.i 話している 「動詞句」

アリスは自分が居た所から、まるで陪審員の肩越しに見ているように、彼ら全員が石板に「馬鹿者」と殴り書きしているのがよく見えた。さらに陪審員の一人は「馬鹿者」の書き方が分からなくて隣に聞かなければならないことにも気づくことが出来た。

Desde donde estaba, Alicia pudo ver, tan bien como si estuviera mirando por encima del hombro de los jurados, que todos éstos estaban garrapateando «es que son imbéciles» en sus pizarras, e incluso pudo darse cuenta de que uno de ellos no sabía cómo escribir «imbécil» y tenía que preguntárselo al vecino.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」, 「目的語」, e 「副詞」「動詞句」「目的語」

Desde donde estaba, デスデ・ドンデ・エスタバ adv. (起点) 彼女がいた所から 「副詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

pudo ver, プト・ベール 3 単点・可能(poder+不定詞 ver)v.t 分かった、見えた 「動詞句」

tan bien タン・ビエン adv. よく 「副詞句」

como si コモ・シ conj. まるで～するように 「副詞節」

estuviera mirando エストゥビエラ・ミラント 接・3 単過・進行形・時制の一致(mirar)

v.t 見ている 「動詞句」

por encima del hombro ポル・エンシマ・デル・オブロ adv. 肩越しに 「副詞句」

de los jurados, デ・ロス・フラトス adj. 陪審員の 「形容詞句」

que ケ conj. ～ということ 「目的語」

todos éstos トトス・エストス pron.pl 全部の陪審員は 「主語」

estaban garrapateando エスタバン・ガラパテアント 3 複線・進行形(garrapatear)

v.t 殴り書きしている 「動詞句」

n. ～ということ 「目的語」

11 Quién robó las tartas?

«es エス 3 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
que ケ conj. ~ということ	「補語」
son ソン 3 複現(ser)v.i ~である	「動詞」
imbéciles» インベシス pl(imbécil).pron 馬鹿者	「補語」
en sus pizarras, エン・ス・ピ・サラス adv. 彼らの石板に	「副詞句」
e エ conj. そして	
incluso インクル adv. その上、~さえも	「副詞」
pudo darse cuenta de プト・ダルセ・クエンタ・デ 3 単点・可能(poder+不定詞 darse cuenta)	
v.t(de に) 気付くことができた	「動詞句」
que ケ conj. ~ということを	「目的語」
uno de ellos イデ・デ・エジョス pron 陪審員の一人が	「主語」
no sabía ノ・サビア 3 単線・可能・否定・時制の一致(saber)v.t 分からない	「動詞句」
cómo escribir «imbécil» コモ・エスクリビール・インベシル n. 「馬鹿者」の書き方を	「目的語」
y イ conj. そして	
tenía que preguntárselo テニア・ケ・プレグンタルセロ 3 単線・必要・時制の一致(tener que+不定詞)	
v.t 聞かなければならない	「動詞句」
al vecino. アル・ベシノ adv. 隣に	「間接目的語」

「今から石板にメモを書いていたら、裁判が終わる前に、訳が分からなくなるだろうな」と、アリスは思った。

«¡Vaya lío que se van a armar con sus pizarras antes de que termine este juicio!», pensó Alicia.	《「動詞」「補語」「主語」》, 「動詞」「主語」
«¡Vaya バヤ 接・3 単現・推量(ir)v.i ~になるだろうな	「動詞」
lío リオ n.m 混乱、困難な事態	「補語」
que ケ conj. ~ということは	「主語」
se van a armar セ・バン・ア・アルマル 3 複現・近接未来(ir a+不定詞 armarse)	
v.pr 準備し続ける	「動詞句」
con sus pizarras コン・ス・ピ・サラス adv. 彼らの石板を	「間接目的語」
antes de que termine este juicio!», アンテス・デ・ケ・テルミネ・エステ・フィジョ	
adv. この裁判が終わる前に	「副詞節」
pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.i 思った	「動詞」
Alicia. アリシア n.f アリスは	「主語」

11 Quién robó las tartas?

陪審員の一人が、不快な音を立てるチョークを使って書いていました。

Uno de los jurados escribía con una tiza que chirriaba.

	「主語」「動詞」「副詞句」
Uno de los jurados ウノ・デ・ロス・フラトス pron 陪審員の一人が	「主語」
escribía エスクリビア 3 単線(escribir)v.i 書いていた	「動詞」
con una tiza コン・ウナ・ティサ adv. (道具) チョークで	「副詞句」
que ケ pron (主語) ~する	「形容詞節」
chirriaba. チリアバ 3 単線・時制の一致(chirriar)	
v.i きしむ、不快な音を立てる	「動詞」

もちろんアリスはこれが我慢できなかったもので、立ち上がって法廷内を一回りして、その陪審員の背後に行き、彼の手からチョークを奪うチャンスを見つけた；

Naturalmente que esto era algo que Alicia no podía soportar, de forma que se levantó, dio la vuelta a la Sala, se puso detrás de él y muy pronto encontró la ocasión de quitársela de la mano;

	「副詞句」, 「副詞句」「動詞句」, 「動詞句」「副詞句」, 「動詞句」「副詞句」
y 「副詞句」「動詞」「目的語」	
Naturalmente ナチュラルメンテ adv. (様態) 当然である	「副詞句」
que ケ conj. ~ということは	「主語」
esto エスト pron これが	「主語」
era エラ 3 単線・時制の一致(ser)v.i ~である	「動詞」
algo アルゴ pron 何か	「補語」
que ケ pron (目的語) ~する	「形容詞節」
Alicia アリシア n.f アリスが	「主語」
no podía soportar, ノ・ポ・デア・ソポルタル 3 単線・可能・否定(poder+不定詞 soportar)	
v.t 我慢できない	「動詞句」
de forma que デ・フォルマ・ケ conj. それで~する	「副詞句」
se levantó, セ・レバント 3 単点(levantarse)v.pr 立ち上がった	「動詞句」
dio la vuelta デ・イオ・ラ・ブエルタ 3 単点(dar la vuelta)v.i 一周した	「動詞句」
a la Sala, ア・ラ・サラ adv. 法廷内を	「副詞句」
se puso セ・プソ 3 単点(ponerse)v.pr 位置についた	「動詞句」
detrás de él デ・トラス・デ・エル adv. 彼の背後に	「副詞句」
y イ conj. そして	
muy pronto ムイ・プロント adv. すぐに、とても素早く	「副詞句」
encontró エンコントロ 3 単点(encontrar)v.t 見つけた	「動詞」
la ocasión ラ・オカシオン n.f チャンスを	「目的語」

11 Quién robó las tartas?

de quitársela テ・キタル・セ・ラ 不定詞・目的(quitar+se+la)

adv. 彼からチョークを奪うための

「副詞句」

de la mano; テ・ラ・マーノ adv. 彼の手から

「副詞句」

余りにも素早くチョークを奪ったので、可哀そうな陪審員（トカゲのビルです）はどうしてチョークが無くなったのか理解できませんでした。

con tanta rapidez lo hizo que el pobre juradillo (que no era otro que Pepito, la lagartija) no pudo ni adivinar cómo se había desvanecido.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

con tanta rapidez コン・タンタ・ラピデス adv. (原因) あまりにも速く～したので

「副詞句」

lo 〇 pron (チョークを奪う事) それを

「目的語」

hizo イ 3 単点(hacer)v.t (動作を) した

「動詞」

que ケ conj. (tanto...que) (結果) それで～する

el pobre juradillo エル・ポブレ・フラデ・イジョ n.m 可哀そうな陪審員は

「主語」

(que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

no era ノ・エラ 3 単線・否定・時制の一致(ser)v.i ～でない

「動詞」

otro que Pepito, オトロ・ケ・ペピート n.m チビ助以外

「補語」

la lagartija ラ・ラガルチア n.f (同格) トカゲの

「形容詞句」

トカゲのチビ助→ トカゲのビル

no pudo ni adivinar ノプト・ニ・アディビナル 3 単点・可能・否定(poder+不定詞 adivinar)

v.t 理解できなかった

「動詞句」

cómo コモ adv. どうして～したかということ

「目的語」

se había desvanecido. セ・アビエ・デス・ネイト 3 単線・完了形(desvanecerse)

v.pr (チョークが) 消えてしまった

「動詞句」

そのあたりをさがし回ったが、結局、その日は指で書き続けるしかなかった。もちろん、なんの役にも立ちません。石板になんの印も残せなかったからです。

Después de andar buscándola por todas partes se vio obligado a continuar escribiendo con un dedo durante el resto de la jornada, lo cual no le sirvió de nada, pues no dejaba marca alguna sobre la pizarra.

「副詞句」, 「動詞句」 「副詞句」 「副詞句」、 「副詞句」 「動詞句」 「副詞句」, 「副詞節」

Después de +不定詞 デスプ・エス・デ adv. ～した後で

「副詞句」

andar buscándola アンダー・ブル・スカント・ラ 不定詞(andar+現在分詞 buscar+la)

v.t チョークをさがし回る

「動詞句」

la は tiza (チョーク) の代用

por todas partes ポル・トダス・パルテス adv. そのあたりを

「副詞句」

11 Quién robó las tartas?

se vio obligado a continuar escribiendo セ。ヴィオ・オブリガト・ア・コンチヌアル・エスクリビエント

3 単点・強制(verse+過去分詞 obligado a+不定詞 continuar+現在分詞 escribir)

v.pr 書き続けるしかなかった 「動詞句」

Me vi obligado a hacerlo. 私はそうせざるを得なかった。

con un dedo コン・ウン・デト adv. (道具) 指で 「副詞句」

durante el resto de la jornada, トゥランテ・エル・レスト・デ・ラ・ホルタ adv. その日の残りは「副詞句」

lo cual ロ・クアル adv. もちろん 「副詞句」

no le sirvió ノ・レ・シルビオ 3 単点・否定・時制の一致(servir)v.i 役に立たない 「動詞句」

de nada, デ・ナダ adv. なんにも～ない 「副詞句」

pues プエス conj. (理由) ～なので 「副詞節」

no dejaba ノ・デハバ 3 単点・否定(dejar)v.t 残さなかった 「動詞句」

marca alguna マルカ・アルグナ n.f なんの印も～ない 「目的語」

sobre la pizarra. ソブレ・ラ・ピサラ adv. 石板の上に 「副詞句」

「伝令官！訴状を読み上げなさい！」と、王が命じた。

-¡Heraldo! ¡Proclamad la acusación! -ordenó el Rey.

《「呼びかけ」 | 「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」

-¡Heraldo! エラルト n.m 伝令官！ 「呼びかけ」

¡Proclamad プロクラマ 命・2 複現(proclamar)v.t 読み上げなさい、宣言しなさい「動詞」

la acusación! ラ・アクサシオン n.f 訴状を 「目的語」

-ordenó オルデノ 3 単点(ordenar)v.t 命じた 「動詞」

el Rey. エル・レイ n.m 王が 「主語」

これを聞いて、白うさはラッパを 3 回吹いてから、羊皮紙の巻き物を広げてこんな風に読み上げた：

Al oír esto, el Conejo Blanco dio tres toques de trompeta, desenrolló el pergamino y leyó de esta manera:

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」, 「動詞」「目的語」 y 「動詞」「副詞句」

Al +不定詞 アル adv. (時) ～する時 「副詞句」

oír オイル 不定詞 v.t 聞く 「動詞」

esto, エスト pron これを 「目的語」

el Conejo Blanco エル・コネホ・ブランコ n.m 白うさは 「主語」

dio デイオ 3 単点(dar)v.t 作り出した 「動詞」

tres toques トレス・トケス pl(toque).n.m 3 つの音を 「目的語」

de trompeta, デ・トロンペタ adj. ラッパの 「形容詞句」

desenrolló デセンロジョ 3 単点(desenrollar)v.t (巻いた物を) 広げた 「動詞」

11 Quién robó las tartas?

el pergamino エル・ペルガミノ n.m 羊皮紙の巻き物を 「目的語」

y イ conj. そして

leyó レヨ 3 単点(leer)v.i 読んだ 「動詞」

de esta manera: デ・エスタ・マネラ adv. こんな風に 「副詞句」

ハートの女王はある夏の日ずっと、
美味しいケーキを作っていた。

La Reina de Corazones

hizo unas buenas tartas

todo un día de verano.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

La Reina ラ・レイナ n.f 女王は 「主語」

de Corazones デ・コラソネス adj. ハートの 「形容詞句」

hizo イ 3 単点(hacer)v.t 作った 「動詞」

unas buenas tartas ウナス・ブエナス・タルタス pl(tarta).n.f 美味しいケーキをいくつか 「目的語」

todo un día トト・ウン・ディア n.m 一日中 「副詞句」

de verano. デ・ベラノ adj. 夏の 「形容詞句」

ハートのジャックがそのケーキを盗んだ。
もちろん、一つ残らず奪い去った。

La Sota de Corazones

esas tartas ha hurtado

¡y desde luego se las ha llevado!

「主語」「目的語」「動詞句」 y 「副詞句」「動詞句」「目的語」「動詞句」

La Sota n.f ジャックは 「主語」

de Corazones デ・コラソネス adj. ハートの 「形容詞句」

esas tartas エサス・タルタス pl(tarta).n.f ケーキを全部 「目的語」

ha hurtado ア・ウルタド 3 単現・完了形(hurtar)v.t 盗んだ 「動詞句」

¡y イ conj. そして

desde luego デステ・ルエゴ adv. もちろん、すぐに 「副詞句」

se ...ha llevado! セ...ア・ジエバト 3 単現・完了形(llevarse)v.pr 奪い去った 「動詞句」

las ラス pl.pron(unas buenas tartas の代用) それを全部 「目的語」

11 Quién robó las tartas?

「お前たちの判決を検討せよ！」と、王様が陪審団に命じた。

-¡Considerad vuestro veredicto! -ordenó el Rey al jurado.

《「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」「間接目的語」

-¡Considerad コンシデラ 命・2 複現(considerar)v.t 検討せよ！

「動詞」

vuestro veredicto! ブエストロ・ベレディクト n.m お前たちの判決を

「目的語」

-ordenó オルデノ 3 単点(ordenar)v.t 命じた

「動詞」

el Rey エル・レイ n.m 王様は

「主語」

al jurado. アル・フラト adv. 陪審団に

「間接目的語」

「まだです！まだ出来ません！」と、白うさが急いで遮った。「評決に至るには、他に沢山の手続きを経る必要があります！」

-¡Aún no! ¡Aún no! -se apresuró a interrumpir el Conejo Blanco; ¡es preciso pasar por otros muchos trámites antes de llegar a eso!

《「応答」》, 「動詞句」「主語」, 《「動詞」「補語」「主語」》

-¡Aún no! アウン・ノ adv. まだです！

「応答」

¡Aún no! アウン・ノ adv. まだ出来ません！

「応答」

-se apresuró a interrumpir セ・アプレスロ・ア・インテルンピール 3 単点・急いで(apresurarse a+不定詞)

v.pr 急いでその言葉を遮った

「動詞句」

apresurarse a+不定詞 「急いで～する」

el Conejo Blanco; エル・コネホ・ブランコ n.m 白うさが

「主語」

¡es エス 3 単現(ser)v.i ～である

「動詞」

preciso プレシソ adj. 必要な

「補語」

n. ～することが

「主語」

pasar パサル 不定詞 v.i ～を通過する

「動詞」

por otros muchos trámites ホル・オトロス・ムチョス・トラミテス

adv. 他に沢山の手続きを

「間接目的語」

antes de llegar a eso! アンテス・デ・シエガール・ア・エソ adv. 評決に達する前に

「副詞句」

「最初の証人を呼べ！」と、王様が命じます。それで白うさはラッパを三度吹いて、告げました：「証人 一番！」

-¡Que comparezca el primer testigo! -ordenó entonces el Rey, y el Conejo Blanco sonó tres veces la trompeta y anunció: «¡Primer Testigo!».

《「動詞」「主語」》, 「動詞」「主語」,

y 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」 y 「動詞」: 「呼びかけ」

-¡Que +接続法 ケ conj. (間接命令) ～させなさい

comparezca コンパレスカ 接・3 単現(comparecer)v.i 出廷する、現れる

「動詞」

11 Quién robó las tartas?

el primer testigo!	エル・プ ^レ リメル・テストイゴ ^ゴ n.m	最初の証人が	「主語」
-ordenó	オルデノ ^ノ 3 単点(ordenar)v.t	命じた	「動詞」
entonces	エントネス ^ス adv.	そこで	「副詞」
el Rey,	エル・レイ ^イ n.m	王様が	「主語」
y	イ conj.	そして	
el Conejo Blanco	エル・コネホ・ブランコ ^コ n.m	白うさは	「主語」
sonó	ソノ ^ノ 3 単点(sonar)v.t	鳴らした	「動詞句」
tres veces	トレス・ベセス ^セ adv.	3 度	「副詞句」
la trompeta	ラ・トロンパ ^パ タ n.f	ラッパを	「目的語」
y	イ conj.	そして	
anunció:	アヌシオ ^シ 3 単点(anunciar)v.t	知らせた、告げた	「動詞」
«¡Primer Testigo!».	プリメル・テストイゴ ^ゴ n.m	「証人 一番」	「呼びかけ」

最初の証人はあの帽子屋でした。片手に茶碗、もう一方の手にバターパンの切れ端を持って現れました。

El primer testigo era el Sombreroero. Compareció llevando una taza de té en una mano y un trozo mordisqueado de pan y mantequilla en la otra.

		「主語」「動詞」「補語」	「動詞」「副詞句」
El primer testigo	エル・プ ^レ リメル・テストイゴ ^ゴ n.m	最初の証人は	「主語」
era	エラ ^ラ 3 単線(ser)v.i	～だった	「動詞」
el Sombreroero.	エル・ソンプレロ ^ロ n.m	あの帽子屋	「補語」
Compareció	コンパレシオ ^シ 3 単点(comparecer)v.i	出頭した、現れた	「動詞」
llevando	ジェバント ^ト 現在分詞・同時(llevar)adv.	～を持って	「副詞句」
una taza de té	ウナ・タサ・デ・テ ^テ n.f	茶碗を	「目的語」
en una mano	エン・ウナ・マノ ^ノ adv.	片手に	「副詞句」
y	イ conj.	そして	
un trozo mordisqueado	ウン・トロゾ・モルデイスカト ^ト n.m	かじった切れ端	「目的語」
de pan y mantequilla	デ・パン・イ・マンテキジャ ^{ジャ} adj.	バターパンの	「形容詞句」
en la otra.	エン・ラ・オトラ ^{トラ} adv.	もう一方の手に	「副詞句」

11 Quién robó las tartas?

「陛下、お許し下さい」、と帽子屋が話し始めた。「こんなものを持って来てすみません。ですが、私が出頭するように呼ばれた時はまだお茶が済んでいなかったのです」

-Ruego a Vuestra Majestad que me perdone -empezó diciendo-, por traer aquí estas cosas, pero es que cuando me ordenaron que compareciera no había terminado aún de tomar el té.

《「動詞」「間接目的語」「直接目的語」》, 「動詞句」, 「副詞句」

-Ruego ルエゴ 1 単現(rogar)v.t 懇願する 「動詞」
a Vuestra Majestad ア・ブ・エストラ・メジエスタ adv. 陛下に 「間接目的語」
que ケ conj. ～ということ 「直接目的語」
me メ pron 私を 「目的語」
perdone ペルトネ 接・3 単現(perdonar)v.t 許す 「動詞」
-empezó diciendo-, エンペゾ・ディシエント 3 単点・開始(empezar+現在分詞 decir)
v.i 話し始めた 「動詞句」
por +不定詞 ホル adv. ～することについて 「副詞句」
traer トラエル 不定詞 v.t 持ってくる 「動詞」
aquí アキ adv. ここに 「副詞」
estas cosas, エスタス・コサス pl(casa).n.f これらの物を 「目的語」
pero ペロ conj. しかし
es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」
que ケ conj. ～ということ 「補語」
cuando クワント conj. ～した時 「副詞節」
me メ pron 私を 「目的語」
ordenaron オルデナロン 3 複点(ordenar)v.t 命じた 「動詞」
que ケ conj. ～ということ 「目的語」
compareciera コンパレシエラ 接・1 単過(comparecer)
v.i 出頭する 「動詞」
no había terminado ノ・アビ・ア・テルミト 1 単線・完了形・否定(terminar)v.i(de+不定詞)
v.i ～し終えていなかった 「動詞句」
aún アウン adv. まだ 「副詞」
de tomar デ・トマル 不定詞 v.t 飲む 「動詞句」
el té. エル・テ n.m お茶を 「目的語」

11 Quién robó las tartas?

「それなら、もっと早く済ませるべきだった」と、王様は叱りつけた。「いつから飲み始めたのだ？」

-Pues debiste haber terminado antes amonestó el Rey; ¿cuándo empezaste a tomarlo?

《「副詞」「動詞句」「副詞」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞」「動詞句」》

-Pues プエス conj. それならば 「副詞」

debiste haber terminado デビステ・アベル・テルミナト 3 単点・義務(deber+不定詞・完了形)

v.i 済ませるべきだった 「動詞句」

antes アンテス adv. もっと早く、その前に 「副詞」

-amonestó アモネスト 3 単点(amopnestar)v.t 叱りつけた 「動詞」

el Rey; エル・レイ n.m 王様は 「主語」

¿cuándo クワント adv. いつ 「副詞」

empezaste a tomarlo? エンペ・サステ・アトマル・ロ 2 単点・開始・疑問文(empezar a+不定詞)

v.i それを飲み始めたのだ? 「動詞句」

帽子屋は、法廷までヤマネを抱えて彼の後を追って来た三月ウサギを見つめて、言った：

El Sombreroero miró a la Liebre de Marzo, que, con el Lirón del brazo, le había seguido hasta el tribunal, y dijo:

「主語」「動詞」「目的語」, y 「動詞」

El Sombreroero エル・ソンブレイロ n.m 帽子屋は 「主語」

miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 見つめた 「動詞」

a la Liebre de Marzo, ア・ラ・リエブレ・デ・マルツ n.f 三月ウサギを 「目的語」

que, ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

con el Lirón コン・エル・リロン adv. (様態) ヤマネを持って 「副詞句」

del brazo, デル・ブラソ adv. 腕に 「副詞句」

le レ pron (Sombreroero の代用) 彼に 「間接目的語」

había seguido アビア・セギト 3 単線・完了形(seguir)

v.t 後を追って来た 「動詞句」

hasta el tribunal, アスタ・エル・トリブナル adv. (場所) 法廷まで 「副詞句」

y イ conj. そして

dijo: デイヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

私が間違っていなければ、それは 3 月 14 日でした。

-Si no me equivoco, fue el catorce de marzo. 「副詞節」, 「動詞」「補語」

-Si シ conj. (仮定) もし~ならば 「副詞節」

no me equivoco, ノ・メ・エキボコ 1 単現・否定(equivocarse)

v.pr 間違えていない 「動詞句」

11 Quién robó las tartas?

fue フェ 3 単点(ser)v.i ~だった 「動詞」
 el catorce エル・カトルセ n.m 14 日 「補語」
 de marzo. テ・マルソ adj. 3 月の 「形容詞句」

「15 日だろ！」と、三月うさぎが訂正した。

-¡El quince! -corrigió la Liebre. 《「応答」》, 「動詞」「主語」
 -¡El quince! エル・キンセ n.m 15 日だ！ 「応答」
 -corrigió コリヒオ 3 単点(corregir)v.t 訂正した 「動詞」
 la Liebre. ラ・リエブレ n.f 三月うさぎが 「主語」

「16 日だよ！」と、ヤマネが勝手に追加した。

-¡El dieciséis! -añadió por su cuenta el Lirón. 《「応答」》, 「動詞」「副詞句」「主語」
 -¡El dieciséis! エル・ディエシセイス n.m 16 日だよ！ 「応答」
 -añadió アニャディオ 3 単点(añadir)v.t 追加した 「動詞」
 por su cuenta ホル・スクエンタ adv. 勝手に、自分の判断で 「副詞句」
 el Lirón. エル・リロン n.m ヤマネが 「主語」

「全部、書き留めておけ！」と、王様は陪審に命じた。それで陪審は急いで 3 つの日付を注意深く石板に書き留め、それから 3 つの数字を足し合わせ、さらにその結果をペンスとシリングに換算した。

-¡Apuntad todo eso! -aconsejó el Rey a los jurados, y éstos se apresuraron a anotar concienzudamente las tres fechas en sus pizarras, para luego sumar las tres cifras y reducir el resultado a peniques y chelines.

《「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」「間接目的語」

y 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」「副詞句」,

「副詞句」「動詞句」「目的語」 y 「動詞句」「目的語」「補語」

-¡Apuntad アプンタ 命・2 複現(apuntar)v.t 書き留めろ、記録しろ！ 「動詞」
 todo eso! トト・エソ pron.pl 全部 「目的語」
 -aconsejó アコンセホ 3 単点(aconsejar)v.t 助言した、言った、命じた 「動詞」
 el Rey エル・レイ n.m 王様は 「主語」
 a los jurados, ア・ロス・フラトス adv. 陪審に 「間接目的語」
 y イ conj. そして
 éstos エストス pron (jurados の代用) 陪審は 「主語」
 se apresuraron a anotar セ・アプレスラロン・ア・アノタル 3 複点・急いである(apresurarse a+不定詞)
 v.pr 急いで書き留めた 「動詞句」

11 Quién robó las tartas?

concienzudamente	コンシエンツァ ^メ メンテ	adv. 注意深く	「副詞」
las tres fechas	ラス・トレス・フェチャス	pl(fecha).n.f 3 つの日付を	「目的語」
en sus pizarras,	エン・スス・ピ ^ャ サラス	adv. 石板に	「副詞句」
para luego	パ ^ラ ・ルエコ ^メ	adv. そして	「副詞句」
sumar	スマール	3 複点・急いである(apresurarse a+不定詞)v.t 足し合わせた	「動詞句」
las tres cifras	ラス・トレス・シ fras	pl(cifra).n.f 3 つの数字を	「目的語」
y	イ	conj. そして	
reducir	レ ^ト ゥシー ^ル	3 複点・急いである(apresurarse a+不定詞)v.t (単位を)換算した	「動詞句」
el resultado	エル・レスルト ^ア	n.m 計算結果を	「目的語」
a peniques y chelines.	ア・ペ ^ニ クス・イチェリネス	adv. ペンスとシリングに	「補語」

「帽子を！」と、王様は帽子屋を指さして、脱ぎなさいと命じた。

-¡Vuestro sombrero!	-ordenó el Rey	indicando al Sombrero	que se descubriese.	《「目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」「目的語」
-¡Vuestro sombrero!	ブ ^エ ストロ・ソ ^ン ブレロ	n.m お前の帽子を		「目的語」
-ordenó	オルテ ^ノ	3 単点(ordenaar)v.t 命じた		「動詞」
el Rey	エル・レイ	n.m 王様が		「主語」
indicando	イン ^テ ィカント ^メ	現在分詞・同時(indicar)adv. 指さして		「副詞句」
al Sombrero	アル・ソ ^ン ブレロ	adv. 帽子屋を		「目的語」
que	ケ	conj. ～ということを		「目的語」
se descubriese.	セ・テ ^ス クブリエ ^セ	接・3 単過・命令・時制の一致(descubrirse)		
v.pr	(帽子を) とりなさい!、脱げ!			「動詞句」

「自分のものじゃないんです！」と、帽子屋が答えた。

-No es <u>mío</u> .	-respondió <u>el Sombrero</u> .	《「動詞句」「補語」》, 「動詞」「主語」
-No es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ～でない		「動詞句」
mío ミーオ pron 自分の物		「補語」
-respondió レス ^ポ ンテ ^ィ オ 3 単点(responder)v.t 答えた		「動詞」
el Sombrero. エル・ソ ^ン ブレロ n.m 帽子屋は		「主語」

「盗んだんだな！」と、王様は意味ありげに陪審の方へ振り返って叫んだ。すると陪審のメンバーはすぐにその事実をメモした。

-¡Robado!	-exclamó el Rey	volviéndose significativamente hacia el jurado,	cuyos miembros inmediatamente anotaron un memorándum del hecho.	《「応答」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 「主語」「副詞」「動詞」「目的語」
-¡Robado!	ロバ ^ト	過去分詞(robar)v.t 盗んだんだな!		「応答」

11 Quién robó las tartas?

-exclamó	エクスクラモ 3 単点(exclamar)v.i	叫んだ	「動詞」
el Rey	エル・レイ n.m	王様は	「主語」
volviéndose	ボルビェントセ 現在分詞・同時(volverse)adv.	振り返って	「副詞句」
significativamente	シグニフィカティバメンテ adv.	意味ありげに	「副詞」
hacia el jurado,	アシア・エル・フラト adv.	陪審のほうへ	「副詞句」
cuyos miembros	クヨス・ミエンブロス pl(miembro).n.m	陪審のメンバーは	「主語」
inmediatamente	インメディアタメンテ adv.	すぐに	「副詞」
anotaron	アナタロン 3 複点(anotar)v.t	書き留めた	「動詞」
un memorándum	ウン・メモランドウム n.m	メモを	「目的語」
del hecho.	デル・エチョ adj.	事実の	「形容詞句」

「売り物の帽子を持っているんです」と、帽子屋は付け加えて説明した。「けど、自分の帽子は一つもありません。私は帽子屋ですから」

-Tengo sombreros para vender. -añadió el Sombrero explicándose-, pero ninguno es de mi propiedad: soy sombrerero de profesión.

《「動詞」「目的語」「副詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞句」,

《pero 「主語」「動詞」「補語」: 「動詞」「補語」》

-Tengo	テンゴ 1 単現(tener)v.t	持っている	「動詞」
sombreros	ソンブレロス pl(sombrero).n.m	帽子	「目的語」
para vender	パラ・ベンデール 不定詞・目的 adv.	売るために	「副詞句」
-añadió	アナディオ 3 単点(añadir)v.t	付け加えた	「動詞」
el Sombrero	エル・ソンブレロ n.m	帽子屋は	「主語」
explicándose-,	エクスプリカントセ 現在分詞・同時 adv.	そして説明した	「副詞句」
pero	ペロ conj.	しかし	
ninguno	ニングノ pron	何も〜ない	「主語」
es	エス 3 単現(ser)v.i	〜である	「動詞」
de mi propiedad:	デ・ミ・プロピエタデ adj.	自分の所有物で	「補語」
soy	ソイ 1 単現(ser)v.i	〜である	「動詞」
sombrerero	ソンブレロ n.m	帽子屋	「補語」
de profesión.	デ・プロフেশオン adj.	職業の	「形容詞句」

11 Quién robó las tartas?

ここで女王は眼鏡をかけて帽子屋を厳しく調べ始めた。帽子屋はひどく青ざめて、不安のため震え出した。

Al llegar a este punto, la Reina se caló las gafas y empezó a examinar severamente al Sombrerero, que palideció intensamente y comenzó a agitarse con gran desazón.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」 y 「動詞句」「副詞」「目的語」,
「主語」「動詞」「副詞」 y 「動詞句」「副詞句」

Al llegar a este punto, アル・ジェガル・ア・エステ・ポイント

adv. (時点) この時、この時点に至って、ここで 「副詞句」

la Reina ラ・レイナ n.f 女王は 「主語」

se caló セ・カ 3 単点(calarse)v.pr (眼鏡を) かけた 「動詞句」

las gafas ラス・ガファス pl(gafa).n.f 眼鏡を 「目的語」

y イ conj. そして

empezó a examinar エンペゾ・ア・エクサミナル 3 単点・開始(empezar a+不定詞 examinar)

v.t 調べ始めた 「動詞句」

severamente セベラメンテ adv. 厳しく 「副詞」

al Sombrerero, アル・ソブレロ n.m 帽子屋を 「目的語」

que ケ pron 帽子屋は 「主語」

palideció パリデシオ 3 単点(palidecer)v.i 青ざめた 「動詞」

intensamente インテンサメンテ adv. 非常に 「副詞」

y イ conj. そして

comenzó a agitarse コメンゾ・ア・アヒタルセ 3 単点・開始(comenzar a+不定詞 agitarse)

v.pr 震え出した、動揺し始めた 「動詞句」

con gran desazón. コン・グラン・デサゾン adv. 大きい不安感で 「副詞句」

「証言せよ！」と、王様が彼に促した。「それに、すぐに処刑執行を命じられなくては、びくびくするな！」

-¡Prestad testimonio!-le recomendó el Rey-; ¡y no os pongáis nervioso si no queréis que os mande ejecutar al instante!

《「動詞」「目的語」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」, 《y 「動詞句」「補語」》

-¡Prestad プレスタ 命・2 複現(prestar)v.t ～を課す!、貸す! 「動詞」

testimonio! テステイモニオ n.m 証言 「目的語」

-le レ pron 帽子屋に 「間接目的語」

recomendó レコメント 3 単点(recomendar)v.t 促した、勧めた 「動詞」

el Rey; エル・レイ n.m 王様が 「主語」

¡y イ conj. そして

no os pongáis ノ・オス・ポンガイ 命・2 複現・否定(ponerse)v.pr (～の状態に) なるな「動詞句」

11 Quién robó las tartas?

nervioso	ネルビオス	adj. 不安な、神経質な	「補語」
si	シ	conj. (仮定) もし～ならば	「副詞節」
no queréis	ノ・ケレイス	2 複現・否定(querer)v.t 望まない	「動詞句」
que	ク	conj. ～ということ	「目的語」
os	オス	pron お前を	「目的語」
mande ejecutar	マンデ・エヘクタール	接・1 単現・命令(mandar+不定詞 ejecutar)	
	v.t	死刑執行を命じる	「動詞句」
al instante!	アル・インスタンテ	adv. すぐに	「副詞句」

これは証人を少しも元気づけているように見えなかった；彼は疑いの目で女王のほうを見ながら左右の足を交互に忙しく休ませていたが、あまりにも混乱してバターパンではなくカップに噛みついてしまった。

Esto no pareció animar al testigo en absoluto; descansaba, sin reposo, tanto sobre un pie como sobre el otro, mirando a la Reina con mucho recelo, y tan confundido estaba que le dio un mordisco a la taza en vez de al pan y mantequilla.

		「主語」「動詞句」「補語」；「動詞」「副詞句」「間接目的語」「副詞句」,	
	y	「補語」「動詞」que「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」「副詞句」	
Esto	エスト	pron これは	「主語」
no pareció	ノ・パレイソ	3 単点・否定(parecer)v.i(+主格補語／不定詞)	
	v.i	のように見えなかった	「動詞句」
animar	アニマル	不定詞 v.t 元気づけている	「補語」
al testigo	アル・テストイゴ	n.m 証人を	「目的語」
en absoluto;	エン・アブソルット		
	adv.	(否定文で) 少しも～ない、まったく～ない	「副詞句」
descansaba,	デスカンサバ	3 単線(descansar)v.i 休ませていた	「動詞」
sin reposo,	シン・レポリ	adv. ひっきりなしに、忙しそうに	「副詞句」
tanto	タント	adv.(como) ～と同じくらい	「副詞」
sobre un pie	ソブレ・ウン・ピエ	adv. (対象) 一方の足について	「間接目的語」
como sobre el otro,	コモ・ソブレ・エル・オトロ	adv. 反対の足についても	「間接目的語」
mirando	ミラント	現在分詞・同時(mirar)adv. 見ながら	「副詞句」
a la Reina	ア・ラ・レイナ	adv. 女王のほうを	「間接目的語」
con mucho recelo,	コン・ムチョ・レセロ	adv. 疑いながら	「副詞句」
y	イ	conj. そして	
tan confundido	タン・コンフンディト	過去分詞(confundir).adj 余りにも混乱した	「補語」
estaba	エスタバ	3 単線(estar)v.i ～だった	「動詞」
que	ケ	conj. (tan...que) それで～する	

11 Quién robó las tartas?

le	レ pron	それに	「間接目的語」
dio	ディオ 3 単点(dar)v.t	(動作を) 与えた	「動詞」
un mordisco	ウン・モルディスコ n.m	一噛みを	「直接目的語」
a la taza	ア・ラ・タサ adv.	カップに	「間接目的語」
en vez de	エン・ベス・デ prep	～の代わりに	「副詞句」
al pan y mantequilla.	アル・パン・イ・マンテギジャ adv.	バターパンに	「間接目的語」

丁度その時、アリスはとても奇妙な感覚を感じ始めました。最初は何か分かりませんでした
が、ついに自分に何が起きているか気付きました：彼女はまた大きくなり始めていたのです。

Justo en ese momento Alicia empezó a sentir una sensación muy extraña, que al principio le llamó mucho la atención, sin saber qué era, hasta que al fin se dio cuenta de lo que le estaba sucediendo: estaba empezando a crecer de nuevo.

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」,

Que 「副詞句」「間接目的語」「動詞」「副詞」「直接目的語」, 「副詞句」,

「副詞句」「動詞句」「目的語」: 「動詞句」「副詞句」

Justo	フスト adv.	(時間が) ちょうど	「副詞」
en ese momento	エン・エセ・モメント adv.	(時間) その時に	「副詞句」
Alicia	アリシア n.f	アリスは	「主語」
empezó a sentir	エンペ・ソ・ア・センチール 3 単点・開始(empezar a+不定詞)v.t	感じ始めた	「動詞句」
una sensación	ウナ・センサシオン n.f	感覚、気分	「目的語」
muy extraña,	ムイ・エクストラニャ adj(extrañ).f	とても奇妙な、おかしな	「形容詞句」
que	ケ conj.	(主語) ～する	「形容詞節」

事実の提起

al principio	アル・プリンシピオ adv.	最初は	「副詞句」
le	レ pron.f	彼女の	「間接目的語」
llamó	ジャモ 3 単点(llamar)v.t	(+la atencion 注意を) 引いた	「動詞」
mucho	ムチョ adv.	とても	「副詞」
la atención,	ラ・アテンシオン n.f	注意を	「直接目的語」
sin saber qué era,	シン・サベル・ケ・エラ adv.	何か分からないが	「副詞句」
hasta que al fin	アスタ・ケ・アル・フィン adv.	ついに、最終的に	「副詞句」
se dio cuenta de	セ・ディオ・クエンタ・デ 3 単点・気付く(darse cuenta de)		
v.pr		気付いた	「動詞句」
lo que	ロ・ケ pron	(主語) ～ということを	「目的語」
le	レ pron.f	彼女に	「間接目的語」
estaba sucediendo:	エスタバ・ステディエント 3 単線・進行形・時制の一致(suceder)		
v.i		起きている	「動詞句」

11 Quién robó las tartas?

estaba empezando a crecer エスタハ・エンハ・サント・ア・クレセル 3 単線・進行形・開始

(empezar a+不定詞)v.i 大きくなり始めていた 「動詞句」

de nuevo. デ・ヌエボ adv. また 「副詞句」

最初は、立ち上がって部屋から出ていくのが良いと考えましたが；よく考えて、彼女の体が部屋に収まるうちはここに留まることにしました。

Al principio pensó que lo mejor sería levantarse y abandonar la Sala; pero, pensándolo mejor, decidió quedarse ahí mientras su tamaño se lo permitiera.

「副詞句」「動詞」「目的語」;pero, 「副詞句」, 「動詞句」「副詞句」

Al principio ウ・プリンシピオ adv. 最初は 「副詞句」

pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.t 考えた 「動詞」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

lo mejor ロ・メホル pron 一番良いことは 「主語」

sería セリア 3 単過未・推量(ser)v.i ～だろう 「動詞」

levantarse レバンタレ 不定詞 n. 立ち上がること 「補語」

y イ conj. そして

abandonar アバントナル 不定詞 n. (場所から) 出ること、離れる 「補語」

la Sala; ラ・サラ n.f 部屋から、法廷 「目的語」

pero, ペロ conj. しかし

pensándolo mejor, ペンサント・ロ・メホル adv. 良く考えると 「副詞句」

decidió quedarse デシディオ・ケダレ 3 単点・決心(decidir+不定詞 quedarse)

v.i 留まることにした 「動詞句」

ahí アイ adv. ここに 「副詞」

mientras ミエンTRAS conj. ～する間は 「副詞節」

su tamaño ス・タマニョ n.m 彼女の大きさが 「主語」

se lo permitiera. セ・ロ・ペルミチエラ 接・3 単過(permitirse)v.pr 容認される 「動詞句」

「ちょっと！そんなに体を押し付けないでよ！」と、隣に座っていたヤマネがアリスに言った。「息が出来ないよ！」

¡A ver si no nos apretamos tanto!-le dijo a Alicia el Lirón, que estaba sentado a su lado. ¡Apenas puedo respirar!

《「呼びかけ」「副詞節」》, 「間接目的語」「動詞」「間接目的語」「主語」, 《「感嘆」》

¡A ver ア・ベール adv. ちょっと、ねえ 「呼びかけ」

si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

no nos apretamos ノ・ノス・アプレタモス 1 複現・勧誘・否定

(apretarse)v.pr 体を寄せ合わないようしよう 「動詞句」

11 Quién robó las tartas?

tanto! タント adv. そんなに	「副詞」
-le レ pron 彼女に	「間接目的語」
dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
a Alicia ア・アリシア adv. アリスに	「間接目的語」
el Lirón, エル・リロン n.m ヤマネが	「主語」
que ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
estaba エスタバ 3 単線・時制の一致(estar)v.i ～である	「動詞」
sentado センタド adj. 座った	「補語」
a su lado- ア・ス・ラド adv. アリスの隣に	「副詞句」
¡Apenas puedo respirar! アペナス・プエト・レスピラール 1 単現・可能・否定	
(poder+不定詞 respirar+ Apenas)v.i 息が出来ないよ！	「感嘆」

「それは出来ないわ」と、アリスは控えめに答えました。「大きくなっているんだから」

-No puedo remediarlo -contestó Alicia con mucha modestia- ; es que estoy creciendo.	
《「動詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 《「動詞」「補語」》	
-No puedo remediarlo ノ・プエト・レメディアル・ロ 1 単現・可能・否定(poder+不定詞 remediarlo)	
v.t 改善できない	「動詞句」
-contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた	「動詞」
Alicia アリシア n.f アリスは	「主語」
con mucha modestia- ; コン・ムチャ・モデシア adv. とても控えめに	「副詞句」
es エス 3 単現(estar)v.i ～である	「動詞」
que ケ conj. ～ということ	「補語」
estoy creciendo. エストイ・クレシエント 1 単現・進行形(crecer)v.i 大きくなっている	「動詞句」

「なにもここで大きくなることは無いでしょう！」と、ヤマネは言い返した。

-¡No tienes derecho a crecer aquí! -replicó el Lirón.	
《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」	
-¡No tienes ノ・ティエネス 2 単現・否定(tener)v.t ～がない	「動詞句」
derecho デレチョ n.m n.m 権利、正当性	「目的語」
a crecer ア・クレセル 不定詞・目的 adv. 成長するための	「副詞句」
aquí! アキ adv. ここで	「副詞」
-replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.t 言い返した	「動詞」
el Lirón. エル・リロン n.m ヤマネは	「主語」

11 Quién robó las tartas?

「馬鹿な事を言わないで！」と、アリスは今度少し強く答えた；「あなただって、大きくなってるんですからね！」

-¡No diga tonterías! respondió Alicia, ya con más valor; ¡sabe muy bien que usted también está creciendo!

《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, 《「動詞」「副詞句」「目的語」》
 -¡No diga ノ・ディガ 命・3 複現・否定(decir)v.t 言うな！ 「動詞句」
 tonterías! トンテリアス pl(tontería).n.f 馬鹿な事を 「目的語」
 -respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」
 Alicia, アリシア n.f アリスは 「主語」
 ya ヤ adv. 今度は 「副詞」
 con más valor; コン・マス・バ・ロール adv. もっと強く 「副詞句」
 ¡sabe サヘ 命・2 単現(saber)v.t 知rinaさい 「動詞」
 muy bien ムイ・ビエン adv. よく 「副詞句」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 usted ウステ pron あなたは 「主語」
 también タン・ビエン adv. ～も 「副詞」
 está creciendo! エスタ・クレシエント 3 単現・進行形(crecer)v.i 大きくなっている 「動詞句」

「うん！だけど僕は、とんでもない速さじゃなく、丁度いい速度で大きくなっているんだ、ヤマネはこう言うと、毅然と立ち上がり、怒って法廷の反対側へ立ち去った。

-¡Sí! ¡Pero yo estoy creciendo a un ritmo razonable y no de esa manera tan descarada! -y con esto se levantó muy digno y se fue enojado al otro lado de la Sala.

《「応答」 Pero 「主語」「動詞句」「副詞句」 y 「副詞句」》, y 「副詞句」「動詞句」「副詞」 y 「動詞句」「副詞句」
 -¡Sí! シ adv. そう（肯定） 「応答」
 ¡Pero ヘロ conj. しかし
 yo ジョ pron 私は 「主語」
 estoy creciendo エストイ・クレシエント 1 単現・進行形(crecer)v.i 大きくなっている 「動詞句」
 a un ritmo razonable ア・ウン・リトモ・ラサブレ adv. (基準) 丁度いい速度で 「副詞句」
 y イ conj. そして
 no de esa manera tan descarada! ノ・ディ・エサ・マネラ・タン・デスカラダ
 adv. そんなとんでもない速さじゃない 「副詞句」
 -y イ conj. そして
 con esto コン・エスト adv. こう言うと 「副詞句」
 se levantó セ・レバント 3 単点(levantarse)v.pr 立ち上がった 「動詞句」
 muy digno ムイ・ディグノ adv. (様態) 毅然と 「副詞句」

11 Quién robó las tartas?

y イ conj. そして

se fue セ・フェ 3 単点(irse)v.pr 立ち去った 「動詞句」

enojado エノハト adv. 怒って 「副詞」

al otro lado de la Sala. アル・オトロ・ラト・デ・ラ・サラ adv. 法廷の反対側へ 「副詞句」

この間ずっと、女王は帽子屋をじっと見ていた。そしてヤマネが法廷を横切り終わるとすぐに、廷吏の一人に命じた。

Durante todo este tiempo, la Reina no le había quitado los ojos de encima al Sombreroero, y apenas acababa de cruzar el Lirón la Sala, ordenó a uno de los ujieres del Tribunal:

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」 「副詞句」,

y 「副詞節」, 「動詞」 「間接目的語」

Durante todo este tiempo, トゥランテ・トト・エステ・ティエンポ adv. この間ずっと 「副詞句」

la Reina ラ・レイナ n.f 女王は 「主語」

no ...había quitado ノ...アビア・キダト 3 単線・完了形・否定(quitar)

v.t 取り除かなかった 「動詞句」

no quitar de... los ojos de encima 「～をじっと見つめる、注意して見る」

le レ pron 彼女の 「間接目的語」

los ojos ロス・オホス pl(ojo).n.m 目を 「直接目的語」

de encima al Sombreroero, デ・エンシマ・アル・ソムブレロ adv. 帽子屋から 「副詞句」

y イ conj. そして

apenas アペナス conj. ～するとすぐ 「副詞節」

acababa de cruzar アカバ・デ・クルサル 3 単線・完了(acabar de+不定詞 cruzar)

v.t 横切り終わった 「動詞句」

el Lirón エル・リロン n.m ヤマネが 「主語」

la Sala, ラ・サラ n.f 法廷を 「目的語」

ordenó オルデノ 3 単点(ordenar)v.t 命じた 「動詞」

a uno de los ujieres del Tribunal: ア・ウノ・デ・ロス・ウヒエレス・デル・チルブナル

adv. 法廷の廷吏の一人に 「間接目的語」

11 Quién robó las tartas?

「前回のコンサートの歌手名簿を持ってまいれ」、これを聞いて、帽子屋は激しい震えに襲われて、靴が足から脱げてしまった。

«¿Que me traigan la lista de los cantantes del último concierto!», lo que visiblemente le produjo al Sombrero un ataque de temblores tal, que se le desprendieron los zapatos de los pies.

《「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》,

「主語」「動詞」「副詞」「間接目的語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」,

「動詞句」「主語」「副詞句」

«¿Que ケ conj. (命令の強調: +接続法)

me メ pron 私に 「間接目的語」

traigan トライガン 接・3 複現・命令(traer)v.t 持って来なさい 「動詞」

la lista ラ・リスタ n.f 名簿を 「直接目的語」

de los cantantes デ・ロス・カンタンテス adj. 歌手の 「形容詞句」

del último concierto!», テル・ウルチモ・コンシエルト

adj. 前回のコンサートの 「形容詞句」

lo que ロ・ケ pron それが 「主語」

visiblemente ビシブレメンテ adv. 明らかに 「副詞」

le レ pron 彼に 「間接目的語」

produjo プロトウホ 3 単点(producir)v.t もたらした 「動詞」

al Sombrero アル・ソンブレロ adv. 帽子屋に 「間接目的語」

un ataque ウン・アタケ n.m 攻撃を 「直接目的語」

de temblores デ・テンブロレス adj. 震えの 「形容詞句」

tal, タル adj. ひどい 「形容詞」

que ケ conj. (結果) それで～する

se le desprendieron セ・レ・デスプレンディエロン 3 複点(desprenderse)v.pr 脱げた 「動詞句」

los zapatos ロス・ザパトス pl(zapato).n.m 靴が 「主語」

de los pies. デ・ロス・ピエス adv. 足から 「副詞句」

11 Quién robó las tartas?

「証言せよ！」と、王様が言った。「さもなければ、怯えていようがいまいが、お前の処刑を命じるぞ！」

-¡Prestad testimonio! -insistió el Rey-, si no queréis que os mande ejecutar, con nervios o sin nervios!

《「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞節」》

-¡Prestad プレスタ 命・2 複現・依頼(prestar)v.t 述べてくれ 「動詞」

testimonio! テスチモニオ n.m 証言を 「目的語」

-insistió インシスチオ 3 単点(insistir)v.i 強く言った 「動詞」

el Rey-, エル・レイ n.m 王様は 「主語」

¡si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

no queréis ノ・ケレイス 2 複現・否定(querer)v.t 望まない 「動詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

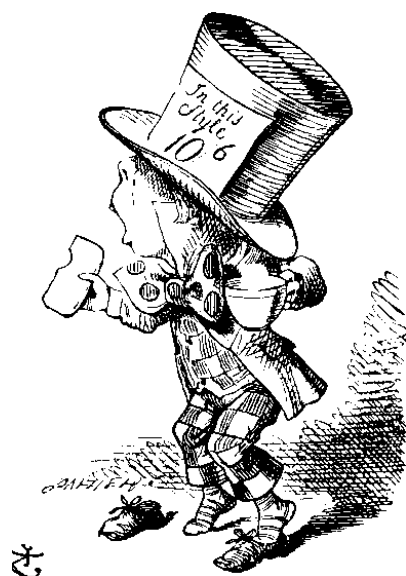
os オス pron お前の 「目的語」

mande ejecutar, マンデ・エヘクタール 接・1 単現・命じる(mandar+不定詞 ejecutar)

v.t 処刑を命じる 「動詞句」

con nervios o sin nervios! コン・ネルビオス・オ・シン・ネルビオス

adv. (条件) 怯えていようがいまいが 「副詞句」



む

11 Quién robó las tartas?

「陛下！私は貧しいものです」と、帽子屋は震える声で話し始めた。「それにお茶が飲めるようになったのはせいぜい1週間前からです。もちろん、パンやバターの厚さはどんどん薄くなりましたし... お茶のキラキラした輝きは...」

-¡Majestad! Soy un pobre hombre... -empezó a decir el Sombrero con voz temblorosa-, y no había empezado aún a tomar el té... ni siquiera hace una semana... sin contar con que las rebanadas de pan y mantequilla son cada vez más delgadas... y el... «brilla, luce» del té...

《「呼びかけ」「動詞」「補語」》, 「動詞句」「主語」「副詞句」,
《y 「動詞句」「目的語」「副詞句」》

-¡Majestad! マスタ n.f 陛下 「呼びかけ」
Soy ソイ 1 単現(ser)v.i ~である 「動詞」
un pobre hombre... ウン・ポブレ・オンブレ n.m 貧しい者 「補語」
-empezó a decir エンペ・リ・ア・デシール 3 単点・開始(empezar a+不定詞 decir)
v.t 話し始めた 「動詞句」
el Sombrero エル・ソンブレロ n.m 帽子屋は 「主語」
con voz temblorosa-, コン・ボス・テンブ・ロサ adv. (手段) 震える声で 「副詞句」
temblorosa テンブ・ロサ adj(tembloroso).f 震える、揺れる
y イ conj. そして
no había empezado aún a tomar ノ・アビ・ア・エンパ・サド・アウン 1 単線・完了形・開始・否定
(empezar a+不定詞 tomar)v.t まだ飲み始めている 「動詞句」
el té... エル・テ n.m お茶を 「目的語」
ni siquiera hace una semana... ニ・シエラ・アセ・ウナ・セmana adv. せいぜい1週間前に 「副詞句」
sin contar シン・ツコンタル 不定詞・条件 adv. 言うまでもなく 「副詞句」
con que コン・ケ adv. ~ということに関して 「間接目的語」
las rebanadas ラス・レバナダス pl(rebanada).n.f 薄切りは 「主語」
de pan y mantequilla テ・パン・イ・マンテキジャ
adj. パンとバターの 「形容詞句」
son ソン 3 複現・変化(ser)v.i ~になる 「動詞」
cada vez カダ・ベス adv. その度に 「副詞句」
más delgadas... マス・デルカダス adj. ますます薄い 「補語」
y イ conj. そして
el... «brilla, luce» エル... ブリジャ・ルセ pron キラキラ輝くものは 「主語」
del té... テル・テ adj. お茶の 「形容詞句」
brilla ブリジャ 3 単現(brillar)v.i キラキラ光る luce ルセ 3 単現(lucir)v.i 輝く

11 Quién robó las tartas?

「何のキラキラと輝きだと?」と、王様は尋ねた。

-¿El brilla y luce de qué? -interrumpió el Rey.

《「主語」》, 「動詞」 「主語」

-¿El brilla y luce ル・ブリジャ・イ・ル pron キラキラと輝き?

「主語」

de qué? テ・ケ adj. 何の

「形容詞句」

-interrumpió インテルピョ 3 単点(interrmpiar)v.t 話を遮った

「動詞」

el Rey. エル・レイ n.m 王様が

「主語」

「ああ! すべて、お茶から始まったんです」と、帽子屋は嘆いた。

-¡Ay! ¡Es que para mí todo empieza con té! -se quejó el Sombrerero.

《「感嘆」 | 「動詞」 「補語」》, 「動詞句」 「主語」

-¡Ay! アイ int. ああ!

「感嘆」

¡Es エス 3 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

que ケ conj. ~ということ

「補語」

para mí パラ・ミ adv. 私としては

「副詞句」

todo トド pron 全ては

「主語」

empieza エンピエサ 3 単現(empezar)v.i 始まっている

「動詞」

con té! コン・テ adv. お茶によって

「副詞句」

-se quejó セ・ケホ 3 単点(quejarse)v.pr 嘆いた

「動詞句」

el Sombrerero. エル・ソンプレロ n.m 帽子屋は

「主語」

「それならば、全てが T で始まるのは当たり前だろう!」と、王様は厳しく言い返した;

「もしかすると、わしを愚か者とでも思っているのか? 続けよ!」

-¡Pues claro que todo empieza con T! -replicó el Rey acerbamente; ¿me tomáis acaso por un mentecato? ¡Continuad!

《「補語」 「主語」》, 「動詞」 「主語」 「副詞」;

《「目的語」 「動詞」 「副詞」 「補語」 | 「命令」》

-¡Pues プエス conj. それならば

「副詞」

claro クラロ adj. 明らかな

「補語」

que ケ conj. ~ということ

「主語」

todo トド pron 全てが

「主語」

empieza エンピエサ 3 単現(empezar)v.i 始まる

「動詞」

con T! コン・テ adv. T で

「副詞句」

-replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.t 言い返した

「動詞」

el Rey エル・レイ n.m 王様は

「主語」

acerbamente; アセルバメンテ adv. 手厳しく

「副詞」

11 Quién robó las tartas?

¿me メ pron 私を	「目的語」
tomáis トマイス 2 複現(tomar)v.t(por と) みなしている	「動詞」
acaso アカ adv. もしかすると	「副詞」
por un mentecato? ホル・ウン・メンテカト adv. 愚か者と	「補語」
¡Continuad! コンチヌア 命・2 複現(continuar)v.t 続けよ!	「命令」

「私は貧しいものです」と、帽子屋は話を続けた。「そしてその後で、ほとんど全てがキラキラ輝き始めます... しかし三月ウサギが言っています...」

-Soy un pobre hombre... -siguió diciendo el Sombrero-, y casi todo empezó a «lucir y brillar» después de que... sólo que la Liebre de Marzo dijo...

《「動詞」「補語」》, 「動詞句」「主語」,

《y 「主語」「動詞句」「副詞句」 | sólo que 「主語」「動詞」》

-Soy ソイ 1 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
un pobre hombre... ウン・ポブレ・オンブレ n.m 貧しい者	「補語」
-siguió diciendo シギョ・ディシエント 3 単点・継続(seguir+現在分詞 decir)	
v.i 話を続けた	「動詞句」
el Sombrero-, エル・ソンブレロ n.m 帽子屋は	「主語」
y イ conj. そして	
casi todo カシ・トド pron ほとんど全てが	「主語」
empezó a «lucir y brillar» エンペソ・アルシール・イ・ブリリャール 3 単点・開始・時制の一致	
(empezar a+不定詞)v.i キラキラ輝き始める	「動詞句」
después de que... デスプエス・デ・ケ adv. ~の後で	「副詞句」
sólo que ソロ・ケ conj. しかし、ただ	
la Liebre de Marzo ラ・リエブレ・デ・マルツ n.f 三月ウサギは	「主語」
dijo... ディョ 3 単点・時制の一致(decir)v.t 言っている	「動詞」

「俺は何も言っていない!」と、三月ウサギは慌てて遮った。

-¡Yo no dije nada! -se apresuró a interrumpir la Liebre de Marzo.

《「主語」「動詞句」「目的語」》, 「動詞句」「主語」

-¡Yo ショ pron 俺は	「主語」
no dije ノ・ディエ 1 単点・否定・時制の一致(decir)v.t 言っていない	「動詞句」
nada! ナダ pron 何も~ない	「目的語」
-se apresuró a interrumpir セ・アプレスロ・ア・インテルンピール 3 単点・急ぎ	
(apresurarse a+不定詞 interrumpir)v.pr 急いで話を遮った	「動詞句」
la Liebre de Marzo. ラ・リエブレ・デ・マルツ n.f 三月ウサギが	「主語」

11 Quién robó las tartas?

「いや、言ったよ！」と、帽子屋は否定した。

-¡Sí que lo dijiste! -afirmó el Sombreroero.

《「応答」「主語」》, 「動詞」「主語」

-¡Sí シ adv. はい

「応答」

que ケ conj. ～ということは

「主語」

lo ロ pron それを

「目的語」

dijiste! ディヒステ 2 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

-afirmó アフィロ 3 単点(afirmar)v.t 肯定した

「動詞」

el Sombrero. エル・ソブレロ n.m 帽子屋は

「主語」

「否定する！」と、三月ウサギは答えた。

-¡Lo niego! -replicó la Liebre de Marzo.

《「目的語」「動詞」》, 「動詞」「主語」

-¡Lo ロ pron それを

「目的語」

niego! ニエゴ 1 単現(negar)v.t 否定する (言っていない)

「動詞」

-replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.t 答えた

「動詞」

la Liebre de Marzo. ラ・リエブ・デ・マルソ n.f 三月ウサギが

「主語」

「否定しているぞ」と、王様が言い渡した。「そこは削除せよ...」

-¡Lo niega! -sentenció el Rey:- Tachadlo...

《「目的語」「動詞」》, 「動詞」「主語」, 《「命令」》

-¡Lo ロ pron それを

「目的語」

niega! ニエガ 3 単現(negar)v.t 否定している

「動詞」

-sentenció センテンシオ 3 単点(sentenciar)v.t 言い渡した

「動詞」

el Rey: エル・レイ n.m 王様が

「主語」

Tachadlo... タチャロ 命・2 単現(tachar+lo)v.t そこは削除せよ

「命令」

11 Quién robó las tartas?

「さて、いずれにしても、ここで、ヤマネが言ったんです...」と、帽子屋はヤマネもこれを否定するかどうか確認するために心配そうに周りを見ながら続けました；しかし、ヤマネはぐっすり眠っていたので、なにも否定しませんでした。

-Bueno, en todo caso, aquí, el Lirón, dijo... -continuó el Sombrero mirando ansiosamente alrededor para ver si también éste lo iba a negar; pero el Lirón no negó nada, pues estaba profundamente dormido.

《「呼びかけ」「副詞句」,「主語」「動詞」》,「動詞」「主語」「副詞句」;
pero「主語」「動詞句」「目的語」,「副詞節」

-Bueno, ブエノ int. (話題転換) さて、よろしい、それでは 「呼びかけ」
en todo caso, エン・トド・カ adv. いずれにしても 「副詞句」
aquí, アキ adv. ここで 「副詞」
el Lirón, エル・リロン n.m ヤマネが 「主語」
dijo... デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
-continuó コンチヌオ 3 単点(continuar)v.i 続けた 「動詞」
el Sombrero エル・ソムブレロ n.m 帽子屋は 「主語」
mirando ミランド 現在分詞(mirar)・同時 adv. 見ながら 「副詞句」
ansiosamente アンシオサメンテ adv. 心配そうに 「副詞」
alrededor アルデトドル adv. 周りを 「副詞」
para ver パラ・ベール 不定詞・目的 adv. 確認するために 「副詞句」
si シ conj. ～かどうかを 「目的語」
también éste タンビエン・エステ pron(Lirón の代用) ヤマネも 「主語」
lo ロ pron それを 「目的語」
iba a negar; イバ・ア・ネガル 3 単線・近接未来・時制の一致(ir a+不定詞)
v.t 否定するだろう 「動詞句」
pero ペロ conj. しかし
el Lirón エル・リロン n.m ヤマネは 「主語」
no negó ノ・ネゴ 3 単点・否定(negar)v.t 否定しなかった 「動詞句」
nada, ナダ pron 何も～ない 「目的語」
pues プエス conj. ～なので 「副詞節」
estaba エスタバ 3 単線(estar)v.i ～だった 「動詞」
profundamente dormido. プロフンダメンテ・ドルミド
adj. ぐっすり眠った 「補語」

11 Quién robó las tartas?

「それから」と、帽子屋は続けた。「もう少しバターパンを用意しました」

-Después continuó el Sombrero-, me serví un poco más de pan con mantequilla...

《「副詞」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」「目的語」》

-Después デスプエス adv. それから、その後で 「副詞」

-continuó コンチヌオ 3 単点(continuar)v.i 続けた 「動詞」

el Sombrero-, エル・ソンプレロ n.m 帽子屋は 「主語」

me serví メ・セルビ 1 単点(servirse)v.pr 自分に給仕した 「動詞句」

un poco más de pan ウン・ポ・コス・デ・パン n.m もう少しパンを 「目的語」

con mantequilla... コン・マンテキジャ adv. バター付きの 「副詞句」

「でも、ヤマネはなんと言ったのですか？」と、陪審員の一人が尋ねた。

-Pero ¿qué fue lo que dijo el Lirón? -preguntó uno de los jurados.

《Pero 「補語」「動詞」「主語」》, 「動詞」「主語」

-Pero ペロ conj. しかし

¿qué ケ pron 何 「補語」

fue フェ 3 単点(ser)v.i ~だった 「動詞」

lo ロ pron それは 「主語」

que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

dijo デイロ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

el Lirón? エル・リロン n.m ヤマネは 「主語」

-preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

uno de los jurados. ウノ・デ・ロス・フラトス pron 陪審員の一人が 「主語」

「覚えていません」と、帽子屋が答えた。

-Pues, no me acuerdo -explicó el Sombrero.

《Pues 「動詞句」》, 「動詞」「主語」

-Pues, プエス conj. (理由) ~なので

no me acuerdo ノ・メ・アクエルト 1 単現・否定(acordarse)v.pr 覚えていない 「動詞句」

-explicó エクスプリコ 3 単点(explicar)v.t 説明した 「動詞」

el Sombrero. エル・ソンプレロ n.m 帽子屋は 「主語」

11 Quién robó las tartas?

「思い出せ！」と、王様は決心して言った。「さもないければ、今すぐお前を処刑する」

-¡Tendrás que recordarlo! -decidió el Rey-, ¡o te mando ejecutar al instante!

《「命令」, 「動詞」 「主語」, 《o 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」》

-¡Tendrás que recordarlo! テントラス・ケ・レコルダール・ロ 2 単過未・必要・命令

(tener que+不定詞 recordar+lo)v.t それを思い出せ！

「命令」

-decidió デシディオ 3 単点(decidir)v.t 決定した

「動詞」

el Rey-, エル・レイ n.m 王様は

「主語」

¡o オ conj. さもないければ

te テ pron お前を

「目的語」

mando ejecutar マント・エヘクタール 1 単現・命令(mandar+不定詞 ejecutar)

v.t 処刑するように命じる

「動詞句」

al instante! アル・インスタンテ adv. すぐに

「副詞句」

惨めな帽子屋は手に持っていた茶碗とバターパンを落としてしまい、膝をついて懇願した。

El desgraciado Sombreroero soltó la taza y el pan de las manos, e hincándose de rodillas, suplicó:

「主語」 「動詞」 「目的語」, e 「副詞句」, 「動詞」

El desgraciado Sombreroero エル・デスグラシアト・ソムブレロ n.m 惨めな帽子屋は

「主語」

soltó ソルト 3 単点(soltar)v.t 放した、落とした

「動詞」

la taza ラ・タサ n.f 茶碗を

「目的語」

y イ conj. そして

el pan エル・パン n.m バターパンを

「目的語」

de las manos, デ・ラス・manos adv. 手から

「副詞句」

e エ conj. そして

hincándose インカントセ 現在分詞・同時(hincarse)adv. 自分を支えながら

「副詞句」

de rodillas, デ・ロディージャス adv. (手段) 膝で

「副詞句」

suplicó: スプリーコ 3 単点(suplicar)v.t 懇願した

「動詞」

「私は、貧しいものです、陛下！」

-¡Soy un pobre hombre, Majestad!

《「動詞」 「補語」, 「呼びかけ」》

-Soy ソイ 1 単現(ser)v.i ~である

「動詞」

un pobre hombre, ウン・ポブレ・オンブレ n.m 貧しい者

「補語」

Majestad! マハスタ n.f 陛下

「呼びかけ」

11 Quién robó las tartas?

「話からすると、お前は出来の悪い弁舌家だな」と、王様が遮った。

-Lo que sois es un orador muy pobre -interrumpió el Rey.

《「主語」「動詞」「補語」》「動詞」「補語」

-Lo ^ロ pron それは 「主語」
 que ^ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 sois ^{ソイス} 2 複現(ser)v.i (状態) ～である 「動詞」
 es ^{エス} 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」
 un orador ^{ウン・オラドール} n.m 弁舌家 「補語」
 muy pobre ^{ムイ・ポブレ} adj. 出来の悪い 「形容詞句」
 -interrumpió ^{インテルンピオ} 3 単点(interumpir)v.t 話を遮った 「動詞」
 el Rey. ^{エル・レイ} n.m 王様は 「主語」

これを聞いて、1 匹のモルモットが熱狂的な拍手喝采でこの言葉を強調するのが良いと考え
 て大声で叫びましたが、これはすぐに法廷の廷吏たちに鎮圧されました。

Al oír esto, un conejillo de Indias consideró muy oportuno subrayar esta declaración con
 un aplauso entusiasmado, que fue reprimido en el acto por los ujieres de la Sala.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「補語」「目的語」, 「主語」「動詞句」「副詞句」

Al oír esto, ^{アル・オイール・エスト} adv. これを聞いて 「副詞句」
 un conejillo de Indias ^{ウン・コネジヨ・デ・インディアス} n.m 1 匹のモルモットが 「主語」
 conejillo ^{コネジヨ} n.m(conejo + -illo) 小さいウサギ
 conejillo de Indias 「モルモット、テンジクネズミ」
 consideró ^{コンシデロ} 3 単点(considerar)v.t 考えた 「動詞」
 muy oportuno ^{ムイ・ホルトゥノ} adj. 都合のよい、適切な 「補語」
 subrayar ^{スブラジャール} 不定詞 n. 強調することが 「目的語」
 esta declaración ^{エスタ・デクラシオン} n.f この発言を 「目的語」
 con un aplauso ^{コン・ウン・アプラウ} adv. 拍手喝采で 「副詞句」
 entusiasmado, ^{エントウシアスマド} 過去分詞(entusiasmar)
 adj. 熱狂的な 「形容詞」
 que ^ケ pron (aplausos の代用) これは 「主語」
 fue reprimido ^{フェ・レプリミド} 3 単点・受動(reprimir)v.t 鎮圧された、抑圧 「動詞句」
 en el acto ^{エン・エル・アクト} adv. 即座に、すぐに 「副詞句」
 por los ujieres ^{ホル・ロス・ウリエス} adv. (動作主) 廷吏たちに 「副詞句」
 de la Sala. ^{デ・ラ・サラ} adj. 法廷の 「形容詞句」

11 Quién robó las tartas?

『鎮圧』という言葉は少し難しいから、彼らがどのようにやったのかを正確に説明しよう：大きな帆布の袋があって、その口は紐で閉じられるんだ。彼らはモルモットを無造作に頭から袋の中に突っ込んで、その上に座り込んで抑え込んだんだ)

(Comoquiera que esta palabra pueda parecer algo fuerte, pasaré a explicar cómo procedieron exactamente: tenían una gran bolsa de lona, cuya boca se cerraba anudando un cordel; al conejillo de Indias lo metieron dentro, sin ceremonias, de cabeza, y luego lo «reprimieron», sentándose encima.)

「副詞節」, 「動詞句」 「目的語」: 「主語」 「動詞句」 「目的語」;

「目的語」 「動詞」 「副詞句」 y 「副詞」 「目的語」 「動詞」 「副詞句」

(Comoquiera que +接続法 コモキエラ・ケ conj. (譲歩) ~であるにしても 「副詞節」

esta palabra エスタ・パラブラ n.f (reprimido のこと) この言葉は 「主語」

pueda parecer プエダ・パレセル 接・3 単現・可能性(poder+不定詞 parecer)

v.i ~に見えるかもしれない 「動詞句」

algo fuerte, アルゴ・フエルテ adj. 少し強い 「補語」

pasaré a explicar パサレ・ア・エクスプリカル 1 単未・開始・意思(pasar a+不定詞 explicar)

v.t 説明を始める 「動詞句」

cómo コモ adv. どのように~するかということ 「目的語」

procedieron プロセデーエロン 3 複点(proceder)v.i 行動した 「動詞」

exactamente: エクサクタメンテ adv. 正確に、厳密に 「副詞」

tenían テニアン 3 複線(tener)v.t 持っていた、~があった 「動詞」

una gran bolsa ウナ・グラン・ボルサ n.f 大きな袋 「目的語」

de lona, デ・ロナ adj. (材料) 帆布の 「形容詞句」

bolsa de lona 「帆布バッグ、キャンバスバッグ」

cuya boca クヤ・ボカ n.f その口は 「主語」

se cerraba セ・セラバ 3 単線・再帰受動・時制の一致(cerrarse)v.pr 閉じらる 「動詞句」

anudando un cordel; アヌダント・ウン・コルデル 現在分詞・手段(anudar)

adv. 紐を結んで 「副詞句」

al conejillo de Indias lo アル・コネジヨ・デ・インディイス adv. モルモットを 「目的語」

metieron メチエロン 3 複点(meter)v.t 入れた 「動詞」

dentro, デントロ adv. 中に 「副詞」

sin ceremonias, シン・セレモニイス adv. 無造作に、もったいぶらずに 「副詞句」

de cabeza, デ・カベサ adv. 頭から 「副詞句」

y イ conj. そして

luego ルエゴ adv. それから 「副詞」

lo ロ pron (conejillo de Indias の代用) それを 「目的語」

«reprimieron», レプリミエロン 3 複点(reprimir)v.t 抑え込んだ 「動詞」

11 Quién robó las tartas?

sentándose encima.) センタントセ・エンシマ 現在分詞・方法(sentarse+ encima)

adv. その上に座って 「副詞句」

「どのようにするのかを見ることが出来て、すごく嬉しいわ」と、アリスは思った。「いつも新聞で、『裁判の終わりに、傍聴者が突然拍手を始めたが、すぐに廷吏によって鎮圧された』というのを読むけれど、今までどういう意味か全然分からなかったから」

«Cómo me alegro de ver cómo han hecho eso -pensó Alicia-, siempre estoy leyendo en los periódicos que al final de los juicios... “el público prorrumpió en aplausos que fueron inmediatamente reprimidos por los ujieres de la sala”, y nunca comprendí qué significaba todo eso hasta ahora.»

《「副詞句」「動詞句」「副詞句」》, 「動詞」「主語」,

《「副詞」「動詞句」「副詞句」「目的語」 y 「動詞句」「目的語」「副詞句」》

«Cómo コモ adv. (感嘆) なんと 「副詞句」

me alegro メ・アレグロ 1 単現(alegrarse)v.pr うれしい 「動詞句」

de ver デ・ベール 不定詞・理由 adv. ～を見て 「副詞句」

cómo コモ adv. どのように～することを 「目的語」

han hecho アン・ヘチョ 3 複現・完了形・時制の一致(hacer)v.t する 「動詞句」

eso エソ pron それを 「目的語」

-pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.t 考えた、思った 「動詞」

Alicia-, アリシア n.f アリスは 「主語」

siempre シエンプレ adv. いつも 「副詞」

estoy leyendo エストイ・レジェント 1 単現・進行形(leer)v.i 読んでいる 「動詞句」

en los periódicos エン・ロス・ペリオディコス adv. 新聞で 「副詞句」

que ケ conj. ～ということを 「目的語」

al final de los juicios アル・フィナル・デ・フイシオス adv. 裁判の終わりに 「副詞句」

“el público エル・プブリコ n.m 傍聴者は 「主語」

prorrumpió プ・ロルンピオ 3 単点(prorrumpir)

v.i (en+名詞) (感情的に) 突然～し始めた 「動詞」

en aplausos エン・アプラウソス adv. 拍手を 「間接目的語」

que ケ pron (主語) それは～する 「主語」

fueron inmediatamente reprimidos フエロン・インメディアタメンテ・レプリミトス 3 複点・受動

(reprimir+ inmediatamente)v.t すぐに鎮圧された 「動詞句」

受動態では、過去分詞は「主語」と性・数一致する

por los ujieres de la sala”, ホル・ロス・ウイエレス・デ・ラ・サラ

adv. (動作主) 法廷の廷吏によって 「副詞句」

y イ conj. そして

11 Quién robó las tartas?

nunca comprendí ヌンカ・コンプレンディ 1 単点・否定(comprender)

v.t 全然分からなかった 「動詞句」

qué ケ pron (目的語) 何を～するかということ 「目的語」

significaba シグニフィカバ 3 単線・時制の一致(significar)v.t 意味する 「動詞」

todo eso トド・エソ pron どれもが 「主語」

hasta ahora.» アスタ・アホラ adv. 今まで 「副詞句」

「もしそれが、この件についてお前が知っている全てなら、証言台から下がってよい」と、
王様は続けた。

-Si eso es todo lo que sabes del caso, puedes descender del estrado -continuó el Rey.

《「副詞節」, 「動詞句」「副詞句」》, 「動詞」「主語」

-Si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

eso エソ pron それ 「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

todo lo トド・ロ pron すべて 「補語」

que ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」

sabes サベス 2 単現(saber)v.t 知っている 「動詞」

del caso, デル・カソ その件について 「副詞句」

puedes descender プエデス・デセンテール 2 単現・可能(poder+不定詞 descender)

v.i 下がってよい 「動詞句」

del estrado デル・エストラト adv. 証言台から、法廷、演壇 「副詞句」

-continuó コンチヌオ 3 単点(continuar)v.i 続けた 「動詞」

el Rey. エル・レイ n.m 王様は 「主語」

「これより下に下がることはできません」と、帽子屋は反発した。「私はすでに床の上にいる
ますので」

-No puedo descender más bajo -se quejó el Sombrero-, pues ya estoy sobre el mismo
suelo.

《「動詞句」「副詞句」》, 「動詞句」「主語」, 《「副詞節」》

-No puedo descender ノ・プエト・デセンテール 1 単現・可能・否定(poder+不定詞 descender)

v.i 下がりません 「動詞句」

más bajo マス・バホ adv. もっと下に 「副詞句」

-se quejó セ・ケハ 3 単点(quejarse)v.pr 反論した、不平を言った 「動詞句」

el Sombrero-, エル・ソンブレロ n.m 帽子屋は 「主語」

pues プエス conj. なぜなら～だから 「副詞節」

ya ヤー adv. もう 「副詞」

11 Quién robó las tartas?

estoy エストイ 1 単現・存在(estar)v.i 〜にいる 「動詞」
sobre el mismo suelo. ソブレ・エル・ミスモ・スエロ adv. 床の上に 「副詞句」

「それでは、座るがよい」と、王様は答えた。

-Entonces podéis sentaros -contestó el Rey.

《「副詞」「動詞句」》, 「動詞」「主語」

-Entonces エントネス adv. (接続詞的) それでは 「副詞」
podéis sentaros ポデイス・セナル・オス 2 複現・可能・許可(poder+不定詞 sentarse)
v.pr 座るがよい 「動詞句」
-contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた 「動詞」
el Rey. エル・レイ n.m 王様は 「主語」

これを聞いて、別のモルモットが拍手喝采を始めて、私たちが先程見たのと同様に鎮圧されました。

Al oír esto, otro conejillo de Indias prorrumpió en aplausos y vítores, y fue reprimido del mismo modo que ya hemos visto.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「間接目的語」, y 「動詞句」「副詞句」

Al oír esto, アル・オイール・エスト adv. これを聞いて 「副詞句」
otro conejillo de Indias オトロ・コネジヨ・デ・インディアス n.m 別のモルモットが 「主語」
prorrumpió プロルンピオ 3 単点(prorrumpir)v.i (en を) 突然〜し始めた 「動詞」
en aplausos エン・アプラウソス adv. 拍手を 「間接目的語」
y イ conj. そして
vítores, ビトレス n.m 歓声を 「間接目的語」
y イ conj. そして
fue reprimido フェ・レプリミト 3 単点・受動(reprimir)v.t 鎮圧された 「動詞句」
del mismo modo デル・ミスモ・モト adv. 同じように 「副詞句」
que ケ conj. (比較) 〜と 「副詞節」
ya ヤ adv. もう 「副詞」
hemos visto. エモス・ビスト 1 複現・完了形(ver)v.t 見た 「動詞句」

11 Quién robó las tartas?

「わあ！これで、モルモットたちは終わったわ」と、アリスは思った。「良かった。これでうまくいきそうだわ」

«¡Vaya! Con ése se acaban los conejillos -pensó Alicia-, ¡Menos mal! Ahora nos las arreglaremos mejor.»

《「感嘆」 | 「副詞句」「動詞句」「主語」》, 「動詞」「主語」,

《「感嘆」 | 「副詞」「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞」》

«¡Vaya! バヤ int. (驚き) わあ！、うれしい！ 「感嘆」
 Con ése コン・エセ adv. これで 「副詞句」
 se acaban セ・アカバン 3 複線(acabarse)v.pr 終わった 「動詞句」
 los conejillos ロス・コネヒョス pl(conejillo).n.m モルモットたちは 「主語」
 -pensó ペンソ 3 単点(pensar)v.i 思った 「動詞」
 Alicia-, アリシア n.f アリスは 「主語」
 ¡Menos mal! メス・マル int. 良かった！、ありがたい！ 「感嘆」
 Ahora アハラ adv. 今は 「副詞」
 nos ...arreglaremos ノス...アレグラレモス 1 複末(arreglarse)v.pr うまくやれるだろう 「動詞句」
 las ラス pron それを 「目的語」
 mejor.» メール adv. うまく 「副詞」

「お茶を済ませたいんですが」と、帽子屋は、歌い手の名簿をまだ調べている女王を心配そうに見つめながら、頼みました。

-Yo preferiría terminar mi té -insistió el Sombreroero, mirando ansiosamente a la Reina, que seguía examinando la lista de los cantantes.

《「主語」「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」, 「副詞句」

-Yo ジョ pron 私は 「主語」
 preferiría terminar プレフェリリア・テルミナール 1 単過未・好む(preferir+不定詞 terminar)
 v.t ~を終わらせたいのですが 「動詞句」
 mi té ミ・テ n.m お茶を 「目的語」
 -insistió インシスト 3 単点(insistir)v.t 頼んだ 「動詞」
 el Sombreroero, エル・ソンプレロ n.m 帽子屋が 「主語」
 mirando ミラント 現在分詞(mirar)・同時 adv. 見ながら 「副詞句」
 ansiosamente アンシオサメンテ adv. 心配そうに 「副詞」
 a la Reina, ア・ラ・レイナ n.f 女王を 「目的語」
 que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 seguía examinando セギア・エクサミナント 3 単線・継続・時制の一致(seguir+現在分詞 examinar)
 v.t 調べ続けている 「動詞句」
 la lista ラ・リスタ n.f 名簿を 「目的語」

11 Quién robó las tartas?

de los cantantes. デ・ロス・カンタンテス

adj. 歌い手の 「形容詞句」

「さがってよい！」と、王様が言うと、帽子屋は靴を履くのも忘れるほど慌てて法廷から立ち去った。「... そして、あやつの頭を切りなさい！」と、女王様が廷吏の一人に話しかけて付け加えた；しかし、廷吏が法廷の扉に着く前に、帽子屋はすでに姿を消していた。

-Podéis retiraros. -dijo el Rey, y el Sombrero se apresuró a abandonar precipitadamente la Sala, sin esperar siquiera a ponerse los zapatos de nuevo. -... y al salir ¡que le corten la cabeza! -añadió la Reina dirigiéndose a uno de los ujieres; pero antes de que éstos pudieran llegar a la puerta de la Sala, ya el Sombrero se había perdido de vista.

《「応答」, 「動詞」「主語」, y 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」, 「副詞句」,

《y 「副詞句」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

Pero 「副詞節」, 「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」

-Podéis retiraros ホ・デ・イス・レチラル・オス 2 複現・許可(poder+不定詞 retirarse)

v.pr さがってよい！ 「応答」

-dijo デ・イホ 3 単点(dedcir)v.t 言った 「動詞」

el Rey, エル・レイ n.m 王様が 「主語」

y イ conj. そして

el Sombrero エル・ソンブレロ n.m 帽子屋は 「主語」

se apresuró a abandonar セ・アプ・ロソロ・ア・アハント・ナル 3 単点・急ぎ

(apresurarse a+不定詞 abandonar)v.pr 急いで立ち去った 「動詞句」

precipitadamente プレシピタダメンテ adv. あわただしく 「副詞」

la Sala, ラ・サラ n.f 法廷を 「目的語」

sin esperar siquiera a ponerse シン・エス・ペラル・シキエラ・ア・ホ・ネルセ

adv. (靴を) 履く間もなく 「副詞句」

los zapatos ロス・サハトス pl(zapato).n.m 靴を 「目的語」

de nuevo. デ・ヌエボ adv. また 「副詞句」

-... y イ conj. そして

al salir アル・サリール adv. 出ていく時に 「副詞句」

¡que+接続法 ケ conj. (命令の強調)

le レ pron 彼の 「間接目的語」

corten コルテン 接・3 複現・命令(cortar)v.t 切れ 「動詞」

la cabeza! ラ・カベサ n.f 頭を 「直接目的語」

-añadió アニャディオ 3 単点(añadir)v.t 付け加えた 「動詞」

la Reina ラ・レイナ n.f 女王様が 「主語」

dirigiéndose デ・イリヒエントセ 現在分詞・同時(dirigirse)adv.(a+人 に) 話しかけて 「副詞句」

11 Quién robó las tartas?

a uno de los ujieres; ア・ウノ・デ・ロス・ウヘレス	adv. 廷吏の一人に	「間接目的語」
pero ペロ	conj. しかし	
antes de que アンテス・デ・ケ	conj. ～する前に	「副詞節」
éstos エストス	pron この廷吏が	「主語」
pudieran llegar プディエラン・ジエガール	接・3 複過・可能(poder+不定詞 llegar)	
v.i 着くことができる		「動詞句」
a la puerta de la Sala, ア・ラ・プエルタ・デ・ラ・サラ	adv. 法廷の扉に	「間接目的語」
ya ヤー	adv. もう、すでに	「副詞」
el Sombrero エル・ソブレロ	n.m 帽子屋は	「主語」
se había perdido セ・アビア・ヘルディト	デ・ビスタ 3 単線・完了形(perderse)	
v.pr 姿が見えなくなっていた		「動詞句」
de vista. デ・ビスタ	adv. 視界から	「副詞句」



「次の証人を呼べ！」と、王様が命じた。

¡Que comparezca el testigo siguiente! ordenó el Rey.

《「動詞」「主語」》, 「動詞」「主語」

¡Que ケ	conj. (命令の強調)	
comparezca コンパレスカ	接・3 単現・命令(comparecer)v.i 出頭せよ	「動詞」
el testigo エル・テストゴ	n.m 証人は	「主語」
siguiente! シギエンテ	adj. 次の	「形容詞」
ordenó オルテノ	3 単点(ordenar)v.t 命じた	「動詞」
el Rey. エル・レイ	n.m 王様が	「主語」

次の証人は公爵夫人のコックだった。

El siguiente testigo era la cocinera de la Duquesa.

「主語」「動詞」「補語」

El siguiente testigo エル・シギエンテ・テストゴ	n.m 次の証人は	「主語」
era エラ	3 単線(ser)v.i ～だった	「動詞」
la cocinera ラ・コシネラ	n.f コック	「補語」
de la Duquesa. デ・ラ・トウケサ	adj. 公爵夫人の	「形容詞句」

11 Quién robó las tartas?

コックは片手に胡椒を持っていた。それでアリスは、ドア付近にいた全員がくしゃみを始めた様子から、法廷に入ってくる前であっても、それが誰かを推測できた。

Llevaba la pimienta en una mano, y Alicia pudo adivinar quién era, incluso antes de que hubiera entrado en la Sala, por la forma en que empezaron a estornudar todos los que estaban a la puerta.

「動詞」「目的語」「副詞句」, y 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」
 Llevaba ジェバハ 3 単線(llevar)v.t 持っていた 「動詞」
 la pimienta ラ・ピメンタ n.f 胡椒を 「目的語」
 en una mano, エン・ウナ・マノ adv. 片手に 「副詞句」
 y イ conj. そして
 Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
 pudo adivinar プト・アディビナル 3 単点・可能(poder+不定詞 adivinar)
 v.t 推測できた 「動詞句」
 quién era, キエン・エラ pron それが誰かということ 「目的語」
 incluso antes de que インクル・アンテス・デ・ケ conj. ～する前であっても 「副詞節」
 hubiera entrado ウビエラ・エントラト 接・3 単過・完了形・時制の一致(entrar)
 v.i 入って来る 「動詞句」
 en la Sala, エン・ラ・サラ adv. 法廷に 「副詞句」
 por la forma ホル・ラ・フォルマ adv. (手段) 様子で 「副詞句」
 en que エン・ケ conj. ～する時の 「副詞節」
 empezaron a estornudar エンペ・サロン・ア・エストルヌダール 3 複点・開始(empezar a+不定詞)
 v.i くしゃみをし始めた 「動詞句」
 todos los トロス・ロス pron.pl 皆が 「主語」
 que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 estaban エスタバン 3 複線・存在(estar)
 v.i ～にいた 「動詞」
 a la puerta. ア・ラ・プエルタ
 adv. ドアのあたりに 「副詞句」

「証言せよ！」と、王様が彼女に命じた。

-¡Prestad testimonio!-le ordenó el Rey. 《「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」
 -¡Prestad プレスタ 命・2 単現(prestar)v.t 貸せ！ 「動詞」
 testimonio!- 証言を 「目的語」
 le レ pron 彼女に 「間接目的語」
 ordenó オルデノ 3 単点(ordenar)v.t 命じた 「動詞」

11 Quién robó las tartas?

el Rey. エル・レイ n.m 王様は 「主語」

「話さない！」と、コックが答えた。

-¡Ni hablar! -respondió la cocinera. 《「動詞句」》, 「動詞」 「主語」

-¡Ni = adv. (否定の強調) ～さえ (... ない) 「副詞」

hablar! アブラール 不定詞 v.i 話す 「動詞句」

-respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」

la cocinera. ラ・コシネラ n.f コックが 「主語」

王様はこの返答に対してなんと答えるか分からず、心配そうに白うさぎを見ました。白うさぎはとても小さい声で王様に言いました：

El Rey miró ansiosamente al Conejo Blanco sin saber qué hacer ante esta respuesta, y éste le dijo en voz muy baja:

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」, y 「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」

El Rey エル・レイ n.m 王様は 「主語」

miró ミロ 3 単点(mirar)v.t 見た、見つめた 「動詞」

ansiosamente アンシオサメンテ adv. 心配そうに 「副詞」

al Conejo Blanco アル・コネホ・ブランコ n.m 白うさぎを 「目的語」

sin saber シン・サベル 不定詞 adv. 分からずに 「副詞句」

qué hacer ケ・アセル conj. 何をすべきかを 「目的語」

ante esta respuesta, アンテ・エスタ・レスポ エスタ adv. この返答を前にして 「副詞句」

y イ

éste エステ pron(Conejo Blanco の代用) 白うさぎは 「主語」

le レ pron 王様に 「間接目的語」

dijo ディオ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

en voz muy baja: エン・ボス・ムー・バハ adv. (手段) とても小さい声で 「副詞句」

「陛下！この証人を詳細に尋問しなくてははいけません」

-Vuestra Majestad ha de interrogar detenidamente a este testigo.

《「呼びかけ」, 「動詞句」「副詞」「目的語」》

-Vuestra Majestad フエストラ・マハスタ n.f 陛下 「呼びかけ」

ha de interrogar ア・デ・インテロガール 3 単現・必要(haber de+不定詞 interrogar)

v.t (進言) 尋問しなければならない 「動詞句」

detenidamente デテニダメンテ adv. 詳細に 「副詞」

a este testigo. ア・エステ・テストィゴ n.m この証人を 「目的語」

11 Quién robó las tartas?

英語版では

'Your Majesty must cross-examine this witness.'

「陛下、この証人を**反対尋問**しなくてはなりませんぞ！」

反対尋問は、スペイン語で **interrogatorio contradictorio** なので、

反対尋問するは、**interrogar contradictoriamente** となる。

「よろしい、そうしなければならないのなら、そうしよう」と、王様は仕方がないという様子で同意しました。

-Bueno; si hay que hacerlo, lo haré -asintió el Rey con un aire de gran resignación;

《「応答」;「副詞節」,「目的語」「動詞」》,「動詞」「主語」「副詞句」

-Bueno; ブエノ adv. よろしい 「応答」

si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

hay que hacerlo, アイ・ケ・アセル・ロ 3 単現・必要(haber que+不定詞 hacer+lo)

v.t そうしなくてはならない 「動詞句」

lo ロ pron それを 「目的語」

haré アレ 1 単未・意思(hacer)v.t しよう 「動詞」

-asintió アシント 3 単点(asentir)v.i 同意した 「動詞」

el Rey エル・レイ n.m 王様は 「主語」

con un aire コン・ウン・アイレ adv. 様子で 「副詞句」

de gran resignación; デ・グラン・レシガナシオン adj. あきらめの 「形容詞句」

そして、半開きの目でコックを脅すように見ながら、腕を組み眉間にしわを寄せていましたが、ほとんど目が見えなくなって、重々しくもったいぶった声で言いました。「ケーキは何で出来ているのだ？」

y después de cruzarse de brazos y de fruncir el cejo, mirando amenazadoramente a la cocinera con ojos tan entrecerrados que casi no se los veía, dijo con voz grave y sentenciosa: ¿De qué están hechas las tartas?

Y「副詞句」que「副詞」「動詞句」,《「副詞句」「動詞句」「主語」》

y イ conj. そして

después デスプエス prep(de+不定詞) ～した後で 「副詞句」

de cruzarse デ・クルサルセ 不定詞 v.pr (自分の腕などを) 組む 「動詞句」

de brazos デ・ブラソス pl(brazo).n.m 腕を 「目的語」

y イ conj. そして

de fruncir デ・フルンシール 不定詞 v.t (額などに) しわを寄せる 「動詞句」

el cejo, エル・セホ n.m 眉 「目的語」

ceja セイ n.f 眉 (白水社 現代スペイン語辞典 では、cejo が見当たらない)

英語版では

11 Quién robó las tartas?

mirando	ミランド	現在分詞(mirar)・同時 adv. 見ながら	「副詞句」
amenazadoramente	アメサドランテ	adv. 脅迫的に、脅すように	「副詞」
a la cocinera	ア・ラ・コネラ	n.f コックを	「目的語」
con ojos	コン・ホス	adv. (手段) 目で	「副詞句」
tan entrecerrados	タン・エントセラトス	adj. 半開きの	「形容詞句」
que	ケ	conj. それで～する	
casi	カシ	adv. ほとんど	「副詞」
no se los veía,	ノ・セ・ロス・ベ・ア	3 単線・否定(verse)v.t 見えない	「動詞句」
dijo	デ・ハ	3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
con voz	コン・ボス	adv. (手段) 声で	「副詞句」
grave y sentenciosa	グラベ・イ・グラベ・イ・センテンシオサ	adj. 重々しくもったいぶった	「形容詞句」
¿De qué	デ・ケ	adv. (材料) 何で	「副詞句」
están hechas	エスタン・エチャス	3 複現・受動(hacer)v.t 作られる	「動詞句」
受動文の過去分詞は主語 las tartas と性・数一致して hecho -> hechas に変化する。			
las tartas?	ラス・タルタス	pl(tarta).n.f ケーキは	「主語」

「胡椒、ほとんど」と、コックが答えた。

-De pimienta, principalmente contestó la cocinera.

-De pimienta,	デ・ピメンタ	adv. (材料) 胡椒で	《「応答」》, 「動詞」「主語」
principalmente	プリンシパルメンテ	adv. ほとんど	「応答」
-contestó	コンテスト	3 単点(contestar)v.t 答えた	「副詞」
la cocinera.	ラ・コネラ	n.f コックが	「動詞」
			「主語」

「糖蜜だ！」と、眠そうな声がコックの後ろから聞こえました。

-Melazas dijo una voz adormilada detrás de ella.

-Melazas	メラサス	pl(melaza).n.f (材料は) 糖蜜だ	《「応答」》, 「動詞」「主語」「副詞句」
-dijo	デ・ハ	3 単点(decir)v.t 言った	「応答」
una voz	ウナ・ボス	n.f 声が	「動詞」
adormilada	アドルミラダ	過去分詞(adormilar)adj. 眠そうな	「主語」
detrás de ella.	デトラス・デ・エジャ	adv. コックの後ろで	「形容詞」
			「副詞句」

11 Quién robó las tartas?

「そのヤマネを捕まえろ！」と、女王様が叫んだ。「首をちょん切れ！法廷から叩き出せ！鎮圧しろ！つねろ！ヒゲをちょん切れ！」

-¡Prended a ese Lirón! -chilló la Reina-. ¡Que le corten la cabeza! ¡Que lo expulsen de la Sala! ¡Que lo repriman! ¡Que le pellizquen, que le corten los bigotes...!

《「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」,

《「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 | 「目的語」「動詞」「副詞句」

「目的語」「動詞」 | 「間接目的語」「動詞」, 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》

-¡Prended プレンデ 命・2 複現(prender)v.t 捕まえろ！ 「動詞」

a ese Lirón! ア・エ・リロン n.m そのヤマネを 「目的語」

-chilló チジョ 3 単点(chillar)v.i 叫んだ 「動詞」

la Reina-. ラ・レイナ n.f 女王様が 「主語」

¡Que ケ conj. (命令の強調)

le レ pron 奴の 「間接目的語」

corten コルテン 命・3 複現(cortar)v.t 切れ！ 「動詞」

la cabeza! ラ・カベサ n.f 頭を、首を 「直接目的語」

¡Que ケ conj. (命令の強調)

lo ロ pron 奴を 「目的語」

expulsen エクスプルセン 命・3 複現(expulsar)v.t 追い出せ、叩き出せ 「動詞」

de la Sala! デ・ラ・サラ adv. 法廷から 「副詞句」

¡Que ケ conj. (命令の強調)

lo ロ pron 奴を 「目的語」

repriman! レプリマン 命・3 複現(reprimir)v.t 鎮圧しろ！ 「動詞」

¡Que ケ conj. (命令の強調)

le レ pron. 奴の 「間接目的語」

pellizquen, ペジスケン 命・3 複現(pellizcar)v.t つねろ 「動詞」

「直接目的語」は省略して、「場所に構わず、どこでもつねろ」

que ケ conj. (命令の強調)

le レ pron 彼の 「間接目的語」

corten コルテン 命・3 複現(cortar)v.t 切れ！ 「動詞」

los bigotes...! ロス・ビゴテス pl(bigote)n.m 口髭を 「直接目的語」

11 Quién robó las tartas?

数分間、皆がヤマネを追い出そうとしている間中、法廷は大混乱が起こっていた。全てが元に戻ると、コックが姿を消していることに気付いた。

Durante algunos minutos reinó la mayor confusión en la Sala mientras todos intentaban expulsar al Lirón, y cuando todos hubieron vuelto a sus puestos se encontraran con que la cocinera había desaparecido.

「副詞句」「動詞」「主語」「副詞句」「副詞節」,y「副詞節」「動詞句」「間接目的語」	
Durante algunos minutos トォウランテ・アルグノス・ミストス adv. 数分間	「副詞句」
reinó レイノ 3 単点(reinar)v.i 君臨していた、支配的だった	「動詞」
la mayor confusión ラ・マヨール・コンフシオン n.f 大きい混乱が	「主語」
en la Sala エン・ラ・サラ adv. 法廷では	「副詞句」
mientras ミエントラス conj. ～する間	「副詞節」
todos トォス pron.pl 皆が	「主語」
intentaban expulsar インテンタハ・エクスプルサル 3 複線・試行(intentar+不定詞 expulsar)	
v.t 追い出そうとしていた	「動詞句」
al Lirón, アル・リロン n.m ヤマネを	「目的語」
y イ conj. そして	
cuando クワント conj. ～する時	「副詞節」
todos トォス pron.pl 全てが	「主語」
hubieron vuelto ウビエロン・ブエルト 3 複点・完了形(volver)v.i 戻った	「動詞句」
a sus puestos ア・スス・プエストス adv. 元の場所に	「副詞句」
se encontraran セ・エンコントラロン 3 複線(encontrarse)	
v.pr (con que+直接法) ～であることに気付いた	「動詞句」
con que コン・ケ adv. ～ということに	「間接目的語」
la cocinera ラ・コシネラ n.f コックが	「主語」
había desaparecido. アビア・デサパレシト 3 単線・完了形(desaparecer)	
v.i 姿を消していた	「動詞句」

11 Quién robó las tartas?

「まあ、良い」と、王様は安堵の表情で言った。「次の証人を呼べ!」,そして隣の女王に付け加えた。「次の証人はお前が尋問してくれ。あれやこれやで、私は頭が痛い!」

-No importa -aseguró el Rey, con aire de gran alivio-. ¡Que comparezca el siguiente testigo! -y añadió en un aparte dirigido a la Reina: Hazme el favor, querida, de interrogar tú al próximo testigo. ¡Estas cosas me dan unas jaquecas tan fuertes! ...

《「応答」》,「動詞」「主語」「副詞句」,

《「動詞句」「主語」》,y「動詞」「副詞句」「間接目的語」:

《「動詞句」「目的語」「呼びかけ」,「形容詞句」,「主語」「間接目的語」

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》

-No importa	ノ・インポルタ	3 単現・否定(importar)v.i	構わない、重要ではない	「応答」
-aseguró	アセグロ	3 単点(asegurar)v.t	確言した、保証した	「動詞」
el Rey,	エル・レイ	n.m	王様は	「主語」
con aire	コン・アイレ	adv.	様子で	「副詞句」
de gran alivio-	デ・グラン・アリビオ	adj.	安堵の	「形容詞句」
¡Que comparezca	ケ・コンパレスカ	接・3 単現・命令(comparecer)v.i	出廷せよ	「動詞句」
el siguiente testigo!	エル・シギエンテ・テストイゴ	n.m	次の証人	「主語」
-y	イ	conj.	そして	
añadió	アニヤディオ	3 単点(añadir)v.t	付け加えた	「動詞」
en un aparte	エン・ウナ・パルテ	adv.	(資格) 部分に	「副詞句」
dirigido	ディリヒト	過去分詞・受動(dirigir)adj.	導かれた	「形容詞」
脇に向けて → 隣へ				
a la Reina:	ア・ラ・レイナ	adv.	女王へ	「間接目的語」
Hazme	アスメ	命・2 単現(hacer+me)v.t	私に～をしてくれ	「動詞句」
el favor,	エル・ファボル	n.m	親切な行為を	「目的語」
querida,	ケリダ	n.f	お前	「呼びかけ」
de interrogar	デ・インテロカール	不定詞・同格(favor を修飾)		
adj.	尋問するという			「形容詞句」
tú	トゥ	pron	お前が	「主語」
al próximo testigo.	アル・プロキシモ・テストイゴ	adv.	次の証人を	「間接目的語」
¡Estas cosas	エスタス・コサス	pl(cosa).n.f	これらの事が	「主語」
me	メ	pron	私に	「間接目的語」
dan	ダン	3 複現(dar)v.t	与える	「動詞」
unas jaquecas	ウナス・ハカス	pl(jaqueca).n.f	頭痛を	「直接目的語」
tan fuertes! ...	タン・フェルテス	adj.	激しい	「形容詞句」

英語版では

And he added **in an undertone** to the Queen. そして女王さまに**小声**で付け加えた。

11 Quién robó las tartas?

アリスは、白うさが不安そうに証人の名簿を調べているのを観察した。そして次の証人は誰になるのだろうと物珍しそうに自問した。

Alicia observó al Conejo Blanco examinando nerviosamente la lista de testigos, y se preguntó con curiosidad quién sería el siguiente, pensando:

「主語」「動詞」「目的語」,y「動詞句」「副詞句」「目的語」

Alicia	アリシア n.f	アリスは	「主語」	
observó	オブセルバ`	3 単点(observar)v.t	観察した	「動詞」
al Conejo Blanco	アル・コネホ・ブランコ n.m	白うさを	「目的語」	
examinando	エクサミナント`	現在分詞(examinar)・同時 adv.	調べている	「副詞句」
nerviosamente	ネルビ`オサメンテ	adv.	不安そうに	「副詞」
la lista de testigos,	ラ・リスタ・デ・テストイゴス n.f	証人の名簿を	「目的語」	
y	イ conj.	そして		
se preguntó	セ・プレグント	3 単点(preguntarse)v.pr	自問した	「動詞句」
con curiosidad	コン・クリオシダ`	adv.	物珍しそうに	「副詞句」
quién	キエン pron	誰が～するかということ	「目的語」	
sería	セリア	3 単過未・推量(ser)v.i	～になるだろう	「動詞」
el siguiente,	エル・シギエンテ	pron	次の証人に	「補語」
pensando:	ペンサント`	現在分詞(pensar)・同時 adv.	考えて	「副詞」

「実の所、これまでに得られたものはほとんど何も無いのですから」

«Pues en realidad, poco ha sido lo que han sacado en limpio hasta ahora».

《Pues「副詞句」「主語」「動詞」「補語」》

«Pues	プエス conj.	(理由) ～なので		
en realidad,	エン・レアリダ`	adv.	実の所	「副詞句」
poco	ポコ pron	なにも～ない	「主語」	
ha sido	ア・シト`	3 単現・完了形(ser)v.i	～だった	「動詞」
lo que	ロ・ケ pron	～するもの	「補語」	
han sacado	アン・サト`	3 複現・完了形(sacar)v.t	(情報を) 得た	「動詞句」
en limpio	エン・リンピ`オ	adv.	手取りで、正味で	「副詞句」
hasta ahora».	アスタ・アオラ	adv.	これまでに	「副詞句」

11 Quién robó las tartas?

だから、白うさが小さな声で、精一杯の大声で、名簿からアリスの名前を読み上げた時のアリスの驚きを想像してみてください。

Así, pues, imaginemos su sorpresa cuando el Conejo Blanco con su vocecita a todo pulmón leyó de la lista el nombre de «¡Alicia!».

「副詞」, pues, 「動詞」 「目的語」

Así, アシ adv. 従って、だから 「副詞」

pues, プエス conj. (理由) それで、～なので

imaginemos イマヒネモス 接・1 複現・勧誘(imaginar)v.t 想像してください 「動詞」

su sorpresa ス・ソルプレサ n.f 彼女の驚きを 「目的語」

cuando クワンド conj. ～する時 「副詞節」

el Conejo Blanco, エル・コネホ・ブランコ n.m 白うさが 「主語」

con コン prep (手段) ～で 「副詞句」

su vocecita, ス・ボセシタ n.f(voz + -cito) 小さな声 「目的語」

a todo pulmón, ア・トド・プルモン adv. 精一杯の大声で 「副詞句」

leyó レヨ 3 単点(leer)v.t 読んだ 「動詞」

de la lista テ・ラ・リスタ adv. 名簿から 「副詞句」

el nombre de «¡Alicia!». エル・ナンブレ・デ・アリシア n.m アリスの名前を 「目的語」

12 El testimonio de Alicia

12 El testimonio de Alicia

アリスの証言

El testimonio エル・テストイモニオ n.m 証言、証拠 「主語」
de Alicia デ・アリシア adj. アリスの 「形容詞句」

「はい、ここにいます」と、一瞬興奮して、最後の数分で自分がどれほど大きくなっていたかを忘れて、アリスは大声で答えた。それ程急いでいたので立ち上がる時に、陪審席をスカートの縁でひっくり返してしまった。

-¡Presente! -gritó Alicia, olvidándose con la emoción del momento, de lo mucho que había crecido durante los últimos minutos, de tal manera que al ponerse rápidamente en pie volcó con un golpe del borde de su falda a todo el estrado del jurado:

《「応答」》, 「動詞」「主語」「副詞句」「間接目的語」, 「副詞節」
「動詞」「副詞句」「目的語」

-¡Presente! プレゼンテ adj. 出席している、ここにいる 「応答」
-gritó グリト 3 単点(gritar)v.i 大声をあげた 「動詞」
Alicia, アリシア n.f アリスは 「主語」
olvidándose, オルビダントセ 現在分詞(olvidarse)・同時 adv.(de を) 忘れて 「副詞句」
con コン prep (原因) 〜によって 「副詞句」
la emoción ラ・エモシオン n.f 興奮、感情 「目的語」
del momento, デル・モメント adj. 一瞬の 「形容詞句」
de lo mucho que テ・ロ・ムチョ・ケ
adv. 〜することを 「間接目的語」
había crecido アビ・ア・クレシト 3 単線・完了形(crecer)
v.i 大きくなったいた 「動詞句」
durante los últimos minutos, ドゥランテ・ロス・ウルチモス・ミニトス
adv. 最後の数分間で 「副詞句」
de tal manera que+直接法 テ・タル・マネラ・ケ
conj. それほどなので〜 「副詞節」
al ponerse アル・ポネセ adv. (時間) (姿勢を) とる時 「副詞句」
rápidamente ラピダメンテ adv. 急いで 「副詞」
en pie エン・ピエ adv. (姿勢) 立ち上がる 「副詞句」
volcó ボルコ 3 単点(volcar)v.t ひっくり返した 「動詞」
con un golpe コン・ウン・ゴルペ adv (手段) 一撃で 「副詞句」
del borde デル・ボルデ adj. 縁の、へりの 「形容詞句」
de su falda テ・ス・ファルダ adj. スカートの 「形容詞句」
a todo el estrado ア・トド・エル・エストラト n.m すべての席を 「目的語」

12 El testimonio de Alicia

del jurado: テル・フラト adj. 陪審の

「形容詞句」

陪審たちは全員、下の傍聴席の群衆の真ん中に頭から転げ落ちた。そしてみんなてんでいろいろな格好をして藻掻いていたが、その恰好を見て、アリスは先週うっかりガラスの金魚鉢を床に落とした時の金魚のことを思い出した。

todos sus miembros cayeron de cabeza en medio de la multitud que estaba bajo ellos y se agitaron esparcidos en diversas posturas por el suelo, en una forma que a Alicia le recordó unos peces dorados que se le habían caído al suelo la semana pasada al volcar accidentalmente una pecera de cristal.

「主語」「動詞」「副詞句」 y 「動詞句」「副詞句」

todos sus miembros トス・ス・ミエブロス pl(miembro).n.m 陪審たち全員が 「主語」

cayeron カエロン 3 複点(caer)v.i 倒れた、転んだ 「動詞」

de cabeza テ・カベサ adv. (起点) 頭から 「副詞句」

en medio de la multitud エン・メデ・イオ・テ・ラ・ムルチウ adv. 群衆の真ん中に 「副詞句」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

estaba エスタバ 3 単線・存在(estar)v.i ~にいた 「動詞」

bajo ellos バホ・エジョス adv. 彼らの下に 「副詞句」

y イ conj. そして

se agitaron セ・アヒタロン 3 複点(agitarse)v.pr 騒いだ 「動詞句」

esparcidos エスパルシトス adv. ばらばらに 「副詞」

en diversas posturas エン・デ・イベルサス・ポ・ストウラス adv. いろいろな格好で 「副詞句」

por el suelo, ポル・エル・スエロ adv. 床の上に 「副詞句」

en una forma エン・ウナ・フォルマ adv. ある形で 「副詞句」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

a Alicia le ア・アリシア・レ adv. アリシアに 「間接目的語」

recordó レコルト 3 単点(recordar)v.t 思い出させる 「動詞」

unos peces dorados ウノス・ペセス・トラトス
pl(pez).n.m 金魚を 「直接目的語」

que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」

se le habían caído セ・レ・アビアン・カイト 3 複線・完了形・再帰受動(caerse)

v.pr アリスにひっくり返された 「動詞句」

al suelo ウ・スエロ adv. 床に 「副詞句」

la semana pasada ラ・セマナ・パサダ

n.f 先週 「副詞句」

al volcar アル・ボルカル

adv. (時) ひっくり返した時に 「副詞句」

12 El testimonio de Alicia

accidentalmente アクシデンタルメンテ

adv. 偶然に、うっかりして「副詞」

una pecera ウナ・ペセラ

n.f 金魚鉢を 「目的語」

de cristal. デ・クリスタル

adj. (材質) ガラスの「形容詞句」

「あら！本当にごめんなさい！」と、アリスは茫然として叫んだ。それから出来るだけ素早く彼らを手で拾い上げた。金魚鉢の事故のことが記憶に残っていたので、陪審たちをすぐに拾い集めて陪審席へ戻さないと死んでしまうという、漠然とした印象があったからです。

-¡Ay! ¡Milperdones! -exclamó Alicia con gran consternación, y empezó a recogerlos con la mano tan rápido como podía, pues el accidente de la pecera seguía trabajando en su memoria, y por ello tenía una vaga impresión de que había que reunir a los miembros del jurado cuanto antes y devolverlos a su estrado o morirían todos.

《「感嘆」》, 「動詞」「主語」「副詞句」, y 「動詞句」「副詞句」, 「副詞節」, 「副詞句」「動詞」「目的語」

-¡Ay! ¡Milperdones! アイ・ミル・ペルトネス int. ああ、千のすみません 「感嘆」

-exclamó エスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ 「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

con gran consternación, コン・グラン・コンステラシオン adv. (様態) 茫然として 「副詞句」

y イ conj. そして

empezó a recogerlos エンパ・ソ・ア・レコヘル・ロス 3 単点・開始(empezar a+不定詞 recoger+los)

v.t 彼らを拾い集めだした 「動詞句」

con la mano コン・ラ・マノ adv. (手段) 腕で 「副詞句」

tan rápido como podía, タン・ラピド・コモ・ポディア adv. 出来るだけ早く 「副詞句」

pues プエス conj. (理由) ~なので 「副詞節」

el accidente エル・アクシデンテ n.m 事故が 「主語」

de la pecera デ・ラ・ペセラ adj. 金魚鉢の 「形容詞句」

seguía trabajando セギア・トラバハント 3 単線・継続(seguir+現在分詞 trabajar)

v.i 活動し続けていた 「動詞句」

en su memoria, エン・ス・メモリア adv. 記憶の中を 「副詞句」

y イ conj. そして

por ello ホル・エジョ adv. (原因) そのために 「副詞句」

tenía テニャ 3 単線(tener)v.t ~があった 「動詞」

una vaga impresión ウナ・バガ・インプレシオン n.f 漠然とした印象が 「目的語」

de que デ・ケ conj. (同格) ~という 「形容詞節」

12 El testimonio de Alicia

había que reunir アビ・ア・ケ・レニール 3 単線・必要(haber que+不定詞 reunir)

v.t 集めなければならない

「動詞句」

a los miembros del jurado ア・ロス・ミエンブ・ロス・デル・フラト

pl(miembro).n.m 陪審たちを

「目的語」

cuanto antes クワント・アンテス adv. 出来るだけ早く、すぐに

「副詞句」

y イ conj. そして

devolverlos デボルベール・ロス 3 単線・必要(haber que+不定詞 devolver+los)

v.t 彼らを戻さなければならない

「動詞句」

a su estrado, ア・ス・エストラト adv. 陪審席へ

「副詞句」

o オ conj. さもなければ

morirían モリアン 3 複過未・推量(morir)v.i 死んでしまうだろう 「動詞」

todos. トス pron みんな

「主語」



12 El testimonio de Alicia

「裁判を続けることは出来ない」と、王様がとても重々しく厳しい声で言った。「陪審全員がしかるべく自分の席に戻るまでは... 全員だぞ」と繰り返して、アリスを厳しい目つきで睨んで強調した。

-El juicio no puede proseguir -dijo entonces el Rey, con voz muy grave y severa-, hasta que todos los miembros del jurado hayan recobrado debidamente sus puestos... y quiero decir todos -insistió con cierto énfasis, mirando severamente a Alicia al repetirlo.

《「主語」「動詞句」》, 「動詞」「副詞」「主語」「副詞句」,
《「副詞節」, y 「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「副詞句」

-El juicio ウ・フイオ n.m 裁判は 「主語」
no puede proseguir ノ・プ エテ・プ ロセグー 3 単現・可能(poder+不定詞 proseguir)
v.i 続けることが出来ない 「動詞句」
-dijo ディオ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
entonces エントネス adv. その時 「副詞」
el Rey, エル・レイ n.m 王様が 「主語」
con voz muy grave y severa-, コン・ボス・ムイ・グラベ・イ・セバ
adv. (手段) とても重々しく厳しい声で 「副詞句」
hasta que+接続法 アスタ・ケ conj. ~するまで 「副詞節」
todos los miembros del jurado トス・ロス・ミエμβロス・デル・フラト
pl(miembro).n.m 陪審全員が 「主語」
hayan recobrado ハン・レコブラト 接・3 複現・完了形(recobrar)
v.t 取り戻した 「動詞句」
dibidamente デビダメンテ adv. しかるべく、それ相当に 「副詞」
sus puestos..., スス・プエストス pl(puesto).n.m 自分の席を 「目的語」
y イ conj. そして
quiero decir キエロ・デシール 1 単現・願望(querer+不定詞 decir)v.t 言いたい 「動詞句」
todos トス pron.pl 全員と 「目的語」
-insistió インシスチオ 3 単点(insistir)v.i 強調した 「動詞」
con cierto énfasis, コン・シエルト・エンファシス adv. かなり強く 「副詞句」
mirando ミランド 現在分詞(mirar)・同時 adv. 見ながら 「副詞句」
severamente セバラメンテ adv. 厳しく 「副詞」
a Alicia ア・アリシア n.f アリスを 「目的語」
al repetirlo. アル・レパチール・ロ adv. それを繰り返すとき 「副詞句」

12 El testimonio de Alicia

アリスが陪審席を調べると、急いだせいで、トカゲを逆さまに置いたことに気付きました。
可哀そうな生き物は悲しそうに尻尾を動かす位しか出来ず、体を起こせなかったのです。

Alicia examinó el estrado del jurado y observó que en su apresuramiento había colocado a la lagartija cabeza abajo y la pobre criatura no podía hacer otra cosa que menear melancólicamente la cola de un lado para otro, incapaz de incorporarse.

「主語」「動詞」「目的語」 y 「動詞」「目的語」

Alicia アリシア n.f イスは 「主語」
examinó エクサミノ 3 単点(examinar)v.t 調べた 「動詞」
el estrado del jurado エル・エストラト・デル・ジュラト n.m 陪審席を 「目的語」
y イ conj. そして
observó オブセルボ 3 単点(observar)v.t 気付いた、分かった 「動詞」
que ケ conj. ～ということを 「目的語」
en su apresuramiento エン・ス・アプレスラミエント adv. (時・原因) 急いだので 「副詞句」
había colocado アビア・コロカト 3 単線・完了形(colocar)v.t 置いた 「動詞句」
a la lagartija ア・ラ・ラガルティハ n.f ヤモリ、トカゲ 「目的語」
cabeza abajo カベサ・アバホ adv. 頭を下に 「副詞句」
y イ conj. そして
la pobre criatura ラ・ポブレ・クリアトゥラ n.f 可哀想な生き物は 「主語」
no podía hacer ノ・ポデア・アセル 3 単線・可能・否定(poder+不定詞 hacer) 「動詞句」
v.t 出来なかった
otra cosa que オトラ・コサ・ケ conj. ～することしか 「目的語」
menear メネアル 不定詞・目的 v.t 動かす 「動詞」
melancólicamente メランコリカメンテ adv. 悲しそうに 「副詞」
la cola ラ・コラ n.f 尻尾を 「目的語」
de un lado para otro, デ・ウンラト・パラ・オトロ adv. あちこちに 「副詞句」
incapaz インカパス adj. 無能な、できない 「補語」
de incorporarse. デ・インコロパラルセ adv. 体を起こすことが 「副詞句」

アリスはすぐにそれを取り出して、今回は正しい姿勢で置き直してやりました。

Alicia lo sacó de inmediato y lo volvió a colocar, esta vez en la postura que le correspondía.

「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」 y 「目的語」「動詞句」「副詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」
lo ロ pron それを 「目的語」
sacó サコ 3 単点(sacar)v.t 取り出した 「動詞」
de inmediato デ・インメディアト adv. すぐに 「副詞句」
y イ conj. そして

12 El testimonio de Alicia

lo	ロ	pron	それを	「目的語」
volvió a colocar,	ボルビョ・ア・コカール	3 単点・再度(volver a+不定詞 colocar)		
v.t	また置いた			「動詞句」
esta vez	エスタ・ベス	adv. 今回は		「副詞句」
en la postura	エン・ラ・ポ・ストゥラ	adv. 姿勢で		「副詞句」
que	ケ	pron (主語) ～する		「形容詞節」
le	レ	pron 彼に		「間接目的語」
correspondía.	コレスポ・ンディヤ	3 単線・時制の一致(corresponder)		
v.i	ふさわしい、対応する			「動詞」

「これが大きな違いを生じるとは思わないが、トカゲの姿勢が逆さまだろうがこの裁判では大した違いはないだろう」と、アリスは心の中で思った。

«Aunque no creo que vaya a hacer mucha diferencia -pensó para sí-; lo que es éste, de pies o de cabeza no va a significar mayor cambio en este juicio.»

《「副詞節」, 「動詞」「副詞句」; 「主語」「副詞句」「動詞句」「目的語」「副詞句」》

«Aunque+接続法 アウンケ conj. (話者の意見としての譲歩) たとえ～であっても 「副詞節」

Aunque+直接法 (事実の譲歩) 「～ではあるが」

no creo	ノ・クオ	1 単現・否定(creer)v.t(que だと) 思わない		「動詞句」
que	ケ	conj. ～ということを		「目的語」
vaya a hacer	バヤ・ア・アセル	バヤ・ア・アセル 接・3 単現・近接未来(ir a+不定詞 hacer)		
v.t	生じさせることになる			「動詞句」
mucha diferencia	ムチャ・ディフェレンシア	n.f 大きな違いを		「目的語」
-pensó	ペンソ	3 単点(pensar)v.t(que と) 思った		「動詞」
para sí;	パ・ラ・シ	adv. 自分の心に		「副詞句」
lo que	ロ・ケ	pron ～することは		「主語」
es	エス	3 単現(ser)v.i ～である		「動詞」
éste,	エステ	pron (状態) これ		「補語」
de pies o de cabeza	デ・ピエ・オ・デ・カベサ			
adv.	足からだろうと頭からだろうと、逆さだろうと			「副詞句」
no va a significar	ノ・バ・ア・シグニフィカル	3 単現・近接未来・否定(ir a+不定詞 significar)		
v.t	意味しないだろう			「動詞句」
mayor cambio	マヨール・カンビョ	n.m 大きな変化を		「目的語」
en este juicio.»	エン・エステ・フイジョ	adv. この裁判では		「副詞句」

12 El testimonio de Alicia

陪審が予想もしない方法でひっくり返されたショックから立ち直り、それぞれの石板とチョークを探して、見つかると、皆は大急ぎで彼らに起きた出来事の詳細を殴り書きし始めた。

Tan pronto como el jurado se hubo recobrado de la emoción que le había causado el haber sido volcado de manera tan intempestiva, y después de que hubieron buscado y encontrado sus respectivas tizas y pizarras, se pusieron a garabatear con gran diligencia describiendo los pormenores del accidente que les acababa de suceder;

「副詞節」, 「動詞句」 「副詞句」

Tan pronto como タン・フ ロント・コモ conj. ～するとすぐ 「副詞節」

el jurado エル・フラト° n.m 陪審が 「主語」

se hubo recobrado セ・ウホ°・レコブラト° 3 単点・完了形(recobrase)

v.pr 立ち直った、正気を取り戻した 「動詞句」

de la emoción デ・ラ・エモシオン adv. (原因) 感情から 「副詞句」

que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」

le レ pron 彼に 「間接目的語」

había causado アビ°ア・カウサト° 3 単線・完了形(causar)

v.t 引き起こした 「動詞句」

el エル pron 事 「直接目的語」

haber sido volcado アヘール・シト°・ボルカト° 不定詞・完了形・受動(volcar)

adj. ひっくり返された 「形容詞句」

de manera デ・マネラ

adv. (手段) 方法で 「副詞句」

tan intempestiva, タン・インテンハ° ステウハ°

adj. 予想もしない 「形容詞句」

y イ conj. そして

después デスプ°エス prep (時間) ～の後で 「副詞句」

de que デ°ケ adv. ～した 「副詞節」

hubieron buscado y encontrado ウビ°エロン・ブ°スカト°・ウ°エンコントラト° 3 複点・完了形

(buscar / encontrar)v.t 探して見つけた 「動詞句」

sus respectivas tizas y pizarras, スス・レスハ° クチバス・ティサス・イ・ヒ° サアラス

pl.n.f それぞれの石板とチョークを 「目的語」

se pusieron a garabatear セ・プ°シエロン・ア°カラバテアル 3 複点・開始

(ponerse a+不定詞 garabatear)v.pr 殴り書きを始めた 「動詞句」

con gran diligencia コン・グラン・デ°イリヘンシア adv. 大急ぎで 「副詞句」

describiendo デ°スクリビ°ント° 現在分詞(describir)・同時 adv. 書きながら 「副詞句」

los pormenores ロス・ホルメルレス pl(pormenor).n.m 詳細を 「目的語」

del accidente デル°アクシデ°ンテ adj. 出来事の 「形容詞句」

12 El testimonio de Alicia

que	ケ	pron (主語) ~する	「形容詞節」
les	レス	pron 彼らに	「間接目的語」
acababa de suceder;	アカバ・デ・スセデー	3 単線・直前完了(acabar de+不定詞 suceder)	
v.i	起こった		「動詞句」
だがトカゲだけはショックが強すぎたようで、法廷の天井を見ながら口を開けてそこに座 っているだけだった。			
<u>todos menos la lagartija, que parecía haber quedado demasiado impresionado para hacer otra cosa que estar ahí sentado con la boca abierta, contemplando el techo de la Sala.</u>			
			「副詞句」, 「主語」「動詞句」「補語」「副詞句」
todos menos	ト・ス・メノス	prep ~を除いて	「副詞句」
la lagartija,	ラ・ラガルチハ	n.f トカゲ	「目的語」
que	ケ	pron(lagartija の代用) トカゲは	「主語」
parecía +不定詞	パレシア	3 単線(parecer+不定詞)v.i ~するように見えた	「動詞句」
haber quedado	アビア・ケダト	不定詞・完了形(quedar)v.i ~の状態になっていた	「動詞句」
demasiado impresionado	デマシアト・インプレシオナト	adj. ひどくショックを受けた	「補語」
para +不定詞	para	prep (結果) それで~できない	「副詞句」
hacer	アセー	不定詞 v.t する	「動詞」
otra cosa	オトラ・コサ	n.f 別のことしか	「目的語」
que+不定詞	ケ	conj. (同格) ~するという	「形容詞節」
estar	エスター	不定詞・存在 v.i いる	「動詞」
ahí sentado	アイ・センタト	adj. そこに座った	「補語」
con la boca abierta,	コン・ラ・ボカ・アビエルタ		
adv. (様態)	口を開けて		「副詞句」
contemplando	コンテンプレント	現在分詞(contemplar)・同時	
adv.	見ながら		「副詞句」
el techo	エル・テチョ	n.m 天井を	「目的語」
de la Sala.	デ・ラ・サラ		
adj.	法廷の		「形容詞句」

「この件について、何を知っているのだ？」と、王様はアリスに尋ねた。

-¿Qué sabes de este asunto? -le preguntó el Rey a Alicia.

《「直接目的語」「動詞」「間接目的語」》, 「間接目的語」「動詞」「主語」「間接目的語」

-¿Qué pron 何を 「直接目的語」

sabes 知 2 単現・疑問文(saber)v.t 知っているのか? 「動詞」

de este asunto? デ・エステ・アスント adv. この件について 「間接目的語」

12 El testimonio de Alicia

-le レ pron 彼女に 「間接目的語」
 preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」
 el Rey エル・レイ n.m 王様が 「主語」
 a Alicia. ア・アリア adv. アリスに 「間接目的語」

「なんにも」、とアリスは答えた。

-Nada respondió Alicia.

《「応答」》, 「動詞」 「主語」

-Nada ナダ pron なんにも～ない 「応答」
 -respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた 「動詞」
 Alicia. アリア n.f アリスは 「主語」

「まったくなにも無いと？」と、王様は念を押した。

-¿Nada en absoluto? -insistió el Rey.

《「目的語」》, 「動詞」 「主語」

-¿Nada ナダ pron なにもない 「目的語」
 en absoluto? エン・アブソルト adv. まったく 「副詞句」
 -insistió インシスト 3 単点(insistir)v.t ねんを押した、強調した 「動詞」
 el Rey. エル・レイ n.m 王様が 「主語」

「全くなにもありません」、とアリスはきっぱりと答えた。

-Nada en absoluto confirmó Alicia.

《「応答」》, 「動詞」 「主語」

-Nada en absoluto ナダ・エン・アブソルト pron 全くなにもない 「応答」
 -confirmó コンフィルモ 3 単点(confirmar)v.t きっぱりと答えた 「動詞」
 Alicia. アリア n.f アリスは 「主語」

「それは極めて重要じゃ」と、王様が陪審の方へ振り返って言った。陪審たちがそのことを石版に書きとめ始めるとすぐ、白うさが話を遮った。

-Eso es algo muy trascendente aseguró el Rey, volviéndose hacia los jurados. Apenas empezaron éstos a anotarlos en sus pizarras cuando el Conejo Blanco interrumpió:

《「主語」 「動詞」 「補語」》, 「動詞」 「主語」 「副詞句」

「副詞」 「主語」 「動詞」

-Eso エソ pron それは 「主語」
 es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」
 algo アルゴ pron 物、何か 「補語」

12 El testimonio de Alicia

muy trascendente	マイ・トラスエンテンテ	adj. 非常に重要な、超越的な	「形容詞句」
-aseguró	アセグロ	3 単点(asegurar)v.t 確保した、言った	「動詞」
el Rey,	エル・レイ	n.m 王様は	「主語」
volviéndose	ボルビェントセ	現在分詞・同時(volverse)adv. 振り向きながら	「副詞句」
hacia	アシア	prep ~の方へ	「副詞句」
los jurados.	ロス・フラトス	pl(jurado).n.m 陪審たち	「目的語」
Apenas	アペナス	conj. ~するとすぐ	「副詞節」
empezaron ...a anotarlo	エンペサロ...	ア・アノタル・ロ 3 複点・開始(empezar a+不定詞 anotar+lo)	
v.t	これを記録し始めた		「動詞句」
éstos	エトス	pron.pl 陪審員は	「主語」
en sus pizarras	エン・ス・ピサラス	adv. 石板に	「副詞句」
cuando	クワント	conj. その時	「副詞」
el Conejo Blanco	エル・コネホ・ブランコ	n.m 白うさが	「主語」
interrumpió:	インテルピオ	3 単点(interrumpir)v.t 話を遮った	「動詞」

「もちろん王様が言おうとしていたのは『非重要』です」と、尊敬の念が込められた口調で言いましたが、話している間中、眉にしわを寄せて、王様に向かって意味深長なしかめっ面をしていました。

-Intrascendente es lo que Su Majestad ha querido decir, naturalmente -dijo con un tono de gran respeto, pero frunciendo el cejo y haciéndole al Rey muchas muecas significativas mientras hablaba.

《「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞」「副詞句」 pero 「副詞句」 y 「副詞句」			
-Intrascendente	イントラスエンテンテ	adj. 非重要	「補語」
es	エス	3 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
lo que	ロ・ケ	pron ~するもの	「主語」
Su Majestad	ス・マヘスタ	n.f 王様が	「主語」
ha querido decir,	ア・ケリト・デシール	3 単現・完了形・願望(querer+不定詞 decir)	
v.t	言いたかった		「動詞句」
naturalmente	ナツラルメンテ	adv. もちろん	「副詞」
-dijo	ディホ	3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
con un tono	コン・ウン・トノ	adv. 口調で	「副詞句」
de gran respeto,	デ・グラン・レスパト	adj. 尊敬の念が込められた	「副詞句」
pero	ペロ	conj. しかし	
frunciendo	フルンシエント	現在分詞・同時(fruncir)adv. しわを寄せて	「副詞句」
el cejo	エル・セホ	n.m 眉を	「目的語」
y	イ	conj. そして	

12 El testimonio de Alicia

haciéndole アシエント・レ	現在分詞・同時(hacer)adv.	しながら	「副詞句」
al Rey アル・レイ	adv.	王様に	「間接目的語」
muchas muñecas significativas ムチャス・ムエカス・シグニフィカティバス			
pl(muñeca).n.f		意味深長なしかめっ面	「直接目的語」
mientras ミエントラス	conj.	～する間	「副詞節」
hablaba. アブラバ	3 単線・時制の一致(hablar)v.t	話す	「動詞」

『「非重要」じゃ、もちろん、わしが言おうとしたのは』と、王様は急いで訂正しました。それから、小声でつぶやき続けました。

「Intrascendente, naturalmente, es lo que quise decir se apresuró a corregir el Rey, y continuó mascullando por lo bajo:

《「補語」「動詞」「主語」》, 「動詞句」「主語」, y 「動詞句」「副詞句」	
-Intrascendente, イントラステンデンテ adj. 非重要	「補語」
naturalmente, ナチュラルメンテ adv. もちろん	「副詞」
es エス 3 単現(ser)v.i ~である	「動詞」
lo que ロ・ケ pron ~するものは	「主語」
quise decir ケ・デシール 1 単点・願望(querer+不定詞 decir)v.t 言いたかった	「動詞句」
-se apresuró a corregir セ・アプレスロ・ア・コレヒール 3 単点・急ぎ(apresurarse a+不定詞 corregir)	
v.pr 急いで訂正した	「動詞句」
el Rey, エル・レイ n.m 王様は	「主語」
y イ conj. そして	
continuó mascullando コンチヌオ・マスカジヤント 3 単点・継続(continuar+現在分詞 mascullar)	
v.t つぶやき続けた	「動詞句」
por lo bajo: ホル・ロ・バホ adv. (手段) 小声で	「副詞句」

『「重要」... 『非重要』... 『重要』... 『非重要』...』と、まるでどちらの響きが良いかを試しているようでした。一部の陪審は『重要』と書きましたが、他の陪審は『非重要』と書きました。

«Trascendente... intrascendente... trascendente... intrascendente»..como si estuviera intentando decidir qué sonaba mejor. Parte del jurado escribió «trascendente» y la otra parte «intrascendente».

	《「補語」, 「補語」, 「補語」, 「補語」》, 「副詞節」	
	「主語」「動詞」「目的語」 y 「主語」「目的語」	
«Trascendente..., トラスエンテンテ adj. 重要		「補語」
intrascendente..., イントラステンデンテ adj. 非重要		「補語」
trascendente..., トラスエンテンテ adj. 重要		「補語」

12 El testimonio de Alicia

intrascendente..	イントラスエンデnte	adj.	非重要	「補語」
como si +接続法	コモ・シ	conj.	まるで～であるかのように	「副詞節」
estuviera intentando decidir	エストゥビエラ・インテンタント・デシール	接・3 単過・試行		
(estar+現在分詞 intentar+不定詞 decidir)v.t			言おうとしていた	「動詞句」
qué	ケ	pron	どちらが～ということ	「目的語」
sonaba	ソナバ	3 単線(sonar)v.i	響く	「動詞」
mejor.	メホル	adv.	よく	「副詞」
Parte del jurado	パルテ・デル・フラト	n.f	陪審の一部分は	「主語」
escribió	エスクリビオ	3 単点(escribir)v.t	書いた	「動詞」
«trascendente»	トラスエンデnte	adj.	重要と	「目的語」
y	イ	conj.	そして	
la otra parte	ラ・オトラ・パルテ	n.f	その他は	「主語」
«intrascendente».	イントラスエンデnte	adj.	非重要	「目的語」

アリスは彼らが書いたものを読むのに十分近くに居たので、石版を見ることが出来ました：
「でも、違いなんてどうでもいい」と、アリスは頭の中で結論しました。

Alicia podía verlo, pues se encontraba lo suficientemente cerca de ellos para leer lo que garabateaban: «Pero poco importa la diferencia», concluyó mentalmente.

「主語」「動詞句」「副詞節」:《Pero「補語」「主語」》,「動詞」「副詞」				
Alicia	アリシア	n.f	アリスは	「主語」
podía verlo,	ポディア・ベルロ	3 単線・可能(poder+不定詞 ver+lo)		
		v.t	石板を見ることができた	「動詞句」
pues	プエス	conj	(理由)～なので	「副詞節」
se encontraba	セ・エンコントラバ	3 単線(encontrarse)v.pr	(ある場所に)いた	「動詞句」
lo suficientemente cerca	ロ・スフィシエンテメンテ・セルカ	pron	十分近い所に	「副詞句」
de ellos	デ・エジョス	adv.	彼らから	「副詞句」
para +不定詞	パラ	adv.	(目的)～するために	「副詞句」
leer	レエル	不定詞 v.t	読む	「動詞」
lo que	ロ・ケ	pron	～するものを	「目的語」
garabateaban:	ガラバテアバン	3 複線(garabatear)		
		v.t	なぐり書きした	「動詞」
«Pero	ペロ	conj.	でも、しかし	
poco importa	ポコ・インポルタ	adj.	重要ではない、どうでもよい	「補語」
la diferencia»,	ラ・ディフェレンシア	n.f	違いは	「主語」
concluyó	コンクルビョ	3 単点(concluir)v.t	～と結論した	「動詞」
mentalmente.	メンタルメンテ	adv.	頭の中で	「副詞」

12 El testimonio de Alicia

この時、忙しそうに自分のメモ帳に熱心に書いていた王様が叫んだ：

En este momento, el Rey, que había estado muy ocupado escribiendo apretadamente en su libreta de notas, exclamó:

「副詞句」, 「主語」 「動詞」
 En este momento, エン・エステ・モメント adv. この時 「副詞句」
 el Rey, エル・レイ n.m 王様は 「主語」
 que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 había estado アビ・ア・エスタト 3 単線・完了形・状態(estar)v.i ～だった 「動詞句」
 muy ocupado ムイ・オカパト adj. 忙しい 「補語」
 escribiendo エスクリビエント 現在分詞(escribir)・原因
 adv. 書くのに 「副詞句」
 apretadamente アプレタダメンテ adv. 厳しく、熱心に 「副詞」
 en su libreta エン・ス・リブレタ adv. 彼のメモ帳に 「副詞句」
 de notas, デ・ノタス adj. 成績の、評価の 「形容詞句」
 exclamó: エクスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ 「動詞」

「静粛に！」と叫び、いま書き留めたばかりのノートを読み上げた。「規則第 42 条：身長 1 マイルを越える者は全て法廷を出なければならぬ」

-¡Silencio! -y leyó a continuación lo que acababa de anotar:- Regla Número Cuarenta y Dos: Todas las personas que midan más de una milla de altura habrán de abandonar la Sala.

《「命令」》, y 「動詞」 「間接目的語」, 《「主語」: 「主語」 「動詞句」 「目的語」》
 -¡Silencio! シレンシオ n.m 静粛に！、静寂 「命令」
 -y イ conj. そして
 leyó レジョ 3 単点(leer)v.i 読んだ 「動詞」
 a continuación ア・コンチヌアシオン adv. 続きを 「間接目的語」
 lo que ロ・ケ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 acababa de anotar:- アカバ・デ・アノタル 3 単線・完了(acabar de+不定詞 anotar)
 v.t 書き留めたばかりである 「動詞句」
 Regla Número Cuarenta y Dos: レグラ・ヌメロ・クワレンタ・イト・ドス n.m 規則第 42 条 「主語」
 Todas las personas トダス・ラス・ペルソナス pl(perspna).n.f 全ての者は 「主語」
 que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 midan ミタン 接・3 複現(medir)v.i (身長が) ある 「動詞」
 más de una milla マス・デ・ウナ・ミジャ adv. 1 マイル以上 「補語」
 de altura デ・アルトゥラ adj. 身長が 「形容詞句」

12 El testimonio de Alicia

habrán de abandonar ハブラン・デ・アハントナル 3 複未・必要(haber de+不定詞 abandonar)

v.t (場所から) 出なければならない 「動詞句」

la Sala. ラ・サ n.f 法廷を 「目的語」

みんなアリスの方を見た。

Todos miraron a Alicia.

「主語」「動詞」「間接目的語」

Todos トドス pron.pl みんなが 「主語」

miraron ミロン 3 複点(mirar)v.i(a のほうを) 見た 「動詞」

a Alicia. ア・アリシア adv. アリスのほうを 「間接目的語」

「私は身長 1 マイルもないけど」と、アリスは言った。

-Pero ¡si yo no mido una milla de altura! -dijo Alicia.

《Pero ¡si 「主語」「動詞句」「補語」》, 「動詞」「主語」

-Pero ペロ conj. しかし

¡si シ conj. (事実の提示・対立) 〜ではあるが

yo ヨ pron 私は 「主語」

no mido ノ・ミド 1 単現・否定(medir)v.i (身長) がない 「動詞句」

una milla de altura! ウナ・ミジャ・デ・アルトゥラ n.f 1 マイルの身長 「補語」

-dijo デイオ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia. アリシア n.f アリスは 「主語」

「ある！」と、王様が言った。

-¡Ciertamente que sí! -declaró el Rey.

《「応答」》, 「動詞」「主語」

-¡Ciertamente シエルタメント adv. 確かに 「副詞」

que sí ケ・シ conj. 身長がある 「応答」

-declaró デクラロ 3 単点(declarar)v.t 宣言した 「動詞」

el Rey. エル・レイ n.m 王様は 「主語」

「2 マイルくらいある」と、女王さまが付け加えた。

-Casi dos millas -añadió la Reina.

《「応答」》, 「動詞」「主語」

-Casi dos millas カシ・ドス・ミジャス pl(milla).n.f 2 マイルくらい 「応答」

-añadió アニャデオ 3 単点(añadir)v.t 付け加えた 「動詞」

12 El testimonio de Alicia

la Reina. ラ・レイナ n.f 女王様が 「主語」

「それでも私は、何があっても出て行かないわ」と、アリスは言った；「さらに、その規則は無効だわ。だって今でっち上げたんだから」

-Pues lo que es yo, no me marcharé en ningún caso -anunció Alicia-; además, esa regla no vale porque se la acaba de inventar usted.

《「副詞句」, 「動詞句」 「副詞句」》, 「動詞」 「主語」,
《「副詞」, 「主語」 「動詞句」 「副詞節」》

-Pues lo que es yo, プエス・ロ・ケ・エス・ジョ adv. さあ私は 「副詞句」
no me marcharé ノ・メ・マルチャレ 1 単未・否定・意思(marcharse)v.pr 出て行かない 「動詞句」
en ningún caso エン・ニグン・カソ adv. 何があっても、どんな場合でも 「副詞句」
-anunció アヌンシオ 3 単点(anunciar)v.t 知らせた、言った 「動詞」
Alicia-; アリシア n.f アリスは 「主語」
además, アデマス adv. さらに、その上 「副詞」
esa regla エサ・レグラ n.f その規則は 「主語」
no vale ノ・バレ 3 単現・否定(valer)v.i 有効ではない 「動詞句」
porque ポルケ conj. (理由) ~なので 「副詞節」
se ...acaba de inventar セ...アカバ・デ・インベンタル 3 単線・完了(acabar de+不定詞 inventarse)
v.pr でっち上げたばかり 「動詞句」
la ラ pron その規則を 「目的語」
usted. ウステ pron あなたが 「主語」

「それは法律書で一番古い規則じゃ」と、王様は答えた。

-Es la regla más antigua de todo el libro -aseguró el Rey.

《「動詞」 「補語」》, 「動詞」 「主語」

-Es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」
la regla ラ・レグラ n.f 法律、規則 「補語」
más antigua マス・アンチガ わ adj. 一番古い 「形容詞句」
de todo el libro デ・トド・エル・リブロ adv. 全ての法律書の中で 「副詞句」
-aseguró アセグロ 3 単点(asegurar)v.t 保証した、確言した 「動詞」
el Rey. エル・レイ n.m 王様は 「主語」

12 El testimonio de Alicia

「それなら、第 42 番じゃなく、第 1 番のはずだわ」と、アリスは非難した。

-Entonces sería la primera, y no la cuarenta y dos, -acusó Alicia.

《「副詞」「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」

-Entonces エントネス adv. それでは

「副詞」

sería セリア 3 単過未・妥当(ser)v.i ~であるべきだ

「動詞」

la primera, ラ・プリマ pron 第一番

「補語」

y イ conj. そして

no la cuarenta y dos ノ・サ・クワレンタ・イトス pron 第 42 番でない

「補語」

-acusó アクソ 3 単点(acusar)v.t 非難した、とがめた

「動詞」

Alicia. アリシア n.f アリスは

「主語」

王様はこれを聞いて真っ青になり、慌ててメモ帳を閉じた。

El Rey palideció al oír esto y cerró rápidamente su libreta.

「主語」「動詞」「副詞句」 y 「動詞」「副詞」「目的語」

El Rey エル・レイ n.m 王様は

「主語」

palideció パリデシオ 3 単点(palidecer)v.i (顔が) 青くなった

「動詞」

al oír アル・オイール 不定詞・原因 adv. 聞いて

「副詞句」

esto エスト pron これを

「目的語」

y イ conj. そして

cerró セロ 3 単点(cerrar)v.t (本を) 閉じた

「動詞」

rápidamente ラピダメンテ adv. 急いで、慌てて

「副詞」

su libreta. ス・リブレタ n.f 彼のメモ帳を

「目的語」

「評決を検討せよ！」と、陪審に弱々しい震える声で命じた。

-¡Considerad vuestro veredicto! -ordenó al jurado con voz débil y temblorosa.

《「動詞」「目的語」》, 「動詞」「間接目的語」「副詞句」

-¡Considerad コンシデラ 命・2 複現(considerar)v.t 検討せよ

「動詞」

vuestro veredicto! ブエストロ・ベレディクト n.m 評決を

「目的語」

-ordenó オルデノ 3 単点(ordenar)v.t 命じた

「動詞」

al jurado アル・フラト adv. 陪審に

「間接目的語」

con voz コン・ボス adv. (手段) 声で

「副詞句」

débil デビル adj. 弱々しい

「形容詞」

y イ conj. そして

temblorosa. テンブロサ adj(tembloroso).f 震える

「形容詞」

12 El testimonio de Alicia

「陛下、お願いします。まだ他の証人が出頭します」と、白うさぎは慌てて立ち上がり言った：
「ちょうどこの文書が手に入ったのです」

-Aún han de comparecer otros testigos más, con la venia de Vuestra Majestad -objetó el Conejo Blanco poniéndose en pie muy apresuradamente-: ¡Acaba de ser interceptado este escrito!

《「副詞」「動詞句」「主語」,「副詞句」》,「動詞」「主語」「副詞句」,
《「動詞句」「主語」》

-Aún アウン adv. さらに 「副詞」
han de comparecer アン・デ・コンパレセル 3 複現・予定(haber de+不定詞 comparecer)
v.t 出頭することになっている 「動詞句」
otros testigos más, オトス・テスチゴス・マス pl(testigo)n.m 他の証人が 「主語」
con la venia コン・ラ・ベニア adv. (依頼) 許しによって 「副詞句」
de Vuestra Majestad デ・ブエストラ・マヘスタ adj. 陛下の 「形容詞句」
-objetó オブヘト 3 単点(objetar)v.t 異議を唱えた 「動詞」
el Conejo Blanco エル・コネホ・ブランコ n.m 白うさぎが 「主語」
poniéndose ポニエンドセ 現在分詞(ponerse)・同時 adv. 姿勢をとって 「副詞句」
en pie エン・ピエ adv. 足の上に 「副詞句」
ponerse en pie 「立つ」
muy apresuradamente: ムイ・アプレサダメンテ adv. すごくあわてて 「副詞句」
¡Acaba de ser interceptado アカバ・デ・セル・インテルセプトアド 3 単線・完了・受動
(acabar de+不定詞・受動)v.t ちょうど手に入った 「動詞句」
este escrito! エステ・エスクリト n.m この文書が 「主語」

「なにが書いてあるのじゃ？」と、女王様が尋ねた。

-¿Qué es lo que dice? -preguntó la Reina.

《「補語」「動詞」「主語」》,「動詞」「主語」

-¿Qué ケ pron 何 「補語」
es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」
lo que dice? ロ・ケ・デ・イェ pron それに書いてあることは 「主語」
-preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」
la Reina. ラ・レイナ n.f 女王様が 「主語」

12 El testimonio de Alicia

「まだ開けていません」と、白うさぎは答えた；「ですが、囚人が誰かに宛てて書いたもの
のようです」

-Aún no lo he abierto -confesó el Conejo Blanco；pero parece que se trata de una carta
escrita por el prisionero a... a alguien.

《「副詞」「動詞句」「目的語」「動詞句」》，「動詞」「主語」；《pero 「動詞」「補語」》

-Aún アウン adv. (否定) まだ～ない 「副詞」
no ...he abierto ノ...エ・アビエルト 1 単現・完了形・否定(abrir)v.t 開けていない 「動詞句」
lo ロ pron それを 「目的語」
-confesó コンフェソ 3 単点(confesar)v.t 認めた、答えた 「動詞」
el Conejo Blanco; エル・コネホ・ブランコ n.m 白うさぎは 「主語」
pero ペロ conj. しかし
parece パレセ 3 単現(parecer)v.i ～のようだ 「動詞」
que ケ conj. ～ということ 「補語」
se trata セ・トラタ 3 単現(tratarse)v.pr(de) ～の話である 「動詞句」
de una carta デ・ウナ・カルタ adv. 手紙 「間接目的語」
escrita エスクリタ 過去分詞(escribir)・受動 adj.f 書かれた 「形容詞句」
por el prisionero ポル・エル・プリシオネロ
adv. (動作主) 囚人によって 「副詞句」
a..., a alguien. ア・アルギエン adv. 誰かに宛てて 「間接目的語」

「そうに違いない」と、王様が言った。「なぜなら、そうでなければ、それは誰宛でもなかつたのだろう、しかしそれは知られる通り、まったく普通の事ではない」

-Ha de ser así -dijo el Rey-, porque de lo contrario habría estado dirigida a nadie, lo que,
como ya se sabe, no es nada usual.

《「動詞句」「補語」》，「動詞」「主語」，

《porque 「副詞句」「動詞句」「間接目的語」，「主語」，「副詞節」，「動詞句」「補語」》

-Ha de ser ア・デ・セル 3 単現・必然(haber de+不定詞 ser)
v.i ～に違いない、～でなければならない 「動詞句」
así アシ adv. そのような 「補語」
-dijo ディホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
el Rey-, エル・レイ n.m 王様が 「主語」
porque ポルケ conj. なぜなら
de lo contrario デ・ロ・コントラリオ adv. さもないならば 「副詞句」
habría estado dirigida アブリア・エスタド・ディリヒタ 3 単過未・完了形 f・受動・推量
(dirigir)v.t 宛てられたのだろう 「動詞句」
a nadie, ア・ナデエ adv. 誰にも～ない 「間接目的語」

12 El testimonio de Alicia

lo que, ロ・ケ pron	それは	「主語」
como コモ conj.	～するように	「副詞節」
ya ヤ adv.	すでに	「副詞」
se sabe, セ・サヘ	3 単現・再帰受動(saberse)v.pr 知られている	「動詞句」
no es ノ・エス	3 単半・否定(ser)v.i ～でない	「動詞句」
nada usual. ナダ・ウスアル adj.	まったく普通で～ない	「補語」

「誰宛なのですか？」と、陪審の一人が尋ねた。

-¿A quién va dirigida? -preguntó uno de los jurados.

《「間接目的語」「動詞句」》, 「動詞」「主語」

-¿A quién ア・キエン adv.	誰に	「間接目的語」
va dirigida? バ・ディリヒダ	3 単現・受動(ir+過去分詞 dirigir)	
v.t	宛てられた	「動詞句」
estar+過去分詞	よりも動的な状態	
-preguntó プレグント	3 単点(preguntar)v.t 尋ねた	「動詞」
uno de los jurados. ウノ・デ・ロス・フラトス pron	陪審の一人が	「主語」

「住所が全くないのです」と、白うさぎは答えた；「実際、外側には何も書かれていません」

-No lleva dirección alguna. -constató el Conejo Blanco; de hecho, no hay nada escrito en su exterior.

《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」；

《「副詞句」「動詞句」「目的語」》

-No lleva ノ・シ・エハ	3 単現・否定(llevar)v.t (付属品などが) ない	「動詞句」
dirección ディレクション n.f	住所	「目的語」
alguna アルグナ adj(alguno).f	何らかの	「形容詞」
-constató コンスタト	3 単点(constatar)v.t 確認した、答えた	「動詞」
el Conejo Blanco; エル・コネホ・ブランコ n.m	白うさぎが	「主語」
de hecho, デ・エチョ adv.	実際	「副詞句」
no hay ノ・アイ	3 単現・否定・存在(haber)v.t ～がない	「動詞句」
nada ナダ pron	何も～ない	「目的語」
escrito エスクリト adj.	書かれた	「形容詞」
en su exterior. エン・ス・エクステリオル adv.	外側に	「副詞句」

12 El testimonio de Alicia

話しながら、手紙を開き、内部を確認して付け加えた：「結局、これは手紙ではないですね。

ここには、韻を踏んだ詩節しかありません」

Mientras hablaba, procedió a abrir el pliego, y añadió al descubrir el interior: No se trata de una carta, después de todo; aquí no hay más que unas estrofas en verso.

「副詞節」, 「動詞句」 「目的語」, y 「動詞」 「副詞句」:

《「動詞句」 「間接目的語」, 「副詞句」; 「副詞」 「動詞句」 「目的語」》

-Mientras ミエントラス conj. ～しながら 「副詞節」

hablaba, アブラバ 3 単線・時制の一致(hablar)v.i 話す 「動詞」

procedió a abrir プロセディオ・ア・アブリール 3 単点・開始(proceder a+不定詞 abrir)

v.t 開き始めた 「動詞句」

el pliego, エル・プリエゴ n.m 手紙を、封書、文書 「目的語」

y イ conj. そして

añadió アニャディオ 3 単点(añadir)v.t 付け加えた 「動詞」

al descubrir アル・デスカブリール adv. ～を露わにして 「副詞句」

el interior: エル・インテリオル n.m 内部を 「目的語」

No se trata ノ・セ・トラタ 3 単現・否定(tratarse)v.pr(de) ～の話でない 「動詞句」

de una carta, デ・ウナ・カルタ adv. 手紙 「間接目的語」

después de todo; デスプエス・デ・トド adv. 結局 「副詞句」

aquí アキ adv. ここには 「副詞」

no hay ノ・アイ 3 単現・否定・存在(haber)v.t ～がない 「動詞句」

más que unas estrofas マス・ケ・ウナス・エストロファス pl(estrofa).n.f 詩節しか 「目的語」

en verso. エン・ベルソ adv. 韻文で 「副詞句」

「囚人の筆跡だと分かったのかね？」と、別の陪審が尋ねた。

¿Se reconoce la escritura del acusado? preguntó otro miembro del jurado.

《「動詞句」 「主語」》, 「動詞」 「主語」

¿Se reconoce セ・レコノセ 3 単現・再帰受動・疑問文(reconocerse)

v.pr 認識されるのか? 「動詞句」

la escritura ラ・エスクリトゥラ n.f 筆跡が 「主語」

del acusado? デル・アクサド adj. 囚人の 「形容詞句」

preguntó プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

otro miembro del jurado. オトロ・ミエンブロ・デル・フラト n.m 別の陪審が 「主語」

12 El testimonio de Alicia

「それが違うのです」と、白うさぎは答えた。「そしてそれがこの文書の一番不思議な事なのです」(陪審たちはみな不思議そうな顔をした)

-¡Pues no! contestó el Conejo Blanco. ¡Y eso es lo más extraño de este documento! -(Todo el jurado puso cara de extrañeza.)

《「応答」》, 「動詞」「主語」, 《Y「主語」「動詞」「補語」》

(「主語」「動詞」「目的語」)

-¡Pues no! プエス・ノ adv. それが、違うのです 「応答」
 -contestó コンテスト 3 単点(contestar)v.t 答えた 「動詞」
 el Conejo Blanco. エル・コネホ・ブランコ n.m 白うさぎが 「主語」
 ¡Y イ conj. そして
 eso エソ pron それが 「主語」
 es エス (ser)v.i ~である 「動詞」
 lo más extraño ロ・マス・エクストラニョ pron 一番不思議なこと 「補語」
 de este documento! デ・エステ・ドクメント adj. この文書の 「形容詞句」
 -(Todo el jurado トド・エル・フラド n.m 陪審たちはみな 「主語」
 puso プソ 3 単点(poner)v.t 生じさせた 「動詞」
 cara カラ n.f 顔 「目的語」
 de extrañeza.) デ・エクストラニェサ adj. 奇妙な 「形容詞句」

「恐らく、他人の筆跡を真似たのであろう」と、王様が言った。(陪審の顔が安堵で輝いた)

-Acaso haya imitado la escritura de otra persona -sugirió el Rey. (Las caras del jurado se iluminaron de alivio.)

《「副詞」「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」(「主語」「動詞句」「副詞句」)

-Acaso アカソ adv. もしかすると 「副詞」
 haya imitado アヤ・イマタ 接・3 単現・完了形(imitar)v.t まねた 「動詞句」
 la escritura ラ・エスクリトゥラ n.f 筆跡を 「目的語」
 de otra persona デ・オトラ・ペルソナ adj. 他人の 「形容詞句」
 -sugirió スヒリオ 3 単点(sugerir)v.t 示唆した 「動詞」
 el Rey. エル・レイ n.m 王様が 「主語」
 (Las caras ラス・カラス pl(cara).n.f 顔が 「主語」
 del jurado デル・フラド adj. 陪審の 「形容詞句」
 se iluminaron セ・イルミナロン 3 複点(iluminarse)v.pr 輝いた 「動詞句」
 de alivio.) デ・アリビオ adv. 安堵に 「副詞句」

12 El testimonio de Alicia

「お願いします、陛下」と、その時ジャックが言った。「私はそれを書いていません、それに、その文書には署名が無い以上、誰も私が書いたと証明することはできません」

-Con la venia de Vuestra Majestad -dijo entonces la Sota-, yo no he escrito eso, y nadie puede probar lo contrario, puesto que el escrito en cuestión no lleva firma.

《「副詞句」》, 「動詞」「副詞」「主語」,

《「主語」「動詞句」「目的語」, y 「主語」「動詞句」「目的語」, 「副詞節」》

-Con la venia コン・ラ・ベニャ adv. 許可を得て 「副詞句」

de Vuestra Majestad デ・ブエストラ・マヘスタ adj. 陛下の 「形容詞句」

-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

entonces エントネス adv. その時 「副詞」

la Sota, ラ・サタ n.f (スペイン式トランプの) ジャックが、11 の札 「主語」

yo ジョ pron 私は 「主語」

no he escrito ノ・エ・エスクリト 1 単現・完了形(escribir)v.t 書かなかった 「動詞句」

eso, エソ pron それを 「目的語」

y イ conj. そして

nadie ナディエ pron 誰も何ない 「主語」

puede probar プエデ・プロハール 3 単現・可能・否定文(poder+不定詞 probar) v.t 証明できない 「動詞句」

probar プロハール v.t 試す、試食する、証明する、示す

lo contrario, ロ・コントラリオ pron (書いてないの) 反対の事を 「目的語」

puesto que+直接法 プエスト・ケ conj. ～である以上、～だから 「副詞節」

el escrito エル・エスクリト n.m その文書は 「主語」

en cuestión エン・クエスチオン adv. 問題の 「形容詞句」

no lleva ノ・シエハ 3 単現。否定(llevar)v.t ～がない 「動詞句」

firma. フィルマ n.f 署名が 「目的語」

「もしおぬしがそれに書名しなかったのなら」と、王様は言った。「それはおぬしの事態をさらに悪くするだけだ。というのは、お前は何か悪意をもってそれを書いたとしか考えられない。さもないと、正直者と同様に書名していたはずだ」

-Si no lo habéis firmado vos -declaró el Rey-, eso sólo agrava más vuestro caso, pues entonces no cabe la menor duda de que lo habéis escrito con alguna intención nefanda, ¡de lo contrario, habríais firmado, como toda persona honesta!

《「副詞節」》, 「動詞」「主語」,

《「主語」「副詞」「動詞」「副詞」「目的語」, 「副詞節」, 「副詞句」, 「動詞句」「副詞句」》

-Si シ conj. (仮定・条件) もし～ならば 「副詞節」

no ...habéis firmado ノ...アベイス・フィルマト 接・2 複現・完了形・否定(firmar)

12 El testimonio de Alicia

v.t 署名しなかった	「動詞句」
lo ロ pron それに	「目的語」
vos ボス pron お前が	「主語」
-declaró デクラロ 3 単点(declarar)v.t 言った、宣言した	「動詞」
el Rey-, エル・レイ n.m 王様が	「主語」
eso エソ pron それは	「主語」
sólo ソロ adv. 〜だけ	「副詞」
agrava アグラバ 3 単現(agravar)v.t 重大化させる	「動詞」
más マス adv. さらに	「副詞」
vuestro caso, ブエストロ・カ n.m お前の事態を	「目的語」
pues プエス conj. 〜なので	「副詞節」
entonces エントネス adv. その時、それでは	「副詞」
no cabe ノ・カベ 3 単現・否定(caber)v.i 入らない	「動詞句」
la menor duda ラ・メノール・トゥダ n.f さらに少ない疑いは	「主語」
de que デ・ケ conj. (比較) 〜よりも	「形容詞節」
lo ロ pron それを	「目的語」
habéis escrito アベイス・エスクリト 2 複現・完了形(escribir)	
v.t 書いた	「動詞句」
con alguna intención nefanda, コン・アルグナ・インテンシオン・ネファンダ	
adv. (不随) 何か悪意をもって	「副詞句」
¡de lo contrario, デ・ロ・コントラリオ adv. さもなければ	「副詞句」
habríais firmado, アブリアイス・フィルマト 2 複過未・完了形・推量(firmar)	
v.t 署名しただろう	「動詞句」
como toda persona honesta! コモ・トダ・ラ・ペルソナ・オネスタ adv. 正直者と同様に	「副詞句」

この素晴らしい演説を聞いてあちこちから拍手が起こった。実のところ、その日に王様が話した初めての分別のある演説だったからです。

Este hermoso discurso motivó una ronda general de aplausos, y en verdad que era la primera vez que el Rey había dicho algo sensato en aquel día.

	「主語」「動詞」「目的語」,y「副詞句」「主語」「動詞」「補語」
Este hermoso discurso エステ・エルモソ・デイスクルソ n.m この素晴らしい演説は	「主語」
motivó モチボ 3 単点(motivar)v.t 〜の動機になった	「動詞」
una ronda general ウナ・ロンダ・ヘネラル n.f 全体的な巡回を	「目的語」
de aplausos, デ・アプラウソス adj. 拍手の	「形容詞句」
y イ conj. そして	
en verdad エン・ベルダ adv. 実の所	「副詞句」

12 El testimonio de Alicia

que ケ pron(discurso の代用) それは	「主語」
era エラ 3 単線(ser)v.i ~だった	「動詞」
la primera vez ラ・プリメラ・ベス n.f 初めて	「補語」
que ケ adv. ~する	「副詞節」
el Rey エル・レイ n.m 王様が	「主語」
había dicho アビ・ア・ディチョ 3 単線・完了形(decir)v.t 話した	「動詞句」
algo sensato アルゴ・センサト pron 何か分別のあることを	「目的語」
en aquel día. エン・アケル・ディ・ア adv. その日に	「副詞句」

「それが彼の有罪を証明している、当然」と、女王さまが叫んだ。「それでは、彼を切れ！」

-¡ <u>Eso prueba su culpa, naturalmente!</u> - <u>exclamó la Reina</u> -. <u>De forma que...</u> ¡que le <u>corten</u> ...!	《「主語」「動詞」「目的語」, 「副詞」》, 「動詞」「主語」, 《「副詞句」 「目的語」「動詞」》
-¡Eso エソ pron それは	「主語」
prueba プルエハ 3 単現(probar)v.t 証明している	「動詞」
su culpa, ス・クルパ n.f 彼の罪を	「目的語」
naturalmente! ナトゥラルメンテ adv. 当然	「副詞」
-exclamó エクスクラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ	「動詞」
la Reina-. ラ・レイナ n.f 女王様が	「主語」
De forma que... デ・フォルマ・ケ adv. それでは...	「副詞句」
¡que ケ conj. (強調)	
le レ pron 彼を	「目的語」
corten...! コルテン 命・3 複現(cortar)v.t 切れ!	「動詞」

「その何も証明していないわ」と、アリスが叫んだ。「なんなの？何が書いてあるかも知らないのに」

-¡ <u>No prueba nada de eso!</u> - <u>gritó Alicia</u> -. ¡ <u>Vaya!</u> ¡Si <u>ni siquiera sabemos lo que ha escrito!</u>	《「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」, 《「感嘆」「副詞句」「動詞」「目的語」》
-¡No prueba ノ・プルエハ 3 単現・否定(probar)v.t 証明していない	「動詞句」
nada ナダ pron 何も～ない	「目的語」
de eso! デ・エソ adj. その	「形容詞句」
-gritó グリト 3 単点(gritar)v.i 叫んだ	「動詞」
Alicia-. アリシア n.f アリスは	「主語」
¡Vaya! バヤ adv. (不快・抗議) なんたというのか!	「感嘆」
¡Si シ conj. 事実の提示	
ni siquiera ニ・シキエラ adv. ~さえもない	「副詞句」
sabemos サベモス 1 複現(saber)v.t 知っている	「動詞」

12 El testimonio de Alicia

lo que ロ・ケ pron(目的語) ～することを 「目的語」
ha escrito! ア・エスクリト 3 単現・完了形(escribir)v.t 書いた 「動詞句」

「それでは、その詩を詠むがよい」と、王様は許可した。

-Leed, pues, ese verso -concedió el Rey.

《「動詞」「副詞」》, 「動詞」「主語」

-Leed, レエ 命・2 複現(leer)v.t 読むがよい 「動詞」
pues, プエス conj. それでは 「副詞」
ese verso エセ・ベルソ n.m その詩を 「目的語」
-concedió コンセディオ 3 単点(conceder)v.t 許可した 「動詞」
el Rey. エル・レイ n.m 王様が 「主語」

白うさぎは眼鏡を掛けた。

El Conejo Blanco se caló las gafas:

「主語」「動詞句」「目的語」

El Conejo Blanco エル・コネホ・ブラソ n.m 白うさぎは 「主語」
se caló セ・カ 3 単点(calarse)v.pr (眼鏡を) 掛けた 「動詞句」
las gafas: ラス・ガファス pl(gafa)n.f 眼鏡を 「目的語」

「どこから始めましょうか、陛下？」と、尋ねた。

-¿Por dónde place a Vuestra Majestad que empiece? -preguntó.

《「副詞句」「動詞」「間接目的語」「主語」》, 「動詞」

-¿Por dónde ホル・ドンデ adv. どこから 「副詞句」
place プラセ 3 単現(placer)v.i 気に入る 「動詞」
a Vuestra Majestad ア・ブエストラ・マヘスタ adv. 陛下にとって 「間接目的語」
que ケ conj. ～ということは 「主語」
empiece? エンピエ 3 単現(empezar)v.t 始める 「動詞」
-preguntó. プレグント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた 「動詞」

「最初から始めるがよい」と、王様は重々しく指示した。「そして、終わりまで続けるのだ。
そうしたらとまれ」

-Comenzad por el principio -indicó gravemente el Rey-, y continuad hasta llegar al fin;
entonces, parad.

《「動詞」「副詞句」》, 「動詞」「副詞」「主語」, 《y 「動詞」「副詞句」; 「副詞」「動詞」》

-Comenzad コメンサ 命・2 複現(comenzar)v.t 始めるがよい 「動詞」
por el principio ホル・エル・プリンシピオ adv. 最初から 「副詞句」

12 El testimonio de Alicia

-indicó	インディコ 3 単点(indicar)v.t	指示した、告げた	「動詞」
gravemente	グラヘメンテ adv.	重々しく	「副詞」
el Rey-	エル・レイ n.m	王様は	「主語」
y	イ conj.	そして	
continuad	コンチア 命・2 複現(continuar)v.i	続けよ	「動詞」
hasta +不定詞	アスタ adv.	～するまで	「副詞句」
llegar	ジェガル v.i	達する、着く	「動詞」
al fin;	アル・フィン adv.	終わりに	「間接目的語」
entonces,	エントネス adv.	そうしたら	「副詞」
parad.	パラ 命・2 複現(parar)v.i	止まれ	「動詞」

法廷内は静まり返り、白うさぎは次のような詩を読み上げ始めた。

En la Sala no se oyó ni una mosca mientras el Conejo Blanco procedió a leer las siguientes rimas:

		「動詞句」「副詞句」「主語」	mientras	「主語」「動詞句」「目的語」
En la Sala	エン・ラ・サラ adv.	法廷内は		「副詞句」
no se oyó	ノ・セ・オ 3 単点・再帰受動(oirse)v.pr	聞こえなかった		「動詞句」
ni una mosca	ニ・ヌカ・モスカ n.f (昆虫)	ハエも～ない		「主語」
No se oye el vuelo de una mosca.		「とても静かだ」		
mientras	ミントラス conj.	その一方		
el Conejo Blanco	エル・コネ・ブランコ n.m	白うさぎは		「主語」
procedió a leer	プロセディオ・アレール 3 単点・開始(proceder a+不定詞 leer)			
v.t		読み上げ始めた		「動詞句」
las siguientes rimas:	ラス・シギエンテス・リマス pl(rima).n.f	次のような詩を		「目的語」

君は彼女に会いに行って、僕を彼に任せたと聞いた。

彼女は僕の性格が好きだった。しかし僕は泳げないと言った。

Me dijeron que fuiste a verla
y que a él me encomendaste;
a ella le gustó mi carácter,
 pero declaró que yo no sabía nadar.

「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 y 「直接目的語」;
 「間接目的語」「動詞」「主語」,pero 「動詞」「目的語」

Me me pron 私に 「間接目的語」
 dijeron デイヘロン 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 「私は聞いた」または「～ということだ」

12 El testimonio de Alicia

que ク conj. ～ということを	「直接目的語」
fuiste a verla フイステ・ア・ベル・ラ 2 単点・しに行く(ir a+不定詞 ver+la)	
v.i 彼女に会いに行った	「動詞句」
y イ conj. そして	
que ケ conj. ～ということを	「直接目的語」
a él ア・エル adv. 彼に	「間接目的語」
me メ pron 私を	「直接目的語」
encomendaste; エンコメンダステ 2 単点(encomendar)v.t 任せた	「動詞」
a ella le ア・エジャ・レ pron 彼女にとって	「間接目的語」
gustó グスト 3 単点(gustar)v.i 気に入っていた	「動詞」
mi carácter, ミ・カラクテル n.m 僕の性格は	「主語」
pero ペロ conj. しかし	
declaró テクラー 3 単点(declarar)v.t 言った	「動詞」
que ケ conj. ～ということを	「目的語」
yo ジョ pron 私は	「主語」
no sabía nadar. ノ・サビ・ア・ナダール 1 単線・可能・否定(saber+不定詞 nadar)	
v.i 泳げない	「動詞句」

彼は僕は立ち去っていないと彼らに言った。(我々はその通りだと思う)

しかし、彼女が主張したら、君はどうなるんだろう。

Él les mandó decir que yo no había sido

(nosotros lo damos por cierto).

Pero ¿y si ella insistiera?

¿Qué sería entonces de ti?

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」(「主語」「動詞」「目的語」「補語」)

Pero y 「副詞節」, 「補語」「動詞」「副詞句」

Él エル pron 彼は	「主語」
les レス pron.pl 彼らに	「間接目的語」
mandó マント 3 単点(mandar)v.t 送った、発送した	「動詞」
decir テシール n.m 言葉を	「直接目的語」
que ケ conj. (同格) ～という	「形容詞節」
yo ジョ pron 僕が	「主語」
no había sido ノ・アビ・ア・シト 1 単線・移動・完了形・否定(ser)	
v.i 立ち去っていない	「動詞句」
(nosotros ノトス pron.pl 私たちは	「主語」
lo ロ pron それを	「目的語」

12 El testimonio de Alicia

damos ダモス 1 複現(dar)v.t(por+形容詞 ～と) みなす、思う	「動詞」
por cierto). ポル・シエルト adj. 確実だと、その通りだと	「補語」
Pero ペロ conj. しかし	
y イ conj. そして	
si シ conj. もし～ならば	「副詞節」
ella エジャ pron 彼女が	「主語」
insistiera? 接・3 単過(insistir)v.i 固執した、主張した	「動詞」
¿Qué ケ adj. どのような	「補語」
sería セリア 3 単過未・変化(ser)v.i ～になる	「動詞」
entonces エントネス adv. それでは	「副詞」
de ti? デ・ティ adv. 君については	「副詞句」
英語版では	

He sent them word I had not gone. 彼は私が行っていないという知らせを彼らに送った。

僕は彼女に 1 つやり、彼らは彼に 2 つやり、君は僕らに 2 つ以上くれた。

すべてが彼から君に戻った。以前はすべて僕のものだったのに。

Yo le di una ; ellos diéronle dos.

Tú nos diste tres o más.

Todas volvieron de él a ti,

aunque antes todas mías fueran.

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」; 「主語」「動詞句」「目的語」

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」, 「副詞節」

Yo ジョ pron 僕は	「主語」
le レ pron 彼女に	「間接目的語」
di デイ 1 単点(dar)v.t やった	「動詞」
una ; ウナ pron 一つ	「直接目的語」
ellos エジョス pron.pl 彼らは	「主語」
diéronle デイエロン・レ 3 複点(dar+le)v.t 彼にやった	「動詞句」
dos. ドス pron 二つ	「目的語」
Tú トゥ pron 君は	「主語」
nos ノス pron.pl 僕らに	「間接目的語」
diste デイステ 2 単点(dar)v.t くれた	「動詞」
tres o más. トレス・オ・マス pron 2 つ以上	「直接目的語」
Todas トダス pron.pl 全てが	「主語」
volvieron ボルビエロン 3 複点(volver)v.i 戻った	「動詞」
de él a ti, デ・エル・ア・ティ adv. 彼から君に	「副詞句」

12 El testimonio de Alicia

aunque アウンケ conj. ～ではあるが	「副詞節」
antes アンテス adv. 以前は	「副詞」
todas トダス pron.pl 全ては	「主語」
mías ミアス pron 僕のもの	「補語」
fuera. フェラソ 接・3 複過(ser)v.i ～だった	「動詞」

もし彼女か僕がこのトラブルに影響されたら、
彼は君に彼らを解放して欲しいと思うだろう、
僕らが昔自由だったように。

Si ella o yo por ventura nos viéramos
afectados por todo este enredo,
él confía en que tú sabrás liberarlas
tal y como al principio fuimos.

「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「間接目的語」

Si シ conj. もし～ならば	「副詞節」
ella o yo エジャ・オ・ジョ pron 彼女か私が	「主語」
por ventura ポル・ベントウラ adv. 偶然に、たまたま	「副詞句」
nos viéramos afectados ノス・ビエラモス・アフェクタトス 接・1 複過・状態(verse+過去分詞 afectar)	
v.pr(por に) 影響された、心を動かされた	「動詞句」
por todo este enredo, ポル・トド・エステ・エンレト adv. (動作主) このトラブルに	「副詞句」
él エル pron 彼は	「主語」
confía コンフィア 3 単現(confiar)v.i(en que ～すると) 思う、あてにする	「動詞」
en que エン・ケ adv. ～すると	「間接目的語」
tú トゥ pron 君は	「主語」
sabrás liberarlas サブラス・リベラル・ラス 2 単未・可能(saber+不定詞 liberar+las)	
v.t 彼らを解放できるだろう	「動詞句」
tal y como タル・イ・コモ conj. (比較) まさに～のように	「副詞節」
al principio アル・プリンシピオ adv. 最初の時	「副詞句」
fuimos. フイモス 1 複点(ser)v.i ～だった	「動詞」

12 El testimonio de Alicia

私には印象がある。(彼女がこの発作を起こす前は)

君こそが、彼と我々と夢との間にいる、障害だと。

Tengo la impresión de que tú fuiste
(antes de que a ella le diera este ataque)
un obstáculo que se interpuso
entre él, nosotros y el sueño.

「動詞」「目的語」「副詞句」)

Tengo テンゴ 1 単現(tener)v.t 持っている、～がある

「動詞」

la impresión ラ・インプレシオン n.f 印象

「目的語」

de que デ・ケ conj. (同格) ～という

「形容詞節」

tú トゥ pron 君は

「主語」

fuiste フイステ 2 単点(ser)v.i ～だった

「動詞」

(antes de que アンテス・デ・ケ adv. ～する前

「副詞句」

a ella le ア・エジャ・レ adv. 彼女に

「間接目的語」

diera ディエラ 接・3 単過(dar)v.i 起こる

「動詞」

este ataque エステ・アタケ n.m この発作が

「主語」

un obstáculo ウン・オスタクロ n.m 障害

「補語」

que ケ pron (主語) ～する

「形容詞節」

se interpuso セ・インテルプソ 3 単現(interponerse)

v.pr 間に入っている

「動詞句」

entre él, nosotros y el sueño. エントレ・エル・ノストロス・イ・エル・スエニョ

adv. 彼と我々と夢の間に

「副詞句」

彼女が彼らを一番愛していたと彼に悟られるな、というのは、

これは君と僕との永遠に誰も知らない秘密でなければならないから。

No dejes que él sepa que ella los querría más,
pues esto habrá de ser siempre
un secreto, que nadie más sepa,
entre tú y yo.

「動詞句」「目的語」,pues「主語」「動詞句」「副詞」「補語」

No dejes ノ・デヘス 命・2 複現・放任・禁止(dejar)v.t(que) ～させるな

「動詞句」

que +接続法 ケ conj. ～ということ

「目的語」

él エル pron 彼が

「主語」

sepa セパ 接・3 単現(saber)v.t 知る

「動詞」

que ケ conj. ～ということ

「目的語」

ella エジャ pron 彼女は

「主語」

12 El testimonio de Alicia

los	ロス	pron	彼らを	「目的語」
querría	クリア	3 単線(querer)v.t	愛していた	「動詞」
más,	マス	adv.	最も、一番	「副詞」
pues	プエス	conj.	なぜなら、というのは	
esto	エスト	pron	これは	「主語」
habrá de ser	アブラ・デ・セル	3 単未・必要(haber de+不定詞 ser)		
	v.i	～でなければならない		「動詞句」
siempre	シエンプレ	adv.	永遠に、常に	「副詞」
un secreto,	ウン・セクレト	n.m	秘密	「補語」
que	ケ	pron	(目的語) ～する	「形容詞節」
nadie más	ナディエ・マス	pron	誰も他に～ない	「主語」
sepa,	セパ	接・3 単現(saber)v.t	知っている	「動詞」
entre tú y yo.	エントレ・トゥ・イ・ジョ	adv.	君と僕の間の	「副詞句」

「これはこの裁判で証言された中で最も重要な証拠である」と、王様は手をもみながら宣言した。「陪審は、とりかかるがよい...」

¡Ésta es la prueba más importante que se ha presentado en este proceso! ·declaró el Rey frotándose las manos·. Así que ¡proceda el jurado a...!

《「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」,
《「副詞句」「動詞」「主語」「間接目的語」》

¡Ésta	エスタ	pron	これは	「主語」
es	エス	3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
la prueba	ラ・プルーバ	n.f	証拠	「補語」
más importante	マス・インポルタンテ	adj.	最も重要な	「形容詞句」
que	ケ	conj.(más...que)	～よりも	「副詞節」
se ha presentado	セ・ア・プレセンタド	3 単現・完了形・再帰受動(presentarse)		
	v.pr	これまで証言された		「動詞句」
en este proceso!	エン・エステ・プロセソ	adv.	この裁判で	「副詞句」
·declaró	デクラロ	3 単点(declarar)v.t	宣言した	「動詞」
el Rey	エル・レイ	n.m	王様は	「主語」
frotándose	フロタントセ	現在分詞・同時(frotar)adv.	～をこすりながら	「副詞句」
las manos·.	ラス・マノス	pl(mano)n.f	手を	「目的語」
Así que	アシ・ケ	adv.	従って、それでは	「副詞句」
¡proceda	プロセダ	命・3 単現(proceder)v.i(a に)	とりかかりなさい	「動詞」
el jurado	エル・フラト	n.m	陪審は	「主語」
a...!	ア	adv.	... に	「間接目的語」

12 El testimonio de Alicia

「それを理解できた人に 1 ドゥーロをあげるわ」と、アリスが言った。

(アリスはこの数分間ですごく大きくなったので、誰かに反論するのに何のためらいもなかった)「私としては、何の意味も無いと思うわ」

-¡Le daré un duro al que lo haya entendido! -dijo Alicia (que había crecido ya tanto durante los últimos minutos que ya no le daba ningún reparo contradecir a nadie)-. Lo que es yo, no creo que tenga ni pies ni cabeza.

《「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」》, 「動詞」「主語」

(「主語」「動詞句」「副詞句」

que 「副詞」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」「副詞句」)

, 《「副詞句」「動詞句」「目的語」》

-¡Le	レ pron 人に	「間接目的語」
daré	ダレ 1 単末(dar)v.t あげるわ	「動詞」
un duro	ウン・ドゥロ n.m 1 ドゥーロを	「直接目的語」
al que	アル・ケ pron ～する者に	「間接目的語」
lo	ロ pron それを	「目的語」
haya entendido!	アヤ・エンテンディト 接・3 単現・完了形(entender)	
	v.t 理解できた	「動詞句」
-dijo	ディホ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
Alicia	エリシア n.f アリスが	「主語」
(que	ケ pron アリスは	「主語」
había crecido	アビ・ア・クレシト 3 単線・完了形(crecer)v.i 大きくなっていた	「動詞句」
ya tanto	ヤ・タント adv. 非常に	「副詞句」
durante los últimos minutos	ドゥランテ・ロス・ウルティモス・ミヌトス adv. この数分間で	「副詞句」
que	ケ conj. (tanto ...que) それで～する	
ya	ヤ adv. もう	「副詞」
no ...daba	ノ...ダバ 3 単線・否定(dar)v.t 示さなかった	「動詞句」
le	レ pron 人に	「間接目的語」
ningún reparo	ニンガン・レパロ n.m なんのためらいも～ない	「直接目的語」
contradecir	コントラデシール 不定詞・目的 adv. 反論するのに	「副詞句」
a nadie)	ア・ナディエ adv. 誰かに	「間接目的語」
Lo que es yo,	ロ・ケ・エス・ジョ adv. 私としては	「副詞句」
no creo	ノ・クレオ 1 単現・否定(creer)v.t 思わない	「動詞句」
que	ケ conj. ～ということを	「目的語」
tenga	テンガ 接・3 単現(tener)v.t ～がある	「動詞」
ni pies	ニ・ピエス pl(pie).n.m 足	「目的語」

12 El testimonio de Alicia

ni cabeza. ニ・カヘサ n.f 頭

「目的語」

陪審は皆、石板に書き込んだ：「彼女はその詩は何も意味がないと思っている」しかし、誰もその文書の説明をしようとしなかった。

Todos los miembros del jurado escribieron en sus pizarras: «Ella no cree que tenga ni pies ni cabeza», pero ninguno se atrevió a intentar dar una explicación del documento.

「主語」「動詞」「副詞句」：《「主語」「動詞句」「目的語」》,

Pero 「主語」「動詞句」「目的語」

Todos los miembros del jurado トドス・ロス・ミエムブロス・デル・フラト pron 陪審は皆 「主語」
 escribieron エスクリビエロン 3 複点(escribir)v.t 書いた 「動詞」
 en sus pizarras: エン・スス・ピサラス adv. 石板に 「副詞句」
 «Ella エジャ pron 彼女は 「主語」
 no cree ノ・クレ 3 単点・否定(creer)v.t 思っていない 「動詞句」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 tenga テンガ 接・3 単現(tener)v.t ～がある 「動詞」
 ni pies ニ・ピエス pl(pie).n.m 足～もない 「目的語」
 ni cabeza», ニ・カヘサ n.f 頭～もない 「目的語」
 pero ヘロ conj. しかし
 ninguno ニングノ pron 誰も～ない 「主語」
 se atrevió a intentar dar セ・アトレビエ・ア・イン・tentenタル・ダール 3 単点・あえて
 (atreverse a+不定詞 intentar+dar)v.t 敢えて与えようとしなかった 「動詞句」
 una explicación ウナ・エクスプリカシオン n.f 説明を 「目的語」
 del documento. デル・ドクメント adj. その文書の 「形容詞句」

「もしもその詩が意味がないのなら」と、王様が言った。「我々はあれこれ心配しなくてよい。なぜなら、当然ながら、調査すべきものが何もないのだから」

-Si el poema no tiene sentido -dijo el Rey-, eso nos evitará muchas preocupaciones, pues, como es lógico, no tendremos nada que averiguar.

《「副詞節」》, 「動詞」「主語」,

《「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」, pues 「副詞句」「動詞句」「目的語」》

-Si シ conj. もし～ならば 「副詞節」
 el poema エル・ポエマ n.m その詩が 「主語」
 no tiene ノ・ティエネ 3 単現・否定(tener)v.t ～がない 「動詞句」
 sentido センチド n.m 意味 「目的語」
 -dijo デイホ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 el Rey-, エル・レイ n.m 王様が 「主語」

12 El testimonio de Alicia

eso エソ pron	それは	「主語」
nos ノス pron	我々の	「間接目的語」
evitará エビタラ	3 単未来(evitar)v.t	回避するだろう
muchas preocupaciones, ムチャス・プレオカハ・シオネス		「動詞」
pl(preocupacion).n.f	沢山の心配を	「直接目的語」
pues, プエス conj.	なぜなら～	
como es lógico, コモ・エス・ロヒコ	adv. 当然ながら	「副詞句」
no tendremos ノ・テンドレモス	1 複未来・否定(tener)v.t	～がないだろう
nada ナダ pron	何も～ない	「動詞句」
que averiguar. ケ・アベルイグ・ワル	不定詞・目的	「目的語」
adj. 調査すべき		「形容詞句」

「だがしかし」と、膝の上に詩の紙を広げて、半開きの片目で調べて続けた。「それでも、何か意味があるように思えるのだが...『泳げないと言った...』おまえ、実際に泳げないよな！」と、ジャックのほうへ振り向いて尋ねた。

Y, sin embargo -continuó, desplegando las rimas sobre sus rodillas y examinándolas con un ojo medio cerrado-, me parece que vislumbro algún significado a pesar de todo... «Dijo que yo no sabía nadar»..., y, en verdad, no sabéis nadar, ¿no es cierto? -preguntó volviéndose hacia la Sota.

《「副詞句」》, 「動詞」「副詞句」 y 「副詞句」,
 《「間接目的語」「動詞」「主語」, 『「動詞」「目的語」』 y 「副詞句」「動詞句」,
 「動詞句」「補語」》, 「動詞」「副詞句」

Y, sin embargo イ・シン・エンバルゴ	adv. だがしかし	「副詞句」
-continuó, コンチヌオ	3 単点(continuar)v.i	続けた
desplegando デスプレガント	現在分詞(desplegar)・同時	「動詞」
adv. 広げながら		「副詞句」
las rimas ラス・リマス	pl(rima).n.f	詩を
sobre sus rodillas ソブレ・スス・ロディジャス	adv. 膝の上に	「目的語」
y イ conj.	そして	「副詞句」
examinándolas エキサミナント・ラス	現在分詞(examinar)・同時	詩を調べながら
con un ojo コン・ウン・オホ	adv. (手段) 片目で	「副詞句」
medio cerrado-, メディオ・セラト	adj. 半分閉じた	「形容詞句」
me メ pron	私には	「間接目的語」
parece パレセ	3 単現(parecer)v.i	～のように思われる
que ケ conj.	～ということは	「動詞」
vislumbro ビスルンブロ	1 単現(vislumbrar)v.t	ぼんやり見える
algún significado アルグン・シグニフィカト	pron	何らかの意味が
a pesar de todo... ア・ペサル・デ・トド	adv. それでも	「目的語」
		「副詞句」

12 El testimonio de Alicia

«Dijo ティホ 3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
que ケ conj. ～ということ	「目的語」
yo ジョ pron 私は	「主語」
no sabía nadar»..., ノ・サビ・ア・ナダール 1 単線・可能・否定・時制の一致(saber+不定詞 nadar)	
v.i 泳げない	「動詞句」
y, イ conj. そして	
en verdad, エン・ベルダ adv. 本当に、実際に	「副詞句」
no sabéis nadar, ノ・サベ・イス・ナダール 2 複現・可能・否定(saber+不定詞 nadar)	
v.i 泳げない	「動詞句」
¿no es ノ・エス 3 単現・否定・疑問文(ser)v.i ～でないのか?	「動詞句」
cierto? シェルト adj. その通り	「補語」
-preguntó プレガント 3 単点(preguntar)v.t 尋ねた	「動詞」
volviéndose ボ・オルビ・エンドセ 現在分詞(volverse)・同時 adv. 振り返って	「副詞句」
hacia la Sota. アシア・ラ・ソタ adv. ジャックのほうへ	「副詞句」

ジャックはとても悲しそうに頭を振って否定しました。

Éste negó con la cabeza, diciendo muy contristado:

	「主語」「動詞」「副詞句」
Éste エステ pron(Sota の代用) ジャックは	「主語」
negó ネゴ 3 単点(negar)v.t 否定した	「動詞」
con la cabeza, コン・ラ・カベサ adv. (手段) 首で	「副詞句」
diciendo ティシエント 現在分詞(decir)・同時 adv. 言いながら	「副詞句」
muy contristado: ムイ・コントリスト adv. とても悲しそうに	「副詞句」

「もしかして、そう見えますか？」(確かに、泳げるようには見えなかった。全身がボール紙で出来ていたから)

-¿Es que acaso lo parece? -(ciertamente que no tenía ningún aspecto de saber nadar, puesto que estaba todo hecho de cartón).

	《「動詞」「主語」》(que 「動詞句」「目的語」「副詞節」)
-¿Es エス 3 単現・疑問文(ser)v.i ～ですか?	「動詞」
que ケ conj. ～ということは	「主語」
acaso アカ adv. もしかして	「副詞」
lo ロ pron それ	「補語」
parece? パレ 3 単現(parecer)v.i ～のように見える	「動詞」
-(ciertamente シェルタメンテ adv. 確かに 「副詞」	
que ケ conj. (事実の提示)	

12 El testimonio de Alicia

no tenía ノ・テニア 3 単線・否定(tener)v.t	～がなかった	「動詞句」
ningún aspecto ニンゲン・アスペクト n.m	何の見た目も～ない	「目的語」
de saber nadar, デ・サベル・ナダール 不定詞・同格 adj.	泳げるという	「形容詞句」
puesto que プェスト・ケ conj.	(理由) ～だから	「副詞節」
estaba todo hecho エスタバ・トド・エチョ 3 単線・受動(hacer)v.t	作られていた	「動詞句」
de cartón). デ・カルトン adv.	(材料) ボール紙で	「副詞句」

「さて、すべてが順調に進んでいるようだ」と、王様は意見を述べた。それから独り言を呟きながら、詩を調べた。

¡Vamos, parece que todo va encajando! comentó el Rey, y siguió mascullando para sí mismo mientras analizaba las rimas:

《「呼びかけ」「動詞」「主語」》, 「動詞」「主語」, 《y 「動詞句」「副詞句」, 「副詞節」》	
-¡Vamos, バモス 1 複現・勧誘(ir)v.i さあ、すすもう	「呼びかけ」
parece パレセ 3 単現(parecer)v.i ーのように見える	「動詞」
que ケ conj. ーということは	「主語」
todo トト pron 全てが	「主語」
va encajando! バ・エンカハント 3 単線・進行形(ir+現在分詞 enxajar)	
v.i うまく進んでいる	「動詞句」
-comentó コメント 3 単点(comentar)v.t 意見を述べた	「動詞」
el Rey, エル・レイ n.m 王様が	「主語」
y イ conj. そして	
siguió mascullando シギョ・オ・マスカジュヤント 3 単点・継続(seguir+現在分詞 mascar)	
v.t つぶやき続けた	「動詞句」
para sí mismo パラ・シ・ミスト adv. 自分のために	「副詞句」
mientras ミエンTRAS conj. その一方で	「副詞節」
analizaba アナリサバ 3 単線(analizar)v.t 調べた	「動詞」
las rimas: ラス・リマス pl(rima).n.f 詩を	「目的語」

12 El testimonio de Alicia

「それは当然だと思う」,明らかに陪審のことだ...「しかし、彼女が主張したら?」、女王以外はあり得ない...「その時、あなたはどのようなのだろう?」

«Nosotros lo damos por cierto»... evidentemente se refiere al jurado... «Pero y ¿si ella insistiera?»..., no puede ser otra que la Reina... «¿Qué sería entonces de ti?»...

《「主語」「目的語」「動詞」「補語」》,「副詞」「動詞句」「間接目的語」,

《Pero y 「副詞節」》,「動詞句」「補語」...《「補語」「動詞」「副詞句」》

«Nosotros	ノトロス	pron	我々は	「主語」
lo	ロ	pron	それを	「目的語」
damos	ダモス	1 複現(dar)v.t	(por+形容詞・過去分詞) ~とみなす、と思う	「動詞」
por cierto»...	ホル・シエルト	adv.	当然の	「補語」
evidentemente	エウ・イデンテンメンテ	adv.	明らかに	「副詞」
se refiere	セ・レフィエレ	3 単現(referirse)v.pr(a)	に関して述べている	「動詞句」
al jurado...	アル・フラト	adv.	陪審に	「間接目的語」
«Pero	ペロ	conj.	しかし	
y	イ	conj.	そして	
¿si	シ	conj.	もし~ならば	「副詞節」
ella	エジャ	pron	彼女が	「主語」
insistiera?»...	インシステラ	接・3 単過(insistir)v.i	主張した	「動詞」
no puede ser	ノ・プエデ・セル	3 単現・可能性(poder+不定詞 ser)v.i	~はあり得ない	「動詞句」
otra	オトラ	pron.f	他の人	「補語」
que la Reina...	ケ・ラ・レイナ	adv.	(比較) 女王と	「副詞句」
«¿Qué	ケ	pron	どう、何	「補語」
sería	セリア	3 単過未・変化(ser)v.i	~になるだろう	「動詞」
entonces	エントネス	adv.	その時	「副詞」
de ti?»...	デ・ティ	adv.	あなたについては	「副詞句」

彼はなんと正しいのだ!...「私は彼女にひとつやり、彼らは彼にふたつやった」諸君!《これは彼がケーキでしでかしたことに違いない》

¡Y qué razón tiene!... «Yo le di una, ellos diéronle dos»... ¡Hombre! Esto debe de ser lo que hizo con las tartas.

Y「目的語」「動詞」,

《「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 | 「呼びかけ」 | 「主語」「動詞」「補語」》

¡Y イ conj. そして

qué razón ケ・ラソン n.f なんとという道理を 「目的語」

tiene!... ティエネ 3 単現(tener)v.t 持っている、ある 「動詞」

«Yo ジョ pron 私は 「主語」

12 El testimonio de Alicia

le レ pron 彼女に	「間接目的語」
di ディ 1 単点(dar)v.t やった	「動詞」
una, ヲ pron ひとつ	「直接目的語」
ellos エジョス pron 彼らは	「主語」
diéronle ディエロン・レ 3 複点(dar+le)v.t 彼にやった	「動詞句」
dos》... トス pron 2 つ	「目的語」
¡Hombre! オンブレ n.m 諸君！	「呼びかけ」
Esto エスト pron これは	「主語」
debe de ser デベ・デ・セル 3 単現・必然(deber de+不定詞 ser)v.i ～に違いない	「動詞句」
lo ロ pron それ	「補語」
que ケ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
hizo イ 3 単点(hacer)v.t やった	「動詞」
con las tartas. コン・ラス・タルタス adv. ケーキで	「副詞句」

「しかし、この件は『全てが彼から君に戻った』と結んでいる」と、アリスは明確にしようとした。

-Pero el caso es que termina diciendo «todas volvieron de él a ti» -quiso puntualizar Alicia.

《Pero 「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞句」「主語」

-Pero ペロ conj. しかし

el caso エル・カソ n.m この件は 「主語」

es エス 3 単現(ser)v.i ～である 「動詞」

que ケ conj. ～ということ 「補語」

termina diciendo テルミナ・ディシエント 3 単現(terminar+現在分詞 decir)

v.i ～と結んでいる 「動詞句」

«todas トダス pron.pl 全てが 「主語」

volvieron ボルビエロン 3 複点(volver)v.i 戻った 「動詞」

de él a ti» デ・エル・ア・ティ adv. 彼から君に 「副詞句」

-quiso puntualizar キロ・プントアサル 3 単点・意思(querer+不定詞 puntualizar)

v.t 明確にしようとした 「動詞句」

Alicia. アリシア n.f アリスは 「主語」

12 El testimonio de Alicia

「そして実際に、そこにあるではないか！」と、王様はテーブルの上にあるケーキを指さして勝ち誇ったように叫んだ。

·¡Y en efecto, ahí están! ·exclamó triunfante el Rey señalando las tartas que estaban sobre la mesa·.

《「副詞句」「動詞」》, 「動詞」「副詞」「主語」「副詞句」

·¡Y en efecto, イ・エン・エフェクト adv. そして実際に 「副詞句」
ahí アイ adv. そこに 「副詞」
están! エスタン 3 複現・存在(estar)v.i ~がある 「動詞」
·exclamó エクスイラモ 3 単点(exclamar)v.i 叫んだ 「動詞」
triunfante トリウンファンテ adv. 勝ち誇ったように 「副詞」
el Rey エル・レイ n.m 王様は 「主語」
señalando セニャラント^レ 現在分詞(enseñar)・同時 adv. 示して、指さして 「副詞句」
las tartas ラス・タルタス pl(tarta).n.f ケーキを 「目的語」
que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
estaban エスタバン 3 複線・存在(estar)v.i ~にあった 「動詞」
sobre la mesa·. ソブレ・ラ・メサ adv. テーブルの上に 「副詞句」

それは確かにまったく明白である。それから、続けた：「彼女がヒステリーを起こす前」

¡Eso sí que está bien claro! Y luego sigue...: «Antes de que a ella le diese este ataque»...

「主語」「副詞句」「動詞」「補語」 | 「副詞句」「動詞」: 《「副詞句」》

¡Eso エソ pron それは 「主語」
sí que シ・ケ adv. (強調) 確かに 「副詞句」
está エスタ 3 単現(estar)v.i ~である 「動詞」
bien claro! ビ・エン・クラロ adj. まったく明白な 「補語」
Y luego イ・ルエゴ^レ adv. それから 「副詞句」
sigue...: シゲ^レ 3 単現(seguir)v.t 続ける 「動詞」
«Antes de que アンテス・デ・ケ adv. ~する前 「副詞句」
a ella le ア・エジャ・レ adv. 彼女に 「間接目的語」
diese デ・イエセ 接・3 単過・時制の一致(dar)v.t 引き起こす、作り出す 「動詞」
este ataque エステ・アタケ n.m 発作、ヒステリー 「直接目的語」

12 El testimonio de Alicia

「お前がヒステリーを起こすとは考えられないのだが。どうなのだ、妻よ」と、女王に向かって言った。

No creo que a ti te den ataques, ¿no es verdad, querida? -dijo dirigiéndose a la Reina.

《「動詞句」「目的語」,「動詞句」「補語」「呼びかけ」》,「動詞」「副詞句」
 No creo ノ・クオ 1 単現・否定(creer)v.t 思わない 「動詞句」
 que ケ conj. ～ということを 「目的語」
 a ti te ア・ティ・テ adv. 君に 「間接目的語」
 den デン 接・3 複現(dar)v.t 引き起こす 「動詞」
 ataques, アタケス pl(ataque).n.m ヒステリーを 「直接目的語」
 ¿no es ノ・エス 3 単現・否定(ser)v.i ～でない 「動詞句」
 verdad, ベルダ n.f 真実 「補語」
 querida? クリダ pron.f 妻よ 「呼びかけ」
 -dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」
 dirigiéndose ディリヒエントセ 現在分詞(dirigirse)・同時 adv. 話しかけて 「副詞句」
 a la Reina. ア・ラ・レイナ adv. 女王に 「間接目的語」

「一度もないわ!」と、女王は怒って答えながら、トカゲのビルにインク瓶を投げつけた。

-¿A mí? ¡Jamás! -replicó furiosa la Reina arrojándole un tintero a Pepito el Lagartija mientras hablaba.

《「間接目的語」「応答」》,「動詞」「副詞」「主語」「副詞句」,「副詞節」
 -¿A mí? ア・ミ adv. 私にとって 「間接目的語」
 ¡Jamás! ハマス adv. 一度もない 「応答」
 -replicó レプリコ 3 単点(replicar)v.t 答えた 「動詞」
 furiosa フリオサ adv. 怒り狂って 「副詞」
 la Reina ラ・レイナ n.f 女王は 「主語」
 arrojándole アロハントレ 現在分詞(arrojar+le)・同時 adv. 投げつけて 「副詞句」
 un tintero ウン・チンテロ n.m インク壺を 「直接目的語」
 a Pepito ア・ペピート adv. ちび助に 「間接目的語」
 el Lagartija エル・ラカルティハ
 n.m(Lagarto + -ija) (同格) トカゲの 「形容詞句」
 → トカゲのビルに
 mientras ミエンTRAS conj. ～している間、その一方で 「副詞節」
 hablaba. ハブラバ 3 単線(hablar)v.t 話した 「動詞」

12 El testimonio de Alicia

(可哀そうなビルは、少し前から指で石版に書くのを止めていました。結局、何の痕跡も残らないことに気付いたからです；しかし、急いでまた書き始めました。今度は顔を伝って滴り落ちるインクを干上がるまで利用したのです)

(El desgraciado hacía ya rato que había dejado de escribir en su pizarra con un dedo, al darse cuenta, al fin, de que no dejaba marca alguna; pero ahora se apresuró a comenzar de nuevo, aprovechando la tinta que le caía chorreando por la cara, hasta que ésta se le secó.)

(「主語」「動詞句」「副詞句」,「副詞句」; pero 「副詞」「動詞句」「副詞句」)
 (El desgraciado エル・デスグラシアド^o pron (Lagartija の代用) 可哀そうなビルは 「主語」
 hacía ya rato que アチャ・ヤ・ヲ・ケ adv. 少し前から～する 「副詞句」
 había dejado de escribir アビエ・デハド^o・デ・エスクリビール 3 単線・完了形・中断(dejar de+不定詞)
 v.t 書くのを止めていた 「動詞句」
 en su pizarra エン・ス・ピサラ adv. 石板に 「副詞句」
 con un dedo, コン・ウン・デド^o adv. (手段) 指で 「副詞句」
 al darse cuenta, アル・ダルセ・クエンタ adv. (理由) ～に気付いて 「副詞句」
 al fin, アル・フィン adv. 結局 「副詞句」
 de que デ・ケ adv. ～ということに 「間接目的語」
 no dejaba ノ・デハ^o 3 単線・否定・時制の一致(dejar)
 v.t 残さない 「動詞句」
 marca alguna; マルカ・アルグナ n.f 何の痕跡も～ない 「目的語」
 pero ペロ conj. しかし
 ahora アオラ adv. 今度は 「副詞」
 se apresuró a comenzar セ・アプレスロ・ア・コメンサル 3 単点・急いである(apresurarse a+不定詞)
 v.i 急いで始めた 「動詞句」
 de nuevo, デ・ヌエボ adv. また、再び 「副詞句」
 aprovechando アプロベチャント^o 現在分詞(aprovechar)・同時 adv. ～を利用して 「副詞句」
 la tinta ラ・チンタ n.f インクを 「目的語」
 que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 le レ pron 彼の「間接目的語」
 caía カイア 3 単線・時制の一致・3 単過(caer)v.i 落ちる 「動詞」
 chorreando チョレアント^o 現在分詞(chorrear)・様態
 adv. 滴って 「副詞句」
 por la cara, ポル・ラ・カラ adv. 顔を 「副詞句」
 hasta que アスタ・ケ conj. ～するまで 「副詞節」
 ésta エスタ pron.f(tinta の代用) これが「主語」
 se le secó.) セ・レ・セコ 3 単点(secarse)v.pr 干上がる 「動詞句」

12 El testimonio de Alicia

「それでは、発作は別人に対するものだという事は、明らかである」と、王様は笑顔で周りをしながらインク壺を渡した相手を見て言った。彼の言葉は死の沈黙で迎えられた。

-Así, pues, es evidente que los ataques le dan a otros -dijo el Rey al ver a quién le había dado el tintero, mirando en derredor con una gran sonrisa. Sus palabras fueron acogidas con un silencio de muerte.

《「副詞句」「動詞」「補語」「主語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」
「主語」「動詞句」「副詞句」

-Así, pues,	アシ・フエス	adv.	そこで、それで	「副詞句」
es	エス	3 単現(ser)v.i	～である	「動詞」
evidente	エビデント	adj.	明らかな	「補語」
que	ケ	conj.	～ということ	「主語」
los ataques	ロス・アタケス	pl(ataque).n.m	発作は、攻撃は	「主語」
le	レ	pron	彼に	「間接目的語」
dan	ダン	3 複現(dar)v.t	与える	「動詞」
a otros	ア・オトロス	adv.	他人へ	「間接目的語」
-dijo	ディホ	3 単点(decir)v.t	言った	「動詞」
el Rey	エル・レイ	n.m	王様は	「主語」
al ver	アル・ベール	不定詞・同時 adv.	～を見て	「副詞句」
a quién	ア・キエン	pron	～する人を	「目的語」
le	レ	pron	彼に	「間接目的語」
había dado	アビア・ダト	3 単線・完了形(dar)v.t	渡した	「動詞句」
el tintero,	エル・チンテロ	n.m	インク壺を	「目的語」
mirando	ミランド	現在分詞(mirar)・同時 adv.	見ながら	「副詞句」
en derredor	エン・デレトール	adv.(alrededor)	周りを	「副詞句」
con una gran sonrisa.	コン・ウナ・グラン・ソリサ	adv.	(様態) 笑顔で	「副詞句」
Sus palabras	スス・パラブラス	pl(palabra).n.f	彼の言葉は	「主語」
fueron acogidas	フエロン・アコヒダス	3 複点・受動.f.pl(acoger)v.t	迎えられた	「動詞句」
con un silencio de muerte.	コン・ウン・シレンシオ・デ・ムエルテ	adv.	死の沈黙で	「副詞句」

12 El testimonio de Alicia

「洒落じゃ！」と、王様は怒って説明しなければならなかった。すると皆は大爆笑した。

»i Es un juego de palabras! -tuvo que explicar el Rey, muy irritado, y todos prorrumpieron en sonoras carcajadas.

《「動詞」「補語」》, 「動詞句」「主語」「副詞句」, y 「主語」「動詞句」「副詞句」

»i Es エス 3 単現(ser)v.i ~である 「動詞」

un juego de palabras! ウン・フエゴ・デ・パ・ラ・ブラス n.m 言葉の遊び、しゃれ 「補語」

-tuvo que explicar トゥボ・ケ・エクスプリカル 3 単点・必要(tener que+不定詞 explicar)

v.t 説明しなければならなかった 「動詞句」

el Rey, エル・レイ n.m 王様は 「主語」

muy irritado, ムイ・イリタド adv. とても怒って 「副詞句」

y イ conj. そして

todos トース pron 皆は 「主語」

prorrumpieron プロルンピエロン 3 複点(prorrumpir)v.i(en+名詞) 突然～し始めた 「動詞句」

en sonoras carcajadas. エン・ソノラス・カルカハダス adv. 大爆笑に 「副詞句」

「陪審は評決を検討せよ！」と、王様はその日は何度も命じた。

»i Que el jurado considere su veredicto! -ordenó el Rey por enésima vez aquel día.

《Que 「主語」「動詞」「目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

»i Que ケ conj. (強調)

el jurado エル・フラト n.m 陪審は 「主語」

considere コンシデレ 接・3 単現・命令(considerare)v.t 検討せよ 「動詞」

su veredicto! ス・ベレディクト n.m 判決を、評決を 「目的語」

-ordenó オルデノ 3 単点(ordenar)v.t 命じた 「動詞」

el Rey エル・レイ n.m 王様は 「主語」

por enésima vez ポル・エネシマ・ベス adv. 何度も 「副詞句」

aquel día. アケルディア adv. その日 「副詞句」

「いやいや！」と、女王様が遮った、「判決が先です！... 次の評決までに時間がかかるでしょう」

-¡No, no! -atajó la Reina. ¡La sentencia primero!... ¡Ya habrá tiempo para el veredicto después!

《「応答」》, 「動詞」「主語」,

《「主語」「補語」... | 「副詞」「動詞」「目的語」「副詞句」》

-¡No, no! ノ・ノ adv. いやいや！ 「応答」

-atajó アタホ 3 単点(atajar)v.t 遮った 「動詞」

la Reina-. ラ・レイナ n.f 女王が 「主語」

12 El testimonio de Alicia

¡La sentencia	ラ・センシァ	n.f	判決が	「主語」
primero!...	プリメロ	adj.	最初の	「補語」
¡Ya	ヤー	adv.	いずれ	「副詞」
habrá	アブラ	3 単未(haber)v.t	〜があるだろう	「動詞」
tiempo	ティエンポ	n.m	時間	「目的語」
para el veredicto después!	パラ・エル・ベレディクト・デスプエス			
adv (時間)	次の評決までに			「副詞句」

「なんて馬鹿げたことを！」と、アリスが大声で叫んだ。「誰がそんなことを考えるというの？評決前に判決なんて！」

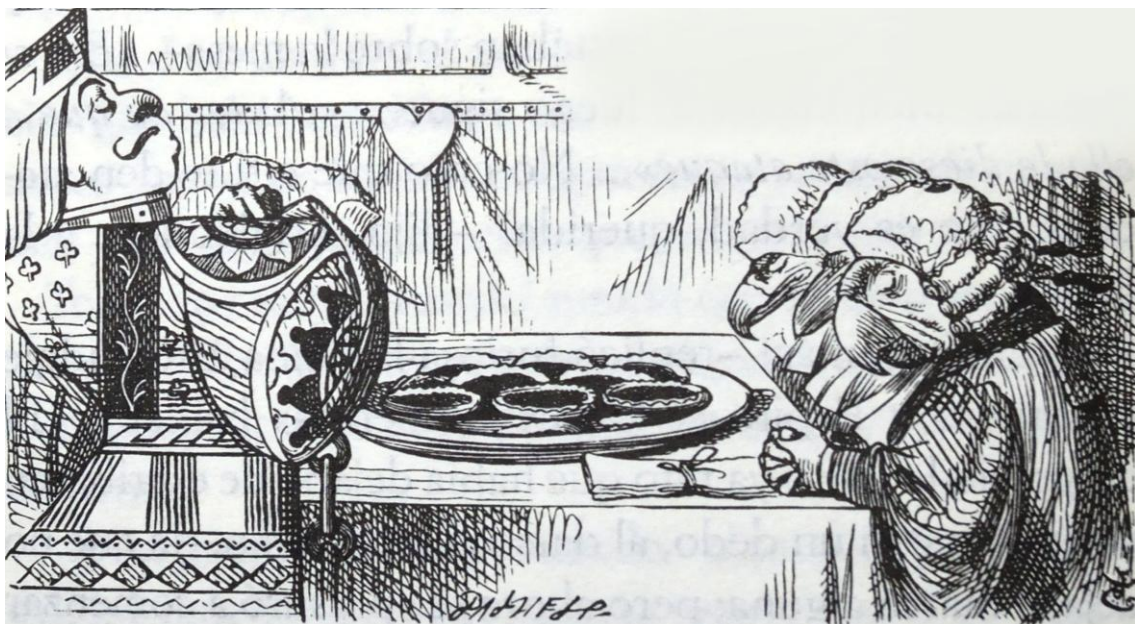
-¡Qué insensatez! -exclamó Alicia en voz muy alta- ¿A quién se le ocurre una cosa semejante? ¡La sentencia antes que el veredicto!

《「感嘆」》	「動詞」	「主語」	「副詞句」	《「間接目的語」	「動詞句」	「主語」	「感嘆」》
-¡Qué insensatez!	ケ・インセンサテス	n.f	なんと馬鹿げたことを！	「感嘆」			
-exclamó	エクスクラモ	3 単点(exclamar)v.i	叫んだ	「動詞」			
Alicia	アリシア	n.f	アリスが	「主語」			
en voz muy alta-	エン・ボス・ムイ・アルタ	adv.	大声で	「副詞句」			
¿A quién	ア・キエン	adv.	誰に	「間接目的語」			
se le ocurre	セ・レ・オクレ	3 単現(ocurrirse)v.pr	頭に浮かぶ	「動詞句」			
una cosa semejante?	ウナ・コサ・セメハンテ	n.f	そんな事は	「主語」			
¡La sentencia	ラ・センシァ	n.f	判決	「感嘆」			
antes que	アンテス・ケ	conj.	〜の前に	「副詞句」			
el veredicto!	エル・ベレディクト	n.m	評決	「目的語」			

評決と判決

評決は陪審員と裁判官が話し合って被告人の有罪・無罪、有罪なら下す量刑を決定すること。
判決はその評決を裁判長が宣言すること。

12 El testimonio de Alicia



12 El testimonio de Alicia

「黙れ！」と、女王様は怒り狂って紫色になって怒鳴りました。

-¡A callar! -vociferó la Reina poniéndose morada de rabia.

《「命令」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

-¡A callar! ア・ガジャール 不定詞・命令 v.t 黙れ！、静粛に！

「命令」

-vociferó ボシフェロ 3 単点(vociferar)v.i 怒鳴った

「動詞」

la Reina ラ・レイナ n.f 女王様が

「主語」

poniéndose ポニエントセ 現在分詞・同時(ponerse)v.pr 〜になって

「副詞句」

morada モラダ adj(moorado).f 紫色

「補語」

de rabia. デ・ラビア adv. (原因) 怒りで

「副詞句」

「それでも、私は黙らないわ！」と、アリスは答えた。

-¡Pues no me callo! -respondió Alicia.

《「副詞」「動詞句」》, 「動詞」「主語」

-¡Pues プエス adv. それで...

「副詞」

no me callo! ノ・メ・ガジョ 1 単現・否定(callarse)v.pr 黙らないわ！

「動詞句」

-respondió レスポンディオ 3 単点(responder)v.t 答えた

「動詞」

Alicia. アリシア n.f アリスは

「主語」

「あやつの首を切れ！」と、女王は息の続く限り怒鳴った；しかし誰もピクリとも動かなかった。

-¡Que le corten la cabeza! -chilló la Reina con toda la fuerza de sus pulmones; pero nadie hizo el menor movi:miento.

《Que 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》, 「動詞」「主語」「副詞句」；
pero 「主語」「動詞」「目的語」

-¡Que ケ conj. (命令の強調)

le レ pron 彼女の

「間接目的語」

corten コルテン 接・3 複現・命令(cortar)v.t 切れ

「動詞」

la cabeza! ラ・カベサ n.f 首を

「直接目的語」

-chilló チジョ 3 単点(chillar)v.t わめいた

「動詞」

la Reina ラ・レイナ n.f 女王様は

「主語」

con toda la fuerza コン・トダ・ラ・フエルサ adv. 力いっぱい

「副詞句」

de sus pulmones; デ・スス・プルモネス adj. 肺の

「形容詞句」

pero ペロ conj. しかし

nadie ナディエ pron 誰も〜ない

「主語」

hizo イ 3 単点・否定文(hacer)v.t (動作を) しなかった

「動詞」

el menor movimiento. エル・メノール・モビミエント n.m 最小の動きを

「目的語」

12 El testimonio de Alicia

「誰があなた達を問題にすると言うの？」と、アリスが言った。(この時には、すでに元の身長に戻っていた)「トランプの束でしかないんだから！」

-¿Quién les va a hacer caso? -dijo Alicia (que para entonces ya había recobrado su estatura de todos los días)-. ¡Si no son más que un mazo de cartas!

《「主語」「目的語」「動詞句」「補語」》,

「動詞」「主語」(que「副詞句」「動詞句」「目的語」),《「副詞節」》

-¿Quién キエン pron 誰が 「主語」

les レス pron あなた達を 「目的語」

va a hacer バ・ア・アセル 3 単現・近接未来・変化(ir a+不定詞 er)

v.t (+目的格補語) 〜にする 「動詞句」

caso? カリ n.m 重要、問題 「補語」

Yo la haré feliz. 彼女を幸せにします。

No le hago caso. 私は彼の言っていることを問題にしていない。

-dijo ディヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia アリシア n.f アリスは 「主語」

(que ケ conj. (事実の提示)

para entonces パラ・エントンス adv. その時まで 「副詞句」

ya ヤー adv. もう 「副詞」

había recobrado アビ・ア・レコブラド 3 単線・完了形(recobrar)

v.t 取り戻していた、回復していた 「動詞句」

su estatura ス・エストウラ n.f 身長を 「目的語」

de todos los días)-. デ・トドス・ロス・ディヤス adj. いつもの、普段の 「形容詞句」

¡Si シ conj. もし〜ならば 「副詞節」

no son ノ・ソ 3 単現・否定(ser)v.i 〜でない 「動詞句」

más que un mazo マス・ケ・ウン・マソ adv. 1 束以上 「補語」

de cartas! デ・カルタス adj. カードの 「形容詞句」

12 El testimonio de Alicia

これを聞いて、すべてのトランプが空中に舞い上がり、アリスをめがけてばらばらに飛び降りて来ました。アリスは、半分恐怖で半分怒りで、少し悲鳴をあげ、平手打ちでそれを払いのけようしました。

Al oír esto, la baraja entera se elevó por los aires y empezó a caer desordenadamente sobre Alicia, que dejó escapar un pequeño grito, mitad miedo mitad indignado, y empezó a defenderse a manotazos.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 y 「動詞句」 「副詞」 「間接目的語」,
「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」 ,y 「動詞句」 「副詞句」

Al +不定詞 アル adv. (原因) ～して 「副詞句」
oír オイル 不定詞 v.t 聞く 「動詞」
esto, エスト pron これを 「目的語」
la baraja ラ・バラハ n.f (1組の) トランプが 「主語」
entera エンテラ adj(entero).f すべての 「形容詞」
se elevó セ・エレボ 3 単点(elevarse)v.pr 飛び上がった 「動詞句」
por los aires ホル・ロス・アイレス adv. 空中に 「副詞句」
y イ conj. そして
empezó a caer エンペ・ソ・ア・カエル 3 単点・開始(empezar a+不定詞 caer)
v.i 落下しはじめた 「動詞句」
desordenadamente デソルダダメンテ adv. 無秩序に 「副詞」
sobre Alicia, ソブレ・アリシア adv. アリスの上に 「間接目的語」
que ケ pron アリスは 「主語」
dejó escapar デホ・エスハ・カール 3 単点・放任(dejar escapar)v.t (溜息などを) 漏らした 「動詞句」
un pequeño grito, ウン・ペ・ケニョ・グリト n.m 小さい悲鳴を 「目的語」
mitad miedo ミタ・ミエトソ adv. 半分恐怖で 「副詞句」
mitad indignado, ミタ・インディグナド adv. 半分怒りで 「副詞句」
y イ conj. そして
empezó a defenderse エンペ・ソ・ア・デフェンデルセ 3 単点・開始(empezar a+不定詞 defenderse)
v.pr 身を守り始めた 「動詞句」
a manotazos. ア・マノタソス adv. (手段) 平手打ちで 「副詞句」

12 El testimonio de Alicia



そうしていると、突然、川岸で横になって姉さんの膝に頭を載せていることに気が付きました。姉さんはアリスの顔に落ちて来る枯葉をそっと払いのけていました。

Al hacerlo se encontró de golpe acostada sobre la ribera del río, con la cabeza apoyada en el regazo de su hermana, que estaba apartando con delicadeza unas hojas secas que habían venido a caer sobre la cara de Alicia.

「副詞句」「動詞句」「副詞句」「補語」, 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

Al hacerlo アル・アセル・ロ adv. そうしていると 「副詞句」

se encontró セ・エンコントロ 3 単点(encontrarse)v.pr 気付いた 「動詞句」

de golpe デ・ゴルペ adv. 突然、すぐに 「副詞句」

acostada アコスタダ 過去分詞.f(acostar)adj. 横になった 「補語」

sobre la ribera ソブレ・ラ・リベラ adv. 川岸の上で 「副詞句」

del río, デル・リオ adj. 川の 「形容詞句」

12 El testimonio de Alicia

con la cabeza	コン・ラ・カベサ	adv. (様態) 頭を～して	「副詞句」
apoyada	アポヤダ	過去分詞.f(apoyar)adj. 持たせかけて	「動詞」
en el regazo	エン・エル・レガソ	adv. 膝の上に	「副詞句」
de su hermana,	デ・ス・ヘルマナ	adj. 姉さんの	「形容詞句」
que	ケ	pron 姉さんは	「主語」
estaba apartando	エスタバ・アパルトント	3 単線・進行形(apartar)v.t 払いのけていた	「動詞句」
con delicadeza	コン・デリカデサ	adv. そっと、注意深く	「副詞句」
unas hojas secas	ウナス・オハス・セカス	pl(hoja).n.f 枯葉を	「目的語」
que	ケ	pron (主語) ～する	「形容詞節」
habían venido a caer	アビアン・ベニト・ア・カエル	3 複線・完了形・継続(venir a+不定詞 caer)	
	v.i	落ちてきていた	「動詞句」
sobre la cara de Alicia.	ソブレ・ラ・カラ・デ・アリシア		
	adv.	アリスの顔の上に	「間接目的語」

「起きなさい、アリスちゃん」と、姉さんが言った；「ずいぶん長いこと寝ていたわね！」

-Despierta, querida Alicia	-le dijo su hermana;	¡te has quedado dormida un buen rato!	
《「動詞」, 「呼びかけ」》, 「間接目的語」	《「動詞」	《「動詞句」	《「補語」
-Despierta,	デスピエрта	命・2 単現(despertar)v.i 起きなさい	「動詞」
querida Alicia	ケリダ・アリシア	n.f アリスちゃん	「呼びかけ」
-le	レ	pron 彼女に	「間接目的語」
dijo	ディヨ	3 単点(decir)v.t 言った	「動詞」
su hermana;	ス・エルマナ	n.f 姉さんが	「主語」
¡te has quedado	テ・アス・ケダト	2 単現・完了形(quedarse)v.pr ～の状態でした	「動詞句」
dormida	ドルミダ	過去分詞(dormir)adj.f 眠った	「補語」
un buen rato!	ウン・ブエン・ラート	n.m ずいぶん長い間	「副詞句」

12 El testimonio de Alicia

「ああ！どんな不思議な夢を見たか分からないでしょうね」と、アリスは言った。それから姉さんに、読者が読み終わったばかりの彼女の不思議な冒険について、思い出せるかぎり姉さんに話し始めました。アリスが話し終わると、姉さんはアリスにキスして、言いました：

-¡Ah! ¡No sabes qué sueño más raro he tenido! -dijo Alicia, y empezó a contarle a su hermana todo lo que pudo recordar de sus extrañas aventuras que acabamos de leer; y cuando hubo acabado, su hermana la besó y le dijo:

《「感嘆」 | 「動詞句」「目的語」》, 「動詞」「主語」,

y 「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」;

y 「副詞節」, 「主語」「目的語」「動詞」 y 「間接目的語」「動詞」

-¡Ah! アー int. ああ！ 「感嘆」

¡No sabes ノ・サベス 2 単現・否定(saber)v.t 分からない 「動詞句」

qué sueño ケ・スエニョ n.m どんな夢を 「目的語」

más raro マス・ラロ adj. すごく不思議な 「形容詞句」

he tenido ヘ・テニド 1 単現・完了形(tener)v.t (夢を) 見た 「動詞句」

-dijo デ・イヨ 3 単点(decir)v.t 言った 「動詞」

Alicia, アリシア n.f アリスは 「主語」

y イ conj. そして

empezó a contarle エンペゾ・ア・コンタル・レ 3 単点・開始(empezar a+不定詞 contar+le)

v.t 姉さんに話始めた 「動詞句」

a su hermana ア・ス・エルマナ adv. 姉さんに 「間接目的語」

todo lo トド・ロ pron 全てを 「直接目的語」

que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

pudo recordar プド・レコルダール 3 単点・可能・時制の一致(poder+不定詞 recordar)

v.t 思い出せる 「動詞句」

de sus extrañas aventuras, デ・ス・エクストラニャス・アベントウラス

adv. 不思議な冒険について 「間接目的語」

que ケ pron (目的語) ~する 「形容詞節」

acabamos de leer; アカバモス・デ・レエル 1 複現・直前完了(acabar de+不定詞 leer)

v.t (この本の読者が) 読み終わったばかり 「動詞句」

y イ conj. そして

cuando クワンド conj. ~した時 「副詞節」

hubo acabado, ユボ・アカバド 3 単点完了(acabar)

v.t (アリスが) 話を終えた 「動詞句」

su hermana ス・エルマナ n.f 姉さんは 「主語」

la ラ pron.f アリスに 「目的語」

besó ベソ 3 単点(besar)v.t キスした 「動詞」

12 El testimonio de Alicia

y イ conj. そして

le レ pron 彼女に

「間接目的語」

dijo: ディョ 3 単点(decir)v.t 言った

「動詞」

「確かにとても奇妙な夢だったのね。でも走っておやつを食べに行きなさい。もう遅いから」

-Un sueño ciertamente muy extraño, querida; pero ahora corre y ve a merendar, que se está haciendo tarde.

《「主語」; pero 「副詞」「動詞」 y 「動詞句」, que 「動詞句」「補語」》

-Un sueño ウン・スエニョ n.m 夢

「主語」

ciertamente シエルタメンテ adv. 確かに

「副詞」

muy extraño, ムイ・エクストラニョ adj. とても奇妙な

「形容詞句」

querida; クリダ pron アリスちゃん

「呼びかけ」

pero ペロ conj. しかし

ahora アオラ adv. 今は

「副詞」

corre コルレ 命・2 単現(correr)v.i 走りなさい

「動詞」

y イ conj. そして

ve a merendar, ベ・ア・メルンダール 命・2 単現・しに行く(ir a+不定詞 merendar)

v.i おやつを食べに行きなさい

「動詞句」

que ケ conj. (強調)

se está haciendo セ・エスタ・アシエント 3 単現・進行形(hacerse)v.pr(時間が) ~になる

「動詞句」

tarde. タルデ adj. 遅い

「補語」

それでアリスは立ち上がって、走り出した。当然のように、走っている間ずっと自分の夢がどれほど素晴らしかったかを考えていた。

Así que Alicia se puso en pie y echó a correr, pensando todo el rato, como era justo, en lo maravilloso que había sido su sueño.

「副詞句」「主語」「動詞句」 y 「動詞句」「副詞句」, 「副詞句」

Así que アシ・ケ adv. それで

「副詞句」

Alicia アリシア n.f アリスは

「主語」

se puso セ・プソ 3 単点(ponerse)v.pr (姿勢を) とった

「動詞句」

en pie エン・ピエ adv. 足の上に

「副詞句」

ponerse en pie 「立ち上がる」

y イ conj. そして

echó a correr, エチョ・ア・コレル 3 単点・開始(echar a+不定詞 correr)v.i 走り出した

「動詞句」

pensando ペンサント 現在分詞(pensar)・同時 adv. 考えながら

「副詞句」

todo el rato, トド・エル・ラト adv. ずっと

「副詞句」

12 El testimonio de Alicia

como era justo, コモ・エラ・フスト adv. 当然のように 「副詞節」
 en lo maravilloso エン・ロ・マラビジョソ adv. 素晴らしいことについて 「間接目的語」
 que ケ pron (補語) ～する 「形容詞節」
 había sido アビ・ア・シト 3 単線・完了形(ser)
 v.i ～だった 「動詞句」
 su sueño. ス・スエニョ n.m 彼の夢は 「主語」

しかし、姉さんもアリスが行ってしまった後も頼杖をついて、夕日を見ながらアリスと彼女の素晴らしい冒険のことを考えながら座っていました。そして姉さんも姉さんなりに夢を見始めました。姉さんの心に現れた夢はこんなものでした。

Pero su hermana continuó sentada, tal y como la había dejado, con la cabeza apoyada sobre una mano, contemplando el sol que se ponía y pensando en la pequeña Alicia y en todas sus maravillosas aventuras, hasta que ella también empezó a soñar a su manera, y esto fue lo que pasó por su mente:

Pero 「主語」「動詞」「補語」,
 hasta que 「主語」「動詞句」「副詞句」 y 「主語」「動詞」「補語」
 Pero ペロ conj. しかし
 su hermana ス・エルマナ n.f 姉さんは 「主語」
 continuó コンチヌオ 3 単点(continuar)v.i (状態を) 続けた 「動詞」
 sentada, センタダ adj. 座った 「補語」
 tal y como タル・イ・コモ conj. (譲歩) ～であっても 「副詞節」
 la ラ pron.f 彼女を 「目的語」
 había dejado, アビ・ア・デハト 3 単線・完了形(dejar)v.t 残した 「動詞句」
 con la cabeza apoyada コン・ラ・カベサ・アポヤダ adv. 頭を持たせて 「副詞句」
 sobre una mano, ソブレ・ウナ・マノ adv. 片手の上に 「副詞句」
 contemplando コンテンプレント 現在分詞(contemplar)・同時 adv. 考えながら 「副詞句」
 el sol エル・ソル n.m 太陽を 「目的語」
 que ケ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 se ponía セ・ポニア 3 単線・時制の一致(ponerse)
 v.pr (太陽が) 沈む 「動詞句」
 y イ conj. そして
 pensando ペンサント 現在分詞(pensar)・同時 adv. 考えながら 「副詞句」
 en la pequeña Alicia エン・ラ・ペクニャ・アリシア adv. アリスの事を「間接目的語」
 y イ conj. そして
 en todas sus maravillosas aventuras, エン・トダス・ス・マラビジョサス・アベントウラス
 adv. 彼女の素晴らしい冒険のことを 「間接目的語」

12 El testimonio de Alicia

hasta que アスタ・ケ conj. ～するまで、(結果) そして～する	
ella también エジャ・タンビエン pron 姉さんも	「主語」
empezó a soñar エンペ・ソ・ア・ソニャル 3 単点・開始(empezar a+不定詞 soñar)	
v.i 夢を見始めた	「動詞句」
a su manera, ア・ス・マネラ adv. 彼女のやり方で	「副詞句」
y イ conj. そして	
esto エスト pron これは	「主語」
fue フェ 3 単点(ser)v.i ～だった	「動詞」
lo que ロ・ケ pron ～すること	「補語」
pasó パ・ソ 3 単点(pasaar)v.i 起こった	「動詞」
por su mente: ポル・ス・メンテ adv. 彼女の心に	「副詞句」

まず、姉さんは小さなアリス自身の夢を見ました。それから再び、自分の膝の上で組まれた小さい手を感じ、不思議そうに自分を見つめる燃えるように輝く目が見えました。

Primero soñó con la misma pequeña Alicia, y de nuevo sintió sus manecitas cruzadas sobre sus rodillas, y vio esos ojos brillantes y ardientes que la miraban curiosos;

「副詞」「動詞」「間接目的語」,y「副詞句」「動詞」「目的語」,y「動詞」「目的語」	
Primero プリメロ adv. 最初に	「副詞」
soñó ソニョ 3 単点(soñar)v.t(con の) 夢を見た	「動詞」
con la misma pequeña Alicia, コン・ラ・ミスマ・ペ・ケニャ・アリシア	
adv. 小さなアリス自身のことを	「間接目的語」
y イ conj. そして	
de nuevo デ・ヌエボ adv. また、もう一度	「副詞句」
sintió シンチオ 3 単点(sentir)v.t 感じた	「動詞」
sus manecitas ス・マネシタス pl(manecita).n.f 小さな手を	「目的語」
cruzadas クルサダス adj(cruzado).f 組んだ	「形容詞」
sobre sus rodillas, ソブレ・ス・ロディジャス adv. 自分の膝の上で	「副詞句」
y イ conj. そして	
vio ビオ 3 単点(ver)v.t 見た	「動詞」
esos ojos エソス・オホス pl(ojo).n.m 目を	「目的語」
brillantes ブリジヤンテス adj(brillante).pl 輝く	「形容詞」
y イ conj. そして	
ardientes アルディエンテス adj(ardiente).pl 燃えるような	「形容詞」
que ケ pron (主語) ～する	「形容詞節」
la ラ pron 自分を (姉さん)	「目的語」
miraban ミラバン 3 複線・時制の一致(mirar)v.t 見る	「動詞」

12 El testimonio de Alicia

curiosos; クリオス adv. 不思議そうに 「副詞」
 curioso クリオ adj. 好奇心の強い → curiosamente クリオマンテ adv. 物珍しそうに

アリスの声が響くのが聞こえ、いつも目に垂れ下がっている髪を彼女が払いのけているのが見えた。

oía el timbre de su voz y la veía apartándose esos pelos que siempre estaban cayéndosele encima de los ojos.

「動詞」「目的語」 y 「目的語」「動詞」「補語」
 oía オイ 3 単線(oír)v.t 聞こえた 「動詞」
 el timbre エル・ティンブレ n.m 響きが 「目的語」
 de su voz デ・ス・ボス adj. 妹の声の 「形容詞句」
 y イ conj. そして
 la ラ pron 彼女が 「目的語」
 veía ベイ 3 単線(ver)v.t 見えた 「動詞」
 apartándose アパルタントセ 現在分詞(apartarse)・la の動作
 v.pr 払いのけている 「補語」
 esos pelos エス・ペロス pl(pelo).n.m 髪を 「目的語」
 que ケ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 siempre シエンプレ adv. いつも 「副詞」
 estaban cayéndosele エスタバン・カエンドセレ 3 単線・進行形(caersele)
 v.pr 垂れ下がっている 「動詞句」
 encima de los ojos. エンシマ・デ・ロス・オイス adv. 目の上に 「副詞句」

そしてこの光景に夢中になっていると、時々、妹の夢の小さな生き物たちが彼女の周りで命を受け取って表れ始めた音が彼女には聞こえたような気がした。

Y mientras estaba así, ensimismada con esta visión, que a veces le parecía real, le pareció que a sus oídos llegaba, o creyó que llegaba, el sonido de todas las pequeñas criaturas del sueño de su hermana que empezaban a surgir, cobrando vida en su derredor.

Y 「副詞句」, 「間接目的語」「動詞」「補語」, 「間接目的語」「動詞」「主語」
 Y イ conj. そして
 mientras estaba así, ミエンTRAS・エスタバ・アシ adv. このようにしている間 「副詞句」
 ensimismada エンシミスダ 過去分詞(ensimismar)・受動 adv. 夢中になって 「副詞句」
 con esta visión, コン・エステ・ビシオン adv. この光景に 「間接目的語」
 que a veces ケ・ア・ベセス adv. 時々 「副詞句」
 le レ pron 彼女にとって 「間接目的語」
 parecía パレシア 3 単線(parecer)v.i のように見えた 「動詞」

12 El testimonio de Alicia

real, レアル adj. 現実の	「補語」
le レ pron 彼女にとって	「間接目的語」
pareció パレシオ 3 単点(parecer)v.i 見えた	「動詞」
que ケ conj. ～ということは	「主語」
a sus oídos ア・ス・オイトス adv. 彼女の耳に	「間接目的語」
llegaba, シェガバ 3 単線(llegar)v.i 着いた	「動詞」
o オ conj. または	
creyó クレヨ 3 単点(vreer)v.t 思った	「動詞」
que llegaba, ケ・シェガバ conj. 着いたということ	「目的語」
el sonido エル・ソニド n.m 音が	「主語」
de todas las pequeñas criaturas テ・トダス・ラス・ペケニャス・クリアトゥラス	
adj. すべての小さな生き物の	「形容詞句」
del sueño テル・スエニョ adj. 夢の	「形容詞句」
de su hermana テ・ス・ヘルマナ adj. 妹の	「形容詞句」
que ケ pron(主語) ～する	「形容詞節」
empezaban a surgir, エンペサバン・ア・スルビール 3 複線・開始(empezar a+不定詞 surgir)	
v.i 現れ始めた	「動詞句」
cobrando コブラント 現在分詞(cobrar)・同時	
adv. 受け取って	「副詞句」
vida ビダ n.f 命を	「目的語」
en su derredor. エン・ステレトール	
adv. 彼女の周りで	「副詞句」

足元では、背の高い草が白うさぎの急ぎ足によって揺れていた；ネズミは怯えて隣の池で水の中を動き回っていた。そして、三月うさぎとその仲間が延々とおやつを分け合っている間、磁器のカップがチリンチリンと鳴る音が聞こえていた。

A sus pies, la alta hierba se agitaba bajo las pisadas apresuradas del Conejo Blanco; el Ratón chapoteaba aterrado en el estanque vecino, y se percibía el tintinear de las tazas de porcelana mientras la Liebre de Marzo y sus amigos compartían una merienda sin fin.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」; 「主語」「動詞」「補語」, y
「動詞句」「主語」「副詞節」

A sus pies, ア・ス・ピエス adv. 足元では	「副詞句」
la alta hierba ラ・アルタ・イエルバ n.f 背の高い草が	「主語」
se agitaba セ・アヒタバ 3 単線(agitarse)v.pr 揺れていた	「動詞句」
bajo las pisadas apresuradas バホ・ラス・ピサダス・アプレスラダス adv. 急ぐ足音の下で	「副詞句」
del Conejo Blanco; テル・コネホ・ブランコ adj. 白うさぎの	「形容詞句」

12 El testimonio de Alicia

el Ratón	エル・ラトン	n.m	ネズミは	「主語」
chapoteaba	チャポテアバ	3 単線(chapotear)v.i	水の中を動き回っていた	「動詞」
aterrado	アテラド	過去分詞(aterrar)adj.	怯えて	「補語」
en el estanque vecino,	エン・エル・エスタンケ・ベシノ	adv.	隣の池で	「副詞句」
y	イ	conj.	そして	
se percibía	セ・ペルシビア	3 単線・再帰受動(percibirse)v.pr	感じられた	「動詞句」
el tintinear	エル・チンチネアル	n.m	チリンチリンと言う音が	「主語」
de las tazas	デ・ラス・タサス	adj.	カップの	「形容詞句」
de porcelana	デ・ポルセラナ	adj.	(材料) 磁器製の	「形容詞句」
mientras	ミエンTRAS	conj.	～する間	「副詞節」
la Liebre de Marzo	ラ・リエブレ・デ・マルソ	n.f	三月うさぎが	「主語」
y	イ	conj.	そして	
sus amigos	スス・アミゴス	pl(amigo).n.m	その仲間が	「主語」
compartían	コンパルチアン	3 複線(compartir)v.t	分けていた	「動詞」
una merienda	ウナ・メリエンダ	n.f	おやつを	「目的語」
sin fin.	シン・フィン	adv.	延々と	「副詞句」

女王が気まぐれに招待客の処刑を命ずる甲高い声も聞こえました；

También podía oír la voz aguda de la Reina disponiendo a su antojo de las cabezas de sus invitados;

				「副詞」「動詞句」「目的語」「補語」
También	タンビエン	adv.	～もまた	「副詞」
podía oír	ポデア・オイル	3 単線・可能・知覚動詞(poder+不定詞 oír)		
	v.t		聞くことが出来た	「動詞句」
la voz aguda	ラ・ボス・アクダ	n.f	かん高い声を	「目的語」
de la Reina	デ・ラ・レイナ	adj.	女王の	「形容詞句」
disponiendo	デイスポニエント	現在分詞(disponer)・Reina の動作 v.t	命じる	「補語」
a su antojo	ア・ス・アントホ	adv.	気まぐれに	「副詞句」
de las cabezas	デ・ラス・カベサス	pl(cabeza).n.f	首を	「目的語」
de sus invitados;	デ・ス・インビタドス	adj.	招待客の	「形容詞句」

12 El testimonio de Alicia

豚のような子供がまた公爵夫人の腕の中でくしゃみをしました。その間に、皿や食器が彼女の周りでぶつかり合っていました。

esa especie de niño porcino estornudaba de nuevo en brazos de la Duquesa, mientras se estrellaban a su alrededor los platos y las fuentes;

	「主語」「動詞」「副詞句」, 「副詞節」
esa especie de	エサ・エスぺシエ・デ adj. ーのようなもの 「形容詞句」
niño porcino	ニーニョ・ポルシノ n.m 子豚 「主語」
estornudaba	エストルヌダバ 3 単線(estornudar)v.i くしゃみをした 「動詞」
de nuevo	デ・ヌエボ adv. また、再び 「副詞句」
en brazos	エン・ブラソス adv. 腕の中で 「副詞句」
de la Duquesa,	デ・ラ・ドゥカサ adj. 公爵夫人の 「形容詞句」
mientras	ミエンTRAS conj. ーする間に 「副詞節」
se estrellaban	セ・エストレジャハン 3 複線(estrellarse)
v.pr	ぶつかり合っていた 「動詞句」
a su alrededor	ア・ス・アルデトール adv. 彼女の周りで 「副詞句」
los platos y las fuentes;	ロス・プラトス・イ・ラス・フエンテス pl.n 皿や食器が 「主語」

再び、グリフォンの鳴き声やトカゲのビルが石板に書いていたチョークのきしる音や叱責された天竺ねずみの苦しそうな息づかいに大気が満たされ、にせウミガメの遠いすすり泣きも混ざっています。

una vez más se llenaba el aire con los graznidos del Grifo, el chirriar de la tiza de Pepito el Largatija escribiendo sobre su pizarra, y los resoplidos sofocados de los conejillos de Indias «llamados al orden», entremezclados con los sollozos distantes de la Tortuga Artificial.

	「副詞句」「動詞句」「主語」「副詞句」
una vez más	ウナ・ベス・マス adv. もう一度 「副詞句」
se llenaba	セ・ジエナバ 3 単線・再帰受動(llenarse)v.pr 満たされた、一杯になった 「動詞句」
el aire	エル・アイレ n.m 大気は 「主語」
con	コン conj. (手段) ーによって 「副詞句」
los graznidos	ロス・グラスニトス pl(graznido).n.m 鳴き声 「目的語」
del Grifo,	デル・グリフォ adj. グリフォンの 「形容詞句」
el chirriar	エル・エル・チリアル n.m 鳴き声 「目的語」
de la tiza	デ・ラ・ティサ adj. チョークの 「形容詞句」
de Pepito el Largatija	デ・ペピト・エル・ラルカティハ
adj.	トカゲのビルの 「形容詞句」
escribiendo	エスクリビエント 現在分詞(escribir)・同時

12 El testimonio de Alicia

adv. 書いていた	「副詞句」
sobre su pizarra, ソブレ・ス・ピサラ	
adv. 石板に	「副詞句」
y イ conj. そして	
los resoplidos ロス・レソプ・リトス pl(resoplido).n.m 息づかい	「目的語」
sofocados ソフォカトス adj(sofocado).pl 息切れした	「形容詞」
de los conejillos テ・ロス・コネジヨス adj. 天竺ネズミの	「形容詞句」
de Indias テ・インディアス adj. インドの	「形容詞句」
«llamados al orden», ジャマダス・アル・オルテン 叱責された	「副詞句」
entremezclados エントレメスクラトス 過去分詞(entremezclar)	
adv. 混ざった	「副詞句」
con los sollozos コン・ロス・ソジヨス adv. すすり泣きが	「目的語」
distantes デイスタンテス adj.pl 遠い	「形容詞」
de la Tortuga Artificial. テ・ラ・トルトゥガ・アルティフィシャル	
adj. にせウミガメの	「形容詞句」

そしてこのように目を閉じて座っていると、本当にあの素晴らしい国にいるのだと思って
 しまうところでした、でも目を開けてしまえば、また全てがつまらない現実に戻ることも分
 かっていました：

Y mientras continuaba así sentada con los ojos cerrados, casi creyó encontrarse
 realmente en ese país maravilloso, aunque sabía que con sólo abrirlos todo recobraría su
 insulsa realidad:

Y 「副詞節」, 「動詞句」 「副詞句」, aunque 「動詞」 「目的語」

Y イ conj. そして	
mientras ミエンTRAS conj. ～していると	「副詞節」
continuaba コンチヌアバ 3 単線(continuar)v.i (状態を) 続いていた	「動詞」
así sentada アシ・センタダ adj. このように座った	「補語」
con los ojos cerrados, コン・ロス・オホス・セラダス	
adv. (付帯状況) 目を閉じて	「副詞句」
casi creyó +不定詞 カシ・クレジヨ 3 単点・思う(creer+不定詞)	
v.t ～すると思うところだった	「動詞句」
casi カシ adv. もう少しで creer+不定詞 ～すると思う	
encontrarse エンコントラルセ 不定詞 v.pr (ある場所に) いる	「動詞句」
realmente レアルメンテ adv. 本当に	「副詞句」
en ese país maravilloso, エン・エセ・パイス・マラビジヨ adv. あの素晴らしい国に	「副詞句」
aunque アウンケ conj. しかし	

12 El testimonio de Alicia

sabía サビア 3 単線(saber)v.t	分かっていた	「動詞」
que ケ conj.	～ということを	「目的語」
con sólo abrirlos コン・ソロ・アブリール・ロス adv.	目を開けるだけで	「副詞句」
todo トド pron	全ては	「主語」
recobraría レコブラリア 3 単過未・推量(recobrar)		
v.i	回復するだろう、戻るだろう	「動詞」
su insulsa realidad: ス・インスル・レアリダ n.f	面白みのない現実を	「目的語」

そんなに草が揺れていたのは、単に風のせいだし、池の波は岸のイグサに叩きつけられたただけだ。

la hierba, agitada tan sólo por el viento, y las ondas del estanque, azotadas por los juncos de la orilla;

		「主語」「副詞句」,y「主語」「副詞句」
la hierba, ラ・イエルバ n.f	草は	「主語」
agitada アヒタダ 過去分詞・受動(agitar)adj.f	揺れていた	「形容詞」
tan タン and.	そんなに	「副詞」
sólo ソロ adv.	単に	「副詞」
por el viento, ポル・エル・ビエント adv.	風のせい	「副詞句」
y イ conj.	そして	
las ondas ラス・オンダス pl(onda)n.f	波は	「主語」
del estanque, デル・エスタンケ adj.	池の	「形容詞句」
azotadas アソタダス 過去分詞(azotar)・受動 adj.f.pl	叩きつけられていた	「副詞句」
por los juncos ポル・ロス・フンコス adv.	(動作主) イグサによって	「副詞句」
de la orilla; デ・ラ・オリジャ adj.	岸の	「形容詞句」

磁器のチリンチリン鳴る音は隣の羊の群れの鈴の音に変わり、女王の甲高い叫び声は羊飼いの少年の声に変わるだろう。

el tintinear de la porcelana se tornaría en los cencerros de las ovejas de un rebaño vecino, y los gritos agudos de la Reina en las voces de un pastorcillo,

		「主語」「動詞句」「間接目的語」,y「主語」「間接目的語」
el tintinear エル・チンチネアル n.m	チリンチリン鳴る音は	「主語」
de la porcelana デ・ラ・ポセラ adj.	磁器の	「形容詞句」
se tornaría セ・トルナリア 3 単過未・変化・推量(tornarse)v.pr	変わるだろう	「動詞句」
en los cencerros エン・ロス・センセロス adv.	鈴に	「間接目的語」
de las ovejas デ・ラス・オベハス adj.	羊の	「形容詞句」
de un rebaño デ・ウン・レバニョ adj.	群れの	「形容詞句」

12 El testimonio de Alicia

vecino, ベシノ adj. 隣の 「形容詞」
 y イ conj. そして
 los gritos agudos ロス・グリティス・アグトス pl(grito).n.m 甲高い叫び声は 「主語」
 de la Reina テ・ラ・レイナ adj. 女王の 「形容詞句」
 en las voces エン・ラス・ボセス adv. 声に 「間接目的語」
 de un pastorcillo, テ・ウン・パストルシヨ
 adj. (pastor + -cillo) 羊飼いの少年の 「形容詞句」
 カウベル

放牧されている家畜の首に付け、見失わないようにするための陶器製や金属製の鈴。

そして、豚みたいな子供のくしゃみや、グリフォンの鳴き声や、その他全ての注目すべき音は（姉さんは知っていた）、隣の農場の喧噪に変わるだろう、一方、遠くで牛が鳴く声がにせウミガメの悲しい鳴咽にとって代わるだろう。

y los estornudos del niño porcino, el graznido del Grifo y todos esos otros sonidos tan notables, se convertirían (lo sabía) en el confuso clamor del activo corral de una granja vecina, mientras que a lo lejos el mugido de unos bueyes tomaría el lugar de los sollozos acongojados de la Tortuga Artificial.

y 「主語」「動詞句」（「目的語」「動詞」）「間接目的語」,
 mientras que 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

y イ conj. そして
 los estornudos ロス・エストルストス pl(estornudo).n.m くしゃみは 「主語」
 del niño porcino, テル・ニョ・ポルシノ adj. 豚みたいな子供の 「形容詞句」
 el graznido エル・グラスニト n.m 鳴き声は 「主語」
 del Grifo テル・グリフォ adj. グリフォンの 「形容詞句」
 y イ conj. そして
 todos esos otros sonidos トス・エス・オトス・ソニトス pl(sonido).n.m その他全ての音は 「主語」
 tan notables, タン・ナブレス adj. 注目すべき 「形容詞句」
 se convertirían セ・コンベルチアン 3 複過未・推量(convertirse)v.pr 変わるだろう 「動詞句」
 (lo □ pron そのことを 「目的語」
 sabía) サビア 3 単線(saber)v.t 知っていた 「動詞」
 en el confuso clamor エン・エル・コンフソ・クラモール adv. 喧噪に、混乱した叫び声 「間接目的語」
 del activo corral テル・アクティボ・コラル adj. 活動中の農場の 「形容詞句」
 de una granja vecina, テ・ウナ・グランハ・ベシナ adj. 隣の農場の 「形容詞句」
 mientras que ミェントラス・ケ conj. 一方では
 a lo lejos ア・ロ・レホス adv. 遠くで 「副詞句」
 el mugido エル・ムヒト n.m 鳴き声が 「主語」

12 El testimonio de Alicia

de unos bueyes	デ・ウノス・ブエイエス	adj. 雄牛の	「形容詞句」
tomaría	トマリア	3 単過未・推量(tomar)v.t 取るだろう	「動詞」
el lugar	エル・ルガール	n.m 場所を	「目的語」
de los sollozos acongojados	デ・ロス・ソジヨソス・アコンゴハトス		
adj.	悲しい嗚咽の		「形容詞句」
de la Tortuga Artificial.	デ・ラ・トルトゥガ・アルティフィシアル		
adj.	にせウミガメの		「形容詞句」

最後に姉さんは、この妹が将来大人になった時どのようなになるかを考えた。そして大人になってからも子供の頃の素朴で愛情深い心をどのように持ち続けているだろうかと考えた：

Por último, pensó en cómo sería en el futuro esta pequeña hermana suya, cuando se convirtiera ya en una mujer, y en cómo se conservaría a lo largo de sus años maduros el corazón sencillo y amante de su niñez:

			「副詞句」, 「動詞」 「目的語」, y 「目的語」
Por último,	ホル・ウルチモ	adv. 最後に	「副詞句」
pensó	ペンソ	3 単点(pensar)v.i (姉さんは) 考えた	「動詞」
en cómo	エン・コモ	adv. どのように～することを	「間接目的語」
sería	セリア	3 単過未・変化・推量(ser)v.t なっているだろう	「動詞」
en el futuro	エン・エル・フトウロ	adv. 将来	「副詞句」
esta pequeña hermana suya,	エスタ・ペケニャ・ヘルマナ・スヤ	n.f この妹は	「主語」
cuando	クワント	conj. ～する時	「副詞節」
se convirtiera	セ・コンビエルチエラ	接・3 単過(convertirse)	
v.pr	～になった		「動詞句」
ya	ヤー	adv. もう	「副詞」
en una mujer,	エン・ウナ・ムハール	adv. 大人の女性に	「補語」
y	イ	conj. そして	
en cómo	エン・コモ	adv. どのように～するかを	「間接目的語」
se conservaría	セ・コンセルバリア	3 単過未・推量(conservarse)	
v.pr	保っているだろう		「動詞句」
a lo largo de	ア・ロ・ラルゴ・デ	adv. ～の間ずっと	「副詞句」
sus años maduros	スス・アニョス・マトウロス		
pl(años).	n.m 成熟した歳月		「目的語」
el corazón	エル・コラソン	n.m 心を	「目的語」
sencillo	センシジョ	adj. 素朴な	「形容詞」
y	イ	conj. そして	
amante	アマンテ	adj. 愛情深い	「形容詞」

12 El testimonio de Alicia

de su niñez: テ・ス・ニェス adj. 子供時代の 「形容詞句」

自分の周りに未来の子供達を集めて、沢山の不思議なお話を聞かせて子供たちの目を輝かせているだろう、いまはもう遠い夢の冒険だっているかもしれない;そして自分の子供時代を思い出して、子供たちと悲しみや喜びを分かち合っているだろうと。

reuniría en torno de sí a otros pequeños futuros y les alumbraría los ojos con las maravillas de otros muchos y curiosos cuentos, quizás incluso con esas mismas aventuras de un ensueño ya lejano; sentiría todas sus pequeñas tristezas y se alegraría con sus pequeños goces, recordando su propia infancia y los alegres días del estío de antaño.

「動詞」「副詞句」「目的語」 y 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」;

「動詞」「目的語」 y 「動詞句」「間接目的語」「副詞句」

reuniría レウニア 3 単過未・推量(reunir)v.t 集めているだろう 「動詞」
 en torno de sí エン・トルノ・デ・シ adv. 自分の周りに 「副詞句」
 a otros pequeños ア・オトロス・ペケニエロス pl(pequeño + -uelos).n.m 子供達を 「目的語」
 futuros フトゥロス adj. 未来の 「形容詞」
 y イ conj. そして
 les レス pron.pl 彼らの 「間接目的語」
 alumbraría アルブラリア 3 単過未・推量(alumbrar)v.t 照らすだろう、輝かせるだろう 「動詞」
 los ojos ロス・オホス pl(ojo).n.m 目を 「直接目的語」
 con las maravillas コン・ラス・マラビジャス adv. (手段) 不思議によって 「副詞句」
 de otros muchos y curiosos cuentos, テ・オトロス・ムチョス・イ・クリオス・クエントス
 adj. 沢山の面白い話の 「形容詞句」
 quizás キサス adv. おそらく 「副詞」
 incluso インクル adv. さえも 「副詞」
 con esas mismas aventuras コン・エサス・ミサス・アベントウラス adv. あの同じ冒険も 「副詞句」
 de un ensueño ya lejano; テ・ウン・エンスエニョ・ヤー・レハノ
 adj. いまはもう遠い夢の 「形容詞句」
 sentiría センチリア 3 単過未・推量(sentir)v.t 感じるだろう 「動詞」
 todas sus pequeñas tristezas トダス・スス・ペケニャス・トリステサス
 pl(tristeza).n.f 子供たちの悲しみを 「目的語」
 y イ conj. そして
 se alegraría セ・アレグラリア 3 単過未・推量(allegarse)
 v.pr(con を) (相互) 喜ぶだろう 「動詞句」
 con sus pequeños goces, コン・スス・ペケニョス・ゴセス adv. 子供たちの喜びを 「間接目的語」
 recordando レコルダント 現在分詞(recordar)・同時 adv. 思い出して 「副詞句」
 su propia infancia ス・プロピア・インファンシア n.f 自分の子供時代を 「目的語」

fin

y イ conj. そして

los alegres días ロス・アレグレス・デ・ィアス pl(día).n.m 楽しい日々を 「目的語」

del estío de antaño. デル・エスチオ・デ・アンタニョ adj. 昔の夏の 「形容詞句」

fin

fin

Notas

Notas

1. En este poema introductorio, Carroll recuerda la tarde veraniega del 4 de julio de 1862 en que llevó a las tres hermanas Liddell de paseo, remando por el Támesis, en compañía de su amigo y compañero de facultad, el reverendo Robinson Duckworth. «Prima» es la mayor de las hermanas Liddell, Lorina Charlotte, entonces de trece años de edad; «Secunda» es la misma Alicia, de diez años de edad, y la más joven, Edith, de ocho años, es «Tertia».

2. Carroll, como buen matemático de su época, manifestaba enorme interés por las teorías de la gravitación universal, que estaban siendo objeto de gran desarrollo en su tiempo. Se ha señalado la similitud de Alicia cayendo sea por un pozo profundo, sea muy despacio, con el ejemplo empleado por Einstein, de un ascensor cayendo, para ilustrar algunos aspectos de su teoría de la relatividad. Carroll vuelve a emplear este factor literario, que pudiera calificarse de «desgravitación», en su novela Silvia y Bruno, en cuyo capítulo VIII describe la dificultad de tomar el té dentro de una casa que cae vertiginosamente.

Es evidente la relación entre la impresión de esta caída y la iniciación del sueño. Pero es curioso que Carroll no es el único en emplearla en un relato de este tipo: también Frank Baum saca bastante partido de un túnel que pasa por el centro de la tierra en sus famosos libros El mago de Oz y Tik-Tok de Oz.

3 • Y, en efecto, el gato de Alicia Liddell se llamaba Dina también en la realidad. Vuelve a aparecer en la continuación de Alicia, A través del espejo.

4. A lo largo de todo el libro, Carroll se dedica a hacer parodias de los poemas y libros que Alicia y sus hermanas tenían que aprender en la escuela. Los poemas, por lo general, eran de carácter «moralizante», es decir, «educativos», y los libros más que en un mundo de rosas. La transformación de los poemas que le salen a Alicia consiste en cambiar todo lo que en ellos hay de moralizante por picardías escandalizantes.

En este caso, se trata del poema titulado «Contra la pereza y los malos juegos», extraído del libro Cantos divinos para los niños, del teólogo inglés Isaac Watts (1674-1748), famoso autor de otros himnos religiosos, igualmente olvidados hoy, como «¡Oh Dios! Nuestra ayuda en el ayer». Decía

Notas

así el original:

¡Ved cómo la industriosa abeja aprovecha cada luminosa hora

para libar la miel el día entero de cada abierta flor!

¡Cuán hábilmente construye su celda, con qué primor extiende la cera

y se afana en proveerla bien

con el dulce alimento que fabrica!

En tareas de labor o de habilidad yo también habría de ocuparme,

pues Satán siempre encuentra alguna maldad para las manos ociosas que le sirven.

Que mis primeros años pasen

entre libros, trabajos y juegos sanos,

para poder dar cuenta de buenas obras al cabo de cada día.

Podemos imaginarnos la diversión de las niñas Liddell con la desvergonzada versión que pone Carroll en boca de Alicia.

5. En Las aventuras de Alicia bajo tierra, el manuscrito original de Carroll, el Conejo Blanco lleva un ramillete de flores en vez de unos guantes, y es al oler las flores cuando se producen los cambios de estatura de Alicia.

6. En la época de Carroll, la manera modesta de tomar un baño de mar era empleando una caseta sobre ruedas: en la playa servía de caseta, y luego, arrastrada por caballos hasta la profundidad deseada por el bañista, servía para que éste o ésta saliera por la puerta trasera y se remojara sin ser visto desde la playa. En su poema «A la caza del Snark», que siguió a la publicación de Alicia, Carroll se vuelve a referir a estas extrañas y ridículas máquinas, al definir las como «una óe las cinco características indubitables del auténtico Snark»:

La cuarta es su amor por las máquinas de bañarse, que lleva a todas partes consigo, pensando que contribuyen a la belleza del escenario..” sentimiento que admite alguna duda.

Notas

7. Estos animales representan al grupo de Carroll, su amigo el reverendo Duckworth y las niñas Liddell: el Pato (duck) es el reverendo Duckworth, presente durante el relato original de Alicia; el Loro es Lorina Liddell; el Aguilucho, Edith Liddell, y el Dodo, el pájaro australiano ya extinto -exterminado por los pobladores europeos-, es el mismo Carroll, quien tartamudeaba ligeramente, de forma que al pronunciar su propio nombre decía «Do... Do...Dodgson». En Las Aventuras de Alicia bajo tierra, el manuscrito original, Carroll añadía una serie de detalles sobre estos protagonistas de aquella excursión veraniega en la que surgió esta narración, y que Carroll omitió de su publicación pensando que no tendrían interés para el público en general.

8. El lector no dejará de apreciar que lo «mas seco» que conoce el Ratón es ¡el libro de Historia que tenían que aprender las niñas Liddell en la escuela! No creo que las cosas hayan cambiado mucho desde entonces.

9. La parodia que hace a continuación Carroll de lo que es trabajar en comité (en realidad cosa muy frustrante) no existía en el original, en Las Aventuras de Alicia bajo tierra, sino que fue añadido al texto destinado a la publicación.

10. En la primera versión de Alicia aparecía una «historia con cola» totalmente diferente y en cierto modo más apropiada, pues contiene la historia que el Ratón le había prometido contar a Alicia:

Vivíamos bajo el felpudo bien calientes, abrigados y gorditos, sin más que una desgracia, y ésa era: ¡el gato!

Nube de nuestra alegría, niebla de nuestra luz, gravoso peso de nuestro corazón era, eso sí, ¡el perro!

Cuando el gato se marchaba, jugaban alegres los ratoncillos ; pero, ¡ayf, sucedió una vez (o al menos así lo cuentan)

que llegaron un gato y un perro cazando a un ratón: aplastaron a los ratoncillos, sentaditos bajo el felpudo, bien calientes, abrigados y gorditos, ¡no lo olvidéis!

11. A continuación Carroll nos regala con una de las mejores parodias de la literatura inglesa. Ahora le toca el turno a Robert Southey (1774- 1883), con su poema, hoy bien olvidado, al igual que otros varios, «El consuelo de la vejez y de cómo lograrlo», otro odioso poema moralizante cuya desvergonzada parodia encantaría a las niñas

Notas

Liddell. En cambio, hay que señalar en descargo de Southey que es imperecedera su memoria por haber sido el autor del inolvidable cuento de Rizos de Oro y los tres osos.

He aquí el original del poema parodiado:

«Sois viejo, padre Guillermo», exclamó el joven,

«y los pocos cabellos que os quedan han encanecido ya del todo.

Sois robusto, padre Guillermo; un viejo alegre y sano.

Decidme ahora, os lo ruego,

¿cómo lo habéis logrado?»

«En mis años de juventud», replicó padre Guillermo,

«siempre tuve presente que el tiempo pasa a cada instante,

y así, ni abusé de mi salud ni produgué mi vigor,

no fuera que me faltasen al final».

«Sois viejo, padre Guillermo», exclamó el joven,

«y los placeres con la edad bien que se desvanecen,

y, sin embargo,

nunca os lamentáis del tiempo pasado.

Decidme, pues,

la forma en que lo habéis logrado».

«En los días de mi juventud»,

replicó padre Guillermo,

«siempre recordé que la lozanía no dura siempre, y tuve siempre presente al futuro en todo cuanto hacía,

no fuera a ser que en mis últimos días

tuviese que arrepentirme de los primeros».

«Sois viejo, padre Guillermo», exclamó el joven,

«y la vida os abandona ya rauda, pero con alegría y amor conversáis sobre la muerte.

Decidme ahora, os lo ruego,

la razón de vuestro ánimo».

«La alegría me embarga, muchacho», replicó padre Guillermo;

«que tu atención se fije bien en la razón

que me asiste:

en los días de mi juventud siempre tuve temor a Dios.

Y Él no me ha olvidado en los días de mi vejez».

Notas

12. En la versión original, la Oruga le dice a Alicia que la cabeza de la seta la hará crecer y el tallo menguar.

13. El Gato que sonríe es una de las figuras más famosas de «Alicia». Ya tendremos ocasión de verlo de nuevo más adelante. Parece que la expresión «sonríe como un gato de Cheshire» era corriente en los días de Carroll. Los quesos de esta región inglesa solían tener antaño la forma de un gato con una hermosa sonrisa pintada encima, según Martin Gardner. Carroll nació y pasó su infancia en Cheshire. Es curioso, sin embargo, que este gato tan sugestivo y tan famoso no apareciera en el original de Alicia, en Las Aventuras bajo Tierra.

14. Carroll tenía una fuerte aversión por los niños varones, en contraste con su afición por las niñas hembras, a las que adoraba y dedicaba gran parte de su tiempo, como hemos tenido ocasión de mencionar en el prólogo y en otras notas. La metamorfosis del niño de la Duquesa en cerdo manifiesta bien claramente esta aversión, que era motivo de bromas entre Carroll y sus adoradas amiguitas, las hermanas Liddell.

15. Es éste uno de los pasajes más citados de Alicia, sobre todo en libros científicos, en los que ha servido para ilustrar el contraste entre la realidad informe de la materia y el carácter intencional que tiene la ordenación lógica.

16. Las frases «loco como una liebre de marzo» y «loco como un sombrerero» eran, al parecer, bastante frecuentes en el inglés de los tiempos de Carroll. Marzo es la época en que las liebres entran en celo, y es conocida, entre las gentes que se pasean por el campo, su manera «loca» de retozar durante esta época. En cuanto al sombrerero, el origen de la frase es más oscuro: según Gardner, en la obra antes citada, se deriva del hecho de que los sombrereros acababan efectivamente locos en la época de Carroll, a causa del mercurio que se empleaba entonces para tratar la felpa del sombrero. La mayor parte de los países prohíben hoy en día este método laboral, evidentemente perjudicial; no parece, en cambio, que hayan intentado prohibir los marzos de las liebres.

17. Todo este capítulo fue añadido posteriormente a Las Aventuras bajo Tierra, en las que no aparecían ni la Liebre de Marzo ni el Sombrerero ni el Lirón. Se ha señalado la similitud entre el Sombrerero de Tenniel y las caricaturas del primer ministro

Notas

Gladstone pero no parece que el parecido haya sido consciente. Se cree más bien que Tenniel aceptó la sugerencia de Carroll de dibujar al Sombreroero siguiendo el perfil de una conocida figura de Oxford: Teophilus Carter, dueño de una tienda de muebles, conocido por el apodo del «Sombreroero Chiflado», en parte porque siempre llevaba una chistera fenomenal y en parte por sus ideas excéntricas: como parte de sus muebles, presentó en la exposición del Palacio de Cristal de Londres en 1851 una «cama-despertador» que cumplía este último cometido arrojando al dormido al suelo mediante un mecanismo de su invención. Este excéntrico personaje formaba parte de las bromas y comentarios de la localidad.

18. La adivinanza del Sombreroero fue objeto de muchas preguntas dirigidas a Carroll a raíz de la publicación de Alicia. He aquí su explicación, que apareció en el prefacio de la edición de 1896:

«Se me han dirigido tantas preguntas sobre si puede imaginarse alguna solución a la adivinanza del Sombreroero que he decidido dejar constancia de una que me parece bastante apropiada; a saber: “en que ambos producen algunas notas, aunque sean muy planas; y en que nunca se los coloca mirando hacia atrás!w Sin embargo esto no es más que algo que se me ha ocurrido luego; la adivinanza, tal y como la inventé originalmente, no tenía solución».

19. Y tanto que le sonaba. Esta canción es un ingenioso juego de palabras sobre una conocida canción infantil:

Brilla, luce, pequeña estrella, siempre me pregunto dónde estarás, allá tan alta, por encima de la tierra, como un diamante en el firmamento.

(Twinkle, twinkle, little star how I wonder where you are.

Up above the world so high like a diamond in the sky.)

La version de Carroll de una canción que no ha perdido nada de su popularidad debió de divertir, como divierte hoy, a los niños que la oían, que reconocían inmediatamente la parodia.

20. Las tres son las hermanas Liddell: Elsi es Lorina Carlota, Tilde se deriva de su apodo familiar, ‘Matilda’, y Cielo es un anagrama sobre el nombre de Alicia.

21. Hemos pasado por dos juegos de palabras que considero intraducibles: aprendían a ‘dibujar’ {draw) que es homónimo de ‘sacar’ (agua de un pozo). En el siguiente párrafo verá el lector nuevamente el mismo juego. En cuanto a estar ‘bien

Notas

dentro' del pozo, la palabra pozo, 'well, se confunde con la expresión 'well in, , bien dentro, enlazando así con el mismo sonido las ideas de 'pozo' y 'bien dentro' del

22. En el manuscrito original, Aventuras bajo Tierra, los mazos de croquet de la Reina, en vez de ser flamencos, eran avestruces. Aprovecho la ocasión de esta nota para señalar también el interés que tenía Carroll por toda clase de juegos. Inventó, por ejemplo, una manera especial de jugar al croquet, «croquet de castillo», que jugaba a menudo con las hermanas Liddell, y publicó una veintena de reglas para otros varios juegos, tales como un billar circular.

23. La expresión «un gato bien puede mirar a su rey», bastante usual en inglés, alude a la dignidad de todo hombre ante la autoridad.

24. En los tiempos de Carroll comenzaban a fabricarse los productos alimenticios sintéticos y deshidratados. Uno de los más famosos en las tiendas de ultramarinos de entonces era esta «sopa de tortuga artificial» que se vendía en unos tarros de cristal en forma de un jarabe espeso, fabricado a base de caldos de vaca y que con un poco de agua daba la ilusión de 'sopa de tortuga'. Por esto Carroll la pinta, en el capítulo siguiente, como una tortuga con cabeza y patas de vaca. Aún hoy en día existen estos productos, que, sin embargo, se toman en Inglaterra no ya como sopas, sino untando el jarabe sobre una tosiatla; debo decir que es delicioso.

25. Es éste uno de los pasajes más difíciles de traducir de toda Alicia, por la enorme riqueza de los juegos de palabras. Espero que el lector haya entendido los que ¡pobre de mí! he logrado pergeñar para seguir a Carroll; me parece, sin embargo, que debo ciertas explicaciones: 'beber y escupir' es lo que la Tortuga Artificial creyó aprender en vez de leer y escribir', en inglés el juego de palabras es entre 'leer y escribir, ; y 'tambalearse y retorcerse' . Las diversas ramas de la aritmética: suma, resta, multiplicación y división, las he dado como fumar, reptar, feificación y dimisión; en inglés: ambición (addition-ambition), distracción (subtraction-distractio) feificación (multiplication-uglyfi- cation) y burla (division-derision). 'Historia' como 'histeria' me ha salido más espontáneo; en inglés 'Misterio' (History-Mystery). Me he tenido que dar por vencido con las clases de dibujo: en inglés 'pronunciar arrastrando las vocales, (drawing-drawling), no he tenido más remedio que acudir a 'bidujo' en vez de 'dibujo', y espero que el lector benigno acepte 'bofetear' por 'bocetear' (en inglés, 'estirarse' : sketching-stretching) y 'tintura al boleo' por 'pintura al óleo' (en

Notas

inglés ‘desmayarse en espiral’ : painting in oils - fainting in coils). Decididamente, los juegos de palabras a base de homónimos y sonidos onomatopéyicos son mucho más fáciles de hacer y sobre todo de reconocer en inglés que en los idiomas de origen romano, mucho más ideológicos que eufónicos: ninguno de los miembros de mi familia ha sabido reconocer los juegos de palabras que con tanto trabajo he construido para traducir los de Carroll; es por lo que humildemente someto esta nota al lector, rogando su benignidad y dejando constancia de los originales. Para mi descargo señalaré que ninguno de estos juegos figuraba en el manuscrito original de Alicia, que pasaba directamente al capítulo siguiente.

26. Se entiende: demasiado anquilosada para 'desmayarse en espiral' según explicamos en la nota anterior.

27. En el manuscrito original la canción de la Tortuga Artificial es así:

Bajo las aguas de la mar hay langostas al millar, contentas de bailar conmigo y contigo.

Estribillo

Salmón, ¡sube acá! Salmón, ¡baja allá!

Salmón, ¡ven y enrosca tu cola aquí!

De todos los peces de la mar, el Salmón es el mejor.

Esta canción, de origen negro, la conocían y cantaban las hermanas Liddell, como nos dice el mismo diario de Carroll, quien el día anterior a la excursión en la que compuso Alicia, el 3 de julio de 1862, registra que las niñas la estuvieron cantando para divertirse en un día en que no podían salir fuera por la lluvia. Este canto tenía el siguiente estribillo:

Sally, ¡sube acá! Sally, ¡baja allá!

Sally, ¡ven y enrosca tu tobillo aquí!

28. Este poema es una parodia del compuesto por Isaac Watts con el título de «El haragán». Tiene la misma intención moralizante que el que hemos visto anteriormente: «Ved cómo la industriosa abeja» (página 182), y era bien conocido de los lectores de Carroll. He aquí el original-odioso:

Es la voz del haragán al que he oído quejarse:

«Mi^y temprano me has despertado hoy, y ahora tendré que dormirme de nuevo».

Así como la puerta gira sobre sus goznes vuelve el haragán sobre la cama esos lomos, hombros y cabeza ¡que tanto le pesan!

«¡Un poco más de sueño

Notas

y un poco más de reposo!»,
así clama y malgasta la mitad de sus días
V horas sin cuento;
y cuando al fin se levanta,
se asienta cogiéndose las manos
caminando de aquí para allá
agitándose sin propósito alguno.

Pasé el otro día por su jardín, y vi cómo las zarzas y los cardos crecían a su largo y a su ancho.

Las ropas que colgaban de sus miembros ya no eran más que harapos; y aun así, sus dineros malgasta hasta morir de hambre o pedir limosna, etc.

Esta parodia es la que Carroll revisó más veces en las sucesivas ediciones de Alicia. Su forma final apareció por primera vez en la edición de 1886.

29. Carroll registró en su diario que el 1 de agosto de 1862 las hermanas Liddell le estuvieron cantando precisamente el canto que él parodia en boca de la Tortuga Artificial, canto aún muy popular debido a James Sayles: «Estrella vespertina».

Hermosa estrella que luces tan alta en el firmamento, seguimos tu movimiento, tan lejano de nuestra tierra.

Estrella vespertina, hermoso lucero.

Estribillo

Hermosa estrella, hermosa estrella.

Estrella vespertina, hermoso lucero, etc.

30. Este poema es, en realidad, una revisión de otro que Carroll publicó por primera vez en el Comic Times de Londres en 1855. Entonces no fue más que un galimatías en el que Carroll mezclaba pronombres y tiempos de verbo en auténtico dadaísmo. La versión revisada que aparece en Alicia alude, a mi modesto juicio, al mismo Carroll y a su relación medio inconsciente medio confesada con Alicia. Para mí todo este poema respira la profunda melancolía de ese amor imposible.

Notas end

Vector で公開中のソフトとデータ

Vector で公開中のソフトとデータ

作者: 三浦 高志 (vector.co.jp)

汎用データ/画像&サウンド

- [キャプチャ NX の使用方法](#)

ニコンキャプチャ NC と NX の使用方法の説明

- [キャプチャ NX の画像調整データ](#)

「キャプチャ NX の使用方法」の本文中で使用した画像と調整データ

- [ニコンキャプチャ NX2-調整手順](#)

ニコンキャプチャ NX2 の操作に慣れるための調整手順を説明

- [ニコンキャプチャ NX2-撮影練習](#)

ニコンデジタル一眼レフカメラの撮影練習 — 露出設定を重点的に説明

汎用データ/学習&教育

- [LTSpice 操作入門](#)

アナログ電子回路のシミュレーション操作入門

WindowsMe/98/95 用ソフト/学習&教育

- [Sim for DOS](#)

アナログ回路の DC 及び AC 解析の出来るシミュレーションソフト

- [SimPack](#)

フリーソフトとして公開中の Sim.exe の開発資料とプログラムソースを公開する

Windows10/8/7/Vista/XP/2000/NT/画像&サウンド

- [ぬり絵ビルダー](#)

画像データ(BMP または JPG)を自動的にぬりえに変換する

Vector で公開中のソフトとデータ

Windows10/8/7/Vista/XP/2000/NT/学習&教育

- [McAct2W](#)

アナログフィルタ(回路図出力付き)及びデジタルフィルタの設計支援ソフト

- [ActiveFilter-Design-Schematics](#)

LtAct の名称を変更し、取扱説明書の一部を英文に翻訳しました

- [ActDoc](#)

フリーソフトとして公開中の McAct2W.exe のプログラム開発資料を公開する

- [LtAct](#)

アクティブフィルタの設計と LTSpice 用の回路図作成

Windows10/8/7/Vista/XP/2000/NT/パーソナル

- [電卓プログラム Dt_.exe](#)

複素数の計算が出来て、関数も自作できる 組み込み関数は複素数処理に対応

Windows10/8/7/Vista/XP/2000/NT/画像&サウンド

- [カラーコーディネイタ](#)

色彩調整における「色と補色の確認」ツール

- [TIFF 圧縮](#)

RGB 各 16 ビットの TIFF データを高画質に圧縮/伸張するプログラム

- [EV 計算](#)

デジタル一眼レフの露出情報を入力すると EV 値(撮影環境の明るさ)を計算する

Windows10/8/7/Vista/XP/2000/NT/画像&サウンド

- [HDPPhotoTool \(HD フォトツール\)](#)

TIF(RGB48bit または RGB24bit)または BMP ファイルを HDP 形式に圧縮して TIF 形式に伸張

汎用データ/家庭&趣味

- [北海道の家庭菜園](#)

寒冷地における苗の植付と栽培方法および野菜の育苗を体験に基づいて説明

Vector で公開中のソフトとデータ

汎用データ/学習&教育

●[英語-地球の歴史](#)

辞書なしでも、何度も読むだけで単語と文法が分かってくると思います

●[星の王子さま-スペイン語](#)

辞書なしでも、何度も読むだけで単語と文法が分かってくると思います

●[星の王子さま-ドイツ語](#)

辞書なしでも、何度も読むだけで単語と文法が分かってくると思います

●[異邦人-スペイン語](#)

辞書なしでも、何度も読むだけで単語と文法が分かってくると思います

●[星の王子さま-英語](#)

辞書なしでも、何度も読むだけで単語と文法が分かってくると思います

●[スペイン語学習](#)

構文解析によるスペイン語学習

●[星の王子様-フランス語](#)

辞書なしでも、何度も読むだけで単語と文法が分かってくると思います

●[フランス語学習](#)

構文解析によるフランス語学習

●[星の王子様-イタリア語](#)

辞書なしでも、何度も読むだけで単語と文法が分かってくると思います

●[英語-アル・ゴアからのメッセージ](#)

気候危機に関するアル・ゴア元副大統領の講演

●[異邦人-フランス語](#)

辞書なしでも、何度も読むだけで単語と文法が分かってくると思います

●[異邦人-英語](#)

辞書なしでも、何度も読むだけで単語と文法が分かってくると思います